目 次

科目名	科目区分	教員氏名	頁
ＴＯＥＩＣ・Ａ１（基礎）	外国語科目	竹中　義胤	1
ＴＯＥＩＣ・Ａ１（基礎）	外国語科目	竹中　義胤	5
ＴＯＥＩＣ・Ａ１（発展）	外国語科目	根来　玲子	9
ＴＯＥＩＣ・Ａ１（発展）	外国語科目	根来　玲子	12
ＴＯＥＩＣ・Ａ２（基礎）	外国語科目	竹中　義胤	15
ＴＯＥＩＣ・Ａ２（基礎）	外国語科目	竹中　義胤	19
ＴＯＥＩＣ・Ａ２（発展）	外国語科目	根来　玲子	23
ＴＯＥＩＣ・Ａ２（発展）	外国語科目	根来　玲子	26
ＴＯＥＩＣ・Ｂ１（基礎）	外国語科目	若松　朱里	29
ＴＯＥＩＣ・Ｂ１（基礎）	外国語科目	若松　朱里	33
ＴＯＥＩＣ・Ｂ１（発展）	外国語科目	山東　資子	37
ＴＯＥＩＣ・Ｂ１（発展）	外国語科目	寺脇　圭子	40
ＴＯＥＩＣ・Ｂ２（基礎）	外国語科目	若松　朱里	43
ＴＯＥＩＣ・Ｂ２（基礎）	外国語科目	若松　朱里	47
ＴＯＥＩＣ・Ｂ２（発展）	外国語科目	山東　資子	51
ＴＯＥＩＣ・Ｂ２（発展）	外国語科目	寺脇　圭子	54
オーラルスキル（英語）１	外国語科目	ファミュラロ　ラルフ　マイケル	57
オーラルスキル（英語）１	外国語科目	ヤング　ユーリ	60
オーラルスキル（英語）１	外国語科目	ロバート　ガリティ	64
オーラルスキル（英語）１〈再履修〉	外国語科目	パトリック　ポーレン	68
オーラルスキル（英語）１〈再履修〉	外国語科目	ヤング　ユーリ	72
オーラルスキル（英語）２	外国語科目	ファミュラロ　ラルフ　マイケル	77
オーラルスキル（英語）２	外国語科目	ヤング　ユーリ	80
オーラルスキル（英語）２	外国語科目	ロバート　ガリティ	84
オーラルスキル（英語）２〈再履修〉	外国語科目	パトリック　ポーレン	88
オーラルスキル（英語）２〈再履修〉	外国語科目	ヤング　ユーリ	92
オーラルスキル（英語）３	外国語科目	ジョン　ドゥデジアン	97
オーラルスキル（英語）３	外国語科目	トレント　スプリグス	102
オーラルスキル（英語）３	外国語科目	フランクリン　レインボウ	105
オーラルスキル（英語）３〈再履修〉	外国語科目	ジョン　ドゥデジアン	109
オーラルスキル（英語）４	外国語科目	ジョン　ドゥデジアン	114
オーラルスキル（英語）４	外国語科目	トレント　スプリグス	119
オーラルスキル（英語）４	外国語科目	フランクリン　レインボウ	122
オーラルスキル（英語）４〈再履修〉	外国語科目	ジョン　ドゥデジアン	126
ドイツ語総合1	外国語科目	北川　尚	131
ドイツ語総合1	外国語科目	北川　尚	134
ドイツ語総合1	外国語科目	松藤　朝子	137
ドイツ語総合1	外国語科目	松藤　朝子	140
ドイツ語総合1	外国語科目	南谷　真紀	143
ドイツ語総合1	外国語科目	南谷　真紀	146

目 次

科目名	科目区分	教員氏名	頁
ドイツ語総合2	外国語科目	北川　尚	149
ドイツ語総合2	外国語科目	北川　尚	152
ドイツ語総合2	外国語科目	松藤　朝子	155
ドイツ語総合2	外国語科目	松藤　朝子	158
ドイツ語総合2	外国語科目	南谷　真紀	161
ドイツ語総合2	外国語科目	南谷　真紀	164
ドイツ語総合3	外国語科目	南谷　真紀	167
ドイツ語総合3	外国語科目	南谷　真紀	170
ドイツ語総合4	外国語科目	南谷　真紀	173
ドイツ語総合4	外国語科目	南谷　真紀	176
英語スキル上級Ａ	外国語科目	ジェイムズ　ホーバット	179
英語スキル上級Ｂ	外国語科目	上村　バッケス　尚美	183
海外研修（英語）	外国語科目	服部　圭子・長谷川　由美・玉井　潤野	186
言語演習（英語） 1	外国語科目	ジェイムズ　ホーバット	188
言語演習（英語） 1	外国語科目	武知　薫子	192
言語演習（英語） 1	外国語科目	竹中　義胤	195
言語演習（英語） 1	外国語科目	玉井　潤野	199
言語演習（英語） 1	外国語科目	根来　玲子	202
言語演習（英語） 1	外国語科目	長谷川　由美	206
言語演習（英語） 1	外国語科目	服部　圭子	211
言語演習（英語） 1	外国語科目	ファミュラロ　ラルフ　マイケル	215
言語演習（英語） 1	外国語科目	美濃部　貴子	219
言語演習（英語） 2	外国語科目	上村　バッケス　尚美	223
言語演習（英語） 2	外国語科目	武知　薫子	226
言語演習（英語） 2	外国語科目	竹中　義胤	229
言語演習（英語） 2	外国語科目	竹中　義胤	233
言語演習（英語） 2	外国語科目	玉井　潤野	237
言語演習（英語） 2	外国語科目	長谷川　由美	240
言語演習（英語） 2	外国語科目	服部　圭子	244
言語演習（英語） 2	外国語科目	服部　圭子	248
言語演習（英語） 2	外国語科目	ファミュラロ　ラルフ　マイケル	252
言語演習（英語） 2	外国語科目	美濃部　貴子	255
総合英語１	外国語科目	石井　重光	259
総合英語１	外国語科目	片岡　宏仁	265
総合英語１	外国語科目	野口　博代	269
総合英語１	外国語科目	服部　圭子	275
総合英語１	外国語科目	眞鍋　範奈	281
総合英語１	外国語科目	山下　弥生	287
総合英語１〈再履修〉	外国語科目	澤邉　興平	293
総合英語２	外国語科目	石井　重光	300
総合英語２	外国語科目	片岡　宏仁	307
総合英語２	外国語科目	野口　博代	311
総合英語２	外国語科目	服部　圭子	317
総合英語２	外国語科目	眞鍋　範奈	323

目 次

科目名	科目区分	教員氏名	頁
総合英語２	外国語科目	山下　弥生	329
総合英語２〈再履修〉	外国語科目	澤邉　興平	335
中国語総合1	外国語科目	髙尾　有紀	341
中国語総合1	外国語科目	髙尾　有紀	345
中国語総合1	外国語科目	東條　智恵	349
中国語総合1	外国語科目	東條　智恵	353
中国語総合1	外国語科目	平坂　仁志	357
中国語総合1	外国語科目	平坂　仁志	361
中国語総合1	外国語科目	村田　浩	365
中国語総合1	外国語科目	村田　浩	369
中国語総合2	外国語科目	髙尾　有紀	373
中国語総合2	外国語科目	髙尾　有紀	377
中国語総合2	外国語科目	東條　智恵	381
中国語総合2	外国語科目	東條　智恵	385
中国語総合2	外国語科目	平坂　仁志	389
中国語総合2	外国語科目	平坂　仁志	393
中国語総合2	外国語科目	村田　浩	397
中国語総合2	外国語科目	村田　浩	401
中国語総合3	外国語科目	山口　博子	405
中国語総合3	外国語科目	山口　博子	409
中国語総合4	外国語科目	山口　博子	413
中国語総合4	外国語科目	山口　博子	416
発展理系英語１	外国語科目	玉井　潤野	419
発展理系英語２	外国語科目	玉井　潤野	422
理系英語１	外国語科目	大西　里奈	425
理系英語１	外国語科目	長田　希好	428
理系英語１	外国語科目	勝井　典子	431
理系英語１	外国語科目	澤邉　興平	434
理系英語１	外国語科目	根来　玲子	438
理系英語１〈再履修〉	外国語科目	竹中　義胤	441
理系英語１〈再履修〉	外国語科目	竹中　義胤	445
理系英語２	外国語科目	大西　里奈	449
理系英語２	外国語科目	長田　希好	452
理系英語２	外国語科目	勝井　典子	455
理系英語２	外国語科目	澤邉　興平	458
理系英語２	外国語科目	根来　玲子	462
理系英語２〈再履修〉	外国語科目	竹中　義胤	466
理系英語２〈再履修〉	外国語科目	竹中　義胤	470
理系英語３（エッセンシャル）	外国語科目	武知　薫子	474
理系英語３（コンプリヘンション）	外国語科目	玉井　潤野	478
理系英語３（コンプリヘンション）	外国語科目	根来　玲子	481
理系英語３（コンプリヘンション）	外国語科目	美濃部　貴子	485

目 次

科目名	科目区分	教員氏名	頁
理系英語３（プレゼンテーション）	外国語科目	寺脇　圭子	489
理系英語３（プレゼンテーション）	外国語科目	中萩　三尾 エルザ	493
理系英語４（エッセンシャル）	外国語科目	武知　薫子	497
理系英語４（コンプリヘンション）	外国語科目	玉井　潤野	501
理系英語４（コンプリヘンション）	外国語科目	根来　玲子	504
理系英語４（コンプリヘンション）	外国語科目	美濃部　貴子	508
理系英語４（プレゼンテーション）	外国語科目	寺脇　圭子	512
理系英語４（プレゼンテーション）	外国語科目	中萩　三尾 エルザ	516
Ｗｅｂデザイン	基礎科目	吉田　久	520
Ｗｅｂデザイン	基礎科目	吉田　久	523
バイオテクノロジー技術論	基礎科目	瀧川　義浩	526
バイオテクノロジー技術論	基礎科目	瀧川　義浩	530
医療・科学・暮らし	基礎科目	浅居　正充・宮下　尚之・永岡　隆・三上　勝大・ 奥田　正彦・島崎　敢	534
医療・科学・暮らし	基礎科目	浅居　正充・宮下　尚之・永岡　隆・三上　勝大・ 豊田　航・奥田　正彦	538
化学実験	基礎科目	櫻井　一正	542
化学実験	基礎科目	髙木　良介	545
化学実験	基礎科目	藤澤　雅夫	547
化学実験	基礎科目	藤澤　雅夫	550
科学倫理	基礎科目	久保田　均	553
科学倫理	基礎科目	久保田　均	556
基礎食品化学	基礎科目	尼子　克己	559
幾何学ＩＡ	基礎科目	堤　裕之	563
幾何学ＩＢ	基礎科目	堤　裕之	567
幾何学ⅡＡ	基礎科目	堤　裕之	571
幾何学ⅡＢ	基礎科目	堤　裕之	575
情報処理基礎Ⅰ	基礎科目	児玉　高志	579
情報処理基礎Ⅱ	基礎科目	児玉　高志	582
情報倫理	基礎科目	岡　宏	586
情報倫理	基礎科目	岡　宏	589
生物と地球環境	基礎科目	阿野　貴司・三谷　匡・岸田　邦博・東　慶直・ 中西　章・秋田　求・宮本　裕史・松本　和也	592
生物と地球環境	基礎科目	星　岳彦・三谷　匡・芦田　久・坂本　勝・ 栗原　新・中西　章・宮本　裕史・松本　和也	596
代数学概論Ⅰ	基礎科目	山崎　宏	599
代数学概論Ⅱ	基礎科目	山崎　宏	602
知的財産権	基礎科目	尾﨑　嘉彦	605
地学概論Ⅰ	基礎科目	佐藤　昇	608
地学概論Ⅱ	基礎科目	佐藤　昇	612

目 次

科目名	科目区分	教員氏名	頁
地学実験	基礎科目	佐藤　昇	616
地学実験	基礎科目	佐藤　昇	620
物理学実験	基礎科目	青木　伸也・中川　秀夫・村田　一夫・ 山口　勝己・久保田　均	624
物理学実験	基礎科目	豊田　航・中川　秀夫・村田　一夫・水谷　勝己・ 久保田　均	627
インターンシップ	共通教養科目	新田　和宏	630
インターンシップ	共通教養科目	新田　和宏	636
キャリアインターンシップ	共通教養科目	岸田　邦博	642
キャリアデザイン	共通教養科目	中村　弘成	644
キャリアデザイン	共通教養科目	中村　弘成	648
キャリアのための情報リテラシー	共通教養科目	一野　天利・河本　敬子・堀端　章	652
スクールインターンシップ	共通教養科目	小田　義隆・松本　圭朗	654
データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	山本　衛	657
科学技術と人間・社会	共通教養科目	久保田　均	662
科学技術と人間・社会	共通教養科目	久保田　均	665
科学的問題解決法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	芳原　新也	668
基礎ゼミ	共通教養科目	芦田　久	672
基礎ゼミ	共通教養科目	東　慶直	674
基礎ゼミ	共通教養科目	石丸　恵	676
基礎ゼミ	共通教養科目	泉　秀実	678
基礎ゼミ	共通教養科目	江口　陽子	680
基礎ゼミ	共通教養科目	尾﨑　嘉彦	682
基礎ゼミ	共通教養科目	小田　義隆	684
基礎ゼミ	共通教養科目	岸田　邦博	686
基礎ゼミ	共通教養科目	栗原　新	688
基礎ゼミ	共通教養科目	白木　琢磨	690
基礎ゼミ	共通教養科目	武部　聡	692
基礎ゼミ	共通教養科目	服部　圭子	694
基礎ゼミ	共通教養科目	松橋　珠子	696
教養特殊講義A	共通教養科目	新田　和宏	698
教養特殊講義B	共通教養科目	阿野　貴司・白木　琢磨・尾﨑　嘉彦	703
教養特殊講義C	共通教養科目	安齋　政幸・三谷　匡・松本　朱実	705
芸術鑑賞入門	共通教養科目	山名　敏之	709
芸術鑑賞入門	共通教養科目	山名　敏之	713
健康とスポーツの科学	共通教養科目	川村　亮太	717
健康とスポーツの科学	共通教養科目	橋本　剛幸	720
健康とスポーツの科学	共通教養科目	山中　恕	723
現代経済の課題	共通教養科目	今田　秀作	726
現代経済の課題	共通教養科目	今田　秀作	729
現代社会と法	共通教養科目	野上　晶平	732
現代社会と倫理	共通教養科目	平木　光二	735
現代社会と倫理	共通教養科目	平木　光二	738

目 次

科目名	科目区分	教員氏名	頁
言語文化学入門	共通教養科目	服部　圭子・松村　博史・長谷川　由美・ トクマコフ　アレクサンデル・ ジン　タナンゴナン	741
国際化と異文化コミュニケーション	共通教養科目	新田　幸夫	745
国際化と異文化コミュニケーション	共通教養科目	新田　幸夫	749
国際化と異文化コミュニケーション	共通教養科目	服部　圭子	753
国際経済入門	共通教養科目	今田　秀作	756
国際経済入門	共通教養科目	今田　秀作	760
国際社会と日本	共通教養科目	新田　幸夫	764
国際社会と日本	共通教養科目	新田　幸夫	768
思考の技術	共通教養科目	平木　光二	772
思考の技術	共通教養科目	平木　光二	775
持続可能な社会論	共通教養科目	新田　和宏	778
持続可能な社会論	共通教養科目	新田　和宏	784
自己発見の心理学	共通教養科目	大日方　薫	790
自己発見の心理学	共通教養科目	大日方　薫	793
社会奉仕実習	共通教養科目	新田　和宏	796
食生活と健康	共通教養科目	竹森　久美子	800
心と体の健康【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	山中　恕	805
心理と行動【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	佐藤　望	809
心理と行動【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	塩﨑　麻里子	812
新しい政治学	共通教養科目	新田　和宏	815
新しい政治学	共通教養科目	新田　和宏	821
人権と社会１	共通教養科目	岡　宏	827
人権と社会１	共通教養科目	岡　宏	830
人権と社会２	共通教養科目	岡　宏	833
人権と社会２	共通教養科目	岡　宏	837
世界近現代史【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	和田　英男	841
生涯スポーツ１	共通教養科目	川村　亮太	845
生涯スポーツ１	共通教養科目	川村　亮太	848
生涯スポーツ１	共通教養科目	川村　亮太	851
生涯スポーツ１	共通教養科目	橋本　剛幸	854
生涯スポーツ１	共通教養科目	橋本　剛幸	857
生涯スポーツ１	共通教養科目	山中　恕	860
生涯スポーツ１	共通教養科目	山中　恕	863
生涯スポーツ２	共通教養科目	川村　亮太	866
生涯スポーツ２	共通教養科目	川村　亮太	869
生涯スポーツ２	共通教養科目	川村　亮太	872
生涯スポーツ２	共通教養科目	川村　亮太	875
生涯スポーツ２	共通教養科目	橋本　剛幸	878

目 次

科目名	科目区分	教員氏名	頁
生涯スポーツ２	共通教養科目	山中　恕	881
日本近現代史	共通教養科目	長沢　一恵	884
日本近現代史	共通教養科目	長沢　一恵	888
日本語の技法	共通教養科目	山本　衛	892
日本語の技法	共通教養科目	山本　衛	895
日本語の技法	共通教養科目	山本　衛	898
暮らしのなかの起業入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	文能　照之	901
暮らしのなかの憲法	共通教養科目	新田　和宏	905
暮らしのなかの憲法	共通教養科目	新田　和宏	911
里山の環境学	共通教養科目	新田　和宏	917
里山の環境学	共通教養科目	新田　和宏	922
教育課程論	教職科目	松本　圭朗	927
教育課程論	教職科目	松本　圭朗	931
教育原理	教職科目	小田　義隆	935
教育原理	教職科目	小田　義隆	938
教育原理	教職科目	小田　義隆	941
教育行政学	教職科目	小田　義隆	944
教育行政学	教職科目	小田　義隆	947
教育実習Ⅰ	教職科目	小田　義隆・松本　圭朗	950
教育実習Ⅱ	教職科目	小田　義隆・松本　圭朗	953
教育実習特講	教職科目	小田　義隆・松本　圭朗	956
教育実習特講	教職科目	小田　義隆・松本　圭朗	959
教育心理学	教職科目	村上　凡子	962
教育心理学	教職科目	村上　凡子	966
教育相談	教職科目	村上　凡子	970
教育相談	教職科目	村上　凡子	974
教育方法と総合的な学習の時間の指導法	教職科目	谷口　知美・西尾　鮎子	978
教育方法と総合的な学習の時間の指導法	教職科目	森本　芳生	982
教育方法と総合的な学習の時間の指導法	教職科目	森本　芳生	985
教職実践演習（中・高）	教職科目	小田　義隆・松本　圭朗	988
教職論	教職科目	小田　義隆	993
教職論	教職科目	小田　義隆	996
情報通信技術の活用	教職科目	向田　識弘	999
生徒指導論（進路指導を含む。）	教職科目	松本　圭朗	1002
生徒指導論（進路指導を含む。）	教職科目	松本　圭朗	1006
道徳教育論	教職科目	松本　圭朗	1010
道徳教育論	教職科目	松本　圭朗	1014
特別活動論	教職科目	森本　芳生	1018
特別活動論	教職科目	森本　芳生	1021
特別支援教育論	教職科目	金丸　彰寿	1024
理科教育法Ⅰ	教職科目	金子　健治	1027

目 次

科目名	科目区分	教員氏名	頁
理科教育法Ⅱ	教職科目	金子　健治	1030
理科教育法特講Ⅰ	教職科目	金子　健治	1033
理科教育法特講Ⅱ	教職科目	金子　健治	1036
AI・データサイエンス基礎実習	専門科目	宮下　尚之	1039
ＨＡＣＣＰシステム論	専門科目	江口　陽子・春田　正行	1043
ＨＡＣＣＰシステム論	専門科目	江口　陽子・春田　正行	1046
くらしと食農・環境	専門科目	山野　薫	1049
バイオインフォマティクス	専門科目	大和　勝幸	1052
遺伝資源学	専門科目	石丸　恵	1056
疫学論	専門科目	栗原　新	1060
応用微生物工学	専門科目	尾﨑　嘉彦	1063
化学Ⅰ	専門科目	櫻井　一正	1066
化学Ⅰ	専門科目	藤澤　雅夫	1069
化学Ⅰ	専門科目	藤澤　雅夫	1072
化学Ⅰ	専門科目	藤澤　雅夫	1075
化学Ⅱ	専門科目	櫻井　一正	1078
化学Ⅱ	専門科目	藤澤　雅夫	1081
化学Ⅱ	専門科目	藤澤　雅夫	1084
科学情報の検索法	専門科目	栗原　新	1087
基礎数学	専門科目	山崎　宏	1090
機能性食品開発	専門科目	尾﨑　嘉彦	1093
公衆衛生学	専門科目	栗原　新	1097
酵素化学	専門科目	櫻井　一正	1100
細胞生物学Ⅰ	専門科目	東　慶直	1103
細胞生物学Ⅱ	専門科目	武部　聡	1106
細胞培養工学	専門科目	白木　琢磨	1109
自主演習	専門科目	東　慶直・石丸　恵・岸田　邦博・白木　琢磨・ 芦田　久・尾﨑　嘉彦・江口　陽子・松橋　珠子・ 栗原　新・泉　秀実・武部　聡	1112
実験動物学	専門科目	安齋　政幸	1114
植物育種学	専門科目	堀端　章	1117
植物生産環境工学	専門科目	星　岳彦	1120
植物生産工学Ⅰ	専門科目	星　岳彦	1123
食生産環境工学	専門科目	髙辻　渉	1126
食品システム論	専門科目	山野　薫	1131
食品安全学	専門科目	泉　秀実	1134
食品安全工学概論	専門科目	芦田　久・石丸　恵・岸田　邦博・東　慶直・ 白木　琢磨・尾﨑　嘉彦・江口　陽子・ 松橋　珠子・栗原　新・泉　秀実・武部　聡	1137
食品衛生管理学	専門科目	江口　陽子	1140
食品化学実験	専門科目	武部　聡・岸田　邦博・東　慶直・尾﨑　嘉彦・ 尼子　克己	1143
食品加工学	専門科目	石丸　恵	1146
食品企業経営論	専門科目	山野　薫	1150
食品機能学	専門科目	岸田　邦博	1153

目 次

科目名	科目区分	教員氏名	頁
食品機能統計学	専門科目	芦田　久	1156
食品工業技術論	専門科目	木戸　啓仁	1159
食品材料学	専門科目	岸田　邦博	1162
食品生物学実験	専門科目	芦田　久・石丸　恵・白木　琢磨・江口　陽子・ 栗原　新	1165
食品微生物学	専門科目	芦田　久	1168
食品分析化学	専門科目	堀西　朝子	1171
食品保全学	専門科目	泉　秀実	1175
数学	専門科目	堤　裕之	1178
世界の食生産事情	専門科目	泉　秀実	1181
生化学Ⅰ	専門科目	武部　聡	1184
生化学Ⅱ	専門科目	武部　聡	1188
生体物質基礎	専門科目	堀西　朝子	1191
生物学Ⅰ	専門科目	平井　秀一	1195
生物学Ⅰ	専門科目	平井　秀一	1199
生物学Ⅰ	専門科目	山手　丈至	1203
生物学Ⅰ	専門科目	山手　丈至	1207
生物学Ⅱ	専門科目	トクマコフ　アレクサンデル	1211
生物学Ⅱ	専門科目	平井　秀一	1214
生物学Ⅱ	専門科目	平井　秀一	1218
生物学Ⅱ	専門科目	山手　丈至	1222
生物学Ⅱ	専門科目	山手　丈至	1226
生物情報学	専門科目	大和　勝幸	1230
生命科学概論	専門科目	加藤　博己	1234
生命科学概論	専門科目	トクマコフ　アレクサンデル	1237
専攻科目演習Ⅰ	専門科目	芦田　久	1240
専攻科目演習Ⅰ	専門科目	東　慶直	1242
専攻科目演習Ⅰ	専門科目	泉　秀実・石丸　恵	1244
専攻科目演習Ⅰ	専門科目	江口　陽子	1246
専攻科目演習Ⅰ	専門科目	尾﨑　嘉彦	1248
専攻科目演習Ⅰ	専門科目	岸田　邦博	1250
専攻科目演習Ⅰ	専門科目	栗原　新	1252
専攻科目演習Ⅰ	専門科目	白木　琢磨・松橋　珠子	1254
専攻科目演習Ⅰ	専門科目	武部　聡	1256
専攻科目演習Ⅱ	専門科目	芦田　久	1258
専攻科目演習Ⅱ	専門科目	東　慶直	1260
専攻科目演習Ⅱ	専門科目	泉　秀実・石丸　恵	1262
専攻科目演習Ⅱ	専門科目	江口　陽子	1264
専攻科目演習Ⅱ	専門科目	尾﨑　嘉彦	1266
専攻科目演習Ⅱ	専門科目	岸田　邦博	1268
専攻科目演習Ⅱ	専門科目	栗原　新	1270
専攻科目演習Ⅱ	専門科目	白木　琢磨・松橋　珠子	1272
専攻科目演習Ⅱ	専門科目	武部　聡	1274
専攻科目演習Ⅲ	専門科目	芦田　久	1276

目 次

科目名	科目区分	教員氏名	頁
専攻科目演習Ⅲ	専門科目	東　慶直	1278
専攻科目演習Ⅲ	専門科目	泉　秀実・石丸　恵	1280
専攻科目演習Ⅲ	専門科目	江口　陽子	1282
専攻科目演習Ⅲ	専門科目	尾﨑　嘉彦	1284
専攻科目演習Ⅲ	専門科目	岸田　邦博	1286
専攻科目演習Ⅲ	専門科目	栗原　新	1288
専攻科目演習Ⅲ	専門科目	白木　琢磨・松橋　珠子	1290
専攻科目演習Ⅲ	専門科目	武部　聡	1292
専攻科目演習Ⅳ	専門科目	芦田　久	1294
専攻科目演習Ⅳ	専門科目	東　慶直	1296
専攻科目演習Ⅳ	専門科目	泉　秀実・石丸　恵	1298
専攻科目演習Ⅳ	専門科目	江口　陽子	1300
専攻科目演習Ⅳ	専門科目	尾﨑　嘉彦	1302
専攻科目演習Ⅳ	専門科目	岸田　邦博	1304
専攻科目演習Ⅳ	専門科目	栗原　新	1306
専攻科目演習Ⅳ	専門科目	白木　琢磨・松橋　珠子	1308
専攻科目演習Ⅳ	専門科目	武部　聡	1310
専門ゼミ	専門科目	東　慶直・石丸　恵・岸田　邦博・白木　琢磨・ 芦田　久・尾﨑　嘉彦・江口　陽子・松橋　珠子・ 栗原　新・泉　秀実・武部　聡	1312
線形代数学	専門科目	堤　裕之	1314
卒業研究	専門科目	芦田　久	1317
卒業研究	専門科目	東　慶直	1319
卒業研究	専門科目	石丸　恵	1321
卒業研究	専門科目	泉　秀実	1323
卒業研究	専門科目	江口　陽子	1325
卒業研究	専門科目	尾﨑　嘉彦	1327
卒業研究	専門科目	岸田　邦博	1329
卒業研究	専門科目	栗原　新	1331
卒業研究	専門科目	白木　琢磨	1333
卒業研究	専門科目	武部　聡	1335
卒業研究	専門科目	松橋　珠子	1337
調理科学	専門科目	堀西　朝子	1339
動物栄養学	専門科目	白木　琢磨	1342
動物生産学	専門科目	松橋　珠子	1345
微分積分学	専門科目	堤　裕之	1348
物理学Ⅰ	専門科目	濵端　広充	1351
物理学Ⅱ	専門科目	濵端　広充	1355
分子生物学Ⅰ	専門科目	東　慶直	1358
分子生物学Ⅱ	専門科目	東　慶直	1362
免疫・アレルギー学	専門科目	芦田　久	1365

シラバスNo.： 2311A01003

科目名　：	**ＴＯＥＩＣ・Ａ１（基礎）**						
英文名　：	TOEIC A1						
担当者　：	竹中　義胤						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】金曜4限						

■授業概要

TOEICでスコアが伸び悩んでいる学生が400点以上を取得することを目標とする。TOEICの出題内容や形式に親しみ、実用的な英語力を身に付ける。スコアが伸びにくい場合、聴解力については音のつながりのルールがよくわからないため、文の分析が出来ず、聞き取れた一部の単語に依存している場合があります。また、読解に関しては英文の構成やキーワードの役割などが完全に理解できていない可能性があります。本コースでは練習問題を解くことでこうした問題を克服し、TOEICの問題を解くのに必要不可欠な英語力を養成していきます。受講期間中にランゲージスペースを有効活用することを心がけてください。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

TOEIC500点を取得することを目標とする。スコアアップに向けて基礎力を伸ばすための学習を確実に推し進め、成果に結びつけることのできる学習者の育成を目指す。学内のIPテストを受験し、成果および課題を分析し、次のステップを探る。この科目の習得は、近畿大学の教養教育の目的２および５の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 30%
課題 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

メールで対応します。

■教科書

[ISBN]9784523185246 『エースTOEIC400: Simply400:Acing the TOEIC (Semester series)』 (Alison Kitzman, 南雲堂)

■参考文献

特に指定しません。

■関連科目

TOEIC A2

■授業評価アンケート実施方法

大学授業規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階254）・takenaka@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

該当科目開講時の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

対面授業を前提として、15 回(定期試験を含まない)

第1回 オリエンテーション（TOEICの問題の解き方のコツと学習方法）
（授業形式：講義または講義＋演習）
予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
1）授業の進め方
2）効果的な語彙の増やし方
3）教科書についての説明
4）問題の解き方のコツ
5）質疑応答

第2回 Unit 1 Eating Out and Shopping <Listening>（授業形式：講義または講義＋演習）
予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題に指定した単元の問題の答え合わせと解説
Part 1 人物の様子／Part 2 依頼・提案の応答
Part 3 レストランで注文 〈3 人の会話〉／Part 4 パーティーの準備
外食に関する表現
発音：強弱アクセント
各パートの解き方のコツ

第3回 Unit 2 Daily Life <Reading>（授業形式：講義または講義＋演習）
予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題に指定した単元の問題の答え合わせと解説
Part 5 動詞（現在、過去、未来、完了）
Part 6 作家のプロフィール／Part 7 夕食の用意 〈チャット形式〉
発音：音の連結ルール（つながる音）
各パートの解き方のコツ

第4回 Unit 3 Activities <Listening>（授業形式：講義または講義＋演習）
予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題に指定した単元の問題の答え合わせと解説
Part 1 人物の様子／Part 2 Yes/No 疑問文の応答
Part 3 パリ旅行の思い出 〈話し手の意図〉／Part 4 ボランティア活動 〈図表〉
発音：音の連結ルール（消える音）
各パートの解き方のコツ

第5回 Unit 4 Climate Change and Global Warming <Reading>（授業形式：講義または講義＋演習）
予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題に指定した単元の問題の答え合わせと解説
Part 5 進行形、助動詞、受動態、使役動詞
Part 6 地球温暖化／Part 7 サマーキャンプの案内スで使われる表現
発音：音の連結ルール（変化する音）
各パートの解き方のコツ

第6回 Unit 5 Housing <Listening>（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題に指定した単元の問題の答え合わせと解説
Part 1 人物と物の様子／Part 2 付加疑問文の応答
Part 3 引越しの手伝い 〈図表〉／Part 4 ビーチサイドのアパート 〈話し手の意図〉
発音：音の連結ルール（つながる音、消える音、変化する音）
各パートの解き方のコツ

第7回 Unit 6 Health <Reading>（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題に指定した単元の問題の答え合わせと解説
Part 5 冠詞、不可算名詞、代名詞、付加疑問文、There 構文
Part 6 パソコン使用と健康／Part 7 アパートの申込み 〈一文の挿入〉可算名詞、代名詞、付加疑問文、
There 構文
発音：音の連結ルール（つながる音、消える音、変化する音）
各パートの解き方のコツ

第8回 Unit 7 Review Test A（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題に指定した単元の問題の答え合わせと解説
Part 2 Business
文法：数量形容詞
発音：音の連結ルール（つながる音、消える音、変化する音）
各パートの解き方のコツ

第9回 Unit 8 Employment and Personnel <Listening>（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題に指定した単元の問題の答え合わせと解説
Part 1 人物の様子／Part 2 平叙文の応答
Part 3 就職面接 〈図表〉／Part 4 求人募集 〈話し手の意図〉
発音：音の連結ルール（つながる音、消える音、変化する音）
各パートの解き方のコツ

第10回 Unit 9 Office Work <Reading>（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題に指定した単元の問題の答え合わせと解説
Part 5 形容詞、副詞、比較
Part 6 会議の延期／Part 7 サロンのパートに応募
発音：音の連結ルール（つながる音、消える音、変化する音）
各パートの解き方のコツ

第11回 Unit 10 Business Trips <Listening>（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題に指定した単元の問題の答え合わせと解説

Unit 10 Business Trips <Listening>
Part 1 人物と物の様子／Part 2 WH 疑問文の応答
Part 3 出張の準備 〈話し手の意図〉／Part 4 パッケージツアー 〈図表〉
発音：音の連結ルール（つながる音、消える音、変化する音）
各パートの解き方のコツ

第12回 Unit 11 Products and Services <Reading> （授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題に指定した単元の問題の答え合わせと解説
Part 5 不定詞・動名詞、接続詞・前置詞
Part 6 チケット購入／Part 7 製品企画ミーティング 〈１文の挿入〉
発音：音の連結ルール（つながる音、消える音、変化する音）
各パートの解き方のコツ

第13回 Unit 12 Marketing and Ordering <Listening> （授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題に指定した単元の問題の答え合わせと解説
Part 1 人物と物の様子／Part 2 否定疑問文の応答
Part 3 新製品発売に向けて 〈図表〉／Part 4 注文品の確認 〈話し手の意図〉
発音：音の連結ルール（つながる音、消える音、変化する音）
各パートの解き方のコツ

第14回 Unit 13 Sales and Complaints <Reading>（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題に指定した単元の問題の答え合わせと解説
Unit 13 Sales and Complaints <Reading>
Part 5 関係詞、仮定法、命令文
Part 6 頭痛薬の宣伝／Part 7 商品のクレーム
発音：音の連結ルール（つながる音、消える音、変化する音）
各パートの解き方のコツ

第15回 Unit 14 Office Messages and Meetings <Listening>（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：定期試験に備えて学習した内容を整理しておく。
予習時間：120分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題に指定した単元の問題の答え合わせと解説
Part 1 人物の様子／Part 2 選択疑問文の応答
Part 3 電話で予約 〈図表〉／Part 4 議題に社員ピクニック
発音：音の連結ルール（つながる音、消える音、変化する音）
各パートの解き方のコツ

定期試験

授業中に指示します。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**ＴＯＥＩＣ・Ａ１（基礎）**						
英文名　：	TOEIC A1						
担当者　：	竹中　義胤						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】金曜5限						

■授業概要

TOEICでスコアが伸び悩んでいる学生が400点以上を取得することを目標とする。TOEICの出題内容や形式に親しみ、実用的な英語力を身に付ける。スコアが伸びにくい場合、聴解力については音のつながりのルールがよくわからないため、文の分析が出来ず、聞き取れた一部の単語に依存している場合があります。また、読解に関しては英文の構成やキーワードの役割などが完全に理解できていない可能性があります。本コースでは練習問題を解くことでこうした問題を克服し、TOEICの問題を解くのに必要不可欠な英語力を養成していきます。受講期間中にランゲージスペースを有効活用することを心がけてください。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

TOEIC500点を取得することを目標とする。スコアアップに向けて基礎力を伸ばすための学習を確実に推し進め、成果に結びつけることのできる学習者の育成を目指す。学内のIPテストを受験し、成果および課題を分析し、次のステップを探る。この科目の習得は、近畿大学の教養教育の目的２および５の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 30%
課題 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

メールで対応します。

■教科書

[ISBN]9784523185246 『エースTOEIC400: Simply400:Acing the TOEIC (Semester series)』 (Alison Kitzman, 南雲堂)

■参考文献

特に指定しません。

■関連科目

TOEIC A2

■授業評価アンケート実施方法

大学授業規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階254）・takenaka@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

該当科目開講時の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

対面授業を前提として、15 回(定期試験を含まない)

第1回 オリエンテーション（TOEICの問題の解き方のコツと学習方法）
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
1）授業の進め方
2）効果的な語彙の増やし方
3）教科書についての説明
4）問題の解き方のコツ
5）質疑応答

第2回 Unit 1 Eating Out and Shopping <Listening>（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題に指定した単元の問題の答え合わせと解説
Part 1 人物の様子／Part 2 依頼・提案の応答
Part 3 レストランで注文 〈3 人の会話〉／Part 4 パーティーの準備
外食に関する表現
発音：強弱アクセント
各パートの解き方のコツ

第3回 Unit 2 Daily Life <Reading>（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題に指定した単元の問題の答え合わせと解説
Part 5 動詞（現在、過去、未来、完了）
Part 6 作家のプロフィール／Part 7 夕食の用意 〈チャット形式〉
発音：音の連結ルール（つながる音）
各パートの解き方のコツ

第4回 Unit 3 Activities <Listening>（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題に指定した単元の問題の答え合わせと解説
Part 1 人物の様子／Part 2 Yes/No 疑問文の応答
Part 3 パリ旅行の思い出 〈話し手の意図〉／Part 4 ボランティア活動 〈図表〉
発音：音の連結ルール（消える音）
各パートの解き方のコツ

第5回 Unit 4 Climate Change and Global Warming <Reading>（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題に指定した単元の問題の答え合わせと解説
Part 5 進行形、助動詞、受動態、使役動詞
Part 6 地球温暖化／Part 7 サマーキャンプの案内スで使われる表現
発音：音の連結ルール（変化する音）
各パートの解き方のコツ

第6回 Unit 5 Housing <Listening>（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題に指定した単元の問題の答え合わせと解説
Part 1 人物と物の様子／Part 2 付加疑問文の応答
Part 3 引越しの手伝い 〈図表〉／Part 4 ビーチサイドのアパート 〈話し手の意図〉
発音：音の連結ルール（つながる音、消える音、変化する音）
各パートの解き方のコツ

第7回 Unit 6 Health <Reading>（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題に指定した単元の問題の答え合わせと解説
Part 5 冠詞、不可算名詞、代名詞、付加疑問文、There 構文
Part 6 パソコン使用と健康／Part 7 アパートの申込み 〈一文の挿入〉可算名詞、代名詞、付加疑問文、
There 構文
発音：音の連結ルール（つながる音、消える音、変化する音）
各パートの解き方のコツ

第8回 Unit 7 Review Test A（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題に指定した単元の問題の答え合わせと解説
Part 2 Business
文法：数量形容詞
発音：音の連結ルール（つながる音、消える音、変化する音）
各パートの解き方のコツ

第9回 Unit 8 Employment and Personnel <Listening>（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題に指定した単元の問題の答え合わせと解説
Part 1 人物の様子／Part 2 平叙文の応答
Part 3 就職面接 〈図表〉／Part 4 求人募集 〈話し手の意図〉
発音：音の連結ルール（つながる音、消える音、変化する音）
各パートの解き方のコツ

第10回 Unit 9 Office Work <Reading>（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題に指定した単元の問題の答え合わせと解説
Part 5 形容詞、副詞、比較
Part 6 会議の延期／Part 7 サロンのパートに応募
発音：音の連結ルール（つながる音、消える音、変化する音）
各パートの解き方のコツ

第11回 Unit 10 Business Trips <Listening>（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題に指定した単元の問題の答え合わせと解説

Unit 10 Business Trips <Listening>
Part 1 人物と物の様子／Part 2 WH 疑問文の応答
Part 3 出張の準備 〈話し手の意図〉／Part 4 パッケージツアー 〈図表〉
発音：音の連結ルール（つながる音、消える音、変化する音）
各パートの解き方のコツ

第12回 Unit 11 Products and Services <Reading>（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題に指定した単元の問題の答え合わせと解説
Part 5 不定詞・動名詞、接続詞・前置詞
Part 6 チケット購入／Part 7 製品企画ミーティング 〈１文の挿入〉
発音：音の連結ルール（つながる音、消える音、変化する音）
各パートの解き方のコツ

第13回 Unit 12 Marketing and Ordering <Listening> （授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題に指定した単元の問題の答え合わせと解説
Part 1 人物と物の様子／Part 2 否定疑問文の応答
Part 3 新製品発売に向けて 〈図表〉／Part 4 注文品の確認 〈話し手の意図〉
発音：音の連結ルール（つながる音、消える音、変化する音）
各パートの解き方のコツ

第14回 Unit 13 Sales and Complaints <Reading>（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題に指定した単元の問題の答え合わせと解説
Unit 13 Sales and Complaints <Reading>
Part 5 関係詞、仮定法、命令文
Part 6 頭痛薬の宣伝／Part 7 商品のクレーム
発音：音の連結ルール（つながる音、消える音、変化する音）
各パートの解き方のコツ

第15回 Unit 14 Office Messages and Meetings <Listening>（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：定期試験に備えて学習した内容を整理しておく。
予習時間：120分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題に指定した単元の問題の答え合わせと解説
Part 1 人物の様子／Part 2 選択疑問文の応答
Part 3 電話で予約 〈図表〉／Part 4 議題に社員ピクニック
発音：音の連結ルール（つながる音、消える音、変化する音）
各パートの解き方のコツ

定期試験

授業中に指示します。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**ＴＯＥＩＣ・Ａ１（発展）**						
英文名　：	TOEIC A1						
担当者　：	根来　玲子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】金曜3限						

■授業概要

この授業ではTOEIC のスコアアップを目指して、実際のTOEIC と同じ形式の演習問題を繰り返し行います。基本的な英語の語彙とTOEIC によく出題される語彙を習得することに重点を置く共に、リスニング能力、文法や英文の読解の能力向上のための訓練を行います。受講期間中にランゲージスペースの有効活用をするように心がけてください。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

TOEIC 600点以上を取得することを目標とする。TOEICの出題内容や形式に慣れ親しみ、実用的な英語力を身につける。この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的２および５の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 30%
課題 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

小テストや課題の解答・要点の解説は授業内やGoogle Classroom　で行います。

■教科書

[ISBN]9784764741553 『BASIC UNDERSTANDING OF THE TOEIC L&R TEST: TOEIC L&Rテスト基礎徹底トレーニング』(小倉 雅明, 金星堂：2022)

■参考文献

必要に応じて授業内で指定します。

■関連科目

TOEIC A2（発展）

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・rnegoro@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

授業時間前後の休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　オリエンテーション　（授業形式：講義）

予習内容：シラバスの通読と教科書の概要を知る。英語での自己紹介を考えておく。
予習時間：60分
復習内容：1年間の学習計画を立てる。
復習時間：30分
授業の概要を説明。
英語での自己紹介。
Unit1 で授業の進め方を確認する。

第2回 Unit 1　Daily Life　品詞　（授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit1の単語・熟語を確認、Grammar Focusを読み、Reading を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：Listening を再度聞く。間違えたところを再確認する。
復習時間：30分
Unit1を実際に解き、要点を確認する。

第3回 Unit 2 Office 代名詞　（授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit2の単語・熟語を確認、Grammar Focusを読み、Reading を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：Listening を再度聞く。間違えたところを再確認する。
復習時間：30分
Unit2 を実際に解き、要点を確認する。

第4回 Unit 3 Meeting &Event　前置詞と接続詞１　（授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit3の単語・熟語を確認、Grammar Focusを読み、Reading を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：Listening を再度聞く。間違えたところを再確認する。
復習時間：30分
Unit3 を実際に解き、要点を確認する。

第5回 Unit 4 Shopping 前置詞と接続詞２　（授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit4の単語・熟語を確認、Grammar Focusを読み、Reading を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：Listening を再度聞く。間違えたところを再確認する。
復習時間：30分
Unit4 を実際に解き、要点を確認する。

第6回 Unit 5 Advertisement & Notice 助動詞　（授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit5の単語・熟語を確認、Grammar Focusを読み、Reading を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：Listening を再度聞く。間違えたところを再確認する。
復習時間：30分
Unit5 を実際に解き、要点を確認する。

第7回 Unit 6 Restaurant & Food 進行形と完了形　　（授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit6の単語・熟語を確認、Grammar Focusを読み、Reading を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：Listening を再度聞く。間違えたところを再確認する。
復習時間：30分
Unit6 を実際に解き、要点を確認する。

第8回 Unit 7 Complaint & Inquiry 受動態　（授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit7の単語・熟語を確認、Grammar Focusを読み、Reading を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：Listening を再度聞く。間違えたところを再確認する。
復習時間：30分
Unit7 を実際に解き、要点を確認する。

第9回 Review Teset 1　（授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit1～Unit7までの問題をもう一度解き直してみる。
予習時間：60分
復習内容：間違えたところを再確認する。
復習時間：30分
Review Testを実際に解き、要点を確認する。

第10回 Unit 8 Personnel to 不定詞 （授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit8の単語・熟語を確認、Grammar Focusを読み、Reading を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：Listening を再度聞く。間違えたところを再確認する。
復習時間：30分
Unit8 を実際に解き、要点を確認する。

第11回 Unit 9 Travel 分詞 （授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit9の単語・熟語を確認、Grammar Focusを読み、Reading を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：Listening を再度聞く。間違えたところを再確認する。
復習時間：30分
Unit9 を実際に解き、要点を確認する。

第12回 Unit 10 Business 動名詞 （授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit10の単語・熟語を確認、Grammar Focusを読み、Reading を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：Listening を再度聞く。間違えたところを再確認する。
復習時間：30分
Unit10 を実際に解き、要点を確認する。

第13回 Unit 11 Negotiation 関係詞 （授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit11の単語・熟語を確認、Grammar Focusを読み、Reading を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：Listening を再度聞く。間違えたところを再確認する。
復習時間：30分
Unit11 を実際に解き、要点を確認する。

第14回 Unit 12 Manufacturing & Logistics 比較 （授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit12の単語・熟語を確認、Grammar Focusを読み、Reading を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：Listening を再度聞く。間違えたところを再確認する。
復習時間：30分
Unit12 を実際に解き、要点を確認する。

第15回 Unit 13 Finance 仮定法 + Review Test 2 （授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit13の単語・熟語を確認、Grammar Focusを読み、Reading を解いておく。
Review Test 2 を解いておく。
予習時間：90分
復習内容：Listening を再度聞く。間違えたところを再確認する。
復習時間：60分
Unit13, Reveiw Test 2 を実際に解き、要点を確認する。

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**ＴＯＥＩＣ・Ａ１（発展）**						
英文名　：	TOEIC A1						
担当者　：	根来　玲子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】金曜4限						

■授業概要

この授業ではTOEIC のスコアアップを目指して、実際のTOEIC と同じ形式の演習問題を繰り返し行います。基本的な英語の語彙とTOEIC によく出題される語彙を習得することに重点を置く共に、リスニング能力、文法や英文の読解の能力向上のための訓練を行います。受講期間中にランゲージスペースの有効活用をするように心がけてください。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

TOEIC 600点以上を取得することを目標とする。TOEICの出題内容や形式に慣れ親しみ、実用的な英語力を身につける。この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的２および５の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 30%
課題 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

小テストや課題の解答・要点の解説は授業内やGoogle Classroom　で行います。

■教科書

[ISBN]9784764741553 『BASIC UNDERSTANDING OF THE TOEIC L&R TEST: TOEIC L&Rテスト基礎徹底トレーニング』(小倉 雅明, 金星堂：2022)

■参考文献

必要に応じて授業内で指定します。

■関連科目

TOEIC A2（発展）

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・rnegoro@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

授業時間前後の休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　オリエンテーション　（授業形式：講義）

予習内容：シラバスの通読と教科書の概要を知る。英語での自己紹介を考えておく。
予習時間：60分
復習内容：1年間の学習計画を立てる。
復習時間：30分
授業の概要を説明。
英語での自己紹介。
Unit1 で授業の進め方を確認する。

第2回 Unit 1　Daily Life　品詞　（授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit1の単語・熟語を確認、Grammar Focusを読み、Reading を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：Listening を再度聞く。間違えたところを再確認する。
復習時間：30分
Unit1を実際に解き、要点を確認する。

第3回 Unit 2 Office 代名詞　（授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit2の単語・熟語を確認、Grammar Focusを読み、Reading を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：Listening を再度聞く。間違えたところを再確認する。
復習時間：30分
Unit2 を実際に解き、要点を確認する。

第4回 Unit 3 Meeting &Event　前置詞と接続詞１　（授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit3の単語・熟語を確認、Grammar Focusを読み、Reading を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：Listening を再度聞く。間違えたところを再確認する。
復習時間：30分
Unit3 を実際に解き、要点を確認する。

第5回 Unit 4 Shopping 前置詞と接続詞２　（授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit4の単語・熟語を確認、Grammar Focusを読み、Reading を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：Listening を再度聞く。間違えたところを再確認する。
復習時間：30分
Unit4 を実際に解き、要点を確認する。

第6回 Unit 5 Advertisement & Notice 助動詞　（授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit5の単語・熟語を確認、Grammar Focusを読み、Reading を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：Listening を再度聞く。間違えたところを再確認する。
復習時間：30分
Unit5 を実際に解き、要点を確認する。

第7回 Unit 6 Restaurant & Food 進行形と完了形　　（授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit6の単語・熟語を確認、Grammar Focusを読み、Reading を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：Listening を再度聞く。間違えたところを再確認する。
復習時間：30分
Unit6 を実際に解き、要点を確認する。

第8回 Unit 7 Complaint & Inquiry 受動態　（授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit7の単語・熟語を確認、Grammar Focusを読み、Reading を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：Listening を再度聞く。間違えたところを再確認する。
復習時間：30分
Unit7 を実際に解き、要点を確認する。

第9回 Review Teset 1　（授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit1～Unit7までの問題をもう一度解き直してみる。
予習時間：60分
復習内容：間違えたところを再確認する。
復習時間：30分
Review Testを実際に解き、要点を確認する。

第10回 Unit 8 Personnel to 不定詞 （授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit8の単語・熟語を確認、Grammar Focusを読み、Reading を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：Listening を再度聞く。間違えたところを再確認する。
復習時間：30分
Unit8 を実際に解き、要点を確認する。

第11回 Unit 9 Travel 分詞 （授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit9の単語・熟語を確認、Grammar Focusを読み、Reading を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：Listening を再度聞く。間違えたところを再確認する。
復習時間：30分
Unit9 を実際に解き、要点を確認する。

第12回 Unit 10 Business 動名詞 （授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit10の単語・熟語を確認、Grammar Focusを読み、Reading を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：Listening を再度聞く。間違えたところを再確認する。
復習時間：30分
Unit10 を実際に解き、要点を確認する。

第13回 Unit 11 Negotiation 関係詞 （授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit11の単語・熟語を確認、Grammar Focusを読み、Reading を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：Listening を再度聞く。間違えたところを再確認する。
復習時間：30分
Unit11 を実際に解き、要点を確認する。

第14回 Unit 12 Manufacturing & Logistics 比較 （授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit12の単語・熟語を確認、Grammar Focusを読み、Reading を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：Listening を再度聞く。間違えたところを再確認する。
復習時間：30分
Unit12 を実際に解き、要点を確認する。

第15回 Unit 13 Finance 仮定法 + Review Test 2 （授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit13の単語・熟語を確認、Grammar Focusを読み、Reading を解いておく。
Review Test 2 を解いておく。
予習時間：90分
復習内容：Listening を再度聞く。間違えたところを再確認する。
復習時間：60分
Unit13, Reveiw Test 2 を実際に解き、要点を確認する。

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**ＴＯＥＩＣ・Ａ２（基礎）**						
英文名　：	TOEIC A2						
担当者　：	竹中　義胤						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】金曜4限						

■授業概要

TOEICスコア400点程度を取得している学生が500点以上を取得することを目標とする。TOEICの出題内容や形式に親しみ、実用的な英語力を身に付ける。語彙 力アップ、必要な文法・語法に関する知識の獲得、聴解問題や読解問題を解く時のコツを身につけていきます。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

TOEIC500点を取得することを目標とする。スコアアップに向けて基礎力を伸ばすための学習を確実に推し進め、成果に結びつけることのできる学習者の育成を目指す。学内のIPテストを受験し、成果および課題を分析し、次のステップを探る。この科目の習得は、近畿大学の教養教育の目的２および５の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 30%
課題 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

メールで対応します。

■教科書

[ISBN]9784791972326 『BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST -Basic- / TOEIC L&R TESTへの総合アプローチ ベーシック《リンガポルタ対応版》』 (吉塚 弘, 成美堂：2021)

■参考文献

特に指定しません。

■関連科目

TOEIC A1

■授業評価アンケート実施方法

大学授業規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階254）・takenaka@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

該当科目開講時の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

対面授業を前提として、15 回(定期試験を含まない)

第1回 オリエンテーション（授業の説明と学習上のアドバイス）
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
１）授業の進め方の説明
２）教科書についての説明
３）学習上のアドバイス
４）質疑応答

第2回 Unit 1: Restaurants（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題指定の単元の問題の答え合わせと解説
外食に関する表現
文法：人称代名詞
発音：強弱アクセント
各単元の解き方のコツ

第3回 Unit 2: Entertainment（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題指定の単元の問題の答え合わせと解説
娯楽に関する表現
文法：不定代名詞
発音：音の連結ルール（つながる音）
各単元の解き方のコツ

第4回 Unit 3: Business（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題指定の単元の問題の答え合わせと解説
ビジネスに関する表現
文法：再帰代名詞
発音：音の連結ルール（消える音）
各単元の解き方のコツ

第5回 Unit 4: Office（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題指定の単元の問題の答え合わせと解説
仕事場に関する表現
文法：現在完了形
発音：音の連結ルール（変化する音）
各単元の解き方のコツ

第6回 Unit 5: Telephone（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分

課題指定の単元の問題の答え合わせと解説
電話による会話に関する表現
文法：主語と動詞の一致
発音：音の連結ルール（つながる音、消える音、変化する音）
各単元の解き方のコツ

第7回　Unit 6: Letters & E-mails（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題指定の単元の問題の答え合わせと解説
手紙とメールのやり取りに関する表現
文法：形容詞
発音：音の連結ルール（つながる音、消える音、変化する音）
各単元の解き方のコツ

第8回　Unit 7: Health（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題指定の単元の問題の答え合わせと解説
健康に関する表現
文法：前置詞「時・期間」
発音：音の連結ルール（つながる音、消える音、変化する音）
各単元の解き方のコツ

第9回　Unit 8: The Bank & The Post Office（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題指定の単元の問題の答え合わせと解説
銀行郵便局でのやり取りに関する表現
文法：前置詞「所属・関連」
発音：音の連結ルール（つながる音、消える音、変化する音）
各単元の解き方のコツ

第10回　Unit 9: New Products（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題指定の単元の問題の答え合わせと解説
新製品の開発・販売に関する表現
文法：数量形容詞
発音：音の連結ルール（つながる音、消える音、変化する音）
各単元の解き方のコツ

第11回　Unit 10: Travel（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題指定の単元の問題の答え合わせと解説
旅行に関する表現
文法：自動詞と他動詞
発音：音の連結ルール（つながる音、消える音、変化する音）
各単元の解き方のコツ

第12回　Unit 11: Daily Life（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題指定の単元の問題の答え合わせと解説
日常生活に関する表現
文法：接尾辞と品詞―形容詞
発音：音の連結ルール（つながる音、消える音、変化する音）
各単元の解き方のコツ

第13回　Unit 12: Job Applications（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題指定の単元の問題の答え合わせと解説
求人と応募に関する表現
文法：比較
発音：音の連結ルール（つながる音、消える音、変化する音）
各単元の解き方のコツ

第14回　Unit 13: Shopping（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題指定の単元の問題の答え合わせと解説
買い物に関する表現
文法：受動態
発音：音の連結ルール（つながる音、消える音、変化する音）
各単元の解き方のコツ

第15回　Unit 14: Education（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：定期試験に備えて学習内容を整理する。
予習時間：120分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題指定の単元の問題の答え合わせと解説
教育に関する表現
文法：接続詞[相関接続詞]
発音：音の連結ルール（つながる音、消える音、変化する音）
各単元の解き方のコツ

定期試験

授業中に指示します。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**ＴＯＥＩＣ・Ａ２（基礎）**						
英文名　：	TOEIC A2						
担当者　：	竹中　義胤						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】金曜5限						

■授業概要

TOEICスコア400点程度を取得している学生が500点以上を取得することを目標とする。TOEICの出題内容や形式に親しみ、実用的な英語力を身に付ける。語彙 力アップ、必要な文法・語法に関する知識の獲得、聴解問題や読解問題を解く時のコツを身につけていきます。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

TOEIC500点を取得することを目標とする。スコアアップに向けて基礎力を伸ばすための学習を確実に推し進め、成果に結びつけることのできる学習者の育成を目指す。学内のIPテストを受験し、成果および課題を分析し、次のステップを探る。この科目の習得は、近畿大学の教養教育の目的２および５の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 30%
課題 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

メールで対応します。

■教科書

[ISBN]9784791972326 『BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST -Basic- / TOEIC L&R TESTへの総合アプローチ ベーシック《リンガポルタ対応版》』 (吉塚 弘, 成美堂：2021)

■参考文献

特に指定しません。

■関連科目

TOEIC A1

■授業評価アンケート実施方法

大学授業規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階254）・takenaka@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

該当科目開講時の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

対面授業を前提として、15 回(定期試験を含まない)

第1回 オリエンテーション（授業の説明と学習上のアドバイス）（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
1）授業の進め方の説明
2）教科書についての説明
3）学習上のアドバイス
4）質疑応答

第2回 Unit 1: Restaurants（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題指定の単元の問題の答え合わせと解説
外食に関する表現
文法：人称代名詞
発音：強弱アクセント
各単元の解き方のコツ

第3回 Unit 2: Entertainment（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題指定の単元の問題の答え合わせと解説
娯楽に関する表現
文法：不定代名詞
発音：音の連結ルール（つながる音）
各単元の解き方のコツ

第4回 Unit 3: Business（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題指定の単元の問題の答え合わせと解説
ビジネスに関する表現
文法：再帰代名詞
発音：音の連結ルール（消える音）
各単元の解き方のコツ

第5回 Unit 4: Office（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題指定の単元の問題の答え合わせと解説
仕事場に関する表現
文法：現在完了形
発音：音の連結ルール（変化する音）
各単元の解き方のコツ

第6回 Unit 5: Telephone（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題指定の単元の問題の答え合わせと解説

電話による会話に関する表現
文法：主語と動詞の一致
発音：音の連結ルール（つながる音、消える音、変化する音）
各単元の解き方のコツ

第7回　Unit 6: Letters & E-mails（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題指定の単元の問題の答え合わせと解説
手紙とメールのやり取りに関する表現
文法：形容詞
発音：音の連結ルール（つながる音、消える音、変化する音）
各単元の解き方のコツ

第8回　Unit 7: Health（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題指定の単元の問題の答え合わせと解説
健康に関する表現
文法：前置詞「時・期間」
発音：音の連結ルール（つながる音、消える音、変化する音）
各単元の解き方のコツ

第9回　Unit 8: The Bank & The Post Office（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題指定の単元の問題の答え合わせと解説
銀行郵便局でのやり取りに関する表現
文法：前置詞「所属・関連」
発音：音の連結ルール（つながる音、消える音、変化する音）
各単元の解き方のコツ

第10回　Unit 9: New Products（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題指定の単元の問題の答え合わせと解説
新製品の開発・販売に関する表現
文法：数量形容詞
発音：音の連結ルール（つながる音、消える音、変化する音）
各単元の解き方のコツ

第11回　Unit 10: Travel（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題指定の単元の問題の答え合わせと解説
旅行に関する表現
文法：自動詞と他動詞
発音：音の連結ルール（つながる音、消える音、変化する音）
各単元の解き方のコツ

第12回　Unit 11: Daily Life（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。

予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題指定の単元の問題の答え合わせと解説
日常生活に関する表現
文法：接尾辞と品詞―形容詞
発音：音の連結ルール（つながる音、消える音、変化する音）
各単元の解き方のコツ

第13回　Unit 12: Job Applications（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題指定の単元の問題の答え合わせと解説
求人と応募に関する表現
文法：比較
発音：音の連結ルール（つながる音、消える音、変化する音）
各単元の解き方のコツ

第14回　Unit 13: Shopping（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：次の単元の問題を全て解いておく。
予習時間：30分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題指定の単元の問題の答え合わせと解説
買い物に関する表現
文法：受動態
発音：音の連結ルール（つながる音、消える音、変化する音）
各単元の解き方のコツ

第15回　Unit 14: Education（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：定期試験に備えて学習内容を整理する。
予習時間：120分
復習内容：学習内容の復習
復習時間：30分
課題指定の単元の問題の答え合わせと解説
教育に関する表現
文法：接続詞[相関接続詞]
発音：音の連結ルール（つながる音、消える音、変化する音）
各単元の解き方のコツ

定期試験

授業中に指示します。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**ＴＯＥＩＣ・Ａ２（発展）**						
英文名　：	TOEIC A2						
担当者　：	根来　玲子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】金曜4限						

■授業概要

この授業ではTOEIC のスコアアップを目指して、実際のTOEIC と同じ形式の演習問題を繰り返し行います。基本的な英語の語彙とTOEIC によく出題される語彙を習得することに重点を置く共に、リスニング能力、文法や英文の読解の能力向上のための訓練を行います。受講期間中にランゲージスペースの有効活用をするように心がけてください。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

TOEIC 600点以上を取得することを目標とする。TOEICの出題内容や形式に慣れ親しみ、実用的な英語力を身につける。この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的２および５の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 30%
課題 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

小テストや課題の解答・要点の解説は授業内やGoogle Classroom　で行います。

■教科書

[ISBN]9784255156378 『TOEIC(R) L&Rテスト戦略的トレーニング:レベル600』 (西谷敦子, 朝日出版社：2019)

■参考文献

授業内で必要に応じて指定します。

■関連科目

TOEIC ・A1（発展）

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・rnegoro@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

授業前後の休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション ＋ Unit L-1 人物が写っている写真 Unit R-1 品詞 （授業形式：講義、演習）

予習内容：TOEIC の目標スコアを設定する。音声のストリーミングをしておく。Unit1 R-1の単語・熟語の確認し、問題を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：目標スコアに向けての学習計画を立てる。授業で行ったListening をもう一度聞き、間違えた問題を解き直す。
復習時間：30分
Unit1のListening とReading を解き、要点を確認する。

第2回 Unit 2　L-2 人物が写っていない写真　　Unit 2 R-2　動詞の形(1)　能動態　VS　受動態、分詞　（授業形式：講義、演習）

予習内容：UnitR-2の単語・熟語の確認し問題を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：授業で行ったListening をもう一度聞き、間違えた問題を解き直す。
復習時間：30分
Unit2のListening とReading を解き、要点を確認する。

第3回 Unit L-3 疑問詞疑問文　　Unit R-3 動詞の形(2) 時制・その他　（授業形式：講義、演習）

予習内容：UnitR-3の単語・熟語の確認し問題を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：授業で行ったListening をもう一度聞き、間違えた問題を解き直す。
復習時間：30分
Unit3のListening とReading を解き、要点を確認する。

第4回 Unit L-4 Yes/No 疑問文・その他の疑問文　　Unit R-4　全父・接続詞　（授業形式：講義、演習）

予習内容：UnitR-3の単語・熟語の確認し問題を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：授業で行ったListening をもう一度聞き、間違えた問題を解き直す。
復習時間：30分
Unit4のListening とReading を解き、要点を確認する。

第5回 Unit L-5 平叙文・意外な応答　　Unit R-5 代名詞・関係代名詞　（授業形式：講義、演習）

予習内容：UnitR-5の単語・熟語の確認し問題を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：授業で行ったListening をもう一度聞き、間違えた問題を解き直す。
復習時間：30分
Unit5のListening とReading を解き、要点を確認する。

第6回 Unit L-6 機能別疑問文 Unit R-6　長文穴埋め問題　（授業形式：講義、演習）

予習内容：UnitR-6の単語・熟語の確認し問題を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：授業で行ったListening をもう一度聞き、間違えた問題を解き直す。
復習時間：30分
Unit6のListening とReading を解き、要点を確認する。

第7回 Unit L-7 目的・懸念・次の行動　　Unit R-7 広告・チャット　（授業形式：講義、演習）

予習内容：UnitR-7の単語・熟語の確認し問題を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：授業で行ったListening をもう一度聞き、間違えた問題を解き直す。
復習時間：30分
Unit7のListening とReading を解き、要点を確認する。

第8回 Unit L-8 言及・問題点・提案　　Unit R-8 Eメール・手紙　（授業形式：講義、演習）

予習内容：UnitR-8の単語・熟語の確認し問題を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：授業で行ったListening をもう一度聞き、間違えた問題を解き直す。
復習時間：30分
Unit8のListening とReading を解き、要点を確認する。

第9回 Unit L-9 申し出・依頼・意図　　Unit R-9 告知・社内回覧　（授業形式：講義、演習）

予習内容：UnitR-9の単語・熟語の確認し問題を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：授業で行ったListening をもう一度聞き、間違えた問題を解き直す。
復習時間：30分
Unit9のListening とReading を解き、要点を確認する。

第10回 Unit L-10 録音メッセージ・アナウンス　 Unit R-10 記事　（授業形式：講義、演習）

予習内容：UnitR-10の単語・熟語の確認し問題を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：授業で行ったListening をもう一度聞き、間違えた問題を解き直す。
復習時間：30分
Unit10のListening とReading を解き、要点を確認する。

第11回 Unit L-11 トーク・会議・ニュース　 Unit R-11 ダブルパッセージ　（授業形式：講義、演習）

予習内容：UnitR-11の単語・熟語の確認し問題を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：授業で行ったListening をもう一度聞き、間違えた問題を解き直す。
復習時間：30分
Unit11のListening とReading を解き、要点を確認する。

第12回 Unit L-12 グラフィック（図表）問題 （Part 3 $ 4 ） Unit　R-12 トリプルパッセージ　（授業形式：講義、演習）

予習内容：UnitR-12の単語・熟語の確認し問題を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：授業で行ったListening をもう一度聞き、間違えた問題を解き直す。
復習時間：30分
Unit12のListening とReading を解き、要点を確認する。

第13回 Unit L-13 Review (Part 1 & 3) Unit R-13　Review （Part 5 & 6 ）　（授業形式：講義、演習）

予習内容：UnitR-13の単語・熟語の確認し問題を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：授業で行ったListening をもう一度聞き、間違えた問題を解き直す。
復習時間：30分
Unit13のListening とReading を解き、要点を確認する。

第14回 Unit L-14 Review (Part 2 & 4) Unit R-14　Review (Part 7)　（授業形式：講義、演習）

予習内容：UnitR-14の単語・熟語の確認し問題を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：授業で行ったListening をもう一度聞き、間違えた問題を解き直す。
復習時間：30分
Unit14のListening とReading を解き、要点を確認する。

第15回 定期試験対策　（授業形式：講義、演習）

予習内容：テキストを見直し、自分の苦手な個所を見直す。
予習時間：60分
復習内容：間違えた問題を解き直す。
復習時間：30分
TOEIC 形式の問題を解いてみる。時間を測り、どれぐらいのペースで自分が問題を解けるのかを知る。

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**ＴＯＥＩＣ・Ａ２（発展）**						
英文名　：	TOEIC A2						
担当者　：	根来　玲子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】金曜5限						

■授業概要

この授業ではTOEIC のスコアアップを目指して、実際のTOEIC と同じ形式の演習問題を繰り返し行います。基本的な英語の語彙とTOEIC によく出題される語彙を習得することに重点を置く共に、リスニング能力、文法や英文の読解の能力向上のための訓練を行います。受講期間中にランゲージスペースの有効活用をするように心がけてください。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

TOEIC 600点以上を取得することを目標とする。TOEICの出題内容や形式に慣れ親しみ、実用的な英語力を身につける。この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的２および５の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 30%
課題 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

小テストや課題の解答・要点の解説は授業内やGoogle Classroom　で行います。

■教科書

[ISBN]9784255156378 『TOEIC(R) L&Rテスト戦略的トレーニング:レベル600』 (西谷敦子, 朝日出版社：2019)

■参考文献

授業内で必要に応じて指定します。

■関連科目

TOEIC ・A1（発展）

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・rnegoro@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

授業前後の休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション ＋ Unit L-1 人物が写っている写真 Unit R-1 品詞 （授業形式：講義、演習）

予習内容：TOEIC の目標スコアを設定する。音声のストリーミングをしておく。Unit1 R-1の単語・熟語の確認し、問題を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：目標スコアに向けての学習計画を立てる。授業で行ったListening をもう一度聞き、間違えた問題を解き直す。
復習時間：30分
Unit1のListening とReading を解き、要点を確認する。

第2回 Unit 2　L-2 人物が写っていない写真　　Unit 2 R-2　動詞の形(1)　能動態　VS　受動態、分詞　（授業形式：講義、演習）

予習内容：UnitR-2の単語・熟語の確認し問題を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：授業で行ったListening をもう一度聞き、間違えた問題を解き直す。
復習時間：30分
Unit2のListening とReading を解き、要点を確認する。

第3回 Unit L-3 疑問詞疑問文　　Unit R-3 動詞の形(2) 時制・その他　（授業形式：講義、演習）

予習内容：UnitR-3の単語・熟語の確認し問題を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：授業で行ったListening をもう一度聞き、間違えた問題を解き直す。
復習時間：30分
Unit3のListening とReading を解き、要点を確認する。

第4回 Unit L-4 Yes/No 疑問文・その他の疑問文　　Unit R-4　全父・接続詞　（授業形式：講義、演習）

予習内容：UnitR-3の単語・熟語の確認し問題を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：授業で行ったListening をもう一度聞き、間違えた問題を解き直す。
復習時間：30分
Unit4のListening とReading を解き、要点を確認する。

第5回 Unit L-5 平叙文・意外な応答　　Unit R-5 代名詞・関係代名詞　（授業形式：講義、演習）

予習内容：UnitR-5の単語・熟語の確認し問題を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：授業で行ったListening をもう一度聞き、間違えた問題を解き直す。
復習時間：30分
Unit5のListening とReading を解き、要点を確認する。

第6回 Unit L-6 機能別疑問文 Unit R-6　長文穴埋め問題　（授業形式：講義、演習）

予習内容：UnitR-6の単語・熟語の確認し問題を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：授業で行ったListening をもう一度聞き、間違えた問題を解き直す。
復習時間：30分
Unit6のListening とReading を解き、要点を確認する。

第7回 Unit L-7 目的・懸念・次の行動　　Unit R-7 広告・チャット　（授業形式：講義、演習）

予習内容：UnitR-7の単語・熟語の確認し問題を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：授業で行ったListening をもう一度聞き、間違えた問題を解き直す。
復習時間：30分
Unit7のListening とReading を解き、要点を確認する。

第8回 Unit L-8 言及・問題点・提案　　Unit R-8 Eメール・手紙　（授業形式：講義、演習）

予習内容：UnitR-8の単語・熟語の確認し問題を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：授業で行ったListening をもう一度聞き、間違えた問題を解き直す。
復習時間：30分
Unit8のListening とReading を解き、要点を確認する。

第9回 Unit L-9 申し出・依頼・意図　　Unit R-9 告知・社内回覧　（授業形式：講義、演習）

予習内容：UnitR-9の単語・熟語の確認し問題を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：授業で行ったListening をもう一度聞き、間違えた問題を解き直す。
復習時間：30分
Unit9のListening とReading を解き、要点を確認する。

第10回 Unit L-10 録音メッセージ・アナウンス　 Unit R-10 記事　（授業形式：講義、演習）

予習内容：UnitR-10の単語・熟語の確認し問題を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：授業で行ったListening をもう一度聞き、間違えた問題を解き直す。
復習時間：30分
Unit10のListening とReading を解き、要点を確認する。

第11回 Unit L-11 トーク・会議・ニュース　 Unit R-11 ダブルパッセージ　（授業形式：講義、演習）

予習内容：UnitR-11の単語・熟語の確認し問題を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：授業で行ったListening をもう一度聞き、間違えた問題を解き直す。
復習時間：30分
Unit11のListening とReading を解き、要点を確認する。

第12回 Unit L-12 グラフィック（図表）問題 （Part 3 $ 4 ） Unit　R-12 トリプルパッセージ　（授業形式：講義、演習）

予習内容：UnitR-12の単語・熟語の確認し問題を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：授業で行ったListening をもう一度聞き、間違えた問題を解き直す。
復習時間：30分
Unit12のListening とReading を解き、要点を確認する。

第13回 Unit L-13 Review (Part 1 & 3) Unit R-13　Review （Part 5 & 6 ）　（授業形式：講義、演習）

予習内容：UnitR-13の単語・熟語の確認し問題を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：授業で行ったListening をもう一度聞き、間違えた問題を解き直す。
復習時間：30分
Unit13のListening とReading を解き、要点を確認する。

第14回 Unit L-14 Review (Part 2 & 4) Unit R-14　Review (Part 7)　（授業形式：講義、演習）

予習内容：UnitR-14の単語・熟語の確認し問題を解いておく。
予習時間：60分
復習内容：授業で行ったListening をもう一度聞き、間違えた問題を解き直す。
復習時間：30分
Unit14のListening とReading を解き、要点を確認する。

第15回 定期試験対策　（授業形式：講義、演習）

予習内容：テキストを見直し、自分の苦手な個所を見直す。
予習時間：60分
復習内容：間違えた問題を解き直す。
復習時間：30分
TOEIC 形式の問題を解いてみる。時間を測り、どれぐらいのペースで自分が問題を解けるのかを知る。

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**ＴＯＥＩＣ・Ｂ１（基礎）**						
英文名　：	TOEIC B1						
担当者　：	若松　朱里						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	3年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】金曜2限						

■授業概要

TOEICの問題形式に慣れ、スコアUPのためのコツを身につけることを目的とした総合的な対策を行う。必要に応じ、英語コミュニケーション能力の基礎となる英単語や、英文法の基礎的な知識を確認する。教材の使用は、学内TOEIC-IPテストの日程により使用期間が変わることがある。授業には必ず辞書を持参すること。各教員が指示したWeb教材の課題は、必ず提出すること。また、受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がける。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

TOEIC500点を取得することを目標とする。スコアアップに向けて基礎力を伸ばすための学習を着実に推し進め、成果に結びつけることのできる学習者の育成を目指す。学内のIPテストを受験し、成果および課題を分析し、次のステップを探る。この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 30%
課題 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

課題・小テストは授業中に返却し解答・解説を行います。また、疑問点は個別に対応します。

■教科書

[ISBN]9784764740884 『SCORE BOOSTER FOR THE TOEIC L&R TEST BEGINNER―レベル別TOEIC L&Rテスト実力養成コース:初級編』 (幸治, 早川, 金星堂：2019)

■参考文献

特に指定なし

■関連科目

TOEIC・B2（基礎）

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・shuri.wakamatsu@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション（授業形式：講義）

予習内容：Unit 1; TOEIC Vocabulary and TOEIC Grammar
予習時間：30分
復習内容：Unit 1 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
1)各テキストの説明
2)授業の進め方、成績評価などの説明
3)受講に際しての注意点
4)グループワーク

第2回 Unit 1; Travel（授業形式：講義）

予習内容：Unit 2; TOEIC Vocabulary and TOEIC Grammar
予習時間：30分
復習内容：Unit 1 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
・旅行に関する語句・表現を覚える
・名詞を学ぶ

第3回 Unit 2; Dining Out（授業形式：講義）

予習内容：Unit 3; TOEIC Vocabulary and TOEIC Grammar
予習時間：30分
復習内容：Unit 2 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
・レストランや食事・料理に関する語句・表現を覚える
・形容詞を学ぶ

第4回 Unit 3; Shopping（授業形式：講義）

予習内容：Unit 4; TOEIC Vocabulary and TOEIC Grammar
予習時間：30分
復習内容：Unit 3 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
・買い物に関する語句・表現を覚える
・副詞を学ぶ

第5回 Unit 4; Entertainment（授業形式：講義）

予習内容：Unit 5; TOEIC Vocabulary and TOEIC Grammar
予習時間：30分
復習内容：Unit 4 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
・エンターテインメントに関する語句・表現を覚える
・時制を学ぶ

第6回 Unit 5; Advertising（授業形式：講義）

予習内容：Unit 6; TOEIC Vocabulary and TOEIC Grammar
予習時間：30分
復習内容：Unit 5 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：40分
・広告・宣伝に関する語句・表現を覚える
・主語と動詞の一致を学ぶ

第7回 Unit 6; Events（授業形式：講義）

予習内容：Unit 7; TOEIC Vocabulary and TOEIC Grammar
予習時間：30分
復習内容：Unit 6 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
・イベント（セミナー・講習会など）に関する語句・表現を覚える
・能動態／受動態を学ぶ

第8回 Unit 7; Daily Life（授業形式：講義）

予習内容：Unit 8; TOEIC Vocabulary and TOEIC Grammar

予習時間：30分
復習内容：Unit 7 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
・日常生活に関する語句・表現を覚える
・動名詞／不定詞を学ぶ

第9回　Unit 8; Media（授業形式：講義）

予習内容：Unit 9; TOEIC Vocabulary and TOEIC Grammar
予習時間：30分
復習内容：Unit 8 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
・メディアに関する語句・表現を覚える
・代名詞を学ぶ

第10回　Unit 9; Recruiting（授業形式：講義）

予習内容：Unit 10; TOEIC Vocabulary and TOEIC Grammar
予習時間：30分
復習内容：Unit 9 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
・求人・採用に関する語句・表現を覚える・比較を学ぶ

第11回　Unit 10; Production & Sales（授業形式：講義）

予習内容：Unit 11; TOEIC Vocabulary and TOEIC Grammar
予習時間：30分
復習内容：Unit 10 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
・売上・業績に関する語句・表現を覚える
・前置詞を学ぶ

第12回　Unit 11; Meetings（授業形式：講義）

予習内容：Unit 12; TOEIC Vocabulary and TOEIC Grammar
予習時間：30分
復習内容：Unit 11 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
・会議に関する語句・表現を覚える
・接続詞を学ぶ

第13回　Unit 12; Offices（授業形式：講義）

予習内容：Unit 13; TOEIC Vocabulary and TOEIC Grammar
予習時間：30分
復習内容：Unit 12 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
・オフィスに関する語句・表現を覚える
・前置詞と接続詞の違いを学ぶ

第14回　Unit 13; Personnel（授業形式：講義）

予習内容：Unit 14; TOEIC Vocabulary and TOEIC Grammar
予習時間：30分
復習内容：Unit 13 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
・人事に関する語句・表現を覚える
・関係代名詞を学ぶ

第15回　Unit 14; Business Activities（授業形式：講義）

予習内容：試験範囲の復習
予習時間：90分
復習内容：Unit 14 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
・ビジネスに関する語句・表現を覚える
・語彙の結びつきを学ぶ（名詞・形容詞）

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**ＴＯＥＩＣ・Ｂ１（基礎）**						
英文名　：	TOEIC B1						
担当者　：	若松　朱里						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	3年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】金曜1限						

■授業概要

TOEICの問題形式に慣れ、スコアUPのためのコツを身につけることを目的とした総合的な対策を行う。必要に応じ、英語コミュニケーション能力の基礎となる英単語や、英文法の基礎的な知識を確認する。教材の使用は、学内TOEIC-IPテストの日程により使用期間が変わることがある。授業には必ず辞書を持参すること。各教員が指示したWeb教材の課題は、必ず提出すること。また、受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がける。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

TOEIC500点を取得することを目標とする。スコアアップに向けて基礎力を伸ばすための学習を着実に推し進め、成果に結びつけることのできる学習者の育成を目指す。学内のIPテストを受験し、成果および課題を分析し、次のステップを探る。この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 30%
課題 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

課題・小テストは授業中に返却し解答・解説を行います。また、疑問点は個別に対応します。

■教科書

[ISBN]9784764740884 『SCORE BOOSTER FOR THE TOEIC L&R TEST BEGINNER―レベル別TOEIC L&Rテスト実力養成コース:初級編』 (幸治, 早川, 金星堂：2019)

■参考文献

特に指定なし

■関連科目

TOEIC・B2（基礎）

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・shuri.wakamatsu@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション（授業形式：講義）

予習内容：Unit 1; TOEIC Vocabulary and TOEIC Grammar
予習時間：30分
復習内容：Unit 1 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
1)各テキストの説明
2)授業の進め方、成績評価などの説明
3)受講に際しての注意点
4)グループワーク

第2回 Unit 1; Travel（授業形式：講義）

予習内容：Unit 2; TOEIC Vocabulary and TOEIC Grammar
予習時間：30分
復習内容：Unit 1 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
・旅行に関する語句・表現を覚える
・名詞を学ぶ

第3回 Unit 2; Dining Out（授業形式：講義）

予習内容：Unit 3; TOEIC Vocabulary and TOEIC Grammar
予習時間：30分
復習内容：Unit 2 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
・レストランや食事・料理に関する語句・表現を覚える
・形容詞を学ぶ

第4回 Unit 3; Shopping（授業形式：講義）

予習内容：Unit 4; TOEIC Vocabulary and TOEIC Grammar
予習時間：30分
復習内容：Unit 3 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
・買い物に関する語句・表現を覚える
・副詞を学ぶ

第5回 Unit 4; Entertainment（授業形式：講義）

予習内容：Unit 5; TOEIC Vocabulary and TOEIC Grammar
予習時間：30分
復習内容：Unit 4 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
・エンターテインメントに関する語句・表現を覚える
・時制を学ぶ

第6回 Unit 5; Advertising（授業形式：講義）

予習内容：Unit 6; TOEIC Vocabulary and TOEIC Grammar
予習時間：30分
復習内容：Unit 5 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：40分
・広告・宣伝に関する語句・表現を覚える
・主語と動詞の一致を学ぶ

第7回 Unit 6; Events（授業形式：講義）

予習内容：Unit 7; TOEIC Vocabulary and TOEIC Grammar
予習時間：30分
復習内容：Unit 6 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
・イベント（セミナー・講習会など）に関する語句・表現を覚える
・能動態／受動態を学ぶ

第8回 Unit 7; Daily Life（授業形式：講義）

予習内容：Unit 8; TOEIC Vocabulary and TOEIC Grammar

予習時間：30分
復習内容：Unit 7 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
・日常生活に関する語句・表現を覚える
・動名詞／不定詞を学ぶ

第9回　Unit 8; Media（授業形式：講義）

予習内容：Unit 9; TOEIC Vocabulary and TOEIC Grammar
予習時間：30分
復習内容：Unit 8 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
・メディアに関する語句・表現を覚える
・代名詞を学ぶ

第10回　Unit 9; Recruiting（授業形式：講義）

予習内容：Unit 10; TOEIC Vocabulary and TOEIC Grammar
予習時間：30分
復習内容：Unit 9 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
・求人・採用に関する語句・表現を覚える・比較を学ぶ

第11回　Unit 10; Production & Sales（授業形式：講義）

予習内容：Unit 11; TOEIC Vocabulary and TOEIC Grammar
予習時間：30分
復習内容：Unit 10 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
・売上・業績に関する語句・表現を覚える
・前置詞を学ぶ

第12回　Unit 11; Meetings（授業形式：講義）

予習内容：Unit 12; TOEIC Vocabulary and TOEIC Grammar
予習時間：30分
復習内容：Unit 11 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
・会議に関する語句・表現を覚える
・接続詞を学ぶ

第13回　Unit 12; Offices（授業形式：講義）

予習内容：Unit 13; TOEIC Vocabulary and TOEIC Grammar
予習時間：30分
復習内容：Unit 12 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
・オフィスに関する語句・表現を覚える
・前置詞と接続詞の違いを学ぶ

第14回　Unit 13; Personnel（授業形式：講義）

予習内容：Unit 14; TOEIC Vocabulary and TOEIC Grammar
予習時間：30分
復習内容：Unit 13 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
・人事に関する語句・表現を覚える
・関係代名詞を学ぶ

第15回　Unit 14; Business Activities（授業形式：講義）

予習内容：試験範囲の復習
予習時間：90分
復習内容：Unit 14 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
・ビジネスに関する語句・表現を覚える
・語彙の結びつきを学ぶ（名詞・形容詞）

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**ＴＯＥＩＣ・Ｂ１（発展）**						
英文名　：	TOEIC B1						
担当者　：	山東　資子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	3年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講科目・時限】月曜5限						

■授業概要

TOEICのListening・Reading両セクションの問題形式に慣れ、語彙力を伸ばしていく。またリスニングスキル・文法力・読解力の養成とともに、スキミングやスキャニングといったテクニックも活用しながら、スコアUPのコツを身につける。なお、受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がける。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

TOEIC600点以上（通常の2時間のTOEICの場合）を取得することを目標とする。TOEICの出題内容や形式に慣れ親しみ、実用的な英語力を身に付ける。この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 30%
課題 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をGoogle Classroomに掲載

■教科書

[ISBN]9784791972531 『BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST -Intermediate- / TOEIC L&R TESTへの総合アプローチ -Intermediate-』 (吉塚 弘, 成美堂：2022)

■参考文献

適宜、授業時に紹介

■関連科目

TOEIC B2

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して実施

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・msando@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　【オリエンテーション、Unit 1 Restaurants】（授業形式：講義）

予習内容：テキストの内容・構成を確認
予習時間：30分
復習内容：当該Unit語彙の復習、誤答した問題の確認
復習時間：30分
授業の概要・受講上の注意点など、人称代名詞の要点と解説

第2回　【Unit 2 Entertainment】（授業形式：講義）

予習内容：時間配分に留意しながら、当該Unitの問題を自力で解答
予習時間：60分
復習内容：当該Unit語彙の復習、誤答した問題の確認
復習時間：30分
不定代名詞の要点と解説

第3回　【Unit 3 Business】（授業形式：講義）

予習内容：時間配分に留意しながら、当該Unitの問題を自力で解答
予習時間：60分
復習内容：当該Unit語彙の復習、誤答した問題の確認
復習時間：30分
現在・過去時制の要点と解説

第4回　【Unit 4 The Office】（授業形式：講義）

予習内容：時間配分に留意しながら、当該Unitの問題を自力で解答
予習時間：60分
復習内容：当該Unit語彙の復習、誤答した問題の確認
復習時間：30分
現在完了の要点と解説

第5回　【Unit 5 Telephone】（授業形式：講義）

予習内容：時間配分に留意しながら、当該Unitの問題を自力で解答
予習時間：60分
復習内容：当該Unit語彙の復習、誤答した問題の確認
復習時間：30分
時・期間をあらわす前置詞の要点と解説、小テスト

第6回　【Unit 6　Letters & E-mails】（授業形式：講義）

予習内容：時間配分に留意しながら、当該Unitの問題を自力で解答
予習時間：60分
復習内容：当該Unit語彙の復習、誤答した問題の確認
復習時間：30分
位置・場所をあらわす前置詞の要点と解説

第7回　【Unit 7 Health】（授業形式：講義）

予習内容：時間配分に留意しながら、当該Unitの問題を自力で解答
予習時間：60分
復習内容：当該Unit語彙の復習、誤答した問題の確認
復習時間：30分
数量形容詞の要点と解説

第8回　【Unit 8 The Bank & The Post Office】（授業形式：講義）

予習内容：時間配分に留意しながら、当該Unitの問題を自力で解答
予習時間：60分
復習内容：当該Unit語彙の復習、誤答した問題の確認
復習時間：30分
自動詞と他動詞の要点と解説

第9回　【Unit 9 New Products】（授業形式：講義）

予習内容：時間配分に留意しながら、当該Unitの問題を自力で解答
予習時間：60分
復習内容：当該Unit語彙の復習、誤答した問題の確認
復習時間：30分
形容詞の接尾辞と品詞の要点と解説、小テスト

第10回　【Unit 10 Travel】（授業形式：講義）

予習内容：時間配分に留意しながら、当該Unitの問題を自力で解答
予習時間：60分
復習内容：当該Unit語彙の復習、誤答した問題の確認
復習時間：30分
副詞の接尾辞と品詞の要点と解説

第11回 【Unit 11 Daily Life】（授業形式：講義）

予習内容：時間配分に留意しながら、当該Unitの問題を自力で解答
予習時間：60分
復習内容：当該Unit語彙の復習、誤答した問題の確認
復習時間：30分
分詞構文の要点と解説

第12回 【Unit 12 Job Applications】（授業形式：講義）

予習内容：時間配分に留意しながら、当該Unitの問題を自力で解答
予習時間：60分
復習内容：当該Unit語彙の復習、誤答した問題の確認
復習時間：30分
比較の要点と解説

第13回 【Unit 13 Shopping】（授業形式：講義）

予習内容：時間配分に留意しながら、当該Unitの問題を自力で解答
予習時間：60分
復習内容：当該Unit語彙の復習、誤答した問題の確認
復習時間：30分
受動態の要点と解説、小テスト

第14回 【Unit 14 Education】（授業形式：講義）

予習内容：時間配分に留意しながら、当該Unitの問題を自力で解答
予習時間：60分
復習内容：当該Unit語彙の復習、誤答した問題の確認
復習時間：30分
関係代名詞の要点と解説

第15回 【総括】（授業形式：講義）

予習内容：前期学習した内容の確認
予習時間：60分
復習内容：定期試験に備え、到達目標の達成状況を参照しつつ、全体を復習
復習時間：180分
これまで学習した内容・小テスト・課題の復習

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**ＴＯＥＩＣ・Ｂ１（発展）**						
英文名　：	TOEIC B1						
担当者　：	寺脇　圭子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	3年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】火曜4限						

■授業概要

TOEIC Listening & Reading Testのスコアアップを、実戦形式で練習問題を解くことによって目指すとともに、コミュニケーションに焦点を当て、コミュニケーション能力の向上に向けての授業を行う。また、語彙・派生語の増強に焦点を当て、英文の内容を推測する力と、ストラテジー、解法のコツを習得する。
受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がける。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

TOEIC600点以上を取得することを目標とする。TOEICの出題内容や形式に慣れ親しみ、実用的な英語力を実に付ける。この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 30%
課題 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後に模範解答（印刷物）を配布します。

■教科書

[ISBN]9784791972531 『BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST -Intermediate- / TOEIC L&R TESTへの総合アプローチ -Intermediate-』 (吉塚 弘, 成美堂：2022)

■参考文献

－

■関連科目

TOEIC B2

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・k-terawaki@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション・Unit 1 Restaurants（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：vocabulary, Listening・Reading 問題演習
予習時間：60分
復習内容：Unit 1 Restaurants　語彙、音読、解法確認
復習時間：80分
オリエンテーション
Unit 1 Restaurantで使われる英語表現・問題　L:part 1-4,R: part 5-7　GR:人称代名詞

第2回 Unit 2 Entertainment　（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：vocabulary, Listening・Reading 問題演習
予習時間：60分
復習内容：Unit 2 Entertainment　語彙、音読、解法確認
復習時間：80分
Entertinmentに関するトッピク問題　L:part 1-4,R: part 5-7　GR:不定代名詞

第3回 Unit 3 Business　（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：vocabulary, Listening・Reading 問題演習
予習時間：60分
復習内容：Unit 3 Business　語彙、音読、解法確認
復習時間：80分
Business関連の語句や表現・問題　L:part 1-4,R: part 5-7　GR:現在・過去時制

第4回 Unit 4 The　Office　（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：vocabulary, Listening・Reading 問題演習
予習時間：60分
復習内容：Unit 4 The Office　語彙、音読、解法確認
復習時間：80分
Office関係の語彙・表現・問題　L:part 1-4,R: part 5-7　GR:現在完了

第5回 Unit 5 Telephone　（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：vocabulary, Listening・Reading 問題演習
予習時間：60分
復習内容：Unit 5 Telephone　語彙、音読、解法確認
復習時間：80分
Telephone 関係の語彙・表現・問題　L:part 1-4,R: part 5-7　GR:前置詞（時・時期）

第6回 Unit 6 Letters & E-mails　（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：vocabulary, Listening・Reading 問題演習
予習時間：60分
復習内容：Unit 6 Letters & E-mails　語彙、音読、解法確認
復習時間：80分
通信関係の語彙・表現・問題　L:part 1-4,R: part 5-7　GR:前置詞（位置・場所）

第7回 Unit 7 Health　（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：vocabulary, listening・reading問題演習
予習時間：20分
復習内容：Unit 1-7　語彙、音読、解法確認
復習時間：120分
健康関係の語彙・表現・問題　L:part 1-4,R: part 5-7　GR:数量形容詞

第8回 Review Test (Unit 1-7)　（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：Listening・Reading 問題演習
予習時間：40分
復習内容：Review Test 見直し
復習時間：100分
Review Test (Unit 1-7) , 解答・解説

第9回 Unit 8 The Bank & The Post Office　（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：vocabulary, Listening・Reading 問題演習
予習時間：60分
復習内容：Unit 8 The bank & The Post Office　語彙、音読、解法確認
復習時間：80分

金融・輸送関係の語彙・表現・問題 L:part 1-4,R: part 5-7 GR:自動詞と他動詞

第10回 Unit 9 New Products （授業形式：演習を含む講義）

予習内容：vocabulary, Listening・Reading 問題演習
予習時間：60分
復習内容：Unit 9 New Products 語彙、音読、解法確認
復習時間：80分
製品関係の語彙・表現・問題 L:part 1-4,R: part 5-7 GR:接尾辞と品詞-形容詞

第11回 Unit 10 Travel （授業形式：演習を含む講義）

予習内容：vocabulary, Listening・Reading 問題演習
予習時間：60分
復習内容：Unit 10 Travel 語彙、音読、解法確認
復習時間：80分
旅行関係の語彙・表現・問題 L:part 1-4,R: part 5-7 GR:接尾辞と品詞-副詞

第12回 Unit 11 Daily Life （授業形式：演習を含む講義）

予習内容：vocabulary, Listening・Reading 問題演習
予習時間：60分
復習内容：Unit 11 Daily Life 語彙、音読、解法確認
復習時間：80分
日常の語彙・表現・問題 L:part 1-4,R: part 5-7 GR:分詞構文

第13回 Unit 12 Job Application （授業形式：演習を含む講義）

予習内容：vocabulary, Listening・Reading 問題演習
予習時間：60分
復習内容：Unit 12 Job Application 語彙、音読、解法確認
復習時間：80分
求職関係の語彙・表現・問題 L:part 1-4,R: part 5-7 GR:比較

第14回 Unit 13 Shopping （授業形式：演習を含む講義）

予習内容：vocabulary, Listening・Reading 問題演習
予習時間：60分
復習内容：Unit 13 Shopping 語彙、音読、解法確認
復習時間：80分
ショッピング関係の語彙・表現・問題 L:part 1-4,R: part 5-7 GR:受動態

第15回 Unit 14 Education （授業形式：演習を含む講義）

予習内容：vocabulary, Listening・Reading 問題演習
予習時間：60分
復習内容：Unit 8-14 語彙、音読、解法確認
復習時間：150分
教育関係の語彙・表現・問題 L:part 1-4,R: part 5-7 GR:関係代名詞

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**ＴＯＥＩＣ・Ｂ２（基礎）**						
英文名　：	TOEIC B2						
担当者　：	若松　朱里						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	3年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】金曜2限						

■授業概要

前期に続き、TOEICの問題形式に慣れ、スコアUPのためのコツを身につけることを目的とした総合的な対策を行う。必要に応じ、英語コミュニケーション能力の基礎となる英単語や、英文法の基礎的な知識を確認する。教材の使用は、学内TOEIC-IPテストの日程により使用期間が変わることがある。授業には必ず辞書を持参すること。各教員が指示したWeb教材の課題は、必ず提出すること。また、受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がける。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

TOEIC500点を取得することを目標とする。スコアアップに向けて基礎力を伸ばすための学習を着実に推し進め、成果に結びつけることのできる学習者の育成を目指す。学内のIPテストを受験し、成果および課題を分析し、次のステップを探る。この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 30%
課題 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

課題・小テストは授業中に返却し解答・解説を行います。また、疑問点は個別に対応します。

■教科書

[ISBN]9784791972135 『TOEIC L&R TEST オールラウンド演習』 (隆之, 石井, 成美堂：2020)

■参考文献

特に指定なし

■関連科目

TOEIC・B1（基礎）

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・shuri.wakamatsu@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション、Unit 1 Restaurant（授業形式：講義）

予習内容：Unit 2; Pre-TOEIC Section
予習時間：30分
復習内容：Unit 1 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
1）受講に際しての注意事項等の再確認
2）グループワーク（目標設定、自己表現）
3）Unit 1 Restaurant　ケータリングに関する問題 L:part 1-4,R: part 5 -7

第2回 Unit 2 Department Store（授業形式：講義）

予習内容：Unit 3; Pre-TOEIC Section
予習時間：30分
復習内容：Unit 2 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
Unit 2 Department Store
デパートに関する問題 L:part 1-4,R: part 5-7

第3回 Unit 3 Train Station（授業形式：講義）

予習内容：Unit 4; Pre-TOEIC Section
予習時間：30分
復習内容：Unit 3 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
Unit 3 Train Station
電車の駅に関する問題 L:part 1-4,R: part 5-7

第4回 Unit 4 Transportation（授業形式：講義）

予習内容：Unit 5; Pre-TOEIC Section
予習時間：30分
復習内容：Unit 4 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
Unit 4 Transportation
輸送・交通機関に関する問題 L:part 1-4,R: part 5-7

第5回 Unit 5 Post Office（授業形式：講義）

予習内容：Unit 6; Pre-TOEIC Section
予習時間：30分
復習内容：Unit 5 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
Unit 5 Post Office
郵便局に関する問題 L:part 1-4,R: part 5-7

第6回 Unit 6 Bank（授業形式：講義）

予習内容：Unit 7; Pre-TOEIC Section
予習時間：30分
復習内容：Unit 6 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
Unit 6 Bank
銀行に関する問題 L:part 1-4,R: part 5-7

第7回 Unit 7 Airport（授業形式：講義）

予習内容：Unit 8; Pre-TOEIC Section
予習時間：30分
復習内容：Unit 7 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
Unit 7 Airport
空港に関する問題 L:part 1-4,R: part 5-7

第8回 Review Test（授業形式：講義）

予習内容：Unit 8; Pre-TOEIC Section
予習時間：30分
復習内容：Review Testの見直し
復習時間：45分

Review Test (Unit 1-7) , 解答・解説

第9回 Unit 8 Hotel（授業形式：講義）

予習内容：Unit 9; Pre-TOEIC Section
予習時間：30分
復習内容：Unit 8 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
Unit 8 Hotel
ホテルに関する問題 L:part 1-4,R: part 5-7

第10回 Unit 9 Hospital（授業形式：講義）

予習内容：Unit 10; Pre-TOEIC Section
予習時間：30分
復習内容：Unit 9 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
Unit 9 Hospital
病院に関する問題 L:part 1-4,R: part 5-7

第11回 Unit 10 Events and Performance（授業形式：講義）

予習内容：Unit 11; Pre-TOEIC Section
予習時間：30分
復習内容：Unit 10 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
Unit 10 Events and Performance
イベント・娯楽に関する問題 L:part1-4, R:part5-7

第12回 Unit 11 Collage（授業形式：講義）

予習内容：Unit 12; Pre-TOEIC Section
予習時間：30分
復習内容：Unit 11 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
Unit 11 College
大学に関する問題 L:part 1-4,R: part 5-7

第13回 Unit 12 Office（授業形式：講義）

予習内容：Unit 13; Pre-TOEIC Section
予習時間：30分
復習内容：Unit 12 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
Unit 12 Office
オフィスに関する問題 L:part 1-4,R: part 5-7

第14回 Unit 13 Business Trip（授業形式：講義）

予習内容：Unit 14; Pre-TOEIC Section
予習時間：30分
復習内容：Unit 13 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
Unit 13 Business Trip
出張に関する問題 L:part 1-4,R: part 5-7

第15回 Unit 14 Sightseeing（授業形式：講義）

予習内容：試験範囲の復習
予習時間：90分
復習内容：Unit 14 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
Unit 14 Sightseeing
観光に関する問題 L:part 1-4,R: part 5-7 "

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**ＴＯＥＩＣ・Ｂ２（基礎）**						
英文名　：	TOEIC B2						
担当者　：	若松　朱里						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	3年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】金曜3限						

■授業概要

前期に続き、TOEICの問題形式に慣れ、スコアUPのためのコツを身につけることを目的とした総合的な対策を行う。必要に応じ、英語コミュニケーション能力の基礎となる英単語や、英文法の基礎的な知識を確認する。教材の使用は、学内TOEIC-IPテストの日程により使用期間が変わることがある。授業には必ず辞書を持参すること。各教員が指示したWeb教材の課題は、必ず提出すること。また、受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がける。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

TOEIC500点を取得することを目標とする。スコアアップに向けて基礎力を伸ばすための学習を着実に推し進め、成果に結びつけることのできる学習者の育成を目指す。学内のIPテストを受験し、成果および課題を分析し、次のステップを探る。この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 30%
課題 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

課題・小テストは授業中に返却し解答・解説を行います。また、疑問点は個別に対応します。

■教科書

[ISBN]9784791972135 『TOEIC L&R TEST オールラウンド演習』 (隆之, 石井, 成美堂：2020)

■参考文献

特に指定なし

■関連科目

TOEIC・B1（基礎）

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・shuri.wakamatsu@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション、Unit 1 Restaurant（授業形式：講義）

予習内容：Unit 2; Pre-TOEIC Section
予習時間：30分
復習内容：Unit 1 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
1）受講に際しての注意事項等の再確認
2）グループワーク（目標設定、自己表現）
3）Unit 1 Restaurant　ケータリングに関する問題 L:part 1-4,R: part 5 -7

第2回 Unit 2 Department Store（授業形式：講義）

予習内容：Unit 3; Pre-TOEIC Section
予習時間：30分
復習内容：Unit 2 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
Unit 2 Department Store
デパートに関する問題 L:part 1-4,R: part 5-7

第3回 Unit 3 Train Station（授業形式：講義）

予習内容：Unit 4; Pre-TOEIC Section
予習時間：30分
復習内容：Unit 3 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
Unit 3 Train Station
電車の駅に関する問題 L:part 1-4,R: part 5-7

第4回 Unit 4 Transportation（授業形式：講義）

予習内容：Unit 5; Pre-TOEIC Section
予習時間：30分
復習内容：Unit 4 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
Unit 4 Transportation
輸送・交通機関に関する問題 L:part 1-4,R: part 5-7

第5回 Unit 5 Post Office（授業形式：講義）

予習内容：Unit 6; Pre-TOEIC Section
予習時間：30分
復習内容：Unit 5 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
Unit 5 Post Office
郵便局に関する問題 L:part 1-4,R: part 5-7

第6回 Unit 6 Bank（授業形式：講義）

予習内容：Unit 7; Pre-TOEIC Section
予習時間：30分
復習内容：Unit 6 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
Unit 6 Bank
銀行に関する問題 L:part 1-4,R: part 5-7

第7回 Unit 7 Airport（授業形式：講義）

予習内容：Unit 8; Pre-TOEIC Section
予習時間：30分
復習内容：Unit 7 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
Unit 7 Airport
空港に関する問題 L:part 1-4,R: part 5-7

第8回 Review Test（授業形式：講義）

予習内容：Unit 8; Pre-TOEIC Section
予習時間：30分
復習内容：Review Testの見直し
復習時間：45分

Review Test (Unit 1-7) , 解答・解説

第9回 Unit 8 Hotel（授業形式：講義）

予習内容：Unit 9; Pre-TOEIC Section
予習時間：30分
復習内容：Unit 8 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
Unit 8 Hotel
ホテルに関する問題 L:part 1-4,R: part 5-7

第10回 Unit 9 Hospital（授業形式：講義）

予習内容：Unit 10; Pre-TOEIC Section
予習時間：30分
復習内容：Unit 9 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
Unit 9 Hospital
病院に関する問題 L:part 1-4,R: part 5-7

第11回 Unit 10 Events and Performance（授業形式：講義）

予習内容：Unit 11; Pre-TOEIC Section
予習時間：30分
復習内容：Unit 10 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
Unit 10 Events and Performance
イベント・娯楽に関する問題 L:part1-4, R:part5-7

第12回 Unit 11 Collage（授業形式：講義）

予習内容：Unit 12; Pre-TOEIC Section
予習時間：30分
復習内容：Unit 11 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
Unit 11 College
大学に関する問題 L:part 1-4,R: part 5-7

第13回 Unit 12 Office（授業形式：講義）

予習内容：Unit 13; Pre-TOEIC Section
予習時間：30分
復習内容：Unit 12 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
Unit 12 Office
オフィスに関する問題 L:part 1-4,R: part 5-7

第14回 Unit 13 Business Trip（授業形式：講義）

予習内容：Unit 14; Pre-TOEIC Section
予習時間：30分
復習内容：Unit 13 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
Unit 13 Business Trip
出張に関する問題 L:part 1-4,R: part 5-7

第15回 Unit 14 Sightseeing（授業形式：講義）

予習内容：試験範囲の復習
予習時間：90分
復習内容：Unit 14 語彙・文法・読解問題の概要の理解
復習時間：45分
Unit 14 Sightseeing
観光に関する問題 L:part 1-4,R: part 5-7 "

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**ＴＯＥＩＣ・Ｂ２（発展）**						
英文名　：	TOEIC B2						
担当者　：	山東　資子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	3年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】月曜5限						

■授業概要

TOEICのListening・Reading両セクションの問題形式に慣れ、語彙力を伸ばしていく。またリスニングスキル・文法力・読解力の養成とともに、スキミングやスキャニングといったテクニックも活用しながら、スコアUPのコツを身につける。なお、受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がける。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

TOEIC600点以上（通常の2時間のTOEICの場合）を取得することを目標とする。TOEICの出題内容や形式に慣れ親しみ、実用的な英語力を身に付ける。この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 30%
課題 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をGoogle Classroomに掲載

■教科書

[ISBN]9784881987780 『Advance Your Practical Skills for the TOEIC L&R Test』 （鈴木淳，松柏社：2022）

■参考文献

適宜、授業時に紹介

■関連科目

TOEIC B1

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して実施

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・msando@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　【オリエンテーション、Unit 1 名詞・代名詞】（授業形式：講義）

予習内容：テキストの内容・構成を確認
予習時間：30分
復習内容：当該Unit語彙の復習、誤答した問題の確認
復習時間：30分
授業の概要・受講上の注意点など
複数人物の描写・Wh疑問詞・2人の会話・留守電メッセージ・メール・記事の要点と解説

第2回　【Unit 2 形容詞・副詞】（授業形式：講義）

予習内容：時間配分に留意しながら、当該Unitの問題を自力で解答
予習時間：60分
復習内容：当該Unit語彙の復習、誤答した問題の確認
復習時間：30分
1人の人物描写・Wh疑問詞・2人の会話・トーク・お知らせ・メールの要点と解説

第3回　【Unit 3 比較】（授業形式：講義）

予習内容：時間配分に留意しながら、当該Unitの問題を自力で解答
予習時間：60分
復習内容：当該Unit語彙の復習、誤答した問題の確認
復習時間：30分
1人の人物描写・Wh疑問詞・2人の会話・宣伝・広告・手紙の要点と解説

第4回　【Unit 4 時制（現在・過去・未来・進行形）】（授業形式：講義）

予習内容：時間配分に留意しながら、当該Unitの問題を自力で解答
予習時間：60分
復習内容：当該Unit語彙の復習、誤答した問題の確認
復習時間：30分
物の描写・How + αの表現・2人の会話・留守電メッセージ・広告・お知らせの要点と解説

第5回　【Unit 5　時制（完了形・完了進行形）】（授業形式：講義）

予習内容：時間配分に留意しながら、当該Unitの問題を自力で解答
予習時間：60分
復習内容：当該Unit語彙の復習、誤答した問題の確認
復習時間：30分
物の描写・How + αの表現・2人の会話・ラジオ放送・記事・広告の要点と解説、小テスト

第6回　【Unit 6　受動態・使役】（授業形式：講義）

予習内容：時間配分に留意しながら、当該Unitの問題を自力で解答
予習時間：60分
復習内容：当該Unit語彙の復習、誤答した問題の確認
復習時間：30分
物の描写・依頼表現・2人の会話・宣伝・記事・テキストメッセージの要点と解説

第7回　【Unit 7 主語と動詞の一致】（授業形式：講義）

予習内容：時間配分に留意しながら、当該Unitの問題を自力で解答
予習時間：60分
復習内容：当該Unit語彙の復習、誤答した問題の確認
復習時間：30分
1人の人物描写・依頼表現・2人の会話・アナウンス・お知らせ・広告の要点と解説

第8回　【Unit 8 前置詞】（授業形式：講義）

予習内容：時間配分に留意しながら、当該Unitの問題を自力で解答
予習時間：60分
復習内容：当該Unit語彙の復習、誤答した問題の確認
復習時間：30分
複数人物の描写・提案勧誘表現・2人の会話・会議・記事・メールの要点と解説

第9回　【Unit 9 接続詞】（授業形式：講義）

予習内容：時間配分に留意しながら、当該Unitの問題を自力で解答
予習時間：60分
復習内容：当該Unit語彙の復習、誤答した問題の確認
復習時間：30分
複数人物の描写・付加／否定疑問文・2人の会話・アナウンス・記事・広告の要点と解説、小テスト

第10回　【Unit 10 分詞】（授業形式：講義）

予習内容：時間配分に留意しながら、当該Unitの問題を自力で解答
予習時間：60分
復習内容：当該Unit語彙の復習、誤答した問題の確認
復習時間：30分
背景の描写・平叙文・3人の会話・アナウンス・Webページ・メールの要点と解説

第11回　【Unit 11 To不定詞】（授業形式：講義）

予習内容：時間配分に留意しながら、当該Unitの問題を自力で解答
予習時間：60分
復習内容：当該Unit語彙の復習、誤答した問題の確認
復習時間：30分
背景と物の描写・注意すべき表現・2人の会話・ニュース・広告・手紙の要点と解説

第12回　【Unit 12 動名詞】（授業形式：講義）

予習内容：時間配分に留意しながら、当該Unitの問題を自力で解答
予習時間：60分
復習内容：当該Unit語彙の復習、誤答した問題の確認
復習時間：30分
物の描写・Yes/No疑問文・2人の会話・トーク・広告・情報文書の要点と解説

第13回　【Unit 13 関係詞】（授業形式：講義）

予習内容：時間配分に留意しながら、当該Unitの問題を自力で解答
予習時間：60分
復習内容：当該Unit語彙の復習、誤答した問題の確認
復習時間：30分
物の描写・Yes/No疑問文・2人の会話・アナウンス・広告・メールの要点と解説、小テスト

第14回　【Unit 14 仮定法】（授業形式：講義）

予習内容：時間配分に留意しながら、当該Unitの問題を自力で解答
予習時間：60分
復習内容：当該Unit語彙の復習、誤答した問題の確認
復習時間：30分
背景の描写・多様な応答・3人の会話・アナウンス・記事・社内通知の要点と解説

第15回　【総括】（授業形式：講義）

予習内容：後期学習した内容の確認
予習時間：60分
復習内容：定期試験に備え、到達目標の達成状況を参照しつつ、全体を復習
復習時間：180分
これまで学習した内容・小テスト・課題の復習

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**ＴＯＥＩＣ・Ｂ２（発展）**						
英文名　：	TOEIC B2						
担当者　：	寺脇　圭子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	3年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】水曜5限						

■授業概要

TOEIC Listening & Reading Testのスコアアップを、テーマ別に実戦形式で練習問題を解くことによって目指すとともに、語彙・語法・文法・リスニング力を強化することで英語能力を養成し、かつ、TOEIC L&R Testのストラテジー、解放のコツを習得する。
受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がける。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

TOEIC600点以上を取得することを目標とする。TOEICの出題内容や形式に慣れ親しみ、実用的な英語力を実に付ける。この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 30%
課題 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後に模範解答（印刷物）を配布します。

■教科書

[ISBN]9784881987780 『ADVANCE YOUR PRACTICAL SKILLS FOR THE TOEIC L&R TEST: TOEIC L&Rテストパート別トレーニング』 (鈴木淳, 松柏社)

■参考文献

－

■関連科目

TOEIC B1

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・k-terawaki@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

該当科目開講時の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション・Unit 1 名詞・代名詞 （授業形式：演習を含む講義）

予習内容：vocabulary, Listening・Reading 問題演習
予習時間：60分
復習内容：Unit 1 名詞・代名詞　語彙、音読、解法確認
復習時間：80分
オリエンテーション・Unit 1 名詞・代名詞に関する問題　L:part 1-4,R: part 5-7

第2回 Unit 2 形容詞・副詞 （授業形式：演習を含む講義）

予習内容：vocabulary, Listening・Reading 問題演習
予習時間：60分
復習内容：Unit 2 形容詞・副詞　語彙、音読、解法確認
復習時間：80分
形容詞・副詞に関する問題　L:part 1-4,R: part 5-7

第3回 Unit 3 比較 （授業形式：演習を含む講義）

予習内容：vocabulary, Listening・Reading 問題演習
予習時間：60分
復習内容：Unit 3 比較　語彙、音読、解法確認
復習時間：80分
比較に関する問題　L:part 1-4,R: part 5-7

第4回 Unit 4 時制（現在・過去・未来・進行形） （授業形式：演習を含む講義）

予習内容：vocabulary, Listening・Reading 問題演習
予習時間：60分
復習内容：Unit 4 時制（現在・過去・未来・進行形）　語彙、音読、解法確認
復習時間：80分
時制（現在・過去・未来・進行形）に関する問題　L:part 1-4,R: part 5-7

第5回 Unit 5 時制（完了形・完了進行形） （授業形式：演習を含む講義）

予習内容：vocabulary, Listening・Reading 問題演習
予習時間：60分
復習内容：Unit 5 時制（完了形・完了進行形）　語彙、音読、解法確認
復習時間：80分
時制（完了形・完了進行形）に関する問題　L:part 1-4,R: part 5-7

第6回 Unit 6 受動態・使役 （授業形式：演習を含む講義）

予習内容：vocabulary, Listening・Reading 問題演習
予習時間：60分
復習内容：Unit 6 受動態・使役　語彙、音読、解法確認
復習時間：80分
受動態・使役に関する問題　L:part 1-4,R: part 5-7

第7回 Unit 7 主語と動詞の一致 （授業形式：演習を含む講義）

予習内容：vocabulary
予習時間：20分
復習内容：Unit 1-7　語彙、音読、解法確認
復習時間：120分
主語と動詞の一致に関する問題　L:part 1-4,R: part 5-7

第8回 Review Test (Unit 1-7) （授業形式：演習を含む講義）

予習内容：Listening・Reading 問題演習
予習時間：40分
復習内容：Review Test 見直し
復習時間：100分
Review Test (Unit 1-7) , 解答・解説

第9回 Unit 8 前置詞 （授業形式：演習を含む講義）

予習内容：vocabulary, Listening・Reading 問題演習
予習時間：60分
復習内容：Unit 8 前置詞　語彙、音読、解法確認
復習時間：80分
前置詞に関する問題　L:part 1-4,R: part 5-7

第10回 Unit 9 接続詞 （授業形式：演習を含む講義）

予習内容：vocabulary, Listening・Reading 問題演習
予習時間：60分
復習内容：Unit 9 接続詞 語彙、音読、解法確認
復習時間：80分
接続詞に関する問題 L:part 1-4,R: part 5-7

第11回 Unit 10 分詞 （授業形式：演習を含む講義）

予習内容：vocabulary, Listening・Reading 問題演習
予習時間：60分
復習内容：Unit 10 分詞 語彙、音読、解法確認
復習時間：80分
分詞に関する問題： vocabulary, Listening・Reading 問題演習

第12回 Unit 11 to不定詞 （授業形式：演習を含む講義）

予習内容：vocabulary, Listening・Reading 問題演習
予習時間：60分
復習内容：Unit 11 to不定詞 語彙、音読、解法確認
復習時間：80分
to不定詞に関する問題 L:part 1-4,R: part 5-7

第13回 Unit 12 動名詞 （授業形式：演習を含む講義）

予習内容：vocabulary, Listening・Reading 問題演習
予習時間：60分
復習内容：Unit 12 動名詞 語彙、音読、解法確認
復習時間：80分
動名詞に関する問題 L:part 1-4,R: part 5-7

第14回 Unit 13 関係詞 （授業形式：演習を含む講義）

予習内容：vocabulary, Listening・Reading 問題演習
予習時間：60分
復習内容：Unit 13 関係詞 語彙、音読、解法確認
復習時間：80分
関係詞に関する問題 L:part 1-4,R: part 5-7

第15回 Unit 14 仮定法 （授業形式：演習を含む講義）

予習内容：vocabulary, Listening・Reading 問題演習
予習時間：60分
復習内容：Unit 8-14 語彙、音読、解法確認
復習時間：150分
仮定法に関する問題 L:part 1-4,R: part 5-7

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**オーラルスキル（英語） 1**						
英文名　：	Oral Skills (English) 1						
担当者　：	ファミュラロ　ラルフ　マイケル						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】金曜2限　　食品安全工学科開講科目						

■授業概要

Students will be required to participate in pair work, small group work and individual activities. These activities will include speaking, listening and writing tasks.

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

英語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

to become familiar with the necessary vocabulary and basic grammar forms of English as used in everyday life situations.
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

Oral presentations 40%
In-Class Activities 30%
Quizzes 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間に答案 (写し) を返却します。

■教科書

[ISBN]9784990974145
The English Gym with Digital Workbook
Jon Charles
Oak Hills Press

■参考文献

An English-Japanese, Japanese-English dictionary is necessary. ***A device that connects to the internet is required.

■関連科目

オーラルスキル（英語）2

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（２号館２階）・0402c1@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

授業時間除く

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Course Introduction 演習を含む講義

予習内容：Course Introduction
予習時間：30分
復習内容：General question asking and answering. Review of "Be" verbs. Conversation practice.
復習時間：60分
General question asking and answering. Review of "Be" verbs. Conversation practice. Using basic question - answer patterns.

第2回 Review of the, "Do" verb 演習を含む講義

予習内容：Using the Do verb
予習時間：45分
復習内容：Animal Topic Study
復習時間：45分
Review of the, "Do" verb with question and answer practice. Phone work #1: Animals, online activity.

第3回 Unit 1: Getting to Know You 演習を含む講義

予習内容：Lifestyle and Free Time
予習時間：45分
復習内容：Understanding a basic story
復習時間：45分
Asking and explaining about Lifestyle and Free Time. Understanding a story in English. Restaurants, an online activity.

第4回 Unit 2: Food and Drink. 演習を含む講義

予習内容：Food & Drink questions and answers
予習時間：45分
復習内容：：Restaurant Topic study
復習時間：45分
Becoming familiar with basic questions about food & drink through question and answer practice. Restaurants, an online activity.

第5回 Unit 3: Your Neighborhood 演習を含む講義

予習内容：：Places in the Neighborhood
予習時間：45分
復習内容：：Explaining the function of different neighborhood establishments
復習時間：45分
Reviewing the vocabulary for places in a neighborhood. Describing places and explaining their functions.

第6回 Unit 4: Daily Routines 演習を含む講義

予習内容：Everyday schedules
復習内容：At the Office handout
Students will explain their everyday schedules. A business-themed work-related handout will be utilized.

第7回 Unit 5: Entertainment 演習を含む講義

予習内容：Music and Movies
予習時間：45分
復習内容：Expressing Favorites and giving reasons for choices
復習時間：45分
Students will explain their favorites types of music, movies, sports and other leisure activities.

第8回 Review of Lessons 1-7 演習を含む講義

予習内容：Understanding a story in English
予習時間：45分
復習内容：：Review of Lessons 1-7
復習時間：45分
Previous lessons will be reviewed. Additionally students will react to a story in English.

第9回 Unit 6: Friends and Dating 演習を含む講義

予習内容：Talking about Friends
予習時間：45分
復習内容：Going on a Date
復習時間：45分

Students will practice talking about friends, including personality types. They will also think of good places to go on a date and explain their choices.

第10回 Friends, Part 2 演習を含む講義

予習内容： : Review of personality types, describing people
予習時間：45分
復習内容：Friends handout worksheet
復習時間：45分
Students will be presented with a worksheet involving reading about different people and determining whether they would make good friends. a handout will be presented.

第11回 Unit 7: Fashion and Style 演習を含む講義

予習内容：Fashion vocabulary
予習時間：45分
復習内容：Conversation practice
復習時間：45分
The topic of fashion and style will be presented. Students will review vocabulary for talking about designs and styles of clothing.

第12回 Unit 8: University Life 演習を含む講義

予習内容：Expressing Likes & Dislikes
予習時間：45分
復習内容：Discussing university and campus life
復習時間：45分
Students will study and talk about ways to describe places on campus and discuss likes and dislikes.

第13回 Unit 9: Shopping 演習を含む講義

予習内容：Shopping routines
予習時間：45分
復習内容：Supermarket handout
復習時間：45分
Students will practice describing shopping routines and learn the vocabulary for food shopping in relation to supermarkets.

第14回 Unit 10: Travel 演習を含む講義

予習内容：Famous Places
予習時間：45分
復習内容：Preferences for travel, domestic and international
復習時間：45分
Talking about good places to travel domestically and internationally with a focus on famous places.

第15回 Review of lessons 9-14 演習を含む講義

予習内容：Review of lessons 1-7
予習時間：45分
復習内容：Describing locations handout
復習時間：45分
Previous lessons will be reviewed. A handout on describing towns and other locations will be presented. An online practice about towns will be done.

No formal test will be given. Grades will be assessed via ongoing evaluations.

No formal test will be given. Grades will be assessed via ongoing evaluations.

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**オーラルスキル（英語） 1**						
英文名 ：	Oral Skills (English) 1						
担当者 ：	ヤング　ユーリ						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】金曜2限　　食品安全工学科開講科目						

■授業概要

This is a first semester general English course for intermediate non-English majors. This course will focus on developing vocabulary, along with the four skills of reading, listening, speaking, and writing under a general communication context. Topics will be taken mostly from the textbook, but will include occasional conversation and cultural handouts in class to promote global communication and awareness. You are also encouraged to use Language Space and participate in language activities there.

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

英語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

Learn new vocabulary, language structures, phrases, and expressions. Move beyond short simple sentences to more complex sentences. Improve in pronunciation, intonation, and stress. Begin to use English more fluently and confidently. Understand some basic differences betwen formal and informal language. Interact with other students in English.

この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

Two tests (テスト) 40%
Homework, Classwork: classroom activities, classroom conversations, group discussions（宿題、授業中の会話練習）40%
Classroom attitude and participation 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

We will review and do exercises together in class.

■教科書

[ISBN] 9784990974145 『The English Gym with Digital Workbook』（Oak Hills Press）Jon Charles

■参考文献

【留意事項】You are expected to take notes in a course notebook and to bring your textbook to every class.

■関連科目

Oral Skills (English) 2

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

2号館2階254（講師控室）　yulieyang@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Course and self introduction （講義、演習）

予習内容：Attend class
復習内容：Lesson review and homework
復習時間：20分
Course and self introduction

第2回 People

予習内容：Buy the textbook and bring it to every class from now on
復習内容：Lesson review and homework
Personal information
city, email address,
hometown, last name
復習時間：20分
Unit 1 Getting to know you （講義、演習）

第3回 People （講義、演習）

予習内容：Lesson preview
young, tall, thin, blue
eyes, long hair
予習時間：20分
復習内容：Lesson review and homework
復習時間：20分
Unit 1 Lesson B People: Appearance

第4回 Behavior （講義、演習）

予習内容：Lesson preview A street scene
looking, pointing (at),
sitting (on)
予習時間：20分
復習内容：Lesson review and homework
復習時間：20分
Unit 2 Lesson A Behavior: Actions
Food and Drink

第5回 Behavior （講義、演習）

予習内容：Lesson preview
予習時間：20分
復習内容：Lesson review and homework
How do you feel?
excited, angry, confident
復習時間：20分
Unit 2 Lesson B Behavior: Feelings and gestures
Food and Drink

第6回 Shopping （講義、演習）

予習内容：Lesson preview What foods are in your
kitchen?
chicken, fish, eggs
予習時間：20分
復習内容：Lesson review and homework
復習時間：20分
Unit 3 Lesson A Shopping: At the market
Your Neighborhood

第7回 Daily Routines and Entertainment （講義、演習）

予習内容：Lesson preview Shopping

credit card, on sale,
a mall
予習時間：20分
復習内容：Lesson review and homework
復習時間：20分
Unit 4 Daily Routines
Unit 5 Entertainment

第8回 Review units 1-5 （講義、演習）

予習内容：Lesson preview
予習時間：20分
復習内容：Study for the test
復習時間：60分
Test #1 on units 1-5. Review and conversation exercises

第9回 Unit 9 Shopping and the weather （講義、演習）

予習内容：Lesson preview Weather words
hot, foggy, raining
予習時間：20分
復習内容：Lesson review and homework
復習時間：20分
Vacation Lesson A: Weather
Shopping Count and Noncount nouns
How many?

第10回 Unit 10 Vacation and Travelling （講義、演習）

予習内容：Lesson preview When you travel
get a passport, go
sightseeing
予習時間：20分
復習内容：Lesson review and homework
復習時間：20分
Vacation Lesson B: Travelling
Unit 5 Entertainment

第11回 Celebrities, Fashion, and Style （講義、演習）

予習内容：Lesson preview People changing their
world
traveler, author, explore
予習時間：20分
復習内容：Lesson review and homework
復習時間：20分
Unit 7 Fashion and Style
Heroes Lesson A: Pioneers

第12回 Unit 8 University Life （講義、演習）

予習内容：Lesson preview Heroes and role-models
admire, look up to, hero
予習時間：20分
復習内容：Lesson review and homework
復習時間：20分
University Life
Heroes Lesson B: Personal Heroes

第13回 The Mind （講義、演習）

予習内容：Lesson preview Can you remember?
forget, good at
remembering
予習時間：20分
復習内容：Lesson review and homework
復習時間：20分
The Mind Lesson A: Memory

第14回 The Mind （講義、演習）

予習内容：Lesson preview Sleep
stay up late, go to bed,
get up
予習時間：20分
復習内容：Study for the test
復習時間：60分
The Mind Lesson B: Sleep

第15回 Test #2 on units 6-10

予習内容：Study for the test
予習時間：60分
復習内容：None
Test #2 on units 6-10. Review and conversation exercises

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**オーラルスキル（英語） 1**						
英文名　：	Oral Skills (English) 1						
担当者　：	ロバート　ガリティ						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】金曜2限　　食品安全工学科開講科目						

■授業概要

高校卒業までに身に付けた英語力を基盤として、オールイングリッシュの授業を受講することで、聞く・話すという英語のオーラルスキルの習得を目指した授業を行う。大学入学時までに、英語での発話・聴解場面の経験が多くない学生に対しても無理のない授業となるように、分かり易い身近な素材を使った授業を行う。受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がける。

This English conversation course will build student confidence and improve overall English speaking and listening proficiency through enjoyable in-class activities. Moreover, this course will provide the proper foundation for future English study. Also, we will try to make effective use of the language space during the course.

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

英語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「オーラルスキル２」と合わせて、以下の目標に到達できるようにする。会話場面において、基本的な語彙を使用した文レベルの発話が聞き取れるようになる。自分の意思を、文法的なミスはあっても伝えることができるようになる。

この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

小テスト 30%
口頭発表 40%
宿題／レポート 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間に答案（写し）を返却します。

■教科書

[ISBN]9789620056659 『Fifty-fifty: A speaking and listening course, Book 1, Third Edition』（Warren Wilson and Roger Barnard, Pearson ELT: 2007）

■参考文献

Nothing

■関連科目

オーラルスキル２

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室(2号館2階)・rjagarrity@kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

Each unit of the textbook will be supplemented by activities and group work connected to the current topic or theme.

第1回 Class Orientation (授業形式：講義)

予習内容：Read the syllabus and check
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Teacher to student introduction, explanation of the course and student responsibilities. Vocabulary for clarification.

第2回 Introductions and greetings (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：Think about and practice introducing oneself and a partner both formally and informally
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Introducing oneself and a partner both formally and informally

第3回 Abilities and Jobs (授業形式：講義と演習を含む講義)

予習内容：Think about asking and answering questions about abilities; discussing types of jobs, job qualifications and skills
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Asking and answering questions about abilities; discussing types of jobs, job qualifications and skills

第4回 Personal information (授業形式：講義と演習を含む講義)

予習内容：Think about and practicing asking for and giving personal information, discussing appropriate vs.inappropriate topics
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Asking for and giving personal information, discussing appropriate vs.inappropriate topics

第5回 Times and Dates (授業形式：講義と演習を含む講義)

予習内容：Think about and practice asking and answering questions about times and dates
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Asking and answering questions about times and dates

第6回 Routines and Schedules(授業形式：講義と演習を含む講義)

予習内容：Think about and practice understanding personal schedules,making appointments, and comparing routine.
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Understanding personal schedules. Making appointments.Comparing routine.

第7回 Review of weeks 1-6 (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：Reviewing the topics covered in the first six weeks of the course
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
A review of the topics covered in the first six weeks of the course

第8回 Location and movement (授業形式：講義と演習を含む講義)

予習内容：Think about furniture and household furnishings. Discuss identifying locations in a room, discussing the movement of objects

予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Talking about furniture and household furnishings. Identifying locations in a room, discussing the movement of objects

第9回 Directions (授業形式：講義と演習を含む講義)

予習内容：Talking about asking for, giving, and understanding map directions, giving directions to a taxi driver, describing stores and their services.
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Asking for, giving, and understanding map directions, giving directions to a taxi driver, describing stores and their services.

第10回 Travel (授業形式：講義と演習を含む講義)

予習内容：Discuss asking and answering questions about travel experiences, discussing foreign languages and cultures, making travel plans, checking into a hotel
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Asking and answering questions about travel experiences, discussing foreign languages and cultures, making travel plans, checking into a hotel

第11回 Movies and Television (授業形式：講義と演習を含む講義)

予習内容：Talk about movies and television, describing a movie, narrating a basic story
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Talking about movies and television, describing a movie, narrating a basic story

第12回 Processes (授業形式：講義と演習を含む講義)

予習内容：Talk about food and cooking, making a meal from a recipe, asking a friend for advice. Guessing processes from hints. Giving and confirming instructions.
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Talking about food and cooking, making a meal from a recipe, asking a friend for advice. Guessing processes from hints. Giving and confirming instructions.

第13回 Opinions (授業形式：講義と演習を含む講義)

予習内容：Talk about asking for opinions on both domestic and world issues, agreeing and disagreeing with someone politely
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Asking for opinions on both domestic and world issues, agreeing and disagreeing with someone politely

第14回 Review of Weeks 7-13 (授業形式：講義)

予習内容：Reviewing the topics covered in weeks 7-13 of the course
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
A review of the topics covered in weeks 7-13 of the course

第15回 Final Review and Summer Plans (授業形式：講義と演習を含む講義)

予習内容：Reviewing all the topics of the course, discussing summer holiday plans
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
A final review of all topics, discussion of summer holiday plans

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**オーラルスキル（英語）１〈再履修〉**						
英文名　：	Oral Skills (English) 1						
担当者　：	パトリック　ポーレン						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：							

■授業概要

高校卒業までに身に付けた英語力を基盤として、オールイングリッシュの授業を受講することで、聞く・話すという英語のオーラルスキルの習得を目指した授業を行う。大学入学時までに、英語での発話・聴解場面の経験が多くない学生に対しても無理のない授業となるように、分かり易い身近な素材を使った授業を行う。受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がける。

This English conversation course will build student confidence and improve overall English speaking and listening proficiency through enjoyable in-class activities. Moreover, this course will provide the proper foundation for future English study. Also, we will try to make effective use of the language space during the course.

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

英語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「オーラルスキル２」と合わせて、以下の目標に到達できるようにする。会話場面において、基本的な語彙を使用した文レベルの発話が聞き取れるようになる。自分の意思を、文法的なミスはあっても伝えることができるようになる。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

コースワーク 30%
口頭発表 40%
宿題／レポート 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間に答案（写し）を返却します。

■教科書

[ISBN]9789620056659 『Fifty-fifty: A speaking and listening course, Book 1, Third Edition』 (Warren Wilson and Roger Barnard, Pearson ELT: 2007)

■参考文献

Nothing

■関連科目

オーラルスキル１、オーラルスキル２、オーラルスキル（英語）２（再履修）

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室(2号館2階)・patoric@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

Each unit of the textbook will be supplemented by activities and group work connected to the current topic or theme.

第1回 Class Orientation （授業形式：演習）

予習内容：Read the syllabus and check
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Teacher to student introduction, explanation of the course and student responsibilities. Vocabulary for clarification.

第2回 Introductions and greetings （授業形式：演習）

予習内容：Think about and practice introducing oneself and a partner both formally and informally
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Introducing oneself and a partner both formally and informally

第3回 Abilities and Jobs （授業形式：演習）

予習内容：Think about asking and answering questions about abilities; discussing types of jobs, job qualifications and skills
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Asking and answering questions about abilities; discussing types of jobs, job qualifications and skills

第4回 Personal information （授業形式：演習）

予習内容：Think about and practicing asking for and giving personal information, discussing appropriate vs.inappropriate topics
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Asking for and giving personal information, discussing appropriate vs.inappropriate topics

第5回 Times and Dates （授業形式：演習）

予習内容：Think about and practice asking and answering questions about times and dates
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Asking and answering questions about times and dates

第6回 Routines and Schedules （授業形式：演習）

予習内容：Think about and practice understanding personal schedules,making appointments, and comparing routine.
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Understanding personal schedules. Making appointments.Comparing routine.

第7回 Review of weeks 1-6 （授業形式：演習）

予習内容：Reviewing the topics covered in the first six weeks of the course
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
A review of the topics covered in the first six weeks of the course

第8回 Location and movement （授業形式：演習）

予習内容：Think about furniture and household furnishings. Discuss identifying locations in a room, discussing the movement of objects
予習時間：30分

復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Talking about furniture and household furnishings. Identifying locations in a room, discussing the movement of objects

第9回 Directions （授業形式：演習）

予習内容：Talking about asking for, giving, and understanding map directions, giving directions to a taxi driver, describing stores and their services.
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Asking for, giving, and understanding map directions, giving directions to a taxi driver, describing stores and their services.

第10回 Travel （授業形式：演習）

予習内容：Discuss asking and answering questions about travel experiences, discussing foreign languages and cultures, making travel plans, checking into a hotel
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Asking and answering questions about travel experiences, discussing foreign languages and cultures, making travel plans, checking into a hotel

第11回 Movies and Television（授業形式：演習）

予習内容：Talk about movies and television, describing a movie, narrating a basic story
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Talking about movies and television, describing a movie, narrating a basic story

第12回 Processes （授業形式：演習）

予習内容：Talk about food and cooking, making a meal from a recipe, asking a friend for advice. Guessing processes from hints. Giving and confirming instructions.
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Talking about food and cooking, making a meal from a recipe, asking a friend for advice. Guessing processes from hints. Giving and confirming instructions.

第13回 Opinions （授業形式：演習）

予習内容：Talk about asking for opinions on both domestic and world issues, agreeing and disagreeing with someone politely
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Asking for opinions on both domestic and world issues, agreeing and disagreeing with someone politely

第14回 Review of Weeks 7-13 （授業形式：演習）

予習内容：Reviewing the topics covered in weeks 7-13 of the course
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
A review of the topics covered in weeks 7-13 of the course

第15回 Final Review and Summer Plans （授業形式：演習）

予習内容：Reviewing all the topics of the course, discussing summer holiday plans
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
A final review of all topics, discussion of summer holiday plans

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**オーラルスキル（英語）１〈再履修〉**						
英文名　：	Oral Skills (English) 1						
担当者　：	ヤング　ユーリ						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：							

■授業概要

This course will focus on the fundamentals of English speaking: grammar, pronunciation and intonation, as well as vocabulary. We will focus on learning new words, how to say them, and how to use them properly in a sentence to express your opinion.Students are also strongly encouraged to attend Language Space and participate in activities there.

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

英語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

By the end of the course, you will be able to
read a short passage with appropriate pronunciation, intonation and phrasing
have learned be able to correctly use the different forms of words (e.g. quick v. quickly, fun v. funny)
have a short conversation in English
be able to communicate your opinion

この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

Participation / 平常点 20%
Assignments/ 課題 20%
Two tests /テスト 40%
Classwork / クラスワーク 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

There will be two in class tests.

There will be weekly assignments, including classwork and homework.

Students will be also be asked to reflect on and evaluate their learning at the end of the course.
最後に学習を振り返って評価するように求められる。

Absences will negatively impact the participation grade. Group/pair work are important parts of this course. In consideration of your peers, coming to class 30+ minutes late will constitute an absence. If you are absent for more than 3 classes, you should meet with the instructor to discuss your situation. Students absent from six or more classes will not be able to receive credit for the course.
欠席は、 平常点に悪影響を与えます。グループとペアワークはこのコースの重要な部分であり、30分以上遅れた場合は欠席となります。3回以上欠席している場合は、インストラクターに会い、あなたの状況について話し合う必要があります。6回以上欠席

している場合はコースの単位を取得できません。

■教科書

[ISBN]9784523179351 『Answers to Everyday Questions 2 Pre-Intermediate』（南雲堂）

■参考文献

A good English-Japanese, Japanese-English Dictionary
英和ー和英・英和ー和英電子辞書

■関連科目

オーラルスキル２〈再履修〉

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

2号館2階254（講師控室）・yulieyang@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

please contact your instructor to arrange a meeting
インストラクターに連絡して相談を手配してください。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

Classes will focus on learning and practicing specific vocabulary and target language.
Students will regularly engage in pair and small group activities including conversation practice and interviews. There will be two tests.
予習内容：Preview Vocabulary and target language
Homework
予習時間：420分
復習内容：Review lesson material and prepare for tests
Assignments
復習時間：480分

第1回 Orientation / Introduction to the course (講義、演習)
Self Introductions
FAQ's
復習内容：Review schedule and review material presented in class.
復習時間：30分
Information regarding the course, schedule, expected outcomes, required material and classroom activities will be discussed.
We will also practice greetings and introducing yourself, including information about your background (profession, course of study, hometown etc.)
We will also look at the basic structure of the chapters and instruction will be given how to study and prepare for classes.

第2回 Black Friday （講義、演習）
予習内容：Preview unit and vocabulary
予習時間：30分
復習内容：Review material presented in class and reflect on learning.
復習時間：30分
We will read and talk about one of the biggest sale days in America (similar to the 福袋 End of Year Sales in Japan).
We will also look at how digital culture has helped make Black Friday spread around the world.
In this unit, we will also review basic verb forms and how to use them.
At the end of this class, we will put all we have learned together to discuss different kinds of shopping that have recently become popular in Japan.

第3回 Leap Years （講義、演習）
予習内容：Preview unit and vocabulary
予習時間：30分
復習内容：Review material presented in class and reflect on learning.
復習時間：30分
Every few years, the calendar changes. We will read about and discuss the reasons for this change.

We will also look at the different future forms of verbs in English and practice using them correctly to talk about plans.
At the end of the unit, we will use what we have learned to talk about schedules and global calendars.

第4回 Red Carpets （講義、演習）

予習内容：Preview unit and vocabulary
予習時間：30分
復習内容：Review essential vocabulary and phrases presented in class and reflect on learning.
復習時間：30分
A red carpet is common at many important events around the world. In this unit, we will read about and discuss the origins and meaning of the red carpet.
We will also review how to use the present perfect form to talk about recent events.
At the end of the unit, we will put what we have learned together to discuss movies and animation.

第5回 Mouthwash （講義、演習）

予習内容：Preview unit and vocabulary.
予習時間：30分
復習内容：Review material presented in class and reflect on learning.
復習時間：30分
These days, mouthwash is a commonly used item. We will read about and discuss the origins of mouthwash and examine how the ingredients of mouthwash has changed over the years.
We will also practice how to use the passive form in English to talk about facts.
At the end of the unit, we will put what we have learned together to discuss health.

第6回 Vikings （講義、演習）

予習内容：Preview unit and vocabulary.
予習時間：30分
復習内容：Reflect and report on your presentation (assignment)
復習時間：60分
People all over the world love food. There are many kinds of dishes. One of the most popular kinds of meals is a "buffet." We will read about and discuss the history of buffets and why Japanese people often use the term "viking."
We will also practice how to use "there is" and "there are" to talk about characteristics of a place.
At the end of the unit, we will use what we have learned to discuss issues like food waste and the profitability of buffet restaurants.

第7回 Oranges （講義、演習）

予習内容：Preview unit and vocabulary.
予習時間：30分
復習内容：Review material presented in class and reflect on learning.
復習時間：30分
Which came first, the orange fruit or the orange color? In this unit we will read about and discuss this question.
We will also practice using articles (a/an/the).
At the end of the unit, we will use what we have learned to discuss the pros and cons of buying organic produce.

第8回 Vaseline （講義、演習）

予習内容：Preview unit and vocabulary.
予習時間：30分
復習内容：Review material presented in class and reflect on learning.
復習時間：30分
Vaseline is a common ingredient in many health items today. In this class, we will read about and discuss the origins of this beneficial ingredient.
We will also practice using countable and uncountable nouns.
At the end of the unit, we will use what we have learned to discuss the growing consumption of junk food.

第9回 Test #1

予習内容：Preview material covered in the review unit.
予習時間：30分
復習内容：Review material presented in class and reflect on learning.
復習時間：30分
Take test #1
Flamingos. Nature is amazing. Some of the most vibrant colors in nature come from the strangest things. In this unit, we will read about and discuss what give flamingos their unique pink color.

We will also look at the differences and how to use adjectives and adverbs.
At the end of the unit, we will use what we have learned to discuss what we can do to help threatened and endangered species.

第10回 Movies （講義、演習）

予習内容：Preview material covered in the review unit.
予習時間：30分
復習内容：Review material presented in class and reflect on learning.
復習時間：30分
Movies can be complicated. In fact, there are many factors that make a movie successful. One of these is marketing. In this unit, we will look at how movie trailers have been used to help movies be successful.
We will also practice using the "comparative form" of adjectives to compare different objects.
At the end of the unit, we will use what we have learned to discuss the use of CGI in movies.

第11回 Bubble Wrap （講義、演習）

予習内容：Preview material covered in the review unit.
予習時間：30分
復習内容：Review material presented in class and reflect on learning.
復習時間：30分
Many packages are often packages in different material to protect them. One of the most common material is bubble wrap. In this unit, we will read about and discuss the interesting history of bubble wrap and why it was first invented.
We will also look at the differences between and how to use infinitives and gerunds.
At the end of the unit, we will use what we have learned to discuss the rise of 3D printing.

第12回 Billiards （講義、演習）

予習内容：Preview material covered in the review unit.
予習時間：30分
復習内容：Review material presented in class and reflect on learning.
復習時間：30分
Many sports have a long and interesting history. So do many hobbies. In this class, we will read about and discuss the long history of billiards.
We will also learn about and practicing using "joining words", such as conjunctions and prepositions.
At the end of the unit, we will use what we have learned to discuss hobbies and increasing popularity of traditional activities.

第13回 Film （講義、演習）

予習内容：Preview material covered in the review unit.
予習時間：30分
復習内容：Review material presented in class and reflect on learning.
復習時間：30分
Like every other industry, movie making has its own special vocabulary. However, movies are so popular that many of these technical terms are often used in everyday conversation. We will read about and discuss some of those terms.
We will also look at the differences between and practice using "direct" and "indirect speech".
At the end of the unit, we will use what we have learned to talk about our favorite movies and celebrities.

第14回 Social Media （講義、演習）

予習内容：Preview material covered in the review unit.
予習時間：30分
復習内容：Reflect and report on your presentation (assignment)
復習時間：60分
In this unit, we will look at the deliberate design language of some of the world's most popular social messaging applications.
We will also look at using participles to improve the sentences we use every day.
At the end of the unit, we will discuss the benefits and advantages of online dating services.

第15回 Student Feedback
Test #2

予習内容：Review course material
予習時間：30分
In this unit, we will wrap up what we have been learning. We will reflect on the challenges we have had throughout the course and how we overcame them.
You will have the opportunity to provide feedback about the course and about your learning.

Your instructor will also provide feedback and answer questions about your development.
Take test #2

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**オーラルスキル（英語）２**						
英文名　：	Oral Skills (English) 2						
担当者　：	ファミュラロ　ラルフ　マイケル						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】金曜2限　　食品安全工学科開講科目						

■授業概要

Students will be required to participate in pair work, group work and individual activities.
These activities will include speaking, listening and writing tasks.

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

英語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

to become familiar with everyday language and related grammar forms to maintain conversations in everyday life situations.

■成績評価方法および基準

Oral Presentations 40%
In-Class activities 30%
Quizzes 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間に答案（写し）を返却します。

■教科書

[ISBN]9784990974145
The English Gym with Digital Workbook
Jon Charles
Oak Hills Press

■参考文献

An English-Japanese, Japanese-English dictionary is necessary. ***A device that connects to the internet is required.

■関連科目

オーラルスキル（英語）1

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）0402c1@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

授業時間除く

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 2nd Term Orientation 演習を含む講義

予習内容：Past-tense questions
予習時間：45分
復習内容：Childhood Handout
復習時間：45分
Introduction to using the past tense via question-making. Handout on Childhood. Using the irregular past tense.

第2回 Unit 11: Summer vacation 演習を含む講義

予習内容：Summer Activities
予習時間：45分
復習内容：Work and occupations
復習時間：45分
Discussing summer activities, including leisure activities and summer work schedules by using the past tenses.

第3回 Family & Relatives 演習を含む講義

予習内容：Family Vocabulary practice
予習時間：45分
復習内容：Family Tree Handout
復習時間：45分
Students will learn the vocabulary for family relations. A handout will be presented to confirm understanding and explain family relations.

第4回 Unit 12: Family & Home 演習を含む講義

予習内容：Talking about Family
予習時間：45分
復習内容：Children Handout, online activity
復習時間：45分
Students will listen to a conversation about family and home and will explain about their own families. A handout for an online activity about children will be distributed

第5回 Unit 13: Eating Out 演習を含む講義

予習内容：Favorite restaurants and food types
予習時間：45分
復習内容：International cuisine
復習時間：45分
Listening and discussion about restaurant preferences, cost of eating out, favorite restaurants and other cuisinerelated
information.

第6回 Unit 14: Work 演習を含む講義

予習内容：Occupations review
予習時間：45分
復習内容：Best and Worst Occupations
復習時間：45分
Following a review of occupations, students will listen and discuss about topics regarding types of jobs, salary and working hours.

第7回 Occupations, part 2 演習を含む講義

予習内容：Future employment goals.
予習時間：45分
復習内容：Job Interviews
復習時間：45分
Students will listen and discuss about the the topic of future employment. An online activity about work will also be provided. Job interview topics will also be done.

第8回 Review of lessons 1-7

予習内容：Review of lessons 1-7 演習を含む講義
予習時間：45分
復習内容：Oral Presentation on Work Topic
復習時間：45分
Previous lessons will be reviewed for understanding. Oral presentations may also be part of the review lesson. Preparation time will be given.

第9回 Unit 15: Marriage & Family Life 演習を含む講義

予習内容：Married Life, Advantages & Disadvantages
予習時間：45分
復習内容：Future Hopes & Wishes
復習時間：45分
Students will listen and practice a conversation related to married life. Advantages and Disadvantages of married life vs. since life may be included. A handout on Future hopes and wishes will be distributed.

第10回 Unit 16: People 演習を含む講義

予習内容：Describing People
予習時間：45分
復習内容：Favorite People in Our Lives
復習時間：45分
After reviewing personality-related vocabulary, students will listen and practice a conversation about different types of people in their lives.

第11回 Unit 17: Sightseeing in Japan 演習を含む講義

予習内容：Tourism in Japan
予習時間：45分
復習内容：Landscapes Activity
復習時間：45分
The topic of tourism in japan will include listening and speaking activities. An online activity regarding, "Landscapes" will be included.

第12回 Unit 18: Holidays & Special Days 演習を含む講義

予習内容：Holidays in Japan
予習時間：45分
復習内容：International Holidays and Festivals
復習時間：45分
Students will listen to and practice explaining the topic of holidays and special festival-type days. Ceremonial days will be included.

第13回 Unit 19: Big Issues 演習を含む講義

予習内容：Vocabulary and Listening practice
予習時間：45分
復習内容：Current Big Issues
復習時間：45分
Topical information on current social issue will be presented. These topics may include politics, social and health situations as well as other situations effecting the modern world.

第14回 Unit 20: Future Plans 演習を含む講義

予習内容：Conditional Tense introduction
予習時間：45分
復習内容：Future Possibilities
復習時間：45分
Introducing and using the conditional tenses will lead into listening and practice with the future tense. Future possibilities and imaginary future events will be discussed.

第15回 Review of lessons 9-14 演習を含む講義

予習内容：Review of lessons 9-14
予習時間：45分
復習内容：SNS, the Good and the Bad
復習時間：45分
After reviewing previous lessons, an online activity involving the topic of SNS will be provided.

No formal tests will be given. Grades will be assessed on an ongoing basis.

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**オーラルスキル（英語）２**						
英文名 ：	Oral Skills (English) 2						
担当者 ：	ヤング　ユーリ						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】金曜2限　　食品安全工学科開講科目						

■授業概要

This is a second semester general English course for intermediate non-English majors. This course will focus on developing vocabulary, along with the four skills of reading, listening, speaking, and writing under a general communication context. Topics will be taken mostly from the textbook, but will include occasional conversation and cultural handouts in class to promote global awareness and global communication. You are also encouraged to use Language Space and participate in language activities there.

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

英語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

Learn new vocabulary, language structures, phrases, and expressions. Move beyond short simple sentences to more complex sentences. Improve in pronunciation, intonation, and stress. Begin to use English more fluently and confidently. Understand some basic differences betwen formal and informal language. Interact with other students in English

この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

Two tests (テスト) 40%
Homework, classroom activities, classroom conversations, group discussions（宿題、授業の練習、会話練習） 40%
Classroom attitude and participation 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

We will review and do exercises together in class.

■教科書

[ISBN] 9784990974145 『The English Gym with Digital Workbook』（Oak Hills Press）Jon Charles

■参考文献

【留意事項】You are expected to take notes in a course notebook and to bring your textbook to every class.

■関連科目

Oral Skills (English) 1

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

2号館2階254（講師控室）　yulieyang@waka.kindai.ac.jp

■**オフィスアワー**

当該科目開講時限の前後休憩時間

■**授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間**

第1回 Unit 11 Summer vacation & Review （講義、演習）

予習内容：Attend class
復習内容：Lesson review and homework
復習時間：20分
Unit 11 Talk about summer vacation and review

第2回 City Life （講義、演習）

予習内容：Lesson preview Places in a
neighborhood
train station, coffee shop
予習時間：20分
復習内容：Lesson review and homework
復習時間：20分
Unit 7 Lesson A: Big Cities

第3回 City Life （講義、演習）

予習内容：Lesson preview What’s your city like?
rush hour, pollution
予習時間：20分
復習内容：Lesson review and homework
復習時間：20分
Unit 12 Family and Home
Lesson B: My neighborhood

第4回 All about you （講義、演習）

予習内容：Lesson preview Sports and activities
swimming, tennis, surfing
予習時間：20分
復習内容：Lesson review and homework
復習時間：20分
Unit 14 Work
All about you Lesson A: Sports

第5回 All about you （講義、演習）

予習内容：Lesson preview Personality traits
organized, messy,
talkative, reserved
予習時間：20分
復習内容：Lesson review and homework
復習時間：20分
All about you Lesson B: Personality
Unit 12 Family and Home
Unit 15 Marriage and Family Life

第6回 Change （講義、演習）

予習内容：Lesson preview Life changes
lose / find a job, be in
good / bad shape
予習時間：20分
復習内容：Lesson review and homework
復習時間：20分
Unit 12 Family and Home
Unit 15 Marriage and Family Life
Change Lesson A: Habits

第7回 People and Goals （講義、演習）

予習内容：Lesson preview After graduation

goal, get ready, take
it easy
予習時間：20分
復習内容：Lesson review and homework
復習時間：20分
Change Lesson B: Goals

第8回 Test #1 units 11-15

予習内容：Lesson preview
予習時間：20分
復習内容：Study for test #1 and do the homework
復習時間：60分
Review and test #1 Units 11-15

第9回 Health （講義、演習）

予習内容：Lesson preview Our bodies
arm, back, shoulder,
head
予習時間：20分
復習内容：Lesson review and homework
復習時間：20分
Health Lesson A: The body

第10回 Unit 17 Sightseeing in Japan （講義、演習）

予習内容：Lesson preview I’m stressed.
deal with, reduce,
take time
予習時間：20分
復習内容：Lesson review and homework
復習時間：20分
Health Lesson B: Stress
Describing places and activities to do there

第11回 Unit 18 Holidays and Special Days （講義、演習）

予習内容：Lesson preview Abilities
talented, success, ability
予習時間：20分
復習内容：Lesson review and homework
復習時間：20分
Halloween
Thanksgiving
Christmas

第12回 Unit 19 Big issues Future Plans and Achievement （講義、演習）

予習内容：Lesson preview Risk-takers
adventurous, challenge,
take a chance, curious
予習時間：20分
復習内容：Lesson review and homework
復習時間：20分
Big issues Future Plans and Achievement

第13回 Unit 20 The future （講義、演習）
At the movies

予習内容：Lesson preview Types of movies
action (movie), drama,
horror film
予習時間：20分
復習内容：Lesson review and homework
復習時間：20分
At the movies Lesson A: Type of movies
New Year's and New Year's Resolution

第14回 At the movies （講義、演習）

予習内容：Lesson preview
Review a movie!
hilarious, depressing,
sweet, scary
予習時間：20分
復習内容：Lesson review and homework
復習時間：20分
Movie Reviews

第15回 Test #2 Units 16-20

予習内容：Study for test #2 and do the homework
予習時間：60分
復習内容：None.
Review and test #2 Units 16-20

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**オーラルスキル（英語）２**						
英文名　：	Oral Skills (English) 2						
担当者　：	ロバート　ガリティ						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】金曜2限　　食品安全工学科開講科目						

■授業概要

高校卒業までに身に付けた英語力を基盤として、オールイングリッシュの授業を受講することで、聞く・話すという英語のオーラルスキルの習得を目指した授業を行う。大学入学時までに、英語での発話・聴解場面の経験が多くない学生に対しても無理のない授業となるように、分かり易い身近な素材を使った授業を行う。受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がける。

This English conversation course will build student confidence and improve overall English speaking and listening proficiency through enjoyable in-class activities. Moreover, this course will provide the proper foundation for future English study. Also, we will try to make effective use of the language space during the course.

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

英語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「オーラルスキル１」と合わせて、以下の目標に到達できるようにする。会話場面において、基本的な語彙を使用した文レベルの発話が聞き取れるようになる。自分の意思を、文法的なミスはあっても伝えることができるようになる。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

Coursework, Homework, Quizzes 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間に答案（写し）を返却します。

■教科書

[ISBN]9789620056659 『Fifty-fifty: A speaking and listening course, Book 1, Third Edition』(Warren Wilson and Roger Barnard, Pearson ELT: 2007)

■参考文献

Nothing

■関連科目

オーラルスキル１

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室(2号館2階)・rjagarrity@kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

Each unit of the textbook will be supplemented by activities and group work connected to the current topic or theme.

第1回 Introduction to class, Talking about Summer Vacation （授業形式：講義と演習を含む講義）

予習内容：Read the syllabus and check
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Explanation of course responsibilities. Review of clarification language. Discussing what one did during the summer vacation.

第2回 Describing People （授業形式：講義と演習を含む講義）

予習内容：Think about and practice identifying people based on physical features
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Identifying people based on physical features

第3回 Family （授業形式：講義と演習を含む講義）

予習内容：Think about and practice asking for and giving information about one's family and describing the personality of individual family members.
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Asking for and giving information about one's family and describing the personality of individual family members.

第4回 Shopping （授業形式：講義と演習を含む講義）

予習内容：Think about and practice describing clothing, electronics, and personal items. Questioning a shop clerk. Buying and selling items. Discussing preferences.
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Describing clothing, electronics, and personal items. Questioning a shop clerk. Buying and selling items. Discussing preferences.

第5回 Music （授業形式：講義と演習を含む講義）

予習内容：Think about and practice talking about one's musical history and preference, giving opinions about music.
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Talking about one's musical history and preference. Giving opinions about music.

第6回 Hobbies and interests （授業形式：講義と演習を含む講義）

予習内容：Think about and practice discussing free time activities
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Discussing free time activities

第7回 Review of Weeks 1-6 （授業形式：講義）

予習内容：Review of the topics covered in the first six weeks of the course.
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
A complete review of the topics covered in the first six weeks of the course.

第8回 Likes and dislikes （授業形式：講義と演習を含む講義）

予習内容：Think about and practice discussing and comparing with others one's preferences, talking about favorite things.
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language

復習時間：30分
Discussing and comparing with others one's preferences. Talking about favorite things.

第9回 The Future （授業形式：講義と演習を含む講義）

予習内容：Think about and practice asking about and giving information about one's future plans and activities, making predictions about the future.
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Asking about and giving information about one's future plans and activities. Making predictions about the future.

第10回 The Past （授業形式：講義と演習を含む講義）

予習内容：Think about and practice discussing important life events and past activities, talking about weekends
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Discussing important life events and past activities, talking about weekends

第11回 Restaurants and Food （授業形式：講義と演習を含む講義）

予習内容：Think about and practice ordering a meal at a restaurant, comparing and describing western and Japanese food
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Ordering a meal at a restaurant, comparing and describing western and Japanese food

第12回 Japanese culture and places （授業形式：講義）

予習内容：Think about and practice describing Japanese things, talking about culture and places in Japan, especially one's hometown, describing and comparing Japanese prefectures.
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Describing Japanese things. Talking about culture and places in Japan, especially one's hometown. Describing and comparing Japanese prefectures.

第13回 Discussing holidays （授業形式：講義と演習を含む講義）

予習内容：Think about and practice talking about the differences of holidays between the United States and Japan, discussing one's New Year's plans.
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Talking about the differences of holidays between the United States and Japan. Discussing one's New Year's plans.

第14回 Talking about future English study （授業形式：講義）

予習内容：Think about and practice discussing ways on how to improve one's English in the future and its benefits.
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Discussing ways on how to improve one's English in the future and its benefits.

第15回 Review of Weeks 7-13 （授業形式：講義）

予習内容：Review of the topics covered in weeks 7-13 of the course.
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
A complete review of the topics covered in weeks 7-13 of the course.

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**オーラルスキル（英語）２〈再履修〉**						
英文名　：	Oral Skills (English) 2						
担当者　：	パトリック　ポーレン						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：							

■授業概要

高校卒業までに身に付けた英語力を基盤として、オールイングリッシュの授業を受講することで、聞く・話すという英語のオーラルスキルの習得を目指した授業を行う。大学入学時までに、英語での発話・聴解場面の経験が多くない学生に対しても無理のない授業となるように、分かり易い身近な素材を使った授業を行う。受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がける。

This English conversation course will build student confidence and improve overall English speaking and listening proficiency through enjoyable in-class activities. Moreover, this course will provide the proper foundation for future English study. Also, we will try to make effective use of the language space during the course.

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

英語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「オーラルスキル１」と合わせて、以下の目標に到達できるようにする。会話場面において、基本的な語彙を使用した文レベルの発話が聞き取れるようになる。自分の意思を、文法的なミスはあっても伝えることができるようになる。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

Coursework 40%
Homework 30%
Quizzes 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間に答案（写し）を返却します。

■教科書

[ISBN]9789620056659 『Fifty-fifty: A speaking and listening course, Book 1, Third Edition』(Warren Wilson and Roger Barnard, Pearson ELT: 2007)

■参考文献

Nothing

■関連科目

オーラルスキル１

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室(2号館2階)・patoric@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

Each unit of the textbook will be supplemented by activities and group work connected to the current topic or theme.

第1回 Introduction to class, Talking about Summer Vacation （授業形式：演習）

予習内容：Read the syllabus and check
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Explanation of course responsibilities. Review of clarification language. Discussing what one did during the summer vacation.

第2回 Describing People （授業形式：演習）

予習内容：Think about and practice identifying people based on physical features
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Identifying people based on physical features

第3回 Family （授業形式：演習）

予習内容：Think about and practice asking for and giving information about one's family and describing the personality of individual family members.
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Asking for and giving information about one's family and describing the personality of individual family members.

第4回 Shopping （授業形式：演習）

予習内容：Think about and practice describing clothing, electronics, and personal items. Questioning a shop clerk. Buying and selling items. Discussing preferences.
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Describing clothing, electronics, and personal items. Questioning a shop clerk. Buying and selling items. Discussing preferences.

第5回 Music （授業形式：演習）

予習内容：Think about and practice talking about one's musical history and preference, giving opinions about music.
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Talking about one's musical history and preference. Giving opinions about music.

第6回 Hobbies and interests （授業形式：演習）

予習内容：Think about and practice discussing free time activities
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Discussing free time activities

第7回 Review of Weeks 1-6 （授業形式：演習）

予習内容：Review of the topics covered in the first six weeks of the course.
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
A complete review of the topics covered in the first six weeks of the course.

第8回 Likes and dislikes （授業形式：演習）

予習内容：Think about and practice discussing and comparing with others one's preferences, talking about favorite

things.
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Discussing and comparing with others one's preferences. Talking about favorite things.

第9回 The Future （授業形式：演習）

予習内容：Think about and practice asking about and giving information about one's future plans and activities, making predictions about the future.
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Asking about and giving information about one's future plans and activities. Making predictions about the future.

第10回 The Past （授業形式：演習）

予習内容：Think about and practice discussing important life events and past activities, talking about weekends
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Discussing important life events and past activities, talking about weekends

第11回 Restaurants and Food （授業形式：演習）

予習内容：Think about and practice ordering a meal at a restaurant, comparing and describing western and Japanese food
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Ordering a meal at a restaurant, comparing and describing western and Japanese food

第12回 Japanese culture and places （授業形式：演習）

予習内容：Think about and practice describing Japanese things, talking about culture and places in Japan, especially one's hometown, describing and comparing Japanese prefectures.
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Describing Japanese things. Talking about culture and places in Japan, especially one's hometown. Describing and comparing Japanese prefectures.

第13回 Discussing holidays （授業形式：演習）

予習内容：Think about and practice talking about the differences of holidays between the United States and Japan, discussing one's New Year's plans.
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Talking about the differences of holidays between the United States and Japan. Discussing one's New Year's plans.

第14回 Talking about future English study （授業形式：演習）

予習内容：Think about and practice discussing ways on how to improve one's English in the future and its benefits.
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
Discussing ways on how to improve one's English in the future and its benefits.

第15回 Review of Weeks 7-13 （授業形式：演習）

予習内容：Review of the topics covered in weeks 7-13 of the course.
予習時間：30分
復習内容：Check the vocabulary; try to memorize and learn any unknown language
復習時間：30分
A complete review of the topics covered in weeks 7-13 of the course.

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**オーラルスキル（英語）２〈再履修〉**						
英文名　：	Oral Skills (English) 2						
担当者　：	ヤング　ユーリ						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：							

■授業概要

This course will focus on the fundamentals of English speaking: grammar, pronunciation and intonation, as well as vocabulary. We will focus on learning new words, how to say them, and how to use them properly in a sentence to express your opinion.Students are also strongly encouraged to attend Language Space and participate in activities there.

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

英語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

By the end of the course, you will be able to
read a short passage with appropriate pronunciation, intonation and phrasing
have learned be able to correctly use the different forms of words (e.g. quick v. quickly, fun v. funny)
have a short conversation in English
be able to communicate your opinion

この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

Participation / 平常点 20%
Assignments/ 課題 20%
Two tests / テスト 40%
Classwork / クラスワーク 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

There will be two in class tests.

There will be weekly assignments, including classwork and homework.

Absences will negatively impact the participation grade. Group/pair work are important parts of this course. In consideration of your peers, coming to class 30+ minutes late will constitute an absence. If you are absent for more than 3 classes, you should meet with the instructor to discuss your situation. Students absent from six or more classes will not be able to receive credit for the course.
欠席は、 平常点に悪影響を与えます。グループとペアワークはこのコースの重要な部分であり、30分以上遅れた場合は欠席となります。3回以上欠席している場合は、インストラクターに会い、あなたの状況について話し合う必要があります。6回以上欠席している場合はコースの単位を取得できません。

■教科書

[ISBN]9784523179351 『Answers to Everyday Questions 2 Pre-Intermediate』 (南雲堂)

■参考文献

A good English-Japanese, Japanese-English Dictionary
英和ー和英・英和ー和英電子辞書

■関連科目

オーラルスキル１〈再履修〉

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

2号館2階254（講師控室）・yulieyang@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

please contact your instructor to arrange a meeting
インストラクターに連絡して相談を手配してください。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

Classes will focus on learning and practicing specific vocabulary and target language.
Students will regularly engage in pair and small group activities including conversation practice, interviews and project-based tasks.
Periodic tests will be given to support and measure learning goals
予習内容：Preview Vocabulary and target language
Homework
予習時間：420分
復習内容：Review lesson material and prepare for tests
Assignments
復習時間：480分

第1回 Orientation / Introduction to the course （講義、演習）
Self Introductions
FAQ's
復習内容：Review schedule and review material presented in class.
復習時間：30分
Information regarding the course, schedule, expected outcomes, required material and classroom activities will be discussed.
We will also practice greetings and introducing yourself, including information about your background (profession, course of study, hometown etc.)
We will also look at the basic structure of the chapters and instruction will be given how to study and prepare for classes.

第2回 Black Friday （講義、演習）
予習内容：Preview unit and vocabulary
予習時間：30分
復習内容：Review material presented in class and reflect on learning.
復習時間：30分
We will read and talk about one of the biggest sale days in America (similar to the 福袋 End of Year Sales in Japan).
We will also look at how digital culture has helped make Black Friday spread around the world.
In this unit, we will also review basic verb forms and how to use them.
At the end of this class, we will put all we have learned together to discuss different kinds of shopping that have recently become popular in Japan.

第3回 Leap Years （講義、演習）
予習内容：Preview unit and vocabulary
予習時間：30分
復習内容：Review material presented in class and reflect on learning.
復習時間：30分
Every few years, the calendar changes. We will read about and discuss the reasons for this change.
We will also look at the different future forms of verbs in English and practice using them correctly to talk about plans.

At the end of the unit, we will use what we have learned to talk about schedules and global calendars.

第4回 Red Carpets （講義、演習）

予習内容：Preview unit and vocabulary
予習時間：30分
復習内容：Review essential vocabulary and phrases presented in class and reflect on learning.
復習時間：30分
A red carpet is common at many important events around the world. In this unit, we will read about and discuss the origins and meaning of the red carpet.
We will also review how to use the present perfect form to talk about recent events.
At the end of the unit, we will put what we have learned together to discuss movies and animation.

第5回 Mouthwash （講義、演習）

予習内容：Preview unit and vocabulary.
予習時間：30分
復習内容：Review material presented in class and reflect on learning.
復習時間：30分
These days, mouthwash is a commonly used item. We will read about and discuss the origins of mouthwash and examine how the ingredients of mouthwash has changed over the years.
We will also practice how to use the passive form in English to talk about facts.
At the end of the unit, we will put what we have learned together to discuss health.

第6回 Vikings （講義、演習）

予習内容：Preview unit and vocabulary.
予習時間：30分
復習内容：Reflect and report on your presentation (assignment)
復習時間：60分
People all over the world love food. There are many kinds of dishes. One of the most popular kinds of meals is a "buffet." We will read about and discuss the history of buffets and why Japanese people often use the term "viking."
We will also practice how to use "there is" and "there are" to talk about characteristics of a place.
At the end of the unit, we will use what we have learned to discuss issues like food waste and the profitability of buffet restaurants.

第7回 Oranges （講義、演習）

予習内容：Preview unit and vocabulary.
予習時間：30分
復習内容：Review material presented in class and reflect on learning.
復習時間：30分
Which came first, the orange fruit or the orange color? In this unit we will read about and discuss this question.
We will also practice using articles (a/an/the).
At the end of the unit, we will use what we have learned to discuss the pros and cons of buying organic produce.

第8回 Vaseline （講義、演習）

予習内容：Preview unit and vocabulary.
予習時間：30分
復習内容：Review material presented in class and reflect on learning.
復習時間：30分
Vaseline is a common ingredient in many health items today. In this class, we will read about and discuss the origins of this beneficial ingredient.
We will also practice using countable and uncountable nouns.
At the end of the unit, we will use what we have learned to discuss the growing consumption of junk food.

第9回 Test #1

予習内容：Preview material covered in the review unit.
予習時間：30分
復習内容：Review material presented in class and reflect on learning.
復習時間：30分
Take test #1

Flamingos. Nature is amazing. Some of the most vibrant colors in nature come from the strangest things. In this unit, we will read about and discuss what give flamingos their unique pink color.
We will also look at the differences and how to use adjectives and adverbs.

At the end of the unit, we will use what we have learned to discuss what we can do to help threatened and endangered species.

第10回 Movies （講義、演習）

予習内容：Preview material covered in the review unit.
予習時間：30分
復習内容：Review material presented in class and reflect on learning.
復習時間：30分
Movies can be complicated. In fact, there are many factors that make a movie successful. One of these is marketing. In this unit, we will look at how movie trailers have been used to help movies be successful.
We will also practice using the "comparative form" of adjectives to compare different objects.
At the end of the unit, we will use what we have learned to discuss the use of CGI in movies.

第11回 Bubble Wrap （講義、演習）

予習内容：Preview material covered in the review unit.
予習時間：30分
復習内容：Review material presented in class and reflect on learning.
復習時間：30分
Many packages are often packages in different material to protect them. One of the most common material is bubble wrap. In this unit, we will read about and discuss the interesting history of bubble wrap and why it was first invented.
We will also look at the differences between and how to use infinitives and gerunds.
At the end of the unit, we will use what we have learned to discuss the rise of 3D printing.

第12回 Billiards （講義、演習）

予習内容：Preview material covered in the review unit.
予習時間：30分
復習内容：Review material presented in class and reflect on learning.
復習時間：30分
Many sports have a long and interesting history. So do many hobbies. In this class, we will read about and discuss the long history of billiards.
We will also learn about and practicing using "joining words", such as conjunctions and prepositions.
At the end of the unit, we will use what we have learned to discuss hobbies and increasing popularity of traditional activities.

第13回 Film （講義、演習）

予習内容：Preview material covered in the review unit.
予習時間：30分
復習内容：Review material presented in class and reflect on learning.
復習時間：30分
Like every other industry, movie making has its own special vocabulary. However, movies are so popular that many of these technical terms are often used in everyday conversation. We will read about and discuss some of those terms.
We will also look at the differences between and practice using "direct" and "indirect speech".
At the end of the unit, we will use what we have learned to talk about our favorite movies and celebrities.

第14回 Social Media （講義、演習）

予習内容：Preview material covered in the review unit.
予習時間：30分
復習内容：Reflect and report on your presentation (assignment)
復習時間：60分
In this unit, we will look at the deliberate design language of some of the world's most popular social messaging applications.
We will also look at using participles to improve the sentences we use every day.
At the end of the unit, we will discuss the benefits and advantages of online dating services.

第15回 Student Feedback
Test #2

予習内容：Review course material
予習時間：30分
In this unit, we will wrap up what we have been learning. We will reflect on the challenges we have had throughout the course and how we overcame them.
You will have the opportunity to provide feedback about the course and about your learning.
Your instructor will also provide feedback and answer questions about your development.

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 ：	**オーラルスキル（英語）３**						
英文名 ：	Oral Skills (English) 3						
担当者 ：	ジョン　ドゥデジアン						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】木曜4限　　食品安全工学科開講科目						

■授業概要

A communicative language teaching approach will be used in this class. Students will be encouraged to actively participate in class. Pair work and small group activities will be featured to increase opportunities for communication.

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

英語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

This course aims to develop English communication skills for learners studying science and technology. It will cover the fundamental language and skills necessary to communicate basic information in scientific and technological settings.

Students are expected to:
> cooperate
> concentrate
> make a strong effort
> be on time
> bring all necessary classroom materials including a Japanese-English dictionary
> bring and maintain a notebook
> record and look up any unknown vocabulary items
> return all homework assignments on time
> be responsible for completing all coursework in the event they are absent

By the end of the course, students will have:
> acquired basic expressions and related vocabulary useful for science and technology
> acquired basic grammar necessary for science and technology
> acquired basic listening and speaking skills necessary for communication

この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

Coursework 35%
Presentations/Quizzes/Tests 40%
Active Participation 25%

■試験・課題に対するフィードバック方法

For security purposes, tests and quizzes are generally not returned to students. However, results are available by private consultation before, during and after class.

■教科書

Technical English Level 1 Course Book and eBook 2nd Edition, David Bonamy, [ISBN]9781292424460

■参考文献

None

■関連科目

Oral Skills 4

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・john4649@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

該当科目開講時の前後休憩時間とします.
By appointment.

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Course Orientation
***Subject to change to satisfy course objectives**
予習内容：Purchase textbook. Bring textbook and writing materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Course guidelines and syllabus/Conversation review and practice

第2回 Basic Technical Concepts
***Subject to change to satisfy course objectives**
予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Meeting and greeting people/Following instructions

第3回 Basic Technical Concepts
***Subject to change to satisfy course objectives**
予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Exchanging information/Completing forms

第4回 Basic Technical Concepts/Parts and Tools (1)
***Subject to change to satisfy course objectives**
予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Using numerical information/Identifying parts

第5回 Parts and Tools (1)
***Subject to change to satisfy course objectives**

予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Using checklists/Using an instruction manual

第6回 Parts and Tools (1)
***Subject to change to satisfy course objectives**

予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Using voicemail/Ordering by phone

第7回 Parts and Tools (2)
***Subject to change to satisfy course objectives**

予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Describing tools/Describing components

第8回 Parts and Tools (2)
***Subject to change to satisfy course objectives**

予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Saying what things do/Describing a product

第9回 Movement
***Subject to change to satisfy course objectives**

予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Describing direction/Using an instruction manual

第10回 Movement
***Subject to change to satisfy course objectives**

予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分

復習内容 : Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間 : 30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Giving and following instructions/Explaining results

第11回 Heating Flow
***Subject to change to satisfy course objectives**

予習内容 : Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間 : 30分
復習内容 : Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間 : 30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Explaining fluid movement/Using a flowchart

第12回 Electrical and Cooling Flow
***Subject to change to satisfy course objectives**

予習内容 : Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間 : 30分
復習内容 : Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間 : 30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Explaining electrical circuits/Describing every day routines

第13回 Materials
***Subject to change to satisfy course objectives**

予習内容 : Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間 : 30分
復習内容 : Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間 : 30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Giving a demonstration/Explaining what you are doing

第14回 Materials
***Subject to change to satisfy course objectives**

予習内容 : Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間 : 30分
復習内容 : Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間 : 30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Describing properties of materials/Making a phone call

第15回 Materials
***Subject to change to satisfy course objectives**

予習内容 : Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間 : 30分
復習内容 : Check for any correspondence from the teacher regarding missing coursework. Help any classmates who were absent.
復習時間 : 30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Receiving a phone call/Buying and selling by phone

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**オーラルスキル（英語）３**						
英文名　：	Oral Skills (English) 3						
担当者　：	トレント　スプリグス						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】木曜4限　　食品安全工学科開講科目						

■授業概要

「オーラルスキル１・２」で身に付けた英語のオーラルスキルを基盤として、将来の英語使用場面（学会発表等）を見据えた形での、実際的な英語発話訓練を行う。具体的には、プレゼンテーション、質疑応答等が出来るように、基本語彙・表現を身に付け、使えるようにする。「オーラルスキル１・２」で身に付けた英語のオーラルスキルを基盤として、将来の英語使用場面（学会発表等）を見据えた形での、実際的な英語発話訓練を行う。具体的には、プレゼンテーション、質疑応答等が出来るように、基本語彙・表現を身に付け、使えるようにする。
受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がける。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

英語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「オーラルスキル４」とともに、学術場面（学会発表）等で使用する語彙・構文について、発話出来るレベルで習得する。プレゼンテーション・質疑応答の際に必要な、談話（段落レベルの発話）を組み立てる力を習得する。この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

Speaking project 30%
Group project 30%
Presentation 30%
Participation 10%

■試験・課題に対するフィードバック方法

Speak during class.

■教科書

[ISBN]9781413020533 『English for Science and Engineering Text (106 pp) (Professional English)』 (Williams, Ivor, センゲージ・ラーニング：2006)

■参考文献

None.

■関連科目

Oral Skills (English) 4

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

2号館2階254（講師控室）・trentspriggs@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Orientation（授業形式：講義）

予習内容：Not applicable.
復習内容：None.
Students will receive an overview of the course, and be oriented for oral skills.

第2回 Design and Testing（授業形式：講義）

予習内容：1.2 Design and Testing
予習時間：15分
復習内容：1.2 Design and Testing
復習時間：15分
Design and Testing will be studied.

第3回 Design and Testing (Continued)（授業形式：講義）

予習内容：Wind Power, 1.2
予習時間：15分
復習内容：Wind Power, 1.2
復習時間：15分
Design and Testing will be studied.

第4回 Chapter Project 1（授業形式：講義）

予習内容：Design and Testing 1.2 Summary
予習時間：10分
復習内容：Design and Testing, 1.2 Summary
復習時間：10分
Students will complete the chapter project.

第5回 Oral Project 1（授業形式：講義）

予習内容：Q & A.
予習時間：15分
復習内容：Q & A.
復習時間：15分
Students will complete a speaking project.

第6回 Research and Development（授業形式：講義）

予習内容：Research and Development 2.4
予習時間：15分
復習内容：Wind Turbines, 2.4
復習時間：15分
Research and Development will be studied.

第7回 Research and Development (Continued)（授業形式：講義）

予習内容：Research and Development, 2.4
予習時間：15分
復習内容：Research and Development, 2.4
復習時間：15分
Research and Development will be studied.

第8回 Chapter Project 2（授業形式：講義）

予習内容：Research and Development, 2.4 Summary
予習時間：10分
復習内容：Research and Development, 2.4 Summary
復習時間：10分
Students will complete the chapter project.

第9回 Oral Project 2（授業形式：講義）

予習内容：Conversation practice.
予習時間：15分
復習内容：Conversation practice.

復習時間：15分
Students will complete a speaking project.

第10回 Survey Project Overview and Part 1（授業形式：講義）

予習内容：Survey Project Overview and Part 1
予習時間：15分
復習内容：Survey Project Overview and Part 1
復習時間：15分
Students will take a survey.

第11回 Survey Project (Part 2)（授業形式：講義）

予習内容：Survey Project (Part 2)
予習時間：15分
復習内容：Survey Project (Part 2)
復習時間：15分
The class will take a survey.

第12回 Survey Project (Part 3)（授業形式：講義）

予習内容：Survey Project (Part 3)
予習時間：15分
復習内容：Survey Project (Part 3)
復習時間：15分
Students will write surveys.

第13回 Survey Project (Part 3 Continued)（授業形式：講義）

予習内容：Students will analyze surveys.
予習時間：15分
復習内容：Students will analyze surveys.
復習時間：60分
Students will analyze surveys.

第14回 Presentations（授業形式：講義）

予習内容：Practice
予習時間：15分
復習内容：Reflect
復習時間：15分
Students will give presentations.

第15回 Review（授業形式：講義）

予習内容：None
復習内容：Think in English.
A lifetime. The course will be fully reviewed. The students will be canvassed for feedback.

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**オーラルスキル（英語）３**						
英文名　：	Oral Skills (English) 3						
担当者　：	フランクリン　レインボウ						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】木曜4限　　食品安全工学科開講科目						

■授業概要

This content-based course is designed for students to develop their English skills in listening, reading, speaking, and vocabulary.
受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がける

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

英語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

Students will learn the core language and skills they need to communicate successfully in technical and scientific specializations.
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

Participation 15%
Unit Quizzes 30%
In-class Test 35%
Weekly Homework 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

Feedback will be given after unit quizzes and the final exam.

■教科書

タイトル：Technical English Level 1 Course Book and eBook 2nd Edition
[ISBN]9781292424460
出版社：Pearson Longman
本体価￥2,900

■参考文献

None.

■関連科目

Oral Skills 4

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・rayfranklin@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

該当科目開講時の前後休憩時間とします.
By appointment.

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

The textbook contains 12 units: The first semester will cover units 1-6, and the second semester will cover units 7-12. Each unit will take two lessons, and will finish with an oral quiz. Each unit will contain exercises in listening, reading, and speaking, as well as practice in pronunciation, intonation, and fluency.
予習内容 : Do the assigned homework.
予習時間 : 15分
復習内容 : Review the lesson.
復習時間 : 10分

第1回 Course Introduction (授業形式 : 演習を含む講義)

予習内容 : Buy the textbook.
予習時間 : 5分
復習内容 : Review and preview.
復習時間 : 10分
Explanation of the course.

第2回 Unit 1 : Check-up (授業形式 : 演習を含む講義)

予習内容 : Do the assigned homework.
予習時間 : 15分
復習内容 : Review and preview.
復習時間 : 10分
Unit 1-1: pgs. 4-6
1.1) Basics
1.2) Letters and numbers

第3回 Unit 1 : Check-up (授業形式 : 演習を含む講義)

予習内容 : Do the assigned homework.
予習時間 : 15分
復習内容 : Review and preview.
復習時間 : 10分
Unit 1-2: pgs. 7-9
1.3) Dates and times
U. 1 Quiz

第4回 Unit 2: Parts (1) (授業形式 : 演習を含む講義)

予習内容 : Do the assigned homework.
予習時間 : 15分
復習内容 : Review and preview.
復習時間 : 10分
Unit 2-1: pgs. 10-12
2.1) Naming
2.2) Assembling

第5回 Unit 2: Parts (1) (授業形式 : 演習を含む講義)

予習内容 : Do the assigned homework.
予習時間 : 15分
復習内容 : Review and preview.
復習時間 : 10分
Unit 2-2: pgs. 13-15
2.3) Ordering
U. 2 Quiz

第6回 Unit 3: Parts (2) (授業形式 : 演習を含む講義)

予習内容 : Do the assigned homework.
予習時間 : 15分
復習内容 : Review and preview.
復習時間 : 10分
Unit 3-1: pgs. 20-22
3.1) Tools

3.2) Functions

第7回　Unit 3: Parts (2) (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：Do the assigned homework.
予習時間：15分
復習内容：Review and preview.
復習時間：10分
Unit 3-2: pgs.23-25
3.3) Locations
U. 3 Quiz

第8回　Unit 4: Movement (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：Do the assigned homework.
予習時間：15分
復習内容：Review and preview.
復習時間：10分
Unit 4-1: pgs.26-28
4.1) Directions
4.2) Instructions

第9回　Unit 4: Movement (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：Do the assigned homework.
予習時間：15分
復習内容：Review and preview.
復習時間：10分
Unit 4-2: pgs.29-31
4.3) Actions
U. 4 Quiz

第10回　Unit 5: Flow (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：Do the assigned homework.
予習時間：15分
復習内容：Review and preview.
復習時間：10分
Unit 5-1: pgs. 36-38
5.1) Heating system
5.2) Electrical circuit

第11回　Unit 5: Flow (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：Do the assigned homework.
予習時間：15分
復習内容：Review and preview.
復習時間：10分
Unit 5-2: pgs. 39-41
5.3) Cooling system
U. 5 Quiz

第12回　Unit 6: Materials (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：Do the assigned homework.
予習時間：15分
復習内容：Review and preview.
復習時間：10分
Unit 6-1: pgs. 42-44
6.1) Materials testing
6.2) Properties

第13回　Culture Lesson (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：Do the assigned homework.
予習時間：15分
復習内容：Review and preview.
復習時間：10分
USA Lesson

第14回 Unit 6: Materials (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：Do the assigned homework.
予習時間：15分
復習内容：Review and preview.
復習時間：10分
Unit 6-2: 45-47
6.3) Buying
U. 6 Quiz

第15回 Test Review (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：Do the assigned homework.
予習時間：15分
復習内容：Review and prepare for the test.
復習時間：60分
Test Review

Final Exam

Test U. 1-6

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**オーラルスキル（英語）３〈再履修〉**						
英文名　：	Oral Skills (English) 3						
担当者　：	ジョン　ドゥデジアン						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：							

■授業概要

A communicative language teaching approach will be used in this class. Students will be encouraged to actively participate in class. Pair work and small group activities will be featured to increase opportunities for communication.

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

英語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

This course aims to foster fundamental English proficiency through which students can communicate in English. Students will learn English conversation skills necessary for various situations in daily life.

Students are expected to:
> cooperate
> concentrate
> make a strong effort
> be on time
> bring all necessary classroom materials including a Japanese-English dictionary
> bring and maintain a notebook
> record and look up any unknown vocabulary items
> return all homework assignments on time
> be responsible for completing all coursework in the event they are absent

By the end of the course, students will have:
> acquired basic expressions useful for daily life and related vocabulary
> acquired basic grammar necessary for daily conversation
> acquired basic listening and speaking skills necessary for daily communication
> learned how to facilitate the natural flow of conversation

この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

Coursework 35%
Presentations/Quizzes/Tests 40%
Active Participation 25%

■試験・課題に対するフィードバック方法

For security purposes, tests and quizzes are generally not returned to students. However, results are available by private consultation before, during and after class.

■**教科書**

[ISBN]9789620189517 Let's Talk About It

■**参考文献**

None

■**関連科目**

Oral Skills 3, Oral Skills 4, Oral Skills 3(再)

■**授業評価アンケート実施方法**

大学実施規定に準拠して行います。

■**研究室・メールアドレス**

講師控室（2号館2階）・john4649@waka.kindai.ac.jp

■**オフィスアワー**

該当科目開講時の前後休憩時間とします.
By appointment.

■**授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間**

第1回 Course Orientation
***Subject to change in order to satisfy course objectives**
予習内容：Purchase textbook. Bring textbook and writing materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Course rules and objectives/Introductory activities

第2回 Japanese Culture
***Subject to change in order to satisfy course objectives**
予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Discussing everyday Japanese customs and life/Categorizing food by types

第3回 Food
***Subject to change in order to satisfy course objectives**
予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Categorizing food by tastes and textures/Composing topic opening questions/ Discussing food in Japanese life

第4回 Food
***Subject to change in order to satisfy course objectives**
予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Describing Japanese dishes/Review of techniques for expanding answers/Creating additional topic opening questions/Discussing food in Japanese life

第5回 Entertainment

***Subject to change in order to satisfy course objectives**

予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Review of the use of follow-up questions/Forming topic opening questions/Discussing entertainment in Japanese life

第6回 Entertainment

***Subject to change in order to satisfy course objectives**

予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Interviewing classmates about entertainment preferences/Devising additional topic opening questions/Discussing entertainment in Japanese life

第7回 Music

***Subject to change in order to satisfy course objectives**

予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Categorizing music by genre/Identifying musical preferences and favorites/Initiating topic opening questions/Discussing music in Japan

第8回 Music

***Subject to change in order to satisfy course objectives**

予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Listening and identifying music by genre/Producing additional topic opening questions/Discussing music in Japan

第9回 Occupations

***Subject to change in order to satisfy course objectives**

予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Using working conditions and benefits to describe jobs/Devising additional topic opening questions/Discussing work and careers

第10回 Occupations

***Subject to change in order to satisfy course objectives**

予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Reviewing job titles/working conditions and benefits/Initiating topic opening questions/Discussing work and careers

第11回 Travel

***Subject to change in order to satisfy course objectives**

予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Identifying popular tourist destinations in Japan/Formulating topic opening questions/Discussing travel in Japan

第12回 Travel

***Subject to change in order to satisfy course objectives**

予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Creating a travel itinerary for visitors to Japan/Making additional topic opening questions/Discussing travel in Japan

第13回 Semester Review

***Subject to change in order to satisfy course objectives**

予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Review of relevant topics covered during weeks one through twelve with a focus on discussion techniques

第14回 Written examination

***Subject to change in order to satisfy course objectives**

予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Notebook review/Final review on areas of weakness

第15回 Spoken examination

***Subject to change in order to satisfy course objectives**

予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Check for any correspondence from the teacher regarding any missing coursework. Help any classmates who were absent.

復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Evaluation of ability to apply concepts taught throughout the semester

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**オーラルスキル（英語） 4**						
英文名 ：	Oral Skills (English) 4						
担当者 ：	ジョン　ドゥデジアン						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】木曜4限　　食品安全工学科開講科目						

■授業概要

A communicative language teaching approach will be used in this class. Students will be encouraged to actively participate in class. Pair work and small group activities will be featured to increase opportunities for communication.

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

英語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

This course aims to develop English communication skills for learners studying science and technology. It will cover the fundamental language and skills necessary to communicate basic information in scientific and technological settings.

Students are expected to:
> cooperate
> concentrate
> make a strong effort
> be on time
> bring all necessary classroom materials including a Japanese-English dictionary
> bring and maintain a notebook
> record and look up any unknown vocabulary items
> return all homework assignments on time
> be responsible for completing all coursework in the event they are absent

By the end of the course, students will have:
> acquired basic expressions and related vocabulary useful for science and technology
> acquired basic grammar necessary for science and technology
> acquired basic listening and speaking skills necessary for communication

この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

Coursework 35%
Presentations/Quizzes/Tests 40%
Active Participation 25%

■試験・課題に対するフィードバック方法

For security purposes,tests and quizzes are generally not returned to students. However,results are available by private consultation before, during and after class.

■**教科書**

Technical English Level 1 Course Book and eBook 2nd Edition, David Bonamy, [ISBN]9781292424460

■**参考文献**

None

■**関連科目**

Oral Skills 3

■**授業評価アンケート実施方法**

大学実施規定に準拠して行います。

■**研究室・メールアドレス**

講師控室（2号館2階）・john4649@waka.kindai.ac.jp

■**オフィスアワー**

該当科目開講時の前後休憩時間とします.
By appointment.

■**授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間**

第1回 Course Orientation
***Subject to change to satisfy course objectives**
予習内容：Purchase textbook. Bring textbook and writing materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Review of Units 1-6/Using a specifications chart

第2回 Specifications
***Subject to change to satisfy course objectives**
予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Buying materials/Using a materials checklist

第3回 Specifications
***Subject to change to satisfy course objectives**
予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Describing future plans/Using charts

第4回 Reporting
***Subject to change to satisfy course objectives**
予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Checking on progress/Reporting damage

第5回 Reporting
***Subject to change to satisfy course objectives**

予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Discussing past events/Explaining how things work

第6回 Troubleshooting
***Subject to change to satisfy course objectives**

予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Explaining what things do/Listening to automated messages

第7回 Troubleshooting
***Subject to change to satisfy course objectives**

予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Problems and solutions/Using a troubleshooting guide

第8回 Safety
***Subject to change to satisfy course objectives**

予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Giving and following warnings/Using safety signs

第9回 Safety
***Subject to change to satisfy course objectives**

予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Reporting an accident/Invitations

第10回 Cause and Effect
***Subject to change to satisfy course objectives**

予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分

復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Expressing permission/Expressing prevention

第11回 Cause and Effect
***Subject to change to satisfy course objectives**

予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Switches and relays/Explaining how a relay works

第12回 Cause and Effect
***Subject to change to satisfy course objectives**

予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Explaining how a turbine works/Making suggestions

第13回 Checking and Confirming Information
***Subject to change to satisfy course objectives**

予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Expressing approximation/Checking data

第14回 Checking and Confirming Information
***Subject to change to satisfy course objectives**

予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Following spoken instructions/Confirming actions

第15回 Checking and Confirming Information
***Subject to change to satisfy course objectives**

予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Check for any correspondence from the teacher regarding missing coursework. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Describing maintenance/Checking progress with charts

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**オーラルスキル（英語）４**						
英文名　：	Oral Skills (English) 4						
担当者　：	トレント　スプリグス						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】木曜4限　　食品安全工学科開講科目						

■授業概要

「オーラルスキル１・２」で身に付けた英語のオーラルスキルを基盤として、将来の英語使用場面（学会発表等）を見据えた形での、実際的な英語発話訓練を行う。具体的には、プレゼンテーション、質疑応答等が出来るように、基本語彙・表現を身に付け、使えるようにする。「オーラルスキル１・２」で身に付けた英語のオーラルスキルを基盤として、将来の英語使用場面（学会発表等）を見据えた形での、実際的な英語発話訓練を行う。具体的には、プレゼンテーション、質疑応答等が出来るように、基本語彙・表現を身に付け、使えるようにする。
受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がける。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

英語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「オーラルスキル３」とともに、学術場面（学会発表）等で使用する語彙・構文について、発話出来るレベルで習得する。プレゼンテーション・質疑応答の際に必要な、談話（段落レベルの発話）を組み立てる力を習得する。この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

Speaking project 30%
Group project 30%
Presentation 30%
Participation 10%

■試験・課題に対するフィードバック方法

Speak during class.

■教科書

[ISBN]9781413020533 『English for Science and Engineering Text (106 pp) (Professional English)』 (Williams, Ivor, センゲージ・ラーニング：2006)

■参考文献

None.

■関連科目

Oral Skills (English) 3

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

2号館2階254（講師控室）・trentspriggs@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Orientation（授業形式：講義）

予習内容：Not applicable.
復習内容：None.
Students will receive an overview of the course, and be oriented for oral skills.

第2回 Design and Testing 1.1（授業形式：講義）

予習内容：Wi-fi 1.1
予習時間：15分
復習内容：D&T 1.1
復習時間：15分
D&T will be studied.

第3回 D&T (Continued)（授業形式：講義）

予習内容：D&T 1.1
予習時間：15分
復習内容：D&T 1.1
復習時間：15分
D&T will be studied.

第4回 Chapter Project 1（授業形式：講義）

予習内容：D&T, Summary
予習時間：10分
復習内容：D&T, Summary
復習時間：10分
Students will complete the chapter project.

第5回 Oral Project 3（授業形式：講義）

予習内容：Q & A.
予習時間：15分
復習内容：Q & A.
復習時間：15分
Students will complete a speaking project.

第6回 Ｉ Quality Control 2.9（授業形式：講義）

予習内容：Quality Control, 2.9
予習時間：15分
復習内容：Quality Control, 2.9
復習時間：15分
Quality Control will be studied.

第7回 QC (Continued)（授業形式：講義）

予習内容：QC, 2.9
予習時間：15分
復習内容：QC, 2.9
復習時間：15分
QC will be studied.

第8回 Chapter Project 2（授業形式：講義）

予習内容：QC 2.9 Summary
予習時間：10分
復習内容：QC, 2.9 Summary
復習時間：10分
Students will complete the chapter project.

第9回 Oral Project 4（授業形式：講義）

予習内容：Essay practice.
予習時間：15分
復習内容：Essay practice.

復習時間：60分
Students will complete a speaking project.

第10回 Presentation Project Overview and Part 1（授業形式：講義）

予習内容：Presentation Project Overview and Part 1
予習時間：15分
復習内容：Presentation Project Overview and Part 1
復習時間：15分
Students will prepare a presentation.

第11回 Presentation Project (Part 2)（授業形式：講義）

予習内容：Presentation Project (Part 2)
予習時間：15分
復習内容：Presentation Project (Part 2)
復習時間：15分
The class will prepare a presentation.

第12回 Presentation Project (Part 3)（授業形式：講義）

予習内容：Presentation Project (Part 3)
予習時間：15分
復習内容：Presentation Project (Part 3)
復習時間：15分
Students will write presentations.

第13回 Survey Project (Part 4)（授業形式：講義）

予習内容：Presentations.
予習時間：15分
復習内容：Presentations.
復習時間：10分
Students will give presentations.

第14回 Speaking practice（授業形式：講義）

予習内容：Q & A
予習時間：15分
復習内容：Q & A
復習時間：15分
Students will practice speaking English for next year's job interviews.

第15回 Review（授業形式：講義）

予習内容：None
Think in English.　A lifetime. The course will be fully reviewed. The students will be canvassed for feedback.

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**オーラルスキル（英語） 4**						
英文名　：	Oral Skills (English) 4						
担当者　：	フランクリン　レインボウ						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】木曜4限　　食品安全工学科開講科目						

■授業概要

This content-based course is designed for students to develop their English skills in listening, reading, speaking, and vocabulary.
受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がける

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

英語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

Students will learn the core language and skills they need to communicate successfully in technical and scientific specializations.
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

Participation 15%
Unit Quizzes 30%
In-class Test 35%
Weekly Homework 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

Feedback will be given after unit quizzes and the final exam.

■教科書

タイトル：Technical English Level 1 Course Book and eBook 2nd Edition
[ISBN]9781292424460
出版社：Pearson Longman
本体価￥2,900

■参考文献

None.

■関連科目

Oral Skills 3

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・rayfranklin@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

該当科目開講時の前後休憩時間とします.
By appointment.

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

The textbook contains 12 units: The first semester covered units 1-5, and the second semester will cover units 6-11. Each unit will take two lessons, and will finish with an oral quiz.
予習内容 : Do the assigned homework.
予習時間 : 45分
復習内容 : Review the lesson.
復習時間 : 10分

第1回 Introduction Lesson (授業形式 : 演習を含む講義)

復習内容 : Preview.
復習時間 : 10分
Course Orientation, Summer holidays interviews

第2回 Unit 6: Materials (授業形式 : 演習を含む講義)

予習内容 : Do the assigned homework.
予習時間 : 45分
復習内容 : Review and preview.
復習時間 : 10分
Unit 6-1, pgs. 42-44
6.1) Materials testing
6.2) Properties

第3回 Unit 6: Materials (授業形式 : 演習を含む講義)

予習内容 : Do the assigned homework.
予習時間 : 45分
復習内容 : Review and preview.
復習時間 : 10分
Unit 6-2, pgs. 45-47
6.3) Buying
U. 6 Quiz

第4回 Unit 7: Specifications (授業形式 : 演習を含む講義)

予習内容 : Do the assigned homework.
予習時間 : 45分
復習内容 : Review and preview.
復習時間 : 10分
Unit 7-1: pgs. 52-54
7.1) Dimensions
7.2) Quantities

第5回 Unit 7: Specifications (授業形式 : 演習を含む講義)

予習内容 : Do the assigned homework.
予習時間 : 45分
復習内容 : Review and preview.
復習時間 : 10分
Unit 7-2: pgs. 55-57
7.3) Future projects
U. 7 Quiz

第6回 Unit 8: Reporting (授業形式 : 演習を含む講義)

予習内容 : Do the assigned homework.
予習時間 : 45分
復習内容 : Review and preview.
復習時間 : 10分
Unit 8-1: pgs. 58-60
8.1) Recent incidents
8.2) Damage and loss

第7回 Unit 8: Reporting (授業形式 : 演習を含む講義)

予習内容 : Do the assigned homework.
予習時間 : 45分
復習内容 : Review and preview.
復習時間 : 10分
Unit 8-2: pgs.61-63
8.3) Past events
U. 8 Quiz

第8回 Unit 9: Troubleshooting (授業形式 : 演習を含む講義)

予習内容 : Do the assigned homework.
予習時間 : 45分
復習内容 : Review and preview.
復習時間 : 10分
Unit 9-1: pgs. 68-70
9.1) Operation
9.2) Hotline

第9回 Unit 9: Troubleshooting (授業形式 : 演習を含む講義)

予習内容 : Do the assigned homework.
予習時間 : 45分
復習内容 : Review and preview.
復習時間 : 10分
Unit 9-2; pgs.71-73
9.3) User guide
U. 9 Quiz

第10回 Unit 10: Safety (授業形式 : 演習を含む講義)

予習内容 : Do the assigned homework.
予習時間 : 45分
復習内容 : Review and preview.
復習時間 : 10分
Unit 10-1: pgs. 74-76
10.1) Rules and warnings
10.2) Safety hazards

第11回 Unit 10: Safety (授業形式 : 演習を含む講義)

予習内容 : Do the assigned homework.
予習時間 : 45分
復習内容 : Review and preview.
復習時間 : 10分
Unit 10-2: pgs. 77-79
10.3) Investigations
U. 10 Quiz

第12回 Unit 11: Cause and effect (授業形式 : 演習を含む講義)

予習内容 : Do the assigned homework.
予習時間 : 45分
復習内容 : Review and preview.
復習時間 : 10分
Unit 11-1: pgs. 84-86
11.1) Pistons and valves
11.2) Switches and relays

第13回 Unit 11: Cause and effect (授業形式 : 演習を含む講義)

予習内容 : Do the assigned homework.
予習時間 : 45分
復習内容 : Review and preview.
復習時間 : 10分
Unit 11-2: pgs. 87-89
11.3) Rotors and turbines
U. 11 Quiz

第14回 In-class Test

復習内容：Review U. 6-11 for the test.
復習時間：60分
Test U. 6-11

第15回 Last Class

Review and reflection of the course.

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**オーラルスキル（英語）４〈再履修〉**						
英文名　：	Oral Skills (English) 4						
担当者　：	ジョン　ドゥデジアン						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：							

■授業概要

A communicative language teaching approach will be used in this class. Students will be encouraged to actively participate in class. Pair work and small group activities will be featured to increase opportunities for communication.

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

英語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

This course aims to foster basic English proficiency through which students can communicate in English. Students will learn English conversation skills necessary for various situations in daily life.

Students are expected to:
> cooperate
> concentrate
> make a strong effort
> be on time
> bring all necessary classroom materials
> bring and maintain a notebook
> record and look up any unknown vocabulary items
> return all homework assignments on time
> be responsible for completing all coursework in the event they are absent

By the end of the course, students will have:
> acquired basic expressions useful for daily life and related vocabulary
> acquired basic grammar necessary for daily conversation
> acquired basic listening and speaking skills necessary for daily communication
> learned how to facilitate the natural flow of conversation

この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

Coursework 35%
Tests/Quizzes 40%
Active Participation 25%

■試験・課題に対するフィードバック方法

For security purposes, tests and quizzes are generally not returned to students. However, results are available by private consultation before, during and after class.

■教科書

[ISBN]9789620189517 Let's Talk About It

■参考文献

None

■関連科目

Oral Skills 3, Oral Skills 4,Oral Skills 4(再)

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・john4649@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

該当科目開講時の前後休憩時間とします.
By appointment.

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Course Orientation
***Subject to change to satisfy course objectives**
予習内容：Purchase the textbook. Bring the textbook and writing materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Explanation of rules and objectives/Diagnostic listening and speaking tasks

第2回 Levels of Formality
***Subject to change to satisfy course objectives**
予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Identifying the differences between formal, neutral and casual discourse

第3回 Personal Relationships
***Subject to change to satisfy course objectives**
予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Formulating yes/no and WH topic opening questions/Discussing personal information

第4回 Personal Relationships
***Subject to change to satisfy course objectives**
予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Expanding answers to questions by adding relevant information/Creating additional topic opening questions/Discussing personal information

第5回 Likes and Dislikes
***Subject to change to satisfy course objectives**

予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Clarifying and confirming information/Making topic opening questions/Discussing likes and dislikes

第6回 Likes and Dislikes
***Subject to change to satisfy course objectives**

予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Interviewing classmates to find out about preferences/Expanding discussions by using follow-up questions/Forming additional topic opening questions/ Discussing likes and dislikes

第7回 Friends and Family
***Subject to change to satisfy course objectives**

予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Practicing follow-up questions/Using family vocabulary/Generating topic opening questions/Discussing friends and family

第8回 Friends and Family
***Subject to change to satisfy course objectives**

予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Using follow-up questions/Designing additional topic opening questions/Discussing friends and family

第9回 School Life
***Subject to change to satisfy course objectives**

予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Using mind maps to prepare for a discussion/Using discourse markers to pass the speaking turn or change the topic/Producing topic opening questions/Discussing school life

第10回 School Life

***Subject to change to satisfy course objectives**

予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Matching answers to questions and writing expanded answers/Practicing changing the topic and passing the conversation/Composing additional topic opening questions/Discussing school life

第11回 Holidays
***Subject to change to satisfy course objectives**

予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Reviewing Japanese holidays and their origins/Generating topic opening questions/Discussing holidays in Japan

第12回 Holidays
***Subject to change to satisfy course objectives**

予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Comparing and contrasting Japanese and Western holidays/Designing additional topic opening questions/ Discussing holidays in Japan

第13回 Semester Review
***Subject to change to satisfy course objectives**

予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Review of relevant topics covered during weeks one through twelve with a focus on discussion techniques

第14回 Written Examination
***Subject to change to satisfy course objectives**

予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分
復習内容：Do any homework assignments. Help any classmates who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Notebook review/Final review on areas of weakness

第15回 Spoken Examination
***Subject to change to satisfy course objectives**

予習内容：Review previous lesson. Get any missed assignments and notes if you were absent. Check to be sure you bring all your materials to class.
予習時間：30分

復習内容：Check for any correspondence from the teacher regarding missing assignments. Help any students who were absent.
復習時間：30分
Class Orientation: Lecture and exercises

Evaluation of students ability to apply concepts taught throughout the semester

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**ドイツ語総合1**						
英文名　：	Basic German 1						
担当者　：	北川　尚						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】月曜2限						

■授業概要

日常のさまざまな場面で使われる会話体のテキストに従って、文法事項の説明、語彙や表現の聴き取り、口頭練習などを段階的、反復的に行ない、ドイツ語の基本的な仕組みを学びます。またテキストの内容に関連して、ドイツ語圏の事情についても紹介します。
ドイツ語総合１と総合２は、継続して履修登録してください。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語・その他の言語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、「読む」「書く」「聴く」「話す」能力を総合的に養い、実際に使えるドイツ語を目指し、ドイツ語検定５級に相当する語彙と表現を習得し、初歩的なドイツ語を理解する力をつけます。
また、この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー４の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表および課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■教科書

[ISBN]9784255254371『ミニマムドイツ語・ノイ』(熊谷哲哉, 朝日出版社：2021)

■参考文献

授業で紹介します。
「ドイツ語について」の項を参照

■関連科目

ドイツ語総合2・3・4
ドイツ語コミュニケーション1・2・3・4
ドイツ語カルチャーセミナーA・B

■授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

各担当教員が初回授業で伝えます。

■オフィスアワー

各担当教員が初回授業で伝えます。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　Lektion 0　ドイツ語のアルファベートと発音（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：ドイツ語の特徴や使われている地域について本やインターネットで調べる。
予習時間：45分
復習内容：ドイツ語のアルファベート、発音、アクセントの規則を確認する。
復習時間：45分
アルファベート、発音、アクセント

第2回　Lektion 0　ドイツ語のアルファベートと発音（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：ドイツ語に特有の発音、間違いやすい表現などを確認する。
予習時間：45分
復習内容：ドイツ語の発音、アクセントを復習する。
復習時間：45分
アルファベート、発音、アクセント、挨拶の表現

第3回　Lektion1 Wie heißt du?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion１前半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion１前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
人称代名詞の種類、動詞の現在人称変化、基本的な文の語順

第4回　Lektion1 Wie heißt du?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion１後半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion１後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
人称代名詞の種類、動詞の現在人称変化、基本的な文の語順

第5回　Lektion2 Was studierst du?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion２前半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion２前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
動詞の人称変化、sein、habenの変化。

第6回　Lektion2 Was studierst du?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion２後半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion２後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
動詞の人称変化、sein、habenの変化。

第7回　Lektion０からLektion２までのまとめ（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion２までの単語の発音と意味を確認する。
予習時間：45分
復習内容：理解できていない項目を復習する。
復習時間：45分
Lektion０からLektion２までのまとめ

第8回　中間テスト（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion2までの単語と文法事項を復習する。
予習時間：45分
復習内容：中間テストでできなかった単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
中間テスト

第9回　Lektion3 Was isst du gern?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion３前半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion３前半の単語と文法事項を復習する。

復習時間：45分
不規則変化動詞の変化と用法を学ぶ。

第10回　Lektion3 Was isst du gern?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion３後半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion３後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
不規則変化動詞の変化と用法を学ぶ。

第11回　Lektion4 Ich habe einen Bruder.（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion４前半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion４前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
格の概念、定冠詞・不定冠詞の格変化。

第12回　Lektion4 Ich habe einen Bruder.（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion４後半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion４後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
格の概念、定冠詞・不定冠詞の格変化。

第13回　Lektion5 Kannst du Klavier spielen?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion５前半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion５前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
話法の助動詞。

第14回　Lektion5 Kannst du Klavier spielen?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion５後半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion５後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
話法の助動詞。

第15回　これまでの学習内容の総復習（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion1からLektion５までの単語と文法事項を確認する。
予習時間：45分
復習内容：前期の学習内容全体を復習する。
復習時間：45分
これまでの学習内容の総復習

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**ドイツ語総合1**						
英文名　：	Basic German 1						
担当者　：	北川　尚						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】月曜3限						

■授業概要

日常のさまざまな場面で使われる会話体のテキストに従って、文法事項の説明、語彙や表現の聴き取り、口頭練習などを段階的、反復的に行ない、ドイツ語の基本的な仕組みを学びます。またテキストの内容に関連して、ドイツ語圏の事情についても紹介します。
ドイツ語総合１と総合２は、継続して履修登録してください。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語・その他の言語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、「読む」「書く」「聴く」「話す」能力を総合的に養い、実際に使えるドイツ語を目指し、ドイツ語検定５級に相当する語彙と表現を習得し、初歩的なドイツ語を理解する力をつけます。
また、この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー４の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表および課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■教科書

[ISBN]9784255254371『ミニマムドイツ語・ノイ』(熊谷哲哉, 朝日出版社：2021)

■参考文献

授業で紹介します。
「ドイツ語について」の項を参照

■関連科目

ドイツ語総合2・3・4
ドイツ語コミュニケーション1・2・3・4
ドイツ語カルチャーセミナーA・B

■授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

各担当教員が初回授業で伝えます。

■オフィスアワー

各担当教員が初回授業で伝えます。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　Lektion 0　ドイツ語のアルファベートと発音（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：ドイツ語の特徴や使われている地域について本やインターネットで調べる。
予習時間：45分
復習内容：ドイツ語のアルファベート、発音、アクセントの規則を確認する。
復習時間：45分
アルファベート、発音、アクセント

第2回　Lektion 0　ドイツ語のアルファベートと発音（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：ドイツ語に特有の発音、間違いやすい表現などを確認する。
予習時間：45分
復習内容：ドイツ語の発音、アクセントを復習する。
復習時間：45分
アルファベート、発音、アクセント、挨拶の表現

第3回　Lektion1 Wie heißt du?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion１前半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion１前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
人称代名詞の種類、動詞の現在人称変化、基本的な文の語順

第4回　Lektion1 Wie heißt du?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion１後半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion１後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
人称代名詞の種類、動詞の現在人称変化、基本的な文の語順

第5回　Lektion2 Was studierst du?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion２前半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion２前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
動詞の人称変化、sein、habenの変化。

第6回　Lektion2 Was studierst du?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion２後半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion２後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
動詞の人称変化、sein、habenの変化。

第7回　Lektion０からLektion２までのまとめ（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion２までの単語の発音と意味を確認する。
予習時間：45分
復習内容：理解できていない項目を復習する。
復習時間：45分
Lektion０からLektion２までのまとめ

第8回　中間テスト（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion2までの単語と文法事項を復習する。
予習時間：45分
復習内容：中間テストでできなかった単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
中間テスト

第9回　Lektion3 Was isst du gern?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion３前半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion３前半の単語と文法事項を復習する。

復習時間：45分
不規則変化動詞の変化と用法を学ぶ。

第10回　Lektion3 Was isst du gern?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion３後半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion３後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
不規則変化動詞の変化と用法を学ぶ。

第11回　Lektion4 Ich habe einen Bruder.（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion４前半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion４前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
格の概念、定冠詞・不定冠詞の格変化。

第12回　Lektion4 Ich habe einen Bruder.（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion４後半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion４後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
格の概念、定冠詞・不定冠詞の格変化。

第13回　Lektion5 Kannst du Klavier spielen?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion５前半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion５前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
話法の助動詞。

第14回　Lektion5 Kannst du Klavier spielen?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion５後半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion５後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
話法の助動詞。

第15回　これまでの学習内容の総復習（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion1からLektion５までの単語と文法事項を確認する。
予習時間：45分
復習内容：前期の学習内容全体を復習する。
復習時間：45分
これまでの学習内容の総復習

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**ドイツ語総合1**						
英文名　：	Basic German 1						
担当者　：	松藤　朝子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】月曜2限						

■授業概要

日常のさまざまな場面で使われる会話体のテキストに従って、文法事項の説明、語彙や表現の聴き取り、口頭練習などを段階的、反復的に行ない、ドイツ語の基本的な仕組みを学びます。またテキストの内容に関連して、ドイツ語圏の事情についても紹介します。
ドイツ語総合１と総合２は、継続して履修登録してください。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語・その他の言語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、「読む」「書く」「聴く」「話す」能力を総合的に養い、実際に使えるドイツ語を目指し、ドイツ語検定５級に相当する語彙と表現を習得し、初歩的なドイツ語を理解する力をつけます。
また、この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー４の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表および課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■教科書

[ISBN]9784255254371『ミニマムドイツ語・ノイ』(熊谷哲哉, 朝日出版社：2021)

■参考文献

授業で紹介します。
「ドイツ語について」の項を参照

■関連科目

ドイツ語総合2・3・4
ドイツ語コミュニケーション1・2・3・4
ドイツ語カルチャーセミナーA・B

■授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

各担当教員が初回授業で伝えます。

■オフィスアワー

各担当教員が初回授業で伝えます。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Lektion 0　ドイツ語のアルファベートと発音（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：ドイツ語の特徴や使われている地域について本やインターネットで調べる。
予習時間：45分
復習内容：ドイツ語のアルファベート、発音、アクセントの規則を確認する。
復習時間：45分
アルファベート、発音、アクセント

第2回 Lektion 0　ドイツ語のアルファベートと発音（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：ドイツ語に特有の発音、間違いやすい表現などを確認する。
予習時間：45分
復習内容：ドイツ語の発音、アクセントを復習する。
復習時間：45分
アルファベート、発音、アクセント、挨拶の表現

第3回 Lektion1 Wie heißt du?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion１前半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion１前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
人称代名詞の種類、動詞の現在人称変化、基本的な文の語順

第4回 Lektion1 Wie heißt du?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion１後半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion１後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
人称代名詞の種類、動詞の現在人称変化、基本的な文の語順

第5回 Lektion2 Was studierst du?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion２前半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion２前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
動詞の人称変化、sein、habenの変化。

第6回 Lektion2 Was studierst du?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion２後半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion２後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
動詞の人称変化、sein、habenの変化。

第7回 Lektion０からLektion２までのまとめ（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion２までの単語の発音と意味を確認する。
予習時間：45分
復習内容：理解できていない項目を復習する。
復習時間：45分
Lektion０からLektion２までのまとめ

第8回 中間テスト（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion2までの単語と文法事項を復習する。
予習時間：45分
復習内容：中間テストでできなかった単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
中間テスト

第9回 Lektion3 Was isst du gern?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion３前半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion３前半の単語と文法事項を復習する。

復習時間：45分
不規則変化動詞の変化と用法を学ぶ。

第10回　Lektion3 Was isst du gern?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion３後半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion３後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
不規則変化動詞の変化と用法を学ぶ。

第11回　Lektion4 Ich habe einen Bruder.（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion４前半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion４前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
格の概念、定冠詞・不定冠詞の格変化。

第12回　Lektion4 Ich habe einen Bruder.（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion４後半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion４後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
格の概念、定冠詞・不定冠詞の格変化。

第13回　Lektion5 Kannst du Klavier spielen?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion５前半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion５前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
話法の助動詞。

第14回　Lektion5 Kannst du Klavier spielen?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion５後半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion５後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
話法の助動詞。

第15回　これまでの学習内容の総復習（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion1からLektion５までの単語と文法事項を確認する。
予習時間：45分
復習内容：前期の学習内容全体を復習する。
復習時間：45分
これまでの学習内容の総復習

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**ドイツ語総合1**						
英文名　：	Basic German 1						
担当者　：	松藤　朝子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】月曜3限						

■授業概要

日常のさまざまな場面で使われる会話体のテキストに従って、文法事項の説明、語彙や表現の聴き取り、口頭練習などを段階的、反復的に行ない、ドイツ語の基本的な仕組みを学びます。またテキストの内容に関連して、ドイツ語圏の事情についても紹介します。
ドイツ語総合１と総合２は、継続して履修登録してください。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語・その他の言語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、「読む」「書く」「聴く」「話す」能力を総合的に養い、実際に使えるドイツ語を目指し、ドイツ語検定５級に相当する語彙と表現を習得し、初歩的なドイツ語を理解する力をつけます。
また、この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー４の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表および課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■教科書

[ISBN]9784255254371『ミニマムドイツ語・ノイ』(熊谷哲哉, 朝日出版社：2021)

■参考文献

授業で紹介します。
「ドイツ語について」の項を参照

■関連科目

ドイツ語総合2・3・4
ドイツ語コミュニケーション1・2・3・4
ドイツ語カルチャーセミナーA・B

■授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

各担当教員が初回授業で伝えます。

■オフィスアワー

各担当教員が初回授業で伝えます。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　Lektion 0　ドイツ語のアルファベートと発音（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：ドイツ語の特徴や使われている地域について本やインターネットで調べる。
予習時間：45分
復習内容：ドイツ語のアルファベート、発音、アクセントの規則を確認する。
復習時間：45分
アルファベート、発音、アクセント

第2回　Lektion 0　ドイツ語のアルファベートと発音（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：ドイツ語に特有の発音、間違いやすい表現などを確認する。
予習時間：45分
復習内容：ドイツ語の発音、アクセントを復習する。
復習時間：45分
アルファベート、発音、アクセント、挨拶の表現

第3回　Lektion1 Wie heißt du?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion１前半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion１前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
人称代名詞の種類、動詞の現在人称変化、基本的な文の語順

第4回　Lektion1 Wie heißt du?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion１後半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion１後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
人称代名詞の種類、動詞の現在人称変化、基本的な文の語順

第5回　Lektion2 Was studierst du?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion２前半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion２前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
動詞の人称変化、sein、habenの変化。

第6回　Lektion2 Was studierst du?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion２後半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion２後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
動詞の人称変化、sein、habenの変化。

第7回　Lektion０からLektion２までのまとめ（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion２までの単語の発音と意味を確認する。
予習時間：45分
復習内容：理解できていない項目を復習する。
復習時間：45分
Lektion０からLektion２までのまとめ

第8回　中間テスト（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion2までの単語と文法事項を復習する。
予習時間：45分
復習内容：中間テストでできなかった単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
中間テスト

第9回　Lektion3 Was isst du gern?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion３前半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion３前半の単語と文法事項を復習する。

復習時間：45分
不規則変化動詞の変化と用法を学ぶ。

第10回　Lektion3 Was isst du gern?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion３後半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion３後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
不規則変化動詞の変化と用法を学ぶ。

第11回　Lektion4 Ich habe einen Bruder.（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion４前半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion４前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
格の概念、定冠詞・不定冠詞の格変化。

第12回　Lektion4 Ich habe einen Bruder.（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion４後半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion４後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
格の概念、定冠詞・不定冠詞の格変化。

第13回　Lektion5 Kannst du Klavier spielen?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion５前半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion５前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
話法の助動詞。

第14回　Lektion5 Kannst du Klavier spielen?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion５後半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion５後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
話法の助動詞。

第15回　これまでの学習内容の総復習（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion1からLektion５までの単語と文法事項を確認する。
予習時間：45分
復習内容：前期の学習内容全体を復習する。
復習時間：45分
これまでの学習内容の総復習

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**ドイツ語総合1**						
英文名　：	Basic German 1						
担当者　：	南谷　真紀						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】月曜2限						

■授業概要

日常のさまざまな場面で使われる会話体のテキストに従って、文法事項の説明、語彙や表現の聴き取り、口頭練習などを段階的、反復的に行ない、ドイツ語の基本的な仕組みを学びます。またテキストの内容に関連して、ドイツ語圏の事情についても紹介します。
ドイツ語総合１と総合２は、継続して履修登録してください。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語・その他の言語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、「読む」「書く」「聴く」「話す」能力を総合的に養い、実際に使えるドイツ語を目指し、ドイツ語検定５級に相当する語彙と表現を習得し、初歩的なドイツ語を理解する力をつけます。
また、この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー４の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表および課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■教科書

[ISBN]9784255254371『ミニマムドイツ語・ノイ』(熊谷哲哉, 朝日出版社：2021)

■参考文献

授業で紹介します。
「ドイツ語について」の項を参照

■関連科目

ドイツ語総合2・3・4
ドイツ語コミュニケーション1・2・3・4
ドイツ語カルチャーセミナーA・B

■授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

各担当教員が初回授業で伝えます。

■オフィスアワー

各担当教員が初回授業で伝えます。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Lektion 0　ドイツ語のアルファベートと発音（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：ドイツ語の特徴や使われている地域について本やインターネットで調べる。
予習時間：45分
復習内容：ドイツ語のアルファベート、発音、アクセントの規則を確認する。
復習時間：45分
アルファベート、発音、アクセント

第2回 Lektion 0　ドイツ語のアルファベートと発音（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：ドイツ語に特有の発音、間違いやすい表現などを確認する。
予習時間：45分
復習内容：ドイツ語の発音、アクセントを復習する。
復習時間：45分
アルファベート、発音、アクセント、挨拶の表現

第3回 Lektion1 Wie heißt du?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion１前半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion１前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
人称代名詞の種類、動詞の現在人称変化、基本的な文の語順

第4回 Lektion1 Wie heißt du?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion１後半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion１後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
人称代名詞の種類、動詞の現在人称変化、基本的な文の語順

第5回 Lektion2 Was studierst du?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion２前半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion２前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
動詞の人称変化、sein、habenの変化。

第6回 Lektion2 Was studierst du?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion２後半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion２後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
動詞の人称変化、sein、habenの変化。

第7回 Lektion０からLektion２までのまとめ（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion２までの単語の発音と意味を確認する。
予習時間：45分
復習内容：理解できていない項目を復習する。
復習時間：45分
Lektion０からLektion２までのまとめ

第8回 中間テスト（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion2までの単語と文法事項を復習する。
予習時間：45分
復習内容：中間テストでできなかった単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
中間テスト

第9回 Lektion3 Was isst du gern?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion３前半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion３前半の単語と文法事項を復習する。

復習時間：45分
不規則変化動詞の変化と用法を学ぶ。

第10回　Lektion3 Was isst du gern?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion３後半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion３後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
不規則変化動詞の変化と用法を学ぶ。

第11回　Lektion4 Ich habe einen Bruder.（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion４前半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion４前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
格の概念、定冠詞・不定冠詞の格変化。

第12回　Lektion4 Ich habe einen Bruder.（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion４後半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion４後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
格の概念、定冠詞・不定冠詞の格変化。

第13回　Lektion5 Kannst du Klavier spielen?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion５前半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion５前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
話法の助動詞。

第14回　Lektion5 Kannst du Klavier spielen?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion５後半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion５後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
話法の助動詞。

第15回　これまでの学習内容の総復習（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion1からLektion５までの単語と文法事項を確認する。
予習時間：45分
復習内容：前期の学習内容全体を復習する。
復習時間：45分
これまでの学習内容の総復習

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**ドイツ語総合1**						
英文名　：	Basic German 1						
担当者　：	南谷　真紀						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】月曜3限						

■授業概要

日常のさまざまな場面で使われる会話体のテキストに従って、文法事項の説明、語彙や表現の聴き取り、口頭練習などを段階的、反復的に行ない、ドイツ語の基本的な仕組みを学びます。またテキストの内容に関連して、ドイツ語圏の事情についても紹介します。
ドイツ語総合１と総合２は、継続して履修登録してください。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語・その他の言語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、「読む」「書く」「聴く」「話す」能力を総合的に養い、実際に使えるドイツ語を目指し、ドイツ語検定５級に相当する語彙と表現を習得し、初歩的なドイツ語を理解する力をつけます。
また、この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー４の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表および課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■教科書

[ISBN]9784255254371『ミニマムドイツ語・ノイ』(熊谷哲哉, 朝日出版社：2021)

■参考文献

授業で紹介します。
「ドイツ語について」の項を参照

■関連科目

ドイツ語総合2・3・4
ドイツ語コミュニケーション1・2・3・4
ドイツ語カルチャーセミナーA・B

■授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

各担当教員が初回授業で伝えます。

■オフィスアワー

各担当教員が初回授業で伝えます。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　Lektion 0　ドイツ語のアルファベートと発音（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：ドイツ語の特徴や使われている地域について本やインターネットで調べる。
予習時間：45分
復習内容：ドイツ語のアルファベート、発音、アクセントの規則を確認する。
復習時間：45分
アルファベート、発音、アクセント

第2回　Lektion 0　ドイツ語のアルファベートと発音（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：ドイツ語に特有の発音、間違いやすい表現などを確認する。
予習時間：45分
復習内容：ドイツ語の発音、アクセントを復習する。
復習時間：45分
アルファベート、発音、アクセント、挨拶の表現

第3回　Lektion1 Wie heißt du?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion１前半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion１前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
人称代名詞の種類、動詞の現在人称変化、基本的な文の語順

第4回　Lektion1 Wie heißt du?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion１後半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion１後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
人称代名詞の種類、動詞の現在人称変化、基本的な文の語順

第5回　Lektion2 Was studierst du?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion２前半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion２前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
動詞の人称変化、sein、habenの変化。

第6回　Lektion2 Was studierst du?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion２後半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion２後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
動詞の人称変化、sein、habenの変化。

第7回　Lektion０からLektion２までのまとめ（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion２までの単語の発音と意味を確認する。
予習時間：45分
復習内容：理解できていない項目を復習する。
復習時間：45分
Lektion０からLektion２までのまとめ

第8回　中間テスト（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion2までの単語と文法事項を復習する。
予習時間：45分
復習内容：中間テストでできなかった単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
中間テスト

第9回　Lektion3 Was isst du gern?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion３前半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion３前半の単語と文法事項を復習する。

復習時間：45分
不規則変化動詞の変化と用法を学ぶ。

第10回 Lektion3 Was isst du gern?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion３後半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion３後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
不規則変化動詞の変化と用法を学ぶ。

第11回 Lektion4 Ich habe einen Bruder.（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion４前半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion４前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
格の概念、定冠詞・不定冠詞の格変化。

第12回 Lektion4 Ich habe einen Bruder.（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion４後半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion４後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
格の概念、定冠詞・不定冠詞の格変化。

第13回 Lektion5 Kannst du Klavier spielen?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion５前半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion５前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
話法の助動詞。

第14回 Lektion5 Kannst du Klavier spielen?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion５後半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion５後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
話法の助動詞。

第15回 これまでの学習内容の総復習（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion1からLektion５までの単語と文法事項を確認する。
予習時間：45分
復習内容：前期の学習内容全体を復習する。
復習時間：45分
これまでの学習内容の総復習

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**ドイツ語総合2**						
英文名　：	Basic German 2						
担当者　：	北川　尚						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】月曜3限						

■授業概要

日常のさまざまな場面で使われる会話体のテキストに従って、文法事項の説明、語彙や表現の聴き取り、口頭練習などを段階的、反復的に行ない、ドイツ語の基本的な仕組みを学びます。またテキストの内容に関連して、ドイツ語圏の事情についても紹介します。
ドイツ語総合１とドイツ語総合２は継続して履修登録してください。ドイツ語総合１を履修せずにドイツ語総合２を履修することはできません。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語・その他の言語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、「読む」「書く」「聴く」「話す」能力を総合的に養い、実際に使えるドイツ語を目指し、ドイツ語検定４級に相当する語彙と表現を習得し、基礎的なドイツ語を理解する力をつけます。
また、この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー４の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表および課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■教科書

[ISBN]9784255254371 『ミニマムドイツ語・ノイ』 (熊谷哲哉, 朝日出版社：2021)

■参考文献

授業で紹介します。
「ドイツ語について」の項を参照

■関連科目

ドイツ語総合1・3・4
ドイツ語コミュニケーション1・2・3・4
ドイツ語カルチャーセミナーA・B

■授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

各担当教員が初回授業で伝えます。

■オフィスアワー

各担当教員が初回授業で伝えます。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　ドイツ語総合１の復習（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：前期に学習した内容を思い出す。
予習時間：45分
復習内容：前期に学習した単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
Lektion1からLektion５までの復習

第2回　Lektion6 Mein Vater ist Ingenieur?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion6前半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion６前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
所有冠詞と否定冠詞。

第3回　Lektion6 Mein Vater ist Ingenieur?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion6後半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion６後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
所有冠詞と否定冠詞。

第4回　Lektion7　Wie findest du diese Krawatte?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion７前半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion７前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
定冠詞類、人称代名詞の３・４格。

第5回　Lektion7　Wie findest du diese Krawatte?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion７後半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion７後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
定冠詞類、人称代名詞の３・４格。

第6回　Lektion8　Ich komme mit dem Zug zur Uni.（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion８前半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion８前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
前置詞。

第7回　Lektion8　Ich komme mit dem Zug zur Uni.（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion８後半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion８後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
前置詞。

第8回　中間テスト（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion６からLektion８までの単語と文法事項を復習する。
予習時間：45分
復習内容：中間テストでできなかった項目を復習する。
復習時間：45分
中間テスト

第9回　Lektion9　Wann fährt der Zug ab?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion９前半の単語の意味と発音を調べる。

予習時間：45分
復習内容：Lektion９前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
分離動詞。

第10回　Lektion9　Wann fährt der Zug ab?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion９後半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion９後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
分離動詞。

第11回　Lektion9　Wann fährt der Zug ab?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion９の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion９の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
分離動詞。

第12回　Lektion10　Was hast du in den Ferien gemacht?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion10前半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion10前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
現在完了形

第13回　Lektion10　Was hast du in den Ferien gemacht?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion10後半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion10後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
現在完了形

第14回　Lektion10　Was hast du in den Ferien gemacht?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion10の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion10の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
現在完了形

第15回　これまでの学習内容の総まとめ（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：後期の学習内容を振り返り、単語と文法事項を確認する。
予習時間：45分
復習内容：後期の学習内容全体を振り返り、復習する。
復習時間：45分
これまでの学習内容の総まとめ

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**ドイツ語総合2**						
英文名　：	Basic German 2						
担当者　：	北川　尚						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】月曜2限						

■授業概要

日常のさまざまな場面で使われる会話体のテキストに従って、文法事項の説明、語彙や表現の聴き取り、口頭練習などを段階的、反復的に行ない、ドイツ語の基本的な仕組みを学びます。またテキストの内容に関連して、ドイツ語圏の事情についても紹介します。
ドイツ語総合１とドイツ語総合２は継続して履修登録してください。ドイツ語総合１を履修せずにドイツ語総合２を履修することはできません。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語・その他の言語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、「読む」「書く」「聴く」「話す」能力を総合的に養い、実際に使えるドイツ語を目指し、ドイツ語検定４級に相当する語彙と表現を習得し、基礎的なドイツ語を理解する力をつけます。
また、この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー４の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表および課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■教科書

[ISBN]9784255254371 『ミニマムドイツ語・ノイ』 (熊谷哲哉, 朝日出版社：2021)

■参考文献

授業で紹介します。
「ドイツ語について」の項を参照

■関連科目

ドイツ語総合1・3・4
ドイツ語コミュニケーション1・2・3・4
ドイツ語カルチャーセミナーA・B

■授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

各担当教員が初回授業で伝えます。

■オフィスアワー

各担当教員が初回授業で伝えます。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　ドイツ語総合１の復習（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：前期に学習した内容を思い出す。
予習時間：45分
復習内容：前期に学習した単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
Lektion1からLektion５までの復習

第2回　Lektion6 Mein Vater ist Ingenieur?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion6前半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion６前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
所有冠詞と否定冠詞。

第3回　Lektion6 Mein Vater ist Ingenieur?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion6後半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion６後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
所有冠詞と否定冠詞。

第4回　Lektion7　Wie findest du diese Krawatte?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion７前半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion７前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
定冠詞類、人称代名詞の３・４格。

第5回　Lektion7　Wie findest du diese Krawatte?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion７後半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion７後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
定冠詞類、人称代名詞の３・４格。

第6回　Lektion8　Ich komme mit dem Zug zur Uni.（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion８前半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion８前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
前置詞。

第7回　Lektion8　Ich komme mit dem Zug zur Uni.（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion８後半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion８後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
前置詞。

第8回　中間テスト（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion６からLektion８までの単語と文法事項を復習する。
予習時間：45分
復習内容：中間テストでできなかった項目を復習する。
復習時間：45分
中間テスト

第9回　Lektion9　Wann fährt der Zug ab?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion９前半の単語の意味と発音を調べる。

予習時間：45分
復習内容：Lektion９前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
分離動詞。

第10回　Lektion9　Wann fährt der Zug ab?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion９後半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion９後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
分離動詞。

第11回　Lektion9　Wann fährt der Zug ab?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion９の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion９の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
分離動詞。

第12回　Lektion10　Was hast du in den Ferien gemacht?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion10前半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion10前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
現在完了形

第13回　Lektion10　Was hast du in den Ferien gemacht?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion10後半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion10後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
現在完了形

第14回　Lektion10　Was hast du in den Ferien gemacht?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion10の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion10の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
現在完了形

第15回　これまでの学習内容の総まとめ（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：後期の学習内容を振り返り、単語と文法事項を確認する。
予習時間：45分
復習内容：後期の学習内容全体を振り返り、復習する。
復習時間：45分
これまでの学習内容の総まとめ

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**ドイツ語総合2**						
英文名　：	Basic German 2						
担当者　：	松藤　朝子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】月曜3限						

■授業概要

日常のさまざまな場面で使われる会話体のテキストに従って、文法事項の説明、語彙や表現の聴き取り、口頭練習などを段階的、反復的に行ない、ドイツ語の基本的な仕組みを学びます。またテキストの内容に関連して、ドイツ語圏の事情についても紹介します。
ドイツ語総合１とドイツ語総合２は継続して履修登録してください。ドイツ語総合１を履修せずにドイツ語総合２を履修することはできません。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語・その他の言語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、「読む」「書く」「聴く」「話す」能力を総合的に養い、実際に使えるドイツ語を目指し、ドイツ語検定４級に相当する語彙と表現を習得し、基礎的なドイツ語を理解する力をつけます。
また、この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー４の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表および課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■教科書

[ISBN]9784255254371 『ミニマムドイツ語・ノイ』 (熊谷哲哉, 朝日出版社：2021)

■参考文献

授業で紹介します。
「ドイツ語について」の項を参照

■関連科目

ドイツ語総合1・3・4
ドイツ語コミュニケーション1・2・3・4
ドイツ語カルチャーセミナーA・B

■授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

各担当教員が初回授業で伝えます。

■オフィスアワー

各担当教員が初回授業で伝えます。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　ドイツ語総合１の復習（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：前期に学習した内容を思い出す。
予習時間：45分
復習内容：前期に学習した単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
Lektion1からLektion５までの復習

第2回　Lektion6 Mein Vater ist Ingenieur?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion6前半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion６前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
所有冠詞と否定冠詞。

第3回　Lektion6 Mein Vater ist Ingenieur?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion6後半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion６後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
所有冠詞と否定冠詞。

第4回　Lektion7　Wie findest du diese Krawatte?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion７前半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion７前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
定冠詞類、人称代名詞の３・４格。

第5回　Lektion7　Wie findest du diese Krawatte?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion７後半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion７後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
定冠詞類、人称代名詞の３・４格。

第6回　Lektion8　Ich komme mit dem Zug zur Uni.（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion８前半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion８前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
前置詞。

第7回　Lektion8　Ich komme mit dem Zug zur Uni.（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion８後半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion８後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
前置詞。

第8回　中間テスト（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion６からLektion８までの単語と文法事項を復習する。
予習時間：45分
復習内容：中間テストでできなかった項目を復習する。
復習時間：45分
中間テスト

第9回　Lektion9　Wann fährt der Zug ab?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion９前半の単語の意味と発音を調べる。

予習時間：45分
復習内容：Lektion９前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
分離動詞。

第10回　Lektion9　Wann fährt der Zug ab?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion９後半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion９後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
分離動詞。

第11回　Lektion9　Wann fährt der Zug ab?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion９の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion９の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
分離動詞。

第12回　Lektion10　Was hast du in den Ferien gemacht?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion10前半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion10前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
現在完了形

第13回　Lektion10　Was hast du in den Ferien gemacht?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion10後半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion10後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
現在完了形

第14回　Lektion10　Was hast du in den Ferien gemacht?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion10の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion10の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
現在完了形

第15回　これまでの学習内容の総まとめ（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：後期の学習内容を振り返り、単語と文法事項を確認する。
予習時間：45分
復習内容：後期の学習内容全体を振り返り、復習する。
復習時間：45分
これまでの学習内容の総まとめ

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**ドイツ語総合2**						
英文名　：	Basic German 2						
担当者　：	松藤　朝子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】月曜2限						

■授業概要

日常のさまざまな場面で使われる会話体のテキストに従って、文法事項の説明、語彙や表現の聴き取り、口頭練習などを段階的、反復的に行ない、ドイツ語の基本的な仕組みを学びます。またテキストの内容に関連して、ドイツ語圏の事情についても紹介します。
ドイツ語総合１とドイツ語総合２は継続して履修登録してください。ドイツ語総合１を履修せずにドイツ語総合２を履修することはできません。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語・その他の言語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、「読む」「書く」「聴く」「話す」能力を総合的に養い、実際に使えるドイツ語を目指し、ドイツ語検定４級に相当する語彙と表現を習得し、基礎的なドイツ語を理解する力をつけます。
また、この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー４の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表および課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■教科書

[ISBN]9784255254371 『ミニマムドイツ語・ノイ』 (熊谷哲哉, 朝日出版社：2021)

■参考文献

授業で紹介します。
「ドイツ語について」の項を参照

■関連科目

ドイツ語総合1・3・4
ドイツ語コミュニケーション1・2・3・4
ドイツ語カルチャーセミナーA・B

■授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

各担当教員が初回授業で伝えます。

■オフィスアワー

各担当教員が初回授業で伝えます。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　ドイツ語総合１の復習（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：前期に学習した内容を思い出す。
予習時間：45分
復習内容：前期に学習した単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
Lektion1からLektion５までの復習

第2回　Lektion6 Mein Vater ist Ingenieur?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion6前半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion６前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
所有冠詞と否定冠詞。

第3回　Lektion6 Mein Vater ist Ingenieur?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion6後半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion６後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
所有冠詞と否定冠詞。

第4回　Lektion7　Wie findest du diese Krawatte?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion７前半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion７前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
定冠詞類、人称代名詞の３・４格。

第5回　Lektion7　Wie findest du diese Krawatte?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion７後半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion７後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
定冠詞類、人称代名詞の３・４格。

第6回　Lektion8　Ich komme mit dem Zug zur Uni.（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion８前半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion８前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
前置詞。

第7回　Lektion8　Ich komme mit dem Zug zur Uni.（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion８後半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion８後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
前置詞。

第8回　中間テスト（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion６からLektion８までの単語と文法事項を復習する。
予習時間：45分
復習内容：中間テストでできなかった項目を復習する。
復習時間：45分
中間テスト

第9回　Lektion9　Wann fährt der Zug ab?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion９前半の単語の意味と発音を調べる。

予習時間：45分
復習内容：Lektion９前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
分離動詞。

第10回　Lektion9　Wann fährt der Zug ab?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion９後半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion９後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
分離動詞。

第11回　Lektion9　Wann fährt der Zug ab?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion９の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion９の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
分離動詞。

第12回　Lektion10　Was hast du in den Ferien gemacht?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion10前半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion10前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
現在完了形

第13回　Lektion10　Was hast du in den Ferien gemacht?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion10後半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion10後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
現在完了形

第14回　Lektion10　Was hast du in den Ferien gemacht?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion10の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion10の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
現在完了形

第15回　これまでの学習内容の総まとめ（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：後期の学習内容を振り返り、単語と文法事項を確認する。
予習時間：45分
復習内容：後期の学習内容全体を振り返り、復習する。
復習時間：45分
これまでの学習内容の総まとめ

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**ドイツ語総合2**						
英文名　：	Basic German 2						
担当者　：	南谷　真紀						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】月曜3限						

■授業概要

日常のさまざまな場面で使われる会話体のテキストに従って、文法事項の説明、語彙や表現の聴き取り、口頭練習などを段階的、反復的に行ない、ドイツ語の基本的な仕組みを学びます。またテキストの内容に関連して、ドイツ語圏の事情についても紹介します。
ドイツ語総合１とドイツ語総合２は継続して履修登録してください。ドイツ語総合１を履修せずにドイツ語総合２を履修することはできません。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語・その他の言語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、「読む」「書く」「聴く」「話す」能力を総合的に養い、実際に使えるドイツ語を目指し、ドイツ語検定４級に相当する語彙と表現を習得し、基礎的なドイツ語を理解する力をつけます。
また、この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー４の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表および課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■教科書

[ISBN]9784255254371 『ミニマムドイツ語・ノイ』 (熊谷哲哉, 朝日出版社：2021)

■参考文献

授業で紹介します。
「ドイツ語について」の項を参照

■関連科目

ドイツ語総合1・3・4
ドイツ語コミュニケーション1・2・3・4
ドイツ語カルチャーセミナーA・B

■授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

各担当教員が初回授業で伝えます。

■オフィスアワー

各担当教員が初回授業で伝えます。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　ドイツ語総合１の復習（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：前期に学習した内容を思い出す。
予習時間：45分
復習内容：前期に学習した単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
Lektion1からLektion５までの復習

第2回　Lektion6 Mein Vater ist Ingenieur?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion6前半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion６前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
所有冠詞と否定冠詞。

第3回　Lektion6 Mein Vater ist Ingenieur?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion6後半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion６後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
所有冠詞と否定冠詞。

第4回　Lektion7　Wie findest du diese Krawatte?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion７前半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion７前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
定冠詞類、人称代名詞の３・４格。

第5回　Lektion7　Wie findest du diese Krawatte?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion７後半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion７後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
定冠詞類、人称代名詞の３・４格。

第6回　Lektion8　Ich komme mit dem Zug zur Uni.（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion８前半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion８前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
前置詞。

第7回　Lektion8　Ich komme mit dem Zug zur Uni.（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion８後半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion８後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
前置詞。

第8回　中間テスト（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion６からLektion８までの単語と文法事項を復習する。
予習時間：45分
復習内容：中間テストでできなかった項目を復習する。
復習時間：45分
中間テスト

第9回　Lektion9　Wann fährt der Zug ab?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion９前半の単語の意味と発音を調べる。

予習時間：45分
復習内容：Lektion９前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
分離動詞。

第10回　Lektion9　Wann fährt der Zug ab?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion９後半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion９後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
分離動詞。

第11回　Lektion9　Wann fährt der Zug ab?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion９の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion９の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
分離動詞。

第12回　Lektion10　Was hast du in den Ferien gemacht?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion10前半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion10前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
現在完了形

第13回　Lektion10　Was hast du in den Ferien gemacht?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion10後半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion10後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
現在完了形

第14回　Lektion10　Was hast du in den Ferien gemacht?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion10の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion10の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
現在完了形

第15回　これまでの学習内容の総まとめ（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：後期の学習内容を振り返り、単語と文法事項を確認する。
予習時間：45分
復習内容：後期の学習内容全体を振り返り、復習する。
復習時間：45分
これまでの学習内容の総まとめ

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**ドイツ語総合2**						
英文名　：	Basic German 2						
担当者　：	南谷　真紀						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】月曜2限						

■授業概要

日常のさまざまな場面で使われる会話体のテキストに従って、文法事項の説明、語彙や表現の聴き取り、口頭練習などを段階的、反復的に行ない、ドイツ語の基本的な仕組みを学びます。またテキストの内容に関連して、ドイツ語圏の事情についても紹介します。
ドイツ語総合１とドイツ語総合２は継続して履修登録してください。ドイツ語総合１を履修せずにドイツ語総合２を履修することはできません。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語・その他の言語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、「読む」「書く」「聴く」「話す」能力を総合的に養い、実際に使えるドイツ語を目指し、ドイツ語検定４級に相当する語彙と表現を習得し、基礎的なドイツ語を理解する力をつけます。
また、この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー４の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表および課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■教科書

[ISBN]9784255254371 『ミニマムドイツ語・ノイ』 (熊谷哲哉, 朝日出版社：2021)

■参考文献

授業で紹介します。
「ドイツ語について」の項を参照

■関連科目

ドイツ語総合1・3・4
ドイツ語コミュニケーション1・2・3・4
ドイツ語カルチャーセミナーA・B

■授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

各担当教員が初回授業で伝えます。

■オフィスアワー

各担当教員が初回授業で伝えます。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　ドイツ語総合１の復習（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：前期に学習した内容を思い出す。
予習時間：45分
復習内容：前期に学習した単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
Lektion1からLektion５までの復習

第2回　Lektion6 Mein Vater ist Ingenieur?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion6前半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion６前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
所有冠詞と否定冠詞。

第3回　Lektion6 Mein Vater ist Ingenieur?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion6後半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion６後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
所有冠詞と否定冠詞。

第4回　Lektion7　Wie findest du diese Krawatte?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion７前半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion７前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
定冠詞類、人称代名詞の３・４格。

第5回　Lektion7　Wie findest du diese Krawatte?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion７後半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion７後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
定冠詞類、人称代名詞の３・４格。

第6回　Lektion8　Ich komme mit dem Zug zur Uni.（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion８前半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion８前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
前置詞。

第7回　Lektion8　Ich komme mit dem Zug zur Uni.（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion８後半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion８後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
前置詞。

第8回　中間テスト（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion６からLektion８までの単語と文法事項を復習する。
予習時間：45分
復習内容：中間テストでできなかった項目を復習する。
復習時間：45分
中間テスト

第9回　Lektion9　Wann fährt der Zug ab?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion９前半の単語の意味と発音を調べる。

予習時間：45分
復習内容：Lektion９前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
分離動詞。

第10回　Lektion9　Wann fährt der Zug ab?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion９後半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion９後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
分離動詞。

第11回　Lektion9　Wann fährt der Zug ab?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion９の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion９の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
分離動詞。

第12回　Lektion10　Was hast du in den Ferien gemacht?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion10前半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion10前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
現在完了形

第13回　Lektion10　Was hast du in den Ferien gemacht?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion10後半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion10後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
現在完了形

第14回　Lektion10　Was hast du in den Ferien gemacht?（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion10の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion10の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
現在完了形

第15回　これまでの学習内容の総まとめ（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：後期の学習内容を振り返り、単語と文法事項を確認する。
予習時間：45分
復習内容：後期の学習内容全体を振り返り、復習する。
復習時間：45分
これまでの学習内容の総まとめ

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**ドイツ語総合3**						
英文名　：	Basic German 3						
担当者　：	南谷　真紀						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】木曜2限						

■授業概要

これまで学んだドイツ語の文法や基本構造をもう一度確認しながら、語彙や表現の聴き取り、口頭練習、ドイツ語作文の練習などにより、ドイツの日常生活で使うことができ、またいろいろな場面で簡単に応用できる表現を習得します。随時、プリントなどの補助教材を使うことがあります。
ドイツ語総合３とドイツ語総合４は継続して履修登録してください。この科目を履修するには、前年までにドイツ語総合１・２のうち、少なくとも一方の単位を取得している必要があります。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語・その他の言語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

旅行や日常生活で困らない程度のドイツ語力を身につけましょう。春・秋に実施されるドイツ語検定試験４，５級に合格する実力を身につけるという目標にも対応しています。
また、この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー１の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表および課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■教科書

[ISBN]9784255254654 『ミニマムドイツ語・レーゼン』（熊谷哲哉・大喜祐太、朝日出版社：2023）

■参考文献

授業で紹介します。

■関連科目

ドイツ語総合１，２，４
ドイツ語カルチャーセミナーA・B

■授業評価アンケート実施方法

学部実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

各担当教員が初回授業で伝えます。

■オフィスアワー

各担当教員が初回授業で伝えます。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　ドイツ語総合１・２の復習（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：ドイツ語総合１・２で学んだ単語を確認する。
予習時間：45分
復習内容：ドイツ語総合１・２の文法事項を復習する。
復習時間：45分
ドイツ語総合１・２の学習内容を復習する

第2回　Lektion0 発音とアクセント（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：アルファベートの発音を確認する。
予習時間：45分
復習内容：単語の発音とアクセントを練習する。
復習時間：45分
Lektion0 発音とアクセント

第3回　Lektion1 （１）（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion1前半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion1前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
Lektion1 人称代名詞と人称変化、ドイツ語の語順・疑問詞と疑問文の前半

第4回　Lektion1 （２）（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion1後半の単語の発音と意味を調べる
予習時間：45分
復習内容：Lektion1後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
Lektion1 人称代名詞と人称変化、ドイツ語の語順・疑問詞と疑問文の後半

第5回　Lektion2 （１）（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion2前半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion2前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
Lektion2 名詞の性・数・格、定冠詞と不定冠詞、冠詞の格変化の前半

第6回　Lektion2 （２）（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion2後半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion2後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
Lektion2 名詞の性・数・格、定冠詞と不定冠詞、冠詞の格変化の後半

第7回　Lektion０からLektion２までのまとめ（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion2までの単語の発音と意味を確認する。
予習時間：45分
復習内容：理解できていない項目を復習する。
復習時間：45分
Lektion０からLektion２までのまとめ
Lektion3 動詞の人称変化（不規則変化）、命令形、人称代名詞の格変化の前半

第8回　中間テスト（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：第7回までの学習内容を復習する。
予習時間：45分
復習内容：中間テストでできなかった問題を復習する。
復習時間：45分
中間テスト

第9回　Lektion3 （１）（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion3前半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion3前半の単語と文法事項を復習する。

復習時間：45分
Lektion3 動詞の人称変化（不規則変化）、命令形、人称代名詞の格変化の前半

第10回 Lektion3 （２）（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion3後半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion3後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
Lektion3 動詞の人称変化（不規則変化）、命令形、人称代名詞の格変化の後半

第11回 Lektion4（１）（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion４前半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion４前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
Lektion4　不定冠詞類（所有冠詞・否定冠詞）、定冠詞類、前置詞（１）の前半

第12回 Lektion４ （２）（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion４後半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion４後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
Lektion4　不定冠詞類（所有冠詞・否定冠詞）、定冠詞類、前置詞（１）の後半

第13回 Lektion5 （１）（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion５前半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion５前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
Lektion5 前置詞（2）、話法の助動詞、接続詞の前半

第14回 Lektion5 （２）（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion５後半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion５後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
Lektion5 前置詞（2）、話法の助動詞、接続詞の後半

第15回 これまでの学習内容の総復習（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion1からLektion5までの単語と文法事項を確認する。
予習時間：45分
復習内容：前期の学習内容全体を復習する。
復習時間：45分
これまでの学習内容の総復習

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**ドイツ語総合3**						
英文名　：	Basic German 3						
担当者　：	南谷　真紀						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】木曜1限						

■授業概要

これまで学んだドイツ語の文法や基本構造をもう一度確認しながら、語彙や表現の聴き取り、口頭練習、ドイツ語作文の練習などにより、ドイツの日常生活で使うことができ、またいろいろな場面で簡単に応用できる表現を習得します。随時、プリントなどの補助教材を使うことがあります。
ドイツ語総合３とドイツ語総合４は継続して履修登録してください。この科目を履修するには、前年までにドイツ語総合１・２のうち、少なくとも一方の単位を取得している必要があります。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語・その他の言語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

旅行や日常生活で困らない程度のドイツ語力を身につけましょう。春・秋に実施されるドイツ語検定試験４，５級に合格する実力を身につけるという目標にも対応しています。
また、この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー１の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表および課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■教科書

[ISBN]9784255254654 『ミニマムドイツ語・レーゼン』（熊谷哲哉・大喜祐太、朝日出版社：2023）

■参考文献

授業で紹介します。

■関連科目

ドイツ語総合１，２，４
ドイツ語カルチャーセミナーA・B

■授業評価アンケート実施方法

学部実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

各担当教員が初回授業で伝えます。

■オフィスアワー

各担当教員が初回授業で伝えます。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　ドイツ語総合１・２の復習（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：ドイツ語総合１・２で学んだ単語を確認する。
予習時間：45分
復習内容：ドイツ語総合１・２の文法事項を復習する。
復習時間：45分
ドイツ語総合１・２の学習内容を復習する

第2回　Lektion0 発音とアクセント（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：アルファベートの発音を確認する。
予習時間：45分
復習内容：単語の発音とアクセントを練習する。
復習時間：45分
Lektion0 発音とアクセント

第3回　Lektion1 （１）（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion1前半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion1前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
Lektion1 人称代名詞と人称変化、ドイツ語の語順・疑問詞と疑問文の前半

第4回　Lektion1 （２）（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion1後半の単語の発音と意味を調べる
予習時間：45分
復習内容：Lektion1後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
Lektion1 人称代名詞と人称変化、ドイツ語の語順・疑問詞と疑問文の後半

第5回　Lektion2 （１）（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion2前半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion2前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
Lektion2 名詞の性・数・格、定冠詞と不定冠詞、冠詞の格変化の前半

第6回　Lektion2 （２）（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion2後半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion2後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
Lektion2 名詞の性・数・格、定冠詞と不定冠詞、冠詞の格変化の後半

第7回　Lektion０からLektion２までのまとめ（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion2までの単語の発音と意味を確認する。
予習時間：45分
復習内容：理解できていない項目を復習する。
復習時間：45分
Lektion０からLektion２までのまとめ
Lektion3 動詞の人称変化（不規則変化）、命令形、人称代名詞の格変化の前半

第8回　中間テスト（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：第7回までの学習内容を復習する。
予習時間：45分
復習内容：中間テストでできなかった問題を復習する。
復習時間：45分
中間テスト

第9回　Lektion3 （１）（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion3前半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion3前半の単語と文法事項を復習する。

復習時間：45分
Lektion3 動詞の人称変化（不規則変化）、命令形、人称代名詞の格変化の前半

第10回 Lektion3 （２）（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion3後半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion3後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
Lektion3 動詞の人称変化（不規則変化）、命令形、人称代名詞の格変化の後半

第11回 Lektion4（１）（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion４前半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion４前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
Lektion4　不定冠詞類（所有冠詞・否定冠詞）、定冠詞類、前置詞（１）の前半

第12回 Lektion４ （２）（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion４後半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion４後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
Lektion4　不定冠詞類（所有冠詞・否定冠詞）、定冠詞類、前置詞（１）の後半

第13回 Lektion5 （１）（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion５前半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion５前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
Lektion5 前置詞（2）、話法の助動詞、接続詞の前半

第14回 Lektion5 （２）（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion５後半の単語の発音と意味を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion５後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
Lektion5 前置詞（2）、話法の助動詞、接続詞の後半

第15回 これまでの学習内容の総復習（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion1からLektion5までの単語と文法事項を確認する。
予習時間：45分
復習内容：前期の学習内容全体を復習する。
復習時間：45分
これまでの学習内容の総復習

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**ドイツ語総合4**						
英文名 ：	Basic German 4						
担当者 ：	南谷　真紀						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】木曜1限						

■授業概要

これまで学んだドイツ語の文法や基本構造をもう一度確認しながら、語彙や表現の聴き取り、口頭練習、ドイツ語作文の練習などにより、ドイツの日常生活で使うことができ、またいろいろな場面で簡単に応用できる表現を習得します。随時、プリントなどの補助教材を使うことがあります。
ドイツ語総合３とドイツ語総合４は継続して履修登録してください。この科目を履修するには、前年までにドイツ語総合１・２のうち、少なくとも一方の単位を取得している必要があります。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語・その他の言語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

旅行や日常生活で困らない程度のドイツ語力を身につけましょう。春・秋に実施されるドイツ語検定試験４，５級に合格する実力を身につけるという目標にも対応しています。
また、この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー１の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表および課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■教科書

[ISBN]9784255254654 『ミニマムドイツ語・レーゼン』 (熊谷哲哉・大喜祐太、朝日出版社：2023)

■参考文献

授業で紹介します。

■関連科目

ドイツ語総合１，２，３
ドイツ語カルチャーセミナーA・B

■授業評価アンケート実施方法

学部実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

各担当教員が初回授業で伝えます。

■オフィスアワー

各担当教員が初回授業で伝えます。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　ドイツ語総合３の復習（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion1から５の単語と文法事項を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion1から５の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
総合３で学習した単語や文法事項を振り返る

第2回　Lektion６（１）（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion６前半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion６前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
Lektion６分離動詞と非分離動詞、zu不定詞、再帰動詞の前半

第3回　Lektion６（２）（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion６後半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion６後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
Lektion６分離動詞と非分離動詞、zu不定詞、再帰動詞の前半

第4回　Lektion７（１）（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion７前半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion７前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
Lektion７ 動詞の三基本形、過去形、現在完了形の前半

第5回　Lektion７（２）（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion７後半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion７後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
Lektion７ 動詞の三基本形、過去形、現在完了形の後半

第6回　Lektion８（１）（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion８前半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion８前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
Lektion8 形容詞、序数の前半

第7回　これまでの学習内容のまとめ（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion6からLektion8までの単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：これまでの単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
Lektion６からLektion８前半までの学習内容のまとめ

第8回　中間テスト（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：これまでに学習した単語の意味と発音を確認する。
予習時間：45分
復習内容：中間テストで出てきた単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
中間テスト

第9回　Lektion８（２）（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion８後半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion８後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分

Lektion8 形容詞、序数の後半

第10回 Lektion9 （１）（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion９前半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion９前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
受動態、関係代名詞

第11回 Lektion9（２）（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion９後半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion９後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
受動態、関係代名詞

第12回 Lektion 10（１）（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion10前半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion10前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
接続法

第13回 Lektion 10（２）（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion10後半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion10後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
接続法

第14回 Lektion 10（３）（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion10の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion10の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
接続法

第15回 これまでの学習内容の総まとめ（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：後期の学習内容を振り返り、単語と文法事項を確認する。
予習時間：45分
復習内容：後期の学習内容全体を振り返り、復習する。
復習時間：45分
これまでの学習内容の総まとめ

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**ドイツ語総合4**						
英文名　：	Basic German 4						
担当者　：	南谷　真紀						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】木曜2限						

■授業概要

これまで学んだドイツ語の文法や基本構造をもう一度確認しながら、語彙や表現の聴き取り、口頭練習、ドイツ語作文の練習などにより、ドイツの日常生活で使うことができ、またいろいろな場面で簡単に応用できる表現を習得します。随時、プリントなどの補助教材を使うことがあります。
ドイツ語総合３とドイツ語総合４は継続して履修登録してください。この科目を履修するには、前年までにドイツ語総合１・２のうち、少なくとも一方の単位を取得している必要があります。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語・その他の言語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

旅行や日常生活で困らない程度のドイツ語力を身につけましょう。春・秋に実施されるドイツ語検定試験４，５級に合格する実力を身につけるという目標にも対応しています。
また、この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー１の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表および課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■教科書

[ISBN]9784255254654 『ミニマムドイツ語・レーゼン』 (熊谷哲哉・大喜祐太、朝日出版社：2023)

■参考文献

授業で紹介します。

■関連科目

ドイツ語総合１，２，３
ドイツ語カルチャーセミナーA・B

■授業評価アンケート実施方法

学部実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

各担当教員が初回授業で伝えます。

■オフィスアワー

各担当教員が初回授業で伝えます。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　ドイツ語総合３の復習（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion1から５の単語と文法事項を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion1から５の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
総合３で学習した単語や文法事項を振り返る

第2回　Lektion６（１）（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion６前半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion６前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
Lektion６分離動詞と非分離動詞、zu不定詞、再帰動詞の前半

第3回　Lektion６（２）（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion６後半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion６後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
Lektion６分離動詞と非分離動詞、zu不定詞、再帰動詞の前半

第4回　Lektion７（１）（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion７前半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion７前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
Lektion７ 動詞の三基本形、過去形、現在完了形の前半

第5回　Lektion７（２）（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion７後半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion７後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
Lektion７ 動詞の三基本形、過去形、現在完了形の後半

第6回　Lektion８（１）（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion８前半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion８前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
Lektion8 形容詞、序数の前半

第7回　これまでの学習内容のまとめ（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion6からLektion8までの単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：これまでの単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
Lektion６からLektion８前半までの学習内容のまとめ

第8回　中間テスト（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：これまでに学習した単語の意味と発音を確認する。
予習時間：45分
復習内容：中間テストで出てきた単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
中間テスト

第9回　Lektion８（２）（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion８後半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion８後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分

Lektion8 形容詞、序数の後半

第10回 Lektion9 （１）（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion９前半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion９前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
受動態、関係代名詞

第11回 Lektion9（２）（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion９後半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion９後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
受動態、関係代名詞

第12回 Lektion 10（１）（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion10前半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion10前半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
接続法

第13回 Lektion 10（２）（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion10後半の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion10後半の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
接続法

第14回 Lektion 10（３）（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：Lektion10の単語の意味と発音を調べる。
予習時間：45分
復習内容：Lektion10の単語と文法事項を復習する。
復習時間：45分
接続法

第15回 これまでの学習内容の総まとめ（授業形式: 講義またはアクティブラーニング）

予習内容：後期の学習内容を振り返り、単語と文法事項を確認する。
予習時間：45分
復習内容：後期の学習内容全体を振り返り、復習する。
復習時間：45分
これまでの学習内容の総まとめ

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	**英語スキル上級A**						
英文名 :	Advanced Skills in English A						
担当者 :	ジェイムズ　ホーバット						
開講学科 :	食品安全工学科						
単　位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	集中	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	外国語科目						
備　考 :							

■授業概要

この科目は、英語圏在住経験者や、すでにTOEIC 500点以上（目安）またはそれ相当の資格を取得している学生を対象に実施する。アカデミックリスニングとリーディングを通してレセプティブな理解力養成を行ない、さらにアカデミックなトピックについて情報を収集し、内容を要約し、レポートにまとめるようなプロダクティブな能力や発信能力など、高度な英語スキルを養成することを目指す。総合的な英語力を伸ばす一方で、専門領域において英語を駆使できるスキルを学ぶ。 授業には必ず辞書を持参すること。なお、教育効果を考慮し、受講者数調整のため、初日に抽選を行う場合がある。その際、初日を欠席した学生は、履修不可となる。

受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がける。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

英語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

理工系分野において最新の情報は英語で発信されており、学科や研究分野に関わらず常日頃から英語能力の向上を図ることが不可欠である。本講座は基礎的英語運用能力を有する者を対象に、理系トピックのプレゼンテーションやディスカッションを通して、内容だけでなく使用頻度の高い言い回しや発音などの練習を行い発信能力向上を養うことを目標とする。本講座受講後も各自英語能力向上のための学習を継続することを前提とし、それに必要な発信スキル（口頭発表、ディスカッション等）を習得することを到達目標とする。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

小テスト 40%
授業中の発表,参加する程度 40%
プレゼンテーション 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

The teacher will give feedback in class to students about common issues-- the strong points and points to work on--with their reports and written work. The teacher will give feedback about the quizzes-- strong points and areas to work on. The teacher will also give feeback in class about the students speaking, mentioning common good points and common errors.

■教科書

適時プリント配布

■参考文献

授業内で指示します。

■関連科目

英語スキル上級B

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）　j_horvat@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 (n.b. This class schedule may change due to the needs of the class.)

（授業形式：講義）

All classes (from the first to the fifteenth session) are interactive exercises.

Comparing Spoken and Written English 1

予習内容：Write down five technical terms and their meanings in English.
予習時間：15分
復習内容：Complete the exercises we discussed in class.
復習時間：30分
Differences in daily conversation and formal English. Common Phrases used in scientific papers. Technical terms versus common language.

第2回 Comparing Spoken and Written English 2

予習内容：Write down some common words we read in an English newspaper or magazine.
予習時間：15分
復習内容：Re-read the newspaper article and the scientific journal. Finish the exercise, which is about contrasting the words used.
復習時間：30分
Examining the same subject in newspaper articles versus a scientific journal-- contrasting vocabulary used and structure of the writing

第3回 Structure of a research article

予習内容：Find a research article (not a literature review) you like. Please bring it to class.
予習時間：15分
復習内容：Find the main areas (background, past studies, gap in knowledge, purpose & description) of your article's introduction
復習時間：30分
Focus of a research article, main areas covered, special focus on the introduction (background, past studies, gap in knowledge, purpose & description)

第4回 Corpus Linguistics

予習内容：Go to a search engine and look up "Kyoto Life Science Dictionary" and look at the site.
予習時間：15分
復習内容：Review the material about corpus linguistics. Do the exercises assigned.
復習時間：30分
Students will analyzed words and sentences using corpus software and websites, such as Kyoto Life Science Dictionary.

第5回 Corpus Linguistics 2

予習内容：Continue to examine Kyoto Life Science Dictionary.
予習時間：15分
復習内容：Consider what was said in class.
復習時間：30分
Students will analyze their conclusions and discuss them together. Also will continue to talk about online concordance databases and concordance software.

第6回 Journal Article Application Cover Letter

予習内容：Borrow a copy of a journal from your laboratory. Look at it. Bring it to class. (Don't forget to return it to your laboratory after class!)

予習時間：15分
復習内容：Find the author's instructions for your favorite journal.
復習時間：30分
Components of a cover letter. Successful cover letters. Rules for correspondence.

第7回 Discussion of Successful Presentations

予習内容：Write down three things we should do to give a good speech (e.g. speak loudly)
予習時間：15分
復習内容：Write a brief presentation
復習時間：30分
elements of a successful scientific presentation, rules for academic presentations, things to be aware of

第8回 Students Do Presentations About An Area of Interest

予習内容：Prepare your presentation
予習時間：15分
復習内容：Write about your favorite class presentation. Why was it your favorite?
復習時間：30分
Based on articles, students present about an area they would like to focus on.

第9回 Safety Rules in the Laboratory

予習内容：Write down three rules (on trains, in school, in the car, etc.) in life.
予習時間：15分
復習内容：Write down some rules for your laboratory.
復習時間：30分
Safety Rules, Communicating with Imperatives, Using Requests, discussing laboratory equipment and procedures in English

第10回 Current Topic in Science

予習内容：Preview the article, circling any new words
予習時間：15分
復習内容：Re-read the article we talked about in class. Write a short reflection, for your reference.
復習時間：30分
Articles on a current topic, based on the students interest as evidenced in the class, will be read, examined, and discussed

第11回 Scientific Meetings and Conferences

予習内容：Talk to your "seniors" on campus. Has any of them been to a conference? Write down the conference name, date, and place. Write down what they did at the conference (e.g. They attended a presentation, or they gave a poster presentation, etc.)
予習時間：15分
復習内容：Fill out the conference registration form.
復習時間：30分
Types of Conferences, Conference Agenda, Conference Registration, Language to use with other participants

第12回 Current Topic in Science

予習内容：Preview the article, circling any new words
予習時間：15分
復習内容：Re-read the article we talked about in class. Write a short reflection, for your reference.
復習時間：30分
Articles on a current topic, based on the students interest as evidenced in the class, will be read, examined, and discussed

第13回 Current Topic in Science

予習内容：Preview the article, circling any new words
予習時間：15分
復習内容：Re-read the article we talked about in class. Write a short reflection, for your reference.
復習時間：30分
Articles on a current topic, based on the students interest as evidenced in the class, will be read, examined, and discussed

第14回 Current Topic in Science

予習内容：Preview the article, circling any new words
予習時間：30分

復習内容：Re-read the article we talked about in class. Write a short reflection, for your reference.
復習時間：30分
Articles on a current topic, based on the students interest as evidenced in the class, will be read, examined, and discussed

第15回 Review and Wrap Up

予習内容：Think about areas of the class that were difficult and not so difficult.
予習時間：15分
復習内容：Write a comment to the instructor about this class.
復習時間：30分
Students will receive some final feedback on their performance in this class (strong areas, areas to work on.)
Students will also have a chance to reflect on the class.

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**英語スキル上級B**						
英文名　：	Advanced Skills in English B						
担当者　：	上村　バッケス　尚美						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	3年次	開講期：	集中	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：							

■授業概要

この科目は、英語圏在住経験者や、すでにTOEIC 500点以上（目安）またはそれ相当の資格を取得している学生を対象に実施する。アカデミックリスニングとリーディングを通してレセプティブな理解力養成を行ない、アカデミックなトピックについて情報を収集し、内容を要約し、レポートにまとめるような、高度な英語スキルを養成することを目指す。総合的な英語力を伸ばす一方で、専門領域において英語を駆使できるスキルを学ぶ。受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がける。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

英語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

理工系分野において最新の情報は英語で発信されており、学科や研究分野に関わらず常日頃から英語能力の向上を図ることが不可欠である。本講座は基礎的英語運用能力を有する者を対象に、学術系文書特有の英文を中心に読解力と聴解力の向上を目指し、内容理解だけでなく文章構造の分析能力も養うことを目標とする。本講座受講後も各自英語能力向上のための学習を継続することを前提とし、それに必要なスキル（文章要約、言語特徴観察と分析、リスニングの際のノートテイキング等）を習得することを到達目標とする。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

ポートフォリオ 50%
授業中の発表 30%
授業中の課題提出 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

模範答案をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■教科書

適時プリント配布

■参考文献

授業内で指示します。

■関連科目

英語スキル上級A

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）:backes@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　読解力や聴解力練習のためのウェブサイトなどの紹介(授業形式：講義)

予習内容：科学誌や英字新聞の科学セクションを閲覧する。
予習時間：30分
復習内容：科学ニュースを3本選択しレポートにまとめる。
復習時間：60分
Nature, Scienceなどの科学誌やNew York Timesなどの英字新聞の科学セクションの記事などから各自興味のある分野の情報を検索閲覧する方法を学ぶ。

第2回　学術系文書の言語特徴の検証(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：共起表現サイトを用いてアカデミックな表現を検索する。
予習時間：45分
復習内容：共起表現検索サイトで科学系のアカデミックな表現例を検索し、それらの特徴や用法をまとめる。
復習時間：45分
共起表現検索サイトで科学系のアカデミックな表現例を検索し、それらの特徴や用法をまとめ発表する。
発表内容をデータとしてポートフォリオに保存する。

第3回　Nature誌、Science誌論文要旨講読（1）(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：科学誌からの記事を3本選択する。
予習時間：45分
復習内容：科学雑誌からの記事を研究分野別に収集し、それらの要旨をスライドにまとめる。
復習時間：45分
科学雑誌からの記事を研究分野別に収集し、それらの要旨をスライドにまとめ発表する。

第4回　Nature誌、Science誌論文要旨講読（2）(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：科学誌からの記事を3本選択する
予習時間：45分
復習内容：科学雑誌からの記事を研究分野別に収集し、それらの要旨をスライドにまとめる。
復習時間：45分
科学雑誌からの記事を研究分野別に収集し、それらの要旨をスライドにまとめ発表する。

第5回　Nature誌、Science誌論文序論講読（1）(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：科学誌からの記事を3本選択する
予習時間：45分
復習内容：科学雑誌からの記事を研究分野別に収集し、それらの序論をスライドにまとめる。
復習時間：45分
科学雑誌からの記事を研究分野別に収集し、それらの序論をスライドにまとめ発表する。

第6回　Nature誌、Science誌論文序論講読（2）(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：科学誌からの記事を3本選択する
予習時間：45分
復習内容：科学雑誌からの記事を研究分野別に収集し、それらの序論をスライドにまとめる。
復習時間：45分
科学雑誌からの記事を研究分野別に収集し、それらの序論をスライドにまとめ発表する。

第7回　論文序論の内容を要約し、発表と質疑応答(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：科学誌からの記事を3本選択する
予習時間：45分
復習内容：収集した論文を一つを要旨と序論を用いて内容を要約し発表と質疑応答の準備をする。
復習時間：45分
収集した論文を一つを要旨と序論を用いて内容を要約し発表と質疑応答の練習をする。

第8回　理系関連ニュースリスニング（1）(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：科学系ニュースを視聴する。
予習時間：45分
復習内容：オンライン音声教材の中から科学系ニュースを用いてリスニングし、録音する。
復習時間：45分
VOA、New York Timesなどのオンライン音声教材の中から科学系ニュースを用いてリスニング力を強化する。

第9回　理系関連ニュースリスニング（2）(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：科学系ニュースを視聴する。

予習時間：45分
復習内容：オンライン音声教材の中から科学系ニュースを用いてリスニングし、録音する。
復習時間：45分
前回使用した教材のシャドーイング練習をして、発表する。

第10回　理系ポッドキャスト・リスニング（1）(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：Podcastsのオンライン音声教材を用いてリスニングする。
予習時間：45分
復習内容：Podcastsのオンライン音声教材を用いてシャドーイング練習をする。
復習時間：45分
Nature、Science　Podcastsのオンライン音声教材を用いてリスニング力を強化する。

第11回　理系ポッドキャスト・リスニング（2）(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：Podcastsのオンライン音声教材を用いてシャドーイング練習をする。
予習時間：45分
復習内容：Podcastsのオンライン音声教材を用いてシャドーイング練習をし録音する。
復習時間：45分
前回使用した教材のシャドーイング練習をして、発表する。

第12回　理系レクチャー・リスニング（1）(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：オンライン音声教材の科学系講義のリスニングしてくる。
予習時間：45分
復習内容：レクチャー特有の表現などをレポートにまとめる。
復習時間：45分
オンライン音声教材の科学系講義のリスニングをして内容をまとめる。

第13回　理系レクチャー・リスニング（2）(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：前回利用した講義教材のシャドーイング練習する。
予習時間：45分
復習内容：前回利用した講義教材のシャドーイング練習し録音する。
復習時間：45分
前回利用した講義教材のシャドーイング練習し成果を録音しポートフォリオに保存する。

第14回　理系トピック・プリゼンテーション（1）(授業形式：演習)

予習内容：理系プリゼンテーションの準備をする。
予習時間：45分
復習内容：プリゼンテーション内容をまとめる。
復習時間：45分
今までの授業でカバーした科学系トピックの中から自分の興味のあるトピックを選び、新聞、ネット、科学雑誌及び論文などの媒体を横断しどのように発信されているかをスライドにまとめ発表する。

第15回　理系トピック・プリゼンテーション（2）(授業形式：演習)

予習内容：理系プリゼンテーションの準備をする。
予習時間：45分
復習内容：プリゼンテーション内容をまとめる。
復習時間：45分
今までの授業でカバーした科学系トピックの中から自分の興味のあるトピックを選び、新聞、ネット、科学雑誌及び論文などの媒体を横断しどのように発信されているかをスライドにまとめ発表する。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**海外研修（英語）**						
英文名　：	Study Abroad Program (English)						
担当者　：	服部　圭子・長谷川　由美・玉井　潤野						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	集中	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：							

■授業概要

この科目は、本学本部グローバル・エデュケーションセンターセンター所管の夏期または春期英語研修に参加し、海外における研修を修了して規定の成績を得た者に、所定の手続きを経て単位が与えられるものである。海外研修に加えて、学部での事前・事後研修授業に参加すること。授業には必ず辞書を持参すること。なお、研修の申し込みは、各自行う必要がある。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

英語圏で実際に生活することによって、日頃の学習の成果を試し、リスニング力、スピーキング力、ライティング力、リーディング力などの総合的英語力を身につけることを目標とする。また、異文化適応力をつけ、自らの意見を発信する力を養成する。さらに、海外での体験をまとめて、わかりやすく発表できるようになることを目指す。

■成績評価方法および基準

事前研修で課題とした記録（30日分） 20%
プレゼンテーションのためのパワーポイント 10%
プレゼンテーションのための英文原稿 10%
プレゼンテーション 10%
海外研修先から届くスコア 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

研修後の発表およびレポートに関し、プレゼンテーションの録音や録画資料を用いて振り返りを行います

■教科書

【留意事項】プリント資料（研修時に配布）

■参考文献

【留意事項】初日に提示

■関連科目

特になし

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

服部研究室（2号館5階513）・khattori@waka.kindai.ac.jp
長谷川研究室（2号館5階512）・hasegawa@waka.kindai.ac.jp

玉井研究室（2号館5階506室）・junyatamai@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

各自、担当教員にメールで連絡してください。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

事前学習として、本学グローバル・エデュケーションセンター所管の夏期または春期英語研修に参加するに際しての心構えや準備できることについて意識を高める。また、参加者個々の参加目標／参加動機などの意見交換を行うことによって、どのようにすれば英語研修がより良いものになりうるのかを考える。具体的な準備としては、「自分」についてより的確にアピールするための英語による自己紹介を考える。さらに、英語による日本文化の紹介について準備し、ホームステイや寮生活で必要な英語表現および非常事態や緊急事態に必要になりそうな英語表現について考える。

研修中は、現地の教員やスタッフの指示に従って、各々の研修先の授業や活動プログラムに積極的に参加する。

事後学習として、海外研修で得た経験の報告を行う。英語による発表準備を行うために、研修時の写真などを用いた効率的な視覚資料（スライドなど）と発表原稿の作成を行う。そして、リハーサルを行って発表に対する意見交換をし、プレゼーテーションを行う。

最終的には、海外研修によって得た経験を今後の学習／生活にどのように活かせるのかについて意見交換を行い、これをまとめとする。
予習内容：海外研修前は英語での自己紹介や日本紹介のノートを作成する。研修中は、毎日の授業準備を丁寧に行う。
予習時間：500分
復習内容：研修中は授業や活動の振り返りを行うとともに、毎日の記録をつけて、学んだ英語表現や文化的経験に関して記述する。研修後は、各々、報告のためのプレゼンテーションの準備を行う。
復習時間：550分

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**言語演習（英語） 1**						
英文名　：	Language Seminar(English) 1						
担当者　：	ジェイムズ　ホーバット						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	集中	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：							

■授業概要

We will be focusing on helping students to discuss English for the sciences and technology. Videos, diagrams, specifications, and webpages will be used to talk about scientific processes, products, and so on.

受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がける。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

ビデオクリップ（2～5分）などによる現代や未来の身近なトピックスと英語の歌等を使う中で、リスニングやリーディング能力の改善・進歩を図ることを学 習目標とする。また、グループディスカッションやクラスディスカッションを通して自分の考えを英語で効果的に伝えたり、他者の考えを論理的に理解したりする能力を高める養成やトレーニングを行なう。 "英語で考え、英語で表現する姿勢を心がけてください。集中講座として開講されます。上級レベルの英語習得を目指す者を対象とする。（英語スキル上級A・B受講者など)
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

ディスカッション 40%
発表 20%
小テスト 40%

■試験・課題に対するフィードバック方法

Students will receive some feedback, especially common errors, on their quizzes from the teacher during the class. Students will receive feedback on their assignments, especially common strengths and things to work on, from the teacher during the class. There will be some feedback on class discussions, good points, and some important errors / things to work on.

■教科書

授業内で指示します。

■参考文献

授業内で指示します。

■関連科目

言語演習（英語） 2

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）　j_horvat@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

(n.b. This class schedule may change due to the needs of the class.)

全部の授業（1回目から１５回目まで）は演習になっております。
All classes (from the first to the fifteenth session) are interactive exercises.

第1回　Meeting in a Distribution Company 1

予習内容：Write down some things people do in meetings (share information, solve problems, etc).
予習時間：15分
復習内容：Write the English version of the key points of a meeting you had recently.
復習時間：15分
A video meeting between manufacturer and distributor. Vocabulary and phrases. Some discussion of initial contact in English with other workers in a workplace environment.

第2回　Materials, Supply, Manufacturing

予習内容：Write down some common materials used for manufacturing.
予習時間：15分
復習内容：Write a simple path and description from materials supplier to manufacturer to distributor.
復習時間：15分
Supply and manufacturing process—supply chain, raw materials, tools and equipment, transport to the distributor.

第3回　Product Specifications 1

予習内容：Measure and down the size of your smartphone or home computer.
予習時間：15分
復習内容：Write product specifications of something in a laboratory.
復習時間：15分
Products—size and dimension, weight, materials used, sources of power. We will share these with the class.

第4回　Product Specifications 2

予習内容：Write down the capabilities of something in your kitchen.
予習時間：15分
復習内容：Write down the capabilities of some machine / equipment.
復習時間：15分
Capabilities and use for products. What can they do? What are they used for?

第5回　Recruiting Ads for Engineering, Science 1

予習内容：Write down three interesting jobs and skills needed.
予習時間：15分
復習内容：Find a recruiting ad in English and write five sentences about it.
復習時間：15分
Recruiting ads-- workers in engineering and science— skills needed, working conditions, details of work.

第6回　Recruiting Ads for Engineering, Science 2

予習内容：What makes a job popular? Write down three reasons.
予習時間：15分
復習内容：Compare a recruiting ad in English and in Japanese. Write down three things that
are the same and three things that are different.
復習時間：15分
Comparing recruiting ads between English-speaking countries and Japan in more detail.

第7回　Describing Processes 1

予習内容：Make a list of some natural processes (e.g. photosynthesis).
予習時間：15分
復習内容：Write down a description of a natural process. What are the main steps?
復習時間：15分
Common processes in the natural world in English.

第8回　Describing Processes 2

予習内容：Make a list of some processes in companies (e.g. the design process).
予習時間：15分
復習内容：Write down a description of a process in manufacturing or technology.
What are the main steps?
復習時間：15分
Common processes in manufacturing, engineering, and technology companies.

第9回 Presentations on Food, Engineering, Science, or Technology Companies 1

予習内容：Write down three things that people giving a speech need to do (e.g. speak loudly)
予習時間：15分
復習内容：Think about a topic for your presentation.
復習時間：15分
Essential elements of a good presentation. Guidelines for presenters.

第10回 Presentations on Food, Engineering, Science, or Technology Companies 2

予習内容：Think more about your presentation topic.
予習時間：15分
復習内容：Finish writing your presentation.
復習時間：15分
Vocabulary and phrases needed to talk about these companies.

第11回 Emailing in the Technical Fields

予習内容：When did you last send an email? What was the topic? Write three sentences.
予習時間：15分
復習内容：Write a short email to a company.
復習時間：15分
Common emails in technical fields.

第12回 Warning Labels, Signs, Laboratory Rules

予習内容：Write three rules for the laboratory.
予習時間：15分
復習内容：Write down some common signs in your laboratory, in English.
復習時間：15分
Common written language used in the laboratory.

第13回 Great Technology Centers—Silicon Valley and Seattle

予習内容：Write down three things you want to see in California or Washington State.
予習時間：15分
復習内容：Find a picture of a city in the S.F. Bay Area of California or Washington State.
Write some sentences about it.
復習時間：15分
Vocabulary and speaking. Why are Silicon Valley and Seattle great technology centers?
What do we need to do when visiting?

第14回 The Culture of Start-Up Tech Companies, The Culture of Scientific Institutions

予習内容：Write down three famous tech companies.
予習時間：15分
復習内容：Write a paragraph about the culture of either a tech company or a scientific institution.
復習時間：15分
The workplace culture of start ups and scientific laboratories.

第15回 Review and Wrap Up

予習内容：Consider which activities in class were easy & which were more difficult.
予習時間：15分
復習内容：Write a brief comment about the class.
復習時間：15分
Review the class. Provide feedback.

There is no final exam.

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**言語演習（英語） 1**						
英文名　：	Language Seminar(English) 1						
担当者　：	武知　薫子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】金曜2限						

■授業概要

このコースは、英語で内容を学ぶ CLIL（Content and Language Integrated Learning：内容言語統合型学習）です。ポライトネス理論の学習を通して自己に触れ、自己の文化と他者の文化の違いに触れる異文化の学習でもあります。一連の学習活動を通して、語彙力を養うと共に、英語への理解を深め、異文化の人々とのコミュニケーションを円滑にできる能力を養います。

ポライトネス理論は、自分にとって好ましい印象をコミュニケーションで相手に抱かせる言語活動と非言語活動を説明する理論です。この理論で語られるフェイスは、話者が必ず持っている、他者に自分について抱いてもらいたいイメージです。相手のフェイスに対するイメージを理解して尊重するか、理解せずに傷つけるかによって、コミュニケーションの結果、人間関係が左右されます。ポライトネス理論は、社会言語学であり、言語の使用という面では語用論という学問に分類されます。この授業では、ポライトネスとフェイスの基本概念と具体例、それらの性別による違い、かつ文化による違いを英語で学び、英語ならではの語彙と、多文化への理解を深めます。

学習材料にはポライトネス理論とフェイス侵害行為（FTA）の概要の説明文（英文）、具体例についてのディスカッション、論文の一部、ロールプレイ（役割分担した寸劇）を用い、日本語と英語の双方で学習します。毎時の教材は教員が準備したものをGoogle Classroomへの投稿やハンドアウトの形で適時に配付します。特定の教科書は用いません。

小テストは語彙テスト（概念の説明を含む）を複数回、行います。授業課題の提出は基本的に毎時間あります。定期試験では、コースで学んだ概念と特徴的な語彙表現への理解を確認します。

なお、受講者調整のため初日に抽選を行う場合があります。その際、初日を欠席した学生は原則として履修が認められません。

受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がけてください。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、この授業を履修することにより、

1．新たな概念についての英語読解力と語彙力を養う。
2．英語を無理なく読み解き、内容をすばやく把握する能力を習得できる。
3．演習を通して英語と日本語の相違点、類似点への理解を深め、世界に関する知見を広げ、異文化の人々とのコミュニケーションを円滑に行う能力を培うことができる。

この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー3の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期テスト 50%
小テスト 20%

発表および課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説等はGoogle Classroomに掲示します。

■教科書

特に使用せず、適時、用意した教材を配付

■参考文献

[ISBN]9784327378202　『ポライトネス 言語使用における、ある普遍現象』（ペネロピ・ブラウン、研究社：2011）

■関連科目

言語演習（英語） 2

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・datatuj@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

授業時限の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

ポライトネス理論（politeness）とフェイス侵害行為(ＦＴA: Face-Threatening Act)の概要を学ぶ。（第１回、第2回）オリエンテーションを含む。（授業形式：演習を含む講義）

日本語と英語の両方のWikipediaで調べ、概念を把握する。
登場するキーワード（日本語と英語）を学ぶ。
日本語と英語のWikipediaで説明のされ方が違う様子を確認し、違いが生じる原因を考察する。（日本語と英語の双方の表記に触れて情報を補完する意義を確認する。）

具体的なエピソードを通しPolitenessとＦＴAへの理解を深める。（第３回、第４回、第5回、第６回）
（授業形式：演習を含む講義）

日本語と英語、双方の文献や映画のシーンで、当てはまるエピソードを確認する。
登場するキーワード（日本語と英語）を学ぶ。
個人的なエピソードを想起し、発表する。
個人的なエピソードを英語で表現する。（AIの翻訳結果をgoogle usa検索を用いて修正する方法を学ぶ）

PolitenessとＦＴAについて書かれた論文を通し、多様な言語文化を理解する。（第7回、第8回、第9回、第10回）（授業形式：演習を含む講義）

論文のアブストラクトを読解する。
論文に登場するエピソード（具体例）を読解する。
登場するキーワード（日本語と英語）を学ぶ。
PolitenessとＦＴAを支えるその社会の通念(social norms)を考える。
多様な言語文化におけるPolitenessを考える。

円滑な人間関係を生みだすPolitenessとグローバルなコミュニケーションを考察する。（第11回、第12回、第13回、第14回）
（授業形式：演習を含む講義）

異文化を体験するロールプレイの指示書を英語で読解する。
登場するキーワードを学ぶ。
ロールプレイを行い、コミュニケーションとしてのPolitenessとFTAを体験する。
ロールプレイを行った感想と報告書を英語で作成する。

まとめ（第15回）（授業形式：講義）

毎時間に対し、
予習内容：配付資料を学習し、語彙をしらべ、内容をまとめる。
予習時間：60分
復習内容：学習内容を見直し、概念と語彙を整理する。
復習時間：60分

定期試験

筆記試験形式。配付教材から範囲を指定。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**言語演習（英語） 1**						
英文名　：	Language Seminar(English) 1						
担当者　：	竹中　義胤						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】月曜5限						

■授業概要

アメリカのポピュラーカルチャーについての読み物を読みながら多文化に対する理解を広めながら、読解力、聴解力を養い、読むために必要な文法の知識も確認していきます。同時に形態素について学び語彙力強化も目指していきます。受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がけること。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

読解、聴解、作文の練習を通じて総合的な英語力を要請
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
口頭発表 30%
課題 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

メールで対応します。

■教科書

[ISBN]9784255154787 『アメリカン・ポップカルチャー』 (町田 哲司, 朝日出版社：2010)

■参考文献

特に指定しません。

■関連科目

言語演習 2

■授業評価アンケート実施方法

大学授業規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階254）・takenaka@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

該当科目開講時の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

対面授業を前提として、15 回(定期試験を含まない)

第1回　The Hamburger Icon-McDonald’s 前半
（授業形式：講義または講義＋演習）
予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
読解練習
語彙力強化（形態素を使った単語の覚え方の学習）
読み物を通じて日米の文化の違いを学習

第2回　The Hamburger Icon-McDonald’s 後半
（授業形式：講義または講義＋演習）
予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
リスニング
英作文
リスニングのコツと英文の構造についての学習

第3回　Southern USA Cuisine-Kentucky Fried Chicken (KFC)　前半
（授業形式：講義または講義＋演習）
予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
読解練習
語彙力強化（形態素を使った単語の覚え方の学習）
読み物を通じて日米の文化の違いを学習

第4回　Southern USA Cuisine-Kentucky Fried Chicken (KFC)　後半
（授業形式：講義または講義＋演習）
予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
リスニング
英作文
リスニングのコツと英文の構造についての学習

第5回　Coffee Drinks for the Planet-Starbucks　前半
（授業形式：講義または講義＋演習）
予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
読解練習
語彙力強化（形態素を使った単語の覚え方の学習）
読み物を通じて日米の文化の違いを学習

第6回　Coffee Drinks for the Planet-Starbucks　後半
（授業形式：講義または講義＋演習）
予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
リスニング
英作文
リスニングのコツと英文の構造についての学習

第7回　The Quick Snack-Dunkin’ Donuts　前半
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
読解練習
語彙力強化（形態素を使った単語の覚え方の学習）
読み物を通じて日米の文化の違いを学習

第8回　The Quick Snack-Dunkin’ Donuts　後半
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
リスニング
英作文
リスニングのコツと英文の構造についての学習

第9回　A Modern Lifestyle-7-Eleven Stores　前半
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
読解練習
語彙力強化（形態素を使った単語の覚え方の学習）
読み物を通じて日米の文化の違いを学習

第10回　A Modern Lifestyle-7-Eleven Stores　後半
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
リスニング
英作文
リスニングのコツと英文の構造についての学習

第11回　The Great White Day-Broadway　前半
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
読解練習
語彙力強化（形態素を使った単語の覚え方の学習）
読み物を通じて日米の文化の違いを学習

第12回　The Great White Day-Broadway　後半
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
リスニング
英作文
リスニングのコツと英文の構造についての学習

第13回　America’s Dream Factory-Hollywood　前半
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分

復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
読解練習
語彙力強化（形態素を使った単語の覚え方の学習）
読み物を通じて日米の文化の違いを学習

第14回　America’s Dream Factory-Hollywood　後半
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
リスニング
英作文
リスニングのコツと英文の構造についての学習

第15回　総復習（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
授業内容の総復習
学習した内容の総復習（学習した語句やリスニングのコツ等の復習）

定期試験

授業中に指示します。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**言語演習（英語） 1**						
英文名　：	Language Seminar(English) 1						
担当者　：	玉井　潤野						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】木曜5限						

■授業概要

「読む」技能を中心として、総合的な英語能力の向上を図る授業です。自然科学系のトピックを扱った教科書を使用し、以下で提示する各回の内容はこの教科書に基づいています。関連する英語の動画なども適宜とりあげる場合があります（詳細は受講者の皆さんと相談の上で授業中に指示します）。受講者の英語力に応じて、受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がけてください。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者の英語４技能（読む・聞く・話す・書く）の全般的な向上を目的として、専門的な英語の文章を読むための下地となる語彙・文法事項の定着を図ります。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表および課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

小テストや課題の解答・要点の解説は、授業内で行います。定期試験については、受講生と相談の上でフィードバックします。

■教科書

[ISBN]9780357116289 『Reading Explorer Foundations』 (Tarver-Chase, Becky, Heinle & Heinle Pub：2019)

■参考文献

教科書以外の資料を用いる場合は詳細を授業中に指示します。

■関連科目

言語演習（英語） 2

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

玉井研究室（2号館5階506室）・junyatamai@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

月曜日の２・３限、火曜日の１限（事前にメールで予約してください。）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション

予習内容：教科書に目を通し、特に各Unitの構成や英文のレベルを把握しておくこと。
予習時間：30分
復習内容：授業の内容を復習し、特に自身の得意な範囲や苦手な範囲に関して考えてみること。
復習時間：30分
予習・復習の際に心がけることなどを中心に、この授業について概説する。

第2回 Unit 1: Mysteries （前半）

予習内容：テキストの授業範囲内にある設問に答え、分からない単語・構文をチェックしておくこと
予習時間：60分
復習内容：授業中に解説した内容を中心に、学習内容を復習すること
復習時間：60分
Unit 1A: A Mysterious Visitor (本文およびそれに付随する設問)　地球外生命体の宇宙船ともいわれた謎の物体オウムアムアについて英文を読み、用いられた語彙・文法事項を習得する。

第3回 Unit 1: Mysteries （後半）

予習内容：テキストの授業範囲内にある設問に答え、分からない単語・構文をチェックしておくこと
予習時間：60分
復習内容：授業中に解説した内容を中心に、学習内容を復習すること
復習時間：60分
Unit 1B: The Lost City of Atlantis (本文およびそれに付随する設問)　一夜にして海に沈んだとされる伝説の大陸アトランティスについて英文を読み、用いられた語彙・文法事項を習得する。

第4回 Unit 2: Eating Extremes （前半）

予習内容：テキストの授業範囲内にある設問に答え、分からない単語・構文をチェックしておくこと
予習時間：60分
復習内容：授業中に解説した内容を中心に、学習内容を復習すること
復習時間：60分
Unit 2A: The World of Speed Eating (本文およびそれに付随する設問)　毎年米国ブルックリンで開催される大食い競争について英文を読み、用いられた語彙・文法事項を習得する。

第5回 Unit 2: Eating Extremes （後半）

予習内容：テキストの授業範囲内にある設問に答え、分からない単語・構文をチェックしておくこと
予習時間：60分
復習内容：授業中に解説した内容を中心に、学習内容を復習すること
復習時間：60分
Unit 2B: The Hottest Chilies　さまざまな種類のトウガラシ類とその辛さの尺度について英文を読み、用いられた語彙・文法事項を習得する。

第6回 Unit 3: Cool Jobs （前半）

予習内容：テキストの授業範囲内にある設問に答え、分からない単語・構文をチェックしておくこと
予習時間：60分
復習内容：授業中に解説した内容を中心に、学習内容を復習すること
復習時間：60分
Unit 3A: Digging for the Past　周囲の反対を押し切り考古学者になった女性について英文を読み、用いられた語彙・文法事項を習得する。

第7回 Unit 3: Cool Jobs （後半）

予習内容：テキストの授業範囲内にある設問に答え、分からない単語・構文をチェックしておくこと
予習時間：60分
復習内容：授業中に解説した内容を中心に、学習内容を復習すること
復習時間：60分
Unit 3B: Getting the Shot　『ナショナル・ジオグラフィック』で活躍する写真家について英文を読み、用いられた語彙・文法事項を習得する。

第8回 Unit 1-3の重要な語彙・文法事項

予習内容：第2回から第7回までの内容を改めて振り返り、理解の及んでいない事項をチェックしておくこと
予習時間：60分
復習内容：授業中に解説した内容を中心に、学習内容を復習すること
復習時間：60分
Unit1-3までの復習　これまでに習った語彙・文法事項を新たな英文を題材として復習する。

第9回 Unit 4: Shipwrecks （前半）

予習内容：テキストの授業範囲内にある設問に答え、分からない単語・構文をチェックしておくこと
予習時間：60分
復習内容：授業中に解説した内容を中心に、学習内容を復習すること
復習時間：60分
Unit 4A: : I’ve Found the Titanic!　１９８５年に沈没した豪華客船タイタニック号について英文を読み、用いられた語彙・文法事項を習得する。

第10回　Unit 4: Shipwrecks （後半）

予習内容：テキストの授業範囲内にある設問に答え、分からない単語・構文をチェックしておくこと
予習時間：60分
復習内容：授業中に解説した内容を中心に、学習内容を復習すること
復習時間：60分
Unit 4B: My Descent to the Titanic　海底に沈んだタイタニック号の調査について英文を読み、用いられた語彙・文法事項を習得する。

第11回　Unit 5: Science Investigators （前半）

予習内容：テキストの授業範囲内にある設問に答え、分からない単語・構文をチェックしておくこと
予習時間：60分
復習内容：授業中に解説した内容を中心に、学習内容を復習すること
復習時間：60分
Unit 5A: The Disease Detective　食中毒が多発した地域で原因を突き止めた疫学者について英文を読み、用いられた語彙・文法事項を習得する。

第12回　Unit 5: Science Investigators （後半）

予習内容：テキストの授業範囲内にある設問に答え、分からない単語・構文をチェックしておくこと
予習時間：60分
復習内容：授業中に解説した内容を中心に、学習内容を復習すること
復習時間：60分
Unit 5B: At the Scene of a Crime　犯罪の現場における科学的な証拠の収集について英文を読み、用いられた語彙・文法事項を習得する。

第13回　Unit 6: Plants and Trees （前半）

予習内容：テキストの授業範囲内にある設問に答え、分からない単語・構文をチェックしておくこと
予習時間：60分
復習内容：授業中に解説した内容を中心に、学習内容を復習すること
復習時間：60分
Unit 6A: Planting for the Planet　ドイツの少年がはじめた植樹プロジェクトについて英文を読み、用いられた語彙・文法事項を習得する。

第14回　Unit 6: Plants and Trees （後半）

予習内容：テキストの授業範囲内にある設問に答え、分からない単語・構文をチェックしておくこと
予習時間：60分
復習内容：授業中に解説した内容を中心に、学習内容を復習すること
復習時間：60分
Unit 6B: Fatal Attraction　奇妙な形状の食虫植物について英文を読み、用いられた語彙・文法事項を習得する。

第15回　Unit 4-6の重要な語彙・文法事項

予習内容：第9回から第14回までの内容を改めて振り返り、理解の及んでいない事項をチェックしておくこと
予習時間：60分
復習内容：授業中に解説した内容を中心に、学習内容を復習すること
復習時間：60分
Unit 4-6の復習　期末試験に向けて、これまでに習った語彙・文法事項を新たな英文を用いて再確認する。

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**言語演習（英語） 1**						
英文名　：	Language Seminar(English) 1						
担当者　：	根来　玲子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】金曜1限						

■授業概要

・英語のリーディング能力を中心に総合的な英語能力の向上と定義を図る。
・予習は必須。
・授業で扱うオーディオではシャードーイングをすること。
・辞書は携帯必要。
・受講期間中にTOEICをできるだけ受検すること。
・受講期間中にランゲージスペースの有効活用を心がける。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

この授業の履修により、英語の基礎4技能「読む」「書く」「聞く」「話す」の基礎力を固め、特に英語での情報収集や論文を読むのに必要な英語読解力を養う。この科目は近畿大学の教養教育の目的２および５の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表および課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

授業内およびGoogle Classroomでフィードバックします。

■教科書

[ISBN]9780357116289 『Reading Explorer Foundations』 (Tarver-Chase, Becky, Heinle & Heinle Pub：2019)
留意事項：教科書は必ずISBN 番号が同じものを購入してください。（コピー不可）

■参考文献

授業内で必要に応じて指定します。

■関連科目

言語演習（英語） 2

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室(2号館2階）・rnegoro@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション （授業形式：講義）

予習内容：クラス内で発表しあう英語での自己紹介を考える。シラバスの通読。
予習時間：30分
復習内容：テキストの概要を知る。
復習時間：20分
授業の進め方
・予習/復習の進め方
・課題/Google Classroomについて
受講に関しての注意事項
・出欠/遅刻について
・持参物について
・携帯電話の使用制限について
・参加態度について
・定期試験について
・総合評価について
・その他受講に関しての注意点について

第2回 Unit 1 Mysteries 前半 （授業形式：講義、演習）

予習内容：語彙を調べて本文を訳し内容を把握しておく。
予習時間：90分
復習内容：練習問題の答えを復習して、本文を再読、音読する。
復習時間：60分
Unit 1 A: A Mysterious Visitor 本文を読む。 Reading Comprehension の答え合わせと解説。
Vocabulary Practice を解答して答え合わせをする。

第3回 Unit 1 Mysteries 後半 （授業形式：講義、演習）

予習内容：語彙を調べて本文を訳し内容を把握しておく。
予習時間：90分
復習内容：練習問題の答えを復習して、本文を再読、音読する。
復習時間：60分
Unit 1 B: The Lost City of Atlantis 本文を読む。Reading Comprehension の答え合わせと解説。
Reading Skillを解答して答え合わせをする。Videoを視聴して問いに答え、解説する。

第4回 Unit 2 Eatning Extremes 前半 （授業形式：講義、演習）

予習内容：語彙を調べて本文を訳し内容を把握しておく。
予習時間：90分
復習内容：練習問題の答えを復習して、本文を再読、音読する。
復習時間：60分
Unit 2 A: The World of Speed Eating 本文を読む。Reading Comprehension の答え合わせと解説。
Vocabulary Practice を解答して答え合わせをする。

第5回 Unit 2 Eatning Extremes 後半 （授業形式：講義、演習）

予習内容：語彙を調べて本文を訳し内容を把握しておく。
予習時間：90分
復習内容：練習問題の答えを復習して、本文を再読、音読する。
復習時間：60分
Unit 2 B: The Hottest Chilies 本文を読む。Reading Comprehension の答え合わせと解説。
Reading Skillを解答して答え合わせをする。Videoを視聴して問いに答え、解説する。

第6回 Unit 3 Cool Jobs 前半 （授業形式：講義、演習）

予習内容：語彙を調べて本文を訳し内容を把握しておく。
予習時間：90分
復習内容：練習問題の答えを復習して、本文を再読、音読する。
復習時間：60分
Unit 3 A：Digging for the Past 本文を読む。Reading Comprehension の答え合わせと解説。
Vocabulary Practice を解答して答え合わせをする。

第7回 Unit 3 Cool Jobs 後半 （授業形式：講義、演習）

予習内容：語彙を調べて本文を訳し内容を把握しておく。
予習時間：90分

復習内容：練習問題の答えを復習して、本文を再読、音読する。
復習時間：60分
Unit 3 B:　Getting the Shot 本文を読む。。Reading Comprehension の答え合わせと解説。
Reading Skillを解答して答え合わせをする。Videoを視聴して問いに答え、解説する。

第8回 Unit 3　Cool Jobs 復習　（授業形式：講義、演習）

予習内容：本文の再読する。
予習時間：60分
復習内容：練習問題の答えを復習して本文を音読する。
復習時間：60分
Unit 3B　の Vocabulary　Practice を解答して答え合わせをする。　Unit3　A,Bを比較して話し合う。
Unit1A～3Bまでの総合復習をする。

第9回 Unit 4 Shipwrecks 前半　（授業形式：講義、演習）

予習内容：語彙を調べて本文を訳し内容を把握しておく。
予習時間：90分
復習内容：練習問題の答えを復習して、本文を再読、音読する。
復習時間：60分
Unit 4 A: I've Found the Titanic! 本文を読む。Reading Comprehension の答え合わせと解説。
Vocabulary　Practice を解答して答え合わせをする。

第10回 Unit 4 Shipwrecks 後半　（授業形式：講義、演習）

予習内容：語彙を調べて本文を訳し内容を把握しておく。
予習時間：90分
復習内容：練習問題の答えを復習して、本文を再読、音読する。
復習時間：60分
Unit 4 B: My Descent to the Titanic 本文を読む。Reading Comprehension の答え合わせと解説。
Reading Skillを解答して答え合わせをする。Videoを視聴して問いに答え、解説する。

第11回 Unit 5 Scinece Investigators 前半　（授業形式：講義、演習）

予習内容：語彙を調べて本文を訳し内容を把握しておく。
予習時間：90分
復習内容：練習問題の答えを復習して、本文を再読、音読する。
復習時間：60分
Unit 5 A：The Disease Detective 本文を読む。Reading Comprehension の答え合わせと解説。
Vocabulary　Practice を解答して答え合わせをする。

第12回 Unit 5 Scinece Investigators 後半　（授業形式：講義、演習）

予習内容：語彙を調べて本文を訳し内容を把握しておく。
予習時間：90分
復習内容：練習問題の答えを復習して、本文を再読、音読する。
復習時間：60分
Unit 5 B: At the Scene of a Crime　本文を読む。Reading Comprehension の答え合わせと解説。
Reading Skillを解答して答え合わせをする。Videoを視聴して問いに答え、解説する。

第13回 Unit 6 Plants and Trees 前半　（授業形式：講義、演習）

予習内容：語彙を調べて本文を訳し内容を把握しておく。
予習時間：90分
復習内容：練習問題の答えを復習して、本文を再読、音読する。
復習時間：60分
Unit 6 A：Planting for the Planet 本文を読む。Reading Comprehension の答え合わせと解説。
Vocabulary　Practice を解答して答え合わせをする。

第14回 Unit 6 Plants and Trees 後半　（授業形式：講義、演習）

予習内容：語彙を調べて本文を訳し内容を把握しておく。
予習時間：90分
復習内容：練習問題の答えを復習して、本文を再読、音読する。
復習時間：60分
Unit 6 B: Fatal Attraction　本文を読む。Reading Comprehension の答え合わせと解説。
Reading Skillを解答して答え合わせをする。Videoを視聴して問いに答え、解説する。

第15回 Unit 6 Plants and Trees　復習　（授業形式：講義、演習）

予習内容：本文の再読をする。

予習時間：60分
復習内容：定期試験に向けて総合的に復習する。
復習時間：60分
Unit 6BのVocabulary　Practice を解答して答え合わせをする。Unit 6のテーマを話しあう。Unit 1 から Unit 6まで総復習をする。

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**言語演習（英語） 1**						
英文名　：	Language Seminar(English) 1						
担当者　：	長谷川　由美						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】火曜3限						

■授業概要

本クラスでは、英語が主な使用言語であり、英語を道具として使い、ASL（American Sign Language:アメリカの手話）をの基本を学ぶ。指定するテキストはないが、ハンドアウトを配布する。アクティビティなどが多いので積極的に授業に参加することが必要となる。各自ノートを準備し、手話をどのように表すのかを書き取る工夫が必要となる。また、宿題として指定された英語の動画を見て、復習をする。またASLに関する英文読解も行う。英文資料を配布された場合は次回までに単語などを調べて置き、次回の授業に備えること。使用言語は主に英語とASLと日本語です。

万が一、授業が対面ではなくオンラインになった場合は、カメラはオンで受講すること。本科目で学ぶ手話は視覚言語であるので、この点を理解して受講登録するように。（シラバスを作成している時点では、オンライン授業の予定はありません。）

また、受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がけましょう。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・その他の言語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

★英語で基本的なASL(American Sign Language：アメリカの手話)の指文字、単語、単文の読み取りと表出ができるようになる。
・指文字（A～Z)
・数字
・簡単な自己紹介
・簡単なYes/No、およびWh-疑問文とそれに対する答え
・あいさつ文
★基礎的なASLの読み取りができる。
★英語の指示を聞き、手指や腕を動かすことができる。
★表情豊かにASLを使うことができる。
★ASLの簡単な歴史やDeaf Cultureについて理解を深める（英文読解）。
★ASLに関する英語の動画をみて、英語のリスニング力の向上を目指す。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト（複数回あります）<ALSの読み取り、英単語など> 40%
課題（動画） 10%

■試験・課題に対するフィードバック方法

模範答案もしくはポイントをUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■教科書

特に指定しませんが、適宜、プリントを配布します。

■参考文献

[ISBN]9781581212105 『Signing Naturally: Units 1 - 6 Student Set』 (Smith, Cheri, Dawn Sign Pr : 2008)

■関連科目

言語演習（英語） 2

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

長谷川研究室（2号館5階512号室）hasegawa@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

月曜日・３限（事前にメールで予約してください。）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ★学習内容の理解度により、授業計画にある項目の順序が入れ替わることがある。★
Orientation
Introduction
Meet the actors
Cardinal Numbers 1-10
（授業形式：講義・アクティブラーニング）
予習内容：インターネットで手話について調べてみよう。
予習時間：30分
復習内容：手話単語の復習（読み取りと表出）
指定された動画での学習
復習時間：30分
授業中の注意事項（ノートの取り方、宿題、授業受講態度などについて）
Greeting in ASL

第2回 Learning hand positions
Learning fingerspellings
（授業形式：講義・アクティブラーニング）
予習内容：YoutubeなどでASLの動画を見てみる。
予習時間：30分
復習内容：手話単語の復習（読み取りと表出）
指定された動画での学習
復習時間：60分
手話を表す場所について学ぶ。
Cardinal Numbers 1-10の復習。
Manual alphabets（Fingerspelling in ASL）を学ぶ。

第3回 Reading about a bief history of ASL and deaf culture（１）（授業形式：講義・アクティブラーニング）
予習内容：単語、内容をチェックしておくこと。
予習時間：90分
復習内容：単語や表現の復習。
復習時間：60分
Manual alphabets（Fingerspelling in ASL）の復習。
ASLの歴史やろう文化に関する英文を読む(1)

第4回 Learning about Wh-word questions.
Greeting and self-introduction in ASL
（授業形式：講義・アクティブラーニング）
予習内容：YoutubeなどでASLの動画を見てみる。
予習時間：30分
復習内容：手話単語の復習（読み取りと表出）。
指定された動画での学習。
復習時間：60分
Hello.

My name is　– ?
What is your name?
Nice to meet you.

ミニダイアログの読み取り

Cardinal Numbers 11-15

第5回　Learning about some items and colors.（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：YoutubeなどでASLの動画を見てみる。
予習時間：30分
復習内容：手話単語の復習（読み取りと表出）。
指定された動画での学習。
復習時間：60分
どの人のことを話しているのかを理解できるようになる。
服装（ジャケットや帽子など）などの名前、色を表す単語（青、黄色など）を理解する。

第6回　Learning about shapes and positions.
Giving commands.
（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：YoutubeなどでASLの動画を見てみる。
予習時間：30分
復習内容：手話単語の復習（読み取りと表出）。
指定された動画での学習。
復習時間：60分
形と場所の表現方法を工夫できるようになる。
基本的な動作を表すASL単語を使えるようになる。

第7回　Reading about a brief history of ASL and deaf culture（２）（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：単語、内容をチェックしておくこと。
予習時間：90分
復習内容：単語や表現の復習。
復習時間：60分
ASL単語の復習。
ASLの歴史やろう文化に関する英文を読む(２)

第8回　Learning ”same”and ”different”
Review and self assessment
（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：YoutubeなどでASLの動画を見てみる。
予習時間：30分
復習内容：手話単語の復習（読み取りと表出）。
指定された動画での学習。
復習時間：60分
sameとdifferentをつかったダイアログを理解できる。
今までのならった単語などを復習し、自己評価を行う。

第9回　Learning about yes/no questions
Cardinal Numbers 16-19
（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：YoutubeなどでASLの動画を見てみる。
予習時間：30分
復習内容：手話単語の復習（読み取りと表出）。
指定された動画での学習。
復習時間：60分
yes/no questionの作り方を理解できる。
Cardinal Numbers 16-19を学ぶ。

第10回　Playing Tic-Tac-Toe（in ASL）
Talking about language backgrounds
（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：YoutubeなどでASLの動画を見てみる。

予習時間：30分
復習内容：手話単語の復習（読み取りと表出）。
指定された動画での学習。
復習時間：60分
Cardinal Numbers 16-19の復習。
ASLをつかってTI c －Tac-Toeゲームをすることにより空間表現の工夫について考える。
言語に関する単語を学ぶ。

第11回 ASLの歴史やろう文化に関する英文を読む(３)。（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：単語、内容をチェックしておくこと。
予習時間：90分
復習内容：単語や表現の復習。
復習時間：60分
ASL単語の復習。
ASLの歴史やろう文化に関する英文を読む(３)

第12回 Talking about hobbies.
Reviewing fingerspelling.
（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：YoutubeなどでASLの動画を見てみる。
予習時間：30分
復習内容：手話単語の復習（読み取りと表出）。
指定された動画での学習。
復習時間：60分
fingerspellingの復習をする。
趣味についての単語をいくつか学ぶ。

第13回 Cardinal Numbers 20-29
Describing shapes
（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：YoutubeなどでASLの動画を見てみる。
予習時間：30分
復習内容：手話単語の復習（読み取りと表出）。
指定された動画での学習。
復習時間：60分
Cardinal Numbers 20-29について学ぶ。
いろいろな形を空間にどのように描くとわかりやすいのか工夫してみる。

第14回 Fingerspelling：Double letters.
Learning about conversation strategies.
（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：YoutubeなどでASLの動画を見てみる。
予習時間：30分
復習内容：手話単語の復習（読み取りと表出）。
指定された動画での学習。
復習時間：60分
同じアルファベットが続く場合の表現（例：appleのp）を学び、読み取りと表出ができるようになる。
手話単語がわからないときや忘れてしまったときに、どのようにすればよいのかを考える。

第15回 ASLの歴史やろう文化に関する英文を読む(４)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：単語、内容をチェックしておくこと。
予習時間：90分
復習内容：単語や表現の復習。
復習時間：60分
Reviewing fingerspelling, numbers and words in ASL.
ASLの歴史やろう文化に関する英文を読む(４)

定期試験

定期試験の範囲などについては、授業中に指示する。
また、授業中に小テストを数回行うが、こちらも授業中に指示する。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**言語演習（英語） 1**						
英文名　：	Language Seminar(English) 1						
担当者　：	服部　圭子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】水曜5限						

■授業概要

英語でアカデミックな内容の話し言葉が理解でき、より高度で複雑な文や単語を用いて意見を述べる練習をします。テキストやDVDの視聴で学んだプレゼンテーションの方法や内容をもとに、与えられたテーマや自分自身のことを語るプレゼンテーションができるようになることを目指します。

授業では、ペアワークやアクティビティを可能な限り行います。また、グループディスカッションでの積極的な意見交換を期待します。また、簡単な発表、小テスト、復習テストの実施、やプレゼンテーションの課題が予定されています。

授業前には当該ユニットの単語や表現の予習をすることが望まれます。辞書は必ず手元に置き、利用してください。パソコンを持参してもらうことがあります。

なお、教育効果を考慮し、受講者調整のため、抽選を行う場合があります。その際、初日を欠席した学生は履修不可となるので、履修を希望する者は、必ず初回の授業に必ず遅刻せずに参加してください。

受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がける。Web教材の課題が出された場合には、必ず提出すること。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

１．今後のセミナーや会議・学会参加などの様々な機会に対応できる英語力を養う。
２．英語のプレゼンテーションを聞いたり、自分で作ったりする能力を養う。
３．与えられたテーマについて、自分の意見を述べるための自信をつけ、異文化の人々とのコミュニケーションを円滑に行う能力を培う。

この科目の修得は、学部ディプロマポリシー5、近畿大学の教養教育の目的2.3.4の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

復習テスト 40%
小テスト 30%
課題・発表・クラスでの貢献度など 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

小テストや課題などに関するフィードバックは授業内、またはGoogle Classroomで行う。
教科書

■教科書

[ISBN]9784764739291 『DVDで学ぶ英語プレゼンテーションの技法―Presentation Workshopー Ora』 (Craig Smith, 金星堂：2012)

■参考文献

必要に応じて授業時に指示します。

■関連科目

言語演習（英語） 1

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

服部研究室（2号館5階513号室）
khattori@@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

木曜日5限目（その他の時間帯は必ず予約すること）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション(c ）（授業形式：講義）
予習内容：自己紹介が英語でできるように準備する。
予習時間：30分
復習内容：自己紹介・英語に関する意見を、英語でまとめて書く。
復習時間：60分

授業の進め方
・予習/復習の進め方
・課題/Google Classroomについて
受講に関しての注意事項
・出欠/遅刻について
・持参物について
・携帯電話の使用制限について
・参加態度について
・ペアワーク・グループワーク
・課題・復習テスト・小テストについて
・総合評価について
・Web利用について
・その他受講に関しての注意点について

英語での自己紹介

第2回 Unit 1 :Introducing Yourself(授業形式：講義、アクティブラーニング）
予習内容：U1 語彙・表現・Readingの予習
予習時間：30分
復習内容：U1 Reading内容の復習
復習時間：60分
自己紹介に関する留意点をDVDやテキストから学ぶ。

Preview to the Reading Passage,Reading Passage, Comprehension

第3回 Unit 1 :Introducing Yourself(授業形式：講義、アクティブラーニング）
予習内容：U1 model presentation, brief lectureの予習
予習時間：30分
復習内容：U1 preparation for presentationの復習
復習時間：60分
自己紹介に関するmodel presentation, brief lecture
Audience Analysis

第4回 Unit 2: The Global Peace Index(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：U2 語彙・表現・Readingの予習
予習時間：30分
復習内容：U2　Reading内容の復習
復習時間：60分
Global Peaceに関するテーマに関して扱う。Preview to the Reading Passage,Reading Passage, Comprehension

第5回 Unit 2: The Global Peace Index(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：U2　model presentation, brief lectureの予習
予習時間：30分
復習内容：U2　preparation for presentationの復習
復習時間：60分
Global Peaceに関するmodel presentation, brief lecture
The 3 by 3 Presentation Structure

第6回 Unit 3:Japan's Global Responsibility(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：U3 語彙・表現・Readingの予習
予習時間：30分
復習内容：U3　Reading内容の復習
復習時間：60分
日本のGlobal Responsibilityに関するテーマに関して扱う。Preview to the Reading Passage,Reading Passage, Comprehension

第7回 Unit3:Japan's Global Responsibility(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：U3　model presentation, brief lectureの予習
予習時間：30分
復習内容：U3　preparation for presentationの復習
復習時間：60分
日本のGlobal Responsibilityに関するmodel presentation, brief lecture
Small-Group Discussion

第8回 U1～U3まとめ＆復習テスト(授業形式：講義)

予習内容：U1～U3の復習
予習時間：60分
復習内容：U1～U3の復習
復習時間：30分
U1.U2,U3の復習と、復習テスト

第9回 Unit 4:Social Networking(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：U4 語彙・表現・Readingの予習
予習時間：30分
復習内容：U4　Reading内容の復習
復習時間：60分
ソーシャル・ネットワーキング関するテーマに関して扱う。Preview to the Reading Passage,Reading Passage, Comprehension

第10回 Unit4:Social Networking(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：U4　model presentation, brief lectureの予習
予習時間：30分
復習内容：U4　preparation for presentationの復習
復習時間：60分
ソーシャル・ネットワーキングに関するmodel presentation, brief lecture
Audience Analysis

第11回 Unit5:UNESCO(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：U5 語彙・表現・Readingの予習
予習時間：30分
復習内容：U5　Reading内容の復習
復習時間：60分
UNESCO関するテーマに関して扱う。Preview to the Reading Passage,Reading Passage, Comprehension

第12回 Unit5:UNESCO(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：U5　model presentation, brief lectureの予習
予習時間：30分
復習内容：U5　preparation for presentationの復習
復習時間：60分
UNESCOに関するmodel presentation, brief lecture
Presentation of a Slide Show

第13回　Unit6:Improving Primary School Education(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：U6 語彙・表現・Readingの予習
予習時間：30分
復習内容：U6　Reading内容の復習
復習時間：60分
初等教育に関するテーマに関して扱う。Preview to the Reading Passage,Reading Passage, Comprehension

第14回　Unit6:Improving Primary School Education(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：U6　model presentation, brief lectureの予習
予習時間：30分
復習内容：U6　preparation for presentationの復習
復習時間：60分
初等教育に関するmodel presentation, brief lecture
Presentation with a Slide Show

第15回　Unit 7: Review(1) & 復習テスト２(授業形式：講義)

予習内容：U4～U6の復習
予習時間：60分
復習内容：U1～U7の総復習
復習時間：30分
アカデミック・プレゼンテーションに関する復習

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**言語演習（英語） 1**						
英文名　：	Language Seminar(English) 1						
担当者　：	ファミュラロ　ラルフ　マイケル						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】月曜1限						

■授業概要

Students need to keep up with the lesson activities which include a textbook with video and hand-outs on topics not covered in the textbook. Students will need to study seriously for this course. Poor attendance and failure to hand-in answer sheets on time will render a non-passing grade.

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

英語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

The purpose of the course is to learn about different nations and cultures around the world while focusing on English to explain the presented content including giving opinions.

■成績評価方法および基準

In-Class related activities 40%
Quizzes 30%
Reports 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間に答案（写し）を返却します。

■教科書

[ISBN]9784908413063
Culture Through English 1
Cameron smith and Vick Ssali
Paws International

■参考文献

An English-Japanese, Japanese-English dictionary or application is required. *** A device to connect to the internet is necessary.

■関連科目

言語演習（英語）2・3・4（全学科対象）

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）0402c1@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

授業時間除く

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Course Orientation 演習を含む講義

予習内容：Course Introduction
予習時間：30分
復習内容：Countries, Languages & Nationalities
復習時間：60分
The course will be introduced and teaching method explained. Students will be introduced to topics dealing with countries, nationalities and languages used in major nations of the world.

第2回 Cultures of the World 演習を含む講義

予習内容：Cultural Differences
予習時間：45分
復習内容：World Knowledge Activity
復習時間：45分
Students will learn about norms within distinct cultures around the world and compare the similarities and differences with Japanese culture or their own culture.

第3回 Introduction to the USA 演習を含む講義

予習内容：Introduction to the USA
予習時間：45分
復習内容：Food Topics
復習時間：45分
American-related topics will be presented. This will include immigration and racial make-up of the American population. Food topics will also be covered.

第4回 Report #1: Food 演習を含む講義

予習内容：UK Food Culture
予習時間：45分
復習内容：Introduction to New Zealand
復習時間：45分
Topics will include the traditional food of the United Kingdom, an introduction to the nation of New Zealand and a student research report.

第5回 New Zealand, Part 2, Introduction to Baseball 演習を含む講義

予習内容：New Zealand Part 2(
予習時間：45分
復習内容：Introduction to Baseball
復習時間：45分
Baseball Part two of the New Zealand topic and an Introduction to the sport of baseball will be presented.

第6回 Australia, the sport of Cricket 演習を含む講義

予習内容：Introduction to Australia
予習時間：45分
復習内容：What is Cricket?
復習時間：45分
An introductory lesson for the nation of Australia will be presented along with the explanation of the sport of cricket.

第7回 Australia, Part 2, Unusual Sports 演習を含む講義

予習内容：Australian topics, part 2
予習時間：45分
復習内容：Unusual Sports(
復習時間：45分
Topics concerning the nation of Australia will be continued. Unusual sports from around the world will be introduced.

第8回 Review of Lessons 1-7 演習を含む講義

予習内容：Australian Topics, Part 2
予習時間：45分
復習内容：Preparing report #2
復習時間：45分

Previous topics will be reviewed and clarified. Students may start work on the 2nd report (Sports)

第9回 Music 演習を含む講義

予習内容：American Music
予習時間：45分
復習内容：Report #2 Sport
復習時間：45分
American music genres will be introduced. Report #2, Sports will be presented.

第10回 English as a Unifying Language 演習を含む講義

予習内容：English as a Unifying Language
予習時間：30分
復習内容：Nigeria and Tanzania
復習時間：60分
Students will learn how English is used in non-English speaking nations as one method to unify the nation. Most of these nations were once colonies of the United Kingdom or other European nations. Two African nations, Nigeria and Tanzania will be studied.

第11回 Music and Technology 演習を含む講義

予習内容：Music Technology
予習時間：45分
復習内容：Traditional Instruments around the world
復習時間：45分
The relation between changes in technology and changes in musical styles and genres will be studied.

第12回 Film (Movies) 演習を含む講義

予習内容：Introduction to Movies
予習時間：45分
復習内容：Report #3 on Music
復習時間：45分
The topic of film or movies will be studied, including different movie genres. Students will also complete Report #3 on Music.

第13回 Charlie Chaplin 演習を含む講義

予習内容：Charles Chaplin
予習時間：45分
復習内容：Film & Literature
復習時間：45分
The biography of Charles Chaplin will be presented. Short film analysis and movies relation to literature will also be studied.

第14回 Bollywood 演習を含む講義

予習内容：Bollywood
予習時間：45分
復習内容：Famous movies representing genres
復習時間：45分
The Indian film industry will be studied. More information on movie genres and examples of such genres will be presented.

第15回 Review of lessons 9-14 演習を含む講義

予習内容：Lessons 1-14 review
予習時間：45分
復習内容：Report #4 Movies
復習時間：45分
Lesson content previously presented will be reviewed. Students will complete Report #4 on Film / Movies

No formal tests will be given. Grades will be decided by ongoing assessment.
Quizzes and reports are a required part of the course.

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**言語演習（英語） 1**						
英文名　：	Language Seminar(English) 1						
担当者　：	美濃部　貴子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】火曜4限						

■授業概要

・英語のリーディング能力を中心に、総合的な英語能力のさらなる向上と定着を図ります。
・予習必須のクラスです。予習は必ずしてきましょう。
・授業中にAudioをかけますので、積極的にシャドウイングをしましょう。
・授業には辞書を必ず持参しましょう。
・受講期間中にTOEICの公開テストやTOEIC-IPテストを受講するようにしましょう。
・受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がけてください。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、この授業を履修することによって、英語の４技能（読む・聞く・話す・書く）の基礎力を確実にしながら、特に専門的な英語の文章を読むのに必要なリーディングの基礎力が身につくようになります。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表および課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

小テストや課題の解答・要点の解説は、授業内で行います。 定期試験については、受講生と方法を相談の上、フィードバックを行います。

■教科書

[ISBN]9780357116289 『Reading Explorer Foundations』 (Tarver-Chase, Becky, Heinle & Heinle Pub：2019)
【留意事項】教科書は必ず[ISBN]番号が同じものを購入してください。（コピー不可）

■参考文献

必要に応じて授業時に指示します。

■関連科目

言語演習（英語） 2

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行ます。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）urwhaturead@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ガイダンス・オリエンテーシ（授業形式：講義）

予習内容：授業までにシラバスをよく読んでおく。
予習時間：30分
復習内容：授業内の指示に従い、学習内容を復習する。
復習時間：30分
授業の進め方の説明
・予習の進め方
・授業の進め方
・課題
受講に際しての注意事項
・欠席／遅刻について
・忘れ物（テキスト・辞書）について
・携帯電話の使用制限について
・定期試験について
・総合評価について
その他、受講に関する注意点について

第2回 Unit 1 Mysteries（前半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べて本文を通読する。
予習時間：60分
復習内容：練習問題の答えを復習して、本文を再読する。
復習時間：60分
Unit 1 A: A Mysterious Visitor 本文を読む。Reading Comprehensionの答え合わせと説明。Vocabulary Practiceを解答して答え合わせをする。

第3回 Unit 1 Mysteries（後半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べて本文を通読する。
予習時間：60分
復習内容：練習問題の答えを復習して、本文を再読する。
復習時間：60分
Unit 1 B: The Lost City of Atlantis 本文を読む。Reading Comprehensionの答え合わせと説明。Reading Skillを解答して答え合わせをする。Videoを視聴して問いに答え、解説する。

第4回 Unit 2 Eating Extremes（前半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べて本文を通読する。
予習時間：60分
復習内容：練習問題の答えを復習して、本文を再読する。
復習時間：60分
Unit 2A: The World of Speed Eating 本文を読む。Reading Comprehensionの答え合わせと説明。Vocabulary Practiceを解答して答え合わせをする。

第5回 Unit 2 Eating Extremes（後半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べて本文を通読する。
予習時間：60分
復習内容：練習問題の答えを復習して、本文を再読する。
復習時間：60分
Unit 2 B: The Hottest Chilies 本文を読む。Reading Comprehensionの答え合わせと説明。Reading Skillを解答して答え合わせをする。Videoを視聴して問いに答え、解説する。

第6回 Unit 3 Cool Jobs（前半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べて本文を通読する。
予習時間：60分
復習内容：練習問題の答えを復習して、本文を再読する。
復習時間：60分
Unit 3A: Digging for the Past 本文を読む。Reading Comprehensionの答え合わせと説明。Vocabulary Practiceを解答して答え合わせをする。

第7回 Unit 3 Cool Jobs（後半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べて本文を通読する。
予習時間：60分
復習内容：小テスト（Unit 1A-3B、＊範囲は状況に応じて変わります)の総復習。
復習時間：100分
Unit 3 B: Getting the Shot 本文を読む。Reading Comprehensionの答え合わせと説明。Reading Skillを解答して答え合わせをする。Videoを視聴して問いに答え、解説する。

第8回 小テスト（Unit 1A-3B、＊範囲は状況に応じて変わります）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：小テスト（Unit 1A-3B、＊範囲は状況に応じて変わります)の総復習。
予習時間：60分
復習内容：わからなかった箇所を教科書で確認する。
復習時間：60分
小テスト（教科書、Unit 1A-3B、＊範囲は状況に応じて変わります）

第9回 Unit 4 Shipwrecks（前半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べて本文を通読する。
予習時間：60分
復習内容：練習問題の答えを復習して、本文を再読する。
復習時間：60分
Unit 4A: I've Found the Titanic! 本文を読む。Reading Comprehensionの答え合わせと説明。Vocabulary Practiceを解答して答え合わせをする。

第10回 Unit 4 Shipwrecks（後半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べて本文を通読する。
予習時間：60分
復習内容：練習問題の答えを復習して、本文を再読する。
復習時間：60分
Unit 4B: My Descent to the Titanic 本文を読む。Reading Comprehensionの答え合わせと説明。Reading Skillを解答して答え合わせをする。Videoを視聴して問いに答え、解説する。

第11回 Unit 5 Science Investigators（前半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べて本文を通読する。
予習時間：60分
復習内容：練習問題の答えを復習して、本文を再読する。
復習時間：60分
Unit 5A: The Disease Detective 本文を読む。Reading Comprehensionの答え合わせと説明。Vocabulary Practiceを解答して答え合わせをする。

第12回 Unit 5 Science Investigators（後半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べて本文を通読する。
予習時間：60分
復習内容：練習問題の答えを復習して、本文を再読する。
復習時間：60分
Unit 5B: At the Scene of a Crime 本文を読む。Reading Comprehensionの答え合わせと説明。Reading Skillを解答して答え合わせをする。Videoを視聴して問いに答え、解説する。

第13回 Unit 6 Plants and Trees（前半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べて本文を通読する。
予習時間：60分
復習内容：練習問題の答えを復習して、本文を再読する。
復習時間：60分
Unit 6A: Planting for the Planet 本文を読む。Reading Comprehensionの答え合わせと説明。Vocabulary Practiceを解答して答え合わせをする。

第14回 Unit 6 Plants and Trees（後半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べて本文を通読する。
予習時間：60分
復習内容：練習問題の答えを復習して、本文を再読する。
復習時間：60分
Unit 6B: Fatal Attraction 本文を読む。Reading Comprehensionの答え合わせと説明。Reading Skillを解答して答え合わせをする。Videoを視聴して問いに答え、解説する。

第15回 前期（Unit 1から６）の 総復習（授業形式：講義）

予習内容：前期（Unit 1から６）の 総復習
予習時間：60分
復習内容：定期試験に向けて総合的に復習する
復習時間：100分
前期（Unit 1から６）の 総復習、及び、小テスト返却と解説、定期試験（小テスト範囲の後からUnit 6Bまで）の要点など。

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**言語演習（英語）２**						
英文名　：	Language Seminar(English) 2						
担当者　：	上村　バッケス　尚美						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	集中	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：							

■授業概要

英語を手段として様々な理系分野の内容の素材を解釈･理解したり、シャドーイング練習やディクテーション等で英語力そのものの向上のための訓練を演習形式で行う。授業には必ず辞書を持参すること。受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がける。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

プロフェッショナルとして活動できるための英語をどのように習得するか、また、仕事に利用できるように言語ツールとリソースの使い方を学ぶ。コーパスの構築、コンコーダンスソフトの使い方、Websiteの活用方法を練習する。なお、教育効果を考慮し、受講者数調整のため、初日に抽選を行う場合があります。その際、初日を欠席した学生は、履修不可です。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

ポートフォリオ 50%
授業中の発表 30%
授業中の課題提出 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

模範答案をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■教科書

授業内で指示します。

■参考文献

授業内で指示します。

■関連科目

言語演習（英語） 1

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）：backes@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション
Websiteの活用術(授業形式：演習を含む講義)
予習内容：英語による理工系分野のサイトを調査してURLを持参する。
予習時間：45分
復習内容：授業中に学習した理工系分野特有の表現などをまとめる。
復習時間：45分
理工系分野における英語の重要性や言語習得について講義する。
理工系分野特有の表現や理論構造をジャンルアプローチを用いて講義する。

第2回 科学技術分野の表現（数字、数式などの読み方）(授業形式：演習を含む講義)
予習内容：自分に関連した分野での数式など専門的表現を調査する。
予習時間：45分
復習内容：授業中に学習したものとともに数式などの表現をまとめる。
復習時間：45分
理工系分野では数式など英語に直訳すると誤訳になる場合が多く、英語ではどのように表現されるか発音も含めて学習する。

第3回 科学技術分野の専門用語の発音、文法など(授業形式：演習を含む講義)
予習内容：自分に関連した分野での専門的表現を調査する。
予習時間：45分
復習内容：授業中に学習したものとともに専門用語などの表現をまとめる。
復習時間：45分
理工系では専門用語が頻出するが、専門用語を単体で学習するのではなく文中でどのように使用されるかを学習する。

第4回 コーパスでの発見（１）(授業形式：演習を含む講義)
予習内容：自分の関連分野の研究論文を5本選択する。
予習時間：45分
復習内容：共起表現を３件所定の書式でまとめる。
復習時間：45分
コーパスソフトを用いて共起表現の分析の手法を学習する。

第5回 コーパスでの発見（２）(授業形式：演習を含む講義)
予習内容：選択した研究論文をテキストファイルに保存する。
予習時間：45分
復習内容：共起表現を３件所定の書式でまとめる。
復習時間：45分

第6回 Websiteを利用しての発表練習（１）
一般的な会話でペア練習(授業形式：演習を含む講義)
予習内容：オンライン音声教材で会話文を検索する。
予習時間：45分
復習内容：会話文をシャドーイング練習し、録音する。
復習時間：45分

第7回 Websiteを利用しての発表練習（２）
スピーチなどのモノローグ練習(授業形式：演習を含む講義)
予習内容：オンライン音声教材でスピーチを検索する。
予習時間：45分
復習内容：スピーチをシャドーイング練習し、録音する。
復習時間：45分

第8回 Websiteを利用しての発表練習（３）
科学技術ニュースの伝え方(授業形式：演習を含む講義)
予習内容：科学技術ニュースを３本検索する。
予習時間：45分
復習内容：科学技術ニュースをシャドーイング練習し録音する。
復習時間：45分

第9回 Websiteを利用しての発表練習（４）
NatureやScience Podcastなどのrecitation(授業形式：演習)
予習内容：Podcastsを視聴する。
予習時間：45分
復習内容：Podcastsを１～２分間分を暗記し録音する。

復習時間：45分

第10回　Websiteを利用しての発表練習（５）
研究分野のPodcast的な紹介(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：自分の研究分野に近いPodcastsを検索する。
予習時間：45分
復習内容：自分の研究分野の紹介をPodcast的にレポートする。
復習時間：45分

第11回　論文のジャンル分析　（タイトル）(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：研究論文を５本選ぶ。
予習時間：45分
復習内容：授業中に学習したようにタイトルを所定の書式にまとめる。
復習時間：45分

第12回　論文のジャンル分析　（要旨）(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：選択した研究論文のタイトルと要旨の部分を分類する。
予習時間：45分
復習内容：授業中に学習したように要旨を所定の書式にまとめる。
復習時間：45分

第13回　論文のジャンル分析　（実験方法）(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：選択した研究論文の実験方法の部分を分類する。
予習時間：45分
復習内容：授業中に学習したように実験方法を所定の書式にまとめる。
復習時間：45分

第14回　論文のジャンル分析　（結果、考察）(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：選択した研究論文の結果と考察の部分を分類する。
予習時間：45分
復習内容：授業中に学習したように結果と考察を所定の書式にまとめる。
復習時間：45分

第15回　研究分野の発表(授業形式：演習)

予習内容：自分の研究分野の紹介をどのようにまとめるか考えてくる。
予習時間：45分
復習内容：自分の研究分野の紹介を背景、先行研究、現在注目されている研究などをもとに準備する。
復習時間：45分

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**言語演習（英語）２**						
英文名　：	Language Seminar(English) 2						
担当者　：	武知　薫子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】金曜2限						

■授業概要

このコースは、英語で内容を学ぶ CLIL（Content and Language Integrated Learning：内容言語統合型学習）です。オンラインを用いた日本語から英語への翻訳を通し、日本語と英語の言語体系の違い、双方の文化背景や思考体系の違いへの気づきを深めるとともに、google USAといった、英語圏で生活する人が用いる検索エンジンを使用して英文の一部を検索して表示される内容を読み込むことで、authentic （英語として自然）な表現を能動的に学びます。

オンラインによる種々のサービスを用いれば、誰でも瞬時にある程度は英文を読み解き、または日本語の文章から英語の文章を作成することが簡単にできる時代になりました。いわゆるオンライン翻訳の活用です。
オンライン翻訳の精度、正確さ、意訳の妙は、日新月歩で目覚ましい発達を遂げています。
しかしながら、人間が多様な文化の中で編みだし、微細な違いを瞬時に認識して駆使している無数の言語項目は、いまだオンライン翻訳が処理できる容量の遥か高みに存在していると言っていいでしょう。
オンライン翻訳は、本格的なAIの参入をうけ各段に進化しているとはいえ、画面にはじき出される翻訳結果には思わぬ誤りが多いことも忘れてはなりません。

そこでこの授業では、１，情報の収集、２．オンライン辞書の活用、３．英文の作成、４．オンライン翻訳を用いた効果的な学習方法、活用方法を学ぶと同時に、５．オンライン翻訳で作成された英文の「修正方法」の計５点を演習と発表を通して学びます。

毎時の教材は教員が準備したものをGoogle Classroomへのポスティングや、ハンドアウトの形で適時に配付します。特定の教科書は用いません。

小テストは適時に複数回、行います。

オンライン翻訳の「修正」は、学生が既習の英語知識を思い出し、学び直し、新たな気づきや学習に繋がる活動です。この一連の学習活動を通して、語彙力を養うと共に、英語への理解を深め、異文化の人々とのコミュニケーションを円滑にできる能力を養います。

なお、受講者調整のため初日に抽選を行う場合があります。その際、初日を欠席した学生は原則として履修が認められません。

受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がけてください。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、この授業を履修することにより、

１．理系分野の研究に役立つ基礎的な英語読解力を養う。

加えて、

２．企業活動で用いられる英語を無理なく読み解き、内容をすばやく把握する能力を習得できる。
３．演習を通して英語と日本語の相違点、類似点への理解を深め、世界に関する知見を広げ、異文化の人々とのコミュニケーションを円滑に行う能力を培うことができる。

この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー3の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期テスト 50%
小テスト 20%
発表および課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後（試験期間終了後）に「試験の要点と解説」を掲示板に掲載します。

■教科書

特に使用せず、適時、用意した教材を配付

■参考文献

[ISBN]9784770041241 『Google 英文ライティング: 英語がどんどん書けるようになる本』 (遠田和子, 講談社インターナショナル：2009)

■関連科目

言語演習（英語） 1

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・datatuj@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

授業時限の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第１回：オリエンテーション（授業形式：講義）
授業の方針、コースの進め方、評価方法、教本の使用方法を確認し、グループワークを通して効果的な学習方法についての理解も深めます。サンプル課題を解きながら今後の学習の指針を理解します。

第２回以降：（授業形式：演習を含む講義）
２週間を一つのユニットとし、毎ユニット、その時の社会情勢、世界の動向、科学分野の新発見や新たな見解など、ニュースに流れる時事問題をトピックにとり、オンラインで日本文を英文に直し、翻訳された英文をgoogle USAなどの英語圏の人が用いる検索エンジンを通して検索された英文とオンライン辞書を駆使して内容をダブルチェックし、自ら修正する必要性と、そのスキルを学びます。

その過程で、オンライン翻訳およびAIチャットボットの弱点、複数の代表的なオンライン翻訳別の特徴、日本のgoogleとアメリカのgoogleでの検索結果の相違、日本語と英語の思考体系の相違を学び、AIチャットボットを用いる際の注意事項、そして「ことば」の背景を形成する文化への理解を掘り下げます。

オンライン翻訳で作成された英文を修正する過程では、語法項目の学習も行います。教員や教本に指導されて学ぶのではなく、自ら英語のフレーズをgoogle USAといった検索エンジンを通して検証し、作品を修正できる、能動的な学びを目標とします。

授業ではGoogle Classroomを用い、配信されるフォームに書き込んで演習課題を提出します。
授業でコンピュータは必須です。コンピュータがない教室での授業回では、必ずコンピュータやパットを持参してください。スマホは画面が小さいので学習に適しません。

各授業回の要点は、その日の授業記録メモとして、毎時、クラスルームの資料としてアップされます。

各回の復習：授業記録メモの内容と演習内容をしっかり見直す（60分）
各回の予習：次回の課題への回答を準備する(60分)

定期試験

筆記試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**言語演習（英語）２**						
英文名　：	Language Seminar(English) 2						
担当者　：	竹中　義胤						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】月曜4限						

■授業概要

言語演習１に引き続き、アメリカのポップカルチャーについての読み物を読むことで異文化理解を深めると同時に、読解練習、聴解練習、和文英訳の練習などを通じて総合的な英語力を養成します。受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がけること。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

読解練習、聴解練習、和文英訳の練習による総合的な英語力の養成
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
口頭発表 30%
課題 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

メールで対応します。

■教科書

[ISBN]9784255154787 『アメリカン・ポップカルチャー』 (町田 哲司, 朝日出版社：2010)

■参考文献

特に指定しません。

■関連科目

言語演習１

■授業評価アンケート実施方法

大学授業規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階254）・takenaka@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

該当科目開講時の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

対面授業を前提として、15 回(定期試験を含まない)

第1回　Entertainment Capital of the World-Las Vegas 前半
（授業形式：講義または講義＋演習）
予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
読解練習
語彙力強化（形態素を使った単語の覚え方）
読み物を通じて日米の文化の違いを学習

第2回　Entertainment Capital of the World-Las Vegas 後半
（授業形式：講義または講義＋演習）
予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
聴解練習
英作文の練習
リスニングのコツと英文の構造について学習

第3回　The Cartoon Kingdom-Disneyworld 前半
（授業形式：講義または講義＋演習）
予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
読解練習
語彙力強化（形態素を使った単語の覚え方）
読み物を通じて日米の文化の違いを学習

第4回　The Cartoon Kingdom-Disneyworld 後半
（授業形式：講義または講義＋演習）
予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
聴解練習
英作文の練習
リスニングのコツと英文の構造について学習

第5回　American Cyber-Culture-Video Games 前半
（授業形式：講義または講義＋演習）
予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
読解練習
語彙力強化（形態素を使った単語の覚え方）
読み物を通じて日米の文化の違いを学習

第6回　American Cyber-Culture-Video Games 後半
（授業形式：講義または講義＋演習）
予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
聴解練習
英作文の練習
リスニングのコツと英文の構造について学習

第7回　America’s National Pastime-Major League Baseball (MLB) 前半
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
読解練習
語彙力強化（形態素を使った単語の覚え方）
読み物を通じて日米の文化の違いを学習

第8回　America’s National Pastime-Major League Baseball (MLB) 後半
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
聴解練習
英作文の練習
リスニングのコツと英文の構造について学習

第9回　America’s TV Sport-The National Football League (NFL) 前半
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
読解練習
語彙力強化（形態素を使った単語の覚え方）
読み物を通じて日米の文化の違いを学習

第10回　America’s TV Sport-The National Football League (NFL) 後半
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
聴解練習
英作文の練習
リスニングのコツと英文の構造について学習

第11回　America’s Hoop Sport-The National Basketball Association (NBA) 前半
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
読解練習
語彙力強化（形態素を使った単語の覚え方）
読み物を通じて日米の文化の違いを学習

第12回　America’s Hoop Sport-The National Basketball Association (NBA) 後半
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
聴解練習
英作文の練習
リスニングのコツと英文の構造について学習

第13回　America’s Ice Sport-The National Hockey League (NHL) 前半
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分

復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
読解練習
語彙力強化（形態素を使った単語の覚え方）
読み物を通じて日米の文化の違いを学習

第14回　America’s Ice Sport-The National Hockey League (NHL) 後半
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
聴解練習
英作文の練習
リスニングのコツと英文の構造について学習

第15回　総復習（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
授業内容の総復習
授業で学習した語句・構文等の復習

定期試験

授業中に指示します。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**言語演習（英語）２**						
英文名　：	Language Seminar(English) 2						
担当者　：	竹中　義胤						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】月曜5限						

■授業概要

言語演習１に引き続き、アメリカのポップカルチャーについての読み物を読むことで異文化理解を深めると同時に、読解練習、聴解練習、和文英訳の練習などを通じて総合的な英語力を養成します。受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がけること。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

読解練習、聴解練習、和文英訳の練習による総合的な英語力の養成
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
口頭発表 30%
課題 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

メールで対応します。

■教科書

[ISBN]9784255154787 『アメリカン・ポップカルチャー』 (町田 哲司, 朝日出版社：2010)

■参考文献

特に指定しません。

■関連科目

言語演習１

■授業評価アンケート実施方法

大学授業規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階254）・takenaka@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

該当科目開講時の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

対面授業を前提として、15 回(定期試験を含まない)

第1回　Entertainment Capital of the World-Las Vegas 前半
（授業形式：講義または講義＋演習）
予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
読解練習
語彙力強化（形態素を使った単語の覚え方）
読み物を通じて日米の文化の違いを学習

第2回　Entertainment Capital of the World-Las Vegas 後半
（授業形式：講義または講義＋演習）
予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
聴解練習
英作文の練習
リスニングのコツと英文の構造について学習

第3回　The Cartoon Kingdom-Disneyworld 前半
（授業形式：講義または講義＋演習）
予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
読解練習
語彙力強化（形態素を使った単語の覚え方）
読み物を通じて日米の文化の違いを学習

第4回　The Cartoon Kingdom-Disneyworld 後半
（授業形式：講義または講義＋演習）
予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
聴解練習
英作文の練習
リスニングのコツと英文の構造について学習

第5回　American Cyber-Culture-Video Games 前半
（授業形式：講義または講義＋演習）
予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
読解練習
語彙力強化（形態素を使った単語の覚え方）
読み物を通じて日米の文化の違いを学習

第6回　American Cyber-Culture-Video Games 後半
（授業形式：講義または講義＋演習）
予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
聴解練習
英作文の練習
リスニングのコツと英文の構造について学習

第7回　America’s National Pastime-Major League Baseball (MLB) 前半
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
読解練習
語彙力強化（形態素を使った単語の覚え方）
読み物を通じて日米の文化の違いを学習

第8回　America’s National Pastime-Major League Baseball (MLB) 後半
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
聴解練習
英作文の練習
リスニングのコツと英文の構造について学習

第9回　America’s TV Sport-The National Football League (NFL) 前半
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
読解練習
語彙力強化（形態素を使った単語の覚え方）
読み物を通じて日米の文化の違いを学習

第10回　America’s TV Sport-The National Football League (NFL) 後半
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
聴解練習
英作文の練習
リスニングのコツと英文の構造について学習

第11回　America’s Hoop Sport-The National Basketball Association (NBA) 前半
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
読解練習
語彙力強化（形態素を使った単語の覚え方）
読み物を通じて日米の文化の違いを学習

第12回　America’s Hoop Sport-The National Basketball Association (NBA) 後半
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
聴解練習
英作文の練習
リスニングのコツと英文の構造について学習

第13回　America’s Ice Sport-The National Hockey League (NHL) 前半
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分

復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
読解練習
語彙力強化（形態素を使った単語の覚え方）
読み物を通じて日米の文化の違いを学習

第14回　America’s Ice Sport-The National Hockey League (NHL) 後半
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
聴解練習
英作文の練習
リスニングのコツと英文の構造について学習

第15回　総復習（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
授業内容の総復習
授業で学習した語句・構文等の復習

定期試験

授業中に指示します。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**言語演習（英語）２**						
英文名　：	Language Seminar(English) 2						
担当者　：	玉井　潤野						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】木曜5限						

■授業概要

「読む」技能を中心として、総合的な英語能力の向上を図る授業です。自然科学系のトピックを扱った教科書を使用し、以下で提示する各回の内容はこの教科書にのみ基づいています。ただし、特に第8回や第15回授業では、関連する英語でのスピーチの動画なども適宜とりあげる場合があります（詳細は受講者の皆さんと相談の上で授業中に指示します）。受講者の英語力に応じて、受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がけてください。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者の英語４技能（読む・聞く・話す・書く）の全般的な向上を目的として、専門的な英語の文章を読むための下地となる語彙・文法事項の定着を図ります。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表および課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

小テストや課題の解答・要点の解説は、授業内で行います。定期試験については、受講生と相談の上でフィードバックします。

■教科書

[ISBN]9780357116289 『Reading Explorer Foundations』 (Tarver-Chase, Becky, Heinle & Heinle Pub：2019)

■参考文献

教科書以外の資料を用いる場合は詳細を授業中に指示します。

■関連科目

言語演習（英語） 1

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

玉井研究室（2号館5階506室）・junyatamai@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

月曜日の２・３限、火曜日の１限（事前にメールで予約してください。）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション

予習内容：教科書に目を通し、特に各Unitの構成や英文のレベルを把握しておくこと。
予習時間：30分
復習内容：授業の内容を復習し、特に自身の得意な範囲や苦手な範囲に関して考えてみること。
復習時間：30分
予習・復習の際に心がけることなどを中心に、この授業について概説する。

第2回 Unit 7: Mind's Eye （前半）

予習内容：テキストの授業範囲内にある設問に答え、分からない単語・構文をチェックしておくこと
予習時間：60分
復習内容：授業中に解説した内容を中心に、学習内容を復習すること
復習時間：60分
Unit 7A: Understanding Dreams (本文およびそれに付随する設問)　眠っているあいだに見る夢についての英文を読み、用いられた語彙や文法事項を習得する。

第3回 Unit 7: Mind's Eye （後半）

予習内容：テキストの授業範囲内にある設問に答え、分からない単語・構文をチェックしておくこと
予習時間：60分
復習内容：授業中に解説した内容を中心に、学習内容を復習すること
復習時間：60分
Unit 7B: Seeing the Impossible (本文およびそれに付随する設問)　さまざまなタイプの錯視についての英文を読み、用いられた語彙や文法事項を習得する。

第4回 Unit 8: Animal Wonders （前半）

予習内容：テキストの授業範囲内にある設問に答え、分からない単語・構文をチェックしておくこと
予習時間：60分
復習内容：授業中に解説した内容を中心に、学習内容を復習すること
復習時間：60分
Unit 8A: A Penguin's Year (本文およびそれに付随する設問)　コウテイペンギンの生態についての英文を読み、用いられた語彙や文法事項を習得する。

第5回 Unit 8: Animal Wonders （後半）

予習内容：テキストの授業範囲内にある設問に答え、分からない単語・構文をチェックしておくこと
予習時間：60分
復習内容：授業中に解説した内容を中心に、学習内容を復習すること
復習時間：60分
Unit 8B: Do Animals Laugh?(本文およびそれに付随する設問)　動物の感情や表情についての英文を読み、用いられた語彙や文法事項を習得する。

第6回 Unit 9: Building Beauty （前半）

予習内容：テキストの授業範囲内にある設問に答え、分からない単語・構文をチェックしておくこと
予習時間：60分
復習内容：授業中に解説した内容を中心に、学習内容を復習すること
復習時間：60分
Unit 9A: A Love Poem in Stone(本文およびそれに付随する設問)　タージマハル建造の背景についての英文を読み、用いられた語彙・文法事項を習得する。

第7回 Unit 9: Building Beauty （後半）

予習内容：テキストの授業範囲内にある設問に答え、分からない単語・構文をチェックしておくこと
予習時間：60分
復習内容：授業中に解説した内容を中心に、学習内容を復習すること
復習時間：60分
Unit 9B: The Great Dome of Florence(本文およびそれに付随する設問)　フィレンツェの巨大なドーム型建築についての英文を読み、用いられた語彙・文法事項を習得する。

第8回 Unit 7-9: 重要な語彙・文法事項

予習内容：第2回から第7回までの内容を改めて振り返り、理解の及んでいない事項をチェックしておくこと
予習時間：60分
復習内容：授業中に解説した内容を中心に、学習内容を復習すること
復習時間：60分
Unit7-9までの復習　授業前半部の語彙・文法事項を復習するために新たな英文を読み、さらなる定着を図る。

第9回 Unit 10: Forces of Nature （前半）

予習内容：テキストの授業範囲内にある設問に答え、分からない単語・構文をチェックしておくこと
予習時間：60分
復習内容：授業中に解説した内容を中心に、学習内容を復習すること
復習時間：60分
Unit 10A: Wild Weather(本文およびそれに付随する設問)　近年の世界各地でのさまざまな異常気象についての英文を読み、用いられた語彙・文法事項を習得する。

第10回　Unit 10: Forces of Nature （後半）

予習内容：テキストの授業範囲内にある設問に答え、分からない単語・構文をチェックしておくこと
予習時間：60分
復習内容：授業中に解説した内容を中心に、学習内容を復習すること
復習時間：60分
Unit 10B: When Weird Weather Strikes(本文およびそれに付随する設問)　異常気象のなかでも甚大な被害をもたらす危険なものについての英文を読み、用いられた語彙・文法事項を習得する。

第11回　Unit 11: Giants of the Past （前半）

予習内容：テキストの授業範囲内にある設問に答え、分からない単語・構文をチェックしておくこと
予習時間：60分
復習内容：授業中に解説した内容を中心に、学習内容を復習すること
復習時間：60分
Unit 11A: The Mammoth's Tale(本文およびそれに付随する設問)　きわめて良好な状態で発見されたマンモスの死体についての英文を読み、用いられた語彙・文法事項を習得する。

第12回　Unit 11: Giants of the Past （後半）

予習内容：テキストの授業範囲内にある設問に答え、分からない単語・構文をチェックしておくこと
予習時間：60分
復習内容：授業中に解説した内容を中心に、学習内容を復習すること
復習時間：60分
Unit 11B: Monsters of the Deep(本文およびそれに付随する設問)　絶滅した巨大な海生生物ついての英文を読み、用いられた語彙・文法事項を習得する。

第13回　Unit 12: Technology （前半）

予習内容：テキストの授業範囲内にある設問に答え、分からない単語・構文をチェックしておくこと
予習時間：60分
復習内容：授業中に解説した内容を中心に、学習内容を復習すること
復習時間：60分
Unit 12A: The Robots are Coming!(本文およびそれに付随する設問)　最先端のロボット技術についての英文を読み、用いられた語彙・文法事項を習得する。

第14回　Unit 12: Technology （後半）

予習内容：テキストの授業範囲内にある設問に答え、分からない単語・構文をチェックしておくこと
予習時間：60分
復習内容：授業中に解説した内容を中心に、学習内容を復習すること
復習時間：60分
Unit 12B: How Will We Live in 2045?(本文およびそれに付随する設問)　情報技術を駆使した未来型都市についての英文を読み、用いられた語彙・文法事項を習得する。

第15回　Unit 10-12: 重要な語彙・文法事項

予習内容：第9回から第14回までの内容を改めて振り返り、理解の及んでいない事項をチェックしておくこと
予習時間：60分
復習内容：授業中に解説した内容を中心に、学習内容を復習すること
復習時間：60分
Unit 10-12の復習　期末試験に備えて、これまでに学んだ語彙と文法事項を新たな英文を題材にして復習し、さらなる定着を図る。

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**言語演習（英語）２**						
英文名　：	Language Seminar(English) 2						
担当者　：	長谷川　由美						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】火曜4限						

■授業概要

ペット（犬猫が中心）に関する「犬猫に特化した」英文を読んでいきます。特に、現在、ペットを飼っている人、昔、ペットを飼っていた人には、わかりやすい内容だと思います。経験的にわかることが多いです。これから（いつか）ペットを飼ってみたい人には、ぜひ、知っておいていただきたい内容ばかりです。単語は少し難しいものもありますので、辞書は必ず持参しましょう。英文自体は平易でわかりやすいです。予習必須です。イメージ的には動物病院などの動物専門職用の英語と考えてもらえたらいいと思います。授業中に行う小テスト（単語や文法）と定期試験を行います。小テストの日程については、授業中に連絡をします。

ペアでする活動が毎回ありますので、履修を考えている人は、その点は理解しておいてください。また、受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がけましょう。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

基本的な英文法を復習しながら、英文の構造を理解することを目標とするクラスです。将来、論文を書いたり読んだりするときに必要となるスキルの修得を目指します。この科目の修得は、学部ディプロマポリシー5、近畿大学の教養教育の目的2の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

小テスト 40%
定期試験 50%
提出物 10%

■試験・課題に対するフィードバック方法

授業中、もしくはgoogle classroomでフィードバックします。

■教科書

[ISBN]9784523179207 『動物専門職のための総合英語―Animal Companions』 (スーザン・ウィリアムズ, 南雲堂：2021)

■参考文献

特に指定はありません。

■関連科目

言語演習（英語） 1

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

長谷川研究室（2号館5階512）・hasegawa@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

月曜日・３限（事前にメールで予約してください。）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　オリエンテーション、ウォーミングアップ（授業形式：講義・アクティブラーニング）
Introductory Unit:Meet the people in this book
予習内容：教科書を購入し、Introductory Unitに出ている知らない単語や熟語をチェックしておく。
予習時間：30分
復習内容：Introductory Unitに出てきた単語や熟語を復習する（覚える）。
復習時間：30分
授業の進め方についての説明＜必ずよく聞いてください。今後の予習や復習にも大きく関わってきます。＞
・予習、復習について
・授業内活動について
・課題、小テストおよび定期試験について
受講に際しての注意事項
・授業内の態度について
・欠席、遅刻について
・評価について
・忘れ物について
・携帯の使用について
その他、受講に際しての重要事項について

教科書　Introductory Unit

第2回　Unit1：Benny's first visit to the vet（授業形式：講義・アクティブラーニング）
予習内容：Unit1 に出ている知らない単語や熟語をチェックしておき、大体の内容を把握する。よくわからない部分は質問できるように準備する。
予習時間：60分
復習内容：Unit1に出てきた単語や熟語を復習する（覚える）。
復習時間：60分
・動物病院での初診受付の会話表現
・文法項目：would like
・寄生虫について

第3回　Unit2：Benny gets his second vaccinations（授業形式：講義・アクティブラーニング）
予習内容：Unit2 に出ている知らない単語や熟語をチェックしておき、大体の内容を把握する。よくわからない部分は質問できるように準備する。
予習時間：60分
復習内容：Unit2に出てきた単語や熟語を復習する（覚える）。
復習時間：60分
・ワクチン接種の説明に必要な表現
・単語：イヌ科、ネコ科の表現など
・ネコの混合ワクチンについて

第4回　Unit3：Benny gets registered and microchipped（１）（授業形式：講義・アクティブラーニング）
予習内容：Unit3 に出ている知らない単語や熟語をチェックしておき、大体の内容を把握する。よくわからない部分は質問できるように準備する。
予習時間：60分
復習内容：Unit3に出てきた単語や熟語を復習する（覚える）。
復習時間：60分
・マイクロチップに関する会話表現
・文法項目：I'm afraid ～　Here you are
・マイクロチップについて

第5回　Unit4：Benny gets registered and microchipped（２）（授業形式：講義・アクティブラーニング）
予習内容：Unit4 に出ている知らない単語や熟語をチェックしておき、大体の内容を把握する。よくわからない部分は質問できるように準備する。
予習時間：60分
復習内容：Unit4に出てきた単語や熟語を復習する（覚える）。

復習時間：60分
・マイクロチップの登録と犬の登録手続きに関する会話表現
・文法項目：need to, have to, 料金の表現
・狂犬病予防接種済証について

第6回 Unit5：Spaying and neutering＜前半＞（授業形式：講義・アクティブラーニング）
Unit1-4小テスト

予習内容：テスト勉強＋Unit5 に出ている知らない単語や熟語をチェックしておき、大体の内容を把握する。よくわからない部分は質問できるように準備する。
予習時間：60分
復習内容：Unit5に出てきた単語や熟語を復習する（覚える）。
復習時間：60分
・Unit1-4小テスト
・避妊と去勢のメリットとデメリットを伝える会話表現
・文法項目：時と条件を表す副詞節、make sure を使ったアドバイス

第7回 Unit5：Spaying and neutering＜後半＞＋Unit6:Benny has to have an IV-drip(1)＜前半＞（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit5&6 に出ている知らない単語や熟語をチェックしておき、大体の内容を把握する。よくわからない部分は質問できるように準備する。
予習時間：60分
復習内容：Unit5&6 に出てきた単語や熟語を復習する（覚える）。
復習時間：60分
・避妊と去勢でリスクを軽減できる病気と症状
・診察での会話表現
・症状の尋ね方

第8回 Unit6:Benny has to have an IV-drip(1)＜後半＞＋Unit7:Benny has to have an IV-drip（２）＜前半＞（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit6&7に出ている知らない単語や熟語をチェックしておき、大体の内容を把握する。よくわからない部分は質問できるように準備する。
予習時間：60分
復習内容：Unit6&7 に出てきた単語や熟語を復習する（覚える）。
復習時間：60分
・細かな症状の尋ね方、病気と症状の英語
・診察結果のお知らせと、処方箋の説明に関する会話表現

第9回 Unit7:Benny has to have an IV-drip（２）＜後半＞＋Unit8:Saying goodbye: Being together at the end＜前半＞（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit7&8に出ている知らない単語や熟語をチェックしておき、大体の内容を把握する。よくわからない部分は質問できるように準備する。
予習時間：60分
復習内容：Unit7&8 に出てきた単語や熟語を復習する（覚える）。
復習時間：60分
・投薬方法についての会話表現表現
・会計とペット保険についての会話表現

第10回 Unit8:Saying goodbye: Being together at the end＜後半＞＋Unit9:A forever home＜前半＞（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unitt8&9に出ている知らない単語や熟語をチェックしておき、大体の内容を把握する。よくわからない部分は質問できるように準備する。
予習時間：60分
復習内容：Unit8&9 に出てきた単語や熟語を復習する（覚える）。
復習時間：60分
・大きな桁の数字の読み方
・愛犬との別れの場面における会話表現

第11回 Unit5-8小テスト＋Unit9:A forever home＜後半＞（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：テスト勉強＋Unit9 に出ている知らない単語や熟語をチェックしておき、大体の内容を把握する。よくわからない部分は質問できるように準備する。
予習時間：60分
復習内容：Unit9 に出てきた単語や熟語を復習する（覚える）。

復習時間：60分
・Unit5-8小テスト
・詩「虹の橋」
・CPRとDNRの同意書に書かれている英語

第12回 Unit10：Beautiful and clean（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit10に出ている知らない単語や熟語をチェックしておき、大体の内容を把握する。よくわからない部分は質問できるように準備する。
予習時間：60分
復習内容：Unit10 に出てきた単語や熟語を復習する（覚える）。
復習時間：60分
・救助犬と里親に関する会話表現
・犬/猫種の英語名称

第13回 Unit11：Beautiful and clean（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit11 に出ている知らない単語や熟語をチェックしておき、大体の内容を把握する。よくわからない部分は質問できるように準備する。
予習時間：60分
復習内容：Unit11 に出てきた単語や熟語を復習する（覚える）。
復習時間：60分
・グリーミングサロンでの会話表現
・オーナーさんの希望を伺う英語表現
・犬の洗い方

第14回 Unit12：Sammy has obedience classes（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit12 に出ている知らない単語や熟語をチェックしておき、大体の内容を把握する。よくわからない部分は質問できるように準備する。
予習時間：60分
復習内容：Unit12 に出てきた単語や熟語を復習する（覚える）。
復習時間：60分
・犬のトレーニングにおける会話表現
・トレーニングの基本コマンド
・犬の問題行動

第15回 Unit9-12小テスト＋Activities（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit9-12小テスト勉強
予習時間：60分
復習内容：定期試験に向けての学習
復習時間：120分
・Unit9-12小テスト
・Activities：犬の体のパーツなど

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**言語演習（英語）２**						
英文名　：	Language Seminar(English) 2						
担当者　：	服部　圭子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】金曜1限						

■授業概要

英語学習で必要なインプットとアウトプットのバランス、語彙を増やし推測能力をつける、全体および細部の把握をする、情報を再編成することができ、自分の意見を表明できる能力を習得することを目指します。

社会の課題に関するテーマを扱ったビデオ視聴をしながら聞き、読み、書き、話す能力を育成します。

授業では、ペアワークやアクティビティを可能な限り行います。また、グループディスカッションでの積極的な意見交換を期待します。小テストの実施や、自分の意見をまとめて書くなどの課題が予定されています。

授業前には当該ユニットの単語や表現の予習をすることが望まれます。辞書は必ず手元に置き、利用してください。パソコンを持参してもらうことがあります。

なお、教育効果を考慮し、受講者調整のため、抽選を行う場合があります。その際、初日を欠席した学生は履修不可となるので、履修を希望する者は、必ず初回の授業に必ず遅刻せずに参加してください。

受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がける。Web教材の課題が出された場合には、必ず提出すること。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

１．英語で情報を受信・受容し、入手した情報を再編成して発信できる能力を養う。
２．全体把握、および細部の表現の理解に目を向ける姿勢を養う。
３．テーマに沿って自律的に調査する力、異文化の人々とのコミュニケーションを円滑に行う能力を培う。

この科目の修得は、学部ディプロマポリシー5、近畿大学の教養教育の目的2.3.4の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

小テスト等 40%
提出物・課題等 30%
発表等 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後、模範解答の要点と解説は授業内またはGoogle Classroom を利用して行います。

■教科書

[ISBN]9784881987827 『Toward a Diverse Society 1:Learning English through Video: 多様な社会を目指して:メディア

動画を通して学ぶ英語』 (竹内理, 松柏社：2023)

■参考文献

授業内で指示します。

■関連科目

言語演習 1

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠しています。

■研究室・メールアドレス

服部研究室（2号館5階513）・khattori@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

木曜日5限目（その他の時間帯は必ず予約すること）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション(授業形式：講義)

予習内容：クラス内で発表しあう英語での自己紹介を考える。シラバスの通読。
予習時間：30分
復習内容：テキストの概要を知る。英文の自己紹介を清書する。
復習時間：60分
授業の進め方
・予習/復習の進め方
・課題/Google Classroomについて
受講に関しての注意事項
・出欠/遅刻について
・持参物について
・携帯電話の使用制限について
・参加態度について
・定期試験について
・総合評価について
・Web利用について
・その他受講に関しての注意点について

第2回 Unit 1:Artificial Intelligence Helps Make Movies Speak Many Languages(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：U1の語彙を予習し、スクリプトを読んで内容を把握しておく。
予習時間：30分
復習内容：Your Opinion in Writingを作成し提出する。
復習時間：60分
映画のセリフの吹き替えで生じる言葉の口の動きのずれとAI技術についてのビデオをみて内容理解する。それらをもとに、自分の意見をまとめて英語で説明する練習を行う。

第3回 Unit 2:Mongolian Youth Seek to Preserve Reindeer-Based Tradition(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：U2の語彙を予習し、スクリプトを読んで内容を把握しておく。
予習時間：30分
復習内容：Your Opinion in Writingを作成し提出する。
復習時間：60分
モンゴルのツァ―タン族の消滅の危機についてのビデオをみて内容理解する。それらをもとに、自分の意見をまとめて英語で説明する練習を行う。

第4回 Unit 3:Climate-Driven Heat Waves Increasing Inequality(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：U3の語彙を予習し、スクリプトを読んで内容を把握しておく。
予習時間：30分
復習内容：Your Opinion in Writingを作成し提出する。

復習時間：60分
猛暑の中、野外で働く人々の熱中症の問題についてのビデオをみて内容理解する。それらをもとに、自分の意見をまとめて英語で説明する練習を行う。

第5回　Unit 4:Panda Boom Gives New Hope for Its Survival(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：U4の語彙を予習し、スクリプトを読んで内容を把握しておく。
予習時間：30分
復習内容：Your Opinion in Writingを作成し提出する。
復習時間：60分
ジャイアントパンダ絶滅の危機と観光問題についてのビデオをみて内容理解する。それらをもとに、自分の意見をまとめて英語で説明する練習を行う。

第6回　Unit 5:Lantos Human Rights Prize Winners Vow to Work for Women in Afghanistan(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：U5の語彙を予習し、スクリプトを読んで内容を把握しておく。
予習時間：30分
復習内容：Your Opinion in Writingを作成し提出する。
復習時間：60分
アフガニスタン女性の権利の問題についてのビデオをみて内容理解する。それらをもとに、自分の意見をまとめて英語で説明する練習を行う。

第7回　Unit 6:Translation Agency Advertises for a Fluent Emoji Speaker(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：U6の語彙を予習し、スクリプトを読んで内容を把握しておく。
予習時間：30分
復習内容：Further Informationの復習
復習時間：60分
絵文字の翻訳や、絵文字が表現するものについてのビデオをみて内容理解する。それらをもとに、自分の意見をまとめて英語で説明する練習を行う。

第8回　U１～U6のまとめと復習(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：U1～U6 の復習
予習時間：30分
復習内容：Your Opinion in Writingを作成し提出する。
復習時間：60分

U1～U6までの内容について復習し、さらなる情報を調べて話し合う。

第9回　Unit 7: Water Wheel Picks Up Trash in Baltimore’s Waterways(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：U7の語彙を予習し、スクリプトを読んで内容を把握しておく。
予習時間：30分
復習内容：Your Opinion in Writingを作成し提出する。
復習時間：60分
皆とでの清掃プロジェクトについてのビデオをみて内容理解する。それらをもとに、自分の意見をまとめて英語で説明する練習を行う。

第10回　Unit 8:Junk Food Advertising Is To Be Banned Across All Media Targeted at Children in UK(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：U8の語彙を予習し、スクリプトを読んで内容を把握しておく。
予習時間：30分
復習内容：Your Opinion in Writingを作成し提出する。
復習時間：60分
インターネット使用と子どもの肥満防止問題についてのビデオをみて内容理解する。それらをもとに、自分の意見をまとめて英語で説明する練習を行う。

第11回　Unit 9:Technology Helps Find One of the World’s Most Sought-After Shipwrecks(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：U9の語彙を予習し、スクリプトを読んで内容を把握しておく。
予習時間：30分
復習内容：Your Opinion in Writingを作成し提出する。
復習時間：60分
1世紀以上前に沈んだ船を発見する技術についてのビデオをみて内容理解する。それらをもとに、自分の意見をまとめて英語で説明する練習を行う。

第12回 Unit 10: Self-Driving Trucks May Beat Autonomous Cars in Race for Acceptance(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：U10の語彙を予習し、スクリプトを読んで内容を把握しておく。
予習時間：30分
復習内容：Your Opinion in Writingを作成し提出する。
復習時間：60分
運転手不足と自動運転トラックについてのビデオをみて内容理解する。それらをもとに、自分の意見をまとめて英語で説明する練習を行う。

第13回 Unit 11: Fighting Food Waste: Technology Tells Restaurants What They Are Throwing Away(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：U11の語彙を予習し、スクリプトを読んで内容を把握しておく。
予習時間：30分
復習内容：Your Opinion in Writingを作成し提出する。
復習時間：60分
食品ロスや汚染問題とAIシステムについてのビデオをみて内容理解する。それらをもとに、自分の意見をまとめて英語で説明する練習を行う。

第14回 Unit 12: Charity Training Cancer Detection Dogs (授業形式：講義、アクティブラーニング）U6～U10のまとめと復習(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：U12の語彙を予習し、スクリプトを読んで内容を把握しておく。
予習時間：30分
復習内容：Your Opinion in Writingを作成し提出する。
復習時間：60分
バイオ探知犬と病気発見のための訓練についてのビデオをみて内容理解する。それらをもとに、自分の意見をまとめて英語で説明する練習を行う。U6～U10までの内容について復習し、さらなる情報を調べて話し合う。

第15回 U１～U7のまとめと復習(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：U7～U12 の復習
予習時間：60分
復習内容：U7～U12 のFurther Information の復習
復習時間：30分
U1～U6までの内容について復習し、さらなる情報を調べて話し合う。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**言語演習（英語）２**						
英文名　：	Language Seminar(English) 2						
担当者　：	服部　圭子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】水曜5限						

■授業概要

英語でアカデミックな内容の話し言葉が理解でき、より高度で複雑な文や単語を用いて意見を述べる練習をします。テキストやDVDの視聴で学んだプレゼンテーションの方法や内容をもとに、与えられたテーマや自分自身のことを語るプレゼンテーションができるようになることを目指します。

授業では、ペアワークやアクティビティを可能な限り行います。また、グループディスカッションでの積極的な意見交換を期待します。また、簡単な発表、小テスト、復習テストの実施、やプレゼンテーションの課題が予定されています。

授業前には当該ユニットの単語や表現の予習をすることが望まれます。辞書は必ず手元に置き、利用してください。パソコンを持参してもらうことがあります。

なお、教育効果を考慮し、受講者調整のため、抽選を行う場合があります。その際、初日を欠席した学生は履修不可となるので、履修を希望する者は、必ず初回の授業に必ず遅刻せずに参加してください。

受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がける。Web教材の課題が出された場合には、必ず提出すること。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

１．今後のセミナーや会議・学会参加などの様々な機会に対応できる英語力を養う。
２．英語のプレゼンテーションを聞いたり、自分で作ったりする能力を養う。
３．与えられたテーマについて、自分の意見を述べるための自信をつけ、異文化の人々とのコミュニケーションを円滑に行う能力を培う。

この科目の修得は、学部ディプロマポリシー5、近畿大学の教養教育の目的2.3.4の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

復習テスト 40%
小テスト 30%
課題・発表・クラスでの貢献度など 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

小テストや課題などに関するフィードバックは授業内、またはGoogle Classroomで行う。
教科書

■教科書

[ISBN]9784764739291 『DVDで学ぶ英語プレゼンテーションの技法―Presentation Workshopー Ora』 (Craig Smith, 金星堂：2012)

■参考文献

必要に応じて授業時に指示します。

■関連科目

言語演習（英語） 1

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

服部研究室（2号館5階513号室）
khattori@@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

木曜日5限目（その他の時間帯は必ず予約すること）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション(授業形式：講義)

予習内容：夏休みについて英語で発表できるようにする
予習時間：30分
復習内容：夏休みについて、英語でまとめて書く。
復習時間：60分
授業の進め方
・予習/復習の進め方
・課題/Google Classroomについて
受講に関しての注意事項
・出欠/遅刻について
・持参物について
・携帯電話の使用制限について
・参加態度について
・ペアワーク・グループワーク
・課題・復習テスト・小テストについて
・総合評価について
・Web利用について
・その他受講に関しての注意点について

夏休みについて英語で話す

第2回 Unit 8:The Daily News(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：U8 語彙・表現・Readingの予習
予習時間：30分
復習内容：U8　Reading内容の復習
復習時間：60分
The Daily Newsに関する留意点をDVDやテキストから学ぶ。

Preview to the Reading Passage,Reading Passage, Comprehension

第3回 Unit 8:The Daily News(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：U8　model presentation, brief lectureの予習
予習時間：30分
復習内容：U8　preparation for presentationの復習
復習時間：60分
The Daily Newsに関するmodel presentation, brief lecture
Workshop Session

第4回 Unit 9: Japan's Low Birth Rate (授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：U9 語彙・表現・Readingの予習
予習時間：30分
復習内容：U9　Reading内容の復習
復習時間：60分
日本の低出生率に関するテーマに関して扱う。Preview to the Reading Passage,Reading Passage, Comprehension

第5回　Unit 9:Japan's Low Birth Rate(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：U9　model presentation, brief lectureの予習
予習時間：30分
復習内容：U9　preparation for presentationの復習
復習時間：60分
日本の低出生率に関するに関するmodel presentation, brief lecture
The 3 by 3 Presentation Structure

第6回　Unit 10:Nuclear Power(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：U10 語彙・表現・Readingの予習
予習時間：30分
復習内容：U10　Reading内容の復習
復習時間：60分
原子力に関するテーマに関して扱う。Preview to the Reading Passage,Reading Passage, Comprehension

第7回　Unit 10:Nuclear Power(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：U10　model presentation, brief lectureの予習
予習時間：30分
復習内容：U10　preparation for presentationの復習
復習時間：60分
原子力に関するmodel presentation, brief lecture
Small-Group Discussion

第8回　U8～U10 まとめ&復習テスト(授業形式：講義)

予習内容：U8～U10の復習
予習時間：60分
復習内容：U8～U10の復習
復習時間：30分
U8.U9,U10の復習と、復習テスト

第9回　Unit11:The Internationalization of Japan's Universities(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：U11 語彙・表現・Readingの予習
予習時間：30分
復習内容：U11　Reading内容の復習
復習時間：60分
日本の大学の国際化に関するテーマに関して扱う。Preview to the Reading Passage,Reading Passage, Comprehension

第10回　Unit 11:The Internationalization of Japan's Universities(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：U11　model presentation, brief lectureの予習
予習時間：30分
復習内容：U11　preparation for presentationの復習
復習時間：60分
日本の大学の国際化に関するmodel presentation, brief lecture
Audience Analysis

第11回　Unit 12:Japan and the United Nations Security Council(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：U12 語彙・表現・Readingの予習
予習時間：30分
復習内容：U12　Reading内容の復習
復習時間：60分
国際連合安全保障理事会に関するテーマに関して扱う。Preview to the Reading Passage,Reading Passage, Comprehension

第12回　Unit 12:Japan and the United Nations Security Council(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：U12　model presentation, brief lectureの予習
予習時間：30分
復習内容：U12　preparation for presentationの復習
復習時間：60分

国際連合安全保障理事会に関するmodel presentation, brief lecture
Presentation of a Slide Show

第13回 Unit 13:Artificial intelligence(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：U13 語彙・表現・Readingの予習
予習時間：30分
復習内容：U13　Reading内容の復習
復習時間：60分
人工知能に関するテーマに関して扱う。Preview to the Reading Passage,Reading Passage, Comprehension

第14回 Unit 13:Artificial intelligence(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：U13　model presentation, brief lectureの予習
予習時間：30分
復習内容：U13　preparation for presentationの復習
復習時間：60分
人工知能に関するmodel presentation, brief lecture
Presentation with a Slide Show

第15回 Unit 14 Review(2) & 復習テスト2(授業形式：講義)

予習内容：U11～U13の復習
予習時間：60分
復習内容：U11～U14の総復習
復習時間：30分
アカデミック・プレゼンテーションに関する復習

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 ：	**言語演習（英語）2**						
英文名 ：	Language Seminar(English) 2						
担当者 ：	ファミュラロ　ラルフ　マイケル						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】月曜1限						

■授業概要

Students need to keep up with the lesson activities which include a textbook with DVD and hand-outs on topics not covered in the textbook. Students will need to study seriously for this course. Poor attendance and failure to hand-in answer sheets on time will render a non-passing grade.

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

英語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

The purpose of the course is to learn about different nations and cultures around the world while focusing on English to explain the presented content including giving opinions.
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

In-Class related activities 40%
Quizzes 30%
Reports 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間に答案（写し）を返却します。

■教科書

[ISBN]9784908413063
Culture Through English 1
Cameron Smith & Vick Ssali
Paws International

■参考文献

An English-Japanese, Japanese-English dictionary or application is required. *** A device to connect to the internet is necessary.

■関連科目

言語演習（英語）1・3・4（全学科対応）

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）0402c1@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

授業時間除く

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 2nd Term orientation 演習を含む講義

予習内容：Course Introduction
予習時間：30分
復習内容：Famous Places Around the World
復習時間：60分
The teaching method and necessary materials for the course will be explained. The topic of famous places will be introduced.

第2回 World Religions 演習を含む講義

予習内容：World Religions
予習時間：45分
復習内容：The Mystical Branches of World Religions
復習時間：45分
The major religions around the world and their relation to culture will be introduced. Review lessons 1-4 from the textbook will also be done.

第3回 Tourist Sites: The Statue of liberty 演習を含む講義

予習内容：Statue of Liberty
予習時間：60分
復習内容：New York City topics
復習時間：30分
A famous tourist site near New York City, the Statue of Liberty, will be studied.

第4回 Tourist Sites: The Tower of London 演習を含む講義

予習内容：The Tower of London
予習時間：45分
復習内容：Tourist-based Economy
復習時間：45分
The famous place, the Tower of London, will be studied. Examination of the advantages and disadvantages of economy-based economics will be discussed.

第5回 The 4 Nations of the United Kingdom 演習を含む講義

予習内容：The United Kingdom
予習時間：45分
復習内容：Report #5, Famous Places
復習時間：45分
Students will study the 4 nations that make up the United Kingdom: Scotland, wales, Northern Ireland and England. The difference between the UK and Britain will be presented. Report #5 on Famous Places will be done.

第6回 Famous People 演習を含む講義

予習内容：Famous People
予習時間：45分
復習内容：Civil Rights
復習時間：45分
The topic of famous people will be presented. Examples may come from sports, politics, entertainment or other areas of society. The concept of civil rights and human rights will be studied.

第7回 Famous People, Part 2 演習を含む講義

予習内容：Martin Luther King
予習時間：45分
復習内容：Final Thoughts on Human Rights
復習時間：45分
The life of Martin Luther King will be studied in relation to human rights.

第8回 Review of Lesson 1-7 演習を含む講義

予習内容：Review of Lessons 1-7
予習時間：45分
復習内容：Report #6, Famous People
復習時間：45分

The previous lesson content will be reviewed. Report #6 on Famous People should be completed.

第9回 Introduction to Canada 演習を含む講義

予習内容：Introduction to Canada
予習時間：45分
復習内容：Festivals
復習時間：45分
An introduction to the nation of Canada will be presented. Also, the topic of Festivals will be studied.

第10回 Holidays 演習を含む講義

予習内容：Holidays, including Easter.
予習時間：45分
復習内容：Canadian Topics, part 2
復習時間：45分
Related to the topic of festivals, Holidays in different nations will be studied with particular focus on Easter. The second part of Canadian topics will also be done.

第11回 Halloween 演習を含む講義

予習内容：Halloween
予習時間：45分
復習内容：Day of the Dead Festival
復習時間：45分
Continuing with the theme of Festivals & Holidays, Halloween's history and customs, as well as the Mexican, "Day of the Dead" festival will be presented.

第12回 World Festivals 演習を含む講義

予習内容：Festivals from around the world
予習時間：60分
復習内容：Report #7 on Festivals
復習時間：30分
Lesser-known festivals from around the world will be studied and discussed. Report #7 on festivals will be done.

第13回 Drinks (Tea) 演習を含む講義

予習内容：Different Types of Tea
予習時間：45分
復習内容：Rooibos (South African tea)
復習時間：45分
The topic of traditional forms of tea and other tea-like drinks will be presented.

第14回 Drinks (Coffee) 演習を含む講義

予習内容：History of Coffee
予習時間：45分
復習内容：Famous Coffee Chains
復習時間：45分
The history and popularity of coffee will be studied with focus on the advantages and disadvantages of large coffee chain establishments.

第15回 Review of Lessons 9-14 演習を含む講義

予習内容：Review of Lessons 9-14
予習時間：60分
復習内容：Report #8 on Drinks
復習時間：30分
Previous lessons will be reviewed. Final Report #8 on Drinks will be completed.

No formal test will be given. Grades will be determined by ongoing assessment. Quizzes and reports will be the basis of the final grade.

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**言語演習（英語）２**						
英文名　：	Language Seminar(English) 2						
担当者　：	美濃部　貴子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】火曜4限						

■授業概要

・英語のリーディング能力を中心に、総合的な英語能力のさらなる向上と定着を図ります。
・予習必須のクラスです。予習は必ずしてきましょう。
・授業中にAudioをかけますので、積極的にシャドウイングをしましょう。
・授業には辞書を必ず持参しましょう。
・受講期間中にTOEICの公開テストやTOEIC-IPテストを受講するようにしましょう。
・受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がけてください。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、この授業を履修することによって、英語の４技能（読む・聞く・話す・書く）の基礎力を確実にしながら、特に専門的な英語の文章を読むのに必要なリーディングの基礎力が身につくようになります。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
発表および課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

小テストや課題の解答・要点の解説は、授業内で行います。 定期試験については、受講生と方法を相談の上、フィードバックを行います。

■教科書

[ISBN]9780357116289 『Reading Explorer Foundations』 (Tarver-Chase, Becky, Heinle & Heinle Pub：2019)
【留意事項】教科書は必ず[ISBN]番号が同じものを購入してください。（コピー不可）

■参考文献

必要に応じて授業時に指示します。

■関連科目

言語演習（英語） 1

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）urwhaturead@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ガイダンス・オリエンテーション（授業形式：講義）

予習内容：授業までにシラバスをよく読んでおく。
予習時間：30分
復習内容：授業内の指示に従い、学習内容を復習する。
復習時間：30分
授業の進め方の説明
・予習の進め方
・授業の進め方
・課題
受講に際しての注意事項
・欠席／遅刻について
・忘れ物（テキスト・辞書）について
・携帯電話の使用制限について
・定期試験について
・総合評価について
その他、受講に関する注意点について

第2回 Unit 7 Mind's Eye（前半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べて本文を通読する。
予習時間：60分
復習内容：練習問題の答えを復習して、本文を再読する。
復習時間：60分
Unit 7A: Understanding Dreams 本文を読む。Reading Comprehensionの答え合わせと説明。Vocabulary Practiceを解答して答え合わせをする

第3回 Unit 7 Mind's Eye（後半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べて本文を通読する。
予習時間：60分
復習内容：練習問題の答えを復習して、本文を再読する。
復習時間：60分
Unit 7B: Seeing the Impossible 本文を読む。Reading Comprehensionの答え合わせと説明。Reading Skillを解答して答え合わせをする。Videoを視聴して問いに答え、解説する

第4回 Unit 8 Animal Wonders（前半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べて本文を通読する。
予習時間：60分
復習内容：練習問題の答えを復習して、本文を再読する。
復習時間：60分
Unit 8A: A Penguin's Year 本文を読む。Reading Comprehensionの答え合わせと説明。Vocabulary Practiceを解答して答え合わせをする

第5回 Unit 8 Animal Wonders（後半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べて本文を通読する。
予習時間：60分
復習内容：練習問題の答えを復習して、本文を再読する。
復習時間：60分
Unit 8B: Do Animals Laugh? 本文を読む。Reading Comprehensionの答え合わせと説明。Reading Skillを解答して答え合わせをする。Videoを視聴して問いに答え、解説する

第6回 Unit 9 Building Beauty（前半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べて本文を通読する。
予習時間：60分
復習内容：練習問題の答えを復習して、本文を再読する。
復習時間：60分
Unit 9A: A Love Poem in Stone 本文を読む。Reading Comprehensionの答え合わせと説明。Vocabulary Practiceを解答して答え合わせをする

第7回 Unit 9 Building Beauty（後半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べて本文を通読する。
予習時間：60分
復習内容：小テスト（教科書、Unit 7A-9B、＊範囲は状況に応じて変わります）の勉強
復習時間：60分
Unit 9B: The Great Dome of Florence 本文を読む。Reading Comprehensionの答え合わせと説明。Reading Skillを解答して答え合わせをする。Videoを視聴して問いに答え、解説する

第8回 小テスト（教科書、Unit 7A-9B、＊範囲は状況に応じて変わります）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：小テスト（教科書、Unit 7A-9B、＊範囲は状況に応じて変わります）
予習時間：60分
復習内容：わからなかった箇所を教科書で確認する
復習時間：60分
小テスト（教科書、Unit 7A-9B、＊範囲は状況に応じて変わります）

第9回 Unit 10 Forces of Nature（前半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べて本文を通読する。
予習時間：60分
復習内容：練習問題の答えを復習して、本文を再読する。
復習時間：60分
Unit10A: Wild Weather 本文を読む。Reading Comprehensionの答え合わせと説明。Vocabulary Practiceを解答して答え合わせをする

第10回 Unit 10 Forces of Nature（後半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べて本文を通読する。
予習時間：60分
復習内容：練習問題の答えを復習して、本文を再読する。
復習時間：69分
Unit 10B: When Weird Weather Strikes 本文を読む。Reading Comprehensionの答え合わせと説明。Reading Skillを解答して答え合わせをする。Videoを視聴して問いに答え、解説する

第11回 Unit 11 Giants of the Past（前半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べて本文を通読する。
予習時間：60分
復習内容：練習問題の答えを復習して、本文を再読する。
復習時間：60分
Unit 11A: The Mammoth's Tale 本文を読む。Reading Comprehensionの答え合わせと説明。Vocabulary Practiceを解答して答え合わせをする

第12回 Unit 11 Giants of the Past（後半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べて本文を通読する。
予習時間：60分
復習内容：練習問題の答えを復習して、本文を再読する。
復習時間：60分
Unit 11B: Monsters of the Deep 本文を読む。Reading Comprehensionの答え合わせと説明。Reading Skillを解答して答え合わせをする。Videoを視聴して問いに答え、解説する

第13回 Unit 12 Technology（前半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べて本文を通読する。
予習時間：60分
復習内容：練習問題の答えを復習して、本文を再読する。
復習時間：60分
Unit 12A: The Robots are Coming! 本文を読む。Reading Comprehensionの答え合わせと説明。Vocabulary Practiceを解答して答え合わせをする

第14回 Unit 12 Technology（後半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べて本文を通読する。
予習時間：60分
復習内容：練習問題の答えを復習して、本文を再読する。
復習時間：60分
Unit 12B: How Will We Live in 2045? 本文を読む。Reading Comprehensionの答え合わせと説明。Reading Skillを解答して答え合わせをする。Videoを視聴して問いに答え、解説する

第15回 後期（Unit 7から１２）の 総復習（授業形式：講義）

予習内容：後期（Unit 7から１２）の 総復習
予習時間：60分
復習内容：定期試験に向けて総合的に復習する。
復習時間：60分
後期（Unit 7から１２）の 総復習、及び、小テスト返却と解説、定期試験（小テスト範囲の後からUnit 12Bまで）の要点など。

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**総合英語１**						
英文名　：	General English 1						
担当者　：	石井　重光						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】月曜3限、木曜3限　　食品安全工学科、医用工学科開講科目						

■授業概要

高校卒業までに身に付けた英語力を基盤として、聞く・話す・読む・書くの4技能の総合的な習得を目指した授業を行う。科学の題材を用いた教科書を使用して、今後必要となる学術語彙の導入を測りながら、まとまった英文を時間をかけずに読む訓練を行う。リスニングについては、聴解が難しい部分を重点的に扱い、英文が聞こえてくる感覚が身につくような授業を行う。また、現在一般的に通用度の高いTOEICテストについて、形式への習熟、ストラテジーの習得を行う。授業には必ず辞書を持参すること。また、受講期間中にランゲージスペースに３回以上参加し、レポートを提出しなければいけない。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語・その他の言語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「総合英語２」と合わせて、以下の目標に到達できるようにする。分野横断的な学術用語の内、基本的なものを理解・使用出来るようになる。400語程度の語彙で構成された文章の読解において、要点を掴みながら、正確に意味を理解できるようになる。既知の単語が出てくる文のリスニングにおいては、文単位で正確な聞き取りができるようになる。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表および課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

各教員から指示があります。

■教科書

[ISBN]9784764740464 『Science for Fun!―楽しんで読む最新科学』 (圭子, 服部, 金星堂：2017)
[ISBN]9784255155951 『Step-Up Skills for the TOEIC Test　Level2 Intermediate』 (北尾泰幸　西田晴美　林　姿穂　Brian Covert, 朝日出版社：2017)
[ISBN]9784342207297 『総合英語FACTBOOK English Grammar Standard [NEW EDITION]』 (桐原書店, 桐原書店：2022)

■参考文献

特に指定しません。

■関連科目

総合英語2

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・tri_shandy@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション（授業形式：演習）

予習内容：3種類のテキストに目を通しておく。
予習時間：60分
復習内容：説明を受けた授業の進め方、テキストの使用法を確認しておく。
復習時間：60分
各テキストの説明　　授業の進め方の説明　　受講に際しての注意事項　　定期試験について　　総合評価について

第2回 （メイン）Unit 1 Secret Taste Cells（TOEIC）Unit 1 Eating Out（文法）第1章文型（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 1 Secret Taste Cells (1)（TOEIC）Unit 1 Eating Out(1)（文法）第1章文型の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 1 Secret Taste Cells （TOEIC）Unit 1 Eating Out（文法）第1章文型の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 1 Secret Taste Cells（TOEIC）Unit 1 Eating Out（文法）第1章文型

第3回 （メイン）Unit 1 Secret Taste Cells（TOEIC）Unit 1 Eating Out（文法）第1章文型（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 1 Secret Taste Cells （TOEIC）Unit 1 Eating Out（文法）第1章文の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 1 Secret Taste Cells （TOEIC）Unit 1 Eating Out（文法）第1章文型の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 1 Secret Taste Cells（TOEIC）Unit 1 Eating Out（文法）第1章文型

第4回 （メイン）Unit 2 Singing Sand（TOEIC）Unit 1 Eating Out（文法）第2章文型（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 2 Singing Sand （TOEIC）Unit 1 Eating Out（文法）第2章文型の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 2 Singing Sand （TOEIC）Unit 1 Eating Out（文法)第2章文型の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 2 Singing Sand（TOEIC）Unit 1 Eating Out（文法）第2章文型

第5回 （メイン）Unit 2 Singing Sand（TOEIC）Unit 1 Eating Out（文法）第2章文型（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 2 Singing Sand （TOEIC）Unit 1 Eating Out（文法）第2章文型の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 2 Singing Sand （TOEIC）Unit 1 Eating Out（文法)第2章文型の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 2 Singing Sand（TOEIC）Unit 1 Eating Out（文法）第2章文型

第6回 （メイン）Unit 2 Singing Sand（TOEIC）Unit 2 Travel（文法）Plus文型（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 2 Singing Sand （TOEIC）Unit 2 Travel（文法）Plus文型の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 2 Singing Sand （TOEIC）Unit 2 travel（文法)Plus文型の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 2 Singing Sand（TOEIC）Unit 2 Travel（文法）Plus文型

第7回 （メイン）Unit 2 Singing Sand（TOEIC）Unit 2 Travel（文法）Plus文型（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 2 Singing Sand （TOEIC）Unit 2 Travel（文法）Plus文型の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 2 Singing Sand （TOEIC）Unit 2 Travel（文法)Plus文型の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 2 Singing Sand（TOEIC）Unit 2 Travel（文法）Plus文型

第8回 （メイン）Unit 3 Christmas Tree Science（TOEIC）Unit 2 Travel（文法）第3章時を表す表現（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 3 Christmas Tree Science （TOEIC）Unit 2 Travel（文法）第3章時を表す表現の各部

分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 3 Christmas Tree Science （TOEIC）Unit 2 travel（文法)第3章時を表す表現の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 3 Christmas Tree Science（TOEIC）Unit 2 Travel（文法）第3章時を表す表現

第9回 （メイン）Unit 3 Christmas Tree Science（TOEIC）Unit 2 Travel（文法）第3章時を表す表現（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 3 Christmas Tree Science （TOEIC）Unit 2 Travel（文法）第3章時を表す表現の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 3 Christmas Tree Science （TOEIC）Unit 2 travel（文法)第3章時を表す表現の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 3 Christmas Tree Science（TOEIC）Unit 2 Travel（文法）第3章時を表す表現

第10回 （メイン）Unit 3 Christmas Tree Science（TOEIC）Unit 3 Amusement（文法）第4章時を表す表現（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 3 Christmas Tree Science （TOEIC）Unit 3 Amusement（文法）第4章時を表す表現の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 3 Christmas Tree Science （TOEIC）Unit 3 Amusement（文法)第4章時を表す表現の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 3 Christmas Tree Science（TOEIC）Unit 3 Amusement（文法）第4章時を表す表現

第11回 （メイン）Unit 3 Christmas Tree Science（TOEIC）Unit 3 Amusement（文法）第4章時を表す表現（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 3 Christmas Tree Science （TOEIC）Unit 3 Amusement（文法）第4章時を表す表現の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 3 Christmas Tree Science （TOEIC）Unit 3 Amusement（文法)第4章時を表す表現の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 3 Christmas Tree Science（TOEIC）Unit 3 Amusement（文法）第4章時を表す表現

第12回 （メイン）Unit 4 Watch a Zebrafish Think（TOEIC）Unit 3 Amusement（文法）第5章完了形（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 3 Christmas Tree Science（TOEIC）Unit 3 Amusement（文法）第5章完了形の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 4 Watch a Zebrafish Think （TOEIC）Unit 3 Amusement（文法)第5章完了形の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 4 Watch a Zebrafish Think（TOEIC）Unit 3 Amusement（文法）第5章完了形

第13回 （メイン）Unit 4 Watch a Zebrafish Think（TOEIC）Unit 3 Amusement（文法）第5章完了形（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 4 Watch a Zebrafish Think（TOEIC）Unit 3 Amusement（文法）第5完了形の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 4 Watch a Zebrafish Think （TOEIC）Unit 3 Amusement（文法)第5章完了形の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 4 Watch a Zebrafish Think（TOEIC）Unit 3 Amusement（文法）第5章完了形

第14回 （メイン）Unit 4 Watch a Zebrafish Think（TOEIC）Unit 4 Meetings（文法）第6章完了形（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 4 Watch a Zebrafish Think（TOEIC）Unit 4 Meetings（文法）第6完了形の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 4 Watch a Zebrafish Think （TOEIC）Unit 4 Meetings（文法)第6章完了形の内容

の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 4 Watch a Zebrafish Think（TOEIC）Unit 4 Meetings（文法）第6章完了形

第15回 （メイン）Unit 4 Watch a Zebrafish Think（TOEIC）Unit 4 Meetings（文法）第6章完了形（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 4 Watch a Zebrafish Think（TOEIC）Unit 4 Meetings（文法）第6完了形の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 4 Watch a Zebrafish Think （TOEIC）Unit 4 Meetings（文法)第6章完了形の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 4 Watch a Zebrafish Think（TOEIC）Unit 4 Meetings（文法）第6章完了形

第16回 （メイン）Unit 5 The Time-Travelling Flower（TOEIC）Unit 4 Meetings（文法）第7章助動詞（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 5 The Time Travelling Flower（TOEIC）Unit 4 Meetings（文法）第7章助動詞の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 5 The Time-Travelling Flower （TOEIC）Unit 4 Meetings（文法)第7章助動詞の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 5 Time-Travelling Flower（TOEIC）Unit 4 Meetings（文法）第7章助動詞

第17回 （メイン）Unit 5 The Time-Travelling Flower（TOEIC）Unit 4 Meetings（文法）第7章助動詞（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 5 The Time Travelling Flower（TOEIC）Unit 4 Meetings（文法）第7章助動詞の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 5 The Time-Travelling Flower （TOEIC）Unit 4 Meetings（文法)第7章助動詞の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 5 Time-Travelling Flower（TOEIC）Unit 4 Meetings（文法）第7章助動詞

第18回 （メイン）Unit 5 The Time-Travelling Flower（TOEIC）Unit 5 Personnel（文法）第8章助動詞（授業形式：演習）

予習内容：指示されたメイン）Unit 5 Time-Travelling Flower（TOEIC）Unit 5 Personnel（文法）第8章助動詞の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 5 The Time-Travelling Flower （TOEIC）Unit 5 Personnel（文法)第8章助動詞の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 5 Time-Travelling Flower（TOEIC）Unit 5 Personnel（文法）第8章助動詞

第19回 （メイン）Unit 5 The Time-Travelling Flower（TOEIC）Unit 5 Personnel（文法）第8章助動詞（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 5 The Time-Travelling Flower（TOEIC）Unit 5 Personnel（文法）第8章助動詞の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 5 The Time-Travelling Flower （TOEIC）Unit 5 Personnel（文法)第8章助動詞の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 5 The Time-Travelling Flower（TOEIC）Unit 5 Personnel（文法）第8章助動詞

第20回 （メイン）Unit 6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugs（TOEIC）Unit 5 Personnel（文法）第9章助動詞（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugs（TOEIC）Unit 5 Personnel（文法）第9章助動詞の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugs （TOEIC）Unit 5 Personnel（文法)第9章助動詞の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugs（TOEIC）Unit 5 Personnel（文法）第9章助動詞

第21回　（メイン）Unit 6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugs（TOEIC）Unit 5 Personnel（文法）第9章助動詞（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugs（TOEIC）Unit 5 Personnel（文法）第9章助動詞の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugs （TOEIC）Unit 5 Personnel（文法)第9章助動詞の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugs（TOEIC）Unit 5 Personnel（文法）第9章助動詞

第22回　（メイン）Unit 6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugs（TOEIC）Unit 6 Shopping（文法）第10章受動態（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugs（TOEIC）Unit 6 Shopping（文法）第10章受動態の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugs （TOEIC）Unit 6 Shopping（文法)第10章受動態の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugs（TOEIC）Unit 6 Shopping（文法）第10章受動態

第23回　（メイン）Unit 6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugs（TOEIC）Unit 6 Shopping（文法）第10章受動態（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugs（TOEIC）Unit 6 Shopping（文法）第10章受動態の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugs （TOEIC）Unit 6 Shopping（文法)第10章受動態の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugs（TOEIC）Unit 6 Shopping（文法）第10章受動態

第24回　（メイン）Unit 7 Self-Driving Cars Will Make the World a Better Place（TOEIC）Unit 6 Shopping（文法）第11章受動態（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 7 Self-Driving Cars Will Make the World a Better Place（TOEIC）Unit 6 Shopping（文法）第11章受動態の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 7 Self-Driving Cars Will Make the World a Better Place （TOEIC）Unit 6 Shopping（文法)第11章受動態の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 7 Self-Driving Cars Will Make the World a Better Place（TOEIC）Unit 6 Shopping（文法）第11章受動態

第25回　（メイン）Unit 7 Self-Driving Cars Will Make the World a Better Place（TOEIC）Unit 6 Shopping（文法）第11章受動態（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 7 Self-Driving Cars Will Make the World a Better Place（TOEIC）Unit 6 Shopping（文法）第11章受動態の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 7 Self-Driving Cars Will Make the World a Better Place （TOEIC）Unit 6 Shopping（文法)第11章受動態の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 7 Self-Driving Cars will Make the World a Better Place（TOEIC）Unit 6 Shopping（文法）第11章受動態

第26回　（メイン）Unit 7 Self-Driving Cars Will Make the World a Better Place（TOEIC）Unit 7 Advertisement（文法）第12章不定詞（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 7 Self-Driving Cars Will Make the World a Better Place（TOEIC）Unit 7 Advertisement（文法）第12章不定詞の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 7 Self-Driving Cars Will Make the World a Better Place （TOEIC）Unit 7 Advertisement（文法)第12章不定詞の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 7 Self-Driving Cars Will Make the World a Better Place（TOEIC）Unit 7 Advertisement（文法）第12章不定詞

第27回　（メイン）Unit 7 Self-Driving Cars Will Make the World a Better Place（TOEIC）Unit 7

Advertisement（文法）第12章不定詞（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 7 Self-Driving Cars Will Make the World a Better Place（TOEIC）Unit 7 Advertisement（文法）第12章不定詞の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 7 Self-Driving Cars Will Make the World a Better Place （TOEIC）Unit 7 Advertisement（文法)第12章不定詞の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 7 Self-Driving Cars Will Make the World a Better Place（TOEIC）Unit 7 Advertisement（文法）第12章不定詞

第28回 （メイン）Unit 8 Your Brain on Music（TOEIC）Unit 7 Advertisement（文法）第13章不定詞（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 8 Your Brain on Music（TOEIC）Unit 7 Advertisement（文法）第13章不定詞の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 8 Your Brain on Music（TOEIC）Unit 7 Advertisement（文法)第13章不定詞の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 8 Your Brain on Music（TOEIC）Unit 7 Advertisement（文法）第13章不定詞

第29回 （メイン）Unit 8 Your Brain on Music（TOEIC）Unit 7 Advertisement（文法）第13章不定詞（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 8 Your Brain on Music（TOEIC）Unit 7 Advertisement（文法）第13章不定詞の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 8 Your Brain on Music（TOEIC）Unit 7 Advertisement（文法)第13章不定詞の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 8 Your Brain on Music（TOEIC）Unit 7 Advertisement（文法）第13章不定詞

第30回 （メイン）Unit 8 Your Brain on Music（TOEIC）Unit 7 Advertisement（文法）第14章不定詞（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 8 Your Brain on Music（TOEIC）Unit 7 Advertisement（文法）第14章不定詞の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 8 Your Brain on Music（TOEIC）Unit 7 Advertisement（文法)第14章不定詞の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 8 Your Brain on Music（TOEIC）Unit 7 Advertisement（文法）第14章不定詞

定期試験

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**総合英語１**						
英文名 ：	General English 1						
担当者 ：	片岡　宏仁						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】月曜3限、木曜3限　　食品安全工学科、医用工学科開講科目						

■授業概要

高校卒業までに身に付けた英語力を基盤として、聞く・話す・読む・書くの4技能の総合的な習得を目指した授業を行う。科学の題材を用いた教科書を使用して、今後必要となる学術語彙の導入を測りながら、まとまった英文を時間をかけずに読む訓練を行う。また、現在一般的に通用度の高いTOEICテストについて、形式への習熟、ストラテジーの習得を行う。TOEIC教材の使用は、学内TOEIC-IPテストの日程により使用期間が変わることがある。授業には必ず辞書を持参すること。各教員が指示したWeb教材の課題は、必ず提出すること。また、受講期間中にランゲージスペースに指定された回数以上の参加を必修とする。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「総合英語２」と合わせて、次の目標に到達できるようにする。分野横断的な学術用語のうち、基本的なものを理解・使用出来るようになる。400語程度の語彙で構成された文章の読解において、要点を掴みながら、正確に意味を理解できるようになる。リスニングにおいては、文単位で正確な聞き取りができるようになる。この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

小テスト 20%
発表および課題 30%
期末試験 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

小テスト・課題は自動採点でスコアと注意点を表示します.

■教科書

[ISBN]9784764740464 『Science for Fun!―楽しんで読む最新科学』 (圭子, 服部, 金星堂：2017)
[ISBN]9784255155951 『一歩上を目指すTOEIC LISTENING AND READING TEST Level2 Intermediate』 (北尾泰幸　西田晴美　林　姿穂　Brian Covert, 朝日出版社：2017)

■参考文献

特に指定しません。

■関連科目

総合英語2

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います.

■研究室・メールアドレス

メールアドレス: hrht_knk@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

該当科目開講時の前後休憩時間とします.

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　導入・学習の手引き（授業形式：講義）

予習内容：自己紹介プレゼンの用意
予習時間：30分
1. 授業の概要
2. 成績評価について
3. 注意事項
4. 自己紹介プレゼンについて

第2回　英語学習のポイントについて（授業形式：講義・アクティブラーニング）

1. 学生の自己紹介プレゼン
2. 発音 #1 リンキング: 単語どうしがつながって発音されることを理解する
3. 語彙 set #1

第3回　基礎文法（授業形式：講義・アクティブラーニング）

復習内容：文法の練習問題
復習時間：20分
1. 発音 #2 リンキング: 単語どうしがつながって発音されることを理解する
2. 語彙 set #2
3. 文法: 名詞句 (1) 可算名詞と不可算名詞を使い分ける

第4回　基礎文法（授業形式：講義・アクティブラーニング）

復習内容：文法の練習問題
復習時間：20分
1. 発音 #3 あいまい母音: /ə/ の発音を理解する
2. 語彙 set #3
3. 文法: 名詞句 (2)

第5回　基礎文法（授業形式：講義・アクティブラーニング）

復習内容：文法の練習問題
復習時間：20分
1. 発音 #4 弱音形と強音形: can を弱音形で発音する
2. 語彙 set #3
3. 文法: 名詞句 (3) 可算名詞と不可算名詞を使い分ける

第6回　Science for Fun, unit 1 (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：読解の予習
予習時間：45分
1. 発音 #5 弱音形と強音形: 代名詞・助動詞の弱音形と強音形のちがいを理解する
2. 語彙 set #4
3. 文法: 動名詞: その基本的な特徴を理解する

第7回　Science for Fun, unit 1 (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

1. 発音 #6 弱音形と強音形: thereの強音形と弱音形のちがいを理解する
2. 語彙 set #6
3. 読解の解説: and で並列しているものを特定する

第8回　TOEIC, unit 1 (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

1. 発音 #7
2. 語彙 set #7
3. リスニング問題

第9回　TOEIC, unit 1 (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

1. 発音 #8 リズム: 強勢（ストレス）がつくるリズムで短いフレーズを発音する
2. 語彙 set #8
3. リスニング問題
4. 読解問題

第10回　Science for Fun, unit 2 (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：読解の予習

予習時間：45分
1. 発音 #9 /iː/ と /ɪ/ の発音を理解する
2. 語彙 set #9
3. 文法: 受動態: be動詞+過去分詞の構文を理解する

第11回 Science for Fun, unit 2 (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

1. 発音 #10 /uː/ と /ʊ/ の発音を理解する
2. 語彙 set #10
3. 読解の解説: 情報を整理しつつ読む
4. リスニング問題

第12回 TOEIC, unit 2 (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

1. 発音 #11 母音; /ɜː/ の発音を理解する
2. 語彙 set #11
3. リスニング問題

第13回 TOEIC, unit 2 (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

1. 発音 #12 母音: /ɒ/ と /ɔː/ の発音を理解する
2. 語彙 set #12
3. リスニング問題
4. 読解問題

第14回 Science for Fun, unit 3 (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：読解の予習
予習時間：45分
1. 発音 #13 母音: /e/ と /æ/ の発音を理解する
2. 語彙 set #13
3. 文法: 進行形

第15回 Science for Fun, unit 3 (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

1. 発音 #14 母音 /ɑː/ と /ʌ/ の発音を理解する
2. 語彙 set #14
3. 読解の解説: 対比されているポイントを整理しつつ読む
4. リスニング問題

中間試験

語彙の小テスト

第16回 TOEIC, unit 3 (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

1. 発音 #15 母音のまとめ
2. 語彙 set #15
3. リスニング問題

第17回 TOEIC, unit 3 (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

1. 発音 #16 二重母音
2. 語彙 set #16
3. リスニング問題
4. 読解問題

第18回 Science for Fun, unit 4 (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：読解の予習
予習時間：45分
1. 発音 #17 二重母音
2. 語彙 set #17
3. 文法: 間接疑問文
4. リスニング問題

第19回 Science for Fun, unit 4 (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

1. 発音 #18 二重母音
2. 語彙 set #18
3. 読解の解説: 定名詞句や代名詞が指している既出の情報を確認しつつ読む

第20回 TOEIC, unit 4 (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

1. 語彙 set #19

2. リスニング問題

第21回 TOEIC, unit 4 (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

1. 語彙 set #20
2. リスニング問題
3. 読解問題

第22回 Science for Fun, unit 5 (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：読解の予習
予習時間：45分
1. 語彙 set #21
2. 文法: 動詞の過去分詞・現在分詞で名詞句を修飾する
3. リスニング問題

第23回 Science for Fun, unit 5 (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

1. 学生プレゼン
2. 語彙 set #22
3. 読解の解説: どんな出来事がどのような順序で起きたのかを読み取る（分詞節の理解）

第24回 TOEIC, unit 5 (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

1. 語彙 set #23
2. リスニング問題
3. 補足

第25回 TOEIC, unit 5 (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

1. 語彙 set #24
2. リスニング問題
3. 読解問題

第26回 Science for Fun, unit 6 (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：読解の予習
予習時間：45分
1. 語彙 set #25
2. 文法: that節: 動詞の目的語としてフキダシのような働きをすることを理解する
3. リスニング問題

第27回 Science for Fun, unit 6 (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

1. 学生プレゼン
2. 語彙 set #26
3. 読解の解説: パラグラフを俯瞰して話のつながりを理解する

第28回 TOEIC, unit 6 (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

1. 語彙 set #27
2. リスニング問題
3. 補足

第29回 TOEIC, unit 6 (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

1. 語彙 set #28
2. リスニング問題
3. 読解問題

第30回 前期のまとめ（授業形式：講義・アクティブラーニング）

期末試験

1. リスニング問題
2. 構文問題
3. 読解問題

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**総合英語１**						
英文名 ：	General English 1						
担当者 ：	野口　博代						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】月曜3限、木曜3限　　食品安全工学科、医用工学科開講科目						

■授業概要

高校卒業までに身に付けた英語力を基盤として、聞く・話す・読む・書くの4 技能の総合的な習得を目指した授業を行う。科学の題材を用いた教科書を使用して、今後必要となる学術語彙の導入を測りながら、まとまった英文を時間をかけずに読む訓練を行う。また、現在一般的に通用度の高い TOEIC テストについて、形式への習熟、ストラテジーの習得を行う。TOEIC 教材の使用は、学内TOEIC-IP テストの日程により使用期間が変わることがある。授業には必ず辞書を持参すること。各教員が指示した Web 教材の課題は必ず提出すること。また、受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がけ、指定された回数以上の参加を必修とする。

＊Google クラスルームで、クラスの周知や課題の掲出および提出があるので注意してください。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「総合英語2」と合わせて、次の目標に到達できるようにする。分野横断的な学術用語のうち、基本的なものを理解・使用出来るようになる。400 語程度の語彙で構成された文章の読解において、要点を掴みながら、正確に意味を理解できるようになる。リスニングにおいては、文単位で正確な聞き取りができるようになる。
総合的な英語力の向上を目指し、英語によるコミュニケーションスキルの上達を目標とする。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表および課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

課題・小テストは授業中に返却し解答・解説を行います。
定期試験については、全体的な解説をUNIVERSAL PASSPORTまたはGoogle クラスルームに掲載します。
質問や疑問点は個人的に対応します。

■教科書

[ISBN]9784764740464 『Science for Fun!―楽しんで読む最新科学』 (圭子, 服部, 金星堂：2017)
[ISBN]9784255156149 『一歩上を目指すTOEIC(R) LISTENING AND READING TEST Level1 Basic』 (北尾泰幸　西田晴美　林　姿穂　Brian Covert, 朝日出版社 ： 2019)
[ISBN]9784342207310 『総合英語FACTBOOK English Grammar Core』 (桐原書店編集部, 桐原書店：2022)

■参考文献

適宜授業時に紹介します。

■関連科目

総合英語２

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室(2 号館2 階)
h-noguch@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

該当科目開講時の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション（授業形式：講義）

予習内容：Science for Fun: Unit 1 Secret Taste Cells-In Some Surprising Places 単語の確認
予習時間：60分
復習内容：グループワークで取り組んだタスクのまとめと確認
復習時間：60分
1)各テキストの説明
2)授業の進め方の説明
・予習の進め方
・授業の進め方
・課題（インターネットを使った課題、ランゲージスペースへの参加など）
3)受講に際しての注意事項
・欠席／遅刻について
・忘れもの（テキスト・辞書）について
・小テストについて
・定期試験について
・成績評価について

4)グループワーク　（自己紹介）

第2回 Unit1 Secret Taste Cells-In Some Surprising Places (1)（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：Unit1 Secret Taste Cells 文法問題
予習時間：60分
復習内容：Unit1 Secret Taste Cellsの単語および熟語の復習
本文の要約
復習時間：60分
Science for Fun :Unit1 味覚細胞についての英文を読み解く /　Comprehension Questions
本文の和訳

第3回 Unit1 Secret Taste Cells -In Some Surprising Places (2)（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：Unit2 Singing Sand　単語の確認
予習時間：60分
復習内容：Science for Fun:Unit1 文法項目復習 / 音読練習
復習時間：60分
Science for Fun :Unit1 文法/リスニング/会話練習/Styles in Genre

FACTBOOK :第1章　文型①

第4回 Unit2 Singing Sand (1)（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：Unit2 Singing Sand 文法問題
予習時間：60分
復習内容：Unit2 Singing Sandの単語および熟語の復習
本文の要約
復習時間：60分
Science for Fun: Unit2 鳴き砂についての英文を読み解く / Comprehension Questions
本文の和訳

第5回 Unit2 Singing Sand (2)（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：Unit3 Christmas Tree Science　単語の確認
予習時間：60分
復習内容：Science for Fun:Unit2 文法項目復習/音読練習

復習時間：60分
Science for Fun:Unit2 文法/リスニング/会話練習/Styles in Genre

FACTBOOK :第2章　文型②

第6回 Unit3 Christmas Tree Science (1)（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：Unit3 Christmas Tree Science　文法問題
予習時間：60分
復習内容：Unit3 Christmas Tree Science 単語および熟語の復習
本文の要約
復習時間：60分
Science for Fun :Unit3 最近のクリスマスツリー農家についての英文を読み解く / Comprehension Questions
本文の和訳

第7回 Unit3 Christmas Tree Science (2)（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：TOEIC 問題集：Unit1 語彙問題
予習時間：60分
復習内容：Science for Fun:Unit3 文法項目復習/音読練習
復習時間：60分
Science for Fun:Unit3 文法/リスニング/会話練習/Styles in Genre

FACTBOOK :第3章　時を表す表現①

第8回 Listening 強化レッスン (1)（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：TOEIC 問題集：Unit2 語彙問題
予習時間：60分
復習内容：Listening Section 間違えた問題の復習
復習時間：60分
TOEIC問題集：Unit1 Listening Section

第9回 Listening 強化レッスン (2)（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：Unit4 Watch a Zebrafish Think 単語の確認
TOEIC問題集：Unit1 文法 / Reading Section
予習時間：60分
復習内容：Listening Section 間違えた問題の復習
復習時間：60分
TOEIC問題集：Unit2 Listening Section

第10回 Unit4 Watch a Zebrafish Think (1)（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：Unit4 Watch a Zebrafish Think 文法問題
予習時間：60分
復習内容：Unit4 Watch a Zebrafish Thinkの単語および熟語の復習/本文の要約
TOEIC問題の復習
復習時間：60分
Science for Fun :Unit4 魚の脳に関する英文を読み解く / Comprehension Questions
本文の和訳

TOEIC問題集：Unit1 文法 / Reading Section 解答・解説(1)
FACTBOOK:第4章　時を表す表現②

第11回 Unit4 Watch a Zebrafish Think (2)（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：Unit5 The Time-Traveling Flower 単語の確認
TOEIC問題集：Unit2 文法 / Reading Section
予習時間：60分
復習内容：Science for Fun:Unit4 文法項目復習/音読練習
TOEIC問題の復習
復習時間：60分
Science for Fun:Unit4 文法/リスニング/会話練習/Styles in Genre

TOEIC問題集：Unit1 文法 / Reading Section 解答・解説(2)
FACTBOOK :第5章　完了形①

第12回 Unit5 The Time-Traveling Flower (1)（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：Unit5 The Time-Traveling Flowerの文法問題
予習時間：60分
復習内容：Unit5 The Time-Traveling Flower単語および熟語の復習/本文の要約
TOEIC問題の復習
復習時間：60分
Science for Fun :Unit5 大昔の花の種の発見についての英文を読み解く / Comprehension Questions
本文の和訳

TOEIC問題集：Unit2 文法 / Reading Section 解答・解説(1)
FACTBBOOK :第6章　完了形②

第13回 Unit5 The Time-Traveling Flower（2）（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：TOEIC問題集:Unit3 語彙問題
予習時間：60分
復習内容：Science for Fun:Unit5 文法項目復習/音読練習
TOEIC問題の復習
復習時間：60分
Science for Fun:Unit5 文法/リスニング/会話練習/Styles in Genre

TOEIC問題集：Unit2 文法 / Reading Section 解答・解説(2)

第14回 Listening 強化レッスン (3)（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：TOEIC問題集:Unit4 語彙問題
予習時間：60分
復習内容：Listening Section 間違えた問題の復習
復習時間：60分
TOEIC問題集：Unit3 Listening Section

第15回 Listening 強化レッスン (4)（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：Unit6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugs 単語の確認
TOEIC問題集：Unit3 文法 / Reading Section
予習時間：60分
復習内容：Listening Section 間違えた問題の復習
復習時間：60分
TOEIC問題集：Unit4 Listening Section

第16回 Unit6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugs (1)（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：Unit6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugsの文法問題
予習時間：60分
復習内容：Unit6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugs 単語および熟語の復習/本文の要約
TOEIC問題の復習
復習時間：60分
Science for Fun :Unit6 海藻を消化するために必要な腸内細菌についての英文を読み解く / Comprehension Questions
本文の和訳

TOEIC問題集：Unit3 文法 / Reading Section 解答・解説(1)

第17回 Unit6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugs（2）（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：TOEIC問題集：Unit4 文法 / Reading Section
予習時間：60分
復習内容：Science for Fun:Unit6 文法項目復習
TOEIC問題の復習
復習時間：60分
Science for Fun:Unit6 文法/リスニング/会話練習/Styles in Genre

TOEIC問題集：Unit3 文法 / Reading Section 解答・解説(2)

第18回 TOEIC対策 (1)（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：TOEIC問題集：Unit6 語彙問題 / 文法 / Reading Section
予習時間：60分

復習内容：問題の再確認
復習時間：60分
TOEIC問題集：Unit4 文法 / Reading Section 解答・解説
　　Unit5 語彙問題 / Listening Section / 文法 / Reading Section

第19回 TOEIC対策 (2)（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：TOEIC問題集：Unit7 語彙問題 / 文法 / Reading Section
予習時間：60分
復習内容：問題の再確認
復習時間：60分
TOEIC問題集：Unit6 語彙問題 / Listening Section / 文法 / Reading Section

第20回 TOEIC対策 (3)（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：Unit7 Self-Driving Cars Will Make the World a Better Place 単語の確認
予習時間：60分
復習内容：問題の再確認
復習時間：60分
TOEIC問題集：Unit7 語彙問題 / Listening Section / 文法 / Reading Section

第21回 Unit7 Self-Driving Cars Will Make the World a Better Place (1)（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：Unit7 Self-Driving Cars Will Make the World a Better Place 文法問題
予習時間：60分
復習内容：Unit7 Self-Driving Cars Will Make the World a Better Place 単語および熟語の復習/本文の要約
復習時間：60分
Science for Fun :Unit7 未来の自動車についての英文を読み解く / Comprehension Questions
本文の和訳

FACTBOOK:　第7章　助動詞①

第22回 Unit7 Self-Driving Cars Will Make the World a Better Place (2)（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：発展読解問題への取り組み
予習時間：60分
復習内容：Science for Fun:Unit7 文法項目復習/音読練習
復習時間：60分
Science for Fun:Unit7 文法/リスニング/会話練習/Styles in Genre

FACTBOOK:　第8章　助動詞②

第23回 読解/文法強化レッスン　(1)（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：発展読解問題への取り組み
予習時間：60分
復習内容：読解/文法問題の再確認
復習時間：60分
英文読解問題への取り組み

FACTBOOK:　第8章　助動詞②・第9章　助動詞③

第24回 読解/文法強化レッスン　(2)（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：発展読解問題への取り組み
予習時間：60分
復習内容：読解/文法問題の再確認
復習時間：60分
英文読解問題への取り組み

FACTBOOK:　第10章　受動態①・第11章　受動態②

第25回 読解/文法強化レッスン　(3)（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：発展読解問題への取り組み
予習時間：60分
復習内容：読解/文法問題の再確認

復習時間：60分
英文読解問題への取り組み

FACTBOOK:　第12章　不定詞①・第13章　不定詞②

第26回　読解/文法強化レッスン　(4)（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：Unit8 Your Brain on Music 単語の確認
予習時間：60分
復習内容：読解/文法問題の再確認
復習時間：60分
英文読解問題への取り組み

FACTBOOK:　第14章　不定詞③

第27回　Unit8 Your Brain on Music (1)（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：Unit8 Your Brain on Musicの文法問題
予習時間：60分
復習内容：Unit8 Your Brain on Music 単語および熟語の復習/本文の要約
復習時間：60分
Science for Fun :Unit8 脳と音楽の関係についての英文を読み解く / Comprehension Questions
本文の和訳

第28回　Unit8 Your Brain on Music (2)（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：Science for Fun (Unit1-Unit4) Review
予習時間：60分
復習内容：Science for Fun:Unit8 文法項目復習/音読練習
復習時間：60分
Science for Fun:Unit8 文法/リスニング/会話練習/Styles in Genre

第29回　Science for Fun (Unit1-Unit4) Review（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：Science for Fun (Unit5-Unit8) Review
予習時間：60分
復習内容：Science for Fun (Unit1-Unit4)語彙・表現・文法事項の再確認
復習時間：60分
Science for Fun (Unit1-Unit4)　質問・疑問点についての解説

第30回　Science for Fun (Unit5-Unit8) Review（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：Science for Fun (Unit1-Unit8)語彙、文法、本文の内容確認
予習時間：60分
復習内容：Science for Fun (Unit5-Unit8)語彙・表現・文法事項の再確認
復習時間：60分
Science for Fun (Unit5-Unit8)　質問・疑問点についての解説

定期試験

試験範囲等、詳細は授業中に指示します。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**総合英語１**						
英文名 ：	General English 1						
担当者 ：	服部　圭子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】月曜3限、木曜3限　　食品安全工学科、医用工学科開講科目						

■授業概要

高校卒業までに身に付けた英語力を基盤として、聴く・話す・読む・書くの4技能の総合的な習得を目指した授業を行う。科学の題材を用いた教科書を使用して、今後必要となる学術語彙の導入をはかりながら、まとまった英文を時間をかけずに読む訓練を行う。また、現在一般的に通用度の高いTOEICテストについて、形式への習熟、ストラテジーの習得を行う。TOEIC教材の使用は、学内TOEIC-IPテストの日程により使用期間が変わることがある。授業には必ず辞書を持参すること。教員が指示したWeb教材の課題は必ず提出すること。また、受講期間中にランゲージスペースに指定された回数以上の参加を必修とする。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「総合英語２」と合わせて、以下の目標に達成できるようにする。分野横断的な学術用語のうち、基本的な者を理解、使用できるようになる。400字程度の語彙で構成された文章の読解において、要点をつかみながら、正確に意味を理解できるようになる。既知の単語が出てくる文のリスニングにおいては、文単位で正確な聞き取りができるようになる。基本的な文法を確認し、文章全体を把握する力をつける。また、後期のTOEIC-IPテストに向けての基礎英語力をつけるようにする。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表および課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

授業内またはUNIPA/Google Classroomで、ポイントをフィードバックします。

■教科書

[ISBN]9784764740464 『Science for Fun!―楽しんで読む最新科学』 (服部圭子他, 金星堂 : 2017)
[ISBN]9784255155968 『一歩上を目指すTOEIC LISTENING AND READING TEST Level3 Advanced』 (北尾泰幸　西田晴美　林　姿穂　Brian Covert, 朝日出版社 : 2017)
[ISBN]9784255156439 『CNN　Short News Vol.1』 (Richard S. Lavin他, 朝日出版社 : 2019)

■参考文献

特に指定しません。

■関連科目

総合英語2

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

服部研究室（2号館5階513） khattori@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

木曜日5限（その他の時間帯は必ず予約すること）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション（授業形式：講義）

予習内容：英語で自己紹介できるように準備する。
予習時間：60分
復習内容：英語での自己紹介をまとめる。各々のテキストで、どのような内容が学べるのかを見てみる。
復習時間：60分
各教科書についての説明
授業の進め方の説明
・予習の進め方
・授業の進め方
・課題（インターネットを使った課題やランチタイムリーディングへの参加など）
受講に際しての注意事項
・欠席／遅刻について
・忘れもの（テキスト・辞書）について
・携帯電話の使用の制限について
・単語／熟語の小テストについて
・定期試験について
・総合評価について
その他、受講に際しての重要事項について

第2回 【リーディング】Unit1 Secret Taste Cells(１)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【リーディング】Unit1 Secret Taste Cells本文の内容理解と試訳。英英辞典で単語を調べること。
予習時間：60分
復習内容：【リーディング】単語･熟語･文法事項を中心に復習を行う。
復習時間：60分
【リーディング】味覚細胞についての英文を読み解く。
Key Vocabulary,Pre-reading Question, Reading Articleをする。
Key Vocabularyの意味を調べ、英語でも説明できるようにする。発音にも注意する。
Reading Articleは、構文を分析して、英文にそって、わかりやすい日本語で説明できるようにする。

第3回 【リーディング】Unit1 Secret Taste Cells（２）（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【リーディング】Unit1 Secret Taste Cells本文の内容理解と試訳、演習問題、リスニング・Styles in Genreの単語チェック。
予習時間：60分
復習内容：【リーディング】単語･熟語･文法事項を中心に復習を行う。
復習時間：60分
【リーディング】味覚細胞についての英文を読み解く。
Reading Articleの復習をする。
演習問題、Styles in Genreにおける表現を学ぶ。
会話文のリスニング、発話練習、関連の表現を学ぶ。

第4回 【CNN】Unit 1 Super-aged societies（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【CNN】Unit の単語や熟語チェック。
予習時間：60分
復習内容：【CNN】学習したところの復習。理解が不十分なところはまとめておき、必ず次回に質問すること。
復習時間：60分
【CNN】Unit 1 Super-aged societiesのリスニングを行う。
単語や熟語の学習・内容理解をし、表現力を養う。

第5回 【CNN】Unit 2 Toward living on the moon（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【CNN】Unit 2の単語や熟語チェック
予習時間：60分
復習内容：【CNN】学習したところの復習。理解が不十分なところはまとめておき、必ず次回に質問すること。
復習時間：60分
【CNN】Unit 2 Toward living on the moonのリスニングを行う。
単語や熟語の学習・内容理解をし、表現力を養う。

第6回 【リーディング】Unit2 Singing Sand(1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【リーディング】Unit2 Singing Sand本文の内容理解と試訳。英英辞典で単語を調べること。
予習時間：60分
復習内容：【リーディング】単語･熟語･文法事項を中心に復習を行う。
復習時間：60分
【リーディング】鳴き砂についての英文を読み解く。
Key Vocabulary,Pre-reading Question, Reading Articleをする。
Key Vocabularyの意味を調べ、英語でも説明できるようにする。発音にも注意する。
Reading Articleは、構文を分析して、英文にそって、わかりやすい日本語で説明できるようにする。

第7回 【リーディング】Unit2 Singing Sand(２)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【リーディング】Unit2 Singing Sand本文の内容理解と試訳、演習問題、リスニング・Styles in Genreの単語チェック。
予習時間：60分
復習内容：【リーディング】Unit2 Singing Sandの単語および熟語の復習。
復習時間：60分
【リーディング】鳴き砂についての英文を読み解く。
Reading Articleの復習をする。
演習問題、Styles in Genreにおける表現を学ぶ。
会話文のリスニング、発話練習、関連の表現を学ぶ。

第8回 【CNN】Unit 3 Dangerous proposal（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【CNN】Unit 3の単語や熟語チェック。
予習時間：60分
復習内容：【CNN】学習したところの復習。理解が不十分なところはまとめておき、必ず次回に質問すること。
復習時間：60分
【CNN】Unit 3 Dangerous proposalのリスニングを行う。
単語や熟語の学習・内容理解をし、表現力を養う。

第9回 【CNN】Unit 4 Automation threatens jobs（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【CNN】Unit 4の単語や熟語チェック。
予習時間：60分
復習内容：【CNN】学習したところの復習。理解が不十分なところはまとめておき、必ず次回に質問すること。
復習時間：60分
【CNN】Unit 4 Automation threatens jobsのリスニングを行う。
単語や熟語の学習・内容理解をし、表現力を養う。

第10回 【リーディング】Unit3 Christmas Tree Science(１)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【リーディング】Unit3 Christmas Tree Science本文の内容理解と試訳。英英辞典で単語を調べること。
予習時間：60分
復習内容：【リーディング】単語･熟語･文法事項を中心に復習を行う。
復習時間：60分
【リーディング】クリスマスツリー農家についての英文を読み解く。
Key Vocabulary,Pre-reading Question, Reading Articleをする。
Key Vocabularyの意味を調べ、英語でも説明できるようにする。発音にも注意する。
Reading Articleは、構文を分析して、英文にそって、わかりやすい日本語で説明できるようにする。

第11回 【リーディング】Unit3　Christmas Tree Science(2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【リーディング】Unit3　Christmas Tree Science本文の内容理解と試訳、演習問題、リスニング・Styles in Genreの単語チェック。
予習時間：60分
復習内容：【リーディング】単語･熟語･文法事項を中心に復習を行う。
復習時間：60分
【リーディング】クリスマスツリー農家についての英文を読み解く。
Reading Articleの復習をする。
演習問題、Styles in Genreにおける表現を学ぶ。
会話文のリスニング、発話練習、関連の表現を学ぶ。

第12回 【CNN】Unit 5 Harvard accused of racial bias（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【CNN】Unit 5の単語や熟語チェック。
予習時間：60分

復習内容：【CNN】学習したところの復習。理解が不十分なところはまとめておき、必ず次回に質問すること。
復習時間：60分
【CNN】Unit 5 Harvard accused of racial biasのリスニングを行う。
単語や熟語の学習・内容理解をし、表現力を養う。

第13回 【CNN】Unit 6 Thought-controlled artificial arms（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【CNN】Unit 6の知らない単語や熟語チェック。
予習時間：60分
復習内容：【CNN】学習したところの復習。理解が不十分なところはまとめておき、必ず次回に質問すること。
復習時間：60分
【CNN】Unit 6 Thought-controlled artificial armsのリスニングを行う。
単語や熟語の学習・内容理解をし、表現力を養う。

第14回 【リーディング】Unit4　Watch a Zebra Think (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【リーディング】Unit4　Watch a Zebra Think本本文の内容理解と試訳。英英辞典で単語を調べること。
予習時間：60分
復習内容：【リーディング】授業で習った単語･熟語･文法事項を中心に復習を行う。
復習時間：60分
【リーディング】魚の脳についての英文を読み解く。
Key Vocabulary,Pre-reading Question, Reading Articleをする。
Key Vocabularyの意味を調べ、英語でも説明できるようにする。発音にも注意する。
Reading Articleは、構文を分析して、英文にそって、わかりやすい日本語で説明できるようにする。

第15回 【リーディング】Unit4 Watch a Zebra Think (２)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【リーディング】Unit4 Watch a Zebra Think 本文の内容理解と試訳、演習問題、リスニングの・Styles in Genreの単語チェック。
予習時間：60分
復習内容：【リーディング】授業で習った単語･熟語･文法事項を中心に復習を行う。
復習時間：60分
【リーディング】魚の脳についての英文を読み解く。
Reading Articleの復習をする。
演習問題、Styles in Genreにおける表現を学ぶ。
会話文のリスニング、発話練習、関連の表現を学ぶ。

第16回 【CNN】Unit 7 Guide to modern manners（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【CNN】Unit 7の知らない単語や熟語チェック。
予習時間：60分
復習内容：【CNN】学習したところの復習。理解が不十分なところはまとめておき、必ず次回に質問すること。
復習時間：60分
【CNN】Unit 7 Guide to modern mannersのリスニングを行う。
単語や熟語の学習・内容理解をし、表現力を養う。

第17回 【CNN】Unit 8 Ancient cave art in Indonesia（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【CNN】Unit 8の知らない単語や熟語チェック。
予習時間：60分
復習内容：【CNN】学習したところの復習。理解が不十分なところはまとめておき、必ず次回に質問すること。
復習時間：60分
【CNN】Unit 8 Ancient cave art in Indonesiaのリスニングを行う。
単語や熟語の学習・内容理解をし、表現力を養う。

第18回 【リーディング】Unit5 The Time-Traveling Flower（１）（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【リーディング】Unit5 The Time-Traveling Flower本文の内容理解と試訳。英英辞典で単語を調べること。
予習時間：60分
復習内容：【リーディング】単語･熟語･文法事項を中心に復習を行う。
【リーディング】大昔の花の種の発見についての英文を読み解く。
Key Vocabulary,Pre-reading Question, Reading Articleをする。
Key Vocabularyの意味を調べ、英語でも説明できるようにする。発音にも注意する。
Reading Articleは、構文を分析して、英文にそって、わかりやすい日本語で説明できるようにする。

第19回 【リーディング】Unit5 The Time-Traveling Flower（2）（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【リーディング】Unit5 The Time-Traveling Flower本文の内容理解と試訳、演習問題、リスニングの単語チェック。

予習時間：60分
復習内容：【リーディング】単語･熟語･文法事項を中心に復習を行う。
復習時間：60分
【リーディング】大昔の花の種についての英文を読み解く。
Reading Articleの復習をする。
演習問題、Styles in Genreにおける表現を学ぶ。
会話文のリスニング、発話練習、関連の表現を学ぶ。

第20回 【CNN】Unit 9 Heat threat in the middle east（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【CNN】Unit 9の知らない単語や熟語チェック。
予習時間：60分
復習内容：【CNN】学習したところの復習。理解が不十分なところはまとめておき、必ず次回に質問すること。
復習時間：60分
【CNN】Unit 9 Heat threat in the middle eastのリスニングを行う。
単語や熟語の学習・内容理解をし、表現力を養う。

第21回 【CNN】Unit 10 Growing impact of plastic on seabirds（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【CNN】Unit 10の知らない単語や熟語チェック。
予習時間：60分
復習内容：【CNN】学習した文の復習。理解が不十分なところはまとめておき、必ず次回に質問すること。
復習時間：60分
【CNN】Unit 10 Growing impact of plastic on seabirdsリスニングを行う。
単語や熟語の学習・内容理解をし、表現力を養う。

第22回 【リーディング】Unit 6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugs(1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【リーディング】Unit 6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugs本文の内容理解と試訳。英英辞典で単語を調べること。
予習時間：60分
復習内容：【リーディング】単語･熟語･文法事項を中心に復習を行う。
復習時間：60分
【リーディング】海藻を消化するために必要な腸内細菌についての英文を読み解く。
Key Vocabulary,Pre-reading Question, Reading Articleをする。
Key Vocabularyの意味を調べ、英語でも説明できるようにする。発音にも注意する。
Reading Articleは、構文を分析して、英文にそって、わかりやすい日本語で説明できるようにする。

第23回 【リーディング】Unit6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugs(2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【リーディング】Unit6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugs本文の内容理解と試訳、演習問題、リスニング・Styles in Genreの単語チェック。
予習時間：60分
復習内容：【リーディング】単語･熟語･文法事項を中心に復習を行う。
復習時間：60分
【リーディング】海藻を消化するために必要な腸内細菌についての英文を読み解く。
Reading Articleの復習をする。
演習問題、Styles in Genreにおける表現を学ぶ。
会話文のリスニング、発話練習、関連の表現を学ぶ。

第24回 【TOEIC】TOEICの形式について学ぶ。（授業形式：講義・アクティブラーニング）
Unit1 Eating Out（Vocabulary,Listening）

予習内容：【TOEIC】TOEICの形式（Listening）をネットなどで調べてみる。
予習時間：60分
復習内容：【文法】学習した単語や表現の復習。
復習時間：60分
【TOEIC】TOEICのListeningとReadingの各Partの問題形式を理解する。
実際にListening問題を解いて、解き方のコツを理解する。

第25回 【TOEIC】Unit1 Eating Out（Reading）（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【TOEIC】TOEICの形式（Reading）調べる。Unit1 Eating Outの問題を解く
予習時間：30分
復習内容：【TOEIC】TOEICの形式を確認し、Unit１の語彙・熟語･文法を復習する。
復習時間：60分
【TOEIC】実際にReading問題を解き、解き方のコツを理解する。
文法事項は動詞。

第26回 【リーディング】Unit7 Self-Driving Cars Will make the World a Better Place(1）（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【リーディング】Unit7 Self-Driving Cars Will make the World a Better Place本文の内容理解と試訳。英英辞典で単語を調べること。
予習時間：60分
復習内容：【リーディング】単語･熟語･文法事項を中心に復習を行う。
復習時間：60分
【リーディング】未来の自動車についての英文を読み解く。
Key Vocabulary,Pre-reading Question, Reading Articleをする。
Key Vocabularyの意味を調べ、英語でも説明できるようにする。発音にも注意する。
Reading Articleは、構文を分析して、英文にそって、わかりやすい日本語で説明できるようにする。

第27回 【リーディング】Unit7 Self-Driving Cars Will make the World a Better Place(2）（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【リーディング】Unit7 Self-Driving Cars Will make the World a Better Place本文の内容理解と試訳、演習問題、リスニング・Styles in Genreの単語チェック。
予習時間：60分
復習内容：【リーディング】単語･熟語･文法事項を中心に復習を行う。
復習時間：60分
【リーディング】未来の自動車についての英文を読み解く。
Reading Articleの復習をする。
演習問題、Styles in Genreにおける表現を学ぶ。
会話文のリスニング、発話練習、関連の表現を学ぶ。

第28回 【TOEIC】Unit2 Travel（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【TOEIC】Unit2 Travelの問題を解く
予習時間：60分
復習内容：Unit2 Travelno語彙・熟語・文法を復習する。
復習時間：60分
【TOEIC】旅行に関する語彙を含んだTOEIC形式の問題を解く。

第29回 【リーディング】Unit8 Your Brain on Music(１）（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【リーディング】Unit8 Your Brain on Music本文の内容理解と試訳。英英辞典で単語を調べること。
予習時間：60分
復習内容：【リーディング】単語･熟語･文法事項を中心に復習を行う。
復習時間：60分
【リーディング】音楽と脳の関係についての英文を読み解く。
Key Vocabulary,Pre-reading Question, Reading Articleをする。
Key Vocabularyの意味を調べ、英語でも説明できるようにする。発音にも注意する。
Reading Articleは、構文を分析して、英文にそって、わかりやすい日本語で説明できるようにする。

第30回 【リーディング】Unit8 Your Brain on Music(２）（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【リーディング】Unit8 Your Brain on Music本文の内容理解と試訳、演習問題、リスニング・Styles in Genreの単語チェック。
予習時間：60分
復習内容：【リーディング】単語･熟語･文法事項を中心に復習を行う。
復習時間：60分
【リーディング】音楽と脳の関係についての英文を読み解く。
Reading Articleの復習をする。
演習問題、Styles in Genreにおける表現を学ぶ。
会話文のリスニング、発話練習、関連の表現を学ぶ。

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**総合英語１**						
英文名 ：	General English 1						
担当者 ：	眞鍋　範奈						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】月曜3限、木曜3限　　食品安全工学科、医用工学科開講科目						

■授業概要

高校卒業までに身に付けた英語力を基盤として、聞く・話す・読む・書くの4 技能の総合的な習得を目指した授業を行う。科学の題材を用いた教科書を使用して、今後必要となる学術語彙の導入を測りながら、まとまった英文を時間をかけずに読む訓練を行う。また、現在一般的に通用度の高い TOEIC テストについて、形式への習熟、ストラテジーの習得を行う。TOEIC 教材の使用は、学内TOEIC-IP テストの日程により使用期間が変わることがある。授業には必ず辞書を持参すること。また、受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がけ、指定された回数以上の参加を必修とする。

＊TOEICの使用教材は、学内TOEIC-IPテストの日程により使用期間が変わることがある。
＊課題の提示・提出をGoogle Classroomを通じて実施することがあるため、通信環境を整えておくことが望ましい。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「総合英語2」と合わせて、次の目標に到達できるようにする。分野横断的な学術用語のうち、基本的なものを理解・使用出来るようになる。400 語程度の語彙で構成された文章の読解において、要点を掴みながら、正確に意味を理解できるようになる。リスニングにおいては、文単位で正確な聞き取りができるようになる。
総合的な英語力の向上を目指し、英語によるコミュニケーションスキルの上達を目標とする。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表および課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

模範解答/解説をUNIVERSAL PASSPORTまたはGoogle Classroomに掲載します。

■教科書

[ISBN]9784764740464 『Science for Fun!―楽しんで読む最新科学』 (圭子, 服部, 金星堂：2017)
[ISBN]9784255155968 『一歩上を目指すTOEIC LISTENING AND READING TEST Level3 Advanced』 (北尾泰幸　西田晴美　林　姿穂　Brian Covert, 朝日出版社：2017)
[ISBN]9784255156439 『CNNショートニュースで学ぶ総合英語』 (Richard S. Lavin, 朝日出版社：2019)

■参考文献

適宜授業時に紹介します。

■関連科目

総合英語２

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

メールアドレス：0658b0@kindai.ac.jp

■オフィスアワー

該当科目開講時の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Science for Fun: Unit 1 Secret Taste Cells-In Some Surprising Places 単語の確認
CNN Short News Vol1. Unit 1 ニュースの単語の確認
予習時間：60分
復習内容：CNN ニュースのリスニング練習
復習時間：60分
1)各テキストの説明
2)授業の進め方の説明
・予習の進め方
・授業の進め方
・課題（インターネットを使った課題、ランゲージスペースへの参加など）
3)受講に際しての注意事項
・欠席／遅刻について
・忘れもの（テキスト・辞書）について
・参加態度について
・小テストについて
・定期試験について
・成績評価について
・その他、受講に際しての重要事項について

4)CNNニュースを用いたListening Practice

第2回 Unit1 Secret Taste Cells-In Some Surprising Places (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit1 Secret Taste Cells 文法問題
予習時間：60分
復習内容：Unit1 Secret Taste Cellsの単語および熟語の復習
CNN Unit1 ニュースの単語、表現の復習
復習時間：60分
Science for Fun :Unit1 味覚細胞についての英文を読み解く / Comprehension Questions
CNN Short News Vol.1:Unit1 語彙とニュース内容の確認

第3回 Unit1 Secret Taste Cells -In Some Surprising Places (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit2 Singing Sand 単語の確認
CNN Unit2 ニュースの単語確認
予習時間：60分
復習内容：Science for Fun:Unit1 文法項目復習
CNN:Unit1 リスニング練習
復習時間：60分
Science for Fun :Unit1 文法/リスニング/Styles in Genre
CNN: Unit1 まとめ

第4回 Unit2 Singing Sand (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit2 Singing Sand 文法問題
予習時間：60分
復習内容：Unit2 Singing Sandの単語および熟語の復習
CNN:Unit1 ニュースの単語、表現の復習
復習時間：60分
Science for Fun: Unit2 鳴き砂についての英文を読み解く / Comprehension Questions
CNN Short News Vol.1:Unit2 語彙とニュース内容の確認

第5回 Unit2 Singing Sand (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit3 Christmas Tree Science　単語の確認
CNN Unit3 ニュースの単語確認
予習時間：60分
復習内容：Science for Fun:Unit2 文法項目復習
CNN:Unit2 リスニング練習
復習時間：60分
Science for Fun:Unit2 文法/リスニング/Styles in Genre
CNN:Unit2 まとめ

第6回　Unit3 Christmas Tree Science (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit3 Christmas Tree Science　文法問題
予習時間：60分
復習内容：Unit3 Christmas Tree Science 単語および熟語の復習
CNN:Unit3 ニュースの単語、表現の復習
復習時間：60分
Science for Fun :Unit3 最近のクリスマスツリー農家についての英文を読み解く / Comprehension Questions
CNN Short News Vol.1:Unit3 語彙とニュース内容の確認

第7回　Unit3 Christmas Tree Science (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：TOEIC 問題集：Unit1 語彙問題
CNN：Unit4ニュースの単語確認
予習時間：60分
復習内容：Science for Fun:Unit3 文法項目復習
CNN:Unit3 リスニング練習
復習時間：60分
Science for Fun:Unit3 文法/リスニング/Styles in Genre
CNN:Unit3 まとめ

第8回　Listening 強化レッスン (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：TOEIC 問題集：Unit2 語彙問題
CNN：Unit5ニュースの単語確認
予習時間：60分
復習内容：TOEIC:間違えた問題の復習
CNN:ニュースのリスニング練習
復習時間：60分
TOEIC問題集：Unit1 Listening Section
CNN:Unit4

第9回　Listening 強化レッスン (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit4 Watch a Zebrafish Think 単語の確認
TOEIC問題集：Unit1 文法 / Reading Section
予習時間：60分
復習内容：TOEIC:間違えた問題の復習
CNN:ニュースのリスニング練習
復習時間：60分
TOEIC問題集：Unit2 Listening Section
CNN:Unit5

第10回　Unit4 Watch a Zebrafish Think (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit4　Watch a Zebrafish Think 文法問題
予習時間：60分
復習内容：Unit4　Watch a Zebrafish Thinkの単語および熟語の復習
TOEIC問題の復習
復習時間：60分
Science for Fun :Unit4 魚の脳に関する英文を読み解く / Comprehension Questions
TOEIC問題集：Unit1 文法 / Reading Section 解答・解説(1)

第11回　Unit4 Watch a Zebrafish Think (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit5 The Time-Traveling Flower 単語の確認
TOEIC問題集：Unit2 文法 / Reading Section
予習時間：60分
復習内容：Science for Fun:Unit4 文法項目復習

TOEIC問題の復習
復習時間：60分
Science for Fun:Unit4 文法/リスニング/Styles in Genre
TOEIC問題集：Unit1 文法 / Reading Section 解答・解説(2)

第12回 Unit5 The Time-Traveling Flower (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit5 The Time-Traveling Flowerの文法問題
予習時間：60分
復習内容：Unit5 The Time-Traveling Flower単語および熟語の復習
TOEIC問題の復習
復習時間：60分
Science for Fun :Unit5 大昔の花の種の発見についての英文を読み解く / Comprehension Questions
TOEIC問題集：Unit2 文法 / Reading Section 解答・解説(1)

第13回 Unit5 The Time-Traveling Flower（2）（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：TOEIC問題集:Unit3 語彙問題
CNN:Unit6 ニュースの単語確認
予習時間：60分
復習内容：Science for Fun:Unit5 文法項目復習
TOEIC問題の復習
復習時間：60分
Science for Fun:Unit5 文法/リスニング/Styles in Genre
TOEIC問題集：Unit2 文法 / Reading Section 解答・解説(2)

第14回 Listening 強化レッスン (3)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：TOEIC問題集:Unit4 語彙問題
CNN:Unit7 ニュースの単語確認
予習時間：60分
復習内容：TOEIC:間違った問題の復習
CNN:ニュースのリスニング練習
復習時間：60分
TOEIC問題集：Unit3 Listening Section
CNN:Unit6

第15回 Listening 強化レッスン (4)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugs 単語の確認
TOEIC問題集：Unit3 文法 / Reading Section
予習時間：60分
復習内容：TOEIC:間違えた問題の復習
CNN:ニュースのリスニング練習
復習時間：60分
TOEIC問題集：Unit4 Listening Section
CNN:Unit7

第16回 Unit6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugs (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugsの文法問題
予習時間：60分
復習内容：Unit6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugs 単語および熟語の復習
TOEIC問題の復習
復習時間：60分
Science for Fun :Unit6 海藻を消化するために必要な腸内細菌についての英文を読み解く / Comprehension Questions

TOEIC問題集：Unit3 文法 / Reading Section 解答・解説(1)

第17回 Unit6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugs（2）（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：TOEIC問題集：Unit4 文法 / Reading Section
予習時間：60分
復習内容：Science for Fun:Unit6 文法項目復習
TOEIC問題の復習
復習時間：60分
Science for Fun:Unit6 文法/リスニング/Styles in Genre
TOEIC問題集：Unit3 文法 / Reading Section 解答・解説(2)

第18回 TOEIC対策 (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：TOEIC問題集：Unit6 語彙問題 / 文法 / Reading Section
予習時間：60分
復習内容：問題の再確認
復習時間：60分
TOEIC問題集：Unit4 文法 / Reading Section 解答・解説
Unit5 語彙問題 / Listening Section / 文法 / Reading Section

第19回 TOEIC対策 (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：TOEIC問題集：Unit7 語彙問題 / 文法 / Reading Section
予習時間：60分
復習内容：問題の再確認
復習時間：60分
TOEIC問題集：Unit6 語彙問題 / Listening Section / 文法 / Reading Section

第20回 TOEIC対策 (3)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit7 Self-Driving Cars Will Make the World a Better Place 単語の確認
CNN Unit8 ニュースの確認
予習時間：60分
復習内容：問題の再確認
復習時間：60分
TOEIC問題集：Unit7 語彙問題 / Listening Section / 文法 / Reading Section

第21回 Unit7 Self-Driving Cars Will Make the World a Better Place (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit7 Self-Driving Cars Will Make the World a Better Place 文法問題
予習時間：60分
復習内容：Unit7 Self-Driving Cars Will Make the World a Better Place 単語および熟語の復習
CNN:Unit8 ニュースの単語、表現の復習
復習時間：60分
Science for Fun :Unit7 未来の自動車についての英文を読み解く / Comprehension Questions
CNN Short News Vol.1:Unit8 語彙とニュース内容の確認

第22回 Unit7 Self-Driving Cars Will Make the World a Better Place (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：発展読解問題への取り組み
予習時間：60分
復習内容：Science for Fun:Unit7 文法項目復習
CNN:Unit8 リスニング練習
復習時間：60分
Science for Fun:Unit7 文法/リスニング/Styles in Genre
CNN:Unit8 まとめ

第23回 発展問題　Reading (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：発展読解問題への取り組み
予習時間：60分
復習内容：英文記事の語彙・表現の再確認
復習時間：60分
英語の記事を読み日本語で要約する。

第24回 発展問題　Reading (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：英語のニュースを聴く
予習時間：60分
復習内容：英文記事の語彙・表現の再確認
復習時間：60分
英語の記事を読み日本語で要約する。

第25回 発展問題　Listening (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：英語のニュースを聴く
予習時間：60分
復習内容：ニュースの語彙・表現の再確認
復習時間：60分

英語のニュースレポートを聴き、その内容を日本語でまとめる。

第26回 発展問題　Listening (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit8 Your Brain on Music 単語の確認
予習時間：60分
復習内容：ニュースの語彙・表現の再確認
復習時間：60分
英語のニュースレポートを聴き、その内容を日本語でまとめる。

第27回 Unit8 Your Brain on Music (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit8 Your Brain on Musicの文法問題
予習時間：60分
復習内容：Unit8 Your Brain on Music 単語および熟語の復習
復習時間：60分
Science for Fun :Unit8 脳と音楽の関係についての英文を読み解く / Comprehension Questions

第28回 Unit8 Your Brain on Music (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Science for Fun (Unit1-Unit4) Review
予習時間：60分
復習内容：Science for Fun:Unit8 文法項目復習
復習時間：60分
Science for Fun:Unit8 文法/リスニング/Styles in Genre

第29回 Science for Fun (Unit1-Unit4) Review（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Science for Fun (Unit5-Unit8) Review
予習時間：60分
復習内容：Science for Fun (Unit1-Unit4)語彙・表現・文法事項の再確認
復習時間：60分
Science for Fun (Unit1-Unit4)　質問・疑問点についての解説

第30回 Science for Fun (Unit5-Unit8) Review（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Science for Fun (Unit1-Unit8)語彙、文法、本文の内容確認
予習時間：60分
復習内容：Science for Fun (Unit5-Unit8)語彙・表現・文法事項の再確認
復習時間：60分
Science for Fun (Unit5-Unit8)　質問・疑問点についての解説

定期試験

試験範囲等、詳細は授業中に指示します。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**総合英語１**						
英文名 ：	General English 1						
担当者 ：	山下　弥生						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】月曜3限、木曜3限　食品安全工学科、医用工学科開講科目						

■授業概要

高校卒業までに身に付けた英語力を基盤として、聞く・話す・読む・書くの4技能の総合的な習得を目指した授業を行う。科学の題材を用いた教科書を使用して、今後必要となる学術語彙の導入を測りながら、まとまった英文を時間をかけずに読む訓練を行う。また、現在一般的に通用度の高いTOEICテストについて、形式への習熟、ストラテジーの習得を行う。TOEIC教材の使用は、学内TOEIC-IPテストの日程により使用期間が変わることがある。授業には必ず辞書を持参すること。各教員が指示したWeb教材の課題は、必ず提出すること。また、受講期間中にランゲージスペースに指定された回数以上の参加を必修とする。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「総合英語２」と合わせて、次の目標に到達できるようにする。分野横断的な学術用語のうち、基本的なものを理解・使用出来るようになる。400語程度の語彙で構成された文章の読解において、要点を掴みながら、正確に意味を理解できるようになる。リスニングにおいては、文単位で正確な聞き取りができるようになる。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表および課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

解答に関するポイントなどを授業内またはUNIPAにてフィードバックします。

■教科書

[ISBN]9784764740464 『Science for Fun!―楽しんで読む最新科学 』（服部 圭子他、金星堂：2017）
[ISBN]9784255156149 『Step-Up Skills for the TOEIC Listening and Reading Test Level 1-Basic- 』（北尾泰幸他、朝日出版：2018）
[ISBN]9784255155340 『Activity-Based Listening: Starter』（片野田浩子、朝日出版：2013）

■参考文献

特に指定しません。

■関連科目

総合英語2

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2 号館2 階）yayoiyam@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

該当科目開講時の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション
各テキストの説明
リスニング Unit1
（授業形式：講義）
予習内容：Unit 1 Secret Taste Cellsの単語チェック、本文の内容理解
予習時間：60分
復習内容：Unit 1 Secret Taste Cellsの単語および熟語の復習
復習時間：60分
第1回　　オリエンテーション
自己紹介
各テキストの説明
授業の進め方の説明
・予習の進め方
・授業の進め方
・課題（インターネットを使った課題やランチタイムリーディングへの参加など）
受講に際しての注意事項
・欠席／遅刻について
・忘れもの（テキスト・辞書）について
・携帯電話の使用の制限について
・単語／熟語の小テストについて
・定期試験について
・総合評価について
その他、受講に際しての重要事項について

【リスニング】Unit1 Figures

第2回 Unit 1 Secret Taste Cells（1）
予習内容：Unit1 Secret Taste cellsの単語チェック、本文の内容理解
予習時間：60分
復習内容：Unit1 Secret Taste cellsの単語および熟語の復習
復習時間：60分
【リーディング】味覚細胞についての英文を読み解く。読解問題、文法、本文に関連したリスニングを含む。段落ごとの要約、文章全体の構成を確認する。
【リスニング】Unit 2: Drawing 1
（授業形式：講義・アクティブラーニング）

第3回 Unit 1 Secret Taste Cells（2）
予習内容：Unit1 Secret Taste cellsの「英語でQ/A」の予習
予習時間：60分
復習内容：Unit1 Secret Taste cells本文内容、和訳等、復習、本文音読
復習時間：60分
【リーディング】味覚細胞についての英文を読み解く。読解問題、文法、本文に関連したリスニングを含む。本文の内容について英語でQ/A練習をする。
【リスニング】Unit 2: Drawing 1
（授業形式：講義・アクティブラーニング）

第4回　TOEIC(1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）
予習内容：TOEIC Unit 1：Eating Out 文法： 動詞 (1)の単語チェック、練習問題予習
予習時間：60分
復習内容：TOEIC Unit 1：Eating Out 文法： 動詞 (1)の間違えた箇所をチェック
復習時間：60分
Unit 1：Eating Out 文法： 動詞 (1)

第5回 Unit2 Singing Sand(1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）
予習内容：Unit2 Singing Sandの単語チェック、本文の内容理解
予習時間：60分

復習内容：Unit2 Singing Sandの単語および熟語の復習
復習時間：60分
【リーディング】鳴き砂についての英文を読み解く。読解問題、文法、本文に関連したリスニングを含む。段落ごとの要約、文章全体の構成を確認する。
【リスニング】Unit 3: Drawing 2

第6回　Unit2 Singing Sand（2）（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit2 Singing Sandの「英語でQ/A」の予習
予習時間：60分
復習内容：Unit2 Singing Sand本文内容、和訳等、復習、本文音読
復習時間：60分
【リーディング】鳴き砂についての英文を読み解く。読解問題、文法、本文に関連したリスニングを含む。本文の内容について英語でQ/A練習をする。
【リスニング】Unit 3: Drawing 2

第7回　TOEIC(2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：TOEIC Unit 2：Travel 文法： 動詞 (2)の単語チェック、練習問題予習
予習時間：60分
復習内容：TOEIC Unit 2：Travel 文法： 動詞 (2)の間違えた箇所をチェック
復習時間：60分
Unit 2：Travel 文法： 動詞 (2)

第8回　英語プレゼンテーションの練習(1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：TED,CNN,BBCなどを見て英語の自然な話し方や態度に親しみ参考にする。
予習時間：60分
復習内容：知らなかった単語や熟語、表現などをリストアップし、単語帳を作る。
復習時間：60分
英語でプレゼンテーション（informative presentation）をする際の基本的な方法（スライドの構成や役立つ英語表現など）を学び、実際に作成・発表する。

第9回　英語プレゼンテーションの練習(2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：TED,CNN,BBCなどを見て英語の自然な話し方や態度に親しみ参考にする。
予習時間：60分
復習内容：知らなかった単語や熟語、表現などをリストアップし、単語帳を作る。
復習時間：60分
英語でプレゼンテーション（informative presentation）をする際の基本的な方法（スライドの構成や役立つ英語表現など）を学び、実際に作成・発表する。

第10回　Unit3 Christmas Tree Science（１）（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit3 Christmas Tree Scienceの単語チェック、本文の内容理解
予習時間：60分
復習内容：Unit3 Christmas Tree Scienceの単語および熟語の復習
復習時間：60分
【リーディング】最近のクリスマスツリー農家についての英文を読み解く。読解問題、文法、本文に関連したリスニングを含む。段落ごとの要約、文章全体の構成を確認する。
【リスニング】Unit 4: Vocabulary 1

第11回　Unit3 Christmas Tree Science（２）（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit3 Christmas Tree Scienceの「英語でQ/A」の予習
予習時間：60分
復習内容：Unit3 Christmas Tree Science本文内容、和訳等、復習、本文音読
復習時間：60分
【リーディング】最近のクリスマスツリー農家についての英文を読み解く。読解問題、文法、本文に関連したリスニングを含む。本文の内容について英語でQ/A練習をする。
【リスニング】Unit 4: Vocabulary 1

第12回　TOEIC(3)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：TOEIC Unit 3：Amusement 文法：動詞 (3)の単語チェック、練習問題予習
予習時間：60分
復習内容：TOEIC Unit 3：Amusement 文法：動詞 (3)の間違えた箇所をチェック
復習時間：60分
Unit 3：Amusement 文法：動詞 (3)

第13回 Unit4 Watch a Zebrafish Think(1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit4 Watch a Zebrafish Thinkの単語チェック、本文の内容理解
予習時間：60分
復習内容：Unit4 Watch a Zebrafish Thinkの単語および熟語の復習
復習時間：60分
【リーディング】魚の脳についての英文を読み解く。読解問題、文法、本文に関連したリスニングを含む。段落ごとの要約、文章全体の構成を確認する。
【リスニング】Unit 5: Vocabulary 2

第14回 Unit4 Watch a Zebrafish Think(2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit4 Watch a Zebrafish Thinkの「英語でQ/A」の予習
予習時間：60分
復習内容：Unit4 Watch a Zebrafish Think本文内容、和訳等、復習、本文音読
復習時間：60分
【リーディング】魚の脳についての英文を読み解く。読解問題、文法、本文に関連したリスニングを含む。本文の内容について英語でQ/A練習をする。
【リスニング】Unit 5: Vocabulary 2

第15回 TOEIC(4)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：TOEIC Unit 4：Meetings 文法： 代名詞の単語チェック、練習問題予習
予習時間：60分
復習内容：TOEIC Unit 4：Meetings 文法： 代名詞の間違えた箇所をチェック
復習時間：60分
Unit 4：Meetings 文法： 代名詞

第16回 Unit5 The Time-Traveling Flower(1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit5 The Time-Traveling Flowerの単語チェック、本文の内容理解
予習時間：60分
復習内容：Unit5 The Time-Traveling Flowerの単語および熟語の復習
復習時間：60分
【リーディング】大昔の花の種の発見についての英文を読み解く。読解問題、文法、本文に関連したリスニングを含む。段落ごとの要約、文章全体の構成を確認する。
【リスニング】Unit 6: Vocabulary 3

第17回 Unit5 The Time-Traveling Flower(2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit5 The Time-Traveling Flowerの「英語でQ/A」の予習
予習時間：60分
復習内容：Unit5 The Time-Traveling Flower本文内容、和訳等、復習、本文音読
復習時間：60分
リーディング】大昔の花の種の発見についての英文を読み解く。読解問題、文法、本文に関連したリスニングを含む。本文の内容について英語でQ/A練習をする。
【リスニング】Unit 6: Vocabulary 3

第18回 TOEIC(5)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：TOEIC Unit 5：Personnel 文法： 不定詞と動名詞 (1)の単語チェック、練習問題予習
予習時間：60分
復習内容：TOEIC Unit 5：Personnel 文法： 不定詞と動名詞 (1)の間違えた箇所をチェック
復習時間：60分
Unit 5：Personnel 文法： 不定詞と動名詞 (1)

第19回 英語プレゼンテーションの練習(3)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：TED,CNN,BBCなどを見て英語の自然な話し方や態度に親しみ参考にする。
予習時間：60分
復習内容：知らなかった単語や熟語、表現などをリストアップし、単語帳を作る。
復習時間：60分
英語でプレゼンテーション（informative presentation）をする際の基本的な方法（スライドの構成や役立つ英語表現など）を学び、実際に作成・発表する。

第20回 英語プレゼンテーションの練習(4)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：TED,CNN,BBCなどを見て英語の自然な話し方や態度に親しみ参考にする。
予習時間：60分
復習内容：知らなかった単語や熟語、表現などをリストアップし、単語帳を作る。

復習時間：60分
英語でプレゼンテーション（informative presentation）をする際の基本的な方法（スライドの構成や役立つ英語表現など）を学び、実際に作成・発表する。

第21回 Unit6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugs(1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugsの単語チェック、本文の内容理解
予習時間：60分
復習内容：Unit6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugsの単語および熟語の復習
復習時間：60分
【リーディング】海藻を消化するために必要な腸内細菌についての英文を読み解く。読解問題、文法、本文に関連したリスニングを含む。段落ごとの要約、文章全体の構成を確認する。
【リスニング】Unit 7: Vocabulary 4

第22回 Unit6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugs(2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugsの「英語でQ/A」の予習
予習時間：60分
復習内容：Unit6 Super Seaweed-Slurping Gut Bugs本文内容、和訳等、復習、本文音読
復習時間：60分
【リーディング】海藻を消化するために必要な腸内細菌についての英文を読み解く。読解問題、文法、本文に関連したリスニングを含む。本文の内容について英語でQ/A練習をする。
【リスニング】Unit 7: Vocabulary 4

第23回 TOEIC(6)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：TOEIC Unit 6：Shopping 文法： 不定詞と動名詞 (2)の単語チェック、練習問題予習
予習時間：60分
復習内容：TOEIC Unit 6：Shopping 文法： 不定詞と動名詞 (2)の間違えた箇所をチェック
復習時間：60分
Unit 6：Shopping 文法： 不定詞と動名詞 (2)

第24回 Unit7 Self-Driving Cars Will Make the World a Better Place(1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit7 Self-Driving Cars Will Make the World a Better Placeの単語チェック、本文の内容理解
予習時間：60分
復習内容：Unit7 Self-Driving Cars Will Make the World a Better Placeの単語および熟語の復習
復習時間：60分
【リーディング】未来の自動車についての英文を読み解く。読解問題、文法、本文に関連したリスニングを含む。段落ごとの要約、文章全体の構成を確認する。
【リスニング】Unit 8: Match the Meaning

第25回 Unit7 Self-Driving Cars Will Make the World a Better Place(2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit7 Self-Driving Cars Will Make the World a Better Placeの「英語でQ/A」の予習
予習時間：60分
復習内容：Unit7 Self-Driving Cars Will Make the World a Better Place本文内容、和訳等、復習、本文音読
復習時間：60分
【リーディング】未来の自動車についての英文を読み解く。読解問題、文法、本文に関連したリスニングを含む。本文の内容について英語でQ/A練習をする。
【リスニング】Unit 8: Match the Meaning

第26回 TOEIC(7)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：TOEIC Unit 7：Advertisement 文法： 名詞・冠詞・数量詞(1)の単語チェック、練習問題予習
予習時間：60分
復習内容：TOEIC Unit 7：Advertisement 文法： 名詞・冠詞・数量詞(1)の間違えた箇所をチェック
復習時間：60分
Unit 7：Advertisement 文法： 名詞・冠詞・数量詞(1)

第27回 Unit8 Your Brain on Music(1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit8 Your Brain on Musicの単語チェック、本文の内容理解
予習時間：60分
復習内容：Unit8 Your Brain on Musicの単語および熟語の復習
復習時間：60分
【リーディング】脳と音楽についての英文を読み解く。読解問題、文法、本文に関連したリスニングを含む。段落ごとの要約、文章全体の構成を確認する。
【リスニング】Glossary

第28回 Unit8 Your Brain on Music(2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit8 Your Brain on Musicの「英語でQ/A」の予習
予習時間：60分
復習内容：Unit8 Your Brain on Music本文内容、和訳等、復習、本文音読
復習時間：60分
【リーディング】脳と音楽についての英文を読み解く。読解問題、文法、本文に関連したリスニングを含む。本文の内容について英語でQ/A練習をする。
【リスニング】Glossary

第29回 英語プレゼンテーションの練習(5)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：TED,CNN,BBCなどを見て英語の自然な話し方や態度に親しみ参考にする。
予習時間：60分
復習内容：知らなかった単語や熟語、表現などをリストアップし、単語帳を作る。
復習時間：60分
英語でプレゼンテーション（informative presentation）をする際の基本的な方法（スライドの構成や役立つ英語表現など）を学び、実際に作成・発表する。

第30回 英語プレゼンテーションの練習(6)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：TED,CNN,BBCなどを見て英語の自然な話し方や態度に親しみ参考にする。
予習時間：60分
復習内容：知らなかった単語や熟語、表現などをリストアップし、単語帳を作る。
復習時間：60分
英語でプレゼンテーション（informative presentation）をする際の基本的な方法（スライドの構成や役立つ英語表現など）を学び、実際に作成・発表する。

★夏休み中にも引き続きTOEIC対策の自主的な学習を行うとともに、可能であれば受講期間中にTOEIC-IPもしくはTOEICの公開試験を受験することも視野に入れてみる。また、TED,CNN,BBCなどを積極的に視聴する。

定期試験

テスト範囲については授業中に指示します。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**総合英語１〈再履修〉**						
英文名 ：	General English 1						
担当者 ：	澤邉　興平						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考 ：							

■授業概要

高校卒業までに身に付けた英語力を基盤として、聞く・話す・読む・書くの 4技能の総合的な習得を目指した授業を行う。科学の題材を用いた教科書を使用して、今後必要となる学術語彙の導入を測りながら、まとまった英文を時間をかけずに読む訓練を行う。また、現在一般的に通用度の高い TOEICテストについて、形式への習熟、ストラテジーの習得を行う。 TOEIC教材の使用は、学内 TOEIC-IPテストの日程により使用期間が変わることがある。 授業には必ず辞書を持参すること。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「総合英語２」と合わせて、次の目標に到達できるようにする。分野横断的な学術用語のうち、基本的なものを理解・使用出来るようになる。 400語程度の語彙で構成された文章の読解において、要点を掴みな がら、正確に意味を理解できるようになる。 リスニングにおいては、文単位で正確な聞き取りができるようになる。この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表および課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間内に課題担当者の答案を基に模範解答を板書として提示します。

■教科書

[ISBN]9784523177579 『「Science News」やさしい科学リーディング演習―Science Explorer』 (野﨑嘉信, 南雲堂：2014)
[ISBN]9784255156149 『一歩上を目指すTOEIC(R) LISTENING AND READING TEST Level1 Basic』 (北尾泰幸　西田晴美　林　姿穂　Brian Covert, 朝日出版社：2017)

■参考文献

授業中にて指示します。

■関連科目

総合英語１・総合英語２・総合英語２再履修

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館 2階）・ksawabe@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

該当科目開講時の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　オリエンテーション、ウォームアップ
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
授業の進め方の説明
・予習の進め方
・授業の進め方
・課題
受講に際しての注意事項
・欠席／遅刻について
・忘れ物（テキスト・辞書）について
・携帯電話の使用制限について
・定期試験について
・総合評価について
その他、受講に関する注意点について
科学技術英語の特徴

第2回　Unit1：Secret Taste Cells （前半）
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・味覚細胞に関する英文を読み解く。
・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第3回　TOEICの教科書による授業
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・Eating Out
・動詞（１）
以上の内容を扱うUnit1を使う1回目の授業。

第4回　TOEICの教科書による授業
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・Eating Out
・動詞（１）
以上の内容を扱うUnit1を使う２回目の授業。

第5回　Secret Taste Cells （後半）
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・味覚細胞に関する英文を読み解く（前回の続き）。

・味覚に関する他の事例を英語で読む

第6回　TOEICの教科書による授業
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・Travel
・動詞（２）
以上の内容を扱うUnit2を用いた１回目の授業。

第7回　Unit2：Singing Sand　（前半）
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・砂漠の歌に関する英文を読み解く。
・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第8回　TOEICの教科書による授業
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・Travel
・動詞（２）
以上の内容を扱うUnit2を用いた２回目の授業。

第9回　Unit2：Singing Sand　（後半）
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・砂漠の歌に関する英文を読み解く（前回の続き）。
・砂漠に関する他の事例を英語で読む

第10回　TOEICの教科書による授業
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・Amusement
・動詞（３）
以上の内容を扱うUnit3を用いた１回目の授業。

第11回　Unit3：Christmas Tree Science　（前半）
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・農林業に関する英文を読み解く。
・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第12回　TOEICの教科書による授業
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・Amusement
・動詞（３）
以上の内容を扱うUnit3を用いた２回目の授業。

第13回 Unit3：Christmas Tree Science （後半）
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・農林業に関する英文を読み解く（前回の続き）。
・林業に関する他の事例を英語で読む

第14回 TOEICの教科書による授業
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・Meetings
・代名詞
以上の内容を扱うUnit4を用いた１回目の授業。

第15回 Unit4：Watch a Zebrafish Think （前半）
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・魚の脳に関する英文を読み解く。
・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

中間試験

第16回 TOEICの教科書による授業
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・Meetings
・代名詞
以上の内容を扱うUnit4を用いた２回目の授業。

第17回 Unit4：Watch a Zebrafish Think （後半）
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・魚の脳に関する英文を読み解く（前回の続き）。
・動物知能に関する他の事例を英語で読む

第18回 TOEICの教科書による授業
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分

・Personnel
・不定詞
以上の内容を扱うUnit5を用いた１回目の授業。

第19回　Unit5：The Time-Traveling Flower　（前半）
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・時をかける花に関する英文を読み解く。
・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第20回　TOEICの教科書による授業
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・Personnel
・不定詞
以上の内容を扱うUnit5を用いた２回目の授業。

第21回　Unit5：The Time-Traveling Flower　（後半）
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・時をかける花に関する英文を読み解く（前回の続き）。
・花に関する他の事例を英語で読む

第22回　TOEICの教科書による授業
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・Shopping
・動名詞
以上の内容を扱うUnit6を用いた１回目の授業。

第23回　Unit6：Super Seaweed-Slurping Gut Bugs　（前半）
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・海藻食腸内細菌に関する英文を読み解く。
・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第24回　TOEICの教科書による授業
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・Shopping
・動名詞
以上の内容を扱うUnit6を用いた２回目の授業。

第25回　Unit6：Super Seaweed-Slurping Gut Bugs　（後半）

（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・海藻食腸内細菌に関する英文を読み解く（前回の続き）。
・腸内細菌に関する他の事例を英語で読む

第26回　TOEICの教科書による授業
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・Advertisement
・名詞・冠詞・数量詞
以上の内容を扱うUnit7を用いた１回目の授業。

第27回　Unit7：Self-Driving Cars Will Make the World a Better Place （前半）
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・自動運転に関する英文を読み解く。
・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第28回　TOEICの教科書による授業
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・Advertisement
・名詞・冠詞・数量詞
以上の内容を扱うUnit7を用いた２回目の授業。

第29回　Unit7：Self-Driving Cars Will Make the World a Better Place （後半）
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・自動運転に関する英文を読み解く（前回の続き）。
・自動車技術についての他の事例を英語で読む

第30回　TOEICの教科書による授業
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・Daily Life
・名詞・冠詞・数量詞
以上の内容を扱うUnit8を用いた１回目の授業。

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**総合英語２**						
英文名 ：	General English 2						
担当者 ：	石井　重光						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】月曜3限、木曜3限　　食品安全工学科、医用工学科開講科目						

■授業概要

高校卒業までに身に付けた英語力を基盤として、聞く・話す・読む・書くの4技能の総合的な習得を目指した授業を行う。科学の題材を用いた教科書を使用して、今後必要となる学術語彙の導入を測りながら、まとまった英文を時間をかけずに読む訓練を行う。リスニングについては、聴解が難しい部分を重点的に扱い、英文が聞こえてくる感覚が身につくような授業を行う。また、現在一般的に通用度の高いTOEICテストについて、形式への習熟、ストラテジーの習得を行う。TOEIC教材の使用は、学内TOEIC-IPテストの日程により使用期間が変わることがある。
授業には必ず辞書を持参すること。各教員が指示したWeb教材の課題は、必ず提出すること。また、受講期間中にランゲージスペースに3回以上の参加を必修とする。＊実力テストが12月に行われる予定である。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語・その他の言語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「総合英語1」と合わせて、以下の目標に到達できるようにする。分野横断的な学術用語の内、基本的なものを理解・使用出来るようになる。400語程度の語彙で構成された文章の読解において、要点を掴みながら、正確に意味を理解できるようになる。
既知の単語が出てくる文のリスニングにおいては、文単位で正確な聞き取りができるようになる。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表および課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

各教員から指示があります。

■教科書

[ISBN]9784764740464 『Science for Fun!―楽しんで読む最新科学』 (圭子, 服部, 金星堂：2017)
[ISBN]9784255155951 『Step-Up Slkills For the TOEIC Listening and Reading Test Level2 Intermediate』 (北尾泰幸　西田晴美　林　姿穂　Brian Covert, 朝日出版社：2017)
[ISBN]9784342207297 『総合英語FACTBOOK English Grammar Standard [NEW EDITION]』 (桐原書店, 桐原書店編集部：2022)

■参考文献

特に指定しません。

■関連科目

総合英語1

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・tri_shandy@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 （メイン）Unit 9 Blast Off! Astrronauts Will Print Custom Tools（TOEIC）Unit 8 Daily Life（文法）Plus不定詞（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 9 Blast Off! Astrnauts Will Print Custom Tools（TOEIC）Unit 8 Daily Life （文法）Plus不定詞の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 9 Blast Off! Astronauts Will Print Custom Tools （TOEIC）Unit 8 Daily Life（文法）Plus 不定詞の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 9 Blast Off! Astrronauts Will Print Custom Tools（TOEIC）Unit 8 Daily Life（文法）Plus不定詞

第2回 （メイン）Unit 9 Blast Off! Astrronauts Will Print Custom Tools（TOEIC）Unit 8 Daily Life（文法）Plus不定詞（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 9 Blast Off! Astrnauts Will Print Custom Tools（TOEIC）Unit 8 Daily Life （文法）Plus不定詞の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 9 Blast Off! Astronauts Will Print Custom Tools （TOEIC）Unit 8 Daily Life（文法）Plus 不定詞の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 9 Blast Off! Astrronauts Will Print Custom Tools（TOEIC）Unit 8 Daily Life（文法）Plus不定詞

第3回 （メイン）Unit 9 Blast Off! Astrronauts Will Print Custom Tools（TOEIC）Unit 8 Daily Life（文法）第15章動名詞（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 9 Blast Off! Astrnauts Will Print Custom Tools（TOEIC）Unit 8 Daily Life （文法）第15章動名詞の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 9 Blast Off! Astronauts Will Print Custom Tools （TOEIC）Unit 8 Daily Life（文法）第15章動名詞の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 9 Blast Off! Astrronauts Will Print Custom Tools（TOEIC）Unit 8 Daily Life（文法）第15章動名詞

第4回 （メイン）Unit 9 Blast Off! Astrronauts Will Print Custom Tools（TOEIC）Unit 8 Daily Life（文法）第15章動名詞（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 9 Blast Off! Astrnauts Will Print Custom Tools（TOEIC）Unit 8 Daily Life （文法）第15章動名詞の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 9 Blast Off! Astronauts Will Print Custom Tools （TOEIC）Unit 8 Daily Life（文法）第15章動名詞の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 9 Blast Off! Astrronauts Will Print Custom Tools（TOEIC）Unit 8 Daily Life（文法）第15章動名詞

第5回 （メイン）Unit 9 Blast Off! Astrronauts Will Print Custom Tools（TOEIC）Unit 8 Daily Life（文法）第16章動名詞（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 9 Blast Off! Astrnauts Will Print Custom Tools（TOEIC）Unit 8 Daily Life （文法）第16章動名詞の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 9 Blast Off! Astronauts Will Print Custom Tools （TOEIC）Unit 8 Daily Life（文法）第16章動名詞の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 9 Blast Off! Astrronauts Will Print Custom Tools（TOEIC）Unit 8 Daily Life（文法）第16章動名詞

第6回 （メイン）Unit 10 Too Quick to Be Roadkill（TOEIC）Unit 9 Office Work（文法）第16章動名詞（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 10 Too Quick to Be Roadkill（TOEIC）Unit 9 Office Work （文法）第16章動名詞の各

部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 10 Too Quick to Be Roadkill （TOEIC）Unit 9 Office Work（文法）第16章動名詞の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 10 Too Quick to Be Roadkill（TOEIC）Unit 9 Office Work（文法）第16章動名詞

第7回 （メイン）Unit 10 Too Quick to Be Roadkill（TOEIC）Unit 9 Office Work（文法）第17章分詞（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 10 Too Quick to Be Roadkill（TOEIC）Unit 9 Office Work （文法）第17章分詞の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 10 Too Quick to Be Roadkill （TOEIC）Unit 9 Office Work（文法）第17章分詞の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 10 Too Quick to Be Roadkill（TOEIC）Unit 9 Office Work（文法）第17章分詞

第8回 （メイン）Unit 10 Too Quick to Be Roadkill（TOEIC）Unit 9 Office Work（文法）第17章分詞（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 10 Too Quick to Be Roadkill（TOEIC）Unit 9 Office Work （文法）第17章分詞の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 10 Too Quick to Be Roadkill （TOEIC）Unit 9 Office Work（文法）第17章分詞の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 10 Too Quick to Be Roadkill（TOEIC）Unit 9 Office Work（文法）第17章分詞

第9回 （メイン）Unit 10 Too Quick to Be Roadkill（TOEIC）Unit 9 Office Work（文法）第18章分詞（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 10 Too Quick to Be Roadkill（TOEIC）Unit 9 Office Work （文法）第18章分詞の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 10 Too Quick to Be Roadkill （TOEIC）Unit 9 Office Work（文法）第18章分詞の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 10 Too Quick to Be Roadkill（TOEIC）Unit 9 Office Work（文法）第18章分詞

第10回 （メイン）Unit 11 Meet Your Mighty Microbes（TOEIC）Unit 10 Business（文法）第18章分詞（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 11 Meet Your Mighty Microbes（TOEIC）Unit 10 Business （文法）第18章分詞の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 11 Meet Your Mighty Microbes （TOEIC）Unit 10 Business（文法）第18章分詞の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 11 Meet Your Mighty Microbes（TOEIC）Unit 10 Business（文法）第18章分詞

第11回 （メイン）Unit 11 Meet Your Mighty Microbes（TOEIC）Unit 10 Business（文法）Plus分詞（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 11 Meet Your Mighty Microbes（TOEIC）Unit 10 Business （文法）Plus分詞の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 11 Meet Your Mighty Microbes （TOEIC）Unit 10 Business（文法）Plus分詞の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 11 Meet Your Mighty Microbes（TOEIC）Unit 10 Business（文法）Plus分詞

第12回 （メイン）Unit 11 Meet Your Mighty Microbes（TOEIC）Unit 10 Business（文法）Plus分詞（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 11 Meet Your Mighty Microbes（TOEIC）Unit 10 Business （文法）Plus分詞の各部分の意味調べ。
予習時間：60分

復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 11 Meet Your Mighty Microbes （TOEIC）Unit 10 Business（文法）Plus分詞の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 11 Meet Your Mighty Microbes（TOEIC）Unit 10 Business（文法）Plus分詞

第13回 （メイン）Unit 11 Meet Your Mighty Microbes（TOEIC）Unit 10 Business（文法）第19章比較（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 11 Meet Your Mighty Microbes（TOEIC）Unit 10 Business （文法）第19章比較の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 11 Meet Your Mighty Microbes （TOEIC）Unit 10 Business（文法）第19章比較の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 11 Meet Your Mighty Microbes（TOEIC）Unit 10 Business（文法）第19章比較

第14回 （メイン）Unit 12 Raise Your Hand, Robots Go to School（TOEIC）Unit 11 Traffic（文法）第19章比較（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 12 Raise Your Hnad, Robots Go to School（TOEIC）Unit 11 Traffic（文法）第19章比較の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 12 Raise Your Hnad, Robots Go to School （TOEIC）Unit 11 Traffic（文法）第19章比較の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 12 Raise Your Hand, Robots Go to School（TOEIC）Unit 11 Traffic（文法）第19章比較

第15回 （メイン）Unit 12 Raise Your Hand, Robots Go to School（TOEIC）Unit 11 Traffic（文法）第20章比較（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 12 Raise Your Hnad, Robots Go to School（TOEIC）Unit 11 Traffic（文法）第20章比較の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 12 Raise Your Hnad, Robots Go to School （TOEIC）Unit 11 Traffic（文法）第20章比較の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 12 Raise Your Hand, Robots Go to School（TOEIC）Unit 11 Traffic（文法）第20章比較

第16回 （メイン）Unit 12 Raise Your Hnad, Robots Go to School（TOEIC）Unit 11 Traffic（文法）第20章比較（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 12 Raise Your Hand, Robots Go to School（TOEIC）Unit 11 Traffic（文法）第20章比較の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 12 Raise Your Hand, Robots Go to School （TOEIC）Unit 11 Traffic（文法)第20章比較の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 12 Raise Your Hnad, Robots Go to School（TOEIC）Unit 11 Traffic（文法）第20章比較

第17回 （メイン）Unit 12 Raise Your Hnad, Robots Go to School（TOEIC）Unit 11 Traffic（文法）Plus比較（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 12 Raise Your Hand, Robots Go to School（TOEIC）Unit 11 Traffic（文法）Plus比較の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 12 Raise Your Hand, Robots Go to School （TOEIC）Unit 11 Traffic（文法) Plus比較の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 12 Raise Your Hnad, Robots Go to School（TOEIC）Unit 11 Traffic（文法）Plus比較

第18回 （メイン）Unit 13 Jet Lag=Brain Damage for Hamsters（TOEIC）Unit 12 Finance and Banking（文法）Plus比較（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）（メイン）Unit 13 Jet Lag=Brain Damage for Hamsters（TOEIC）Unit 12 Finance and Banking（文法）Plus比較の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 13 Jet Lag=Brain Damages for Hamsters （TOEIC）Unit 12 Finance and Banking （文法）Plus 比較の内容の確認。

復習時間：60分
（メイン）Unit 13 Jet Lag=Brain Damage for Hamsters（TOEIC）Unit 12 Finance and Banking（文法）Plus比較

第19回 （メイン）Unit 13 Jet Lag=Brain Damage for Hamsters（TOEIC）Unit 12 Finance and Banking（文法）第21章関係詞（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）（メイン）Unit 13 Jet Lag=Brain Damage for Hamsters（TOEIC）Unit 12 Finance and Banking（文法）第21章関係詞の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 13 Jet Lag=Brain Damages for Hamsters （TOEIC）Unit 12 Finance and Banking （文法）第21章関係詞の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 13 Jet Lag=Brain Damage for Hamsters（TOEIC）Unit 12 Finance and Banking（文法）第21章関係詞

第20回 （メイン）Unit 13 Jet Lag=Brain Damage for Hamsters（TOEIC）Unit 12 Finance and Banking（文法）第21章関係詞（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 13 Jet Lag=Brain Damages for Hamsters（TOEIC）Unit 12 Finance and Banking（文法）第21章関係詞の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 13 Jet Lag=Brain Damages for Hamsters （TOEIC）Unit 12 Finance and Banking （文法）第21章関係詞の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 13 Jet Lag=Brain Damage for Hamsters（TOEIC）Unit 12 Finance and Banking（文法）第21章関係詞

第21回 （メイン）Unit 13 Jet Lag=Brain Damage for Hamsters（TOEIC）Unit 12 Finance and Banking（文法）第22章関係詞（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 13 Jet Lag=Brain Damages for Hamsters（TOEIC）Unit 12 Finance and Banking（文法）第22章関係詞の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 13 Jet Lag=Brain Damages for Hamsters （TOEIC）Unit 12 Finance and Banking （文法）第22章関係詞の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 13 Jet Lag=Brain Damage for Hamsters（TOEIC）Unit 12 Finance and Banking（文法）第22章関係詞

第22回 （メイン）Unit 14 What do Elephants and Rats Have in Common?（TOEIC）Unit 13 Media（文法）第22章関係詞（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 14 What do Elephants and Rats Have in Common?（TOEIC）Unit 13 Media（文法）第22章関係詞の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 14 What Do Elephants and Rats have in Common? （TOEIC）Unit 13 Media（文法)第22章関係詞の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 14 What do Elephants and Rats Have in Common?（TOEIC）Unit 13 Media（文法）第22章関係詞

第23回 （メイン）Unit 14 What Do Elephants and Rats Have in Common?（TOEIC）Unit 13 Media（文法）第23章関係詞（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 14 What Do Elephants and Rats have in Common?（TOEIC）Unit 13 Media（文法）第23章関係詞の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 14 What Do Elephants and Rats have in Common? （TOEIC）Unit 13 Media（文法)第23章関係詞の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 14 What Do Elephants and Rats Have in Common?（TOEIC）Unit 13 Media（文法）第23章関係詞

第24回 （メイン）Unit 14 What Do Elephants and Rats Have in Common?（TOEIC）Unit 13 Media（文法）第23章関係詞（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 14 What Do Elephants and Rats have in Common?（TOEIC）Unit 13 Media（文法）第23章関係詞の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 14 What Do Elephants and Rats have in Common? （TOEIC）Unit 13 Media（文法)第23章関係詞の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 14 What Do Elephants and Rats Have in Common?（TOEIC）Unit 13 Media（文法）第23章関係詞

第25回 （メイン）Unit 14 What Do Elephants and Rats Have in Common?（TOEIC）Unit 13 Media（文法）24章パッケージとしての節（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 14 What Do Elephants and Rats have in Common?（TOEIC）Unit 13 Media（文法）24章パッケージとしての節の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習した（メイン）Unit 14 What Do Elephants and Rats have in Common? （TOEIC）Unit 13 Media（文法) 24章パッケージとしての節
復習時間：60分
（メイン）Unit 14 What Do Elephants and Rats Have in Common?（TOEIC）Unit 13 Media（文法）24章パッケージとしての節

第26回 （メイン）Unit 15 Spying on Disease（TOEIC）Unit 14 Health and Welfare（文法）25章パッケージとしての節（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 15 Spying on Disease（TOEIC）Unit 14 Health and Welfare（文法）25章パッケージとしての節の各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習したUnit 15 Spying on Disease（TOEIC）Unit 14 Health and Welfare（文法）25章パッケージとしての節の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 15 Spying on Disease（TOEIC）Unit 14 Health and Welfare（文法）25章パッケージとしての節

第27回 （メイン）Unit 15 Spying on Disease（TOEIC）Unit 14 Health and Welfare（文法）第26章仮定法（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 15 Spying on Disease（TOEIC）Unit 14 Health and Welfare（文法）第26章仮定法各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習したUnit 15 Spying on Disease（TOEIC）Unit 14 Health and Welfare（文法）第26章仮定法の内容の確認。
復習時間：60分
メイン）Unit 15 Spying on Disease（TOEIC）Unit 14 Health and Welfare（文法）第26章仮定法

第28回 （メイン）Unit 15 Spying on Disease（TOEIC）Unit 14 Health and Welfare（文法）第26章仮定法（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 15 Spying on Disease（TOEIC）Unit 14 Health and Welfare（文法）第26章仮定法各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習したUnit 15 Spying on Disease（TOEIC）Unit 14 Health and Welfare（文法）第26章仮定法の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 15 Spying on Disease（TOEIC）Unit 14 Health and Welfare（文法）第26章仮定法

第29回 （メイン）Unit 15 Spying on Disease（TOEIC）Unit 14 Health and Welfare（文法）第27章仮定法（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 15 Spying on Disease（TOEIC）Unit 14 Health and Welfare（文法）第27章仮定法各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習したUnit 15 Spying on Disease（TOEIC）Unit 14 Health and Welfare（文法）第27章仮定法の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 15 Spying on Disease（TOEIC）Unit 14 Health and Welfare（文法）第27章仮定法

第30回 （メイン）Unit 15 Spying on Disease（TOEIC）Unit 14 Health and Welfare（文法）第27章仮定法（授業形式：演習）

予習内容：指示された（メイン）Unit 15 Spying on Disease（TOEIC）Unit 14 Health and Welfare（文法）第27章仮定法各部分の意味調べ。
予習時間：60分
復習内容：授業で学習したUnit 15 Spying on Disease（TOEIC）Unit 14 Health and Welfare（文法）第27章仮定法の内容の確認。
復習時間：60分
（メイン）Unit 15 Spying on Disease（TOEIC）Unit 14 Health and Welfare（文法）第27章仮定法

定期試験

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**総合英語２**						
英文名 ：	General English 2						
担当者 ：	片岡　宏仁						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】月曜3限、木曜3限　　食品安全工学科、医用工学科開講科目						

■授業概要

聞く・話す・読む・書くの4技能の総合的な習得を目指した授業を行う。科学の題材を用いた教科書を使用して、今後必要となる学術語彙の導入を測りながら、まとまった英文を時間をかけずに読む訓練を行う。また、現在一般的に通用度の高いTOEICテストについて、形式への習熟、ストラテジーの習得を行う。TOEIC教材の使用は、学内TOEIC-IPテストの日程により使用期間が変わることがある。授業には必ず辞書を持参すること。各教員が指示したWeb教材の課題は、必ず提出すること。また、受講期間中にランゲージスペースに指定された回数以上の参加を必修とする。＊実力テストが12月に行われる予定である。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「総合英語１」と合わせて、次の目標に到達できるようにする。分野横断的な学術用語のうち、基本的なものを理解・使用出来るようになる。400語程度の語彙で構成された文章の読解において、要点を掴みながら、正確に意味を理解できるようになる。リスニングでは、前後の文脈からより複雑な内容を把握できるようになる。この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

小テスト 20%
発表および課題 15%
定期試験 50%
実力テスト 15%

■試験・課題に対するフィードバック方法

小テスト・課題は自動採点でスコアと注意点を表示します.

■教科書

[ISBN]9784764740464 『Science for Fun!―楽しんで読む最新科学』 (圭子, 服部, 金星堂 : 2017)
[ISBN]9784255155951 『一歩上を目指すTOEIC LISTENING AND READING TEST Level2 Intermediate』 (北尾泰幸　西田晴美　林　姿穂　Brian Covert, 朝日出版社：2017)

■参考文献

特に指定しません。

■関連科目

総合英語1

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います.

■研究室・メールアドレス

メールアドレス: hrht_knk@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

該当科目開講時の前後休憩時間とします.

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Science for Fun, unit 7 (1)（授業形式：講義）

予習内容：読解の予習
予習時間：45分
1. 語彙
2. 文法: 不定詞の各種用法を理解する
3. リスニング問題

第2回 Science for Fun, unit 7 (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

1. 学生プレゼン
2. 語彙
3. 読解の解説: 並列されている要素を把握する / 要点とその例示を整理して読み取る

第3回 TOEIC, unit 6 (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

1. 語彙
2. リスニング問題
3. 補足

第4回 TOEIC, unit 6 (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

1. 語彙
2. リスニング問題
3. 読解問題

第5回 Science for Fun, unit 8 (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：読解の予習
予習時間：45分
1. 語彙
2. リスニング問題
3. 文法: 使役動詞

第6回 Science for Fun, unit 8 (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

1. 学生プレゼン
2. 語彙
3. 読解の解説: 修飾を含む長い名詞句のまとまりを把握する

第7回 TOEIC, unit 7 (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

1. 語彙
2. リスニング問題
3. 補足

第8回 TOEIC, unit 7 (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

1. 語彙
2. リスニング問題
3. 読解問題

第9回 Science for Fun, unit 9 (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：読解の予習
予習時間：45分
1. 語彙
2. 文法: 現在完了の主な4用法を理解する
3. リスニング問題

第10回 Science for Fun, unit 9 (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

1. 学生プレゼン
2. 語彙
3. 読解の解説: 適切な語義で解釈する (e.g. promise, a world of, possibilities)

第11回 TOEIC, unit 8 (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

1. 語彙

2. リスニング問題
3. 補足

第12回　TOEIC, unit 8 (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

1. 語彙
2. リスニング問題
3. 読解問題

第13回　Science for Fun, unit 10 (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：読解の予習
予習時間：45分
1. 語彙
2. 文法: 比較の表現
3. リスニング問題

第14回　Science for Fun, unit 10 (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

1. 学生プレゼン
2. 語彙
3. 読解の解説: 結論を支えている論拠を整理して読み取る / as ... as 構文

第15回　TOEIC, unit 9 (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

1. 語彙
2. リスニング問題
3. 補足

中間試験

語彙の小テスト

第16回　#16
TOEIC, unit 9 (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

1. 語彙
2. リスニング問題
3. 読解問題

第17回　Science for Fun, unit 11 (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：読解の予習
予習時間：45分
1. 語彙
2. 文法: 位置関係を表す前置詞の基本的な意味を理解する
3. リスニング問題

第18回　Science for Fun, unit 11 (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

1. 学生プレゼン
2. 語彙
3. 読解の解説: 例示の including / 形式主語 it + to不定詞 / さらに強い言明につなげる in fact

第19回　TOEIC, unit 10 (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

1. 語彙
2. リスニング問題
3. 補足

第20回　TOEIC, unit 10 (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

1. 語彙
2. リスニング問題
3. 読解問題

第21回　Science for Fun, unit 12 (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：読解の予習
予習時間：45分
1. 語彙
2. 文法: 動名詞の基本的な特徴を理解する
3. リスニング問題

第22回　Science for Fun, unit 12 (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

1. 学生プレゼン

2. 語彙
3. 読解の解説: 長いセンテンスの基底にある単純な構文を見抜く

第23回 TOEIC, unit 11 (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

1. 語彙
2. リスニング問題
3. 補足

第24回 TOEIC, unit 11 (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

1. 語彙
2. リスニング問題
3. 読解問題

第25回 Science for Fun, unit 13 (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：読解の予習
予習時間：45分
1. 語彙: 派生接辞 -en (toughen, shorten, whiten, etc.)
2. 文法: 接続詞
3. リスニング問題

第26回 Science for Fun, unit 13 (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

1. 学生プレゼン
2. 語彙
3. 読解の解説: 時間がかかることを意味する take の構文 / 分詞構文 / as ... as の構文 /

第27回 Science for Fun, unit 14 (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：読解の予習
予習時間：45分
1. 語彙
2. 文法: 形容詞・副詞による修飾
3. リスニング問題

第28回 Science for Fun, unit 14 (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

1. 学生プレゼン
2. 語彙
3. 読解の解説

第29回 Science for Fun, unit 15 (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：読解の予習
予習時間：45分
1. 語彙
2. 文法: 関係節
3. リスニング問題

第30回 Science for Fun, unit 15 (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

1. 学生プレゼン
2. 語彙
3. 読解の解説: 形式目的語の it / 名詞用法の to不定詞

期末試験

1. リスニング問題
2. 構文問題
3. 読解問題

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**総合英語２**						
英文名　：	General English 2						
担当者　：	野口　博代						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】月曜3限、木曜3限　　食品安全工学科、医用工学科開講科目						

■授業概要

聞く・話す・読む・書くの4 技能の総合的な習得を目指した授業を行う。科学の題材を用いた教科書を使用して、今後必要となる学術語彙の導入を測りながら、まとまった英文を時間をかけずに読む訓練を行う。また、現在一般的に通用度の高いTOEIC テストについて、形式への習熟、ストラテジーの習得を行う。TOEIC 教材の使用は、学内TOEIC-IP テストの日程により使用期間が変わることがある。授業には必ず辞書を持参すること。各教員が指示したWeb 教材の課題は必ず提出すること。また、受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がけ、指定された回数以上の参加を必修とする。

＊実力テストが 12 月に行われる予定である。
＊Google クラスルームでクラスの周知や課題の掲出および提出があるので注意すること。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「総合英語1」と合わせて、次の目標に到達できるようにする。分野横断的な学術用語のうち、基本的なものを理解・使用出来るようになる。400 語程度の語彙で構成された文章の読解において、要点を掴みながら、正確に意味を理解できるようになる。リスニングでは、前後の文脈からより複雑な内容を把握できるようになる。
総合的な英語力の向上を目指し、英語によるコミュニケーションスキルの上達を目標とする。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表および課題 15%
実力テスト 15%

■試験・課題に対するフィードバック方法

課題・小テストは授業中に返却し解答・解説を行います。
定期試験については、全体的な解説をUNIVERSAL PASSPORTまたはGoogle クラスルームに掲載します。
質問や疑問点は個人的に対応します。

■教科書

[ISBN]9784764740464 『Science for Fun!―楽しんで読む最新科学』 (圭子, 服部, 金星堂：2017)
[ISBN]9784255156149 『一歩上を目指すTOEIC(R) LISTENING AND READING TEST Level1 Basic』 (北尾泰幸　西田晴美　林　姿穂　Brian Covert, 朝日出版社 ： 2019)
[ISBN]9784342207310 『総合英語FACTBOOK English Grammar Core』 (桐原書店編集部, 桐原書店：2022)

■参考文献

適宜授業時に紹介します

■関連科目

総合英語 1

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室(2 号館2 階)
h-noguch@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

該当科目開講時の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Warm-up Activities to start the second semester.（授業形式：講義・アクティブ ラーニング）

予習内容：Science for Fun :Unit9 Blast Off! Astronauts Will Print Custom Tools 単語の確認
予習時間：60分
復習内容：興味のあるトピックを英語で聴いたり、読んだりしてみましょう！
復習時間：60分
1)受講に際しての注意事項を再確認
・欠席／遅刻について
・忘れもの（テキスト・辞書）について
・小テストについて
・定期試験について
・成績評価について（総合英語 1 との相違点）

2)グループワーク

第2回 Unit9 Blast Off! Astronauts Will Print Custom Tools (1)（授業形式：講義・アクティブ ラーニング）

予習内容：Unit9 Blast Off! Astronauts Will Print Custom Tools 文法問題
予習時間：60分
復習内容：Unit9 Blast Off! Astronauts Will Print Custom Tools 単語および熟語の復習/本文の要約
復習時間：60分
Science for Fun :Unit9 未来の3Dプリンターの活用についての英文を読み解く / Comprehension Questions
本文の和訳

第3回 Unit9 Blast Off! Astronauts Will Print Custom Tools (2)（授業形式：講義・アクティブ ラーニング）

予習内容：Unit10 Too Quick to Be Roadkill 単語の確認
予習時間：60分
復習内容：Science for Fun :Unit9 文法項目復習/音読練習
復習時間：60分
Science for Fun :Unit9 文法/リスニング/会話練習/Styles in Genre

FACTBOOK: 第15章 動名詞①

第4回 Unit10 Too Quick to Be Roadkill (1)（授業形式：講義・アクティブ ラーニング）

予習内容：Unit10 Too Quick to Be Roadkill文法問題
予習時間：60分
復習内容：Unit10 Too Quick to Be Roadkill 単語および熟語の復習/本文の要約
復習時間：60分
Science for Fun :Unit10 環境に適応する燕の進化論についての英文を読み解く / Comprehension Questions
本文の和訳

第5回 Unit10 Too Quick to Be Roadkill (2)（授業形式：講義・アクティブ ラーニング）

予習内容：Unit11 Meet Your Mighty Microbes 単語の確認
予習時間：60分
復習内容：Science for Fun:Unit10 文法項目復習/音読練習
復習時間：60分
Science for Fun :Unit10 文法/リスニング/会話練習/Styles in Genre

FACTBOOK: 第16章 動名詞②

第6回 Unit11 Meet Your Mighty Microbes (1（授業形式：講義・アクティブ ラーニング）)

予習内容：Unit11 Meet Your Mighty Microbes 文法問題
予習時間：60分
復習内容：Unit11 Meet Your Mighty Microbes 単語および熟語の復習/本文の要約
復習時間：60分
Science for Fun :Unit11我々の身近にいる微生物についての英文を読み解く / Comprehension Questions
本文の和訳

第7回 Unit11 Meet Your Mighty Microbes (2)（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：TOEIC問題集：Unit8　語彙問題
予習時間：60分
復習内容：Science for Fun：:Unit11 文法項目復習/音読練習
復習時間：60分
Science for Fun:Unit11 文法/リスニング/会話練習/Styles in Genre

FACTBOOK :第17章　分詞①

第8回 Listening 強化レッスン（1（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング））

予習内容：TOEIC 問題集：Unit9 語彙問題
予習時間：60分
復習内容：LIstening Section 間違えた問題の復習
復習時間：60分
TOEIC問題集：Unit8 Listening Section

第9回　Listening 強化レッスン（2）（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：Unit12 Raise Your Hands, Robots Go to School単語の確認
TOEIC問題集：Unit8 文法 / Reading Section
予習時間：60分
復習内容：Listening Section 間違えた問題の復習
復習時間：60分
TOEIC問題集：Unit9 Listening Section

第10回 Unit12 Raise Your Hands, Robots Go to School (1)（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：Unit12 Raise Your Hands, Robots Go to School文法問題
予習時間：60分
復習内容：Unit12 Raise Your Hands, Robots Go to School単語および熟語の復習/本文の要約
TOEIC問題の復習
復習時間：60分
Science for Fun :Unit12　学校に行けない子どもの代わりに学校に行くロボットについての英文を読み解く / Comprehension Questions
本文の和訳

TOEIC問題集：Unit8 文法 / Reading Section 解答・解説(1)

FACTBOOK :第18章　分詞②

第11回 Unit12 Raise Your Hands, Robots Go to School (2)（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：Unit13 Jet Lag=Brain Damage for Hamsters 単語の確認
TOEIC問題集：Unit9 文法 / Reading Section
予習時間：60分
復習内容：Science for Fun:Unit12 文法項目復習/音読練習
TOEIC問題の復習
復習時間：60分
Science for Fun:Unit12 文法/リスニング/会話練習/Styles in Genre

TOEIC問題集：Unit8 文法 / Reading Section 解答・解説(2)

第12回 Unit13 Jet Lag=Brain Damage for Hamsters (1)（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：Unit13 Jet Lag=Brain Damage for Hamsters文法問題
予習時間：60分
復習内容：Unit13 Jet Lag=Brain Damage for Hamsters単語および熟語の復習/本文の要約
TOEIC問題の復習
復習時間：60分

Science for Fun :Unit13 時差ボケと脳の関係についての英文を読み解く / Comprehension Questions
本文の和訳

TOEIC問題集：Unit9 文法 / Reading Section 解答・解説(1)

第13回 Unit13 Jet Lag=Brain Damage for Hamsters (2)（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：TOEIC問題集:Unit10 語彙問題
予習時間：60分
復習内容：Science for Fun:Unit13 文法項目復習/音読練習
TOEIC問題の復習
復習時間：60分
Science for Fun:Unit13 文法/リスニング/会話練習/Styles in Genre

TOEIC問題集：Unit9 文法 / Reading Section 解答・解説(2)

第14回 Listening 強化レッスン (3)（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：TOEIC問題集:Unit11 語彙問題
予習時間：60分
復習内容：間違えた問題の復習
復習時間：60分
TOEIC問題集：Unit10 Listening Section

第15回　Listening 強化レッスン (4)（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：Unit14 What Do Elephants and Rats Have in Common? 単語の確認
TOEIC問題集：Unit10 文法 / Reading Section
予習時間：60分
復習内容：間違えた問題の復習
復習時間：60分
TOEIC問題集：Unit11 Listening Section

第16回 Unit14 What Do Elephants and Rats Have in Common? (1)（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：Unit14 What Do Elephants and Rats Have in Common? 文法問題
予習時間：60分
復習内容：Unit14 What Do Elephants and Rats Have in Common? 単語および熟語の復習/本文の要約
TOEIC問題の復習
復習時間：60分
Science for Fun :Unit14 象とネズミに共通してみられる社会的行動に関しての英文を読み解く / Comprehension Questions
本文の和訳

TOEIC問題集：Unit10 文法 / Reading Section 解答・解説(1)

第17回 Unit14 What Do Elephants and Rats Have in Common? (2)（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：TOEIC問題集：Unit11 文法 / Reading Section
予習時間：60分
復習内容：Science for Fun:Unit14 文法項目復習/音読練習
TOEIC問題の復習
復習時間：60分
Science for Fun:Unit14 文法/リスニング/会話練習/Styles in Genre

TOEIC問題集：Unit10 文法 / Reading Section 解答・解説(2)

第18回 TOEIC対策 (1)（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：TOEIC問題集：Unit13 語彙問題 / 文法 / Reading Section
予習時間：60分
復習内容：間違えた問題の再確認
復習時間：60分
TOEIC問題集：Unit11 文法 / Reading Section 解答・解説
Unit12 語彙問題 / Listening Section / 文法 / Reading Section

第19回 TOEIC対策 (2)（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：TOEIC問題集：Unit14 語彙問題 / 文法 / Reading Section

予習時間：60分
復習内容：間違えた問題の再確認
復習時間：60分
TOEIC問題集：Unit13 語彙問題 / Listening Section / 文法 / Reading Section

第20回 TOEIC対策（3）（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：Unit15 Spying on Disease 単語の確認
予習時間：60分
復習内容：間違えた問題の再確認
復習時間：60分
TOEIC問題集：Unit14 語彙問題 / Listening Section / 文法 / Reading Section

第21回 Unit15 Spying on Disease (1)（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：Unit15 Spying on Disease 文法問題
予習時間：60分
復習内容：Unit15 Spying on Disease 単語および熟語の復習/本文の要約
復習時間：60分
Science for Fun :Unit15 バクテリアについての英文を読み解く / Comprehension Questions
本文の和訳

第22回 Unit15 Spying on Disease (2)（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：発展読解問題への取り組み
予習時間：60分
復習内容：Science for Fun:Unit15 文法項目復習/音読練習
復習時間：60分
Science for Fun:Unit15 文法/リスニング/会話練習/Styles in Genre

第23回 読解/文法　強化レッスン (1)（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：発展読解問題への取り組み
予習時間：60分
復習内容：読解/文法問題の確認
復習時間：60分
読解問題への取り組み

FACTBOOK: 第19章　比較①・　第20章　比較②

第24回 読解/文法　強化レッスン (2)（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：発展問題への取り組み
予習時間：60分
復習内容：読解/文法問題の確認
復習時間：60分
読解問題への取り組み

FACTBOOK: 第21章　関係詞①・　第22章　関係詞②

第25回 読解/文法　強化レッスン (3)（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：発展問題への取り組み
予習時間：60分
復習内容：読解/文法問題の確認
復習時間：60分
読解問題への取り組み

FACTBOOK: 第23章　関係詞③

第26回 読解/文法　強化レッスン (4)（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：発展問題への取り組み
予習時間：60分
復習内容：読解/文法問題の確認
復習時間：60分
読解問題への取り組み

FACTBOOK: 第24章　仮定法①

第27回 読解/文法　強化レッスン (5)（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：総合問題への取り組み
予習時間：60分
復習内容：読解/文法問題の確認
復習時間：60分
読解問題への取り組み

FACTBOOK: 第25章　仮定法②

第28回 文法問題のまとめ（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：Science for Fun（Unit9-Unit11）Review
予習時間：60分
復習内容：文法問題の確認
復習時間：60分
FACTBOOK 「修飾と2つのルール」「数の表現」

文法総合問題への取り組み

第29回 Science for Fun（Unit9-Unit11）Review（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：Science for Fun（Unit12-Unit15) Review
予習時間：60分
復習内容：Science for Fun（Unit9-Unit11)語彙・表現・文法事項の再確認
復習時間：60分
Science for Fun（Unit9-Unit11) 質問・疑問点についての解説

第30回 Science for Fun（Unit12-Unit15）Review（授業形式：講義・アクティブ　ラーニング）

予習内容：Science for Fun（Unit9-Unit15)語彙、文法、本文の内容確認
予習時間：60分
復習内容：Science for Fun（Unit12-Unit15)語彙・表現・文法事項の再確認
復習時間：60分
Science for Fun（Unit12-Unit15）　質問・疑問点についての解説
復習内容：(60分)

定期試験

試験範囲等、詳細は授業中に指示します。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**総合英語２**						
英文名 ：	General English 2						
担当者 ：	服部　圭子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】月曜3限、木曜3限　　食品安全工学科、医用工学科開講科目						

■授業概要

聴く・話す・読む・書くの4技能の総合的な習得を目指した授業を行う。科学の題材を用いた教科書を使用して、今後必要となる学術語彙の導入をはかりながら、まとまった英文を時間をかけずに読む訓練を行う。また、現在一般的に通用度の高いTOEICテストについて、形式への習熟、ストラテジーの習得を行う。TOEIC教材の使用は、学内TOEIC-IPテストの日程により使用期間が変わることがある。授業には必ず辞書を手元に置き、利用すること。各教員が指示したWeb教材の課題は必ず提出すること。また、受講期間中にランゲージスペースに指定された回数以上の参加を必修とする。

実力テストが12月上旬に行われる予定である。実力テストに関しては、担当教員もしくはUNIPA/Google classroomを通して指示がある。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「総合英語１」と合わせて、以下の目標に達成できるようにする。分野横断的な学術用語のうち、基本的な物を理解･使用できるようになる。400語程度の単語で構成された文章の読解において、要点を掴みながら、正確に意味を理解できるようになる。既知の単語が出てくるリスニングにおいては、文単位で正確な聞き取りができるようになる。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表および課題等 15%
実力テスト 15%

■試験・課題に対するフィードバック方法

授業内またはUNIPA/Google Classroomで、ポイントをフィードバックします。

■教科書

[ISBN]9784764740464 『Science for Fun!―楽しんで読む最新科学』 (服部圭子他, 金星堂 : 2017)
[ISBN]9784255155968 『一歩上を目指すTOEIC LISTENING AND READING TEST Level3 Advanced』 (北尾泰幸　西田晴美　林　姿穂　Brian Covert, 朝日出版社 : 2017)
[ISBN]9784255156439 『CNN　Short News Vol.1』 (Richard S. Lavin他, 朝日出版社 : 2019)

■参考文献

特に指定しません。

■関連科目

総合英語１

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

服部研究室（2号館5階513） khattori@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

木曜日5限（その他の時間帯は必ず予約すること）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

実力テストが12月上旬に行われる予定であり、授業計画がそれにより前後することがある。

第1回 オリエンテーション
【リーディング】Unit9 Blast Off! Astronauts Will Print Custom Tools (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：英語で夏休みについて話せるようにする。【リーディング】Unit9 本文の内容理解と試訳。英英辞典で単語を調べること。
予習時間：60分
復習内容：【リーディング】単語･熟語･文法事項を中心に復習を行う。
復習時間：60分
授業の進め方の説明
・予習の進め方
・授業の進め方
・課題について
受講に際しての注意事項
・欠席／遅刻について
・準備するものについて
・携帯電話の使用の制限について
・単語／熟語の小テストについて
・総合評価について
その他、受講に際しての重要事項について

夏休みについて英語で発表する。

【リーディング】未来の3Dプリンターの活用についての英文を読み解く。
KKey Vocabulary,Pre-reading Question, Reading Articleをする。
Key Vocabularyの意味を調べ、英語でも説明できるようにする。発音にも注意する。
Reading Articleは、構文を分析して、英文にそって、わかりやすい日本語で説明できるようにする。

第2回 【リーディング】Unit 9 Blast Off! Astronauts Will Print Custom Tools (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【リーディング】Unit 9 Blast Off! Astronauts Will Print Custom Tools本文の内容理解と試訳、演習問題、リスニング・Styles in Genreの単語チェック
予習時間：60分
復習内容：【リーディング】授業で学習したところの復習。
復習時間：60分
【リーディング】未来の3Dプリンターの活用についての英文を読み解く。
Reading Articleの復習をする。
演習問題、Styles in Genreにおける表現を学ぶ。
会話文のリスニング、発話練習、関連の表現を学ぶ。

第3回 【リーディング】Unit10 Too Quick to Be Roadkill(1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【リーディング】Unit10 Too Quick to Be Roadkill 本文の内容理解と試訳。英英辞典で単語を調べること。
予習時間：60分
復習内容：【リーディング】単語･熟語･文法事項を中心に復習を行う。
復習時間：60分
【リーディング】ツバメの進化についての英文を読み解く。
Key Vocabulary,Pre-reading Question, Reading Articleをする。
Key Vocabularyの意味を調べ、英語でも説明できるようにする。発音にも注意する。
Reading Articleは、構文を分析して、英文にそって、わかりやすい日本語で説明できるようにする。

第4回 【リーディング】Unit10 Too Quick to Be Roadkill(2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【リーディング】Unit10 Too Quick to Be Roadkill本文の内容理解と試訳、演習問題、リスニング・Styles in Genreの単語チェック
予習時間：60分
復習内容：【リーディング】授業で学習したところの復習。
復習時間：60分
【リーディング】ツバメの進化についての英文を読み解く。
Reading Articleの復習をする。
演習問題、Styles in Genreにおける表現を学ぶ。
会話文のリスニング、発話練習、関連の表現を学ぶ。

第5回 【リーディング】Unit11 Meet Your Mighty Microbes (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【リーディング】Unit11 Meet Your Mighty Microbes本文の内容理解と試訳。単語は入念にチェックすること。
予習時間：60分
復習内容：【リーディング】単語･熟語･文法事項を中心に復習を行う。
復習時間：60分
【リーディング】身近にいる微生物についての英文を読み解く。
Key Vocabulary,Pre-reading Question, Reading Articleをする。
Key Vocabularyの意味を調べ、英語でも説明できるようにする。発音にも注意する。
Reading Articleは、構文を分析して、英文にそって、わかりやすい日本語で説明できるようにする。

第6回 【リーディング】Unit11 Meet Your Mighty Microbes (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【リーディング】Unit11 Meet Your Mighty Microbes本文の内容理解と試訳、演習問題、リスニング・Styles in Genreの単語チェック
予習時間：60分
復習内容：【リーディング】授業で学習したところの復習。
復習時間：60分
【リーディング】身近にいる微生物についての英文を読み解く。
Reading Articleの復習をする。
演習問題、Styles in Genreにおける表現を学ぶ。
会話文のリスニング、発話練習、関連の表現を学ぶ。

第7回 【CNN】Unit 11 China's life-shortening air（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【CNN】Unit 11の単語や熟語チェック。
予習時間：60分
復習内容：【CNN】学習したところ、理解が不十分なところの復習。
復習時間：60分
【CNN】Unit 11 China's life-shortening airのリスニングを行う。
リスニングに出てくる単語の学習、内容理解、そして表現力を養う。

第8回 【CNN】Unit 12 Prosthetic limbs from 3-D printers（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【CNN】Unit 12の単語や熟語チェック。
予習時間：60分
復習内容：【CNN】学習したところ、理解が不十分なところの復習。
復習時間：60分
【CNN】Unit 12 Prosthetic limbs from 3-D printersnのリスニングを行う。
リスニングに出てくる単語の学習、内容理解、そして表現力を養う。

第9回 【CNN】Unit 13 NZ makes cyberbullying illegal（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【CNN】Unit 13の単語や熟語チェック。。
予習時間：60分
復習内容：【CNN】学習したところ、理解が不十分なところの復習。
復習時間：60分
【CNN】Unit 13 NZ makes cyberbullying illegalのリスニングを行う。
リスニングに出てくる単語の学習、内容理解、そして表現力を養う。

第10回 【CNN】Unit 14 Musical taste and personality/ Unit 15 Morning-person genes（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【CNN】Unit 14.15の単語や熟語チェック。
予習時間：60分
復習内容：【CNN】学習したところ、理解が不十分なところの復習。
復習時間：60分
【CNN】Unit 14 Musical taste and personality / Unit 15 Morning-person genesのリスニングを行う。

リスニングに出てくる単語の学習、内容理解、そして表現力を養う。

第11回 【TOEIC】Unit3 Amusemet（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【TOEIC】Unit3 Amusemetの問題を解く。
予習時間：60分
復習内容：【TOEIC】Unit3 Amusemetの語彙・熟語・文法を復習する。
復習時間：60分
【TOEIC】娯楽に関する語彙を含んだTOEIC形式の問題を解く。
文法事項は品詞。

第12回 【TOEIC】Unit4 Meetings（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【TOEIC】Unit4 Meetingsの問題を解く。
予習時間：60分
復習内容：【TOEIC】Unit4 Meetingsの語彙・熟語・文法を復習する。
復習時間：60分
【TOEIC】会議に関する語彙を含んだTOEIC形式の問題を解く。
文法事項は分詞。

第13回 【TOEIC】Unit5 Personnel（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【TOEIC】Unit5 Personnelの問題を解く。
予習時間：60分
復習内容：【TOEIC】Unit5 Personnelの語彙・熟語・文法を復習する。
復習時間：60分
【TOEIC】人事に関する語彙を含んだTOEIC形式の問題を解く。
文法事項は不定詞と動名詞の1回目。

第14回 【TOEIC】Unit6 Shopping（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【TOEIC】Unit6 Shoppingの問題を解く。
予習時間：60分
復習内容：【TOEIC】Unit6 Shoppingの語彙・熟語・文法を復習する。
復習時間：60分
【TOEIC】買い物に関する語彙を含んだTOEIC形式の問題を解く。
文法事項は不定詞と動名詞の2回目。

第15回 【TOEIC】Unit7 Advertisement（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【TOEIC】Unit7 Advertisementの問題を解く。
予習時間：60分
復習内容：【TOEIC】Unit7 Advertisementの語彙・熟語・文法を復習する。。
復習時間：60分
【TOEIC】広告に関する語彙を含んだTOEIC形式の問題を解く。
文法事項は仮定法。

第16回 【TOEIC】Unit8 Daily life（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【TOEIC】Unit8 Daily lifeの問題を解く。
予習時間：60分
復習内容：【TOEIC】Unit8 Daily lifeでの語彙・熟語・文法を復習する。
復習時間：60分
【TOEIC】日常生活に関する語彙を含んだTOEIC形式の問題を解く。

第17回 【TOEIC】Unit9 Office Work（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【TOEIC】Unit9 Office Workの問題を解く。
予習時間：60分
復習内容：【TOEIC】Unit9 Office Workの語彙・熟語・文法を復習する。
復習時間：60分
【TOEIC】オフィスワークに関する語彙を含んだTOEIC形式の問題を解く。

第18回 【TOEIC】Unit10 Business（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【TOEIC】Unit10 Businessの問題を解く。
予習時間：60分
復習内容：【TOEIC】Unit10 Businessの語彙・熟語・文法を復習する。
復習時間：60分
【TOEIC】ビジネスに関する語彙を含んだTOEIC形式の問題を解く。

第19回 【TOEIC】Unit11 Traffic（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【TOEIC】Unit11 Trafficの問題を解く。
予習時間：60分
復習内容：【TOEIC】Unit11 Trafficでの語彙・熟語・文法を復習する。
復習時間：60分
【TOEIC】交通に関する語彙を含んだTOEIC形式の問題を解く。

第20回 【TOEIC】Unit12 Finance and Banking（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【TOEIC】Unit12 Finance and Bankingの問題を解く。
予習時間：60分
復習内容：【TOEIC】Unit12 Finance and Bankingの語彙・熟語・文法を復習する。
復習時間：60分
【TOEIC】経済や銀行に関する語彙を含んだTOEIC形式の問題を解く。

第21回 【TOEIC】Unit13 Media（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【TOEIC】Unit13 Mediaの問題を解く。
予習時間：60分
復習内容：【TOEIC】Unit13 Mediaの語彙・熟語・文法を復習する。
復習時間：60分
【TOEIC】Mediaに関する語彙を含んだTOEIC形式の問題を解く。

第22回 【TOEIC】Unit14 Health and Welfare（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【TOEIC】Unit14 Health and Welfareの問題を解く。
予習時間：60分
復習内容：【TOEIC】Unit14 Health and Welfareの語彙・熟語・文法を復習する。
復習時間：60分
【TOEIC】健康や福祉に関する語彙を含んだTOEIC形式の問題を解く。

第23回 【リーディング】Unit12 Raise Your Hand, Robots Go to School(1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【リーディング】Unit12 Raise Your Hand, Robots Go to School本文の内容理解と試訳。英英辞典で単語を調べること。
予習時間：60分
復習内容：【リーディング】単語･熟語･文法事項を中心に復習を行う。
復習時間：60分
【リーディング】学校に行けない生徒のために開発されたロボットについての英文を読み解く。
Key Vocabulary,Pre-reading Question, Reading Articleをする。
Key Vocabularyの意味を調べ、英語でも説明できるようにする。発音にも注意する。
Reading Articleは、構文を分析して、英文にそって、わかりやすい日本語で説明できるようにする。

第24回 【リーディング】Unit12 Raise Your Hand, Robots Go to School(2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【リーディングUnit12 Raise Your Hand, Robots Go to School本文の内容理解と試訳、演習問題、リスニング・Styles in Genreの単語チェック
予習時間：60分
復習内容：【リーディング】授業で学習したところの復習。
復習時間：60分
【リーディング】学校に行けない生徒のために開発されたロボットについての英文を読み解く。
Reading Articleの復習をする。
演習問題、Styles in Genreにおける表現を学ぶ。
会話文のリスニング、発話練習、関連の表現を学ぶ。

第25回 【リーディング】Unit13 Jet Lag = Brain Damage for Hamsters(1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【リーディング】Unit13 Jet Lag = Brain Damage for Hamsters本文の内容理解と試訳。英英辞典で単語を調べること。
予習時間：60分
復習内容：【リーディング】単語･熟語･文法事項を中心に復習を行う。
復習時間：60分
【リーディング】時差ぼけについての英文を読み解く。
Key Vocabulary,Pre-reading Question, Reading Articleをする。
Key Vocabularyの意味を調べ、英語でも説明できるようにする。発音にも注意する。
Reading Articleは、構文を分析して、英文にそって、わかりやすい日本語で説明できるようにする。

第26回 【リーディング】Unit13 Jet Lag = Brain Damage for Hamsters(2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【リーディング】Unit13 Jet Lag = Brain Damage for Hamsters本文の内容理解と試訳、演習問題、リスニング・Styles in Genreの単語チェック
予習時間：60分
復習内容：【リーディング】授業で学習したところの復習。
復習時間：60分
【リーディング】時差ぼけについての英文を読み解く。
Reading Articleの復習をする。
演習問題、Styles in Genreにおける表現を学ぶ。
会話文のリスニング、発話練習、関連の表現を学ぶ。

第27回 【リーディング】Unit14 What Do Elephants and Rats Have in Common?(1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【リーディング】Unit14 What Do Elephants and Rats Have in Common?本文の内容理解と試訳。英英辞典で単語を調べること。
予習時間：60分
復習内容：【リーディング】単語･熟語･文法事項を中心に復習を行う
復習時間：60分
【リーディング】象とネズミの共通点についての英文を読み解く。
Key Vocabulary,Pre-reading Question, Reading Articleをする。
Key Vocabularyの意味を調べ、英語でも説明できるようにする。発音にも注意する。
Reading Articleは、構文を分析して、英文にそって、わかりやすい日本語で説明できるようにする。

第28回 【リーディング】Unit14 What Do Elephants and Rats Have in Common?(2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【リーディング】Unit14 What Do Elephants and Rats Have in Common?本文の内容理解と試訳、演習問題、リスニング・Styles in Genreの単語チェック
予習時間：60分
復習内容：【リーディング】授業で学習したところの復習。
復習時間：60分
【リーディング】象とネズミの共通点についての英文を読み解く。
Reading Articleの復習をする。
演習問題、Styles in Genreにおける表現を学ぶ。
会話文のリスニング、発話練習、関連の表現を学ぶ。

第29回 【リーディング】Unit15 Spying on Disease(1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【リーディング】Unit15 Spying on Disease単語･熟語･文法事項を中心に復習を行う
予習時間：60分
復習内容：【リーディング】授業で学習したところの復習。
復習時間：60分
【リーディング】バクテリアについての英文を読み解く。
Key Vocabulary,Pre-reading Question, Reading Articleをする。
Key Vocabularyの意味を調べ、英語でも説明できるようにする。発音にも注意する。
Reading Articleは、構文を分析して、英文にそって、わかりやすい日本語で説明できるようにする。

第30回 【リーディング】Unit15 Spying on Disease(2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：【リーディング】Unit15 本文の内容理解と試訳、演習問題、リスニング・Styles in Genreの単語チェック
予習時間：60分
復習内容：【NCC】授業で学習したところの復習。理解が不十分なところは、必ず次回に質問すること。
復習時間：60分
【リーディング】】バクテリアについての英文を読み解く。

定期試験

テスト範囲については、授業中に指示するが、基本的には中間テスト以降の範囲とする。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**総合英語２**						
英文名　：	General English 2						
担当者　：	眞鍋　範奈						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】月曜3限、木曜3限　　食品安全工学科、医用工学科開講科目						

■授業概要

聞く・話す・読む・書くの4 技能の総合的な習得を目指した授業を行う。科学の題材を用いた教科書を使用して、今後必要となる学術語彙の導入を測りながら、まとまった英文を時間をかけずに読む訓練を行う。また、現在一般的に通用度の高いTOEIC テストについて、形式への習熟、ストラテジーの習得を行う。TOEIC 教材の使用は、学内TOEIC-IP テストの日程により使用期間が変わることがある。授業には必ず辞書を持参すること。また、受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がけ、指定された回数以上の参加を必修とする。

＊実力テストが 12 月の土曜日または日曜日に行われる予定である。
＊TOEICの使用教材は、学内TOEIC-IPテストの日程により使用期間が変わることがある。
＊課題の提示・提出をGoogle Classroomを通じて実施することがあるため、通信環境を整えておくことが望ましい。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「総合英語1」と合わせて、次の目標に到達できるようにする。分野横断的な学術用語のうち、基本的なものを理解・使用出来るようになる。400 語程度の語彙で構成された文章の読解において、要点を掴みながら、正確に意味を理解できるようになる。リスニングでは、前後の文脈からより複雑な内容を把握できるようになる。
総合的な英語力の向上を目指し、英語によるコミュニケーションスキルの上達を目標とする。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表および課題 15%
実力テスト 15%

■試験・課題に対するフィードバック方法

模範解答/解説をUNIVERSAL PASSPORTまたはGoogle Classroomに掲載します。

■教科書

[ISBN]9784764740464 『Science for Fun!―楽しんで読む最新科学』 (圭子, 服部, 金星堂：2017)
[ISBN]9784255155968 『一歩上を目指すTOEIC LISTENING AND READING TEST Level3 Advanced』 (北尾泰幸　西田晴美　林　姿穂　Brian Covert, 朝日出版社：2017)
[ISBN]9784255156439 『CNNショートニュースで学ぶ総合英語』 (Richard S. Lavin, 朝日出版社：2019)

■参考文献

適宜授業時に紹介します

■関連科目

総合英語１

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）　メールアドレス：0658b0@kindai.ac.jp

■オフィスアワー

該当科目開講時の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　Warm-up Activities to start the second semester.（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit1～Unit８の復習。夏休みにいついて英語で話せるように考えておく。
予習時間：60分
復習内容：興味のあるNewsを英語で聴いたり、ニュース記事を読んだりしてみましょう！
復習時間：60分
Listening Activities:
実際のCNN Newsを聴いて日本語で内容を伝えましょう！

Reading Activities:
英文でNews reportを読み要約しましょう！

オリエンテーション：夏休みについて

第2回　Unit9 Blast Off! Astronauts Will Print Custom Tools (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit9 Blast Off! Astronauts Will Print Custom Tools　文法問題
予習時間：60分
復習内容：Unit9 Blast Off! Astronauts Will Print Custom Tools　単語および熟語の復習
CNN Unit9 ニュースの単語、表現の復習
復習時間：60分

Science for Fun :Unit9 未来の3Dプリンターの活用についての英文を読み解く / Comprehension Questions
CNN Short News Vol.1:Unit9 語彙とニュース内容の確認

第3回　Unit9 Blast Off! Astronauts Will Print Custom Tools (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit10 Too Quick to Be Roadkill　単語の確認
CNN Unit10 ニュースの単語確認
予習時間：60分
復習内容：Science for Fun :Unit9 文法項目復習
CNN: Unit9 リスニング練習
復習時間：60分
Science for Fun :Unit9 文法/リスニング/Styles in Genre
CNN: Unit9 まとめ

第4回　Unit10 Too Quick to Be Roadkill (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit10 Too Quick to Be Roadkill文法問題
予習時間：60分
復習内容：Unit10 Too Quick to Be Roadkill　単語および熟語の復習
CNN:Unit10 ニュースの単語、表現の復習
復習時間：60分
Science for Fun: Unit10 環境に適応する燕の進化論についての英文を読み解く / Comprehension Questions
CNN Short News Vol.1:Unit10 語彙とニュース内容の確認

第5回　Unit10 Too Quick to Be Roadkill (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit11 Meet Your Mighty Microbes 単語の確認
CNN: Unit11 ニュースの単語確認
予習時間：60分
復習内容：Science for Fun:Unit10 文法項目復習
CNN:Unit10 リスニング練習
復習時間：60分

Science for Fun:Unit10 文法/リスニング/Styles in Genre
CNN:Unit10 まとめ

第6回 Unit11 Meet Your Mighty Microbes (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit11 Meet Your Mighty Microbes 文法問題
予習時間：60分
復習内容：Unit11 Meet Your Mighty Microbes 単語および熟語の復習
CNN:Unit11 ニュースの単語、表現の復習
復習時間：60分
Science for Fun :Unit11我々の身近にいる微生物についての英文を読み解く / Comprehension Questions
CNN Short News Vol.1:Unit11 語彙とニュース内容の確認

第7回 Unit11 Meet Your Mighty Microbes (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：TOEIC問題集：Unit8　語彙問題
CNN:Unit12ニュースの単語確認
予習時間：60分
復習内容：Science for Fun：:Unit11 文法項目復習
CNN:Unit11 リスニング練習
復習時間：60分
Science for Fun:Unit11 文法/リスニング/Styles in Genre
CNN:Unit11 まとめ

第8回 Listening 強化レッスン（1）（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：TOEIC 問題集：Unit9 語彙問題
CNN：Unit13ニュースの単語確認(60分
予習時間：60分
復習内容：TOEIC:間違えた問題の復習
CNN:ニュースのリスニング練習(60分)
復習時間：60分
TOEIC問題集：Unit8 Listening Section
CNN:Unit12

第9回　Listening 強化レッスン（2）（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit12 Raise Your Hands, Robots Go to School単語の確認
TOEIC問題集：Unit8 文法 / Reading Section
予習時間：60分
復習内容：TOEIC:間違えた問題の復習
CNN:ニュースのリスニング練習
復習時間：60分
TOEIC問題集：Unit9 Listening Section
CNN:Unit13

第10回 Unit12 Raise Your Hands, Robots Go to School (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit12 Raise Your Hands, Robots Go to School文法問題
予習時間：60分
復習内容：Unit12 Raise Your Hands, Robots Go to School単語および熟語の復習
TOEIC問題の復習
復習時間：60分
Science for Fun :Unit12　学校に行けない子どもの代わりに学校に行くロボットについての英文を読み解く / Comprehension Questions

TOEIC問題集：Unit8 文法 / Reading Section 解答・解説(1)

第11回 Unit12 Raise Your Hands, Robots Go to School (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit13 Jet Lag=Brain Damage for Hamsters 単語の確認
TOEIC問題集：Unit9 文法 / Reading Section
予習時間：60分
復習内容：Science for Fun:Unit12 文法項目復習
TOEIC問題の復習
復習時間：60分
Science for Fun:Unit12 文法/リスニング/Styles in Genre
TOEIC問題集：Unit8 文法 / Reading Section 解答・解説(2)

第12回 Unit13 Jet Lag=Brain Damage for Hamsters (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit13 Jet Lag=Brain Damage for Hamsters文法問題
予習時間：60分
復習内容：Unit13 Jet Lag=Brain Damage for Hamsters単語および熟語の復習
TOEIC問題の復習
復習時間：60分
Science for Fun :Unit13 時差ボケと脳の関係についての英文を読み解く / Comprehension Questions
TOEIC問題集：Unit9 文法 / Reading Section 解答・解説(1)

第13回 Unit13 Jet Lag=Brain Damage for Hamsters (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：TOEIC問題集:Unit10 語彙問題
CNN:Unit14 ニュースの単語確認
予習時間：60分
復習内容：Science for Fun:Unit13 文法項目復習
TOEIC問題の復習
復習時間：60分
Science for Fun:Unit13 文法/リスニング/Styles in Genre
TOEIC問題集：Unit9 文法 / Reading Section 解答・解説(2)

第14回 Listening 強化レッスン (3)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：TOEIC問題集:Unit11 語彙問題
CNN:Unit15 ニュースの単語確認
予習時間：60分
復習内容：TOEIC:間違えた問題の復習
CNN:ニュースのリスニング練習
復習時間：60分
TOEIC問題集：Unit10 Listening Section
CNN:Unit14

第15回 Listening 強化レッスン (4)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit14 What Do Elephants and Rats Have in Common? 単語の確認
TOEIC問題集：Unit10 文法 / Reading Section
予習時間：60分
復習内容：TOEIC:間違えた問題の復習
CNN:ニュースのリスニング練習
復習時間：60分
TOEIC問題集：Unit11 Listening Section
CNN:Unit15

第16回 Unit14 What Do Elephants and Rats Have in Common? (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit14 What Do Elephants and Rats Have in Common? 文法問題
予習時間：60分
復習内容：Unit14 What Do Elephants and Rats Have in Common? 単語および熟語の復習
TOEIC問題の復習
復習時間：60分
Science for Fun :Unit14 象とネズミに共通してみられる社会的行動に関しての英文を読み解く / Comprehension Questions

TOEIC問題集：Unit10 文法 / Reading Section 解答・解説(1)

第17回 Unit14 What Do Elephants and Rats Have in Common? (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：TOEIC問題集：Unit11 文法 / Reading Section
予習時間：60分
復習内容：Science for Fun:Unit14 文法項目復習
TOEIC問題の復習
復習時間：60分
Science for Fun:Unit14 文法/リスニング/Styles in Genre
TOEIC問題集：Unit10 文法 / Reading Section 解答・解説(2)

第18回 TOEIC対策 (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：TOEIC問題集：Unit13 語彙問題 / 文法 / Reading Section

予習時間：60分
復習内容：間違えた問題の再確認
復習時間：60分
TOEIC問題集：Unit11 文法 / Reading Section 解答・解説
Unit12 語彙問題 / Listening Section / 文法 / Reading Section

第19回 TOEIC対策（2）（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：TOEIC問題集：Unit14 語彙問題 / 文法 / Reading Section
予習時間：60分
復習内容：間違った問題の再確認
復習時間：60分
TOEIC問題集：Unit13 語彙問題 / Listening Section / 文法 / Reading Section

第20回 TOEIC対策（3）（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit15 Spying on Disease 単語の確認
予習時間：60分
復習内容：間違った問題の再確認
復習時間：60分
TOEIC問題集：Unit14 語彙問題 / Listening Section / 文法 / Reading Section

第21回 Unit15 Spying on Disease (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit15 Spying on Disease 文法問題
予習時間：60分
復習内容：Unit15 Spying on Disease 単語および熟語の復習
復習時間：60分
Science for Fun :Unit15 バクテリアについての英文を読み解く / Comprehension Questions

第22回 Unit15 Spying on Disease (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：発展読解問題への取り組み
予習時間：60分
復習内容：Science for Fun:Unit15 文法項目復習
復習時間：60分
Science for Fun:Unit15 文法/リスニング/Styles in Genre

第23回 発展問題 Reading（1）（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：発展読解問題への取り組み
予習時間：60分
復習内容：英文記事の語彙・表現の再確認
復習時間：60分
英語の記事を読み日本語で要約

第24回 発展問題 Reading（2）（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：英語のニュースを聴く
予習時間：60分
復習内容：英文記事の語彙・表現の再確認
復習時間：60分
英語の記事を読み日本語で要約

第25回 発展問題 Listening（1）（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：英語のニュースを聴く
予習時間：60分
復習内容：ニュースの語彙・表現の再確認
復習時間：60分
英語のニュースレポートを聴き、その内容を日本語でまとめる。

第26回 発展問題 Listening（2）（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：総合問題への取り組み
予習時間：60分
復習内容：ニュースの語彙・表現の再確認
復習時間：60分
英語のニュースレポートを聴き、その内容を日本語でまとめる。

第27回 Science for Fun Review（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Science for Fun（Unit９-Unit15) Review
予習時間：60分
復習内容：Science for Fun（Unit９-Unit15) 語彙・表現・文法事項の再確認
復習時間：60分
Science for Fun （Unit9-Unit15) 質問・疑問点についての解説

第28回 総合発展問題（１）（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：自己表現の文章作成（１）
予習時間：60分
復習内容：授業内活動の復習（リスニング、文法などを含む）
復習時間：60分
英語の4技能においての弱点ポイントの補強
クラス/個人での課題への取り組み

第29回 総合発展問題（2）（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：自己表現の文章作成（２）
予習時間：60分
復習内容：授業内活動の復習（リスニング、文法など含む）
復習時間：60分
英語の4技能においての弱点ポイントの補強
クラス/個人での課題への取り匡

第30回 総合発展問題（３）・総復習（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：クラス/個人での課題のまとめ
予習時間：60分
復習内容：総復習
復習時間：60分
英語の4技能においての弱点ポイントの補強
クラス/個人での課題への取り組み

定期試験

試験範囲等、詳細は授業中に指示します。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**総合英語２**						
英文名 ：	General English 2						
担当者 ：	山下　弥生						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】月曜3限、木曜3限　　食品安全工学科、医用工学科開講科目						

■授業概要

「聞く・話す・読む・書く」の4技能の総合的な習得を目指した授業を行う。科学の題材を用いた教科書を使用して、今後必要となる学術語彙の導入を測りながら、まとまった英文を時間をかけずに読む訓練を行う。また、現在一般的に通用度の高いTOEICテストについて、形式への習熟、ストラテジーの習得を行う。TOEIC教材の使用は、学内TOEIC-IPテストの日程により使用期間が変わることがある。授業には必ず辞書を持参すること。各教員が指示したWeb教材の課題は、必ず提出すること。また、受講期間中にランゲージスペースに指定された回数以上の参加を必修とする。＊実力テストが12月に行われる予定である。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「総合英語１」と合わせて、次の目標に到達できるようにする。分野横断的な学術用語のうち、基本的なものを理解・使用出来るようになる。400語程度の語彙で構成された文章の読解において、要点を掴みながら、正確に意味を理解できるようになる。リスニングでは、前後の文脈からより複雑な内容を把握できるようになる。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表および課題 15%
実力テスト 15%

■試験・課題に対するフィードバック方法

解答に関するポイントなどを授業内またはUNIPAにてフィードバックします。

■教科書

[ISBN]9784764740464 『Science for Fun!―楽しんで読む最新科学 』（服部 圭子他、金星堂：2017）
[ISBN]9784255156149 『Step-Up Skills for the TOEIC Listening and Reading Test Level 1-Basic- 』（北尾泰幸他：2018）
[ISBN]9784255155340 『Activity-Based Listening: Starter』（片野田浩子、朝日出版：2013）

■参考文献

特に指定しません。

■関連科目

総合英語１

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）yayoiyam@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

該当科目開講時の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

実カテストが12月上旬に行われる予定であり、授業計画がそれにより前後することがある。

第1回 オリエンテーション
リスニング
（授業形式：講義）

予習内容：U1～U8の復習。夏休みについて英語で話せるように考えておく。
予習時間：60分
復習内容：夏休みについて、英語で書く。
復習時間：60分
夏休みについて
授業の進め方の説明
・予習の進め方
・授業の進め方
・課題について
受講に際しての注意事項
・欠席／遅刻について
・準備するものについて
・携帯電話の使用の制限について
・単語／熟語の小テストについて
・総合評価について
その他、受講に際しての重要事項について
★前期とオリエンテーションの内容は同じなので、オリエンテーションは短時間で終了する。
リスニングUnit9

第2回 Unit9 Blast Off! Astronauts Will Print Custom Tools（１）（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit9 Blast Off! Astronauts Will Print Custom Toolsの単語チェック、本文の内容理解
予習時間：60分
復習内容：Unit9 Blast Off! Astronauts Will Print Custom Toolsの単語および熟語の復習
復習時間：60分
【リーディング】未来の３Dプリンターの活用についての英文を読み解く。読解問題、文法、本文に関連したリスニングを含む。段落ごとの要約、文章全体の構成を確認する。
【リスニング】Unit10: Math 2

第3回 Unit9 Blast Off! Astronauts Will Print Custom Tools（２）（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit9 Blast Off! Astronauts Will Print Custom Toolsの「英語でQ/A」の予習
予習時間：60分
復習内容：Unit9 Blast Off! Astronauts Will Print Custom Tools本文内容、和訳等、復習、本文音読
復習時間：60分
【リーディング】未来の３Dプリンターの活用についての英文を読み解く。読解問題、文法、本文に関連したリスニングを含む。本文の内容について英語でQ/A練習をする。
【リスニング】Unit10: Math 2

第4回 TOEIC(1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：TOEIC Unit 8：Daily Life 文法： 名詞・冠詞・数量詞(2)の単語チェック、練習問題予習
予習時間：60分
復習内容：TOEIC Unit 8：Daily Life 文法： 名詞・冠詞・数量詞(2)の間違えた箇所をチェック
復習時間：60分
Unit 8：Daily Life 文法： 名詞・冠詞・数量詞(2)

第5回 Unit10 Too Quick to Be Roadkill(1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit10 Too Quick to Be Roadkillの単語チェック、本文の内容理解
予習時間：60分
復習内容：Unit10 Too Quick to Be Roadkillの単語および熟語の復習
復習時間：60分
【リーディング】環境に適応するツバメの進化についての英文を読み解く。読解問題、文法、本文に関連したリスニングを含む。段落ごとの要約、文章全体の構成を確認する。

【リスニング】Unit 11: Story Reading 1

第6回 Unit10 Too Quick to bBe Roadkill（２）（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit10 Too Quick to Be Roadkillの「英語でQ/A」の予習
予習時間：60分
復習内容：Unit10 Too Quick to Be Roadkill本文内容、和訳等、復習、本文音読
復習時間：60分
【リーディング】環境に適応するツバメの進化についての英文を読み解く。読解問題、文法、本文に関連したリスニングを含む。本文の内容について英語でQ/A練習をする。
【リスニング】Unit 11: Story Reading 1

第7回 TOEIC(2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：TOEIC Unit 9：Office Work 文法： 仮定法の単語チェック、練習問題予習
予習時間：60分
復習内容：TOEIC Unit 9：Office Work 文法： 仮定法の間違えた箇所をチェック
復習時間：60分
Unit 9：Office Work 文法： 仮定法

第8回 英語プレゼンテーションの練習(1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：TED,CNN,BBCなどを見て英語の自然な話し方や態度に親しみ参考にする。
予習時間：60分
復習内容：知らなかった単語や熟語、表現などをリストアップし、単語帳を作る。
復習時間：60分
英語でプレゼンテーション（informative presentation）をする際の基本的な方法（スライドの構成や役立つ英語表現など）を学び、実際に作成・発表する。

第9回 英語プレゼンテーションの練習(2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：TED,CNN,BBCなどを見て英語の自然な話し方や態度に親しみ参考にする。
予習時間：60分
復習内容：知らなかった単語や熟語、表現などをリストアップし、単語帳を作る。
復習時間：60分
英語でプレゼンテーション（informative presentation）をする際の基本的な方法（スライドの構成や役立つ英語表現など）を学び、実際に作成・発表する。

第10回 Unit11 Meet Your Mighty Microbes（１）（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit11 Meet Your Mighty Microbesの単語チェック、本文の内容理解
予習時間：60分
復習内容：Unit11 Meet Your Mighty Microbesの単語および熟語の復習
復習時間：60分
【リーディング】自分の身近にいる微生物についての英文を読み解く。読解問題、文法、本文に関連したリスニングを含む。段落ごとの要約、文章全体の構成を確認する。
【リスニング】Unit 12: Story Reading 2

第11回 Unit11 Meet Your Mighty Microbes（２）（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit11 Meet Your Mighty Microbesの「英語でQ/A」の予習
予習時間：60分
復習内容：Unit11 Meet Your Mighty Microbes本文内容、和訳等、復習、本文音読
復習時間：60分
【リーディング】自分の身近にいる微生物についての英文を読み解く。読解問題、文法、本文に関連したリスニングを含む。本文の内容について英語でQ/A練習をする。
【リスニング】Unit 12: Story Reading 2

第12回 TOEIC(3)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：TOEIC Unit 10：Business 文法： 分詞の単語チェック、練習問題予習
予習時間：60分
復習内容：TOEIC Unit 10：Business 文法： 分詞の間違えた箇所をチェック
復習時間：60分
Unit 10：Business 文法： 分詞

第13回 Unit12 Raise Your Hand, Robots go to school (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit12 Raise Your Hand, Robots go to schoolの単語チェック、本文の内容理解
予習時間：60分
復習内容：Unit12 Raise Your Hand, Robots go to schoolの単語および熟語の復習

復習時間：60分
【リーディング】学校にいけない子供の代わりに学校へ行くロボットについての英文を読み解く。読解問題、文法、本文に関連したリスニングを含む。段落ごとの要約、文章全体の構成を確認する。
【リスニング】Unit 13: Story Reading 3

第14回 Unit12 Raise Your Hand, Robots go to school (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit12 Raise Your Hand, Robots go to schoolの「英語でQ/A」の予習
予習時間：60分
復習内容：Unit12 Raise Your Hand, Robots go to school本文内容、和訳等、復習、本文音読
復習時間：60分
【リーディング】学校にいけない子供の代わりに学校へ行くロボットについての英文を読み解く。読解問題、文法、本文に関連したリスニングを含む。本文の内容について英語でQ/A練習をする。
【リスニング】Unit 13: Story Reading 3

第15回 TOEIC(4)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：TOEIC Unit 11：Traffic 文法： 関係詞の単語チェック、練習問題予習
予習時間：60分
復習内容：TOEIC Unit 11：Traffic 文法： 関係詞の間違えた箇所をチェック
復習時間：60分
Unit 11：Traffic 文法： 関係詞

第16回 Unit13 Jet Lag = Brain Damage for Hamsters (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit13 Jet Lag = Brain Damage for Hamstersの単語チェック、本文の内容理解
予習時間：60分
復習内容：Unit13 Jet Lag = Brain Damage for Hamstersの単語および熟語の復習
復習時間：60分
【リーディング】時差ボケと脳の関係についての英文を読み解く。読解問題、文法、本文に関連したリスニングを含む。段落ごとの要約、文章全体の構成を確認する。
【リスニング】Unit 14: Story Reading 4

第17回 Unit13 Jet Lag = Brain Damage for Hamsters (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit13 Jet Lag = Brain Damage for Hamstersの「英語でQ/A」の予習
予習時間：60分
復習内容：Unit13 Jet Lag = Brain Damage for Hamsters本文内容、和訳等、復習、本文音読
復習時間：60分
【リーディング】時差ボケと脳の関係についての英文を読み解く。読解問題、文法、本文に関連したリスニングを含む。本文の内容について英語でQ/A練習をする。
【リスニング】Unit 14: Story Reading 4

第18回 TOEIC(5)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：TOEIC Unit 12：Finance and Banking 文法： 接続詞の単語チェック、練習問題予習
予習時間：60分
復習内容：TOEIC Unit 12：Finance and Banking 文法： 接続詞の間違えた箇所をチェック
復習時間：60分
Unit 12：Finance and Banking 文法： 接続詞

第19回 英語プレゼンテーションの練習(3)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：TED,CNN,BBCなどを見て英語の自然な話し方や態度に親しみ参考にする。
予習時間：60分
復習内容：知らなかった単語や熟語、表現などをリストアップし、単語帳を作る。
復習時間：60分
英語でプレゼンテーション（informative presentation）をする際の基本的な方法（スライドの構成や役立つ英語表現など）を学び、実際に作成・発表する。

第20回 英語プレゼンテーションの練習(4)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：TED,CNN,BBCなどを見て英語の自然な話し方や態度に親しみ参考にする。
予習時間：60分
復習内容：知らなかった単語や熟語、表現などをリストアップし、単語帳を作る。
復習時間：60分
英語でプレゼンテーション（informative presentation）をする際の基本的な方法（スライドの構成や役立つ英語表現など）を学び、実際に作成・発表する。

第21回 Unit14 What Do Elephants and Rats Have in Common? (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit14 What Do Elephants and Rats Have in Common?の単語チェック、本文の内容理解
予習時間：60分
復習内容：Unit14 What Do Elephants and Rats Have in Common?の単語および熟語の復習
復習時間：60分
【リーディング】異なる動物における共通点についての英文を読み解く。読解問題、文法、本文に関連したリスニングを含む。段落ごとの要約、文章全体の構成を確認する。
【リスニング】Unit 15: Story Reading 5

第22回　Unit14 What Do Elephants and Rats Have in Common? (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit14 What Do Elephants and Rats Have in Common?の「英語でQ/A」の予習
予習時間：60分
復習内容：Unit14 What Do Elephants and Rats Have in Common?本文内容、和訳等、復習、本文音読
復習時間：60分
【リーディング】異なる動物における共通点についての英文を読み解く。読解問題、文法、本文に関連したリスニングを含む。本文の内容について英語でQ/A練習をする。
【リスニング】Unit 15: Story Reading 5

第23回　TOEIC(6)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：TOEIC Unit 13：Media 文法： 前置詞の単語チェック、練習問題予習
予習時間：60分
復習内容：TOEIC Unit 13：Media 文法： 前置詞の間違えた箇所をチェック
復習時間：60分
Unit 13：Media 文法： 前置詞

第24回　Unit15 Spying on Disease (1)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit15 Spying on Diseaseの単語チェック、本文の内容理解
予習時間：60分
復習内容：Unit15 Spying on Diseaseの単語および熟語の復習
復習時間：60分
【リーディング】バクテリアについての英文を読み解く。読解問題、文法、本文に関連したリスニングを含む。段落ごとの要約、文章全体の構成を確認する。
【リスニング】Glossary

第25回　Unit15 Spying on Disease (2)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：Unit15 Spying on Diseaseの「英語でQ/A」の予習
予習時間：60分
復習内容：Unit15 Spying on Disease本文内容、和訳等、復習、本文音読
復習時間：60分
【リーディング】バクテリアについての英文を読み解く。読解問題、文法、本文に関連したリスニングを含む。本文の内容について英語でQ/A練習をする。
【リスニング】Glossary

第26回　TOEIC(7)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：TOEIC Unit 14：Health and Welfareの単語チェック、練習問題予習
予習時間：60分
復習内容：TOEIC Unit 14：Health and Welfareの間違えた箇所をチェック
復習時間：60分
Unit 14：Health and Welfare

第27回　TOEIC(8)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：TOEICテキストに出てきたすべての単語を再チェック、練習問題予習の復習
予習時間：60分
復習内容：力試しで間違えたところを再チェック
復習時間：60分
【リーディング】【リスニング】TOEIC傾向と対策まとめ、練習問題で力試し。

第28回　英語プレゼンテーションの練習(5)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：TED,CNN,BBCなどを見て英語の自然な話し方や態度に親しみ参考にする。
予習時間：60分
復習内容：知らなかった単語や熟語、表現などをリストアップし、単語帳を作る。
復習時間：60分
英語でプレゼンテーション（informative presentation）をする際の基本的な方法（スライドの構成や役立つ英語表現など）を

学び、実際に作成・発表する。

第29回　英語プレゼンテーションの練習(6)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：TED,CNN,BBCなどを見て英語の自然な話し方や態度に親しみ参考にする。
予習時間：60分
復習内容：知らなかった単語や熟語、表現などをリストアップし、単語帳を作る。
復習時間：60分
英語でプレゼンテーション（informative presentation）をする際の基本的な方法（スライドの構成や役立つ英語表現など）を学び、実際に作成・発表する。

第30回　英語プレゼンテーションの練習(7)（授業形式：講義・アクティブラーニング）

予習内容：TED,CNN,BBCなどを見て英語の自然な話し方や態度に親しみ参考にする。
予習時間：60分
復習内容：知らなかった単語や熟語、表現などをリストアップし、単語帳を作る。
復習時間：60分
英語でプレゼンテーション（informative presentation）をする際の基本的な方法（スライドの構成や役立つ英語表現など）を学び、実際に作成・発表する。

定期試験

テスト範囲については授業中に指示します。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**総合英語２〈再履修〉**						
英文名　：	General English 2						
担当者　：	澤邉　興平						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：							

■授業概要

聞く・話す・読む・書くの4技能の総合的な習得を目指した授業を行う。科学の題材を用いた教科書を使用して、今後必要となる学術語彙の導入を測りながら、まとまった英文を時間をかけずに読む訓練を 行う。また、現在一般的に通用度の高い TOEICテストについて、形式への習熟、ストラテジーの習得を行う。 TOEIC教材の使用は、学内 TOEIC-IPテストの日程により使用期間が変わることがある。授業には必ず辞書を持参すること。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「総合英語１」と合わせて、次の目標に到達できるようにする。分野横断的な学術用語のうち 、基本的なものを理解・使用出来るようになる。 400語程度の語彙で構成された文章の読解において、要点を掴みながら、正確に意味を理解できるようになる。 リスニングでは、前後の文脈からより複雑な内容を把握 できるようになる。この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 25%
口頭発表および課題 25%

■試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間内に課題担当者の答案を基に模範解答を板書として提示します。

■教科書

[ISBN]9784523177579 『「Science News」やさしい科学リーディング演習―Science Explorer』 (野﨑嘉信, 南雲堂：2014)
[ISBN]9784255156149 『一歩上を目指すTOEIC(R) LISTENING AND READING TEST Level1 Basic』 (北尾泰幸　西田晴美　林　姿穂　Brian Covert, 朝日出版社：2017)

■参考文献

授業中にて指示します。

■関連科目

総合 英語１・ 総合 英語２・ 総合 英語１再履修

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館 2階）・ksawabe@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

該当科目開講時の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション、ウォームアップ
（授業形式：演習を含む講義）
予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
授業の進め方の説明
・予習の進め方
・授業の進め方
・課題
受講に際しての注意事項
・欠席／遅刻について
・忘れ物（テキスト・辞書）について
・携帯電話の使用制限について
・定期試験について
・総合評価について
その他、受講に関する注意点について
科学技術英語の特徴

第2回 TOEICの教科書を用いた授業
（授業形式：演習を含む講義）
予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・Advertisement
・名詞・冠詞・数量詞
以上の内容を扱うUnit7の復習を主とする。

第3回 Unit8 : Your Brain on Music （前半）
（授業形式：演習を含む講義）
予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・音楽と精神に関する英文を読み解く。
・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第4回 TOEICの教科書を用いた授業
（授業形式：演習を含む講義）
予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・Daily Life
・名詞・冠詞・数量詞
以上の内容を扱うUnit8を用いた授業の１回目。

第5回 Your Brain on Music （後半）
（授業形式：演習を含む講義）
予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・音楽と精神に関する英文を読み解く（前回の続き）。

・音楽に関する他の事例を英語で読む

第6回　TOEICの教科書を用いた授業
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・Daily Life
・名詞・冠詞・数量詞
以上の内容を扱うUnit8を用いた授業の２回目。

第7回　Unit9：Blast Off! Astronauts Will Print Custom Tools　（前半）
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・３Dプリンタ活用に関する英文を読み解く。
・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第8回　TOEICの教科書を用いた授業
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・Office Work
・仮定法
以上の内容を扱うUnit9を用いた授業の１回目。

第9回　Blast Off! Astronauts Will Print Custom Tools　（後半）
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・３Dプリンタ活用に関する英文を読み解く（前回の続き）。
・宇宙開発に関する他の事例を英語で読む

第10回　TOEICの教科書を用いた授業
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・Office Work
・仮定法
以上の内容を扱うUnit9を用いた授業の２回目。

第11回　Unit10：Too Quick to Be Roadkill　（前半）
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・燕の進化に関する英文を読み解く。
・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第12回　TOEICの教科書を用いた授業
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・Business
・分詞
以上の内容を扱うUnit10を用いた授業の１回目。

第13回　Too Quick to Be Roadkill　（後半）
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・燕の進化に関する英文を読み解く（前回の続き）。
・鳥類に関する他の事例を英語で読む

第14回　TOEICの教科書を用いた授業
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・Business
・分詞
以上の内容を扱うUnit10を用いた授業の２回目。

第15回　Unit11：Meet Your Mighty Microbes　（前半）
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・微生物に関する英文を読み解く。
・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

中間試験

第16回　TOEICの教科書を用いた授業
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・Traffic
・関係詞
以上の内容を扱うUnit11を用いた授業の１回目。

第17回　Meet Your Mighty Microbes　（後半）
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・微生物に関する英文を読み解く（前回の続き）。
・微生物に関する他の事例を英語で読む

第18回　TOEICの教科書を用いた授業
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分

・Traffic
・関係詞
以上の内容を扱うUnit11を用いた授業の２回目。

第19回　Unit12 : Raise Your Hand, Robots Go to School　（前半）
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・ロボットと教育に関する英文を読み解く。
・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第20回　TOEICの教科書を用いた授業
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・Finance and Banking
・接続詞
以上の内容を扱うUnit12を用いた授業の１回目。

第21回　Raise Your Hand, Robots Go to School　（後半）
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・ロボットと教育に関する英文を読み解く（前回の続き）。
・ロボットに関する他の事例を英語で読む

第22回　TOEICの教科書を用いた授業
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・Finance and Banking
・接続詞
以上の内容を扱うUnit12を用いた授業の２回目。

第23回　Unit13 : Jet Lag = Brain Damage for Hamsters　（前半）
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・時差ぼけに関する英文を読み解く。
・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第24回　TOEICの教科書を用いた授業
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・Media
・前置詞
以上の内容を扱うUnit13を用いた授業の１回目。

第25回　Jet Lag = Brain Damage for Hamsters　（後半）

（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・時差ぼけに関する英文を読み解く（前回の続き）。
・体内時計に関する他の事例を英語で読む

第26回 TOEICの教科書を用いた授業
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・Media
・前置詞
以上の内容を扱うUnit13を用いた授業の２回目。

第27回 Unit14：What Do Elephants and Rats Have in Common?
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・象と鼠に関する英文を読み解く。
・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第28回 TOEICの教科書を用いた授業
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・Health and Welfare
以上の内容を扱うUnit14を用いた授業の1回目。

第29回 Unit15：Spying on Disease
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・バクテリア監視に関する英文を読み解く。
・細菌についての他の事例を英語で読む

第30回 TOEICの教科書を用いた授業
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・Health and Welfare
以上の内容を扱うUnit14を用いた授業の２回目。

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**中国語総合1**						
英文名 ：	Basic Chinese 1						
担当者 ：	髙尾　有紀						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】月曜3限						

■授業概要

中国語を聞き、話し、読み、書くことに慣れ親しみ、初歩的な中国語を用いてコミュニケーションが図れるようにします。「総合１」では、中国語の音節構造を理解し、発音表記（ピンイン）に習熟することが第一の目標となりますが、簡単な自己紹介や日常会話ができるよう、文法の基礎もしっかりと学んでいきます。「中国語総合1」と「中国語総合2」は継続して履修登録してください。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語・その他の言語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「総合2」と併せて、中国語検定準4級程度の基本語彙と文法力を身につけます。この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー４の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表及び課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載する。

■教科書

[ISBN]9784764707269 『近大漢語 初級編』 (原田信, 金星堂：2022)

■参考文献

辞書：
[ISBN]9784385121703 『デイリーコンサイス中日・日中辞典 第3版 中型版』 (杉本 達夫, 三省堂：2013)
[ISBN]9784095156040 『中日辞典 第3版』 (北京商務印書館, 小学館：2016)
参考書：
[ISBN]9784061489875 『はじめての中国語 (講談社現代新書)』 (相原 茂, 講談社：1990)
[ISBN]9784480056665 『中国語はじめの一歩 (ちくま新書)』 (木村 英樹, 筑摩書房：1996)

■関連科目

中国語総合2，中国語総合3・4

■授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

教室で各教員に直接確認して下さい。

■オフィスアワー

教室で各教員に直接確認して下さい。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　発音編１(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：シラバスを読むとともに、これから学ぼうとする言語について調べておく。
予習時間：45分
復習内容：授業内容を読み返して復習する。
復習時間：45分
※声調
※軽声
※単母音

第2回　発音編２(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語を読み返し復習する。
復習時間：45分
※子音

第3回　発音編３(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語を読み返し復習する。
復習時間：45分
※複母音
※鼻母音

第4回　発音編４(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
※声調の変化
数字・年月日・代名詞の表現

第5回　発音編のまとめ(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分

第6回　第1课　自我介绍(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１“是”を用いる文
２否定文
３比較文
４名前の聞き方　答え方

第7回　第1课 自我介绍(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第8回　第2课 你吃什么？(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。

予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１動詞述語文
２時間詞
３疑問詞疑問文
４“的”の用法

第9回　第2课 你吃什么？(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第10回　第1课と第2课の復習(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
学んだ単語、文法項目について復習、応用練習を行なう。

第11回　第3课 出门(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１連動文
２文末の“吧”と“呢”
３助動詞の“想”と“要”
４“这”“那”“哪”と“这个”“那个”“哪个”

第12回　第3课 出门(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第13回　第4课 买东西(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１形容詞述語文
２選択疑問文
３“有”と“没有
４“有点儿”と“一点儿”

第14回　第4课 买东西(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第15回　総復習(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分

復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
前期で学んだ単語、文法項目について復習、応用練習を行なう。

定期試験

■ホームページ

近畿大学　http://www.kindai.ac.jp

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**中国語総合1**						
英文名 ：	Basic Chinese 1						
担当者 ：	髙尾　有紀						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】月曜2限						

■授業概要

中国語を聞き、話し、読み、書くことに慣れ親しみ、初歩的な中国語を用いてコミュニケーションが図れるようにします。「総合１」では、中国語の音節構造を理解し、発音表記（ピンイン）に習熟することが第一の目標となりますが、簡単な自己紹介や日常会話ができるよう、文法の基礎もしっかりと学んでいきます。「中国語総合1」と「中国語総合2」は継続して履修登録してください。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語・その他の言語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「総合2」と併せて、中国語検定準4級程度の基本語彙と文法力を身につけます。この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー４の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表及び課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載する。

■教科書

[ISBN]9784764707269 『近大漢語 初級編』 (原田信, 金星堂：2022)

■参考文献

辞書：
[ISBN]9784385121703 『デイリーコンサイス中日・日中辞典 第3版 中型版』 (杉本 達夫, 三省堂：2013)
[ISBN]9784095156040 『中日辞典 第3版』 (北京商務印書館, 小学館：2016)
参考書：
[ISBN]9784061489875 『はじめての中国語 (講談社現代新書)』 (相原 茂, 講談社：1990)
[ISBN]9784480056665 『中国語はじめの一歩 (ちくま新書)』 (木村 英樹, 筑摩書房：1996)

■関連科目

中国語総合2，中国語総合3・4

■授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

教室で各教員に直接確認して下さい。

■オフィスアワー

教室で各教員に直接確認して下さい。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　発音編１(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：シラバスを読むとともに、これから学ぼうとする言語について調べておく。
予習時間：45分
復習内容：授業内容を読み返して復習する。
復習時間：45分
※声調
※軽声
※単母音

第2回　発音編２(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語を読み返し復習する。
復習時間：45分
※子音

第3回　発音編３(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語を読み返し復習する。
復習時間：45分
※複母音
※鼻母音

第4回　発音編４(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
※声調の変化
数字・年月日・代名詞の表現

第5回　発音編のまとめ(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分

第6回　第1课　自我介绍(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１“是”を用いる文
２否定文
３比較文
４名前の聞き方　答え方

第7回　第1课 自我介绍(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第8回　第2课 你吃什么？(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。

予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１動詞述語文
２時間詞
３疑問詞疑問文
４“的”の用法

第9回　第2课 你吃什么？(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第10回　第1课と第2课の復習(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
学んだ単語、文法項目について復習、応用練習を行なう。

第11回　第3课 出门(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１連動文
２文末の“吧”と“呢”
３助動詞の“想”と“要”
４“这”“那”“哪”と“这个”“那个”“哪个”

第12回　第3课 出门(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第13回　第4课 买东西(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１形容詞述語文
２選択疑問文
３“有”と“没有
４“有点儿”と“一点儿”

第14回　第4课 买东西(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第15回　総復習(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分

復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
前期で学んだ単語、文法項目について復習、応用練習を行なう。

定期試験

■ホームページ

近畿大学　http://www.kindai.ac.jp

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**中国語総合1**						
英文名 ：	Basic Chinese 1						
担当者 ：	東條　智恵						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】月曜3限						

■授業概要

中国語を聞き、話し、読み、書くことに慣れ親しみ、初歩的な中国語を用いてコミュニケーションが図れるようにします。「総合１」では、中国語の音節構造を理解し、発音表記（ピンイン）に習熟することが第一の目標となりますが、簡単な自己紹介や日常会話ができるよう、文法の基礎もしっかりと学んでいきます。「中国語総合1」と「中国語総合2」は継続して履修登録してください。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語・その他の言語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「総合2」と併せて、中国語検定準4級程度の基本語彙と文法力を身につけます。この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー４の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表及び課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載する。

■教科書

[ISBN]9784764707269 『近大漢語 初級編』 (原田信, 金星堂：2022)

■参考文献

辞書：
[ISBN]9784385121703 『デイリーコンサイス中日・日中辞典 第3版 中型版』 (杉本 達夫, 三省堂：2013)
[ISBN]9784095156040 『中日辞典 第3版』 (北京商務印書館, 小学館：2016)
参考書：
[ISBN]9784061489875 『はじめての中国語 (講談社現代新書)』 (相原 茂, 講談社：1990)
[ISBN]9784480056665 『中国語はじめの一歩 (ちくま新書)』 (木村 英樹, 筑摩書房：1996)

■関連科目

中国語総合2，中国語総合3・4

■授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

教室で各教員に直接確認して下さい。

■オフィスアワー

教室で各教員に直接確認して下さい。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　発音編１(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：シラバスを読むとともに、これから学ぼうとする言語について調べておく。
予習時間：45分
復習内容：授業内容を読み返して復習する。
復習時間：45分
※声調
※軽声
※単母音

第2回　発音編２(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語を読み返し復習する。
復習時間：45分
※子音

第3回　発音編３(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語を読み返し復習する。
復習時間：45分
※複母音
※鼻母音

第4回　発音編４(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
※声調の変化
数字・年月日・代名詞の表現

第5回　発音編のまとめ(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分

第6回　第1课　自我介绍(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１“是”を用いる文
２否定文
３比較文
４名前の聞き方　答え方

第7回　第1课 自我介绍(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第8回　第2课 你吃什么？(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。

予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１動詞述語文
２時間詞
３疑問詞疑問文
４“的”の用法

第9回　第2课 你吃什么？(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第10回　第1课と第2课の復習(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
学んだ単語、文法項目について復習、応用練習を行なう。

第11回　第3课 出门(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１連動文
２文末の“吧”と“呢”
３助動詞の“想”と“要”
４“这”“那”“哪”と“这个”“那个”“哪个”

第12回　第3课 出门(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第13回　第4课 买东西(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１形容詞述語文
２選択疑問文
３“有”と“没有
４“有点儿”と“一点儿”

第14回　第4课 买东西(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第15回　総復習(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分

復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
前期で学んだ単語、文法項目について復習、応用練習を行なう。

定期試験

■ホームページ

近畿大学　http://www.kindai.ac.jp

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**中国語総合1**						
英文名 ：	Basic Chinese 1						
担当者 ：	東條　智恵						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】月曜2限						

■授業概要

中国語を聞き、話し、読み、書くことに慣れ親しみ、初歩的な中国語を用いてコミュニケーションが図れるようにします。「総合１」では、中国語の音節構造を理解し、発音表記（ピンイン）に習熟することが第一の目標となりますが、簡単な自己紹介や日常会話ができるよう、文法の基礎もしっかりと学んでいきます。「中国語総合1」と「中国語総合2」は継続して履修登録してください。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語・その他の言語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「総合2」と併せて、中国語検定準4級程度の基本語彙と文法力を身につけます。この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー４の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表及び課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載する。

■教科書

[ISBN]9784764707269 『近大漢語 初級編』 (原田信, 金星堂：2022)

■参考文献

辞書：
[ISBN]9784385121703 『デイリーコンサイス中日・日中辞典 第3版 中型版』 (杉本 達夫, 三省堂：2013)
[ISBN]9784095156040 『中日辞典 第3版』 (北京商務印書館, 小学館：2016)
参考書：
[ISBN]9784061489875 『はじめての中国語 (講談社現代新書)』 (相原 茂, 講談社：1990)
[ISBN]9784480056665 『中国語はじめの一歩 (ちくま新書)』 (木村 英樹, 筑摩書房：1996)

■関連科目

中国語総合2，中国語総合3・4

■授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

教室で各教員に直接確認して下さい。

■オフィスアワー

教室で各教員に直接確認して下さい。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　発音編１(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：シラバスを読むとともに、これから学ぼうとする言語について調べておく。
予習時間：45分
復習内容：授業内容を読み返して復習する。
復習時間：45分
※声調
※軽声
※単母音

第2回　発音編２(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語を読み返し復習する。
復習時間：45分
※子音

第3回　発音編３(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語を読み返し復習する。
復習時間：45分
※複母音
※鼻母音

第4回　発音編４(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
※声調の変化
数字・年月日・代名詞の表現

第5回　発音編のまとめ(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分

第6回　第1课　自我介绍(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１“是”を用いる文
２否定文
３比較文
４名前の聞き方　答え方

第7回　第1课 自我介绍(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第8回　第2课 你吃什么？(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。

予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１動詞述語文
２時間詞
３疑問詞疑問文
４“的”の用法

第9回　第2课 你吃什么？(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第10回　第1课と第2课の復習(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
学んだ単語、文法項目について復習、応用練習を行なう。

第11回　第3课 出门(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１連動文
２文末の“吧”と“呢”
３助動詞の“想”と“要”
４“这”“那”“哪”と“这个”“那个”“哪个”

第12回　第3课 出门(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第13回　第4课 买东西(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１形容詞述語文
２選択疑問文
３“有”と“没有
４“有点儿”と“一点儿”

第14回　第4课 买东西(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第15回　総復習(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分

復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
前期で学んだ単語、文法項目について復習、応用練習を行なう。

定期試験

■ホームページ

近畿大学　http://www.kindai.ac.jp

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**中国語総合1**						
英文名 ：	Basic Chinese 1						
担当者 ：	平坂　仁志						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】月曜3限						

■授業概要

中国語を聞き、話し、読み、書くことに慣れ親しみ、初歩的な中国語を用いてコミュニケーションが図れるようにします。「総合１」では、中国語の音節構造を理解し、発音表記（ピンイン）に習熟することが第一の目標となりますが、簡単な自己紹介や日常会話ができるよう、文法の基礎もしっかりと学んでいきます。「中国語総合1」と「中国語総合2」は継続して履修登録してください。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語・その他の言語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「総合2」と併せて、中国語検定準4級程度の基本語彙と文法力を身につけます。この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー４の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表及び課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載する。

■教科書

[ISBN]9784764707269 『近大漢語 初級編』 (原田信, 金星堂：2022)

■参考文献

辞書：
[ISBN]9784385121703 『デイリーコンサイス中日・日中辞典 第3版 中型版』 (杉本 達夫, 三省堂：2013)
[ISBN]9784095156040 『中日辞典 第3版』 (北京商務印書館, 小学館：2016)
参考書：
[ISBN]9784061489875 『はじめての中国語 (講談社現代新書)』 (相原 茂, 講談社：1990)
[ISBN]9784480056665 『中国語はじめの一歩 (ちくま新書)』 (木村 英樹, 筑摩書房：1996)

■関連科目

中国語総合2，中国語総合3・4

■授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

教室で各教員に直接確認して下さい。

■オフィスアワー

教室で各教員に直接確認して下さい。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　発音編１(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：シラバスを読むとともに、これから学ぼうとする言語について調べておく。
予習時間：45分
復習内容：授業内容を読み返して復習する。
復習時間：45分
※声調
※軽声
※単母音

第2回　発音編２(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語を読み返し復習する。
復習時間：45分
※子音

第3回　発音編３(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語を読み返し復習する。
復習時間：45分
※複母音
※鼻母音

第4回　発音編４(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
※声調の変化
数字・年月日・代名詞の表現

第5回　発音編のまとめ(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分

第6回　第1课　自我介绍(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１“是”を用いる文
２否定文
３比較文
４名前の聞き方　答え方

第7回　第1课 自我介绍(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第8回　第2课 你吃什么？(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。

予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１動詞述語文
２時間詞
３疑問詞疑問文
４“的”の用法

第9回　第2课 你吃什么？(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第10回　第1课と第2课の復習(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
学んだ単語、文法項目について復習、応用練習を行なう。

第11回　第3课 出门(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１連動文
２文末の“吧”と“呢”
３助動詞の“想”と“要”
４“这”“那”“哪”と“这个”“那个”“哪个”

第12回　第3课 出门(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第13回　第4课 买东西(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１形容詞述語文
２選択疑問文
３“有”と“没有
４“有点儿”と“一点儿”

第14回　第4课 买东西(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第15回　総復習(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分

復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
前期で学んだ単語、文法項目について復習、応用練習を行なう。

定期試験

■ホームページ

近畿大学　http://www.kindai.ac.jp

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**中国語総合1**						
英文名 ：	Basic Chinese 1						
担当者 ：	平坂　仁志						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】月曜2限						

■授業概要

中国語を聞き、話し、読み、書くことに慣れ親しみ、初歩的な中国語を用いてコミュニケーションが図れるようにします。「総合１」では、中国語の音節構造を理解し、発音表記（ピンイン）に習熟することが第一の目標となりますが、簡単な自己紹介や日常会話ができるよう、文法の基礎もしっかりと学んでいきます。「中国語総合1」と「中国語総合2」は継続して履修登録してください。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語・その他の言語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「総合2」と併せて、中国語検定準4級程度の基本語彙と文法力を身につけます。この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー４の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表及び課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載する。

■教科書

[ISBN]9784764707269 『近大漢語 初級編』 (原田信, 金星堂：2022)

■参考文献

辞書：
[ISBN]9784385121703 『デイリーコンサイス中日・日中辞典 第3版 中型版』 (杉本 達夫, 三省堂：2013)
[ISBN]9784095156040 『中日辞典 第3版』 (北京商務印書館, 小学館：2016)
参考書：
[ISBN]9784061489875 『はじめての中国語 (講談社現代新書)』 (相原 茂, 講談社：1990)
[ISBN]9784480056665 『中国語はじめの一歩 (ちくま新書)』 (木村 英樹, 筑摩書房：1996)

■関連科目

中国語総合2，中国語総合3・4

■授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

教室で各教員に直接確認して下さい。

■オフィスアワー

教室で各教員に直接確認して下さい。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　発音編１(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：シラバスを読むとともに、これから学ぼうとする言語について調べておく。
予習時間：45分
復習内容：授業内容を読み返して復習する。
復習時間：45分
※声調
※軽声
※単母音

第2回　発音編２(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語を読み返し復習する。
復習時間：45分
※子音

第3回　発音編３(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語を読み返し復習する。
復習時間：45分
※複母音
※鼻母音

第4回　発音編４(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
※声調の変化
数字・年月日・代名詞の表現

第5回　発音編のまとめ(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分

第6回　第1课　自我介绍(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１“是”を用いる文
２否定文
３比較文
４名前の聞き方　答え方

第7回　第1课 自我介绍(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第8回　第2课 你吃什么？(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。

予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１動詞述語文
２時間詞
３疑問詞疑問文
４“的”の用法

第9回　第2课 你吃什么？(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第10回　第1课と第2课の復習(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
学んだ単語、文法項目について復習、応用練習を行なう。

第11回　第3课 出门(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１連動文
２文末の“吧”と“呢”
３助動詞の“想”と“要”
４“这”“那”“哪”と“这个”“那个”“哪个”

第12回　第3课 出门(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第13回　第4课 买东西(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１形容詞述語文
２選択疑問文
３“有”と“没有
４“有点儿”と“一点儿”

第14回　第4课 买东西(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第15回　総復習(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分

復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
前期で学んだ単語、文法項目について復習、応用練習を行なう。

定期試験

■ホームページ

近畿大学　http://www.kindai.ac.jp

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**中国語総合1**						
英文名 ：	Basic Chinese 1						
担当者 ：	村田　浩						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】月曜3限						

■授業概要

中国語を聞き、話し、読み、書くことに慣れ親しみ、初歩的な中国語を用いてコミュニケーションが図れるようにします。「総合１」では、中国語の音節構造を理解し、発音表記（ピンイン）に習熟することが第一の目標となりますが、簡単な自己紹介や日常会話ができるよう、文法の基礎もしっかりと学んでいきます。「中国語総合1」と「中国語総合2」は継続して履修登録してください。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語・その他の言語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「総合2」と併せて、中国語検定準4級程度の基本語彙と文法力を身につけます。この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー４の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表及び課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載する。

■教科書

[ISBN]9784764707269 『近大漢語 初級編』 (原田信, 金星堂：2022)

■参考文献

辞書：
[ISBN]9784385121703 『デイリーコンサイス中日・日中辞典 第3版 中型版』 (杉本 達夫, 三省堂：2013)
[ISBN]9784095156040 『中日辞典 第3版』 (北京商務印書館, 小学館：2016)
参考書：
[ISBN]9784061489875 『はじめての中国語 (講談社現代新書)』 (相原 茂, 講談社：1990)
[ISBN]9784480056665 『中国語はじめの一歩 (ちくま新書)』 (木村 英樹, 筑摩書房：1996)

■関連科目

中国語総合2，中国語総合3・4

■授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

教室で各教員に直接確認して下さい。

■オフィスアワー

教室で各教員に直接確認して下さい。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　発音編１(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：シラバスを読むとともに、これから学ぼうとする言語について調べておく。
予習時間：45分
復習内容：授業内容を読み返して復習する。
復習時間：45分
※声調
※軽声
※単母音

第2回　発音編２(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語を読み返し復習する。
復習時間：45分
※子音

第3回　発音編３(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語を読み返し復習する。
復習時間：45分
※複母音
※鼻母音

第4回　発音編４(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
※声調の変化
数字・年月日・代名詞の表現

第5回　発音編のまとめ(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分

第6回　第1课　自我介绍(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１“是”を用いる文
２否定文
３比較文
４名前の聞き方　答え方

第7回　第1课 自我介绍(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第8回　第2课 你吃什么？(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。

予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１動詞述語文
２時間詞
３疑問詞疑問文
４“的”の用法

第9回　第2课 你吃什么？(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第10回　第1课と第2课の復習(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
学んだ単語、文法項目について復習、応用練習を行なう。

第11回　第3课 出门(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１連動文
２文末の“吧”と“呢”
３助動詞の“想”と“要”
４“这”“那”“哪”と“这个”“那个”“哪个”

第12回　第3课 出门(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第13回　第4课 买东西(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１形容詞述語文
２選択疑問文
３“有”と“没有
４“有点儿”と“一点儿”

第14回　第4课 买东西(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第15回　総復習(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分

復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
前期で学んだ単語、文法項目について復習、応用練習を行なう。

定期試験

■ホームページ

近畿大学　http://www.kindai.ac.jp

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**中国語総合1**						
英文名 ：	Basic Chinese 1						
担当者 ：	村田　浩						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】月曜2限						

■授業概要

中国語を聞き、話し、読み、書くことに慣れ親しみ、初歩的な中国語を用いてコミュニケーションが図れるようにします。「総合１」では、中国語の音節構造を理解し、発音表記（ピンイン）に習熟することが第一の目標となりますが、簡単な自己紹介や日常会話ができるよう、文法の基礎もしっかりと学んでいきます。「中国語総合1」と「中国語総合2」は継続して履修登録してください。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語・その他の言語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「総合2」と併せて、中国語検定準4級程度の基本語彙と文法力を身につけます。この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー４の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表及び課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載する。

■教科書

[ISBN]9784764707269 『近大漢語 初級編』 (原田信, 金星堂：2022)

■参考文献

辞書：
[ISBN]9784385121703 『デイリーコンサイス中日・日中辞典 第3版 中型版』 (杉本 達夫, 三省堂：2013)
[ISBN]9784095156040 『中日辞典 第3版』 (北京商務印書館, 小学館：2016)
参考書：
[ISBN]9784061489875 『はじめての中国語 (講談社現代新書)』 (相原 茂, 講談社：1990)
[ISBN]9784480056665 『中国語はじめの一歩 (ちくま新書)』 (木村 英樹, 筑摩書房：1996)

■関連科目

中国語総合2，中国語総合3・4

■授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

教室で各教員に直接確認して下さい。

■オフィスアワー

教室で各教員に直接確認して下さい。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　発音編１(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：シラバスを読むとともに、これから学ぼうとする言語について調べておく。
予習時間：45分
復習内容：授業内容を読み返して復習する。
復習時間：45分
※声調
※軽声
※単母音

第2回　発音編２(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語を読み返し復習する。
復習時間：45分
※子音

第3回　発音編３(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語を読み返し復習する。
復習時間：45分
※複母音
※鼻母音

第4回　発音編４(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
※声調の変化
数字・年月日・代名詞の表現

第5回　発音編のまとめ(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分

第6回　第1课　自我介绍(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１“是”を用いる文
２否定文
３比較文
４名前の聞き方　答え方

第7回　第1课 自我介绍(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第8回　第2课 你吃什么？(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。

予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１動詞述語文
２時間詞
３疑問詞疑問文
４“的”の用法

第9回　第2课 你吃什么？(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第10回　第1课と第2课の復習(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
学んだ単語、文法項目について復習、応用練習を行なう。

第11回　第3课 出门(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１連動文
２文末の“吧”と“呢”
３助動詞の“想”と“要”
４“这”“那”“哪”と“这个”“那个”“哪个”

第12回　第3课 出门(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第13回　第4课 买东西(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１形容詞述語文
２選択疑問文
３“有”と“没有
４“有点儿”と“一点儿”

第14回　第4课 买东西(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第15回　総復習(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分

復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
前期で学んだ単語、文法項目について復習、応用練習を行なう。

定期試験

■ホームページ

近畿大学　http://www.kindai.ac.jp

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**中国語総合2**						
英文名 ：	Basic Chinese 2						
担当者 ：	髙尾　有紀						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】月曜3限						

■授業概要

「総合2」では、「総合1」で習熟したピンインを見て、一字一句正確に発音できることを目指します。また平易な文章を聞き、話すことができるよう中国語の基礎的知識を身につけ、初級レベルのコミュニケーションが図れるようにします。「中国語総合1」と「中国語総合2」は継続して履修登録してください。「総合1」を履修せずに「総合2」を履修することはできません。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語・その他の言語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「総合1」と併せて、中国語検定準4級程度の基本語彙と文法力を身につけます。この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー４の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表及び課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載する。

■教科書

[ISBN]9784764707269 『近大漢語 初級編』 (原田信, 金星堂：2022)

■参考文献

辞書：
[ISBN]9784385121703 『デイリーコンサイス中日・日中辞典 第3版, 中型版』 (杉本達夫, 三省堂)
[ISBN]9784095156040 『中日辞典 第3版』 (北京商務印書館, 小学館：2016)
参考書：
[ISBN]9784061489875 『はじめての中国語 （講談社現代新書 987）』 (相原茂, 講談社)
[ISBN]9784480056665 『中国語はじめの一歩 （ちくま新書 066）』 (木村英樹, 筑摩書房)

■関連科目

中国語総合1，中国語総合3・4

■授業評価アンケート実施方法

学部実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

教室で各教員に直接確認して下さい。

■オフィスアワー

教室で各教員に直接確認して下さい。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　総合１の復習(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
総合１で学んだ基本単語・文法について復習を行なう。

第2回　第5課 打工(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１２つの“在”
２“在”と“有”
３“也”と“都”、その他の副詞
４さまざまな量詞

第3回　第5課 打工(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第4回　第6課 看病(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１完了、変化、条件の“了”
２反復疑問文
３動詞の重ね型

第5回　第6課 看病(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第6回　第7課 旅游(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１時量詞
２前置詞“从”“到”“离”
３二つの“给”

第7回　第7課 旅游(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第8回　第5课～第7课の復習(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した全体的内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
第5课から第7课まで学んだ単語・文法項目について復習・応用練習を行なう。

第9回　第8课 学外语(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１経験の“过”
２３つの「できる」…“会”/“能”/“可以”
３結果補語

第10回　第8课 学外语(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第11回　第9课 考试(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１進行の“在”
２方向補語（単純方向補語）
３比較表現

第12回　第9课 考试(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第13回　第10课 聚会(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１持続の“着”
２可能補語
３離合詞

第14回　第10课 聚会(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第15回　総復習(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。

復習時間：45分
第8課～第10課を中心とした総復習を行なう。

定期試験

■ホームページ

近畿大学　http://www.kindai.ac.jp

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**中国語総合2**						
英文名 ：	Basic Chinese 2						
担当者 ：	髙尾　有紀						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】月曜2限						

■授業概要

「総合2」では、「総合1」で習熟したピンインを見て、一字一句正確に発音できることを目指します。また平易な文章を聞き、話すことができるよう中国語の基礎的知識を身につけ、初級レベルのコミュニケーションが図れるようにします。「中国語総合1」と「中国語総合2」は継続して履修登録してください。「総合1」を履修せずに「総合2」を履修することはできません。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語・その他の言語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「総合1」と併せて、中国語検定準4級程度の基本語彙と文法力を身につけます。この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー４の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表及び課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載する。

■教科書

[ISBN]9784764707269 『近大漢語 初級編』 (原田信, 金星堂：2022)

■参考文献

辞書：
[ISBN]9784385121703 『デイリーコンサイス中日・日中辞典 第3版, 中型版』 (杉本達夫, 三省堂)
[ISBN]9784095156040 『中日辞典 第3版』 (北京商務印書館, 小学館：2016)
参考書：
[ISBN]9784061489875 『はじめての中国語 （講談社現代新書 987）』 (相原茂, 講談社)
[ISBN]9784480056665 『中国語はじめの一歩 （ちくま新書 066）』 (木村英樹, 筑摩書房)

■関連科目

中国語総合1，中国語総合3・4

■授業評価アンケート実施方法

学部実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

教室で各教員に直接確認して下さい。

■オフィスアワー

教室で各教員に直接確認して下さい。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　総合１の復習(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
総合１で学んだ基本単語・文法について復習を行なう。

第2回　第5課 打工(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１２つの“在”
２“在”と“有”
３“也”と“都”、その他の副詞
４さまざまな量詞

第3回　第5課 打工(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第4回　第6課 看病(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１完了、変化、条件の“了”
２反復疑問文
３動詞の重ね型

第5回　第6課 看病(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第6回　第7課 旅游(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１時量詞
２前置詞“从”“到”“离”
３二つの“给”

第7回　第7課 旅游(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第8回　第5课～第7课の復習(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した全体的内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
第5课から第7课まで学んだ単語・文法項目について復習・応用練習を行なう。

第9回　第8课 学外语(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１経験の“过”
２３つの「できる」…“会”/“能”/“可以”
３結果補語

第10回　第8课 学外语(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第11回　第9课 考试(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１進行の“在”
２方向補語（単純方向補語）
３比較表現

第12回　第9课 考试(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第13回　第10课 聚会(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１持続の“着”
２可能補語
３離合詞

第14回　第10课 聚会(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第15回　総復習(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。

復習時間：45分
第8課～第10課を中心とした総復習を行なう。

定期試験

■ホームページ

近畿大学　http://www.kindai.ac.jp

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**中国語総合2**						
英文名 ：	Basic Chinese 2						
担当者 ：	東條　智恵						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】月曜3限						

■授業概要

「総合2」では、「総合1」で習熟したピンインを見て、一字一句正確に発音できることを目指します。また平易な文章を聞き、話すことができるよう中国語の基礎的知識を身につけ、初級レベルのコミュニケーションが図れるようにします。「中国語総合1」と「中国語総合2」は継続して履修登録してください。「総合1」を履修せずに「総合2」を履修することはできません。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語・その他の言語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「総合1」と併せて、中国語検定準4級程度の基本語彙と文法力を身につけます。この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー４の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表及び課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載する。

■教科書

[ISBN]9784764707269 『近大漢語 初級編』 (原田信, 金星堂：2022)

■参考文献

辞書：
[ISBN]9784385121703 『デイリーコンサイス中日・日中辞典 第3版, 中型版』 (杉本達夫, 三省堂)
[ISBN]9784095156040 『中日辞典 第3版』 (北京商務印書館, 小学館：2016)
参考書：
[ISBN]9784061489875 『はじめての中国語 （講談社現代新書 987）』 (相原茂, 講談社)
[ISBN]9784480056665 『中国語はじめの一歩 （ちくま新書 066）』 (木村英樹, 筑摩書房)

■関連科目

中国語総合1，中国語総合3・4

■授業評価アンケート実施方法

学部実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

教室で各教員に直接確認して下さい。

■オフィスアワー

教室で各教員に直接確認して下さい。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　総合１の復習(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
総合１で学んだ基本単語・文法について復習を行なう。

第2回　第5課 打工(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１２つの“在”
２“在”と“有”
３“也”と“都”、その他の副詞
４さまざまな量詞

第3回　第5課 打工(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第4回　第6課 看病(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１完了、変化、条件の“了”
２反復疑問文
３動詞の重ね型

第5回　第6課 看病(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第6回　第7課 旅游(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１時量詞
２前置詞“从”“到”“离”
３二つの“给”

第7回　第7課 旅游(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第8回　第5课～第7课の復習(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した全体的内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
第5课から第7课まで学んだ単語・文法項目について復習・応用練習を行なう。

第9回　第8课 学外语(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１経験の“过”
２３つの「できる」…“会”/“能”/“可以”
３結果補語

第10回　第8课 学外语(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第11回　第9课 考试(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１進行の“在”
２方向補語（単純方向補語）
３比較表現

第12回　第9课 考试(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第13回　第10课 聚会(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１持続の“着”
２可能補語
３離合詞

第14回　第10课 聚会(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第15回　総復習(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。

復習時間：45分
第8課～第10課を中心とした総復習を行なう。

定期試験

■ホームページ

近畿大学　http://www.kindai.ac.jp

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**中国語総合2**						
英文名 ：	Basic Chinese 2						
担当者 ：	東條　智恵						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】月曜2限						

■授業概要

「総合2」では、「総合1」で習熟したピンインを見て、一字一句正確に発音できることを目指します。また平易な文章を聞き、話すことができるよう中国語の基礎的知識を身につけ、初級レベルのコミュニケーションが図れるようにします。「中国語総合1」と「中国語総合2」は継続して履修登録してください。「総合1」を履修せずに「総合2」を履修することはできません。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語・その他の言語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「総合1」と併せて、中国語検定準4級程度の基本語彙と文法力を身につけます。この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー４の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表及び課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載する。

■教科書

[ISBN]9784764707269 『近大漢語 初級編』 (原田信, 金星堂：2022)

■参考文献

辞書：
[ISBN]9784385121703 『デイリーコンサイス中日・日中辞典 第3版, 中型版』 (杉本達夫, 三省堂)
[ISBN]9784095156040 『中日辞典 第3版』 (北京商務印書館, 小学館：2016)
参考書：
[ISBN]9784061489875 『はじめての中国語 （講談社現代新書 987）』 (相原茂, 講談社)
[ISBN]9784480056665 『中国語はじめの一歩 （ちくま新書 066）』 (木村英樹, 筑摩書房)

■関連科目

中国語総合1，中国語総合3・4

■授業評価アンケート実施方法

学部実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

教室で各教員に直接確認して下さい。

■オフィスアワー

教室で各教員に直接確認して下さい。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　総合１の復習(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
総合１で学んだ基本単語・文法について復習を行なう。

第2回　第5課 打工(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１２つの“在”
２“在”と“有”
３“也”と“都”、その他の副詞
４さまざまな量詞

第3回　第5課 打工(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第4回　第6課 看病(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１完了、変化、条件の“了”
２反復疑問文
３動詞の重ね型

第5回　第6課 看病(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第6回　第7課 旅游(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１時量詞
２前置詞“从”“到”“离”
３二つの“给”

第7回　第7課 旅游(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第8回　第5课～第7课の復習(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した全体的内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
第5课から第7课まで学んだ単語・文法項目について復習・応用練習を行なう。

第9回　第8课 学外语(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１経験の“过”
２３つの「できる」…“会”/“能”/“可以”
３結果補語

第10回　第8课 学外语(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第11回　第9课 考试(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１進行の“在”
２方向補語（単純方向補語）
３比較表現

第12回　第9课 考试(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第13回　第10课 聚会(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１持続の“着”
２可能補語
３離合詞

第14回　第10课 聚会(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第15回　総復習(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。

復習時間：45分
第8課～第10課を中心とした総復習を行なう。

定期試験

■ホームページ

近畿大学　http://www.kindai.ac.jp

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**中国語総合2**						
英文名 ：	Basic Chinese 2						
担当者 ：	平坂　仁志						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】月曜3限						

■授業概要

「総合2」では、「総合1」で習熟したピンインを見て、一字一句正確に発音できることを目指します。また平易な文章を聞き、話すことができるよう中国語の基礎的知識を身につけ、初級レベルのコミュニケーションが図れるようにします。「中国語総合1」と「中国語総合2」は継続して履修登録してください。「総合1」を履修せずに「総合2」を履修することはできません。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語・その他の言語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「総合1」と併せて、中国語検定準4級程度の基本語彙と文法力を身につけます。この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー４の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表及び課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載する。

■教科書

[ISBN]9784764707269 『近大漢語 初級編』 (原田信, 金星堂：2022)

■参考文献

辞書：
[ISBN]9784385121703 『デイリーコンサイス中日・日中辞典 第3版, 中型版』 (杉本達夫, 三省堂)
[ISBN]9784095156040 『中日辞典 第3版』 (北京商務印書館, 小学館：2016)
参考書：
[ISBN]9784061489875 『はじめての中国語 （講談社現代新書 987）』 (相原茂, 講談社)
[ISBN]9784480056665 『中国語はじめの一歩 （ちくま新書 066）』 (木村英樹, 筑摩書房)

■関連科目

中国語総合1，中国語総合3・4

■授業評価アンケート実施方法

学部実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

教室で各教員に直接確認して下さい。

■オフィスアワー

教室で各教員に直接確認して下さい。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　総合１の復習(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
総合１で学んだ基本単語・文法について復習を行なう。

第2回　第5課 打工(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１２つの“在”
２“在”と“有”
３“也”と“都”、その他の副詞
４さまざまな量詞

第3回　第5課 打工(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第4回　第6課 看病(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１完了、変化、条件の“了”
２反復疑問文
３動詞の重ね型

第5回　第6課 看病(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第6回　第7課 旅游(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１時量詞
２前置詞“从”“到”“离”
３二つの“给”

第7回　第7課 旅游(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第8回　第5课～第7课の復習(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した全体的内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
第5课から第7课まで学んだ単語・文法項目について復習・応用練習を行なう。

第9回　第8课 学外语(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１経験の“过”
２３つの「できる」…“会”/“能”/“可以”
３結果補語

第10回　第8课 学外语(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第11回　第9课 考试(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１進行の“在”
２方向補語（単純方向補語）
３比較表現

第12回　第9课 考试(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第13回　第10课 聚会(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１持続の“着”
２可能補語
３離合詞

第14回　第10课 聚会(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第15回　総復習(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。

復習時間：45分
第8課～第10課を中心とした総復習を行なう。

定期試験

■ホームページ

近畿大学　http://www.kindai.ac.jp

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**中国語総合2**						
英文名 ：	Basic Chinese 2						
担当者 ：	平坂　仁志						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】月曜2限						

■授業概要

「総合2」では、「総合1」で習熟したピンインを見て、一字一句正確に発音できることを目指します。また平易な文章を聞き、話すことができるよう中国語の基礎的知識を身につけ、初級レベルのコミュニケーションが図れるようにします。「中国語総合1」と「中国語総合2」は継続して履修登録してください。「総合1」を履修せずに「総合2」を履修することはできません。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語・その他の言語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「総合1」と併せて、中国語検定準4級程度の基本語彙と文法力を身につけます。この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー４の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表及び課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載する。

■教科書

[ISBN]9784764707269 『近大漢語 初級編』 (原田信, 金星堂：2022)

■参考文献

辞書：
[ISBN]9784385121703 『デイリーコンサイス中日・日中辞典 第3版, 中型版』 (杉本達夫, 三省堂)
[ISBN]9784095156040 『中日辞典 第3版』 (北京商務印書館, 小学館：2016)
参考書：
[ISBN]9784061489875 『はじめての中国語 （講談社現代新書 987）』 (相原茂, 講談社)
[ISBN]9784480056665 『中国語はじめの一歩 （ちくま新書 066）』 (木村英樹, 筑摩書房)

■関連科目

中国語総合1，中国語総合3・4

■授業評価アンケート実施方法

学部実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

教室で各教員に直接確認して下さい。

■オフィスアワー

教室で各教員に直接確認して下さい。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　総合１の復習(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
総合１で学んだ基本単語・文法について復習を行なう。

第2回　第5課 打工(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１２つの“在”
２“在”と“有”
３“也”と“都”、その他の副詞
４さまざまな量詞

第3回　第5課 打工(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第4回　第6課 看病(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１完了、変化、条件の“了”
２反復疑問文
３動詞の重ね型

第5回　第6課 看病(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第6回　第7課 旅游(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１時量詞
２前置詞“从”“到”“离”
３二つの“给”

第7回　第7課 旅游(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第8回　第5课～第7课の復習(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した全体的内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
第5课から第7课まで学んだ単語・文法項目について復習・応用練習を行なう。

第9回　第8课 学外语(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１経験の“过”
２３つの「できる」…“会”/“能”/“可以”
３結果補語

第10回　第8课 学外语(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第11回　第9课 考试(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１進行の“在”
２方向補語（単純方向補語）
３比較表現

第12回　第9课 考试(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第13回　第10课 聚会(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１持続の“着”
２可能補語
３離合詞

第14回　第10课 聚会(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第15回　総復習(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。

復習時間：45分
第8課～第10課を中心とした総復習を行なう。

定期試験

■ホームページ

近畿大学　http://www.kindai.ac.jp

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**中国語総合2**						
英文名 ：	Basic Chinese 2						
担当者 ：	村田　浩						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】月曜3限						

■授業概要

「総合2」では、「総合1」で習熟したピンインを見て、一字一句正確に発音できることを目指します。また平易な文章を聞き、話すことができるよう中国語の基礎的知識を身につけ、初級レベルのコミュニケーションが図れるようにします。「中国語総合1」と「中国語総合2」は継続して履修登録してください。「総合1」を履修せずに「総合2」を履修することはできません。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語・その他の言語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「総合1」と併せて、中国語検定準4級程度の基本語彙と文法力を身につけます。この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー４の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表及び課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載する。

■教科書

[ISBN]9784764707269 『近大漢語 初級編』 (原田信, 金星堂：2022)

■参考文献

辞書：
[ISBN]9784385121703 『デイリーコンサイス中日・日中辞典 第3版, 中型版』 (杉本達夫, 三省堂)
[ISBN]9784095156040 『中日辞典 第3版』 (北京商務印書館, 小学館：2016)
参考書：
[ISBN]9784061489875 『はじめての中国語 （講談社現代新書 987）』 (相原茂, 講談社)
[ISBN]9784480056665 『中国語はじめの一歩 （ちくま新書 066）』 (木村英樹, 筑摩書房)

■関連科目

中国語総合1，中国語総合3・4

■授業評価アンケート実施方法

学部実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

教室で各教員に直接確認して下さい。

■オフィスアワー

教室で各教員に直接確認して下さい。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　総合１の復習(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
総合１で学んだ基本単語・文法について復習を行なう。

第2回　第5課 打工(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１２つの“在”
２“在”と“有”
３“也”と“都”、その他の副詞
４さまざまな量詞

第3回　第5課 打工(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第4回　第6課 看病(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１完了、変化、条件の“了”
２反復疑問文
３動詞の重ね型

第5回　第6課 看病(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第6回　第7課 旅游(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１時量詞
２前置詞“从”“到”“离”
３二つの“给”

第7回　第7課 旅游(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第8回　第5课～第7课の復習(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した全体的内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
第5课から第7课まで学んだ単語・文法項目について復習・応用練習を行なう。

第9回　第8课 学外语(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１経験の“过”
２３つの「できる」…“会”/“能”/“可以”
３結果補語

第10回　第8课 学外语(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第11回　第9课 考试(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１進行の“在”
２方向補語（単純方向補語）
３比較表現

第12回　第9课 考试(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第13回　第10课 聚会(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１持続の“着”
２可能補語
３離合詞

第14回　第10课 聚会(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第15回　総復習(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。

復習時間：45分
第8課～第10課を中心とした総復習を行なう。

定期試験

■ホームページ

近畿大学　http://www.kindai.ac.jp

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**中国語総合2**						
英文名 ：	Basic Chinese 2						
担当者 ：	村田　浩						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】月曜2限						

■授業概要

「総合2」では、「総合1」で習熟したピンインを見て、一字一句正確に発音できることを目指します。また平易な文章を聞き、話すことができるよう中国語の基礎的知識を身につけ、初級レベルのコミュニケーションが図れるようにします。「中国語総合1」と「中国語総合2」は継続して履修登録してください。「総合1」を履修せずに「総合2」を履修することはできません。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語・その他の言語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「総合1」と併せて、中国語検定準4級程度の基本語彙と文法力を身につけます。この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー４の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表及び課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載する。

■教科書

[ISBN]9784764707269 『近大漢語 初級編』 (原田信, 金星堂：2022)

■参考文献

辞書：
[ISBN]9784385121703 『デイリーコンサイス中日・日中辞典 第3版, 中型版』 (杉本達夫, 三省堂)
[ISBN]9784095156040 『中日辞典 第3版』 (北京商務印書館, 小学館：2016)
参考書：
[ISBN]9784061489875 『はじめての中国語 （講談社現代新書 987）』 (相原茂, 講談社)
[ISBN]9784480056665 『中国語はじめの一歩 （ちくま新書 066）』 (木村英樹, 筑摩書房)

■関連科目

中国語総合1，中国語総合3・4

■授業評価アンケート実施方法

学部実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

教室で各教員に直接確認して下さい。

■オフィスアワー

教室で各教員に直接確認して下さい。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　総合１の復習(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
総合１で学んだ基本単語・文法について復習を行なう。

第2回　第5課 打工(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１２つの“在”
２“在”と“有”
３“也”と“都”、その他の副詞
４さまざまな量詞

第3回　第5課 打工(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第4回　第6課 看病(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１完了、変化、条件の“了”
２反復疑問文
３動詞の重ね型

第5回　第6課 看病(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第6回　第7課 旅游(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１時量詞
２前置詞“从”“到”“离”
３二つの“给”

第7回　第7課 旅游(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第8回　第5课～第7课の復習(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した全体的内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
第5课から第7课まで学んだ単語・文法項目について復習・応用練習を行なう。

第9回　第8课 学外语(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１経験の“过”
２３つの「できる」…“会”/“能”/“可以”
３結果補語

第10回　第8课 学外语(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第11回　第9课 考试(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１進行の“在”
２方向補語（単純方向補語）
３比較表現

第12回　第9课 考试(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第13回　第10课 聚会(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
新出単語の説明、各文法項目に関する解説
１持続の“着”
２可能補語
３離合詞

第14回　第10课 聚会(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習、練習問題を解く

第15回　総復習(授業形式：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。

復習時間：45分
第8課～第10課を中心とした総復習を行なう。

定期試験

■ホームページ

近畿大学　http://www.kindai.ac.jp

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**中国語総合3**						
英文名 ：	Basic Chinese 3						
担当者 ：	山口　博子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】木曜2限						

■授業概要

中国語総合1，2を履修し、基礎的事項を習得した学生を対象とする科目です。
中国語総合1，2で学習した単語や文法事項を復習しながら、単語量と文法的な知識を増やし、自分の言葉で表現できる力を養います。「総合3」では、主に「読む」と「書く」に重点を置き、中国語運用能力の基礎を身につけます。中国語を読んで理解し、自分の言いたいことが書けること、また情報や自分の考えを場面や目的に応じて適切に伝えられることを目指します。「中国語総合3」と「中国語総合4」は継続して履修登録してください。この科目を履修するには、前年までに「総合1/2」のうち、少なくとも一方の単位を取得している必要があります。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語・その他の言語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

総合４とあわせて、中国語検定４級程度の常用語彙と文法力を身につけます。この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー４の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表及び課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載する。

■教科書

[ISBN]9784255453439 『もっと話そう!異文化おもしろ体験中級中国語』 (陳淑梅, 朝日出版社：2021)

■参考文献

辞書：
[ISBN]9784385121703 『デイリーコンサイス中日・日中辞典 第3版, 中型版』 (杉本達夫, 三省堂)
[ISBN]9784095156040 『中日辞典 第3版』 (北京商務印書館, 小学館 : 2016)
参考書：
[ISBN]9784061489875 『はじめての中国語 （講談社現代新書 987）』 (相原茂, 講談社)
[ISBN]9784480056665 『中国語はじめの一歩 （ちくま新書 066）』 (木村英樹, 筑摩書房)

■関連科目

中国語総合1，2，4

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

教室で各教員に直接確認してください。

■オフィスアワー

教室で各教員に直接確認してください。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　中国語の復習（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
発音を中心に、中国語総合1・2で学習した内容を復習する

第2回　第１課　入学式の日（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
文法：「学習ポイント」（動詞“在”、疑問詞“怎么”、助動詞“要”）
読解：「本文」

第3回　第１課　入学式の日（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
会話練習：「ワードリスト」
リスニング&リーディング

第4回　第２課　食事に誘う（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
文法：「学習ポイント」（仮定表現“如果～的话”、兼語文、選択疑問文A“还是”B）
読解：「本文」

第5回　第２課　食事に誘う（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
会話練習：「ワードリスト」
リスニング&リーディング

第6回　第３課　ラーメン屋さんの前で（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
文法：「学習ポイント」（結果補語、副詞“冈”+動詞、単純方向補語）
読解：「本文」

第7回　第３課　ラーメン屋さんの前で（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
会話練習：「ワードリスト」
リスニング&リーディング

第8回　第１課～第３課の復習（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分

第9回　第４課　何を食べようか？（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
文法：「学習ポイント」（同じ疑問詞を呼応させる表現、量詞、注文するときに使われる構文）
読解：「本文」

第10回　第４課　何を食べようか？（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
会話練習：「ワードリスト」
リスニング&リーディング

第11回　第５課　中国語の何が難しい？（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
文法：「学習ポイント」（様態補語、“是～的”構文、前置詞の“在”）
読解：「本文」

第12回　第５課　中国語の何が難しい？（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
会話練習：「ワードリスト」
リスニング&リーディング

第13回　第６課　夏休みはどうする？（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
文法：「学習ポイント」（“快要～了” / “就要～了”、比較を表す表現、時間量の使い方）
読解：「本文」

第14回　第６課　夏休みはどうする？（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
会話練習：「ワードリスト」
リスニング&リーディング

第15回　「総合３」の復習（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分

定期試験

■ホームページ

近畿大学　http://www.kindai.ac.jp

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**中国語総合3**						
英文名 ：	Basic Chinese 3						
担当者 ：	山口　博子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】木曜1限						

■授業概要

中国語総合1，2を履修し、基礎的事項を習得した学生を対象とする科目です。
中国語総合1，2で学習した単語や文法事項を復習しながら、単語量と文法的な知識を増やし、自分の言葉で表現できる力を養います。「総合3」では、主に「読む」と「書く」に重点を置き、中国語運用能力の基礎を身につけます。中国語を読んで理解し、自分の言いたいことが書けること、また情報や自分の考えを場面や目的に応じて適切に伝えられることを目指します。「中国語総合3」と「中国語総合4」は継続して履修登録してください。この科目を履修するには、前年までに「総合1/2」のうち、少なくとも一方の単位を取得している必要があります。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語・その他の言語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

総合４とあわせて、中国語検定４級程度の常用語彙と文法力を身につけます。この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー４の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表及び課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載する。

■教科書

[ISBN]9784255453439 『もっと話そう!異文化おもしろ体験中級中国語』 (陳淑梅, 朝日出版社：2021)

■参考文献

辞書：
[ISBN]9784385121703 『デイリーコンサイス中日・日中辞典 第3版, 中型版』 (杉本達夫, 三省堂)
[ISBN]9784095156040 『中日辞典 第3版』 (北京商務印書館, 小学館 ： 2016)
参考書：
[ISBN]9784061489875 『はじめての中国語 （講談社現代新書 987）』 (相原茂, 講談社)
[ISBN]9784480056665 『中国語はじめの一歩 （ちくま新書 066）』 (木村英樹, 筑摩書房)

■関連科目

中国語総合1，2，4

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

教室で各教員に直接確認してください。

■オフィスアワー

教室で各教員に直接確認してください。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　中国語の復習（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
発音を中心に、中国語総合1・2で学習した内容を復習する

第2回　第１課　入学式の日（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
文法：「学習ポイント」（動詞“在”、疑問詞“怎么”、助動詞“要”）
読解：「本文」

第3回　第１課　入学式の日（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
会話練習：「ワードリスト」
リスニング&リーディング

第4回　第２課　食事に誘う（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
文法：「学習ポイント」（仮定表現“如果～的话”、兼語文、選択疑問文A“还是”B）
読解：「本文」

第5回　第２課　食事に誘う（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
会話練習：「ワードリスト」
リスニング&リーディング

第6回　第３課　ラーメン屋さんの前で（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
文法：「学習ポイント」（結果補語、副詞“冈”+動詞、単純方向補語）
読解：「本文」

第7回　第３課　ラーメン屋さんの前で（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
会話練習：「ワードリスト」
リスニング&リーディング

第8回　第１課～第３課の復習（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分

第9回　第４課　何を食べようか？（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
文法：「学習ポイント」（同じ疑問詞を呼応させる表現、量詞、注文するときに使われる構文）
読解：「本文」

第10回　第４課　何を食べようか？（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
会話練習：「ワードリスト」
リスニング&リーディング

第11回　第５課　中国語の何が難しい？（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
文法：「学習ポイント」（様態補語、“是～的”構文、前置詞の“在”）
読解：「本文」

第12回　第５課　中国語の何が難しい？（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
会話練習：「ワードリスト」
リスニング&リーディング

第13回　第６課　夏休みはどうする？（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
文法：「学習ポイント」（“快要～了” / “就要～了”、比較を表す表現、時間量の使い方）
読解：「本文」

第14回　第６課　夏休みはどうする？（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
会話練習：「ワードリスト」
リスニング&リーディング

第15回　「総合３」の復習（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分

定期試験

■ホームページ

近畿大学　http://www.kindai.ac.jp

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**中国語総合4**						
英文名 ：	Basic Chinese 4						
担当者 ：	山口　博子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】木曜2限						

■授業概要

「中国語総合３」に引き続き、語彙と文法的な知識を増やし、自分の言葉で表現できる力を養い、総合的な中国語運用能力を伸ばしてゆきます。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語・その他の言語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「中国語総合３」とあわせて、中国語検定４級程度の常用語彙と文法力を身につけます。この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー４の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表及び課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載する。

■教科書

[ISBN]9784255453439 『もっと話そう!異文化おもしろ体験中級中国語』 (陳淑梅, 朝日出版社：2021)

■参考文献

[ISBN]9784385121703 『デイリーコンサイス中日・日中辞典 第3版, 中型版』 (杉本達夫, 三省堂)
[ISBN]9784095156040 『中日辞典 第3版』 (北京商務印書館, 小学館：2016)
[ISBN]9784061489875 『はじめての中国語 （講談社現代新書 987）』 (相原茂, 講談社)
[ISBN]9784480056665 『中国語はじめの一歩 （ちくま新書 066）』 (木村英樹, 筑摩書房)

■関連科目

中国語総合１・２・３

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

教室で各教員に直接確認して下さい。

■オフィスアワー

教室で各教員に直接確認して下さい。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　総合３の復習（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：これまで学習した内容を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
前期で習った内容を復習する

第2回　第７課　このワンピース、似合う？（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
文法：「学習ポイント」（助動詞“可以”、程度副詞いろいろ、“觉得”の使い方）
読解：「本文」

第3回　第７課　このワンピース、似合う？（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習：「ワードリスト」
リスニング&リーディング

第4回　第８課　具合が悪いの？（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
文法：「学習ポイント」（“一～就…”の言い方、禁止を表す副詞“别”、助動詞“能”）
読解：「本文」

第5回　第８課　具合が悪いの？（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習：「ワードリスト」
リスニング&リーディング

第6回　第９課　日本の電車はほんとうに静か（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
文法：「学習ポイント」（複文“虽然～但是…”、複文“不是～就是…”、“听说”）
読解：「本文」

第7回　第９課　日本の電車はほんとうに静か（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習：「ワードリスト」
リスニング&リーディング

第8回　復習１（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：これまで学習した内容を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
第７課～第９課の復習

第9回　第１０課　ちょっと休みましょう（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
文法：「学習ポイント」（形容詞＋“极了” / “死了”、可能補語、動詞の重ね型）
読解：「本文」

第10回　第１０課　ちょっと休みましょう（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習：「ワードリスト」
リスニング&リーディング

第11回　第１１課　メリー・クリスマス！（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
文法：「学習ポイント」（“把”構文、前置詞“为” / “为了”、複合方向補語）
読解：「本文」

第12回　第１１課　メリー・クリスマス！（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習：「ワードリスト」
リスニング&リーディング

第13回　第１２課　ますます日本が好きになった（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
文法：「学習ポイント」（“越来越”、使役表現、助動詞の“得”）
読解：「本文」

第14回　第１２課　ますます日本が好きになった（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習：「ワードリスト」
リスニング&リーディング

第15回　復習２（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：これまで学習した内容を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
第１０課～第１２課の復習

定期試験

■ホームページ

近畿大学　http://www.kindai.ac.jp

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**中国語総合4**						
英文名 ：	Basic Chinese 4						
担当者 ：	山口　博子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】木曜1限						

■授業概要

「中国語総合３」に引き続き、語彙と文法的な知識を増やし、自分の言葉で表現できる力を養い、総合的な中国語運用能力を伸ばしてゆきます。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語・その他の言語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「中国語総合３」とあわせて、中国語検定４級程度の常用語彙と文法力を身につけます。この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー４の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表及び課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載する。

■教科書

[ISBN]9784255453439 『もっと話そう!異文化おもしろ体験中級中国語』 (陳淑梅, 朝日出版社：2021)

■参考文献

[ISBN]9784385121703 『デイリーコンサイス中日・日中辞典 第3版, 中型版』 (杉本達夫, 三省堂)
[ISBN]9784095156040 『中日辞典 第3版』 (北京商務印書館, 小学館：2016)
[ISBN]9784061489875 『はじめての中国語 （講談社現代新書 987）』 (相原茂, 講談社)
[ISBN]9784480056665 『中国語はじめの一歩 （ちくま新書 066）』 (木村英樹, 筑摩書房)

■関連科目

中国語総合１・２・３

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

教室で各教員に直接確認して下さい。

■オフィスアワー

教室で各教員に直接確認して下さい。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　総合３の復習（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：これまで学習した内容を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
前期で習った内容を復習する

第2回　第７課　このワンピース、似合う？（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
文法：「学習ポイント」（助動詞の“可以”、程度副詞いろいろ、“觉得”の使い方）
読解：「本文」

第3回　第７課　このワンピース、似合う？（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習：「ワードリスト」
リスニング&リーディング

第4回　第８課　具合が悪いの？（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
文法：「学習ポイント」（“一～就…”の言い方、禁止を表す副詞“别”、助動詞“能”）
読解：「本文」

第5回　第８課　具合が悪いの？（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習：「ワードリスト」
リスニング&リーディング

第6回　第９課　日本の電車はほんとうに静か（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
文法：「学習ポイント」（複文“虽然～但是…”、複文“不是～就是…”、“听说”）
読解：「本文」

第7回　第９課　日本の電車はほんとうに静か（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習：「ワードリスト」
リスニング&リーディング

第8回　復習１（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：これまで学習した内容を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
第７課～第９課の復習

第9回　第１０課　ちょっと休みましょう（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
文法：「学習ポイント」（形容詞＋“极了” / “死了”、可能補語、動詞の重ね型）
読解：「本文」

第10回　第１０課　ちょっと休みましょう（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習：「ワードリスト」
リスニング&リーディング

第11回　第１１課　メリー・クリスマス！（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
文法：「学習ポイント」（“把”構文、前置詞“为” / “为了”、複合方向補語）
読解：「本文」

第12回　第１１課　メリー・クリスマス！（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習：「ワードリスト」
リスニング&リーディング

第13回　第１２課　ますます日本が好きになった（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
文法：「学習ポイント」（“越来越”、使役表現、助動詞の“得”）
読解：「本文」

第14回　第１２課　ますます日本が好きになった（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所は調べておく。
予習時間：45分
復習内容：既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。
復習時間：45分
会話練習：「ワードリスト」
リスニング&リーディング

第15回　復習２（授業形式:講義またはアクティブラーニング）

予習内容：これまで学習した内容を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。
予習時間：45分
復習内容：復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。
復習時間：45分
第１０課～第１２課の復習

定期試験

■ホームページ

近畿大学　http://www.kindai.ac.jp

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**発展理系英語 1**						
英文名　：	Applied Science English 1						
担当者　：	玉井　潤野						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	3年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：							

■授業概要

「発展理系英語２」と合わせて、研究発表やプレゼンテーションで能動的に使用できる語彙・構文のストックを増やすことを目的とします。WebサイトTEDで公開されている英語話者のプレゼンテーションを主な教材とします。ただし、受講者の数が比較的少数の場合や、受講者の習熟度や興味・関心の方向性などに応じて、授業内容や教材は柔軟に変更します（詳細は各回の授業で説明します）。特に、英語で文章を書いたり自身の見解を述べたりする状況を想定して英語力を高めたい学生の受講を歓迎します。受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がけてください。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

理系英語論文において頻繁に使われるテンプレート的な表現・文型を一定量暗記して、論文やプレゼンの目的、自身の主張の内容などについて簡潔・明確に答えられる語学力を身に着けること。また、授業中の課題としてプレゼンテーションを行い、人前での口頭発表の際に気を付ける事柄などを実践的に身に着ける。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

学期末のプレゼンテーション 50%
授業内の小テスト 30%
その他の提出課題 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

予習としてリーディングの課題を出す場合は、授業中にの要点を解説します。習熟度を図る小テストを行う場合、Web上もしくは授業中に正解を示し解説します。

■教科書

特に指定しません。

■参考文献

–

■関連科目

発展理系英語２

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

玉井研究室（2号館5階506室）・junyatamai@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

月曜日の２・３限、火曜日の１限（事前にメールで予約してください。）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　オリエンテーション（授業形式：講義）

予習内容：自身の今後の進路に関して英語力が必要とされる状況があるかどうか考え、まとめておくこと。
予習時間：30分
復習内容：授業の内容を踏まえて、今後自身が特に伸ばさねばならない英語の技能について考えておくこと。
復習時間：30分
授業全体についての概説

第2回　Patricia Ryan: "Don't Insist on English!"（前半）（授業形式：講義および演習）

予習内容：事前にトークを聴き、分からない単語等について調べておくこと。
予習時間：60分
復習内容：トークの全体を聴き直し、自身の考えを英語で書いてみること。
復習時間：60分
世界共通語として英語が普及することの弊害について語ったPatricia Ryanのスピーチを聴く。

第3回　Patricia Ryan: "Don't Insist on English!"（後半）（授業形式：講義および演習）

予習内容：前回授業の内容を元に、各自の考えを英語で書いておくこと。
予習時間：60分
復習内容：習得した語彙・表現を中心として授業内容を復習する。
復習時間：60分
Ryanの主張を検討し、各自で賛成・反対を明確にし、自身の経験に基づいた発言を英語で書く。

第4回　Barry Schwartz: "The Paradox of Choice"（前半）（授業形式：講義および演習）

予習内容：事前にトークを聴き、分からない単語等について調べておくこと。
予習時間：60分
復習内容：トークの全体を聴き直し、自身の考えを英語で書いてみること。
復習時間：60分
多様な選択肢が存在することによる弊害について語ったBarry Schwartzのスピーチを聴く。

第5回　Barry Schwartz: "The Paradox of Choice"（後半）（授業形式：講義および演習）

予習内容：前回授業の内容を元に、各自の考えを英語で書いておくこと。
予習時間：60分
復習内容：習得した語彙・表現を中心として授業内容を復習する。
復習時間：60分
Schwartzの主張を検討し、各自で賛成・反対を明確にし、自身の経験に基づいた発言を英語で書く。

第6回　Chimamanda Ngozi Adichie: "We Should All Be Feminists"(前半)（授業形式：講義および演習）

予習内容：事前にトークを聴き、分からない単語等について調べておくこと。
予習時間：60分
復習内容：トークの全体を聴き直し、自身の考えを英語で書いてみること。
復習時間：60分
男女を問わずフェミニズムの観点を持つことの重要性を説いたAdichieのスピーチを聴く。

第7回　Chimamanda Ngozi Adichie: "We Should All Be Feminists"(後半)および中間プレゼンテーションの準備（授業形式：講義および演習）

予習内容：前回授業の内容を元に、各自の考えを英語で書いておくこと。
予習時間：60分
復習内容：習得した語彙・表現を中心として授業内容を復習する。
復習時間：60分
Adichieの主張を検討し、各自で賛成・反対を明確にし、自身の経験に基づいた発言を英語で書く。

第8回　中間プレゼンテーション（授業形式：演習）

予習内容：これまでの授業で教えた語彙・表現を活用しつつ、英語でのスピーチを用意しておく。
予習時間：60分
復習内容：授業中の指摘などを反映させてスピーチ原稿を修正する
復習時間：60分
近畿大学に入学して以降、もっとも記憶に残っている出来事・授業について各自が英語でスピーチを行う。

第9回　Michael Kimmel: "Why Gender Equality is Good for Everyone — Men Included"（前半）（授業形式：講義および演習）

予習内容：事前にトークを聴き、分からない単語等について調べておくこと。

予習時間：60分
復習内容：トークの全体を聴き直し、自身の考えを英語で書いてみること。
復習時間：60分
フェミニズムが女性のみならず男性の幸福にもつながるものであることを説いたKimmelのスピーチを聴く。

第10回 Michael Kimmel: "Why Gender Equality is Good for Everyone — Men Included" （後半）（授業形式：講義および演習）

予習内容：前回授業の内容を元に、各自の考えを英語で書いておくこと。
予習時間：60分
復習内容：習得した語彙・表現を中心として授業内容を復習する。
復習時間：60分
Kimmelの主張を検討し、各自で賛成・反対を明確にし、自身の経験に基づいた発言を英語で書く。

第11回 Stella Young: "I'm Not Your Inspiration, Thank You Very Much"（前半）（授業形式：講義および演習）

予習内容：事前にトークを聴き、分からない単語等について調べておくこと。
予習時間：60分
復習内容：トークの全体を聴き直し、自身の考えを英語で書いてみること。
復習時間：60分
所謂「感動ポルノ」を告発したStella Youngのスピーチを聴く。

第12回 Stella Young: "I'm Not Your Inspiration, Thank You Very Much"（後半）（授業形式：講義および演習）

予習内容：前回授業の内容を元に、各自の考えを英語で書いておくこと。
予習時間：60分
復習内容：習得した語彙・表現を中心として授業内容を復習する。
復習時間：60分
Youngの主張を検討し、各自で賛成・反対を明確にし、自身の経験に基づいた発言を英語で書く。

第13回 Michael Sandel: "The Tyranny of Merit" （前半）（授業形式：講義および演習）

予習内容：事前にトークを聴き、分からない単語等について調べておくこと。
予習時間：60分
復習内容：トークの全体を聴き直し、自身の考えを英語で書いてみること。
復習時間：60分
学歴主義や実力主義が社会にもたらす悪影響について語ったSandelのスピーチを聴く。

第14回 Michael Sandel: "The Tyranny of Merit" （後半）および期末プレゼンテーションの準備（授業形式：講義および演習）

予習内容：習得した語彙・表現を中心として授業内容を復習する。
予習時間：60分
復習内容：トークの全体を聴き直し、自身の考えを英語で書いてみること。
復習時間：60分
Sandelの主張を検討し、各自で賛成・反対を明確にし、自身の経験に基づいた発言を英語で書く。

第15回 期末プレゼンテーション（授業形式：演習）

予習内容：これまでの授業で教えた語彙・表現を活用しつつ、英語でのスピーチを用意しておく。
予習時間：60分
復習内容：習得した語彙・表現を中心として授業内容を復習する。
復習時間：60分
近畿大学を卒業した後にやってみたいことについて、各自が英語でスピーチを行う。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**発展理系英語２**						
英文名　：	Applied Science English 2						
担当者　：	玉井　潤野						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	3年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：							

■授業概要

「発展理系英語１」と合わせて、研究発表やプレゼンテーションで能動的に使用できる語彙・構文のストックを増やすことを目的とします。WebサイトTEDで公開されている英語話者のプレゼンテーションを主な教材とします。ただし、受講者の数が比較的少数の場合や、受講者の習熟度や興味・関心の方向性などに応じて、授業内容や教材は柔軟に変更します（詳細は各回の授業で説明します）。特に、英語で文章を書いたり自身の見解を述べたりする状況を想定して英語力を高めたい学生の受講を歓迎します。受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がけてください。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

理系英語論文において頻繁に使われるテンプレート的な表現・文型を一定量暗記して、論文やプレゼンの目的、自身の主張の内容などについて簡潔・明確に答えられる語学力を身に着けること。また、授業中の課題としてプレゼンテーションを行い、人前での口頭発表の際に気を付ける事柄などを実践的に身に着ける。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

学期末のプレゼンテーション 50%
授業内の小テスト 30%
その他の提出課題 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

予習としてリーディングの課題を出す場合は、授業中にの要点を解説します。習熟度を図る小テストを行う場合、Web上もしくは授業中に正解を示し解説します。

■教科書

特に指定しません。

■参考文献

–

■関連科目

発展理系英語１

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

玉井研究室（2号館5階506室）・junyatamai@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

月曜日の２・３限、火曜日の１限（事前にメールで予約してください。）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション（授業形式：講義）

予習内容：自身の今後の進路に関して英語力が必要とされる状況があるかどうか考え、まとめておくこと。
予習時間：30分
復習内容：授業の内容を踏まえて、今後自身が特に伸ばさねばならない英語の技能について考えておくこと。
復習時間：30分
授業全体についての概説

第2回 Sherry Turkle: "Connected, but alone?" （前半）（授業形式：講義および演習）

予習内容：事前にトークを聴き、分からない単語等について調べておくこと。
予習時間：60分
復習内容：トークの全体を聴き直し、自身の考えを英語で書いてみること。
復習時間：60分
デジタル技術の発達によって生じているコミュニケーション能力の低下に関するTurkleのスピーチを聴く。

第3回 Sherry Turkle: "Connected, but alone?" （後半）（授業形式：講義および演習）

予習内容：前回授業の内容を元に、各自の考えを英語で書いておくこと。
予習時間：60分
復習内容：習得した語彙・表現を中心として授業内容を復習する。
復習時間：60分
Turkleの主張を検討し、各自で賛成・反対を明確にし、自身の経験に基づいた発言を英語で書く。

第4回 Joseph Gordon-Levitt: “How craving attention makes you less creative”（前半）（授業形式：講義および演習）

予習内容：事前にトークを聴き、分からない単語等について調べておくこと。
予習時間：60分
復習内容：トークの全体を聴き直し、自身の考えを英語で書いてみること。
復習時間：60分
注目を集めようと努力することと創造性を発揮することの違いについてのGordon-Levittのスピーチを聴く。

第5回 Joseph Gordon-Levitt: “How craving attention makes you less creative”（後半）（授業形式：講義および演習）

予習内容：前回授業の内容を元に、各自の考えを英語で書いておくこと。
予習時間：60分
復習内容：習得した語彙・表現を中心として授業内容を復習する。
復習時間：60分
Gordon-Levittの主張を検討し、各自で賛成・反対を明確にし、自身の経験に基づいた発言を英語で書く。

第6回 Barry Schwartz: “The way we think about work is broken” （前半）（授業形式：講義および演習）

予習内容：事前にトークを聴き、分からない単語等について調べておくこと。
予習時間：60分
復習内容：トークの全体を聴き直し、自身の考えを英語で書いてみること。
復習時間：60分
賃金以上のものを獲得するための仕事の意義についてのSchwartzのスピーチを聴く。

第7回 Barry Schwartz: “The way we think about work is broken” （後半）（授業形式：講義および演習）

予習内容：前回授業の内容を元に、各自の考えを英語で書いておくこと。
予習時間：60分
復習内容：習得した語彙・表現を中心として授業内容を復習する。
復習時間：60分
Schwartzの主張を検討し、各自で賛成・反対を明確にし、自身の経験に基づいた発言を英語で書く。

第8回 中間プレゼンテーション（授業形式：演習）

予習内容：これまでの授業で教えた語彙・表現を活用しつつ、英語でのスピーチを用意しておく。
予習時間：60分
復習内容：授業中の指摘などを反映させてスピーチ原稿を修正する
復習時間：60分
各自でひとつTEDのトークを選択し、その内容を要約し解説する英語のプレゼンテーションを行う。

第9回 Antonio Damasio: “The quest to understand consciousness” （第一回）（授業形式：講義および演習）

予習内容：事前にトークを聴き、分からない単語等について調べておくこと。

予習時間：60分
復習内容：トークの全体を聴き直し、自身の考えを英語で書いてみること。
復習時間：60分
神経科学者Damasioのスピーチを聴く。

第10回 Antonio Damasio: “The quest to understand consciousness”（第二回）（授業形式：講義および演習）

予習内容：改めてトークを聴き、分からない単語・構文等が無いかチェックしておくこと。
予習時間：60分
復習内容：習得した語彙・表現を中心として授業内容を復習する。
復習時間：60分
Damasioのスピーチを参考にしながら、やや専門的な内容を発表する時の頻出表現を学ぶ。

第11回 Antonio Damasio: “The quest to understand consciousness”（第三回）（授業形式：講義および演習）

予習内容：事前にトークを聴き、分からない単語等について調べておくこと。
予習時間：60分
復習内容：トークの全体を聴き直し、自身の考えを英語で書いてみること。
復習時間：60分
Damasioのスピーチを参考にしながら、やや専門的な内容を発表する時の頻出表現を学ぶ。

第12回 Robert Waldinger: “What makes a good life? Lessons from the longest study on happiness”（前半）（授業形式：講義および演習）

予習内容：事前にトークを聴き、分からない単語等について調べておくこと。
予習時間：60分
復習内容：習得した語彙・表現を中心として授業内容を復習する。
復習時間：60分
人間が幸せや生きがいを感じるための要因についての研究に携わるWaldingerのスピーチを聴く。

第13回 Robert Waldinger: “What makes a good life? Lessons from the longest study on happiness”（後半）（授業形式：講義および演習）

予習内容：事前にトークを聴き、分からない単語等について調べておくこと。
予習時間：60分
復習内容：習得した語彙・表現を中心として授業内容を復習する。
復習時間：60分
Waldingerの研究で明らかになった知見について自身の見解をまとめておく。

第14回 および期末プレゼンテーションの準備（授業形式：講義および演習）

予習内容：各自でいくつかTEDトークを視聴し、どのようなトークを取り上げるか考えておくこと。
予習時間：60分
復習内容：授業内容を復習し、とりあげるトークを決定してプレゼンテーション用の原稿を作成すること。
復習時間：60分
自身の興味・関心に合わせてTEDトークを選び、それを紹介する期末プレゼンテーションの準備を行う。

第15回 期末プレゼンテーション（授業形式：演習）

予習内容：これまでの授業で教えた語彙・表現を活用しつつ、英語でのスピーチを用意しておく。
予習時間：60分
復習内容：習得した語彙・表現を中心として授業内容を復習する。
復習時間：60分
各自、TEDトークをひとつとりあげて英語でスピーチを行う。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**理系英語１**						
英文名　：	Academic English 1						
担当者　：	大西　里奈						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】水曜3限　食品安全工学科、人間環境デザイン工学科開講科目						

■授業概要

地球環境問題、生物多様性、宇宙科学など、現代および近未来の自然科学と科学技術に関するトピックを英語で深く理解し、読む、書く、聴く、話すの英語４技能を総合的に伸ばすことを目標とする。少人数グループによる協同的な学び合い活動を導入し、お互いに助け合いながら、苦手意識の克服、自然科学および英語の面白さへの気づきを促進する。教員が指示するWeb教材の課題は必ず提出し、受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がけること。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

PBL（課題解決学習）・ディスカッション、ディベート・反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「理系英語２」と合わせて、300～400語程度で書かれた学術系の文章について、ところどころ辞書を引きながら、スムーズに読める力を身に付ける。そのために、複雑な文の構造を見抜くヒント、長い文章の読むべきポイント等を身に付ける。生物理工学部の学生に必要不可欠な（1）地球環境問題、生物多様性、宇宙科学など、現代および近未来の自然科学と科学技術に関するトピックを英語で理解し、（2）読む、書く、聴く、話すの英語４技能を総合的に伸ばし、（3）グループ内で助け合いながら、苦手意識の克服、自然科学および英語の面白さへの気づきを促進する。この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
発表および課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説を授業内で行い、また適宜UNIVERSALPASSPORT に掲載します。

■教科書

[ISBN]9784791972050 『Science Quest / 未来科学への誘い』 (誠祐, 安浪, 成美堂：2020)

■参考文献

授業中に適宜お知らせします。

■関連科目

理系英語２

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・rina.ohnishi@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　ガイダンスと英語の学び方（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：初回は特にありませんが、テキストにざっと目を通してきてください。
予習時間：30分
復習内容：ガイダンス内容を反芻し、できれば記録しておいてください。
復習時間：30分
ガイダンス：履修上の諸注意、協同学習用グループ編成、英語学習の手引き等。

第2回　MI理論による各自の知能特性の把握と学習法（授業形式：演習）

予習内容：多重知能（MI）理論について事前に調べておいてもらえると理解が促進されます。
予習時間：30分
復習内容：学習した内容を反芻し、自分の知能特性とその活かし方について考えてください。
復習時間：30分
各自の知能特性と、英語の楽しさを知ってもらうための活動。プロジェクト研究のテーマ設定。

第3回　動物たちの眠り（授業形式：演習）

予習内容：テキストUnit1の内容把握と課題への回答。
予習時間：60分
復習内容：当該課の内容で特に不得手だった内容および復習テストへの対応
復習時間：60分
教科書 Unit 1. 動物たちの眠り

第4回　種消滅の危機（授業形式：演習）

予習内容：テキストUnit2の内容把握と課題への回答。
予習時間：90分
復習内容：当該課の内容で特に不得手だった内容および復習テストへの対応
復習時間：60分
Unit 2.　種消滅の危機

第5回　ミツバチがいなくなったら（授業形式：演習）

予習内容：テキストUnit3の内容把握と課題への回答。
予習時間：90分
復習内容：当該課の内容で特に不得手だった内容および復習テストへの対応
復習時間：60分
Unit 3.　ミツバチがいなくなったら

第6回　賢い動物たち（授業形式：演習）

予習内容：テキストUnit4の内容把握と課題への回答。
予習時間：90分
復習内容：当該課の内容で特に不得手だった内容および復習テストへの対応
復習時間：60分
Unit 4. 賢い動物たち

第7回　海洋の生態系（授業形式：演習）

予習内容：テキストUnit5の内容把握と課題への回答。
予習時間：90分
復習内容：当該課の内容で特に不得手だった内容および復習テストへの対応
復習時間：60分
Unit 5. 海洋の生態系

第8回　クリーンエネルギー（授業形式：演習）

予習内容：テキストUnit6の内容把握と課題への回答。
予習時間：90分
復習内容：当該課の内容で特に不得手だった内容および復習テストへの対応
復習時間：60分
Unit 6. クリーンエネルギー

第9回　太陽光発電（授業形式：演習）

予習内容：テキストUnit7の内容把握と課題への回答。

予習時間：90分
復習内容：当該課の内容で特に不得手だった内容および復習テストへの対応
復習時間：60分
Unit 7. 太陽光発電

第10回　水の重要性（授業形式：演習）

予習内容：テキストUnit8の内容把握と課題への回答。
予習時間：90分
復習内容：当該課の内容で特に不得手だった内容および復習テストへの対応
復習時間：60分
Unit 8. 水の重要性

第11回　深刻な森林破壊の現状（授業形式：演習）

予習内容：テキストUnit9の内容把握と課題への回答。
予習時間：90分
復習内容：当該課の内容で特に不得手だった内容および復習テストへの対応
復習時間：60分
Unit 9. 深刻な森林破壊の現状

第12回　気象変動がもたらすもの（授業形式：演習）

予習内容：テキストUnit10の内容把握と課題への回答。
予習時間：90分
復習内容：当該課の内容で特に不得手だった内容および復習テストへの対応
復習時間：60分
Unit 10. 気象変動がもたらすもの

第13回　プロジェクト研究発表1（授業形式：演習）

予習内容：事前に提示された各グループの研究テーマに関する予備知識を獲得しておく。
予習時間：60分
復習内容：各プロジェクト研究を視聴して興味を持ったないし疑問に思った点の確認
復習時間：60分
各グループごとのプロジェクト研究発表1

第14回　プロジェクト研究発表2（授業形式：演習）

予習内容：事前に提示された各グループの研究テーマに関する予備知識を獲得しておく。
予習時間：60分
復習内容：各プロジェクト研究を視聴して興味を持ったないし疑問に思った点の確認
復習時間：60分
各グループごとのプロジェクト研究発表2

第15回　総括的な振り返り（授業形式：演習）

予習内容：前期に学習した内容全般について
予習時間：120分
復習内容：自分の弱点を認識し、克服の方策を考える。
復習時間：60分
前期に学習した内容についての総括的な振り返り

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**理系英語１**						
英文名　：	Academic English 1						
担当者　：	長田　希好						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】水曜3限　食品安全工学科、人間環境デザイン工学科開講科目						

■授業概要

理系の学術英語を確実に理解できるようになること、「速読」と「精読」の二種類の読み方のテクニックを習得し、その二つを巧みに組み合わせながら文章を読解できるようになることを目標とする。理系英語１では、各ユニットにある「工学」、「脳科学」、「健康」、「環境保護」、「気候変動」などに関する英文を読みその内容把握を問う練習問題を解くことにより、読解力を養う。授業には必ず辞書を持参すること。各教員が指示したWeb教材の課題は必ず提出すること。また、受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がける。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「理系英語２」と合わせて、300 ～ 400語程度で書かれた学術系の文章について、ところどころ辞書を引きながら、スムーズに読める力を身に付ける。そのために、複雑な文の構造を見抜くヒント、長い文章の読むべきポイント等を身に付ける。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
発表および課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後（試験期間終了後）に「試験の要点と解説」をGoogle Classroomに掲載します。

■教科書

[ISBN]9784255156927 『大学生のためのCNNサイエンス』 (乾まどか, 朝日出版社：2022)

■参考文献

特に指定しない。

■関連科目

理系英語２

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室(2号館2階)　k-ci_osa@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

該当科目開講時の前後休憩時間とします。

■**授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間**

第1回 Orientation and Introduction(授業形式:講義)

予習内容：テキストのUnit 1～6に目を通し概要、そのレベルを確認しておくこと。
予習時間：30分
復習内容：前期の学習範囲の各Unitのリーディングを読み、それぞれの所要時間を記録しておくこと。
復習時間：60分
授業の進め方の説明
・予習の進め方
・授業の進め方
・課題
受講に際しての注意事項
・欠席／遅刻について
・定期試験について
・総合評価について
その他、受講に際しての重要事項について

第2回 Unit 1 New Shield against Growing Threat Part 1(授業形式:講義)

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。テキストの内容把握問題を解いておくこと。
予習時間：60分
復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。
復習時間：30分
商品開発と感染症抑制に関する英文を読み解く。

第3回 Unit 1 New Shield against Growing Threat Part 2(授業形式:講義)

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。テキストの内容把握問題を解いておくこと。
予習時間：60分
復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。
復習時間：30分
商品開発と感染症抑制に関する英文を読み解く。

第4回 Unit 2 No Basis for Bias Part 1(授業形式:講義)

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。テキストの内容把握問題を解いておくこと。
予習時間：60分
復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。
復習時間：30分
数学の能力と男女差に関する英文を読み解く。

第5回 Unit 2 No Basis for Bias Part 2(授業形式:講義)

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。テキストの内容把握問題を解いておくこと。
予習時間：60分
復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。
復習時間：30分
数学の能力と男女差に関する英文を読み解く。

第6回 Unit 3 A Formula for Feeling Good Part 1(授業形式:講義)

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。テキストの内容把握問題を解いておくこと。
予習時間：60分
復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。
復習時間：30分
音楽と脳科学に関する英文を読み解く。

第7回 Unit 3 A Formula for Feeling Good Part 2(授業形式:講義)

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。テキストの内容把握問題を解いておくこと。
予習時間：60分
復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。
復習時間：30分
音楽と脳科学に関する英文を読み解く。

第8回 Review 1(授業形式:講義)

予習内容：Unit 1～3のリーディングを読み、理解が完全か確認しておくこと。疑問点がある場合にはメモし質問できるようにしておくこと。

予習時間：60分
復習内容：復習授業で取り上げた各Unitの難易度の高い箇所を理解できるようになること。
復習時間：30分
Unit 1～3の復習

第9回 Unit 4 For a Longer, Healthier Life Part 1(授業形式:講義)

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。テキストの内容把握問題を解いておくこと。
予習時間：60分
復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。
復習時間：30分
犬と飼い主の健康への影響に関する英文を読み解く。

第10回 Unit 4 For a Longer, Healthier Life Part 2(授業形式:講義)

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。テキストの内容把握問題を解いておくこと。
予習時間：60分
復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。
復習時間：30分
犬と飼い主の健康への影響に関する英文を読み解く。

第11回 Unit 5 Giving Nature a Helping Hand Part 1(授業形式:講義)

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。テキストの内容把握問題を解いておくこと。
予習時間：60分
復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。
復習時間：30分
サンゴ礁と環境保護に関する英文を読み解く。

第12回 Unit 5 Giving Nature a Helping Hand Part 2(授業形式:講義)

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。テキストの内容把握問題を解いておくこと。
予習時間：60分
復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。
復習時間：30分
サンゴ礁と環境保護に関する英文を読み解く。

第13回 Unit 6 Pooling Resources for a Cleaner World Part 1(授業形式:講義)

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。テキストの内容把握問題を解いておくこと。
予習時間：60分
復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。
復習時間：30分
仮想発電所に関する英文を読み解く。

第14回 Unit 6 Pooling Resources for a Cleaner World Part 2(授業形式:講義)

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。テキストの内容把握問題を解いておくこと。
予習時間：60分
復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。
復習時間：30分
仮想発電所に関する英文を読み解く。

第15回 Review 2(授業形式:講義)

予習内容：Unit 4～6のリーディングを読み、理解が完全か確認しておくこと。疑問点がある場合にはメモし質問できるようにしておくこと。
予習時間：60分
復習内容：復習授業で取り上げた各Unitの難易度の高い箇所を理解できるようになること。
復習時間：30分
Unit 4～6の復習

定期試験

テキストの内容の理解度を試す。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**理系英語１**						
英文名　：	Academic English 1						
担当者　：	勝井　典子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】水曜3限　食品安全工学科、人間環境デザイン工学科開講科目						

■授業概要

理系の学術英語基礎力を養うことを目的に、理系語彙を用いたリスニング、リーディング、ライティング、スピーキング能力の習得を図る。フランスを拠点とする報道機関AFP通信が有する映像ニュースから科学・技術に関する最新映像を視聴し、刻々と変容する世界の事象を生きた英語で学ぶ。各ユニットにある映像に関する内容把握問題、聴き取り問題を通じて映像や音声から情報を得る能力を養い、スクリプト読解により読解力の充実を図る。また、発展的に自ら調べ、発表する課題をこなすことにより、専門的語彙やプレゼンテーションの形式に慣れる。各教員が指示したWeb教材の課題は必ず提出すること。受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がける。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「理系英語２」と合わせて、300 ～ 400語程度で書かれた学術系の文章について、ところどころ辞書を引きながら、スムーズに読める力を身に付ける。そのために、複雑な文の構造を見抜くヒント、長い文章の読むべきポイント等を身に付ける。英語による科学・技術関連のニュースにおいて、キーワードを聞きとり、大まかな内容を聴解することができる。プレゼンテーションの原稿を作り、発表することができる。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
発表および課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

模範解答をGoogle Classroomに掲示します。

■教科書

[ISBN]9784791972319 『AFP SciTech Futures』 (椋平淳　Bill Benfield他著、成美堂：2021)

■参考文献

特に指定しない。

■関連科目

理系英語２

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室(2号館2階)　mochi0110@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

該当科目開講時の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Orientation and Introduction (授業形式：講義)

予習内容：テキストのUnit 1～10に目を通しその概要やレベルを確認しておくこと。
予習時間：30分
復習内容：ガイダンス内容の確認。
復習時間：10分
授業の進め方、予習復習、課題提出、評価方法の説明
受講に際しての注意事項
グループ編成

第2回 Unit 1 Dissolving Bags (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：Web動画や音声ファイルを視聴し、スクリプト内のわからない語彙を辞書で調べておく。
予習時間：60分
復習内容：授業で解説した文の構造や表現などを確認する。
復習時間：40分
インドネシア発のニュース映像の内容を理解する。語彙、語法、表現、文法を学ぶ。

第3回 Unit 2 Farm beneath the Streets (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：Web動画や音声ファイルを視聴し、スクリプト内のわからない語彙を辞書で調べておく。
予習時間：60分
復習内容：授業で解説した文の構造や表現などを確認する。
復習時間：40分
イギリス発のニュース映像の内容を理解する。語彙、語法、表現、文法を学ぶ。

第4回 Unit 3 Mechanics are Men - Think Again! (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：Web動画や音声ファイルを視聴し、スクリプト内のわからない語彙を辞書で調べておく。
予習時間：60分
復習内容：授業で解説した文の構造や表現などを確認する。
復習時間：40分
アメリカ発のニュース映像の内容を理解する。語彙、語法、表現、文法を学ぶ。

第5回 Unit 4 Pets Get High-class Health Care (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：Web動画や音声ファイルを視聴し、スクリプト内のわからない語彙を辞書で調べておく。
予習時間：60分
復習内容：授業で解説した文の構造や表現などを確認する。
復習時間：40分
アメリカ発のニュース映像の内容を理解する。語彙、語法、表現、文法を学ぶ。

第6回 Unit 5 Life with the Iron Lady (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：Web動画や音声ファイルを視聴し、スクリプト内のわからない語彙を辞書で調べておく。
予習時間：60分
復習内容：授業で解説した文の構造や表現などを確認する。
復習時間：40分
フランス発のニュース映像の内容を理解する。語彙、語法、表現、文法を学ぶ。

第7回 Review 1 (授業形式：演習)

予習内容：Unit 1～5のWeb動画や音声ファイルの視聴及びテキストの問題の復習で、理解を完全にしておくこと。
予習時間：60分
復習内容：テストの模範解答を確認する。
復習時間：40分
Unit 1～5の復習テスト

第8回 Unit 6 Drone for the Disabled (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：Web動画や音声ファイルを視聴し、スクリプト内のわからない語彙を辞書で調べておく。
予習時間：60分
復習内容：復習授業で取り上げた各Unitの難易度の高い箇所を理解できるようになること。
復習時間：40分
アルゼンチン発のニュース映像の内容を理解する。語彙、語法、表現、文法を学ぶ。

第9回 Unit 7 Crucial Minutes (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：Web動画や音声ファイルを視聴し、スクリプト内のわからない語彙を辞書で調べておく。
予習時間：60分
復習内容：授業で解説した文の構造や表現などを確認する。
復習時間：40分
アメリカ発のニュース映像の内容を理解する。語彙、語法、表現、文法を学ぶ。

第10回 Unit 8 Mites vs Parasites (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：Web動画や音声ファイルを視聴し、スクリプト内のわからない語彙を辞書で調べておく。
予習時間：60分
復習内容：授業で解説した文の構造や表現などを確認する。
復習時間：40分
スペイン発のニュース映像の内容を理解する。語彙、語法、表現、文法を学ぶ。

第11回 Unit 9 Gearing up for a New Top Speed (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：Web動画や音声ファイルを視聴し、スクリプト内のわからない語彙を辞書で調べておく。
予習時間：60分
復習内容：授業で解説した文の構造や表現などを確認する。
復習時間：40分
南アフリカ発のニュース映像の内容を理解する。語彙、語法、表現、文法を学ぶ。

第12回 Unit 10 New Skin from a Printer (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：Web動画や音声ファイルを視聴し、スクリプト内のわからない語彙を辞書で調べておく。
予習時間：60分
復習内容：授業で解説した文の構造や表現などを確認する。
復習時間：40分
フランス発のニュース映像の内容を理解する。語彙、語法、表現、文法を学ぶ。

第13回 Review 2 (授業形式：演習)

予習内容：Unit 6～10のWeb動画や音声ファイルの視聴及びテキストの問題の復習で、理解を完全にしておくこと。
予習時間：60分
復習内容：テストの模範解答を確認する。
復習時間：40分
Unit 6-10の復習テスト

第14回 Group Presentation Day 1 (授業形式：演習)

予習内容：プレゼンテーションの準備を行う。
予習時間：180分
復習内容：他のグループのプレゼンテーション内容を振り返り、評価する。
復習時間：40分
グループワークの成果を発表する。興味のある科学・技術関連のニュースを選択し、映像資料とともに紹介、解説する。

第15回 Group Presentation Day 2 (授業形式：演習)

予習内容：プレゼンテーションの準備を行う
予習時間：180分
復習内容：他のグループのプレゼンテーション内容を振り返り、評価する。
復習時間：40分
グループワークの成果を発表する。興味のある科学・技術関連のニュースを選択し、映像資料とともに紹介、解説する。

定期試験

語彙、語法、表現、文法を問う。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**理系英語１**						
英文名　：	Academic English 1						
担当者　：	澤邉　興平						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】水曜3限　食品安全工学科、人間環境デザイン工学科開講科目						

■授業概要

・指定教科書内の、科学エッセイの部分の読解に重点を置いた学習を行います。
・授業中に各受講生の担当課題範囲を決め翌週に発表してもらう形式なので、積極的に授業に参加してください。
・授業には辞書を必ず持参しましょう。
・受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がけてください。
・教員が指示したWeb教材の課題は必ず提出すること。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「理系英語2」と合わせて、基礎英語力の向上と科学英語への関心を養うことを本授業の教育目標とします。
・300 ～400語程度で書かれた学術系の文章について、ところどころ辞書を引きながら、スムーズに読める力を身に付ける。
・そのために、複雑な文の構造を見抜くヒント、長い文章の読むべきポイント等を身に付ける
・本文で使われている単語や熟語を理解し、それらを自分のものとして使うことができる。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
発表および課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間内に課題担当者の答案を基に模範解答を板書として提示します。

■教科書

[ISBN]9784791971831 『Science Explorer / 身近な科学の世界』 (石井 隆之, 成美堂：2019)
【留意事項】初回授業時までに購入しておくこと。（コピー不可）

■参考文献

授業中にて指示します。

■関連科目

理系英語２

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（２号館２階）・ksawabe@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

授業時限前後の休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　オリエンテーション、ウォームアップ（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
授業の進め方の説明
・予習の進め方
・授業の進め方
・課題
受講に際しての注意事項
・欠席／遅刻について
・忘れ物（テキスト・辞書）について
・携帯電話の使用制限について
・定期試験について
・総合評価について
その他、受講に関する注意点について
科学技術英語の特徴

第2回　Unit1：Is Red a Stimulating Color?（前半）
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・赤色と刺激に関する英文を読み解く。
・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第3回　Is Red a Stimulating Color?（後半）
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・赤色と刺激に関する英文を読み解く（前回の続き）。
・色に関する他の事例を英語で読む

第4回　Unit2：Why Are Giant Pandas Black and White?（前半）
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・パンダの体色に関する英文を読み解く。
・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第5回　Why Are Giant Pandas Black and White?（後半）
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・パンダの体色に関する英文を読み解く（前回の続き）。
・食生活と進化に関する他の事例を英語で読む

第6回　Unit3：Secrets of Primates' Forward-facing Eyes（前半）
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。

予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・霊長類の両眼視に関する英文を読み解く。
・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第7回　Secrets of Primates' Forward-facing Eyes （後半）
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・霊長類の両眼視に関する英文を読み解く（前回の続き）。
・霊長類に関する他の事例を英語で読む

第8回　Unit4：Why Are Eggs Oval? （前半）
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・卵型に関する英文を読み解く。
・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第9回　Why Are Eggs Oval? （後半）
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・卵型に関する英文を読み解く（前回の続き）。
・形に関する他の事例を英語で読む

第10回　Unit5：Can Eyesight Be Improved While We Sleep? （前半）
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・視力回復に関する英文を読み解く。
・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第11回　Can Eyesight Be Improved While We Sleep? （後半）
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・視力回復に関する英文を読み解く（前回の続き）。
・視覚に関する他の事例を英語で読む

第12回　Unit6：Excessive Intake of Vitamin C Leads to Diarrhea （前半）
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・ビタミンCの過剰摂取に関する英文を読み解く。
・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第13回　Excessive Intake of Vitamin C Leads to Diarrhea （後半）
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・ビタミンCの過剰摂取に関する英文を読み解く（前回の続き）。
・過剰摂取に関する他の事例を英語で読む

第14回　Unit7：Mechanism of Sugar Addiction and How to Break It （前半）
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・糖類依存に関する英文を読み解く。
・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第15回　Mechanism of Sugar Addiction and How to Break It （後半）
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・糖類依存に関する英文を読み解く（前回の続き）。
・依存についての他の事例を英語で読む

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**理系英語１**						
英文名　：	Academic English 1						
担当者　：	根来　玲子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】水曜3限　食品安全工学科、人間環境デザイン工学科開講科目						

■授業概要

理系英語の力を身に付ける授業を行う。NationalGeographic Explorer という科学系雑誌の掲載記事を用いた教材を使い、一般的な自然科学系の内容の英文に触れる。関連用語を身に付けながら、内容把握をし読解力を養う。自然科学に関する英文を通し最先端の科学情報や社会の出来事を読み解き、英語の基礎力を固め、英語での情報収集や発信力を身に付けるようにする。授業には必ず辞書を持参すること。各教員が指示したWeb教材の課題は必ず提出すること。また受講期間中にランゲージスペースの有効活用するように心がけてください。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「理系英語２」と合わせて、300～400語程度で書かれた学術系の文章について、ところどころ辞書を引きながら、スムーズに読める力を身につける。そのために、複雑な文の構造を見抜くヒント、長い文章を読むべきポイント等を身に付ける。この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的２および５の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表および課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

授業内およびGoogle Classroomでフィードバックします。

■教科書

[ISBN]9784863122895 『Science Frontiers』 (服部圭子, センゲージラーニング：2016)

■参考文献

授業内で必要に応じて指定します。

■関連科目

理系英語２

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・rnegoro@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

授業時間前後の休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション （授業形式：講義）

予習内容：クラス内で発表しあう英語での自己紹介を考える。シラバスの通読。
予習時間：30分
復習内容：テキストの概要を知る。
復習時間：20分
授業の進め方
・予習/復習の進め方
・課題/Google Classroomについて
受講に関しての注意事項
・出欠/遅刻について
・持参物について
・携帯電話の使用制限について
・参加態度について
・定期試験について
・総合評価について
・その他受講に関しての注意点について

第2回 Unit 1 Bare Bones 前半 （授業形式：講義、演習）

予習内容：Check Your Vocabulary！ Listen Up！ Read Aloud! を先にチェックして Let's Read!を訳しておく。
予習時間：90分
復習内容：Unit1 前半の語彙の復習。Let's Read の内容復習
復習時間：60分
骨の役割や仕組みについての文を読み、どのような情報が書かれているかを読み取る。

第3回 Unit 1 Bare Bones 後半 （授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit1 後半の語彙調べ。Check the Form! Now Listen to This! It's Your Turn!をやっておく。
予習時間：60分
復習内容：Unit1総合復習。Let's Read!の音読、内容復習。
復習時間：60分
to+動詞の原形（副詞的用法）が使いこなせるようにする。

第4回 Unit 2 Mummy Mystery 前半 （授業形式：講義、演習）

予習内容：Check Your Vocabulary！ Listen Up！ Read Aloud! を先にチェックして Let's Read!を訳しておく。
予習時間：90分
復習内容：Unit2 前半の語彙の復習。Let's Read の内容復習
復習時間：60分
ミイラについての文を読み、どのような情報が書かれているかを読み取る。

第5回 Unit 2 Mummy Mystery 前半 （授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit2 後半の語彙調べ。Check the Form! Now Listen to This! It's Your Turn!をやっておく。
予習時間：60分
復習内容：Unit2総合復習。Let's Read!の音読、内容復習。
復習時間：60分
be動詞＋過去分詞（受動態）が使いこなせるようにする。

第6回 Unit 3 Swim with Seahorses 前半 （授業形式：講義、演習）

予習内容：Check Your Vocabulary！ Listen Up！ Read Aloud! を先にチェックして Let's Read!を訳しておく。
予習時間：90分
復習内容：Unit 3 前半の語彙の復習。Let's Read の内容復習
復習時間：60分
タツノオトシゴの生態についての文を読み、どのような情報が書かれているかを読み取る。

第7回 Unit 3 Swim with Seahorses 後半 （授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit3 後半の語彙調べ。Check the Form! Now Listen to This! It's Your Turn!をやっておく。
予習時間：60分
復習内容：Unit3 総合復習。Let's Read!の音読、内容復習。
復習時間：60分
It is ～that...強調構文が使いこなせるようにする。

第8回 Unit 3 前半の語彙の復習。Let's Read の内容復習前半 （授業形式：講義、演習）

予習内容：Check Your Vocabulary！　Listen Up！　Read Aloud! を先にチェックして Let's Read!を訳しておく。
予習時間：90分
復習内容：Unit 4 前半の語彙の復習。Let's Read の内容復習
復習時間：60分
火星についての文を読み、どのような情報が書かれているかを読み取る。

第9回　Unit4 Mission to Mars 後半　（授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit4 後半の語彙調べ。Check the Form! Now Listen to This! It's Your Turn!をやっておく。
予習時間：60分
復習内容：Unit4 総合復習。Let's Read!の音読、内容復習。
復習時間：60分
動名詞が使いこなせるようにする。

第10回　Unit 5 Feed the World 前半　（授業形式：講義、演習）

予習内容：Check Your Vocabulary！　Listen Up！　Read Aloud! を先にチェックして Let's Read!を訳しておく。
予習時間：90分
復習内容：Unit 5 前半の語彙の復習。Let's Read の内容復習
復習時間：60分
食糧危機についての文を読み、どのような情報が書かれているかを読み取る。

第11回　Unit 5 Feed the World 後半　（授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit5後半の語彙調べ。Check the Form! Now Listen to This! It's Your Turn!をやっておく。
予習時間：60分
復習内容：Unit5 総合復習。Let's Read!の音読、内容復習。
復習時間：60分
keep A from B　の表現が使いこなせるようにする。

第12回　Unit 6 Into the Rain Forest 前半　（授業形式：講義、演習）

予習内容：Check Your Vocabulary！　Listen Up！　Read Aloud! を先にチェックして Let's Read!を訳しておく。
予習時間：90分
復習内容：Unit6 前半の語彙の復習。Let's Read の内容復習
復習時間：60分
ジャングルについての文を読み、どのような情報が書かれているかを読み取る。

第13回　Unit 6 Into the Rain Forest　後半　（授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit 6 後半の語彙調べ。Check the Form! Now Listen to This! It's Your Turn!をやっておく。
予習時間：60分
復習内容：Unit6 総合復習。Let's Read!の音読、内容復習。
復習時間：60分
help + 人（物）+動詞の原形　が使いこなせるようにする。

第14回　Unit 7 Turn Up the Heat 前半　（授業形式：講義、演習）

予習内容：Check Your Vocabulary！　Listen Up！　Read Aloud! を先にチェックして Let's Read!を訳しておく。
予習時間：90分
復習内容：Unit 7 前半の語彙の復習。Let's Read の内容復習
復習時間：60分
火山についての文を読み、どのような情報が書かれているかを読み取る。

第15回　Unit 7 Turn Up the Heat 後半　（授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit 7 後半の語彙調べ。Check the Form! Now Listen to This! It's Your Turn!をやっておく。
予習時間：60分
復習内容：Unit 7 総合復習。Let's Read!の音読、内容復習。
復習時間：60分
～enough to + 動詞の原形が使いこなせるようにする。

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**理系英語１〈再履修〉**						
英文名　：	Academic English 1						
担当者　：	竹中　義胤						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：							

■授業概要

本コースでは平易な科学に関する読み物を読みながら、基礎的な語彙力、必要な文的知識、及び読解力を身につけていきます。同時に単語の形態素の意味と機能について勉強し、文脈から単語の意味を推測する能力も養成していきます。各教員が指示したWeb教材の課題は必ず提出すること。受講期間中にランゲージスペースを有効活用することを心がけてください。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

基礎的な語彙力、基本的な文法知識、読解力の習得及び形態素分析の活用法の学習
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
口頭発表 30%
課題 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

メールで対応します。

■教科書

[ISBN]9784791960255 『Science Finder―科学の不思議』 (Lynch,Jonathan, 成美堂：2017)

■参考文献

特に指定しません。

■関連科目

理系英語１、理系英語２、理系英語２（再履修）

■授業評価アンケート実施方法

大学授業規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階254）・takenaka@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

該当科目開講時の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

対面授業を前提として、15 回(定期試験を含まない)

第1回 Unit 1 Digital Amnesia（スマホと物忘れの危険な関係）
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを事前に調べておく。
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
聴解練習、読解練習、ライティング、形態素分析
本文内の構文：無生物主語等の訳し方
単語の構造

第2回 Unit 2 Sleep Paralysis（金縛りは心霊現象ではなかった）
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを事前に調べておく。
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
聴解練習、読解練習、ライティング、形態素分析
本文内の構文：分詞構文等の訳し方
形態素を使った単語の覚え方等

第3回 Unit 3 Why Are Some People Better at Learning Languages?（語学力は脳で決まる？）
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを事前に調べておく。
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
聴解練習、読解練習、ライティング、形態素分析
読解のポイント整理
意訳の重要性

第4回 Unit 4 The McCollough Effect（見えないものが見えてくる―不思議なマッカロー効果）
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを事前に調べておく。
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
聴解練習、読解練習、ライティング、形態素分析
本文内の構文：無生物主語の構文等の訳し方
効率の良い語彙の増やし方：同義語・反義語について

第5回 Unit 5 The Healthiest Drink? 21（コーヒーを飲んで健康になろう）
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを事前に調べておく。
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
聴解練習、読解練習、ライティング、形態素分析
本文内の構文：文の基本構造
形態素：接頭語について

第6回 Unit 6 Health Advice for Fashion Lovers（おしゃれは危険？）
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを事前に調べておく。
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
聴解練習、読解練習、ライティング、形態素分析
本文内の構文：品詞について
形態素：語幹について

第7回 Unit 7 Live to Be 120（糖尿病治療薬が寿命を延ばす）
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを事前に調べておく。
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
聴解練習、読解練習、ライティング、形態素分析
本文内の構文：文型について
形態素：接尾語について

第8回 Unit 8 A New Antibiotic Found in the Soil（新しい抗生物質が世界を救う？）
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを事前に調べておく。
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
聴解練習、読解練習、ライティング、形態素分析
本文内の構文：文の種類
形態素：数字に関係する形態素

第9回 Unit 9 The World's Oldest Creature?（世界最高齢の生き物は貝だった）
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを事前に調べておく。
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
聴解練習、読解練習、ライティング、形態素分析
本文内の構文：転換の言葉
形態素：ギリシャ語起源の言葉（数学・科学関連）

第10回 Unit 10 Lazy Ants（巣に欠かせない怠け者のアリ）
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを事前に調べておく。
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
聴解練習、読解練習、ライティング、形態素分析
本文内の構文：トピックセンテンス
形態素：亜音速、光合成等を英語で言うとどのようになるか。

第11回 Units 1 & 2 復習（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを事前に調べておく。
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
授業内容の総復習（1）
本文内の構文：動詞（過去形・進行形）と分詞（現在分詞・過去分詞）の見分け方
本文中の語句の復習

第12回 Units 3 & 4 復習（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを事前に調べておく。
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
授業内容の総復習（2）
分詞構文と不定詞句の使い分け
本文中の語句の復習

第13回 Units 5 & 6 復習（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを事前に調べておく。
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
授業内容の総復習（3）

理系英文でよく使われる構文等の整理（分詞構文、不定詞句、関係代名詞等）
本文中の語句の復習

第14回 Units 7 & 8 復習（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを事前に調べておく。
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
授業内容の総復習（４）
本文中の重要構文の整理
本文中の語句の復習

第15回 Units 9 & 10 復習（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを事前に調べておく。
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
授業内容の総復習（５）
本文中の重要構文の整理
本文中の語句の復習

定期試験

授業中に指示します。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**理系英語１〈再履修〉**						
英文名　：	Academic English 1						
担当者　：	竹中　義胤						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：							

■授業概要

本コースでは平易な科学に関する読み物を読みながら、基礎的な語彙力、必要な文的知識、及び読解力を身につけていきます。同時に単語の形態素の意味と機能について勉強し、文脈から単語の意味を推測する能力も養成していきます。各教員が指示したWeb教材の課題は必ず提出すること。受講期間中にランゲージスペースを有効活用することを心がけてください。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

基礎的な語彙力、基本的な文法知識、読解力の習得及び形態素分析の活用法の学習
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
口頭発表 30%
課題 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

メールで対応します。

■教科書

[ISBN]9784791960255 『Science Finder―科学の不思議』 (Lynch,Jonathan, 成美堂：2017)

■参考文献

特に指定しません。

■関連科目

理系英語１、理系英語２、理系英語２（再履修）

■授業評価アンケート実施方法

大学授業規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階254）・takenaka@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

該当科目開講時の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

対面授業を前提として、15 回(定期試験を含まない)

第1回 Unit 1 Digital Amnesia（スマホと物忘れの危険な関係）
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを事前に調べておく。
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
聴解練習、読解練習、ライティング、形態素分析
本文内の構文：無生物主語等の訳し方
単語の構造

第2回 Unit 2 Sleep Paralysis（金縛りは心霊現象ではなかった）
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを事前に調べておく。
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
聴解練習、読解練習、ライティング、形態素分析
本文内の構文：分詞構文等の訳し方
形態素を使った単語の覚え方等

第3回 Unit 3 Why Are Some People Better at Learning Languages?（語学力は脳で決まる？）
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを事前に調べておく。
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
聴解練習、読解練習、ライティング、形態素分析
読解のポイント整理
意訳の重要性

第4回 Unit 4 The McCollough Effect（見えないものが見えてくる―不思議なマッカロー効果）
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを事前に調べておく。
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
聴解練習、読解練習、ライティング、形態素分析
本文内の構文：無生物主語の構文等の訳し方
効率の良い語彙の増やし方：同義語・反義語について

第5回 Unit 5 The Healthiest Drink? 21（コーヒーを飲んで健康になろう）
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを事前に調べておく。
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
聴解練習、読解練習、ライティング、形態素分析
本文内の構文：文の基本構造
形態素：接頭語について

第6回 Unit 6 Health Advice for Fashion Lovers（おしゃれは危険？）
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを事前に調べておく。
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
聴解練習、読解練習、ライティング、形態素分析
本文内の構文：品詞について
形態素：語幹について

第7回 Unit 7 Live to Be 120（糖尿病治療薬が寿命を延ばす）
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを事前に調べておく。
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
聴解練習、読解練習、ライティング、形態素分析
本文内の構文：文型について
形態素：接尾語について

第8回 Unit 8 A New Antibiotic Found in the Soil（新しい抗生物質が世界を救う？）
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを事前に調べておく。
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
聴解練習、読解練習、ライティング、形態素分析
本文内の構文：文の種類
形態素：数字に関係する形態素

第9回 Unit 9 The World's Oldest Creature?（世界最高齢の生き物は貝だった）
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを事前に調べておく。
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
聴解練習、読解練習、ライティング、形態素分析
本文内の構文：転換の言葉
形態素：ギリシャ語起源の言葉（数学・科学関連）

第10回 Unit 10 Lazy Ants（巣に欠かせない怠け者のアリ）
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを事前に調べておく。
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
聴解練習、読解練習、ライティング、形態素分析
本文内の構文：トピックセンテンス
形態素：亜音速、光合成等を英語で言うとどのようになるか。

第11回 Units 1 & 2 復習（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを事前に調べておく。
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
授業内容の総復習（1）
本文内の構文：動詞（過去形・進行形）と分詞（現在分詞・過去分詞）の見分け方
本文中の語句の復習

第12回 Units 3 & 4 復習（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを事前に調べておく。
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
授業内容の総復習（2）
分詞構文と不定詞句の使い分け
本文中の語句の復習

第13回 Units 5 & 6 復習（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを事前に調べておく。
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
授業内容の総復習（3）

理系英文でよく使われる構文等の整理（分詞構文、不定詞句、関係代名詞等）
本文中の語句の復習

第14回 Units 7 & 8 復習（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを事前に調べておく。
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
授業内容の総復習（４）
本文中の重要構文の整理
本文中の語句の復習

第15回 Units 9 & 10 復習（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを事前に調べておく。
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
授業内容の総復習（５）
本文中の重要構文の整理
本文中の語句の復習

定期試験

授業中に指示します。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**理系英語２**						
英文名　：	Academic English 2						
担当者　：	大西　里奈						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】水曜3限　食品安全工学科、人間環境デザイン工学科開講科目						

■授業概要

地球環境問題、生物多様性、宇宙科学など、現代および近未来の自然科学と科学技術に関するトピックを英語で深く理解し、読む、書く、聴く、話すの英語４技能を総合的に伸ばすことを目標とする。少人数グループによる協同的な学び合い活動を導入し、お互いに助け合いながら、苦手意識の克服、自然科学および英語の面白さへの気づきを促進する。教員が指示するWeb教材の課題は必ず提出し、受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がけること。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

PBL（課題解決学習）・ディスカッション、ディベート・反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「理系英語１」と合わせて、300～400語程度で書かれた学術系の文章について、ところどころ辞書を引きながら、スムーズに読める力を身に付ける。そのために、複雑な文の構造を見抜くヒント、長い文章の読むべきポイント等を身に付ける。生物理工学部の学生に必要不可欠な（1）地球環境問題、生物多様性、宇宙科学など、現代および近未来の自然科学と科学技術に関するトピックを英語で理解し、（2）読む、書く、聴く、話すの英語４技能を総合的に伸ばし、（3）グループ内で助け合いながら、苦手意識の克服、自然科学および英語の面白さへの気づきを促進する。この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
発表および課題 15%
実力テスト 15%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説を授業内で行い、また適宜UNIVERSALPASSPORT に掲載します。

■教科書

[ISBN]9784791972050 『Science Quest / 未来科学への誘い』 (誠祐, 安浪, 成美堂：2020)

■参考文献

授業中に適宜お知らせします。

■関連科目

理系英語１

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・rina.ohnishi@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　ガイダンスと英語の学び方（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：初回は特にありませんが、今後のテキストに目を通してきてください。
予習時間：30分
復習内容：ガイダンス内容を反芻し、できれば記録しておいてください。
復習時間：30分
ガイダンス：履修上の諸注意、協同学習用グループ編成、英語学習の手引き等。

第2回　自然科学・技術をめぐる最新のトピック（授業形式：演習）

予習内容：発表内容をまとめ、プレゼンテーションの準備を行う
予習時間：120分
復習内容：各トピックについて興味を持った点、疑問点について調査する。
復習時間：30分
自然科学・技術をめぐる最新のトピックとその概要についてグループごとに発表する。

第3回　電子書籍（授業形式：演習）

予習内容：テキスト当該課の内容把握と課題への回答。
予習時間：60分
復習内容：当該課の内容で特に不得手だった内容および復習テストへの対応
復習時間：60分
教科書 Unit 11.　電子書籍

第4回　モノのインターネット（授業形式：演習）

予習内容：テキスト当該課の内容把握と課題への回答。
予習時間：90分
復習内容：当該課の内容で特に不得手だった内容および復習テストへの対応
復習時間：60分
Unit 12.　モノのインターネット

第5回　電子商取引の世界（授業形式：演習）

予習内容：テキスト当該課の内容把握と課題への回答。
予習時間：90分
復習内容：当該課の内容で特に不得手だった内容および復習テストへの対応
復習時間：60分
Unit 13.　電子商取引の世界

第6回　クラウドファンディング（授業形式：演習）

予習内容：テキスト当該課の内容把握と課題への回答。
予習時間：90分
復習内容：当該課の内容で特に不得手だった内容および復習テストへの対応
復習時間：60分
Unit 14.　クラウドファンディング

第7回　空飛ぶクルマ（授業形式：演習）

予習内容：テキスト当該課の内容把握と課題への回答。
予習時間：90分
復習内容：当該課の内容で特に不得手だった内容および復習テストへの対応
復習時間：60分
Unit 15.　空飛ぶクルマ

第8回　これからの月面開発（授業形式：演習）

予習内容：テキスト当該課の内容把握と課題への回答。
予習時間：90分
復習内容：当該課の内容で特に不得手だった内容および復習テストへの対応
復習時間：60分
Unit 16.　これからの月面開発

第9回　ハヤブサの偉業（授業形式：演習）

予習内容：テキスト当該課の内容把握と課題への回答。
予習時間：90分
復習内容：当該課の内容で特に不得手だった内容および復習テストへの対応
復習時間：60分
Unit 17.　ハヤブサの偉業

第10回　宇宙開発競争（授業形式：演習）

予習内容：テキスト当該課の内容把握と課題への回答。
予習時間：90分
復習内容：当該課の内容で特に不得手だった内容および復習テストへの対応
復習時間：60分
Unit 18.　宇宙開発競争

第11回　火星の魅力（授業形式：演習）

予習内容：テキスト当該課の内容把握と課題への回答。
予習時間：90分
復習内容：当該課の内容で特に不得手だった内容および復習テストへの対応
復習時間：60分
Unit 19.　火星の魅力

第12回　ブラックホールの神秘（授業形式：演習）

予習内容：テキスト当該課の内容把握と課題への回答。
予習時間：90分
復習内容：当該課の内容で特に不得手だった内容および復習テストへの対応
復習時間：60分
Unit 20.　ブラックホールの神秘

第13回　プロジェクト研究発表1（授業形式：演習）

予習内容：事前に提示された各グループの研究テーマに関する予備知識を獲得しておく。
予習時間：60分
復習内容：各プロジェクト研究を視聴して興味を持ったないし疑問に思った点の確認
復習時間：60分
各グループごとのプロジェクト研究発表1

第14回　プロジェクト研究発表2（授業形式：演習）

予習内容：事前に提示された各グループの研究テーマに関する予備知識を獲得しておく。
予習時間：60分
復習内容：各プロジェクト研究を視聴して興味を持ったないし疑問に思った点の確認
復習時間：60分
各グループごとのプロジェクト研究発表2

第15回　総括的な振り返りと確認テスト（授業形式：演習）

予習内容：前期に学習した内容全般について。確認テストに備える。
予習時間：120分
復習内容：自分の弱点を認識し、克服の方策を考える。
復習時間：60分
前期に学習した内容についての総括的な振り返りと確認テスト

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**理系英語２**						
英文名　：	Academic English 2						
担当者　：	長田　希好						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】水曜3限　食品安全工学科、人間環境デザイン工学科開講科目						

■授業概要

理系の学術英語を確実に理解できるようになること、「速読」と「精読」の二種類の読み方のテクニックを習得し、その二つを巧みに組み合わせながら文章を読解できるようになることを目標とする。理系英語２では、各ユニットにある「医療」、「ロボット、宇宙工学」、「気候変動」、「情報工学」「環境保護」、「天体物理学」などに関する英文を読みその内容把握を問う練習問題を解くことにより、読解力を養う。授業には必ず辞書を持参すること。各教員が指示したWeb教材の課題は必ず提出すること。受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がける。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「理系英語１」と合わせて、300 ～ 400語程度で書かれた学術系の文章について、ところどころ辞書を引きながら、スムーズに読める力を身に付ける。そのために、複雑な文の構造を見抜くヒント、長い文章の読むべきポイント等を身に付ける。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
発表および課題 15%
実力テスト 15%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後（試験期間終了後）に「試験の要点と解説」をGoogle Classroomに掲載します。

■教科書

[ISBN]9784255156927 『大学生のためのCNNサイエンス』 (乾まどか, 朝日出版社：2022)

■参考文献

特に指定しません。

■関連科目

理系英語１

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室(2号館2階)　k-ci_osa@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

該当科目開講時の前後休憩時間とします。

■**授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間**

第1回 Orientation and Introduction(授業形式:講義)

予習内容：テキストのUnit 7～12に目を通し概要、そのレベルを確認しておくこと。
予習時間：30分
復習内容：後期の学習範囲の各Unitのリーディングを読み、それぞれの所要時間を記録しておくこと。
復習時間：60分
授業の進め方の説明
・予習の進め方
・授業の進め方
・課題
受講に際しての注意事項
・欠席／遅刻について
・定期試験について
・総合評価について
その他、受講に際しての重要事項について

第2回 Unit 7 Smoking's Link with Mental illness Part 1(授業形式:講義)

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。テキストの内容把握問題を解いておくこと。
予習時間：60分
復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。
復習時間：30分
喫煙とメンタルヘルスに関する英文を読み解く。

第3回 Unit 7 Smoking's Link with Mental illness Part 2(授業形式:講義)

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。テキストの内容把握問題を解いておくこと。
予習時間：60分
復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。
復習時間：30分
喫煙とメンタルヘルスに関する英文を読み解く。

第4回 Unit 8 Helpful New Companion Part 1(授業形式:講義)

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。テキストの内容把握問題を解いておくこと。
予習時間：60分
復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。
復習時間：30分
AIロボットと国際宇宙ステーションに関する英文を読み解く。

第5回 Unit 8 Helpful New Companion Part 2(授業形式:講義)

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。テキストの内容把握問題を解いておくこと。
予習時間：60分
復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。
復習時間：30分
AIロボットと国際宇宙ステーションに関する英文を読み解く。

第6回 Unit 9 Thousands of Voices, One Warning Part 1(授業形式:講義)

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。テキストの内容把握問題を解いておくこと。
予習時間：60分
復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。
復習時間：30分
気候変動に関する英文を読み解く。

第7回 Unit 9 Thousands of Voices, One Warning Part 2(授業形式:講義)

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。テキストの内容把握問題を解いておくこと。
予習時間：60分
復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。
復習時間：30分
気候変動に関する英文を読み解く。

第8回 Review 1(授業形式:講義)

予習内容：Unit 7～9の英文を読み、理解が完全か確認しておくこと。疑問点がある場合にはメモし質問できるようにしておくこと。

予習時間：60分
復習内容：復習授業で取り上げた各Unitの難易度の高い箇所を理解できるようになること。
復習時間：30分
Unit 7～9の復習

第9回 Unit 10 Google Claims Historic Breakthrough Part 1(授業形式:講義)

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。テキストの内容把握問題を解いておくこと。
予習時間：60分
復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。
復習時間：30分
量子コンピューター開発に関する英文を読み解く。

第10回 Unit 10 Google Claims Historic Breakthrough Part 2(授業形式:講義)

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。テキストの内容把握問題を解いておくこと。
予習時間：60分
復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。
復習時間：30分
量子コンピューター開発に関する英文を読み解く。

第11回 Unit 11 The Problem with Going Electric Part 1(授業形式:講義)

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。テキストの内容把握問題を解いておくこと。
予習時間：60分
復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。
復習時間：30分
使用済みバッテリーの廃棄に関する英文を読み解く。

第12回 Unit 11 The Problem with Going Electric Part 2(授業形式:講義)

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。テキストの内容把握問題を解いておくこと。
予習時間：60分
復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。
復習時間：30分
使用済みバッテリーの廃棄に関する英文を読み解く。

第13回 Unit 12 Intriguing Icy World Part 1(授業形式:講義)

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。テキストの内容把握問題を解いておくこと。
予習時間：60分
復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。
復習時間：30分
土星の衛星に関する英文を読み解く。

第14回 Unit 12 Intriguing Icy World Part 2(授業形式:講義)

予習内容：文章を読み、わからない語彙を辞書で調べておく。テキストの内容把握問題を解いておくこと。
予習時間：60分
復習内容：授業で解説した文の構造などを理解できるようになること。
復習時間：30分
土星の衛星に関する英文を読み解く。

第15回 Review 2(授業形式:講義)

予習内容：Unit 10～12の英文を読み、理解が完全か確認しておくこと。疑問点がある場合にはメモし質問できるようにしておくこと。
予習時間：60分
復習内容：復習授業で取り上げた各Unitの難易度の高い箇所を理解できるようになること。
復習時間：30分
Unit 10～12の復習

定期試験

テキストの内容の理解度を試す。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**理系英語２**						
英文名　：	Academic English 2						
担当者　：	勝井　典子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】水曜3限　食品安全工学科、人間環境デザイン工学科開講科目						

■授業概要

理系の学術英語基礎力を養うことを目的に、理系語彙を用いたリスニング、リーディング、ライティング、スピーキング能力の習得を図る。フランスを拠点とする報道機関AFP通信が有する映像ニュースから科学・技術に関する最新映像を視聴し、刻々と変容する世界の事象を生きた英語で学ぶ。各ユニットにある映像に関する内容把握問題、聴き取り問題を通じて映像や音声から情報を得る能力を養い、スクリプト読解により読解力の充実を図る。また、発展的に自ら調べ、発表する課題をこなすことにより、専門的語彙やプレゼンテーションの形式に慣れる。各教員が指示したWeb教材の課題は必ず提出すること。受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がける。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「理系英語1」と合わせて、300 ～ 400語程度で書かれた学術系の文章について、ところどころ辞書を引きながら、スムーズに読める力を身に付ける。そのために、複雑な文の構造を見抜くヒント、長い文章の読むべきポイント等を身に付ける。英語による科学・技術関連のニュースにおいて、キーワードを聞きとり、大まかな内容を聴解することができる。プレゼンテーションの原稿を作り、発表することができる。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
発表および課題 15%
実力テスト 15%

■試験・課題に対するフィードバック方法

模範解答をGoogle Classroomに掲示します。

■教科書

[ISBN]9784791972319 『AFP SciTech Futures』 (椋平淳　Bill Benfield他著、成美堂：2021)

■参考文献

特に指定しない。

■関連科目

理系英語1

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室(2号館2階)　mochi0110@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

該当科目開講時の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　Orientation and Introduction　(授業形式：講義)

予習内容：テキストのUnit 11～20に目を通しその概要やレベルを確認しておくこと。
予習時間：30分
復習内容：ガイダンス内容の確認。
復習時間：10分
授業の進め方、予習復習、課題提出、評価方法の説明
受講に際しての注意事項
グループ編成

第2回　Unit 11 Caring for Strays (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：Web動画や音声ファイルを視聴し、スクリプト内のわからない語彙を辞書で調べておく。
予習時間：60分
復習内容：授業で解説した文の構造や表現などを確認する。
復習時間：40分
トルコ発のニュース映像の内容を理解する。語彙、語法、表現、文法を学ぶ。

第3回　Unit 12 Coal before Comfort (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：Web動画や音声ファイルを視聴し、スクリプト内のわからない語彙を辞書で調べておく。
予習時間：60分
復習内容：授業で解説した文の構造や表現などを確認する。
復習時間：40分
モザンビーク発のニュース映像の内容を理解する。語彙、語法、表現、文法を学ぶ。

第4回　Unit 13 Life Saving Lake (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：Web動画や音声ファイルを視聴し、スクリプト内のわからない語彙を辞書で調べておく。
予習時間：60分
復習内容：授業で解説した文の構造や表現などを確認する。
復習時間：40分
コンゴ発のニュース映像の内容を理解する。語彙、語法、表現、文法を学ぶ。

第5回　Unit 14 Saving a Wooden Giant　(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：Web動画や音声ファイルを視聴し、スクリプト内のわからない語彙を辞書で調べておく。
予習時間：60分
復習内容：授業で解説した文の構造や表現などを確認する。
復習時間：40分
トルコ発のニュース映像の内容を理解する。語彙、語法、表現、文法を学ぶ。

第6回　Unit 15 Protecting an Ancient City (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：Web動画や音声ファイルを視聴し、スクリプト内のわからない語彙を辞書で調べておく。
予習時間：60分
復習内容：授業で解説した文の構造や表現などを確認する。
復習時間：40分
パキスタン発のニュース映像の内容を理解する。語彙、語法、表現、文法を学ぶ。

第7回　Review 1 (授業形式：演習)

予習内容：Unit 11～15のWeb動画や音声ファイルの視聴及びテキストの問題の復習で、理解を完全にしておくこと。
予習時間：60分
復習内容：テストの模範解答を確認する。
復習時間：40分
Unit 11～15の復習テスト

第8回　Unit 16 Disappearing Island (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：Web動画や音声ファイルを視聴し、スクリプト内のわからない語彙を辞書で調べておく。
予習時間：60分
復習内容：復習授業で取り上げた各Unitの難易度の高い箇所を理解できるようになること。
復習時間：40分

アメリカ発のニュース映像の内容を理解する。語彙、語法、表現、文法を学ぶ。

第9回 Unit 17 Lots and Lots of Lithium (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：Web動画や音声ファイルを視聴し、スクリプト内のわからない語彙を辞書で調べておく。
予習時間：60分
復習内容：授業で解説した文の構造や表現などを確認する。
復習時間：40分
ポルトガル発のニュース映像の内容を理解する。語彙、語法、表現、文法を学ぶ。

第10回 Unit 18 High-tech Telescope, Low-tech Environment (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：Web動画や音声ファイルを視聴し、スクリプト内のわからない語彙を辞書で調べておく。
予習時間：60分
復習内容：授業で解説した文の構造や表現などを確認する。
復習時間：40分
アメリカ発のニュース映像の内容を理解する。語彙、語法、表現、文法を学ぶ。

第11回 Unit 19 Monitoring the Melting Ice (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：Web動画や音声ファイルを視聴し、スクリプト内のわからない語彙を辞書で調べておく。
予習時間：60分
復習内容：授業で解説した文の構造や表現などを確認する。
復習時間：40分
チリ発のニュース映像の内容を理解する。語彙、語法、表現、文法を学ぶ。

第12回 Unit 20 Creating Mars in the Desert (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：Web動画や音声ファイルを視聴し、スクリプト内のわからない語彙を辞書で調べておく。
予習時間：60分
復習内容：授業で解説した文の構造や表現などを確認する。
復習時間：40分
オマーン発のニュース映像の内容を理解する。。語彙、語法、表現、文法を学ぶ。

第13回 Review 2 (授業形式：演習)

予習内容：Unit 6～10のWeb動画や音声ファイルの視聴及びテキストの問題の復習で、理解を完全にしておくこと。
予習時間：60分
復習内容：テストの模範解答を確認する。
復習時間：40分
Unit 6-10の復習テスト

第14回 Group Presentation Day 1 (授業形式：演習)

予習内容：プレゼンテーションの準備を行う。
予習時間：180分
復習内容：他のグループのプレゼンテーション内容を振り返り、評価する。
復習時間：40分
グループワークの成果を発表する。興味のある科学・技術関連のニュースを選択し、映像資料とともに紹介、解説する。

第15回 Group Presentation Day 2 (授業形式：演習)

予習内容：プレゼンテーションの準備を行う
予習時間：180分
復習内容：他のグループのプレゼンテーション内容を振り返り、評価する。
復習時間：40分
グループワークの成果を発表する。興味のある科学・技術関連のニュースを選択し、映像資料とともに紹介、解説する。

定期試験

語彙、語法、表現、文法を問う。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**理系英語２**						
英文名　：	Academic English 2						
担当者　：	澤邉　興平						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】水曜3限　食品安全工学科、人間環境デザイン工学科開講科目						

■授業概要

・指定教科書内の、科学エッセイの部分の読解に重点を置いた学習を行います。
・授業中に各受講生の担当課題範囲を決め翌週までに準備してもらう形となります。
・教員が指示したWeb教材の課題は必ず提出すること。
「受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がけること」

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

基礎英語力の向上と科学英語への関心を養うことを本授業の教育目標とします。
・300 ～400語程度で書かれた学術系の文章について、ところどころ辞書を引きながら、スムーズに読める力を身に付ける。
・そのために、複雑な文の構造を見抜くヒント、長い文章の読むべきポイント等を身に付ける
・本文で使われている単語や熟語を理解し、それらを自分のものとして使うことができる。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
発表および課題 15%
実力テスト 15%

■試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間内に課題担当者の答案を基に模範解答を提示します。

■教科書

[ISBN]9784791971831 『Science Explorer / 身近な科学の世界』 (石井 隆之, 成美堂：2019)

【留意事項】初回授業時までに購入しておくこと。（コピー不可）

■参考文献

授業にて指示します。

■関連科目

理系英語１

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（２号館２階）・ksawabe@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

授業時限前後の休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　オリエンテーション、ウォームアップ、　Unit8：Keep on Running （前半）
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
授業の進め方の説明
・予習の進め方
・授業の進め方
・課題
受講に際しての注意事項
・欠席／遅刻について
・忘れ物（テキスト・辞書）について
・携帯電話の使用制限について
・定期試験について
・総合評価について
Unit8：Honey Does Not Prevent a Cavity （前半）
・蜂蜜と虫歯予防についての英文を読み解く。
・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第2回　Unit8：Honey Does Not Prevent a Cavity （後半）
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・蜂蜜と虫歯予防についての英文を読み解く（前回の続き）。
・蜂蜜についての他の事例を英語で読む

第3回　Unit9：Future Use of Computers （前半）
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・コンピュータの未来的活用についての英文を読み解く。
・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第4回　Future Use of Computers （後半）
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・コンピュータの未来的活用についての英文を読み解く（前回の続き）。
・コンピュータについての他の事例を英語で読む

第5回　Unit10：Ice, Pet Cats, Stamps, and Microwave Ovens （前半）
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・氷と電子レンジについての英文を読み解く。
・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する

第6回　Ice, Pet Cats, Stamps, and Microwave Ovens （後半）
（授業形式：演習を含む講義）
予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・氷と電子レンジについての英文を読み解く（前回の続き）。
・氷についての他の事例を英語で読む

第7回　Unit11：The Unknown Effects of Tatami （前半）
（授業形式：演習を含む講義）
予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・畳の知られざる効能に関する英文を読み解く。
・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第8回　The Unknown Effects of Tatami（後半）
（授業形式：演習を含む講義）
予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・畳の知られざる効能に関する英文を読み解く（前回の続き）。
・畳についての他の事例を英語で読む

第9回　Unit12：Voice Recognition Sounds Great for Security （前半）
（授業形式：演習を含む講義）
予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・音声による生体認証についての英文を読み解く。
・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第10回　Voice Recognition Sounds Great for Security （後半）
（授業形式：演習を含む講義）
予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・音声による生体認証についての英文を読み解く（前回の続き）。
・生体認証に関する他の事例を英語で読む

第11回　Unit13：Will Space Exploration Unlock the Secrets of the Universe? （前半）
（授業形式：演習を含む講義）
予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・宇宙探査についての英文を読み解く。
・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第12回　Will Space Exploration Unlock the Secrets of the Universe? （後半）
（授業形式：演習を含む講義）
予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・宇宙探査についての英文を読み解く（前回の続き）。

・宇宙に関する他の事例を英語で読む

第13回 Unit14 : Twinkle, Twinkle Little Star （前半）
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・星の明度測定に関する英文を読み解く。
・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第14回 Twinkle, Twinkle Little Star （後半）
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・星の明度測定に関する英文を読み解く（前回の続き）。
・星に関する他の事例を英語で読む

第15回 Unit15 : A Story of Folding Paper
（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
・紙を何回まで折れるかについての英文を読み解く。
・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**理系英語２**						
英文名　：	Academic English 2						
担当者　：	根来　玲子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】水曜3限　食品安全工学科、人間環境デザイン工学科開講科目						

■授業概要

理系英語の力を身に付ける授業を行う。NationalGeographic Explorer という科学系雑誌の掲載記事を用いた教材を使い、一般的な自然科学系の内容の英文に触れる。関連用語を身に付けながら、内容把握をし読解力を養う。自然科学に関する英文を通し最先端の科学情報や社会の出来事を読み解き、英語の基礎力を固め、英語での情報収集や発信力を身に付けるようにする。授業には必ず辞書を持参すること。各教員が指示したWeb教材の課題は必ず提出すること。また受講期間中にランゲージスペースの有効活用するように心がけてください。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「理系英語１」と合わせて、300～400語程度で書かれた学術系の文章について、ところどころ辞書を引きながら、スムーズに読める力を身に付ける。そのために、複雑な文の構造を見抜くヒント、長い文章の読むべきポイントを身に付ける。この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的２および５の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
発表および課題 15%
実力テスト 15%

■試験・課題に対するフィードバック方法

解答に関するポイントを授業内およびGoogle Classroomでフィードバックします。

■教科書

[ISBN]9784863122895 『Science Frontiers』 (服部圭子, センゲージラーニング：2016)

■参考文献

必要に応じて授業内で指定します。

■関連科目

理系英語１

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・rnegoro@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション+Unit 8 Free Fall　vocabulary （授業形式：講義）

予習内容：シラバスの通読。クラス内で発表しあう夏休みの出来事を英語で考える。Unit8前半の語彙調べ。
予習時間：60分
復習内容：テキストの概要を知る。
復習時間：30分
<オリエンテーション>
授業の進め方の説明
・予習復習の説明
・小テストや課題の説明
・ランチタイムリーディングの参加について
受講に関しての注意事項
・出席、遅刻について
・欠席時の連絡について
・持参物について
・携帯電話の使用制限について
・参加態度について
・定期試験について
・総合評価について
その他、受講に関しての重要事項について

第2回 Unit8　Free Fall 前半　（授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit8前半　Check Your Vocabulary! Listen up!　Read Aloud! を先にチェックして Let's Read!を訳しておく。
予習時間：90分
復習内容：Unit8前半の語彙の復習。Let's Read の内容復習。
復習時間：60分
ダイビングについて書かれた英文を読み、どのような情報が書かれているかを読み取る。

第3回 Unit8　Free Fall 後半　（授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit8 後半の語彙調べ。Check the Form! Now Listen to This! It's Your Turn!をやっておく。
予習時間：60分
復習内容：Unit8総合復習。Let's Read!の音読、内容復習。
復習時間：60分
「make it ～to + 動詞の原形」が使いこなせるようにする。

第4回 Unit9 The Hidden Lives of Leaves 前半　（授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit9前半　Check Your Vocabulary! Listen up!　Read Aloud! を先にチェックして Let's Read!を訳しておく。
予習時間：90分
復習内容：Unit9前半の語彙の復習。Let's Read の内容復習。
復習時間：60分
木の葉について書かれた英文を読み、どのような情報が書かれているかを読み取る。

第5回 Unit9 The Hidden Lives of Leaves 後半　（授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit9 後半の語彙調べ。Check the Form! Now Listen to This! It's Your Turn!をやっておく。
予習時間：60分
復習内容：Unit9 総合復習。Let's Read!の音読、内容復習。
復習時間：60分
「疑問詞 + S + V (間接疑問）」が使いこなせるようにする。

第6回 Unit 10 Getting the Shot 前半　（授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit10前半　Check Your Vocabulary! Listen up!　Read Aloud! を先にチェックして Let's Read!を訳しておく。
予習時間：90分
復習内容：Unit10 前半の語彙の復習。Let's Read の内容復習。
復習時間：60分
海中での撮影に関する英文を読み、どのような情報が書かれているかを読み取る。

第7回 Unit 10 Getting the Shot 後半　（授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit10 後半の語彙調べ。Check the Form! Now Listen to This! It's Your Turn!をやっておく。
予習時間：60分
復習内容：Unit10 総合復習。Let's Read!の音読、内容復習。

復習時間：60分
「have + 名詞 + 過去分詞」が使いこなせるようにする。

第8回　Unit 11 Attack of the Germs　前半　（授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit11前半　Check Your Vocabulary! Listen up!　Read Aloud! を先にチェックして Let's Read!を訳しておく。
予習時間：90分
復習内容：Unit11 前半の語彙の復習。Let's Read の内容復習。
復習時間：60分
細菌について書かれた英文を読み、どのような情報が書かれているかを読み取る。

第9回　Unit 11 Attack of the Germs 後半　（授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit11 後半の語彙調べ。Check the Form! Now Listen to This! It's Your Turn!をやっておく。
予習時間：60分
復習内容：Unit11 総合復習。Let's Read!の音読、内容復習。
復習時間：60分
「as ～as S can」が使いこなせるようにする。

第10回　Unit12 Just like the Earth？ 前半　（授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit12前半　Check Your Vocabulary! Listen up!　Read Aloud! を先にチェックして Let's Read!を訳しておく。
予習時間：90分
復習内容：Unit12 前半の語彙の復習。Let's Read の内容復習。
復習時間：60分
宇宙について書かれた英文を読み、どのような情報が書かれているかを読み取る。

第11回　Unit12 Just like the Earth？ 後半　（授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit12 後半の語彙調べ。Check the Form! Now Listen to This! It's Your Turn!をやっておく。
予習時間：60分
復習内容：Unit12 総合復習。Let's Read!の音読、内容復習。
復習時間：60分
「名詞 + 分詞句 / 形容詞句 / 前置詞句」の表現が使いこなせるようにする。

第12回　Unit 13 The Skin You're In　前半　（授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit13前半　Check Your Vocabulary! Listen up!　Read Aloud! を先にチェックして Let's Read!を訳しておく。
予習時間：90分
復習内容：Unit13 前半の語彙の復習。Let's Read の内容復習。
復習時間：60分
皮膚に関して書かれた英文を読み、どのような情報が書かれているかを読み取る。

第13回　Unit 13 The Skin You're In 後半　（授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit13 後半の語彙調べ。Check the Form! Now Listen to This! It's Your Turn!をやっておく。
予習時間：60分
復習内容：Unit13 総合復習。Let's Read!の音読、内容復習。
復習時間：60分
「some～others...」の表現が使いこなせるようにする。

第14回　Unit14　Weirdest Wonders 前半　（授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit14 前半　Check Your Vocabulary! Listen up!　Read Aloud! を先にチェックして Let's Read!を訳しておく。
予習時間：90分
復習内容：Unit14 前半の語彙の復習。Let's Read の内容復習。
復習時間：60分
溶岩について書かれた英文を読み、どのような情報が書かれているかを読み取る。

第15回　Unit14　Weirdest Wonders 後半　（授業形式：講義、演習）

予習内容：Unit14 後半の語彙調べ。Check the Form! Now Listen to This! It's Your Turn!をやっておく。
予習時間：60分
復習内容：Unit14　総合復習。Let's Read!の音読、内容復習。
復習時間：60分
接続詞 as が使いこなせるようにする。

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**理系英語２〈再履修〉**						
英文名　：	Academic English 2						
担当者　：	竹中　義胤						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：							

■授業概要

理系英語１（再履修）に引き続き、平易な科学に関する読み物を読みながら、基礎的な語彙力、必要な文的知識、及び読解力を身につけていきます。同時に単語の形態素の意味と機能について勉強し、文脈から単語の意味を推測する能力も養成していきます。各教員が指示したWeb教材の課題は必ず提出すること。受講期間中にランゲージスペースを有効活用することを心がけてください。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

基礎的な語彙力、基本的な文法知識、読解力の習得及び形態素分析の活用法の学習
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
口頭発表 30%
課題 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

メールで対応します。

■教科書

[ISBN]9784791960255 『Science Finder―科学の不思議』 (Lynch,Jonathan, 成美堂：2017)

■参考文献

特に指定しません。

■関連科目

理系英語１（再履修）

■授業評価アンケート実施方法

大学授業規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階254）・takenaka@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

該当科目開講時の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

対面授業を前提として、15 回(定期試験を含まない)

第1回 Unit 11 (Almost) Vegetarian Bears（ベジタリアンになったパンダの秘密）
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
読解練習、ライティング、形態素分析
本文内の構文：無生物主語等の訳し方
単語の構造

第2回 Unit 12 Animals and Earthquakes（動物だけが知る地震の前兆）
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
読解練習、ライティング、形態素分析
本文内の構文：分詞構文等の訳し方
形態素を使った単語の覚え方等

第3回 Unit 13 LiquiGlide（特殊コーティング技術でケチャップが水のように）
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
読解練習、ライティング、形態素分析
読解のポイント整理
意訳の重要性

第4回 Unit 14 Unbreakable Glass（割れないガラスでスマホも安心）
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
読解練習、ライティング、形態素分析
本文内の構文：無生物主語の構文等の訳し方
効率の良い語彙の増やし方：同義語・反義語について

第5回 Unit 15 Robots Are Winning（ロボット優位の時代がやってくる）
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
読解練習、ライティング、形態素分析
本文内の構文：文の基本構造
形態素：接頭語について

第6回 Unit 16 Li-Fi（Wi-Fi のイライラにさようなら？）
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
読解練習、ライティング、形態素分析
本文内の構文：品詞について
形態素：語幹について

第7回 Unit 17 Enceladus（土星の衛星に海発見！）
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
読解練習、ライティング、形態素分析
本文内の構文：文型について
形態素：接尾語について

第8回 Unit 18 The Ninth Planet（ポスト冥王星―太陽系の 9 番目の惑星が見つかる？）
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
読解練習、ライティング、形態素分析
本文内の構文：文の種類
形態素：数字に関係する形態素

第9回 Unit 19 Dyson Sphere（宇宙人が作った巨大構造物）
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
読解練習、ライティング、形態素分析
本文内の構文：転換の言葉
形態素：ギリシャ語起源の言葉（数学・科学関連）
予習内容：わからないところを事前に調べておく。(30分)

第10回 Unit 20 When Will We See a Great Comet?（もっと見たい大彗星）
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
読解練習、ライティング、形態素分析
本文内の構文：トピックセンテンス
形態素：亜音速、光合成等を英語で言うとどのようになるか。

第11回 Units 11 & 12 復習（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
授業内容の総復習（１）
本文内の構文：動詞（過去形・進行形）と分詞（現在分詞・過去分詞）の見分け方
本文中の語句の復習

第12回 Units 13 & 14 復習（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
授業内容の総復習（２）
分詞構文と不定詞句の使い分け
本文中の語句の復習

第13回 Units 15 & 16 復習（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分

授業内容の総復習（３）
理系英文でよく使われる構文等の整理（分詞構文、不定詞句、関係代名詞等）
本文中の語句の復習

第14回 Units 17 & 18 復習（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
授業内容の総復習（４）

本文中の重要構文の整理
本文中の語句の復習

第15回 Units 19 & 20 復習（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
授業内容の総復習（５）
本文中の重要構文の整理
本文中の語句の復習

定期試験

授業中に指示します。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**理系英語２〈再履修〉**						
英文名　：	Academic English 2						
担当者　：	竹中　義胤						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：							

■授業概要

理系英語１（再履修）に引き続き、平易な科学に関する読み物を読みながら、基礎的な語彙力、必要な文的知識、及び読解力を身につけていきます。同時に単語の形態素の意味と機能について勉強し、文脈から単語の意味を推測する能力も養成していきます。各教員が指示したWeb教材の課題は必ず提出すること。受講期間中にランゲージスペースを有効活用することを心がけてください。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

基礎的な語彙力、基本的な文法知識、読解力の習得及び形態素分析の活用法の学習
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
口頭発表 30%
課題 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

メールで対応します。

■教科書

[ISBN]9784791960255 『Science Finder―科学の不思議』 (Lynch,Jonathan, 成美堂：2017)

■参考文献

特に指定しません。

■関連科目

理系英語１（再履修）

■授業評価アンケート実施方法

大学授業規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階254）・takenaka@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

該当科目開講時の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

対面授業を前提として、15 回(定期試験を含まない)

第1回 Unit 11 (Almost) Vegetarian Bears（ベジタリアンになったパンダの秘密）
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
読解練習、ライティング、形態素分析
本文内の構文：無生物主語等の訳し方
単語の構造

第2回 Unit 12 Animals and Earthquakes（動物だけが知る地震の前兆）
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
読解練習、ライティング、形態素分析
本文内の構文：分詞構文等の訳し方
形態素を使った単語の覚え方等

第3回 Unit 13 LiquiGlide（特殊コーティング技術でケチャップが水のように）
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
読解練習、ライティング、形態素分析
読解のポイント整理
意訳の重要性

第4回 Unit 14 Unbreakable Glass（割れないガラスでスマホも安心）
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
読解練習、ライティング、形態素分析
本文内の構文：無生物主語の構文等の訳し方
効率の良い語彙の増やし方：同義語・反義語について

第5回 Unit 15 Robots Are Winning（ロボット優位の時代がやってくる）
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
読解練習、ライティング、形態素分析
本文内の構文：文の基本構造
形態素：接頭語について

第6回 Unit 16 Li-Fi（Wi-Fi のイライラにさようなら？）
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
読解練習、ライティング、形態素分析
本文内の構文：品詞について
形態素：語幹について

第7回 Unit 17 Enceladus（土星の衛星に海発見！）
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
読解練習、ライティング、形態素分析
本文内の構文：文型について
形態素：接尾語について

第8回 Unit 18 The Ninth Planet（ポスト冥王星―太陽系の 9 番目の惑星が見つかる？）
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
読解練習、ライティング、形態素分析
本文内の構文：文の種類
形態素：数字に関係する形態素

第9回 Unit 19 Dyson Sphere（宇宙人が作った巨大構造物）
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
読解練習、ライティング、形態素分析
本文内の構文：転換の言葉
形態素：ギリシャ語起源の言葉（数学・科学関連）

第10回 Unit 20 When Will We See a Great Comet?（もっと見たい大彗星）
（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
読解練習、ライティング、形態素分析
本文内の構文：トピックセンテンス
形態素：亜音速、光合成等を英語で言うとどのようになるか。

第11回 Units 11 & 12 復習（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
授業内容の総復習（１）
本文内の構文：動詞（過去形・進行形）と分詞（現在分詞・過去分詞）の見分け方
本文中の語句の復習

第12回 Units 13 & 14 復習（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
授業内容の総復習（２）
分詞構文と不定詞句の使い分け
本文中の語句の復習

第13回 Units 15 & 16 復習（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
授業内容の総復習（３）

理系英文でよく使われる構文等の整理（分詞構文、不定詞句、関係代名詞等）
本文中の語句の復習

第14回 Units 17 & 18 復習（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
授業内容の総復習（４）
本文中の重要構文の整理
本文中の語句の復習

第15回 Units 19 & 20 復習（授業形式：講義または講義＋演習）

予習内容：わからないところを調べておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習
復習時間：30分
授業内容の総復習（５）
本文中の重要構文の整理
本文中の語句の復習

定期試験

授業中に指示します。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**理系英語３（エッセンシャル）**						
英文名　：	Science English (Essential) 3						
担当者　：	武知　薫子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	3年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：							

■授業概要

・最新科学を説明する英語表現を、教本に附属する映像と音声を視聴しながら学びます。
・理論的展開が明快な、短い科学エッセイの読解を行います。
・各受講生が担当課題範囲を決めて翌週に発表する形式を取ります。積極的に授業に参加してください。
・授業には辞書（オンライン辞書も可）を必ず持参しましょう。
・受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がけてください。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

理系分野の研究に役立つ基礎的な英語読解力を養う。
基礎英語力の向上と科学英語への実践的な関心を養うことを本授業の教育目標とします。
・平易な科学英文を読み、内容を理解できる。
・本文で使われている単語や熟語を理解し、それらを自分のものとして使うことができる。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
発表および課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後（試験期間終了後）に「試験の要点と解説」を掲示板に掲載します。

■教科書

[ISBN]9784764740778 『Inside Science―映像で学ぶ最新科学の深層』 (嘉信, 野﨑, 金星堂：2019)

■参考文献

授業内に指示します。

■関連科目

理系英語４（エッセンシャル）

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（２号館２階）・datatuj@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

授業時限の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション、ウォームアップ（授業形式：講義）

予習内容：教本の目次及び巻頭の解説に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：授業で説明された内容を整理確認する。
復習時間：30分
授業の進め方の説明
・予習の進め方
・授業の進め方
・課題
受講に際しての注意事項
・欠席／遅刻について
・忘れ物（テキスト・辞書）について
・携帯電話の使用制限について
・定期試験について
・総合評価について
その他、受講に関する注意点について
科学技術英語の特徴

第2回 Unit 01：No Moon at All? （前半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：Unit 01のVideoを視聴し、語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
Unit 01のVideoを視聴し、用いられる語彙を確認する。
演習を通して、本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第3回 Unit01：No Moon at All? （後半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
前回に引き続き、
Unit 01のVideoを視聴し、用いられる語彙を確認する。
演習を通して、本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第4回 Unit 02：Tackling Violent Wildfires （前半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
Unit 02のVideoを視聴し、用いられる語彙を確認する。
演習を通して、本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第5回 Unit 02：Tackling Violent Wildfires （後半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
前回に引き続き、
Unit 02のVideoを視聴し、用いられる語彙を確認する。
演習を通して、本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第6回 Unit 03：Check the Soil First （前半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
Unit 03のVideoを視聴し、用いられる語彙を確認する。

演習を通して、本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第7回 Unit 03 : Check the Soil First （後半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
前回に引き続き、
Unit 03のVideoを視聴し、用いられる語彙を確認する。
演習を通して、本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第8回 Unit 04 : The Beauty of Snowflakes （前半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
Unit 04のVideoを視聴し、用いられる語彙を確認する。
演習を通して、本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第9回 Unit 04 : The Beauty of Snowflakes （後半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
前回に引き続き、
Unit 04のVideoを視聴し、用いられる語彙を確認する。
演習を通して、本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第10回 Unit 05 : Coping with the Extreme Weather（前半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
Unit 05のVideoを視聴し、用いられる語彙を確認する。
演習を通して、本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第11回 Unit 05 : Coping with the Extreme Weather（後半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
前回に引き続き
Unit 05のVideoを視聴し、用いられる語彙を確認する。
演習を通して、本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第12回 Unit 06 : Is Love an Addiction? （前半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
Unit 06のVideoを視聴し、用いられる語彙を確認する。
演習を通して、本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第13回 Unit 06 : Is Love an Addiction? （後半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
前回に引き続き
Unit 06のVideoを視聴し、用いられる語彙を確認する。
演習を通して、本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第14回 Unit 07 : Self-Diving Future （前半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
Unit 07のVideoを視聴し、用いられる語彙を確認する。
演習を通して、本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第15回 Unit07：Self-Diving Future （後半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
前回に引き続き、
Unit 07のVideoを視聴し、用いられる語彙を確認する。
演習を通して、本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

定期試験

筆記試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**理系英語３（コンプリヘンション）**						
英文名　：	Science English (Comprehension) 3						
担当者　：	玉井　潤野						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	3年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】火曜3限　食品安全工学科、生命情報工学科、人間環境デザイン工学科開講科目						

■授業概要

各自の専門分野で英語の論文を読むための準備として、さまざまな自然科学系のトピックをとりあげた教科書を用いた授業を行う。授業においては4-5人でのグループワークを行う機会が多くあるため、自身の考えや疑問点を説明することに努めてほしい。語彙と文法事項の習得を第一とするが、受講者の習熟度に応じてリスニング教材も用いる予定である。予習は必須であり、テキストはかならず各自で購入すること（コピー不可）。また、紙・電子は問わず辞書を持参すること。
受講期間中は、ランゲージスペースを積極的に活用することを推奨する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

・理系分野の研究に役立つ英語力を養い、英語で書かれた論文を読み解くことを目ざす。
・本文で使われている単語や熟語を理解し、それらを具体的な英文に関して説明することができる。
・本文で使われた理系の語彙を習得するとともに、英語での読解力を向上させる。
この科目の修得は、近畿大学の教養科目の目的２および５の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
発表および課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

解答に関するポイントを授業内またはUNIPA等でフィードバックします。

■教科書

[ISBN]9784255156538 『English for Science and Technology Students』（奥聡一郎・Gayle Bond Lisa編著，朝日出版：2020.）

■参考文献

授業内で適宜指示する。

■関連科目

理系英語４Ｃ

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

玉井研究室（2号館5階）junyatamai@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　オリエンテーション

予習内容：テキストに簡単に目を通し、各Unitの構成を把握しておくこと。
予習時間：90分
復習内容：授業内で学んだ語彙・文法事項の復習すること。
復習時間：30分
オリエンテーションとして、以下を中心に説明する。
・授業のペースや、教科書の各Unitの予習のやり方
・中間・定期試験および授業内のグループワークなどによる成績評価の方法
・テキストや辞書など、授業で準備すべきものについて

第2回　Unit 1: Do you have what it takes? (1)

予習内容：事前学習A・Bの単語・イディオムの意味を確認して、本文前半を読んでわからない単語等を調べておくこと。
予習時間：90分
復習内容：授業内で学んだ語彙・文法事項の復習すること。
復習時間：60分
教科書Unit1の事前学習および本文の前半部分。技術者・科学者の資質に関する基礎的な語彙を学ぶ。

第3回　Unit 1: Do you have what it takes? (2)

予習内容：本文を最後まで読み、わからない単語等を確認し、Exercisesにすべて解答すること。
予習時間：90分
復習内容：授業内で学んだ語彙・文法事項の復習すること。
復習時間：60分
教科書Unit1の本文の後半部分およびExercises1～4。技術者・科学者の資質に関する英文を題材にして文法事項を学ぶ。

第4回　Unit 2: English Learning and AI (1)

予習内容：事前学習A・Bの単語・イディオムの意味を確認して、本文前半を読んでわからない単語等を調べておくこと。
予習時間：90分
復習内容：授業内で学んだ語彙・文法事項の復習すること。
復習時間：60分
教科書Unit2の事前学習および本文の前半部分。人工知能・英語学習に関する基礎的な語彙を学ぶ。

第5回　Unit 2: English Learning and AI (2)

予習内容：本文を最後まで読み、わからない単語等を確認し、Exercisesにすべて解答すること。
予習時間：90分
復習内容：授業内で学んだ語彙・文法事項の復習すること。
復習時間：60分
教科書Unit2の本文の後半部分およびExercises1～4。人工知能・英語学習に関する英文を題材にして文法事項を学ぶ。

第6回　Unit 3: Bridges (1)

予習内容：事前学習A・Bの単語・イディオムの意味を確認して、本文前半を読んでわからない単語等を調べておくこと。
予習時間：90分
復習内容：授業内で学んだ語彙・文法事項の復習すること。
復習時間：60分
教科書Unit3の事前学習および本文の前半部分。橋とその構造に関する基礎的な語彙を学ぶ。

第7回　Unit 3: Bridges (2)

予習内容：本文を最後まで読み、わからない単語等を確認し、Exercisesにすべて解答すること。
予習時間：90分
復習内容：授業内で学んだ語彙・文法事項の復習すること。
復習時間：60分
教科書Unit3の本文の後半部分およびExercises1～4。橋とその構造に関する英文を題材にして文法事項を学ぶ。

第8回　Unit 4: Games (1)

予習内容：事前学習A・Bの単語・イディオムの意味を確認して、本文前半を読んでわからない単語等を調べておくこと。
予習時間：90分
復習内容：授業内で学んだ語彙・文法事項の復習すること。
復習時間：60分
教科書Unit4の事前学習および本文の前半部分。ゲームとその開発過程に関する基礎的な語彙を学ぶ。

第9回　Unit 4: Games (2)

予習内容：本文を最後まで読み、わからない単語等を確認し、Exercisesにすべて解答すること。
予習時間：90分
復習内容：授業内で学んだ語彙・文法事項の復習すること。
復習時間：60分
教科書Unit4の本文の後半部分およびExercises1～4。ゲームとその開発過程に関する英文を題材にして文法事項を学ぶ。

第10回　Unit 5: Physics of Jet Coasters (1)

予習内容：事前学習A・Bの単語・イディオムの意味を確認して、本文前半を読んでわからない単語等を調べておくこと。
予習時間：90分
復習内容：授業内で学んだ語彙・文法事項の復習すること。
復習時間：60分
教科書Unit5の事前学習および本文の前半部分。物理的なエネルギーの種類に関する基礎的な語彙を学ぶ。

第11回　Unit 5: Physics of Jet Coasters (2)

予習内容：本文を最後まで読み、わからない単語等を確認し、Exercisesにすべて解答すること。
予習時間：90分
復習内容：授業内で学んだ語彙・文法事項の復習すること。
復習時間：60分
教科書Unit5の本文の後半部分およびExercises1～4。物理的なエネルギーの種類に関する英文を題材にして文法事項を学ぶ。

第12回　Unit 6: Smart Cities (1)

予習内容：事前学習A・Bの単語・イディオムの意味を確認して、本文前半を読んでわからない単語等を調べておくこと。
予習時間：90分
復習内容：授業内で学んだ語彙・文法事項の復習すること。
復習時間：60分
教科書Unit6の事前学習および本文の前半部分。スマートシティとその実現にあたっての課題に関する基礎的な語彙を学ぶ。

第13回　Unit 6: Smart Cities (2)

予習内容：本文を最後まで読み、わからない単語等を確認し、Exercisesにすべて解答すること。
予習時間：90分
復習内容：授業内で学んだ語彙・文法事項の復習すること。
復習時間：60分
教科書Unit6の本文の後半部分およびExercises1～4。スマートシティに関する英文を題材にして文法事項を学ぶ。

第14回　Unit 7: Tokyo Skytree (1)

予習内容：事前学習A・Bの単語・イディオムの意味を確認して、本文前半を読んでわからない単語等を調べておくこと。
予習時間：90分
復習内容：授業内で学んだ語彙・文法事項の復習すること。
復習時間：60分
教科書Unit7の事前学習および本文の前半部分。東京スカイツリーの建造とその特徴に関する基礎的な語彙を学ぶ。

第15回　Unit 7: Tokyo Skytree (2)

予習内容：本文を最後まで読み、わからない単語等を確認し、Exercisesにすべて解答すること。
予習時間：90分
復習内容：授業内で学んだ語彙・文法事項の復習すること。
復習時間：60分
教科書Unit7の本文の後半部分およびExercises1～4。東京スカイツリーに関する英文を題材にして文法事項を学ぶ。

定期試験

Unit1-7の語彙・文法事項を試験範囲とする。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**理系英語３（コンプリヘンション）**						
英文名　：	Science English (Comprehension) 3						
担当者　：	根来　玲子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	3年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】火曜3限　食品安全工学科、生命情報工学科、人間環境デザイン工学科開講科目						

■授業概要

日々の科学トピックを題材にしたテキストで理系英語のカを身につける。バラエティに富むラインアップで知的好奇心を持って関連用語を身につけながら、自然科学系の内容を英語で掘り下げる。英語での情報収集および発信力、コミュニケーションカを養う。
また受講期間中にランゲージスペースの有効活用するように心がけて下さい。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

・理系分野の研究に役立つ英語力を養い、英語で書かれた論文を読み解くことを目指す。
・本文で扱われている単語や熟語を理解し、それらを自分のものとして使うことができる。
・本文に関連した内容の英文で使われている科学英語の語彙力ならびに読解力を向上させる。
・本文に関連した内容で自分の考えを英語で発表できるようにする。
この科目の修得は、近畿大学の教養科目の目的２および５の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
発表および課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

解答に関するポイントを授業内およびGoogle Classroomでフィードバックします。

■教科書

[ISBN]9784791972463 『Science Stream / 覗いてみよう、科学の世界【2023年1月16日出荷分より新本体価格 2,000円】』 (Phillip Rowles, 成美堂：2022)

■参考文献

授業内で必要に応じて指示します。

■関連科目

理系英語4

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・rnegoro@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション＋Unit 1 vocabulary （授業形式：講義、演習）

予習内容：シラバスの通読。クラス内で発表しあう英語での自己紹介を考える。Unit 1 Warm-up
予習時間：60分
復習内容：使用するテキストの概要を知る。
復習時間：20分
<オリエンテーション>
授業の進め方
・予習や復習の仕方について
・小テストや課題について
・ランチタイムリーディングの参加について
受講に関しての注意事項
・出欠/遅刻について
・持参物について
・携帯電話の使用制限について
・Google Classroomについて
・参加態度について
・定期試験について
・総合評価について
その他、受講に際しての重要事項について

第2回 Unit1 Sink or Swim 前半 （授業形式：講義、演習）

予習内容：単語を調べReadingを訳し内容を把握しておく。
予習時間：90分
復習内容：Warm-upを確認し、Readingを復習し音読する。
復習時間：60分
戸立て蜘蛛の生態について理解を深める。

第3回 Unit1 Sink or Swim 後半 （授業形式：講義、演習）

予習内容：Comprehension Questions,Summary, Grammar check, Writing をやっておく。
予習時間：90分
復習内容：語彙や文法ポイントを復習する。
復習時間：60分
Reading の内容をふまえて、Agree or Disagree? Why? で自分の考えを表現し、クラス内で意見を発表しあう。

第4回 Unit2 Biology of Microbes 前半 （授業形式：講義、演習）

予習内容：Warm-upをしてから、単語を調べReading を訳し内容を把握しておく。
予習時間：90分
復習内容：Warm-upを確認し、Readingを復習し音読する。
復習時間：60分
微生物の研究について理解を深める。

第5回 Unit2 Biology of Microbes 後半 （授業形式：講義、演習）

予習内容：Comprehension Questions,Summary, Grammar check, Writing をやっておく。
予習時間：60分
復習内容：語彙や文法ポイントを復習する。
復習時間：60分
Reading の内容をふまえて、Agree or Disagree? Why? で自分の考えを表現し、クラス内で意見を発表しあう。

第6回 Unit4 Owning and Cloning Your Pet 前半 （授業形式：講義、演習）

予習内容：Warm-upをしてから、単語を調べReading を訳し内容を把握しておく。
予習時間：90分
復習内容：Warm-upを確認し、Readingを復習し音読する。
復習時間：60分
クローン技術について理解を深める。

第7回 Unit4 Owning and Cloning Your Pet 後半 （授業形式：講義、演習）

予習内容：Comprehension Questions,Summary, Grammar check, Writing をやっておく。
予習時間：60分
復習内容：語彙や文法ポイントを復習する。

復習時間：60分
Reading の内容をふまえて、Agree or Disagree? Why? で自分の考えを表現し、クラス内で意見を発表しあう。

第8回 Unit 5 Drift Ice Comes 前半 （授業形式：講義、演習）

予習内容：Warm-upをしてから、単語を調べReading を訳し内容を把握しておく。
予習時間：90分
復習内容：Warm-upを確認し、Readingを復習し音読する。
復習時間：60分
科学の観点から流氷について理解を深める。

第9回 Unit 5 Drift Ice Comes 後半 （授業形式：講義、演習）

予習内容：Comprehension Questions,Summary, Grammar check, Writing をやっておく。
予習時間：60分
復習内容：語彙や文法ポイントを復習する。
復習時間：60分
Reading の内容をふまえて、Agree or Disagree? Why? で自分の考えを表現し、クラス内で意見を発表しあう。

第10回 Unit 6 Linear Precipitation Band 前半 （授業形式：講義、演習）

予習内容：Warm-upをしてから、単語を調べReading を訳し内容を把握しておく。
予習時間：90分
復習内容：Warm-upを確認し、Readingを復習し音読する。
復習時間：60分
線状降水帯発生のメカニズムについて理解を深める。

第11回 Unit 6 Linear Precipitation Band 後半 （授業形式：講義、演習）

予習内容：Comprehension Questions,Summary, Grammar check, Writing をやっておく。
予習時間：60分
復習内容：語彙や文法ポイントを復習する。
復習時間：60分
Reading の内容をふまえて、Agree or Disagree? Why? で自分の考えを表現し、クラス内で意見を発表しあう。

第12回 Unit 7 Pollution Solution 前半 （授業形式：講義、演習）

予習内容：Warm-upをしてから、単語を調べReading を訳し内容を把握しておく。
予習時間：90分
復習内容：Warm-upを確認し、Readingを復習し音読する。
復習時間：60分
環境汚染について理解を深める。

第13回 Unit 7 Pollution Solution 後半 （授業形式：講義、演習）

予習内容：Comprehension Questions,Summary, Grammar check, Writing をやっておく。
予習時間：60分
復習内容：語彙や文法ポイントを復習する。
復習時間：60分
Reading の内容をふまえて、Agree or Disagree? Why? で自分の考えを表現し、クラス内で意見を発表しあう。

第14回 Unit 8 Natural Hazards 前半 （授業形式：講義、演習）

予習内容：Warm-upをしてから、単語を調べReading を訳し内容を把握しておく。
予習時間：90分
復習内容：Warm-upを確認し、Readingを復習し音読する。
復習時間：60分
自然災害について理解を深める。

第15回 Unit 8 Natural Hazards 後半 （授業形式：講義、演習）

予習内容：Comprehension Questions,Summary, Grammar check, Writing をやっておく。
予習時間：60分
復習内容：語彙や文法ポイントを復習する。
復習時間：60分
Reading の内容をふまえて、Agree or Disagree? Why? で自分の考えを表現し、クラス内で意見を発表しあう。

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**理系英語３（コンプリヘンション）**						
英文名　：	Science English (Comprehension) 3						
担当者　：	美濃部　貴子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	3年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】火曜3限　食品安全工学科、生命情報工学科、人間環境デザイン工学科開講科目						

■授業概要

・自然科学系ニュース、Smithsonian.comのSmart Newsより、ニュースを厳選し、自然科学、テクノロジー、芸術の分野における興味深いトピックを400～500語程度の英文で学びます。
・理論的展開が明快な科学エッセイの読解に重点を置いた学習を行います。
・予習必須のクラスです。予習は必ずしてきましょう。
・授業中にAudioをかけますので、積極的にシャドウイングをしましょう。
・授業には辞書を必ず持参しましょう。
・受講期間中にTOEICの公開テストやTOEIC-IPテストを受講するようにしましょう。
・受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がけてください。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

理系分野の研究に役立つ英語力を養い、英語で書かれた論文を読み解くことを目指します。
科学英語への関心と実践的英語力の向上を養うことを本授業の教育目標とします。
・本文に関連した内容の英文を読み、理解することができる。
・本文に関連した内容の英文で使われている科学英語の語彙力を向上させる。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表および課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

小テストや課題の解答・要点の解説は、授業内またはClassroomなどで行います。　定期試験については、受講生と方法を相談の上、フィードバックを行います。

■教科書

[ISBN]9784764741850 『Science in Progress-More Articles from Smithsonian Magazine’s Smart News: 最新の科学をスミソニアンで読み解く』 (宮本恵子, 金星堂：2023)
【留意事項】初回授業時までに購入しておくこと。（コピー不可）
この他、必要に応じて授業中にプリントを配布します。

■参考文献

授業にて指示します。

■関連科目

理系英語４（コンプリヘンション）

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）urwhaturead@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　オリエンテーション、ウォームアップ（授業形式：講義）

予習内容：次回までに、Unit1の本文全体を通読する。Before You Readの回答
予習時間：90分
復習内容：特にありません。
授業の進め方の説明
・予習の進め方
・授業の進め方
・課題
受講に際しての注意事項
・欠席／遅刻について
・忘れ物（テキスト・辞書）について
・携帯電話の使用制限について
・定期試験について
・総合評価について
その他、受講に関する注意点について

第2回　Unit 1 Need a Creative Boost? Nap Like Thomas Edison and Salvador Dalí
創造性を高めたければ、エジソンやダリのように昼寝をしよう【前半】（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：次回までに、Unit1のComprehension Questionsを解く。
予習時間：90分
復習内容：Unit1の語彙･熟語を復習し、本文を再読する。
復習時間：30分
・Before You Readの答えと解説。
・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。
・グループに分かれて、本文を読み、各段落の要約を書く。そして発表。

第3回　Unit 1 Need a Creative Boost? Nap Like Thomas Edison and Salvador Dalí
創造性を高めたければ、エジソンやダリのように昼寝をしよう 【後半】（授業形式：演習を含む講義）

予習内容： 次回までに、Unit2の本文全体を通読する。Before You Readの回答
予習時間：90分
復習内容： Unit1 全部の総復習
復習時間：30分
本文の理解をさらに深めるために、
・Comprehension Questionsの答えと解説。
・関連する動画を視聴して、グループでディスカッションをする。

第4回　Unit2：Curly the Curling Robot Can Beat the Pros at Their Own Game
カーリングロボットの「カーリー」はプロ相手の試合で大活躍 【前半】（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：次回までに、Unit2のComprehension Questionsを解く。
予習時間：90分
復習内容：Unit２の語彙･熟語を復習し、本文を再読する。
復習時間：30分
・Before You Readの答えと解説。
・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。
・グループに分かれて、本文を読み、各段落の要約を書く。そして発表。

第5回　Unit2：Curly the Curling Robot Can Beat the Pros at Their Own Game
カーリングロボットの「カーリー」はプロ相手の試合で大活躍 【後半】（授業形式：演習を含む講義）

予習内容： 次回までに、Unit3の本文全体を通読する。Before You Readの回答
予習時間：90分
復習内容：Unit2 全部の総復習

復習時間：30分
本文の理解をさらに深めるために、
・Comprehension Questionsの答えと解説。
・関連する動画を視聴して、グループでディスカッションをする。

第6回 Unit 3　　Italian Scientists Create Rising Pizza Dough without Yeast
イタリアの科学者はイースト菌を使わないピザ生地を誕生させた【前半】（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：次回までに、Unit3のComprehension Questionsを解く。
予習時間：90分
復習内容：Unit3の語彙･熟語を復習し、本文を再読する。
復習時間：30分
・Before You Readの答えと解説。
・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。
・グループに分かれて、本文を読み、各段落の要約を書く。そして発表。

第7回 Unit 3　　Italian Scientists Create Rising Pizza Dough without Yeast
イタリアの科学者はイースト菌を使わないピザ生地を誕生させた【後半】（授業形式：演習を含む講義）

予習内容： 次回までに、Unit4の本文全体を通読する。Before You Readの回答
予習時間：90分
復習内容：Unit 1-3 総復習（授業で視聴した動画(Classroom掲載)を含む）
復習時間：90分
本文の理解をさらに深めるために、
・Comprehension Questionsの答えと解説。
・関連する動画を視聴して、グループでディスカッションをする。

第8回 小テスト (Unit 1-3) および、Unit 4 Plastic Waste Can Be Transformed into Vanilla Flavoring
プラスチックごみがバニラエッセンスに姿を変える【前半】（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：次回までに、Unit4のComprehension Questionsを解く。
予習時間：90分
復習内容：Unit4の語彙･熟語を復習し、本文を再読する。
復習時間：30分
・小テスト (Unit 1-3、及び、授業で視聴した動画(Classroom掲載))
Unit4について、
・Before You Readの答えと解説。
・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。
・グループに分かれて、本文を読み、各段落の要約を書く。そして発表。

第9回 Unit 4　　Plastic Waste Can Be Transformed into Vanilla Flavoring
プラスチックごみがバニラエッセンスに姿を変える 【後半】（授業形式：演習を含む講義）

予習内容： 次回までに、Unit5の本文全体を通読する。Before You Readの回答
予習時間：90分
復習内容：Unit4 全部の総復習
復習時間：30分
本文の理解をさらに深めるために、
・Comprehension Questionsの答えと解説。
・関連する動画を視聴して、グループでディスカッションをする。

第10回 Unit 5　Gas Stoves Are Worse for Climate and Health than Previously Thought
ガスコンロは思っていたよりも気候と健康に悪いことがわかった 【前半】（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：次回までに、Unit5のComprehension Questionsを解く。
予習時間：90分
復習内容：Unit５の語彙･熟語を復習し、本文を再読する。
復習時間：30分
・Before You Readの答えと解説。
・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。
・グループに分かれて、本文を読み、各段落の要約を書く。そして発表。

第11回 Unit 5　Gas Stoves Are Worse for Climate and Health than Previously Thought
ガスコンロは思っていたよりも気候と健康に悪いことがわかった 【後半】（授業形式：演習を含む講義）

予習内容： 次回までに、Unit６の本文全体を通読する。Before You Readの回答
予習時間：90分
復習内容：Unit５ 全部の総復習

復習時間：30分
本文の理解をさらに深めるために、
・Comprehension Questionsの答えと解説。
・関連する動画を視聴して、グループでディスカッションをする。

第12回 Unit 6　This Mushroom-Based Leather Could Be the Next Sustainable Fashion Material
キノコで創る人工レザーは次世代を担うサステナブルなファッション素材 【前半】（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：次回までに、Unit 6 のComprehension Questionsを解く。
予習時間：90分
復習内容：Unit 6 の語彙･熟語を復習し、本文を再読する。
復習時間：30分
・Before You Readの答えと解説。
・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。
・グループに分かれて、本文を読み、各段落の要約を書く。そして発表。

第13回 Unit 6　This Mushroom-Based Leather Could Be the Next Sustainable Fashion Material
キノコで創る人工レザーは次世代を担うサステナブルなファッション素材 【後半】（授業形式：演習を含む講義）

予習内容： 次回までに、Unit 7 の本文全体を通読する。Before You Readの回答
予習時間：90分
復習内容：Unit 6 全部の総復習
復習時間：30分
本文の理解をさらに深めるために、
・Comprehension Questionsの答えと解説。
・関連する動画を視聴して、グループでディスカッションをする。

第14回 Unit 7　Scientists Build an Artificial Fish that Swims on Its Own Using Human Heart Cells
科学者はヒトの心臓細胞を使って泳ぐ人工魚を創り出した 【前半】（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：次回までに、Unit 7 のComprehension Questionsを解く。
予習時間：90分
復習内容：Unit 7 の語彙･熟語を復習し、本文を再読する。
復習時間：30分
・Before You Readの答えと解説。
・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。
・グループに分かれて、本文を読み、各段落の要約を書く。そして発表。

第15回 Unit 7　Scientists Build an Artificial Fish that Swims on Its Own Using Human Heart Cells
科学者はヒトの心臓細胞を使って泳ぐ人工魚を創り出した 【後半】（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：定期試験のための勉強
予習時間：30分
復習内容：定期試験（Unit4~7）の総復習、 及び、授業で視聴した動画(Classroom掲載)の復習
復習時間：100分
本文の理解をさらに深めるために、
・Comprehension Questionsの答えと解説。
総復習、定期試験についての詳細

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**理系英語３（プレゼンテーション）**						
英文名 ：	Science English (Presentation) 3						
担当者 ：	寺脇　圭子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	1単位	開講年次：	3年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】火曜3限　食品安全工学科、生命情報工学科、人間環境デザイン工学科開講科目						

■授業概要

英語でのプレゼンテーションに関する知識とスキルを、テキストやモデルプレゼンテーションによる実例演習を通して学びます。英語の運用能力の向上を念頭に、プレゼンテーションの準備、発表、評価を繰り返す中で段階的に実践的なプレゼンテーションスキルの育成を目指します。
学生は、受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がけること。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

英語プレゼンテーションの組み立ての基本的な知識とスキル、および、効果的なプレゼンテーションを行うための言語材料を学び、論理的で説得力のあるプレゼンテーションを行う英語の運用能力を身につけることを目標とします。
理系分野の研究に役立つ基礎的な英語力を身に着け、英語による情報発信力を養います。
この科目の修得は、学部ディプロマポリシー５、近畿大学の教養教育の目的２の達成に関与しています

■成績評価方法および基準

定期試験 40%
小テスト・課題 30%
プレゼンテーション 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

授業内およびUNIPAでフィードバックします。

■教科書

[ISBN]9784342550126 『This is my presentation!―動画を活用する英語プレゼンテーションの基礎』 (信行, 本名, 桐原書店：2019)

■参考文献

授業内で指示します。

■関連科目

理系英語４P

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階） k-terawaki@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

該当科目開講時の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション、Unit 1 Enjoy Your Presentation in English (1) （授業形式：演習を含む講義）

予習内容：自己紹介文の準備
予習時間：40分
復習内容：テキストを使って語句の復習
復習時間：30分
・授業の進め方を確認する。[授業の目的、授業計画、指導方法、評価方法]
・Unit 1の演習を通し、このコースで学ぶ、プレゼンテーションの基本を確認する。

第2回 Unit 1 Enjoy Your Presentation in English (2) （授業形式：演習を含む講義）

予習内容：Expression Boxの語句・表現に目を通しておく。このunitで学ぶ、プレゼンテーションの確認をしておく。
予習時間：60分
復習内容：Expression Boxの語句・表現の復習。自分の原稿の見直し。
復習時間：60分
・自己発信の英語を学ぶ
自分のこと、日本のことを英語で言う。
英語プレゼンテーションの枠組みを学ぶ。

第3回 Unit 2 Talking about Yourself (1) （授業形式：演習を含む講義）

予習内容：Expression Boxの語句・表現に目を通しておく。このunitで学ぶ、プレゼンテーションの確認をしておく。
予習時間：60分
復習内容：Expression Boxの語句・表現の復習。パワーポイントの準備
復習時間：60分
・パワーポイントの利用
パワーポイントを使って、視覚的な資料の効果を学ぶ。

第4回 Unit 2 Talking about Yourself (2) （授業形式：演習を含む講義）

予習内容：家族を紹介する原稿を考えておく
予習時間：60分
復習内容：作ったプレゼンテーション資料の反省と、改善点を考える。
復習時間：60分
パワーポイントを使って、家族を紹介する原稿を仕上げる。

第5回 Unit 3Express Yourself (1) （授業形式：演習を含む講義）

予習内容：Expression Boxの語句・表現に目を通しておく。このunitで学ぶ、プレゼンテーションの確認をしておく。
予習時間：60分
復習内容：Expression Boxの語句・表現の復習。原稿の見直し。
復習時間：60分
・50語で語ろう
短い語数に収める工夫をする。

第6回 Unit 3　Express Yourself (2) （授業形式：演習を含む講義）

予習内容：Expression Boxの語句・表現のチェック。原稿の文法チェック
予習時間：60分
復習内容：作ったプレゼンテーション資料の反省と、改善点を考える。
復習時間：60分
50語で作った現行の内容を考える。
論理性・明瞭さ・説得力

第7回 Unit 4 Talking about Hobbies and Interests (1) （授業形式：演習を含む講義）

予習内容：Expression Boxの語句・表現に目を通しておく。このunitで学ぶ、プレゼンテーションの確認をしておく。
予習時間：60分
復習内容：プレゼンテーション原稿を見直しておく。
復習時間：60分
・ダイナミックな話し方
ボディーランゲージ・姿勢・視線・話し方・身振り

第8回 Unit 4 Talking about Hobbies and Interests (2) （授業形式：演習を含む講義）

予習内容：発表の準備
予習時間：60分
復習内容：プレゼンテーションの反省と、改善点を考える。

復習時間：60分
・発表（プレゼンテーション）
ボディーランゲージ・姿勢・視線・話し方・身振りを考えながら発表する。

第9回　Unit 5 Talking about Your University (1)　(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：Expression Boxの語句・表現に目を通しておく。このunitで学ぶ、プレゼンテーションの確認をしておく。
予習時間：60分
復習内容：データ資料の準備、原稿の内容を確認する。
復習時間：60分
・データ活用
データ提示のツールと効果的なデータの種類を考える

第10回　Unit 5 Talking about Your University (2)　(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：Expression Boxの語句・表現のチェック。英文の文法チェック
予習時間：60分
復習内容：作ったプレゼンテーション資料の反省と、改善点を考える。
復習時間：60分
データと英文原稿のバランスを考えながら、プレゼンテーション資料を作成する。

第11回　Unit 6 Your Future Plans (1)　(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：Expression Boxの語句・表現に目を通しておく。このunitで学ぶ、プレゼンテーションの確認をしておく。
予習時間：60分
復習内容：原稿内容のチェック。
復習時間：60分
・パラグラフの構造
導入部・展開部・結論部で英文原稿を構成する。

第12回　Unit 6 Your Future Plans (2)　(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：Expression Boxの語句・表現のチェック。英文の文法チェック
予習時間：60分
復習内容：作ったプレゼンテーション資料の反省と、改善点を考える。
復習時間：60分
３パラグラフで作った原稿の内容を吟味する。
論理性・明瞭さ・説得力

第13回　Unit 7 Expressing Appreciation (1)　(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：Expression Boxの語句・表現に目を通しておく。このunitで学ぶ、プレゼンテーションの確認をしておく。
予習時間：60分
復習内容：原稿を確認。
復習時間：60分
・聞き上手になる
パフォーマンスに耳を傾ける。
質問、確認をする方法。

第14回　Unit 7 Expressing Appreciation (2)　(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：プレゼンテーション原稿の確認、準備。
予習時間：60分
復習内容：プレゼンテーション資料の反省と、改善点を考える。
復習時間：60分
・ペアワーク
お互いのプレゼンターションに耳を傾けよう。

第15回　総復習、課題作成

予習内容：今までの学習内容の復習、課題作成の準備
予習時間：60分
復習内容：Unit 1からUnit 7までの要点の総復習
復習時間：60分
・Unit 1からUnit 7までの要点の総復習を行う。
コース内で学習した内容から課題を作成、仕上げる。

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**理系英語３（プレゼンテーション）**						
英文名　：	Science English (Presentation) 3						
担当者　：	中萩　三尾 エルザ						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	3年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】火曜3限　食品安全工学科、生命情報工学科、人間環境デザイン工学科開講科目						

■授業概要

英語でのプレゼンテーションに関するスキルをテキストやモデルスピーチを通して学びます。英語で与えられたテーマ、もしくは自身で選んだテーマについて自己表現を交えたプレゼンテーションを段階的に実践していきます。また他の学生のプレゼンテーションを通して、英語で表現されたテーマを理解・共有しディスカッションすることも目的とします。受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がけてください。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

理系分野の研究に役立つ基礎的な英語力を身に着け、英語による情報発信力を養う。英語でのプレゼンテーションスキルを身につける。プレゼンテーション時の姿勢、ボディランゲージ、声のトーン、視線など、短時間で効果的なプレゼンテーションの進め方を養います。
この科目の習得は、学部ディプロマポリシー5、近畿大学の教養教育の目的2の達成に開与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 40%
小テスト・課題 30%
プレゼンテーション 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験及び課題の解説をUNIVERSAL PASSPORT等を通して記載いたします。

■教科書

[ISBN]9784791934249 『Winning Presentations―動画で学ぶ英語プレゼンテーション-覚えておきたい8つのモデル』 (彰, 森田, 成美堂：2018)

■参考文献

授業内で指示します。

■関連科目

理系英語４（プレゼンテーション）

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・elzanakahagi@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション　Unit1: Presentation Structure 1.（授業形式：講義）

予習内容：教科書全体に目を通しておく。
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習。
復習時間：30分
授業の進め方について（目的、計画、指導方法、参加態度、総合評価、評価方法）
自分のプレゼンテーションのテーマを考える。

第2回 Unit 1: Presentation structure 2.（授業形式：講義）

予習内容：自己紹介でよく使用する英語の表現を予習する。テキストを用いて、新しい用語にふれ、覚える。
予習時間：30分
復習内容：授業の復習。
復習時間：30分
a）グループ分けし、それぞれのプレゼンテーションのテーマを決める。自由にテーマを選ぶ、（30分）。
（テーマの例:Hybrid cars,　advertisements, organic foods, Japanese funeral, trailer house, LED, bridges, traffic signal, tower, tricks and magic, fiberscope, electric knife, bridge, Olympic, patent right, Japanese foods, sightseeing in Japan, etc.）
b）Unit 1: Presentation structure 2. (60分)。　プレゼンテーションのスキル　2

第3回 Unit 2: Presentation skills 1.（授業形式：講義　）

予習内容：a）テーマに対してアプローチ方法を考える基礎作り。
b）テキストを用いて、新しい用語にふれ、覚える。
予習時間：30分
復習内容：授業の復習。
復習時間：30分
a）テーマについて、グループ内でディスカッションする。
b）Unit 2: Presentation skills 1.　プレゼンテーションのスキル1

第4回 Unit 2: Presentation skills 2.（授業形式：講義）

予習内容：a）テーマに対してアプローチ方法を考える基礎作り。
b）テキストを用いて、新しい用語にふれ、覚える。
予習時間：30分
復習内容：授業の復習。
復習時間：30分
a）選んだテーマについて、グループ内でディスカッションする。
b）Unit 2: Presentation skills 2.　プレゼンテーションのスキル2

第5回 Unit 3: Preparing for your presentation 1 .（授業形式：講義）

予習内容：a）テーマに対してアプローチ方法を考える基礎作り。
b）テキストを用いて、新しい用語にふれ、覚える。
予習時間：30分
復習内容：授業の復習。
復習時間：30分
a）選んだテーマについて、グループ内でディスカッションする。
b）Unit 3: Preparing for your presentation 1．　情報収集と情報理論1

第6回 Unit4 : How to arrange a presentation setting 1 （授業形式：講義）

予習内容：a）それぞれのテーマについて必要な情報を収集し、さらに英語での表現を予習する
b）教科書を通して英語での表現を予習する。
予習時間：30分
復習内容：授業の復習。
復習時間：30分
a）選んだテーマについて、グループ内でディスカッションする。（30分）。
　　テーマに対してアプローチ方法を考える基礎作り。

b）Unit4 : How to arrange a presentation setting 1
　プレゼンンテーション環境の準備。人を紹介する時のポイント、ボディランゲージなど。

第7回 Unit4 : How to arrange a presentation setting 2 （授業形式：講義）

予習内容：教科書を通して英語での表現を予習する。

予習時間：30分
復習内容：授業の復習。
復習時間：30分
プレゼンンテーション環境の準備。

第8回 Unit 5 Listing 1 列挙型プレゼンテーション。（授業形式：講義）

予習内容：教科書を通して英語での表現を予習する。新しい用語にふれ、覚える。
予習時間：30分
復習内容：授業の復習。
復習時間：30分
新しい言語を学ぶ３つのコツ　1
ボディランゲージでの表現について学び、演習する。

第9回 Review – 振り返り （授業形式：講義及びフリーディスカッション）

予習内容：これまでの授業で解らなかった点や、もっとディスカッションしたい点など。
予習時間：30分
復習内容：これまでの授業で解らなかった点や、もっとディスカッションしたい点など。
復習時間：30分
プレゼンテーションに関して改善できる点、補足しなければいけない点、など
自由発言、ディスカッション

第10回 Unit 5 Listing 2 （授業形式：講義）

予習内容：教科書を通して英語での表現を予習する。
予習時間：30分
復習内容：授業の復習。
復習時間：30分
a）選んだテーマをそれぞれのプレゼンテーション実践演習。１日３人まで。（30分)
b）Unit 5 Listing 2 列挙型プレゼンテーション。新しい言語を学ぶ３つのコツ 2（60分）
　ボディランゲージでの表現について学び、演習する。

第11回 Unit 6　Classification - 1 （授業形式：講義）

予習内容：教科書を通して英語での表現を予習する。新しい用語にふれ、覚える。
予習時間：30分
復習内容：授業の復習。
復習時間：30分
a）選んだテーマをそれぞれのプレゼンテーション実践演習。１日３人まで。（30分)
b）Unit 6　Classification - 1 分類型プレゼンテーション　-1
　教科書を通して課題に取り組む。また場所紹介の作成。

第12回 Unit 6　Classification - 2（授業形式：講義）

予習内容：教科書を通して英語での表現を予習する。新しい用語にふれ、覚える。
予習時間：30分
復習内容：授業の復習。
復習時間：30分
a）選んだテーマをそれぞれのプレゼンテーション実践演習。１日３人まで。（30分)
b）Unit 6　Classification - 2 分類型プレゼンテーション　– 2 (60分)
　教科書を通して課題に取り組む。また場所紹介の作成。

第13回 Process自由。最低30分ぐらい。

予習内容：教科書を通して英語での表現を予習する。新しい用語にふれ、覚える。
予習時間：30分
復習内容：授業の復習。
復習時間：30分
a）選んだテーマをそれぞれのプレゼンテーション実践演習。１日３人まで。（30分）
b）Process - プロセス型プレゼンテーション　(60分)
　アプリのダウンロード方法

第14回 Unit 8 Investigation 調査型プレゼンテーション（授業形式：講義）

予習内容：教科書を通して英語での表現を予習する。
予習時間：30分
復習内容：授業の復習
復習時間：30分

学内調査報告　(60分)
順序立てて英語で紹介することについて教科書を通して学ぶ。
課題に取り組む。

第15回　Unit 10　 Persuasion 1（授業形式：講義）

予習内容：教科書を通して英語での表現を予習する。
予習時間：30分
復習内容：授業の復習
復習時間：30分
a）他のグループが選んだテーマについて、グループ内でディスカッションする。
　個人が選んだテーマについてプレゼンテーションの実践。（30分）
b）Unit 10　 Persuasion 1 説得型プレゼンテーション(60分)

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**理系英語４（エッセンシャル）**						
英文名　：	Science English (Essential) 4						
担当者　：	武知　薫子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	3年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：							

■授業概要

・最新科学を説明する英語表現を、教本に附属する映像と音声を視聴しながら学びます。
・理論的展開が明快な、短い科学エッセイの読解を行います。
・各受講生の担当課題範囲を決め翌週に発表する形式を取ります。積極的に授業に参加してください。
・授業には辞書（オンライン辞書も可）を必ず持参しましょう。
・受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がけましょう。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

理系分野の研究に役立つ基礎的な英語読解力を養う。
基礎英語力の向上と科学英語への実践的な関心を養うことを本授業の教育目標とします。
・平易な科学英文を読み、内容を理解できる。
・本文で使われている単語や熟語を理解し、それらを自分のものとして使うことができる。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
発表および課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後（試験期間終了後）に「試験の要点と解説」を掲示板に掲載します。

■教科書

[ISBN]9784764740778 『Inside Science―映像で学ぶ最新科学の深層』 (嘉信, 野﨑, 金星堂：2019)

■参考文献

授業内に指示します。

■関連科目

理系英語３（エッセンシャル）

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（２号館２階）・datatuj@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

授業時限の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション、ウォームアップ（授業形式：講義）

予習内容：教本の目次及び巻頭の解説に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：授業で説明された内容を整理確認する。
復習時間：30分
授業の進め方の説明
・予習の進め方
・授業の進め方
・課題
受講に際しての注意事項
・欠席／遅刻について
・忘れ物（テキスト・辞書）について
・携帯電話の使用制限について
・定期試験について
・総合評価について
その他、受講に関する注意点について
科学技術英語の特徴

第2回 Unit 08：No Needle, No Thread?（前半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：Unit 08のVideoを視聴し、語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
Unit 08のVideoを視聴し、用いられる語彙を確認する。
演習を通して、本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第3回 Unit 08：No Needle, No Thread?（後半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
前回に引き続き、
Unit 08のVideoを視聴し、用いられる語彙を確認する。
演習を通して、本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第4回 Unit 09：Aiming for a Perfect Squeeze （前半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
Unit 09のVideoを視聴し、用いられる語彙を確認する。
演習を通して、本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第5回 Unit 09：Aiming for a Perfect Squeeze （後半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
前回に引き続き、
Unit 09のVideoを視聴し、用いられる語彙を確認する。
演習を通して、本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第6回 Unit 10：Identifying Fake Drugs （前半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
Unit 10のVideoを視聴し、用いられる語彙を確認する。

演習を通して、本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第7回 Unit 10 : Identifying Fake Drugst （後半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
前回に引き続き、
Unit 10のVideoを視聴し、用いられる語彙を確認する。
演習を通して、本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第8回 Unit 11 : Sensory Judgement is Important （前半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
Unit 11のVideoを視聴し、用いられる語彙を確認する。
演習を通して、本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第9回 Unit 11 : Sensory Judgement is Important （後半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
前回に引き続き、
Unit 11のVideoを視聴し、用いられる語彙を確認する。
演習を通して、本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第10回 Unit 12 : Dangerous Debris in Space（前半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
Unit 12のVideoを視聴し、用いられる語彙を確認する。
演習を通して、本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第11回 Unit 12 : Dangerous Debris in Space（後半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
前回に引き続き
Unit 12のVideoを視聴し、用いられる語彙を確認する。
演習を通して、本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第12回 Unit 13 : A Safer Mission to Mars （前半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
Unit 13のVideoを視聴し、用いられる語彙を確認する。
演習を通して、本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第13回 Unit 13 : A Safer Mission to Mars （後半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
前回に引き続き
Unit 13のVideoを視聴し、用いられる語彙を確認する。
演習を通して、本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第14回 Unit 14 : Birds Know How to Glide（前半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
Unit 14のVideoを視聴し、用いられる語彙を確認する。
演習を通して、本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

第15回 Unit 14：Birds Know How to Glide （後半）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：語彙を調べ本文を通読する。
予習時間：30分
復習内容：本文の的確な訳を整理確認する。練習問題の答えを復習する。
復習時間：60分
前回に引き続き、
Unit 14のVideoを視聴し、用いられる語彙を確認する。
演習を通して、本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。

定期試験

筆記試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**理系英語４（コンプリヘンション）**						
英文名　：	Science English (Comprehension) 4						
担当者　：	玉井　潤野						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	3年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】火曜3限　食品安全工学科、生命情報工学科、人間環境デザイン工学科開講科目						

■授業概要

各自の専門分野で英語の論文を読むための準備として、さまざまな自然科学系のトピックをとりあげた教科書を用いた授業を行う。授業においては4-5人でのグループワークを行う機会が多くあるため、自身の考えや疑問点を説明することに努めてほしい。語彙と文法事項の習得を第一とするが、受講者の習熟度に応じてリスニング教材も用いる予定である。予習は必須であり、テキストはかならず各自で購入すること（コピー不可）。また、紙・電子は問わず辞書を持参すること。
受講期間中は、ランゲージスペースを積極的に活用することを推奨する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

・理系分野の研究に役立つ英語力を養い、英語で書かれた論文を読み解くことを目ざす。
・本文で使われている単語や熟語を理解し、それらを具体的な英文に関して説明することができる。
・本文で使われた理系の語彙を習得するとともに、英語での読解力を向上させる。
この科目の修得は、近畿大学の教養科目の目的２および５の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
発表および課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

解答に関するポイントを授業内またはUNIPA等でフィードバックします。

■教科書

[ISBN]9784255156538 『English for Science and Technology Students』（奥聡一郎・Gayle Bond Lisa編著，朝日出版：2020.）

■参考文献

授業内で適宜指示する。

■関連科目

理系英語３Ｃ

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

玉井研究室（2号館5階）junyatamai@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション（授業形式：講義）

予習内容：テキストに簡単に目を通し、各Unitの構成を把握しておくこと。
予習時間：90分
復習内容：授業内で学んだ語彙・文法事項の復習すること。
復習時間：30分
オリエンテーションとして、以下を中心に説明する。
・授業のペースや、教科書の各Unitの予習のやり方
・中間・定期試験および授業内のグループワークなどによる成績評価の方法
・テキストや辞書など、授業で準備すべきものについて

第2回 Unit 8: Sportswear and Technology (1)（授業形式：講義および演習）

予習内容：事前学習A・Bに解答し、本文前半を読んでわからない単語等を調べておくこと。
予習時間：90分
復習内容：授業内で学んだ語彙・文法事項の復習すること。
復習時間：60分
教科書Unit8の事前学習および本文の前半部分。スポーツと科学技術のつながりについての基礎的な語彙・表現を学ぶ。

第3回 Unit 8: Sportswear and Technology (2)（授業形式：講義および演習）

予習内容：本文を最後まで読み、わからない単語等を確認し、Exercisesにすべて解答すること。
予習時間：90分
復習内容：授業内で学んだ語彙・文法事項の復習すること。
復習時間：60分
教科書Unit8の本文の後半部分およびExercises1～4。スポーツの分野における科学技術についての英文を題材にして、文法事項を学ぶ。

第4回 Unit 9: 3-D Printers / History of Printers (1)（授業形式：講義および演習）

予習内容：事前学習A・Bに解答し、本文前半を読んでわからない単語等を調べておくこと。
予習時間：90分
復習内容：授業内で学んだ語彙・文法事項の復習すること。
復習時間：60分
教科書Unit9の事前学習および本文の前半部分。３Ｄプリンタに至る印刷機の歴史についての基礎的な語彙・表現を学ぶ。

第5回 Unit 9: 3-D Printers / History of Printers (2)（授業形式：講義および演習）

予習内容：本文を最後まで読み、わからない単語等を確認し、Exercisesにすべて解答すること。
予習時間：90分
復習内容：授業内で学んだ語彙・文法事項の復習すること。
復習時間：60分
教科書Unit9の本文の後半部分およびExercises1～4。３Ｄプリンタについての英文を題材にして、文法事項を学ぶ。

第6回 Unit 10: Drones (1)（授業形式：講義および演習）

予習内容：事前学習A・Bに解答し、本文前半を読んでわからない単語等を調べておくこと。
予習時間：90分
復習内容：授業内で学んだ語彙・文法事項の復習すること。
復習時間：60分
教科書Unit10の事前学習および本文の前半部分。ドローン開発の歴史やその用途についての基礎的な語彙・表現を学ぶ。

第7回 Unit 10: Drones (2)（授業形式：講義および演習）

予習内容：本文を最後まで読み、わからない単語等を確認し、Exercisesにすべて解答すること。
予習時間：90分
復習内容：授業内で学んだ語彙・文法事項の復習すること。
復習時間：60分
教科書Unit10の本文の後半部分およびExercises1～4。ドローン技術の発展についての英文を題材にして、文法事項を学ぶ。

第8回 Unit 11: Problems with Plastics (1)（授業形式：講義および演習）

予習内容：事前学習A・Bに解答し、本文前半を読んでわからない単語等を調べておくこと。
予習時間：90分
復習内容：授業内で学んだ語彙・文法事項の復習すること。
復習時間：60分
教科書Unit11の事前学習および本文の前半部分。プラスチック製品の特徴や、それが引き起こす環境問題についての基礎的な語

彙・表現を学ぶ。

第9回　Unit 11: Problems with Plastics (2)（授業形式：講義および演習）

予習内容：本文を最後まで読み、わからない単語等を確認し、Exercisesにすべて解答すること。
予習時間：90分
復習内容：授業内で学んだ語彙・文法事項の復習すること。
復習時間：60分
教科書Unit11の本文の後半部分およびExercises1～4。プラスチックが原因である環境問題についての英文を題材にして、文法事項を学ぶ。

第10回　Unit 12: Usable Water for the World (1)（授業形式：講義および演習）

予習内容：事前学習A・Bに解答し、本文前半を読んでわからない単語等を調べておくこと。
予習時間：90分
復習内容：授業内で学んだ語彙・文法事項の復習すること。
復習時間：60分
教科書Unit12の事前学習および本文の前半部分。資源としての水の用途や重要性についての基礎的な語彙・表現を学ぶ。

第11回　Unit 12: Usable Water for the World (2)（授業形式：講義および演習）

予習内容：本文を最後まで読み、わからない単語等を確認し、Exercisesにすべて解答すること。
予習時間：90分
復習内容：授業内で学んだ語彙・文法事項の復習すること。
復習時間：60分
教科書Unit12の本文の後半部分およびExercises1～4。水資源の重要性についての英文を題材にして、文法事項を学ぶ。

第12回　Unit 13: Origami Engineering (1)（授業形式：講義および演習）

予習内容：事前学習A・Bに解答し、本文前半を読んでわからない単語等を調べておくこと。
予習時間：90分
復習内容：授業内で学んだ語彙・文法事項の復習すること。
復習時間：60分
教科書Unit13の事前学習および本文の前半部分。技術という観点から見た折り紙についての基礎的な語彙・表現を学ぶ。

第13回　Unit 13: Origami Engineering (2)（授業形式：講義および演習）

予習内容：本文を最後まで読み、わからない単語等を確認し、Exercisesにすべて解答すること。
予習時間：90分
復習内容：授業内で学んだ語彙・文法事項の復習すること。
復習時間：60分
教科書Unit6の本文の後半部分およびExercises1～4。折り紙と技術の関係についての英文を題材にして、文法事項を学ぶ。

第14回　Unit 14: Global Engineering (1)（授業形式：講義および演習）

予習内容：事前学習A・Bに解答し、本文前半を読んでわからない単語等を調べておくこと。
予習時間：90分
復習内容：授業内で学んだ語彙・文法事項の復習すること。
復習時間：60分
教科書Unit14の事前学習および本文の前半部分。グローバル化の時代における技術者の役割についての基礎的な語彙・表現を学ぶ。

第15回　Unit 14: Global Engineering (2)（授業形式：講義および演習）

予習内容：本文を最後まで読み、わからない単語等を確認し、Exercisesにすべて解答すること。
予習時間：90分
復習内容：授業内で学んだ語彙・文法事項の復習すること。
復習時間：60分
教科書Unit14の本文の後半部分およびExercises1～4。グローバル化の時代における技術者の役割についての英文を題材にして、文法事項を学ぶ。

定期試験

Unit8-14の語彙・文法事項を試験範囲とする。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**理系英語４（コンプリヘンション）**						
英文名　：	Science English (Comprehension) 4						
担当者　：	根来　玲子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	3年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】火曜3限　食品安全工学科、生命情報工学科、人間環境デザイン工学科開講科目						

■授業概要

日々の科学トピックを題材にしたテキストで理系英語の力を身につける。バラエティに富むラインアップで知的好奇心を持って関連用語を身につけながら、自然科学系の内容を英文で掘り下げる。また英語での情報収集や発信力、コミュニケーション力を養う。また受講期間中にランゲージスペースの有効活用するように心がけてください。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

・理系分野の研究に役立つ英語力を養い、英語で書かれた論文を読み解くことを目指す。
・本文で扱われている単語や熟語を理解し、それらを自分のものとして使うことができる。
・本文に関連した内容の英文で使われている科学英語の語彙力ならびに読解力を向上させる。
・本文に関連した内容で自分の考えを英語で発表できるようにする。
この科目の修得は、近畿大学の教養科目の目的２および５の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表および課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

解答に関するポイントを授業内およびGoogle Classroomでフィードバックします。

■教科書

[ISBN]9784791972463 『Science Stream / 覗いてみよう、科学の世界』 (Phillip Rowles, 成美堂：2022)

■参考文献

授業内で必要に応じて指示します。

■関連科目

理系英語３

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室(2号館2階)　・rnegoro@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション ＋ Unit 10 vocabulary （授業形式：講義、演習）

予習内容：夏休みの出来事を英語で発表できるようにする。シラバスの通読。Unit10 Warm-up
予習時間：30分
復習内容：前期を振り返り、後期のテキストの概要を知る。
復習時間：30分
<オリエンテーション>
授業の進め方
・予習や復習の仕方について
・小テストや課題について
・ランチタイムリーディングの参加について
受講に関しての注意事項
・出欠/遅刻について
・持参物について
・携帯電話の使用制限について
・Google Classroomについて
・参加態度について
・定期試験について
・総合評価について
その他、受講に際しての重要事項について
これらに関しては「理系英語３C」でも同様なので確認程度になります。

第2回 Unit 10 Underground Source of Energy 前半 （授業形式：講義、演習）

予習内容：単語を調べ、Readingを訳し、内容を把握しておく。
予習時間：90分
復習内容：Warm-upを確認し、Reading を復習し音読する。
復習時間：60分
再生可能エネルギーとしての地熱について理解を深める。

第3回 Unit 10 Underground Source of Energy 後半 （授業形式：講義、演習）

予習内容：Comprehension Questions, Summary, Grammar check, Writing をやっておく。
予習時間：90分
復習内容：語彙や文法ポイントを復習する。
復習時間：60分
Reading の内容をふまえて、Agree or Disagree? Why? で自分の考えを表現し、クラス内で意見を発表しあう。

第4回 Unit 14 Nature is Our Greatest Teacher 前半 （授業形式：講義、演習）

予習内容：Warm-upをしてから、単語を調べ、Reading を訳し内容を把握しておく。
予習時間：90分
復習内容：Warm-upを確認し、Reading を復習、音読する。
復習時間：60分
バイオミミクリー（生体模倣）について理解を深める。

第5回 Unit 14 Nature is Our Greatest Teacher 後半 （授業形式：講義、演習）

予習内容：Comprehension Questions, Summary, Grammar check, Writing をやっておく。
予習時間：60分
復習内容：語彙や文法ポイントを復習する。
復習時間：60分
Reading の内容をふまえて、Agree or Disagree? Why? で自分の考えを表現し、クラス内で意見を発表しあう。

第6回 Unit 16 Intelligence Driving Our Future 前半 （授業形式：講義、演習）

予習内容：Warm-upをしてから、単語を調べ、Reading を訳し内容を把握しておく。
予習時間：90分
復習内容：Warm-upを確認し、Reading を復習、音読する。
復習時間：60分
自動運転車について理解を深める。

第7回 Unit 16 Intelligence Driving Our Future 後半 （授業形式：講義、演習）

予習内容：Comprehension Questions, Summary, Grammar check, Writing をやっておく。
予習時間：60分
復習内容：語彙や文法ポイントを復習する。

復習時間：60分
Reading の内容をふまえて、Agree or Disagree? Why? で自分の考えを表現し、クラス内で意見を発表しあう。

第8回 Unit 17　Hay Fever Horror 前半　（授業形式：講義、演習）

予習内容：Warm-upをしてから、単語を調べ、Reading を訳し内容を把握しておく。
予習時間：90分
復習内容：Warm-upを確認し、Reading を復習、音読する。
復習時間：60分
無花粉すぎなど花粉症対策について理解を深める。

第9回 Unit 17　Hay Fever Horror　後半　（授業形式：講義、演習）

予習内容：Comprehension Questions, Summary, Grammar check, Writing をやっておく。
予習時間：60分
復習内容：語彙や文法ポイントを復習する。
復習時間：60分
Reading の内容をふまえて、Agree or Disagree? Why? で自分の考えを表現し、クラス内で意見を発表しあう。

第10回 Unit 18 Pleasure Threshold　前半　（授業形式：講義、演習）

予習内容：Warm-upをしてから、単語を調べ、Reading を訳し内容を把握しておく。
予習時間：90分
復習内容：Warm-upを確認し、Reading を復習、音読する。
復習時間：60分
依存をもたらす脳の働きについて理解を深める。

第11回 Unit 18 Pleasure Threshold　後半　（授業形式：講義、演習）

予習内容：Comprehension Questions, Summary, Grammar check, Writing をやっておく。
予習時間：60分
復習内容：語彙や文法ポイントを復習する。
復習時間：60分
Reading の内容をふまえて、Agree or Disagree? Why? で自分の考えを表現し、クラス内で意見を発表しあう。

第12回 Unit 19　Stem Cell Heaven or Hell　前半　（授業形式：講義、演習）

予習内容：Warm-upをしてから、単語を調べ、Reading を訳し内容を把握しておく。
予習時間：90分
復習内容：Warm-upを確認し、Reading を復習、音読する。
復習時間：60分
幹細胞の研究について理解を深める。

第13回 Unit 19　Stem Cell Heaven or Hell　後半　（授業形式：講義、演習）

予習内容：Comprehension Questions, Summary, Grammar check, Writing をやっておく。
予習時間：60分
復習内容：語彙や文法ポイントを復習する。
復習時間：60分
Reading の内容をふまえて、Agree or Disagree? Why? で自分の考えを表現し、クラス内で意見を発表しあう。

第14回　Unit 20　4th Dimension of Insects 前半　（授業形式：講義、演習）

予習内容：Warm-upをしてから、単語を調べ、Reading を訳し内容を把握しておく。
予習時間：90分
復習内容：Warm-upを確認し、Reading を復習、音読する。
復習時間：60分
昆虫食について理解を深める。

第15回　Unit 20　4th Dimension of Insects　後半　（授業形式：講義、演習）

予習内容：Comprehension Questions, Summary, Grammar check, Writing をやっておく。
予習時間：60分
復習内容：語彙や文法ポイントを復習する。
復習時間：60分
Reading の内容をふまえて、Agree or Disagree? Why? で自分の考えを表現し、クラス内で意見を発表しあう。

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 ：	**理系英語４（コンプリヘンション）**						
英文名 ：	Science English (Comprehension) 4						
担当者 ：	美濃部　貴子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	1単位	開講年次：	3年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】火曜3限　食品安全工学科、生命情報工学科、人間環境デザイン工学科開講科目						

■授業概要

・自然科学系ニュース、Smithsonian.comのSmart Newsより、ニュースを厳選し、自然科学、テクノロジー、芸術の分野における興味深いトピックを400～500語程度の英文で学びます。
・理論的展開が明快な科学エッセイの読解に重点を置いた学習を行います。
・予習必須のクラスです。予習は必ずしてきましょう。
・授業中にAudioをかけますので、積極的にシャドウイングをしましょう。
・授業には辞書を必ず持参しましょう。
・受講期間中にTOEICの公開テストやTOEIC-IPテストを受講するようにしましょう。
・受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がけてください。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

理系分野の研究に役立つ英語力を養い、英語で書かれた論文を読み解くことを目指します。
科学英語への関心と実践的英語力の向上を養うことを本授業の教育目標とします。
・本文に関連した内容の英文を読み、理解することができる。
・本文に関連した内容の英文で使われている科学英語の語彙力を向上させる。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 20%
口頭発表および課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

小テストや課題の解答・要点の解説は、授業内またはClassroomなどで行います。　定期試験については、受講生と方法を相談の上、フィードバックを行います。

■教科書

[ISBN]9784764741850 『Science in Progress-More Articles from Smithsonian Magazine’s Smart News: 最新の科学をスミソニアンで読み解く』 (宮本恵子, 金星堂：2023)
【留意事項】初回授業時までに購入しておくこと。（コピー不可）
この他、必要に応じて授業中にプリントを配布します。

■参考文献

授業にて指示します。

■関連科目

理系英語４（コンプリヘンション）

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）urwhaturead@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　オリエンテーション、ウォームアップ（授業形式：講義）

予習内容：次回までに、Unit8の本文全体を通読する。Before You Readの回答
予習時間：90分
復習内容：特にありません。
授業の進め方の説明
・予習の進め方
・授業の進め方
・課題
受講に際しての注意事項
・欠席／遅刻について
・忘れ物（テキスト・辞書）について
・携帯電話の使用制限について
・定期試験について
・総合評価について
その他、受講に関する注意点について

第2回　Unit 8　　Research Shows Checking Your Phone Is Contagious Like Yawning
まるであくびのように、スマホチェックも次々と伝染する【前半】（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：次回までに、Unit８のComprehension Questionsを解く。
予習時間：90分
復習内容：Unit８の語彙･熟語を復習し、本文を再読する。
復習時間：30分
・Before You Readの答えと解説。
・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。
・グループに分かれて、本文を読み、各段落の要約を書く。そして発表。

第3回　Unit 8　　Research Shows Checking Your Phone Is Contagious Like Yawning
まるであくびのように、スマホチェックも次々と伝染する 【後半】（授業形式：演習を含む講義）

予習内容： 次回までに、Unit９の本文全体を通読する。Before You Readの回答
予習時間：90分
復習内容： Unit８ 全部の総復習
復習時間：30分
本文の理解をさらに深めるために、
・Comprehension Questionsの答えと解説。
・関連する動画を視聴して、グループでディスカッションをする。

第4回　Unit 9　　To Save the Corpse Flower, Horticulturists Are Playing the Role of Matchmakers
絶滅の危機にある「死体花」を救おうと、園芸家たちが立ち上がった【前半】（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：次回までに、Unit９のComprehension Questionsを解く。
予習時間：90分
復習内容：Unit９の語彙･熟語を復習し、本文を再読する。
復習時間：30分
・Before You Readの答えと解説。
・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。
・グループに分かれて、本文を読み、各段落の要約を書く。そして発表。

第5回　Unit 9　　To Save the Corpse Flower, Horticulturists Are Playing the Role of Matchmakers
絶滅の危機にある「死体花」を救おうと、園芸家たちが立ち上がった 【後半】（授業形式：演習を含む講義）

予習内容： 次回までに、Unit10の本文全体を通読する。Before You Readの回答
予習時間：90分
復習内容：Unit９ 全部の総復習

復習時間：30分
本文の理解をさらに深めるために、
・Comprehension Questionsの答えと解説。
・関連する動画を視聴して、グループでディスカッションをする。

第6回 Unit 10　Robot Jumps a Record-Breaking 100 Feet in the Air
ロボットはゆうゆうと30mジャンプして新記録をつくった【前半】（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：次回までに、Unit10のComprehension Questionsを解く。
予習時間：90分
復習内容：Unit10の語彙･熟語を復習し、本文を再読する。
復習時間：30分
・Before You Readの答えと解説。
・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。
・グループに分かれて、本文を読み、各段落の要約を書く。そして発表。

第7回 Unit 10　Robot Jumps a Record-Breaking 100 Feet in the Air
ロボットはゆうゆうと30mジャンプして新記録をつくった【後半】（授業形式：演習を含む講義）

予習内容： 次回までに、Unit11の本文全体を通読する。Before You Readの回答
予習時間：90分
復習内容：Unit 8-10 総復習（授業で視聴した動画(Classroom掲載)を含む）
復習時間：90分
本文の理解をさらに深めるために、
・Comprehension Questionsの答えと解説。
・関連する動画を視聴して、グループでディスカッションをする。

第8回 小テスト (Unit 8-10) および、Unit 11　Space Is Destroying Astronauts' Red Blood Cells
宇宙飛行士の赤血球は宇宙で破壊されている【前半】（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：次回までに、Unit11のComprehension Questionsを解く。
予習時間：90分
復習内容：Unit11の語彙･熟語を復習し、本文を再読する。
復習時間：30分
・小テスト (Unit 8-10、及び、授業で視聴した動画(Classroom掲載))
Unit11について、
・Before You Readの答えと解説。
・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。
・グループに分かれて、本文を読み、各段落の要約を書く。そして発表。

第9回 Unit 11　Space Is Destroying Astronauts' Red Blood Cells
宇宙飛行士の赤血球は宇宙で破壊されている 【後半】（授業形式：演習を含む講義）

予習内容： 次回までに、Unit12の本文全体を通読する。Before You Readの回答
予習時間：90分
復習内容：Unit11 全部の総復習
復習時間：30分
本文の理解をさらに深めるために、
・Comprehension Questionsの答えと解説。
・関連する動画を視聴して、グループでディスカッションをする。

第10回 Unit 12　These Scientists Plan to Fully Resurrect a Woolly Mammoth within the Decade
マンモスを10年以内に完全復活させる計画が進行中 【前半】（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：次回までに、Unit12のComprehension Questionsを解く。
予習時間：90分
復習内容：Unit12の語彙･熟語を復習し、本文を再読する。
復習時間：30分
・Before You Readの答えと解説。
・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。
・グループに分かれて、本文を読み、各段落の要約を書く。そして発表。

第11回 Unit 12　These Scientists Plan to Fully Resurrect a Woolly Mammoth within the Decade
マンモスを10年以内に完全復活させる計画が進行中 【後半】（授業形式：演習を含む講義）

予習内容： 次回までに、Unit13の本文全体を通読する。Before You Readの回答
予習時間：90分
復習内容：Unit12 全部の総復習

復習時間：30分
本文の理解をさらに深めるために、
・Comprehension Questionsの答えと解説。
・関連する動画を視聴して、グループでディスカッションをする。

第12回 Unit 13 Scientists Create First 3-D Printed Wagyu Beef
ついに３Dプリンターから初の和牛肉が登場 【前半】（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：次回までに、Unit13のComprehension Questionsを解く。
予習時間：90分
復習内容：Unit13の語彙･熟語を復習し、本文を再読する。
復習時間：30分
・Before You Readの答えと解説。
・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。
・グループに分かれて、本文を読み、各段落の要約を書く。そして発表。

第13回 Unit 13 Scientists Create First 3-D Printed Wagyu Beef
ついに３Dプリンターから初の和牛肉が登場 【後半】（授業形式：演習を含む講義）

予習内容： 次回までに、Unit14の本文全体を通読する。Before You Readの回答
予習時間：90分
復習内容：Unit13 全部の総復習
復習時間：30分
本文の理解をさらに深めるために、
・Comprehension Questionsの答えと解説。
・関連する動画を視聴して、グループでディスカッションをする。

第14回 Unit 14 Scientists Unveiled the World’s First Living Robots Last Year. Now, They Can Reproduce
昨年発表された世界初の生体ロボット。今は子孫を残せることに 【前半】（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：次回までに、Unit14のComprehension Questionsを解く。
予習時間：90分
復習内容：Unit14の語彙･熟語を復習し、本文を再読する。
復習時間：30分
・Before You Readの答えと解説。
・本文に使用されている単語・熟語・文の構造を理解する。
・グループに分かれて、本文を読み、各段落の要約を書く。そして発表。

第15回 Unit 14 Scientists Unveiled the World’s First Living Robots Last Year. Now, They Can Reproduce
昨年発表された世界初の生体ロボット。今は子孫を残せることに 【後半】（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：定期試験のための勉強
予習時間：30分
復習内容：定期試験（Unit8~14）の総復習、 及び、授業で視聴した動画(Classroom掲載)の復習
復習時間：100分
本文の理解をさらに深めるために、
・Comprehension Questionsの答えと解説。
総復習、定期試験についての詳細

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**理系英語４（プレゼンテーション）**						
英文名　：	Science English (Presentation) 4						
担当者　：	寺脇　圭子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	3年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】火曜3限　食品安全工学科、生命情報工学科、人間環境デザイン工学科開講科目						

■授業概要

英語でのプレゼンテーションに関する知識とスキルを、テキストやモデルプレゼンテーションによる実例演習を通して学びます。英語の運用能力の向上を念頭に、プレゼンテーションの準備、発表、評価を繰り返す中で段階的に実践的なプレゼンテーションスキルの育成を目指します。
学生は、受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がけること。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

英語プレゼンテーションの組み立ての基本的な知識とスキル、および、効果的なプレゼンテーションを行うための言語材料を学び、論理的で説得力のあるプレゼンテーションを行う英語の運用能力を身につけることを目標とします。
理系分野の研究に役立つ基礎的な英語力を身に着け、英語による情報発信力を養います。
この科目の修得は、学部ディプロマポリシー５、近畿大学の教養教育の目的２の達成に関与しています

■成績評価方法および基準

定期試験 40%
小テスト・課題 30%
プレゼンテーション 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

授業内およびUNIPAでフィードバックします。

■教科書

[ISBN]9784342550126 『This is my presentation!―動画を活用する英語プレゼンテーションの基礎』 (信行, 本名, 桐原書店：2019)

■参考文献

授業内で指示します。

■関連科目

理系英語3P

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階） k-terawaki@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

該当科目開講時の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Unit 8 Social Activities (1) (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：Expression Boxの語句・表現に目を通しておく。このunitで学ぶ、プレゼンテーションの確認をしておく。
予習時間：60分
復習内容：授業ノートの復習。原稿作成準備
復習時間：60分
・リスナーや目的に応じた工夫
リスナーを特定する
リスナーに適した話し方を選ぶ

第2回 Unit 8 Social Activities (1) (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：ペアワークの準備。原稿チェック
予習時間：60分
復習内容：プレゼンテーション資料の反省と、改善点を考える。
復習時間：60分
・ペアワーク
リスナーや目的に応じて話し方を工夫し、実践する。

第3回 Unit 9 Expressing Your Opinion (1) (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：Expression Boxの語句・表現に目を通しておく。このunitで学ぶ、プレゼンテーションの確認をしておく。
予習時間：60分
復習内容：プレゼンテーション原稿のチェック
復習時間：60分
・明瞭な発音
原稿作成
句読点、重要語句の前のポーズを考える。

第4回 Unit 9 Expressing Your Opinion (2) (授業形式：演習)

予習内容：プレゼンターション原稿チェック、準備
予習時間：60分
復習内容：プレゼンテーションの反省と、改善点を考える。
復習時間：60分
発表（プレゼンテーション）
発音やポーズに気を付けて発表する。

第5回 Unit 10 Giving a Presentation about Japan (1) (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：Expression Boxの語句・表現に目を通しておく。このunitで学ぶ、プレゼンテーションの確認をしておく。
予習時間：60分
復習内容：察し（了解事項の共有）についての復習。原稿チェック
復習時間：60分
・察しの文化を越えて
察し（了解事項の共有）

第6回 Unit 10 Giving a Presentation about Japan (2) (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：原稿チェック。察しの復習
予習時間：60分
復習内容：プレゼンテーションの反省と、改善点を考える。
復習時間：60分
・ペアワーク
察しが克服できるか

第7回 Unit 11 Old Japanese Sayings (1) (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：Expression Boxの語句・表現に目を通しておく。このunitで学ぶ、プレゼンテーションの確認をしておく。
予習時間：60分
復習内容：原稿の構造確認。
復習時間：60分
・スピーチの構造
筋道をはっきりさせる。スピーチの流れを確認する。

第8回 Unit 11 Old Japanese Sayings (2) (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：ことわざの説明の準備。内容チェック

予習時間：60分
復習内容：プレゼンテーションの反省と、改善点を考える。
復習時間：60分
・ことわざを使ってプレゼンテーションする。
論理性・説得力・流れ。

第9回 Unit 12 Describing Things Japanese (1) （授業形式：演習を含む講義）

予習内容：Expression Boxの語句・表現に目を通しておく。このunitで学ぶ、プレゼンテーションの確認をしておく。
予習時間：60分
復習内容：ハンドアウトの準備、原稿の内容を確認する。
復習時間：60分
・ハンドアウトの用意
効果的なハンドアウト選び

第10回 Unit 12 Describing Things Japanese (2) （授業形式：演習を含む講義）

予習内容：Expression Boxの語句・表現のチェック。ハンドアウトの吟味
予習時間：60分
復習内容：プレゼンテーション資料の反省と、改善点を考える。
復習時間：60分
・ハンドアウトの利用法
話のポイントを示す場合と話の詳細を示す場合

第11回 Unit 13 Current Issues in Japanese Society (1) （授業形式：演習を含む講義）

予習内容：Expression Boxの語句・表現に目を通しておく。このunitで学ぶ、プレゼンテーションの確認をしておく。
予習時間：60分
復習内容：原稿内容のチェック。
復習時間：60分
・国際言語としての英語
国際言語としての英語を考える。

第12回 Unit 13 Current Issues in Japanese Society（2） （授業形式：演習を含む講義）

予習内容：トピックの吟味
予習時間：60分
復習内容：プレゼンテーション資料の反省と、改善点を考える。
復習時間：60分
・資料を使ってプレゼンテーション原稿を仕上げる。
資料を探す。
論理性・明瞭さ・説得力

第13回 発表（プレゼンテーション）(授業形式：演習)

予習内容：プレゼンテーションの準備。
予習時間：60分
復習内容：プレゼンテーションの反省と、改善点を考える。
復習時間：60分
・自分で選んだトピックをプレゼンターションする。
パフォーマンスを工夫する

第14回 Unit 14 Current Issue in International Relations （授業形式：演習を含む講義）

予習内容：Expression Boxの語句・表現に目を通しておく。このunitで学ぶ、プレゼンテーションの確認をしておく。
予習時間：60分
復習内容：TPOを考えてのプレゼンテーションの工夫の復習
復習時間：60分
・フォーマルな言い方とインフォーマルな言い方
時や場面においてのプレゼンテーションの工夫を考える。

第15回 Unit 15 Living in a Globalization Society
総復習、課題作成

予習内容：今までの学習内容の復習、課題作成の準備
予習時間：60分
復習内容：Unit 8からUnit 15までの要点の総復習
復習時間：60分
・グローバル化社会に求められるインクルーシブな英語の使い方。

・Unit 8からUnit 15までの要点の総復習を行う。
コース内で学習した内容から課題を作成、仕上げる。

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**理系英語４（プレゼンテーション）**						
英文名　：	Science English (Presentation) 4						
担当者　：	中萩　三尾 エルザ						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	3年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	外国語科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】火曜3限　食品安全工学科、生命情報工学科、人間環境デザイン工学科開講科目						

■授業概要

英語でのプレゼンテーションに関するスキルをテキストやモデルスピーチを通して学びます。英語で与えられたテーマ、もしくは自身で選んだテーマについて自己表現を交えたプレゼンテーションを段階的に実践していきます。また他の学生のプレゼンテーションを通して、英語で表現されたテーマを理解・共有しディスカッションすることも目的とします。受講期間中にランゲージスペースを有効活用するように心がけること。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

理系分野の研究に役立つ基礎的な英語力を身に着け、英語による情報発信力を養う。英語でのプレゼンテーションスキルを身につける。プレゼンテーション時の姿勢、ボディランゲージ、声のトーン、視線など、短時間で効果的なプレゼンテーションの進め方を養います。
この科目の習得は、学部ディプロマポリシー5、近畿大学の教養教育の目的2の達成に開与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 40%
小テスト・課題 30%
プレゼンテーション 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験及び課題の解説をUNIVERSAL PASSPORT等を通して記載いたします。

■教科書

[ISBN]9784791934249 『Winning Presentations―動画で学ぶ英語プレゼンテーション-覚えておきたい8つのモデル』 (彰, 森田, 成美堂：2018)

■参考文献

授業内で指示します。

■関連科目

理系英語３（プレゼンテーション）

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・elzanakahagi@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■**授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間**

第1回 オリエンテーション（授業形式：講義）

予習内容：教科書全体に目を通しておく。
予習時間：30分
復習内容：授業内容の復習。
復習時間：30分
授業の進め方について（目的、計画、指導方法、参加態度、総合評価、評価方法）
a)グループ分けし、それぞれのプレゼンテーションのテーマを決める。自由にテーマを選ぶ（30分）。
（テーマの例:Hybrid cars, advertisements, organic foods, Japanese funeral, trailer house, LED, bridges, traffic signal, tower, tricks and magic, fiberscope, electric knife, bridge, Olympic, patent right, Japanese foods, sightseeing in Japan, etc.）

第2回 quick review 1（授業形式：講義）

予習内容：教科書を通して1学期で学んだ内容を復習し、覚えておく点をあげる。
予習時間：30分
復習内容：教科書を通して1学期で学んだ内容を復習し、覚えておく点をあげる。
復習時間：30分
b） 1 学期のquick review 1（important points) (60分)

第3回 quick review 1（授業形式：講義）

予習内容：教科書を通して1学期で学んだ内容を復習し、覚えておく点をあげる。
予習時間：30分
復習内容：教科書を通して1学期で学んだ内容を復習し、覚えておく点をあげる。
復習時間：30分
b） 1 学期のquick review 1（important points) (60分)

第4回 quick review 1（授業形式：講義）

予習内容：報告型プレゼンテーションの実践。新しい用語に触れる、覚える。
予習時間：30分
復習内容：授業の復習。
復習時間：30分
b） 1 学期のquick review 1（important points) (60分)

第5回 Unit 9: Giving your presentation 2（授業形式：講義）

予習内容：報告型プレゼンテーションの実践
教科書を通して英語での表現を予習する。新しい用語に触れる、覚える。
予習時間：30分
復習内容：授業の復習。
復習時間：30分
a）選んだテーマについて、グループ内でディスカッションする。 （30分）
テーマに対してアプローチ方法を考える基礎作り。
b) Unit 9: Giving your presentation 2 （60分）

第6回 Unit 11: Type 6 Problem and Solution 1（授業形式：講義）

予習内容：教科書を通して英語での表現を予習する。新しい用語に触れる、覚える。
予習時間：30分
復習内容：授業の復習。
復習時間：30分
a）選んだテーマについてアプローチ方法を考える基礎作り。 (30分)
b）Unit 11: Type 6 Problem and Solution 1 (60分)
問題解決型プレゼンテーション。交通渋滞の問題点と解決策

第7回 Unit 11 : Type 6: Problem and Solution 2（授業形式：講義）

予習内容：教科書を通して英語での表現を予習する。新しい用語に触れる、覚える。
予習時間：30分
復習内容：授業の復習。
復習時間：30分
a）習内容：それぞれのテーマについて必要な情報を収集し、さらに英語での表現を予習する （30分）
b）Unit 11 : Type 6: Problem and Solution 2 (60分)
問題解決型プレゼンテーション。交通渋滞の問題点と解決策
事実と意見の表現の違いを知る。過去の出来事の表現。問題が発生する理由を考え、解決方法を提案

する時の英語での言い回しや表現方法を学ぶ。

第8回 Unit 12: Cause and effect 1（授業形式：講義）

予習内容：教科書を通して英語での表現を予習する。新しい用語に触れる、覚える。
予習時間：30分
復習内容：授業の復習。
復習時間：30分
a）選んだテーマについて、グループ内でディスカッションする。（30分）
　プレゼンテーションの構成を見直しする。
b）Unit 12: Cause and effect 1 (60分)
　原因と結果型プレゼンテーションョン　睡眠不足の原因と結果

第9回 Review – 振り返り （授業形式：講義）

予習内容：教科書を通して2学期前半で学んだ内容を復習し、覚えておく点をあげる。
予習時間：30分
復習内容：教科書を通し2学期前半で学んだ内容を復習し、覚えておく点をあげる。
復習時間：30分
プレゼンテーションに関して改善できる点、補足しなければいけない点、など
自由発言、ディスカッション

第10回 Unit 12: Cause and effect 2 （授業形式：講義）

予習内容：教科書を通して英語での表現を予習する。新しい用語に触れる、覚える。
予習時間：30分
復習内容：授業の復習。
復習時間：30分
a）選んだテーマをそれぞれのプレゼンテーション実践演習。１日３人まで。（30分）
b）Unit 12: Cause and effect 2　（60分）
　原因と結果型プレゼンテーションョン　睡眠不足の原因と結果

第11回 Unit 13　Comparison and Contrast 1 （授業形式：講義）

予習内容：教科書を通して英語での表現を予習する。
予習時間：30分
復習内容：授業の復習。
復習時間：30分
a）選んだテーマをそれぞれのプレゼンテーション実践演習。１日３人まで。（30分）
　個人のプレゼンテーション基礎実践
b）Unit 13　Comparison and Contrast 1　比較対照型プレゼンテーション　（60分）
　教科書を通して課題に取り組む。比較する対象を選んでディスカッションスる。

第12回 Unit 13　Comparison and Contrast 2（授業形式：講義）

予習内容：教科書を通して英語での表現を予習する。
予習時間：30分
復習内容：授業の復習。
復習時間：30分
a）選んだテーマをそれぞれのプレゼンテーション実践演習。１日３人まで。（30分）
b）Unit 13　Comparison and Contrast 2　比較対照型プレゼンテーション　（60分）
　教科書を通して課題に取り組む。比較する対象を選んでディスカッションる。
　考えや出来事を比較しながら例えを交えて説明することを学び実践する

第13回 Unit 14　Giving your proposal presentation 1（授業形式：講義）

予習内容：教科書を通して英語での表現を予習する。新しい用語に触れる、覚える。
予習時間：30分
復習内容：授業の復習。
復習時間：30分
a）選んだテーマをそれぞれのプレゼンテーション実践演習。１日３人まで。（30分）
b）Unit 14　Giving your proposal presentation 1　説得型。提案型プレゼンテーシ　（60分）

第14回 Unit 14　Giving your proposal presentation 1（授業形式：講義）

予習内容：教科書を通して英語での表現を予習する。新しい用語に触れる、覚える。
予習時間：30分
復習内容：授業の復習
復習時間：30分

a）他のグループが選んだテーマについて、グループ内でディスカッションする。（30分）
　　個人が選んだテーマについてプレゼンテーションの実践。
b）Unit 14　Giving your proposal presentation 1　説得型。提案型プレゼンテーション　（60分）

第15回　In Conclusion…　振り返り、自由発言（授業形式：講義）

予習内容：教科書を通して2学期後半で学んだ内容を復習し、覚えておく点をあげる。
予習時間：30分
復習内容：教科書を通して2学期後半で学んだ内容を復習し、覚えておく点をあげる。
復習時間：30分
プレゼンテーションの時、考えをまとめる時の英語での表現について学ぶ。
これまでの授業を振り返り復習する。

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**Ｗｅｂデザイン**						
英文名　：	Design practice for World Wide Web page						
担当者　：	吉田　久						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	基礎科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】土曜1限						

■授業概要

様々な情報の発信、交換、活用にインターネットは不可欠である。近畿大学ではe-Learningシステムを利用した教育、主に研究のための電子ジャーナル検索ポータルあるいは学生生活を快適にする各種情報のWebによる提供などにインターネットを活用している。このような情報がどのように作成され発信されているのかを知ることは、情報を発信する者に限らず、情報を利用する者にとっても重要である。本学に学ぶ学生は、在学中にも社会人となってもその両方の立場に立つことになる。本講では、情報の整理と発信のためのビジュアルデザインについて実習によってその手法を知り、意味を考える。Web制作に必要なソフトウェアと独特の手法について、ソフトの実際操作、情報の発信シミュレーションといった実習を通して体得する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

情報を如何に整理し、如何にわかりやすく発信するかについては、多様な方法論が存在する。そのなかで、もっとも汎用性が高いソフトウェアの基本操作と機能を知り、オーソドックスな方法を学びつつ、将来の研究発表や成果報告に必要な技術とセンスを会得する。同時に、わかりやすい情報のデザインテクニックとグローバルに公表する技術の基礎も会得する。
この科目の修得は、生物理工学部のディプロマポリシー1および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

中間課題 20%
知識テスト 20%
期末課題 50%
課題のレビュー 10%

■試験・課題に対するフィードバック方法

中間試験は事後対応が発生することを考慮し、試験解答は掲示しません。
課題のレビューのみ、総評を授業内でアナウンスします。

■教科書

PDFファイル、パワーポイントによる講義

■参考文献

[ISBN]9784774193717 『ゼロからわかる HTML&CSS 超入門 [HTML5&CSS3対応版] (かんたんIT基礎講座)』 (太木 裕子, 技術評論社：2017)
[ISBN]9784938927691 『改訂版 ウェブデザイン技能検定 3級 過去問題集 (よくわかるマスター)』 (特定非営利活動法人インターネットスキル認定普及協会, 富士通ラーニングメディア(FOM出版)：2022)

■関連科目

学科専門科目として開講される　情報リテラシー、情報処理基礎　およびそれらに対応する科目。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

2号館2階254（講師控室）

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　オリエンテーション／ファイル管理（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：「大文字・小文字・記号」がスムーズに入力できるように予習を行っておくこと。
予習時間：30分
復習内容：ファイル管理について復習を行うこと。
復習時間：30分
・オリエンテーション
・レッスンブック（第2回～第5回の授業資料）と練習問題について
・ファイル管理：保存・コピー・移動・削除・ディレクトリ
・HTMLでのWebページ作成体験

第2回　情報倫理（授業形式：講義）

予習内容：「情報処理」のレッスンブックを一読しておくこと。
予習時間：30分
復習内容：授業内容を反復すること。
復習時間：60分
・ICTにおける情報倫理・著作権・情報化社会の現状と対策・セキュリティ対策
・インターネットの仕組み、スマートフォンのセキュリティ対策

第3回　PowerPoint①（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：「PowerPoint：Lesson１」のレッスンブックを一読しておくこと。
予習時間：30分
復習内容：授業内容を反復し、練習問題に取り組むこと。
復習時間：90分
・概要・画面構成・基本操作
・オブジェクトの挿入と編集①

第4回　PowerPoint②（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：「PowerPoint：Lesson２」のレッスンブックを一読しておくこと。
予習時間：30分
復習内容：授業内容を反復し、練習問題に取り組むこと。
復習時間：90分
・オブジェクトの挿入と編集②

第5回　PowerPoint③（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：「PowerPoint：Lesson３」のレッスンブックを一読しておくこと。
予習時間：30分
復習内容：授業内容を反復し、練習問題に取り組むこと。
復習時間：90分
・オブジェクトの挿入と編集③

第6回　中間課題①（授業形式：演習）

予習内容：なし
復習内容：課題作成を進めること。
復習時間：180分
・課題作成

第7回　中間課題②（授業形式：演習）

予習内容：中間課題作成を進めること。
予習時間：180分
復習内容：なし
・課題作成・提出

第8回　Webデザイン①（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：「第1回」の授業で作成したHTMLファイルのソースを確認しておくこと。

予習時間：30分
復習内容：授業内容を反復すること。
復習時間：60分
・インターネットの仕組み・Webページのしくみ
・Webページ作成：HTML（基本タグ）

第9回　Webデザイン②（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：「第8回」の授業で作成したHTMLファイルのソースを確認しておくこと。
予習時間：30分
復習内容：授業内容を反復すること。
復習時間：60分
・Webページ作成：HTML（リンク・画像・リスト）

第10回　Webデザイン③（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：「第9回」の授業で作成したHTMLファイルのソースを確認しておくこと。
予習時間：30分
復習内容：授業内容を反復し、練習問題に取り組むこと。
復習時間：90分
・Webページ作成：HTML／CSS

第11回　Webデザイン④（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：なし
復習内容：授業内容を反復し、練習問題に取り組むこと。
復習時間：90分
・Webデザインの考え方
・ユニバーサルデザイン・Webユーザビリティ・Webアクセシビリティ・W3C

第12回　Webデザイン⑤（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：なし
復習内容：授業内容を反復し、練習問題に取り組むこと。
復習時間：90分
・情報をデザインする

第13回　Webデザイン⑥（授業形式：演習）

予習内容：なし
復習内容：練習問題に取り組むこと。
期末課題作成を進めること。
復習時間：180分
・期末課題作成

第14回　Webデザイン⑦（授業形式：演習）

予習内容：なし
復習内容：練習問題に取り組むこと。
期末課題作成を進めること。
復習時間：180分
・期末課題作成

第15回　知識テスト／期末課題のレビュー（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：第8回～第12回の授業内実習を反復し、再度、練習問題に取り組むこと。
予習時間：180分
復習内容：なし
・第8回～第12回を範囲とする択一式のテストを行う。
・期末課題提出
・期末課題のレビュー

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**Ｗｅｂデザイン**						
英文名　：	Design practice for World Wide Web page						
担当者　：	吉田　久						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	基礎科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】土曜2限						

■授業概要

様々な情報の発信、交換、活用にインターネットは不可欠である。近畿大学ではe-Learningシステムを利用した教育、主に研究のための電子ジャーナル検索ポータルあるいは学生生活を快適にする各種情報のWebによる提供などにインターネットを活用している。このような情報がどのように作成され発信されているのかを知ることは、情報を発信する者に限らず、情報を利用する者にとっても重要である。本学に学ぶ学生は、在学中にも社会人となってもその両方の立場に立つことになる。本講では、情報の整理と発信のためのビジュアルデザインについて実習によってその手法を知り、意味を考える。Web制作に必要なソフトウェアと独特の手法について、ソフトの実際操作、情報の発信シミュレーションといった実習を通して体得する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

情報を如何に整理し、如何にわかりやすく発信するかについては、多様な方法論が存在する。そのなかで、もっとも汎用性が高いソフトウェアの基本操作と機能を知り、オーソドックスな方法を学びつつ、将来の研究発表や成果報告に必要な技術とセンスを会得する。同時に、わかりやすい情報のデザインテクニックとグローバルに公表する技術の基礎も会得する。
この科目の修得は、生物理工学部のディプロマポリシー1および5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

中間課題 20%
知識テスト 20%
期末課題 50%
課題のレビュー 10%

■試験・課題に対するフィードバック方法

中間試験は事後対応が発生することを考慮し、試験解答は掲示しません。
課題のレビューのみ、総評を授業内でアナウンスします。

■教科書

PDFファイル、パワーポイントによる講義

■参考文献

[ISBN]9784774193717 『ゼロからわかる HTML&CSS 超入門 [HTML5&CSS3対応版] (かんたんIT基礎講座)』 (太木 裕子, 技術評論社：2017)
[ISBN]9784938927691 『改訂版 ウェブデザイン技能検定 3級 過去問題集 (よくわかるマスター)』 (特定非営利活動法人インターネットスキル認定普及協会, 富士通ラーニングメディア(FOM出版)：2022)

■関連科目

学科専門科目として開講される　情報リテラシー、情報処理基礎　およびそれらに対応する科目。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

2号館2階254（講師控室）

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　オリエンテーション／ファイル管理（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：「大文字・小文字・記号」がスムーズに入力できるように予習を行っておくこと。
予習時間：30分
復習内容：ファイル管理について復習を行うこと。
復習時間：30分
・オリエンテーション
・レッスンブック（第2回～第5回の授業資料）と練習問題について
・ファイル管理：保存・コピー・移動・削除・ディレクトリ
・HTMLでのWebページ作成体験

第2回　情報倫理（授業形式：講義）

予習内容：「情報処理」のレッスンブックを一読しておくこと。
予習時間：30分
復習内容：授業内容を反復すること。
復習時間：60分
・ICTにおける情報倫理・著作権・情報化社会の現状と対策・セキュリティ対策
・インターネットの仕組み、スマートフォンのセキュリティ対策

第3回　PowerPoint①（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：「PowerPoint：Lesson１」のレッスンブックを一読しておくこと。
予習時間：30分
復習内容：授業内容を反復し、練習問題に取り組むこと。
復習時間：90分
・概要・画面構成・基本操作
・オブジェクトの挿入と編集①

第4回　PowerPoint②（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：「PowerPoint：Lesson２」のレッスンブックを一読しておくこと。
予習時間：30分
復習内容：授業内容を反復し、練習問題に取り組むこと。
復習時間：90分
・オブジェクトの挿入と編集②

第5回　PowerPoint③（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：「PowerPoint：Lesson３」のレッスンブックを一読しておくこと。
予習時間：30分
復習内容：授業内容を反復し、練習問題に取り組むこと。
復習時間：90分
・オブジェクトの挿入と編集③

第6回　中間課題①（授業形式：演習）

予習内容：なし
復習内容：課題作成を進めること。
復習時間：180分
・課題作成

第7回　中間課題②（授業形式：演習）

予習内容：中間課題作成を進めること。
予習時間：180分
復習内容：なし
・課題作成・提出

第8回　Webデザイン①（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：「第1回」の授業で作成したHTMLファイルのソースを確認しておくこと。

予習時間：30分
復習内容：授業内容を反復すること。
復習時間：60分
・インターネットの仕組み・Webページのしくみ
・Webページ作成：HTML（基本タグ）

第9回　Webデザイン②（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：「第8回」の授業で作成したHTMLファイルのソースを確認しておくこと。
予習時間：30分
復習内容：授業内容を反復すること。
復習時間：60分
・Webページ作成：HTML（リンク・画像・リスト）

第10回　Webデザイン③（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：「第9回」の授業で作成したHTMLファイルのソースを確認しておくこと。
予習時間：30分
復習内容：授業内容を反復し、練習問題に取り組むこと。
復習時間：90分
・Webページ作成：HTML／CSS

第11回　Webデザイン④（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：なし
復習内容：授業内容を反復し、練習問題に取り組むこと。
復習時間：90分
・Webデザインの考え方
・ユニバーサルデザイン・Webユーザビリティ・Webアクセシビリティ・W3C

第12回　Webデザイン⑤（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：なし
復習内容：授業内容を反復し、練習問題に取り組むこと。
復習時間：90分
・情報をデザインする

第13回　Webデザイン⑥（授業形式：演習）

予習内容：なし
復習内容：練習問題に取り組むこと。
期末課題作成を進めること。
復習時間：180分
・期末課題作成

第14回　Webデザイン⑦（授業形式：演習）

予習内容：なし
復習内容：練習問題に取り組むこと。
期末課題作成を進めること。
復習時間：180分
・期末課題作成

第15回　知識テスト／期末課題のレビュー（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：第8回～第12回の授業内実習を反復し、再度、練習問題に取り組むこと。
予習時間：180分
復習内容：なし
・第8回～第12回を範囲とする択一式のテストを行う。
・期末課題提出
・期末課題のレビュー

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**バイオテクノロジー技術論**						
英文名　：	Guidance for Experience to Biotechnology						
担当者　：	瀧川　義浩						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	基礎科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】土曜2限						

■授業概要

農業、医薬ならびに食品といった様々な分野で活用されているバイオテクノロジーの役割は大きい。本講義では、植物バイオテクノロジー（植物バイテク）の基盤技術である植物組織培養技術を中心に講義を行う。また、植物バイテクで使用される基礎的な遺伝子工学技術の内容も紹介する。さらに、植物病害防除技術の内容も紹介する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

植物バイオテクノロジーに必要な初歩的な植物組織培養技術、遺伝子工学技術などの関連基礎知識を養う。また、植物に病害を引き起こす微生物、害虫の存在やそれらからの防除方法についての基本的な知識も修得する。本講義終了後の期末試験に合格すれば2単位を習得する。本講義の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー1に関与している。

■成績評価方法および基準

定期試験 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

定期試験終了後（試験期間終了後）に生物生産工学研究室（512号室実験室）前にて試験の要点等を掲示します。

■教科書

【留意事項】教科書は特に指定しないが、関連の参考文献もしくはそれ以外の文献を調査して予習復習することが望ましい。

■参考文献

[ISBN]9784782103333 『植物バイオテクノロジー』（高山真策、幸書房：2009）
[ISBN]9784540042324 『植物バイテクの基礎知識』（大沢勝次、農文協：2005）
【留意事項】その他、必要であれば適宜授業時に紹介をします。

■関連科目

遺伝子工学

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準じます。

■研究室・メールアドレス

生物生産工学実験室（東1号館　5階512号実験室）
takikawa@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

土曜日3時限目　事前にメールにてアポイントを取ってください。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

本講義は、(1)バイオテクノロジー（バイオ）の体系、(2)バイオ実験に必要な設備、機器類および培地の組成とその作製方法、(3)植物体の再生経路と植物組織培養に用いる植物ホルモンの種類、(4)植物組織培養技術、(5)バイオ技術に必要な遺伝子工学技術基礎概要、(6)植物病害防除技術、の6つの内容に分けられている。それぞれ(1)から(6)の講義内容についてはそれぞれが連続した内容を複数回に分けたものとなっている。本講義で紹介する内容の(1)ではバイオテクノロジーの語源や歴史などについて幅広い講義を2回に分けて連続的に行う。(2)についてはバイオの実験に必要な実験室の設備、機器類を紹介し、さらに植物バイオの実施に必要な培地の組成やその作製方法について連続した内容で2回に分けて講義を実施する。(3)については植物組織培養を実施するにあたり、植物がもつ基本的な再生経路やそれに関連する植物ホルモンについて基礎的な内容の講義を連続した内容で3回に分けて講義を実施する。(4)については実際の研究例を紹介しながら植物組織培養技術について連続的な内容を3回に分けて講義を実施する。(5)についてはバイオ技術に必要な非常に初歩的な遺伝子工学技術の概要（遺伝子組換え植物作製方法についても）について連続的な内容で3回にわけて講義を実施する。最後に(6)であるが、農業作物を安定的に生産するうえで重要なことに病虫害管理が挙げられる。その病虫害の防除方法について種々のバイオ技術や物理的技術を利用した方法に関する講義を2回に分けて連続的な講義を実施する。

第1回　バイオテクノロジーの体系と原理（1）（授業形式：講義）

予習内容：バイオテクノロジー（バイオ）の語源や歴史について事前に調査することが望ましい。また、バイオテクノロジーの良い点、悪い点について自分の考えをまとめておくこと。初回の講義でそれを記述をしてもらいます。
予習時間：120分
復習内容：講義内容を参考にして復習ノートを作製すること。
復習時間：60分
バイオテクノロジーの語源や、歴史などについて紹介するとおもに、バイオテクノロジーの2面性について記述をしてもらいます。また、その2面性についてディスカッションをしてもらいます。２回にわけての講義を実施します。

第2回　バイオテクノロジーの体系と原理（2）（授業形式：講義）

予習内容：バイオテクノロジーが使用されている研究にはどのようなものが該当するのかを事前に調査することが望ましい。
予習時間：120分
復習内容：講義ノートを読み返し復習ノートを作製すること。
復習時間：60分
第1回目の続きの講義内容となります。バイオテクノロジーの語源や、歴史など幅広い内容を紹介します。

第3回　バイオ実験に必要な設備、機器類および培地の組成とその作製方法（1）（授業形式：講義）

予習内容：バイオ実験に必要な実験室の設備などを関連文献を参考にしながら知識を入れておく事。
予習時間：60分
復習内容：講義ノートの読み返しや参考文献を読んでおくこと。
復習時間：60分
バイオテクノロジーの実験に必要な実験室の設備、機器類を紹介し、さらに植物バイオテクノロジーの実施に必要な培地の組成やその作製方法について連続した内容で2回に分けて講義を行います。

第4回　バイオ実験に必要な設備、機器類および培地の組成とその作製方法（2）（授業形式：講義）

予習内容：バイオ実験に必要な培地の種類や作製方法などを理解すること。今後の基礎実験や研究で必要となる。
予習時間：90分
復習内容：講義ノートの読み返しや参考文献を読んで情報の整理をしておくこと。また、ここまでの復習ノートを作製すること。
復習時間：120分
2回の連続した内容の講義のため、第3回目の続きからとなります。

第5回　植物体の再生経路と植物組織培養に用いる植物ホルモンの種類（1）（授業形式：講義）

予習内容：基礎的な植物の再生経路ならびに植物ホルモンについて事前に勉強しておくこと。
予習時間：120分
復習内容：講義ノートをよく読み返し、知識の整理をしておくこと。
復習時間：60分
植物バイオテクノロジーの基盤技術は組織培養です。この組織培養を実施するにあたり、植物がもつ基本的な再生経路やそれに関連する植物ホルモンについて理解する必要があります。ここでは、基礎的な内容を3回に分けて講義を実施します。

第6回　植物体の再生経路と植物組織培養に用いる植物ホルモンの種類（2）（授業形式：講義）

予習内容：(1)からの続きになるので、基礎的な植物の再生経路ならびに植物ホルモンについてに勉強しておくこと。
予習時間：120分
復習内容：講義ノートをよく読み返し、知識の整理をしておくこと。
復習時間：60分
3回の連続した内容の講義のため、第5回目の続きからとなります。

第7回　植物体の再生経路と植物組織培養に用いる植物ホルモンの種類（3）（授業形式：講義）

予習内容：(2)からの続きになるので、基礎的な植物の再生経路ならびに植物ホルモンについて事前に勉強しておくこと。

予習時間：120分
復習内容：第5～7回分の講義ノートを読み返し、復習ノートを作製すること。
復習時間：180分
3回の連続した内容の講義のため、第6回目の続きからとなります。

第8回　植物組織培養技術（1）（授業形式：講義）

予習内容：第5～7回の講義内容（植物体の再生経路と植物組織培養に用いる植物ホルモンの種類）が重要なポイントになるので事前にそれらを復習しておくこと。
予習時間：120分
復習内容：講義ノートを読み返し、内容を整理しておくこと。
復習時間：60分
研究例を紹介しながら、植物組織培養技術について連続的な内容を3回に分けて講義を実施します。ここでは、実際的な技術内容について紹介します。

第9回　植物組織培養技術（2）（授業形式：講義）

予習内容：植物組織培養技術を用いた研究について事前に情報を入れておくこと。できれば日本語の植物組織培養の文献を読み、実験方法を予習しておくことが望ましい。
予習時間：180分
復習内容：講義ノートを読み返し、内容を整理しておくこと。
復習時間：60分
3回の連続した内容の講義のため、第8回目の続きからとなります。

第10回　植物組織培養技術（3）（授業形式：講義）

予習内容：第8～9回の講義内容をもとに植物組織培養技術を用いた研究についてさらに詳しい情報を入れておくこと。できれば日本語の植物組織培養の文献を読んでおくこと。
予習時間：120分
復習内容：第8～10回分の講義ノートを読み返し、復習ノートを作製すること。
復習時間：120分
3回の連続した内容の講義のため、第9回目の続きからとなります。

第11回　バイオ技術に必要な遺伝子工学技術基礎概要（1）（授業形式：講義）

予習内容：高校の教科書に記載されている遺伝子工学の知識について復習しておくこと。
予習時間：120分
復習内容：講義ノートを読み返し、内容を整理しておくこと。
復習時間：60分
バイオ技術に必要な非常に初歩的な遺伝子工学技術の概要（遺伝子組換え植物作製方法についても）について連続的な内容で3回にわけて講義を実施します。PCR法からアグロバクテリム法やゲノム編集技術なども紹介します。

第12回　バイオ技術に必要な遺伝子工学技術基礎概要（2）（授業形式：講義）

予習内容：組換え植物を作製するための方法について予め知識を入れておく事。
予習時間：120分
復習内容：講義ノートを読み返し、内容を整理しておくこと。特に、組換え植物作製方法の原理に要点を絞る事が望ましい。
復習時間：60分
3回の連続した内容の講義のため、第11回目の続きからとなります。

第13回　バイオ技術に必要な遺伝子工学技術基礎概要（3）（授業形式：講義）

予習内容：組換え植物を作製するための方法について予め知識を入れておく事。
予習時間：120分
復習内容：第11～13回分の講義ノートを読み返し、復習ノートを作製すること。
復習時間：120分
3回の連続した内容の講義のため、第12回目の続きからとなります。

第14回　植物病害防除技術（1）（授業形式：講義）

予習内容：植物に病害を引き起こす微生物、害虫および植物病害防除の方法について予め知識を入れておく事。
予習時間：120分
復習内容：講義ノートを読み返し、内容を整理しておくこと。
復習時間：60分
農業作物を安定的に生産するうえで重要なことに病虫害管理が挙げられる。その病虫害の防除方法について種々のバイオ技術や物理的技術を利用した方法に関する講義を2回に分けて連続的な講義を実施します。物理的防除方法については、現在のところ、最も効果があると考えられる技術を紹介します。

第15回　植物病害防除技術（2）（授業形式：講義）

予習内容：生物的および物理的な植物病害防除の方法について予め知識を入れておく事。

予習時間：120分
復習内容：第14～15回分の講義ノートを読み返し、復習ノートを作製すること。また、定期試験にあたって、到達目標の達成状況を参照しつつ講義内容全体を復習し、定期試験対策のための復習ノートを作製すること。
復習時間：180分
2回の連続した内容の講義のため、第14回目の続きからとなります。

定期試験

試験内容は、15回目までの講義内容の知識を幅広く問います。記述式の問題も複数ありますので、解答をする際は、問われている内容を正確に理解し、必要なキーワードを入れながら試験に望んでください。
ホームページ

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**バイオテクノロジー技術論**						
英文名　：	Guidance for Experience to Biotechnology						
担当者　：	瀧川　義浩						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	基礎科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】火曜3限						

■授業概要

農業、医薬ならびに食品といった様々な分野で活用されているバイオテクノロジーの役割は大きい。本講義では、植物バイオテクノロジー（植物バイテク）の基盤技術である植物組織培養技術を中心に講義を行う。また、植物バイテクで使用される基礎的な遺伝子工学技術の内容も紹介する。さらに、植物病害防除技術の内容も紹介する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

植物バイオテクノロジーに必要な初歩的な植物組織培養技術、遺伝子工学技術などの関連基礎知識を養う。また、植物に病害を引き起こす微生物、害虫の存在やそれらからの防除方法についての基本的な知識も修得する。本講義終了後の期末試験に合格すれば2単位を習得する。本講義の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー1に関与している。

■成績評価方法および基準

定期試験 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

定期試験終了後（試験期間終了後）に生物生産工学研究室（512号室実験室）前にて試験の要点等を掲示します。

■教科書

【留意事項】教科書は特に指定しないが、関連の参考文献もしくはそれ以外の文献を調査して予習復習することが望ましい。

■参考文献

[ISBN]9784782103333 『植物バイオテクノロジー』（高山真策、幸書房：2009）
[ISBN]9784540042324 『植物バイテクの基礎知識』（大沢勝次、農文協：2005）
【留意事項】その他、必要であれば適宜授業時に紹介をします。

■関連科目

遺伝子工学

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準じます。

■研究室・メールアドレス

生物生産工学実験室（東1号館　5階512号実験室）
takikawa@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

土曜日3時限目　事前にメールにてアポイントを取ってください。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

本講義は、(1)バイオテクノロジー（バイオ）の体系、(2)バイオ実験に必要な設備、機器類および培地の組成とその作製方法、(3)植物体の再生経路と植物組織培養に用いる植物ホルモンの種類、(4)植物組織培養技術、(5)バイオ技術に必要な遺伝子工学技術基礎概要、(6)植物病害防除技術、の6つの内容に分けられている。それぞれ(1)から(6)の講義内容についてはそれぞれが連続した内容を複数回に分けたものとなっている。本講義で紹介する内容の(1)ではバイオテクノロジーの語源や歴史などについて幅広い講義を2回に分けて連続的に行う。(2)についてはバイオの実験に必要な実験室の設備、機器類を紹介し、さらに植物バイオの実施に必要な培地の組成やその作製方法について連続した内容で2回に分けて講義を実施する。(3)については植物組織培養を実施するにあたり、植物がもつ基本的な再生経路やそれに関連する植物ホルモンについて基礎的な内容の講義を連続した内容で3回に分けて講義を実施する。(4)については実際の研究例を紹介しながら植物組織培養技術について連続的な内容を3回に分けて講義を実施する。(5)についてはバイオ技術に必要な初歩的な遺伝子工学技術の概要（遺伝子組換え植物作製方法についても）について連続的な内容で3回にわけて講義を実施する。最後に(6)であるが、農業作物を安定的に生産するうえで重要なことに病虫害管理が挙げられる。その病虫害の防除方法について種々のバイオ技術や物理的技術を利用した方法に関する講義を2回に分けて連続的な講義を実施する。

第1回　バイオテクノロジーの体系と原理（1）（授業形式：講義）

予習内容：バイオテクノロジー（バイオ）の語源や歴史について事前に調査することが望ましい。また、バイオテクノロジーの良い点、悪い点について自分の考えをまとめておくこと。初回の講義でそれを記述をしてもらいます。
予習時間：120分
復習内容：講義内容を参考にして復習ノートを作製すること。
復習時間：60分
バイオテクノロジーの2面性について記述をしてもらいます。また、その2面性についてディスカッションをしてもらいます。

第2回　バイオテクノロジーの体系と原理（2）（授業形式：講義）

予習内容：バイオテクノロジーが使用されている研究にはどのようなものが該当するのかを事前に調査することが望ましい。
予習時間：120分
復習内容：講義ノートを読み返し復習ノートを作製すること。
復習時間：60分
バイオテクノロジーの語源や、歴史などについて紹介します。

第3回　バイオ実験に必要な設備、機器類および培地の組成とその作製方法（1）（授業形式：講義）

予習内容：バイオ実験に必要な実験室の設備などを関連文献を参考にしながら知識を入れておく事。
予習時間：60分
復習内容：講義ノートの読み返しや参考文献を読んでおくこと。
復習時間：60分
バイオテクノロジーの実験に必要な実験室の設備、機器類を紹介し、さらに植物バイオテクノロジーの実施に必要な培地の組成やその作製方法について連続した内容で2回に分けて講義を行います。

第4回　バイオ実験に必要な設備、機器類および培地の組成とその作製方法（2）（授業形式：講義）

予習内容：バイオ実験に必要な培地の種類や作製方法などを理解すること。今後の基礎実験や研究で必要となる。
予習時間：90分
復習内容：講義ノートの読み返しや参考文献を読んで情報の整理をしておくこと。また、ここまでの復習ノートを作製すること。
復習時間：120分
2回の連続した内容の講義のため、第3回目の続きからとなります。

第5回　植物体の再生経路と植物組織培養に用いる植物ホルモンの種類（1）（授業形式：講義）

予習内容：基礎的な植物の再生経路ならびに植物ホルモンについて事前に勉強しておくこと。
予習時間：120分
復習内容：講義ノートをよく読み返し、知識の整理をしておくこと。
復習時間：60分
植物バイオテクノロジーの基盤技術は組織培養です。この組織培養を実施するにあたり、植物がもつ基本的な再生経路やそれに関連する植物ホルモンについて理解する必要があります。ここでは、基礎的な内容を3回に分けて講義を実施します。

第6回　植物体の再生経路と植物組織培養に用いる植物ホルモンの種類（2）（授業形式：講義）

予習内容：(1)からの続きになるので、基礎的な植物の再生経路ならびに植物ホルモンについてに勉強しておくこと。
予習時間：120分
復習内容：講義ノートをよく読み返し、知識の整理をしておくこと。
復習時間：60分
3回の連続した内容の講義のため、第5回目の続きからとなります。

第7回　植物体の再生経路と植物組織培養に用いる植物ホルモンの種類（3）（授業形式：講義）

予習内容：(2)からの続きになるので、基礎的な植物の再生経路ならびに植物ホルモンについて事前に勉強しておくこと。
予習時間：120分

復習内容：第5～7回分の講義ノートを読み返し、復習ノートを作製すること。
復習時間：180分
3回の連続した内容の講義のため、第6回目の続きからとなります。

第8回　植物組織培養技術（1）（授業形式：講義）

予習内容：第5～7回の講義内容（植物体の再生経路と植物組織培養に用いる植物ホルモンの種類）が重要なポイントになるので事前にそれらを復習しておくこと。
予習時間：120分
復習内容：講義ノートを読み返し、内容を整理しておくこと。
復習時間：60分
実際の研究例を紹介しながら植物組織培養技術について連続的な内容を3回に分けて講義を実施します。ここでは、実際的な技術内容について紹介します。

第9回　植物組織培養技術（2）（授業形式：講義）

予習内容：植物組織培養技術を用いた研究について事前に情報を入れておくこと。できれば日本語の植物組織培養の文献を読み、実験方法を予習しておくことが望ましい。
予習時間：180分
復習内容：講義ノートを読み返し、内容を整理しておくこと。
復習時間：60分
3回の連続した内容の講義のため、第8回目の続きからとなります。

第10回　植物組織培養技術（3）（授業形式：講義）

予習内容：第8～9回の講義内容をもとに植物組織培養技術を用いた研究についてさらに詳しい情報を入れておくこと。できれば日本語の植物組織培養の文献を読んでおくこと。
予習時間：120分
復習内容：第8～10回分の講義ノートを読み返し、復習ノートを作製すること。
復習時間：120分
3回の連続した内容の講義のため、第9回目の続きからとなります。

第11回　バイオ技術に必要な遺伝子工学技術基礎概要（1）（授業形式：講義）

予習内容：高校の教科書に記載されている遺伝子工学の知識について復習しておくこと。
予習時間：120分
復習内容：講義ノートを読み返し、内容を整理しておくこと。
復習時間：60分
バイオ技術に必要な非常に初歩的な遺伝子工学技術の概要（遺伝子組換え植物作製方法についても）について連続的な内容で3回にわけて講義を実施します。PCR法からアグロバクテリム法やゲノム編集技術なども紹介します。

第12回　バイオ技術に必要な遺伝子工学技術基礎概要（2）（授業形式：講義）

予習内容：組換え植物を作製するための方法について予め知識を入れておく事。
予習時間：120分
復習内容：講義ノートを読み返し、内容を整理しておくこと。特に、組換え植物作製方法の原理に要点を絞る事が望ましい。
復習時間：60分
3回の連続した内容の講義のため、第11回目の続きからとなります。

第13回　バイオ技術に必要な遺伝子工学技術基礎概要（3）（授業形式：講義）

予習内容：組換え植物を作製するための方法について予め知識を入れておく事。
予習時間：120分
復習内容：第11～13回分の講義ノートを読み返し、復習ノートを作製すること。
復習時間：120分
3回の連続した内容の講義のため、第12回目の続きからとなります。

第14回　植物病害防除技術（1）（授業形式：講義）

予習内容：植物に病害を引き起こす微生物、害虫および植物病害防除の方法について予め知識を入れておく事。
予習時間：120分
復習内容：講義ノートを読み返し、内容を整理しておくこと。
復習時間：60分
農業作物を安定的に生産するうえで重要なことに病虫害管理が挙げられる。その病虫害の防除方法について種々のバイオ技術や物理的技術を利用した方法に関する講義を2回に分けて連続的な講義を実施します。物理的防除方法については、現在のところ、最も効果があると考えられる技術を紹介します。

第15回　植物病害防除技術（2）（授業形式：講義）

予習内容：生物的および物理的な植物病害防除の方法について予め知識を入れておく事。
予習時間：120分

復習内容：第14～15回分の講義ノートを読み返し、復習ノートを作製すること。また、定期試験にあたって、到達目標の達成状況を参照しつつ講義内容全体を復習し、定期試験対策のための復習ノートを作製すること。
復習時間：180分
2回の連続した内容の講義のため、第14回目の続きからとなります。

定期試験

試験内容は、15回目までの講義内容の知識を幅広く問います。記述式の問題も複数ありますので、解答をする際は、問われている内容を正確に理解し、必要なキーワードを入れながら試験に望んでください。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 ：	**医療・科学・暮らし**						
英文名 ：	Medical Care, Science and Daily Life						
担当者 ：	浅居　正充・宮下　尚之・永岡　隆・三上　勝大・奥田　正彦・島崎　敢						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	基礎科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】火曜3限						

■授業概要

健康や病気そして食と暮らしの安全など、人間生活の質の維持と向上に関する課題に強い関心がよせられている。本講では、現代社会・未来社会を支える研究者・技術者に必要な科学的教養の獲得を目的に以下の講義を行う。
（三上勝大）ヒポクラテス時代の医術から現代医療への変遷に科学の成果が果たした役割は極めて大きい。人体の構造とその機能についてとりあげ、現代医療を支えている科学技術および医療機器開発、そして今日の日本を支える医療制度について概説する。
（宮下尚之・浅居正充・永岡隆）医療や暮らしを支えるコンピュータ・エレクトロニクス技術に関する話題をとりあげ、生命科学、生体情報処理、生物の仕組みとの関わりや応用につき概説する。
（奥田正彦）現代社会の暮らしにおいては、様々な先端科学技術や産業技術が応用され、社会的ニーズの実現や問題解決に役立てられてきている。講師が企業で経験した開発や製品の紹介を通して、設計技術者の役割を概説する。
（島崎敢）前半2回では、健康と運転、移動の自由とQOLをテーマに、認知機能や視力と運転の関係について解説する。後半では近年普及するウエラブルデバイスによる健康状態推定や、マンマシンシステムがシビア事象に遭遇した際のレジリエンスについて、様々な事例を紹介しながら解説する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

・医療機器の役割や意義、それを支える技術開発および取り巻く環境について理解ができること。
・コンピュータ・エレクトロニクス技術の生命科学との関わりや応用が理解できること。
・暮らしの中の先端科学技術、産業技術の応用製品例を通して、そこに用いられている技術と大学の科目との関連を理解できること。
・超高齢社会を迎えると同時に、高度な自動化やデバイスの小型化が進みつつある21世紀社会において、モビリティや医療の分野では、どのような機器システムが開発され、QOLの向上や健康・事故リスク削減に寄与しているのか理解すること。この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的1の達成に関与している。各学科ディプロマポリシーとの対応については、学科カリキュラムマップに示す。

■成績評価方法および基準

レポート 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

レポートの内容に基づいて、それに応じた指導を行う

■教科書

【留意事項】適宜資料を配付する。

■参考文献

【留意事項】特に指定しない。

■関連科目

特になし。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

三上研究室（東1号館3階312）： kmikami@waka.kindai.ac.jp
宮下研究室（東1号館2階217）： miya@waka.kindai.ac.jp
浅居研究室（東1号館3階313）： asai@waka.kindai.ac.jp
永岡研究室（東1号館2階202）： nagaoka@waka.kindai.ac.jp
島崎研究室（東1号館1階110）・shimazakikan@waka.kindai.ac.jp
奥田 正彦 （2号館講師控室）： masahiko_okuda@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

浅居正充　水曜5限と月曜1限
島崎　敢　月曜3限と水曜2限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　医療機器の開発環境（授業形式：講義　担当：三上 勝大）

予習内容：医療機器の定義について予習すること。
予習時間：120分
復習内容：医療機器に携わる職種について整理し、復習すること。
復習時間：120分
医療機器の開発や運用・管理に関する職種や業務について講義を行います。

第2回　人体の構造と医療機器（授業形式：講義　担当：三上 勝大）

予習内容：呼吸系・代謝系・循環器系の各定義について予習すること。
予習時間：120分
復習内容：人体の構造を整理し、機能代行を行う医療機器について復習すること。
復習時間：120分
人体の構造と医療機器について臨床で活用される機器を例に解説を行い、講義を行います。

第3回　医療機器開発の具体事例（授業形式：講義　担当：三上 勝大）

予習内容：レントゲンおよびパルスオキシメータについて調べておくこと。
予習時間：120分
復習内容：生体の光学特性を整理し、機器開発への活用例を復習すること。
復習時間：120分
臨床で活用される医療機器の開発経緯や最先端の開発技術について講義を行います。

第4回　医療機器の開発と認可・承認（授業形式：講義　担当：三上 勝大）

予習内容：医療機器のクラス分類について調べておくこと。
予習時間：120分
復習内容：医療機器開発に必要な過程について講義を振り返り、復習すること。
復習時間：120分
医療機器の開発から臨床現場へ導出に至るまでの制度について講義を行います。

第5回　生命科学とコンピュータ（授業形式：講義、担当：宮下 尚之）

予習内容：スーパーコンピュータや分子シミュレーションの概要について書籍やインターネットで調べる。
予習時間：150分
復習内容：スーパーコンピュータ・たんぱく質と医療・生活との関わりについて考察する。
復習時間：90分
スーパーコンピュータに関する基礎知識とそれを用いた生体分子シミュレーションの話題について、疾患の分子機構や薬剤開発などの具体例をあげて講義する。

第6回　生命に学ぶ、"光"をあやつる技術（授業形式：講義、担当：浅居 正充）

予習内容：電磁波に関する物理につきインターネット等で調べておく。
予習時間：150分
復習内容：メタマテリアル、構造性発色につき概説できるよう講義内容を復習する。
復習時間：90分
光のふるまいに特殊な影響を与える微細構造 "メタマテリアル" に関する研究につき概説する。また、関連分野である " 構造性発色 " の研究についても紹介する。

第7回　画像の医学への応用　－人工知能によるメラノーマ診断の実現に向けて－（授業形式：講義、担当：永岡 孝）

予習内容：メラノーマ、人工知能についてインターネット上の情報源に当り、その概略を把握する。
予習時間：150分
復習内容：人工知能を用いたメラノーマ診断の流れを、自分の言葉で説明できるように、講義内容を復習する。
復習時間：90分
ホクロのがんであるメラノーマは、進行した病変の予後は悪い一方、早期に見つけることができればほぼ完治できる疾病です。しかしながら、定量的に診断する手法はいまだ確立しておらず、医師の主観に委ねています。そこで、現在開発が進められている、人工知能を用いたメラノーマの定量的かつ高精度な画像診断法について説明します。

第8回　油空圧機器と応用例（授業形式：講義　担当：奥田 正彦）

予習内容：油空圧機器の代表例を事前に調べておくこと。
予習時間：90分
復習内容：油空圧機器について概説できるよう復習すること。
復習時間：150分
油圧・空圧技術を用いた産業機器について概説する。その応用として義足の開発事例を紹介する。

第9回　電子制御義足（授業形式：講義　担当：奥田 正彦）

予習内容：義足について事前に調べておくこと。
予習時間：90分
復習内容：電子制御義足を実用化するための技術と大学の科目との関連を復習すること。
復習時間：150分
電子制御技術を用いた義足膝継手の開発と製品化について説明する。他の義肢パーツの現状についても紹介する。

第10回　アシスト福祉機器（授業形式：講義　担当：奥田 正彦）

予習内容：介護・福祉機器の代表例を事前に調べておくこと。
予習時間：90分
復習内容：福祉機器の開発状況について概説できるよう復習すること。
復習時間：150分
アシスト技術を利用した福祉機器製品とその応用への取り組みを紹介する。

第11回　超電導応用機器（授業形式：講義　担当：奥田 正彦）

予習内容：超電導とMRIについて事前に調べておくこと。
予習時間：150分
復習内容：超電導現象を利用するための周辺技術と大学の科目との関連を復習すること。
復習時間：90分
分析や医療に超電導を応用した機器とその用途開発に取り組んだ経験を紹介する。

第12回　認知機能と運転（担当：島崎 敢）（授業形式：講義）

予習内容：交通事故統計を調べ、高齢者の事故は多いのかどうか調べる。
予習時間：60分
復習内容：加齢による能力低下、社会全体のリスクの低減、移動の自由とQOLなどの概念についてどのようにバランスを取っていくのか自分なりの意見をまとめる。
復習時間：120分
人間に備わる様々な認知機能や、その測り方について解説し、認知を認知するメタ認知の概念にも触れる。さらにこれらの機能と加齢や運転との関係についても解説する。

第13回　視力と運転（担当：島崎 敢）（授業形式：講義）

予習内容：目の基本的な構造と、ものを見る仕組みについて調べておく。
予習時間：60分
復習内容：緑内障の年齢別の発症率と自覚している人の割合を調べ、現状の免許制度の問題点や解決策について自分なりの意見をまとめる。
復習時間：120分
免許更新時に測定されるのは視野中心部の静止視力だけだが、視力には視野、コントラスト感度、明順応暗順応など様々な能力がある。これらの測定方法や自覚の難しさ、運転の関係について解説する。

第14回　ウエアラブルデバイスと健康推定（担当：島崎 敢）（授業形式：講義）

予習内容：ウエアラブルデバイスにはどのようなセンサーが使われ、どのような仕組みで何を測っているのか（推定しているのか）調べておく。
予習時間：90分
復習内容：ウエラブルデバイスの利点と抱えている技術的、社会的課題について自分なりの意見をまとめる。
復習時間：120分
近年、ウエラブルデバイスが普及し、生体情報を長時間測定したビッグデータが、健康推定や疾患の早期発見等に使われるようになりつつある。これらの現状について解説する。

第15回 マンマシンシステムとレジリエンスエンジニアリング（担当：島崎 敢）（授業形式：講義）

予習内容：レジリエンスの概念について調べておく。
予習時間：60分
復習内容：医療機関を大きなマンマシンシステムと考えた場合、レジリエンスを高めるにはどうすればよいか、自分なりの意見をまとめる。
復習時間：120分
機械に比べてエラー率の高い人間は、マンマシンシステムの信頼性を下げる存在として厄介者扱いされてきた。一方、大災害のようなシビア事象で想定外の出来事に対応できるのは人間だけであり、レジリエントなシステム構築のために重要視され始めた人間の創造性を確保する方法について解説する。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 ：	**医療・科学・暮らし**						
英文名 ：	Medical Care, Science and Daily Life						
担当者 ：	浅居　正充・宮下　尚之・永岡　隆・三上　勝大・豊田　航・奥田　正彦						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	基礎科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】水曜4限						

■授業概要

健康や病気そして食と暮らしの安全など、人間生活の質の維持と向上に関する課題に強い関心がよせられている。本講では、現代社会・未来社会を支える研究者・技術者に必要な科学的教養の獲得を目的に以下の講義を行う。
（三上勝大）ヒポクラテス時代の医術から現代医療への変遷に科学の成果が果たした役割は極めて大きい。人体の構造とその機能についてとりあげ、現代医療を支えている科学技術および医療機器開発、そして今日の日本を支える医療制度について概説する。
（宮下尚之・浅居正充・永岡隆）医療や暮らしを支えるコンピュータ・エレクトロニクス技術に関する話題をとりあげ、生命科学、生体情報処理、生物の仕組みとの関わりや応用につき概説する。
（奥田正彦）現代社会の暮らしにおいては、様々な先端科学技術や産業技術が応用され、社会的ニーズの実現や問題解決に役立てられてきている。講師が企業で経験した開発や製品の紹介を通して、設計技術者の役割を概説する。
（豊田航）質の高い人間生活とは何かを考察し、それを実現する医療・福祉機器について、例えば障がいを克服して充実した生活を実現する福祉用具・ウェルネス機器などの教材をもとにヒューマンマシンシステムの観点から概説する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

・医療機器の役割や意義、それを支える技術開発および取り巻く環境について理解ができること。
・コンピュータ・エレクトロニクス技術の生命科学との関わりや応用が理解できること。
・暮らしの中の先端科学技術、産業技術の応用製品例を通して、そこに用いられている技術と大学の科目との関連を理解できること。
・ロボットをはじめとする人間と機械の共存を目指した21世紀社会において、福祉や介護の分野では現状どのような機器システムが開発されているのか、その代表例を知ることで人間と機械のインターフェースの重要性を理解すること。この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的1の達成に関与している。各学科ディプロマポリシーとの対応については、学科カリキュラムマップに示す。

■成績評価方法および基準

レポート 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

レポートの内容に基づいて、それに応じた指導を行う

■教科書

【留意事項】適宜資料を配付する。

■参考文献

【留意事項】特に指定しない。

■関連科目

特になし。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

三上研究室（東1号館3階312）： kmikami@waka.kindai.ac.jp
宮下研究室（東1号館2階217）： miya@waka.kindai.ac.jp
浅居研究室（東1号館3階313）： asai@waka.kindai.ac.jp
永岡研究室（東1号館2階202）： nagaoka@waka.kindai.ac.jp
豊田研究室（西1号館1階152）： toyoda_w@waka.kindai.ac.jp
奥田 正彦 （2号館講師控室）： masahiko_okuda@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

浅居正充　水曜5限と月曜1限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　医療機器の開発環境（授業形式：講義　担当：三上 勝大）

予習内容：医療機器の定義について予習すること。
予習時間：120分
復習内容：医療機器に携わる職種について整理し、復習すること。
復習時間：120分
医療機器の開発や運用・管理に関する職種や業務について講義を行います。

第2回　人体の構造と医療機器（授業形式：講義　担当：三上 勝大）

予習内容：呼吸系・代謝系・循環器系の各定義について予習すること。
予習時間：120分
復習内容：人体の構造を整理し、機能代行を行う医療機器について復習すること。
復習時間：120分
人体の構造と医療機器について臨床で活用される機器を例に解説を行い、講義を行います。

第3回　医療機器開発の具体事例（授業形式：講義　担当：三上 勝大）

予習内容：レントゲンおよびパルスオキシメータについて調べておくこと。
予習時間：120分
復習内容：生体の光学特性を整理し、機器開発への活用例を復習すること。
復習時間：120分
臨床で活用される医療機器の開発経緯や最先端の開発技術について講義を行います。

第4回　医療機器の開発と認可・承認（授業形式：講義　担当：三上 勝大）

予習内容：医療機器のクラス分類について調べておくこと。
予習時間：120分
復習内容：医療機器開発に必要な過程について講義を振り返り、復習すること。
復習時間：120分
医療機器の開発から臨床現場へ導出に至るまでの制度について講義を行います。

第5回　生命科学とコンピュータ（授業形式：講義、担当：宮下 尚之）

予習内容：スーパーコンピュータや分子シミュレーションの概要について書籍やインターネットで調べる。
予習時間：150分
復習内容：スーパーコンピュータ・たんぱく質と医療・生活との関わりについて考察する。
復習時間：90分
スーパーコンピュータに関する基礎知識とそれを用いた生体分子シミュレーションの話題について、疾患の分子機構や薬剤開発などの具体例をあげて講義する。

第6回　生命に学ぶ、"光"をあやつる技術（授業形式：講義、担当：浅居 正充）

予習内容：電磁波に関する物理につきインターネット等で調べておく。
予習時間：150分
復習内容：メタマテリアル、構造性発色につき概説できるよう講義内容を復習する。
復習時間：90分
光のふるまいに特殊な影響を与える微細構造 "メタマテリアル" に関する研究につき概説する。また、関連分野である " 構造性発色 " の研究についても紹介する。

第7回　画像の医学への応用　－人工知能によるメラノーマ診断の実現に向けて－（授業形式：講義、担当：永岡 隆）

予習内容：メラノーマ、人工知能についてインターネット上の情報源に当り、その概略を把握する。
予習時間：150分

復習内容：人工知能を用いたメラノーマ診断の流れを、自分の言葉で説明できるように、講義内容を復習する。
復習時間：90分
ホクロのがんであるメラノーマは、進行した病変の予後は悪い一方、早期に見つけることができればほぼ完治できる疾病です。しかしながら、定量的に診断する手法はいまだ確立しておらず、医師の主観に委ねています。そこで、現在開発が進められている、人工知能を用いたメラノーマの定量的かつ高精度な画像診断法について説明します。

第8回　油空圧機器と応用例（授業形式：講義　担当：奥田 正彦）

予習内容：油空圧機器の代表例を事前に調べておくこと。
予習時間：90分
復習内容：油空圧機器について概説できるよう復習すること。
復習時間：150分
油圧・空圧技術を用いた産業機器について概説する。その応用として義足の開発事例を紹介する。

第9回　電子制御義足（授業形式：講義　担当：奥田 正彦）

予習内容：義足について事前に調べておくこと。
予習時間：90分
復習内容：電子制御義足を実用化するための技術と大学の科目との関連を復習すること。
復習時間：150分
電子制御技術を用いた義足膝継手の開発と製品化について説明する。他の義肢パーツの現状についても紹介する。

第10回　アシスト福祉機器（授業形式：講義　担当：奥田 正彦）

予習内容：介護・福祉機器の代表例を事前に調べておくこと。
予習時間：90分
復習内容：福祉機器の開発状況について概説できるよう復習すること。
復習時間：150分
アシスト技術を利用した福祉機器製品とその応用への取り組みを紹介する。

第11回　超電導応用機器（授業形式：講義　担当：奥田 正彦）

予習内容：超電導とMRIについて事前に調べておくこと。
予習時間：150分
復習内容：超電導現象を利用するための周辺技術と大学の科目との関連を復習すること。
復習時間：90分
分析や医療に超電導を応用した機器とその用途開発に取り組んだ経験を紹介する。

第12回　ヒューマン・マシーンシステム（授業形式：講義　担当：豊田 航）

予習内容：ヒューマン・マシーンシステムの代表例を事前に調べておくこと。
予習時間：150分
復習内容：ヒューマン・マシーンシステムについて概説できるよう復習すること。
復習時間：90分
人間と機械が一体となって作業を遂行するシステムのモデルと開発・製品事例を説明する。

第13回　ヒューマン・モデル（授業形式：講義　担当：豊田 航）

予習内容：ヒューマン・モデルの代表例を事前に調べておくこと。
予習時間：150分
復習内容：ヒューマン・モデルについて概説できるよう復習すること。
復習時間：90分
ヒューマン・マシーン・システムの開発に関わるヒューマンモデルについて解説する。

第14回　バリアフリー、ユニバーサルデザイン（授業形式：講義　担当：豊田 航）

予習内容：バリアフリー、ユニバーサルデザインの代表例を事前に調べておくこと。
予習時間：150分
復習内容：バリアフリー、ユニバーサルデザインについて概説できるよう復習すること。
復習時間：90分
私たちの生活を豊かにし、参加の機会を推進する方策としてのバリアフリー、ユニバーサルデザインを事例を用いて解説する。

第15回　生活支援機器、福祉機器（授業形式：講義　担当：豊田 航）

予習内容：生活支援機器、福祉機器の代表例を事前に調べておくこと。
予習時間：150分
復習内容：生活支援機器、福祉機器について概説できるよう復習すること。
復習時間：90分
障がい者や高齢者の生活を支援する機器・システム、健康長寿推進を進めるウェルネス機器の事例とそこに用いられている技術を解説する。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**化学実験**						
英文名　：	Chemistry Experiments						
担当者　：	櫻井　一正						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	基礎科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】土曜3.4限						

■授業概要

化学の基礎的概念を実験によって習得させ、実験の進め方、結果のまとめ方、実験のマナーを体得させることを目的とする。実験を始めるに当たっての心構え、安全指針から、使用する機器や器具類の正しい名称と操作法、および薬品類の安全な取り扱い方法などを体得させる。実験の記録のとり方、レポートの書き方等を指導し、実験結果のまとめ方とレポート作成における留意点を理解させる。実験テーマとして、定性分析、定量分析、無機や有機化合物の合成と精製、物理化学実験を行う。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・実験・実習科目

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

化学の基礎知識を実験を通して習得する。そして､実験の計画、準備、実験の実施、後処理、データ整理、レポート作成といった一連の流れを学び、実験を自分の手で実施する技術、及び、自身の行った実験や考えを他人に伝達する技術を習得する。
なお、毎回の実験内容やレポート作成における到達目標をルーブリックで示し、それをレポート採点基準としても用いる。

■成績評価方法および基準

毎回のレポート 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

毎回レポートをルーブリックを元に採点したうえで､その採点票とともにレポートに改善点やコメント等を付して返却する。

■教科書

【留意事項】適宜プリントを配布する。

■参考文献

『安全要覧』（近畿大学編）
[ISBN]9784121006240 『理科系の作文技術 (中公新書 (624))』 (木下 是雄, 中央公論新社：1981)
[ISBN]9784759808315 『化学のレポートと論文の書き方』 (泉 美治, 化学同人：1999)

■関連科目

化学Ⅰ、化学Ⅱ

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

櫻井　一正（高圧力蛋白質研究センター）・sakurai@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜日2限か木曜日2限
事前にEメールでアポイントをとってください

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　安全教育（危険物質・有害物質の取り扱い）（授業形式：講義）

予習内容：入学時配布済みの安全要覧や有害物質処理指針を熟読し、内容を理解しておく
予習時間：30分
復習内容：授業でのコメントや配布資料を振り返り、化学実験を行う際留意すべき点をおさらいしておく
復習時間：30分

第2回　実験ノート・レポート作成法実験前指導（授業形式：講義）

予習内容：配布資料を読み、ノートやレポート作成で留意すべき点を自分なりに考えておく
予習時間：30分
復習内容：授業でのコメントや配布資料を読み返し、今後のノートやレポート作成で留意すべき点をおさらいしておく
復習時間：30分

第3回　実験器具、装置類の操作法（授業形式：実験）

予習内容：配布資料や高校教科書などを読み、化学実験で使う器具の種類とその使い方を予習しておく
予習時間：30分
復習内容：授業でのコメントや配布資料を振り返り、化学実験用の器具を扱う上で留意すべき点をおさらいしておく
復習時間：30分

第4回　アボガドロ数の決定（授業形式：実験）

予習内容：配布資料を読み、次回の実験の流れを理解したうえで予習問題を解き、実験ノートを事前準備しておくこと
予習時間：30分
復習内容：実験結果をまとめ、必要な知識は参考書などで補充し、レポートを作成する
復習時間：150分

第5回　ナイロン、レーヨンの合成（授業形式：実験）

予習内容：配布資料を読み、次回の実験の流れを理解したうえで予習問題を解き、実験ノートを事前準備しておくこと
予習時間：30分
復習内容：実験結果をまとめ、必要な知識は参考書などで補充し、レポートを作成する
復習時間：150分

第6回　セッケンの合成（授業形式：実験）

予習内容：配布資料を読み、次回の実験の流れを理解したうえで予習問題を解き、実験ノートを事前準備しておくこと
予習時間：30分
復習内容：実験結果をまとめ、必要な知識は参考書などで補充し、レポートを作成する
復習時間：150分

第7回　中和滴定（授業形式：実験）

予習内容：配布資料を読み、次回の実験の流れを理解したうえで予習問題を解き、実験ノートを事前準備しておくこと
予習時間：30分
復習内容：実験結果をまとめ、必要な知識は参考書などで補充し、レポートを作成する
復習時間：150分

第8回　酸化還元滴定と化学的酸素要求量の測定（授業形式：実験）

予習内容：配布資料を読み、次回の実験の流れを理解したうえで予習問題を解き、実験ノートを事前準備しておくこと
予習時間：30分
復習内容：実験結果をまとめ、必要な知識は参考書などで補充し、レポートを作成する
復習時間：150分

第9回　ミョウバンの合成と単結晶の作製（授業形式：実験）

予習内容：配布資料を読み、次回の実験の流れを理解したうえで予習問題を解き、実験ノートを事前準備しておくこと
予習時間：30分
復習内容：実験結果をまとめ、必要な知識は参考書などで補充し、レポートを作成する
復習時間：150分

第10回　エステルの合成（授業形式：実験）

予習内容：配布資料を読み、次回の実験の流れを理解したうえで予習問題を解き、実験ノートを事前準備しておくこと
予習時間：30分
復習内容：実験結果をまとめ、必要な知識は参考書などで補充し、レポートを作成する
復習時間：150分

第11回　蒸留（授業形式：実験）

予習内容：配布資料を読み、次回の実験の流れを理解したうえで予習問題を解き、実験ノートを事前準備しておくこと

予習時間：30分
復習内容：実験結果をまとめ､必要な知識は参考書などで補充し､レポートを作成する
復習時間：150分

第12回　デュマ法による分子量の決定（授業形式：実験）

予習内容：配布資料を読み､次回の実験の流れを理解したうえで予習問題を解き、実験ノートを事前準備しておくこと
予習時間：30分
復習内容：実験結果をまとめ､必要な知識は参考書などで補充し､レポートを作成する
復習時間：150分

第13回　NMRによる定性分析（授業形式：実験）

予習内容：配布資料を読み､次回の実験の流れを理解したうえで予習問題を解き、実験ノートを事前準備しておくこと
予習時間：30分
復習内容：実験結果をまとめ､必要な知識は参考書などで補充し､レポートを作成する
復習時間：150分

第14回　ショ糖の酵素反応物の定性分析（授業形式：実験）

予習内容：配布資料を読み､次回の実験の流れを理解したうえで予習問題を解き、実験ノートを事前準備しておくこと
予習時間：30分
復習内容：実験結果をまとめ､必要な知識は参考書などで補充し､レポートを作成する
復習時間：150分

第15回　実験ノート・レポート作成法実験後指導（授業形式：講義）

予習内容：これまでの実験ノートやレポートを読み返し、反省点を挙げておく
予習時間：30分
復習内容：授業でのコメントや配布資料を振り返り、今後のノートやレポート作成で留意すべき点をおさらいしておく
復習時間：30分

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**化学実験**						
英文名 ：	Chemistry Experiments						
担当者 ：	髙木　良介						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	基礎科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】水曜4.5限						

■授業概要

化学の基礎的概念を実験によって習得させ、実験の進め方、結果のまとめ方、実験のマナーを体得させることを目的とする。実験を始めるに当たっての心構え、安全指針から、使用する機器や器具類の正しい名称と操作法、および薬品類の安全な取り扱い方法などを体得させる。実験手法の指導や、実験の記録のとり方、レポートの書き方等を学習することで、実験に対する考察力を育成し、実験結果のまとめ方とレポート作成における留意点を理解させる。実験テーマとして、定性分析、定量分析、無機や有機化合物の合成と精製、物理化学実験を行う。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

実験・実習科目

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

実験を通して一般化学ならびに生化学の基礎を理解する。実験方法の確認、実施、後処理、実験レポート作成といった一連の流れを身につける。
この科目の修得は、生物理工学部のDP3の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

毎回のレポート 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

毎回レポートを採点したうえで､レポートに改善点やコメント等を付して返却する。

■教科書

【留意事項】適宜プリントを配布する。

■参考文献

『安全要覧』（近畿大学編）
[ISBN]9784121006240 『理科系の作文技術 (中公新書 (624))』 (木下 是雄, 中央公論新社：1981)
[ISBN]9784759808315 『化学のレポートと論文の書き方』 (泉 美治, 化学同人：1999)

■関連科目

化学Ⅰ、化学Ⅱ

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

髙木研究室（西1号館5階558）・rtakagi@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜日3限と水曜日3限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

各回の予習と復習について
予習内容：配布資料を読み､次回の実験の流れを理解したうえで予習問題に解答しておくこと
予習時間：30分
復習内容：実験結果をまとめ､必要な知識は参考書などで補充し､レポートを作成する
復習時間：150分

第1回　安全教育（危険物質・有害物質の取り扱い）（授業形式：講義・実習）

第2回　実験ノート・レポート指導（授業形式：講義・実習）

第3回　実験器具、装置類の操作法（授業形式：実験）

第4回　物質量とアボガドロ数（授業形式：実験）

第5回　合成繊維（ナイロン、レーヨンの合成）（授業形式：実験）

第6回　セッケンの合成（授業形式：実験）

第7回　中和滴定（授業形式：実験）

第8回　酸化還元滴定と化学的酸素要求量（COD）の測定（授業形式：実験）

第9回　ミョウバンの合成（授業形式：実験）

第10回　香り（エステル）の合成（授業形式：実験）

第11回　蒸留によるアルコールの分離と精製（授業形式：実験）

第12回　ショ糖の酵素反応物の定性分析（授業形式：実験）

第13回　デュマ法による分子量の決定（授業形式：実験）

第14回　化学発光（授業形式：実験）

第15回　タンパク質の定性反応（授業形式：実験）

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**化学実験**						
英文名　：	Chemistry Experiments						
担当者　：	藤澤　雅夫						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	基礎科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】水曜4.5限						

■授業概要

化学の基礎的概念を実験によって習得させ、実験の進め方・結果のまとめ方、実験のマナーを体得させることを目的とする。まず、実験を始めるに当たっての心構え、安全指針から、使用する機器；器具類の正しい名称と操作法、および薬品類の安全な取り扱い方法などを体得させる。実験の記録のとり方、レポートの書き方等を学習することによって、実験に対する考察力を育成する。実験テーマとして、定性：定量分析、無機化合物の合成と精製、有機化合物の合成、物理化学実験を行う。また、理解を深めるために複数回の小テストを行う。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

実験・実習科目

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

基礎的実験テクニックだけではなく、講義では得られない問題解決能力や文献探索能力を育成する。

■成績評価方法および基準

実験レポート 70%
小テスト 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

レポート最終提出期限2週間後に、「レポートの要点」をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。
小テストは終了後、「試験の要点と解説」をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■教科書

【留意事項】テーマごとにディレクションを配布する。
近畿大学編「安全要覧」

■参考文献

[ISBN]9784759808315 『化学のレポートと論文の書き方』 (泉 美治, 化学同人：1999)

■関連科目

化学Ⅰ、化学Ⅱ

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

藤澤研究室（2号館5階504号室）・fujisawa@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜・1限（必ず事前にメールで予約してください。）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　安全教育（危険物質・有害物質の取り扱い）（授業形式・演習を含む講義）

予習内容：近畿大学編「安全要覧」を熟読すること。
予習時間：90分
復習内容：配布したディレクションを熟読すること。
復習時間：90分

第2回　実験器具、装置類の操作法(授業形式・実験)

予習内容：配布したディレクションの実験器具、装置類の操作法の項目を熟読すること。
予習時間：90分
復習内容：ディレクションとビデオの内容を照らし合わして、実例における取り扱い方を確認すること。
復習時間：90分

第3回　定性分析（金属イオンの反応）(授業形式・実験)

予習内容：配布したディレクションの定性分析の項目を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：実験ノート、ディレクションと参考文献をもとにレポートを作成する。
復習時間：120分

第4回　定量分析（中和滴定）(授業形式・実験)

予習内容：配布したディレクションの中和滴定の項目を熟読すること。
予習時間：90分
復習内容：実験ノート、ディレクションと参考文献をもとにレポートを作成する。
復習時間：120分

第5回　定量分析（pHメーターと緩衝液）(授業形式・実験)

予習内容：配布したディレクションのpHメーターの項目を熟読すること。
予習時間：90分
復習内容：実験ノート、ディレクションと参考文献をもとにレポートを作成する。
復習時間：120分

第6回　酸化還元滴定と化学的酸素要求量の測定(授業形式・実験)

予習内容：配布したディレクションの酸化還元滴定の項目を熟読すること。
予習時間：90分
復習内容：実験ノート、ディレクションと参考文献をもとにレポートを作成する。
復習時間：120分

第7回　塩化ナトリウムの単結晶の作成(授業形式・実験)

予習内容：配布したディレクションにおける塩化ナトリウムの単結晶作成の項目を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：実験ノート、ディレクションと参考文献をもとにレポートを作成する。
復習時間：120分

第8回　ミョーバンの合成と精製(授業形式・実験)

予習内容：配布したディレクションにおけるミョーバンの合成の項目を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：実験ノート、ディレクションと参考文献をもとにレポートを作成する。
復習時間：120分

第9回　玉ねぎからのケルセチンの抽出と草木染(授業形式・実験)

予習内容：配布したディレクションにおけるケルセチンの合成の項目を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：実験ノート、ディレクションと参考文献をもとにレポートを作成する。
復習時間：120分

第10回　石けんの合成(授業形式・実験)

予習内容：配布したディレクションにおける石けんの合成の項目を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：実験ノート、ディレクションと参考文献を基にレポートを作成する。
復習時間：120分

第11回　香りエステルの合成(授業形式・実験)

予習内容：配布したディレクションにおける香りエステルの合成の項目を予習すること。

予習時間：90分
復習内容：実験ノート、ディレクションと参考文献をもとにレポートを作成する。
復習時間：120分

第12回　高分子化合物の合成（PMMA）(授業形式・実験）

予習内容：配布したディレクションにおけるPMMAの合成の項目を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：実験ノート、ディレクションと参考文献をもとにレポートを作成する。
復習時間：120分

第13回　6,6-ナイロンの合成(授業形式・実験）

予習内容：配布したディレクションにおける6,6-ナイロンの合成の項目を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：実験ノート、ディレクションと参考文献をもとにレポートを作成する。
復習時間：120分

第14回　常圧蒸留(授業形式・実験）

予習内容：配布したディレクションにおける常圧蒸留の項目を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：実験ノート、ディレクションと参考文献をもとにレポートを作成する。
復習時間：120分

第15回　線形最小二乗法および化学実験理解度確認（授業形式・演習を含む講義）

予習内容：既に実施済みの実験について理解を深める。
予習時間：90分
復習内容：実験ノート、ディレクションと参考文献をもとにレポートを作成する。
復習時間：120分

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**化学実験**						
英文名 ：	Chemistry Experiments						
担当者 ：	藤澤　雅夫						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	基礎科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】土曜3.4限						

■授業概要

化学の基礎的概念を実験によって習得させ、実験の進め方・結果のまとめ方、実験のマナーを体得させることを目的とする。まず、実験を始めるに当たっての心構え、安全指針から、使用する機器；器具類の正しい名称と操作法、および薬品類の安全な取り扱い方法などを体得させる。実験の記録のとり方、レポートの書き方等を学習することによって、実験に対する考察力を育成する。実験テーマとして、定性：定量分析、無機化合物の合成と精製、有機化合物の合成、物理化学実験を行う。また、理解を深めるために複数回の小テストを行う。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

実験・実習科目

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

基礎的実験テクニックだけではなく、講義では得られない問題解決能力や文献探索能力を育成する。

■成績評価方法および基準

実験レポート 70%
小テスト 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

レポート最終提出期限2週間後に、「レポートの要点」をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。
小テストは終了後、「試験の要点と解説」をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■教科書

【留意事項】テーマごとにディレクションを配布する。
近畿大学編「安全要覧」

■参考文献

[ISBN]9784759808315 『化学のレポートと論文の書き方』 (泉 美治, 化学同人：1999)

■関連科目

化学Ⅰ、化学Ⅱ

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

藤澤研究室（2号館5階504号室）・fujisawa@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜・1限（必ず事前にメールで予約してください。）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　安全教育（危険物質・有害物質の取り扱い）（授業形式・演習を含む講義）

予習内容：近畿大学編「安全要覧」を熟読すること。
予習時間：90分
復習内容：配布したディレクションを熟読すること。
復習時間：90分

第2回　実験器具、装置類の操作法(授業形式・実験)

予習内容：配布したディレクションの実験器具、装置類の操作法の項目を熟読すること。
予習時間：90分
復習内容：ディレクションとビデオの内容を照らし合わして、実例における取り扱い方を確認すること。
復習時間：90分

第3回　定性分析（金属イオンの反応）(授業形式・実験)

予習内容：配布したディレクションの定性分析の項目を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：実験ノート、ディレクションと参考文献をもとにレポートを作成する。
復習時間：120分

第4回　定量分析（中和滴定）(授業形式・実験)

予習内容：配布したディレクションの中和滴定の項目を熟読すること。
予習時間：90分
復習内容：実験ノート、ディレクションと参考文献をもとにレポートを作成する。
復習時間：120分

第5回　定量分析（pHメーターと緩衝液）(授業形式・実験)

予習内容：配布したディレクションのpHメーターの項目を熟読すること。
予習時間：90分
復習内容：実験ノート、ディレクションと参考文献をもとにレポートを作成する。
復習時間：120分

第6回　酸化還元滴定と化学的酸素要求量の測定(授業形式・実験)

予習内容：配布したディレクションの酸化還元滴定の項目を熟読すること。
予習時間：90分
復習内容：実験ノート、ディレクションと参考文献をもとにレポートを作成する。
復習時間：120分

第7回　塩化ナトリウムの単結晶の作成(授業形式・実験)

予習内容：配布したディレクションにおける塩化ナトリウムの単結晶作成の項目を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：実験ノート、ディレクションと参考文献をもとにレポートを作成する。
復習時間：120分

第8回　ミョーバンの合成と精製(授業形式・実験)

予習内容：配布したディレクションにおけるミョーバンの合成の項目を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：実験ノート、ディレクションと参考文献をもとにレポートを作成する。
復習時間：120分

第9回　玉ねぎからのケルセチンの抽出と草木染(授業形式・実験)

予習内容：配布したディレクションにおけるケルセチンの合成の項目を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：実験ノート、ディレクションと参考文献をもとにレポートを作成する。
復習時間：120分

第10回　石けんの合成(授業形式・実験)

予習内容：配布したディレクションにおける石けんの合成の項目を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：実験ノート、ディレクションと参考文献を基にレポートを作成する。
復習時間：120分

第11回　香りエステルの合成(授業形式・実験)

予習内容：配布したディレクションにおける香りエステルの合成の項目を予習すること。

予習時間：90分
復習内容：実験ノート、ディレクションと参考文献をもとにレポートを作成する。
復習時間：120分

第12回　高分子化合物の合成（PMMA）(授業形式・実験）

予習内容：配布したディレクションにおけるPMMAの合成の項目を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：実験ノート、ディレクションと参考文献をもとにレポートを作成する。
復習時間：120分

第13回　6,6-ナイロンの合成(授業形式・実験）

予習内容：配布したディレクションにおける6,6-ナイロンの合成の項目を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：実験ノート、ディレクションと参考文献をもとにレポートを作成する。
復習時間：120分

第14回　常圧蒸留(授業形式・実験）

予習内容：配布したディレクションにおける常圧蒸留の項目を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：実験ノート、ディレクションと参考文献をもとにレポートを作成する。
復習時間：120分

第15回　線形最小二乗法および化学実験理解度確認テスト（授業形式・演習を含む講義）

予習内容：予習内容：既に実施済みの実験について理解を深める。(90分)
予習時間：90分
復習内容：実験ノート、ディレクションと参考文献をもとにレポートを作成する。
復習時間：120分

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**科学倫理**						
英文名　：	Scientific Ethics						
担当者　：	久保田　均						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	基礎科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】火曜2限						

■授業概要

［授業概要］
　現在はビッグデータ、ＩＯＴ、ＡＩ、ロボットなど第４次情報革命の最中と言われており、それらは専門にかかわらず知っておく必要がある。本科目においては、それらの項目を追加してより広く技術者倫理として学習する。
関連科目としては後期の「科学技術と人間・社会」があるが、ほとんど同じ内容なので技術者倫理を学ぼうとすればどちらかを選択すればよい。

［授業方法］
　技術者倫理の基本項目である、「安心と安全」「予防原則」「エネルギーと環境」を学習する。その上で、ビッグデータ、ＩＯＴ、ＡＩ、ロボットの基礎的学習を行い、より広く技術者倫理を学習する。
　授業としては小論文作成、発表を重視しており各章の最後には、受講生による事例と演習の発表を行い、「考える力」「まとめる力」「発表する力」を養う。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

　技術者倫理の基礎知識を習得し、最近のビッグデータ、ＩＯＴ、ＡＩ、ロボットなどの分野も学習する。その中で、最近話題のテーマの事例を含めて小レポートをＰＰ形式で作成、発表し、受講者に「考える力」「まとめる力」「発表する力」を養ってもらう。この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的３の達成に関与している。

■成績評価方法および基準

授業態度、授業中の演習、レポート作成、および、発表 50%
定期試験 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

各章の終わりに、事例と演習を実施する。
発表はＰＰ形式で行い、他の発表者の内容・批評を参考に最終的にレポートを作成する。

■教科書

[ISBN]なし『科学倫理講義ノート』（久保田　均著）
＊入手方法については、講義開始時にいいます。

■参考文献

[ISBN]なし『科学技術と人間社会 講義ノート』（久保田　均著）

■関連科目

科学技術と人間社会

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）kubota@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

授業の前後の休憩時間。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　ガイダンス（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
・目指す技術者と技術者倫理
・学習の仕方と成績評価方法

第2回　安心と安全（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
・日常の安全活動
・製造物責任
・製品安全

第3回　安心と安全（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
・リスクアセスメント（ＲＡ）
・ＦＭＥＡ
・ＦＴＡ

第4回　安心・安全（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
内部告発、警笛慣らし：スペースシャトルチャレンジャー事故

第5回　安心・安全（授業形式：演習）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
事例と演習１

第6回　予防原則（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
遺伝子組み換え食品に関するタクミさんとユミさんの議論を通して予防原則を学ぶ。

第7回　予防原則（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
食品添加物に関する「元添加物メーカ技術者」と「ある大学教授」の見解を通して予防原則を理解する。

第8回　予防原則（授業形式：演習）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
事例と演習２

第9回　エネルギーと環境（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
我が国のエネルギーの現状と課題

第10回　エネルギーと環境（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
・循環型社会
・インバースマニュファクチャリング
・パリ議定書（京都議定書）
・複写機メーカの事例

第11回　エネルギーと環境（授業形式：演習）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
事例と演習３

第12回　ビッグデータとＩＯＴ・ブロックチェーン（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
・ビッグデータ・ＩＯＴの仕組みを理解し、メリット、デメリットとともにガバナンス上の課題を把握する。
・ブロックチェーンの仕組みを理解し、メリット、デメリットとともに課題を把握する。

第13回　人工知能・ロボット（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
機械学習、ニューラルネットワーク発展の歴史、代表的手法、応用事例を概説する。

第14回　人工知能・ロボット（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
・ディープラーニングの発展の歴史、代表的手法、応用事例を概説する。
・ロボット機械技術を使った能力、肉体改造の概説。

第15回　人工知能・ロボット（授業形式：演習）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
事例と演習４

定期試験

・講義の内容の理解度の確認

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**科学倫理**						
英文名　：	Scientific Ethics						
担当者　：	久保田　均						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	基礎科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】火曜1限						

■授業概要

［授業概要］
　現在はビッグデータ、ＩＯＴ、ＡＩ、ロボットなど第４次情報革命の最中と言われており、それらは専門にかかわらず知っておく必要がある。本科目においては、それらの項目を追加してより広く技術者倫理として学習する。
関連科目としては後期の「科学技術と人間・社会」があるが、ほとんど同じ内容なので技術者倫理を学ぼうとすればどちらかを選択すればよい。

［授業方法］
　技術者倫理の基本項目である、「安心と安全」「予防原則」「エネルギーと環境」を学習する。その上で、ビッグデータ、ＩＯＴ、ＡＩ、ロボットの基礎的学習を行い、より広く技術者倫理を学習する。
　授業としては小論文作成、発表を重視しており各章の最後には、受講生による事例と演習の発表を行い、「考える力」「まとめる力」「発表する力」を養う。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

　技術者倫理の基礎知識を習得し、最近のビッグデータ、ＩＯＴ、ＡＩ、ロボットなどの分野も学習する。その中で、最近話題のテーマの事例を含めて小レポートをＰＰ形式で作成、発表し、受講者に「考える力」「まとめる力」「発表する力」を養ってもらう。この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的３の達成に関与している。

■成績評価方法および基準

授業態度、授業中の演習、レポート作成、および、発表 50%
定期試験 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

各章の終わりに、事例と演習を実施する。
発表はＰＰ形式で行い、他の発表者の内容・批評を参考に最終的にレポートを作成する。

■教科書

[ISBN]なし『科学倫理講義ノート』（久保田　均著）
＊入手方法については、講義開始時にいいます。

■参考文献

[ISBN]なし『科学技術と人間社会 講義ノート』（久保田　均著）

■関連科目

科学技術と人間社会

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）kubota@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

授業の前後の休憩時間。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　ガイダンス（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
・目指す技術者と技術者倫理
・学習の仕方と成績評価方法

第2回　安心と安全（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
・日常の安全活動
・製造物責任
・製品安全

第3回　安心と安全（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
・リスクアセスメント（ＲＡ）
・ＦＭＥＡ
・ＦＴＡ

第4回　安心・安全（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
内部告発、警笛慣らし：スペースシャトルチャレンジャー事故

第5回　安心・安全（授業形式：演習）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
事例と演習１

第6回　予防原則（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
遺伝子組み換え食品に関するタクミさんとユミさんの議論を通して予防原則を学ぶ。

第7回　予防原則（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
食品添加物に関する「元添加物メーカ技術者」と「ある大学教授」の見解を通して予防原則を理解する。

第8回　予防原則（授業形式：演習）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
事例と演習２

第9回　エネルギーと環境（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
我が国のエネルギーの現状と課題

第10回　エネルギーと環境（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
・循環型社会
・インバースマニュファクチャリング
・パリ議定書（京都議定書）
・複写機メーカの事例

第11回　エネルギーと環境（授業形式：演習）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
事例と演習３

第12回　ビッグデータとＩＯＴ・ブロックチェーン（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
・ビッグデータ・ＩＯＴの仕組みを理解し、メリット、デメリットとともにガバナンス上の課題を把握する。
・ブロックチェーンの仕組みを理解し、メリット、デメリットとともに課題を把握する。

第13回　人工知能・ロボット（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
機械学習、ニューラルネットワーク発展の歴史、代表的手法、応用事例を概説する。

第14回　人工知能・ロボット（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
・ディープラーニングの発展の歴史、代表的手法、応用事例を概説する。
・ロボット機械技術を使った能力、肉体改造の概説。

第15回　人工知能・ロボット（授業形式：演習）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
事例と演習４

定期試験

・講義の内容の理解度の確認

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 ：	**基礎食品化学**						
英文名 ：	Food Chemistry						
担当者 ：	尼子　克己						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	基礎科目						
備　考 ：							

■授業概要

食物は体内で生命活動のエネルギー源や、種々の活動の補助因子としてはたらく、いわば生命の維持・成長に必須の摂取成分である。また近年、生体に必須ではないものの生理的過程に作用して健康増進に資する食品成分にも注目が集まっている。しかし、成分が同じであれば食品として等価なのかといえば当然そうではない。食品の物性、形態、味、色といった様々な要素が「食」に対する意義や評価に関わっている。これらの要素をなすものはすべて、生物内、あるいは加工に伴って起こる化学変化からもたらされている。この講義では食品の構成成分とその構造・性質。反応などについて化学・生化学・栄養学的に解説し、それをもとに調理・加工によって起こる変化を理解する。また、いくつかの食品に関わるトピックスを紹介し、現代の食環境に対する興味と問題意識を育む。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者はこの授業を履修することによって、１）化学的知見をもとに、食品成分の性質、体内動態、機能が説明できるようになり、２）加工によって食品に起こる変化、保蔵の原理などを理解し、３）食品素材が安全で美味しい食品になる仕組みを説明できるようになり、４）自分の生活や仕事に役立てることのできる知識を修得する　ことができるようになります。

■成績評価方法および基準

定期試験の成績 80%
講義に対する積極性・理解度（講義中、終了時等の簡易な質問等で評価） 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■教科書

[ISBN]9784065133415 『エッセンシャル食品化学 (KS農学専門書)』 (中村 宜督, 講談社：2018)
【留意事項】適宜プリントを配布します。

■参考文献

[ISBN]9784782707821 『わかりやすい食品化学　第２版』（吉田勉監修・早瀬文孝ら編・臼井照幸ら著、三共出版：2019）
[ISBN]9784874921821 『健康からみた基礎食品学(改訂二版)』（藤本健四郎・金子憲太郎編、アイケイコーポレーション：2007）

■関連科目

化学Ⅰ、化学Ⅱ、化学実験

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（ 2 号館2 階）または食品安全工学科東研究室・amakok@jindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 食品の機能、栄養素の分類、エネルギーの概念　水の役割（授業形式：講義）

予習内容：教科書第１章および第２章をよく読んでおくこと。化学結合の種類と特徴について調べておくこと。「ヘスの法則」について初歩的なレベルで良いので調べておくこと。
予習時間：60分
復習内容：食品の機能について整理する。生物における水の役割を講義で触れた化学結合の観点から説明できるよう整理する。アトウォーターの指数に基づいて食品のカロリー計算ができるようにする。
復習時間：60分
食品の役割（一次機能、二次機能、三次機能）がいかなるものであるかを理解する。
食品を構成する成分（三大栄養素、五大栄養素）の分類とその意義を理解する。
食品を摂取することで得られるエネルギーが、化学反応におけるエネルギー生成と基本的に同じであることを理解する。
食品の主要成分であり様々な物質の溶媒である水の特徴を、主に化学結合の観点から理解する。

第2回 炭水化物　単糖・オリゴ糖・多糖の構造と基本的性質（授業形式：講義）

予習内容：教科書第３章３．１をよく読んでおくこと。
予習時間：60分
復習内容：単糖にはなぜ多くの異性体が存在するのか、なぜ果物には冷やすと甘くなるものが多いのかを、単糖の化学構造と化学平衡に基づいて説明できるよう整理する。
復習時間：60分
糖類の構造、構造式の記述方法、多糖における単糖どうしの結合様式、および鎖状構造と環状構造の化学平衡について説明する。

第3回 炭水化物　栄養成分としての糖（授業形式：講義）

予習内容：教科書第３章３．２をよく読んでおくこと。「質量作用の法則」「ルシャトリエの原理」について初歩的なレベルで良いので調べておくこと。
予習時間：60分
復習内容：異性化糖と転化糖の特徴をその製造法に基づいて説明できるようにする。「乳糖不耐性」について説明できるよう整理する。市販の砂糖類（グラニュー糖、上白糖、ザラメ糖、三温糖など）の製法・用途の違いを化学的に説明できるよう整理する。
復習時間：60分
食品に含まれ、体内で代謝される代表的な糖類、ならびにデンプンの性質について説明する。

第4回 炭水化物　非栄養成分としての糖（授業形式：講義）

予習内容：教科書第３章３．１をよく読んでおくこと。
予習時間：60分
復習内容：エリスリトールがなぜダイエット甘味料として広く販売されているのに、清涼飲料水には大人向け飲料にしか使われなくなったのか、増粘剤・ゲル化剤として利用される糖類の特徴について説明できるようにする。
復習時間：60分
種々の誘導糖の化学的構造と性質、摂取後の体内動態、ならびにそれらに基づいて推定されるエネルギー換算係数、代表的な食物繊維とその性質について説明する。

第5回 脂質の構造（授業形式：講義）

予習内容：教科書第４章４．１をよく読んでおくこと。
予習時間：60分
復習内容：脂質の構成成分である脂肪酸の種類や組成が、油脂の物性にどのような特徴を与えるかを、植物油脂と動物油脂、マヨネーズ、チョコレート、バター、マーガリンを例に説明できるようにする。
復習時間：60分
脂質の定義、脂質の種類、ならびにその特徴について説明する。

第6回 油脂の評価法、脂質の酸化（授業形式：講義）

予習内容：教科書第４章４．２をよく読んでおくこと。
予習時間：60分
復習内容：揚げ油の劣化について説明できるよう整理する。「ポテトチップスはなぜアルミ蒸着した袋に入れて販売されるのか」を説明できるよう整理する。
復習時間：60分
油脂の評価・試験法、ならびに食品の品質に影響する脂質の酸化のしくみについて説明する。

第7回 アミノ酸とアミノ酸誘導体（授業形式：講義）

予習内容：教科書第５章５．１をよく読んでおくこと。
予習時間：60分
復習内容：アミノ酸の構造的特徴、pH変化に応じた解離状態、ならびにその作用が説明できるよう整理する。
復習時間：60分
タンパク質を構成するアミノ酸、食品に見いだされる非タンパク質性アミノ酸の構造・分類、味と機能について説明する。

第8回 ペプチドとタンパク質（授業形式：講義）

予習内容：教科書第５章５．２をよく読んでおくこと。
予習時間：60分
復習内容：タンパク質の高次構造の変化（変性）がどのような化学的機序によっておこり、それが食品素材にどのような効果をもたらすのか　について説明できるよう整理する。
復習時間：60分
ペプチドとタンパク質の構造、体内動態、タンパク質の変性と食品の関係について説明する。

第9回 ビタミンとミネラル、および食事摂取基準（授業形式：講義）

予習内容：教科書第６章をよく読んでおくこと。
予習時間：60分
復習内容：ビタミンとミネラルの体内における基本的役割について説明できるよう整理する。必須成分・非必須成分を摂取したときの生体に与える影響の一般的モデルを示し、日本人の食事施主基準における諸数値の意味について説明できるよう整理する。
復習時間：60分
食品に含まれるビタミン、ミネラルの種類、作用、吸収特性について説明する。

第10回 味覚成分（授業形式：講義）

予習内容：教科書第７章をよく読んでおくこと。
予習時間：60分
復習内容：基本味の要件、受容体の構造、味覚の認知機構、基本味以外の味覚の特徴について説明できるよう整理する。
復習時間：60分
基本味の受容体の構造、味覚の認知機構について説明する。

第11回 色素成分（授業形式：講義）

予習内容：教科書第８章８．１をよく読んでおくこと。
予習時間：60分
復習内容：色素の色調変化、たとえば紫キャベツで焼きそばを作ると色がどのように変化するかといった現象を、化学における各種指示薬の構造変化と関連付けて説明できるよう整理する。
復習時間：60分
ヒトにおける色の認識、色が食品の機能に与える影響、色素の構造と色調変化、食品中に含まれる色素成分とその特徴について説明する。

第12回 褐変（授業形式：講義）

予習内容：教科書第８章８．２をよく読んでおくこと。
予習時間：60分
復習内容：褐変反応が食品に果たす役割、酵素的・非酵素的褐変を防ぐ方法をそれらの発生原理に基づいて説明できるよう整理する。
復習時間：60分
カラメル化反応、メイラード反応、ストレッカー分解など非酵素的褐変とそれに伴う反応、酵素的褐変にかかわる成分とそれらの食品における意義について説明する。

第13回 嗅覚成分（授業形式：講義）

予習内容：教科書第９章をよく読んでおくこと。
予習時間：60分
復習内容：食品に含まれる特徴的な香気成分、アミノカルボニル反応およびアミノ酸の加熱分解による香気成分の特徴について説明できるよう整理する。
復習時間：60分
カラメル化反応、メイラード反応、ストレッカー分解など非酵素的褐変とそれに伴う反応、酵素的褐変にかかわる成分とそれらの食品における意義について説明する。

第14回 テクスチャー（授業形式：講義）

予習内容：教科書第１０章をよく読んでおくこと。
予習時間：60分
復習内容：コロイド、エマルジョン、ゾル・ゲルの特徴について整理する。粘性と弾性、ダイラタンシーなど食品に見られる物

性について説明できるよう整理する。
復習時間：60分
食品の力学的性質と、その評価方法について説明する。

第15回　食品の品質保持（授業形式：講義）

予習内容：事前に配布する講義資料をよく読んでおくこと。
予習時間：60分
復習内容：食品の貯蔵方法名とその利用例を対応付けて説明できるよう整理する。
復習時間：60分
食品の品質保持に関わる物理・化学・生物学要因、ならびに実際に適用されている保蔵技術について説明する。

定期試験

講義で触れた内容について、適語補充と記述（説明）問題を組合せて出題する。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**幾何学ＩＡ**						
英文名　：	Geometry 1A						
担当者　：	堤　裕之						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	基礎科目						
備　考　：	教職課程履修者は教職課程履修要項を参照してください。						

■授業概要

ユークリッド幾何をデカルトの視点から見直すことが本講義の目標である.
われわれが最初に学ぶ幾何学は初等幾何学（ユークリッド幾何学）である．初等幾何は，中世において自由人が学ぶべき教養とされた自由七科のうちの1つであり，その原型はユークリッドが編纂したとされる『原論』が含む幾何学である.
初等幾何は，直観的な定義，公準から始まり，そこから，厳格な論証を積み重ねていく．直観的なところから始まること，そして，厳格な論理を学ぶ必要性から，最初に学ぶべきやさしい幾何学である．しかし同時に初等幾何は「難しい」幾何学でもある.
これを端的に説明するよい表現は「幾何学に王道なし」であろう．これは『原論』の編纂者ユークリッド自身が，エジプト，プトレマイオス朝の初代王，プトレマイオス1 世に語ったと伝えられる言葉である．初等幾何の問題を解く王道はない．すなわち，初等幾何では問題ごとに論証の仕方を見つけねばならず，ゆえに，膨大な量を学ばねば使い物にならない．このような意味で初等幾何は「難しい」幾何学なのである.
本講義では，この初等幾何の問題点をデカルトの方法で解決する．デカルトの方法論は，幾何学の問題を代数的にとらえることにある．本講義は初等幾何の緒定理をデカルトの方法論で実際に取り扱うことで，幾何的に考え代数的に解くことの大切さについて学ぶことを目標とする.

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本講義の教育目標，到達目標は以下の通りである.
・ 座標と内積，三角関数を理解する.
・ 直線の方程式，平面の方程式，円の方程式，球の方程式について理解する.
・ 初等幾何の緒定理を理解する.
・ 初等幾何の緒定理を代数的に示す方法論について理解する.
・ 正多角形の作図と方程式の対応について理解する.
・ 三角形の面積，および平行六面体の体積の導出ができるようになる.
なお、本科目は、生物理工学部のディプロマポリシーの 1, 2, 5の達成に関与しています.

■成績評価方法および基準

期末試験 70%
レポート 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

中間まとめレポートと期末まとめレポートは基本的に指定教科書と配布プリントの問題の中から出題されます．特に注意が必要な問題については授業内で解説します．試験問題についても同様です。

■教科書

[ISBN]4779512603 『教養としての数学[増補版]』 (畔津 憲司, ナカニシヤ出版：2018)

■参考文献

[ISBN]4320019652 『ユークリッド原論　追補版』 (共立出版：2011)
[ISBN]4621062360 『幾何学 I (Undergraduate Texts in Mathema)』 (丸善出版：2012)
[ISBN]4621065653 『幾何学 II 現代数学から見たユークリッド原論 (Undergraduate Texts in Mathematics)』 (R.ハーツホーン, 丸善出版：2017)

■関連科目

数学
微分積分学
線形代数学

■授業評価アンケート実施方法

大学の実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）： tsutsumi@ouhs.ac.jp
備考： 携帯からの質問メールは受け付けない.

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ガイダンス，および座標と角度，ベクトルの演算（講義）

予習内容：教科書第14講の該当部分を読む
予習時間：30分
復習内容：教科書の指定演習問題を解く
復習時間：30分
本授業のガイダンスを行う．また，座標系と古典的な角度について解説し，ベクトルの演算を復習する.

第2回 三平方の定理と三角関数の緒公式（講義）

予習内容：教科書第14講の該当部分を読む
予習時間：30分
復習内容：教科書の指定演習問題を解く
復習時間：30分
三平方の定理と三角関数の緒公式について復習する.

第3回 直線，平面，円，球の方程式（講義）

予習内容：教科書第15講の該当部分を読む
予習時間：30分
復習内容：教科書の該当部分の演習問題を解く.
復習時間：60分
直線，平面，円，球の方程式について復習する.

第4回 中点連結定理，二等分線定理，チェバの定理（講義）

予習内容：中点連結定理，二等分線定理，チェバの定理についてあらかじめ調べておく.
予習時間：30分
復習内容：中点連結定理，二等分線定理，チェバの定理の初等幾何学的証明を行う.
復習時間：30分
中点連結定理，二等分線定理，チェバの定理の解説と証明を行う.

第5回 三角形の五心とその性質（重心，内心，外心）（講義）

予習内容：重心，内心，外心についてあらかじめ調べておく.
予習時間：30分
復習内容：重心，内心，外心の性質の初等幾何学的証明を行う.
復習時間：90分
三角形の五心とその性質（重心，内心，外心）を解説し，その証明を行う.

第6回 円周角の定理と円に内接する四角形の定理（講義）

予習内容：円周角の定理と円に内接する四角形の定理についてあらかじめ調べておく
予習時間：30分
復習内容：円周角の定理と円に内接する四角形の定理の初等幾何学的証明を行う.
復習時間：30分
円周角の定理と円に内接する四角形の定理について解説し，その証明を行う.

第7回　接弦定理，方べきの定理，トレミーの定理（講義）

予習内容：接弦定理，方べきの定理，トレミーの定理についてあらかじめ調べておく
予習時間：30分
復習内容：接弦定理，方べきの定理，トレミーの定理の初等幾何学的証明を行う．
復習時間：30分
接弦定理，方べきの定理，トレミーの定理について解説し，その証明を行う．

第8回　九点円の定理（講義）

予習内容：九点円の定理についてあらかじめ調べておく．
予習時間：30分
復習内容：九点円の定理の初等幾何学的証明を行う．
復習時間：60分
九点円の定理について解説し，その証明を行う．

第9回　ド・モアブルの定理と円周等分多項式（講義）

予習内容：教科書第21講の該当部分を読む．
予習時間：30分
復習内容：教科書の該当部分の演習問題を解く．
復習時間：60分
ド・モアブルの定理と円周等分多項式を解説し，これらが正n角形と関係することを解説する．

第10回　作図可能性（講義）

予習内容：教科書第21講の該当部分を読む．
予習時間：30分
復習内容：正三角形，正方形，正六角形を作図する．
復習時間：30分
作図可能性（コンパスと目盛りのない定規でかける図形）について解説する．

第11回　角の二等分線と三等分線の作図（講義）

予習内容：角の二等分線が作図可能であることを実際に作図することで確かめておく
予習時間：30分
復習内容：教科書の該当部分の演習問題を解く．
復習時間：60分
角の二等分線と三等分線の作図可能性について解説する．

第12回　正五角形と正七角形の作図（講義）

予習内容：第10回の作図可能性を復習する．
予習時間：30分
復習内容：正五角形の作図を実際に行う．
復習時間：30分
正五角形と正七角形の作図可能性について解説する．

第13回　ヘロンの公式と外積（講義）

予習内容：ヘロンの公式についてあらかじめ調べておく
予習時間：30分
復習内容：ヘロンの公式を用いてさまざまな三角形の面積を求めてみる．
復習時間：90分
三角形の面積を求める公式の一つであるヘロンの公式と空間内の平行四辺形の面積を求める外積について解説する．

第14回　平行六面体の体積（講義）

予習内容：ベクトルの外積について復習する．
予習時間：30分
復習内容：実際にさまざまな平行六面体についてその体積を導出してみる．
復習時間：30分
平行六面体の体積の導出について解説する．

第15回　まとめ（演習を含む講義）

予習内容：これまで習ったことを復習し，疑問点を明らかにする．
予習時間：90分
復習内容：疑問点を解決し，試験に向けた準備を行う
復習時間：90分

期末試験

デカルトの方法論について概説する.

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**幾何学ＩＢ**						
英文名　：	Geometry 1B						
担当者　：	堤　裕之						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	基礎科目						
備　考　：	教職課程履修者は教職課程履修要項を参照してください。						

■授業概要

図形を代数的に取り扱う方法論の一つである代数的位相幾何学の初歩を解説する.
幾何的に考え，代数的に解くことは，現代的な幾何学の基本的な方法論の一つである．そして，この考え方に従うことで20世紀に入り大きく発展した幾何学が，図形の連続変形（伸ばしたり曲げたりすることはするが切ったり貼ったりはしないこと）しても保たれる性質について研究する代数的位相幾何学（代数的トポロジー）と呼ばれる分野である.
代数的位相幾何学は1900年前後のポワンカレの一連の研究が嚆矢だが，そこで使われる代数は，古典的な代数方程式の解法ではなく，集合に定まっている演算や作用によって決まる構造，すなわち代数的構造であり，この代数的構造は，群や環，ホモロジーなどの中等教育の段階では全く耳慣れない用語を用いて記述されるものである.
本講義では，これら新しい代数的構造を記述するための用語がどのように幾何学に応用されているのかについての初歩を解説することで，現代的な幾何学の考え方を体験することがその目標である.

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本講義の教育目標，到達目標は以下の通りである.
・ホモトピーの概念を理解する
・脈体・復体の概念を理解する
・加群の取り扱いを理解する
・ホモロジー群を理解する
なお、本科目は、生物理工学部のディプロマポリシーの 1, 2, 5の達成に関与しています.

■成績評価方法および基準

期末試験 70%
中間まとめレポート 10%
期末まとめレポート 10%
授業内課題 10%

■試験・課題に対するフィードバック方法

中間まとめレポートと期末まとめレポートは基本的に指定教科書の問題の中から出題されます．教科書には略解が載せられていますが，特に注意が必要な問題については授業内で解説します．試験問題についても同様です。

■教科書

[ISBN]4320110021 『タンパク質構造とトポロジー ―パーシステントホモロジー群入門― (シリーズ・現象を解明する数学)』 (平岡 裕章, 共立出版：2013)

■参考文献

[ISBN]4621062727 『微分トポロジー講義 (シュプリンガー数学クラシックス)』 (J.W.ミルナー, 丸善出版：2012)
[ISBN]4434116266 『トポロジーへの誘い―多様体と次元をめぐって (幾何学をみる)』 (松本 幸夫, 遊星社：2008)

■関連科目

数学
微分積分学
線形代数学
幾何学IA

■授業評価アンケート実施方法

大学の実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）： tsutsumi@ouhs.ac.jp
備考： 携帯からの質問メールは受け付けない.

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ガイダンス，および単体的複体（講義）

予習内容：教科書の該当部分を読む.
予習時間：60分
復習内容：教科書の該当箇所の例をもう一度見直す.
復習時間：30分
本授業のガイダンスを行う．また，単体的複体の概念を解説する.

第2回 ホモトピー（講義）

予習内容：教科書の該当部分を読む.
予習時間：30分
復習内容：教科書の該当箇所の例をもう一度見直す.
復習時間：30分
ホモトピーの概念を解説する.

第3回 脈体定理と複体の幾つかの例（その1）（講義）

予習内容：教科書の該当部分を読む.
予習時間：60分
復習内容：教科書の該当箇所の例をもう一度見直す.
復習時間：30分
脈体の概念について解説する．また，いくつかの複体の例を紹介する.

第4回 複体のいくつかの例（その2）（講義）

予習内容：教科書の該当部分を読む.
予習時間：30分
復習内容：教科書の該当箇所の例をもう一度見直す.
復習時間：30分
第3回に引き続き，複体のいくつかの例を紹介する.

第5回 Z加群とイデアル（講義）

予習内容：教科書の該当部分を読む.
予習時間：60分
復習内容：教科書の該当箇所の例をもう一度見直す.
復習時間：30分
Z加群とそのイデアルについて解説する.

第6回 準同型定理と中国剰余定理（講義）

予習内容：教科書の該当部分を読む.
予習時間：30分
復習内容：教科書の該当箇所の例をもう一度見直す.
復習時間：30分
Z加群の準同型定理，および中国剰余定理を紹介する.

第7回 一般の加群（講義）

予習内容：教科書の該当部分を読む.
予習時間：30分

復習内容：教科書の該当箇所の例をもう一度見直す.
復習時間：30分
環係数の加群の初歩を解説する.

第8回　整域係数の加群（講義）

予習内容：教科書の該当部分を読む.
予習時間：30分
復習内容：教科書の該当箇所の例をもう一度見直す.
復習時間：30分
整域の概念とその加群の初歩を解説する.

第9回　Z加群の構造と基本行列（講義）

予習内容：教科書の該当部分を読む.
予習時間：30分
復習内容：教科書の該当箇所の例をもう一度見直す.
復習時間：60分
Z加群の構造と基本行列の関係について解説する.

第10回　Z係数行列のスミス標準形（講義）

予習内容：教科書の該当部分を読む.
予習時間：30分
復習内容：教科書の該当箇所の例をもう一度見直す.
復習時間：30分
Z係数行列のスミス標準形について解説し，有限生成Z加群の構造定理に備える.

第11回　有限生成Z加群の構造定理（講義）

予習内容：教科書の該当部分を読む.
予習時間：30分
復習内容：教科書の該当箇所の例をもう一度見直す.
復習時間：60分
前々回，前回の授業内容を用いて，有限生成Z加群の構造定理を与える.

第12回　ホモロジー群（鎖複体）（講義）

予習内容：教科書の該当部分を読む.
予習時間：30分
復習内容：教科書の該当箇所の例をもう一度見直す.
復習時間：30分
ホモロジー群のアイデアの概説と，ホモロジー群の定義の前準備として，鎖複体について解説する.

第13回　ホモロジー群の定義（講義）

予習内容：教科書の該当部分を読む.
予習時間：30分
復習内容：教科書の該当箇所の例をもう一度見直す.
復習時間：30分
ホモロジー群の定義を行い，その最も簡単な例を紹介する.

第14回　ホモロジー群の計算例（講義）

予習内容：教科書の該当部分を読む.
予習時間：30分
復習内容：教科書の該当箇所の例をもう一度見直す.
復習時間：60分
前回に引き続き，具体的な例でホモロジー群を計算する.

第15回　まとめ（演習を含む講義）

予習内容：これまで習ったことを復習し，疑問点を明らかにする.
予習時間：90分
復習内容：疑問点を解決し，試験に向けた準備を行う
復習時間：90分
これまで学んできたことを概観する.

期末試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	**幾何学ⅡA**						
英文名 :	Geometry 2A						
担当者 :	堤　裕之						
開講学科 :	食品安全工学科						
単　位 :	2単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	基礎科目						
備　考 :	教職課程履修者は教職課程履修要項を参照してください。						

■授業概要

ユークリッド空間内の曲線と曲面の取り扱いについての入門的講義を行う.
前半は曲線の取り扱いについて解説する．曲線の曲がり具合を表すための量として曲率と捩率が導入すると共に，それらにより曲線が特徴づけられることを示すことが目標である.
後半は曲面の取り扱いの基本についての解説である．曲面が空間内にいかに配置されているかを計る量である基本形式や曲率を導入し，さらに微分形式の概念について説明する.
本講義の内容は，多変数の微分積分学の延長線上にある．すなわち，曲線と曲面などの幾何学的対象を解析的に取り扱う基本について学ことが目標である．したがって，多変数の微分積分学について一度も学んだことのない学生は本講義の対象者として想定されていないことを注意しておく.

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本講義の教育目標，到達目標は以下の通りである.
・ 曲線を数学的に表現する方法について理解する.
・ 曲線の曲率の概念を理解する．また，実際に曲率が計算できる.
・ 曲線の捻率の概念を理解する．また，実際に捻率が計算できる.
・ 曲面を数学的に表現する方法について理解する.
・ 曲面の基本形式と曲率の概念を理解する．また，実際に基本形式と曲率が計算できる.
なお、本科目は、生物理工学部のディプロマポリシーの 1, 2, 5の達成に関与しています.

■成績評価方法および基準

期末試験 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

中間まとめレポートと期末まとめレポートは基本的に指定教科書の問題の中から出題されます．教科書には略解が載せられていますが，特に注意が必要な問題については授業内で解説します．試験問題についても同様です。

■教科書

[ISBN]9784785310912 『曲線と曲面の微分幾何』 (小林 昭七, 裳華房 : 1995)

■参考文献

[ISBN]9784768704660 『改訂新版 ベクトル解析からの幾何学入門』 (千葉逸人, 現代数学社 : 2017)
[ISBN]9784785315634 『曲線と曲面(改訂版) -微分幾何的アプローチ』 (梅原 雅顕, 裳華房 : 2015)
[ISBN]9784320111813 『曲線・曲面の微分幾何 (共立講座 数学探検 8)』 (田崎 博之, 共立出版 : 2015)

■関連科目

数学
微分積分学

線形代数学
幾何学IA
幾何学IB

■授業評価アンケート実施方法

大学の実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）： tsutsumi@ouhs.ac.jp
備考： 携帯からの質問メールは受け付けない.

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ガイダンス，および質点系の運動の表現（講義）

予習内容：微分について復習する.
予習時間：60分
復習内容：等速直線運動，回転運動の表現，速度，速さについての演習問題を解く.
復習時間：30分
本授業のガイダンスを行う．また，質点系の運動の表現について解説する.

第2回 質点系の力学（講義）

予習内容：高等学校で学ぶ力学の基本的な方程式について復習する.
予習時間：30分
復習内容：等速直線運動，回転運動の加速度，運動量，力についての演習問題を解く.
復習時間：30分
質点系の力学について解説する．特に加速度に着目する.

第3回 平面曲線の表現と曲率（講義）

予習内容：微分積分学の曲線の長さの公式について調べておく.
予習時間：30分
復習内容：教科書の該当部分の演習問題を解く.
復習時間：60分
平面曲線の数学的な表現と，その長さの導出方法について解説する．また，曲率の定義を紹介する.

第4回 平面曲線の曲率の意味（講義）

予習内容：テイラー展開（微分積分学），および直交行列（線形代数学）の復習をする.
予習時間：60分
復習内容：教科書の該当部分の演習問題を解く.
復習時間：90分
テイラー展開，Gauss の表示を用いて平面曲線の曲率の幾何学的な意味を解説する.

第5回 平面曲線に関する大域的定理（講義）

予習内容：積分について復習する.
予習時間：30分
復習内容：教科書の該当部分の演習問題を解く.
復習時間：90分
局所的性質と大域的性質の違いを学ぶ．また，局所的性質と大域的性質がどのように結びつくのかについていくつかの定理を例に取り解説する.

第6回 空間曲線の表現と曲率・捻率（講義）

予習内容：平面曲線の曲率について復習する.
予習時間：30分
復習内容：教科書の該当部分の演習問題を解く.
復習時間：30分
平面曲線の数学的な表現と空間曲線の曲率・捻率について解説する.

第7回 平面曲線の曲率・捻率の意味（講義）

予習内容：空間曲線の曲率・捻率の定義を復習する.
予習時間：30分
復習内容：教科書の該当部分の演習問題を解く.
復習時間：30分

テイラー展開，Gauss の表示を用いて平面曲線の曲率・捻率の意味を解説する．

第8回　空間曲線に関する大域的結果（講義）

予習内容：微分積分学の曲面の面積の公式を復習する．
予習時間：30分
復習内容：教科書の該当部分の演習問題を解く．
復習時間：90分
主に Fenchel の定理の解説を行う．

第9回　逆関数定理と陰関数定理（講義）

予習内容：微分積分学の接平面の公式について復習する．
予習時間：30分
復習内容：教科書の該当部分の演習問題を解く．
復習時間：60分
曲面の取り扱いのための前提となる定理である逆関数定理と陰関数定理について解説する．

第10回　曲面の概念，その具体例と表現の実際（講義）

予習内容：逆関数定理と陰関数定理を復習しておく．
予習時間：30分
復習内容：教科書の該当部分の演習問題を解く．
復習時間：30分
曲面の概念を紹介すると共に，基本的な曲面の具体的な表現方法について解説する．

第11回　第1基本形式と第2基本形式（講義）

予習内容：ベクトルの外積（形代数学）について復習する．
予習時間：30分
復習内容：教科書の該当部分の演習問題を解く．
復習時間：60分
曲面の第1基本形式と第2基本形式の定義を解説する．また，第1基本形式の意味を解説する．

第12回　第2基本形式の意味（講義）

予習内容：2変数関数の極大・極小について復習する．
予習時間：30分
復習内容：教科書の該当部分の演習問題を解く．
復習時間：30分
第2基本形式の意味について解説する．

第13回　Gauss の曲率・平均曲率（講義）

予習内容：第1基本形式，第2基本形式の定義を復習する．
予習時間：30分
復習内容：教科書の該当部分の演習問題を解く．
復習時間：90分
第1基本形式と第2基本形式から定義される Gauss の曲率と平均曲率を紹介し，曲面の形状と Gauss の曲率の関係について解説する．

第14回　曲面の面積と Guass の曲率（講義）

予習内容：ベクトルの外積（線形代数学）について再度復習する．
予習時間：90分
復習内容：教科書の該当部分の演習問題を解く．
復習時間：90分
Gauss の曲率と曲面の面積の関係について解説する．

第15回　まとめ（演習を含む講義）

予習内容：これまで習ったことを復習し，疑問点を明らかにする．
予習時間：90分
復習内容：疑問点を解決し，試験に向けた準備を行う
復習時間：90分
曲線と曲面の数学的取り扱いの基本についてこれまでに学んできたことを概観する．

期末試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**幾何学ⅡB**						
英文名 ：	Geometry 2B						
担当者 ：	堤　裕之						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	基礎科目						
備　考 ：	教職課程履修者は教職課程履修要項を参照してください。						

■授業概要

曲面上の幾何の基本概念の整備，および曲面上の積分の概念を解説する．
前半は，前期幾何学IIAで学ぶ第1基本形式のみに着目し，そこからどのような曲面に関する事実を導き出せるのかを解説する．後半は，曲面上の積分の概念について紹介する．曲面上の積分は曲面の局所的な値と曲面の大域的な値の関係を見る為の必須の道具であり，実際，ガウス曲率という局所的な量を積分することで，それがオイラー数と呼ばれる曲面の大域的な量と結びつくことが分かる．この事実は Gauss Bonnet の定理と呼ばれるが，これを示すことで，曲面上の積分が曲面の幾何を調べるための強力な道具であることを理解することが後半部分の目標である．
本講義の内容は，幾何学IIAの延長線上にある．したがって，多変数の微分積分学について一度も学んだことのない学生や曲線の幾何について基本的な知識がない学生は本講義の対象者として想定されていないことを注意しておく．

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本講義の教育目標，到達目標は以下の通りである．
・ 曲面の第1基本軽量について理解する．
・ 曲面の構造方程式とガウス曲率が曲面の第1基本計量から得られることを理解する．
・ ベクトル場の概念を理解する．
・ 共変微分の概念を理解する．
・ 測地線の概念を理解する．
・ 微分形式の基本を理解する．
・ Stokes の定理を理解する．
・ オイラー数について理解する．
・ Gauss Bonnet の定理について理解する．
なお、本科目は、生物理工学部のディプロマポリシーの 1, 2, 5の達成に関与しています．

■成績評価方法および基準

期末試験 70%
中間まとめレポート 10%
期末まとめレポート 10%
授業内課題 10%

■試験・課題に対するフィードバック方法

中間まとめレポートと期末まとめレポートは基本的に指定教科書の問題の中から出題されます．教科書には略解が載せられていますが，特に注意が必要な問題については授業内で解説します．試験問題についても同様です。

■教科書

[ISBN]9784785310912 『曲線と曲面の微分幾何』 (小林 昭七, 裳華房 : 1995)

■参考文献

[ISBN]9784768704660 『改訂新版 ベクトル解析からの幾何学入門』 (千葉逸人, 現代数学社：2017)
[ISBN]9784785315634 『曲線と曲面(改訂版) -微分幾何的アプローチ』 (梅原 雅顕, 裳華房：2015)
[ISBN]9784320111813 『曲線・曲面の微分幾何 (共立講座 数学探検 8)』 (田崎 博之, 共立出版：2015)

■関連科目

数学
微分積分学
線形代数学
幾何学IA
幾何学IB
幾何学IIA

■授業評価アンケート実施方法

大学の実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）： tsutsumi@ouhs.ac.jp
備考： 携帯からの質問メールは受け付けない.

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ガイダンス，および曲面の基本形式の復習（講義）

予習内容：曲面の第1基本計量と第2基本計量について復習する.
予習時間：60分
復習内容：教科書の該当部分の演習問題を解く.
復習時間：30分
本授業のガイダンスを行う．また，曲面の第1基本計量と第2基本計量について復習する.

第2回 Gauss 曲率の復習（講義）

予習内容：Gauss 曲率について復習する.
予習時間：30分
復習内容：教科書の該当部分の演習問題を解く.
復習時間：30分
曲面の基本計量から定義される量である Gauss 曲率について復習する.

第3回 曲面の基本形式の正規直交基底を用いた表現（講義）

予習内容：行列の転置と行列式について復習する.
予習時間：60分
復習内容：教科書の該当部分の演習問題を解く.
復習時間：30分
曲面の基本形式，および Gauss 曲率を正規直交基底を用いて表現し，その理解を深める.

第4回 微分形式の基本（講義）

予習内容：全微分（微分積分学）について復習する.
予習時間：30分
復習内容：教科書の該当部分の演習問題を解く.
復習時間：30分
微分形式の概念について2変数に限定し解説する.

第5回 基本形式と微分形式（講義）

予習内容：再度基本形式について復習する.
予習時間：60分
復習内容：教科書の該当部分の演習問題を解く.
復習時間：30分
曲面の基本形式を微分形式を用いて表現し，その理解を深める.

第6回 Riemann 計量（講義）

予習内容：第1基本形式について復習する.
予習時間：30分
復習内容：教科書の該当部分の演習問題を解く.

復習時間：30分
曲面の第1基本形式を抽象化した Riemann 計量について解説する.

第7回　曲面の構造方程式（講義）

予習内容：第5回の授業内容を復習しておく
予習時間：30分
復習内容：教科書の該当部分の演習問題を解く.
復習時間：30分
曲面の基本形式を抽象化した構造方程式と付随して現れる接続形式を解説する.

第8回　ベクトル場（講義）

予習内容：微分形式の復習をする.
予習時間：30分
復習内容：教科書の該当部分の演習問題を解く.
復習時間：30分
接ベクトル場の概念を解説する.

第9回　共変微分と平行移動（講義）

予習内容：微分積分学の接平面の公式について復習する.
予習時間：30分
復習内容：教科書の該当部分の演習問題を解く.
復習時間：60分
共変微分について紹介し，さらにそれを用いて曲面上の平行移動の概念を定める.

第10回　測地線（講義）

予習内容：平面幾何の平行線の公理について調べておく
予習時間：30分
復習内容：教科書の該当部分の演習問題を解く.
復習時間：30分
曲面上の直線に相当する概念である測地線について解説する.

第11回　測地線の長さ（講義）

予習内容：共変微分について復習する.
予習時間：30分
復習内容：教科書の該当部分の演習問題を解く.
復習時間：60分
測地線の長さについて解説する.

第12回　曲面上の積分と Stokes の定理（講義）

予習内容：微分積分学の基本定理について復習する.
予習時間：30分
復習内容：教科書の該当部分の演習問題を解く.
復習時間：30分
曲面上の積分とその1変数の微分積分学の基本定理に相当する定理である Stokes の定理について解説する.

第13回　Gauss Bonnet の定理（領域の場合）（講義）

予習内容：Stokes の定理を復習する.
予習時間：30分
復習内容：教科書の該当部分の演習問題を解く.
復習時間：30分
領域に対する Gauss-Bonnet の定理を紹介する.

第14回　Gauss-Bonnet の定理（閉曲面の場合）（講義）

予習内容：Gauss Bonnet の定理（領域の場合）を復習する.
予習時間：30分
復習内容：教科書の該当部分の演習問題を解く.
復習時間：60分
閉曲面に関する Gauss-Bonnet の定理について紹介する.

第15回　まとめ（演習を含む講義）

予習内容：これまで習ったことを復習し，疑問点を明らかにする.
予習時間：90分
復習内容：疑問点を解決し，試験に向けた準備を行う

復習時間：90分
曲面の幾何学についてこれまでに学んできたことを概観する.

期末試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**情報処理基礎Ⅰ**						
英文名　：	Computer Literacy 1						
担当者　：	児玉　高志						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	基礎科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】火曜4限　食品安全工学科開講科目						

■授業概要

現代社会、とりわけ科学技術分野に関連する領域ではコンピューターやネットワークの利用が急速に進んでいます。情報処理基礎Ⅰでは、このような状況に対応して学修・研究を進めていくための基礎力を習得するために、生命科学分野全般に関連する情報処理技術について、入門的、導入的な内容を学修します。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

実験・実習科目

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

授業を通じて、生命科学分野に関連するデーターベースのインターネットを通じた利用方法などをはじめとするバイオインフォーマティクスの様々な手法、コンピュータを用いた学術的な報告書の作成、確率・統計などデータ解析に必須の知識などの基礎についてじゅうぶん習得することを目標とします。また、近年、社会で重要な役割を担いつつある人工知能(AI)について、その利点や問題点に関する判断を行う能力を得るために、人工知能技術の基礎になる情報検索や深層学習、画像処理などの分野に関する知識の修得にも配慮します。この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的3の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

授業中の課題 70%
学期末の課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

課題の解答例は授業の際にファイルの配布などにより示し、解説も授業中に行います。

■教科書

【留意事項】授業時に適宜プリントを配布します。

■参考文献

【留意事項】授業時に適宜紹介します。

■関連科目

情報処理基礎Ⅱ

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室(2号館2階)　infokodama@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。 質問と問い合わせはメールでも受け付けます。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 生命と情報 (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：情報技術と生命科学の関係について現時点で感じている疑問点を明確にしておくこと。
予習時間：10分
復習内容：演習で学んだ技術についてUniversal Passportの利用を中心として、確実に使えるように、内容を確認すること。
復習時間：20分
情報伝達という観点から眺めた生命についての概論。
UNIVERSAL PASSPORTの使用方法の習得。

第2回 現代の生命科学と情報 (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：前回の演習の内容を確認して、疑問点をはっきりさせておくこと。
予習時間：10分
復習内容：現代社会での生命科学情報について、利点と問題点を整理する。
復習時間：20分
現代社会の中でのゲノム情報などの生物情報と情報処理技術の関係についての概論。

第3回 ソフトとインターネット利用の基礎1 (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：前回の演習の内容を確認して、疑問点をはっきりさせておくこと。
予習時間：10分
復習内容：演習を行ったExcel操作とインターネットのリテラシーについて課題の内容を中心に授業の際の資料等を確認しておくこと。
復習時間：20分
EXCEL操作の基礎とインターネット利用に関するリテラシーの基礎を概観する。

第4回 ソフトとインターネット利用の基礎2 (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：前回の演習の内容を確認して、疑問点をはっきりさせておくこと。
予習時間：10分
復習内容：演習を行ったWord操作とインターネットのリテラシーについて課題の内容を中心に授業の際の資料等を確認しておくこと。
復習時間：20分
Word操作の基礎とインターネット利用に関するリテラシーの基礎を概観する。

第5回 バイオインフォーマティクス（遺伝子情報）(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：前回の演習の内容を確認して、疑問点をはっきりさせておくこと。
予習時間：10分
復習内容：遺伝子情報・タンパク質情報の利用について実践的演習の内容、Power Point操作について授業の際の資料等を確認しておくこと。
復習時間：20分
バイオインフォーマティクスの中でも遺伝子情報・タンパク質情報の利用について実践的演習を行う。またPower Point操作の基礎についての演習も行う

第6回 Excelの高度な技術 (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：前回の演習の内容を確認して、疑問点をはっきりさせておくこと。
予習時間：10分
復習内容：VBAマクロによる自動処理、ソルバーによる非線形回帰について授業の際の資料等を確認しておくこと。
復習時間：20分
VBAマクロによる自動処理、ソルバーによる非線形回帰の実践的演習を行う。

第7回 生命科学情報の収集と利用 (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：前回の演習の内容を確認して、疑問点をはっきりさせておくこと。
予習時間：10分
復習内容：Pubmedや専門用語のweb辞書を使いこなすための方法について授業の際の資料等を確認しておくこと。
復習時間：20分
Pubmedや専門用語のweb辞書を使いこなすための実践的演習を行う。

第8回 学術文書作成法基礎 (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：前回の演習の内容を確認して、疑問点をはっきりさせておくこと。
予習時間：10分
復習内容：学術的な報告書などの作成方法に関して、その基礎や倫理的な問題について授業の際の資料等を確認しておくこと。
復習時間：20分
学術的な報告書などの作成方法に関して、その基礎から倫理的な問題までを扱い演習を行う。

第9回 データ解析の基礎 (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：前回の演習の内容を確認して、疑問点をはっきりさせておくこと。
予習時間：10分
復習内容：Excelを利用したデータ解析の概要について授業の際の資料等を確認しておくこと。
復習時間：20分
Excelを利用したデータ解析の概要について学び、操作や式入力の実践的な演習を行う。

第10回　グラフの作成法　(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：前回の演習の内容を確認して、疑問点をはっきりさせておくこと。
予習時間：10分
復習内容：Excelを利用したデータ解析の際のグラフ作成方法について授業の際の資料等を確認しておくこと。
復習時間：20分
Excelを利用したデータ解析の際にグラフを作成して利用する方法を学び実践的な演習を行う。

第11回　表計算ソフトの数理生物学への応用　(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：前回の演習の内容を確認して、疑問点をはっきりさせておくこと。
予習時間：10分
復習内容：表計算ソフトの数理生物学への応用について授業の際の資料等を確認しておくこと。
復習時間：20分
Excelを利用してロジスティック関数などの数理生物学モデルによるデータの評価を行うため実践的演習を行う。

第12回　統計解析（基本統計量、誤差、区間推定）(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：前回の演習の内容を確認して、疑問点をはっきりさせておくこと。
予習時間：10分
復習内容：モデルを用いた解析と検定の内容について授業の際の資料等を確認しておくこと。
復習時間：20分
データ解析の基礎として、モデルを用いた解析と検定について説明する。誤差の扱いや区間推定についての演習を行う。

第13回　統計解析（統計とグラフ）　(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：前回の演習の内容を確認して、疑問点をはっきりさせておくこと。
予習時間：10分
復習内容：データを統計的に要約したうえでグラフに表したものを、Power Pointで発表する方法について授業の際の資料等を確認しておくこと。
復習時間：20分
Excelを用いてデータを統計的に要約し結果をグラフに表してPower Pointで発表する方法について実際のデータによる実践的演習を行う。

第14回　人工知能技術の基礎(1)　(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：これまでの演習の内容での情報検索に関する事項（特に第5回や第7回の内容）を確認して、疑問点をはっきりさせておくこと。
予習時間：10分
復習内容：データマイニング、情報検索、機械学習、深層学習、画像処理などの用語について授業の際の内容を確認しておくこと。
復習時間：20分
近年、社会で重要な役割を担いつつある人工知能(AI)について、その基礎となるデータマイニング、情報検索、機械学習、深層学習、画像処理などに関する理解を深めるための演習を行う。

第15回　人工知能技術の基礎(2)　および、全体のまとめ　(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：14回までの演習全体の内容を確認して、疑問点をはっきりさせておくこと。
予習時間：20分
復習内容：コンピューターサイエンスの基礎知識、インターネット利用のリテラシー、ワープロソフト、表計算ソフトの操作方法、基礎的な統計手法、人工知能に関する基礎技術などについて、15回の授業で学習した内容をプリントなども参考にしながら整理する。不明な点を自分で調べて補足し、最終課題レポートとしてまとめる。
復習時間：60分
人工知能(AI)について、その長所と短所などを評価するための基礎的な能力を得られるように、その基礎となる技術に関連した演習を行う。また、全15回の演習の内容を総合的に振り返り、演習した内容を実践的に活用する力を高めるための演習を行う。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**情報処理基礎Ⅱ**						
英文名　：	Computer Literacy 2						
担当者　：	児玉　高志						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	基礎科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】火曜5限　食品安全工学科開講科目						

■授業概要

情報処理基礎Ⅱでは、情報処理技術の基礎的内容を理解し、コンピューターやインターネットを用いた生命科学関連分野の情報の利用、データの解析、結果の発表を行うための技術について、入門的、導入的な内容から研究活動などでも実際に使われている最先端のやや高度な技術の利用までの広い範囲の内容を演習を通じて学修します。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

実験・実習科目

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

演習を中心とした授業を通じてバイオインフォーマティクスの利用、学術的な報告書の作成、データ解析などの作業に関して基礎的で実践的な技能に習熟することを目標とします。また、近年、社会で重要な役割を担いつつある人工知能(AI)について、その利点や問題点に関する判断を行う能力を得るために、人工知能技術の基礎になる情報検索や深層学習、画像処理などの分野に関する知識の修得にも配慮します。この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的3の達成に関与しています

■成績評価方法および基準

授業中の課題 70%
学期末の最終課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

課題の解答例は授業の際にファイルの配布などにより示し、解説も授業中に行います。

■教科書

【留意事項】授業時に課題ファイルを配布します。

■参考文献

【留意事項】授業時に適宜紹介します。

■関連科目

情報処理基礎Ⅰ

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室(2号館2階)　infokodama@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。 質問と問い合わせはメールでも受け付けます。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　コンピューター概論　(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：コンピューターに関する全般的知識とPCの操作について、現代社会ではどのような技術・知識が必要であるかということについて自分自身の考えを整理しておく。
予習時間：10分
復習内容：授業で確認した内容について、資料の内容などを確認しておくこと。
復習時間：20分
コンピューターに関する全般的知識とPCの操作について基礎的な事柄をまとめて確認します。

第2回　文献検索と情報取得　(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：前回の演習の内容を確認して、疑問点をはっきりさせておくこと。
予習時間：10分
復習内容：インターネットでの文献検索と英語論文の内容把握のためのツールについて授業の際の資料等を確認しておくこと。
復習時間：20分
インターネットでの文献検索と英語論文の内容把握のためのツールについて実際の論文を用いて実践的演習を行います。

第3回　統計解析（基本）(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：前回の演習の内容を確認して、疑問点をはっきりさせておくこと。
予習時間：10分
復習内容：Excelへのデータ導入と統計計算の定義について授業の際の資料等を確認しておくこと。
復習時間：20分
Excelへのデータ導入と統計計算の定義について実際の論文のデータを用いて実践的演習を行います。

第4回　統計解析（区間推定）(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：前回の演習の内容を確認して、疑問点をはっきりさせておくこと。
予習時間：10分
復習内容：Excelを用いて区間推定を行い、結果をPower Point等で報告する方法について授業の際の資料等を確認しておくこと。
復習時間：20分
Excelを用いて実際の研究データに対する区間推定を行い、結果をPower Point等で報告する実践的演習を行います。

第5回　統計解析（複雑なグラフ）(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：前回の演習の内容を確認して、疑問点をはっきりさせておくこと。
予習時間：10分
復習内容：ヒストグラム、箱ひげ図などを作成する方法について授業の際の資料等を確認しておくこと。
復習時間：20分
比較的規模の大きい研究データの統計的性質を図示するためにヒストグラム、箱ひげ図などを複数作成する実践的演習を行います。

第6回　統計解析（検定）(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：前回の演習の内容を確認して、疑問点をはっきりさせておくこと。
予習時間：10分
復習内容：データの統計的性質に関して精密で定量的な検定を行うための方法について授業の際の資料等を確認しておくこと。
復習時間：20分
比較的規模の大きい研究データの統計的性質に関して精密で定量的な検定を行うための実践的演習を行います。

第7回　論文、レポート作成の基礎　(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：前回の演習の内容を確認して、疑問点をはっきりさせておくこと。
予習時間：10分
復習内容：科学技術の論文、レポートなどの作成、研究データに関する報告を行うための方法について授業の際の資料等を確認しておくこと。
復習時間：20分
科学技術の論文、レポートなどの作成の際に必要な知識を学び、実際の研究データに関する報告を行うための実践的演習を行います。

第8回　回帰分析・統計解析の演習　(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：前回の演習の内容を確認して、疑問点をはっきりさせておくこと。
予習時間：10分
復習内容：線形回帰、非線形回帰分析、統計解析について授業の際の資料等を確認しておくこと。
復習時間：20分
線形回帰、非線形回帰分析の手法と統計解析についての実践的演習を行います。

第9回　グラフ利用の演習　(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：前回の演習の内容を確認して、疑問点をはっきりさせておくこと。
予習時間：10分

復習内容：グラフの作成と、文書作成ソフトやプレゼンテーションソフトでのグラフの表示について授業の際の資料等を確認しておくこと。
復習時間：20分
表計算ソフトによるグラフの作成と、文書作成ソフトやプレゼンテーションソフトでのグラフの表示の実践的演習を行います。

第10回 プレゼンテーション (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：前回の演習の内容を確認して、疑問点をはっきりさせておくこと。
予習時間：10分
復習内容：科学技術分野で頻出する特殊文字や数式をWordやPower Pointへ入力する方法について授業の際の資料等を確認しておくこと。
復習時間：20分
科学技術分野で頻出する特殊文字や数式をWordやPower Pointへ入力する方法について実践的な演習を行います。

第11回 文書作成 (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：前回の演習の内容を確認して、疑問点をはっきりさせておくこと。
予習時間：10分
復習内容：文書作成（日本文入力・英文入力・校正）について授業の際の資料等を確認しておくこと。またリスト作成、ブックマーク機能の利用方法を覚えること。
復習時間：20分
文書作成の演習（日本文入力・英文入力・校正）に関しての実践的な演習を行います。またWordを用いて論文やレポートを作成する際に必要になるリストの作成、ブックマーク機能の利用などの実践的演習を行います。

第12回 外部データの利用 (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：前回の演習の内容を確認して、疑問点をはっきりさせておくこと。
予習時間：10分
復習内容：WordやExcelでのデータのインポートとファイル形式の関係、外部のテンプレートなどの利用のための知識について授業の際の資料等を確認しておくこと。
復習時間：20分
WordやExcelでのデータのインポートとファイル形式の関係、外部のテンプレートなどの利用のための知識を深めるための実践的演習を行います。

第13回 分子描画と分子力学計算 (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：前回の演習の内容を確認して、疑問点をはっきりさせておくこと。
予習時間：10分
復習内容：Chem Officeで化学構造式を描き、立体構造にしたうえで構造最適化や分子動力学計算をする方法について授業の際の資料等を確認しておくこと。
復習時間：20分
Chem Officeとインターネット上の情報を用いて複雑な化学構造式を描き、それを立体構造にしたうえで構造最適化や分子動力学計算をする実践的演習を行います。

第14回 人工知能技術の基礎(1) (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：前回の演習の内容を確認して、疑問点をはっきりさせておくこと。
予習時間：10分
復習内容：演習の内容を振り返り、操作等に関して確認しておく。
復習時間：20分
人工知能の根幹をなす個々の技術(データマイニング、深層学習など)に関する理解を深めるための演習を行います、

第15回 人工知能技術の基礎(2)と総合演習 (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：14回までの演習全体の内容を確認して、疑問点をはっきりさせておくこと。
予習時間：20分
復習内容：コンピューターサイエンスの基礎知識、インターネット利用のリテラシー、ワープロソフト、表計算ソフトの操作方法、基礎的な統計手法、人工知能に関する基礎技術などについて、15回の授業で学習した内容をプリントなども参考にしながら整理する。不明な点を自分で調べて補足し、最終課題レポートとしてまとめる。
復習時間：60分
人工知能の利点と問題点を理解し、その利用についての判断を行う力を養うための基礎的演習を行います。さらにコンピューターサイエンス、インターネット利用のリテラシー、ワープロソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法、基礎的な統計手法などについて総合的に振り返り、その定着のための演習を行います。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**情報倫理**						
英文名　：	Information Ethics						
担当者　：	岡　宏						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	基礎科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】金曜5限						

■授業概要

2003年、高校では普通教科「情報」が必修になり、情報活用の実践力、情報の科学的な理解力、情報社会に参画する姿勢を基軸にした教育が為されている。大学における情報教育は、高校の教科「情報」の履修を前提に実施される。
さて、1990年代終わりから商用インターネット利用が急速に進み、世界的に利用者が激増した。利用者は利便性を享受する一方、インターネット利用時の危険について理解し、身を守る対策をとり、情報を個人が自由に受発信できることに伴う課題を理解し、さらに他人に危害を与えないための配慮も求められる。さらに近年、サイバー犯罪に関連し少年少女が性犯罪に巻き込まれる危険性が増大している。国際的には、少年少女への商業的性的搾取は「児童虐待」という重大問題であることの認識を深め、社会全体で対応を考えることが喫緊の課題である。
また大学でも、日常生活でインターネットを利用し、情報の受発信を行う学生が少なくないが、時に外部から著作権侵害などの警告をうけることもある。このような状況下で情報倫理教育は必須のものとなってきた。本来、情報倫理意識とは道徳的判断に委ねられている。そのため、個人の道徳的規範意識が大きく影響する。道徳的・倫理的背景には、その国の文化や社会構造が働いている。その点で、日本における情報倫理教育も完全にユニバーサルなものにはならないが、各国における課題の差異性は、異文化理解という視点では興味深い。本年度は特にサイバー犯罪と情報に関連する犯罪を中心に国際化する犯罪の一端を観察しながら情報倫理の意味について学修します。
授業方法が変更になる場合は、事前に授業等での通知、もしくはGoogle Classroomで変更を通知します。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、この講義を履修することによって、主に以下の3点が出来るようになります。

①情報倫理を学ぶ理由を考え、その必要性を説明できる。

②現代社会におけるサイバー犯罪から青少年を保護する方途について考えることができる。

③情報犯罪から個人を守る方途を考えることができる。

この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的１の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 40%
講義中間レポート 30%
講義中ミニ課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

課題については、講義中に要点を示し、資料を配布します。また、必要に応じて添削を行ないます。
試験については、要点と課題へのアプローチをUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■教科書

【留意事項】各回、講義レジュメ配付。

■参考文献

[ISBN]9784879812964 『子どものケータイ利用と学校の危機管理』 (下田 博次(青少年メディア研究会理事長), 少年写真新聞社：2009)

■関連科目

情報処理基礎Ⅰ・Ⅱ

■授業評価アンケート実施方法

生物理工学部実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（２号館２階２５４室）・hiroshioka@socio.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

金曜日３時限後の休憩時間、４時限後の休憩時間。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　授業概要と成績評価の説明
（「児童虐待構成要因としてのサイバー犯罪」）（授業形式：講義）
予習内容：児童虐待構成要因としてのサイバー犯罪
予習時間：60分
復習内容：児童虐待構成要因としてのサイバー犯罪
復習時間：60分

第2回　「サイバー犯罪から子どもをまもる」（授業形式：講義）
予習内容：サイバー犯罪から子どもをまもる
予習時間：60分
復習内容：サイバー犯罪から子どもをまもる
復習時間：60分

第3回　「子どものケイタイ利用への危険意識と対応の混乱」（授業形式：講義）
予習内容：子どものケイタイ利用について考える
予習時間：60分
復習内容：子どものケイタイ利用への危険意識と対応の混乱
復習時間：60分

第4回　「なぜネット遊びが増殖するのか」（授業形式：講義）
予習内容：ネット遊びとネット利用の違いを考える
予習時間：60分
復習内容：なぜネット遊びが増殖するのか
復習時間：60分

第5回　「リスクを発生させる情報環境・構造」（授業形式：講義）
予習内容：情報環境構造のリスクを考える
予習時間：60分
復習内容：リスクを発生させる情報環境・構造
復習時間：60分

第6回　「ネットいじめの時代」（授業形式：講義）
予習内容：ネットいじめから子どもを如何に守るか
予習時間：60分
復習内容：ネットいじめから子どもを救済する方法
復習時間：60分

第7回　「学校のリスク管理」（授業形式：講義）
予習内容：学校のリスク管理の重要性
予習時間：60分
復習内容：学校のリスク管理の実態
復習時間：60分

第8回 コラム（授業形式：講義）

予習内容：コラム
予習時間：60分
復習内容：コラム
復習時間：60分

第9回 情報倫理コラム
「情報社会のなかの責任を考える」～【自己責任原則】～（授業形式：講義）

予習内容：自己責任とは何かを考える
予習時間：60分
復習内容：「自己責任」という表現の意味
復習時間：60分

第10回 「知的財産権」（授業形式：講義）

予習内容：知的財産権について基礎的学修
予習時間：60分
復習内容：知的財産権について整理
復習時間：60分

第11回 「個人情報保護」（授業形式：講義）

予習内容：個人情報保護
予習時間：60分
復習内容：個人情報保護
復習時間：60分

第12回 「プライバシー」（授業形式：講義）

予習内容：プライバシーとは何か
予習時間：60分
復習内容：プライバシーの重要性
復習時間：60分

第13回 「プライバシーと民主主義」（授業形式：講義）

予習内容：プライバシーと民主主義
予習時間：60分
復習内容：プライバシーと民主主義
復習時間：60分

第14回 「データマイニング」（授業形式：講義）

予習内容：データマッチングについて
予習時間：60分
復習内容：データマイニングの必要性はあるのか
復習時間：60分

第15回 「パノプティコンとジョージ・オーウエル」（授業形式：講義）

予習内容：パノプティコンについて
予習時間：60分
復習内容：パノプティコンハ空想なのか
復習時間：60分

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**情報倫理**						
英文名　：	Information Ethics						
担当者　：	岡　宏						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	基礎科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】金曜5限						

■授業概要

2003年、高校では普通教科「情報」が必修になり、情報活用の実践力、情報の科学的な理解力、情報社会に参画する姿勢を基軸にした教育が為されている。大学における情報教育は、高校の教科「情報」の履修を前提に実施される。
さて、1990年代終わりから商用インターネット利用が急速に進み、世界的に利用者が激増した。利用者は利便性を享受する一方、インターネット利用時の危険について理解し、身を守る対策をとり、情報を個人が自由に受発信できることに伴う課題を理解し、さらに他人に危害を与えないための配慮も求められる。さらに近年、サイバー犯罪に関連し少年少女が性犯罪に巻き込まれる危険性が増大している。国際的には、少年少女への商業的性的搾取は「児童虐待」という重大問題であることの認識を深め、社会全体で対応を考えることが喫緊の課題である。
また大学でも、日常生活でインターネットを利用し、情報の受発信を行う学生が少なくないが、時に外部から著作権侵害などの警告をうけることもある。このような状況下で情報倫理教育は必須のものとなってきた。本来、情報倫理意識とは道徳的判断に委ねられている。そのため、個人の道徳的規範意識が大きく影響する。道徳的・倫理的背景には、その国の文化や社会構造が働いている。その点で、日本における情報倫理教育も完全にユニバーサルなものにはならないが、各国における課題の差異性は、異文化理解という視点では興味深い。本年度は特にサイバー犯罪と情報に関連する犯罪を中心に国際化する犯罪の一端を観察しながら情報倫理の意味について学修します。
授業方法が変更になる場合は、事前に授業等での通知、もしくはGoogle Classroomで変更を通知します。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、この講義を履修することによって、主に以下の3点が出来るようになります。

①情報倫理を学ぶ理由を考え、その必要性を説明できる。

②現代社会におけるサイバー犯罪から青少年を保護する方途について考えることができる。

③情報犯罪から個人を守る方途を考えることができる。

この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的１の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 40%
講義中間レポート 30%
講義中ミニ課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

課題については、講義中に要点を示し、資料を配布します。また、必要に応じて添削を行ないます。
試験については、要点と課題へのアプローチをUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■教科書

【留意事項】各回、講義レジュメ配付。

■参考文献

[ISBN]9784879812964 『子どものケータイ利用と学校の危機管理』 (下田 博次(青少年メディア研究会理事長), 少年写真新聞社：2009)

■関連科目

情報処理基礎Ⅰ・Ⅱ

■授業評価アンケート実施方法

生物理工学部実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（２号館２階２５４室）・hiroshioka@socio.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

金曜日３時限後の休憩時間、４時限後の休憩時間。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　授業概要と成績評価の説明
（「児童虐待構成要因としてのサイバー犯罪」）（授業形式：講義）
予習内容：児童虐待構成要因としてのサイバー犯罪
予習時間：60分
復習内容：児童虐待構成要因としてのサイバー犯罪
復習時間：60分

第2回　「サイバー犯罪から子どもをまもる」（授業形式：講義）
予習内容：サイバー犯罪から子どもをまもる
予習時間：60分
復習内容：サイバー犯罪から子どもをまもる
復習時間：60分

第3回　「子どものケイタイ利用への危険意識と対応の混乱」（授業形式：講義）
予習内容：子どものケイタイ利用について考える
予習時間：60分
復習内容：子どものケイタイ利用への危険意識と対応の混乱
復習時間：60分

第4回　「なぜネット遊びが増殖するのか」（授業形式：講義）
予習内容：ネット遊びとネット利用の違いを考える
予習時間：60分
復習内容：なぜネット遊びが増殖するのか
復習時間：60分

第5回　「リスクを発生させる情報環境・構造」（授業形式：講義）
予習内容：情報環境構造のリスクを考える
予習時間：60分
復習内容：リスクを発生させる情報環境・構造
復習時間：60分

第6回　「ネットいじめの時代」（授業形式：講義）
予習内容：ネットいじめから子どもを如何に守るか
予習時間：60分
復習内容：ネットいじめから子どもを救済する方法
復習時間：60分

第7回　「学校のリスク管理」（授業形式：講義）
予習内容：学校のリスク管理の重要性
予習時間：60分
復習内容：学校のリスク管理の実態
復習時間：60分

第8回 コラム（授業形式：講義）

予習内容：コラム
予習時間：60分
復習内容：コラム
復習時間：60分

第9回 情報倫理コラム
「情報社会のなかの責任を考える」～【自己責任原則】～（授業形式：講義）

予習内容：自己責任とは何かを考える
予習時間：60分
復習内容：「自己責任」という表現の意味
復習時間：60分

第10回 「知的財産権」（授業形式：講義）

予習内容：知的財産権について基礎的学修
予習時間：60分
復習内容：知的財産権について整理
復習時間：60分

第11回 「個人情報保護」（授業形式：講義）

予習内容：個人情報保護
予習時間：60分
復習内容：個人情報保護
復習時間：60分

第12回 「プライバシー」（授業形式：講義）

予習内容：プライバシーとは何か
予習時間：60分
復習内容：プライバシーの重要性
復習時間：60分

第13回 「プライバシーと民主主義」（授業形式：講義）

予習内容：プライバシーと民主主義
予習時間：60分
復習内容：プライバシーと民主主義
復習時間：60分

第14回 「データマイニング」（授業形式：講義）

予習内容：データマッチングについて
予習時間：60分
復習内容：データマイニングの必要性はあるのか
復習時間：60分

第15回 「パノプティコンとジョージ・オーウエル」（授業形式：講義）

予習内容：パノプティコンについて
予習時間：60分
復習内容：パノプティコンハ空想なのか
復習時間：60分

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 ：	**生物と地球環境**						
英文名 ：	Organisms and Global Environment						
担当者 ：	阿野　貴司・三谷　匡・岸田　邦博・東　慶直・中西　章・秋田　求・ 宮本　裕史・松本　和也						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	基礎科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】木曜1限						

■授業概要

生物集団は、気候、日照・温度、水環境、土壌環境などの多くの環境から強い影響を受けながらそれらに適応し、大きな多様性を生み出している。本講義では、生物の存在・形成・発達に対して多様な環境要因がどのような影響を及ぼすのかについて、生物の示す進化と多様性の視点を軸に解説し、人間が地球環境を保全し健康で幸福な生活を送るためになすべきことを科学技術の観点から考察する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講生は、地球規模での環境の変化と、それに適応し進化してきた生物との関連性を、生物学的観点から理解できるようになることを目標とする。この科目の修得は、本学部の定めるディプロマポリシー４の達成に関与する。

■成績評価方法および基準

試験（阿野・秋田） 35%
宮本課題レポート（小試験） 15%
三谷課題レポート 5%
松本課題レポート（ルーブリック評価） 5%
中西課題レポート 5%
試験（東・岸田） 35%

■試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題に関する要点と解説を、UNIVERSAL PASSPORTに掲載する。

■教科書

【留意事項】特に指定しない。

■参考文献

[ISBN]9784274219276　［絵とき］植物生理学入門　山本良一（編）　オーム社（2016年）
[ISBN]9784759811070　植物生理学　三村徹郎・鶴見誠二（編著）　化学同人（2009年）
[ISBN]9784274208201　環境科学　吉原利一（編）　オーム社（2010年）

■関連科目

特になし。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

阿野研究室（西1号館4階458）・tano@waka.kindai.ac.jp
秋田研究室（西1号館5階557）・akita@waka.kindai.ac.jp
松本（和）研究室（西1号館6階658）・kazum@waka.kindai.ac.jp
三谷研究室（東1号館5階521）・mitani@waka.kindai.ac.jp
中西研究室(西1号館6階652)・nakanishi@waka.kindai.ac.jp
宮本(裕)研究室（西1号館4階457）・miyamoto@waka.kindai.ac.jp
東研究室（東1号館4階409）azuma@waka.kindai.ac.jp
岸田研究室（西1号館1階159）kishida@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

複数教員のため、UNIVERSAL PASSPORT（https://waka-unipa.itp.kindai.ac.jp/）のオフィスアワーを参照すること。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　地球環境（1）（阿野）（授業形式：講義）

予習内容：地球環境問題の整理
予習時間：30分
復習内容：地球環境の成立と地球環境問題の本質的原因
復習時間：30分

第2回　地球環境（2）（阿野）（授業形式：講義）

予習内容：地球環境問題の原因と持続可能な社会と環境技術
予習時間：30分
復習内容：持続可能な社会
復習時間：30分

第3回　植物と環境（1）（秋田）（授業形式：講義）

予習内容：参考図書等を手がかりに植物の構造、光合成反応、窒素同化経路について調べる。「気孔」、「葉緑体」、「光化学系Ⅰ・Ⅱ」、「ルビスコ」、「カルビン回路」、「硝酸還元酵素」、「GS-GOGAT経路」、「グルタミン酸合成」をキーワードとして予習する。
予習時間：90分
復習内容：予習した内容、ユニパに掲載したパワーポイント（講義中の資料）と授業中に書いたメモをもとに講義ノートを完成させる。
復習時間：60分
植物の作用により周辺の環境が変化する。その例として、温度低下、二酸化炭素吸収・同化、無機窒素吸収・同化について、その仕組みとともに説明する。

第4回　植物と環境（2）（秋田）（授業形式：講義）

予習内容：参考図書等を手がかりに、窒素と硫黄の代謝経路、植物の異物代謝および土壌微生物に対する植物の影響を調べる。「窒素同化」、「硫黄同化」、「ファイトレメディエーション」、「根圏効果」をキーワードとして予習する。
予習時間：90分
復習内容：予習した内容、ユニパに掲載したパワーポイント（講義中の資料）と授業中に書いたメモをもとに講義ノートを完成させる。
復習時間：60分
植物の作用により環境を浄化できる。その例として、大気中の窒素・硫黄酸化物（NOX・SOX）浄化、土壌中の有機汚染物質や重金属汚染物質の浄化について、その仕組みとともに説明する。

第5回　地球環境と微生物・植物（阿野・秋田）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：参考図書を活用しながら、講義中の資料、ユニパに掲載したパワーポイント、授業中に書いたメモをもとに、これまでの4回の講義内容を整理する。
予習時間：90分
復習内容：提示された復習問題に対する各自の答えを完成させる。
復習時間：90分
地球環境の成立過程と地球環境問題の内容、解決策と技術の理解を深める。その後、植物と環境とのかかわりに関する問題に答える。

第6回　環境とヒトの感覚の進化　（宮本）（授業形式：講義）

予習内容：予習内容：ヒトの感覚について調べておく。
予習時間：30分
復習内容：復習内容：感覚情報が成立する意味について理解する。
復習時間：60分

第7回　動物とヒトの環境に対する適応（宮本）（授業形式：講義）

予習内容：動物の多様性について調べておく。
予習時間：30分
復習内容：ヒトを含めた動物の形態進化の意味を理解する。
復習時間：60分

第8回　野生動物の保護と環境の保全～Y染色体をもたない世にも奇妙なトゲネズミ～（三谷）（授業形式：講義）

予習内容：野生動物が絶滅に向かう要因について調べておく。
予習時間：30分
復習内容：動物園が動物を維持する上で、現状の課題と今後取り組むべき方策について考察する。
復習時間：60分

第9回　環境(光）と遺伝子～時計遺伝子～（松本）（授業形式：講義）

予習内容：2017年ノーベル生理学・医学賞の受賞内容「体内の概日リズムを制御する分子メカニズム」について、ノーベル財団のHPを参照に予め調べる。
予習時間：30分
復習内容：多くの生命現象には、24日時間周期の日周リズム（概日リズム）が存在していることを理解し、その分子メカニズムについても考察する。
復習時間：60分

第10回　生物環境の変化と新興感染症（中西）（授業形式：講義）

予習内容：新興感染症について調べておく。
予習時間：30分
復習内容：環境破壊・地球温暖化と新興感染症の拡大について考察する。
復習時間：60分

第11回　メタゲノム解析「環境微生物とヒト常在菌」（東）（授業形式：講義）

予習内容：メタゲノム解析について調べておく。
予習時間：30分
復習内容：メタゲノム解析の応用についてまとめる。
復習時間：30分

第12回　生物多様性と利権「カルタヘナ議定書と名古屋議定書」（東）（授業形式：講義）

予習内容：カルタヘナ議定書と名古屋議定書について調べておく。
予習時間：30分
復習内容：生物多様性と利権について自分の考えをまとめる。
復習時間：30分

第13回　 食料生産と栄養問題（岸田）（授業形式：講義）

予習内容：日本における栄養問題、世界における栄養問題について、図書館やインターネット等を用いて調べる。
予習時間：60分
復習内容：授業で学んだ様々な栄養問題に関して、それらの背景には何があるのかを復習する。
復習時間：60分
栄養障害の二重負荷とは何か？　その要因や特徴について学ぶ。

第14回　ヒトにも地球にも持続可能なダイエットを考える（岸田）（授業形式：講義）

予習内容：ダイエットに有効とされている食事内容について調べる。
予習時間：60分
復習内容：エネルギー収支という観点からダイエット、そして食料生産効率について理解できているか復習する。
復習時間：60分
低糖質ダイエットについて理解し、低糖質食を供給するための食料生産とその生産効率から地球環境への影響を考察する。

第15回　記述式小テスト（東・岸田）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：安全な農薬として社会が受け入れるには、どのような性質が必要かを考える。
予習時間：120分
復習内容：小テストの内容を復習する。
復習時間：60分
第11回から第14回までの講義内容の理解度を小テストによって確認し，解説を行う。

■ホームページ

生物理工学部遺伝子工学科遺伝子発現制御学研究室　https://www.kindai.ac.jp/bost/research-and-education/teachers/introduce/mitani-tasuku-e65.html

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 ：	**生物と地球環境**						
英文名 ：	Organisms and Global Environment						
担当者 ：	星　岳彦・三谷　匡・芦田　久・坂本　勝・栗原　新・中西　章・ 宮本　裕史・松本　和也						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	基礎科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】水曜3限						

■授業概要

生物集団は、気候、日照・温度、水環境、土壌環境などの多くの環境から強い影響を受けながらそれらに適応し、大きな多様性を生み出している。本講義では、生物の存在・形成・発達に対して多様な環境要因がどのような影響を及ぼすのかについて、生物の示す進化と多様性の視点を軸に解説し、人間が地球環境を保全し健康で幸福な生活を送るためになすべきことを科学技術の観点から考察する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講生は、地球規模での環境の変化と、それに適応し進化してきた生物との関連性を、生物学的観点から理解できるようになることを目標とする。この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的1の達成に関与する。

■成績評価方法および基準

星・坂本　時間内に実施する記述式小テストで評価(実際の配分率、33.3%) 35%
宮本　小テスト(実際の配分率、6.7%) 5%
三谷　課題レポート(実際の配分率、13.3%) 15%
松本　ルーブリック(50%)と課題レポート(50%)で評価(実際の配分率、6.7%) 5%
中西　課題レポート(実際の配分率、6.7%) 5%
芦田・栗原　時間内に実施する記述式小テストで評価(実際の配分率、33.3%) 35%

■試験・課題に対するフィードバック方法

複数教員で開講する科目のため、小テスト、期間内テスト、レポート課題に関する解説・解答等は、講義ごとに担当の研究室で、訪問またはメールによる問い合わせによって対応します。

■教科書

プリント・資料の配布など、各授業時間の中で必要に応じて対処するので、特定の教科書は使用しない。

■参考文献

各授業時間の中で必要に応じて参考文献をタイムリーに紹介する。

■関連科目

特になし。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して実施する。

■研究室・メールアドレス

星研究室(西1号館4階459)・hoshi@waka.kindai.ac.jp

坂本研究室(西1号館4階452)・sakamoto@waka.kindai.ac.jp
松本研究室(西1号館6階658)・kazum@waka.kindai.ac.jp
三谷研究室(東1号館5階521)・mitani@waka.kindai.ac.jp
宮本(裕)研究室(西1号館4階457)・miyamoto@waka.kindai.ac.jp
中西研究室(西1号館6階652)・nakanishi@waka.kindai.ac.jp
芦田研究室(東1号館5階515)・ashida@waka.kindai.ac.jp
栗原研究室(東1号館5階513)・skurihara@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

複数教員のため、UNIVERSAL PASSPORT（https://waka-unipa.itp.kindai.ac.jp/）のオフィスアワーを参照すること。代表教員(星)のオフィスアワーは木曜・２限です。
（事前にメールで予約してください。）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　食糧生産と環境(緑の革命とその崩壊)(星)（授業形式：講義）

予習内容：1960年代から1970年代にかけての世界の食糧増産に貢献した主要技術は何か調べておく。
予習時間：30分
復習内容：持続的農業の実践的技術にはどのようなものがあるのか事例を調べてまとめる。
復習時間：60分

第2回　食糧生産と環境(炭素と水の環境アセスメント)(星)（授業形式：講義）

予習内容：食糧生産に関係する環境アセスメント技術にはどのようなものがあるか調べておく。
予習時間：30分
復習内容：LCA、CFP、VWの食糧生産に関連する実施事例を調べ、その課題と今後の発展方向をまとめる。
復習時間：60分

第3回　植物に感染する微生物（坂本）（授業形式：講義）

予習内容：微生物によって引き起こされる植物の病害と、その病原について調べておく。
予習時間：30分
復習内容：植物に感染する微生物について、それぞれの感染の仕組みをまとめておく。
復習時間：60分

第4回　植物に感染する微生物の進化（坂本）（授業形式：講義）

予習内容：植物病原菌に対して抵抗性を示す植物について調べておく。
予習時間：30分
復習内容：植物の抵抗性遺伝子と病原菌の非病原性遺伝子の進化についてまとめておく。
復習時間：60分

第5回　第1回から第4回までの講義に関する小テスト（坂本）（授業形式：講義）

予習内容：小テストに向けて学修内容の整理をしておく。
予習時間：120分
復習内容：テストでできなかったところを再考しておく。
復習時間：30分

第6回　動物とヒトの環境に対する適応(宮本)（授業形式：講義）

予習内容：動物の多様性について調べておく。
予習時間：30分
復習内容：ヒトを含めた動物の形態進化の意味を理解する。
復習時間：60分

第7回　不妊治療の現在地(三谷)（授業形式：講義）

予習内容：不妊症の主な要因と日本における晩産化の背景について調べておく。
予習時間：30分
復習内容：不妊症が増加した生物学的社会的背景を理解し、個人のライフプランにどう活かすべきか考える。
復習時間：60分

第8回　野生動物の保護と環境の保全(三谷)（授業形式：講義）
～Y染色体をもたない世にも奇妙なトゲネズミ～

予習内容：野生動物が絶滅に向かう要因について調べておく。
予習時間：30分
復習内容：動物園が動物を維持する上で、現状の課題と今後取組べき方策について考察する。
復習時間：60分

第9回　環境(光）と遺伝子～時計遺伝子～(松本)（授業形式：講義）

予習内容：2017年ノーベル生理学・医学賞の受賞内容「体内の概日リズムを制御する分子メカニズム」について、ノーベル財団のHPを参照に予め調べる。
予習時間：30分
復習内容：多くの生命現象には、24日時間周期の日周リズム（概日リズム）が存在していることを理解し、その分子メカニズムについても考察する。
復習時間：60分

第10回　生物環境の変化と新興感染症(中西)（授業形式：講義）

予習内容：新興感染症について調べておく。
予習時間：30分
復習内容：環境破壊・地球温暖化と新興感染症の拡大について考察する。
復習時間：60分

第11回　生物多様性と種分化のしくみ（芦田）（授業形式：講義）

予習内容：生物の「種」とは何か。自分の考えをまとめておく。
予習時間：30分
復習内容：種分化のモデルについてまとめる。
復習時間：60分

第12回　絶滅の危機に瀕している野生生物（芦田）（授業形式：講義）

予習内容：野生生物が減少する要因を5個以上考える
予習時間：30分
復習内容：野生生物の保全に関して重要なポイントをまとめる。
復習時間：60分

第13回　腸内細菌と腸内環境（栗原）（授業形式：講義）

予習内容：「腸内細菌」をキーワードにしてweb上で「ニュース検索」を行い、検索された記事を3個読んでおく。
予習時間：30分
復習内容：ユニパ上にアップされた授業資料を熟読し、自分の腸内環境について考察を行う。
復習時間：60分
腸内細菌が形作る腸内環境について最新の知見を交えて基礎から講義を行う。

第14回　ヒト健康と腸内環境（栗原）（授業形式：講義）

予習内容：「腸内環境　健康」をキーワードにしてweb上で「ニュース検索」を行い、検索された記事を3個読んでおく。
予習時間：30分
復習内容：ユニパ上にアップされた授業資料を熟読し、難治性疾患の腸内細菌制御による治療法についてアイデアを出す。
復習時間：60分
ヒト健康に重要な役割を果たす腸内環境について最新の知見を交えて基礎から講義を行う。

第15回　第11回から第14回までの講義に関する小テスト（芦田・栗原）（授業形式：講義）

予習内容：小テストに向けて学修内容の整理をしておく。
予習時間：120分
復習内容：テストで解答できなかった問題と解説を参考にし、再考する。
復習時間：30分

■ホームページ

生物理工学部遺伝子工学科遺伝子発現制御学研究室　https://www.kindai.ac.jp/bost/research-and-education/teachers/introduce/mitani-tasuku-e65.html

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 ：	**代数学概論 I**						
英文名 ：	Introduction to Algebra 1						
担当者 ：	山崎　宏						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	基礎科目						
備　考 ：	教職課程履修者は教職課程履修要項を参照してください。						

■授業概要

近代数学の多くの分野において、代数的考え方や手法が多く用いられている。小、中、高で学んだ整数の諸問題を再度考察するために、数論的な議論により、整数全体が持っている基本的性質や剰余の構成について解説する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

ユークリッドの互除法や合同式を用いて、整数の性質、約数、倍数を深く知り、代数学の基本的な考え方や方法を修得する。

■成績評価方法および基準

定期試験 70%
問題演習・課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

課題の解答例を配布または解説します。

■教科書

[ISBN]9784627035195 『初等代数学 POD版 (新数学入門シリーズ1)』 (硲 文夫, 森北出版：2011)
必要に応じてプリントを配布します。

■参考文献

[ISBN]9784621306611 『はじめての数論　原著第4版』 (鈴木治郎, 丸善出版：2022)

■関連科目

代数学概論Ⅱ

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

２号館２階　講師控室　　h-yamasaki@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ガイダンス:講義概要,達成目標及び受講心得　「整数」研究の概要 (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に読む。
予習時間：60分

復習内容：講義内で解説した例題を解き直し、演習問題を解く。
復習時間：60分
この授業で扱う代数学の講義内容についての概要を説明する。

第2回　合同式 (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に読む。
予習時間：60分
復習内容：講義内で解説した例題を解き直し、演習問題を解く。
復習時間：60分
合同の概念および定義と記号を説明する。

第3回　最大公約数 (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に読む。
予習時間：60分
復習内容：講義内で解説した例題を解き直し、演習問題を解く。
復習時間：60分
約数および公約数の概念の確認をする。

第4回　ユークリッドの互除法Ⅰ(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に読む。
予習時間：60分
復習内容：講義内で解説した例題を解き直し、演習問題を解く。
復習時間：60分
ユークリッドの互除法の解説する。

第5回　ユークリッドの互除法Ⅱ(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に読む。
予習時間：60分
復習内容：講義内で解説した例題を解き直し、演習問題を解く。
復習時間：60分
ユークリッドの互除法を用いて最大公約数を求める。

第6回　有限環 (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に読む。
予習時間：60分
復習内容：講義内で解説した例題を解き直し、演習問題を解く。
復習時間：60分
有限環の概念とその性質を調べる。

第7回　一次不定方程式 (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に読む。
予習時間：60分
復習内容：講義内で解説した例題を解き直し、演習問題を解く。
復習時間：60分
ユークリッドの互除法を用いて不定方程式を解く。

第8回　一次合同式Ⅰ(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に読む。
予習時間：60分
復習内容：講義内で解説した例題を解き直し、演習問題を解く。
復習時間：60分
一次合同式の定義の説明をする。

第9回　一次合同式Ⅱ(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に読む。
予習時間：60分
復習内容：講義内で解説した例題を解き直し、演習問題を解く。
復習時間：60分
一次合同式で一次不定方程式を解法する。

第10回　素数 (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に読む。
予習時間：60分

復習内容：講義内で解説した例題を解き直し、演習問題を解く。
復習時間：60分
素数の無限個存在定理を証明する。

第11回　素因数分解と算術の基本定理 (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に読む。
予習時間：60分
復習内容：講義内で解説した例題を解き直し、演習問題を解く。
復習時間：60分
素因数分解の一意性を証明する。

第12回　フェルマーの小定理 (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に読む。
予習時間：60分
復習内容：講義内で解説した例題を解き直し、演習問題を解く。
復習時間：60分
フェルマーの小定理を理解する。

第13回　オイラーのφ関数 (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に読む。
予習時間：60分
復習内容：講義内で解説した例題を解き直し、演習問題を解く。
復習時間：60分
オイラーのφ関数を理解する。

第14回　中国剰余定理 (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に読む。
予習時間：60分
復習内容：講義内で解説した例題を解き直し、演習問題を解く。
復習時間：60分
中国剰余定理を理解する。

第15回　総復習 (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：これまで学んだ講義内容を確認する。
予習時間：60分
復習内容：講義内で解説した例題を解き直し、演習問題を解く。
復習時間：60分
これまで学んだ事項を復習する。

定期試験

記述式の筆記試験を行います。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**代数学概論Ⅱ**						
英文名　：	Introduction to Algebra 2						
担当者　：	山崎　宏						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	基礎科目						
備　考　：	教職課程履修者は教職課程履修要項を参照してください。						

■授業概要

整数論は数学の中でも歴史の最も古い分野の一つである。代数学概論Ⅰに続いて、整数論の中心的な対象の一つである「多項式」を学ぶことによって、高校までに習った数の体系を整理し、また、群、環，体などの抽象的概念の例に触れることによって、数の様々な性質についての認識を深めていく。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「有限体」や「イデアル」の概念についての認識を深める。

■成績評価方法および基準

定期試験 70%
問題演習・課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

課題の解答例を配布または解説します。

■教科書

[ISBN]9784627035195 『初等代数学 POD版 (新数学入門シリーズ1)』 (硲 文夫, 森北出版：2011)
必要に応じてプリントを配布します。

■参考文献

[ISBN]9784621306611 『はじめての数論　原著第4版』 (鈴木治郎, 丸善出版：2022)

■関連科目

代数学概論Ⅰ

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

２号館２階　講師控室　　h-yamasaki@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　多項式Ⅰ(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に読む。

予習時間：60分
復習内容：講義内で解説した例題を解き直し、演習問題を解く。
復習時間：60分
有限体係数のn次多項式の基本的な性質を調べる。

第2回　多項式Ⅱ(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に読む。
予習時間：60分
復習内容：講義内で解説した例題を解き直し、演習問題を解く。
復習時間：60分
有限体係数の多項式の演算を行う。

第3回　方程式Ⅰ(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に読む。
予習時間：60分
復習内容：講義内で解説した例題を解き直し、演習問題を解く。
復習時間：60分
有限体係数のn次方程式について調べる。

第4回　方程式Ⅱ(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に読む。
予習時間：60分
復習内容：講義内で解説した例題を解き直し、演習問題を解く。
復習時間：60分
有限体係数の方程式の根を求める。

第5回　原始根 (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に読む。
予習時間：60分
復習内容：講義内で解説した例題を解き直し、演習問題を解く。
復習時間：60分
原始根の定義及び位数について理解する。

第6回　指数 (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に読む。
予習時間：60分
復習内容：講義内で解説した例題を解き直し、演習問題を解く。
復習時間：60分
指数の解説及びそれを用いて方程式を解く。

第7回　二項方程式 (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に読む。
予習時間：60分
復習内容：講義内で解説した例題を解き直し、演習問題を解く。
復習時間：60分
有限体係数の二項方程式の根の存在について調べる。

第8回　有限体Ⅰ(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に読む。
予習時間：60分
復習内容：講義内で解説した例題を解き直し、演習問題を解く。
復習時間：60分
Pが奇素数の場合のFp-係数二次方程式を解く。

第9回　有限体Ⅱ(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に読む。
予習時間：60分
復習内容：講義内で解説した例題を解き直し、演習問題を解く。
復習時間：60分
２次拡大の構成法を理解する。

第10回　フィボナッチ数列 (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に読む。

予習時間：60分
復習内容：講義内で解説した例題を解き直し、演習問題を解く。
復習時間：60分
有限体の性質を用いてフィボナッチ数列を解説する。

第11回　イデアル (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に読む。
予習時間：60分
復習内容：講義内で解説した例題を解き直し、演習問題を解く。
復習時間：60分
整数全体をなす環Zにおけるイデアルの概念を説明する。

第12回　一変数多項式環のイデアル (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に読む。
予習時間：60分
復習内容：講義内で解説した例題を解き直し、演習問題を解く。
復習時間：60分
Ｚと並び基本的な環である一変数多項式環のイデアルについて考える。

第13回　環のイデアルと剰余環 (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に読む。
予習時間：60分
復習内容：講義内で解説した例題を解き直し、演習問題を解く。
復習時間：60分
環のイデアルによる剰余類の全体が剰余環となるのを学ぶ。

第14回　剰余体 (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に読む。
予習時間：60分
復習内容：講義内で解説した例題を解き直し、演習問題を解く。
復習時間：60分
剰余体について理解する。

第15回　総復習 (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：これまで学んだ講義内容を確認する。
予習時間：60分
復習内容：講義内で解説した例題を解き直し、演習問題を解く。
復習時間：60分
これまで学んだ事項を復習する。

定期試験

記述式試験を行います。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**知的財産権**						
英文名　：	Intellectual Property						
担当者　：	尾﨑　嘉彦						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	3年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	基礎科目						
備　考　：							

■授業概要

激化する国際競争の中で、我が国は「知的財産立国」を国家戦略として掲げています。これは科学技術により創造した「知」を知的財産権として保護、活用することにより経済、社会を活性化すると共に世界をリードしようとする考え方に基づいています。本講では生物科学系の学生を対象に、将来、産業界の一員として、知的財産立国を支えていく上で必要となる知的財産権に関する法律、制度、出願事務と運用等の基礎的な知識を修得し、知的財産特有の思考法・判断力を涵養すること、さらに遺伝子やタンパク質あるいは栽培作物の品種や医薬品等の生物科学系産業技術の分野に特有の知的財産権の問題について理解を深めることを目的に、学部基礎科目として開講しています。知的財産権の中でも、特に特許について、実例を示しながら出願から登録までの流れ、権利の運用等についても学びます。さらに、育成者権など特許以外の知的財産権を概観し、生物系産業における知的財産権の現状について理解を深めます。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者はこの授業を履修することにより、生物科学系産業技術の分野に特有の知的財産権の諸問題について理解を深めるとともに、知的財産関連の制度、法律、出願事務等の基礎的な知識を習得し、知的財産権を活用する基礎的な能力と知的財産権を尊重する遵法精神を身につけます。この科目は学部ディプロマポリシーの3　技能・表現（DP3）に関連します。

■成績評価方法および基準

定期試験 60%
講義内での小テスト（2回） 40%

■試験・課題に対するフィードバック方法

小テストの要点は講義時間内に逐次解説を行います。
定期試験終了後に「試験の要点と解説」をクラスルームに掲載します。

■教科書

[ISBN]9784827112948 『産業財産権標準テキスト総合編第5版』 (発明推進協会：2019)
その他予習復習用の資料として、講義スライドのハンドアウトを配付します。

■参考文献

[ISBN]9784798044514 『技術者・研究者のための特許の知識と実務 第2版』 (高橋 政治, 秀和システム：2015)
[ISBN]9784061531529 『できる技術者・研究者のための特許入門 元特許庁審査官の実践講座 (KS科学一般書)』 (渕 真悟, 講談社：2014)

■関連科目

現代社会と法、科学技術と人間・社会

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

尾﨑研究室(西1号館1階153)・ozaki@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜・3限（その他随時、Slack又はメールでアポイントメントをお願いします）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回の講義の冒頭で、講義の進め方の説明、学修方法のアドバイス等を行いますので、単位取得希望者は必ず第1回の講義に出席して下さい。

第1回　知的財産権の概観（授業形式: 講義）

予習内容：教科書p1-36に目を通し、疑問点等を事前に抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：知的財産の概念と権利として保護することの意義、例示された6種類の知的財産権について保護される対象や期間、根拠となる法律などについて整理しておくこと。
復習時間：60分

第2回　発明と特許（授業形式: 講義）

予習内容：教科書p41-46に目を通し、疑問点等を事前に抜き出しておくこと。
予習時間：90分
復習内容：配付資料及び講義ノートを参照し、特許制度成立の背景とその理念および
現在の我が国の特許制度における「特許法上の発明」について整理すること。
復習時間：120分

第3回　特許になるための条件（授業形式: 講義）

予習内容：教科書p65-71に目を通し、疑問点等を事前に抜き出しておくこと。
予習時間：90分
復習内容：配付資料及び講義ノートを参照し、特許における「新規性」および「進歩性」の概念について理解を深め、自らの言葉で説明できるよう整理しておくこと。
復習時間：90分

第4回　特許情報の形態と意義（授業形式: 講義）

予習内容：教科書47-64に目を通し、疑問点等を事前に抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：公開特許公報にどのような項目があり、それぞれにどのような内容が記載されているのか、配付資料を参照し確認する。
復習時間：60分

第5回　特許情報の調査の手法（特許情報プラットフォーム『J-PlatPat』の検索方法）（授業形式: 講義）

予習内容：J-plat-patに接続し、メニュー構成などをあらかじめ確認しておくこと。
予習時間：30分
復習内容：実際に自らJ-plat-patを操作し、講義時間内に与えられたテーマに沿って特許情報の検索を行うこと。
復習時間：120分

第6回　特許の出願から登録まで(１)　開発内容を特許化する場合の留意点（授業形式: 講義）

予習内容：教科書p72-81に目を通し、疑問点等を事前に抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：配付資料及び講義ノートを参照し、特許出願前の準備として行われることがらを整理しておくこと。
復習時間：60分

第7回　特許の出願から登録まで(２)　特許出願事務の実際（授業形式: 講義）

予習内容：教科書p84-92に目を通し、疑問点等を事前に抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：配付資料及び講義ノートを参照し、特許の出願から登録に至る事務手続きの流れを整理しておくこと。
復習時間：60分

第8回　特許の出願から登録まで(３)　特許の審査と登録（授業形式: 講義）

予習内容：事前に配付する実際の特許出願例における拒絶理由通知書に目を通しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：講義で紹介した実体審査の事例について、拒絶理由通知書での指摘内容と先行特許の内容を対比し整理しておくこと。
復習時間：120分

第9回　特許の出願から登録まで(４)　特許の出願人と発明者（授業形式: 講義）

予習内容：教科書p82-83に目を通し、疑問点等を事前に抜き出しておくこと。
予習時間：30分
復習内容：配付資料及び講義ノートを参照し、職務発明制度および国内優先権制度について概要を整理しておくこと。
復習時間：90分

第10回　知的財産権に関する国際的枠組み（授業形式: 講義）

予習内容：教科書p94-97に目を通し、疑問点等を事前に抜き出しておくこと。
予習時間：90分
復習内容：配付資料及び講義ノートを参照し、パリ条約の理念と同盟国で適用される原則および国際出願におけるパリルートとPCTの相違点について整理しておくこと。
復習時間：90分

第11回　特許の効力と侵害への対応（授業形式: 講義）

予習内容：教科書p45-46, 172-175に目を通し、疑問点等を事前に抜き出しておくこと。
予習時間：30分
復習内容：配付資料及び講義ノートを参照し、取り上げた事例について特許法69条に規定される「試験又は研究のためにする特許発明の実施」にあたるかどうかの考え方を整理しておくこと。
復習時間：90分

第12回　技術移転と知的財産戦略（授業形式: 講義）

予習内容：教科書p158-171に目を通し、疑問点等を事前に抜き出しておくこと。
予習時間：30分
復習内容：配付資料及び講義ノートを参照し、取り上げた事例について、知的財産の活用の類型ごとに整理しておくこと。
復習時間：90分

第13回　特許以外の知的財産権(１)　商標権（授業形式: 講義）

予習内容：教科書p127-157に目を通し、疑問点等を事前に抜き出しておくこと。
予習時間：30分
復習内容：配付資料及び講義ノートを参照し、商標権のあらましおよび、地域団体商標制度と地理的表示保護制度の相違点について整理しておくこと。
復習時間：90分

第14回　特許以外の知的財産権(２)　育成者権（授業形式: 講義）

予習内容：教科書p186-192に目を通し、、疑問点等を事前に抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：配付資料及び講義ノートを参照し、育成者権制度のあらまし、および育成者権と商標権を組み合わせた最近の農産物のブランド戦略について、整理しておくこと。
復習時間：120分

第15回　知的財産権をめぐる国内外の動き（授業形式: 講義）

予習内容：これまでの配付資料及び講義ノート、教科書を熟読し、疑問点などを抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：講義で取り上げたトピックスについて、再度の配付資料及び講義ノートを見直し、問題点の整理を行うこと。
復習時間：120分

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 ：	**地学概論 I**						
英文名 ：	Essentials of Geoscience I						
担当者 ：	佐藤　昇						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	基礎科目						
備　考 ：	教職課程履修者は教職課程履修要項を参照してください。						

■授業概要

地学は、宇宙から足下の大地、そしてそこに生きる生物まで、137億年の時間と空間の中での、物質の生成と運動、進化を解き明かし、理解しようとする学問です。「地学概論Ｉ」では、宇宙・天体、気象・海洋について学びます。観測技術の発展などにより、太陽系の姿や宇宙の起源と構造について、宇宙のイメージがより具体的なものになってきました。現在明らかになりつつある宇宙の姿について考えます。気象・海洋は自然災害など私たちにもっとも身近な自然環境です。地球環境の変化に関する科学的な理解を深め、人と地球環境のあり方を考えます。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

１）宇宙・天体、気象・海洋について、基礎基本となる幅広い新しい知識を学び、市民レベルの「近未来の地球環境」を考える基礎となる「現代の自然観」を身につける。
２）中学校・高等学校での地学分野の教科内容の授業実践に役立つ知識と経験を身につける。

この科目の修得は、生物理工学部のディプロマポリシー1の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 60%
レポート（個々の授業のまとめ等） 40%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点をUNIVERSAL PASSPORTで解説します。

■教科書

適宜プリントを配布する。

■参考文献

[ISBN]9784535607514 『人類の住む宇宙 第2版 (シリーズ現代の天文学 第1巻)』 (日本評論社：2017)
[ISBN]9784416211328 『基礎からわかる天文学』 (誠文堂新光社：2011)
[ISBN]9784766426625 『はじめて学ぶ大学教養地学』 (杉本 憲彦, 慶應義塾大学出版会：2020)
[ISBN]9784072699430 『宇宙のしくみ―宇宙開発年表&太陽系惑星データつき (主婦の友ベストBOOKS)』 (高柳 雄一, 主婦の友社：2010)
[ISBN]9784005006267 『人類が生まれるための12の偶然 (岩波ジュニア新書 626)』 (眞 淳平, 岩波書店：2009)
[ISBN]9784254161144 『基礎気象学』 (浅井 冨雄, 朝倉書店：2000)
[ISBN]9784062577212 『図解・気象学入門―原理からわかる雲・雨・気温・風・天気図 (ブルーバックス)』 (古川 武彦, 講談社：2011)
[ISBN]9784908087035 『荒ぶる自然―日本列島天変地異録』 (高田 宏, 苦楽堂：2016)
[ISBN]9784487815203 『図説 人新世: 環境破壊と気候変動の人類史』 (ギスリ パルソン, 東京書籍：2021)

[ISBN]9784834340181 『ニューステージ新地学図表: 地学基礎+地学対応』 (浜島書店, 浜島書店 : 2022)

■関連科目

特になし。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）n-satoh@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とする。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　天体の位置と運動（授業形式：講義）

予習内容：参考文献等を参照し「天体の位置の表し方」について予習する
予習時間：60分
復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる
復習時間：120分
①天球
②日周運動
③公転運動と星座

第2回　太陽の内部構造と活動（授業形式：講義）

予習内容：参考文献等を参照し「太陽の組成と構造」について予習する
予習時間：60分
復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる
復習時間：120分
①太陽系の構成とその特徴
②太陽の内部構造
③太陽の活動と地球への影響

第3回　太陽系の惑星と運動（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：参考文献等を参照し「太陽系を構成する惑星」について予習する
予習時間：60分
復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる
復習時間：120分
①太陽系の惑星
②惑星の視運動
③ケプラーの法則

第4回　恒星の性質（授業形式：講義）

予習内容：参考文献等を参照し「恒星までの距離とその明るさ」について予習する
予習時間：60分
復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる
復習時間：120分
①恒星までの距離
②恒星の明るさ（絶対等級）
③恒星の光の色とスペクトル

第5回　恒星の進化（授業形式：講義）

予習内容：参考文献等を参照し「恒星の誕生とその一生」について予習する
予習時間：60分
復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる
復習時間：120分
①恒星の種類（HR図）
②恒星の誕生
③恒星の一生

第6回　銀河系と宇宙の構造（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：参考文献等を参照し「宇宙の広がりと銀河の分布」について予習する

予習時間：60分
復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる
復習時間：120分
①私たちの銀河系
②宇宙の大規模構造
③宇宙の膨張
④宇宙の始まりと未来

第7回　地球大気の形成とその鉛直構造（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：参考文献等を参照し「地球大気の進化と鉛直構造」について予習する
予習時間：60分
復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる
復習時間：120分
①地球大気の進化の概略
②大気圧
③地球大気の鉛直方向の構造

第8回　大気の熱収支と大気の大循環（授業形式：講義）

予習内容：参考文献等を参照し「地球の熱収支」について予習する
予習時間：60分
復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる
復習時間：120分
①太陽放射
②地球の熱収支
③大気の大循環

第9回　雲と降水（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：参考文献等を参照し「雲と雨のでき方」について予習する
予習時間：60分
復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる
復習時間：120分
①大気中の水蒸気
②雲のでき方（乾燥断熱と湿潤断熱）
③雲の種類
④雨のでき方（氷晶雨と暖かい雨）

第10回　天気の変化（授業形式：講義）

予習内容：参考文献等を参照し「偏西風と温帯低気圧の構造」について予習する
予習時間：60分
復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる
復習時間：120分
①コリオリの力
②風の吹き方
③偏西風
④温帯低気圧と移動性高気圧

第11回　四季の天気と気象災害（授業形式：講義）

予習内容：参考文献等を参照し「日本の四季の天気の特徴」について予習する
予習時間：60分
復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる
復習時間：120分
①気団
②大気の安定度
③日本の四季の天気の特徴と気象災害

第12回　気象観測と天気予報（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：参考文献等を参照し「気象観測と天気予報」について予習する
予習時間：60分
復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる
復習時間：120分
①気象観測
②天気図（地上・高層）

③天気予報（数値予報）

第13回　海洋の構造と運動（授業形式：講義）

予習内容：参考文献等を参照し「海洋の鉛直構造と大循環」について予習する
予習時間：60分
復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる
復習時間：120分
①海水の性質
②海流（風成海流）
③深層流（熱塩循環）
④海の波

第14回　大気と海洋の相互作用（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：参考文献等を参照し「台風とエルニーニョ」について予習する
予習時間：60分
復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる
復習時間：120分
①台風の特徴
②台風による災害
③エルニーニョ／ラニーニャ

第15回　大気環境の変動（授業形式：講義）

予習内容：参考文献等を参照し「オゾン層の破壊と地球温暖化」について予習する
予習時間：60分
復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる
復習時間：120分
①オゾン層の破壊
②地球温暖化
③大気環境の変動の実際
④ヒートアイランド

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**地学概論Ⅱ**						
英文名 ：	Essentials of Geoscience II						
担当者 ：	佐藤　昇						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	基礎科目						
備　考 ：	教職課程履修者は教職課程履修要項を参照してください。						

■授業概要

地学は、宇宙から足下の大地、そしてそこに生きている生物まで、137億年の時間と空間の中での、物質の生成と運動、進化を解き明かし、理解しようとする学問です。「地学概論Ⅱ」では固体地球について、現在起きている身近な事象から、過去の地球変動の歴史へと認識を広げながら学び、生物との相互作用を含む地球の46億年の物語を読み解きます。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

１）地球をつくる物質とその変動の歴史について、基礎基本となる幅広い新しい知識を学び、市民レベルの「近未来の地球環境」を考えるための基礎となる「現代の自然観」を身に付ける。
２）中学校・高等学校での地学分野の教科内容の授業実践に役立つ知識と経験を身に付ける。

この科目の修得は、生物理工学部のディプロマポリシー1の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 60%
レポート（個々の授業のまとめ等） 40%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点をUNIVERSAL PASSPORTで解説します。

■教科書

適宜資料を提示します。

■参考文献

[ISBN]9784759813241 『地球環境46億年の大変動史(DOJIN選書 24)』 (田近 英一, 化学同人：2009)
[ISBN]9784798024356 『図解入門最新地球史がよくわかる本[第2版] (How-nual Visual Guide Book)』 (川上 紳一, 秀和システム：2009)
[ISBN]9784486020998 『地球学入門　第2版　―惑星地球と大気・海洋のシステム』 (酒井 治孝, 東海大学出版部：2016)
[ISBN]9784254160567 『基礎地球科学』 (西村 祐二郎, 朝倉書店：2010)
[ISBN]9784405106543 『カラー版徹底図解 地球のしくみ』 (新星出版社：2006)
[ISBN]9784062578349 『図解・プレートテクトニクス入門 (ブルーバックス)』 (木村 学, 講談社：2013)
[ISBN]9784000062466 『地球全史――写真が語る46億年の奇跡』 (岩波書店：2012)
[ISBN]9784622077497 『気候変動を理学する―― 古気候学が変える地球環境観』 (多田 隆治, みすず書房：2013)
[ISBN]9784398200549 『なるほど知図帳 日本の自然災害 (地図帳 マップル)』 (昭文社：2014)
[ISBN]9784834340181 『ニューステージ新地学図表: 地学基礎+地学対応』 (浜島書店, 浜島書店：2022)

■関連科目

特になし。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）n-satoh@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とする。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　近畿地方の地形と地質（授業形式：講義）

予習内容：参考文献等を参照し「地表の変化」について予習する
予習時間：60分
復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる
復習時間：120分
①地表の変化の仕方
②近畿地方の地形と地質の特徴
③近畿の新しい地殻変動

第2回　地球の形と大きさ（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：参考文献等を参照し「地球の大きさと形」について予習する
予習時間：60分
復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる
復習時間：120分
①地球の大きさ
②地球の形
③アイソスタシー
④陸と海

第3回　地球の内部構造（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：参考文献等を参照し「地球内部の構造とその構成物質」について予習する
予習時間：60分
復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる
復習時間：120分
①地球の内部構造
②地球内部の構成物質
③地球内部の物性

第4回　プレートテクトニクス1（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：参考文献等を参照し「プレートの境界とその運動」について予習する
予習時間：60分
復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる
復習時間：120分
①プレートとプレート境界
②プレートの運動
③ウェゲナーの大陸移動説

第5回　プレートテクトニクス2（授業形式：講義）

予習内容：参考文献等を参照し「プレートテクトニクスの確立」について予習する
予習時間：60分
復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる
復習時間：120分
①古地磁気学と大陸移動説の復活
②海底拡大
③ウィルソンサイクル
④プルームテクトニクス

第6回　岩石と鉱物（授業形式：講義）

予習内容：参考文献等を参照し「火成岩のでき方とその組織構造」について予習する
予習時間：60分
復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる

復習時間：120分
①火成岩の分類
②火成岩の組織
③造岩鉱物

第7回　マグマと火山（授業形式：講義）

予習内容：参考文献等を参照し「マグマのでき方と火山噴火」について予習する
予習時間：60分
復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる
復習時間：120分
①マグマのでき方
②火山の分類
③火山噴火と噴出物

第8回　火山噴火と火山災害（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：参考文献等を参照し「火山災害の事例」について予習する
予習時間：60分
復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる
復習時間：120分
①噴火災害の要因と噴火現象の分類
②火山災害の実例
③火山噴火の予測
④火山の恩恵

第9回　地震のしくみ（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：参考文献等を参照し「地震波の特徴とその記録」について予習する
予習時間：60分
復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる
復習時間：120分
①地震と断層
②震度とマグニチュード
③地震波の種類と性質
④地震記録の見方

第10回　地震災害（授業形式：講義）

予習内容：参考文献等を参照し「地震災害の事例」について予習する
予習時間：60分
復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる
復習時間：120分
①地震による災害
②兵庫県南部地震と東北地方太平洋沖地震
③今後予測される地震
④地震に備えて

第11回　地層の形成と地殻変動（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：参考文献等を参照し「堆積岩と変成岩の種類とでき方」について予習する
予習時間：60分
復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる
復習時間：120分
①風化作用による岩石の砕屑物
②堆積岩（続成作用）
③地層の重なりと構造
④変成岩（変成作用）

第12回　地層の年代を知る（授業形式：講義）

予習内容：参考文献等を参照し「地層の年代決定の仕方」について予習する
予習時間：60分
復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる
復習時間：120分
①相対年代と絶対年代
②化石（示準化石・示相化石）
③放射性同位体

④地質時代区分

第13回　地球の歴史と生物進化1（授業形式：講義）

予習内容：参考文献等を参照し「地球の歴史」について予習する
予習時間：60分
復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる
復習時間：120分
①地球の形成
②生命の誕生
③スノーボールアース
④顕生代の５大生物大量絶滅事件

第14回　地球の歴史と生物進化2（授業形式：講義）

予習内容：参考文献等を参照し「新生代第四紀の特徴と人類の進化」について予習する
予習時間：60分
復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる
復習時間：120分
①新生代第四紀
②酸素同位体温度計
③第四紀の気候変動
④人類の進化

第15回　日本列島の構造と形成史（授業形式：講義）

予習内容：参考文献等を参照し「日本列島の形成」について予習する
予習時間：60分
復習内容：配布したレジメをもとに授業内容をまとめる
復習時間：120分
①島弧としての日本列島の特徴
②付加体
③日本列島の地質と構造
④日本列島の形成史

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**地学実験**						
英文名 ：	Experiments in Geoscience						
担当者 ：	佐藤　昇						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	基礎科目						
備　考 ：	教職課程履修者は教職課程履修要項を参照してください。						

■授業概要

地学は、地球を含めた宇宙全体の自然を歴史的に認識し、現在、未来を知ろうとする学問です。具体的には、天文、大気・海洋、固体地球（地震・火山、地形・地質、岩石・鉱物、化石)などから構成されます。
天文分野では天体望遠鏡の組み立て、天体観測、天文ソフトによるシミュレーションなどを、気象分野では大気圧、雲の発生、天気図などを、地震分野では地震波データからの震源決定、液状化現象などを、地質・岩石分野では、鉱物や岩石の観察などを実習、実験します。

実験機器の準備の都合から受講者には定員があり、これを超えた場合には抽選を行う。教職課程履修者の受講を優先する。受講を希望する学生は、初回の講義に必ず出席すること。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

実験・実習科目

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

地学について、基礎理論を含め、観察、実習、実験を行うことによって、自然に対する総合的な見方や考え方を身につける。
１）特に、天文、気象、固体地球の各分野について、中学校・高等学校の教科書での実験観察の基本的な内容を重点的に学び、教科内容の授業実践力を身につける。
２）さらに、各分野の実験手法を学び、自らの観察実験に基づく研究へと発展させるような創造的な能力を培う。

この科目の修得は、生物理工学部のディプロマポリシー1の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

実験レポート 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

翌回以降の授業時間にレポートを返却します。

■教科書

適宜プリントを配布します。

■参考文献

特にありません。

■関連科目

地学概論Ⅰ、Ⅱ

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

物理、地学実験室(10号館109)　n-satoh@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　　地球の大きさと形（授業形式：実験・実習）

予習内容：地球の形と大きさについて調べておく。
予習時間：60分
復習内容：実験での作図法の留意点についてまとめる。
復習時間：30分
地球の大きさ、形がいかにして理解されてきたかを概観した後、下記の実習をする。
①あるデータをもとに、地球の大きさを計算する。
②地球は回転楕円体であるが、その本質を知るために仮想惑星を作図し、地球と比較する。

第2回　　天体の位置のあらわし方(特に赤道座標)、天体の見え方（授業形式：実験・実習）

予習内容：赤道座標、星図について調べておく。
予習時間：60分
復習内容：天体の南中高度、南中時刻の求め方をまとめる。
復習時間：30分
赤道座標などについて解説をした後、下記の実習をする。
①星図に、太陽の年周運動を記入する。
②星図を見て、天体の南中高度、南中時刻などを計算する。
③星図を見て、周極星、出没星、全没星 を区分する。　等

第3回　　惑星の運動(ケプラーの第一、第二、第三法則)（授業形式：実験・実習）

予習内容：ケプラーの法則について調べておく。
予習時間：60分
復習内容：実験での作図法の留意点についてまとめる。
復習時間：30分
真円の宇宙観を解き放ったケプラーの功績を概観した後、次の実習をする。
①火星の位置変化のデータをもとに火星の軌道の作図をし、ケプラーの第一、第二、第三法則が成立している事を確認する。

第4回　　天体望遠鏡の使い方(太陽、月、惑星の観測)　（授業形式：実験・実習）※天気の都合で日程が前後する

予習内容：天体望遠鏡の仕組みについて調べておく。
予習時間：60分
復習内容：天体望遠鏡、赤道儀の扱い方の留意点についてまとめる。
復習時間：30分
天体の観測例として、太陽の視半径を測定し、太陽半径を求める。
天体望遠鏡、赤道儀の解説をした後、次の実習をする。
①天体望遠鏡の組み立て、収納。
②極軸の合わせ方。
③ファインダーの合わせ方。
④太陽、月、惑星などの観察。

第5回　　天文ソフトによる天文現象のシミュレーション（授業形式：実験・実習）

予習内容：太陽や惑星の日周運動・年周運動について調べておく。
予習時間：60分
復習内容：実験で用いたソフトウェアを使用して演習を行う。
復習時間：60分
ある天文ソフトを概観した後、次の実習をする。
①太陽や恒星の見え方のシミュレーション。
②惑星の公転、自転に関するシミュレーション。
③日食、月食、惑星食、星食、流星などのシミュレーション。　等

第6回　　地上気象観測（授業形式：実験・実習）

予習内容：気象要素の観測方法について調べておく。
予習時間：60分
復習内容：雲の分類法をまとめ、雲の写真を撮影する。
復習時間：90分
気象要素とその観測方法を概観した後、次の実験・実習を行う。

①地上気象観測値の時間変化の特徴から天気を推定する。
②雲の分類。
③大気圧と水圧の関係を考える。

第7回　雲や雨の形成（授業形式：実験・実習）

予習内容：雲のでき方について調べておく。
予習時間：60分
復習内容：実験で実施した実験法の留意点についてまとめる。
復習時間：30分
断熱変化および雲・雨の形成について概観した後、次の実験・観察を行う。
①湿度と露点の測定。
②シャボン玉の中にできる水滴(雲)を観察する。
③フィズキーパーで雲をつくる。
④減圧装置を使って、乾燥空気および湿潤空気についての気圧と温度との関係を調べる。

第8回　天気図の見方（授業形式：実験・実習）

予習内容：天気図の書き方について調べておく。
予習時間：60分
復習内容：作図法の留意点についてまとめるとともに、イソプレット図を作成する。
復習時間：90分
気象観測と天気図について概観した後、次の実習を行う。
①風の吹き方等に関する流体実験を行う。
②四季の気圧に関するイソプレット図を作成し、天気図の見方を学ぶとともに日本の天気の特徴をとらえる。

第9回　気象データの解析（授業形式：実験・実習）

予習内容：日本の四季の天気の特徴を調べておく。
予習時間：60分
復習内容：実験で実施した解析法の妥当性を検討する。
復習時間：30分
日本の天気の特徴を概観した後、気象データを解析する実習を行う。
①地上気象観測値から大気現象に関する規則性を導き出す。

第10回　地震波からの震源決定（授業形式：実験・実習）

予習内容：地震波の特徴とその観測法を調べておく。
予習時間：60分
復習内容：震源決定のための作図法の留意点についてまとめる。
復習時間：30分
地震波の種類、震源距離の求め方、震源を特定する方法を概観した後、次の実習をする。
①三か所の地震波のデータから震源を特定する。
②一か所の地震波のデータから震源を特定する。

第11回　地震災害（授業形式：実験・実習）

予習内容：地震災害について調べておく。
予習時間：60分
復習内容：各種実験法の留意点についてまとめる。
復習時間：30分
地震災害に関して概観した後、次の実習をする。
①液状化現象の簡易実験。
②津波のモデル実験。
③断層のモデル実験。

第12回　地形とそれらをつくるもの（授業形式：実験・実習）

予習内容：地層と堆積岩のでき方について調べておく。
予習時間：60分
復習内容：堆積岩の特徴についてまとめる。
復習時間：30分
地形の成り立ちを概観した後、次の実験・実習を行う。
①空中写真の判別実習。
②流水実験と堆積実験。
③堆積岩の観察。

第13回　鉱物の観察（授業形式：実験・実習）

予習内容：鉱物の特徴について調べておく。
予習時間：60分
復習内容：方解石の特徴についてまとめる。
復習時間：30分
偏光板と鉱物の光学的性質及び主な鉱物の性質を概観した後、次の実習をする。
①偏光板を使って、方解石の光学的性質を調べる。
②火山灰中の鉱物を調べる。

第14回　偏光顕微鏡による岩石薄片の観察（授業形式：実験・実習）

予習内容：偏光顕微鏡について調べておく。
予習時間：60分
復習内容：火成岩の特徴についてまとめる。
復習時間：30分
岩石の成因を概観した後、次の観察をする。
①岩石鉱物の肉眼観察。
②岩石鉱物の偏光顕微鏡観察。
③色指数による火成岩の分類。

第15回　化石の観察（授業形式：実験・実習）

予習内容：代表的な示準化石を調べておく。
予習時間：60分
復習内容：微化石の調べ方の留意点をまとめる。
復習時間：30分
地質時代と化石について概観した後、次の実習を行う。
①微化石の顕微鏡観察を行い、その変化から堆積環境の変化をとらえる。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**地学実験**						
英文名 ：	Experiments in Geoscience						
担当者 ：	佐藤　昇						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	基礎科目						
備　考 ：	教職課程履修者は教職課程履修要項を参照してください。						

■授業概要

地学は、地球を含めた宇宙全体の自然を歴史的に認識し、現在、未来を知ろうとする学問です。具体的には、天文、大気・海洋、固体地球（地震・火山、地形・地質、岩石・鉱物、化石)などから構成されます。
天文分野では天体望遠鏡の組み立て、天体観測、天文ソフトによるシミュレーションなどを、気象分野では大気圧、雲の発生、天気図などを、地震分野では地震波データからの震源決定、液状化現象などを、地質・岩石分野では、鉱物や岩石の観察などを実習、実験します。

実験機器の準備の都合から受講者には定員があり、これを超えた場合には抽選を行う。教職課程履修者の受講を優先します。受講を希望する学生は、初回の講義に必ず出席すること。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

実験・実習科目

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

地学について、基礎理論を含め、観察、実習、実験を行うことによって、自然に対する総合的な見方や考え方を身につける。
１）特に、天文、気象、固体地球の各分野について、中学校・高等学校の教科書での実験観察の基本的な内容を重点的に学び、教科内容の授業実践力を身につける。
２）さらに、各分野の実験手法を学び、自らの観察実験に基づく研究へと発展させるような創造的な能力を培う。

この科目の修得は、生物理工学部のディプロマポリシー1の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

実験レポート 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

翌回以降の授業時間にレポートを返却します。

■教科書

適宜プリントを配布します。

■参考文献

特にありません。

■関連科目

地学概論Ⅰ、Ⅱ

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

物理、地学実験室(10号館109)　n-satoh@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　　地球の大きさと形（授業形式：実験・実習）

予習内容：地球の形と大きさについて調べておく。
予習時間：60分
復習内容：実験での作図法の留意点についてまとめる。
復習時間：30分
地球の大きさ、形がいかにして理解されてきたかを概観した後、下記の実習をする。
①あるデータをもとに、地球の大きさを計算する。
②地球は回転楕円体であるが、その本質を知るために仮想惑星を作図し、地球と比較する。

第2回　　天体の位置のあらわし方(特に赤道座標)、天体の見え方（授業形式：実験・実習）

予習内容：赤道座標、星図について調べておく。
予習時間：60分
復習内容：天体の南中高度、南中時刻の求め方をまとめる。
復習時間：30分
赤道座標などについて解説をした後、下記の実習をする。
①星図に、太陽の年周運動を記入する。
②星図を見て、天体の南中高度、南中時刻などを計算する。
③星図を見て、周極星、出没星、全没星 を区分する。　等

第3回　　惑星の運動(ケプラーの第一、第二、第三法則)（授業形式：実験・実習）

予習内容：ケプラーの法則について調べておく。
予習時間：60分
復習内容：実験での作図法の留意点についてまとめる。
復習時間：30分
真円の宇宙観を解き放ったケプラーの功績を概観した後、次の実習をする。
①火星の位置変化のデータをもとに火星の軌道の作図をし、ケプラーの第一、第二、第三法則が成立している事を確認する。

第4回　　天体望遠鏡の使い方(太陽、月、惑星の観測)（授業形式：実験・実習）　※天気の都合で日程が前後する

予習内容：天体望遠鏡の仕組みについて調べておく。
予習時間：60分
復習内容：天体望遠鏡、赤道儀の扱い方の留意点についてまとめる。
復習時間：30分
天体の観測例として、太陽の視半径を測定し、太陽半径を求める。
天体望遠鏡、赤道儀の解説をした後、次の実習をする。
①天体望遠鏡の組み立て、収納。
②極軸の合わせ方。
③ファインダーの合わせ方。
④太陽、月、惑星などの観察。

第5回　　天文ソフトによる天文現象のシミュレーション（授業形式：実験・実習）

予習内容：太陽や惑星の日周運動・年周運動について調べておく。
予習時間：60分
復習内容：実験で用いたソフトウェアを使用して演習を行う。
復習時間：60分
ある天文ソフトを概観した後、次の実習をする。
①太陽や恒星の見え方のシミュレーション。
②惑星の公転、自転に関するシミュレーション。
③日食、月食、惑星食、星食、流星などのシミュレーション。等

第6回　　地上気象観測（授業形式：実験・実習）

予習内容：気象要素の観測方法について調べておく。
予習時間：60分
復習内容：雲の分類法をまとめ、雲の写真を撮影する。
復習時間：90分
気象要素とその観測方法を概観した後、次の実験・実習を行う。

①地上気象観測値の時間変化の特徴から天気を推定する。
②雲の分類。
③大気圧と水圧の関係を考える。

第7回　　雲や雨の形成（授業形式：実験・実習）

予習内容：雲のでき方について調べておく。
予習時間：60分
復習内容：実験で実施した実験法の留意点についてまとめる。
復習時間：30分
断熱変化および雲・雨の形成について概観した後、次の実験・観察を行う。
①湿度と露点の測定。
②シャボン玉の中にできる水滴(雲)を観察する。
③フィズキーパーで雲をつくる。
④減圧装置を使って、乾燥空気および湿潤空気についての気圧と温度との関係を調べる。

第8回　　天気図の見方（授業形式：実験・実習）

予習内容：天気図の書き方について調べておく。
予習時間：60分
復習内容：作図法の留意点についてまとめるとともに、イソプレット図を作成する。
復習時間：90分
気象観測と天気図について概観した後、次の実習を行う。
①風の吹き方等に関する流体実験を行う。
②四季の気圧に関するイソプレット図を作成し、天気図の見方を学ぶとともに日本の天気の特徴をとらえる。

第9回　　気象データの解析（授業形式：実験・実習）

予習内容：日本の四季の天気の特徴を調べておく。
予習時間：60分
復習内容：実験で実施した解析法の妥当性を検討する。
復習時間：30分
日本の天気の特徴を概観した後、気象データを解析する実習を行う。
①地上気象観測値から大気現象に関する規則性を導き出す。

第10回　　地震波からの震源決定（授業形式：実験・実習）

予習内容：地震波の特徴とその観測法を調べておく。
予習時間：60分
復習内容：震源決定のための作図法の留意点についてまとめる。
復習時間：30分
地震波の種類、震源距離の求め方、震源を特定する方法を概観した後、次の実習をする。
①三か所の地震波のデータから震源を特定する。
②一か所の地震波のデータから震源を特定する。

第11回　　地震災害（授業形式：実験・実習）

予習内容：地震災害について調べておく。
予習時間：60分
復習内容：各種実験法の留意点についてまとめる。
復習時間：30分
地震災害に関して概観した後、次の実習をする。
①液状化現象の簡易実験。
②津波のモデル実験。
③断層のモデル実験。

第12回　　地形とそれらをつくるもの（授業形式：実験・実習）

予習内容：地層と堆積岩のでき方について調べておく。
予習時間：60分
復習内容：堆積岩の特徴についてまとめる。
復習時間：30分
地形の成り立ちを概観した後、次の実験・実習を行う。
①空中写真の判別実習。
②流水実験と堆積実験。
③堆積岩の観察。

第13回　　鉱物の観察（授業形式：実験・実習）

予習内容：鉱物の特徴について調べておく。
予習時間：60分
復習内容：方解石の特徴についてまとめる。
復習時間：30分
偏光板と鉱物の光学的性質及び主な鉱物の性質を概観した後、次の実習をする。
①偏光板を使って、方解石の光学的性質を調べる。
②火山灰中の鉱物を調べる。

第14回　偏光顕微鏡による岩石薄片の観察（授業形式：実験・実習）

予習内容：偏光顕微鏡について調べておく。
予習時間：60分
復習内容：火成岩の特徴についてまとめる。
復習時間：30分
岩石の成因を概観した後、次の観察をする。
①岩石鉱物の肉眼観察。
②岩石鉱物の偏光顕微鏡観察。
③色指数による火成岩の分類。

第15回　化石の観察（授業形式：実験・実習）

予習内容：代表的な示準化石を調べておく。
予習時間：60分
復習内容：微化石の調べ方の留意点をまとめる。
復習時間：30分
地質時代と化石について概観した後、次の実習を行う。
①微化石の顕微鏡観察を行い、その変化から堆積環境の変化をとらえる。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**物理学実験**						
英文名 ：	Pysics experiment						
担当者 ：	青木　伸也・中川　秀夫・村田　一夫・山口　勝己・久保田　均						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	基礎科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】木曜4.5限						

■授業概要

本実験では、各種の実験装置を用いて、力学・熱学・光学・電磁気学等の基本的物理量の測定を行うことを通して、基本的な物理法則やその測定のための実験方法を理解することを目的とする。また、科学レポートの書き方も学習する。前半の5回では、基礎的な実験を一斉に実施することを通して、実験の基本的な方法、データの纏め方、レポートの書き方の基礎を学び、後半の8回では、4班に分かれ、4つの実験を2週ずつ順に実施している。尚、前期・後期で、講義内容は同一である。
全ての講義に出席し、且つ、全てのレポートを提出することが、単位取得の前提となる。
中学理科教員の資格取得のための科目だが、本講は、あくまで基礎的な物理現象に対する実験講義である。したがって、資格取得を目的としない学生の受講も可能である。ただし、実験機材の準備の都合上、受講の定員があることから、これを超過した場合には抽選を行うので、受講を希望する学生は、初回の講義に必ず出席すること。講義は、10号館の、物理学・地学実験室で実施する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

実験・実習科目

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

物理学実験では様々な装置を用いて身近な自然現象を観測し、それを支配する物理法則を実験や測定により深く理解することを目標とする。
この科目の修得は、生物理工学部のディプロマポリシー1、5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

レポート（6テーマ） 90%
実験ノート評価 10%

■試験・課題に対するフィードバック方法

レポートに対して教員がコメントを書き込むことを通して、実験内容をフィードバックする。

■教科書

【留意事項】各テーマごとに指導書を開示する。

■参考文献

【留意事項】特に指定しない。

■関連科目

物理学Ⅰ・Ⅱ

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

青木研究室（2号館2階208室）・aoki@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　実験ガイダンス（授業形式：講義）

予習内容：シラバスを読み、実験内容を把握する。
予習時間：30分
復習内容：実験の進め方等を把握する。
復習時間：30分
実験の内容や進め方について説明する。

第2回　測定値と有効数字、誤差などに関する実験(1/2)（授業形式：実験）

予習内容：実験内容を把握する。
予習時間：30分
復習内容：レポートの作成。
復習時間：60分
物理学実験の基本的な技法を習得するために、長さを精密に測定するための機材である、ノギス及びマイクロメーターを用いた測定を行う。有効数字、レポートの書き方などを説明する。

第3回　測定値と有効数字、誤差などに関する実験(2/2)（授業形式：実験）

予習内容：前回の実験内容及び結果の把握。
予習時間：30分
復習内容：レポートの作成。
復習時間：60分
実験を完了すると共に、レポートの書き方を指導する。レポート用紙や定規など、レポートを執筆するための用具一式を持参すること。

第4回　基礎電気回路（オシロスコープの使用法・低域通過フィルタの特性）(1/3)（授業形式：実験）

予習内容：実験内容の把握。
予習時間：30分
復習内容：レポートの作成、及びレポートの修正。
復習時間：60分
電気現象を測定するための装置である、オシロスコープを用いて、様々な交流は径の測定や、リサージュ図形の測定を行うことを通して、より複雑な物理現象の測定技法を習得する。

第5回　基礎電気回路（オシロスコープの使用法・低域通過フィルタの特性）(2/3)（授業形式：実験）

予習内容：前回の実験結果の把握。
予習時間：30分
復習内容：レポートの作成と修正。
復習時間：60分
実験を継続し、今回で完了する。

第6回　基礎電気回路（オシロスコープの使用法・低域通過フィルタの特性）(3/3)（授業形式：実験）

予習内容：実験結果の把握。
予習時間：30分
復習内容：レポートの執筆と修正。
復習時間：60分
オシロスコープの実験に係るレポートの執筆を指導する。レポート作成用具一式を持参のこと。

第7回　重力加速度の測定(1/2)（授業形式：実験）

予習内容：実験内容の把握。
予習時間：30分
復習内容：実験データの整理。レポートの修正。
復習時間：60分
振子の周期から、重力の強さを測定する実験を行う。

第8回　重力加速度の測定(2/2)（授業形式：実験）

予習内容：実験結果の把握。
予習時間：30分
復習内容：レポートの執筆及び修正。
復習時間：120分
実験を完了すると共に、試問を実施する。

第9回　光学系の特性に関する実験（結像および回折）(1/2)（授業形式：実験）

予習内容：実験内容の把握。
予習時間：30分
復習内容：実験結果を纏める。レポートの修正。
復習時間：120分
光学現象であり、結像及び回折現象を測定する。

第10回　光学系の特性に関する実験（結像および回折）(2/2)（授業形式：実験）

予習内容：前回の実験結果の把握。
予習時間：30分
復習内容：レポートの執筆及び修正。
復習時間：120分
実験を完了する。

第11回　電気抵抗に関する実験(1/2)（授業形式：実験）

予習内容：実験内容の把握。
予習時間：30分
復習内容：実験結果の把握。レポートの修正。
復習時間：120分
電気抵抗を、電流計や電圧計を用いて測定する。

第12回　電気抵抗に関する実験(2/2)（授業形式：実験）

予習内容：前回の実験結果の把握。
予習時間：30分
復習内容：レポートの執筆。レポートの修正。
復習時間：120分
実験を完了する。

第13回　熱の仕事当量に関する実験(1/2)（授業形式：実験）

予習内容：実験内容の把握。
予習時間：30分
復習内容：実験結果を纏める。レポートの修正。
復習時間：120分
熱現象の基本物理量の一つである、熱の仕事当量を測定する。

第14回　熱の仕事当量に関する実験(2/2)（授業形式：実験）

予習内容：前回の実験結果の把握。レポートの修正。
予習時間：30分
復習内容：レポートの執筆。レポートの修正。
復習時間：120分
実験を完了する。

第15回　レポート指導（授業形式：実験）

予習内容：レポートの執筆。レポートの修正。
予習時間：120分
復習内容：レポートの修正。
復習時間：120分
全てのレポートの提出を完了する。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 ：	**物理学実験**						
英文名 ：	Pysics experiment						
担当者 ：	豊田　航・中川　秀夫・村田　一夫・水谷　勝己・久保田　均						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	基礎科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】火曜4.5限						

■授業概要

本実験では、各種の実験装置を用いて、力学・熱学・光学・電磁気学等の基本的物理量の測定を行うことを通して、基本的な物理法則やその測定のための実験方法を理解することを目的とする。また、科学レポートの書き方も学習する。前半の5回では、基礎的な実験を一斉に実施することを通して、実験の基本的な方法、データの纏め方、レポートの書き方の基礎を学び、後半の8回では、4班に分かれ、4つの実験を2週ずつ順に実施している。尚、前期・後期で、講義内容は同一である。
全ての講義に出席し、且つ、全てのレポートを提出することが、単位取得の前提となる。
中学理科教員の資格取得のための科目だが、本講は、あくまで基礎的な物理現象に対する実験講義である。したがって、資格取得を目的としない学生の受講も可能である。ただし、実験機材の準備の都合上、受講の定員があることから、これを超過した場合には抽選を行うので、受講を希望する学生は、初回の講義に必ず出席すること。講義は、10号館の、物理学・地学実験室で実施する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

実験・実習科目

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

物理学実験では様々な装置を用いて身近な自然現象を観測し、それを支配する物理法則を実験や測定により深く理解することを目標とする。
この科目の修得は、生物理工学部のディプロマポリシー1、5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

レポート（6テーマ） 90%
実験ノート評価 10%

■試験・課題に対するフィードバック方法

レポートに対して教員がコメントを書き込むことを通して、実験内容をフィードバックする。

■教科書

【留意事項】各テーマごとに指導書を開示する。

■参考文献

【留意事項】特に指定しない。

■関連科目

物理学Ⅰ・Ⅱ

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

豊田研究室（1号館1階152室）・toyoda_w@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　実験ガイダンス（授業形式：講義）

予習内容：シラバスを読み、実験内容を把握する。
予習時間：30分
復習内容：実験の進め方等を把握する。
復習時間：30分
実験の内容や進め方について説明する。

第2回　測定値と有効数字、誤差などに関する実験(1/2)（授業形式：実験）

予習内容：実験内容を把握する。
予習時間：30分
復習内容：レポートの作成。
復習時間：60分
物理学実験の基本的な技法を習得するために、長さを精密に測定するための機材である、ノギス及びマイクロメーターを用いた測定を行う。有効数字、レポートの書き方などを説明する。

第3回　測定値と有効数字、誤差などに関する実験(2/2)（授業形式：実験）

予習内容：前回の実験内容及び結果の把握。
予習時間：30分
復習内容：レポートの作成。
復習時間：60分
実験を完了すると共に、レポートの書き方を指導する。レポート用紙や定規など、レポートを執筆するための用具一式を持参すること。

第4回　基礎電気回路（オシロスコープの使用法・低域通過フィルタの特性）(1/3)（授業形式：実験）

予習内容：実験内容の把握。
予習時間：30分
復習内容：レポートの作成、及びレポートの修正。
復習時間：60分
電気現象を測定するための装置である、オシロスコープを用いて、様々な交流は径の測定や、リサージュ図形の測定を行うことを通して、より複雑な物理現象の測定技法を習得する。

第5回　基礎電気回路（オシロスコープの使用法・低域通過フィルタの特性）(2/3)（授業形式：実験）

予習内容：前回の実験結果の把握。
予習時間：30分
復習内容：レポートの作成と修正。
復習時間：60分
実験を継続し、今回で完了する。

第6回　基礎電気回路（オシロスコープの使用法・低域通過フィルタの特性）(3/3)（授業形式：実験）

予習内容：実験結果の把握。
予習時間：30分
復習内容：レポートの執筆と修正。
復習時間：60分
オシロスコープの実験に係るレポートの執筆を指導する。レポート作成用具一式を持参のこと。

第7回　重力加速度の測定(1/2)（授業形式：実験）

予習内容：実験内容の把握。
予習時間：30分
復習内容：実験データの整理。レポートの修正。
復習時間：60分
振子の周期から、重力の強さを測定する実験を行う。

第8回　重力加速度の測定(2/2)（授業形式：実験）

予習内容：実験結果の把握。
予習時間：30分
復習内容：レポートの執筆及び修正。
復習時間：120分
実験を完了すると共に、試問を実施する。

第9回　光学系の特性に関する実験（結像および回折）(1/2)（授業形式：実験）

予習内容：実験内容の把握。
予習時間：30分
復習内容：実験結果を纏める。レポートの修正。
復習時間：120分
光学現象であり、結像及び回折現象を測定する。

第10回　光学系の特性に関する実験（結像および回折）(2/2)（授業形式：実験）

予習内容：前回の実験結果の把握。
予習時間：30分
復習内容：レポートの執筆及び修正。
復習時間：120分
実験を完了する。

第11回　電気抵抗に関する実験(1/2)（授業形式：実験）

予習内容：実験内容の把握。
予習時間：30分
復習内容：実験結果の把握。レポートの修正。
復習時間：120分
電気抵抗を、電流計や電圧計を用いて測定する。

第12回　電気抵抗に関する実験(2/2)（授業形式：実験）

予習内容：前回の実験結果の把握。
予習時間：30分
復習内容：レポートの執筆。レポートの修正。
復習時間：120分
実験を完了する。

第13回　熱の仕事当量に関する実験(1/2)（授業形式：実験）

予習内容：実験内容の把握。
予習時間：30分
復習内容：実験結果を纏める。レポートの修正。
復習時間：120分
熱現象の基本物理量の一つである、熱の仕事当量を測定する。

第14回　熱の仕事当量に関する実験(2/2)（授業形式：実験）

予習内容：前回の実験結果の把握。レポートの修正。
予習時間：30分
復習内容：レポートの執筆。レポートの修正。
復習時間：120分
実験を完了する。

第15回　レポート指導（授業形式：演習）

予習内容：レポートの執筆。レポートの修正。
予習時間：120分
復習内容：レポートの修正。
復習時間：120分
全てのレポートの提出を完了する。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**インターンシップ**						
英文名　：	Internship						
担当者　：	新田　和宏						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	3年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】金曜1限						

■授業概要

＜本講座を学ぶ目的＞

本講座は、前期における事前講義を踏まえながら、夏季休暇中のインターンシップ研修（30時間以上）を通じて、学生が企業及び行政機関等の業務を直接体験することにより、仕事に取り組む姿勢や態度、職場の人間関係、並びに業務内容を理解しつつ、自己の職業意識・専門の実務能力を高め、もって学生自身の主体的かつ真摯な就職活動及び職業選択・適性判断・将来設計、並びに自己改善能力の構築を促す目的で行う。したがって、本講座の受講にあたっては、職業意識及び学業意識が高く、積極的な態度を示す学生の受講が望まれる。

＜本講座において学ぶ意義＞

本講座を学ぶ意義は、「仕事の哲学」を考えることにより、インターンシップ受講後における就職活動およびキャリア形成の礎となるところにある。

尚、インターンシップ研修の受け入れ先の企業及び行政機関等については、主に和歌山県経営者協会「インターンシップ制度推進委員会」加盟の企業及び行政機関等から学生が選択する。

＜本講座の方法＞

事前講義は、エクササイズとワークショップ、ふり返りシート、および明快なミニ・レクチャーを交えながら、ディープ・アクティブ・ラーニングとして展開する。

尚、本講座は履修にあたり選抜試験を行う。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

PBL（課題解決学習）・ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション・実験・実習科目

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本講座を通じて得られるべき到達目標とは次の通りである。

①．就職活動およびキャリア形成に対する意欲的なモチベーションを継続しえる能力。②．仕事および職業に対する基本的な判断の軸となる「仕事の哲学」を形成する基本的な能力。③．プレゼンテーションの基本的な表現技法。④．言語的・非言語的コミュニケーション能力。⑤．コラボレーションおよびファシリテートの基礎能力。⑥．インターンシップを通じて学び得たことを的確に表現しえる能力。⑦．財務諸表分析を踏まえた企業研究を進められる基礎能力。

＜ディプロマポリシーとの関連＞

「インターンシップ」の修得は、近畿大学が教養教育において掲げる目標を達成するための目的３の達成に関連している。

■成績評価方法および基準

レポート 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

事後報告会において予め提出された課題レポートに関してコメントを加える。

■教科書

[ISBN]なし　『インターンシップ研修簿・2023年度』（新田和宏編、近畿大学生物理工学部：2023）

■参考文献

[ISBN]9784532322014 『社会が選ぶ企業』（KPMGジャパン編、日本経済新聞出版社：2018）
[ISBN]9784478017876 『入社1年目の教科書』（岩瀬大輔、ダイヤモンド社：2018）
[ISBN]9784478102763 『経営者の教科書』（小宮一慶、ダイヤモンド社：2017）
[ISBN]9784478100639 『「人を動かす」ために本当に大切なこと』（レス・ギブリン、ダイヤモンド社：2017）
[ISBN]9784478065648 『新・独学術』（侍留啓介、ダイヤモンド社：2017）
[ISBN]9784532321475 『リクルートのすごい構創力』（杉田浩章、日本経済新聞出版社：2017）
[ISBN]9784492045909 『伝えることから始めよう』（髙田明、東洋経済新報社：2017）
[ISBN]9784062884211 『牙を研げ』（佐藤優、講談社現代新書：2017）
[ISBN]9784620323725 『労働時間革命』（小室淑恵、毎日新聞出版：2016）
[ISBN]9784492371183 『戦後経済史』（野口悠紀雄、東洋経済新報社：2015）
[ISBN]9784492045749 『働き方バイブル』（山田昭男、東洋経済新報社：2015）
[ISBN]9784763132475 『稼ぎたければ、働くな』（山田昭男、サンマーク出版：2012）
[ISBN]9784478039618 『グレートカンパニー』（リッチ・カールガード、ダイヤモンド社：2015）
[ISBN]9784623070756 『好印象で面接に勝つ！就活メイク講座』（寿マリコ、ミネルヴァ書房：2014）
[ISBN]4344006992 『これが働きたい会社だ』（渡邉正裕、幻冬舎：2014）
[ISBN]9784808309824 『寅さんのことば』（佐藤利明、東京新聞：2014）
[ISBN]9784046003126 『トヨタの問題解決』（OJTソリューションズ、中経出版：2014）
[ISBN]9784478028339 『社内政治の教科書』（高城幸司、ダイヤモンド社：2014）
[ISBN]9784492045176 『世界中のエリートの働き方を1冊にまとめてみた』（ムーギー・キム、東洋経済新報社：2013）
[ISBN]9784495598617 『面接・採用で「採ってはいけない人」の見きわめ方』（松下直子、同文舘：2012）

■関連科目

社会奉仕実習

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

新田研究室（2号館5階508）・nitta@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜3限。予め、メールで連絡をしてください。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

通年科目の扱いではあるが、シラバスの記載上、第1回から第15回は事前導入授業として、下記における「授業計画の項目・内容」を参照し、また第16回から第29回はインターンシップ研修先の企業・行政機関等におけるインターンシップ研修に該当するのでシラバスでは記載できない。尚、第30回は事後報告会として下記における第30回「授業計画の項目・内容」を参照すること。

第1回 インターンシップ・プログラムと自己紹介（授業形式：講義とワークショップ）

予習内容： Exercise①：まず、自己アピールしえるポイントを3つ絞る。次に、それを自己アピールのストーリーに落とし込む。そして、事前自己演習として、鏡を前に置き、1分間で、自己アピールのプレゼンテーションを、繰り返し行う。
予習時間：90分
復習内容： 第1講の講義を踏まえながら、再度Exercise①を研鑽し、自己アピールのプレゼンテーションのパフォーマンスを高める。
本日の格言①：「就活は自己紹介に始まり自己紹介に終わる」
復習時間：90分
選抜試験

第2回 セルフ・マネジメントとビジネス・メール（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのワークショップと講義）

予習内容： テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているExercise②.「価値観分析」のミッションを達成する。
予習時間：90分
復習内容： テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）②のミッションを達成する
復習時間：90分
2L－1 仕事の知識（knowledge）、実践（practice）および価値（value）
2L－2 仕事のシーズ（seeds）とニーズ（needs）－
2L－3 セルフ・マネジメント（self management）
2WS－1 価値観分析
2WS－2 仕事の価値観

第3回 企業研究①基本情報収集（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのワークショップと講義）

予習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているExercise③.「企業研究」のミッションを達成する。
予習時間：90分
復習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）③のミッションを達成する
復習時間：90分
3L－1　企業とNPOおよび社会的企業
3L－2　業種と職種
3L－3　正規雇用と非正規雇用
3L－4　賃金・所得および生涯所得

3WS－1　情報収集
3WS－2　情報整理とその活用（information rearranging and the utilization）

第4回 自己表現とコミュニケーション・スキル（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのワークショップと講義）

予習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているExercise④.「ジョハリの窓」のミッションを達成する。
予習時間：90分
復習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）④のミッションを達成する。
復習時間：90分
4L－1　自己開示（self-release）
4L－2　自己表現（self-expression）
4L－3　パーソナル・スペース（personal space）／４つのおじぎ／４つのスマイル
4L－4　非言語的コミュニケーション（non-verbal communication）とメラビアンの法則（the rule of Mehrabian）
4WS－1　表情筋トレーニング
4WS－2　マインド・マッピング（mind mapping）－積極的傾聴（active listening）－

第5回 プレゼンテーション・スキル①研究テーマ（授業形式：プレゼンテーションと講義）

予習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているExercise⑤.「研究テーマ用プレゼンテーション・ツール作成」のミッションを達成する。
予習時間：90分
復習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）⑤のミッションを達成する
復習時間：90分
5L－1　リバースOJT（Reverse On-the-job training）
5L－2　プレゼンテーション・スキル（presentation skill）―ストーリーとビジュアル・ツール（story and visual tools）―
5WS－1　ストーリーとビジュアル・ツール（story and visual tools）

第6回 プレゼンテーション・スキル②「商品開発」（授業形式：プレゼンテーションと講義）

予習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているExercise⑥.「新商品開発用プレゼンテーション・ツール」のミッションを達成する。
予習時間：90分
復習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）⑥のミッションを達成する。
復習時間：90分
6L－1　ファシリテート・マネジメント・スキル（facilitate management skills）
6L－2　コラボレーションによる「ケミストリー」（“chemistry” by collaboration）
6L－3　仮説（hypothesis）を立てる
6L－4　MECE（Mutually Exclusive, Collectively Exhaustive）
6WS－1　4P分析（analysis of products, price, place and promotion）
6WS－2　ノミナル・グループ・テクニック（nominal group technique）

第7回 ビジネス・マナー①コミュニケーション（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのワークショップと講義）

予習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているExercise⑦.「ビジネス・スーツの着こなし①」のミッションを達成する。
予習時間：90分
復習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）⑦のミッションを達成する。
復習時間：90分
7L－1　ハイ・コンテクスト（height-context）とロー・コンテクスト（low-context）
7L－2　内部ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ（internal communication）と外部ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ（external communication）
7L－3　ロジカル・シンキング＆コミュニケーション（logical thinking & communication）と6W2H
7L－4　ディス・コミュニケーション（dis-communication）とミス・コミュニケーション（miss-communication）

7L－5　オフサイト・ミーティング（off-site meeting）
7WS－1　アサーティブネス・トレーニング（assertiveness training）
7WS－2　ファシリテーション・グラフィック（facilitation graphics）

第8回　ビジネス・マナー②パフォーマンス（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのワークショップと講義）

予習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているExercise⑧.「ビジネス・スーツの着こなし②」のミッションを達成する。
予習時間：90分
復習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）⑧のミッションを達成する。
復習時間：90分
8L－1　ビジネス・パフォーマンス（business performance）
8L－2　ビジネス・ツール（business tool）
8L－3　スケジュール管理とパソコンによる情報整理
8L－4　業務プロセスの改善
8WS－1　ボイス・コントロール（voice control）
8WS－2　うなずき、あいづち、アイコンタクト（eye-contact）
8WS－3　オフィス・ウォーキング（office walking）
8WS－4　魅せる・好かれるスキル

第9回　ビジネス・マナー③状況判断Ⅰ（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのワークショップと講義）

予習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているExercise⑨.「ビジネス・スーツの着こなし③」のミッションを達成する。
予習時間：90分
復習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）⑨のミッションを達成する。
復習時間：90分
9/10L－1　テーブル・マナー
9/10L－2　ビジネス・マナーとは何か
9/10L－3　ビジネス・マナーと状況判断
9/10WS－1　テーブル・マナー（table manner）
9/10WS－2　ビジネス・マナー（business manner）

第10回　ビジネス・マナー④状況判断Ⅱ（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのワークショップと講義）

予習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているExercise⑩.「ビジネス・スーツの着こなし④」のミッションを達成する。
予習時間：90分
復習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）⑩のミッションを達成する。
復習時間：90分
9/10L－1　テーブル・マナー
9/10L－2　ビジネス・マナーとは何か
9/10L－3　ビジネス・マナーと状況判断
9/10WS－1　テーブル・マナー（table manner）
9/10WS－2　ビジネス・マナー（business manner）

第11回　ビジネス・マナー⑤ヒューマン・リレーション・スキル（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのワークショップと講義）

予習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているExercise⑪.「人間関係を良好にする因子分析」のミッションを達成する。
予習時間：90分
復習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）⑪のミッションを達成する。
復習時間：90分
11L－1　PM理論（theory of performance-maintenance）
11L－2　コンフリクト・マネジメント（conflict management）
11WS－1　特定因子分析（analysis of fish bone

第12回　ソリューション・スキル（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのワークショップと講義）

予習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているExercise⑫.「就職活動課題分析」のミッションを達成する

予習時間：90分
復習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）⑫のミッションを達成する。
復習時間：90分
12L-1　課題解決（issue solution）
12L-2　バック・キャスティング・アプローチ（back casting approach）
12L-3　ビジョンと目標（vision and goal）
12L-4　戦略的思考－選択と集中－（strategic thinking : select and concentrate）
12L-5　プラス思考とマイナス思考
12WS－1　GROWモデル（goal, reality, resources, options, will）
12WS－2　SWOT分析（analysis of SWOT

第13回　リーダーシップ・スキル（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのワークショップと講義）

予習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているExercise⑬.「リーダーシップ因子分析」のミッションを達成する。
予習時間：90分
復習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）⑬のミッションを達成する。
復習時間：90分
13L－1　意義構築者（meaning maker）
13L－2　信頼構築者（trust builder）
13L－3　針路設定者（direction setter）
13L－4　ネットワーク推進者（linking agent）
13L－5　学習推進者（learning advocator）
13WS－1　ストーリーの構築（story construction）
13WS－2　ナレッジ・マネジメント（knowledge management）

第14回　企業研究②ディーセント・ワークとワーク・ライフ・バランス（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのワークショップと講義）

予習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているExercise⑭.「SDGs」のミッションを達成する。
予習時間：90分
復習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）⑭のミッションを達成する。
復習時間：90分
14L－1　SDGsとESG投資
14L－2　ディーセント・ワーク（decent work）
14L－3　ワーク・ライフ・バランス（work life balance）
14L－4　「女性の活躍推進広場」
14L－5　「両立支援ひろば」
14WS－1　トヨタ式5W1H
14WS－2　企業ブランド

第15回　スケジュール管理と手帖術（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのワークショップと講義）

予習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているExercise⑮.「手帖術」のミッションを達成する。
予習時間：90分
復習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）⑮のミッションを達成する。
復習時間：90分
15L-1　コンピテンシー評価（competency evaluation）
15L-2　PDCAサイクル（Plan-Do-Check-Action/Adjust cycle）
15L-3　目標による管理（management by objectives）
15L-4　リテラシー（literacy）とコンピテンシー（competency）
15WS－1　コンピテンシー面接
15WS－2　戦略マップ（strategy map）

試験は行わずレポート課題を提示する。

第16回　ガイダンス（研修準備）

予習内容：インターンシップ研修先の指示に従う。
復習内容：『インターンシップ研修簿』の日誌欄にふりかえりの記録を記す。
インターンシップの先立つ研修先への事前訪問。

第17回 インターンシップ研修（研修）

復習内容：『インターンシップ研修簿』の日誌欄にふりかえりの記録を記す。

第18回 インターンシップ研修（研修）

復習内容：『インターンシップ研修簿』の日誌欄にふりかえりの記録を記す。

第19回 インターンシップ研修（研修）

復習内容：『インターンシップ研修簿』の日誌欄にふりかえりの記録を記す。

第20回 インターンシップ研修（研修）

復習内容：『インターンシップ研修簿』の日誌欄にふりかえりの記録を記す。

第21回 インターンシップ研修（研修）

復習内容：『インターンシップ研修簿』の日誌欄にふりかえりの記録を記す。

第22回 インターンシップ研修（研修）

復習内容：『インターンシップ研修簿』の日誌欄にふりかえりの記録を記す。

第23回 インターンシップ研修（研修）

復習内容：『インターンシップ研修簿』の日誌欄にふりかえりの記録を記す。

第24回 インターンシップ研修（研修）

復習内容：『インターンシップ研修簿』の日誌欄にふりかえりの記録を記す。

第25回 インターンシップ研修（研修）

復習内容：『インターンシップ研修簿』の日誌欄にふりかえりの記録を記す。

第26回 インターンシップ研修（研修）

復習内容：『インターンシップ研修簿』の日誌欄にふりかえりの記録を記す。

第27回 インターンシップ研修（研修）

復習内容：『インターンシップ研修簿』の日誌欄にふりかえりの記録を記す。

第28回 インターンシップ研修（研修）

復習内容：『インターンシップ研修簿』の日誌欄にふりかえりの記録を記す。

第29回 インターンシップ研修（研修）

復習内容：『インターンシップ研修簿』の日誌欄にふりかえりの記録を記す。

第30回 事後報告会（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのワークショップと講義）

予習内容： テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているExercise⑯. 「インターンシップ・レポート」のミッションを達成する。
予習時間：90分
復習内容： 2023年12月までに、就職活動のターゲットとして、最低でも、10社を選択する。
復習時間：90分
16WS－1 ブレイン・ストーミング（brain storming）
16WS－2 クロスSWOT分析（analysis of cross SWOT）

試験は行わず課題を提示する。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業
学外でのインターンシップや実習、研修を授業の一環として位置付けている授業

科目名　：	**インターンシップ**						
英文名　：	Internship						
担当者　：	新田　和宏						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	3年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】金曜2限						

■授業概要

<本講座を学ぶ目的>

本講座は、前期における事前講義を踏まえながら、夏季休暇中のインターンシップ研修（30時間以上）を通じて、学生が企業及び行政機関等の業務を直接体験することにより、仕事に取り組む姿勢や態度、職場の人間関係、並びに業務内容を理解しつつ、自己の職業意識・専門の実務能力を高め、もって学生自身の主体的かつ真摯な就職活動及び職業選択・適性判断・将来設計、並びに自己改善能力の構築を促す目的で行う。したがって、本講座の受講にあたっては、職業意識及び学業意識が高く、積極的な態度を示す学生の受講が望まれる。

<本講座において学ぶ意義>

本講座を学ぶ意義は、「仕事の哲学」を考えることにより、インターンシップ受講後における就職活動およびキャリア形成の礎となるところにある。

尚、インターンシップ研修の受け入れ先の企業及び行政機関等については、主に和歌山県経営者協会「インターンシップ制度推進委員会」加盟の企業及び行政機関等から学生が選択する。

<本講座の方法>

事前講義は、エクササイズとワークショップ、ふり返りシート、および明快なミニ・レクチャーを交えながら、ディープ・アクティブ・ラーニングとして展開する。

尚、本講座は履修にあたり選抜試験を行う。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

PBL（課題解決学習）・ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション・実験・実習科目

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本講座を通じて得られるべき到達目標とは次の通りである。

①．就職活動およびキャリア形成に対する意欲的なモチベーションを継続しえる能力。②．仕事および職業に対する基本的な判断の軸となる「仕事の哲学」を形成する基本的な能力。③．プレゼンテーションの基本的な表現技法。④．言語的・非言語的コミュニケーション能力。⑤．コラボレーションおよびファシリテートの基礎能力。⑥．インターンシップを通じて学び得たことを的確に表現しえる能力。⑦．財務諸表分析を踏まえた企業研究を進められる基礎能力。

<ディプロマポリシーとの関連>

「インターンシップ」の修得は、近畿大学が教養教育において掲げる目標を達成するための目的３の達成に関連している。

■成績評価方法および基準

レポート 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

事後報告会において予め提出された課題レポートに関してコメントを加える。

■教科書

[ISBN]なし　『インターンシップ研修簿・2023年度』（新田和宏編、近畿大学生物理工学部：2023）

■参考文献

[ISBN]9784532322014 『社会が選ぶ企業』（KPMGジャパン編、日本経済新聞出版社：2018）
[ISBN]9784478017876 『入社1年目の教科書』（岩瀬大輔、ダイヤモンド社：2018）
[ISBN]9784478102763 『経営者の教科書』（小宮一慶、ダイヤモンド社：2017）
[ISBN]9784478100639 『「人を動かす」ために本当に大切なこと』（レス・ギブリン、ダイヤモンド社：2017）
[ISBN]9784478065648 『新・独学術』（侍留啓介、ダイヤモンド社：2017）
[ISBN]9784532321475 『リクルートのすごい構創力』（杉田浩章、日本経済新聞出版社：2017）
[ISBN]9784492045909 『伝えることから始めよう』（髙田明、東洋経済新報社：2017）
[ISBN]9784062884211 『牙を研げ』（佐藤優、講談社現代新書：2017）
[ISBN]9784620323725 『労働時間革命』（小室淑恵、毎日新聞出版：2016）
[ISBN]9784492371183 『戦後経済史』（野口悠紀雄、東洋経済新報社：2015）
[ISBN]9784492045749 『働き方バイブル』（山田昭男、東洋経済新報社：2015）
[ISBN]9784763132475 『稼ぎたければ、働くな』（山田昭男、サンマーク出版：2012）
[ISBN]9784478039618 『グレートカンパニー』（リッチ・カールガード、ダイヤモンド社：2015）
[ISBN]9784623070756 『好印象で面接に勝つ！就活メイク講座』（寿マリコ、ミネルヴァ書房：2014）
[ISBN]4344006992 『これが働きたい会社だ』（渡邉正裕、幻冬舎：2014）
[ISBN]9784808309824 『寅さんのことば』（佐藤利明、東京新聞：2014）
[ISBN]9784046003126 『トヨタの問題解決』（OJTソリューションズ、中経出版：2014）
[ISBN]9784478028339 『社内政治の教科書』（高城幸司、ダイヤモンド社：2014）
[ISBN]9784492045176 『世界中のエリートの働き方を1冊にまとめてみた』（ムーギー・キム、東洋経済新報社：2013）
[ISBN]9784495598617 『面接・採用で「採ってはいけない人」の見きわめ方』（松下直子、同文舘：2012）

■関連科目

社会奉仕実習

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

新田研究室（2号館5階508）・nitta@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜3限。予め、メールで連絡をしてください。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

通年科目の扱いではあるが、シラバスの記載上、第1回から第15回は事前導入授業として、下記における「授業計画の項目・内容」を参照し、また第16回から第29回はインターンシップ研修先の企業・行政機関等におけるインターンシップ研修に該当するのでシラバスでは記載できない。尚、第30回は事後報告会として下記における第30回「授業計画の項目・内容」を参照すること。

第1回 インターンシップ・プログラムと自己紹介（授業形式：講義とワークショップ）

予習内容： Exercise①：まず、自己アピールしえるポイントを3つ絞る。次に、それを自己アピールのストーリーに落とし込む。そして、事前自己演習として、鏡を前に置き、1分間で、自己アピールのプレゼンテーションを、繰り返し行う。
予習時間：90分
復習内容： 第1講の講義を踏まえながら、再度Exercise①を研鑽し、自己アピールのプレゼンテーションのパフォーマンスを高める。
本日の格言①：「就活は自己紹介に始まり自己紹介に終わる」
復習時間：90分
選抜試験

第2回 セルフ・マネジメントとビジネス・メール（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのワークショップと講義）

予習内容： テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているExercise②.「価値観分析」のミッションを達成する。
予習時間：90分
復習内容： テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）②のミッションを達成する
復習時間：90分
2L－1 仕事の知識（knowledge）、実践（practice）および価値（value）
2L－2 仕事のシーズ（seeds）とニーズ（needs）－
2L－3 セルフ・マネジメント（self management）
2WS－1 価値観分析
2WS－2 仕事の価値観

第3回 企業研究①基本情報収集（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのワークショップと講義）

予習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているExercise③.「企業研究」のミッションを達成する。
予習時間：90分
復習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）③のミッションを達成する
復習時間：90分
3L－1　企業とNPOおよび社会的企業
3L－2　業種と職種
3L－3　正規雇用と非正規雇用
3L－4　賃金・所得および生涯所得

3WS－1　情報収集
3WS－2　情報整理とその活用（information rearranging and the utilization）

第4回 自己表現とコミュニケーション・スキル（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのワークショップと講義）

予習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているExercise④.「ジョハリの窓」のミッションを達成する。
予習時間：90分
復習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）④のミッションを達成する。
復習時間：90分
4L－1　自己開示（self-release）
4L－2　自己表現（self-expression）
4L－3　パーソナル・スペース（personal space）／４つのおじぎ／４つのスマイル
4L－4　非言語的コミュニケーション（non-verbal communication）とメラビアンの法則（the rule of Mehrabian）
4WS－1　表情筋トレーニング
4WS－2　マインド・マッピング（mind mapping）－積極的傾聴（active listening）－

第5回 プレゼンテーション・スキル①研究テーマ（授業形式：プレゼンテーションと講義）

予習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているExercise⑤.「研究テーマ用プレゼンテーション・ツール作成」のミッションを達成する。
予習時間：90分
復習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）⑤のミッションを達成する
復習時間：90分
5L－1　リバースOJT（Reverse On-the-job training）
5L－2　プレゼンテーション・スキル（presentation skill）―ストーリーとビジュアル・ツール（story and visual tools）―
5WS－1　ストーリーとビジュアル・ツール（story and visual tools）

第6回 プレゼンテーション・スキル②「商品開発」（授業形式：プレゼンテーションと講義）

予習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているExercise⑥.「新商品開発用プレゼンテーション・ツール」のミッションを達成する。
予習時間：90分
復習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）⑥のミッションを達成する。
復習時間：90分
6L－1　ファシリテート・マネジメント・スキル（facilitate management skills）
6L－2　コラボレーションによる「ケミストリー」（“chemistry” by collaboration）
6L－3　仮説（hypothesis）を立てる
6L－4　MECE（Mutually Exclusive, Collectively Exhaustive）
6WS－1　4P分析（analysis of products, price, place and promotion）
6WS－2　ノミナル・グループ・テクニック（nominal group technique）

第7回 ビジネス・マナー①コミュニケーション（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのワークショップと講義）

予習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているExercise⑦.「ビジネス・スーツの着こなし①」のミッションを達成する。
予習時間：90分
復習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）⑦のミッションを達成する。
復習時間：90分
7L－1　ハイ・コンテクスト（height-context）とロー・コンテクスト（low-context）
7L－2　内部ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ（internal communication）と外部ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ（external communication）
7L－3　ロジカル・シンキング＆コミュニケーション（logical thinking & communication）と6W2H
7L－4　ディス・コミュニケーション（dis-communication）とミス・コミュニケーション（miss-communication）

7L－5　オフサイト・ミーティング（off-site meeting）
7WS－1　アサーティブネス・トレーニング（assertiveness training）
7WS－2　ファシリテーション・グラフィック（facilitation graphics）

第8回　ビジネス・マナー②パフォーマンス（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのワークショップと講義）

予習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているExercise⑧.「ビジネス・スーツの着こなし②」のミッションを達成する。
予習時間：90分
復習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）⑧のミッションを達成する。
復習時間：90分
8L－1　ビジネス・パフォーマンス（business performance）
8L－2　ビジネス・ツール（business tool）
8L－3　スケジュール管理とパソコンによる情報整理
8L－4　業務プロセスの改善
8WS－1　ボイス・コントロール（voice control）
8WS－2　うなずき、あいづち、アイコンタクト（eye-contact）
8WS－3　オフィス・ウォーキング（office walking）
8WS－4　魅せる・好かれるスキル

第9回　ビジネス・マナー③状況判断Ⅰ（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのワークショップと講義）

予習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているExercise⑨.「ビジネス・スーツの着こなし③」のミッションを達成する。
予習時間：90分
復習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）⑨のミッションを達成する。
復習時間：90分
9/10L－1　テーブル・マナー
9/10L－2　ビジネス・マナーとは何か
9/10L－3　ビジネス・マナーと状況判断
9/10WS－1　テーブル・マナー（table manner）
9/10WS－2　ビジネス・マナー（business manner）

第10回　ビジネス・マナー④状況判断Ⅱ（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのワークショップと講義）

予習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているExercise⑩.「ビジネス・スーツの着こなし④」のミッションを達成する。
予習時間：90分
復習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）⑩のミッションを達成する。
復習時間：90分
9/10L－1　テーブル・マナー
9/10L－2　ビジネス・マナーとは何か
9/10L－3　ビジネス・マナーと状況判断
9/10WS－1　テーブル・マナー（table manner）
9/10WS－2　ビジネス・マナー（business manner）

第11回　ビジネス・マナー⑤ヒューマン・リレーション・スキル（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのワークショップと講義）

予習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているExercise⑪.「人間関係を良好にする因子分析」のミッションを達成する。
予習時間：90分
復習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）⑪のミッションを達成する。
復習時間：90分
11L－1　PM理論（theory of performance-maintenance）
11L－2　コンフリクト・マネジメント（conflict management）
11WS－1　特定因子分析（analysis of fish bone

第12回　ソリューション・スキル（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのワークショップと講義）

予習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているExercise⑫.「就職活動課題分析」のミッションを達成する

予習時間：90分
復習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）⑫のミッションを達成する。
復習時間：90分
12L-1　課題解決（issue solution）
12L-2　バック・キャスティング・アプローチ（back casting approach）
12L-3　ビジョンと目標（vision and goal）
12L-4　戦略的思考－選択と集中－（strategic thinking : select and concentrate）
12L-5　プラス思考とマイナス思考
12WS－1　GROWモデル（goal, reality, resources, options, will）
12WS－2　SWOT分析（analysis of SWOT

第13回　リーダーシップ・スキル（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのワークショップと講義）

予習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているExercise⑬.「リーダーシップ因子分析」のミッションを達成する。
予習時間：90分
復習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）⑬のミッションを達成する。
復習時間：90分
13L－1　意義構築者（meaning maker）
13L－2　信頼構築者（trust builder）
13L－3　針路設定者（direction setter）
13L－4　ネットワーク推進者（linking agent）
13L－5　学習推進者（learning advocator）
13WS－1　ストーリーの構築（story construction）
13WS－2　ナレッジ・マネジメント（knowledge management）

第14回　企業研究②ディーセント・ワークとワーク・ライフ・バランス（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのワークショップと講義）

予習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているExercise⑭.「SDGs」のミッションを達成する。
予習時間：90分
復習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）⑭のミッションを達成する。
復習時間：90分
14L－1　SDGsとESG投資
14L－2　ディーセント・ワーク（decent work）
14L－3　ワーク・ライフ・バランス（work life balance）
14L－4　「女性の活躍推進広場」
14L－5　「両立支援ひろば」
14WS－1　トヨタ式5W1H
14WS－2　企業ブランド

第15回　スケジュール管理と手帖術（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのワークショップと講義）

予習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているExercise⑮.「手帖術」のミッションを達成する。
予習時間：90分
復習内容：　テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）⑮のミッションを達成する。
復習時間：90分
15L-1　コンピテンシー評価（competency evaluation）
15L-2　PDCAサイクル（Plan-Do-Check-Action/Adjust cycle）
15L-3　目標による管理（management by objectives）
15L-4　リテラシー（literacy）とコンピテンシー（competency）
15WS－1　コンピテンシー面接
15WS－2　戦略マップ（strategy map）

試験は行わずレポート課題を提示する。

第16回　ガイダンス（研修準備）

予習内容：インターンシップ研修先の指示に従う。
復習内容：『インターンシップ研修簿』の日誌欄にふりかえりの記録を記す。
インターンシップの先立つ研修先への事前訪問。

第17回 インターンシップ研修（研修）

復習内容：『インターンシップ研修簿』の日誌欄にふりかえりの記録を記す。

第18回 インターンシップ研修（研修）

復習内容：『インターンシップ研修簿』の日誌欄にふりかえりの記録を記す。

第19回 インターンシップ研修（研修）

復習内容：『インターンシップ研修簿』の日誌欄にふりかえりの記録を記す。

第20回 インターンシップ研修（研修）

復習内容：『インターンシップ研修簿』の日誌欄にふりかえりの記録を記す。

第21回 インターンシップ研修（研修）

復習内容：『インターンシップ研修簿』の日誌欄にふりかえりの記録を記す。

第22回 インターンシップ研修（研修）

復習内容：『インターンシップ研修簿』の日誌欄にふりかえりの記録を記す。

第23回 インターンシップ研修（研修）

復習内容：『インターンシップ研修簿』の日誌欄にふりかえりの記録を記す。

第24回 インターンシップ研修（研修）

復習内容：『インターンシップ研修簿』の日誌欄にふりかえりの記録を記す。

第25回 インターンシップ研修（研修）

復習内容：『インターンシップ研修簿』の日誌欄にふりかえりの記録を記す。

第26回 インターンシップ研修（研修）

復習内容：『インターンシップ研修簿』の日誌欄にふりかえりの記録を記す。

第27回 インターンシップ研修（研修）

復習内容：『インターンシップ研修簿』の日誌欄にふりかえりの記録を記す。

第28回 インターンシップ研修（研修）

復習内容：『インターンシップ研修簿』の日誌欄にふりかえりの記録を記す。

第29回 インターンシップ研修（研修）

復習内容：『インターンシップ研修簿』の日誌欄にふりかえりの記録を記す。

第30回 事後報告会（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのワークショップと講義）

予習内容： テキスト『インターンシップ研修簿』の中に記載されているExercise⑯. 「インターンシップ・レポート」のミッションを達成する。
予習時間：90分
復習内容： 2023年12月までに、就職活動のターゲットとして、最低でも、10社を選択する。
復習時間：90分
16WS－1 ブレイン・ストーミング（brain storming）
16WS－2 クロスSWOT分析（analysis of cross SWOT）

試験は行わず課題を提示する。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業
学外でのインターンシップや実習、研修を授業の一環として位置付けている授業

科目名　：	**キャリアインターンシップ**						
英文名　：	Career Internship						
担当者　：	岸田　邦博						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	3年次	開講期：	集中	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：	食品安全工学科開講科目						

■授業概要

本講座は、東大阪キャンパスで事前研修（集中講座）を実施し、インターンシップ研修を行う際における、社会で働く心構え、インターンシップへの参加目的の明確化、ビジネスマナーなどを学び、身に付けます。さらに、インターンシップ研修後も、東大阪キャンパスで事後研修を実施し、インターンシップ研修で学んだことをさらに深めて考えることで、今後の自らの専攻における学習の目標化や将来の進路選択に活かすことを目的とします。
尚、インターンシップ研修の受け入れ先の企業及び行政機関等については、大学で紹介します。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

社会で働く心構え、インターンシップへの参加目的の明確化、ビジネスマナーなどを学び身に付けます。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的３の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

研修先での評価内容を総合的に判断して評価します。 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

インターンシップ研修生は、研修期間中、原則として毎日、研修の内容（①実習事項、②本日できたこと・できなかったこと、③反省・感想、④明日の目標）を「インターンシップ日誌」に記入し、研修先の指導者に提出する。研修先の指導者がフィードバックのコメントを「日誌」に記入し、翌日、研修生に返却する。

■教科書

【留意事項】適宜プリントを配布します。

■参考文献

【留意事項】特に指定しません。

■関連科目

特になし。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

3号館2階・就職情報室　bost-shu@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜2限
事前にメールにてアポイントをとってください。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ビジネスマナー1（授業形式：講義）

マナーの必要性について

第2回 ビジネスマナー２（授業形式：講義）

敬語について

第3回 企業研究（授業形式：講義）

実習先企業研究について

第4回 コミュニケーション１（授業形式：講義）

席次について

第5回 コミュニケーション２（授業形式：講義）

自己紹介と意見交換について

第6回 研修①（授業形式：実習）

受入企業での実習、実習簿作成、担当者評価

第7回 研修②（授業形式：実習）

受入企業での実習、実習簿作成、担当者評価

第8回 研修③（授業形式：実習）

受入企業での実習、実習簿作成、担当者評価

第9回 研修④（授業形式：実習）

受入企業での実習、実習簿作成、担当者評価

第10回 研修⑤（授業形式：実習）

受入企業での実習、実習簿作成、担当者評価

第11回 研修⑥（授業形式：実習）

受入企業での実習、実習簿作成、担当者評価

第12回 研修⑦（授業形式：実習）

受入企業での実習、実習簿作成、担当者評価

第13回 研修⑧（授業形式：実習）

受入企業での実習、実習簿作成、担当者評価

第14回 研修⑨（授業形式：実習）

受入企業での実習、実習簿作成、担当者評価

第15回 事後研修会（授業形式：講義）

全体振りかえり（インターンシップを終えて）

■ホームページ

■実践的な教育内容

学外でのインターンシップや実習、研修を授業の一環として位置付けている授業

科目名　：	**キャリアデザイン**						
英文名　：	Career Design						
担当者　：	中村　弘成						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】月曜4限						

■授業概要

ＡＩ（人工知能）がなくてはならない時代である。
だからこそ「ＡＩ時代にマッチしたキャリア（＝仕事人生）の築き方を探究する」、これが当授業の目的である。
故に、みなさんには、文字が本格的に人類に普及する前の「声の文化」の特徴、現代の「文字の文化の特徴」、そしてこれから到来する「第二次声の文化」の特徴を十分に理解してもらいたい。なぜなら、「第二次声の文化」はＡＩなくして成り立たない時代だからである。
そして、「第二次声の文化」で必要な思考や行動様式を提示し、その中でも特に重要な「問題を探す力」「構想する力」「意味づける力」について、いろいろな角度から探求していく機会を提供していくことになる。その探求していく機会の中には、ヒューマンスキルが含まれているので、実践的である。
また当授業は、講師との対話を中心に進められるので、講師と対話している学生以外の学生は二人の対話内容を「自分の学び」に資することが求められる。
最後に、2023年から「人的資本の開示」が上場企業に義務付けられ、企業の「ありたい姿」を実現するための人材育成方針が各企業から公開される。この目的は「従業員エンゲージメントを高める」ためである。就職の際に重要な指標となるので、関係する情報を授業で示していきたい。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、この授業を履修することによって、
（１）ＡＩ時代に役立つキャリアデザインの方法、必要な知識とスキルを示すことができ、
（２）学んだことの学生生活への応用、経験した学生生活の就活への関係づけができ、
（３）人生百年時代を生き抜く「自分と組織」の変革が可能となります。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的３の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 30%
授業中課題 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

授業中課題について：次回以降に模範例をスライドで示します。
小テストについて：次回以降に模範解答をスライドで示します。

■教科書

適時プリント等を配布する。

■参考文献

【留意事項】適宜授業時に紹介。

■関連科目

特になし。

■授業評価アンケート実施方法

生物理工学部実施規定に準拠しています。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）。hnakamur@silver.ocn.ne.jp

■オフィスアワー

月曜日3限。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　キャリアデザインとは

予習内容：ＡＩ時代とはどのような時代だと考えるか。
予習時間：5分
復習内容：各文化の特徴。
復習時間：5分
・この授業の概要と成績評価方法
・キャリアをデザインする方法を学ぶのは何のため？　誰のため？
・声の文化から文字の文化そして第二次声の文化へ
・声の文化で求められる人物像はどんな感じだろう？
・文字の文化で求められる人物像はどんな感じだろう？
・第二次声の文化で求められる人物像はどんな感じだろう？

第2回　「見える化」の探究

予習内容：感覚的と意識的の違い。
予習時間：5分
復習内容：見える化の必要性と見える化に必要なスキル。
復習時間：5分
・見える化とは何か？　その必要性。
・キャリアデザインとは「あなたの見える化」
・アート思考とは？

第3回　「問題」の探究

予習内容：身近な問題の事例をメモしておく。
予習時間：5分
復習内容：目的、目標、問題、課題の違いを整理。
復習時間：5分
・問題とは何か？　いったい何が問題なのかよくわからない、これが大問題。
・問題と課題の違い、目的と目標の違い。
・問題の見える化に必要なスキルとは？

第4回　「構想（ありたい姿）」の探究Ⅰ

予習内容：描写と表現の違いとは？
予習時間：5分
復習内容：主観と客観の違いとは？
復習時間：5分
・構想（ありたい姿）とは何か？
・構想（ありたい姿）を描くために必要な視点とは何か？
・構想（ありたい姿）を描くために必要なスキルとは？

第5回　「構想（ありたい姿）」の探究Ⅱ

予習内容：あなたを一言で言うとどういう表現になる？
予習時間：5分
復習内容：あなたを一言で言うとどういう表現になる？
復習時間：5分
・自分のありたい姿を描くために自分を知る。
・あなたの「興味の方向性、キャリア・アンカー、遺伝的気質」は？
・あなたのありたい姿とアート思考。

第6回　「構想（ありたい姿）」の探究Ⅲ

予習内容：志望動機はなぜ必要なのか？
予習時間：5分
復習内容：学生時代に何をしておく方がよいと言えるか？
復習時間：5分
・企業への志望動機と構想（ありたい姿）の関係。
・人材育成のＧＲＯＷモデルと優秀な人材採用を見分けるＳＴＡＲモデル。
・学生時代に何をしておくべきか？

第7回　第１回小テスト

予習内容：前回までの授業内容の理解。
予習時間：60分
復習内容：小テストの後に示す予定の回答例を参考に改善を図ること。回答例を示すのは次回以降になる可能性もある。
復習時間：30分
・これまでの範囲の理解度テスト。
・資料などを一切持ち込みできない。

第8回　「意味づけ」の探究Ⅰ

予習内容：あなたはどのようなストーリーが好き？　その理由は？
予習時間：5分
復習内容：キャリアをデザインするとはどういうことか？
復習時間：5分
・キャリア構築理論とは何か？
・意味づけは後づけ？
・統合と関係づけ。

第9回　「意味づけ」の探究Ⅱ

予習内容：あなたはなぜ今の学科で学んでいるのか？
予習時間：5分
復習内容：今の学科の学びとあなたのありたい姿の意味づけとは？
復習時間：5分
・ビジネスシーンでの意味づけと統合。
・「愉しく仕事をする」コツは、意味づけに成功すること。

第10回　「ＡＩ時代を生き抜くコミュニケーションスキル」の探究Ⅰ

予習内容：聞くと聴くの違いを考えておく。
予習時間：5分
復習内容：聞くと聴くの違いを言える、実践できる。
復習時間：5分
・とんでもなくすごい傾聴スキルを学ぶ。
・これで社会に出ても、人間関係は大丈夫。

第11回　「ＡＩ時代を生き抜くコミュニケーションスキル」の探究Ⅱ

予習内容：傾聴の目的とは？
予習時間：5分
復習内容：共感の方法とは？
復習時間：5分
・世界のエリートが目指す「オーセンティック・リーダーシップ」とは？
・共感力をアップしよう！

第12回　「ＡＩ時代を生き抜くコミュニケーションスキル」の探究Ⅲ

予習内容：日本はハイコンテクスト文化？　ローコンテクスト文化？
予習時間：5分
復習内容：アサーティブなコミュニケーションが必要な理由とは？
復習時間：5分
・アサーティブなコミュニケーションで、愉しく仕事を進め、生産性アップ。
・ハイコンテクストとローコンテクストの文化の違いとは？

第13回　「コーチング」の探究

予習内容：ＧＲＯＷモデルとは？
予習時間：5分
復習内容：コーチングアップの方法を語れるか？
復習時間：5分

・コーチングされる若いみなさんが、コーチングを学ぶ意味とは？
・上司の考え方を変えることは無理なのか？

第14回　「セクハラ・パワハラ」の探究

予習内容：あなたの現在のセクハラとパワハラの基準は？
予習時間：5分
復習内容：セクハラ、パワハラとは？
復習時間：5分
・多くの人が誤解しているセクハラ、パワハラの基準とは？
・セクハラやパワハラはアサーティブなコミュニケーションで！

第15回　第２回小テスト

予習内容：第８回小テストから前回までの授業内容の理解。
予習時間：60分
復習内容：小テストの後に示す予定の回答例を参考に改善を図ること。
復習時間：30分
・第１回小テストから前回までが範囲の理解度テスト。
・資料などを一切持ち込みできない。

定期試験

①授業で話したこと。
②授業中考えたこと
③授業で黒板に書いたこと
④授業で配布した資料。
が範囲。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**キャリアデザイン**						
英文名　：	Career Design						
担当者　：	中村　弘成						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】月曜5限						

■授業概要

ＡＩ（人工知能）がなくてはならない時代である。
だからこそ「ＡＩ時代にマッチしたキャリア（＝仕事人生）の築き方を探究する」、これが当授業の目的である。
故に、みなさんには、文字が本格的に人類に普及する前の「声の文化」の特徴、現代の「文字の文化の特徴」、そしてこれから到来する「第二次声の文化」の特徴を十分に理解してもらいたい。なぜなら、「第二次声の文化」はＡＩなくして成り立たない時代だからである。
そして、「第二次声の文化」で必要な思考や行動様式を提示し、その中でも特に重要な「問題を探す力」「構想する力」「意味づける力」について、いろいろな角度から探求していく機会を提供していくことになる。その探求していく機会の中には、ヒューマンスキルが含まれているので、実践的である。
また当授業は、講師との対話を中心に進められるので、講師と対話している学生以外の学生は二人の対話内容を「自分の学び」に資することが求められる。
最後に、2023年から「人的資本の開示」が上場企業に義務付けられ、企業の「ありたい姿」を実現するための人材育成方針が各企業から公開される。この目的は「従業員エンゲージメントを高める」ためである。就職の際に重要な指標となるので、関係する情報を授業で示していきたい。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、この授業を履修することによって、
（１）ＡＩ時代に役立つキャリアデザインの方法、必要な知識とスキルを示すことができ、
（２）学んだことの学生生活への応用、経験した学生生活の就活への関係づけができ、
（３）人生百年時代を生き抜く「自分と組織」の変革が可能となります。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的３の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
小テスト 30%
授業中課題 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

授業中課題について：次回以降に模範例をスライドで示します。
小テストについて：次回以降に模範解答をスライドで示します。

■教科書

適時プリント等を配布する。

■参考文献

【留意事項】適宜授業時に紹介。

■関連科目

特になし。

■授業評価アンケート実施方法

生物理工学部実施規定に準拠しています。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）。hnakamur@silver.ocn.ne.jp

■オフィスアワー

月曜日3限。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　キャリアデザインとは

予習内容：ＡＩ時代とはどのような時代だと考えるか。
予習時間：5分
復習内容：各文化の特徴。
復習時間：5分
・この授業の概要と成績評価方法
・キャリアをデザインする方法を学ぶのは何のため？　誰のため？
・声の文化から文字の文化そして第二次声の文化へ
・声の文化で求められる人物像はどんな感じだろう？
・文字の文化で求められる人物像はどんな感じだろう？
・第二次声の文化で求められる人物像はどんな感じだろう？

第2回　「見える化」の探究

予習内容：感覚的と意識的の違い。
予習時間：5分
復習内容：見える化の必要性と見える化に必要なスキル。
復習時間：5分
・見える化とは何か？　その必要性。
・キャリアデザインとは「あなたの見える化」
・アート思考とは？

第3回　「問題」の探究

予習内容：身近な問題の事例をメモしておく。
予習時間：5分
復習内容：目的、目標、問題、課題の違いを整理。
復習時間：5分
・問題とは何か？　いったい何が問題なのかよくわからない、これが大問題。
・問題と課題の違い、目的と目標の違い。
・問題の見える化に必要なスキルとは？

第4回　「構想（ありたい姿）」の探究Ⅰ

予習内容：描写と表現の違いとは？
予習時間：5分
復習内容：主観と客観の違いとは？
復習時間：5分
・構想（ありたい姿）とは何か？
・構想（ありたい姿）を描くために必要な視点とは何か？
・構想（ありたい姿）を描くために必要なスキルとは？

第5回　「構想（ありたい姿）」の探究Ⅱ

予習内容：あなたを一言で言うとどういう表現になる？
予習時間：5分
復習内容：あなたを一言で言うとどういう表現になる？
復習時間：5分
・自分のありたい姿を描くために自分を知る。
・あなたの「興味の方向性、キャリア・アンカー、遺伝的気質」は？
・あなたのありたい姿とアート思考。

第6回　「構想（ありたい姿）」の探究Ⅲ

予習内容：志望動機はなぜ必要なのか？
予習時間：5分
復習内容：学生時代に何をしておく方がよいと言えるか？
復習時間：5分
・企業への志望動機と構想（ありたい姿）の関係。
・人材育成のＧＲＯＷモデルと優秀な人材採用を見分けるＳＴＡＲモデル。
・学生時代に何をしておくべきか？

第7回　第１回小テスト

予習内容：前回までの授業内容の理解。
予習時間：60分
復習内容：小テストの後に示す予定の回答例を参考に改善を図ること。回答例を示すのは次回以降になる可能性もある。
復習時間：30分
・これまでの範囲の理解度テスト。
・資料などを一切持ち込みできない。

第8回　「意味づけ」の探究Ⅰ

予習内容：あなたはどのようなストーリーが好き？　その理由は？
予習時間：5分
復習内容：キャリアをデザインするとはどういうことか？
復習時間：5分
・キャリア構築理論とは何か？
・意味づけは後づけ？
・統合と関係づけ。

第9回　「意味づけ」の探究Ⅱ

予習内容：あなたはなぜ今の学科で学んでいるのか？
予習時間：5分
復習内容：今の学科の学びとあなたのありたい姿の意味づけとは？
復習時間：5分
・ビジネスシーンでの意味づけと統合。
・「愉しく仕事をする」コツは、意味づけに成功すること。

第10回　「ＡＩ時代を生き抜くコミュニケーションスキル」の探究Ⅰ

予習内容：聞くと聴くの違いを考えておく。
予習時間：5分
復習内容：聞くと聴くの違いを言える、実践できる。
復習時間：5分
・とんでもなくすごい傾聴スキルを学ぶ。
・これで社会に出ても、人間関係は大丈夫。

第11回　「ＡＩ時代を生き抜くコミュニケーションスキル」の探究Ⅱ

予習内容：傾聴の目的とは？
予習時間：5分
復習内容：共感の方法とは？
復習時間：5分
・世界のエリートが目指す「オーセンティック・リーダーシップ」とは？
・共感力をアップしよう！

第12回　「ＡＩ時代を生き抜くコミュニケーションスキル」の探究Ⅲ

予習内容：日本はハイコンテクスト文化？　ローコンテクスト文化？
予習時間：5分
復習内容：アサーティブなコミュニケーションが必要な理由とは？
復習時間：5分
・アサーティブなコミュニケーションで、愉しく仕事を進め、生産性アップ。
・ハイコンテクストとローコンテクストの文化の違いとは？

第13回　「コーチング」の探究

予習内容：ＧＲＯＷモデルとは？
予習時間：5分
復習内容：コーチングアップの方法を語れるか？
復習時間：5分

・コーチングされる若いみなさんが、コーチングを学ぶ意味とは？
・上司の考え方を変えることは無理なのか？

第14回　「セクハラ・パワハラ」の探究

予習内容：あなたの現在のセクハラとパワハラの基準は？
予習時間：5分
復習内容：セクハラ、パワハラとは？
復習時間：5分
・多くの人が誤解しているセクハラ、パワハラの基準とは？
・セクハラやパワハラはアサーティブなコミュニケーションで！

第15回　第２回小テスト

予習内容：第８回小テストから前回までの授業内容の理解。
予習時間：60分
復習内容：小テストの後に示す予定の回答例を参考に改善を図ること。
復習時間：30分
・第１回小テストから前回までが範囲の理解度テスト。
・資料などを一切持ち込みできない。

定期試験

①授業で話したこと。
②授業中考えたこと
③授業で黒板に書いたこと
④授業で配布した資料。
が範囲。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**キャリアのための情報リテラシー**						
英文名　：	Information Literacy for Careers						
担当者　：	一野　天利・河本　敬子・堀端　章						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：	令和5年度入学生対象科目						

■授業概要

情報リテラシーとは正しく情報を読み解くことであり、また自ら正しく情報を発信することであり、数字は、共通の理解を得るための言葉である。しかし、私たちが日々接する情報やデータ、数字には、あえて誤解をさせるような表現がとられていたり、意図的に不適切な処理が行われていたりすることがある。本講義では、世の中の様々な場所で見られる数字を正しく理解するために、データの取り扱い方を学び、データを正しく読み解く方法を考える。また、雑誌の記事や広告などを教材として、グループワークを通じ、データを正しく読み解く演習を行う。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、この講義を履修することによって、
（1）正しいデータの取り扱い方
（2）不適切なデータ処理に気がつく能力
（3）グループワークを通じて、その結果をまとめ、発表する能力
を得ることができる。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的3の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

ディスカッション 30%
グループワーク 30%
プレゼンテーション 40%

■試験・課題に対するフィードバック方法

演習内において講評する。

■教科書

講義時に必要な資料を配付するほか、自習用の動画を提供する。

■参考文献

[ISBN]9784826901635 『あやしい統計フィールドガイド―ニュースのウソの見抜き方』 (ジョエル ベスト, 白揚社：2011)
[ISBN]9784478110348 『グラフのウソを見破る技術 マイアミ大学ビジュアル・ジャーナリズム講座』 (アルベルト・カイロ, ダイヤモンド社：2020)

■関連科目

基礎ゼミ、情報処理基礎Ⅰ

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して実施する。

■研究室・メールアドレス

（代表）一野研究室（1号館2階210号室）・ichino@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

（代表）一野天利、金曜2限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

3日間の集中講義となります。
予習内容：社会生活のなかで使われるさまざまなデータを収集・整理し、その特徴を理解しておく。
予習時間：360分
復習内容：ディスカッションの内容をふまえて、自己の意見・考えを言葉で伝えられるように整理しておく。
復習時間：180分

第1回 ガイダンス（授業形式：講義）

第2回 数字の意味（授業形式：講義）

第3回 数字の取り扱い方：データの属性（授業形式：講義）

第4回 フィールドワーク1（授業形式：実習）

第5回 データを代表する値：平均値、最頻値、中央値（授業形式：講義）

第6回 ディスカッション1（授業形式：演習）

第7回 データのばらつきの意味：分散、標準偏差（授業形式：講義）

第8回 正しいデータの読み取り方（授業形式：講義）

第9回 フィールドワーク2（授業形式：実習）

第10回 ディスカッション2（授業形式：演習）

第11回 ショートプレゼンテーション（授業形式：演習）

第12回 プレゼンテーションの準備およびガイダンス（授業形式：講義、演習）

第13回 社会生活における数字（授業形式：講義）

第14回 プレゼンテーション資料作成（授業形式：演習）

第15回 プレゼンテーション（授業形式：演習）

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**スクールインターンシップ**						
英文名 ：	School Internship						
担当者 ：	小田　義隆・松本　圭朗						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	1単位	開講年次：	3年次	開講期：	集中	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考 ：							

■授業概要

本科目は主に教職課程を履修する3年生と4年生を対象とするもので、本学部に協力してくださる公立の小中学校及び高等学校における、教職業務についての研修体験を通して学ぶことを目的としています。4年次で履修する「教育実習」では、教科指導（授業実習）に重点が置かれるのに対して、「スクール・インターンシップ」は、授業補助や児童・生徒との交流などに重点を置きながら、教職業務全般について経験することをねらいとしています。研修Ⅰ（事前研修、4時間）で、今日の教育課題、教員の職務と校務分掌等（下記、「授業計画の項目・内容」）について学んだ後に、本学部に近接する地域の公立学校で30時間以上の研修Ⅱ（実地研修）を行い、終了後、研修Ⅲ（事後研修、2時間）で、研修体験について報告・交流し、教職の意義、課題等について認識を深めます。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

PBL（課題解決学習）・フィールドワーク・実験・実習科目

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

教科指導に重点を置く教育実習と違い、児童・生徒の理解と指導に重点を置きながら教職全般について経験することによって、教職に対する理解を深めることを学習・教育目標とします。また、研修体験を通して、履修生が自ら課題を見出し、それぞれが独自に到達目標を設定することも求められます。教師を志望する学生には、非常に有意義な実地研修です。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的３の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

授業中課題 50%
研修校での評価 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

スクール・インターンシップ反省会において、試験の要点について解説します。

■教科書

[ISBN]なし　『スクール・インターンシップBOOK 2021』（渡部容子・小田義隆、山本美術印刷：2021）

■参考文献

[ISBN]9784779510489 『学校インターンシップの科学』 (田島充士, ナカニシヤ出版：2016)
[ISBN]9784093965460 『校則なくした中学校 たったひとつの校長ルール: 定期テストも制服も、いじめも不登校もない!笑顔あふれる学び舎はこうしてつくられた』 (西郷 孝彦, 小学館：2019)
[ISBN]9784761925642 『学校の時間対効果を見直す! ―エビデンスで効果が上がる16の教育事例』 (森 俊郎, 学事出版：2019)
[ISBN]9784761925659 『学校をおもしろくする思考法―卓越した企業の失敗と成功に学ぶ』 (妹尾 昌俊, 学事出版：2019)
[ISBN]9784865605167 『こうすれば、学校は変わる! 「忙しいのは当たり前」への挑戦』 (妹尾昌俊, 教育開発研究所：2019)
[ISBN]9784865605051 『学習指導要領の読み方・活かし方-学習指導要領を「使いこなす」ための8章』 (合田哲雄, 教育開発研究所：2019)

■関連科目

教職に関する全科目

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

小田研究室（2号館5階509室）・oda@waka.kindai.ac.jp
松本研究室（2号館5階507室）

■オフィスアワー

小田・木曜４限
松本・水曜４限
事前にメールにてアポイントメントをとってください。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　はじめに「実習の心得」(授業形式：講義)

予習内容：実習を行うことに関する心得を図書館等の書籍を読み理解を深めておく。
予習時間：60分
復習内容：実習を行うことに関して理解したことに関する振り返りを行う。
復習時間：60分

第2回　教員の服務(授業形式：講義)

予習内容：教師の服務に関する事項を図書館等の書籍を読み理解を深めておく。
予習時間：60分
復習内容：教師の服務に関して理解したことに対する振り返りを行う。
復習時間：60分

第3回　教師の役割と仕事(授業形式：演習)

予習内容：教師の役割に関する事項を図書館等の書籍を読み理解を深めておく。
予習時間：60分
復習内容：教師の役割ついて理解したことに関する振り返りを行う。
復習時間：60分

第4回　教師の職務と校務分掌(授業形式：演習)

予習内容：教師の職務や校務分掌等に関する事項を図書館等の書籍を読み理解を深めておく。
予習時間：60分
復習内容：教師の職務や校務分掌等について理解したことに関する振り返りを行う。
復習時間：60分

第5回　学級経営と学校経営(授業形式：演習)

予習内容：学校･学級経営に関する事項を図書館等の書籍を読み理解を深めておく。
予習時間：60分
復習内容：学校･学級経営について理解したことに関する振り返りを行う。
復習時間：60分

第6回　教師の勤務実態(授業形式：演習)

予習内容：教師の勤務実態に関する事項を図書館等の書籍を読み理解を深めておく。
予習時間：60分
復習内容：教師の勤務実態について理解したことに関する振り返りを行う。
復習時間：60分

第7回　教師の悩みと不満(授業形式：演習)

予習内容：教師の悩みに関する事項を図書館等の書籍を読み理解を深めておく。
予習時間：60分
復習内容：教師の悩みについて理解したことに関する振り返りを行う。
復習時間：60分

第8回　学校の人間関係(授業形式：演習)

予習内容：学校の人間関係に関する事項を図書館等の書籍を読み理解を深めておく。
予習時間：60分
復習内容：学校の人間関係について理解したことに関する振り返りを行う。

復習時間：60分

第9回　教師の資質・能力(授業形式：演習)

予習内容：教師の資質･能力に関する事項を図書館等の書籍を読み理解を深めておく。
予習時間：60分
復習内容：教師の資質･能力について理解したことに関する振り返りを行う。
復習時間：60分

第10回　教師を支える学校事務職員(授業形式：演習)

予習内容：学校事務職員に関する事項を図書館等の書籍を読み理解を深めておく。
予習時間：60分
復習内容：学校事務職員について理解したことに関する振り返りを行う。
復習時間：60分

第11回　今日の教育課題(授業形式：演習)

予習内容：現代的な教育課題に関する事項を図書館等の書籍を読み理解を深めておく。
予習時間：60分
復習内容：現代的な教育課題について理解したことに関する振り返りを行う。
復習時間：60分

第12回　スクール・インターンシップを終えて(授業形式：講義)

予習内容：スクールインターンシップでの体験をまとめておくこと。
予習時間：60分
復習内容：他のメンバーとのディスカッションを踏まえて教職とは何かを振り返る。
復習時間：60分

第13回　研修で経験した困難について(授業形式：講義)

予習内容：インターンシップにおいて体験した困難をまとめておくこと。
予習時間：60分
復習内容：他のメンバーの困難等も検討し今日の教職の困難な部分を振り返る。
復習時間：60分

第14回　学校（教師・生徒）における研修の意義(授業形式：講義)

予習内容：教師の研修に関する事項を図書館等の書籍を読み理解を深めておく。
予習時間：60分
復習内容：教師の研修に関して理解したことを振り返る。
復習時間：60分

第15回　教職をめざして　今後の学習課題(授業形式：講義)

予習内容：スクールインターンシップを通して自らの今後の課題をまとめておく。
予習時間：60分
復習内容：他のメンバーの教職に関する課題を知った上で、各自の教職への課題を振り返り、まとめておく。
復習時間：60分

■ホームページ

■実践的な教育内容

学外でのインターンシップや実習、研修を授業の一環として位置付けている授業

科目名 ：	**データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】**						
英文名 ：	Introduction to Data Literacy						
担当者 ：	山本　衛						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考 ：							

■授業概要

本科目では、来るデータ駆動型社会に向けて進展が期待されているDS（Data Science，データ科学）とAI（Artificial Intelligence，人工知能）に関する基礎的な知識と技能を修得するための授業を実施する。授業では、まず、DSやAIの現状について紹介する。次に、それらを活用するために理解しておくべき概念や方法について説明する。そして、データを適正に利用するために留意すべき点について説明する。最後に、データの取り扱いについて説明するとともに、実際にツールを使った演習を行う。本科目の授業資料は、担当教員とは別の教員が作成している。各回のタイトル欄に作成者を記載する。

【履修の前提条件】
本科目の履修には、下記のスキルが必要となる。パソコン操作に不慣れな学生は、他の基礎科目で十分なスキルを獲得した上で履修すること。オンデマンド授業のためPC操作のサポートは受けられない。
・ファイル名の変更・アップロード・ダウンロードがスムーズに行える。
・ファイルの拡張子について熟知している。
・圧縮ファイルを適切に解凍できる。
・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）で関数を挿入できる。
・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）でシート操作ができる。

【諸注意】
・授業の出席方法等のルールは、必ずKICSオンデマンド授業マニュアルを確認すること。
・指定された期日までに授業動画を視聴し、かつ確認テストに満点合格すること。授業動画の視聴と確認テストを満点合格することなく、別途出題される課題を提出あるいはテストを実施した場合は、その回の課題あるいはテストの点数は0点とする。
・各授業の課題提出期限はClassroomで指示する。
・第1回、第3回から第9回までの授業で「KBマップ」というアプリを使用する。クラスルーム掲示の資料で利用方法を確認し、開講後1週間以内にログインできることを確認すること。
・第2回と第10回の授業の復習として、Zoomによる他学部と合同のオンラインディスカッションの機会を提供する。

■授業形態

メディア授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本科目の到達目標は次のとおりである。
[1] DSやAIの現状、概念、方法について必要事項を知っている。
[2] データの取り扱いについて必要事項を知っている。
[3] データの留意点について必要事項を知っている。
ディプロマ・ポリシーとの関連については、各学部の履修要項等で確認すること。

■成績評価方法および基準

KBマップ課題（第1回、第3回～第8回） 30%
KBマップ課題＋テスト（第9回） 20%
練習課題＋演習課題（第10回–第15回） 40%

グループディスカッション（第2回授業時間外、第10回授業時間外） 10%

■試験・課題に対するフィードバック方法

第1回、第3回～第9回課題はKBマップのフィードバック機能によりフィードバックする。
第11回～第15回課題は、誤りが多かった事項について授業期間終了後にClassroomにコメントを掲載する。
グループディスカッションは、課題として提出されたアンケート内容を取りまとめたレポートを開示する。

■教科書

教科書はなし。適宜授業資料を配布する。

■参考文献

[ISBN]9784065238097 『教養としてのデータサイエンス (データサイエンス入門シリーズ)』 (北川 源四郎, 講談社 : 2021)

■関連科目

各学部のデータサイエンスあるいはAIを取り扱った科目

■授業評価アンケート実施方法

学部の定めるとおり実施する。

■研究室・メールアドレス

nttls_21@kindai.ac.jp

■オフィスアワー

別途Zoomによる質問対応時間を設ける（詳細はClassroomに掲示）。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 データ駆動型社会（担当：山元　翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業計画、KICSオンデマンド受講案内、Classroomの資料をすべて読み込むこと。
予習時間：90分
復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。
復習時間：180分
・IoT、ビッグデータ、AI、ロボット，仮想現実（VR）、拡張現実（AR）
・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会
・現代社会におけるデータ科学（DS）と人工知能（AI）への期待と課題
・人間の知的活動とAIの関係性

第2回 DS・AI活用社会（担当：山元　翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第1回授業の内容、難易度を踏まえ、受講計画を作成すること（毎週同じ時間帯に学習時間を確保することを推奨する）。
予習時間：60分
復習内容：第2回の授業内容に関係するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題、事後課題あり）。
復習時間：180分
・データ・AIの活用領域
・データ・AI利活用の現場

第3回 DS・AI利活用（担当：山元　翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第3回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。
復習時間：180分
・データ・AI利活用の最新動向
・人工知能、データ科学のビジネス機会
・人工知能、データ科学の社会的課題
・データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方

第4回 様々なデータ表現（担当：山元　翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第4回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。
復習時間：180分
・2進数，16進数

・数値，文字，画像，音声
・社会で活用されているデータ
・1次データ、2次データ、メタデータ，アノテーション
・構造化データ、非構造化データ
・オープンデータ

第5回　データの利活用と注意（担当：山元　翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第5回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。
復習時間：180分
・データ・AI利活用のための技術
・データサイエンスのサイクル
・個人の不健全な状況の回避：ネット依存症、ゲーム中毒、テクノストレス等
・被害者・加害者にならないための知識、なったときの対応、誹謗中傷・炎上、ネットいじめ
・適切な対象が適切に情報を取得できること：情報格差、アクセシビリティ
・プライバシー

第6回　社会におけるデータの取り扱い - 個々人の注意 -（担当：山元　翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第6回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。
復習時間：120分
・情報の信頼性の判断、デマ・流言、メディアリテラシー
・社会としての危機管理：システムダウンによる影響範囲の把握と対応
・ELSI（Ethical, Legal and Social Issues）
・データ・AI活用における負の事例紹介
・データ倫理：データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護
・AI社会原則（公平性、説明責任、透明性、人間中心の判断）
・データバイアス、アルゴリズムバイアス
・AIサービスの責任論

第7回　社会におけるデータの取り扱い - 社会全体の注意 -（担当：山元　翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第7回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。
復習時間：120分
・知的財産権：著作権と産業財産権，著作権、創作とライセンス表示、国際化（ベルヌ条約）
・肖像権・パブリシティ権
・個人情報保護：個人情報（個人識別符号の説明を含む）、匿名加工情報、自己情報コントロール権、OECD プライバシーガイドライン、EU 法（保護規則）と忘れられる権利，オプトアウト

第8回　データを守る上での留意事項（担当：山元　翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第8回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。
復習時間：120分
・情報セキュリティ：機密性、完全性、可用性
・匿名加工情報、暗号化、パスワード、悪意ある情報搾取
・情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介

第9回　AI・データ利活用の基礎知識（テスト課題）（担当：山元　翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第1回から第8回までの授業内容を復習し、未提出のKBマップ課題があればすべて完成して提出しておくこと。
予習時間：120分
復習内容：理解が不十分だった学習項目について確認しておくこと。
復習時間：90分
これまでの内容を踏まえて、今後DSの考え方に基づきAIを利活用する上での基礎知識が身についたかを確認するテストを実施する

第10回　データを集める（担当：溝渕　昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Excel、スプレッドシートの基本操作を確認しておくこと。第10回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分
復習内容：第10回の授業内容に関係するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題・事後課題あり）。
復習時間：180分
・データの種類（量的変数、質的変数）
・母集団と標本抽出（国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出）
・観測データに含まれる誤差の扱い
・打ち切りや脱落を含むデータ

第11回 データを扱う（担当：溝渕　昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第11回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。
予習時間：60分
復習内容：Classroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと）。
復習時間：180分
・データ解析ツール（スプレッドシート）
・表形式のデータ（CSV）

第12回 データを操る（担当：溝渕　昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第12回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。
予習時間：60分
復習内容：Classroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと）。
復習時間：180分
・データの集計（和）
・データの並び替え、ランキング

第13回 データを見る（担当：溝渕　昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第13回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。
予習時間：60分
復習内容：Classroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと）。
復習時間：180分
・データ表現（棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ）
・データの図表表現（チャート化）
・不適切なグラフ表現（チャートジャンク、不必要な視覚的要素）
・統計情報の正しい理解（誇張表現に惑わされない）
・優れた可視化事例の紹介（可視化することによって新たな気づきがあった事例など）

第14回 データを読む（担当：溝渕　昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第14回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。
予習時間：60分
復習内容：Classroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと）。
復習時間：180分
・データの分布(ヒストグラム)
・層別の必要なデータ
・代表値（平均値、中央値、最頻値）
・代表値の性質の違い（実社会では平均値＝最頻値でないことが多い）
・データのばらつき（分散、標準偏差、偏差値）
・データの集計（平均）

第15回 データを読み解く（担当：溝渕　昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第15回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。
予習時間：60分
復習内容：Classroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと）。
復習時間：180分
・相関と因果（相関係数、擬似相関、交絡）
・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列
・データの比較（条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト)

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**科学技術と人間・社会**						
英文名　：	Science Technology, Human and Society						
担当者　：	久保田　均						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】木曜2限						

■授業概要

［授業概要］
　現在はビッグデータ、ＩＯＴ、ＡＩ、ロボットなど第４次情報革命の最中と言われており、それらは専門にかかわらず知っておく必要がある。本科目においては、それらの項目を追加してより広く技術者倫理として学習する。関連科目としては前期の「科学倫理」があるが、ほとんど同じ内容なので技術者倫理を学ぼうとすればどちらかを選択すればよい。

［授業方法］
　技術者倫理の基本項目である、「情報」「安心と安全」「予防原則」「エネルギーと環境」を学習する。その上で、ビッグデータ、ＩＯＴ、ＡＩ、ロボットの基礎的学習を行い、より広く技術者倫理を学習する。
　授業としては小論文作成、発表を重視しており各章の最後には、受講生による事例と演習の発表を行い、「考える力」「まとめる力」発表する力」を養う。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

　技術者倫理の基礎知識を習得し、最近のビッグデータ、ＩＯＴ、ＡＩ、ロボットなどの分野を学習する。その中で、最近話題のテーマの事例を含めて小レポートをＰＰ形式で作成、発表し、受講者に「考える力」「まとめる力」「発表する力」を養ってもらう。この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的３の達成に関与している。

■成績評価方法および基準

授業態度、授業中の演習、レポート作成、および、発表 50%
定期試験 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

各章の終わりに、事例と演習を実施する。
発表はＰＰ形式で行い、他の発表者の内容・批評を参考に最終的にレポートを作成する。

■教科書

[ISBN]なし『科学技術と人間社会講義ノート』（久保田　均著）
＊入手方法については、講義開始時にいいます。

■参考文献

[ISBN]なし『科学倫理講義ノート』（久保田　均著）

■関連科目

科学倫理

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）kubota@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

授業の前後の休憩時間。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　ガイダンス（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
・目指す技術者と技術者倫理
・学習の仕方と成績評価方法

第2回　情報（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
知的財産権と特許

第3回　情報（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
特許の書き方演習

第4回　情報（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
内部告発、警笛慣らし：スペースシャトルチャレンジャー事故

第5回　情報（授業形式：演習）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
事例と演習１

第6回　安心・安全（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
・日常の安全活動
・製造物責任
・製品安全

第7回　安心・安全（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
・リスクアセスメント（ＲＡ）
・ＦＭＥＡ
・ＦＴＡ

第8回　安心・安全（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
予防原則：遺伝子組み換え食品に関するタクミさんとユミさんの議論を通して予防原則を学ぶ。

第9回　安心・安全（授業形式：演習）

予習内容：なし

復習内容：講義の理解
復習時間：30分
事例と演習２

第10回　エネルギーと環境（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
我が国のエネルギーの現状と課題

第11回　エネルギーと環境（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
・循環型社会
・インバースマニュファクチャリング
・パリ議定書（京都議定書）
・複写機メーカの事例

第12回　エネルギーと環境（授業形式：演習）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
事例と演習３

第13回　ビッグデータと人工知能（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
・ビッグデータ・ＩＯＴの仕組みを理解し、メリット、デメリットとともにガバナンス上の課題を把握する。
・機械学習、ニューラルネットワーク発展の歴史、代表的手法、応用事例を概説する。

第14回　ビッグデータと人工知能（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
・ディープラーニングの発展の歴史、代表的手法、応用事例を概説する。
・ロボット機械技術を使った能力、肉体改造の概説。

第15回　人工知能・ロボット（授業形式：演習）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
事例と演習４

定期試験

・講義の内容の理解度の確認

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 ：	**科学技術と人間・社会**						
英文名 ：	Science Technology, Human and Society						
担当者 ：	久保田　均						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】木曜1限						

■授業概要

［授業概要］
　現在はビッグデータ、ＩＯＴ、ＡＩ、ロボットなど第４次情報革命の最中と言われており、それらは専門にかかわらず知っておく必要がある。本科目においては、それらの項目を追加してより広く技術者倫理として学習する。関連科目としては前期の「科学倫理」があるが、ほとんど同じ内容なので技術者倫理を学ぼうとすればどちらかを選択すればよい。

［授業方法］
　技術者倫理の基本項目である、「情報」「安心と安全」「予防原則」「エネルギーと環境」を学習する。その上で、ビッグデータ、ＩＯＴ、ＡＩ、ロボットの基礎的学習も行い、より広く技術者倫理を学習する。
　授業形態としては小論文作成、発表を重視しており各章の最後には、受講生による事例と演習の発表を行い、「考える力」「まとめる力」発表する力」を養う。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

　技術者倫理の基礎知識を習得し、最近のビッグデータ、ＩＯＴ、ＡＩ、ロボットなどの分野も学習する。その中で、最近話題のテーマの事例を含めて小レポートをＰＰ形式で作成、発表し、受講者に「考える力」「まとめる力」「発表する力」を養ってもらう。この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的３の達成に関与している。

■成績評価方法および基準

授業態度、授業中の演習、レポート作成、および、発表 50%
定期試験 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

各章の終わりに、事例と演習を実施する。
発表はＰＰ形式で行い、他の発表者の内容・批評を参考に最終的にレポートを作成する。

■教科書

[ISBN]なし『科学技術と人間社会講義ノート』（久保田　均著）
＊入手方法については、講義開始時にいいます。

■参考文献

[ISBN]なし『科学倫理講義ノート』（久保田　均著）

■関連科目

科学倫理

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）kubota@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

授業の前後の休憩時間。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　ガイダンス（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
・目指す技術者と技術者倫理
・学習の仕方と成績評価方法

第2回　情報（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
知的財産権と特許

第3回　情報（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
特許の書き方演習

第4回　情報（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
内部告発、警笛慣らし：スペースシャトルチャレンジャー事故

第5回　情報（授業形式：演習）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
事例と演習１

第6回　安心・安全（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
・日常の安全活動
・製造物責任
・製品安全

第7回　安心・安全（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
・リスクアセスメント（ＲＡ）
・ＦＭＥＡ
・ＦＴＡ

第8回　安心・安全（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
予防原則：遺伝子組み換え食品に関するタクミさんとユミさんの議論を通して予防原則を学ぶ。

第9回　安心・安全（授業形式：演習）

予習内容：なし

復習内容：講義の理解
復習時間：30分
事例と演習２

第10回　エネルギーと環境（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
我が国のエネルギーの現状と課題

第11回　エネルギーと環境（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
・循環型社会
・インバースマニュファクチャリング
・パリ議定書（京都議定書）
・複写機メーカの事例

第12回　エネルギーと環境（授業形式：演習）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
事例と演習３（演習）

第13回　ビッグデータと人工知能（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
・ビッグデータ・ＩＯＴの仕組みを理解し、メリット、デメリットとともにガバナンス上の課題を把握する。
・機械学習、ニューラルネットワーク発展の歴史、代表的手法、応用事例を概説する。

第14回　ビッグデータと人工知能（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
・ディープラーニングの発展の歴史、代表的手法、応用事例を概説する。
・ロボット機械技術を使った能力、肉体改造の概説。

第15回　人工知能・ロボット（授業形式：演習）

予習内容：なし
復習内容：講義の理解
復習時間：30分
事例と演習４

定期試験

・講義の内容の理解度の確認

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**科学的問題解決法【KICSオンデマンド科目】**						
英文名　：	Scientific Problem Solving						
担当者　：	芳原　新也						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	集中	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：	令和5年度入学生対象科目						

■授業概要

日常における様々な行為は、広義において問題解決プロセスの履行であると捉えることが出来る。問題解決プロセスにおいて、対象事象及び対象行為に対する5W1Hを明確にすることは欠かせない要件であり、明確にした情報を基にどの様な解決プロセス・交渉プロセスを設計するかが問題解決の一番のキーポイントであると言える。本講義では、問題解決に係り必要な基本思想から手法までを学習することを目的とする。

この授業はコンテンツ作成者 芳原新也 が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

■授業形態

メディア授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

問題解決及び交渉実施に必要な論理的思考の習得を目標とする。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的3の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

中間レポート課題 30%
ディスカッション参加 30%
期末試験（レポート課題） 40%

■試験・課題に対するフィードバック方法

Google Classroomにおける質問・回答により行う。

■教科書

[ISBN]9784761271619 『アウトプットの精度を爆発的に高める「思考の整理」全技術』 (生方 正也, かんき出版：2016)

■参考文献

[ISBN]9784772414388 『ヒルガードの心理学 第16版』（S. ノーレンホークセマ 他著：2015）
[ISBN]9784569659367 『プロ弁護士の思考術 (PHP新書)』 (矢部 正秋, PHP研究所：2007)
[ISBN]9784798122755 『エンジニアのための図解思考 再入門講座 情報の“本質"を理解するための実践テクニック』 (開米 瑞浩, 翔泳社：2010)

■関連科目

なし

■授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■研究室・メールアドレス

22号館3階　芳原准教授室

061565@kindai.ac.jp

■オフィスアワー

月・金　2時間目
訪問する場合は、E-mailであらかじめ連絡すること。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　問題の解決（授業形式：講義および演習）

予習内容：事前に「問題」の定義について調査する。
予習時間：120分
復習内容：「問題の解決手順」について身近な事例で考察する。
復習時間：60分
・「問題」とは何かを理解する
・「設定した理想」と「認識した現状」がどういったものであるかを理解する。
・　問題を解決する手順について理解する

第2回　状況の分析（授業形式：講義および演習）

予習内容：「分析」行為を具体的な行動要素に分割して整理する。
予習時間：120分
復習内容：心象の形成についてについて身近な事例で考察する。
復習時間：60分
・状況の分析をするための視点について理解する。
・事象を心象（イメージ）に変換する過程について理解する。
・トップダウン処理とボトムアップ処理について理解する。

第3回　解決案の選択（授業形式：講義および演習）

予習内容：解決案の提案手順について調査する。
予習時間：120分
復習内容：問題解決案の提案を身近な事例で実施し考察する。
復習時間：60分
・問題解決案の提案前に行う準備作業について理解する。
・問題解決案の選択手順について理解する。
・解決案を発案などを行う際の様々な制約について考える。

第4回　様々な思考の偏り（授業形式：講義および演習）

予習内容：認知バイアスについて調査する。
予習時間：120分
復習内容：自身の持つ認知バイアスについて考察する。
復習時間：60分
・「仮説の検証」の手順について理解する
・認知バイアスについて理解する。
・発想・思考の偏りによるトラブルについて考える。

第5回　業務における問題解決（授業形式：講義および演習）

予習内容：「業務」の定義を調査する。
予習時間：120分
復習内容：問題解決に係る行動のプロセスを階層構造を身近な例で考察分析する。
復習時間：60分
・問題解決に係る行動のプロセスを階層構造で捉えなおす。
・業務の分類について理解する。
・「当事者意識」と業務の精度との関係について理解する。

第6回　交渉による状況変更（授業形式：講義および演習）

予習内容：交渉の手順について調査する。
予習時間：120分
復習内容：交渉のポイントについて、身近な例で分析・考察する。
復習時間：60分
・交渉を行う目的について理解する。
・交渉の手続きについて理解する。
・交渉を行う際のポイントを理解する。

第7回　洗脳による状況変更（授業形式：講義および演習）

予習内容：洗脳について調査する。
予習時間：120分
復習内容：強化と罰について身近な例で考察する。
復習時間：60分
・洗脳の目的と効果を理解する。
・洗脳の手順について理解する。
・「強化と罰」の概念とその効果について理解する。

第8回　欲求とストレス（授業形式：講義および演習）

予習内容：欲求とストレスについて調査する。
予習時間：120分
復習内容：ストレスと欲求の管理について身近な例で考察する。
復習時間：60分
・ストレスの発生と防衛機制について理解する。
・欲求の概念について理解する。
・ストレスと欲求の管理について考える。

第9回　感情の活用（授業形式：講義および演習）

予習内容：感情について調査する。
予習時間：120分
復習内容：感情に紐づいた行動について身近な例で考察する。
復習時間：60分
・感情の発生機構について理解する。
・感情に紐づけられた動作について理解する。
・感情及び感情動作の制御について考える。

第10回　印象の活用（授業形式：講義および演習）

予習内容：印象の形成について調査する。
予習時間：120分
復習内容：印象の活用について、身近な例で考察する。
復習時間：60分
・印象の形成過程について理解する。
・ステレオタイプの影響について理解する。
・印象の活用例について知る。

第11回　時間とタスクの管理（授業形式：講義および演習）

予習内容：時間管理について調査する。
予習時間：120分
復習内容：時間とタスクの管理について、身近な例で考察する。
復習時間：60分
・作業の分割方法について理解する。
・時間の認知及び管理について理解する。
・作業管理と時間管理を統合して行う際の手順について理解する。

第12回　優先順位付け（授業形式：講義および演習）

予習内容：優先順位付けについて調査する。
予習時間：120分
復習内容：自身の優先度の設定について考察する。
復習時間：60分
・優先順位について理解する。
・優先順位の設定に対して影響のある事項について理解する。
・優先度の設定について考える。

第13回　環境の整備（授業形式：講義および演習）

予習内容：環境が人に及ぼす影響について調査する。
予習時間：120分
復習内容：環境の整備について身近な例で考察する。
復習時間：60分
・人間の意識について理解する。
・意識に対する環境の影響について理解する。
・環境の整備について考える。

第14回　リスク管理と危機管理（授業形式：講義および演習）

予習内容：リスク管理、危機管理にるいて調査する。
予習時間：120分
復習内容：適切なリスク管理・危機管理について身近な例で考察する。
復習時間：60分
・リスク管理と危機管理の関係について理解する。
・リスク管理について理解する。
・危機管理について理解する。

第15回　金銭と資産（授業形式：講義および演習）

予習内容：資産について調査する。
予習時間：120分
復習内容：資産形成について身近な例で考察する。
復習時間：60分
・社会活動と金銭との関係について理解する。
・資産と財産について理解する。
・資産等の運用について考える。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 ：	**基礎ゼミ**						
英文名 ：	Foundation Seminar						
担当者 ：	芦田　久						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期，通年	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考 ：	食品安全工学科開講科目						

■授業概要

この授業は、新入生の皆さんが自主性や主体性を身に付け、大学で学ぶこと、研究することの楽しさを体験するための導入教育として位置付けられています。授業は大きく二つの内容から成り立っています。ひとつは、近畿大学および生物理工学部の歴史や教育方針を学び、皆さんに近畿大学生としての自覚を持ってもらうための自校学習。この中で、国際社会の一員として「持続可能な開発目標 (SDGs)」について考えていきます。もう一つは、少人数クラスで行われるゼミ形式で、一人一人、またはみんなで協力し合って問題解決に取り組む手法を学びます。担当教員の指導のもと、資料集め、調査、報告書の作成、人前での発表といったことを行います。皆さんが相互的に「学び、学びあう」という姿勢で、積極的に参加する授業です。この授業は教員と学生との距離を縮め、学生の皆さんが円滑に大学生活に馴染んでいくようにする目的もあり、そのため担当教員はアドバイザリになっています。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

近畿大学および生物理工学部の建学の精神や教育理念・目標を理解し、近畿大学生としての自覚をもつ。
SDGsに対する理解を深め、近畿大学および生物理工学部の取組みを知り、SDGsについて考える機会をもつ。
My Campus Planを用いて4年間の学生生活を計画し、半期ごとの実現可能な目標を立てる。
主体的に課題に取り組み、「学び、学び合う」姿勢を修得する。
学ぶこと、研究することに必要な手法を体験的に理解する。
自分の考えをまとめ、人前で発表する。
他人の発表を聞いて質問したり、意見を述べたりする。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的3の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

ルーブリックによって評価する 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

ルーブリック（評価基準）を提示し、また評価を開示することによって学生諸君へフィードバックを行う。評価は学生間の相互評価を利用することもある。

■教科書

特になし。

■参考文献

特になし。

■関連科目

特になし。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

芦田研究室（東1号館5階515）・ashida@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜日３限、水曜日３限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　基礎ゼミガイダンス（授業形式：講義）

第2回　近畿大学の歴史と理念（授業形式：講義）

第3回　生物理工学部の歴史と理念（授業形式：講義）

第4回　持続可能な開発目標 (SDGs) への取組み（授業形式：演習を含む講義）

第5回　マイキャンパスプランを用いた大学生活設計（授業形式：演習を含む講義）

第6回　図書館の使い方（授業形式：演習を含む講義）

第7回　課題設定　グループディスカッション（授業形式：演習を含む講義）

第8回　プレゼンテーションの準備　情報収集の方法、整理と分析（授業形式：演習を含む講義）

第9回　プレゼンテーションの準備　キーメッセージを考える（授業形式：演習を含む講義）

第10回　プレゼンテーションの準備　論理の構築とストーリー展開（授業形式：演習を含む講義）

第11回　プレゼンテーションの準備　ビジュアル（配布資料など）の作成（授業形式：演習を含む講義）

第12回　プレゼンテーションの準備　全体のチェック（授業形式：演習を含む講義）

第13回　プレゼンテーション　自分が発表する/他の人の発表を聞く（授業形式：演習を含む講義）

第14回　プレゼンテーション　自分が発表する/他の人の発表を聞く（授業形式：演習を含む講義）

第15回　討論とまとめ（授業形式：演習を含む講義）

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 ：	**基礎ゼミ**						
英文名 ：	Foundation Seminar						
担当者 ：	東　慶直						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期，通年	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考 ：	食品安全工学科開講科目						

■授業概要

この授業は、新入生の皆さんが自主性や主体性を身に付け、大学で学ぶこと、研究することの楽しさを体験するための導入教育として位置付けられています。授業は大きく二つの内容から成り立っています。ひとつは、近畿大学および生物理工学部の歴史や教育方針を学び、皆さんに近畿大学生としての自覚を持ってもらうための自校学習。この中で、国際社会の一員として「持続可能な開発目標 (SDGs)」について考えていきます。もう一つは、少人数クラスで行われるゼミ形式で、一人一人、またはみんなで協力し合って問題解決に取り組む手法を学びます。担当教員の指導のもと、資料集め、調査、報告書の作成、人前での発表といったことを行います。皆さんが相互的に「学び、学びあう」という姿勢で、積極的に参加する授業です。この授業は教員と学生との距離を縮め、学生の皆さんが円滑に大学生活に馴染んでいくようにする目的もあり、そのため担当教員はアドバイザリになっています。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

近畿大学および生物理工学部の建学の精神や教育理念・目標を理解し、近畿大学生としての自覚をもつ。
SDGsに対する理解を深め、近畿大学および生物理工学部の取組みを知り、SDGsについて考える機会をもつ。
My Campus Planを用いて4年間の学生生活を計画し、半期ごとの実現可能な目標を立てる。
主体的に課題に取り組み、「学び、学び合う」姿勢を修得する。
学ぶこと、研究することに必要な手法を体験的に理解する。
自分の考えをまとめ、人前で発表する。
他人の発表を聞いて質問したり、意見を述べたりする。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的3の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

ルーブリックによって評価する 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

ルーブリック（評価基準）を提示し、また評価を開示することによって学生諸君へフィードバックを行う。評価は学生間の相互評価を利用することもある。

■教科書

【留意事項】担当教員により指示があります。

■参考文献

【留意事項】担当教員により指示があります。

■関連科目

特になし。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

担当教員より通知されます。

■オフィスアワー

担当教員より通知されます。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 基礎ゼミガイダンス

第2回 近畿大学の歴史と理念

第3回 生物理工学部の歴史と理念

第4回 持続可能な開発目標 (SDGs) への取組み

第5回 マイキャンパスプランを用いた大学生活設計

第6回 図書館の使い方

第7回 課題設定　グループディスカッション

第8回 プレゼンテーションの準備　情報収集の方法、整理と分析

第9回 プレゼンテーションの準備　キーメッセージを考える

第10回 プレゼンテーションの準備　論理の構築とストーリー展開

第11回 プレゼンテーションの準備　ビジュアル（配布資料など）の作成

第12回 プレゼンテーションの準備　全体のチェック

第13回 プレゼンテーション　自分が発表する/他の人の発表を聞く

第14回 プレゼンテーション　自分が発表する/他の人の発表を聞く

第15回 討論とまとめ

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**基礎ゼミ**						
英文名 ：	Foundation Seminar						
担当者 ：	石丸　恵						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期，通年	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考 ：	食品安全工学科開講科目						

■授業概要

この授業は、新入生の皆さんが自主性や主体性を身に付け、大学で学ぶこと、研究することの楽しさを体験するための導入教育として位置付けられています。授業は大きく二つの内容から成り立っています。ひとつは、近畿大学および生物理工学部の歴史や教育方針を学び、皆さんに近畿大学生としての自覚を持ってもらうための自校学習。この中で、国際社会の一員として「持続可能な開発目標 (SDGs)」について考えていきます。もう一つは、少人数クラスで行われるゼミ形式で、一人一人、またはみんなで協力し合って問題解決に取り組む手法を学びます。担当教員の指導のもと、資料集め、調査、報告書の作成、人前での発表といったことを行います。皆さんが相互的に「学び、学びあう」という姿勢で、積極的に参加する授業です。この授業は教員と学生との距離を縮め、学生の皆さんが円滑に大学生活に馴染んでいくようにする目的もあり、そのため担当教員はアドバイザリになっています。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

近畿大学および生物理工学部の建学の精神や教育理念・目標を理解し、近畿大学生としての自覚をもつ。
SDGsに対する理解を深め、近畿大学および生物理工学部の取組みを知り、SDGsについて考える機会をもつ。
My Campus Planを用いて4年間の学生生活を計画し、半期ごとの実現可能な目標を立てる。
主体的に課題に取り組み、「学び、学び合う」姿勢を修得する。
学ぶこと、研究することに必要な手法を体験的に理解する。
自分の考えをまとめ、人前で発表する。
他人の発表を聞いて質問したり、意見を述べたりする。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的3の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

ルーブリックによって評価する 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

ルーブリック（評価基準）を提示し、また評価を開示することによって学生諸君へフィードバックを行う。評価は学生間の相互評価を利用することもある。

■教科書

【留意事項】担当教員により指示があります。

■参考文献

【留意事項】担当教員により指示があります。

■関連科目

特になし。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

担当教員より通知されます。

■オフィスアワー

担当教員より通知されます。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 基礎ゼミガイダンス

第2回 近畿大学の歴史と理念

第3回 生物理工学部の歴史と理念

第4回 持続可能な開発目標 (SDGs) への取組み

第5回 マイキャンパスプランを用いた大学生活設計

第6回 図書館の使い方

第7回 課題設定　グループディスカッション

第8回 プレゼンテーションの準備　情報収集の方法、整理と分析

第9回 プレゼンテーションの準備　キーメッセージを考える

第10回 プレゼンテーションの準備　論理の構築とストーリー展開

第11回 プレゼンテーションの準備　ビジュアル（配布資料など）の作成

第12回 プレゼンテーションの準備　全体のチェック

第13回 プレゼンテーション　自分が発表する/他の人の発表を聞く

第14回 プレゼンテーション　自分が発表する/他の人の発表を聞く

第15回 討論とまとめ

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**基礎ゼミ**						
英文名 ：	Foundation Seminar						
担当者 ：	泉　秀実						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期，通年	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考 ：	食品安全工学科開講科目						

■授業概要

この授業は、新入生の皆さんが自主性や主体性を身に付け、大学で学ぶこと、研究することの楽しさを体験するための導入教育として位置付けられています。授業は大きく二つの内容から成り立っています。ひとつは、近畿大学および生物理工学部の歴史や教育方針を学び、皆さんに近畿大学生としての自覚を持ってもらうための自校学習。この中で、国際社会の一員として「持続可能な開発目標 (SDGs)」について考えていきます。もう一つは、少人数クラスで行われるゼミ形式で、一人一人、またはみんなで協力し合って問題解決に取り組む手法を学びます。担当教員の指導のもと、資料集め、調査、報告書の作成、人前での発表といったことを行います。皆さんが相互的に「学び、学びあう」という姿勢で、積極的に参加する授業です。この授業は教員と学生との距離を縮め、学生の皆さんが円滑に大学生活に馴染んでいくようにする目的もあり、そのため担当教員はアドバイザリになっています。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

近畿大学および生物理工学部の建学の精神や教育理念・目標を理解し、近畿大学生としての自覚をもつ。
SDGsに対する理解を深め、近畿大学および生物理工学部の取組みを知り、SDGsについて考える機会をもつ。
My Campus Planを用いて4年間の学生生活を計画し、半期ごとの実現可能な目標を立てる。
主体的に課題に取り組み、「学び、学び合う」姿勢を修得する。
学ぶこと、研究することに必要な手法を体験的に理解する。
自分の考えをまとめ、人前で発表する。
他人の発表を聞いて質問したり、意見を述べたりする。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的3の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

ルーブリックによって評価する 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

ルーブリック（評価基準）を提示し、また評価を開示することによって学生諸君へフィードバックを行う。評価は学生間の相互評価を利用することもある。

■教科書

【留意事項】担当教員により指示があります。

■参考文献

【留意事項】担当教員により指示があります。

■関連科目

特になし。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

泉研究室（西1号館4階453）・izumi@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

月曜日2限と水曜日2限（泉）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 基礎ゼミガイダンス

第2回 近畿大学の歴史と理念

第3回 生物理工学部の歴史と理念

第4回 持続可能な開発目標 (SDGs) への取組み

第5回 マイキャンパスプランを用いた大学生活設計

第6回 図書館の使い方

第7回 課題設定　グループディスカッション

第8回 プレゼンテーションの準備　情報収集の方法、整理と分析

第9回 プレゼンテーションの準備　キーメッセージを考える

第10回 プレゼンテーションの準備　論理の構築とストーリー展開

第11回 プレゼンテーションの準備　ビジュアル（配布資料など）の作成

第12回 プレゼンテーションの準備　全体のチェック

第13回 プレゼンテーション　自分が発表する/他の人の発表を聞く

第14回 プレゼンテーション　自分が発表する/他の人の発表を聞く

第15回 討論とまとめ

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**基礎ゼミ**						
英文名 ：	Foundation Seminar						
担当者 ：	江口　陽子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期，通年	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考 ：	食品安全工学科開講科目						

■授業概要

この授業は、新入生の皆さんが自主性や主体性を身に付け、大学で学ぶこと、研究することの楽しさを体験するための導入教育として位置付けられています。授業は大きく二つの内容から成り立っています。ひとつは、近畿大学および生物理工学部の歴史や教育方針を学び、皆さんに近畿大学生としての自覚を持ってもらうための自校学習。この中で、国際社会の一員として「持続可能な開発目標 (SDGs)」について考えていきます。もう一つは、少人数クラスで行われるゼミ形式で、一人一人、またはみんなで協力し合って問題解決に取り組む手法を学びます。担当教員の指導のもと、資料集め、調査、報告書の作成、人前での発表といったことを行います。皆さんが相互的に「学び、学びあう」という姿勢で、積極的に参加する授業です。この授業は教員と学生との距離を縮め、学生の皆さんが円滑に大学生活に馴染んでいくようにする目的もあり、そのため担当教員はアドバイザリになっています。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

近畿大学および生物理工学部の建学の精神や教育理念・目標を理解し、近畿大学生としての自覚をもつ。
SDGsに対する理解を深め、近畿大学および生物理工学部の取組みを知り、SDGsについて考える機会をもつ。
My Campus Planを用いて4年間の学生生活を計画し、半期ごとの実現可能な目標を立てる。
主体的に課題に取り組み、「学び、学び合う」姿勢を修得する。
学ぶこと、研究することに必要な手法を体験的に理解する。
自分の考えをまとめ、人前で発表する。
他人の発表を聞いて質問したり、意見を述べたりする。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的3の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

ルーブリックによって評価する 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

ルーブリック（評価基準）を提示し、また評価を開示することによって学生諸君へフィードバックを行う。評価は学生間の相互評価を利用することもある。

■教科書

【留意事項】担当教員により指示があります。

■参考文献

【留意事項】担当教員により指示があります。

■関連科目

特になし。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

担当教員より通知されます。

■オフィスアワー

担当教員より通知されます。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 基礎ゼミガイダンス

第2回 近畿大学の歴史と理念

第3回 生物理工学部の歴史と理念

第4回 持続可能な開発目標 (SDGs) への取組み

第5回 マイキャンパスプランを用いた大学生活設計

第6回 図書館の使い方

第7回 課題設定　グループディスカッション

第8回 プレゼンテーションの準備　情報収集の方法、整理と分析

第9回 プレゼンテーションの準備　キーメッセージを考える

第10回 プレゼンテーションの準備　論理の構築とストーリー展開

第11回 プレゼンテーションの準備　ビジュアル（配布資料など）の作成

第12回 プレゼンテーションの準備　全体のチェック

第13回 プレゼンテーション　自分が発表する/他の人の発表を聞く

第14回 プレゼンテーション　自分が発表する/他の人の発表を聞く

第15回 討論とまとめ

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**基礎ゼミ**						
英文名 ：	Foundation Seminar						
担当者 ：	尾﨑　嘉彦						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期，通年	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考 ：	食品安全工学科開講科目						

■授業概要

この授業は、新入生の皆さんが自主性や主体性を身に付け、大学で学ぶこと、研究することの楽しさを体験するための導入教育として位置付けられています。授業は大きく二つの内容から成り立っています。ひとつは、近畿大学および生物理工学部の歴史や教育方針を学び、皆さんに近畿大学生としての自覚を持ってもらうための自校学習。この中で、国際社会の一員として「持続可能な開発目標 (SDGs)」について考えていきます。もう一つは、少人数クラスで行われるゼミ形式で、一人一人、またはみんなで協力し合って問題解決に取り組む手法を学びます。担当教員の指導のもと、資料集め、調査、報告書の作成、人前での発表といったことを行います。皆さんが相互的に「学び、学びあう」という姿勢で、積極的に参加する授業です。この授業は教員と学生との距離を縮め、学生の皆さんが円滑に大学生活に馴染んでいくようにする目的もあり、そのため担当教員はアドバイザリになっています。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

近畿大学および生物理工学部の建学の精神や教育理念・目標を理解し、近畿大学生としての自覚をもつ。
SDGsに対する理解を深め、近畿大学および生物理工学部の取組みを知り、SDGsについて考える機会をもつ。
My Campus Planを用いて4年間の学生生活を計画し、半期ごとの実現可能な目標を立てる。
主体的に課題に取り組み、「学び、学び合う」姿勢を修得する。
学ぶこと、研究することに必要な手法を体験的に理解する。
自分の考えをまとめ、人前で発表する。
他人の発表を聞いて質問したり、意見を述べたりする。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的3の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

ルーブリックによって評価する 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

ルーブリック（評価基準）を提示し、また評価を開示することによって学生諸君へフィードバックを行う。評価は学生間の相互評価を利用することもある。

■教科書

【留意事項】随時資料を配付します。

■参考文献

アカデミック・スキルズ(第3版) ――大学生のための知的技法入門

■関連科目

特になし。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

尾﨑研究室　（西1号館1階153）・ozaki@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

担当教員より通知されます。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　基礎ゼミガイダンス（授業形式: 講義）

第2回　近畿大学の歴史と理念（授業形式: 講義）

第3回　生物理工学部の歴史と理念（授業形式: 講義）

第4回　持続可能な開発目標 (SDGs) への取組み（授業形式: 演習を含む講義）

第5回　マイキャンパスプランを用いた大学生活設計（授業形式: 演習を含む講義）

第6回　図書館の使い方（授業形式: 演習を含む講義）

第7回　課題設定　グループディスカッション（授業形式: 演習）

第8回　プレゼンテーションの準備　情報収集の方法、整理と分析（授業形式: 演習を含む講義）

第9回　プレゼンテーションの準備　キーメッセージを考える（授業形式: 演習を含む講義）

第10回　プレゼンテーションの準備　論理の構築とストーリー展開（授業形式: 演習を含む講義）

第11回　プレゼンテーションの準備　ビジュアル（配布資料など）の作成（授業形式: 演習を含む講義）

第12回　プレゼンテーションの準備　全体のチェック（授業形式: 演習を含む講義）

第13回　プレゼンテーション　自分が発表する/他の人の発表を聞く（授業形式: 演習を含む講義）

第14回　プレゼンテーション　自分が発表する/他の人の発表を聞く（授業形式: 演習を含む講義）

第15回　討論とまとめ（授業形式: 演習を含む講義）

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 ：	**基礎ゼミ**						
英文名 ：	Foundation Seminar						
担当者 ：	小田　義隆						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期，通年	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考 ：	食品安全工学科開講科目						

■授業概要

この授業は、新入生の皆さんが自主性や主体性を身に付け、大学で学ぶこと、研究することの楽しさを体験するための導入教育として位置付けられています。授業は大きく二つの内容から成り立っています。ひとつは、近畿大学および生物理工学部の歴史や教育方針を学び、皆さんに近畿大学生としての自覚を持ってもらうための自校学習。この中で、国際社会の一員として「持続可能な開発目標 (SDGs)」について考えていきます。もう一つは、少人数クラスで行われるゼミ形式で、一人一人、またはみんなで協力し合って問題解決に取り組む手法を学びます。担当教員の指導のもと、資料集め、調査、報告書の作成、人前での発表といったことを行います。皆さんが相互的に「学び、学びあう」という姿勢で、積極的に参加する授業です。この授業は教員と学生との距離を縮め、学生の皆さんが円滑に大学生活に馴染んでいくようにする目的もあり、そのため担当教員はアドバイザリになっています。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

近畿大学および生物理工学部の建学の精神や教育理念・目標を理解し、近畿大学生としての自覚をもつ。
SDGsに対する理解を深め、近畿大学および生物理工学部の取組みを知り、SDGsについて考える機会をもつ。
My Campus Planを用いて4年間の学生生活を計画し、半期ごとの実現可能な目標を立てる。
主体的に課題に取り組み、「学び、学び合う」姿勢を修得する。
学ぶこと、研究することに必要な手法を体験的に理解する。
自分の考えをまとめ、人前で発表する。
他人の発表を聞いて質問したり、意見を述べたりする。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的3の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

ルーブリックによって評価する 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

ルーブリック（評価基準）を提示し、また評価を開示することによって学生諸君へフィードバックを行う。評価は学生間の相互評価を利用することもある。

■教科書

第1回目授業中に指示します。

■参考文献

第1回目授業中に指示します。

■関連科目

特になし。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

小田研究室（2号館5階509）・oda@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

木曜４限
事前にメールにてアポイントをとること。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 基礎ゼミガイダンス

第2回 近畿大学の歴史と理念

第3回 生物理工学部の歴史と理念

第4回 持続可能な開発目標 (SDGs) への取組み

第5回 マイキャンパスプランを用いた大学生活設計

第6回 図書館の使い方

第7回 課題設定　グループディスカッション

第8回 プレゼンテーションの準備　情報収集の方法、整理と分析

第9回 プレゼンテーションの準備　キーメッセージを考える

第10回 プレゼンテーションの準備　論理の構築とストーリー展開

第11回 プレゼンテーションの準備　ビジュアル（配布資料など）の作成

第12回 プレゼンテーションの準備　全体のチェック

第13回 プレゼンテーション　自分が発表する/他の人の発表を聞く

第14回 プレゼンテーション　自分が発表する/他の人の発表を聞く

第15回 討論とまとめ

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**基礎ゼミ**						
英文名 ：	Foundation Seminar						
担当者 ：	岸田　邦博						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期，通年	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考 ：	食品安全工学科開講科目						

■授業概要

この授業は、新入生の皆さんが自主性や主体性を身に付け、大学で学ぶこと、研究することの楽しさを体験するための導入教育として位置付けられています。授業は大きく二つの内容から成り立っています。ひとつは、近畿大学および生物理工学部の歴史や教育方針を学び、皆さんに近畿大学生としての自覚を持ってもらうための自校学習。この中で、国際社会の一員として「持続可能な開発目標 (SDGs)」について考えていきます。もう一つは、少人数クラスで行われるゼミ形式で、一人一人、またはみんなで協力し合って問題解決に取り組む手法を学びます。担当教員の指導のもと、資料集め、調査、報告書の作成、人前での発表といったことを行います。皆さんが相互的に「学び、学びあう」という姿勢で、積極的に参加する授業です。この授業は教員と学生との距離を縮め、学生の皆さんが円滑に大学生活に馴染んでいくようにする目的もあり、そのため担当教員はアドバイザリになっています。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

近畿大学および生物理工学部の建学の精神や教育理念・目標を理解し、近畿大学生としての自覚をもつ。
SDGsに対する理解を深め、近畿大学および生物理工学部の取組みを知り、SDGsについて考える機会をもつ。
My Campus Planを用いて4年間の学生生活を計画し、半期ごとの実現可能な目標を立てる。
主体的に課題に取り組み、「学び、学び合う」姿勢を修得する。
学ぶこと、研究することに必要な手法を体験的に理解する。
自分の考えをまとめ、人前で発表する。
他人の発表を聞いて質問したり、意見を述べたりする。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的3の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

ルーブリックによって評価する 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

ルーブリック（評価基準）を提示し、また評価を開示することによって学生諸君へフィードバックを行う。評価は学生間の相互評価を利用することもある。

■教科書

【留意事項】担当教員により指示があります。

■参考文献

【留意事項】担当教員により指示があります。

■関連科目

特になし。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

岸田研究室（西1号館1階159）・kishida@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

水曜1限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 基礎ゼミガイダンス

第2回 近畿大学の歴史と理念

第3回 生物理工学部の歴史と理念

第4回 持続可能な開発目標 (SDGs) への取組み

第5回 マイキャンパスプランを用いた大学生活設計

第6回 図書館の使い方

第7回 課題設定　グループディスカッション

第8回 プレゼンテーションの準備　情報収集の方法、整理と分析

第9回 プレゼンテーションの準備　キーメッセージを考える

第10回 プレゼンテーションの準備　論理の構築とストーリー展開

第11回 プレゼンテーションの準備　ビジュアル（配布資料など）の作成

第12回 プレゼンテーションの準備　全体のチェック

第13回 プレゼンテーション　自分が発表する/他の人の発表を聞く

第14回 プレゼンテーション　自分が発表する/他の人の発表を聞く

第15回 討論とまとめ

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**基礎ゼミ**						
英文名 ：	Foundation Seminar						
担当者 ：	栗原　新						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期，通年	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考 ：	食品安全工学科開講科目						

■授業概要

この授業は、新入生の皆さんが自主性や主体性を身に付け、大学で学ぶこと、研究することの楽しさを体験するための導入教育として位置付けられています。授業は大きく二つの内容から成り立っています。ひとつは、近畿大学および生物理工学部の歴史や教育方針を学び、皆さんに近畿大学生としての自覚を持ってもらうための自校学習。この中で、国際社会の一員として「持続可能な開発目標 (SDGs)」について考えていきます。もう一つは、少人数クラスで行われるゼミ形式で、一人一人、またはみんなで協力し合って問題解決に取り組む手法を学びます。担当教員の指導のもと、資料集め、調査、報告書の作成、人前での発表といったことを行います。皆さんが相互的に「学び、学びあう」という姿勢で、積極的に参加する授業です。この授業は教員と学生との距離を縮め、学生の皆さんが円滑に大学生活に馴染んでいくようにする目的もあり、そのため担当教員はアドバイザリになっています。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

近畿大学および生物理工学部の建学の精神や教育理念・目標を理解し、近畿大学生としての自覚をもつ。
SDGsに対する理解を深め、近畿大学および生物理工学部の取組みを知り、SDGsについて考える機会をもつ。
My Campus Planを用いて4年間の学生生活を計画し、半期ごとの実現可能な目標を立てる。
主体的に課題に取り組み、「学び、学び合う」姿勢を修得する。
学ぶこと、研究することに必要な手法を体験的に理解する。
自分の考えをまとめ、人前で発表する。
他人の発表を聞いて質問したり、意見を述べたりする。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的3の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

ルーブリックによって評価する 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

ルーブリック（評価基準）を提示し、また評価を開示することによって学生諸君へフィードバックを行う。評価は学生間の相互評価を利用することもある。

■教科書

【留意事項】担当教員により指示があります。

■参考文献

【留意事項】担当教員により指示があります。

■関連科目

特になし。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

専修科目の教員（栗原研究室：東1号館5階513）・skurihara@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

毎週月曜日12:15～13:00

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 基礎ゼミガイダンス（授業形式：演習）

第2回 近畿大学の歴史と理念（授業形式：講義）

第3回 生物理工学部の歴史と理念（授業形式：講義）

第4回 持続可能な開発目標 (SDGs) への取組み（授業形式：講義）

第5回 マイキャンパスプランを用いた大学生活設計（授業形式：演習）

第6回 図書館の使い方（授業形式：演習）

第7回 課題設定　グループディスカッション（授業形式：演習）

第8回 プレゼンテーションの準備　情報収集の方法、整理と分析（授業形式：演習）

第9回 プレゼンテーションの準備　キーメッセージを考える（授業形式：演習）

第10回 プレゼンテーションの準備　論理の構築とストーリー展開（授業形式：演習）

第11回 プレゼンテーションの準備　ビジュアル（配布資料など）の作成（授業形式：演習）

第12回 プレゼンテーションの準備　全体のチェック（授業形式：演習）

第13回 プレゼンテーション　自分が発表する/他の人の発表を聞く（授業形式：演習）

第14回 プレゼンテーション　自分が発表する/他の人の発表を聞く（授業形式：演習）

第15回 討論とまとめ（授業形式：演習）

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**基礎ゼミ**						
英文名 ：	Foundation Seminar						
担当者 ：	白木　琢磨						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期，通年	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考 ：	食品安全工学科開講科目						

■授業概要

この授業は、新入生の皆さんが自主性や主体性を身に付け、大学で学ぶこと、研究することの楽しさを体験するための導入教育として位置付けられています。授業は大きく二つの内容から成り立っています。ひとつは、近畿大学および生物理工学部の歴史や教育方針を学び、皆さんに近畿大学生としての自覚を持ってもらうための自校学習。この中で、国際社会の一員として「持続可能な開発目標 (SDGs)」について考えていきます。もう一つは、少人数クラスで行われるゼミ形式で、一人一人、またはみんなで協力し合って問題解決に取り組む手法を学びます。担当教員の指導のもと、資料集め、調査、報告書の作成、人前での発表といったことを行います。皆さんが相互的に「学び、学びあう」という姿勢で、積極的に参加する授業です。この授業は教員と学生との距離を縮め、学生の皆さんが円滑に大学生活に馴染んでいくようにする目的もあり、そのため担当教員はアドバイザリになっています。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

近畿大学および生物理工学部の建学の精神や教育理念・目標を理解し、近畿大学生としての自覚をもつ。
SDGsに対する理解を深め、近畿大学および生物理工学部の取組みを知り、SDGsについて考える機会をもつ。
My Campus Planを用いて4年間の学生生活を計画し、半期ごとの実現可能な目標を立てる。
主体的に課題に取り組み、「学び、学び合う」姿勢を修得する。
学ぶこと、研究することに必要な手法を体験的に理解する。
自分の考えをまとめ、人前で発表する。
他人の発表を聞いて質問したり、意見を述べたりする。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的3の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

ルーブリックによって評価する 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

ルーブリック（評価基準）を提示し、また評価を開示することによって学生諸君へフィードバックを行う。評価は学生間の相互評価を利用することもある。

■教科書

【留意事項】担当教員により指示があります。

■参考文献

【留意事項】担当教員により指示があります。

■関連科目

特になし。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

担当教員より通知されます。

■オフィスアワー

担当教員より通知されます。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 基礎ゼミガイダンス

第2回 近畿大学の歴史と理念

第3回 生物理工学部の歴史と理念

第4回 持続可能な開発目標 (SDGs) への取組み

第5回 マイキャンパスプランを用いた大学生活設計

第6回 図書館の使い方

第7回 課題設定　グループディスカッション

第8回 プレゼンテーションの準備　情報収集の方法、整理と分析

第9回 プレゼンテーションの準備　キーメッセージを考える

第10回 プレゼンテーションの準備　論理の構築とストーリー展開

第11回 プレゼンテーションの準備　ビジュアル（配布資料など）の作成

第12回 プレゼンテーションの準備　全体のチェック

第13回 プレゼンテーション　自分が発表する/他の人の発表を聞く

第14回 プレゼンテーション　自分が発表する/他の人の発表を聞く

第15回 討論とまとめ

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**基礎ゼミ**						
英文名 ：	Foundation Seminar						
担当者 ：	武部　聡						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期，通年	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考 ：	食品安全工学科開講科目						

■授業概要

この授業は、新入生の皆さんが自主性や主体性を身に付け、大学で学ぶこと、研究することの楽しさを体験するための導入教育として位置付けられています。授業は大きく二つの内容から成り立っています。ひとつは、近畿大学および生物理工学部の歴史や教育方針を学び、皆さんに近畿大学生としての自覚を持ってもらうための自校学習。この中で、国際社会の一員として「持続可能な開発目標 (SDGs)」について考えていきます。もう一つは、少人数クラスで行われるゼミ形式で、一人一人、またはみんなで協力し合って問題解決に取り組む手法を学びます。担当教員の指導のもと、資料集め、調査、報告書の作成、人前での発表といったことを行います。皆さんが相互的に「学び、学びあう」という姿勢で、積極的に参加する授業です。この授業は教員と学生との距離を縮め、学生の皆さんが円滑に大学生活に馴染んでいくようにする目的もあり、そのため担当教員はアドバイザリになっています。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

近畿大学および生物理工学部の建学の精神や教育理念・目標を理解し、近畿大学生としての自覚をもつ。
SDGsに対する理解を深め、近畿大学および生物理工学部の取組みを知り、SDGsについて考える機会をもつ。
My Campus Planを用いて4年間の学生生活を計画し、半期ごとの実現可能な目標を立てる。
主体的に課題に取り組み、「学び、学び合う」姿勢を修得する。
学ぶこと、研究することに必要な手法を体験的に理解する。
自分の考えをまとめ、人前で発表する。
他人の発表を聞いて質問したり、意見を述べたりする。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的3の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

ルーブリックによって評価する 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

ルーブリック（評価基準）を提示し、また評価を開示することによって学生諸君へフィードバックを行う。評価は学生間の相互評価を利用することもある。

■教科書

【留意事項】随時資料を配付します。

■参考文献

【留意事項】必要に応じ提示します。

■関連科目

特になし。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

武部研究室　（西1号館6階660）・takebe@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

担当教員より通知されます。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　基礎ゼミガイダンス（授業形式：演習を含む講義）

第2回　近畿大学の歴史と理念（授業形式：演習を含む講義）

第3回　生物理工学部の歴史と理念（授業形式：演習を含む講義）

第4回　持続可能な開発目標 (SDGs) への取組み（授業形式：演習を含む講義）

第5回　マイキャンパスプランを用いた大学生活設計（授業形式：演習を含む講義）

第6回　図書館の使い方（授業形式：演習を含む講義）

第7回　課題設定　グループディスカッション（授業形式：演習を含む講義）

第8回　プレゼンテーションの準備　情報収集の方法、整理と分析（授業形式：演習を含む講義）

第9回　プレゼンテーションの準備　キーメッセージを考える（授業形式：演習を含む講義）

第10回　プレゼンテーションの準備　論理の構築とストーリー展開（授業形式：演習を含む講義）

第11回　プレゼンテーションの準備　ビジュアル（配布資料など）の作成（授業形式：演習を含む講義）

第12回　プレゼンテーションの準備　全体のチェック（授業形式：演習を含む講義）

第13回　プレゼンテーション　自分が発表する/他の人の発表を聞く（授業形式：演習を含む講義）

第14回　プレゼンテーション　自分が発表する/他の人の発表を聞く（授業形式：演習を含む講義）

第15回　討論とまとめ（授業形式：演習を含む講義）

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**基礎ゼミ**						
英文名 ：	Foundation Seminar						
担当者 ：	服部　圭子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期，通年	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考 ：	食品安全工学科開講科目						

■授業概要

この授業は、新入生の皆さんが自主性や主体性を身に付け、大学で学ぶこと、研究することの楽しさを体験するための導入教育として位置付けられています。授業は大きく二つの内容から成り立っています。ひとつは、近畿大学および生物理工学部の歴史や教育方針を学び、皆さんに近畿大学生としての自覚を持ってもらうための自校学習。この中で、国際社会の一員として「持続可能な開発目標 (SDGs)」について考えていきます。もう一つは、少人数クラスで行われるゼミ形式で、一人一人、またはみんなで協力し合って問題解決に取り組む手法を学びます。担当教員の指導のもと、資料集め、調査、報告書の作成、人前での発表といったことを行います。皆さんが相互的に「学び、学びあう」という姿勢で、積極的に参加する授業です。この授業は教員と学生との距離を縮め、学生の皆さんが円滑に大学生活に馴染んでいくようにする目的もあり、そのため担当教員はアドバイザリになっています。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

近畿大学および生物理工学部の建学の精神や教育理念・目標を理解し、近畿大学生としての自覚をもつ。
SDGsに対する理解を深め、近畿大学および生物理工学部の取組みを知り、SDGsについて考える機会をもつ。
My Campus Planを用いて4年間の学生生活を計画し、半期ごとの実現可能な目標を立てる。
主体的に課題に取り組み、「学び、学び合う」姿勢を修得する。
学ぶこと、研究することに必要な手法を体験的に理解する。
自分の考えをまとめ、人前で発表する。
他人の発表を聞いて質問したり、意見を述べたりする。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的3の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

ルーブリックによって評価する 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

ルーブリック（評価基準）を提示し、また評価を開示することによって学生諸君へフィードバックを行う。評価は学生間の相互評価を利用することもある。

■教科書

【留意事項】担当教員により指示があります。

■参考文献

【留意事項】担当教員により指示があります。

■関連科目

特になし。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

担当教員より通知されます。

■オフィスアワー

担当教員より通知されます。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 基礎ゼミガイダンス

第2回 近畿大学の歴史と理念

第3回 生物理工学部の歴史と理念

第4回 持続可能な開発目標 (SDGs) への取組み

第5回 マイキャンパスプランを用いた大学生活設計

第6回 図書館の使い方

第7回 課題設定　グループディスカッション

第8回 プレゼンテーションの準備　情報収集の方法、整理と分析

第9回 プレゼンテーションの準備　キーメッセージを考える

第10回 プレゼンテーションの準備　論理の構築とストーリー展開

第11回 プレゼンテーションの準備　ビジュアル（配布資料など）の作成

第12回 プレゼンテーションの準備　全体のチェック

第13回 プレゼンテーション　自分が発表する/他の人の発表を聞く

第14回 プレゼンテーション　自分が発表する/他の人の発表を聞く

第15回 討論とまとめ

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**基礎ゼミ**						
英文名 ：	Foundation Seminar						
担当者 ：	松橋　珠子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期，通年	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考 ：	食品安全工学科開講科目						

■授業概要

この授業は、新入生の皆さんが自主性や主体性を身に付け、大学で学ぶこと、研究することの楽しさを体験するための導入教育として位置付けられています。授業は大きく二つの内容から成り立っています。ひとつは、近畿大学および生物理工学部の歴史や教育方針を学び、皆さんに近畿大学生としての自覚を持ってもらうための自校学習。この中で、国際社会の一員として「持続可能な開発目標 (SDGs)」について考えていきます。もう一つは、少人数クラスで行われるゼミ形式で、一人一人、またはみんなで協力し合って問題解決に取り組む手法を学びます。担当教員の指導のもと、資料集め、調査、報告書の作成、人前での発表といったことを行います。皆さんが相互的に「学び、学びあう」という姿勢で、積極的に参加する授業です。この授業は教員と学生との距離を縮め、学生の皆さんが円滑に大学生活に馴染んでいくようにする目的もあり、そのため担当教員はアドバイザリになっています。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

近畿大学および生物理工学部の建学の精神や教育理念・目標を理解し、近畿大学生としての自覚をもつ。
SDGsに対する理解を深め、近畿大学および生物理工学部の取組みを知り、SDGsについて考える機会をもつ。
My Campus Planを用いて4年間の学生生活を計画し、半期ごとの実現可能な目標を立てる。
主体的に課題に取り組み、「学び、学び合う」姿勢を修得する。
学ぶこと、研究することに必要な手法を体験的に理解する。
自分の考えをまとめ、人前で発表する。
他人の発表を聞いて質問したり、意見を述べたりする。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的3の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

ルーブリックによって評価する 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

ルーブリック（評価基準）を提示し、また評価を開示することによって学生諸君へフィードバックを行う。評価は学生間の相互評価を利用することもある。

■教科書

【留意事項】担当教員により指示があります。

■参考文献

【留意事項】担当教員により指示があります。

■関連科目

特になし。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

担当教員より通知されます。

■オフィスアワー

担当教員より通知されます。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 基礎ゼミガイダンス

第2回 近畿大学の歴史と理念

第3回 生物理工学部の歴史と理念

第4回 持続可能な開発目標 (SDGs) への取組み

第5回 マイキャンパスプランを用いた大学生活設計

第6回 図書館の使い方

第7回 課題設定　グループディスカッション

第8回 プレゼンテーションの準備　情報収集の方法、整理と分析

第9回 プレゼンテーションの準備　キーメッセージを考える

第10回 プレゼンテーションの準備　論理の構築とストーリー展開

第11回 プレゼンテーションの準備　ビジュアル（配布資料など）の作成

第12回 プレゼンテーションの準備　全体のチェック

第13回 プレゼンテーション　自分が発表する/他の人の発表を聞く

第14回 プレゼンテーション　自分が発表する/他の人の発表を聞く

第15回 討論とまとめ

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**教養特殊講義A**						
英文名　：	Special Study of Liberal Arts A						
担当者　：	新田　和宏						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：							

■授業概要

本講座は、「SDGs」をテーマとして開講する。

SDGs（持続可能な開発目標）に関連し、かつまたSDGsの目標年である未来を射程に収めながら、わたしたちの未来に関心を抱き、未来からの語りかけに傾聴し、未来について議論し、そして未来を創作することを通じて、SDGsの未来を学ぶものである。

授業は全てアクティブ・ラーニング形式で進む。学生には、貪欲に未来を学ぶアクティブ・ラーナー（活動的／主体的／能動的学習者）であることが求められる。教員のファシリテートの下に、様々なアクティビティを用いながらワークショップを行い、当該テーマについての熟議を深める。

尚、本講座は、スウェーデンに発し世界各国に拡がりつつある「フューチャー・センター」の近畿大学における実践である。また、その実践的な学びの場は、SDGsに関連した未来の公共的課題を俎上に載せて議論する、いわばミニ・パブリックス（小公共圏）でもある。

本講座を通じて学び得た未来思考は、重要な（地球）市民的教養であるとともに、その思考から抽出されるベンチ・マーキングは専門教育としての職業教育に架橋されることになる。かくして、本講座は「未来への投資」を担う特殊な講義として、そのプログラムが提供される。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本講座の目標は、SDGsに理解を深めるとともに、常に未来の課題を考え、議論を行い、かつまた議論の課題を共有しえる態度および能力を育成・強化することにある。そのために、

①．基本情報を収集する能力
②．課題の本質を洞察する能力
③．諸課題の関連を把握しえる能力
④．持論を展開し、また他者の議論を傾聴しえる能力
⑤．議論の整理と課題を提示しえる能力

に重点を置き、未来思考を身に付ける。

■成績評価方法および基準

試験 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後、試験期間中に指定した日程において試験の解題を行う。

■教科書

[ISBN]9784589039699 『SDGsを学ぶ』（高柳彰夫・大橋正明編、法律文化社：2018）

■参考文献

[ISBN]なし　『SDGsでパンデミックを乗り越えよう』（新田和宏他、近畿大学：2020）

[ISBN]9784004318545 『SDGs』（南博・稲葉雅紀、岩波新書：2020）
[ISBN]9784316804842 『事典持続可能な社会と教育』（日本環境教育学会他編教育出版：2019）
[ISBN]9784309227887 『21 Lessons』（ユヴァル・ノア・ハラリ河出書房新社：2019）
[ISBN]9784532322366 『SDGsが問いかける経営の未来』（モニター・デロイト、日本経済新聞出版社：2018）
[ISBN]9784621303023 『小さな地球の大きな世界』（ J. ロックストローム他、丸善出版：2018）
[ISBN]9784309254517 『気候危機と環境危機』（グレタ・トゥーンベリ、河出書房新社：2022年）

■関連科目

持続可能な社会論
新しい政治学

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

生物理工学部新田和宏研究室
メールアドレスnitta@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜3限。予め、メールで連絡をしてください。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　SDGsとは何か（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのワークショップと講義）

予習内容：テキスト『SDGsを学ぶ』の序章「SDGsとは何か」を熟読しつつ、自分自身で選択した、キー・ワードを5つ、キー・センテンスを3箇所、および議論を深めたい論点を1つ、それぞれノートに記す。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、改めてSDGsについて、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
復習時間：120分
SDGsの基本をしっかりと理解する

第2回　Goal 1：貧困の撲滅／Goal 2　：飢餓の撲滅（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのワークショップと講義）

予習内容：テキスト『SDGsを学ぶ』の第1章「貧困と飢餓」を熟読しつつ、SDGsのGoal1 およびGoal 2を達成するため必要とされる要因と、反対にそれを阻む要因について、それぞれキーワードにまとめ、なおかつそのキーワードに込めた理由について、ノートに記す。
予習時間：60分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、改めてSDGsのGoal 1およびGoal 2の理念について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
復習時間：120分
あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困を終わらせる。
Goal 1：End poverty in all its forms everywhere.

飢餓を終わらせ、食料安全保障と栄養改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する。
Goal 2：End hunger, achieve food security and improved nutrition and promote sustainable agriculture.

第3回　移民・難民（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのワークショップと講義）

予習内容：　テキスト『SDGsを学ぶ』の第12章「移民・難民」を熟読しつつ、Sagsにおける移民・難民問題のキーワードとその意味ついて、ノートに記す。
予習時間：60分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、改めてSDGsにおける移民・難民問題のポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
復習時間：90分
　普通の人びとへのパイ（国民の全体利益）の配分が縮減する中、移民・難民の受け入れによってパイが横取りされているという被害者意識が拡幅し、欧米諸国では排外主義的なポピュリズム勢力が台頭している。これがSDGsの同時代性なのである。
　「誰一人取り残さない（LNOB：Leave No One Behind）」という「包摂（inclusion）」の理念を掲げるSDGsにとって、「最も貧しく最も脆弱な人びと（the poorest and most vulnerable）」に相当する移民・難民の包摂は試金石であり、決して見過ごしてはならない。
　SDGsは移民・難民問題に如何に取り組むべきなのか、様々な角度から省察する。

第4回　Goal 3：生活保障（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのワークショップと講義）

予習内容：テキスト『SDGsを学ぶ』の第2章「保健・健康」を熟読しつつ、SDGsのGoal 3 を達成するため必要とされる要因と、反対にそれを阻む要因について、それぞれキーワードにまとめ、なおかつそのキーワードに込めた理由について、ノートに記す。
予習時間：60分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、改めてSDGsのGoal 3 理念について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
復習時間：120分
あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を保障し、福祉を推進する。
Goal 3：Ensure healthy lives and promote well-being for all at all age.

第5回　Goal 4：ESD(持続可能な開発のための教育)とGCED（地球市民教育）（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのワークショップと講義）

予習内容：　テキスト『SDGsを学ぶ』の第3章「質の高い教育」を熟読しつつ、SDGsのGoal 4 を達成するため必要とされる要因と、反対にそれを阻む要因について、それぞれキーワードにまとめ、なおかつそのキーワードに込めた理由について、ノートに記す。
予習時間：60分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、改めてSDGsのGoal 4 理念について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
復習時間：120分
すべての人にインクルーブかつ公正で質の高い教育を保障し、生涯学習の機会を保障する。
Goal 4：Ensure inclusive and equitable quality education and promote lifelong learning opportunities for all.

第6回　Goal 5：ジェンダー平等（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのワークショップと講義）

予習内容：　テキスト『SDGsを学ぶ』の第4章「ジェンダー平等、女性と女の子のエンパワーメント」を熟読しつつ、SDGsのGoal 4 を達成するため必要とされる要因と、反対にそれを阻む要因について、それぞれキーワードにまとめ、なおかつそのキーワードに込めた理由について、ノートに記す。
予習時間：60分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、改めてSDGsのGoal 5 理念について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
復習時間：120分
ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女の子をエンパワーメントする。
Goal 5：Achieve gender equality and empower all women and girls.

第7回　Goal 6：安全な水／Goal 11：持続可能な都市（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのワークショップと講義）

予習内容：テキスト『SDGsを学ぶ』の第6章「都市・人間居住、水、衛生環境」を熟読しつつ、SDGのGoals 6 および Goal 11 を達成するため必要とされる要因と、反対にそれを阻む要因について、それぞれキーワードにまとめ、なおかつそのキーワードに込めた理由について、ノートに記す。
予習時間：60分
復習内容：基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、改めてSDGsのGoal 6 および Goal 11 理念について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
復習時間：120分
すべての人に水と公衆衛生の利用可能性および持続可能な管理を保障する。
Goal 6：Ensure availability and sustainable management of water and sanitation for all.

都市と人間の居住地をインクルーシブ、安全、強靭かつ持続可能にする。
Goal 11：Make cities and Human settlements inclusive, safe, resilient and sustainable.

第8回　市民社会（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのワークショップと講義）

予習内容：　テキスト『SDGsを学ぶ』の第13章「市民社会の役割」を熟読する。SDGsの目標を達成するためには市民社会の活躍が期待される。この点に関係するキーワードと、その意味について、ノートに記す。
予習時間：60分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、改めてSDGsの目標達成のために市民社会が果たすべき役割について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
復習時間：120分
　SDGsが排外主義的なポピュリズムと時代を共有していることに、注意を払わなければならない。経済グローバル化を遠因とする格差の拡大が普通の人びとの雇用と所得および生活に抜き差しならぬ影響を与えている。普通の人びとは、常に不安定な状態

に置かれ、このままでは取り残されてしまい、「底辺」へ「没落」しかねない危機感さら併せ持つ。こうした情勢から、「自分ファースト」や「自国フォースト」を煽動する排外主義的なポピュリズムが一定の支持を得ている。また、自由民主主義が後退しつつ、強権的な権威主義体制を敷く国家が増えつつある。

ポピュリズムと強権政治によって市民社会スペースが縮小している傾向が懸念される。周知の通り、市民社会部門はSDGsを推進する上において欠かせないパートナーである。改めて、SDGsと市民社会との関係に関して考えてみる。

第9回 Goal 8 :ディーセント・ワーク／Goal 10：格差是正（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのワークショップと講義）

予習内容：テキスト『SDGsを学ぶ』の第5章「成長、ディーセント・ワーク、格差」を熟読しつつ、SDGsのGoal 8 および Goal 10 を達成するため必要とされる要因と、反対にそれを阻む要因について、それぞれキーワードにまとめ、なおかつそのキーワードに込めた理由について、ノートに記す。
予習時間：60分
復習内容： 基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
発展：また、講義を踏まえつつ、改めてSDGsのGoal 8 および Goal 10 理念について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
復習時間：90分
すべての人のための持続的、インクーシブかつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用とディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進する。
Goal 8：Promote sustained, inclusive and sustainable economic growth, full and productive employment and decent work for all.

国内および国家間の不平等を是正する。
Goal 10: Reduce inequality within and among countries.

第10回 Goal 12：持続可能な消費と生産（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのワークショップと講義）

予習内容：SDGsのGoal 12 を達成するため必要とされる要因と、反対にそれを阻む要因について、それぞれキーワードにまとめ、なおかつそのキーワードに込めた理由について、ノートに記す。
予習時間：90分
復習内容： 基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
発展：また、講義を踏まえつつ、改めてSDGsのGoal 12 理念について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
復習時間：120分
持続可能な消費と生産のパターンを保障する。
Goal 12：Ensure sustainable consumption and production patterns.

第11回 Goal 13：気候変動／Goal 7：再生可能エネルギー（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのワークショップと講義）

予習内容： テキスト『SDGsを学ぶ』の第7章「気候変動とパリ協定」を熟読する。気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急行動をとることが求められているが、今、何を為べきか。
予習時間：60分
復習内容： 基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
発展：また、講義を踏まえつつ、改めてSDGsのGoal 13 およびGoal 7 の理念について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
復習時間：120分
気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急行動をとる。
Take urgent action to combat climate change and its impacts.

全ての人に安価で信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを保障する。
Ensure access to affordable, reliable, sustainable and modern energy for all.

第12回 Goal 14：海の生態系の保全＋Goal 15：陸の生態系の保全（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのワークショップと講義）

予習内容：予習
テキスト『SDGs』の第8章「陸と海の生物多様性」を熟読しつつ、SDGのGoals 14 および Goals 15 を達成するため必要とされる要因と、反対にそれを阻む要因について、それぞれキーワードにまとめ、なおかつそのキーワードに込めた理由について、ノートに記す。
予習時間：60分
復習内容： 基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
発展：また、講義を踏まえつつ、改めてSDGsのGoal 14 および Goal 15 の理念について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。

復習時間：120分
海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する。
Goal 14：Conserve and sustainably use the oceans, seas and marine resources for sustainable development.

陸上生態系の保護、回復と持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、並びに生物多様性の損失の阻止を図る。
Goal 15：Protect, restore and promote sustainable use of terrestrial ecosystems, sustainably manage forests, combat desertification, and halt and reverse land degradation and halt biodiversity loss.

第13回 Goal 16：積極的平和とグッド・ガバナンス（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのワークショップと講義）

予習内容：テキスト『SDGsを学ぶ』の第9章「平和とガバナンス」を熟読しつつ、SDGsのGoal 16 を達成するため必要とされる要因と、反対にそれを阻む要因について、それぞれキーワードにまとめ、なおかつそのキーワードに込めた理由について、ノートに記す。
予習時間：60分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、改めてSDGsのGoal 16 理念について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
復習時間：120分
持続可能な開発に向けて平和でインクルーシブな社会を促進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任あるインクルーシブな制度を構築する。
Goal 16：Promote peaceful and inclusive societies for sustainable development, provide access to justice for all and build effective, accountable and inclusive institutions at all levels.

第14回 Goals 17：ODAとパートナーシップ（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのワークショップと講義）

予習内容：　テキスト『SDGs』の第10章「ODA」、第11章「民間セクター」、および第13章「市民社会の役割」を熟読しつつ、SDGsのGoal 17 を達成するため必要とされる要因と、反対にそれを阻む要因について、それぞれキーワードにまとめ、なおかつそのキーワードに込めた理由について、ノートに記す。
予習時間：60分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、改めてSDGsのGoal 17 の理念について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
復習時間：120分
実施手段を強化し、「持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップ」を再活性化する。
Goal 17：Strengthen the means of implementation and revitalize the Global Partnership for Sustainable Development.

第15回 SDGsは世界と日本をどう変えるか（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのワークショップと講義）

予習内容：　SDGsは世界と日本をどう変えるか、このテーマを「クロスSWOT分析」する。それをノートに記す。
予習時間：60分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、改めてSDGsは世界と日本をどう変えるかについて、「クロスSWOT分析」を行う。
復習時間：120分
　これまでの学びの成果を踏まえながらら、「SDGsは世界と日本をどう変えるか」、この問い掛けを自分事として捉え直す。

定期試験

レポート試験および口頭試問を行う。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 ：	**教養特殊講義B**						
英文名 ：	Special Study of Liberal Arts B						
担当者 ：	阿野　貴司・白木　琢磨・尾﨑　嘉彦						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	集中	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考 ：							

■授業概要

「もの・仕組みづくり総合学習」
・社会で活用、運用、利用されている製品、サービス、取り組みを題材とし、題材そのものだけでなく、題材が生み出された①社会的・文化的・歴史的背景、②技術的側面、③題材の現状と問題点を東大阪キャンパス「実学セル」を拠点としたアクティブラーニングで総合的に学習する。
・東大阪キャンパス「アカデミックシアター」を利用し、その機能を十分活用するため、文理融合で学生の主体的学習を中心として行う。
・産学連携の観点から、実際に行われている工場や現場を見学し、知識を深める。
・3日間の集中講義で行い、1日目文系および理系講義、2日目現地見学、3日目グループごとのプレゼンテーションを行う。
なお、本講義は対面授業（演習を含む講義）として実施する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

PBL（課題解決学習）・ディスカッション、ディベート・プレゼンテーション・フィールドワーク・実験・実習科目

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「日本の伝統食品」を具体的題材とし、本年度は梅干しを取り上げる。梅をめぐる技術的側面・文化的側面について鳥瞰的・総合的に学習する。
自ら学ぶ姿勢とプレゼンテーション能力を養い、一つのテーマに対して討議することでお互いの知識を深めることを目標とする。
この科目の習得は、本学部の定めるディプロマポリシー2、3、5の達成に関与しています

■成績評価方法および基準

文系および理系講義のまとめシートをルーブリック評価表により評価 50%
現地見学における質問内容や行動をルーブリック評価表により評価 10%
プレゼンテーション準備、プレゼンテーション内容及び質問内容をルーブリック評価表により評価 40%

■試験・課題に対するフィードバック方法

工場見学におけるの行動や質問内容について、各個人にアドバイスや評価内容の説明を行う。
グループ活動における、ディスカッション内容やプレゼンテーション準備について、活動場所を教員が回り、各グループにアドバイスなどを行う。
各グループのプレゼンテーション終了後に行うまとめの中で、後評を行う。

■教科書

【留意事項】特に指定なし。東大阪キャンパス「アカデミックシアター」を十分に活用し、自ら見つけ、参考とする。

■参考文献

【留意事項】特に指定なし。東大阪キャンパス「アカデミックシアター」を十分に活用し、自ら見つけ、参考とする。

■関連科目

特になし。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行う。

■研究室・メールアドレス

白木研究室（東1号館4階419)・shiraki@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

月曜・３限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

3日間の集中講義で行う。
第1日目（授業形式：講義）
　オリエンテーション(資料配布、授業の進め方について説明、グループ分け、リーダー選出など)
　文系講義
　理系講義
　調査及び分析シート・見学シート作成
第2日目（授業形式：演習を含む講義）
　現地見学(貸し切りバスで移動、工場および生産現場を見学)
第3日目（授業形式：演習）
　グループワーク(プレゼンテーションに向けた準備)
　各グループによるプレゼンテーション、質疑応答
　各シートの完成、提出
予習内容：【第1日目、講義に向けて】「日本の伝統食品」に対しての基礎知識
【第2日目、現地見学に向けて】各シートを完成させ、質問内容の検討
【第3日目、グループワークに向けて】各自の課題、提案シートの完成、プレゼンテーションに向けての資料集め等
予習時間：120分
復習内容：【第1日目、講義】各シートの完成、講義内容の整理
【第2日目、現地見学】見学シートの完成、現地での学びの整理
【第3日目、グループワーク】グループワークにおける学びの整理、プレゼンテーション資料作成技術のまとめ、講義全体を通しての反省
復習時間：60分

■ホームページ

■実践的な教育内容

学外でのインターンシップや実習、研修を授業の一環として位置付けている授業

科目名 ：	**教養特殊講義C**						
英文名 ：	Special Study of Liberal Arts C						
担当者 ：	安齋　政幸・三谷　匡・松本　朱実						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	集中	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考 ：	タイトル「動物園で学ぶ生物多様性保全」						

■授業概要

学生が自身の課題をもち探究する問題解決的な学習活動を、学内事前学習→アドベンチャーワールドにおけるフィールド実習→学内事後学習と発表会の流れで実施する。事前学習で課題を焦点化させ、目的に対応させた調査や観察をアドベンチャーワールドで実施し、結果の考察とまとめ、他者への伝達を事後学習で行う。話し合いやグループ活動による対話的な学習活動を重視し、学生自らが思考を表現し合い、考えや意見を交渉する活動を通して、深い学びの充実を図る。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

PBL（課題解決学習）・ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は本授業を履修することで、
・動物園の社会的機能や生物多様性に関心をもち保全に関わる意見や提案を述べられる（関心・意欲・態度　DP1）
・動物の生態や動物園の役割、生物多様性について基礎的な知識や考えを述べられる（知識・理解　DP4）
・自らの課題をもち、主体的に問題解決を図る（思考・判断　DP2）
・仲間や動物園職員とコミュニケーションをとり、協働的に学習を進められる（技能・表現　DP3）
・動物を科学的に観察、記録、分析して、動物の生態を考察することができる（技能・表現　DP3）

■成績評価方法および基準

講義ごとのコミュニケーションペーパー 20%
事前調査資料 15%
フィールド調査・観察記録 20%
調査結果発表（プレゼンテーション） 15%
調査結果レポート 20%
講義のふりかえり 10%

■試験・課題に対するフィードバック方法

講義ごと、また学習活動のプロセスにおいて学生の学びを評価し、常にフィードバックさせる。アクティブ･ラーニングにおける形成的評価を、指導と一体化させておこなう。

■教科書

【留意事項】適宜プリントを配布する。

■参考文献

[ISBN]9784254460346 『動物園学入門』（村田浩一・成島悦雄・原久美子編、朝倉書店：2014）
[ISBN]9784762502316 『動物園教育で子どもたちがアクティブに! ～主体的な学びを支援する楽しい観察プログラム～』 (松本 朱実, 学校図書：2018)
[ISBN]9784750515670 『動物園から未来を変える―ニューヨーク・ブロンクス動物園の展示デザイン』 (川端裕人, 亜紀書房：2019)
『新・飼育ハンドブック動物園編』（日本動物園水族館協会教育指導部編、日本動物園水族館協会：1995～2011）

■関連科目

生物と地球環境、生物学、動物学、実験動物学、生命倫理、持続可能な社会論、科学技術と人間･社会

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

安齋研究室（2号館5階510）・anzai@waka.kindai.ac.jp
三谷研究室（東1号館5階521）・mitani@waka.kindai.ac.jp
松本朱実　akemims@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

安齋　事前にメールにてアポイントをとってください。
三谷　事前にメールにてアポイントをとってください。
松本　講義前後

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

本授業は前もって提出された計画書に基づき、その達成に至る手順を指導教員と綿密に打ち合わせてから作業に取り組む必要があります。演習の授業回数に決まりはありませんが、延べ30時間以上の演習と15時間以上の授業時間外学習が必要です。

第1回　オリエンテーション　自己紹介（講義と演習）

予習内容：自分の問題意識や講義に期待すること
予習時間：60分
復習内容：講義の趣旨と自分の課題　仲間の関心事
復習時間：60分
講義の趣旨確認。動物園や本講義に関するそれぞれの関心事を出し合う。

第2回　動物園の社会的役割と方法（1）　種の保全（講義と演習）

予習内容：絶滅危惧種や動物園における種の保全の取り組みを調べておく。
予習時間：60分
復習内容：動物園の種の保全と、自分との関わりについて自分の考えをまとめる。
復習時間：60分
種の保全の考え方と技術を学ぶ

第3回　動物園の社会的役割と方法（2）　環境教育（講義と演習）

予習内容：動物園における教育活動を調べておく。
予習時間：60分
復習内容：動物園における有効な環境教育を考える。
復習時間：60分
動物園における環境教育の考え方とスキルを学ぶ。

第4回　事前調査（講義と演習）

予習内容：アドベンチャーワールドの展示動物の情報を調べる。
予習時間：60分
復習内容：自分が調査したい動物情報を集める。
復習時間：60分
アドベンチャーワールドの動物情報、野生の生態や生息状況、社会における動向などを調査する。

第5回　行動観察の方法　環境エンリッチメント（講義と演習）

予習内容：環境エンリッチメントについて調べておく。
予習時間：60分
復習内容：行動研究の方法を復習しておく。
復習時間：60分
観科学的な行動観察方法と記録方法を学ぶ。
行動研究による環境エンリッチメントの評価について学ぶ。

第6回　課題の導出（講義と演習）

予習内容：アドベンチャーワールドの運営方針と、自分が興味ある取り組みを調べる。
予習時間：60分
復習内容：アドベンチャーワールドで調べたい課題を焦点化させる。
復習時間：60分
アドベンチャーワールドで調査･観察する課題を見出すチームを編成する。

第7回　観察・調査・記録（1）（実習）
動物の行動研究
予習内容：観察する動物の野生の生態を調べておく。
予習時間：60分
復習内容：観察した結果を整理する。
復習時間：60分
チームで担当する動物の行動観察と記録を行う。

第8回　観察・調査・記録（2）（実習）
来園者調査
予習内容：来園者調査方法を調べておく。
予習時間：60分
復習内容：調査結果を整理する。
復習時間：60分
チームの担当動物を見た来園者の反応やつぶやきを記録する。

第9回　観察・調査・記録（3）（実習、講義、演習）
職員の仕事・思い・取り組み
予習内容：職員に聞き取りしたい内容を考えておく。
予習時間：60分
復習内容：聞き取りした結果を整理してまとめる。
復習時間：60分
アドベンチャーワールドの職員の仕事や思い、種の保全や環境教育に関わる取り組みを学ぶ。

第10回　調査結果の考察・整理（1）（講義と演習）
予習内容：観察・調査した結果の整理方法を考えておく。
予習時間：60分
復習内容：観察･調査した結果と自分の考察をレポートにまとめる。
復習時間：60分
観察してわかったことや気づいたことをチームで出し合う。

第11回　観察調査結果のまとめ・考察・整理（2）（講義と演習）
予習内容：観察・調査結果をチームとして合わせてまとめる方法を考えておく。
予習時間：60分
復習内容：チームによる調査･結果と考察内容をまとめる。
復習時間：60分
観察結果の考察を行う。

第12回　観察調査結果発表の準備（講義と演習）
予習内容：動物園教育におけるプレゼンテーションの方法を調べておく。
予習時間：60分
復習内容：有効な動物園教育の方法を検討する。
復習時間：60分
思考のまとめて考察した内容を、表現・伝達する準備を行う。

第13回　発表の練習（講義と演習）
予習内容：発表内容を確認する。
予習時間：60分
復習内容：発表内容を省察する。
復習時間：60分
プレゼンテーションを完成させ、練習、リハーサルを行う。

第14回　観察結果の発表会（演習）
予習内容：発表の事前練習を行う。
予習時間：60分
復習内容：発表内容に対する考察、他チーム発表の評価を行う。
復習時間：60分
観察調査した結果をチームで発表し合う。
アドベンチャーワールド職員に講評いただく。

第15回　学習活動のふりかえりと活用（演習）
予習内容：講義全体をふりかえる。

復習内容：講義全体で学んだことに基づく活用や提案を考える。
一連の講義で学んだことをふりかえる。今後の自分の生活や学び、社会に活用できることを考える。

■ホームページ

動物教材研究所pocket　https://www.zoopocket.com/
生物理工学部遺伝子工学科遺伝子発現制御学研究室　https://www.kindai.ac.jp/bost/research-and-education/teachers/introduce/mitani-tasuku-e65.html
先端技術総合研究所生物工学技術研究センター　https://www.kindai.ac.jp/bost/research-and-education/teachers/introduce/anzai-masayuki-780.html

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業
企業等から提供された課題（企画提案等）に取り組む授業
学外でのインターンシップや実習、研修を授業の一環として位置付けている授業

科目名　：	**芸術鑑賞入門**						
英文名　：	Introduction to Appreciation of Art						
担当者　：	山名　敏之						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】水曜3限						

■授業概要

全学共通科目の中の共通教養の一つです。研究の基礎段階において、豊かな教養と広い視野を磨いておくことは、専門課程へステップアップを図るために大切です。この科目では西洋の芸術音楽を例に取りあげながら、高度化・複雑化する社会において、専門知識・技能を活かすために不可欠な、幅広い教養を身につけることを目指しています。講義では西洋音楽の名曲を取りあげながら、適宜実演を交え、音楽と社会との関係、音楽と思想との関係、音楽と同時代の美術・文学との関係などをそれぞれの歴史を踏まえ考察していきます。授業の形式は基本的に対面授業で行います。また小型で音が大変小さいクラヴィコードという楽器の実演を聴いていただいたり、状況が許されたならば、チェンバロの実演も聴いていただけたら良いなと考えています。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

講義を聞いて、ある音楽に感動したり、その音楽をめぐる事象に興味を持ってもらうことが、学習・教育目標です。そして、音楽をめぐるある事象に興味を持った場合に、単に講義を聞いただけではなく、それをきっかけとしてその興味を持った問題を自分でさらに調査研究し、それを文章にまとめることができるようになることが到達目標です。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的１の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

最終レポート課題（2500～3000字） 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

レポートの課題とする授業内で紹介した音楽作品等についてはグーグルクラスにてそのリストを再配布します。課題へのアプローチのポイントについては第15回の授業の際に授業内で提示します。

■教科書

【留意事項】基本的にパワーポイントで授業を行い、これは電子情報等で見れるような形にはしません。授業内でメモを取るなりしてください。ただし内容によってはレジュメを配布する場合もあります。

■参考文献

■関連科目

特に無し

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・yamana@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　再現芸術の世界　―自己紹介を兼ねた私の研究内容の紹介―（授業形態：講義）

予習内容：再現芸術という言葉の意味についてインターネットなどで調べてみる。
予習時間：30分
復習内容：講義で紹介したチェンバロ及びフォルテピアノの演奏をYouTubeのサイトで実際に聴いてみる。
復習時間：120分
過去に書かれた音楽を現代に再現するという再現芸術において特徴的な様々な事象について、講義者の研究課題の紹介も含めて考察していきます。

第2回　クラシック音楽を理解するための歴史観（授業形態：講義）

予習内容：中学校の音楽の時間に学んだシューベルトの魔王について調べ、ゲーテの詩の翻訳を読んでおく。
予習時間：30分
復習内容：この授業で聴いた演奏をYouTube等で再度聴いて、その芸術性について考える。
復習時間：120分
ポピュラー音楽の成り立ちとクラシック音楽の成り立ちの違いを歴史的観点から学び、クラシック音楽を聴くことによって得られるの芸術的体験とは何かということについて学びます。

第3回　拍節のパラドックス ―バロック時代における拍節の顕在化と発展―（授業形態：講義）

予習内容：「拍」とは何かについて予め調べておく。
予習時間：30分
復習内容：日本人の拍節感と西洋音楽の拍節感の違いという観点を持ち、授業で聴いた楽曲を再度ネット等で聴き、西洋音楽の「拍」の感じ方についてレポートにまとめる。
復習時間：120分
バロック初期に確立した「拍」の概念と現代の「拍」の概念との相違について学ぶとともに、日本人の拍節感と西洋音楽の拍節感の違いについて考察します。また今週の一曲で録音の歴史についても学びます。

第4回　音楽と映像（授業形態：講義）

予習内容：ヨハン・シュトラウスの美しき青きドナウについてインターネットなどで調べてみる。
予習時間：30分
復習内容：授業で取り上げた無声映画『雄呂血』の該当シーンに、自分ならこの音楽を付けるという曲を選定し、その異化効果に言及しつつレポートをまとめる。
復習時間：120分
映画と映画音楽に関する考察を通し、音楽や音響効果が映像の情緒に大きな影響を与えていることについて考察します。

第5回　日本語と西洋音楽の作曲技法　―デクラメーションから読み解く文部省唱歌―（授業形態：講義）

予習内容：民族音楽学者である小泉文夫について調べておく。
予習時間：30分
復習内容：西洋的な「拍」の流れを意識しながら、「朧月夜」と「故郷」を歌ってみる。
復習時間：120分
第3回で学んだ「拍」についての学びの続編。明治期に今日から見ても驚くほど短期間で高度に「拍」の概念を理解した先人達の野心的プロジェクトとも言える「西洋音楽の拍節感に日本語ニュアンスを融合させる唱歌の作曲法の確立」について学ぶとともに、西洋音楽移入後の日本人の音楽における微妙な立ち位置についても学びます。

第6回　「音の静寂を聴く」　ークラヴィコードにおけるppへの無限の広がりー（授業形態：講義）

予習内容：クラヴィコードについて予め調べ、できればYouTube等で音も聴いておく。
予習時間：30分
復習内容：授業で実践したサウンドスケープの感想も踏まえ、自分のこれまでの音環境について分析し、未来のあるべき音環境についてレポートにまとめる。
復習時間：120分
音が非常に小さいクラヴィコードという楽器が、J.S.バッハやモーツァルトといった作曲家たちに愛されたという事実を通し、音楽における音環境のあり方について考察します。

第7回　絶対音楽（授業形態：講義）

予習内容：絶対音楽という言葉の意味についてインターネットなどで調べてみる。
予習時間：30分
復習内容：ソナタ形式で書かれたクラシック音楽を調べ、演奏を聴いてみる。
復習時間：120分
第5回で学んだ、デクラメーションを踏まえ、ことばのニュアンスの束縛から解放された音楽のレトリックについて学びます。

第8回　カノンて和音？（授業形態：講義）

予習内容：パッヘルベルについてインターネットなどで調べてみる。

予習時間：30分
復習内容：授業で触れることのなかった「カノン進行」で作られた日本のポピュラー音楽をYouTube等で探してみるとともに、なぜ日本においてだけこの和声進行が熱心に繰り返し用いられ、しかもヒット曲を生み出す原動力となるのかということについて考察してみる。
復習時間：120分
日本人に特に愛好されている和声進行「カノン進行」によって作曲されているパッヘルベルのカノンについて解説し、和声と対位法の諸相について学ぶとともに、音楽用語としてのカノンの本来の意味とその作曲法について学ぶ。

第9回　長大な定型バスを持つJ.S.バッハ作曲ゴルトベルク変奏曲BWV988の宇宙（授業形態：講義）

予習内容：J.S.バッハの音楽史における位置付けについて予習しておく。
予習時間：30分
復習内容：講義者が演奏しているJ.S.バッハの《ゴルトベルク変奏曲》BWV988の全曲版をYouTubeで聴いてみる。
https://www.youtube.com/watch?v=Uq1KNGY2__U
復習時間：120分
カノンて和音？の回で学んだ定型バスの可能性を限界まで拡大させ、当時においてはもちろんのこと、今日においてもなお作曲技法の巧みさという点で他の追従を許さない「ゴルトベルク変奏曲」の深淵なる宇宙を学びます。

第10回　オペラの魅力―マリア・カラス「トスカ」第２幕を聴くー（授業形態：講義）

予習内容：「トスカ」の作曲家であるプッチーニについて予め調べておく。
予習時間：30分
復習内容：マリア・カラス 『トスカ』は第２幕しか残されていないので、第１幕と第３幕について他の演奏家の演奏で聴いて終幕後の感想をまとめてみる。
復習時間：120分
普段ポピュラー音楽に慣れ親しんでいる人にとっては、理解困難なオペラの魅力ついて、20世紀最高のソプラノ歌手であるマリア・カラスの『トスカ』第２幕を題材として学びます。劇中で悪役をこなす警視総監スカルピア役のティト・ゴッピとの切迫したやり取りは、実は音楽家としての信頼感から生まれるというギャップに皆さんは驚かれることでしょう。

第11回　指揮者の仕事（授業形態：講義）

予習内容：指揮法という言葉について予め調べてみる。
予習時間：30分
復習内容：授業で聴いた３人のベートーヴェン交響曲第７番の開始の指揮振りのうち、最も気に入った指揮者の演奏を最後まで聴いてみる。
復習時間：120分
指揮者はオーケストラにおいてどんな仕事をしているのか皆目見当がつかないという人は多いでしょう。しかし指揮者によって同一曲がこの上もなく魅力的に感じられたり、単なる駄作に聴こえてしまったりと、大きな違いが生まれてくる大変重要な役割を担っているのです。その指揮者の仕事ついて学ぶとともに、この違いが良い演奏を生み出すヒントにもなることを学びます。

第12回　世界の一流オーケストラのサウンドを聴こう（授業形態：講義）

予習内容：ヘルベルト・フォン・カラヤンについて調べてみる。
予習時間：30分
復習内容：「トリスタンとイゾルデ」についてはできれば全曲を通して聴いてもらいたいところです。しかし長大なオペラなので全曲は無理でしょう。あらすじは説明しているので第３幕だけでも通して聴いてみましょう。トリスタン絶命時の音楽は必聴です。
復習時間：120分
世界最高峰と称えられるウィーンフィルハーモニー管弦楽団とベルリンフィルハーモニー管弦楽団を良質な録音で味わいます。またそれぞれの楽団の成り立ちと特徴を学び、世界一気難しいウィーンフィルがカルロス・クライバーの手にかかりフルスロットルで演奏している痛快さと、20世紀のスーパースターであるヘルベルト・フォン・カラヤンの指揮振りについて学びます。今週の一曲ではワーグナーの「トリスタンとイゾルデ」から「イゾルデ愛の死」を取り上げ、ワーグナーの野心的な企みである絶対音楽とオペラの融合について学び、その耽美な世界を堪能します。

第13回　奇跡の復活；フルトヴェングラー第２次世界大戦時の録音（授業形態：講義）

予習内容：ウィルヘルム・フルトヴェングラーという指揮者について予め調べてみる。
予習時間：30分
復習内容：1942年に録音されたベートーヴェン《交響曲第9番『合唱』》Op.125(1824)を１楽章から通して聴いてみる。
復習時間：120分
人間は戦争という極限状態において音楽を求めうるのか？、求めるとすればそこに何を見出そうとするのか？芸術の根源的問題に応えうる演奏を提示します。フルトヴェングラーという不世出の指揮者がナチスとの関わりの中でいかなる困難に直面し、苦悶したのか、これをドキュメンタリータッチで追うとともに、終戦間際の空襲にさらされるベルリンにおいて奇跡的に残されたブラームス：交響曲第1番　Op.68 (1876)　第4楽章の録音を聴きます。この録音が戦争直後に出てきたわけではなく、ペレストロイカ後のソビエト連邦において再発見された経緯を知れば、音楽の深淵なる使命というものに皆さんは心打たれることでしょう。

第14回　20世紀の音楽（授業形態：講義）

予習内容：ジョン・ケージやミニマル・ミュージックについて調べる。
予習時間：30分
復習内容：プリペアド・ピアノによる他の作品、あるいはミニマル。ミュージックの他の作品にも触れ、その存在意義についてレポートする。
復習時間：120分
20世紀に入り、戦後へと時代が進むにつれて、絶対音楽の基本原理である機能和声、拍節とリズム、旋律まで崩壊させていったいわゆる「現代音楽」の実態について学びます。現代音楽に携わった作曲者達は、しかし単なる「破壊者」ではなかったことを皆さんは知るでしょう。この現代音楽というジャンルとポピュラー音楽全盛期と言っても良い20世紀後半から現代に至るまでのギャップについては一考の余地があると思われます。この現状を読み解く方法の一端を提示します。

第15回　音楽が教えてくれること（授業形態：講義）

予習内容：チェンバロにおいて特に有効であることを学んだ長短法の演奏法について復習しておく。
予習時間：30分
復習内容：最終課題が提示されます。受講者の皆さんは、自分の音楽観を総括してレポートを書く事になります。
復習時間：120分
理論を超えて感情に訴え、歴史を超えて人が持ち続けるべき心のあり方を教えてくれる古典の作品の魅力を考察していきます。状況がゆるされればパルティータ第6番のチェンバロによる実演を対面によって行います。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**芸術鑑賞入門**						
英文名　：	Introduction to Appreciation of Art						
担当者　：	山名　敏之						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】水曜4限						

■授業概要

全学共通科目の中の共通教養の一つです。研究の基礎段階において、豊かな教養と広い視野を磨いておくことは、専門課程へステップアップを図るために大切です。この科目では西洋の芸術音楽を例に取りあげながら、高度化・複雑化する社会において、専門知識・技能を活かすために不可欠な、幅広い教養を身につけることを目指しています。講義では西洋音楽の名曲を取りあげながら、適宜実演を交え、音楽と社会との関係、音楽と思想との関係、音楽と同時代の美術・文学との関係などをそれぞれの歴史を踏まえ考察していきます。授業の形式は基本的に対面授業で行います。また小型で音が大変小さいクラヴィコードという楽器の実演を聴いていただいたり、状況が許されたならば、チェンバロの実演も聴いていただけたら良いなと考えています。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

講義を聞いて、ある音楽に感動したり、その音楽をめぐる事象に興味を持ってもらうことが、学習・教育目標です。そして、音楽をめぐるある事象に興味を持った場合に、単に講義を聞いただけではなく、それをきっかけとしてその興味を持った問題を自分でさらに調査研究し、それを文章にまとめることができるようになることが到達目標です。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的１の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

最終レポート課題（2500～3000字） 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

レポートの課題とする授業内で紹介した音楽作品等についてはグーグルクラスにてそのリストを再配布します。課題へのアプローチのポイントについては第15回の授業の際に授業内で提示します。

■教科書

【留意事項】基本的にパワーポイントで授業を行い、これは電子情報等で見れるような形にはしません。授業内でメモを取るなりしてください。ただし内容によってはレジュメを配布する場合もあります。

■参考文献

■関連科目

特に無し

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・yamana@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　再現芸術の世界　―自己紹介を兼ねた私の研究内容の紹介―（授業形態：講義）

予習内容：再現芸術という言葉の意味についてインターネットなどで調べてみる。
予習時間：30分
復習内容：講義で紹介したチェンバロ及びフォルテピアノの演奏をYouTubeのサイトで実際に聴いてみる。
復習時間：120分
過去に書かれた音楽を現代に再現するという再現芸術において特徴的な様々な事象について、講義者の研究課題の紹介も含めて考察していきます。

第2回　クラシック音楽を理解するための歴史観（授業形態：講義）

予習内容：中学校の音楽の時間に学んだシューベルトの魔王について調べ、ゲーテの詩の翻訳を読んでおく。
予習時間：30分
復習内容：この授業で聴いた演奏をYouTube等で再度聴いて、その芸術性について考える。
復習時間：120分
ポピュラー音楽の成り立ちとクラシック音楽の成り立ちの違いを歴史的観点から学び、クラシック音楽を聴くことによって得られるの芸術的体験とは何かということについて学びます。

第3回　拍節のパラドックス ―バロック時代における拍節の顕在化と発展―（授業形態：講義）

予習内容：「拍」とは何かについて予め調べておく。
予習時間：30分
復習内容：日本人の拍節感と西洋音楽の拍節感の違いという観点を持ち、授業で聴いた楽曲を再度ネット等で聴き、西洋音楽の「拍」の感じ方についてレポートにまとめる。
復習時間：120分
バロック初期に確立した「拍」の概念と現代の「拍」の概念との相違について学ぶとともに、日本人の拍節感と西洋音楽の拍節感の違いについて考察します。また今週の一曲で録音の歴史についても学びます。

第4回　音楽と映像（授業形態：講義）

予習内容：ヨハン・シュトラウスの美しき青きドナウについてインターネットなどで調べてみる。
予習時間：30分
復習内容：授業で取り上げた無声映画『雄呂血』の該当シーンに、自分ならこの音楽を付けるという曲を選定し、その異化効果に言及しつつレポートをまとめる。
復習時間：120分
映画と映画音楽に関する考察を通し、音楽や音響効果が映像の情緒に大きな影響を与えていることについて考察します。

第5回　日本語と西洋音楽の作曲技法　―デクラメーションから読み解く文部省唱歌―（授業形態：講義）

予習内容：民族音楽学者である小泉文夫について調べておく。
予習時間：30分
復習内容：西洋的な「拍」の流れを意識しながら、「朧月夜」と「故郷」を歌ってみる。
復習時間：120分
第3回で学んだ「拍」についての学びの続編。明治期に今日から見ても驚くほど短期間で高度に「拍」の概念を理解した先人達の野心的プロジェクトとも言える「西洋音楽の拍節感に日本語ニュアンスを融合させる唱歌の作曲法の確立」について学ぶとともに、西洋音楽移入後の日本人の音楽における微妙な立ち位置についても学びます。

第6回　「音の静寂を聴く」　ークラヴィコードにおけるppへの無限の広がりー（授業形態：講義）

予習内容：クラヴィコードについて予め調べ、できればYouTube等で音も聴いておく。
予習時間：30分
復習内容：授業で実践したサウンドスケープの感想も踏まえ、自分のこれまでの音環境について分析し、未来のあるべき音環境についてレポートにまとめる。
復習時間：120分
音が非常に小さいクラヴィコードという楽器が、J.S.バッハやモーツァルトといった作曲家たちに愛されたという事実を通し、音楽における音環境のあり方について考察します。

第7回　絶対音楽（授業形態：講義）

予習内容：絶対音楽という言葉の意味についてインターネットなどで調べてみる。
予習時間：30分
復習内容：ソナタ形式で書かれたクラシック音楽を調べ、演奏を聴いてみる。
復習時間：120分
第5回で学んだ、デクラメーションを踏まえ、ことばのニュアンスの束縛から解放された音楽のレトリックについて学びます。

第8回　カノンて和音？（授業形態：講義）

予習内容：パッヘルベルについてインターネットなどで調べてみる。

予習時間：30分
復習内容：授業で触れることのなかった「カノン進行」で作られた日本のポピュラー音楽をYouTube等で探してみるとともに、なぜ日本においてだけこの和声進行が熱心に繰り返し用いられ、しかもヒット曲を生み出す原動力となるのかということについて考察してみる。
復習時間：120分
日本人に特に愛好されている和声進行「カノン進行」によって作曲されているパッヘルベルのカノンについて解説し、和声と対位法の諸相について学ぶとともに、音楽用語としてのカノンの本来の意味とその作曲法について学ぶ。

第9回　長大な定型バスを持つJ.S.バッハ作曲ゴルトベルク変奏曲BWV988の宇宙（授業形態：講義）

予習内容：J.S.バッハの音楽史における位置付けについて予習しておく。
予習時間：30分
復習内容：講義者が演奏しているJ.S.バッハの《ゴルトベルク変奏曲》BWV988の全曲版をYouTubeで聴いてみる。
https://www.youtube.com/watch?v=Uq1KNGY2__U
復習時間：120分
カノンて和音？の回で学んだ定型バスの可能性を限界まで拡大させ、当時においてはもちろんのこと、今日においてもなお作曲技法の巧みさという点で他の追従を許さない「ゴルトベルク変奏曲」の深淵なる宇宙を学びます。

第10回　オペラの魅力―マリア・カラス「トスカ」第２幕を聴くー（授業形態：講義）

予習内容：「トスカ」の作曲家であるプッチーニについて予め調べておく。
予習時間：30分
復習内容：マリア・カラス 『トスカ』は第２幕しか残されていないので、第１幕と第３幕について他の演奏家の演奏で聴いて終幕後の感想をまとめてみる。
復習時間：120分
普段ポピュラー音楽に慣れ親しんでいる人にとっては、理解困難なオペラの魅力ついて、20世紀最高のソプラノ歌手であるマリア・カラスの『トスカ』第２幕を題材として学びます。劇中で悪役をこなす警視総監スカルピア役のティト・ゴッピとの切迫したやり取りは、実は音楽家としての信頼感から生まれるというギャップに皆さんは驚かれることでしょう。

第11回　指揮者の仕事（授業形態：講義）

予習内容：指揮法という言葉について予め調べてみる。
予習時間：30分
復習内容：授業で聴いた３人のベートーヴェン交響曲第７番の開始の指揮振りのうち、最も気に入った指揮者の演奏を最後まで聴いてみる。
復習時間：120分
指揮者はオーケストラにおいてどんな仕事をしているのか皆目見当がつかないという人は多いでしょう。しかし指揮者によって同一曲がこの上もなく魅力的に感じられたり、単なる駄作に聴こえてしまったりと、大きな違いが生まれてくる大変重要な役割を担っているのです。その指揮者の仕事ついて学ぶとともに、この違いが良い演奏を生み出すヒントにもなることを学びます。

第12回　世界の一流オーケストラのサウンドを聴こう（授業形態：講義）

予習内容：ヘルベルト・フォン・カラヤンについて調べてみる。
予習時間：30分
復習内容：「トリスタンとイゾルデ」についてはできれば全曲を通して聴いてもらいたいところです。しかし長大なオペラなので全曲は無理でしょう。あらすじは説明しているので第３幕だけでも通して聴いてみましょう。トリスタン絶命時の音楽は必聴です。
復習時間：120分
世界最高峰と称えられるウィーンフィルハーモニー管弦楽団とベルリンフィルハーモニー管弦楽団を良質な録音で味わいます。またそれぞれの楽団の成り立ちと特徴を学び、世界一気難しいウィーンフィルがカルロス・クライバーの手にかかりフルスロットルで演奏している痛快さと、20世紀のスーパースターであるヘルベルト・フォン・カラヤンの指揮振りについて学びます。今週の一曲ではワーグナーの「トリスタンとイゾルデ」から「イゾルデ愛の死」を取り上げ、ワーグナーの野心的な企みである絶対音楽とオペラの融合について学び、その耽美な世界を堪能します。

第13回　奇跡の復活；フルトヴェングラー第２次世界大戦時の録音（授業形態：講義）

予習内容：ウィルヘルム・フルトヴェングラーという指揮者について予め調べてみる。
予習時間：30分
復習内容：1942年に録音されたベートーヴェン《交響曲第9番『合唱』》Op.125(1824)を１楽章から通して聴いてみる。
復習時間：120分
人間は戦争という極限状態において音楽を求めうるのか？、求めるとすればそこに何を見出そうとするのか？芸術の根源的問題に応えうる演奏を提示します。フルトヴェングラーという不世出の指揮者がナチスとの関わりの中でいかなる困難に直面し、苦悶したのか、これをドキュメンタリータッチで追うとともに、終戦間際の空襲にさらされるベルリンにおいて奇跡的に残されたブラームス：交響曲第1番　Op.68 (1876)　第4楽章の録音を聴きます。この録音が戦争直後に出てきたわけではなく、ペレストロイカ後のソビエト連邦において再発見された経緯を知れば、音楽の深淵なる使命というものに皆さんは心打たれることでしょう。

第14回　20世紀の音楽（授業形態：講義）

予習内容：ジョン・ケージやミニマル・ミュージックについて調べる。
予習時間：30分
復習内容：プリペアド・ピアノによる他の作品、あるいはミニマル。ミュージックの他の作品にも触れ、その存在意義についてレポートする。
復習時間：120分
20世紀に入り、戦後へと時代が進むにつれて、絶対音楽の基本原理である機能和声、拍節とリズム、旋律まで崩壊させていったいわゆる「現代音楽」の実態について学びます。現代音楽に携わった作曲者達は、しかし単なる「破壊者」ではなかったことを皆さんは知るでしょう。この現代音楽というジャンルとポピュラー音楽全盛期と言っても良い20世紀後半から現代に至るまでのギャップについては一考の余地があると思われます。この現状を読み解く方法の一端を提示します。

第15回　音楽が教えてくれること（授業形態：講義）

予習内容：チェンバロにおいて特に有効であることを学んだ長短法の演奏法について復習しておく。
予習時間：30分
復習内容：最終課題が提示されます。受講者の皆さんは、自分の音楽観を総括してレポートを書く事になります。
復習時間：120分
理論を超えて感情に訴え、歴史を超えて人が持ち続けるべき心のあり方を教えてくれる古典の作品の魅力を考察していきます。状況がゆるされればパルティータ第6番のチェンバロによる実演を対面によって行います。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**健康とスポーツの科学**						
英文名　：	Health and Sports Sciences						
担当者　：	川村　亮太						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：							

■授業概要

各授業でプリントを配布し、健康とスポーツに関する多角的な視点を養う。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

1)健康・スポーツ科学に関する基礎的知識を習得する
2)自身の心身の健康の維持・増進について熟考し、日常生活に活かす
3)様々な学習やスポーツパフォーマンス向上のための知識を習得する

■成績評価方法および基準

授業への積極的な参加姿勢 15%
課題提出・記述内容 15%
中間レポート（1回） 20%
最終レポート 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

各授業の質問や感想について、授業終了後に学生から教員宛にGoogleフォームで送信してもらいます。そして、次回の授業の冒頭でその回答についてフィードバックを行います。

■教科書

【留意事項】特に指定しません。

■参考文献

[ISBN]9784915926013 『よくわかるスポーツサイエンス』（湯浅景元、サニーサイドアップ：1996）

■関連科目

生涯スポーツ１、２

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

生涯スポーツ教員控室（2号館5階505）・ryota.kawamura@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　オリエンテーション（授業形式：講義）

予習内容：次回の題材について
予習時間：60分
復習内容：今回の題材について
復習時間：30分
健康に関する各題材を意識して予習と復習を実行する。

第2回　心身の健康とは（授業形式：講義）

予習内容：次回の題材について
予習時間：60分
復習内容：今回の題材について
復習時間：30分
心身の健康について多角的に捉える

第3回　心身に関わる様々な病（授業形式：講義）

予習内容：次回の題材について
予習時間：60分
復習内容：今回の題材について
復習時間：30分
生活習慣病や精神疾患等の病に関する理解を深める

第4回　生活スタイルと健康（授業形式：講義）

予習内容：次回の題材について
予習時間：60分
復習内容：今回の題材について
復習時間：30分
喫煙、飲酒、睡眠等の生活習慣を見直し、自身の生活習慣を振り返る

第5回　ストレスとコーピング（授業形式：講義）

予習内容：次回の題材について
予習時間：60分
復習内容：今回の題材について
復習時間：30分
ストレスに対する対処法について理解を深める

第6回　食事と健康（授業形式：講義）

予習内容：次回の題材について
予習時間：60分
復習内容：今回の題材について
復習時間：30分
食事と健康の関連について理解を深める

第7回　身体の発育発達（授業形式：講義）

予習内容：次回の題材について
予習時間：60分
復習内容：今回の題材について
復習時間：30分
身体の発育発達過程について理解を深める

第8回　中間レポート（授業形式：講義）

予習内容：次回の題材について
予習時間：60分
復習内容：今回の題材について
復習時間：30分
これまでの学習理解度を評価する

第9回　スポーツの心理（授業形式：講義）

予習内容：次回の題材について
予習時間：60分
復習内容：今回の題材について
復習時間：30分
スポーツ科学における心理学の役割について理解を深める

第10回　スポーツ・運動パフォーマンスの習得（授業形式：講義）

予習内容：次回の題材について
予習時間：60分
復習内容：今回の題材について
復習時間：30分
運動スキルの学習過程について理解を深める

第11回　運動・スポーツとやる気（授業形式：講義）

予習内容：次回の題材について
予習時間：60分
復習内容：今回の題材について
復習時間：30分
モチベーションのメカニズムについて理解を深める

第12回　スポーツにおける思考と感情の役割（授業形式：講義）

予習内容：次回の題材について
予習時間：60分
復習内容：今回の題材について
復習時間：30分
スポーツ場面における思考や感情の機能について理解を深める

第13回　プレッシャーとあがりの概要とその対処（授業形式：講義）

予習内容：次回の題材について
予習時間：60分
復習内容：今回の題材について
復習時間：30分
緊張やプレッシャー場面について理解を深める

第14回　スポーツカウンセリングとコーチング（授業形式：講義）

予習内容：次回の題材について
予習時間：60分
復習内容：今回の題材について
復習時間：30分
スポーツ指導者の観点について理解を深める

第15回　まとめ（授業形式：講義）

最終レポート対策を伴う総復習を行う

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**健康とスポーツの科学**						
英文名　：	Health and Sports Sciences						
担当者　：	橋本　剛幸						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：							

■授業概要

スポーツや運動についての基礎理論を学ぶことにより、人間の健康について考えます。グループ、もしくは個人でテーマを決めて調べ、そのテーマについてプレゼンテーションおよび討議を行います。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

生涯にわたって健康的な生活を送るために、いかに運動が大切であるかを理解し、スポーツとどのように付き合っていくかを考え、実践していく意識を高めることを目標とします。また、自ら学ぶ姿勢とプレゼンテーション能力を養い、一つのテーマに対して討議することでお互いの知識を深めることも目標としています。
この科目の習得は、本学部の定めるディプロマポリシー2，5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

プレゼンテーション内容 70%
受講態度･意欲[授業内の質問に対する応答、ディスカッション内容] 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

各グループのプレゼンテーションについて、終了後と次回の授業の最初に行うまとめの中で、後評を行います。
各授業の質疑応答、ディスカッション内容について、授業終了後、各個人にアドバイスや評価内容の説明を行います。

■教科書

【留意事項】特に指定しません。

■参考文献

【留意事項】特に指定しません。

■関連科目

特になし。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

生涯スポーツ教員控室（2号館5階505）・yhashimoto@bus.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

授業前後またはメールにて受け付けます。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回目の授業ではオリエンテーション、グループ分けを行う。

2回目以降はテーマ決定、テーマ内容の調査を数時間行い、準備ができ次第できるだけ早い時期からプレゼンテーション、討議を順番に行っていく。
予習内容：プレゼンテーションに向けての準備。発表内容に対しての質問内容の整理。自分たちの発表内容の様々な見地からの検討。
予習時間：120分
復習内容：発表内容の再検討。まとめを受けて、内容の検討、質問内容の整理。
復習時間：30分

第1回 オリエンテーション（グループ分け・発表日決定）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：グループ分けに向けて、発表内容の検討。
予習時間：120分
復習内容：グループでの討議、発表内容、分担の決定へ向けての準備。
復習時間：30分

第2回 ディスカッション1（テーマ決定・プレゼンテーション例〈個人スポーツ〉の実施）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：グループでの討議、発表内容、分担の決定へ向けての準備。
予習時間：120分
復習内容：プレゼンテーション例を受けて、内容の再検討。
復習時間：30分

第3回 ディスカッション2（内容調査・プレゼンテーション例〈集団スポーツ〉の実施）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：グループでの討議、発表内容、分担の決定へ向けての準備。
予習時間：120分
復習内容：プレゼンテーション例を受けて、内容の再検討。
復習時間：30分

第4回 ディスカッション3（内容調査・プレゼンテーション例〈アスリート〉の実施）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：グループでの討議、発表内容、分担の決定へ向けての準備。
予習時間：120分
復習内容：プレゼンテーション例を受けて、内容の再検討。
復習時間：30分

第5回 プレゼンテーション1（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：プレゼンテーションに向けての準備。
予習時間：120分
復習内容：発表内容を受けて、内容の検討、質問内容の整理。
復習時間：30分

第6回 プレゼンテーション2 （授業形式：演習を含む講義）
前回のプレゼンテーションのまとめ（バイオメカニクス的見地より）

予習内容：自分たちの発表内容についてのバイオメカニクス的見地より再検討。プレゼンテーションに向けての準備。
予習時間：120分
復習内容：発表内容を受けて、内容の検討、質問内容の整理。
復習時間：30分

第7回 プレゼンテーション3 （授業形式：演習を含む講義）
前回のプレゼンテーションのまとめ（運動医学的見地より）

予習内容：自分たちの発表内容についてのスポーツ医学的見地より再検討。プレゼンテーションに向けての準備。
予習時間：120分
復習内容：発表内容を受けて、内容の検討、質問内容の整理。
復習時間：30分

第8回 プレゼンテーション4 （授業形式：演習を含む講義）
前回のプレゼンテーションのまとめ（スポーツ社会学的見地より）

予習内容：自分たちの発表内容についてのスポーツ社会学的見地より再検討。プレゼンテーションに向けての準備。
予習時間：120分
復習内容：発表内容を受けて、内容の検討、質問内容の整理。
復習時間：30分

第9回 プレゼンテーション5 （授業形式：演習を含む講義）
前回のプレゼンテーションのまとめ（スポーツ心理学的見地より）

予習内容：自分たちの発表内容についてのスポーツ心理学的見地より再検討。プレゼンテーションに向けての準備。
予習時間：120分

復習内容：発表内容を受けて、内容の検討、質問内容の整理。
復習時間：30分

第10回 プレゼンテーション6　（授業形式：演習を含む講義）
前回のプレゼンテーションのまとめ（体育史的見地より）

予習内容：自分たちの発表内容についての体育史的見地より再検討。プレゼンテーションに向けての準備。
予習時間：120分
復習内容：発表内容を受けて、内容の検討、質問内容の整理。
復習時間：30分

第11回 プレゼンテーション7　（授業形式：演習を含む講義）
前回のプレゼンテーションのまとめ（運動生理学的見地より）

予習内容：自分たちの発表内容についての運動生理学的見地より再検討。プレゼンテーションに向けての準備。
予習時間：120分
復習内容：発表内容を受けて、内容の検討、質問内容の整理。
復習時間：30分

第12回 プレゼンテーション8　（授業形式：演習を含む講義）
前回のプレゼンテーションのまとめ（体育経営学学的見地より）

予習内容：自分たちの発表内容についての体育経営学的見地より再検討。プレゼンテーションに向けての準備。
予習時間：120分
復習内容：発表内容を受けて、内容の検討、質問内容の整理。
復習時間：30分

第13回 プレゼンテーション9　（授業形式：演習を含む講義）
前回のプレゼンテーションのまとめ（体育方法学的見地より）

予習内容：自分たちの発表内容についての体育方法学的見地より再検討。プレゼンテーションに向けての準備。
予習時間：120分
復習内容：発表内容を受けて、内容の検討、質問内容の整理。
復習時間：30分

第14回 プレゼンテーション10　（授業形式：演習を含む講義）
前回のプレゼンテーションのまとめ（スポーツ測定評価学的見地より）

予習内容：自分たちの発表内容についてのスポーツ測定評価学的見地より再検討。プレゼンテーションに向けての準備。
予習時間：120分
復習内容：発表内容を受けて、内容の検討、質問内容の整理。
復習時間：30分

第15回 前回のプレゼンテーションのまとめ（発達発育学的見地より）　（授業形式：演習を含む講義）
まとめ

予習内容：自分たちの発表内容についての発達発育学的見地より再検討。プレゼンテーションに向けての準備。
予習時間：120分
復習内容：発表内容を受けて、内容の検討、質問内容の整理。
復習時間：30分

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**健康とスポーツの科学**						
英文名 ：	Health and Sports Sciences						
担当者 ：	山中　恕						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考 ：							

■授業概要

各授業でプリントを配布し、健康とスポーツに関する多角的な視点を養う。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

1)健康・スポーツ科学に関する基礎的知識を習得する
2)自身の心身の健康の維持・増進について熟考し、日常生活に活かす
3)様々な学習やスポーツパフォーマンス向上のための知識を習得する

■成績評価方法および基準

授業への積極的な参加姿勢 15%
課題提出・記述内容 15%
中間レポート（1回） 20%
最終レポート 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

各授業の質問や感想について、授業終了後に学生から教員宛にGoogleフォームで送信してもらいます。そして、次回の授業の冒頭でその回答についてフィードバックを行います。

■教科書

【留意事項】特に指定しません。

■参考文献

[ISBN]9784915926013 『よくわかるスポーツサイエンス』（湯浅景元、サニーサイドアップ：1996）

■関連科目

生涯スポーツ１、２

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

生涯スポーツ教員控室（2号館5階505）・yuki.yamanaka@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　オリエンテーション（授業形式：講義）

予習内容：次回の題材について
予習時間：60分
復習内容：今回の題材について
復習時間：30分
健康に関する各題材を意識して予習と復習を実行する。

第2回　心身の健康とは（授業形式：講義）

予習内容：次回の題材について
予習時間：60分
復習内容：今回の題材について
復習時間：30分
心身の健康について多角的に捉える

第3回　心身に関わる様々な病（授業形式：講義）

予習内容：次回の題材について
予習時間：60分
復習内容：今回の題材について
復習時間：30分
生活習慣病や精神疾患等の病に関する理解を深める

第4回　生活スタイルと健康（授業形式：講義）

予習内容：次回の題材について
予習時間：60分
復習内容：今回の題材について
復習時間：30分
喫煙、飲酒、睡眠等の生活習慣を見直し、自身の生活習慣を振り返る

第5回　ストレスとコーピング（授業形式：講義）

予習内容：次回の題材について
予習時間：60分
復習内容：今回の題材について
復習時間：30分
ストレスに対する対処法について理解を深める

第6回　食事と健康（授業形式：講義）

予習内容：次回の題材について
予習時間：60分
復習内容：今回の題材について
復習時間：30分
食事と健康の関連について理解を深める

第7回　身体の発育発達（授業形式：講義）

予習内容：次回の題材について
予習時間：60分
復習内容：今回の題材について
復習時間：30分
身体の発育発達過程について理解を深める

第8回　中間レポート（授業形式：講義）

予習内容：次回の題材について
予習時間：60分
復習内容：今回の題材について
復習時間：30分
これまでの学習理解度を評価する

第9回　スポーツの心理（授業形式：講義）

予習内容：次回の題材について
予習時間：60分
復習内容：今回の題材について
復習時間：30分
スポーツ科学における心理学の役割について理解を深める

第10回　スポーツ・運動パフォーマンスの習得（授業形式：講義）

予習内容：次回の題材について
予習時間：60分
復習内容：今回の題材について
復習時間：30分
運動スキルの学習過程について理解を深める

第11回　運動・スポーツとやる気（授業形式：講義）

予習内容：次回の題材について
予習時間：60分
復習内容：今回の題材について
復習時間：30分
モチベーションのメカニズムについて理解を深める

第12回　スポーツにおける思考と感情の役割（授業形式：講義）

予習内容：次回の題材について
予習時間：60分
復習内容：今回の題材について
復習時間：30分
スポーツ場面における思考や感情の機能について理解を深める

第13回　プレッシャーとあがりの概要とその対処（授業形式：講義）

予習内容：次回の題材について
予習時間：60分
復習内容：今回の題材について
復習時間：30分
緊張やプレッシャー場面について理解を深める

第14回　スポーツカウンセリングとコーチング（授業形式：講義）

予習内容：次回の題材について
予習時間：60分
復習内容：今回の題材について
復習時間：30分
スポーツ指導者の観点について理解を深める

第15回　まとめ（授業形式：講義）

最終レポート対策を伴う総復習を行う

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**現代経済の課題**						
英文名　：	Problems of Modern Economics						
担当者　：	今田　秀作						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】火曜3限						

■授業概要

今日の経済社会が直面している諸問題について広く深く理解し、またその解決策について自分の意見を持ち、説明できるようになることを目標とし、そのきっかけとなる授業を行います。講義では、今日ますます重要な問題となっている経済のグローバリゼーションを主要なテーマとし、この点で他地域に先行してきたヨーロッパの事情を詳しく検討します。講義では多数のデータや資料を示しつつ、受講生の想像力や興味を刺激できるように努めます。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

世界や日本の具体的な事実の検討を通じて、日々経験している経済・社会問題を体系的に理解できることを目指します。そのために、(1)経済学の基礎知識を習得する。(2)経済グローバリゼーションがもたらす影響や問題点について理解を深める。(3)過去数十年の時間的経緯の中で現代経済が持つ特徴を考察できることなどを到達目標とします。この科目の履修は、近畿大学の教養教育も目的１の達成に寄与するものです。

■成績評価方法および基準

レポート 70%
コメントシート及び小テスト 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

コメント・質問への回答、小テスト・課題の解説・講評を行います

■教科書

使用しません。資料のファイルを事前に配布し、授業ではそれを含んだパワーポイントを表示しつつ説明を行います。

■参考文献

講義の中で適宜紹介します

■関連科目

国際経済入門

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・s-imada86@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 イントロダクション（授業形式：講義）

予習内容：地図帳でヨーロッパ全体の地理や各国の位置を確認し、ヨーロッパ・イメージを形成する
予習時間：60分
復習内容：ヨーロッパ統合が現代グローバリゼーションの最先進事例であることを理解する
復習時間：40分
授業の目的や方法を説明するとともに、ヨーロッパ統合の歴史と現状について予備的に概観する

第2回 冷戦期以前のヨーロッパ（授業形式：講義）

予習内容：高校時代の教科書や参考書を用いてヨーロッパ史の長期的なアウトラインを掴む
予習時間：60分
復習内容：ヨーロッパ統合が世界秩序の長期的な変化に影響されて開始されたことを理解する
復習時間：40分
古代以来のヨーロッパ史を概観し、第二次大戦後におけるヨーロッパ統合開始に対する歴史的前提を示す

第3回 第2次世界大戦中・戦後の英米関係（授業形式：講義）

予習内容：20世紀前半のアメリカやヨーロッパを含んだ世界史全体のアウトラインを掴む
予習時間：60分
復習内容：20世紀前半のイギリス史の特徴、及びアメリカがイギリスに代わって世界の中心に昇りつめる過程を理解する
復習時間：40分
近年EUから離脱したイギリスの、ヨーロッパ統合開始以前におけるアメリカとの関係を検討し、第2次世界大戦後の国際秩序がアメリカを中心に築かれたこと、またイギリスが持ってきた大陸ヨーロッパとの歴史関係について確認する

第4回 第2次大戦後の国際通貨体制の成立（授業形式：講義）

予習内容：国際通貨とは何かという問題を含め、国際通貨体制について文献等から情報を集める
予習時間：60分
復習内容：国際通貨を用いた国際取引のメカニズムに関心を持ち、また1970年代まで機能したブレトンウッズ体制の特徴を理解する
復習時間：40分
第二次大戦後の国際通貨体制（ブレトンウッズ体制）の成立過程を、イギリス案とアメリカ案との対抗を基軸として説明する

第5回 アメリカの戦後世界戦略とヨーロッパ統合（授業形式：講義）

予習内容：第二次大戦後しばらくの間の世界情勢やヨーロッパ各国の動向について、文献等から情報を集める
予習時間：60分
復習内容：戦後の東西冷戦開始を含んだ世界情勢を理解し、アメリカの対ヨーロッパ戦略の内容と意義を確認する
復習時間：40分
戦後アメリカが東西冷戦を背景とし、また西側世界経済の再建を目的に、多様な利害を持つヨーロッパ各国をいかに束ねたかを解説する

第6回 ヨーロッパ統合の開始と展開（授業形式：講義）

予習内容：国家間の関税制度や国際決済システムの役割について、関連文献を通じて考えてみる
予習時間：60分
復習内容：大戦中に敵国同士であったフランスとドイツがヨーロッパの復興のために協調に転じた経緯を確認する
復習時間：40分
フランスの戦後復興戦略を検討しながら、仏独の合意形成を通じてヨーロッパ統合が開始され、1950・60年代においてECSC及びECCという統合形態が生み出されたことを示す

第7回 イギリスのEC加盟（授業形式：講義）

予習内容：戦後のアジア・アフリカにおける独立運動や新たな国際秩序を求める動きについて、文献等から情報を集める
予習時間：60分
復習内容：イギリスがフランス・ドイツに遅れてヨーロッパ統合に参加した経緯と、それを促した戦後世界秩序の変化を確認する
復習時間：40分
大英帝国を存立基盤とし、その維持に維持に固執してきたイギリスが、植民地の独立等を経て1960年代後半からヨーロッパ統合への参加申請を行うに至った経緯を解説する

第8回 ヨーロッパ経済の長期停滞（授業形式：講義）

予習内容：今も紛争が絶えない中東情勢の歴史的推移について、文献等から情報を集める
予習時間：60分
復習内容：安価な石油に依存して成長してきた先進国経済に大きな転換点が訪れたことを確認する
復習時間：40分
石油危機を契機とするスタグフレーションによってヨーロッパ経済の停滞が続いたことを解説する

第9回 イギリスのサッチャー改革（授業形式：講義）

予習内容：マーガレット・サッチャー首相の業績や人となりについて、文献等から情報を集める
予習時間：60分
復習内容：新自由主義改革の特徴とそれがもたらすであろう効果や帰結について確認する
復習時間：40分
イギリス首相マーガレット・サッチャーがスタグフレーションを克服すべく断行した新自由主義改革の背景・内容・帰結を解説する

第10回　ヨーロッパ市場統合（授業形式：講義）

予習内容：非関税障壁について文献等から情報を集め、それが重大な意味を持つことを理解する
予習時間：60分
復習内容：非関税障壁の内容について理解し、それを撤廃することの意義を確認する
復習時間：40分
70年代の停滞を抜け出すべく、単一市場（single market）の形成を目的にヨーロッパ統合が進化していった経緯を解説する

第11回　ヨーロッパ通貨統合（授業形式：講義）

予習内容：関連文献を読みつつ、各国の通貨が一つにまとめられることの意味を考えておく
予習時間：60分
復習内容：単一通貨ユーロが誕生するまでの経緯とユーロ加盟国の主権のあり方における変化を確認する
復習時間：40分
マーストリヒト条約（1992年）の締結に後押しされつつ、現在19カ国が導入している単一通貨ユーロが誕生するまでの経緯を解説する

第12回　東西冷戦の終焉と経済グローバリゼーションの進展（授業形式：講義）

予習内容：2000年代末からの世界的経済・金融危機（いわゆるリーマン・ショック）について、文献等によって情報を集める
予習時間：60分
復習内容：金融化（Financialization）とも称せられる近年の先進国経済の変化について、リーマン・ショックを手かがりに考察する
復習時間：40分
東西冷戦の終焉後、アメリカに牽引されつつ、経済のグローバル化や金融の世界的自由化が進行し、その帰結の一つがリーマン・ショックであったことを説明する

第13回　ユーロ危機とヨーロッパ統合（授業形式：講義）

予習内容：ユーロ危機や難民・移民問題など、近年ヨーロッパ統合を脅かしている諸要素について情報を集める
予習時間：60分
復習内容：ユーロ危機の経緯や内容を理解し、金融危機とヨーロッパ統合との関連性について確認する
復習時間：40分
世界的金融危機と連動しつつ、各国の財政問題とも絡んで勃発したユーロ危機について解説し、それが表現するヨーロッパ統合の特質について考察する

第14回　イギリスのEU離脱（授業形式：講義）

予習内容：イギリスのEU離脱（ブレグジット）の経緯や帰結について、文献等から情報をまとめる
予習時間：60分
復習内容：イギリスのEU離脱の背景を理解し、同時にそれをイギリスの歴史的特質との関連において位置付ける
復習時間：40分
2016年の国民投票から近年ようやく決着したイギリスのEU離脱問題の背景・経緯・帰結について解説する

第15回　まとめーグローバリゼーションの将来（授業形式：講義）

予習内容：これまでの授業内容を復習し、ヨーロッパ経済の特徴やヨーロッパ統合の意義について考える
予習時間：60分
復習内容：グローバリゼーションの意義や限界、またその過去・現在・将来について自分なりの理解を持つようにする
復習時間：40分
第二次大戦後から今日に至るヨーロッパ経済の動向と地域統合の経緯をまとめ、グローバリゼーションの今後のあり方について考察する

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**現代経済の課題**						
英文名 ：	Problems of Modern Economics						
担当者 ：	今田　秀作						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】火曜4限						

■授業概要

今日の経済社会が直面している諸問題について広く深く理解し、またその解決策について自分の意見を持ち、説明できるようになることを目標とし、そのきっかけとなる授業を行います。講義では、今日ますます重要な問題となっている経済のグローバリゼーションを主要なテーマとし、この点で他地域に先行してきたヨーロッパの事情を詳しく検討します。講義では多数のデータや資料を示しつつ、受講生の想像力や興味を刺激できるように努めます。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

世界や日本の具体的な事実の検討を通じて、日々経験している経済・社会問題を体系的に理解できることを目指します。そのために、(1)経済学の基礎知識を習得する。(2)経済グローバリゼーションがもたらす影響や問題点について理解を深める。(3)過去数十年の時間的経緯の中で現代経済が持つ特徴を考察できることなどを到達目標とします。この科目の履修は、近畿大学の教養教育も目的１の達成に寄与するものです。

■成績評価方法および基準

レポート 70%
コメントシート及び小テスト 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

コメント・質問への回答、小テスト・課題の解説・講評を行います

■教科書

使用しません。資料のファイルを事前に配布し、授業ではそれを含んだパワーポイントを表示しつつ説明を行います。

■参考文献

講義の中で適宜紹介します

■関連科目

国際経済入門

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・s-imada86@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 イントロダクション（授業形式：講義）

予習内容：地図帳でヨーロッパ全体の地理や各国の位置を確認し、ヨーロッパ・イメージを形成する
予習時間：60分
復習内容：ヨーロッパ統合が現代グローバリゼーションの最先進事例であることを理解する
復習時間：40分
授業の目的や方法を説明するとともに、ヨーロッパ統合の歴史と現状について予備的に概観する

第2回 冷戦期以前のヨーロッパ（授業形式：講義）

予習内容：高校時代の教科書や参考書を用いてヨーロッパ史の長期的なアウトラインを掴む
予習時間：60分
復習内容：ヨーロッパ統合が世界秩序の長期的な変化に影響されて開始されたことを理解する
復習時間：40分
古代以来のヨーロッパ史を概観し、第二次大戦後におけるヨーロッパ統合開始に対する歴史的前提を示す

第3回 第2次世界大戦中・戦後の英米関係（授業形式：講義）

予習内容：20世紀前半のアメリカやヨーロッパを含んだ世界史全体のアウトラインを掴む
予習時間：60分
復習内容：20世紀前半のイギリス史の特徴、及びアメリカがイギリスに代わって世界の中心に昇りつめる過程を理解する
復習時間：40分
近年EUから離脱したイギリスの、ヨーロッパ統合開始以前におけるアメリカとの関係を検討し、第2次世界大戦後の国際秩序がアメリカを中心に築かれたこと、またイギリスが持ってきた大陸ヨーロッパとの歴史関係について確認する

第4回 第2次大戦後の国際通貨体制の成立（授業形式：講義）

予習内容：国際通貨とは何かという問題を含め、国際通貨体制について文献等から情報を集める
予習時間：60分
復習内容：国際通貨を用いた国際取引のメカニズムに関心を持ち、また1970年代まで機能したブレトンウッズ体制の特徴を理解する
復習時間：40分
第二次大戦後の国際通貨体制（ブレトンウッズ体制）の成立過程を、イギリス案とアメリカ案との対抗を基軸として説明する

第5回 アメリカの戦後世界戦略とヨーロッパ統合（授業形式：講義）

予習内容：第二次大戦後しばらくの間の世界情勢やヨーロッパ各国の動向について、文献等から情報を集める
予習時間：60分
復習内容：戦後の東西冷戦開始を含んだ世界情勢を理解し、アメリカの対ヨーロッパ戦略の内容と意義を確認する
復習時間：40分
戦後アメリカが東西冷戦を背景とし、また西側世界経済の再建を目的に、多様な利害を持つヨーロッパ各国をいかに束ねたかを解説する

第6回 ヨーロッパ統合の開始と展開（授業形式：講義）

予習内容：国家間の関税制度や国際決済システムの役割について、関連文献を通じて考えてみる
予習時間：60分
復習内容：大戦中に敵国同士であったフランスとドイツがヨーロッパの復興のために協調に転じた経緯を確認する
復習時間：40分
フランスの戦後復興戦略を検討しながら、仏独の合意形成を通じてヨーロッパ統合が開始され、1950・60年代においてECSC及びECCという統合形態が生み出されたことを示す

第7回 イギリスのEC加盟（授業形式：講義）

予習内容：戦後のアジア・アフリカにおける独立運動や新たな国際秩序を求める動きについて、文献等から情報を集める
予習時間：60分
復習内容：イギリスがフランス・ドイツに遅れてヨーロッパ統合に参加した経緯と、それを促した戦後世界秩序の変化を確認する
復習時間：40分
大英帝国を存立基盤とし、その維持に維持に固執してきたイギリスが、植民地の独立等を経て1960年代後半からヨーロッパ統合への参加申請を行うに至った経緯を解説する

第8回 ヨーロッパ経済の長期停滞（授業形式：講義）

予習内容：今も紛争が絶えない中東情勢の歴史的推移について、文献等から情報を集める
予習時間：60分
復習内容：安価な石油に依存して成長してきた先進国経済に大きな転換点が訪れたことを確認する
復習時間：40分
石油危機を契機とするスタグフレーションによってヨーロッパ経済の停滞が続いたことを解説する

第9回 イギリスのサッチャー改革（授業形式：講義）

予習内容：マーガレット・サッチャー首相の業績や人となりについて、文献等から情報を集める
予習時間：60分
復習内容：新自由主義改革の特徴とそれがもたらすであろう効果や帰結について確認する
復習時間：40分
イギリス首相マーガレット・サッチャーがスタグフレーションを克服すべく断行した新自由主義改革の背景・内容・帰結を解説する

第10回　ヨーロッパ市場統合（授業形式：講義）

予習内容：非関税障壁について文献等から情報を集め、それが重大な意味を持つことを理解する
予習時間：60分
復習内容：非関税障壁の内容について理解し、それを撤廃することの意義を確認する
復習時間：40分
70年代の停滞を抜け出すべく、単一市場（single market）の形成を目的にヨーロッパ統合が進化していった経緯を解説する

第11回　ヨーロッパ通貨統合（授業形式：講義）

予習内容：関連文献を読みつつ、各国の通貨が一つにまとめられることの意味を考えておく
予習時間：60分
復習内容：単一通貨ユーロが誕生するまでの経緯とユーロ加盟国の主権のあり方における変化を確認する
復習時間：40分
マーストリヒト条約（1992年）の締結に後押しされつつ、現在19カ国が導入している単一通貨ユーロが誕生するまでの経緯を解説する

第12回　東西冷戦の終焉と経済グローバリゼーションの進展（授業形式：講義）

予習内容：2000年代末からの世界的経済・金融危機（いわゆるリーマン・ショック）について、文献等によって情報を集める
予習時間：60分
復習内容：金融化（Financialization）とも称せられる近年の先進国経済の変化について、リーマン・ショックを手かがりに考察する
復習時間：40分
東西冷戦の終焉後、アメリカに牽引されつつ、経済のグローバル化や金融の世界的自由化が進行し、その帰結の一つがリーマン・ショックであったことを説明する

第13回　ユーロ危機とヨーロッパ統合（授業形式：講義）

予習内容：ユーロ危機や難民・移民問題など、近年ヨーロッパ統合を脅かしている諸要素について情報を集める
予習時間：60分
復習内容：ユーロ危機の経緯や内容を理解し、金融危機とヨーロッパ統合との関連性について確認する
復習時間：40分
世界的金融危機と連動しつつ、各国の財政問題とも絡んで勃発したユーロ危機について解説し、それが表現するヨーロッパ統合の特質について考察する

第14回　イギリスのEU離脱（授業形式：講義）

予習内容：イギリスのEU離脱（ブレグジット）の経緯や帰結について、文献等から情報をまとめる
予習時間：60分
復習内容：イギリスのEU離脱の背景を理解し、同時にそれをイギリスの歴史的特質との関連において位置付ける
復習時間：40分
2016年の国民投票から近年ようやく決着したイギリスのEU離脱問題の背景・経緯・帰結について解説する

第15回　まとめーグローバリゼーションの将来（授業形式：講義）

予習内容：これまでの授業内容を復習し、ヨーロッパ経済の特徴やヨーロッパ統合の意義について考える
予習時間：60分
復習内容：グローバリゼーションの意義や限界、またその過去・現在・将来について自分なりの理解を持つようにする
復習時間：40分
第二次大戦後から今日に至るヨーロッパ経済の動向と地域統合の経緯をまとめ、グローバリゼーションの今後のあり方について考察する

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**現代社会と法**						
英文名　：	Law and Modern Society						
担当者　：	野上　晶平						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：							

■授業概要

社会経済活動を送る上で欠かせない法律関連知識の基礎の習得を目指すと共に、現役弁護士の指導による交渉学の基礎を学ぶ。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

我が国における主要な法律に関する体系知識を習得し、今後、社会経済活動を送る上で、有用な知識を身に付けてもらう。

■成績評価方法および基準

レポート 50%
受講態度･意欲（授業内の質問に対する応答、デジスカッション内容、講義中、終了時等の簡易な質問等） 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

レポートの要点と解説をGCまたはUNIVERSALPASSPORTに掲載します。

■教科書

担当教員作成のレジュメを使用します。

■参考文献

■関連科目

法律関連科目

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・shohei.nogami@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　法律体系（授業形式：講義）

予習内容：必要ありません
法律の構造体すなわち体系について学んでもらいます。

第2回　憲法①（授業形式：講義）

予習内容：第１回のレジュメを復習しておいてください。
予習時間：30分

復習内容：ノートの整理
復習時間：30分
憲法のうち、人権論について基本的な知識を学びます。

第3回　憲法②（授業形式：講義）

予習内容：第２回のレジュメを復習しておいてください。
予習時間：30分
復習内容：ノートの整理
復習時間：30分
憲法のうち、統治について基本的な知識を学びます。

第4回　民法①（授業形式：講義）

予習内容：第３回のレジュメを復習しておいてください。
予習時間：30分
復習内容：ノートの整理
復習時間：30分
民法のうち、総則物権について基本的な知識を学びます。

第5回　民法②（授業形式：講義）

予習内容：第４回のレジュメを復習しておいてください。
予習時間：30分
復習内容：ノートの整理
復習時間：30分
民法のうち、債権総論について基本的な知識を学びます。

第6回　民法③（授業形式：講義）

予習内容：第５回のレジュメを復習しておいてください。
予習時間：30分
復習内容：ノートの整理
復習時間：30分
民法のうち、債権各論について基本的な知識を学びます。

第7回　家族法（授業形式：講義）

予習内容：第６回のレジュメを復習しておいてください。
予習時間：30分
復習内容：ノートの整理
復習時間：30分
家族法（親族相続）について基本的な知識を学びます。

第8回　刑法①（授業形式：講義）

予習内容：第７回のレジュメを復習しておいてください。
予習時間：30分
復習内容：ノートの整理
復習時間：30分
刑法総論について基本的な知識を学びます。

第9回　刑法②（授業形式：講義）

予習内容：第８回のレジュメを復習しておいてください。
予習時間：30分
復習内容：ノートの整理
復習時間：30分
刑法各論について基本的な知識を学びます。

第10回　訴訟法体系（授業形式：講義）

予習内容：第９回のレジュメを復習しておいてください。
予習時間：30分
復習内容：ノートの整理
復習時間：30分
刑事訴訟法、民事訴訟法を通じて、裁判手続について基本的な知識を学びます。

第11回　労働法①（授業形式：講義）

予習内容：第１０回のレジュメを復習しておいてください。
予習時間：30分

復習内容：ノートの整理
復習時間：30分
労働法について基本的な知識を学びます。

第12回　労働法②（授業形式：講義）

予習内容：第１１回のレジュメを復習しておいてください。
予習時間：30分
復習内容：ノートの整理
復習時間：30分
労働法について基本的な知識を学びます。

第13回　交渉学①（授業形式：講義）

予習内容：第１２回のレジュメを復習しておいてください。
予習時間：30分
復習内容：ノートの整理
復習時間：30分
交渉学について基礎を学びます。

第14回　交渉学②（授業形式：講義）

予習内容：第１３回のレジュメを復習しておいてください。
予習時間：30分
復習内容：ノートの整理
復習時間：30分
第１３回で学んだ交渉学の基礎をベースに、交渉のロールプレイングを行ってもらいます。

第15回　インターネットと法（授業形式：講義）

予習内容：第１４回のレジュメを復習しておいてください。
予習時間：30分
復習内容：ノートの整理
復習時間：30分
インターネットを巡る法律について基本的な知識を学びます。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**現代社会と倫理**						
英文名　：	Modern Society and Ethics						
担当者　：	平木　光二						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】金曜4限						

■授業概要

我が子のＤＮＡ鑑定やドローンなど、今日まさに社会問題化しつつある諸問題をとりあげ、それらを倫理学の視点から検討・考察する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

講義やグループ討論などを通じて、倫理とは何かについての理解を深め、日常生活にあって倫理的に行動する意識を養うことを目標とする。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的１の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 70%
授業中課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

模範答案をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■教科書

【留意事項】指定しない。毎授業時、関係資料を配布する。

■参考文献

【留意事項】指定しない。

■関連科目

特になし。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）ko-hiraki@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　女性鉄拳プロゲーマー「たぬかな」の人権をめぐる発言(授業形式：講義)

予習内容：「たぬかな問題」で検索して概要を把握したのち、Wikipediaで、「人権」、「倫理」とはなにか、その概略についても調べ概念をつかんでおくこと。無生物に「道徳」や「倫理」を問えるのかについても考えておくこと。
予習時間：60分
復習内容：倫理が扱うテーマには「人権」以外にどんなテーマがあるか配布資料で確認しておくこと。
復習時間：20分
この授業は、グループ討論（司会と書記を含む５～６人編成）を通じて問題への理解を深めていくという授業形態を採っています。
　初日は授業の進め方などを説明し、そのあとグループに分かれて30～40分程度のグループ討論を体験してもらうにとどめますが、２回目以降は本格的に50分～60分程度のグループ討論をおこないます。
　初回は、この科目の導入という観点から、女性鉄拳プロゲーマー「たぬかな」の問題発言をとりあげグループ討論を行います。

第2回　倫理と法の境界(授業形式：講義)

予習内容：Wikipediaで倫理と法の境界というテーマを考察するうえで適切な事例がないか、調べておくこと。
予習時間：40分
復習内容：倫理と法の関係を配布資料を読み直して理解を深めておくこと。
復習時間：20分
倫理ということばは知っていてもそれを理解するのは容易ではない。そこで、倫理を法と対比すことで、倫理とはどういうものなのか、その概念をグループ討論を通じて理解を深めてもらう。

第3回　人権・表現の自由(授業形式：講義)

予習内容：Wikipediaで諸外国の校則を調べ、わが国の校則の現状を把握しておくこと。
予習時間：30分
復習内容：諸外国には見られない校則がなぜわが国にはあるのかの理由や、校則と人権の関係について配布資料を読み直して理解を深めておくこと。
復習時間：20分
わが国や諸外国の校則を例にとり、人権・表現の自由についてグループ討論する。

第4回　環境倫理―自然の権利(授業形式：講義)

予習内容：Wikipediaで「自然の権利」という用語を調べておくこと。
予習時間：30分
復習内容：「持続可能な開発」「自然の権利」などの概念を説明できるよう、配布資料を読み直しておくこと。
復習時間：20分
クロウサギクロウサギを例にとり、環境を保護する手法のひとつである、自然の権利についてグループ討論する。

第5回　安楽死ー安楽死は自殺なのか(授業形式：講義)

予習内容：安楽死と尊厳死のちがいを調べておくこと。
予習時間：20分
復習内容：わが国にも安楽死法を制定するべきか否か、考えを整理しておくこと。
復習時間：20分
オランダの安楽死の現状を踏まえながら、安楽死についてグループ討論する。

第6回　SNSの倫理(授業形式：講義)

予習内容：SNSのメリットはなにか、またデメリットはなにかについて調べておくこと。
予習時間：30分
復習内容：なぜ炎上が起きるのか、SNSにおける表現の自由という問題についての理解を深めておくこと。
復習時間：20分
YouTube（カメ五郎の狩猟）を例とりあげ、SNSの使用に際してどのような倫理的問題が生じるかについてグループ討論する。

第7回　ドローン―その平和的・軍事的利用について(授業形式：講義)

予習内容：ドローンの軍事的利用と平和的利用について、その具体的な事例をwikipediaで調べておくこと。
予習時間：40分
復習内容：ドローンが内包する倫理的懸念を、配布資料を読み直して理解を深めておくこと。
復習時間：30分
ドローンには、軍事的利用であれ平和的利用であれ、倫理的懸念を内包している。
どのような倫理的懸念を内包しているかについてグループ討論する。

第8回　脳死と臓器移植(授業形式：講義)

予習内容：某国でかつて容認されていた死刑囚の臓器移植の実態について、wikipediaで調べておくこと。
予習時間：30分
復習内容：説明と同意という概念を説明できるよう、ノートを整理しておくこと。
復習時間：20分

無脳症児などを例に、脳死と臓器移植についてグループ討論する。

第9回　ジェンダー(授業形式：講義)

予習内容：ジェンダーという用語をWikipediaで調べておくこと。
予習時間：30分
復習内容：ロボットにジェンダーを付与するとはどういうことか、理解を深めておくこと。
復習時間：20分
近鉄西大寺駅のAIロボット「アリサ」を例にとり、ジェンダーについてグループ討論する。

第10回　代理出産、ゲノム編集による不妊治療(授業形式：講義)

予習内容：host motherという用語をWikipediaで調べておくこと。
予習時間：30分
復習内容：代理出産の克服すべき課題はなにか、再考しておくこと。
復習時間：30分
代理出産が内包する倫理的問題についてグループ討論する。

第11回　確認テスト

予習内容：個々の事例についてその背景を説明できることは当然であるが、それにくわえ、自分はどちらの立場（賛否等）をとるのかを再考、再確認し、あわせてそう考える理由・根拠も示せるように用意しておくこと。
予習時間：90分
既習事項についての理解度を確認するテストを実施します。

第12回　食の倫理(授業形式：講義)

予習内容：東大と日清食品が共同開発している培養肉について調べておくこと。
予習時間：30分
復習内容：食の倫理の重要性を、配布資料を読み直して再確認・再認識しておくこと。
復習時間：20分
肉食の問題や、日清食品と東大が商品開発している培養肉などについて、グループ討論する。

第13回　ＤＮＡ鑑定(授業形式：講義)

予習内容：DNA鑑定の実際例をWikipediaで調べておくこと。
予習時間：30分
復習内容：DNA鑑定実施依頼にあたり、重要なことはなにか、再確認しておくこと。
復習時間：20分
ＤＮＡ鑑定の実例いくつかとりあげグループ討論する。

第14回　精子授受(授業形式：講義)

予習内容：精子授受の実態についてWikipediaやYoutubeで調べておくこと。
予習時間：30分
復習内容：精子授受についてどんな倫理的問題があるか整理しておくこと。
復習時間：20分
医療機関を通さずに巷で精子の取引がなされている。これについて、どんな倫理的問題があるかグループ討論する。

第15回　薬物使用(授業形式：講義)

予習内容：薬物は大麻などに限らない。薬物という用語をWikipediaで調べておくこと。
予習時間：30分
復習内容：薬物と倫理がどう関係しているか、配布資料で理解し確認しておくこと。
復習時間：20分
記憶力を高める薬物を使用するとき、どんな問題があるかグループ討論する。

定期試験

問題形式は記述式とする。
詳細は事前に説明します。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**現代社会と倫理**						
英文名　：	Modern Society and Ethics						
担当者　：	平木　光二						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】金曜3限						

■授業概要

我が子のＤＮＡ鑑定やドローンなど、今日まさに社会問題化しつつある諸問題をとりあげ、それらを倫理学の視点から検討・考察する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

講義やグループ討論などを通じて、倫理とは何かについての理解を深め、日常生活にあって倫理的に行動する意識を養うことを目標とする。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的１の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 70%
授業中課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

模範答案をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■教科書

【留意事項】指定しない。毎授業時、関係資料を配布する。

■参考文献

【留意事項】指定しない。

■関連科目

特になし。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）ko-hiraki@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　女性鉄拳プロゲーマー「たぬかな」の人権をめぐる発言(授業形式：講義)

予習内容：「たぬかな問題」で検索して概要を把握したのち、Wikipediaで、「人権」、「倫理」とはなにか、その概略についても調べ概念をつかんでおくこと。無生物に「道徳」や「倫理」を問えるのかについても考えておくこと。
予習時間：60分
復習内容：倫理が扱うテーマには「人権」以外にどんなテーマがあるか配布資料で確認しておくこと。
復習時間：20分
この授業は、グループ討論（司会と書記を含む５～６人編成）を通じて問題への理解を深めていくという授業形態を採っています。
　初日は授業の進め方などを説明し、そのあとグループに分かれて30～40分程度のグループ討論を体験してもらうにとどめますが、２回目以降は本格的に50分～60分程度のグループ討論をおこないます。
　初回は、この科目の導入という観点から、女性鉄拳プロゲーマー「たぬかな」の問題発言をとりあげグループ討論を行います。

第2回　倫理と法の境界(授業形式：講義)

予習内容：Wikipediaで倫理と法の境界というテーマを考察するうえで適切な事例がないか、調べておくこと。
予習時間：40分
復習内容：倫理と法の関係を配布資料を読み直して理解を深めておくこと。
復習時間：20分
倫理ということばは知っていてもそれを理解するのは容易ではない。そこで、倫理を法と対比すことで、倫理とはどういうものなのか、その概念をグループ討論を通じて理解を深めてもらう。

第3回　人権・表現の自由(授業形式：講義)

予習内容：Wikipediaで諸外国の校則を調べ、わが国の校則の現状を把握しておくこと。
予習時間：30分
復習内容：諸外国には見られない校則がなぜわが国にはあるのかの理由や、校則と人権の関係について配布資料を読み直して理解を深めておくこと。
復習時間：20分
わが国や諸外国の校則を例にとり、人権・表現の自由についてグループ討論する。

第4回　環境倫理―自然の権利(授業形式：講義)

予習内容：Wikipediaで「自然の権利」という用語を調べておくこと。
予習時間：30分
復習内容：「持続可能な開発」「自然の権利」などの概念を説明できるよう、配布資料を読み直しておくこと。
復習時間：20分
クロウサギクロウサギを例にとり、環境を保護する手法のひとつである、自然の権利についてグループ討論する。

第5回　安楽死ー安楽死は自殺なのか(授業形式：講義)

予習内容：安楽死と尊厳死のちがいを調べておくこと。
予習時間：20分
復習内容：わが国にも安楽死法を制定するべきか否か、考えを整理しておくこと。
復習時間：20分
オランダの安楽死の現状を踏まえながら、安楽死についてグループ討論する。

第6回　SNSの倫理(授業形式：講義)

予習内容：SNSのメリットはなにか、またデメリットはなにかについて調べておくこと。
予習時間：30分
復習内容：なぜ炎上が起きるのか、SNSにおける表現の自由という問題についての理解を深めておくこと。
復習時間：20分
YouTube（カメ五郎の狩猟）を例とりあげ、SNSの使用に際してどのような倫理的問題が生じるかについてグループ討論する。

第7回　ドローン―その平和的・軍事的利用について(授業形式：講義)

予習内容：ドローンの軍事的利用と平和的利用について、その具体的な事例をwikipediaで調べておくこと。
予習時間：40分
復習内容：ドローンが内包する倫理的懸念を、配布資料を読み直して理解を深めておくこと。
復習時間：30分
ドローンには、軍事的利用であれ平和的利用であれ、倫理的懸念を内包している。
どのような倫理的懸念を内包しているかについてグループ討論する。

第8回　脳死と臓器移植(授業形式：講義)

予習内容：某国でかつて容認されていた死刑囚の臓器移植の実態について、wikipediaで調べておくこと。
予習時間：30分
復習内容：説明と同意という概念を説明できるよう、ノートを整理しておくこと。
復習時間：20分

無脳症児などを例に、脳死と臓器移植についてグループ討論する。

第9回　ジェンダー(授業形式：講義)

予習内容：ジェンダーという用語をWikipediaで調べておくこと。
予習時間：30分
復習内容：ロボットにジェンダーを付与するとはどういうことか、理解を深めておくこと。
復習時間：20分
近鉄西大寺駅のAIロボット「アリサ」を例にとり、ジェンダーについてグループ討論する。

第10回　代理出産、ゲノム編集による不妊治療(授業形式：講義)

予習内容：host motherという用語をWikipediaで調べておくこと。
予習時間：30分
復習内容：代理出産の克服すべき課題はなにか、再考しておくこと。
復習時間：30分
代理出産が内包する倫理的問題についてグループ討論する。

第11回　確認テスト

予習内容：個々の事例についてその背景を説明できることは当然であるが、それにくわえ、自分はどちらの立場（賛否等）をとるのかを再考、再確認し、あわせてそう考える理由・根拠も示せるように用意しておくこと。
予習時間：90分
既習事項についての理解度を確認するテストを実施します。

第12回　食の倫理(授業形式：講義)

予習内容：東大と日清食品が共同開発している培養肉について調べておくこと。
予習時間：30分
復習内容：食の倫理の重要性を、配布資料を読み直して再確認・再認識しておくこと。
復習時間：20分
肉食の問題や、日清食品と東大が商品開発している培養肉などについて、グループ討論する。

第13回　ＤＮＡ鑑定(授業形式：講義)

予習内容：DNA鑑定の実際例をWikipediaで調べておくこと。
予習時間：30分
復習内容：DNA鑑定実施依頼にあたり、重要なことはなにか、再確認しておくこと。
復習時間：20分
ＤＮＡ鑑定の実例いくつかとりあげグループ討論する。

第14回　精子授受(授業形式：講義)

予習内容：精子授受の実態についてWikipediaやYoutubeで調べておくこと。
予習時間：30分
復習内容：精子授受についてどんな倫理的問題があるか整理しておくこと。
復習時間：20分
医療機関を通さずに巷で精子の取引がなされている。これについて、どんな倫理的問題があるかグループ討論する。

第15回　薬物使用(授業形式：講義)

予習内容：薬物は大麻などに限らない。薬物という用語をWikipediaで調べておくこと。
予習時間：30分
復習内容：薬物と倫理がどう関係しているか、配布資料で理解し確認しておくこと。
復習時間：20分
記憶力を高める薬物を使用するとき、どんな問題があるかグループ討論する。

定期試験

問題形式は記述式とする。
詳細は事前に説明します。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**言語文化学入門**						
英文名　：	Introduction to Language and Cultures						
担当者　：	服部　圭子・松村　博史・長谷川　由美・トクマコフ　アレクサンデル・ ジン　タナンゴナン						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：							

■授業概要

交通手段の発達、インターネットの普及により、私たちの日常生活の身近なところで、多言語や多文化と接する機会が増えてきました。社会のグローバル化が急速に進む現代社会においては、様々な文化や言語が共存しています。普段の外国語の授業であまり学ぶ機会がない文化や言語に触れると同時に、私たちの文化や言語への理解も深めましょう。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語・その他の言語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

・多言語・多文化に対するより広い視野と多角的な視野を養う。
・講義で取り上げる国々における文化や言語の特殊性を学ぶと同時に、自国の言語や文化に対する理解を深める。
・異なる文化や言語に対する感受性を磨き、多様性を受容し、多種と共存する力を養う。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的2の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

授業中に指示される課題・レポート（教員によっては小テスト） 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

課題または小テストに関する解説を授業内で行います。

■教科書

【留意事項】特に指定しませんが、配布物がある場合もあります。

■参考文献

【留意事項】授業内に指示します。

■関連科目

外国語関連科目、国際社会と日本、国際化と異文化コミュニケーション

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

服部研究室（2号館5階513）・khattori@waka.kindai.ac.jp
長谷川研究室（2号館5階512）・hasegawa@waka.kindai.ac.jp
松村博史・hmatsu16@waka.kindai.ac.jp
ジン・タナンゴナン・jbtango2@waka.kindai.ac.jp
トクマコフ研究室（2号館5階514）・tokmak@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

各自、担当教員にメールで連絡をとること、

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

本科目は5人の講師が講義をするオムニバス形式のものです。ことばと文化に関する講義、多言語社会であるフィリピンに関する講義、手話に関する講義、フランスの言語文化に関する講義、中国の言語文化に関する講義をします。各教員によって、レポートが出されたり小テストがあったりしますので、詳細に関しては、各担当者から説明があります。講義内容の順序は変更される可能性があります。変更の場合は、最初の授業でお伝えいたします。
予習内容：授業で学ぶテーマについて、あらかじめ自分で調べておく。
予習時間：30分
復習内容：授業で学んだ内容について、ノートやプリント等を読み返して復習する。
復習時間：60分

第1回　オリエンテーション、多言語・多文化社会日本(授業形式：講義)

予習内容：言語と文化について、自分のまわりのことばについて考えておく。
予習時間：30分
復習内容：多言語・多文化社会の現状と課題について、自分なりのテーマを持って調べる。
復習時間：60分
言語文化学の範疇について学ぶ。そして、ことばと文化の関係・複言語複文化について学ぶ。また、日本社会の多文化・多言語状況について振返り、全国に広がる外国人支援活動の実態、日本の外国人受け入れについて学び、多文化共生に向けての課題について考える。

第2回　言語と文化（1）(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：複文化・複言語、そして言語景観という概念について理解を深める。
予習時間：30分
復習内容：当たり前の物事や、日本語のことばに関し、客観的に描写してみる。また、日本の多言語多文化に関する言語景観について資料収集する。
復習時間：60分
ことば・日本語を相対化する視点や、言語景観の視点について学ぶ。そして、自然会話やSNSでのコミュニケーションを題材に、日本語を客観的に見つめなおす機会を持つ。

第3回　多文化社会フィリピン(授業形式：講義)

予習内容：16世紀の大航海時代の世界史とフィリピンの地理的位置を予習する。
予習時間：60分
復習内容：歴史的変遷とフィリピンの多文化社会の関係について理解を深める。
復習時間：60分
島嶼国フィリピンの多彩な土着文化と西洋文化との融合の歴史的背景を理解し、知られざる日本とのかかわりを発見する。

第4回　多言語社会フィリピン(授業形式：講義)

予習内容：Bilingual, multilingual,「言語」、と「方言」について考える。
予習時間：60分
復習内容：フィリピンの主要言語と地理的関係を理解する。
復習時間：60分
共通語の英語とPiipino語の他に少なくとも８つの異なる言語が混在する現状や日常生活における多言語コミュニケーションを理解する。

第5回　現代フィリピンと環境問題(授業形式：講義)

予習内容：温暖化以外の地球規模環境問題について考える。
予習時間：60分
復習内容：プレゼンテーションした環境問題について考察し、理解を深める。
復習時間：60分
フィリピンの環境問題と国際情勢のつながりを知り、環境問題のグローバル化に対処するための異文化理解について考える。

第6回　視覚言語手話って？(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：視覚言語と音声言語のそれぞれの短所･長所を考えてくる
予習時間：30分
復習内容：習った手話の復習。
復習時間：60分
手話は目で見る言語、視覚言語です。健聴者の場合、コミュニケーションの多くを音声言語で行っています。音声を使わずに情報伝達をすると、どのようなことが伝わりにくくなるでしょうか。アクティビティなどを通して、音声に頼らない情報伝達を試みましょう。また、簡単な挨拶を手話で学びます。

第7回　指文字を学ぼう（前半）(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：インターネットなどで、指文字について調べてみる。
予習時間：30分
復習内容：習った指文字の練習（読み取り含む）
復習時間：60分
視覚言語である指文字を学びます。指文字とは手を使って表す50音（あいうえお）のことで、第2回目の授業では50音の前半を学びます。自分で指文字ができるだけではなく、相手が示す指文字を読み取れるようにならなくてはなりません。そのために、ペアでの活動が多くなります。

第8回　指文字を学ぼう（後半）(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：指文字の続きの部分をインターネットなどで、調べてみる。
予習時間：30分
復習内容：すべての指文字と、自己紹介の復習。
復習時間：60分
第３回目の授業では50音の後半を学びます。自分で指文字ができるだけではなく、相手が示す指文字を読み取れるようにならなくてはなりません。そのために、ペアでの活動が中心となります。また、50音を全部覚えたあとは、自分の名前を指文字であらわして自己紹介をしたり、しりとりをしたりします。アクティビティはグループでの活動となります。

第9回　フランスの文化とフランス語の成り立ち(授業形式：講義)

予習内容：授業で学ぶテーマについて、あらかじめ自分で調べておく。
予習時間：45分
復習内容：授業で学んだ内容について、プリントを見て理解を深めておく。
復習時間：45分
フランスという国と地域のあり方、首都パリと地方との関係などについて紹介し、全体的な特徴を捉えられるようにする。またフランス人はどのような起源を持つ人々で、フランス語という言語がどのような過程を経て成立してきたかを考える。

第10回　世界のフランス語とフランスの地域言語(授業形式：講義)

予習内容：授業で学ぶテーマについて、あらかじめ自分で調べておく。
予習時間：45分
復習内容：授業で学んだ内容について、プリントを見て理解を深めておく。
復習時間：45分
フランス語はフランスだけではなく、世界中で広く使われている。言語としてのフランス語の世界的な分布と現状を見る。またフランス国内には現在でも独自の文化や地域言語を保ち続けているところもある。それらの文化を見るとともに、各地域に残る少数言語とその保存への試みについて考える。

第11回　移民社会フランスと言語(授業形式：講義)

予習内容：授業で学ぶテーマについて、あらかじめ自分で調べておく。
予習時間：45分
復習内容：授業で学んだ内容について、プリントを見て理解を深めておく。
復習時間：45分
フランスはヨーロッパの中でも多様な民族の人々が共存する「移民大国」である。もとからのフランス人に加え、アラブ系、アフリカ系、ユダヤ系、中国系、東南アジア系など多様な住人がその文化を保持しながら暮らしている。そのようなフランス人の姿と言語の位置付けについて考える。

第12回　Russia at the crossroads of Europe and Asia.(授業形式：講義)

予習内容：Investigating the subjects you will learn in class using internet and other media.
予習時間：45分
復習内容：Reading notes and other printed materials to review what you learned in class.
復習時間：45分
Russian geography and demography. Major cultural and linguistic features.

第13回　A glance at Russian history, culture and traditions.(授業形式：講義)

予習内容：Investigating the subjects you will learn in class using internet and other media.
予習時間：45分
復習内容：Reading notes and other printed materials to review what you learned in class.
復習時間：45分
Foundations of Russia: Cyrillic alphabet, Slavic language, Orthodox Christianity.
Virtual tour of old Russian cities.

第14回　Life in contemporary Russia.(授業形式：講義)

予習内容：Investigating the subjects you will learn in class using internet and other media.
予習時間：45分

復習内容：Reading notes and other printed materials to review what you learned in class.
復習時間：45分
Protecting traditions and introducing novelties. Economic, cultural, educational,
scientific and linguistic tendencies in present-day Russia.

第15回 ことばと文化（2）・まとめ(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：14回の講義内容について振り返り、理解度チェックをするとともに、学んだことや気づいたこと、今後の行動に繋がることを考える。
予習時間：60分
復習内容：15回の授業を通して「言語文化」について考えたことを振り返る。
復習時間：30分
さまざまな言語に触れる。自身の中の複言語・複文化状況について考える。
言語文化学入門の授業を通して学んだこと、気づいたことを振り返り話し合う。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**国際化と異文化コミュニケーション**						
英文名　：	Internationalization and Cross Cultural Communication						
担当者　：	新田　幸夫						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】金曜1限						

■授業概要

国際社会のみならず日本国内においても、異文化のコミュニケーションを理解することは重要である。多文化共生などの異文化コミュニケーションに関する基礎知識を理解し、その内容を習得する必要がある。本講義では、各項目に即して説明した後に、質疑応答を繰り返し、その場で考察しつつ理解を深めていく。多様化する国際交流の場で生かせる講義としたい。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本講義では、政治的・歴史的・文化的背景の異なる人たちとコミュニケーションを展開するときに影響を与えるさまざまな要因を分析し考察を行う。そうして、さまざまなケースに関して、学生がその対応を考え、実行できることを目標とする。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的２・３の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
授業中の質疑応答のレポート 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

・数回(3,4回）の授業終了後に、その内容をまとめたペーパーを配布し授業中に復習を行う。
・試験の要点(これまでの授業の総復習)は試験前に行い、試験勉強の徹底を図りたい。

■教科書

【留意事項】特に指定しない。

■参考文献

【留意事項】授業中に必要な参考文献の紹介を行う。できるだけ購入しやすい新書を紹介する。

■関連科目

特になし。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行う。

■研究室・メールアドレス

講師控室（２号館２階）・nittasachio@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とする。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　コミュニケーションとは（授業形式：講義）

予習内容：自分が日常のコミュニケーションをどのように考えているかノートに記してくること。
予習時間：40分
復習内容：自分が考えたコミュニケーションの意味と授業後に考える意味とのギャップをノートに記すこと。
復習時間：40分
コミュニケーションの英語の動詞形は communicate である。我々はこの意味を考えることから講義を始める。伝える側から受ける側への記号化と情報化の関係を考察する。

第2回　コミュニケーションの前提と制約（授業形式：講義）

予習内容：これまでに、コミュニケーションが双方の間で成立しなかった事例をメモしてくること。
予習時間：40分
復習内容：「前提」条件ならびに「制約」に関して、自分にとって大切にしたい項目をノートに書き出しておくこと。
復習時間：40分
コミュニケーションの送り手と受け手との関係から、その「前提」となる条件と、「制約」について考察したい。

第3回　コミュニケーションの多重性について（授業形式：講義）

予習内容：自分がコミュニケーションをするときどのような目的で行っているかを箇条書きにしてくること。
予習時間：40分
復習内容：コミュニケーションの多重性は我々の身近な世界でもその重要性が問われる。どのような状況下で見られるかを考えてまとめること。
復習時間：40分
コミュニケーションの多重性について、考察をする。どのような状況でコミュニケーションを取ろうとしているのか。コミュニケーションの目的に即した対応の仕方を考える。

第4回　まとめ(1)　コミュニケーションとは（授業形式：講義）

予習内容：これまで学んだ内容に関して新聞や、インターネット等から情報を抜き取り整理しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：配布物の確認と整理をすること。自分の今迄にしくじったコミュニケーションの反省を踏まえて復習をすること。自分に必要と思われる事項をノートにメモすること。
復習時間：50分
メッセージとは何か、また何のためのコミュニケーションなのか、その主たる目標は何なのかという点に焦点を当てて復習する。これまでの授業内容をコンパクトにまとめたペーパーを配布する。さらに、これまでの期間に新聞、書籍等で同様の内容が論じられた記事等があれば印刷し配布し検討する。

第5回　コミュニケーション能力とは何かについて（授業形式：講義）

予習内容：自分がコミュニケーションをとっているときに困ったことを箇条書きすること。
予習時間：40分
復習内容：復習時に、自分に必要なポイントをノートに記すこと。
復習時間：40分
コミュニケーション能力とは、まず、きちんと伝えること。ではどうすればいい。たとえば就活で求められるコミュニケーション能力とはいかなるものなのか、どのようにすれば身につくのか等を考察する。

第6回　コミュニケーション能力とリーダーシップについて（授業形式：講義）

予習内容：リーダーシップをとるためにコミュニケーションで必要なことはなにかを考えてくること。
予習時間：60分
復習内容：自分が考えたコミュニケーションで必要なことと授業で受けた内容のギャップがあればそれを明確にし、ノートに記すこと。
復習時間：40分
コミュニケーション能力を高めるためには何をすべきかを、リーダーシップと関連付けて考える。さらに身近な問題に関連させつつその成果を引き出す方法などを検討する。

第7回　まとめ(2) コミュニケーション能力と私（授業形式：講義）

予習内容：これまでの内容を復習しておく。また、自分は話し上手なのかそうでないのか、またその理由を書き留めておくこと。
予習時間：40分
復習内容：自分にとって、話し上手になるには何が必要か考え、ノートに記しておく。
復習時間：40分
会話のうまい人とはどういう人なのか。そもそもコミュニケーションの要諦というのはあるのか。なぜコミュニケーション能力が必要なのか、などにスポットを当てて、復習していく。

第8回　マスコミュニケーションの効果（授業形式：講義）

予習内容：テレビを見ることの是非をそれぞれ5つ以上箇条書きで記すこと。
予習時間：60分

復習内容：今後のマスコミへの対応に関する自分の考えを整理してノートに記すこと。
復習時間：40分
マスコミの効果を構造的性質のメカニズムから考えていく。
また、テレビの効用に関しても考察する。

第9回　報道について（授業形式：講義）

予習内容：言論に関してその責任について整理しておくこと。
予習時間：40分
復習内容：立法、司法、行政に続き第4の権力と言われる報道に関して、授業を受けたのちの自分の考えをまとめておくこと。
復習時間：40分
報道は言論の一種である。報道の原理と原則について考察する。

第10回　新しいメディアによる社会の変化（インターネット）（授業形式：講義）

予習内容：インターネットは自分にとって何なのか、社会との関連で考えをまとめておくこと。またその是非について箇条書きに記しておくこと。
予習時間：50分
復習内容：インターネットの社会をどのように利用していくことが賢明かノートに記すこと。
復習時間：50分
インターネットの登場で社会はどのように変化しているのか、また、情報化社会の特徴はどのようなものかを考察する。

第11回　まとめ(3)マスメディアとインターネット（授業形式：講義）

予習内容：これまでの内容の復習をすること。特に、マスメディアの構造的性質とインターネットの構造的性質について。
予習時間：40分
復習内容：インターネットを通してどのように異文化コミュニケーションを進めるべきか考え、ノートに整理しておくこと。
復習時間：40分
マスメディアとインターネットに関して、マスコミュニケーションの構造的性質のメカニズムとインターネットによる構造的性質を考察する。

第12回　対話・会話・討論について（授業形式：講義）

予習内容：自分がこれまで親、友人、その他さまざまな人たちとの間で交わした中で失敗したことをノートに箇条書きにしておくこと。
予習時間：40分
復習内容：対話・会話・討論について、それぞれ基礎知識を確認しておくこと。
復習時間：40分
対話・会話・討論について、それぞれの特徴を考察し、文化的背景を考える。

第13回　国際化とグローバリゼーション（授業形式：講義）

予習内容：国際化、国民国家、グローバリゼーションの基礎知識は調べておくこと。
予習時間：60分
復習内容：グローバリゼーションに関してプラスの面とマイナスの面を整理しておくこと。
復習時間：40分
国民国家とは、グローバリゼーションとは、そして国際化とは何か、を確認する。

第14回　国際化と異文化コミュニケーション（授業形式：講義）

予習内容：文化とは何か、また自分とは何者かなどノートに整理しておくこと。
予習時間：40分
復習内容：異文化への対応に関して、授業の内容とは別に、自らの考えをノートに記すこと。
復習時間：40分
文化とは何か、異文化とは、そして、異文化への対応を考えて、国際化の中でどのようなコミュニケーションが重要かを考える。

第15回　総復習（授業形式：講義）

予習内容：これまでのまとめの授業で配布したペーパーや新聞記事などの整理をし、自分にとって分かりにくい個所などは書き出しておくこと。授業中に質問すること。
予習時間：60分
復習内容：改めて総復習すること。
復習時間：60分
特に、コミュニケーションが成立するために必要と考えられる前提やマスコミュニケーションの構造的性質のメカニズム、さらに、対話の基本原理などを中心に総復習する。

＊定期試験を実施する。

受講生の理解度に応じた問題作成を考えている。講義内容の中から６項目(タイトル)を選び、問題を作成する。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**国際化と異文化コミュニケーション**						
英文名　：	Internationalization and Cross Cultural Communication						
担当者　：	新田　幸夫						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】金曜2限						

■授業概要

国際社会のみならず日本国内においても、異文化のコミュニケーションを理解することは重要である。多文化共生などの異文化コミュニケーションに関する基礎知識を理解し、その内容を習得する必要がある。本講義では、各項目に即して説明した後に、質疑応答を繰り返し、その場で考察しつつ理解を深めていく。多様化する国際交流の場で生かせる講義としたい。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本講義では、政治的・歴史的・文化的背景の異なる人たちとコミュニケーションを展開するときに影響を与えるさまざまな要因を分析し考察を行う。そうして、さまざまなケースに関して、学生がその対応を考え、実行できることを目標とする。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的２・３の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
授業中の質疑応答のレポート 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

・数回(3,4回）の授業終了後に、その内容をまとめたペーパーを配布し授業中に復習を行う。
・試験の要点(これまでの授業の総復習)は試験前に行い、試験勉強の徹底を図りたい。

■教科書

【留意事項】特に指定しない。

■参考文献

【留意事項】授業中に必要な参考文献の紹介を行う。できるだけ購入しやすい新書を紹介する。

■関連科目

特になし。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行う。

■研究室・メールアドレス

講師控室（２号館２階）・nittasachio@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とする。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　コミュニケーションとは（授業形式：講義）

予習内容：自分が日常のコミュニケーションをどのように考えているかノートに記してくること。
予習時間：40分
復習内容：自分が考えたコミュニケーションの意味と授業後に考える意味とのギャップをノートに記すこと。
復習時間：40分
コミュニケーションの英語の動詞形は communicate である。我々はこの意味を考えることから講義を始める。伝える側から受ける側への記号化と情報化の関係を考察する。

第2回　コミュニケーションの前提と制約（授業形式：講義）

予習内容：これまでに、コミュニケーションが双方の間で成立しなかった事例をメモしてくること。
予習時間：40分
復習内容：「前提」条件ならびに「制約」に関して、自分にとって大切にしたい項目をノートに書き出しておくこと。
復習時間：40分
コミュニケーションの送り手と受け手との関係から、その「前提」となる条件と、「制約」について考察したい。

第3回　コミュニケーションの多重性について（授業形式：講義）

予習内容：自分がコミュニケーションをするときどのような目的で行っているかを箇条書きにしてくること。
予習時間：40分
復習内容：コミュニケーションの多重性は我々の身近な世界でもその重要性が問われる。どのような状況下で見られるかを考えてまとめること。
復習時間：40分
コミュニケーションの多重性について、考察をする。どのような状況でコミュニケーションを取ろうとしているのか。コミュニケーションの目的に即した対応の仕方を考える。

第4回　まとめ(1)　コミュニケーションとは（授業形式：講義）

予習内容：これまで学んだ内容に関して新聞や、インターネット等から情報を抜き取り整理しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：配布物の確認と整理をすること。自分の今迄にしくじったコミュニケーションの反省を踏まえて復習をすること。自分に必要と思われる事項をノートにメモすること。
復習時間：50分
メッセージとは何か、また何のためのコミュニケーションなのか、その主たる目標は何なのかという点に焦点を当てて復習する。これまでの授業内容をコンパクトにまとめたペーパーを配布する。さらに、これまでの期間に新聞、書籍等で同様の内容が論じられた記事等があれば印刷し配布し検討する。

第5回　コミュニケーション能力とは何かについて（授業形式：講義）

予習内容：自分がコミュニケーションをとっているときに困ったことを箇条書きすること。
予習時間：40分
復習内容：復習時に、自分に必要なポイントをノートに記すこと。
復習時間：40分
コミュニケーション能力とは、まず、きちんと伝えること。ではどうすればいい。たとえば就活で求められるコミュニケーション能力とはいかなるものなのか、どのようにすれば身につくのか等を考察する。

第6回　コミュニケーション能力とリーダーシップについて（授業形式：講義）

予習内容：リーダーシップをとるためにコミュニケーションで必要なことはなにかを考えてくること。
予習時間：60分
復習内容：自分が考えたコミュニケーションで必要なことと授業で受けた内容のギャップがあればそれを明確にし、ノートに記すこと。
復習時間：40分
コミュニケーション能力を高めるためには何をすべきかを、リーダーシップと関連付けて考える。さらに身近な問題に関連させつつその成果を引き出す方法などを検討する。

第7回　まとめ(2) コミュニケーション能力と私（授業形式：講義）

予習内容：これまでの内容を復習しておく。また、自分は話し上手なのかそうでないのか、またその理由を書き留めておくこと。
予習時間：40分
復習内容：自分にとって、話し上手になるには何が必要か考え、ノートに記しておく。
復習時間：40分
会話のうまい人とはどういう人なのか。そもそもコミュニケーションの要諦というのはあるのか。なぜコミュニケーション能力が必要なのか、などにスポットを当てて、復習していく。

第8回　マスコミュニケーションの効果（授業形式：講義）

予習内容：テレビを見ることの是非をそれぞれ5つ以上箇条書きで記すこと。
予習時間：60分

復習内容：今後のマスコミへの対応に関する自分の考えを整理してノートに記すこと。
復習時間：40分
マスコミの効果を構造的性質のメカニズムから考えていく。
また、テレビの効用に関しても考察する。

第9回　報道について（授業形式：講義）

予習内容：言論に関してその責任について整理しておくこと。
予習時間：40分
復習内容：立法、司法、行政に続き第4の権力と言われる報道に関して、授業を受けたのちの自分の考えをまとめておくこと。
復習時間：40分
報道は言論の一種である。報道の原理と原則について考察する。

第10回　新しいメディアによる社会の変化（インターネット）（授業形式：講義）

予習内容：インターネットは自分にとって何なのか、社会との関連で考えをまとめておくこと。またその是非について箇条書きに記しておくこと。
予習時間：50分
復習内容：インターネットの社会をどのように利用していくことが賢明かノートに記すこと。
復習時間：50分
インターネットの登場で社会はどのように変化しているのか、また、情報化社会の特徴はどのようなものかを考察する。

第11回　まとめ(3)マスメディアとインターネット（授業形式：講義）

予習内容：これまでの内容の復習をすること。特に、マスメディアの構造的性質とインターネットの構造的性質について。
予習時間：40分
復習内容：インターネットを通してどのように異文化コミュニケーションを進めるべきか考え、ノートに整理しておくこと。
復習時間：40分
マスメディアとインターネットに関して、マスコミュニケーションの構造的性質のメカニズムとインターネットによる構造的性質を考察する。

第12回　対話・会話・討論について（授業形式：講義）

予習内容：自分がこれまで親、友人、その他さまざまな人たちとの間で交わした中で失敗したことをノートに箇条書きにしておくこと。
予習時間：40分
復習内容：対話・会話・討論について、それぞれ基礎知識を確認しておくこと。
復習時間：40分
対話・会話・討論について、それぞれの特徴を考察し、文化的背景を考える。

第13回　国際化とグローバリゼーション（授業形式：講義）

予習内容：国際化、国民国家、グローバリゼーションの基礎知識は調べておくこと。
予習時間：60分
復習内容：グローバリゼーションに関してプラスの面とマイナスの面を整理しておくこと。
復習時間：40分
国民国家とは、グローバリゼーションとは、そして国際化とは何か、を確認する。

第14回　国際化と異文化コミュニケーション（授業形式：講義）

予習内容：文化とは何か、また自分とは何者かなどノートに整理しておくこと。
予習時間：40分
復習内容：異文化への対応に関して、授業の内容とは別に、自らの考えをノートに記すこと。
復習時間：40分
文化とは何か、異文化とは、そして、異文化への対応を考えて、国際化の中でどのようなコミュニケーションが重要かを考える。

第15回　総復習（授業形式：講義）

予習内容：これまでのまとめの授業で配布したペーパーや新聞記事などの整理をし、自分にとって分かりにくい個所などは書き出しておくこと。授業中に質問すること。
予習時間：60分
復習内容：改めて総復習すること。
復習時間：60分
特に、コミュニケーションが成立するために必要と考えられる前提やマスコミュニケーションの構造的性質のメカニズム、さらに、対話の基本原理などを中心に総復習する。

＊定期試験を実施する。

受講生の理解度に応じた問題作成を考えている。講義内容の中から６項目(タイトル)を選び、問題を作成する。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**国際化と異文化コミュニケーション**						
英文名　：	Internationalization and Cross Cultural Communication						
担当者　：	服部　圭子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：							

■授業概要

国際社会において異なる言語や文化を持つ人々との接触場面で、自信を持って発信できるコミュニケーション能力の育成、他者と対等に関わる態度の育成やアイデンティティの確立など、異文化リテラシー能力の育成を目標とする。
授業はペアで話したり、色々なグループを形成して意見交換したりしますので、積極的に参加してください。
毎回、考えたことや学んだことなどを振り返り、感想をまとめて提出してもらいます。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

異文化コミュニケーションの理論を学習するとともに、多文化化する日本の現状や課題を知り、滞日する外国人との対等な関係性構築のための日本人の態度や、受け入れる側の制度などについても考えることができるようになる。さらに、言語意識の育成をめざし、複言語・複文化意識の大切さにも触れる。議論やロールプレイ、体験談の傾聴などを通して異文化コミュニケーションスキルや態度の育成を目指す。
この科目の修得は、学部のディプロマポリシー５、近畿大学教養科目の目的2，3の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

課題レポート 60%
授業中の発表 20%
授業ごとのまとめ・提出物 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

課題提出後、その期の授業時間内に、その内容の要点と解説、主要概念の提示を行います。

■教科書

【留意事項】特に指定しない。適時プリントを配布する。

■参考文献

【留意事項】講義時に必要な参考文献の紹介を行います。

■関連科目

言語文化学入門

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

服部研究室（2号館5階513）・khattori@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

木曜5限（その他の時間帯は、事前に予約してください）。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション・国際化と日本社会の多文化化(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：日本社会の多文化化について調べる
予習時間：60分
復習内容：少数言語など、授業で扱ったキーワードについてさらに調べ理解を深める。
復習時間：60分
授業の進め方の説明、受講に関しての留意事項、課題や評価についての説明を行う。
日本社会の多文化・多言語化について、外国人数、ことばの数などの視点から考える。

第2回 地域に在住する外国人と日本社会(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：日本在住の外国人に関するデータを調べる
予習時間：60分
復習内容：生活者としての外国人に関し、授業で扱ったキーワードや課題についてさらに調べ理解を深める。
復習時間：60分
日本在住の外国人が抱える生活上・言語上の現状について知り、課題を挙げて、その解決法について議論する。

第3回 グローバル化とその課題(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：グローバル化、アイデンティティという用語について調べる
予習時間：60分
復習内容：グローバル化する社会活躍できる人材の要素について考えまとめる
復習時間：60分
「グローバル化」とは何か、政策、社会の現状、およびことばやアイデンティティの問題などを通じて考える。

第4回 リングイスティック・ランドスケープ（言語景観）(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：言語景観という用語について調べる
予習時間：60分
復習内容：言語景観など、授業で扱ったキーワードについてさらに調べ理解を深める。
復習時間：60分
Linguistic landscapeの概念を学び、実際に学内や街の言語現象を視覚的に捉える。同様に、日本の多文化・多言語化現象を観察する。

第5回 異文化コミュニケーションの基礎概念(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：異文化コミュニケーションに関するさまざまな考え方について調べる
予習時間：60分
復習内容：自己開示、コミュニケーションなど、授業で扱ったキーワードについてさらに調べ理解を深める。
復習時間：60分
コミュニケーションと自己開示、さまざまなコミュニケーションモデル、コミュニケーションの類型、異文化コミュニケーションに大切な視点などを学び、コミュニケーションとは何かについて考える。

第6回 ことばによるコミュニケーション(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：高テキスト文化、低テキスト文化について調べる
予習時間：60分
復習内容：日本語の文字・表記による意味の異なりについてまとめる
復習時間：60分
高テキスト文化・低テキスト文化、スピーチアコモデーション、日本語の文字・表記による意味の異なり、などの視点から、ことばを用いたコミュニケーションについて考える。

第7回 非言語コミュニケーション(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：非言語コミュニケーションについて調べる
予習時間：60分
復習内容：国や文化による非言語的手段の異なりなどについて調べる
復習時間：60分
非言語的手段のルール、コミュニケーションにおいて非言語が占める割合、距離と空間などについての知識を得る。ジェスチャー、マナーやタブーなどについて、異文化による相違について学ぶ。レポート①提出。

第8回 カルチャーショックと異文化適応(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：カルチャーショックについて調べる
予習時間：60分
復習内容：ステレオタイプ、偏見などの概念など、授業で扱ったキーワードについてさらに調べ理解を深める。
復習時間：60分
カルチャーショック、ステレオタイプ、偏見などの概念について学ぶ。自らの異文化体験を振り返る。

第9回　言語と文化（1）：価値観と文化的特徴・日英発想法(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：英語と日本語の違いについて気づいたことをまとめる
予習時間：60分
復習内容：日米発想法の違いやことば使いなど、授業で扱ったキーワードについてさらに具体例を調べまとめる
復習時間：60分
文化観・文化内での価値観のバリエーション、言語・現実・思考を関連づけて捉える概念について学ぶ。日本語と英語の発想法の違い、ことばと文化の関係について考える。

第10回　言語と文化（2）：言語意識・言語とコミュニケーション①(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：言語意識について調べる
予習時間：60分
復習内容：自分の身の回りの言葉、英語の位置づけについて復習しまとめる
復習時間：60分
世界の言語、日本の言語、わたしのことばについて知る。世界の言語と英語の位置づけについて考える。

第11回　言語と文化（3）：複文化・複言語意識・言語とコミュニケーション②(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：複言語、複文化主義について調べる
予習時間：60分
復習内容：世界のさまざまな言語や文化、日本語について振り返る
復習時間：60分
欧州の言語政策および多言語・多文化主義、複言語・複文化主義について学ぶ。色々な言言語のルールを見つける体験をする。

第12回　言語と文化（4）：日本語・日本文化の相対化・異文化体験(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：世界のあいさつについて調べる
予習時間：60分
復習内容：日本語の特徴についてほか、授業で扱ったキーワードについてさらに調べ理解を深める。
復習時間：60分
世界の挨拶、「すみません」の意味、日本語の特徴などを見直し、言語と文化を結ぶ視点や話し手との関係性について考える。可能であれば、異文化での生活経験者の話を聞く。

第13回　人の移動と課題(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：移民、人の移動について調べる
予習時間：60分
復習内容：日系人など、授業で扱ったキーワードについてさらに調べ理解を深める。
復習時間：60分
移民、人の移動について知り、実際に語られたインタビューの内容から人々の想いを学ぶ。日系ブラジル人を対象に、読み物教材やカルタを用いて、その背景や歴史等について学ぶ。

第14回　日本社会と異文化間コミュニケーション(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：誤解、コミュニケーション摩擦の例について調べる
予習時間：60分
復習内容：具体的な例について、DIE法を用いて、振り返る
復習時間：60分
職場の人間関係、挨拶等、日本社会で働くために大切だと考える知識や態度について考える。メッセージの受け取り方の違いによって生じる誤解を整理することに役立つＤＩＥ法について学ぶ。

第15回　国際化と異文化コミュニケーションのまとめ（2）(授業形式：講義、アクティブラーニング)

予習内容：授業で扱った概念について振り返り、復習する
予習時間：60分
復習内容：国際化と異文化コミュニケーションについて、授業で扱ったキーワードについてさらに調べ理解を深めるとともに、レポート課題に取り組む
復習時間：90分
言語・（異）文化・ことば・コミュニケーション」について、授業を通して気づいたことや考えたことなどについて振返り、グループで議論する。グローバル化する社会において大切な態度について話し合う。レポート②提出。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**国際経済入門**						
英文名　：	Introductory International Economics						
担当者　：	今田　秀作						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】金曜4限						

■授業概要

今日の国際社会が直面している経済問題について広く深く理解し、その解決策について自分の意見を持ち、説明できる、そのきっかけとなる授業をめざします。講義では、長らく世界経済全体をリードしてきたアメリカを中心として、歴史的経緯を辿りながら、現代の国際経済の特質を考察します。多数のデータや資料を提示しつつ、受講生の経済問題への関心が深まるように努めます。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

世界や日本の具体的な事実の検討を通じて、日々経験している経済・社会現象を体系的に理解できることを目指します。そのために、(1)経済学の基礎知識を習得する。(2)アメリカ経済の特徴や国際経済が運営される仕組みについて理解を深める。(3)過去からの歴史変化をたどることを通じて現在の国際経済の特質を掴むことなどを到達目標とします。この科目の履修は、近畿大学の教養教育も目的１の達成に寄与するものです。

■成績評価方法および基準

レポート 70%
コメントシート及び小テスト 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

コメント・質問への回答、小テスト・課題の解説・講評を行います

■教科書

使用しません。資料ファイルを事前に配布し、それを含んだパワーポイントを表示しつつ講義を進めます

■参考文献

講義の中で適宜紹介します

■関連科目

現代経済の課題

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・s-imada86@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 イントロダクション（授業形式：講義）

予習内容：自分がどのような経済問題に関心があるかを確認し、それについての情報をまとめる
予習時間：60分
復習内容：経済学・国際経済学・経済史学がどのような学問であるかをまとめる
復習時間：40分
授業のテーマ・検討方法・概略を示すとともに、経済学・国際経済学・経済史学といった学問分野の特徴とそれらを学ぶことの意義を説明する。また「20世紀におけるアメリカ経済の勃興・発展・展開」を主要テーマとすることの意味を示す

第2回 イギリスを中心に編成された19世紀的世界(1)――イギリス産業革命とその歴史的制約性（授業形式：講義）

予習内容：高校世界史の教科書や参考書などを参照して、産業革命に関する説明を復習し、その概略を理解する
予習時間：60分
復習内容：産業革命の歴史的意義を確認しつつ、イギリスのそれが今日の観点からして歴史的制約性を持ったことを理解する
復習時間：40分
世界で最初の産業革命であるイギリス産業革命を分析し、それが近代的経済システムの確立を標すとともに、時代特有の歴史的制約性を持ったことを説明する

第3回 イギリスを中心に編成された19世紀的世界(2)――19世紀イギリスの経済政策（授業形式：講義）

予習内容：「市場経済」・「自由貿易」・「規制緩和」・「小さな政府」・「財政均衡」といった、現在でも頻繁に使われる経済用語について意味を掴んでおく
予習時間：60分
復習内容：古典的自由主義がイギリスのどのような社会状況を条件として優勢となったか、またなぜそれが今日でも経済運営の基軸となっているのかをまとめる
復習時間：40分
産業革命のいち早い達成によって「世界の工場」となった後にイギリスで採用された経済政策体系を説明する。それは古典的自由主義というべき思想にもとづき、資本主義経済の「原点」として今なお、その正当性が主張されるものである

第4回 アメリカ的生産様式の成立（授業形式：講義）

予習内容：19世紀末から20世紀初頭におけるアメリカ史の推移について、その概略を掴んでおく
予習時間：60分
復習内容：20世紀の初頭に出現したアメリカ的生産様式が、19世紀までの生産様式とどのように異なり、それをいかに乗り越えていったかをまとめて理解する
復習時間：40分
19世紀までにヨーロッパが達成した水準を乗り越え、20世紀においてアメリカを世界経済の中心に押し上げた、当時の新たな経済システム、すなわちアメリカ的生産・生活様式（＝20世紀システムの基礎構造）について、まず生産のあり方（＝大量生産体制）から説明する

第5回 フォード・システムの工場管理（授業形式：講義）

予習内容：現代において企業で働く上で必要な能力や資質は何であるかについて考えてみる
予習時間：60分
復習内容：20世紀的な人間形成のあり方が19世紀のそれとも、また現代のそれとも異なっていたことをまとめて理解する
復習時間：40分
アメリカ的大量生産体制における人々の働き方や、企業が従業員に求める能力・資質が、19世紀までの工場におけるそれとはいかに異なっていたかを示す

第6回 アメリカ的生活様式（授業形式：講義）

予習内容：現代社会における消費活動の実態や意味について、自分自身の生活に即して考えてみる
予習時間：60分
復習内容：20世紀システムにおける大量生産が大量消費を必須の存立条件とし、現代を含めて、後者を促すために様々な活動を通じた膨大な努力がなされていることをまとめて理解する
復習時間：40分
20世紀システムの基礎構造を構成する4つのMASS（大量生産・大量販売・大量宣伝・大量消費）うち、大量販売・大量宣伝・大量消費について説明する。大量生産に見合った大量消費がアメリカでいかにして可能になったかを述べる

第7回 GM（General　Motors）の経営改革（授業形式：講義）

予習内容：アメリカ自動車産業の歴史について、文献等から情報を集める
予習時間：60分
復習内容：20世紀型大企業の経営管理手法についてまとめて理解する
復習時間：40分
宣伝・広告を含むマーケティング手法の重視や、事業部制にもとづく短期的計数管理を編み出し、20世紀型大企業の原型を作り出したGeneral　Motors社の1920年代における経営改革を説明する

第8回 世界恐慌とニューディール政策（授業形式：講義）

予習内容：世界恐慌について、文献等をつうじて情報を集める
予習時間：60分
復習内容：世界恐慌を通じて古典的自由主義の時代が終わり、20世紀型の経済社会が完成に近づいたことをまとめて理解する
復習時間：40分
資本主義の歴史上、今日までの最大の経済危機と言われる世界恐慌（1929年恐慌）について、その背景・経緯・結果を解説する。この経済危機に対処する必要性から、古典的自由主義の時代が終わり、政府が大きな役割を果たし、巨大な組織や団体が強い影響力を持つ社会へ移行することになる

第9回　アメリカ戦時経済システム(1)（授業形式：講義）

予習内容：第二次世界大戦の経緯について、文献等から情報を得ておく
予習時間：60分
復習内容：20世紀前半は二つの世界大戦によって特徴付けられるが、戦争がいかに経済システムを変えるものであるかを理解する
復習時間：40分
未曾有の大戦争であった第2次世界大戦の下でのアメリカ経済について解説する。アメリカ戦時経済においては、市場メカニズムの自由な作動が強く抑制されたが、他面でアメリカはこの時期に技術や生産能力を飛躍的に向上させることで、戦後の「一人勝ち」を可能にした

第10回　アメリカ戦時経済システム(2)（授業形式：講義）

予習内容：第二次世界大戦の経緯について、文献等から情報を得ておく
予習時間：60分
復習内容：世界大戦が必要とした国民労働力の大量動員と安定した労使関係をアメリカがいかにして確保したかを理解する
復習時間：40分
前回に引き続いて、第2次大戦下のアメリカ戦時経済について検討する。今回は、戦時の労使関係および価格統制政策がテーマとなる

第11回　戦後再転換過程とアメリカ経済の繁栄（授業形式：講義）

予習内容：1950年代・60年代におけるアメリカ経済の繁栄ぶりについて、文献等によって情報をあつめる
予習時間：60分
復習内容：戦時経済を極致とする20世紀システムが戦後のアメリカに空前の繁栄をもたらしたことをまとめて理解する
復習時間：40分
アメリカは大戦終了後、経済力の圧倒的な優位性によって新たな世界秩序形成の主役となったが、それには戦時経済における国家統制の多くを残すことによるスムースな平時経済への転換や、戦時に達成された卓越した生産力が与って力となった。こうした要因による戦後アメリカ経済の繁栄について解説する

第12回　アメリカ産業の国際的競争力低下（授業形式：講義）

予習内容：「ニクソン・ショック」や「オイル・ショック」など1970年代に起こった世界経済の混乱要因について、文献等により情報をあつめる
予習時間：60分
復習内容：アメリカ経済力の相対的衰退を含んだ1970年代世界経済の変容についてまとめて理解する
復習時間：40分
アメリカは1960年代後半以降、西ヨーロッパ諸国・日本・東アジア諸国の追い上げを受けて、産業競争力の相対的衰退を余儀なくされるが、それはアメリカにとって20世紀システムの歴史的役割が終わりに近づいたことを意味した。またアメリカをも巻き込んだ、戦後世界経済の分水嶺としての1970年代の混乱についても言及する

第13回　レーガノミクス（授業形式：講義）

予習内容：ドナルド・レーガン大統領の業績や人となりについて、文献等から情報を集める
予習時間：60分
復習内容：レーガノミクスの内容とそれが与えたアメリカ経済および世界経済に対する影響について確認する
復習時間：40分
1980年代にアメリカのリーダーシップの再建を意図して展開されたドナルド・レーガン大統領による経済政策（レーガノミクス）について解説する

第14回　ドル本位制の展開 とリーマン・ショック（授業形式：講義）

予習内容：サブプライム・ローン危機やリーマン・ショックについて、文献等から情報を集める
予習時間：60分
復習内容：世界金融危機の背景や影響についての理解を確認する
復習時間：40分
2007年のサブプライム危機や翌年のリーマン・ショックを起点とする世界金融危機について解説する。またそれはアメリカが牽引してきた世界的な金融自由化の一つの帰結であることを述べる

第15回　授業のまとめと結論（授業形式：講義）

予習内容：これまでの授業内容を復習し、過去数十年の世界経済の基本的推移をまとめる
予習時間：60分
復習内容：授業内容全体から学べたことを確認し、世界経済の現在と将来について自分なりの理解を持つようにする(
復習時間：40分
過去1世紀余りのアメリカ経済や世界経済の変化をまとめ、現代世界の特質や世界経済の将来像を考察する

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**国際経済入門**						
英文名　：	Introductory International Economics						
担当者　：	今田　秀作						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】金曜3限						

■授業概要

今日の国際社会が直面している経済問題について広く深く理解し、その解決策について自分の意見を持ち、説明できる、そのきっかけとなる授業をめざします。講義では、長らく世界経済全体をリードしてきたアメリカを中心として、歴史的経緯を辿りながら、現代の国際経済の特質を考察します。多数のデータや資料を提示しつつ、受講生の経済問題への関心が深まるように努めます。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

世界や日本の具体的な事実の検討を通じて、日々経験している経済・社会現象を体系的に理解できることを目指します。そのために、(1)経済学の基礎知識を習得する。(2)アメリカ経済の特徴や国際経済が運営される仕組みについて理解を深める。(3)過去からの歴史変化をたどることを通じて現在の国際経済の特質を掴むことなどを到達目標とします。この科目の履修は、近畿大学の教養教育も目的１の達成に寄与するものです。

■成績評価方法および基準

レポート 70%
コメントシート及び小テスト 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

コメント・質問への回答、小テスト・課題の解説・講評を行います

■教科書

使用しません。資料ファイルを事前に配布し、それを含んだパワーポイントを表示しつつ講義を進めます

■参考文献

講義の中で適宜紹介します

■関連科目

現代経済の課題

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・s-imada86@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 イントロダクション（授業形式：講義）

予習内容：自分がどのような経済問題に関心があるかを確認し、それについての情報をまとめる
予習時間：60分
復習内容：経済学・国際経済学・経済史学がどのような学問であるかをまとめる
復習時間：40分
授業のテーマ・検討方法・概略を示すとともに、経済学・国際経済学・経済史学といった学問分野の特徴とそれらを学ぶことの意義を説明する。また「20世紀におけるアメリカ経済の勃興・発展・展開」を主要テーマとすることの意味を示す

第2回 イギリスを中心に編成された19世紀的世界(1)――イギリス産業革命とその歴史的制約性（授業形式：講義）

予習内容：高校世界史の教科書や参考書などを参照して、産業革命に関する説明を復習し、その概略を理解する
予習時間：60分
復習内容：産業革命の歴史的意義を確認しつつ、イギリスのそれが今日の観点からして歴史的制約性を持ったことを理解する
復習時間：40分
世界で最初の産業革命であるイギリス産業革命を分析し、それが近代的経済システムの確立を標すとともに、時代特有の歴史的制約性を持ったことを説明する

第3回 イギリスを中心に編成された19世紀的世界(2)――19世紀イギリスの経済政策（授業形式：講義）

予習内容：「市場経済」・「自由貿易」・「規制緩和」・「小さな政府」・「財政均衡」といった、現在でも頻繁に使われる経済用語について意味を掴んでおく
予習時間：60分
復習内容：古典的自由主義がイギリスのどのような社会状況を条件として優勢となったか、またなぜそれが今日でも経済運営の基軸となっているのかをまとめる
復習時間：40分
産業革命のいち早い達成によって「世界の工場」となった後にイギリスで採用された経済政策体系を説明する。それは古典的自由主義というべき思想にもとづき、資本主義経済の「原点」として今なお、その正当性が主張されるものである

第4回 アメリカ的生産様式の成立（授業形式：講義）

予習内容：19世紀末から20世紀初頭におけるアメリカ史の推移について、その概略を掴んでおく
予習時間：60分
復習内容：20世紀の初頭に出現したアメリカ的生産様式が、19世紀までの生産様式とどのように異なり、それをいかに乗り越えていったかをまとめて理解する
復習時間：40分
19世紀までにヨーロッパが達成した水準を乗り越え、20世紀においてアメリカを世界経済の中心に押し上げた、当時の新たな経済システム、すなわちアメリカ的生産・生活様式（＝20世紀システムの基礎構造）について、まず生産のあり方（＝大量生産体制）から説明する

第5回 フォード・システムの工場管理（授業形式：講義）

予習内容：現代において企業で働く上で必要な能力や資質は何であるかについて考えてみる
予習時間：60分
復習内容：20世紀的な人間形成のあり方が19世紀のそれとも、また現代のそれとも異なっていたことをまとめて理解する
復習時間：40分
アメリカ的大量生産体制における人々の働き方や、企業が従業員に求める能力・資質が、19世紀までの工場におけるそれとはいかに異なっていたかを示す

第6回 アメリカ的生活様式（授業形式：講義）

予習内容：現代社会における消費活動の実態や意味について、自分自身の生活に即して考えてみる
予習時間：60分
復習内容：20世紀システムにおける大量生産が大量消費を必須の存立条件とし、現代を含めて、後者を促すために様々な活動を通じた膨大な努力がなされていることをまとめて理解する
復習時間：40分
20世紀システムの基礎構造を構成する4つのMASS（大量生産・大量販売・大量宣伝・大量消費）うち、大量販売・大量宣伝・大量消費について説明する。大量生産に見合った大量消費がアメリカでいかにして可能になったかを述べる

第7回 GM（General　Motors）の経営改革（授業形式：講義）

予習内容：アメリカ自動車産業の歴史について、文献等から情報を集める
予習時間：60分
復習内容：20世紀型大企業の経営管理手法についてまとめて理解する
復習時間：40分
宣伝・広告を含むマーケティング手法の重視や、事業部制にもとづく短期的計数管理を編み出し、20世紀型大企業の原型を作り出したGeneral　Motors社の1920年代における経営改革を説明する

第8回 世界恐慌とニューディール政策（授業形式：講義）

予習内容：世界恐慌について、文献等をつうじて情報を集める
予習時間：60分
復習内容：世界恐慌を通じて古典的自由主義の時代が終わり、20世紀型の経済社会が完成に近づいたことをまとめて理解する
復習時間：40分
資本主義の歴史上、今日までの最大の経済危機と言われる世界恐慌（1929年恐慌）について、その背景・経緯・結果を解説する。この経済危機に対処する必要性から、古典的自由主義の時代が終わり、政府が大きな役割を果たし、巨大な組織や団体が強い影響力を持つ社会へ移行することになる

第9回　アメリカ戦時経済システム(1)（授業形式：講義）

予習内容：第二次世界大戦の経緯について、文献等から情報を得ておく
予習時間：60分
復習内容：20世紀前半は二つの世界大戦によって特徴付けられるが、戦争がいかに経済システムを変えるものであるかを理解する
復習時間：40分
未曾有の大戦争であった第2次世界大戦の下でのアメリカ経済について解説する。アメリカ戦時経済においては、市場メカニズムの自由な作動が強く抑制されたが、他面でアメリカはこの時期に技術や生産能力を飛躍的に向上させることで、戦後の「一人勝ち」を可能にした

第10回　アメリカ戦時経済システム(2)（授業形式：講義）

予習内容：第二次世界大戦の経緯について、文献等から情報を得ておく
予習時間：60分
復習内容：世界大戦が必要とした国民労働力の大量動員と安定した労使関係をアメリカがいかにして確保したかを理解する
復習時間：40分
前回に引き続いて、第2次大戦下のアメリカ戦時経済について検討する。今回は、戦時の労使関係および価格統制政策がテーマとなる

第11回　戦後再転換過程とアメリカ経済の繁栄（授業形式：講義）

予習内容：1950年代・60年代におけるアメリカ経済の繁栄ぶりについて、文献等によって情報をあつめる
予習時間：60分
復習内容：戦時経済を極致とする20世紀システムが戦後のアメリカに空前の繁栄をもたらしたことをまとめて理解する
復習時間：40分
アメリカは大戦終了後、経済力の圧倒的な優位性によって新たな世界秩序形成の主役となったが、それには戦時経済における国家統制の多くを残すことによるスムースな平時経済への転換や、戦時に達成された卓越した生産力が与って力となった。こうした要因による戦後アメリカ経済の繁栄について解説する

第12回　アメリカ産業の国際的競争力低下（授業形式：講義）

予習内容：「ニクソン・ショック」や「オイル・ショック」など1970年代に起こった世界経済の混乱要因について、文献等により情報をあつめる
予習時間：60分
復習内容：アメリカ経済力の相対的衰退を含んだ1970年代世界経済の変容についてまとめて理解する
復習時間：40分
アメリカは1960年代後半以降、西ヨーロッパ諸国・日本・東アジア諸国の追い上げを受けて、産業競争力の相対的衰退を余儀なくされるが、それはアメリカにとって20世紀システムの歴史的役割が終わりに近づいたことを意味した。またアメリカをも巻き込んだ、戦後世界経済の分水嶺としての1970年代の混乱についても言及する

第13回　レーガノミクス（授業形式：講義）

予習内容：ドナルド・レーガン大統領の業績や人となりについて、文献等から情報を集める
予習時間：60分
復習内容：レーガノミクスの内容とそれが与えたアメリカ経済および世界経済に対する影響について確認する
復習時間：40分
1980年代にアメリカのリーダーシップの再建を意図して展開されたドナルド・レーガン大統領による経済政策（レーガノミクス）について解説する

第14回　ドル本位制の展開 とリーマン・ショック（授業形式：講義）

予習内容：サブプライム・ローン危機やリーマン・ショックについて、文献等から情報を集める
予習時間：60分
復習内容：世界金融危機の背景や影響についての理解を確認する
復習時間：40分
2007年のサブプライム危機や翌年のリーマン・ショックを起点とする世界金融危機について解説する。またそれはアメリカが牽引してきた世界的な金融自由化の一つの帰結であることを述べる

第15回　授業のまとめと結論（授業形式：講義）

予習内容：これまでの授業内容を復習し、過去数十年の世界経済の基本的推移をまとめる
予習時間：60分
復習内容：授業内容全体から学べたことを確認し、世界経済の現在と将来について自分なりの理解を持つようにする(
復習時間：40分
過去1世紀余りのアメリカ経済や世界経済の変化をまとめ、現代世界の特質や世界経済の将来像を考察する

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**国際社会と日本**						
英文名 ：	International Society and Japan						
担当者 ：	新田　幸夫						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】金曜2限						

■授業概要

世界大戦（第１次・第２次）はわれわれに何をもたらしたのか。これを機にして、世界のパワーバランスが、グローバル化の動きと並走するように、揺れ動いている。大戦、冷戦、そして取り残されるアフリカ、かき回される中東、そして躍進する中国などの現状を見ていきたい。
そして、日本との関係を基にして、国際社会が抱えるさまざまな問題、特に国際紛争、貧困、環境などの問題を考察したい。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

講義では、共通科目の基礎として、世界のさまざまな地域の政治事情や文化などに興味を持ち、国際的な感性を養うことを主な目標とする。そうして、世界情勢が自分たちの日常生活にどのような影響を及ぼしているのか、できるだけ多くの情報を受け、理解するように努めることを到達目標としたい。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的２の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
授業中の質疑応答 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

・数回（3，4回）の授業後に、その内容をまとめたペーパーを配布し授業中に復習を行う。
・試験の要点（これまでの授業の総復習）は試験前に行い、試験勉強の徹底を図りたい。

■教科書

【留意事項】特に特定しない。

■参考文献

【留意事項】授業中に必要な参考文献の紹介を行う。できるだけ購入しやすい新書を紹介する。

■関連科目

特になし。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行う。

■研究室・メールアドレス

講師控室【2号館2階）・nittasachio@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 グローバリゼーションと国民国家（授業形式：講義）

予習内容：グローバリゼーションに関する基礎知識を調べること。
予習時間：60分
復習内容：自分のアイデンティティを再確認し、自分の立ち位置をノートに記してみよう。
復習時間：40分
グローバリゼーションが意味する地球規模化が認められるものを挙げ、それがどのように国民国家へ影響を与えているかを考察する。そして、われわれのアイデンティティを問う。

第2回 ナショナリズムと地政学（授業形式：講義）

予習内容：ナショナリズムと地政学について基礎知識を調べておくこと。
予習時間：60分
復習内容：われわれは何をすべきか。つまり、今の自分そして将来の自分が考え、行わなければならないことをノートに記してみよう。
復習時間：60分
ナショナリズムとは何か、それをもとに、われわれは世界の中でどの位置にいるのかを考察する。そして、ナショナリズムと地政学の関係を考察する。

第3回 世界大戦（第１次・第２次）（授業形式：講義）

予習内容：２つの大戦の基礎知識を調べること。
予習時間：60分
復習内容：授業内容の復習と戦後の途上国との関係を整理すること。
復習時間：60分
世界大戦が現在に与えた影響とは何であるかを考察する。２つの大戦の概要、その後のパワーバランスなどを考察する。

第4回 まとめ(1)　世界大戦後の国際秩序（授業形式：講義）

予習内容：これまでの内容を整理すること。戦後処理に関しての確認が必要。
予習時間：50分
復習内容：これまでの内容を整理すること。特に、大戦後の国際秩序の変動について理解をすること。
復習時間：50分
グローバリゼーション、ナショナリズムなどの歴史的背景を紹介し、国際秩序の変動について理解を深めていく。

第5回 外交とは（授業形式：講義）

予習内容：外交とは、という一般的な内容を調べておくこと。
予習時間：50分
復習内容：授業の内容を理解すること。特に、歴史的見地から外交とは何かを理解したい。
復習時間：50分
外交とは何かについて、歴史的な見地から見る。国際政治が不安定になるときにどのような外交が可能であるかを考察する。

第6回 冷戦とベトナム戦争（授業形式：講義）

予習内容：ベトナム戦争の基礎知識を調べること。
予習時間：50分
復習内容：冷戦状態とはどういうものかを整理したい。
復習時間：50分
国際秩序が変動するなかで、時に、米ソの交渉が途絶えたときに発生したベトナム戦争は、私たちアジア人に大きな問題を提起した。その内容を紹介し、世界情勢のあるべき姿を考察したい。

第7回 冷戦後のアフリカ（授業形式：講義）

予習内容：アフリカが現在抱えている問題を列挙すること。国は特定しない。
予習時間：50分
復習内容：植民地から独立した後の状況にどんな支援をすれば、内紛が起こりにくいかを考えること。
復習時間：50分
アフリカの現状を取り上げながら、先進国の政策に左右される状況を見ていきたい。民族自決の問題、植民地の独立などの問題を取り上げて、冷戦後のアフリカがどのように変遷を遂げてきたのかを２，３の国を通して考察する。

第8回 イスラム教と中東（授業形式：講義）

予習内容：イスラム教の文化を調べてみたい。
予習時間：50分
復習内容：授業内容の復習をしたい。さらに、配布したペーパーの整理をすること。
復習時間：50分
イスラム教とはどのような宗教なのかを歴史的背景から説明し、現状を考察したい。また、湾岸戦争、イラク戦争の原因などに

ついても考えたい。

第9回 まとめ(2) アフリカと中東の状況の復習と、世界における民主主義の現状（授業形式：講義）

予習内容：「民主主義」とは、「自由」とはについて、自分が考える定義をノートに記してくること。
予習時間：50分
復習内容：配布された民主主義や自由に関するデータを確認しつつ復習すること。
復習時間：50分
民主主義とは何か、自由とは何かなど国連や世界銀行等からのデータをもとに、アフリカと中東の状況を振り返り世界における民主主義の現状を考察する。

第10回 ラテンアメリカと地域主義（授業形式：講義）

予習内容：ラテンアメリカの特徴を調べておくこと。
予習時間：50分
復習内容：授業の内容を復習すること。特に、大陸（南アメリカ大陸）の地域性の特徴を理解すること。
復習時間：50分
ラテンアメリカは対アメリカ合衆国との政治的な駆け引きから成っているといって過言ではない。ラテンアメリカ自由貿易連合（LAFTA）や中米共同市場（CACM）などを組織し、一つの地域性をもって対抗してきた。ラテンアメリカのその地域性に関して考察したい。また、日本との関係も紹介したい。

第11回 中国とグローバリゼーション（授業形式：講義）

予習内容：日本から見た中国について、自分が考える印象をノートに箇条書きにしておくこと。
予習時間：60分
復習内容：紹介する資料をまとめること。また、紹介する参考書籍も読むように。
復習時間：60分
列強国が迫ってきたときの中華民国から第2次世界大戦後に独立した中華人民共和国に至る経緯と、その後の政治状況について考察する。

第12回 まとめ(3) 南米と中国の今後について（授業形式：講義）

予習内容：これまでのポイントの復習をすること。
予習時間：60分
復習内容：南米と中国のそれぞれの今後に関してのニュースを確認すること。
復習時間：60分
南米と中国の内容を復習し、南米の地域性と中国の外交について、その今後を考える。

第13回 世界の環境問題（授業形式：講義）

予習内容：人間の活動する場所としての国際社会はどうあるべきか。人類全体が取り組むべき政策課題には何があるか、思い当たることを箇条書きにしてくること。
予習時間：60分
復習内容：授業の内容を復習をすること。
復習時間：50分
国際関係論から見た 地球環境問題を考察したい。広義の意味で、国際関係論であり、具体的には、安全保障問題や国際経済論などに関連した内容を考察する。ただし、説明する内容は、大まかな概要にとどめる。なお、自然環境の問題は、地球環境問題の様々な問題のうちの一つとして簡潔に触れる。

第14回 世界の貧困（授業形式：講義）

予習内容：貧困とはどういうことか、ノートに箇条書きしてくること。
予習時間：50分
復習内容：授業の復習をし、参考資料、書籍を読むこと。（読書時間は個別に対応するように）
復習時間：50分
世界の貧富の差をどのように考えるのか。世界銀行、国連からの資料を配布し考えたい。
また、恒常的な貧困状況から脱却できない途上国の現状を説明する。

第15回 国際社会と日本のまとめ（授業形式：講義）

予習内容：これまでの資料などの整理をすること。
予習時間：60分
復習内容：授業の内容を復習することと、それに関連する内容を新聞やインターネットで見出すこと。
復習時間：60分
これまでの内容の総復習。それぞれの項目に現在の日本社会と関連付けてまとめる予定である。。

定期試験を行います。ただし、試験問題作成は学生の習熟度を鑑みて作成する。講義の各項目の中から６項目に絞り学生に問題を投げかける。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 ：	**国際社会と日本**						
英文名 ：	International Society and Japan						
担当者 ：	新田　幸夫						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】金曜1限						

■授業概要

世界大戦（第１次・第２次）はわれわれに何をもたらしたのか。これを機にして、世界のパワーバランスが、グローバル化の動きと並走するように、揺れ動いている。大戦、冷戦、そして取り残されるアフリカ、かき回される中東、そして躍進する中国などの現状を見ていきたい。
そして、日本との関係を基にして、国際社会が抱えるさまざまな問題、特に国際紛争、貧困、環境などの問題を考察したい。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

講義では、共通科目の基礎として、世界のさまざまな地域の政治事情や文化などに興味を持ち、国際的な感性を養うことを主な目標とする。そうして、世界情勢が自分たちの日常生活にどのような影響を及ぼしているのか、できるだけ多くの情報を受け、理解するように努めることを到達目標としたい。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的２の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 50%
授業中の質疑応答 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

・数回（3，4回）の授業後に、その内容をまとめたペーパーを配布し授業中に復習を行う。
・試験の要点（これまでの授業の総復習）は試験前に行い、試験勉強の徹底を図りたい。

■教科書

【留意事項】特に特定しない。

■参考文献

【留意事項】授業中に必要な参考文献の紹介を行う。できるだけ購入しやすい新書を紹介する。

■関連科目

特になし。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行う。

■研究室・メールアドレス

講師控室【2号館2階）・nittasachio@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 グローバリゼーションと国民国家（授業形式：講義）

予習内容：グローバリゼーションに関する基礎知識を調べること。
予習時間：60分
復習内容：自分のアイデンティティを再確認し、自分の立ち位置をノートに記してみよう。
復習時間：40分
グローバリゼーションが意味する地球規模化が認められるものを挙げ、それがどのように国民国家へ影響を与えているかを考察する。そして、われわれのアイデンティティを問う。

第2回 ナショナリズムと地政学（授業形式：講義）

予習内容：ナショナリズムと地政学について基礎知識を調べておくこと。
予習時間：60分
復習内容：われわれは何をすべきか。つまり、今の自分そして将来の自分が考え、行わなければならないことをノートに記してみよう。
復習時間：60分
ナショナリズムとは何か、それをもとに、われわれは世界の中でどの位置にいるのかを考察する。そして、ナショナリズムと地政学の関係を考察する。

第3回 世界大戦（第１次・第２次）（授業形式：講義）

予習内容：２つの大戦の基礎知識を調べること。
予習時間：60分
復習内容：授業内容の復習と戦後の途上国との関係を整理すること。
復習時間：60分
世界大戦が現在に与えた影響とは何であるかを考察する。２つの大戦の概要、その後のパワーバランスなどを考察する。

第4回 まとめ(1)　世界大戦後の国際秩序（授業形式：講義）

予習内容：これまでの内容を整理すること。戦後処理に関しての確認が必要。
予習時間：50分
復習内容：これまでの内容を整理すること。特に、大戦後の国際秩序の変動について理解をすること。
復習時間：50分
グローバリゼーション、ナショナリズムなどの歴史的背景を紹介し、国際秩序の変動について理解を深めていく。

第5回 外交とは（授業形式：講義）

予習内容：外交とは、という一般的な内容を調べておくこと。
予習時間：50分
復習内容：授業の内容を理解すること。特に、歴史的見地から外交とは何かを理解したい。
復習時間：50分
外交とは何かについて、歴史的な見地から見る。国際政治が不安定になるときにどのような外交が可能であるかを考察する。

第6回 冷戦とベトナム戦争（授業形式：講義）

予習内容：ベトナム戦争の基礎知識を調べること。
予習時間：50分
復習内容：冷戦状態とはどういうものかを整理したい。
復習時間：50分
国際秩序が変動するなかで、時に、米ソの交渉が途絶えたときに発生したベトナム戦争は、私たちアジア人に大きな問題を提起した。その内容を紹介し、世界情勢のあるべき姿を考察したい。

第7回 冷戦後のアフリカ（授業形式：講義）

予習内容：アフリカが現在抱えている問題を列挙すること。国は特定しない。
予習時間：50分
復習内容：植民地から独立した後の状況にどんな支援をすれば、内紛が起こりにくいかを考えること。
復習時間：50分
アフリカの現状を取り上げながら、先進国の政策に左右される状況を見ていきたい。民族自決の問題、植民地の独立などの問題を取り上げて、冷戦後のアフリカがどのように変遷を遂げてきたのかを２，３の国を通して考察する。

第8回 イスラム教と中東（授業形式：講義）

予習内容：イスラム教の文化を調べてみたい。
予習時間：50分
復習内容：授業内容の復習をしたい。さらに、配布したペーパーの整理をすること。
復習時間：50分
イスラム教とはどのような宗教なのかを歴史的背景から説明し、現状を考察したい。また、湾岸戦争、イラク戦争の原因などに

ついても考えたい。

第9回 まとめ(2) アフリカと中東の状況の復習と、世界における民主主義の現状（授業形式：講義）

予習内容：「民主主義」とは、「自由」とはについて、自分が考える定義をノートに記してくること。
予習時間：50分
復習内容：配布された民主主義や自由に関するデータを確認しつつ復習すること。
復習時間：50分
民主主義とは何か、自由とは何かなど国連や世界銀行等からのデータをもとに、アフリカと中東の状況を振り返り世界における民主主義の現状を考察する。

第10回 ラテンアメリカと地域主義（授業形式：講義）

予習内容：ラテンアメリカの特徴を調べておくこと。
予習時間：50分
復習内容：授業の内容を復習すること。特に、大陸（南アメリカ大陸）の地域性の特徴を理解すること。
復習時間：50分
ラテンアメリカは対アメリカ合衆国との政治的な駆け引きから成っているといって過言ではない。ラテンアメリカ自由貿易連合（LAFTA）や中米共同市場（CACM）などを組織し、一つの地域性をもって対抗してきた。ラテンアメリカのその地域性に関して考察したい。また、日本との関係も紹介したい。

第11回 中国とグローバリゼーション（授業形式：講義）

予習内容：日本から見た中国について、自分が考える印象をノートに箇条書きにしておくこと。
予習時間：60分
復習内容：紹介する資料をまとめること。また、紹介する参考書籍も読むように。
復習時間：60分
列強国が迫ってきたときの中華民国から第2次世界大戦後に独立した中華人民共和国に至る経緯と、その後の政治状況について考察する。

第12回 まとめ(3) 南米と中国の今後について（授業形式：講義）

予習内容：これまでのポイントの復習をすること。
予習時間：60分
復習内容：南米と中国のそれぞれの今後に関してのニュースを確認すること。
復習時間：60分
南米と中国の内容を復習し、南米の地域性と中国の外交について、その今後を考える。

第13回 世界の環境問題（授業形式：講義）

予習内容：人間の活動する場所としての国際社会はどうあるべきか。人類全体が取り組むべき政策課題には何があるか、思い当たることを箇条書きにしてくること。
予習時間：60分
復習内容：授業の内容を復習をすること。
復習時間：50分
国際関係論から見た 地球環境問題を考察したい。広義の意味で、国際関係論であり、具体的には、安全保障問題や国際経済論などに関連した内容を考察する。ただし、説明する内容は、大まかな概要にとどめる。なお、自然環境の問題は、地球環境問題の様々な問題のうちの一つとして簡潔に触れる。

第14回 世界の貧困（授業形式：講義）

予習内容：貧困とはどういうことか、ノートに箇条書きしてくること。
予習時間：50分
復習内容：授業の復習をし、参考資料、書籍を読むこと。（読書時間は個別に対応するように）
復習時間：50分
世界の貧富の差をどのように考えるのか。世界銀行、国連からの資料を配布し考えたい。
また、恒常的な貧困状況から脱却できない途上国の現状を説明する。

第15回 国際社会と日本のまとめ（授業形式：講義）

予習内容：これまでの資料などの整理をすること。
予習時間：60分
復習内容：授業の内容を復習することと、それに関連する内容を新聞やインターネットで見出すこと。
復習時間：60分
これまでの内容の総復習。それぞれの項目に現在の日本社会と関連付けてまとめる予定である。。

定期試験を行います。ただし、試験問題作成は学生の習熟度を鑑みて作成する。講義の各項目の中から６項目に絞り学生に問題を投げかける。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**思考の技術**						
英文名　：	The Art of Thinking						
担当者　：	平木　光二						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】金曜4限						

■授業概要

絵を描くにも技術がいる。なぜなら絵を描くということは立体の物体を平面のキャンバスに移し替えることであるが、そうするためには技術がないとリアルに表現できからである。けっして肉眼で見たままを描いているのではない。同様に、文章を書く行為にも技術が必要だ。頭に浮かんだアイディアや思考の断片を紙に書き写してもメモ書き程度の文章しかできないからだ。

　この科目では、ものを考えるという思考の技術に加え、その考えた成果をいかに論理的(logical)にことばで表現するか、それらの技術について学ぶ。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

演習問題に加え、グループ討論を通じて、思考の技術・発表の技術を磨くことを目標とする。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的３の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

確認テスト 70%
授業中課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

模範答案をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■教科書

【留意事項】指定しない。毎授業時、演習問題を配布する。

■参考文献

【留意事項】特に指定しない。

■関連科目

特になし。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）ko-hiraki@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　思考の技術――論理的思考と論理的表現（授業形式：講義）

予習内容：本講義の前半では、Discourse Markerに関する演習問題を解きながら、思考の技術の基礎を学習しますので、受講者はDiscourse Markerとはなにかについて、各自調べて予備知識をもっておくこと。
予習時間：50分
復習内容：Discourse Markerとは、「したがって」、「なぜなら」などの論理を展開する語のことであるということの確認と、なぜDiscourse Markerの使用が不可欠なのか、その理由をいえるようにしておくこと。
復習時間：30分
授業の形態としては、授業の前半（50～60分）は、メンバーといっしょに問題を考察するグループ学習（司会と書記を含む5～6人構成）を行い、残りの約30分は各人で問題を解く授業スタイルを予定しており、初回からこのスタイルで授業を進めていきます。

思考の技術は論理的思考(skills to think logically)と論理的表現(skills to express it through words)の両面からなるが、論理的思考については講義の後半にとりあげることにし、はじめの数時間はDiscourse Markerを用いた論理的表現について学ぶことにする。

第2回　Discourse Markerに関する演習問題（１）（授業形式：講義）

予習内容：配布したプリント　P.1の例題２を解いておくこと。
予習時間：40分
復習内容：Discourse Markerが表現の技術の基礎であることの理解を深めること。
復習時間：20分
「表現の技術」の基礎であるDiscourse Markerについて、実際に問題を解きながら学ぶ。

第3回　Discourse Markerに関する演習問題（２）（授業形式：講義）

予習内容：配布したプリントの問題を解いておくこと。
予習時間：40分
復習内容：Discourse Markerには、どのようなことばがあるか、整理しておくこと。
復習時間：20分
前回の授業で解いた問題の続きを解いていく。

第4回　Discourse Markerに関する演習問題（３）（授業形式：講義）

予習内容：
配布したプリントの問題を解いておくこと。
予習時間：40分
復習内容：Discourse Markerを自在に使用できるか、自分で文章を書いて習熟度を確認しておくこと。
復習時間：20分
前回の授業で解いた問題の続きを解いていく。

第5回　事実と意見（授業形式：講義）

予習内容：なぜ事実と意見を区別する必要があるのか、その理由を答えられるよう自分なりの答えを用意しておくこと。
予習時間：20分
復習内容：事実と意見というワードを用いて「論証形式」を説明できるか、知識を整理しておくこと。
復習時間：15分
なぜ事実と意見を区別する必要があるのかについて学ぶ。

第6回　論証形式―主題提示文（授業形式：講義）

予習内容：主題提示文とはなにか、調べておくこと。
予習時間：15分
復習内容：主題提示文の役割について、理解を深めておくこと。
復習時間：10分
主題提示文とはなにかについて学ぶ。

第7回　論証形式―理由・根拠の提示（授業形式：講義）

予習内容：レポートや答案を作成するにあたり、きちんと理由や根拠を明示してきたか、過去の提出物を見直すこと。
予習時間：30分
復習内容：理由や根拠を明示することがいかに重要であるか、再確認しておくこと。
復習時間：20分
論証形式において重要な位置を占める理由、根拠について取り上げる。

第8回　異論・批判・反論（授業形式：講義）

予習内容：異論、批判、反論のちがいを説明できるように調べておくこと。
予習時間：15分
復習内容：異論、批判、反論のちがいを整理しておくこと。

復習時間：10分
ある主張にたいしてどのように異論、批判、反論すればよいか、その具体例を学ぶ。

第9回　仮説形成（１）（授業形式：講義）

予習内容：推論、仮説形成(abduction)とはなにか、時間をかけて丁寧に調べておくこと。
予習時間：60分
復習内容：仮説をたてることがなぜ重要であるか、説明できるようにプリントをしっかり読み返しておくこと。
復習時間：30分
推論、仮説形成(abduction)について取り上げる。

第10回　仮説形成（２）（授業形式：講義）

予習内容：配布したプリントの問題を解いておくこと。
予習時間：40分
復習内容：正解を得られなかった問題に関し、なぜ解けなかったのか、いま一度再考しておくこと。
復習時間：20分
前回の授業に引き続き、推論、仮説形成(abduction)について取り上げる。

第11回　確認テストの実施

予習内容：受講者の理解度を確認するために、確認テストを実施する。
既習の演習問題のうち、重要な問題を重点的にしっかり見直して理解を深めておくこと。
予習時間：60分
復習内容：正解を得られなかった問題について、正解と照らし合わせて理解を深めておくこと。
復習時間：40分
確認テストを実施する。

第12回　非論理的文章のre-writing演習（授業形式：講義）

予習内容：非論理的文章と論理的文章との相違はどこにあるのか、自分なりに考えておくこと。
予習時間：20分
復習内容：非論理的文章と論理的文章との相違が明確に説明できるか、確認しておくこと。
復習時間：20分
実際に非論理的文章を論理的文章に書き換える練習を通じて、非論理的文章と論理的文章との相違について学ぶ。

第13回　パラグラフ・ライティング（授業形式：講義）

予習内容：パラグラフとはなにか説明できるように調べておくこと。
予習時間：15分
復習内容：パラグラフとはなにか説明できるように知識を整理しておくこと。
復習時間：10分
前回の授業に引き続き、非論理的文章を論理的文章に書き換える練習をおこなう。

第14回　レポート作成（授業形式：講義）

予習内容：レポートを書くとき、なにに注意すればよいか、これまでの授業内容から推測し整理しておくこと。
予習時間：30分
復習内容：思考する技術と表現する技術が密接につながっていることを再確認しておくこと。
復習時間：20分
８００字程度のレポートを作成する練習をおこなう。

第15回　グループでのライティング作業（授業形式：講義）

予習内容：事前にテーマを発表するので、グループディスカッションで発言できるようにそのテーマについて下調べをして準備しておくこと。
予習時間：40分
復習内容：ある現象を見て、その現象をうまく説明できる仮説をたてることができるかどうか、試しておくこと。
復習時間：30分
６人前後のグループに分かれ、各グループで議論しながら、推論し仮説をたてる練習をおこなう。

試験

問題は記述式とする。
詳細については事前に説明する。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**思考の技術**						
英文名　：	The Art of Thinking						
担当者　：	平木　光二						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】金曜3限						

■授業概要

絵を描くにも技術がいる。なぜなら絵を描くということは立体の物体を平面のキャンバスに移し替えることであるが、そうするためには技術がないとリアルに表現できからである。けっして肉眼で見たままを描いているのではない。同様に、文章を書く行為にも技術が必要だ。頭に浮かんだアイディアや思考の断片を紙に書き写してもメモ書き程度の文章しかできないからだ。

　この科目では、ものを考えるという思考の技術に加え、その考えた成果をいかに論理的(logical)にことばで表現するか、それらの技術について学ぶ。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

演習問題に加え、グループ討論を通じて、思考の技術・発表の技術を磨くことを目標とする。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的３の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

確認テスト 70%
授業中課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

模範答案をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■教科書

【留意事項】指定しない。毎授業時、演習問題を配布する。

■参考文献

【留意事項】特に指定しない。

■関連科目

特になし。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）ko-hiraki@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　思考の技術――論理的思考と論理的表現（授業形式：講義）

予習内容：本講義の前半では、Discourse Markerに関する演習問題を解きながら、思考の技術の基礎を学習しますので、受講者はDiscourse Markerとはなにかについて、各自調べて予備知識をもっておくこと。
予習時間：50分
復習内容：Discourse Markerとは、「したがって」、「なぜなら」などの論理を展開する語のことであるということの確認と、なぜDiscourse Markerの使用が不可欠なのか、その理由をいえるようにしておくこと。
復習時間：30分
授業の形態としては、授業の前半（50～60分）は、メンバーといっしょに問題を考察するグループ学習（司会と書記を含む5～6人構成）を行い、残りの約30分は各人で問題を解く授業スタイルを予定しており、初回からこのスタイルで授業を進めていきます。

思考の技術は論理的思考(skills to think logically)と論理的表現(skills to express it through words)の両面からなるが、論理的思考については講義の後半にとりあげることにし、はじめの数時間はDiscourse Markerを用いた論理的表現について学ぶことにする。

第2回　Discourse Markerに関する演習問題（１）（授業形式：講義）

予習内容：配布したプリント　P.1の例題２を解いておくこと。
予習時間：40分
復習内容：Discourse Markerが表現の技術の基礎であることの理解を深めること。
復習時間：20分
「表現の技術」の基礎であるDiscourse Markerについて、実際に問題を解きながら学ぶ。

第3回　Discourse Markerに関する演習問題（２）（授業形式：講義）

予習内容：配布したプリントの問題を解いておくこと。
予習時間：40分
復習内容：Discourse Markerには、どのようなことばがあるか、整理しておくこと。
復習時間：20分
前回の授業で解いた問題の続きを解いていく。

第4回　Discourse Markerに関する演習問題（３）（授業形式：講義）

予習内容：
配布したプリントの問題を解いておくこと。
予習時間：40分
復習内容：Discourse Markerを自在に使用できるか、自分で文章を書いて習熟度を確認しておくこと。
復習時間：20分
前回の授業で解いた問題の続きを解いていく。

第5回　事実と意見（授業形式：講義）

予習内容：なぜ事実と意見を区別する必要があるのか、その理由を答えられるよう自分なりの答えを用意しておくこと。
予習時間：20分
復習内容：事実と意見というワードを用いて「論証形式」を説明できるか、知識を整理しておくこと。
復習時間：15分
なぜ事実と意見を区別する必要があるのかについて学ぶ。

第6回　論証形式―主題提示文（授業形式：講義）

予習内容：主題提示文とはなにか、調べておくこと。
予習時間：15分
復習内容：主題提示文の役割について、理解を深めておくこと。
復習時間：10分
主題提示文とはなにかについて学ぶ。

第7回　論証形式―理由・根拠の提示（授業形式：講義）

予習内容：レポートや答案を作成するにあたり、きちんと理由や根拠を明示してきたか、過去の提出物を見直すこと。
予習時間：30分
復習内容：理由や根拠を明示することがいかに重要であるか、再確認しておくこと。
復習時間：20分
論証形式において重要な位置を占める理由、根拠について取り上げる。

第8回　異論・批判・反論（授業形式：講義）

予習内容：異論、批判、反論のちがいを説明できるように調べておくこと。
予習時間：15分
復習内容：異論、批判、反論のちがいを整理しておくこと。

復習時間：10分
ある主張にたいしてどのように異論、批判、反論すればよいか、その具体例を学ぶ。

第9回　仮説形成（１）（授業形式：講義）

予習内容：推論、仮説形成(abduction)とはなにか、時間をかけて丁寧に調べておくこと。
予習時間：60分
復習内容：仮説をたてることがなぜ重要であるか、説明できるようにプリントをしっかり読み返しておくこと。
復習時間：30分
推論、仮説形成(abduction)について取り上げる。

第10回　仮説形成（２）（授業形式：講義）

予習内容：配布したプリントの問題を解いておくこと。
予習時間：40分
復習内容：正解を得られなかった問題に関し、なぜ解けなかったのか、いま一度再考しておくこと。
復習時間：20分
前回の授業に引き続き、推論、仮説形成(abduction)について取り上げる。

第11回　確認テストの実施

予習内容：受講者の理解度を確認するために、確認テストを実施する。
既習の演習問題のうち、重要な問題を重点的にしっかり見直して理解を深めておくこと。
予習時間：60分
復習内容：正解を得られなかった問題について、正解と照らし合わせて理解を深めておくこと。
復習時間：40分
確認テストを実施する。

第12回　非論理的文章のre-writing演習（授業形式：講義）

予習内容：非論理的文章と論理的文章との相違はどこにあるのか、自分なりに考えておくこと。
予習時間：20分
復習内容：非論理的文章と論理的文章との相違が明確に説明できるか、確認しておくこと。
復習時間：20分
実際に非論理的文章を論理的文章に書き換える練習を通じて、非論理的文章と論理的文章との相違について学ぶ。

第13回　パラグラフ・ライティング（授業形式：講義）

予習内容：パラグラフとはなにか説明できるように調べておくこと。
予習時間：15分
復習内容：パラグラフとはなにか説明できるように知識を整理しておくこと。
復習時間：10分
前回の授業に引き続き、非論理的文章を論理的文章に書き換える練習をおこなう。

第14回　レポート作成（授業形式：講義）

予習内容：レポートを書くとき、なにに注意すればよいか、これまでの授業内容から推測し整理しておくこと。
予習時間：30分
復習内容：思考する技術と表現する技術が密接につながっていることを再確認しておくこと。
復習時間：20分
８００字程度のレポートを作成する練習をおこなう。

第15回　グループでのライティング作業（授業形式：講義）

予習内容：事前にテーマを発表するので、グループディスカッションで発言できるようにそのテーマについて下調べをして準備しておくこと。
予習時間：40分
復習内容：ある現象を見て、その現象をうまく説明できる仮説をたてることができるかどうか、試しておくこと。
復習時間：30分
６人前後のグループに分かれ、各グループで議論しながら、推論し仮説をたてる練習をおこなう。

試験

問題は記述式とする。
詳細については事前に説明する。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**持続可能な社会論**						
英文名　：	Sustainable Society						
担当者　：	新田　和宏						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】金曜3限						

■授業概要

＜本講座を学ぶ目的＞

本講座の目的は、「日本版SDGs」に関する理解を深めることにある。

国連の「環境と開発に関する世界委員会」（ブルントラント委員会）において提唱された「持続可能な開発（sustainable development）」という考え方の延長として議論されている「持続可能な社会（sustainable society）」について、SDGs（持続可能な開発目標）に関連させながら、「日本版SDGs」に関する基本的な理解を深める。

「持続可能な社会」とは、積極的平和に基づき、環境保全と経済成長とを両立させ、それに生活保障という側面を連動させながら、世代間および世代内における公正を実現しようとする政治が作用する社会の在り方であり、かつまたSDGsが目指す社会の在り方でもある。

＜本講座において学ぶ意義＞

しかしながら、日本社会のおける実際の社会の在り方は、むしろ反対に、「人口減少」・「限界集落」・「少子高齢化」・「雇用と所得の不安定化」・「若者の貧困化」・「子どもの貧困」・「無縁社会」・「シャッター商店街」・「気候変動」等々、社会の「持続可能性（sustainability）」が縮減されつつある状況にある。それ故に、「持続可能な社会」を実現するための社会的条件について、それを見出す粘り強い思考を重ねることこそ、本講座において学ぶ意義があるといえる。

＜本講座の方法＞

アクティブ・ラーニングとして展開する。

明快なレクチャーをベースに据え、学生諸君のディスカッションを交え、静かに「白熱」する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本講座を通じて得られるべき到達目標とは次の通りである。

①．教科書を読み、これを正確に理解できる読解力。②．講義を積極的に傾聴（active listening）できる能力。③．板書に頼らずとも、自分の頭の中で情報を整理しつつ、ノートがとれる能力。④．社会現象に潜む本質を捉え、かつまた個々の社会現象のつながりを探ろうとする態度とその洞察力。⑤．先行する「持続可能な社会」の試みから「政策学習」を試みようとする意欲とその想像力。⑥．「持続可能な社会」の在り方について判断し、基本的な提言を表現できる能力。

＜ディプロマポリシーとの関連＞

「持続可能な社会論」の修得は、近畿大学が教養教育において掲げる目標を達成するための目的１および２の達成に関連している。

■成績評価方法および基準

定期試験 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後、試験期間中に指定した日程において試験の解題を行う。

■教科書

使用しない。

■参考文献

[ISBN]4828811672 『地球の未来を守るために』 (環境と開発に関する世界委員会, 福武書店：1987)
[ISBN]9784480066480 『限界集落の真実―過疎の村は消えるか? (ちくま新書)』 (山下 祐介, 筑摩書房：2012)
[ISBN]9784130511391 『日本の人口動向とこれからの社会: 人口潮流が変える日本と世界』 (朗, 森田, 東京大学出版会：2017)
[ISBN]9784022736208 『下流老人　一億総老後崩壊の衝撃 (朝日新書)』 (藤田孝典, 朝日新聞出版：2015)
[ISBN]9784326653805 『少子化論―なぜまだ結婚、出産しやすい国にならないのか』 (松田 茂樹, 勁草書房：2013)
[ISBN]9784022950789 『中流崩壊 (朝日新書)』 (橋本 健二, 朝日新聞出版：2020)
[ISBN]9784326653942 『下層化する女性たち: 労働と家庭からの排除と貧困』 (礼子, 小杉, 勁草書房：2015)
[ISBN]4480063110 『持続可能な福祉社会―「もうひとつの日本」の構想 (ちくま新書)』 (広井 良典, 筑摩書房：2006)
[ISBN]9784535526952 『岐路に立つ日本の社会保障』 (伊藤周平, 日本評論社：2022)
[ISBN]9784620323725 『労働時間革命 残業削減で業績向上! その仕組みが分かる』 (小室 淑恵, 毎日新聞出版：2016)
[ISBN]9784000229425 『原子力安全問題ゼミ 小出裕章 最後の講演』 (今中 哲二, 岩波書店：2015)
[ISBN]9784309254517 『気候危機と環境危機』 (グレタ・トゥーンベリ, 河出書房新社：2022)
[ISBN]9784334045722 『くじ引き民主主義 政治にイノヴェーションを起こす (光文社新書)』 (吉田 徹, 光文社：2021)
[ISBN]9784761527136 『SDGs先進都市フライブルク: 市民主体の持続可能なまちづくり』 (中口 毅博, 学芸出版社：2019)
[ISBN]9784589039699 『SDGsを学ぶ: 国際開発・国際協力入門』 (高柳 彰夫, 法律文化社：2018)

■関連科目

教養特殊講義A（SDGs）
新しい政治学

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

新田研究室（2号館5階508）・nitta@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜3限。予め、メールで連絡をしてください。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　持続可能な社会（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：Exercise①．持続可能な社会に対する定義を、私見として要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、改めて持続可能な社会について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献①を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. 持続可能性
2. ブルントラント委員会
3. 持続可能な開発
4. 持続可能な社会
5. SDGsの登場
6. SDGsの目標達成と持続可能な社会の実現

第2回　限界集落と持続不可能な社会（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise②．限界集落の現状は、日本社会全体の近未来を映し出す鏡と言える。この点について、私見として要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、改めて「限界集落と持続不可能な社会」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献②を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. 限界集落
2. 何故に、限界集落が存在するのか？
3. 限界集落の問題性
4. 限界集落と「無医村」
5. 誇りの空洞化と「限界集落化」

6. 限界集落と持続不可能な地域社

第3回　人口減少社会の行方（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise③．およそ21世紀の100年間を通じ、日本社会は急激な人口減少を辿ることになるであろうと予測されている。かかる人口減少の要因について、要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、改めて「人口減少社会の行方」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献③を繙き、さらに興味・関心を高める
復習時間：90分
1. 世界人口および日本人口の推移
2. 日本人口の将来予測
3. 人口減少社会の構造
4. 「増田レポート」 –人口変動と減少コース–
5. 人口減少社会の課題
6. 縮小社会

第4回　超高齢社会（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise④．超高齢社会の進展は、「下流老人」が増加する傾向を伴うことが予想されている。何故に、そうなるのか、私見として要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「超高齢社会」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献④を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. 平均寿命の伸長
2. 高齢化の推移
3. 高齢化の要因
4. 超高齢社会の問題
5. 超高齢社会の前提
6. 超高齢社会の条件

第5回　少子化社会（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise⑤．島嶼部や中山間地域に較べて、経済的に裕福な大都市は合計特殊出生率が極めて低い傾向にある。何故に、そうなるのか、私見として要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「少子化社会」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献⑤を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. 長期少子化傾向
2. 複合的な問題としての少子化問題
3. 国家が核家族・女性に寄生する
4. 少子化問題の解決
5. 結婚に必要なコスト
6. 子育てに必要なコスト

第6回　雇用と所得の不安定化（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise⑥．元アメリカ・メジャー・リーグの野球選手イチローの給料（2008-2012年）は高かったのか？　私見を要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「雇用と所得の不安定化」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献⑥を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. 不安定化する雇用と所得の基本構造
2. ワーキングプア
3. 日経連「新時代の『日本的経営』」（1995年）
4. 日本的経営の動揺

5. 労働コスト削減と労働破壊
6. 優良企業とブラック企業（sweatshop）

第7回　豊かな社会における貧困（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise⑦．年収200万円で生活すると、1年にいくら貯金できるか？　試算結果を示し、その理由を要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「豊かな社会における貧困」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献⑦を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. 豊かな社会における貧困
2. 若者の貧困化
3. 女性の貧困化
4. 「貧困女子」
5. シングルマザーの貧困
6. 子どもの貧困

第8回　崩壊しつつある日本型福祉国家（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise⑧．「日本型福祉国家」は稼得による生活保障および家族福祉を基盤に据えてきたが、何故にその基盤が崩れつつあるのか？　私見を要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「崩壊しつつある日本型福祉国家」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献⑧を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. 福祉国家（welfare state）
2. 日本型福祉国家の基本構成
3. 家族福祉
4. 企業福祉
5. 公共事業と「土建国家」
6. 何故に、日本の社会保障の水準は低いのか

第9回　ポスト日本型福祉国家（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise⑨．必要とされる社会保障費を、中央銀行が超「異次元」の大発行によって賄うという大胆な政策は可能なのか？　私見を要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「ポスト日本型福祉国家」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献⑨を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. ポスト日本型福祉国家への選択肢
2. 福祉国家の3類型
3. ポスト日本型福祉国家の理念
4. EU委員会『フレキシキュリティの原則』
5. 黄金の三角形（golden triangle）
6. ポスト日本型福祉国家へ

第10回　ワーク・ライフ・バランスとディーセント・ワーク（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise⑩．結婚するにあたり、相手に対して望む条件として、最も重要なポイトンを5つ指摘した上で、その理由に関して要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「ワーク・ライフ・バランス」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
復習時間：90分
1.「標準家族」から夫婦共働きへ
2. ワーク・ライフ・バランスの条件

3. ワーク・ライフ・バランスにおける女性
4. オランダ・モデル
5. ディーセント・ワーク
6. 事例研究：未来工業と資生堂

第11回　エネルギー選択と脱原発（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise⑪．福島第1原発事故以来、原発ゼロの状態を長期間経験してきたが、今後、原発ゼロでもエネルギーの供給は可能なのか？　私見を要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「エネルギー選択と脱原発」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献⑪を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. 低炭素社会と持続可能性（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）
2. 低炭素社会におけるエネルギー選択
3. 「国策」としての原発推進
4. 原発神話
5. 不問に付されてきた原発の持続不可能性
6. 環境産業革命

第12回　気候変動対策（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise⑬．温暖化効果ガスの実質排出ゼロとは一体どういう意味なのか？　その要点を400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「気候変動対策」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献⑬を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. 気候変動に対するグローバル・カバナンス
2. COP21「パリ協定」と実質排出ゼロ
3. 「パリ協定」に対する日本
4. 京都議定書（COP3）の達成状況
5. 日本の気候変動対策の3本柱
6. 日本の気候変動対策における基本思想

第13回　気候民主主義（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：Exercise⑬．長野県飯田市における再生可能エネルギーの普及の仕方に注目しつつ、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「気候民主主義」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献⑬を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. FFFインパクト
2. 気候市民会議
3. デンマークにおける気候変動対策
4. 日本の再生可能エネルギー
5. 飯田市の市民共同発電事業
6. 再生可能エネルギー革命

第14回　持続可能な都市の条件（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise⑭．近畿大学生物理工学部が所在する和歌山県北部一帯は、如何にして持続可能な都市となり得るか？　私見を要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「持続可能な都市の条件」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献⑭を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. 持続可能な都市の条件

2. SDGsとフライブルク
3. 持続可能な起業
4. 持続可能な都市交通とLRT
5. 広場と公共空間
6. 「豊かな社会」と自由時間

第15回　ポストSDGsと持続可能な社会（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise⑮．SDGsに対して、あなたは何ができるか？　その考え方を要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
発展：また、講義を踏まえつつ、「SDGs」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
跳躍：参考文献⑮を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. MDGsからSDGsへ、そしてポストSDGs
2. SDGsの誕生
3. 誰一人取り残さない社会
4. SDGsの核にある人権尊重
5. SDGsの使命
6. 持続可能な日本社会の条件

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**持続可能な社会論**						
英文名　：	Sustainable Society						
担当者　：	新田　和宏						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】金曜4限						

■授業概要

<本講座を学ぶ目的>

本講座の目的は、「日本版SDGs」に関する理解を深めることにある。

国連の「環境と開発に関する世界委員会」（ブルントラント委員会）において提唱された「持続可能な開発（sustainable development）」という考え方の延長として議論されている「持続可能な社会（sustainable society）」について、SDGs（持続可能な開発目標）に関連させながら、「日本版SDGs」に関する基本的な理解を深める。

「持続可能な社会」とは、積極的平和に基づき、環境保全と経済成長とを両立させ、それに生活保障という側面を連動させながら、世代間および世代内における公正を実現しようとする政治が作用する社会の在り方であり、かつまたSDGsが目指す社会の在り方でもある。

<本講座において学ぶ意義>

しかしながら、日本社会のおける実際の社会の在り方は、むしろ反対に、「人口減少」・「限界集落」・「少子高齢化」・「雇用と所得の不安定化」・「若者の貧困化」・「子どもの貧困」・「無縁社会」・「シャッター商店街」・「気候変動」等々、社会の「持続可能性（sustainability）」が縮減されつつある状況にある。それ故に、「持続可能な社会」を実現するための社会的条件について、それを見出す粘り強い思考を重ねることこそ、本講座において学ぶ意義があるといえる。

<本講座の方法>

アクティブ・ラーニングとして展開する。

明快なレクチャーをベースに据え、学生諸君のディスカッションを交え、静かに「白熱」する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本講座を通じて得られるべき到達目標とは次の通りである。

①．教科書を読み、これを正確に理解できる読解力。②．講義を積極的に傾聴（active listening）できる能力。③．板書に頼らずとも、自分の頭の中で情報を整理しつつ、ノートがとれる能力。④．社会現象に潜む本質を捉え、かつまた個々の社会現象のつながりを探ろうとする態度とその洞察力。⑤．先行する「持続可能な社会」の試みから「政策学習」を試みようとする意欲とその想像力。⑥．「持続可能な社会」の在り方について判断し、基本的な提言を表現できる能力。

<ディプロマポリシーとの関連>

「持続可能な社会論」の修得は、近畿大学が教養教育において掲げる目標を達成するための目的１および２の達成に関連している。

■成績評価方法および基準

定期試験 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後、試験期間中に指定した日程において試験の解題を行う。

■教科書

使用しない。

■参考文献

[ISBN]4828811672 『地球の未来を守るために』 (環境と開発に関する世界委員会, 福武書店：1987)
[ISBN]9784480066480 『限界集落の真実―過疎の村は消えるか? (ちくま新書)』 (山下 祐介, 筑摩書房：2012)
[ISBN]9784130511391 『日本の人口動向とこれからの社会: 人口潮流が変える日本と世界』 (朗, 森田, 東京大学出版会：2017)
[ISBN]9784022736208 『下流老人　一億総老後崩壊の衝撃 (朝日新書)』 (藤田孝典, 朝日新聞出版：2015)
[ISBN]9784326653805 『少子化論―なぜまだ結婚、出産しやすい国にならないのか』 (松田 茂樹, 勁草書房：2013)
[ISBN]9784022950789 『中流崩壊 (朝日新書)』 (橋本 健二, 朝日新聞出版：2020)
[ISBN]9784326653942 『下層化する女性たち: 労働と家庭からの排除と貧困』 (礼子, 小杉, 勁草書房：2015)
[ISBN]4480063110 『持続可能な福祉社会―「もうひとつの日本」の構想 (ちくま新書)』 (広井 良典, 筑摩書房：2006)
[ISBN]9784535526952 『岐路に立つ日本の社会保障』 (伊藤周平, 日本評論社：2022)
[ISBN]9784620323725 『労働時間革命 残業削減で業績向上! その仕組みが分かる』 (小室 淑恵, 毎日新聞出版：2016)
[ISBN]9784000229425 『原子力安全問題ゼミ 小出裕章 最後の講演』 (今中 哲二, 岩波書店：2015)
[ISBN]9784309254517 『気候危機と環境危機』 (グレタ・トゥーンベリ, 河出書房新社：2022)
[ISBN]9784334045722 『くじ引き民主主義 政治にイノヴェーションを起こす (光文社新書)』 (吉田 徹, 光文社：2021)
[ISBN]9784761527136 『SDGs先進都市フライブルク: 市民主体の持続可能なまちづくり』 (中口 毅博, 学芸出版社：2019)
[ISBN]9784589039699 『SDGsを学ぶ: 国際開発・国際協力入門』 (高柳 彰夫, 法律文化社：2018)

■関連科目

教養特殊講義A（SDGs）
新しい政治学

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

新田研究室（2号館5階508）・nitta@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜3限。予め、メールで連絡をしてください。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　持続可能な社会（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：Exercise①．持続可能な社会に対する定義を、私見として要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、改めて持続可能な社会について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献①を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. 持続可能性
2. ブルントラント委員会
3. 持続可能な開発
4. 持続可能な社会
5. SDGsの登場
6. SDGsの目標達成と持続可能な社会の実現

第2回　限界集落と持続不可能な社会（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise②．限界集落の現状は、日本社会全体の近未来を映し出す鏡と言える。この点について、私見として要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、改めて「限界集落と持続不可能な社会」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献②を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. 限界集落
2. 何故に、限界集落が存在するのか？
3. 限界集落の問題性
4. 限界集落と「無医村」
5. 誇りの空洞化と「限界集落化」

6. 限界集落と持続不可能な地域社

第3回　人口減少社会の行方（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise③．およそ21世紀の100年間を通じ、日本社会は急激な人口減少を辿ることになるであろうと予測されている。かかる人口減少の要因について、要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、改めて「人口減少社会の行方」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献③を繙き、さらに興味・関心を高める
復習時間：90分
1. 世界人口および日本人口の推移
2. 日本人口の将来予測
3. 人口減少社会の構造
4. 「増田レポート」 –人口変動と減少コース–
5. 人口減少社会の課題
6. 縮小社会

第4回　超高齢社会（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise④．超高齢社会の進展は、「下流老人」が増加する傾向を伴うことが予想されている。何故に、そうなるのか、私見として要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「超高齢社会」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献④を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. 平均寿命の伸長
2. 高齢化の推移
3. 高齢化の要因
4. 超高齢社会の問題
5. 超高齢社会の前提
6. 超高齢社会の条件

第5回　少子化社会（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise⑤．島嶼部や中山間地域に較べて、経済的に裕福な大都市は合計特殊出生率が極めて低い傾向にある。何故に、そうなるのか、私見として要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「少子化社会」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献⑤を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. 長期少子化傾向
2. 複合的な問題としての少子化問題
3. 国家が核家族・女性に寄生する
4. 少子化問題の解決
5. 結婚に必要なコスト
6. 子育てに必要なコスト

第6回　雇用と所得の不安定化（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise⑥．元アメリカ・メジャー・リーグの野球選手イチローの給料（2008-2012年）は高かったのか？　私見を要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「雇用と所得の不安定化」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献⑥を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. 不安定化する雇用と所得の基本構造
2. ワーキングプア
3. 日経連「新時代の『日本的経営』」（1995年）
4. 日本的経営の動揺

5. 労働コスト削減と労働破壊
6. 優良企業とブラック企業（sweatshop）

第7回　豊かな社会における貧困（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise⑦．年収200万円で生活すると、1年にいくら貯金できるか？　試算結果を示し、その理由を要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「豊かな社会における貧困」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献⑦を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. 豊かな社会における貧困
2. 若者の貧困化
3. 女性の貧困化
4. 「貧困女子」
5. シングルマザーの貧困
6. 子どもの貧困

第8回　崩壊しつつある日本型福祉国家（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise⑧．「日本型福祉国家」は稼得による生活保障および家族福祉を基盤に据えてきたが、何故にその基盤が崩れつつあるのか？　私見を要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「崩壊しつつある日本型福祉国家」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献⑧を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. 福祉国家（welfare state）
2. 日本型福祉国家の基本構成
3. 家族福祉
4. 企業福祉
5. 公共事業と「土建国家」
6. 何故に、日本の社会保障の水準は低いのか

第9回　ポスト日本型福祉国家（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise⑨．必要とされる社会保障費を、中央銀行が超「異次元」の大発行によって賄うという大胆な政策は可能なのか？　私見を要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「ポスト日本型福祉国家」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献⑨を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. ポスト日本型福祉国家への選択肢
2. 福祉国家の3類型
3. ポスト日本型福祉国家の理念
4. EU委員会『フレキシキュリティの原則』
5. 黄金の三角形（golden triangle）
6. ポスト日本型福祉国家へ

第10回　ワーク・ライフ・バランスとディーセント・ワーク（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise⑩．結婚するにあたり、相手に対して望む条件として、最も重要なポイトンを5つ指摘した上で、その理由に関して要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「ワーク・ライフ・バランス」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
復習時間：90分
1.「標準家族」から夫婦共働きへ
2. ワーク・ライフ・バランスの条件

3. ワーク・ライフ・バランスにおける女性
4. オランダ・モデル
5. ディーセント・ワーク
6. 事例研究：未来工業と資生堂

第11回　エネルギー選択と脱原発（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise⑪．福島第1原発事故以来、原発ゼロの状態を長期間経験してきたが、今後、原発ゼロでもエネルギーの供給は可能なのか？　私見を要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「エネルギー選択と脱原発」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献⑪を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. 低炭素社会と持続可能性（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）
2. 低炭素社会におけるエネルギー選択
3. 「国策」としての原発推進
4. 原発神話
5. 不問に付されてきた原発の持続不可能性
6. 環境産業革命

第12回　気候変動対策（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise⑬．温暖化効果ガスの実質排出ゼロとは一体どういう意味なのか？　その要点を400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「気候変動対策」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献⑬を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. 気候変動に対するグローバル・カバナンス
2. COP21「パリ協定」と実質排出ゼロ
3. 「パリ協定」に対する日本
4. 京都議定書（COP3）の達成状況
5. 日本の気候変動対策の3本柱
6. 日本の気候変動対策における基本思想

第13回　気候民主主義（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：Exercise⑬．長野県飯田市における再生可能エネルギーの普及の仕方に注目しつつ、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「気候民主主義」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献⑬を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. FFFインパクト
2. 気候市民会議
3. デンマークにおける気候変動対策
4. 日本の再生可能エネルギー
5. 飯田市の市民共同発電事業
6. 再生可能エネルギー革命

第14回　持続可能な都市の条件（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise⑭．近畿大学生物理工学部が所在する和歌山県北部一帯は、如何にして持続可能な都市となり得るか？　私見を要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「持続可能な都市の条件」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献⑭を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. 持続可能な都市の条件

2. SDGsとフライブルク
3. 持続可能な起業
4. 持続可能な都市交通とLRT
5. 広場と公共空間
6. 「豊かな社会」と自由時間

第15回　ポストSDGsと持続可能な社会（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise⑮．SDGsに対して、あなたは何ができるか？　その考え方を要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
発展：また、講義を踏まえつつ、「SDGs」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
跳躍：参考文献⑮を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. MDGsからSDGsへ、そしてポストSDGs
2. SDGsの誕生
3. 誰一人取り残さない社会
4. SDGsの核にある人権尊重
5. SDGsの使命
6. 持続可能な日本社会の条件

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**自己発見の心理学**						
英文名　：	Psychology for Self- Discovery						
担当者　：	大日方　薫						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：							

■授業概要

自分自身が何者であるか、どこから来てどこへ行くのか、それらを知ろうとすることは容易ではないだけに尽きることのない面白さがある。本講義では、心理学の知見を概観することによって人間の心の仕組みに様々な角度から接近し、我々が世界をどのように感じ、どのように把握しているのかを学んでゆく。「自己」なるものをそれぞれの内外に発見してゆく糸口としたい。講義形式に加え、必要に応じて質疑応答を組み入れる。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本講義では、自分自身を問題の中心に置き、主として次の3点から心理学を通した人間理解を深めることを目標とする。

1　心理学が扱う広範な領域を横断的に学び、その全体像を理解する。
2　人間の一般性と個別性についての相互的なつながりを理解する。
3　自分自身とは何かについて問い直し、自己発見への手がかりを見出す。

この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的１の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

期末レポート 60%
講義内コメントシート 40%

■試験・課題に対するフィードバック方法

講義内コメントシートについては、実施した翌回に全体に向けて取り上げる

■教科書

【留意事項】特に指定しない。適宜、参考文献を紹介する。

■参考文献

[ISBN]9784641221451 『はじめて出会う心理学〔第3版〕(有斐閣アルマ)』(寿一, 長谷川, 有斐閣：2020)
[ISBN]9784641053861 『新版　心理学』(無藤隆他, 有斐閣：2018)

■関連科目

特になし。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行う。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階254）・obinata@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とする。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 「私」は現実世界をどのように認識しているのか？(授業形式：講義)

予習内容：「私」と他者との間にある物事の捉え方の異同について仮説を立てる
予習時間：15分
復習内容：私たちが経験している現実世界について、”心”という観点から整理する
復習時間：15分

第2回 動物/種、ヒトとしての「私」(授業形式：講義)

予習内容：ヒトに固有となる生物学的特徴について仮説を立てる
予習時間：15分
復習内容：記憶と言語のトレードオフ仮説について整理し、独自のアイデアをまとめる
復習時間：15分

第3回 ヒトとしての「私」Ⅱ：言語/文化/相互協力(授業形式：講義)

予習内容：“心”の進化がもたらしたヒトの可能性について仮説を立てる
予習時間：15分
復習内容：“心”の視点から言語/文化/相互協力について整理し、独自のアイデアをまとめる
復習時間：15分

第4回 ヒトとしての「私」Ⅲ：共感性と攻撃性(授業形式：講義)

予習内容：ヒトは、分かり合うことができるか？自分自身の考えや立場を意識化し、記述する
予習時間：15分
復習内容：適応とは何か、多様性の観点から考察を試みる
復習時間：15分

第5回 現実世界との関係性において発達してゆく「私」(授業形式：講義)

予習内容：言語獲得以前の“心”の状態について仮説を立てる
予習時間：15分
復習内容：“心”の能動的な発達について整理する
復習時間：15分

第6回 「私」という自己認識の発達、他者への理解(授業形式：講義)

予習内容：鏡に映っているのは誰か？自己像を認識する過程について仮説を立てる
予習時間：15分
復習内容：“心の理論”について整理し、自/他の境界性について考察を試みる
復習時間：15分

第7回 「私」を形作る記憶(授業形式：講義)

予習内容：記憶の不完全性について、自分自身の考えや立場を意識化し、記述する
予習時間：15分
復習内容：記憶の分類を整理し、「私」の多層性について考察を試みる
復習時間：15分

第8回 “心”の個体差を測定する：知能とpersonaity(授業形式：講義)

予習内容：知能の本質は何か？各自の経験感覚に基づく視点から仮説を立てる
予習時間：15分
復習内容：従来の知能観を整理し、現代において求められる能力について考察する
復習時間：15分

第9回 人工知能は自分自身の夢を見るか？(授業形式：講義)

予習内容：人工知能の実用化について、各自の関心領域に基づき調査を行う
予習時間：15分
復習内容：人工知能と人間の諸能力を比較整理し、人間存在について考察する
復習時間：15分

第10回 感情と情動(授業形式：講義)

予習内容：自分自身の感情経験について意識化し、記述を試みる
予習時間：15分
復習内容：情動理論を整理し、人間的な意味について考察する
復習時間：15分

第11回 身体と心のつながり：感情と自己意識(授業形式：講義)

予習内容：Damasio,A.によるプレゼンテーションを視聴する

予習時間：15分
復習内容：判断や決定に感情が及ぼしている影響について考察を試みる
復習時間：15分

第12回　動かすもの、動かされるものとしての「私」(授業形式：講義)

予習内容：自身にとってのmotivationとなるものを同定し、他者との差異について仮説を試みる
予習時間：15分
復習内容：「私」が求めているものは何か？内省による接近を試みる
復習時間：15分

第13回　ままならなさを生きる「私」：意識(抵抗)と人間存在(授業形式：講義)

予習内容：思い通りにならない状況における心の動きを記述する
予習時間：15分
復習内容：「私」が守ろうとしているものは何か？内省による接近を試みる
復習時間：15分

第14回　私が「私」であるということ：ライフサイクルにおけるidentity(授業形式：講義)

予習内容：過去/現在/未来の「私」の異同について仮説を試みる
予習時間：15分
復習内容：「私」のidentityの核となるものは何か？内省によって接近を試みる
復習時間：15分

第15回　「私」との出会い：自己発見の心理学(授業形式：講義)

予習内容：これまでの自己省察を振り返り、「私」という独自性について意識化を試みる
予習時間：15分
復習内容：「私」とは何か？自分自身への応答を試みる
復習時間：15分

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**自己発見の心理学**						
英文名　：	Psychology for Self- Discovery						
担当者　：	大日方　薫						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：							

■授業概要

自分自身が何者であるか、どこから来てどこへ行くのか、それらを知ろうとすることは容易ではないだけに尽きることのない面白さがある。本講義では、心理学の知見を概観することによって人間の心の仕組みに様々な角度から接近し、我々が世界をどのように感じ、どのように把握しているのかを学んでゆく。「自己」なるものをそれぞれの内外に発見してゆく糸口としたい。講義形式に加え、必要に応じて質疑応答を組み入れる。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本講義では、自分自身を問題の中心に置き、主として次の3点から心理学を通した人間理解を深めることを目標とする。

1　心理学が扱う広範な領域を横断的に学び、その全体像を理解する。
2　人間の一般性と個別性についての相互的なつながりを理解する。
3　自分自身とは何かについて問い直し、自己発見への手がかりを見出す。

この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的１の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

期末レポート 60%
講義内コメントシート 40%

■試験・課題に対するフィードバック方法

講義内コメントシートについては、実施した翌回に全体に向けて取り上げる

■教科書

【留意事項】特に指定しない。適宜、参考文献を紹介する。

■参考文献

[ISBN]9784641221451 『はじめて出会う心理学〔第3版〕(有斐閣アルマ)』(寿一, 長谷川, 有斐閣：2020)
[ISBN]9784641053861 『新版　心理学』(無藤隆他, 有斐閣：2018)

■関連科目

特になし。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行う。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階254）・obinata@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とする。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 「私」は現実世界をどのように認識しているのか？(授業形式：講義)

予習内容：「私」と他者との間にある物事の捉え方の異同について仮説を立てる
予習時間：15分
復習内容：私たちが経験している現実世界について、”心”という観点から整理する
復習時間：15分

第2回 動物/種、ヒトとしての「私」(授業形式：講義)

予習内容：ヒトに固有となる生物学的特徴について仮説を立てる
予習時間：15分
復習内容：記憶と言語のトレードオフ仮説について整理し、独自のアイデアをまとめる
復習時間：15分

第3回 ヒトとしての「私」Ⅱ：言語/文化/相互協力(授業形式：講義)

予習内容：“心”の進化がもたらしたヒトの可能性について仮説を立てる
予習時間：15分
復習内容：“心”の視点から言語/文化/相互協力について整理し、独自のアイデアをまとめる
復習時間：15分

第4回 ヒトとしての「私」Ⅲ：共感性と攻撃性(授業形式：講義)

予習内容：ヒトは、分かり合うことができるか？自分自身の考えや立場を意識化し、記述する
予習時間：15分
復習内容：適応とは何か、多様性の観点から考察を試みる
復習時間：15分

第5回 現実世界との関係性において発達してゆく「私」(授業形式：講義)

予習内容：言語獲得以前の“心”の状態について仮説を立てる
予習時間：15分
復習内容：“心”の能動的な発達について整理する
復習時間：15分

第6回 「私」という自己認識の発達、他者への理解(授業形式：講義)

予習内容：鏡に映っているのは誰か？自己像を認識する過程について仮説を立てる
予習時間：15分
復習内容：“心の理論”について整理し、自/他の境界性について考察を試みる
復習時間：15分

第7回 「私」を形作る記憶(授業形式：講義)

予習内容：記憶の不完全性について、自分自身の考えや立場を意識化し、記述する
予習時間：15分
復習内容：記憶の分類を整理し、「私」の多層性について考察を試みる
復習時間：15分

第8回 “心”の個体差を測定する：知能とpersonaity(授業形式：講義)

予習内容：知能の本質は何か？各自の経験感覚に基づく視点から仮説を立てる
予習時間：15分
復習内容：従来の知能観を整理し、現代において求められる能力について考察する
復習時間：15分

第9回 人工知能は自分自身の夢を見るか？(授業形式：講義)

予習内容：人工知能の実用化について、各自の関心領域に基づき調査を行う
予習時間：15分
復習内容：人工知能と人間の諸能力を比較整理し、人間存在について考察する
復習時間：15分

第10回 感情と情動(授業形式：講義)

予習内容：自分自身の感情経験について意識化し、記述を試みる
予習時間：15分
復習内容：情動理論を整理し、人間的な意味について考察する
復習時間：15分

第11回 身体と心のつながり：感情と自己意識(授業形式：講義)

予習内容：Damasio,A.によるプレゼンテーションを視聴する

予習時間：15分
復習内容：判断や決定に感情が及ぼしている影響について考察を試みる
復習時間：15分

第12回　動かすもの、動かされるものとしての「私」(授業形式：講義)

予習内容：自身にとってのmotivationとなるものを同定し、他者との差異について仮説を試みる
予習時間：15分
復習内容：「私」が求めているものは何か？内省による接近を試みる
復習時間：15分

第13回　ままならなさを生きる「私」：意識(抵抗)と人間存在(授業形式：講義)

予習内容：思い通りにならない状況における心の動きを記述する
予習時間：15分
復習内容：「私」が守ろうとしているものは何か？内省による接近を試みる
復習時間：15分

第14回　私が「私」であるということ：ライフサイクルにおけるidentity(授業形式：講義)

予習内容：過去/現在/未来の「私」の異同について仮説を試みる
予習時間：15分
復習内容：「私」のidentityの核となるものは何か？内省によって接近を試みる
復習時間：15分

第15回　「私」との出会い：自己発見の心理学(授業形式：講義)

予習内容：これまでの自己省察を振り返り、「私」という独自性について意識化を試みる
予習時間：15分
復習内容：「私」とは何か？自分自身への応答を試みる
復習時間：15分

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**社会奉仕実習**						
英文名　：	Volunteer Learning						
担当者　：	新田　和宏						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：							

■授業概要

＜本講座を学ぶ目的＞

本講座は、ボランティアに関する理論的な考察を交えながら、実際のボランティア活動を通じ、ボランティアについて学ぶことを目的とする。

＜本講座において学ぶ意義＞

昨今、大学生であるならば、在学期間中に、少なくとも何か一つ、ボランティアを行うことが求められている次第である。しかし、本講座は単にボランティア活動の場を提供することを主眼とするものではない。本講座の学びの意義は、机上だけでボランティアについて学ぶのではなく、実際にボランティアを実践することで、「ボランティア・ラーニング」すなわちボランティア活動を通じながら学びを深めることにある。

＜本講座の方法＞

事前導入講義は、ワークショップや演劇などの手法を取り入れ、アクティブ・ラーニングとして展開する。

尚、本講座は、事前導入授業の後、大学が指定した実習施設（社会福祉施設もしくはNGO・NPOおよびボランティア団体）において、ボランティア活動としての実習（合計22 時間以上）を行う。

尚、本講座は実習先の受け入れ事情を鑑み、履修者数を制限する場合がある。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

PBL（課題解決学習）・ディスカッション、ディベート・グループワーク・実験・実習科目

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本講座を通じて得られるべき到達目標とは次の通りである。

①．ボランティア活動に求められる基礎能力として、ホスピタリティの精神に基づき、当事者に適切なアウトリーチを行える能力。②．とりわけ、当事者のニーズを先読みできる能力。③．ボランティア活動に関心を示し、かつまた継続して行えるモチベーションを持ち続ける能力。④．社会人として求められる社会貢献への取り組みに参加しえる態度と意欲。

＜ディプロマポリシーとの関連＞

「社会奉仕実習」の修得は、近畿大学が教養教育において掲げる目標を達成するための目的３の達成に関連している。

■成績評価方法および基準

レポート 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

提出された『社会奉仕実習』の課題レポートにコメントを加えた上で、学生本人へ『社会奉仕実習簿』を返却する。

■教科書

[ISBN]なし　『社会奉仕実習簿・2023年度』（新田和宏、近畿大学生物理工学部：2023）

■参考文献

[ISBN]なし　『参加型学習』（新田和宏、地球市民教育総合研究所：2001）
[ISBN]9784623080533 『災害ボランティア入門』（山本克彦編、ミネルヴァ書房：2018）
[ISBN]なし　『What's ボランティア』（平田　哲、アジアボランティアセンター：2005）

[ISBN]9784750317984 『まんがで学ぶ開発教育 世界と地球の困った現実』 (みなみ ななみ, 明石書店：2003)
[ISBN]9784641076587 『NPOと市民社会―アソシエーション論の可能性』 (佐藤 慶幸, 有斐閣：2002)

■関連科目

持続可能な社会論　インターンシップ

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

新田研究室（2号館5階508）・nitta@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜3限。予め、メールで連絡をしてください。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

社会奉仕実習という科目は、全7回の事前導入授業と3日以上の実習によって構成されている。シラバスの記載上、第1回から第7回は事前導入授業として、下記における「授業計画の項目・内容」を参照し、また第8回から第15回は社会奉仕実習先であるNGO・NPOや社会福祉法人などにおける社会奉仕実習なのでシラバスにその内容は記載できない旨を了解戴きたい。

第1回 「社会奉仕実習」の履修方法と実習施設の紹介（授業形式：講義）

予習内容：Exercise①．次の設問について私見を用意する。
ボランティアとは何か、熟慮の上、それを一言のキーワードで表現する。また、その一言に込めた意味について説明する。
予習時間：90分
復習内容：テキスト『社会奉仕実習簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）①のミッションを達成する。
復習時間：90分
（1）「社会奉仕実習」の概要と目的
（2）社会奉仕実習の履修方法とその概略的な流れ
（3）実習施設の紹介
（4）何故、大学が社会奉仕実習＝ボランティア活動を、授業として取り上げるのか？
（5）人間における４つの時間と空間

第2回 ボランティア概論（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのワークショップと講義）

予習内容：Exercise②．次の設問について私見を用意する。
ボランティアを色に喩えると何色か。またその理由について説明する。
予習時間：90分
復習内容：テキスト『社会奉仕実習研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）②のミッションを達成する
復習時間：90分
（6）学生とボランティア活動
（7）ボランティア活動の領域
（8）ボランティア活動の定義とボランティア活動の構成要件
（9）ボランティア・NGO・NPOOの歴史
（10）関係性からみるボランティア活動の形態
（11）目的意識によるボランティアの形態
（12）ボランティア活動と報酬

第3回 NGO・NPO概論（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのワークショップと講義）

予習内容：Exercise③．次の設問について私見を用意する。
自分のためにすることと、他者のためにすることとを比較すると、どちらが容易か。またその理由について説明する。
予習時間：90分
復習内容：テキスト『社会奉仕実習研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）③のミッションを達成する。
復習時間：90分
（13）NGO・NPO・ボランティア団体の概念規定
（14）NGO・NPO≒ボランティア団体という関係
（15）NGO・NPO≠ボランティア団体という関係
（16）世界的なアソシエーション革命
（17）NPO法改正
（18）NPOと市民的公共性

第4回 福祉・環境・国際協力ボランティア論（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのワークショップと講義）

予習内容：Exercise④．次の設問について私見を用意する。
本当にボランティアは一切の対価を求めない無償の行為なのか？

予習時間：90分
復習内容：テキスト『社会奉仕実習研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）④のミッションを達成する
復習時間：90分
（19）「施設ボランティア」・「事務局ボランティア」
（20）福祉ボランィア－生活支援とホスピタリティ－
（21）ボランティアの姿勢と＜眼差し＞の在り方
（22）介護保険制度と介護福祉
（23）環境ボランティア
（24）国際協力ボランティア
（25）スポーツ・ボランティア

第5回　コミュニケーション・スキル（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのワークショップと講義）

予習内容：Exercise⑤．次の設問について私見を用意する。
ボランティアと演劇の共通性とは何か？
予習時間：90分
復習内容：テキスト『社会奉仕実習研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）⑤のミッションを達成する。
復習時間：90分
（26） 積極的傾聴
（27）アサーティブネス・トレーニング
（28）ディス・コミュニケーションとミス・コミュニケーション
（29）「非言語的コミュニケーション」

第6回　コラボレーション・スキル（授業形式：アクティブ・ラーニングとしての演劇ワークショップと講義）

予習内容：Exercise⑥．次の設問について私見を用意する。
「情けは人の為にあらず」とは、どのような意味内容なのか？
予習時間：90分
復習内容：テキスト『社会奉仕実習研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）⑥のミッションを達成する
復習時間：90分
（30）コラボレーション・スキル
（31）ボランティア・コーディネートとボランティア・コーディネーター
（32）本講座におけるボランティア・コーディネート
（33）「後方支援」・「前線支援」・「前線活動」
（34）インターンシップとしてのボランティア活動

第7回　ボランティア・ラーニング（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのワークショップと講義）

予習内容：Exercise⑦．次の設問について私見を用意する。
「気持ちの良いボランティア」を実現するためには、どのような配慮が必要か？
予習時間：90分
復習内容：テキスト『社会奉仕実習研修簿』の中に記載されているReflection（ふりかえり）⑦のミッションを達成する。
復習時間：90分
（35）ボランティアの学習性
（36）インシデンタルな学び
（37）＜隠された学び＞としての「非言語的コミュニケーション」
（38）學び
（39）実習先でのオリエンテーション
（40）フォロー・アップ
（41）コミュニティの一員

第8回　社会奉仕実習（授業形式：実習）

予習内容：実習施設より指示される。
復習内容：『社会奉仕実習簿』の日誌欄にふりかえりの記録を記す。
実習施設におけるボランティア活動。

第9回　社会奉仕実習（授業形式：実習）

予習内容：実習施設より指示される。
復習内容：『社会奉仕実習簿』の日誌欄にふりかえりの記録を記す。
実習施設におけるボランティア活動。

第10回　社会奉仕実習（授業形式：実習）

予習内容：実習施設より指示される。
復習内容：『社会奉仕実習簿』の日誌欄にふりかえりの記録を記す。
実習施設におけるボランティア活動。

第11回　社会奉仕実習（授業形式：実習）

予習内容：実習施設より指示される。
復習内容：『社会奉仕実習簿』の日誌欄にふりかえりの記録を記す。
実習施設におけるボランティア活動。

第12回　社会奉仕実習（授業形式：実習）

予習内容：実習施設より指示される。
復習内容：『社会奉仕実習簿』の日誌欄にふりかえりの記録を記す。
実習施設におけるボランティア活動。

第13回　社会奉仕実習（授業形式：実習）

予習内容：実習施設より指示される。
復習内容：『社会奉仕実習簿』の日誌欄にふりかえりの記録を記す。
実習施設におけるボランティア活動。

第14回　社会奉仕実習（授業形式：実習）

実習施設におけるボランティア活動。

第15回　社会奉仕実習（授業形式：実習）

実習施設におけるボランティア活動。

試験は行わずレポート課題を提示する。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業
学外でのインターンシップや実習、研修を授業の一環として位置付けている授業

科目名　：	**食生活と健康**						
英文名　：	Diet and Health						
担当者　：	竹森　久美子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	集中	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：							

■授業概要

栄養素が生体内に及ぼす影響を理解し、生活習慣病の予防と治療に栄養素が果たす役割について学ぶ。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

PBL（課題解決学習）

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

①主要な栄養素の機能について理解する。
②栄養の過不足による生活習慣病発症について理解する。
③ヒトの健康維持に適した栄養の摂取方法・食生活について理解する。
①～③の項目について第3者に説明することができる。

■成績評価方法および基準

小テスト 50%
確認テスト 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

講義期間中に課した課題に関しては、その次の講義時間に課題について到達程度を知らせる。良かった点、不十分な点について講義の始め10分程度を使い、学生に解説する。

■教科書

【留意事項】適時プリントを配布

■参考文献

[ISBN]9784808260835『イラスト 栄養学総論 <第9版>』（東京教学社：2021）
[ISBN]9784758108751 『分子栄養学～遺伝子の基礎からわかる (栄養科学イラストレイテッド)』 (羊土社：2014)
[ISBN]9784759812145 『分子栄養学 (エキスパート管理栄養士養成シリーズ)』 (龍平, 金本, 化学同人：2005)

■関連科目

高校生物、栄養学

■授業評価アンケート実施方法

生物理工学部実施規程に準拠して行う。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）
メールアドレス：kuri@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　炭水化物の栄養（授業形式：講義）

予習内容：①事前に配布資料に目を通しておくこと
②果物ばかり食べていると太りやすいと
③糖質OFF,糖類OFFの違いは何か？、考えてみよう
予習時間：90分
復習内容：配布資料を使い、講義内容の復習を行うこと
復習時間：90分
糖質の種類を説明することができる
糖質と食物繊維の違いを説明できる
糖質のはたらについて説明することができる
食物繊維の役割について理解することができる

第2回　脂質の栄養（授業形式：講義）

予習内容：①事前に配布資料に目を通しておくこと
②中鎖脂肪酸とは何？、短鎖脂肪酸とは何？、調べてみよう
予習時間：90分
復習内容：配布資料を使い、講義内容の復習を行うこと
復習時間：90分
中性脂肪の構造を理解することができる
脂肪酸の種類を説明することができる
脂質のはたらきについて説明することができる
コレステロールの役割を理解することができる

第3回　たんぱく質の栄養（授業形式：講義）

予習内容：①事前に配布資料に目を通しておくこと
②脂肪が少ないステーキを食べたら、思ったより太らないのはなぜか？、考えてみよう
予習時間：90分
復習内容：配布資料の見直しを行うこと
復習時間：90分
アミノ酸、ペプチド、たんぱく質について説明することができる
タンパク質の構造とはたらきを説明できる
窒素出納について理解することができる
アミノ酸スコアを理解することができる

第4回　ビタミンの栄養（授業形式：講義）

予習内容：①事前に配布資料に目を通しておくこと
②ビタミンが不足すると調子が悪くなのはどうしてか？、考えてみよう
予習時間：90分
復習内容：①配布資料の見直しを行うこと
②神経管閉鎖障害についての知識を持とう
復習時間：90分
水溶性・脂溶性ビタミンの分類ができる
水溶性・脂溶性ビタミンのはたらきを説明できる
水溶性・脂溶性ビタミンの欠乏症と過剰症を列挙できる

第5回　ミネラルの栄養（授業形式：講義）

予習内容：①事前に配布資料に目を通しておくこと
②夏の朝方に、足がつりやすいのはどうしてか？、考えてみよう
予習時間：90分
復習内容：①配布資料の見直しを行うこと
②貧血にかかわるミネラルの役割を整理してみよう
復習時間：90分
マクロミネラル、ミクロミネラルの分類ができる
ミネラルのはたらきを説明できる
ミネラルの欠乏症と過剰症を列挙できる

第6回　栄養素の消化・吸収（１）（授業形式：講義）

予習内容：①事前に配布資料に目を通しておくこと
②あんかけ焼きそばのあんのとろみが、食べ進める間になくなっていく理由を考えてみよう

予習時間：90分
復習内容：①配布資料の見直しを行うこと
②血漿リポたんぱく質の役割をまとめておこう
③アミノ酸の中の窒素の受け渡しの仕組みを復習しておこう
復習時間：90分
3大栄養素（糖質・脂質・たんぱく質）の消化・吸収の概要を理解できる

第7回　栄養素の消化・吸収（２）（授業形式：講義）

予習内容：①事前に配布資料に目を通しておくこと
②卵かけご飯のごはんが、熱々の方が良いのはどうしてか？、考えてみよう
予習時間：90分
復習内容：①配布資料の見直しを行うこと
②特徴のあるビタミン・ミネラルの吸収動態をまとめておこう
復習時間：90分
ビタミン・ミネラルの消化・吸収の概要を理解できる

第8回　糖質の利用と代謝（１）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：①事前に配布資料に目を通しておくこと
②お酒の強い人と弱い人がどうしているのか？、考えてみよう
予習時間：90分
復習内容：①配布資料を使い、講義内容の復習を行うこと
②お酒を飲んだ後のラーメンをおいしく感じる理由を説明してみよう
復習時間：90分
事例を使用

Minimum requirement
血糖の維持の仕組みを説明することができる
糖類の消化・吸収の過程を説明することができる
各臓器における糖質代謝を説明できる

Advanced requirement
アルコールの代謝について説明ができる

第9回　糖質の利用と代謝（２）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：①事前に配布資料に目を通しておくこと
②甘い飲み物を一気に飲むと体に良くないのはどうしてか？、考えてみよう
予習時間：90分
復習内容：配布資料を使い、講義内容の復習を行うこと
復習時間：90分
Minimum requirement
糖尿病の種類と発生機序について説明することができる

Advanced requirement
グルコースパイクのメカニズムについて理解することができる

第10回　筋肉の重要性について　～高齢者の筋タンパク代謝を中心に～（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：①事前に配布資料に目を通しておくこと
②筋肉が減るとどうしてよくないのか？、考えてみよう
予習時間：90分
復習内容：①配布資料の見直しを行うこと
②筋肉量維持のために、摂取するといいアミノ酸はどのようなものか、説明してみよう
復習時間：90分
事例を使用

Minimum requirement
骨格筋の役割を説明することができる
サルコペニアについて理解することが出来る
メタボリックシンドロームとサルコペニア肥満の違いを理解できる

Advanced requirement
栄養面からのサルコペニア対策を考察することが出来る

分枝アミノ酸の重要性を理解することができる

第11回　認知症（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：①事前に配布資料に目を通しておくこと
②坂戸葉酸プロジェクトについて調べてみよう
予習時間：90分
復習内容：配布資料の見直しを行うこと
復習時間：90分
Minimum requirement
認知症の種類について理解することができる

Advanced requirement
認知症予防への取り組みについて理解することができる

第12回　循環器疾患（１）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：①事前に配布資料に目を通しておくこと
②血圧がどうして上がるのか、考えてみよう
予習時間：90分
復習内容：①配布試料をもとに、復習しておくこと
②古いホースを血管に例えて、血圧上昇の仕組みを説明してみよう
復習時間：90分
事例を使用

Minimum requirement
血管壁の構造を説明することができる
血圧の制御因子を列挙することができる

Advanced requirement
虚血性心疾患の種類と違いについて理解することができる

第13回　循環器疾患（２）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：①事前に配布資料に目を通しておくこと
②動脈硬化とは？、石灰化とは？　どのようなものか想像してみよう
予習時間：90分
復習内容：①課題の解説に基づき、課題および講義内容の復習を行うこと
②動脈硬化の危険因子を列挙してみよう
復習時間：90分
事例を使用

Minimum requirement
動脈硬化初期病変の形成過程を理解することができる。

第14回　循環器疾患（３）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：事前に配布資料に目を通しておくこと
予習時間：90分
復習内容：①課題の解説に基づき、課題および講義内容の復習を行うこと
②炎症と火災のよく似た点を説明できるように、整理してみよう
復習時間：90分
事例を使用

Minimum requirement
炎症について説明することができる。

第15回　ミネラルと遺伝子発現調節（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：①事前に配布資料に目を通しておくこと
②ビタミンDとカルシウムがどんな関係にあるか、調べてみよう
予習時間：60分
復習内容：①課題の解説に基づき、課題および講義内容の復習を行うこと
②骨粗鬆症の原因を説明してみよう
復習時間：60分
事例を使用

Minimum requirement
骨代謝に関わる肝臓・腎臓の役割を説明することができる
骨密度低下の原因を説明することができる

Advanced requirement
ビタミンDの骨代謝遺伝子発現調節機構を理解することができる

定期試験

■ホームページ

近畿大学農学部食品栄養学科　https://www.kindai.ac.jp/agriculture/department/food-sciences-and-nutrition/about/

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**心と体の健康【KICSオンデマンド科目】**						
英文名 ：	Physical and Mental Health						
担当者 ：	山中　恕						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考 ：	令和5年度入学生対象科目						

■授業概要

この講義は共通教養科目です。世界保健機関（WHO）は、健康を「肉体的、精神的、社会的に健全である状態であり、単に疾病がなく病弱ではないというだけではない」と定義しています。つまり、体だけではなく心や、我々の住む社会も同時に健康でなければ、本当の意味で健康であると言えません。本講義では「心の健康」とは何か、「体の健康」とは何かを学習するとともに、特に「心および体の健康」と、「運動」「食事」「休息」との関係を科学的データをもとに学ぶことで、これから健康的な生活を営むためにどうすればよいのかを考えます。
なお、この講義はコンテンツ作成者（田邉智）が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。また、この講義では、10回以上の出席を単位認定の条件とし、動画視聴時間が極端に短い場合は、出席とみなさない場合があるので、十分に注意してください。

■授業形態

メディア授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者はこの講義を履修することによって、
1）心の健康とは何か、体の健康とは何かを説明することができる
2）健康と運動との関係を説明することができる
3）これらの知識を生かして、健康的な生活を営む力をつけることができる
ようになります。

■成績評価方法および基準

レポート 90%
ディスカッション 10%

■試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題の提出締切後にGoogleclassroomにて課題の評価および要点を掲載する。

■教科書

毎回、資料をGoogleClassroomに掲載します。

■参考文献

[ISBN]9784810521269 『大学生の健康・スポーツ科学』 (大学生の健康・スポーツ科学研究会, 道和書院：2014)
[ISBN]9784810521320 『大学生のための「健康」論 健康・運動・スポーツの基礎知識』 (岡田 英孝, 道和書院：2016)
[ISBN]9784469267891 『実習で学ぶ 健康・運動・スポーツの科学』 (大修館書店：2016)
[ISBN]9784469266832 『健康スポーツの科学』 (大修館書店：2009)
[ISBN]9784130527040 『教養としての身体運動・健康科学』 (東京大学出版会：2009)
[ISBN]9784062806626 『これからの健康とスポーツの科学 第4版 (KSスポーツ医科学書)』 (講談社：2015)
[ISBN]9784469268171 『大学生のスポーツと健康生活』 (大修館書店：2017)

■関連科目

生涯スポーツ1、生涯スポーツ2

■授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■研究室・メールアドレス

yuki.yamanaka@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

質問等は随時対応します。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　健康とは何か

予習内容：これまでの自分の健康状態を考える
予習時間：90分
復習内容：資料を見直して、新しい健康戦略について復習する
復習時間：90分
健康の定義
ヘルスプロモーションとは
疾病予防と健康管理

第2回　運動の意味

予習内容：これまで自分が行ってきた運動とその動機を考える
予習時間：90分
復習内容：資料を見直して、運動の意味を復習するとともに、今後どんな運動をしたいか考える
復習時間：90分
運動不足の健康に与える影響
運動の動機付け
トレーニングの原理・原則

第3回　筋力と健康

予習内容：これまで自分が行ってきた筋力トレーニングを考える
予習時間：90分
復習内容：資料を見直して、筋力の増強が身体にもたらす効果を復習するとともに、自分に合った筋力トレーニングを考える
復習時間：90分
骨格筋の構造と機能
加齢による筋力の変化
筋の収縮様式

第4回　有酸素運動と健康

予習内容：これまで自分が行ってきた有酸素運動を考える
予習時間：90分
復習内容：資料を見直して、有酸素運動が身体にもたらす効果を復習するとともに、自分に合った有酸素運動を考える
復習時間：90分
筋収縮のエネルギー
乳酸は何故できるのか
適切な有酸素運動とは

第5回　生活習慣病と運動

予習内容：生活習慣病とは何か調べる
予習時間：90分
復習内容：資料を見直して、生活習慣病と運動との関係を復習する
復習時間：90分
生活習慣病とは
生活習慣病に対する運動の効果
メタボリックシンドロームとは

第6回　肥満と運動

予習内容：肥満とは何か調べる
予習時間：90分
復習内容：資料を見直して、肥満の評価方法を復習し、自分のBMIおよび体脂肪率を調べるとともに、自分が理想とする体重になるためにどのような運動をすべきか考える

復習時間：90分
肥満とは
肥満原因について
肥満と運動との関係について

第7回　食事と健康

予習内容：1週間の食事内容を書き出す
予習時間：90分
復習内容：資料を見直して、五大栄養素と食事パターンの課題を復習するとともに、今後の食事内容を考える
復習時間：90分
五大栄養素について
食生活の変化と課題
ボディーイメージと摂食障害

第8回　飲酒と健康

予習内容：自分の周りの人の飲酒状況を調べる
予習時間：90分
復習内容：資料を見直して、飲酒と健康との関係を復習するとともに、これからの自分やその周りの人々の飲酒を考える
復習時間：90分
アルコールの代謝
飲酒による健康被害
飲酒と社会問題

第9回　喫煙と健康

予習内容：自分の周りの人の喫煙状況を調べる
予習時間：90分
復習内容：資料を見直して、喫煙の健康への影響を復習するとともに、これからの自分やその周りの人々の喫煙を考える
復習時間：90分
たばこの有害成分について
喫煙の健康に与える影響
禁煙の効果

第10回　骨の健康と運動

予習内容：骨粗しょう症とは何か調べる
予習時間：90分
復習内容：資料を見直して、骨代謝および骨強度に影響を与える要因を復習するとともに、自分でできる骨粗しょう症の予防方法を考える
復習時間：90分
骨の役割について
骨の構造と代謝
骨代謝と骨強度に影響を与える要因

第11回　健康管理と感染症の予防

予習内容：感染症とは何か調べる
予習時間：90分
復習内容：資料を見直して、感染症の予防方法を復習する
復習時間：90分
感染症とは
ウイルスによる感染症について
その他の身近にある感染症について

第12回　心の健康とストレス

予習内容：これまで自分が感じたストレスとその原因を考える
予習時間：90分
復習内容：資料を見直して、運動の抗ストレス効果を復習するとともに、自分がストレスを発散させるのに適した運動を考える
復習時間：90分
ストレスとは
ストレスに対する対処法
運動の抗ストレス効果

第13回　メンタルヘルスと運動

予習内容：メンタルヘルスとは何か調べる

予習時間：90分
復習内容：資料を見直して、メンタルヘルスと運動との関係を復習する
復習時間：90分
青年期の体と心の変化
メンタルヘルスと運動
不眠症とは

第14回　スポーツ中の事故

予習内容：自分の周りでスポーツ中に事故に合った人やケガをした人の状況を調べる
予習時間：90分
復習内容：資料を見直して、ケガの応急処置法および救急処置法を復習する
復習時間：90分
スポーツ中の事故
スポーツ傷害とケガの応急処置
熱中症とその予防

第15回　健康・スポーツのための政策

予習内容：日本の少子高齢化の現状を調べる
予習時間：90分
復習内容：資料を見直して、スポーツ基本法とスポーツ基本計画について復習するとともに、自分の住んでいる市町村のスポーツ推進計画を調べる
復習時間：90分
少子高齢化社会とは
国民健康づくり対策
スポーツ基本計画

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 ：	**心理と行動【KICSオンデマンド科目】**						
英文名 ：	Mind and Behavior						
担当者 ：	佐藤　望						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	集中	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考 ：	令和5年度入学生対象科目						

■授業概要

本講義は，15回の授業のうち，心理系専攻の専任教員12名が1回ないしは2回の講義を担当して作成した，動画を教材とします．それぞれの専門領域から，心理学の面白さを伝えます．
それぞれの回は，3つ程度のセクションに分かれており，それぞれのセクションについて簡単な確認テストがあります．また，中間期に2回のレポート課題があり，すべての回を視聴した後に，最終レポートの提出が課されています．
オンデマンドですので，配信された後は最終日までの間に，いつでも観ることは可能ですが，週1回のペースで1回ずつ学びを進めることをお勧めします．
この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載の通りです。

■授業形態

メディア授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

心理学における多様な領域での研究知見について，理解すること．
それらの知見によって，自分自身の経験や社会でのできごとを新たな視点で眺めるようになること．

■成績評価方法および基準

第1回レポート課題 30%
第2回レポート課題 30%
第3回レポート課題 30%
ディスカッションへの参加 10%

■試験・課題に対するフィードバック方法

ClassroomまたはUNIPAを通して，フィードバックをします．

■教科書

特に指定しない．

■参考文献

[ISBN]9784641221451 『はじめて出会う心理学〔第3版〕 (有斐閣アルマ)』 (寿一, 長谷川, 有斐閣 : 2020)
[ISBN]9784641220034 『臨床心理学入門 -- 多様なアプローチを越境する (有斐閣アルマ)』 (岩壁 茂, 有斐閣 : 2013)
[ISBN]9784781912431 『学習の心理―行動のメカニズムを探る (コンパクト新心理学ライブラリ)』 (正子, 実森, サイエンス社 : 2019)
[ISBN]9784762830570 『発達心理学15講』 (高橋 一公, 北大路書房 : 2019)

■関連科目

特になし．

■授業評価アンケート実施方法

KICSルールに従う.

■研究室・メールアドレス

授業運営担当者に聞いてください

■オフィスアワー

授業運営担当者に聞いてください

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　心理学とは　(担当：堀田　美保)

予習内容：シラバスを見ておく.
予習時間：30分
復習内容：確認テストをして，大事な部分をまとめておく.
復習時間：60分
心と行動に関する学問である，心理学とは何をどのように研究するのかについて，概要を説明します.

第2回　感覚・知覚・注意　(担当：遠藤　信貴)

予習内容：特になし.
復習内容：確認テストをして，大事な部分をまとめておく.
復習時間：60分
私たちの心と外界をつなぐ感覚，外界を捉える知覚の仕組みについて概説します。

第3回　記憶　(担当：遠藤　信貴)

予習内容：特になし.
復習内容：確認テストをして，大事な部分をまとめておく.
復習時間：60分
私たちの日常的な行動を根底で支える記憶について，その種類や役割について概説します。

第4回　学習　(担当:漆原　宏次)

予習内容：特になし.
復習内容：確認テストをして，大事な部分をまとめておく.
復習時間：60分
私たちの行動がどのように変わるのか、なぜ変わるのか。経験による行動の変化＝学習について概説します。

第5回　感情　(担当：大対　香奈子)

予習内容：特になし.
復習内容：確認テストをして，大事な部分をまとめておく.
復習時間：60分
感情が心理学でどのように研究されてきたのか，また感情の働きやそのコントロールの方法について概説します。

第6回　神経・生理　(担当：佐藤　望)

予習内容：特になし.
復習内容：確認テストをして，大事な部分をまとめておく.
復習時間：60分
こころの働きをつかさどる仕組みについて、生物学的観点から解説します。

第7回　遺伝・進化　(担当：上野　将敬)

予習内容：特になし.
復習内容：確認テストをして，大事な部分をまとめておく.
復習時間：60分
人の生物学的側面に注目し、人や人以外の動物の行動における遺伝子や進化の影響について紹介します。

第8回　対人　(担当：堀田　美保)

予習内容：特になし.
復習内容：確認テストをして，大事な部分をまとめておく.
復習時間：60分
人と人の間で起こっているやりとり（相互作用）うち，対人行動についての心理を紹介します。

第9回　集団　(担当：中川　知宏)

予習内容：特になし.
復習内容：確認テストをして，大事な部分をまとめておく.
復習時間：60分
一人でいる時と集団にいる時では，私たちの行動が変化します。これに関する社会心理学的研究を紹介します。

第10回　生涯発達１　(担当：奥野　洋子)

予習内容：特になし.
復習内容：確認テストをして，大事な部分をまとめておく.
復習時間：60分
生涯発達の概要と乳児期から児童期の発達の特徴を説明します。

第11回　生涯発達２　(担当：塩崎　麻里子)

予習内容：特になし.
復習内容：確認テストをして，大事な部分をまとめておく.
復習時間：60分
青年期から老年期のこころの発達について紹介します。

第12回　パーソナリティ　(担当：小泉　隆平)

予習内容：特になし.
復習内容：確認テストをして，大事な部分をまとめておく.
復習時間：60分
パーソナリティ・知能がどのように理解されてきたか、その理解がどのように役立っているか説明します。

第13回　健康　(担当：直井　愛里)

予習内容：特になし.
復習内容：確認テストをして，大事な部分をまとめておく.
復習時間：60分
健康行動に関連する要因を説明し、生活習慣と心身の健康について紹介します。

第14回　臨床　(担当：本岡　寛子)

予習内容：特になし.
復習内容：確認テストをして，大事な部分をまとめておく.
復習時間：60分
こころの問題の理解と解決を助けるためのアセスメントとアプローチについて紹介します。

第15回　産業　(担当：佐藤　望)

予習内容：特になし.
復習内容：確認テストをして，大事な部分をまとめておく.
復習時間：60分
心理学で得られている知見を産業場面に応用する例について紹介します。

最終レポート

15回の授業から，数問を出題するので，選択して解答のこと.

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**心理と行動【KICSオンデマンド科目】**						
英文名 ：	Mind and Behavior						
担当者 ：	塩﨑　麻里子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	集中	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考 ：	令和5年度入学生対象科目						

■授業概要

本講義は，15回の授業のうち，心理系専攻の専任教員12名が1回ないしは2回の講義を担当して作成した，動画を教材とします．それぞれの専門領域から，心理学の面白さを伝えます．
それぞれの回は，3つ程度のセクションに分かれており，それぞれのセクションについて簡単な確認テストがあります．また，中間期に2回のレポート課題があり，すべての回を視聴した後に，最終レポートの提出が課されています．
オンデマンドですので，配信された後は最終日までの間に，いつでも観ることは可能ですが，週1回のペースで1回ずつ学びを進めることをお勧めします．
この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載の通りです。

■授業形態

メディア授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

心理学における多様な領域での研究知見について，理解すること．
それらの知見によって，自分自身の経験や社会でのできごとを新たな視点で眺めるようになること．

■成績評価方法および基準

第1回レポート課題 30%
第2回レポート課題 30%
第3回レポート課題 30%
ディスカッションへの参加 10%

■試験・課題に対するフィードバック方法

ClassroomまたはUNIPAを通して，フィードバックをします．

■教科書

特に指定しない．

■参考文献

[ISBN]9784641221451 『はじめて出会う心理学〔第3版〕 (有斐閣アルマ)』 (寿一, 長谷川, 有斐閣 : 2020)
[ISBN]9784641220034 『臨床心理学入門 -- 多様なアプローチを越境する (有斐閣アルマ)』 (岩壁 茂, 有斐閣 : 2013)
[ISBN]9784781912431 『学習の心理―行動のメカニズムを探る (コンパクト新心理学ライブラリ)』 (正子, 実森, サイエンス社 : 2019)
[ISBN]9784762830570 『発達心理学15講』 (高橋 一公, 北大路書房 : 2019)

■関連科目

特になし．

■授業評価アンケート実施方法

KICSルールに従う.

■研究室・メールアドレス

授業運営担当者に聞いてください

■オフィスアワー

授業運営担当者に聞いてください

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　心理学とは　(担当：堀田　美保)

予習内容：シラバスを見ておく.
予習時間：30分
復習内容：確認テストをして，大事な部分をまとめておく.
復習時間：60分
心と行動に関する学問である，心理学とは何をどのように研究するのかについて，概要を説明します.

第2回　感覚・知覚・注意　(担当：遠藤　信貴)

予習内容：特になし.
復習内容：確認テストをして，大事な部分をまとめておく.
復習時間：60分
私たちの心と外界をつなぐ感覚，外界を捉える知覚の仕組みについて概説します。

第3回　記憶　(担当：遠藤　信貴)

予習内容：特になし.
復習内容：確認テストをして，大事な部分をまとめておく.
復習時間：60分
私たちの日常的な行動を根底で支える記憶について，その種類や役割について概説します。

第4回　学習　(担当:漆原　宏次)

予習内容：特になし.
復習内容：確認テストをして，大事な部分をまとめておく.
復習時間：60分
私たちの行動がどのように変わるのか、なぜ変わるのか。経験による行動の変化＝学習について概説します。

第5回　感情　(担当：大対　香奈子)

予習内容：特になし.
復習内容：確認テストをして，大事な部分をまとめておく.
復習時間：60分
感情が心理学でどのように研究されてきたのか，また感情の働きやそのコントロールの方法について概説します。

第6回　神経・生理　(担当：佐藤　望)

予習内容：特になし.
復習内容：確認テストをして，大事な部分をまとめておく.
復習時間：60分
こころの働きをつかさどる仕組みについて、生物学的観点から解説します。

第7回　遺伝・進化　(担当：上野　将敬)

予習内容：特になし.
復習内容：確認テストをして，大事な部分をまとめておく.
復習時間：60分
人の生物学的側面に注目し、人や人以外の動物の行動における遺伝子や進化の影響について紹介します。

第8回　対人　(担当：堀田　美保)

予習内容：特になし.
復習内容：確認テストをして，大事な部分をまとめておく.
復習時間：60分
人と人の間で起こっているやりとり（相互作用）うち，対人行動についての心理を紹介します。

第9回　集団　(担当：中川　知宏)

予習内容：特になし.
復習内容：確認テストをして，大事な部分をまとめておく.
復習時間：60分
一人でいる時と集団にいる時では，私たちの行動が変化します。これに関する社会心理学的研究を紹介します。

第10回　生涯発達１　(担当：奥野　洋子)

予習内容：特になし.
復習内容：確認テストをして，大事な部分をまとめておく.
復習時間：60分
生涯発達の概要と乳児期から児童期の発達の特徴を説明します。

第11回　生涯発達２　(担当：塩崎　麻里子)

予習内容：特になし.
復習内容：確認テストをして，大事な部分をまとめておく.
復習時間：60分
青年期から老年期のこころの発達について紹介します。

第12回　パーソナリティ　(担当：小泉　隆平)

予習内容：特になし.
復習内容：確認テストをして，大事な部分をまとめておく.
復習時間：60分
パーソナリティ・知能がどのように理解されてきたか、その理解がどのように役立っているか説明します。

第13回　健康　(担当：直井　愛里)

予習内容：特になし.
復習内容：確認テストをして，大事な部分をまとめておく.
復習時間：60分
健康行動に関連する要因を説明し、生活習慣と心身の健康について紹介します。

第14回　臨床　(担当：本岡　寛子)

予習内容：特になし.
復習内容：確認テストをして，大事な部分をまとめておく.
復習時間：60分
こころの問題の理解と解決を助けるためのアセスメントとアプローチについて紹介します。

第15回　産業　(担当：佐藤　望)

予習内容：特になし.
復習内容：確認テストをして，大事な部分をまとめておく.
復習時間：60分
心理学で得られている知見を産業場面に応用する例について紹介します。

最終レポート

15回の授業から，数問を出題するので，選択して解答のこと.

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**新しい政治学**						
英文名　：	New Political Science						
担当者　：	新田　和宏						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：							

■授業概要

<本講座を学ぶ目的>

本講座は、1989年の冷戦終結後30余年におよぶ「新しい政治の世界」について、基本的な理解を深めることを目的とする。

「グローバル化」・「新自由主義」・「新しい帝国」・「人間の安全保障」・「新しい戦争」・「崩壊国家」・「ガバナンス」・「市民社会」・「行使の民主主義」・「ポピュリズム」・「権威主義体制」・「新しい社会的リスク」・「持続可能性」・「政治改革」・「政治主導」・「権力の集中」・「大統領制化」・「政治的ジェンダー平等」・「生政治」・「監視国歌」等々、これらは「新しい政治の世界」を読み解く重要なキーワードであるが、こうしたキーワードの理解も深めることを目的とする。

<本講座において学ぶことの意義>

本講座を通じて学ぶ意義は、「新しい政治の世界」を理解することにより、わたくしたちがいま生きている、この21世紀前半という時代が、今後どのような方向へ進むべきか、それを見極めることにある。

かつて20世紀を代表する政治学者ハロルド・ラスキは、「新しい時代には新しい政治哲学が必要である」と記した。同様に、わたくしたちは、「21世紀という新しい時代には新しい政治学が必要である」、といえよう。その意味で、21世紀を導く「新しい政治学」は、現代人の必須の学問といえる。

<本講座の方法>

アクティブ・ラーニングとして展開する。

本講座は、明快なレクチャーをベースに据え、学生諸君のディスカッションを交え、静かに「白熱」する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本講座を通じて得られるべき到達目標とは次の通りである。

①．基本文献を読み、これを正確に理解できる読解力。②．講義を積極的に傾聴（active listening）できる能力。③．板書に頼らずとも、自分の頭の中で情報を整理しつつ、ノートがとれる能力。④．岩波書店から刊行されているオピニオン雑誌『世界』に所収されている政治学関係もしくは政治論の論文を読み、これを正確に理解できる読解力。⑤．現実の政治現象に対して関心を示しつつ、基礎的な政治学的考察ができる能力。⑥．政治に対し持論を表現できる能力。

<ディプロマポリシーとの関連>

「新しい政治学」の修得は、近畿大学が教養教育において掲げる目標を達成するための目的１および２の達成に関連している。

■成績評価方法および基準

定期試験 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後、試験期間中に指定した日程において試験の解題を行う。

■教科書

新田和宏『変容する政治の世界』（刊行予定）

（刊行予定のためWEB申込では販売しておりません。後期開始前にご自身で調達してください。）

■参考文献

[ISBN]9784623094547『政治学)』(新川敏光, ミネルヴァ書房：2022)
[ISBN]9784004318002『民主主義は終わるのか――瀬戸際に立つ日本 (岩波新書)』(山口 二郎, 岩波書店：2019)
[ISBN]9784623085682『政治学入門 (学問へのファーストステップ 1)』(永井史男, ミネルヴァ書房：2019)
[ISBN]9784862580900『政治学の扉―言葉から考える』(明治学院大学法学部政治学科, 風行社：2015)
[ISBN]9784779516009『ポスト・グローバル化と国家の変容』（岩崎正洋編。ナカニシヤ書店：2022）
[ISBN]9784121026507『米中対立-アメリカの戦略転換と分断される世界 (中公新書 2650)』(佐橋 亮, 中央公論新社：2021)
[ISBN]9784130333054『ウクライナ戦争と世界のゆくえ』(池内恵他、東京大学出版会：2022）
[ISBN]9784000220774『安全保障とは何か――国家から人間へ』(古関 彰一, 岩波書店：2013)
[ISBN]9784589038135『市民社会論: 理論と実証の最前線』(坂本 治也, 法律文化社：2017)
[ISBN]9784121026316『現代民主主義-指導者論から熟議、ポピュリズムまで (中公新書 2631)』(山本 圭, 中央公論新社：2021)
[ISBN]9784121024107『ポピュリズムとは何か - 民主主義の敵か、改革の希望か (中公新書)』(水島 治郎, 中央公論新社：2016)
[ISBN]9784121024282『自民党―「一強」の実像 (中公新書)』(中北 浩爾, 中央公論新社：2017)
[ISBN]9784062182584『平成デモクラシー 政治改革25年の歴史』(佐々木 毅, 講談社：2013)
[ISBN]9784140912171『自民党政治の変容』(中北 浩爾, NHK出版：2014)
[ISBN]9784000615518『自発的隷従の日米関係史』(松田武、岩波書店：2022）
[ISBN]9784022630438『日本の女性議員 どうすれば増えるのか (朝日選書)』(三浦 まり, 朝日新聞出版：2016)
[ISBN]9784763409805『グローバル警察国家:人類的な危機と「21世紀型ファシズム」』(ウィリアム・I・ロビンソン (William I. Robinson), 花伝社：2021)
[ISBN]9784871542227『若者が変えるドイツの政治』(木戸衛一, あけび書房：2022)
新田和宏他『SDGsでパンデミックを乗り越えよう』近畿大学、2020年

■関連科目

持続可能な社会論
特殊講義A

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

新田研究室（2号館5階508）・nitta@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜3限。予め、メールで連絡をしてください。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　旧い政治の世界から新しい政治の世界へ（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise①．ここにAとBという2人の人間がいるとする。AはBに対して自分の言うことをきかせたい。そこで、Aはどのような方法もしくは手段を用いて、Bに言うことをきかせることができるか。私見を要領よく400字以内でノートに記述する。尚、これが政治の本質に関係する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
発展：また、旧い政治の世界から新しい政治の世界への流れに関して、簡潔な年表をエクセルで作成する。
跳躍：参考文献①を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. 政治学という学問
2. 政治とは何か
3. 政治学の基本用語
4. 旧い政治の世界から新しい政治の世界へ
5. 冷戦構造
6. 冷戦構造の崩壊

第2回　グローバル化と新自由主義をめぐる政治（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise②．元アメリカ・メジャー・リーグの野球選手イチローの給料（2008-2012年：年間1800万ドル）は高かったのか？　私見を要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分

復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「グローバル化と新自由主義をめぐる政治」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献②を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. 冷戦の終結と「歴史の終焉」？
2. グローバル化とは
3. 経済のグローバル化に対応する新自由主義
4. 新自由主義という政治的アイディア
5. 新自由主義改革
6. 新自由主義改革の帰結

第3回　国際政治秩序をめぐる政治（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise③．米ソ冷戦時代における国際政治秩序と、冷戦後における国際政治秩序、および米中「新冷戦」における国際政治秩序を、それぞれ図式化しなさい。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「国際政治秩序をめぐる政治」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献③を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. アメリカの一極支配に基づく冷戦後の国際政治秩序
2. 「新しい帝国」アメリカの登場
3. アメリカ国内政治の分断
4. 国際政治の国内政治化／国内政治の国際政治化
5. 中国の台頭と軍事的脅威
6. 米中「新冷戦」とウクライナ戦争

第4回　「新しい戦争」と平和をめぐる政治（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise④．ローマ法王フランシスコは、「戦争は神が創造した最も素晴らしいものを破壊する。戦争は、人間を殺害する」と語りつつ、「地域紛争、大量虐殺、人間の殺害、その他の侵略者やテロリストたちの犯罪」が広がる中、「世界は第三次大戦の状態にある」との懸念を発表した（2014年9月）。それでは、このローマ法王フランシスコの発言を踏まえると、現在、「世界は第三次大戦」の真只中あると判断できるのか？　私見を要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「『新しい戦争』と平和をめぐる政治」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献④を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. 「旧い戦争」と「新しい戦争」
2. シリア内戦と「イスラム国」の出現
3. 欧米諸国へのリバウンド
4. 「新しい戦争」と崩壊国家
5. 構造的暴力と積極的平和
6. 人間の安全保障

第5回　ガバナンスと市民社会をめぐる政治（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise⑤．年収が400万円あるとしたら、「認定NPO」にいくら寄附するか？　また、どのような分野で活躍している認定NPOに寄附するか？　私見を要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「ガバナンスと市民社会をめぐる政治」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献⑤を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. ガバメントからガバナンスへ
2. 新自由主義的ガバナンスの問題
3. NGO・NPOの台頭
4. 市民社会の強化という課題
5. 市民社会スペースの縮小

6. グローバル・カバナンスとSDGs

第6回　民主主義をめぐる政治（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise⑥．自由民主主義体制の危機が指摘されている。その危機は、体制の外部と内部の両面からもたらされているといえる。思い当たる点を、要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「民主主義をめぐる政治」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献⑥を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. 民主主義の危機
2. 民主主義の理念と上手くいかない民主主義
3. 代表制民主主義と直接民主主義
4. 政治体制と政治過程
5. 自由民主主義体制と権威主義体制
6. 市民自治と気候民主主義

第7回　ポピュリズムをめぐる政治（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise⑦．今日、政治の世界は、民主主義を踏み台にしながら、右翼ポピュリズムが台頭し、民主主義は終焉する時代を迎えようとしているのか？　私見を要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「ポピュリズムをめぐる政治」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献⑦を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. 21世紀ポピュリズムの台頭
2. ハンガリーのポピュリズム
3. ポピュリズムとは何か
4. 右翼ポピュリズム台頭の基本構図
5. 排除と包摂の政治
6. ポピュリズムが映し出す政治の世界

第8回　SDGsという理念の政治（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise⑧．SDGsの17の目標および169のターゲットをチェックしつつ、政治に関するものをチェック・アップしてノートに記す。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「SDGsという理念の政治」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献⑧を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1.「平和の配当」を継承するSDGs
2. SDGsの核にある人権
3.「誰一人取り残さない」理念の政治の実現
4. SDGsが要請する政治的条件
5.「公使の民主主義」と応答および説明責任
6. 政治的公正の政治文化

第9回　55年体制と自民党政治（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise⑨．何故に、戦後、自民党は55年体制の下で政権交代なき長期政権を維持しえたのか？　その要因について要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「55年体制と自民党政治」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献⑨を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. 政権交代なき自民党の長期政権
2. 一党優位政党・包括政党の自民党

3. 派閥と中選挙区選挙制度および利益誘導政治
4. 「与党審査」と族議員
5. 「国対政治」
6. 政府－与党二元体制

第10回　政治改革と権力の集中（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise⑩．何故に、平成の政治改革が提起されたのか？　私見を要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「政治改革と権力の集中」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献⑩を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. 政治改革の目標
2. 政治改革という政治課題
3. 政治改革の内容：「日本版ウエストミンスター制度」
4. 政治改革の誤算
5. 行政国家化と「大統領制化」
6. 権力の集中と抑制

第11回　自民党政治の変容（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：Exercise⑪．何故に、第一次安倍政権は1年で潰えたにもかかわらず、第二次安倍政権は7年8ヶ月もの長期政権を維持しえたのか？　その要因について要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：Exercise⑪．また、講義を踏まえつつ、「自民党政治の変容」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献⑪を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. 安倍政治の登場背景
2. 安倍政治の本質
3. 安倍政治の政治手法
4. 安倍政治と官邸主導
5. 自民党政治の変容
6. 政治改革の帰結としての安倍一強政治

第12回　安全保障と沖縄をめぐる政治（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise⑫．日米安全保障体制が再定義される中、その再定義において沖縄はどのような位置付けがなされているのか？　私見を要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「安全保障と沖縄をめぐる政治」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献⑫を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. 日米安全保障体制
2. 冷戦後における日米安全保障体制の「再定義」
3. 西半球における「戦力投射の根拠地」
4. 在沖米軍基地の役割
5. 沖縄の構造的差別
6. 琉球独立論

第13回　ジェンダー平等をめぐる政治（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise⑩．何故に、日本の政治はジェンダー平等を阻んできたのか？　私見を要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「ジェンダー平等をめぐる政治」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献⑬を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分

1. ジェンダーとは
2. ジェンダー・パッシングの政治
3. SDG5の達成状況
4. 政治的ジェンダー平等
5. クオーター制度と女性の政治参加
6. 固定的性別役割分業の解体

第14回　生政治と監視国家（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise⑭．COVID-19のパンデミック下において、自由民主主義体制よりも権威主義体制の方がウイルスの押さえ込みにおいた「優位」であるという見解がある。この見解について、私見を要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「生政治と監視国家」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献⑭を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. 生政治とは
2. 「例外状態」をめぐる政治
3. SDGsの「魔物」ターゲット16.a
4. パンデミックと監視国家の機能強化
5. デジタル権威主義体制の登場
6. 監視国家を監視する民主主義

第15回　新しい政治の世界の行方（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise⑮．これまでの講義を踏まえつつ、政治について自分なりの概念定義を試み、それをノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「新しい政治の世界の行方」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献⑮を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. おさらい：政治とは
2. 新しい政治の世界の行方
3. 「永久革命」としての民主主義
4. まとめ

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 ：	**新しい政治学**						
英文名 ：	New Political Science						
担当者 ：	新田　和宏						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考 ：							

■授業概要

<本講座を学ぶ目的>

本講座は、1989年の冷戦終結後30余年におよぶ「新しい政治の世界」について、基本的な理解を深めることを目的とする。

「グローバル化」・「新自由主義」・「新しい帝国」・「人間の安全保障」・「新しい戦争」・「崩壊国家」・「ガバナンス」・「市民社会」・「行使の民主主義」・「ポピュリズム」・「権威主義体制」・「新しい社会的リスク」・「持続可能性」・「政治改革」・「政治主導」・「権力の集中」・「大統領制化」・「政治的ジェンダー平等」・「生政治」・「監視国歌」等々、これらは「新しい政治の世界」を読み解く重要なキーワードであるが、こうしたキーワードの理解も深めることを目的とする。

<本講座において学ぶことの意義>

本講座を通じて学ぶ意義は、「新しい政治の世界」を理解することにより、わたくしたちがいま生きている、この21世紀前半という時代が、今後どのような方向へ進むべきか、それを見極めることにある。

かつて20世紀を代表する政治学者ハロルド・ラスキは、「新しい時代には新しい政治哲学が必要である」と記した。同様に、わたくしたちは、「21世紀という新しい時代には新しい政治学が必要である」、といえよう。その意味で、21世紀を導く「新しい政治学」は、現代人の必須の学問といえる。

<本講座の方法>

アクティブ・ラーニングとして展開する。

本講座は、明快なレクチャーをベースに据え、学生諸君のディスカッションを交え、静かに「白熱」する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本講座を通じて得られるべき到達目標とは次の通りである。

①．基本文献を読み、これを正確に理解できる読解力。②．講義を積極的に傾聴（active listening）できる能力。③．板書に頼らずとも、自分の頭の中で情報を整理しつつ、ノートがとれる能力。④．岩波書店から刊行されているオピニオン雑誌『世界』に所収されている政治学関係もしくは政治論の論文を読み、これを正確に理解できる読解力。⑤．現実の政治現象に対して関心を示しつつ、基礎的な政治学的考察ができる能力。⑥．政治に対し持論を表現できる能力。

<ディプロマポリシーとの関連>

「新しい政治学」の修得は、近畿大学が教養教育において掲げる目標を達成するための目的１および２の達成に関連している。

■成績評価方法および基準

定期試験 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後、試験期間中に指定した日程において試験の解題を行う。

■教科書

新田和宏『変容する政治の世界』（刊行予定）

（刊行予定のためWEB申込では販売しておりません。後期開始前にご自身で調達してください。）

■参考文献

[ISBN]9784623094547『政治学)』(新川敏光, ミネルヴァ書房：2022)
[ISBN]9784004318002『民主主義は終わるのか――瀬戸際に立つ日本 (岩波新書)』(山口 二郎, 岩波書店：2019)
[ISBN]9784623085682『政治学入門 (学問へのファーストステップ 1)』(永井史男, ミネルヴァ書房：2019)
[ISBN]9784862580900『政治学の扉―言葉から考える』(明治学院大学法学部政治学科, 風行社：2015)
[ISBN]9784779516009『ポスト・グローバル化と国家の変容』（岩崎正洋編。ナカニシヤ書店：2022）
[ISBN]9784121026507『米中対立-アメリカの戦略転換と分断される世界 (中公新書 2650)』(佐橋 亮, 中央公論新社：2021)
[ISBN]9784130333054『ウクライナ戦争と世界のゆくえ』(池内恵他、東京大学出版会：2022）
[ISBN]9784000220774『安全保障とは何か――国家から人間へ』(古関 彰一, 岩波書店：2013)
[ISBN]9784589038135『市民社会論: 理論と実証の最前線』(坂本 治也, 法律文化社：2017)
[ISBN]9784121026316『現代民主主義-指導者論から熟議、ポピュリズムまで (中公新書 2631)』(山本 圭, 中央公論新社：2021)
[ISBN]9784121024107『ポピュリズムとは何か - 民主主義の敵か、改革の希望か (中公新書)』(水島 治郎, 中央公論新社：2016)
[ISBN]9784121024282『自民党―「一強」の実像 (中公新書)』(中北 浩爾, 中央公論新社：2017)
[ISBN]9784062182584『平成デモクラシー 政治改革25年の歴史』(佐々木 毅, 講談社：2013)
[ISBN]9784140912171『自民党政治の変容』(中北 浩爾, NHK出版：2014)
[ISBN]9784000615518『自発的隷従の日米関係史』(松田武、岩波書店：2022）
[ISBN]9784022630438『日本の女性議員 どうすれば増えるのか (朝日選書)』(三浦 まり, 朝日新聞出版：2016)
[ISBN]9784763409805『グローバル警察国家:人類的な危機と「21世紀型ファシズム」』(ウィリアム・I・ロビンソン (William I. Robinson), 花伝社：2021)
[ISBN]9784871542227『若者が変えるドイツの政治』(木戸衛一, あけび書房：2022)
新田和宏他『SDGsでパンデミックを乗り越えよう』近畿大学、2020年

■関連科目

持続可能な社会論
特殊講義A

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

新田研究室（2号館5階508）・nitta@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜3限。予め、メールで連絡をしてください。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　旧い政治の世界から新しい政治の世界へ（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise①．ここにAとBという2人の人間がいるとする。AはBに対して自分の言うことをきかせたい。そこで、Aはどのような方法もしくは手段を用いて、Bに言うことをきかせることができるか。私見を要領よく400字以内でノートに記述する。尚、これが政治の本質に関係する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
発展：また、旧い政治の世界から新しい政治の世界への流れに関して、簡潔な年表をエクセルで作成する。
跳躍：参考文献①を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. 政治学という学問
2. 政治とは何か
3. 政治学の基本用語
4. 旧い政治の世界から新しい政治の世界へ
5. 冷戦構造
6. 冷戦構造の崩壊

第2回　グローバル化と新自由主義をめぐる政治（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise②．元アメリカ・メジャー・リーグの野球選手イチローの給料（2008-2012年：年間1800万ドル）は高かったのか？　私見を要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分

復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「グローバル化と新自由主義をめぐる政治」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献②を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. 冷戦の終結と「歴史の終焉」？
2. グローバル化とは
3. 経済のグローバル化に対応する新自由主義
4. 新自由主義という政治的アイディア
5. 新自由主義改革
6. 新自由主義改革の帰結

第3回　国際政治秩序をめぐる政治（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise③．米ソ冷戦時代における国際政治秩序と、冷戦後における国際政治秩序、および米中「新冷戦」における国際政治秩序を、それぞれ図式化しなさい。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「国際政治秩序をめぐる政治」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献③を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. アメリカの一極支配に基づく冷戦後の国際政治秩序
2. 「新しい帝国」アメリカの登場
3. アメリカ国内政治の分断
4. 国際政治の国内政治化／国内政治の国際政治化
5. 中国の台頭と軍事的脅威
6. 米中「新冷戦」とウクライナ戦争

第4回　「新しい戦争」と平和をめぐる政治（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise④．ローマ法王フランシスコは、「戦争は神が創造した最も素晴らしいものを破壊する。戦争は、人間を殺害する」と語りつつ、「地域紛争、大量虐殺、人間の殺害、その他の侵略者やテロリストたちの犯罪」が広がる中、「世界は第三次大戦の状態にある」との懸念を発表した（2014年9月）。それでは、このローマ法王フランシスコの発言を踏まえると、現在、「世界は第三次大戦」の真只中あると判断できるのか？　私見を要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「『新しい戦争』と平和をめぐる政治」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献④を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. 「旧い戦争」と「新しい戦争」
2. シリア内戦と「イスラム国」の出現
3. 欧米諸国へのリバウンド
4. 「新しい戦争」と崩壊国家
5. 構造的暴力と積極的平和
6. 人間の安全保障

第5回　ガバナンスと市民社会をめぐる政治（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise⑤．年収が400万円あるとしたら、「認定NPO」にいくら寄附するか？　また、どのような分野で活躍している認定NPOに寄附するか？　私見を要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「ガバナンスと市民社会をめぐる政治」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献⑤を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. ガバメントからガバナンスへ
2. 新自由主義的ガバナンスの問題
3. NGO・NPOの台頭
4. 市民社会の強化という課題
5. 市民社会スペースの縮小

6. グローバル・カバナンスとSDGs

第6回　民主主義をめぐる政治（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise⑥．自由民主主義体制の危機が指摘されている。その危機は、体制の外部と内部の両面からもたらされているといえる。思い当たる点を、要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「民主主義をめぐる政治」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献⑥を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. 民主主義の危機
2. 民主主義の理念と上手くいかない民主主義
3. 代表制民主主義と直接民主主義
4. 政治体制と政治過程
5. 自由民主主義体制と権威主義体制
6. 市民自治と気候民主主義

第7回　ポピュリズムをめぐる政治（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise⑦．今日、政治の世界は、民主主義を踏み台にしながら、右翼ポピュリズムが台頭し、民主主義は終焉する時代を迎えようとしているのか？　私見を要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「ポピュリズムをめぐる政治」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献⑦を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. 21世紀ポピュリズムの台頭
2. ハンガリーのポピュリズム
3. ポピュリズムとは何か
4. 右翼ポピュリズム台頭の基本構図
5. 排除と包摂の政治
6. ポピュリズムが映し出す政治の世界

第8回　SDGsという理念の政治（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise⑧．SDGsの17の目標および169のターゲットをチェックしつつ、政治に関するものをチェック・アップしてノートに記す。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「SDGsという理念の政治」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献⑧を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1.「平和の配当」を継承するSDGs
2. SDGsの核にある人権
3.「誰一人取り残さない」理念の政治の実現
4. SDGsが要請する政治的条件
5.「公使の民主主義」と応答および説明責任
6. 政治的公正の政治文化

第9回　55年体制と自民党政治（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise⑨．何故に、戦後、自民党は55年体制の下で政権交代なき長期政権を維持しえたのか？　その要因について要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「55年体制と自民党政治」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献⑨を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. 政権交代なき自民党の長期政権
2. 一党優位政党・包括政党の自民党

3. 派閥と中選挙区選挙制度および利益誘導政治
4. 「与党審査」と族議員
5. 「国対政治」
6. 政府－与党二元体制

第10回　政治改革と権力の集中（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise⑩．何故に、平成の政治改革が提起されたのか？　私見を要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「政治改革と権力の集中」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献⑩を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. 政治改革の目標
2. 政治改革という政治課題
3. 政治改革の内容：「日本版ウエストミンスター制度」
4. 政治改革の誤算
5. 行政国家化と「大統領制化」
6. 権力の集中と抑制

第11回　自民党政治の変容（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：Exercise⑪．何故に、第一次安倍政権は1年で潰えたにもかかわらず、第二次安倍政権は7年8ヶ月もの長期政権を維持しえたのか？　その要因について要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：Exercise⑪．また、講義を踏まえつつ、「自民党政治の変容」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献⑪を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. 安倍政治の登場背景
2. 安倍政治の本質
3. 安倍政治の政治手法
4. 安倍政治と官邸主導
5. 自民党政治の変容
6. 政治改革の帰結としての安倍一強政治

第12回　安全保障と沖縄をめぐる政治（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise⑫．日米安全保障体制が再定義される中、その再定義において沖縄はどのような位置付けがなされているのか？　私見を要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「安全保障と沖縄をめぐる政治」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献⑫を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. 日米安全保障体制
2. 冷戦後における日米安全保障体制の「再定義」
3. 西半球における「戦力投射の根拠地」
4. 在沖米軍基地の役割
5. 沖縄の構造的差別
6. 琉球独立論

第13回　ジェンダー平等をめぐる政治（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise⑩．何故に、日本の政治はジェンダー平等を阻んできたのか？　私見を要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「ジェンダー平等をめぐる政治」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献⑬を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分

1. ジェンダーとは
2. ジェンダー・パッシングの政治
3. SDG5の達成状況
4. 政治的ジェンダー平等
5. クオーター制度と女性の政治参加
6. 固定的性別役割分業の解体

第14回　生政治と監視国家（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise⑭．COVID-19のパンデミック下において、自由民主主義体制よりも権威主義体制の方がウイルスの押さえ込みにおいた「優位」であるという見解がある。この見解について、私見を要領よく400字以内でノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「生政治と監視国家」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献⑭を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. 生政治とは
2. 「例外状態」をめぐる政治
3. SDGsの「魔物」ターゲット16.a
4. パンデミックと監視国家の機能強化
5. デジタル権威主義体制の登場
6. 監視国家を監視する民主主義

第15回　新しい政治の世界の行方（授業形式：講義とアクティブ・ラーニング）

予習内容：　Exercise⑮．これまでの講義を踏まえつつ、政治について自分なりの概念定義を試み、それをノートに記述する。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、講義を踏まえつつ、「新しい政治の世界の行方」について、そのポイントを要領よく400字以内でノートに記述する。
　跳躍：参考文献⑮を繙き、さらに興味・関心を高める。
復習時間：90分
1. おさらい：政治とは
2. 新しい政治の世界の行方
3. 「永久革命」としての民主主義
4. まとめ

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**人権と社会１**						
英文名　：	Human Rights and Society 1						
担当者　：	岡　宏						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】金曜3限						

■授業概要

現代社会における人権課題について、人権概念を歴史的に考察しつつ、現代的意義と実態について
“誠実”に、そして“当事者性”を基軸に考察を進め、人権と社会を考える意味を学修します。
授業方法が変更になる場合は、事前に授業等での通知、もしくはGoogle Classroomで変更を通知します。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、この講義を履修することで、主に以下の2点ができるようになる。

①現代社会における人権課題について当事者性をもって「思い、感じ、考える」ことができる。

②生活臨床において当事者性の視点から実践する素養を習得できる。

この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的１の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 40%
講義中試験 30%
レポート 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

課題については講義中に要点を提示し、印刷物を配布します。
試験については要点とアプローチを提示し、解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■教科書

【留意事項】各回講義資料を配布します。

■参考文献

【留意事項】適宜、講義中に紹介します。

■関連科目

人権と社会２

■授業評価アンケート実施方法

生物理工学部実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）hiroshioka@socio.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

金曜日・3限目、4限目終了時

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 「授業概要」（授業形式：講義）

予習内容：現代社会における人権課題について思索する
予習時間：90分
復習内容：授業内容と自身の思索との異同についてアセスメントする
復習時間：90分
授業の進め方などについて説明
（現代社会と人権課題について説明します）

第2回 「人権思想の歴史的展開」（授業形式：講義）

予習内容：人権思想の歴史的展開について基礎的学習
予習時間：90分
復習内容：人権思想の歴史的展開について整理する
復習時間：90分
国際人権における人権思想の歴史的展開の学修

第3回 「世界人権宣言と国連憲章」①（授業形式：講義）

予習内容：世界人権宣言・国連憲章についての基礎的学修①
予習時間：90分
復習内容：世界人権宣言・国連憲章についての基礎的整理①
復習時間：90分
現代国際社会における人権思想の基礎的学修①

第4回 「世界人権宣言と国連憲章」②（授業形式：講義）

予習内容：世界人権宣言・国連憲章についての基礎的学修②
予習時間：90分
復習内容：世界人権宣言・国連憲章についての基礎的整理②
復習時間：90分
現代国際社会における人権思想の基礎的学修②

第5回 人権コラム①（授業形式：講義）

予習内容：人権コラム①
予習時間：90分
復習内容：人権コラム①
復習時間：90分
人権コラム①

第6回 人権に関する諸課題A「障害と人権①」基礎知識（授業形式：講義）

予習内容：「障害と人権①」基礎知識
予習時間：90分
復習内容：「障害と人権①」基礎知識
復習時間：90分
「障害と人権①」基礎知識

第7回 「障害と人権②」臨床像①（授業形式：講義）

予習内容：「障害と人権②」臨床像①
予習時間：90分
復習内容：「障害と人権②」臨床像①
復習時間：90分
「障害と人権②」臨床像①

第8回 「障害と人権③」臨床像②（授業形式：講義）

予習内容：「障害と人権③」臨床像②
予習時間：90分
復習内容：「障害と人権③」臨床像②
復習時間：90分
「障害と人権③」臨床像②

第9回 「講義中試験」（授業形式：演習）

予習内容：講義中試験
予習時間：90分
復習内容：講義中試験
復習時間：90分
講義中試験

第10回　人権コラム②（授業形式：講義）

予習内容：人権コラム②
予習時間：90分
復習内容：人権コラム②
復習時間：90分
人権コラム②

第11回　人権に関する諸課題B「難病と人権①」基礎知識（授業形式：講義）

予習内容：「難病と人権①」基礎知識
予習時間：90分
復習内容：「難病と人権①」基礎知識
復習時間：90分
「難病と人権①」基礎知識

第12回　「難病と人権②」臨床像①（授業形式：講義）

予習内容：「難病と人権②」臨床像①
予習時間：90分
復習内容：「難病と人権②」臨床像①
復習時間：90分
「難病と人権②」臨床像①

第13回　「難病と人権③」臨床像②（授業形式：講義）

予習内容：「難病と人権③」臨床像②
予習時間：90分
復習内容：「難病と人権③」臨床像②
復習時間：90分
「難病と人権③」臨床像②

第14回　人権講演会（授業形式：講義）

予習内容：日本の歴史的差別問題
予習時間：90分
復習内容：日本の歴史的差別問題
復習時間：90分
日本の歴史的差別問題にいて学修

第15回　前期授業の論点整理（授業形式：講義）

予習内容：前期授業の論点整理
予習時間：90分
復習内容：前期授業の論点整理
復習時間：90分
前期授業の論点整理

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**人権と社会１**						
英文名　：	Human Rights and Society 1						
担当者　：	岡　宏						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】金曜4限						

■授業概要

現代社会における人権課題について、人権概念を歴史的に考察しつつ、現代的意義と実態について
“誠実”に、そして“当事者性”を基軸に考察を進め、人権と社会を考える意味を学修します。
授業方法が変更になる場合は、事前に授業等での通知、もしくはGoogle Classroomで変更を通知します。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、この講義を履修することで、主に以下の2点ができるようになる。

①現代社会における人権課題について当事者性をもって「思い、感じ、考える」ことができる。

②生活臨床において当事者性の視点から実践する素養を習得できる。

この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的１の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 40%
講義中試験 30%
レポート 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

課題については講義中に要点を提示し、印刷物を配布します。
試験については要点とアプローチを提示し、解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■教科書

【留意事項】各回講義資料を配布します。

■参考文献

【留意事項】適宜、講義中に紹介します。

■関連科目

人権と社会２

■授業評価アンケート実施方法

生物理工学部実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）hiroshioka@socio.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

金曜日・3限目、4限目終了時

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 「授業概要」（授業形式：講義）

予習内容：現代社会における人権課題について思索する
予習時間：90分
復習内容：授業内容と自身の思索との異同についてアセスメントする
復習時間：90分
授業の進め方などについて説明
（現代社会と人権課題について説明します）

第2回 「人権思想の歴史的展開」（授業形式：講義）

予習内容：人権思想の歴史的展開について基礎的学習
予習時間：90分
復習内容：人権思想の歴史的展開について整理する
復習時間：90分
国際人権における人権思想の歴史的展開の学修

第3回 「世界人権宣言と国連憲章」①（授業形式：講義）

予習内容：世界人権宣言・国連憲章についての基礎的学修①
予習時間：90分
復習内容：世界人権宣言・国連憲章についての基礎的整理①
復習時間：90分
現代国際社会における人権思想の基礎的学修①

第4回 「世界人権宣言と国連憲章」②（授業形式：講義）

予習内容：世界人権宣言・国連憲章についての基礎的学修②
予習時間：90分
復習内容：世界人権宣言・国連憲章についての基礎的整理②
復習時間：90分
現代国際社会における人権思想の基礎的学修②

第5回 人権コラム①（授業形式：講義）

予習内容：人権コラム①
予習時間：90分
復習内容：人権コラム①
復習時間：90分
人権コラム①

第6回 人権に関する諸課題A「障害と人権①」基礎知識（授業形式：講義）

予習内容：「障害と人権①」基礎知識
予習時間：90分
復習内容：「障害と人権①」基礎知識
復習時間：90分
「障害と人権①」基礎知識

第7回 「障害と人権②」臨床像①（授業形式：講義）

予習内容：「障害と人権②」臨床像①
予習時間：90分
復習内容：「障害と人権②」臨床像①
復習時間：90分
「障害と人権②」臨床像①

第8回 「障害と人権③」臨床像②（授業形式：講義）

予習内容：「障害と人権③」臨床像②
予習時間：90分
復習内容：「障害と人権③」臨床像②
復習時間：90分
「障害と人権③」臨床像②

第9回 「講義中試験」（授業形式：演習）

予習内容：講義中試験
予習時間：90分
復習内容：講義中試験
復習時間：90分
講義中試験

第10回　人権コラム②（授業形式：講義）

予習内容：人権コラム②
予習時間：90分
復習内容：人権コラム②
復習時間：90分
人権コラム②

第11回　人権に関する諸課題B「難病と人権①」基礎知識（授業形式：講義）

予習内容：「難病と人権①」基礎知識
予習時間：90分
復習内容：「難病と人権①」基礎知識
復習時間：90分
「難病と人権①」基礎知識

第12回　「難病と人権②」臨床像①（授業形式：講義）

予習内容：「難病と人権②」臨床像①
予習時間：90分
復習内容：「難病と人権②」臨床像①
復習時間：90分
「難病と人権②」臨床像①

第13回　「難病と人権③」臨床像②（授業形式：講義）

予習内容：「難病と人権③」臨床像②
予習時間：90分
復習内容：「難病と人権③」臨床像②
復習時間：90分
「難病と人権③」臨床像②

第14回　人権講演会（授業形式：講義）

予習内容：日本の歴史的差別問題
予習時間：90分
復習内容：日本の歴史的差別問題
復習時間：90分
日本の歴史的差別問題にいて学修

第15回　前期授業の論点整理（授業形式：講義）

予習内容：前期授業の論点整理
予習時間：90分
復習内容：前期授業の論点整理
復習時間：90分
前期授業の論点整理

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**人権と社会２**						
英文名　：	Human Rights and Society 2						
担当者　：	岡　宏						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】金曜4限						

■授業概要

現代社会における人権課題について、「人権と社会１」において考察した人権概念と関連思想を基軸にして、その実態と現代的意義について“誠実”であることを何より大事にしつつ、加えて“当事者性”の視点に立脚して考察を進め、人権と社会を考える、一歩踏み込んだ意味を学修します。
授業方法が変更になる場合は、事前に授業等での通知、もしくはGoogle Classroomで変更を通知します。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、この講義を履修することで、主に以下の2点ができるようになる。

①現代社会における人権課題について当事者性をもって「思い、感じ、考える」ことができる。

②生活臨床において当事者性の視点から実践する素養を習得できる。

この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的１の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 40%
講義中間レポート 30%
講義中ミニ課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

課題については講義中に要点を提示し、PDF dataを配布します。
試験については要点とアプローチを提示し、解説をGoogle Classroomに掲載します。

■教科書

【留意事項】各回講義資料を配布します。

■参考文献

【留意事項】適宜、講義中に紹介します。

■関連科目

人権と社会１

■授業評価アンケート実施方法

生物理工学部実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）hiroshioka@socio.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

金曜日・3限目、4限目終了時

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第01回　授業概要について
第02回　憲法10条から40条、97条、　「基本的人権」について
第03回　憲法10条と97条　「最高法規」について
第04回　人権に関する諸課題㋐　「子どもの権利条約」
第05回　「児童憲章①」
第06回　「児童憲章②」
第07回　人権に関する諸課題㋑　「いじめと傍観者①」
第08回　「いじめと傍観者②」
第09回　「Kivaプログラム」
第10回　人権コラム　「2065-8808」
第11回　人権に関する諸課題㋒　「高齢者の人権①“認知症①”」
第12回　「高齢者の人権②“認知症②”」
第13回　総論①　「区別」と「差別」について
第14回　総論②　「差別につながる社会的要因」について
第15回　前期「人権講演会」
定期試験
予習内容：人権は、社会的課題であると同時に、人間の普遍的価値につながる課題です。また、人権理解の前提となる人間の本質的特性や偶有的特性は、人間理解の根幹です。
この為、この授業では各回の予習・復習の目安、および課題を敢えて設定していません。
それは、恒常的に“当事者性”を心がけ、“理解と寛容”を旨として他者に向き合うことを生活臨床において考え続けて欲しいと願うからです。この点が、この授業の予習・復習で大切ところであると考えます。“誠意”をもって“誠実”をモットーに臨んでください。
復習内容：人権は、社会的課題であると同時に、人間の普遍的価値につながる課題です。また、人権理解の前提となる人間の本質的特性や偶有的特性は、人間理解の根幹です。
この為、この授業では各回の予習・復習の目安、および課題を敢えて設定していません。
それは、恒常的に“当事者性”を心がけ、“理解と寛容”を旨として他者に向き合うことを生活臨床において考え続けて欲しいと願うからです。この点が、この授業の予習・復習で大切ところであると考えます。“誠意”をもって“誠実”をモットーに臨んでください。

第1回　授業概要
（「人権の擁護を考える」）（授業形式：講義）

予習内容：本邦における人権擁護の活動
予習時間：90分
復習内容：現状の認識
復習時間：90分

第2回　「日本国憲法における基本的人権」
憲法10条から40条、97条、「基本的人権」について（授業形式：講義）

予習内容：憲法第10条から40条について知る
予習時間：90分
復習内容：条文の意味を理解する
復習時間：90分

第3回　「憲法第11条と第97条」
「最高法規」について（授業形式：講義）

予習内容：憲法第11条と第97条の問題
予習時間：90分
復習内容：憲法第11条と第97条の整合性を論理的に思索する
復習時間：90分

第4回　人権に関する諸課題㋐　「子どもの権利条約」（授業形式：講義）

予習内容：子供の権利条約の定義
予習時間：90分
復習内容：定義について再考する
復習時間：90分

第5回 「児童憲章①」（授業形式：講義）

予習内容：本邦における現状と課題について知る
予習時間：90分
復習内容：本邦における現状と課題について再考する
復習時間：90分

第6回 「児童憲章②」（授業形式：講義）

予習内容：児童憲章の現状
予習時間：90分
復習内容：児童憲章の再考
復習時間：90分

第7回 人権に関する諸課題㋑「いじめと傍観者①」（授業形式：講義）

予習内容：いじめ傍観者とは
予習時間：90分
復習内容：いじめ傍観者について
復習時間：90分

第8回 「いじめと傍観者②」（授業形式：講義）

予習内容：いじめ傍観者の課題と責任
予習時間：90分
復習内容：いじめ傍観者の課題と責任
復習時間：90分

第9回 「Kivaプログラム」（授業形式：講義）

予習内容：Kivaプログラムについて知る
予習時間：90分
復習内容：Kivaプログラムについて知る
復習時間：90分

第10回 人権コラム「2065-8808」（授業形式：講義）

予習内容：人権コラム
予習時間：90分
復習内容：人権コラム
復習時間：90分

第11回 人権に関する諸課題㋒「高齢者の人権①“認知症①”」（授業形式：講義）

予習内容：認知症を考える
予習時間：90分
復習内容：当事者性をもって思索する
復習時間：90分

第12回 「高齢者の人権②“認知症②”」（授業形式：講義）

予習内容：認知症への対応を考える
予習時間：90分
復習内容：認知症への対応を考える
復習時間：90分

第13回 総論①「区別」と「差別」について（授業形式：講義）

予習内容：区別と差別について考える
予習時間：90分
復習内容：区別と差別について考える
復習時間：90分

第14回 総論② 「差別につながる社会的要因」（授業形式：講義）

予習内容：「差別につながる要因」
予習時間：90分
復習内容：「差別につながる要因」
復習時間：90分

第15回 人権講演会（授業形式：講義）

予習内容：人権講演会
予習時間：90分

復習内容：人権講演会
復習時間：90分

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 ：	**人権と社会２**						
英文名 ：	Human Rights and Society 2						
担当者 ：	岡　宏						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】金曜3限						

■授業概要

現代社会における人権課題について、「人権と社会１」において考察した人権概念と関連思想を基軸にして、その実態と現代的意義について“誠実”であることを何より大事にしつつ、加えて“当事者性”の視点に立脚して考察を進め、人権と社会を考える、一歩踏み込んだ意味を学修します。
授業方法が変更になる場合は、事前に授業等での通知、もしくはGoogle Classroomで変更を通知します。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、この講義を履修することで、主に以下の2点ができるようになる。

①現代社会における人権課題について当事者性をもって「思い、感じ、考える」ことができる。

②生活臨床において当事者性の視点から実践する素養を習得できる。

この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的１の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 40%
講義中間レポート 30%
講義中ミニ課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

課題については講義中に要点を提示し、PDF dataを配布します。
試験については要点とアプローチを提示し、解説をGoogle Classroomに掲載します。

■教科書

【留意事項】各回講義資料を配布します。

■参考文献

【留意事項】適宜、講義中に紹介します。

■関連科目

人権と社会１

■授業評価アンケート実施方法

生物理工学部実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）hiroshioka@socio.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

金曜日・3限目、4限目終了時

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第01回　授業概要について
第02回　憲法10条から40条、97条、　「基本的人権」について
第03回　憲法10条と97条　「最高法規」について
第04回　人権に関する諸課題㋐　「子どもの権利条約」
第05回　「児童憲章①」
第06回　「児童憲章②」
第07回　人権に関する諸課題㋑　「いじめと傍観者①」
第08回　「いじめと傍観者②」
第09回　「Kivaプログラム」
第10回　人権コラム　「2065-8808」
第11回　人権に関する諸課題㋒　「高齢者の人権①“認知症①”」
第12回　「高齢者の人権②“認知症②”」
第13回　総論①　「区別」と「差別」について
第14回　総論②　「差別につながる社会的要因」について
第15回　前期「人権講演会」
定期試験
予習内容：人権は、社会的課題であると同時に、人間の普遍的価値につながる課題です。また、人権理解の前提となる人間の本質的特性や偶有的特性は、人間理解の根幹です。
この為、この授業では各回の予習・復習の目安、および課題を敢えて設定していません。
それは、恒常的に“当事者性”を心がけ、“理解と寛容”を旨として他者に向き合うことを生活臨床において考え続けて欲しいと願うからです。この点が、この授業の予習・復習で大切ところであると考えます。“誠意”をもって“誠実”をモットーに臨んでください。
復習内容：人権は、社会的課題であると同時に、人間の普遍的価値につながる課題です。また、人権理解の前提となる人間の本質的特性や偶有的特性は、人間理解の根幹です。
この為、この授業では各回の予習・復習の目安、および課題を敢えて設定していません。
それは、恒常的に“当事者性”を心がけ、“理解と寛容”を旨として他者に向き合うことを生活臨床において考え続けて欲しいと願うからです。この点が、この授業の予習・復習で大切ところであると考えます。“誠意”をもって“誠実”をモットーに臨んでください。

第1回　授業概要
（「人権の擁護を考える」）（授業形式：講義）

予習内容：本邦における人権擁護の活動
予習時間：90分
復習内容：現状の認識
復習時間：90分

第2回　「日本国憲法における基本的人権」
憲法10条から40条、97条、「基本的人権」について（授業形式：講義）

予習内容：憲法第10条から40条について知る
予習時間：90分
復習内容：条文の意味を理解する
復習時間：90分

第3回　「憲法第11条と第97条」
「最高法規」について（授業形式：講義）

予習内容：憲法第11条と第97条の問題
予習時間：90分
復習内容：憲法第11条と第97条の整合性を論理的に思索する
復習時間：90分

第4回　人権に関する諸課題㋐　「子どもの権利条約」（授業形式：講義）

予習内容：子供の権利条約の定義
予習時間：90分
復習内容：定義について再考する
復習時間：90分

第5回　「児童憲章①」（授業形式：講義）

予習内容：本邦における現状と課題について知る
予習時間：90分
復習内容：本邦における現状と課題について再考する
復習時間：90分

第6回　「児童憲章②」（授業形式：講義）

予習内容：児童憲章の現状
予習時間：90分
復習内容：児童憲章の再考
復習時間：90分

第7回　人権に関する諸課題㋑「いじめと傍観者①」（授業形式：講義）

予習内容：いじめ傍観者とは
予習時間：90分
復習内容：いじめ傍観者について
復習時間：90分

第8回　「いじめと傍観者②」（授業形式：講義）

予習内容：いじめ傍観者の課題と責任
予習時間：90分
復習内容：いじめ傍観者の課題と責任
復習時間：90分

第9回　「Kivaプログラム」（授業形式：講義）

予習内容：Kivaプログラムについて知る
予習時間：90分
復習内容：Kivaプログラムについて知る
復習時間：90分

第10回　人権コラム「2065-8808」（授業形式：講義）

予習内容：人権コラム
予習時間：90分
復習内容：人権コラム
復習時間：90分

第11回　人権に関する諸課題㋒「高齢者の人権①“認知症①”」（授業形式：講義）

予習内容：認知症を考える
予習時間：90分
復習内容：当事者性をもって思索する
復習時間：90分

第12回　「高齢者の人権②“認知症②”」（授業形式：講義）

予習内容：認知症への対応を考える
予習時間：90分
復習内容：認知症への対応を考える
復習時間：90分

第13回　総論①「区別」と「差別」について（授業形式：講義）

予習内容：区別と差別について考える
予習時間：90分
復習内容：区別と差別について考える
復習時間：90分

第14回　総論②「差別につながる社会的要因」（授業形式：講義）

予習内容：「差別につながる要因」
予習時間：90分
復習内容：「差別につながる要因」
復習時間：90分

第15回　人権講演会（授業形式：講義）

予習内容：人権講演会
予習時間：90分

復習内容：人権講演会
復習時間：90分

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 ：	**世界近現代史【KICSオンデマンド科目】**						
英文名 ：	Modern World History						
担当者 ：	和田　英男						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	集中	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考 ：	令和5年度入学生対象科目						

■授業概要

人類の歴史としての世界史を扱います。日本の高校世界史の授業を受けていなくても、きちんと予習復習をするとともに教材にとりくむことで、人類の現代社会の成り立ちについての理解を深めることができるようになっています。
この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。
それぞれの回は3つのセクションに分かれており、それぞれのセクションについて簡単な確認テストがあります。また学期の途中に2回のレポート課題①②があり、すべての回を視聴した後に、③最終レポートの提出が課されています。
また学期の途中で、Google Classroomを通じたディスカッションの機会を設けます。
この授業では5回以上の欠席者は評価対象外（不受）とします。

■授業形態

メディア授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

近現代史とは現代社会のなりたちを理解することであり、現代社会の抱える問題の背景を理解することでもあります。これによって、自分たちの参画する社会のこれからを考える視点が養われます。
またグローバル化した現代社会においては、問題をとらえる視点はマクロ・ミクロ両方の視点が必要です。世界近現代史は、世界史とは人類史であるという理解から、このマクロな視点を養うものでもあります。

■成績評価方法および基準

レポート1 30%
レポート2 25%
レポート3 25%
最終考察 10%
ディスカッションへの参加 10%

■試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題の提出締切後に「レポート課題の要点と解説」をGoogleClassroomに掲載します。

■教科書

Google Classroomを通じて配布します。

■参考文献

Google Classroomを通じて紹介します。

■関連科目

日本近現代史　国際化と異文化理解

■授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■研究室・メールアドレス

メールアドレス：2096b7@kindai.ac.jp
メールまたはGoogle Classroomを通じてご連絡下さい。

■オフィスアワー

質問等はGoogle Classroomを通じて適宜対応します。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　世界史とは？近現代史とは？（上田貴子）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。
予習時間：60分
復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。
復習時間：120分
§1　世界史とは？
§2　時代区分を考える
§3　近現代とはどんな時代か？

第2回　産業革命と市場経済の形成（中井大介）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。
予習時間：60分
復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。
復習時間：120分
§1　産業革命のインパクト
§2　市場経済と自由主義
§3　第4次産業革命の時代へ

第3回　近代とネイション（辻河典子）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。
予習時間：60分
復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。
復習時間：120分
§1　ネイションとは何だろう？
§2　ネイションと近代国家
§3　ネイションと総力戦の時代

第4回　パクス・ブリタニカと近代のグローバル化（藪下信幸）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。
予習時間：60分
復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。
復習時間：120分
§1　パクス・ブリタニカとは？
§2　近代におけるグローバル化とその影響
§3　ウエスタン・インパクトと近代アジア

第5回　植民地支配と近代インド（藪下信幸）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。
予習時間：60分
復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。
復習時間：120分
§1　帝国主義と植民地
§2　インドの植民地化
§3　植民地支配と近代インド経済

第6回　イスラーム世界の近代：オスマン帝国とトルコ共和国を例として（ダニシマズ・イディリス）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。
予習時間：60分
復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。
復習時間：120分
§1　イスラーム世界とは？
§2　前近代とイスラーム世界
§3　事例：オスマン帝国とトルコ共和国の近代化

第7回　東アジアにおける西洋近代の受容（上田貴子）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。
予習時間：60分
復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。
復習時間：120分
§1　西洋近代の東アジアへの到来
§2　西洋近代受容の共通点と相違点
§3　二つの国際秩序と日清戦争

第8回　辛亥革命と東アジアの国際関係（阿路思）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。
予習時間：60分
復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。
復習時間：120分
§1　清末立憲思想
§2　辛亥革命
§3　清朝崩壊後のモンゴル

第9回　移民の19世紀：アメリカ（伊澤正興）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。
予習時間：60分
復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。
復習時間：120分
§1　19世紀の世界経済と移民
§2　アメリカの移民政策
§3　移民とナショナリズム

第10回　メディアと近現代史（辻河典子）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。
予習時間：60分
復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。
復習時間：120分
§1　情報・社会・メディア
§2　プロパガンダとメディア
§3　ドキュメンタリーと歴史学

第11回　戦争と戦後世界（上田貴子）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。
予習時間：60分
復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。
復習時間：120分
§1　近代の戦争
§2　戦争を縛る法律
§3　戦争の終結とその後

第12回　分断国家（東アジア）と国際社会（和田英男）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。
予習時間：60分
復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。
復習時間：120分
§1　戦後世界と冷戦
§2　戦後の中国大陸と台湾の歩み1
§3　戦後の中国大陸と台湾の歩み2

第13回　第二次世界大戦後の東西ヨーロッパ：ドイツを例に（石井聡）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。
予習時間：60分
復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。
復習時間：120分
§1　社会主義と社会民主主義
§2　西ドイツ社会的市場経済

§3　東ドイツ社会主義計画経済

第14回　ジェンダーから歴史を考える（辻河典子）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。
予習時間：60分
復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。
復習時間：120分
§1　ジェンダー史の成立
§2　歴史研究とジェンダーの視点
§3　ジェンダーから世界史を考える

第15回　世界近現代史から何を考えるか（上田貴子）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。
予習時間：60分
復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。
復習時間：120分
§1　近代と人間
§2　近代と気候変動
§3　これからを見据えるために

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**生涯スポーツ 1**						
英文名　：	Sports and Exercises 1						
担当者　：	川村　亮太						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】水曜4限						

■授業概要

グラウンド・コミュニティホールを使用し、各種目を個人の体力に合わせて行う。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・実験・実習科目

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

生涯体育のレクリエーション・スポーツとしての理解を深め、この種目の持つ特性と楽しみを知ることを目標とする。健康の保持増進のために必要な身体活動量について経験することを目標にしている。

■成績評価方法および基準

授業への積極的な参加姿勢 60%
授業態度・課題提出・記述内容 40%

■試験・課題に対するフィードバック方法

毎授業ごとに、各個人の運動技能、積極性、ゲーム運営協力度などを評価します。
授業終了時にゲーム内容の後評、ゲーム進行についての後評などを全体として行います。
個人に対して、授業内で、ゲーム中でのプレイや積極性、運営へ協力度についてコメントを適宜行います。

■教科書

【留意事項】特に指定しません。

■参考文献

【留意事項】特に指定しません。

■関連科目

生涯スポーツ２

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

生涯スポーツ教員控室（2号館5階505）・ryota.kawamura@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　オリエンテーション（授業形式：対面実技）

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。日常生活におけるスポーツ実施に向けた意識

予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分
生涯スポーツの意味を理解し、積極的に参加できるように準備を行う。

第2回 ソフトボール　基礎実技１（授業形式：対面実技）

予習内容：ソフトボールのルールの確認。キャッチボールの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：正確なキャッチボールの技能の習得。
復習時間：30分

第3回 ソフトボール　基礎実技２（授業形式：対面実技）

予習内容：ソフトボールのルールの確認。バッティングの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：ソフトボールの攻撃、守備に関する技能の習得。
復習時間：30分

第4回 ソフトボール　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：ソフトボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：ソフトボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第5回 サッカー　基礎実技1（授業形式：対面実技）

予習内容：サッカーのルールの確認。インサイドキックを中心としたキックの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：正確なキック、シュートの技能の習得。
復習時間：30分

第6回 サッカー 基礎実技２（授業形式：対面実技）

予習内容：サッカーのルールの確認。ミニゲームにおけるサッカーの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：サッカーのゲーム展開を考えた技能の習得。
復習時間：30分

第7回 サッカー　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：サッカーのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：サッカーのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第8回 バスケットボール　基礎実技１（授業形式：対面実技）

予習内容：バスケットボールのルールの確認。パス、キャッチの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：正確なパス、キャッチの技能の習得。
復習時間：30分

第9回 バスケットボール　基礎実技２（授業形式：対面実技）

予習内容：バスケットボールのルールの確認。シュートの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：攻守の切り替え、正確なシュートの技能の習得。
復習時間：30分

第10回 バスケットボール　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：バスケットボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：バスケットボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第11回 バレーボール　基礎実技１（授業形式：対面実技）

予習内容：バレーボールのルールの確認。オーバー、アンダーハンドパスの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：正確なオーバー、アンダーハンドパスの技能の習得。
復習時間：30分

第12回 バレーボール　基礎実技２（授業形式：対面実技）

予習内容：バレーボールのルールの確認。サーブの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：バレーボールの攻撃のための技能の習得。
復習時間：30分

第13回 バレーボール　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：バレーボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：バレーボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第14回 ゲーム１　(ソフトボール、サッカー、バスケットボール、バレーボールより選択）（授業形式：対面実技）

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第15回 ゲーム２　(ソフトボール、サッカー、バスケットボール、バレーボールより選択）（授業形式：対面実技）

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**生涯スポーツ 1**						
英文名　：	Sports and Exercises 1						
担当者　：	川村　亮太						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】水曜3限						

■授業概要

グラウンド・コミュニティホールを使用し、各種目を個人の体力に合わせて行う。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・実験・実習科目

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

生涯体育のレクリエーション・スポーツとしての理解を深め、この種目の持つ特性と楽しみを知ることを目標とする。健康の保持増進のために必要な身体活動量について経験することを目標にしている。

■成績評価方法および基準

授業への積極的な参加姿勢 60%
授業態度・課題提出・記述内容 40%

■試験・課題に対するフィードバック方法

毎授業ごとに、各個人の運動技能、積極性、ゲーム運営協力度などを評価します。
授業終了時にゲーム内容の後評、ゲーム進行についての後評などを全体として行います。
個人に対して、授業内で、ゲーム中でのプレイや積極性、運営へ協力度についてコメントを適宜行います。

■教科書

【留意事項】特に指定しません。

■参考文献

【留意事項】特に指定しません。

■関連科目

生涯スポーツ２

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

生涯スポーツ教員控室（2号館5階505）・ryota.kawamura@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　オリエンテーション（授業形式：対面実技）

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。日常生活におけるスポーツ実施に向けた意識

予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分
生涯スポーツの意味を理解し、積極的に参加できるように準備を行う。

第2回 ソフトボール　基礎実技１（授業形式：対面実技）

予習内容：ソフトボールのルールの確認。キャッチボールの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：正確なキャッチボールの技能の習得。
復習時間：30分

第3回 ソフトボール　基礎実技２（授業形式：対面実技）

予習内容：ソフトボールのルールの確認。バッティングの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：ソフトボールの攻撃、守備に関する技能の習得。
復習時間：30分

第4回 ソフトボール　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：ソフトボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：ソフトボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第5回 サッカー　基礎実技1（授業形式：対面実技）

予習内容：サッカーのルールの確認。インサイドキックを中心としたキックの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：正確なキック、シュートの技能の習得。
復習時間：30分

第6回 サッカー 基礎実技２（授業形式：対面実技）

予習内容：サッカーのルールの確認。ミニゲームにおけるサッカーの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：サッカーのゲーム展開を考えた技能の習得。
復習時間：30分

第7回 サッカー　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：サッカーのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：サッカーのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第8回 バスケットボール　基礎実技１（授業形式：対面実技）

予習内容：バスケットボールのルールの確認。パス、キャッチの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：正確なパス、キャッチの技能の習得。
復習時間：30分

第9回 バスケットボール　基礎実技２（授業形式：対面実技）

予習内容：バスケットボールのルールの確認。シュートの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：攻守の切り替え、正確なシュートの技能の習得。
復習時間：30分

第10回 バスケットボール　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：バスケットボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：バスケットボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第11回 バレーボール　基礎実技１（授業形式：対面実技）

予習内容：バレーボールのルールの確認。オーバー、アンダーハンドパスの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：正確なオーバー、アンダーハンドパスの技能の習得。
復習時間：30分

第12回 バレーボール　基礎実技２（授業形式：対面実技）

予習内容：バレーボールのルールの確認。サーブの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：バレーボールの攻撃のための技能の習得。
復習時間：30分

第13回 バレーボール　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：バレーボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：バレーボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第14回 ゲーム１　(ソフトボール、サッカー、バスケットボール、バレーボールより選択）（授業形式：対面実技）

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第15回 ゲーム２　(ソフトボール、サッカー、バスケットボール、バレーボールより選択）（授業形式：対面実技）

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**生涯スポーツ１**						
英文名　：	Sports and Exercises 1						
担当者　：	川村　亮太						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】木曜3限						

■授業概要

グラウンド・コミュニティホールを使用し、各種目を個人の体力に合わせて行う。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・実験・実習科目

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

生涯体育のレクリエーション・スポーツとしての理解を深め、この種目の持つ特性と楽しみを知ることを目標とする。健康の保持増進のために必要な身体活動量について経験することを目標にしている。

■成績評価方法および基準

授業への積極的な参加姿勢 60%
授業態度・課題提出・記述内容 40%

■試験・課題に対するフィードバック方法

毎授業ごとに、各個人の運動技能、積極性、ゲーム運営協力度などを評価します。
授業終了時にゲーム内容の後評、ゲーム進行についての後評などを全体として行います。
個人に対して、授業内で、ゲーム中でのプレイや積極性、運営へ協力度についてコメントを適宜行います。

■教科書

【留意事項】特に指定しません。

■参考文献

【留意事項】特に指定しません。

■関連科目

生涯スポーツ２

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

生涯スポーツ教員控室（2号館5階505）・ryota.kawamura@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　オリエンテーション（授業形式：対面実技）

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。日常生活におけるスポーツ実施に向けた意識

予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分
生涯スポーツの意味を理解し、積極的に参加できるように準備を行う。

第2回 ソフトボール　基礎実技１（授業形式：対面実技）

予習内容：ソフトボールのルールの確認。キャッチボールの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：正確なキャッチボールの技能の習得。
復習時間：30分

第3回 ソフトボール　基礎実技２（授業形式：対面実技）

予習内容：ソフトボールのルールの確認。バッティングの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：ソフトボールの攻撃、守備に関する技能の習得。
復習時間：30分

第4回 ソフトボール　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：ソフトボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：ソフトボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第5回 サッカー　基礎実技1（授業形式：対面実技）

予習内容：サッカーのルールの確認。インサイドキックを中心としたキックの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：正確なキック、シュートの技能の習得。
復習時間：30分

第6回 サッカー 基礎実技２（授業形式：対面実技）

予習内容：サッカーのルールの確認。ミニゲームにおけるサッカーの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：サッカーのゲーム展開を考えた技能の習得。
復習時間：30分

第7回 サッカー　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：サッカーのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：サッカーのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第8回 バスケットボール　基礎実技１（授業形式：対面実技）

予習内容：バスケットボールのルールの確認。パス、キャッチの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：正確なパス、キャッチの技能の習得。
復習時間：30分

第9回 バスケットボール　基礎実技２（授業形式：対面実技）

予習内容：バスケットボールのルールの確認。シュートの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：攻守の切り替え、正確なシュートの技能の習得。
復習時間：30分

第10回 バスケットボール　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：バスケットボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：バスケットボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第11回 バレーボール　基礎実技１（授業形式：対面実技）

予習内容：バレーボールのルールの確認。オーバー、アンダーハンドパスの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：正確なオーバー、アンダーハンドパスの技能の習得。
復習時間：30分

第12回 バレーボール　基礎実技２（授業形式：対面実技）

予習内容：バレーボールのルールの確認。サーブの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：バレーボールの攻撃のための技能の習得。
復習時間：30分

第13回 バレーボール　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：バレーボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：バレーボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第14回 ゲーム１　(ソフトボール、サッカー、バスケットボール、バレーボールより選択）（授業形式：対面実技）

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第15回 ゲーム２　(ソフトボール、サッカー、バスケットボール、バレーボールより選択）（授業形式：対面実技）

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**生涯スポーツ 1**						
英文名　：	Sports and Exercises 1						
担当者　：	橋本　剛幸						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】金曜3限						

■授業概要

それぞれの技能･体力に合わせて、生涯スポーツにつながる様々なスポーツを行う。種目や状況に応じて、グランドおよびコミュニティーホールを使用する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

PBL（課題解決学習）・ディスカッション、ディベート・グループワーク・実験・実習科目

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

生涯を通じて付き合っていけるスポーツを見つけることを目標に、能力の個人差や性別を超えてすべての人とそのスポーツの持つ特性を共有し、楽しむことを目指す。
この科目の習得は、本学部の定めるディプロマポリシー2、5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

実技評価 60%
授業態度･意欲[授業内の質問に対する応答、ディスカッション内容] 40%

■試験・課題に対するフィードバック方法

毎授業ごとに、各個人の運動技能、積極性、ゲーム運営協力度などを評価します。
授業終了時にゲーム内容の後評、ゲーム進行についての後評などを全体として行います。
個人に対して、授業内で、ゲーム中でのプレイや積極性、運営へ協力度についてコメントを適宜行います。

■教科書

【留意事項】特に指定しません。

■参考文献

【留意事項】特に指定しません。

■関連科目

特になし。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

生涯スポーツ教員控室（2号館5階505）・yhashimoto@bus.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

授業前後またはメールにて受け付けます。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回目の授業ではオリエンテーションを行う。

受講人数を40名までとするため、人数を超える場合は抽選を行い、受講学生を決定する。
2回目以降は各種目基本的な実技を行い、技能に応じて、ゲームへ移行する。
予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。日常生活におけるスポーツ実施に向けた意識の再確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第1回 オリエンテーション（40名を超える場合は抽選）（授業形式：対面実技）

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。日常生活におけるスポーツ実施に向けた意識の再確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分
生涯スポーツの意味を理解し、積極的に参加できるように準備を行う。

第2回 ソフトボール　基礎実技１（授業形式：対面実技）

予習内容：ソフトボールのルールの確認。キャッチボールの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：正確なキャッチボールの技能の習得。
復習時間：30分

第3回 ソフトボール　基礎実技２（授業形式：対面実技）

予習内容：ソフトボールのルールの確認。バッティングの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：ソフトボールの攻撃、守備に関する技能の習得。
復習時間：30分

第4回 ソフトボール　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：ソフトボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：ソフトボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第5回 サッカー　基礎実技1（授業形式：対面実技）

予習内容：サッカーのルールの確認。インサイドキックを中心としたキックの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：正確なキック、シュートの技能の習得。
復習時間：30分

第6回 サッカー 基礎実技２（授業形式：対面実技）

予習内容：サッカーのルールの確認。ミニゲームにおけるサッカーの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：サッカーのゲーム展開を考えた技能の習得。
復習時間：30分

第7回 サッカー　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：サッカーのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：サッカーのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第8回 バスケットボール　基礎実技１（授業形式：対面実技）

予習内容：バスケットボールのルールの確認。パス、キャッチの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：正確なパス、キャッチの技能の習得。
復習時間：30分

第9回 バスケットボール　基礎実技２（授業形式：対面実技）

予習内容：バスケットボールのルールの確認。シュートの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：攻守の切り替え、正確なシュートの技能の習得。
復習時間：30分

第10回 バスケットボール　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：バスケットボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：バスケットボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第11回 バレーボール　基礎実技１（授業形式：対面実技）

予習内容：バレーボールのルールの確認。オーバー、アンダーハンドパスの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：正確なオーバー、アンダーハンドパスの技能の習得。
復習時間：30分

第12回 バレーボール　基礎実技２（授業形式：対面実技）

予習内容：バレーボールのルールの確認。サーブの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：バレーボールの攻撃のための技能の習得。
復習時間：30分

第13回 バレーボール　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：バレーボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：バレーボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第14回 ゲーム１　(ソフトボール、サッカー、バスケットボール、バレーボールより選択）（授業形式：対面実技）

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第15回 ゲーム２　(ソフトボール、サッカー、バスケットボール、バレーボールより選択）（授業形式：対面実技）

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**生涯スポーツ 1**						
英文名　：	Sports and Exercises 1						
担当者　：	橋本　剛幸						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】金曜4限						

■授業概要

それぞれの技能･体力に合わせて、生涯スポーツにつながる様々なスポーツを行う。種目や状況に応じて、グランドおよびコミュニティーホールを使用する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

PBL（課題解決学習）・ディスカッション、ディベート・グループワーク・実験・実習科目

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

生涯を通じて付き合っていけるスポーツを見つけることを目標に、能力の個人差や性別を超えてすべての人とそのスポーツの持つ特性を共有し、楽しむことを目指す。
この科目の習得は、本学部の定めるディプロマポリシー2、5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

実技評価 60%
授業態度･意欲[授業内の質問に対する応答、ディスカッション内容] 40%

■試験・課題に対するフィードバック方法

毎授業ごとに、各個人の運動技能、積極性、ゲーム運営協力度などを評価します。
授業終了時にゲーム内容の後評、ゲーム進行についての後評などを全体として行います。
個人に対して、授業内で、ゲーム中でのプレイや積極性、運営へ協力度についてコメントを適宜行います。

■教科書

【留意事項】特に指定しません。

■参考文献

【留意事項】特に指定しません。

■関連科目

特になし。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

生涯スポーツ教員控室（2号館5階505）・yhashimoto@bus.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

授業前後またはメールにて受け付けます。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回目の授業ではオリエンテーションを行う。

受講人数を40名までとするため、人数を超える場合は抽選を行い、受講学生を決定する。
2回目以降は各種目基本的な実技を行い、技能に応じて、ゲームへ移行する。
予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。日常生活におけるスポーツ実施に向けた意識の再確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第1回 オリエンテーション（40名を超える場合は抽選）（授業形式：対面実技）

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。日常生活におけるスポーツ実施に向けた意識の再確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分
生涯スポーツの意味を理解し、積極的に参加できるように準備を行う。

第2回 ソフトボール　基礎実技１（授業形式：対面実技）

予習内容：ソフトボールのルールの確認。キャッチボールの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：正確なキャッチボールの技能の習得。
復習時間：30分

第3回 ソフトボール　基礎実技２（授業形式：対面実技）

予習内容：ソフトボールのルールの確認。バッティングの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：ソフトボールの攻撃、守備に関する技能の習得。
復習時間：30分

第4回 ソフトボール　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：ソフトボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：ソフトボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第5回 サッカー　基礎実技1（授業形式：対面実技）

予習内容：サッカーのルールの確認。インサイドキックを中心としたキックの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：正確なキック、シュートの技能の習得。
復習時間：30分

第6回 サッカー 基礎実技２（授業形式：対面実技）

予習内容：サッカーのルールの確認。ミニゲームにおけるサッカーの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：サッカーのゲーム展開を考えた技能の習得。
復習時間：30分

第7回 サッカー　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：サッカーのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：サッカーのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第8回 バスケットボール　基礎実技１（授業形式：対面実技）

予習内容：バスケットボールのルールの確認。パス、キャッチの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：正確なパス、キャッチの技能の習得。
復習時間：30分

第9回 バスケットボール　基礎実技２（授業形式：対面実技）

予習内容：バスケットボールのルールの確認。シュートの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：攻守の切り替え、正確なシュートの技能の習得。
復習時間：30分

第10回 バスケットボール　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：バスケットボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：バスケットボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第11回 バレーボール　基礎実技１（授業形式：対面実技）

予習内容：バレーボールのルールの確認。オーバー、アンダーハンドパスの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：正確なオーバー、アンダーハンドパスの技能の習得。
復習時間：30分

第12回 バレーボール　基礎実技２（授業形式：対面実技）

予習内容：バレーボールのルールの確認。サーブの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：バレーボールの攻撃のための技能の習得。
復習時間：30分

第13回 バレーボール　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：バレーボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：バレーボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第14回 ゲーム１　(ソフトボール、サッカー、バスケットボール、バレーボールより選択）（授業形式：対面実技）

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第15回 ゲーム２　(ソフトボール、サッカー、バスケットボール、バレーボールより選択）（授業形式：対面実技）

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**生涯スポーツ 1**						
英文名　：	Sports and Exercises 1						
担当者　：	山中　恕						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】月曜4限						

■授業概要

グラウンド・コミュニティホールを使用し、各種目を個人の体力に合わせて行う。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・実験・実習科目

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

生涯体育のレクリエーション・スポーツとしての理解を深め、この種目の持つ特性と楽しみを知ることを目標とする。健康の保持増進のために必要な身体活動量について経験することを目標にしている。

■成績評価方法および基準

授業への積極的な参加姿勢 60%
授業態度・課題提出・記述内容 40%

■試験・課題に対するフィードバック方法

毎授業ごとに、各個人の運動技能、積極性、ゲーム運営協力度などを評価します。
授業終了時にゲーム内容の後評、ゲーム進行についての後評などを全体として行います。
個人に対して、授業内で、ゲーム中でのプレイや積極性、運営へ協力度についてコメントを適宜行います。

■教科書

【留意事項】特に指定しません。

■参考文献

【留意事項】特に指定しません。

■関連科目

生涯スポーツ２

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

生涯スポーツ教員控室（2号館5階505）・yuki.yamanaka@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　オリエンテーション（授業形式：対面実技）

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。日常生活におけるスポーツ実施に向けた意識

予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分
生涯スポーツの意味を理解し、積極的に参加できるように準備を行う。

第2回 ソフトボール　基礎実技１（授業形式：対面実技）

予習内容：ソフトボールのルールの確認。キャッチボールの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：正確なキャッチボールの技能の習得。
復習時間：30分

第3回 ソフトボール　基礎実技２（授業形式：対面実技）

予習内容：ソフトボールのルールの確認。バッティングの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：ソフトボールの攻撃、守備に関する技能の習得。
復習時間：30分

第4回 ソフトボール　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：ソフトボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：ソフトボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第5回 サッカー　基礎実技1（授業形式：対面実技）

予習内容：サッカーのルールの確認。インサイドキックを中心としたキックの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：正確なキック、シュートの技能の習得。
復習時間：30分

第6回 サッカー 基礎実技２（授業形式：対面実技）

予習内容：サッカーのルールの確認。ミニゲームにおけるサッカーの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：サッカーのゲーム展開を考えた技能の習得。
復習時間：30分

第7回 サッカー　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：サッカーのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：サッカーのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第8回 バスケットボール　基礎実技１（授業形式：対面実技）

予習内容：バスケットボールのルールの確認。パス、キャッチの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：正確なパス、キャッチの技能の習得。
復習時間：30分

第9回 バスケットボール　基礎実技２（授業形式：対面実技）

予習内容：バスケットボールのルールの確認。シュートの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：攻守の切り替え、正確なシュートの技能の習得。
復習時間：30分

第10回 バスケットボール　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：バスケットボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：バスケットボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第11回 バレーボール　基礎実技１（授業形式：対面実技）

予習内容：バレーボールのルールの確認。オーバー、アンダーハンドパスの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：正確なオーバー、アンダーハンドパスの技能の習得。
復習時間：30分

第12回 バレーボール　基礎実技２（授業形式：対面実技）

予習内容：バレーボールのルールの確認。サーブの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：バレーボールの攻撃のための技能の習得。
復習時間：30分

第13回 バレーボール　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：バレーボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：バレーボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第14回 ゲーム１　(ソフトボール、サッカー、バスケットボール、バレーボールより選択）（授業形式：対面実技）

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第15回 ゲーム２　(ソフトボール、サッカー、バスケットボール、バレーボールより選択）（授業形式：対面実技）

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**生涯スポーツ 1**						
英文名　：	Sports and Exercises 1						
担当者　：	山中　恕						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】月曜3限						

■授業概要

グラウンド・コミュニティホールを使用し、各種目を個人の体力に合わせて行う。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・実験・実習科目

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

生涯体育のレクリエーション・スポーツとしての理解を深め、この種目の持つ特性と楽しみを知ることを目標とする。健康の保持増進のために必要な身体活動量について経験することを目標にしている。

■成績評価方法および基準

授業への積極的な参加姿勢 60%
授業態度・課題提出・記述内容 40%

■試験・課題に対するフィードバック方法

毎授業ごとに、各個人の運動技能、積極性、ゲーム運営協力度などを評価します。
授業終了時にゲーム内容の後評、ゲーム進行についての後評などを全体として行います。
個人に対して、授業内で、ゲーム中でのプレイや積極性、運営へ協力度についてコメントを適宜行います。

■教科書

【留意事項】特に指定しません。

■参考文献

【留意事項】特に指定しません。

■関連科目

生涯スポーツ２

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

生涯スポーツ教員控室（2号館5階505）・yuki.yamanaka@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　オリエンテーション（授業形式：対面実技）

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。日常生活におけるスポーツ実施に向けた意識

予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分
生涯スポーツの意味を理解し、積極的に参加できるように準備を行う。

第2回 ソフトボール　基礎実技１（授業形式：対面実技）

予習内容：ソフトボールのルールの確認。キャッチボールの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：正確なキャッチボールの技能の習得。
復習時間：30分

第3回 ソフトボール　基礎実技２（授業形式：対面実技）

予習内容：ソフトボールのルールの確認。バッティングの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：ソフトボールの攻撃、守備に関する技能の習得。
復習時間：30分

第4回 ソフトボール　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：ソフトボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：ソフトボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第5回 サッカー　基礎実技1（授業形式：対面実技）

予習内容：サッカーのルールの確認。インサイドキックを中心としたキックの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：正確なキック、シュートの技能の習得。
復習時間：30分

第6回 サッカー 基礎実技２（授業形式：対面実技）

予習内容：サッカーのルールの確認。ミニゲームにおけるサッカーの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：サッカーのゲーム展開を考えた技能の習得。
復習時間：30分

第7回 サッカー　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：サッカーのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：サッカーのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第8回 バスケットボール　基礎実技１（授業形式：対面実技）

予習内容：バスケットボールのルールの確認。パス、キャッチの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：正確なパス、キャッチの技能の習得。
復習時間：30分

第9回 バスケットボール　基礎実技２（授業形式：対面実技）

予習内容：バスケットボールのルールの確認。シュートの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：攻守の切り替え、正確なシュートの技能の習得。
復習時間：30分

第10回 バスケットボール　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：バスケットボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：バスケットボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第11回 バレーボール　基礎実技１（授業形式：対面実技）

予習内容：バレーボールのルールの確認。オーバー、アンダーハンドパスの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：正確なオーバー、アンダーハンドパスの技能の習得。
復習時間：30分

第12回 バレーボール　基礎実技２（授業形式：対面実技）

予習内容：バレーボールのルールの確認。サーブの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：バレーボールの攻撃のための技能の習得。
復習時間：30分

第13回 バレーボール　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：バレーボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：バレーボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第14回 ゲーム１　(ソフトボール、サッカー、バスケットボール、バレーボールより選択）（授業形式：対面実技）

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第15回 ゲーム２　(ソフトボール、サッカー、バスケットボール、バレーボールより選択）（授業形式：対面実技）

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**生涯スポーツ２**						
英文名 ：	Sports and Exercises 2						
担当者 ：	川村　亮太						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】水曜3限						

■授業概要

グラウンド・コミュニティホールを使用し、各種目を個人の体力に合わせて行う。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・実験・実習科目

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

生涯体育のレクリエーション・スポーツとしての理解を深め、この種目の持つ特性と楽しみを知ることを目標とする。健康の保持増進のために必要な身体活動量について経験することを目標にしている。

■成績評価方法および基準

授業への積極的な参加姿勢 60%
授業態度・課題提出・記述内容 40%

■試験・課題に対するフィードバック方法

毎授業ごとに、各個人の運動技能、積極性、ゲーム運営協力度などを評価します。
授業終了時にゲーム内容の後評、ゲーム進行についての後評などを全体として行います。
個人に対して、授業内で、ゲーム中でのプレイや積極性、運営へ協力度についてコメントを適宜行います。

■教科書

【留意事項】特に指定しません。

■参考文献

【留意事項】特に指定しません。

■関連科目

生涯スポーツ１

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

生涯スポーツ教員控室（2号館5階505）・ryota.kawamura@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回目の授業ではオリエンテーションを行う。
2回目以降は各種目基本的な実技を行い、技能に応じて、ゲームへ移行する。
予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。日常生活におけるスポーツ実施に向けた意識

の再確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第1回　オリエンテーション（授業形式：対面実技）

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。日常生活におけるスポーツ実施に向けた意識の再確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第2回　ソフトボール　基礎実技（授業形式：対面実技）

予習内容：ソフトボールのルールの確認。攻撃、守備の技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：ソフトボールの作戦を踏まえた攻守の技能の習得。
復習時間：30分

第3回　ソフトボール　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：ソフトボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：ソフトボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第4回　サッカー　基礎実技（授業形式：対面実技）

予習内容：サッカーのルールの確認。サッカーの攻守を踏まえた技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：サッカーのより高いレベルのゲームに向けた技能の習得。
復習時間：30分

第5回　サッカー　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：サッカーのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：サッカーのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第6回　バドミントン 基礎実技１（授業形式：対面実技）

予習内容：バドミントンのルールの確認。シャトルを強く打つための技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：強弱を打ち分けるための技能の習得。
復習時間：30分

第7回　バドミントン　基礎実技２（授業形式：対面実技）

予習内容：バドミントンのルールの確認。サービスの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：ゲームで勝つための技能の習得。
復習時間：30分

第8回　バドミントン　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：バドミントンのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：バドミントンのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第9回　バスケットボール　基礎実技（授業形式：対面実技）

予習内容：バスケットボールのルールの確認。早い攻守の切り替えを踏まえた技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：ゲームで勝つための攻守の技能の習得。
復習時間：30分

第10回　バスケットボール　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：バスケットボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：バスケットボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。

復習時間：30分

第11回 バレーボール　基礎実技（授業形式：対面実技）

予習内容：バレーボールのルールの確認。多彩な攻撃を仕掛けるための技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：ゲームに勝つための攻守の技能の習得。
復習時間：30分

第12回 バレーボール　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：バレーボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：バレーボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第13回 ゲーム１　(ソフトボール,サッカー,バスケットボール,バレーボール,バドミントンより選択）（授業形式：対面実技）

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第14回 ゲーム２　(ソフトボール,サッカー,バスケットボール,バレーボール,バドミントンより選択）（授業形式：対面実技）

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第15回 ゲーム３　(ソフトボール,サッカー,バスケットボール,バレーボール,バドミントンより選択）（授業形式：対面実技）

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**生涯スポーツ２**						
英文名　：	Sports and Exercises 2						
担当者　：	川村　亮太						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】水曜4限						

■授業概要

グラウンド・コミュニティホールを使用し、各種目を個人の体力に合わせて行う。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・実験・実習科目

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

生涯体育のレクリエーション・スポーツとしての理解を深め、この種目の持つ特性と楽しみを知ることを目標とする。健康の保持増進のために必要な身体活動量について経験することを目標にしている。

■成績評価方法および基準

授業への積極的な参加姿勢 60%
授業態度・課題提出・記述内容 40%

■試験・課題に対するフィードバック方法

毎授業ごとに、各個人の運動技能、積極性、ゲーム運営協力度などを評価します。
授業終了時にゲーム内容の後評、ゲーム進行についての後評などを全体として行います。
個人に対して、授業内で、ゲーム中でのプレイや積極性、運営へ協力度についてコメントを適宜行います。

■教科書

【留意事項】特に指定しません。

■参考文献

【留意事項】特に指定しません。

■関連科目

生涯スポーツ１

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

生涯スポーツ教員控室（2号館5階505）・ryota.kawamura@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回目の授業ではオリエンテーションを行う。
2回目以降は各種目基本的な実技を行い、技能に応じて、ゲームへ移行する。
予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。日常生活におけるスポーツ実施に向けた意識

の再確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第1回　オリエンテーション（授業形式：対面実技）

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。日常生活におけるスポーツ実施に向けた意識の再確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第2回　ソフトボール　基礎実技（授業形式：対面実技）

予習内容：ソフトボールのルールの確認。攻撃、守備の技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：ソフトボールの作戦を踏まえた攻守の技能の習得。
復習時間：30分

第3回　ソフトボール　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：ソフトボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：ソフトボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第4回　サッカー　基礎実技（授業形式：対面実技）

予習内容：サッカーのルールの確認。サッカーの攻守を踏まえた技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：サッカーのより高いレベルのゲームに向けた技能の習得。
復習時間：30分

第5回　サッカー　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：サッカーのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：サッカーのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第6回　バドミントン 基礎実技１（授業形式：対面実技）

予習内容：バドミントンのルールの確認。シャトルを強く打つための技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：強弱を打ち分けるための技能の習得。
復習時間：30分

第7回　バドミントン　基礎実技２（授業形式：対面実技）

予習内容：バドミントンのルールの確認。サービスの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：ゲームで勝つための技能の習得。
復習時間：30分

第8回　バドミントン　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：バドミントンのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：バドミントンのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第9回　バスケットボール　基礎実技（授業形式：対面実技）

予習内容：バスケットボールのルールの確認。早い攻守の切り替えを踏まえた技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：ゲームで勝つための攻守の技能の習得。
復習時間：30分

第10回　バスケットボール　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：バスケットボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：バスケットボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。

復習時間：30分

第11回 バレーボール　基礎実技（授業形式：対面実技）

予習内容：バレーボールのルールの確認。多彩な攻撃を仕掛けるための技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：ゲームに勝つための攻守の技能の習得。
復習時間：30分

第12回 バレーボール　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：バレーボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：バレーボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第13回 ゲーム１　(ソフトボール,サッカー,バスケットボール,バレーボール,バドミントンより選択）（授業形式：対面実技）

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第14回 ゲーム２　(ソフトボール,サッカー,バスケットボール,バレーボール,バドミントンより選択）（授業形式：対面実技）

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第15回 ゲーム３　(ソフトボール,サッカー,バスケットボール,バレーボール,バドミントンより選択）（授業形式：対面実技）

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**生涯スポーツ２**						
英文名　：	Sports and Exercises 2						
担当者　：	川村　亮太						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】木曜4限						

■授業概要

グラウンド・コミュニティホールを使用し、各種目を個人の体力に合わせて行う。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・実験・実習科目

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

生涯体育のレクリエーション・スポーツとしての理解を深め、この種目の持つ特性と楽しみを知ることを目標とする。健康の保持増進のために必要な身体活動量について経験することを目標にしている。

■成績評価方法および基準

授業への積極的な参加姿勢 60%
授業態度・課題提出・記述内容 40%

■試験・課題に対するフィードバック方法

毎授業ごとに、各個人の運動技能、積極性、ゲーム運営協力度などを評価します。
授業終了時にゲーム内容の後評、ゲーム進行についての後評などを全体として行います。
個人に対して、授業内で、ゲーム中でのプレイや積極性、運営へ協力度についてコメントを適宜行います。

■教科書

【留意事項】特に指定しません。

■参考文献

【留意事項】特に指定しません。

■関連科目

生涯スポーツ１

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

生涯スポーツ教員控室（2号館5階505）・ryota.kawamura@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回目の授業ではオリエンテーションを行う。
2回目以降は各種目基本的な実技を行い、技能に応じて、ゲームへ移行する。
予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。日常生活におけるスポーツ実施に向けた意識

の再確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第1回　オリエンテーション（授業形式：対面実技）

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。日常生活におけるスポーツ実施に向けた意識の再確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第2回　ソフトボール　基礎実技（授業形式：対面実技）

予習内容：ソフトボールのルールの確認。攻撃、守備の技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：ソフトボールの作戦を踏まえた攻守の技能の習得。
復習時間：30分

第3回　ソフトボール　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：ソフトボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：ソフトボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第4回　サッカー　基礎実技（授業形式：対面実技）

予習内容：サッカーのルールの確認。サッカーの攻守を踏まえた技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：サッカーのより高いレベルのゲームに向けた技能の習得。
復習時間：30分

第5回　サッカー　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：サッカーのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：サッカーのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第6回　バドミントン 基礎実技１（授業形式：対面実技）

予習内容：バドミントンのルールの確認。シャトルを強く打つための技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：強弱を打ち分けるための技能の習得。
復習時間：30分

第7回　バドミントン　基礎実技２（授業形式：対面実技）

予習内容：バドミントンのルールの確認。サービスの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：ゲームで勝つための技能の習得。
復習時間：30分

第8回　バドミントン　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：バドミントンのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：バドミントンのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第9回　バスケットボール　基礎実技（授業形式：対面実技）

予習内容：バスケットボールのルールの確認。早い攻守の切り替えを踏まえた技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：ゲームで勝つための攻守の技能の習得。
復習時間：30分

第10回　バスケットボール　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：バスケットボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：バスケットボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。

復習時間：30分

第11回 バレーボール　基礎実技（授業形式：対面実技）

予習内容：バレーボールのルールの確認。多彩な攻撃を仕掛けるための技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：ゲームに勝つための攻守の技能の習得。
復習時間：30分

第12回 バレーボール　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：バレーボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：バレーボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第13回 ゲーム１　(ソフトボール,サッカー,バスケットボール,バレーボール,バドミントンより選択）（授業形式：対面実技）

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第14回 ゲーム２　(ソフトボール,サッカー,バスケットボール,バレーボール,バドミントンより選択）（授業形式：対面実技）

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第15回 ゲーム３　(ソフトボール,サッカー,バスケットボール,バレーボール,バドミントンより選択）（授業形式：対面実技）

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**生涯スポーツ２**						
英文名　：	Sports and Exercises 2						
担当者　：	川村　亮太						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】木曜5限						

■授業概要

グラウンド・コミュニティホールを使用し、各種目を個人の体力に合わせて行う。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・実験・実習科目

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

生涯体育のレクリエーション・スポーツとしての理解を深め、この種目の持つ特性と楽しみを知ることを目標とする。健康の保持増進のために必要な身体活動量について経験することを目標にしている。

■成績評価方法および基準

授業への積極的な参加姿勢 60%
授業態度・課題提出・記述内容 40%

■試験・課題に対するフィードバック方法

毎授業ごとに、各個人の運動技能、積極性、ゲーム運営協力度などを評価します。
授業終了時にゲーム内容の後評、ゲーム進行についての後評などを全体として行います。
個人に対して、授業内で、ゲーム中でのプレイや積極性、運営へ協力度についてコメントを適宜行います。

■教科書

【留意事項】特に指定しません。

■参考文献

【留意事項】特に指定しません。

■関連科目

生涯スポーツ１

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

生涯スポーツ教員控室（2号館5階505）・ryota.kawamura@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回目の授業ではオリエンテーションを行う。
2回目以降は各種目基本的な実技を行い、技能に応じて、ゲームへ移行する。
予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。日常生活におけるスポーツ実施に向けた意識

の再確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第1回　オリエンテーション（授業形式：対面実技）

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。日常生活におけるスポーツ実施に向けた意識の再確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第2回　ソフトボール　基礎実技（授業形式：対面実技）

予習内容：ソフトボールのルールの確認。攻撃、守備の技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：ソフトボールの作戦を踏まえた攻守の技能の習得。
復習時間：30分

第3回　ソフトボール　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：ソフトボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：ソフトボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第4回　サッカー　基礎実技（授業形式：対面実技）

予習内容：サッカーのルールの確認。サッカーの攻守を踏まえた技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：サッカーのより高いレベルのゲームに向けた技能の習得。
復習時間：30分

第5回　サッカー　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：サッカーのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：サッカーのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第6回　バドミントン 基礎実技１（授業形式：対面実技）

予習内容：バドミントンのルールの確認。シャトルを強く打つための技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：強弱を打ち分けるための技能の習得。
復習時間：30分

第7回　バドミントン　基礎実技２（授業形式：対面実技）

予習内容：バドミントンのルールの確認。サービスの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：ゲームで勝つための技能の習得。
復習時間：30分

第8回　バドミントン　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：バドミントンのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：バドミントンのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第9回　バスケットボール　基礎実技（授業形式：対面実技）

予習内容：バスケットボールのルールの確認。早い攻守の切り替えを踏まえた技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：ゲームで勝つための攻守の技能の習得。
復習時間：30分

第10回　バスケットボール　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：バスケットボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：バスケットボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。

復習時間：30分

第11回 バレーボール　基礎実技（授業形式：対面実技）

予習内容：バレーボールのルールの確認。多彩な攻撃を仕掛けるための技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：ゲームに勝つための攻守の技能の習得。
復習時間：30分

第12回 バレーボール　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：バレーボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：バレーボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第13回 ゲーム１　(ソフトボール,サッカー,バスケットボール,バレーボール,バドミントンより選択）（授業形式：対面実技）

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第14回 ゲーム２　(ソフトボール,サッカー,バスケットボール,バレーボール,バドミントンより選択）（授業形式：対面実技）

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第15回 ゲーム３　(ソフトボール,サッカー,バスケットボール,バレーボール,バドミントンより選択）（授業形式：対面実技）

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**生涯スポーツ２**						
英文名　：	Sports and Exercises 2						
担当者　：	橋本　剛幸						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】金曜4限						

■授業概要

それぞれの技能･体力に合わせて、生涯スポーツにつながる様々なスポーツを行う。種目や状況に応じて、グランドおよびコミュニティーホールを使用する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

PBL（課題解決学習）・ディスカッション、ディベート・グループワーク・実験・実習科目

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

生涯を通じて付き合っていけるスポーツを見つけることを目標に、能力の個人差や性別を超えてすべての人とそのスポーツの持つ特性を共有し、楽しむことを目指す。
この科目の習得は、本学部の定めるディプロマポリシー2，5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

実技評価 60%
授業態度･意欲[授業内の質問に対する応答、ディスカッション内容] 40%

■試験・課題に対するフィードバック方法

毎授業ごとに、各個人の運動技能、積極性、ゲーム運営協力度などを評価します。
授業終了時にゲーム内容の後評、ゲーム進行についての後評などを全体として行います。
個人に対して、授業内で、ゲーム中でのプレイや積極性、運営へ協力度についてコメントを適宜行います。

■教科書

【留意事項】特に指定しません。

■参考文献

【留意事項】特に指定しません。

■関連科目

特になし。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

生涯スポーツ教員控室（2号館5階505）・yhashimoto@bus.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

授業前後またはメールにて受け付けます。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回目の授業ではオリエンテーションを行う。

受講人数を40名までとするため、人数を超える場合は抽選を行い、受講学生を決定する。
2回目以降は、感染予防のガイドラインに従い、各種目基本的な実技を行い、技能や感染予防の観点を踏まえ、ゲームへ移行する。
予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。日常生活におけるスポーツ実施に向けた意識の再確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第1回 オリエンテーション（40名を超えた場合は抽選）（授業形式：対面実技）

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。日常生活におけるスポーツ実施に向けた意識の再確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分
生涯スポーツの意味を理解し、積極的に参加できるように準備を行う。

第2回 ソフトボール　基礎実技（授業形式：対面実技）

予習内容：ソフトボールのルールの確認。攻撃、守備の技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：ソフトボールの作戦を踏まえた攻守の技能の習得。
復習時間：30分

第3回 ソフトボール　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：ソフトボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：ソフトボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第4回 サッカー　基礎実技（授業形式：対面実技）

予習内容：サッカーのルールの確認。サッカーの攻守を踏まえた技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：サッカーのより高いレベルのゲームに向けた技能の習得。
復習時間：30分

第5回 サッカー　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：サッカーのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：サッカーのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第6回 バドミントン 基礎実技１（授業形式：対面実技）

予習内容：バドミントンのルールの確認。シャトルを強く打つための技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：強弱を打ち分けるための技能の習得。
復習時間：30分

第7回 バドミントン　基礎実技２（授業形式：対面実技）

予習内容：バドミントンのルールの確認。サービスの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：ゲームで勝つための技能の習得。
復習時間：30分

第8回 バドミントン　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：バドミントンのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：バドミントンのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第9回 バスケットボール　基礎実技（授業形式：対面実技）

予習内容：バスケットボールのルールの確認。早い攻守の切り替えを踏まえた技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：ゲームで勝つための攻守の技能の習得。

復習時間：30分

第10回　バスケットボール　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：バスケットボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：バスケットボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第11回　バレーボール　基礎実技（授業形式：対面実技）

予習内容：バレーボールのルールの確認。多彩な攻撃を仕掛けるための技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：ゲームに勝つための攻守の技能の習得。
復習時間：30分

第12回　バレーボール　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：バレーボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：バレーボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第13回　ゲーム１　(ソフトボール,サッカー,バスケットボール,バレーボール,バドミントンより選択）（授業形式：対面実技）

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第14回　ゲーム２　(ソフトボール,サッカー,バスケットボール,バレーボール,バドミントンより選択）（授業形式：対面実技）

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第15回　ゲーム３　(ソフトボール,サッカー,バスケットボール,バレーボール,バドミントンより選択）（授業形式：対面実技）

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**生涯スポーツ２**						
英文名　：	Sports and Exercises 2						
担当者　：	山中　恕						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】月曜3限						

■授業概要

グラウンド・コミュニティホールを使用し、各種目を個人の体力に合わせて行う。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・実験・実習科目

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

生涯体育のレクリエーション・スポーツとしての理解を深め、この種目の持つ特性と楽しみを知ることを目標とする。健康の保持増進のために必要な身体活動量について経験することを目標にしている。

■成績評価方法および基準

授業への積極的な参加姿勢 60%
授業態度・課題提出・記述内容 40%

■試験・課題に対するフィードバック方法

毎授業ごとに、各個人の運動技能、積極性、ゲーム運営協力度などを評価します。
授業終了時にゲーム内容の後評、ゲーム進行についての後評などを全体として行います。
個人に対して、授業内で、ゲーム中でのプレイや積極性、運営へ協力度についてコメントを適宜行います。

■教科書

【留意事項】特に指定しません。

■参考文献

【留意事項】特に指定しません。

■関連科目

生涯スポーツ１

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

生涯スポーツ教員控室（2号館5階505）・yuki.yamanaka@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回目の授業ではオリエンテーションを行う。
2回目以降は各種目基本的な実技を行い、技能に応じて、ゲームへ移行する。
予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。日常生活におけるスポーツ実施に向けた意識

の再確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第1回　オリエンテーション（授業形式：対面実技）

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。日常生活におけるスポーツ実施に向けた意識の再確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第2回　ソフトボール　基礎実技（授業形式：対面実技）

予習内容：ソフトボールのルールの確認。攻撃、守備の技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：ソフトボールの作戦を踏まえた攻守の技能の習得。
復習時間：30分

第3回　ソフトボール　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：ソフトボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：ソフトボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第4回　サッカー　基礎実技（授業形式：対面実技）

予習内容：サッカーのルールの確認。サッカーの攻守を踏まえた技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：サッカーのより高いレベルのゲームに向けた技能の習得。
復習時間：30分

第5回　サッカー　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：サッカーのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：サッカーのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第6回　バドミントン 基礎実技１（授業形式：対面実技）

予習内容：バドミントンのルールの確認。シャトルを強く打つための技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：強弱を打ち分けるための技能の習得。
復習時間：30分

第7回　バドミントン　基礎実技２（授業形式：対面実技）

予習内容：バドミントンのルールの確認。サービスの技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：ゲームで勝つための技能の習得。
復習時間：30分

第8回　バドミントン　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：バドミントンのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：バドミントンのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第9回　バスケットボール　基礎実技（授業形式：対面実技）

予習内容：バスケットボールのルールの確認。早い攻守の切り替えを踏まえた技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：ゲームで勝つための攻守の技能の習得。
復習時間：30分

第10回　バスケットボール　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：バスケットボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：バスケットボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。

復習時間：30分

第11回 バレーボール　基礎実技（授業形式：対面実技）

予習内容：バレーボールのルールの確認。多彩な攻撃を仕掛けるための技能の確認。
予習時間：30分
復習内容：ゲームに勝つための攻守の技能の習得。
復習時間：30分

第12回 バレーボール　ゲーム（授業形式：対面実技）

予習内容：バレーボールのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：バレーボールのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第13回 ゲーム１　(ソフトボール,サッカー,バスケットボール,バレーボール,バドミントンより選択）（授業形式：対面実技）

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第14回 ゲーム２　(ソフトボール,サッカー,バスケットボール,バレーボール,バドミントンより選択）（授業形式：対面実技）

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

第15回 ゲーム３　(ソフトボール,サッカー,バスケットボール,バレーボール,バドミントンより選択）（授業形式：対面実技）

予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。
予習時間：30分
復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。
復習時間：30分

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**日本近現代史**						
英文名　：	Modern Japanese History						
担当者　：	長沢　一恵						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】火曜3限						

■授業概要

明治維新からアジア・太平洋戦争前後の日本歴史の流れを、おもに「デモクラシーの発展と平和の模索」のテーマから理解します。開国によって近代国家として出発した日本は、大日本帝国憲法のもとで大正デモクラシー期には民衆の社会要求や権利意識の高まりを背景として多彩な言論や社会運動を展開し、政党政治の成立へと結実するとともに、一方では差別や植民地支配、戦争、移民問題など複雑で多面的な課題を抱える社会でした。

講義では、こうした内外の問題を広く捉えながら、差別・戦争・植民地統治・ナショナリズムといった20世紀が抱えていた諸問題の解決を図るなかで追求された「民主主義」や「平和」の価値を見直すことによって、これからの国際社会のあり方を考える手がかりにしたいと考えます。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・フィールドワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

①日本現近代史の基礎的な知識や流れを学ぶ。
②多様で重層的な社会構造や国際関係のなかで歴史を捉える相対化の視点を養う。
③戦後に継承される民主主義や平和の意義について理解を深める。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的１および２の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 60%
授業中に行う小レポート 40%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後（試験期間終了後）に「試験の要点と解説」をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■教科書

【留意事項】教科書は使用せず、講義プリントを配付します。

■参考文献

[ISBN]9784004307679 『日本の近代思想』（鹿野政直、岩波新書：2002）
[ISBN]9784004309550 『戦後史』（中村政則、岩波新書：2005）
[ISBN]なし 『日本近代史辞典』（東洋経済新報社：1958）
[ISBN]9784634622005 『日本外交史辞典（新版）』（山川出版社：1992）
『国史大辞典　1巻～15巻（全17冊）』（吉川弘文館：1979～1997）
『シリーズ日本近現代史　全10巻』（岩波新書：2006～2010）
『日本近代の歴史　1巻～6巻』（吉川弘文館：2016～2017）
『日本の時代史　18巻～30巻』（吉川弘文館：2003～2004）
『日本の歴史　20巻～25巻』（講談社：2002～2003）
『日本史リブレット』シリーズ各本、『世界史リブレット』シリーズ各本（山川出版社、1996～）

■関連科目

暮らしのなかの憲法、人権と社会1・2、国際社会と日本

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階254）・1069f8@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講期間の火曜5限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　幕末から明治維新へ（授業形式：講義）

予習内容：（1）シラバスを読み、講義概要を把握する。
（2）図書館で、本講義のシラバスに記載された辞典や参考文献の配架場所を確認し、以後の講義で活用できるように準備する。
（3）クリアファイル（A４サイズ）、ノートまたはルーズリーフ（様式自由）を持参する。
予習時間：30分
復習内容：講義プリント①「明治維新と自由民権運動」および講義中に自分で作成したノートを読み返し、明治維新により近代日本出発の新方針として提示された「五箇条の御誓文」など諸改革から読み取れる近世封建制（身分制秩序）の解体と近代社会への移行における歴史経緯や意義について、整理して確認・理解する。
尚、不明な事柄、興味をもった事柄は、さらに辞典・参考文献などを調べて自分で学習を進めること。
復習時間：30分

第2回　自由民権運動のたかまり（授業形式：講義）

予習内容：講義プリント①「明治維新と自由民権運動」を読み、「近代」、「明治維新」、「殖産興業政策」、「自由民権運動」、「国会開設運動」、「私擬憲法」など、について辞典・参考文献・年表を活用して予習する。
予習時間：30分
復習内容：講義プリント①「明治維新と自由民権運動」および自筆ノートを読み返し、明治初期の藩閥政治に対して展開された「自由民権運動」の歴史経緯や、「民選議院設立建白書」や福沢諭吉・植木枝盛たちが掲げた「私擬憲法」の主張や意義について、整理して確認・理解する。
尚、不明な事柄、興味をもった事柄は、さらに辞典・参考文献などを調べて自分で学習を進めること。
復習時間：30分

第3回　明治憲法体制の成立（1）（授業形式：講義）

予習内容：講義プリント②「明治憲法体制の成立」を読み、「明治十四年の政変」、「国会開設の勅諭」、「大日本帝国憲法」、「明治憲法体制」、および「日本国憲法」など、について辞典・参考文献・年表を活用して予習する。
予習時間：30分
復習内容：講義プリント②「明治憲法体制の成立」および自筆ノートを読み返し、1889(明治22)年に発布された「大日本帝国憲法」(明治憲法)と、戦後の1946(昭和21）年に公布された「日本国憲法」(現行憲法)の内容を比較しながら、主権の所在、権利・自由の規定、政治構造の相違などについて、整理して確認・理解する。
尚、不明な事柄、興味をもった事柄は、さらに辞典・参考文献などを調べて自分で学習を進めること。
復習時間：30分

第4回　明治憲法体制の成立（2）（授業形式：講義）

予習内容：講義プリント②「明治憲法体制の成立」を読み、「帝国議会」、「衆議院議員選挙法」、「元老」、「軍部大臣現役武官制」、「初期議会」など、について辞典・参考文献・年表を活用して予習する。
予習時間：30分
復習内容：講義プリント②「明治憲法体制の成立」および自筆ノートを読み返し、近代日本の出発点である「明治憲法体制」における問題点や評価点を把握し、現代につながる民主主義への発達の課題について、整理して確認・理解する。
尚、不明な事柄、興味をもった事柄は、さらに辞典・参考文献などを調べて自分で学習を進めること。
復習時間：30分

第5回　日清・日露戦争（授業形式：講義）

予習内容：講義プリント③「日清・日露戦争と社会問題の発生」を読み、「日清戦争」、「下関条約」、「日露戦争」、「ポーツマス条約」、「日比谷焼打ち事件」、「日韓併合」、「辛亥革命」など、について辞典・参考文献・年表を活用して予習する。
予習時間：30分
復習内容：講義プリント③「日清・日露戦争と社会問題の発生」および自筆ノートを読み返し、「日清戦争」「日露戦争」をめぐる近代東アジア国際情勢を理解すると共に、両近代戦争を通じて明治中後期の日本が直面した社会問題とそれに対する社会要求の高まりや政治改革要求の動向と意義について、整理して確認・理解する。

尚、不明な事柄、興味をもった事柄は、さらに辞典・参考文献などを調べて自分で学習を進めること。
復習時間：30分

第6回　第一次護憲運動と大正政変（授業形式：講義）

予習内容：講義プリント④「大正デモクラシーの展開」を読み、「憲政擁護運動」、「大正政変」、「米騒動」、「大正デモクラシー」、「原敬内閣（原内閣）」、「政党政治」など、について辞典・参考文献・年表を活用して予習する。
予習時間：30分
復習内容：講義プリント④「大正デモクラシーの展開」および自筆ノートを読み返し、「大正デモクラシー」として展開した近代日本の民主主義の発達について、藩閥政治に交代して登場した政党政治、および第一次護憲運動・大正政変や米騒動と原敬内閣の成立といった歴史経緯と意義について、整理して確認・理解する。
尚、不明な事柄、興味をもった事柄は、さらに辞典・参考文献などを調べて自分で学習を進めること。
復習時間：30分

第7回　大正デモクラシーと憲法論争（授業形式：講義）

予習内容：講義プリント④「大正デモクラシーの展開」を読み、美濃部達吉「天皇機関説」、吉野作造「民本主義」、「ロンドン海軍軍縮条約」、「天皇機関説問題（国体明徴問題）」など、について辞典・参考文献・年表を活用して予習する。
予習時間：30分
復習内容：講義プリント④「大正デモクラシーの展開」および自筆ノートを読み返し、美濃部達吉「天皇機関説」、吉野作造「民本主義」に代表される大正デモクラシーの政治思想・社会哲学の内容と意義について、整理して確認・理解する。
尚、不明な事柄、興味をもった事柄は、さらに辞典・参考文献などを調べて自分で学習を進めること。
復習時間：30分

第8回　大正デモクラシーの展開（授業形式：講義）

予習内容：講義プリント④「大正デモクラシーの展開」を読み、「普選運動」、「普通選挙法」、「治安維持法」、「友愛会」、「青鞜社」、「全国水平社」、「三・一運動（朝鮮独立運動）」、「霧社事件」、「内務省社会局」など、について辞典・参考文献・年表を活用して予習する。
予習時間：30分
復習内容：講義プリント④「大正デモクラシーの展開」および自筆ノートを読み返し、大正デモクラシー期に民衆の社会要求の高まりを背景として展開した普通選挙運動、労働運動、婦人運動、被差別部落撤廃運動、植民地の独立／自治運動といった様々な差別・人権問題の解決・改善への取り組みについて、現代日本社会の課題とも関連させながら整理して確認・理解する。
尚、不明な事柄、興味をもった事柄は、さらに辞典・参考文献などを調べて自分で学習を進めること。
復習時間：30分

第9回　琉球処分と「沖縄県」設置（授業形式：講義）

予習内容：講義プリント⑤「琉球処分と「沖縄県」設置」を読み、「琉球（琉球王国）」、「琉球処分」、「琉球帰属問題」、尚泰（琉球王）など、について辞典・参考文献・年表を活用して予習する。
予習時間：30分
復習内容：講義プリント⑤「琉球処分と「沖縄県」設置」および自筆ノートを読み返し、14世紀以降の「琉球王国」の歴史を理解すると共に、近代東アジア国際関係の変化のなかで「琉球帰属問題」を経て日本の「沖縄県」へ編入された歴史経緯と問題点について、整理して確認・理解する。
尚、不明な事柄、興味をもった事柄は、さらに辞典・参考文献などを調べて自分で学習を進めること。
復習時間：30分

第10回　「旧慣温存政策」と同化政策（授業形式：講義）

予習内容：講義プリント⑥「ソテツ地獄と伊波普猷」を読み、「沖縄」、「旧慣温存政策」、「方言札」、「同化政策」など、について辞典・参考文献・年表を活用して予習する。
予習時間：30分
復習内容：講義プリント⑥「ソテツ地獄と伊波普猷」をおよび自筆ノートを読み返し、明治政府が沖縄やアイヌに対して行った「旧慣温存政策」、および国語（標準語）教育による沖縄語・アイヌ語の排除など同化政策、「ソテツ地獄」にみられる経済破綻問題について、整理して確認・理解する。
尚、不明な事柄、興味をもった事柄は、さらに辞典・参考文献などを調べて自分で学習を進めること。
復習時間：30分

第11回　「ソテツ地獄」と伊波普猷（授業形式：講義）

予習内容：講義プリント⑥「ソテツ地獄と伊波普猷」を読み、伊波普猷『古琉球』、「沖縄方言論争」、柳田国男、柳宗悦、「民芸運動」など、について辞典・参考文献・年表を活用して予習する。
予習時間：30分
復習内容：講義プリント⑥「ソテツ地獄と伊波普猷」および自筆ノートを読み返し、伊波普猷が著書『古琉球』の中で主張した沖縄アイデンティティの回復とその意味について整理して確認・理解する。
尚、不明な事柄、興味をもった事柄は、さらに辞典・参考文献などを調べて自分で学習を進めること。
復習時間：30分

第12回 アジア・太平洋戦争と「沖縄戦」（授業形式：講義）

予習内容：講義プリント⑦「アジア・太平洋戦争と沖縄戦」を読み、「太平洋戦争（アジア・太平洋戦争）」、「沖縄戦（沖縄の戦）」、「ひめゆり部隊」など、について辞典・参考文献・年表を活用して予習する。
予習時間：30分
復習内容：講義プリント⑦「アジア・太平洋戦争と沖縄戦」および自筆ノートを読み返し、昭和前期のアジア・太平洋戦争の最後段階で行われた10・10空襲に始まる「沖縄戦」の経緯、および「鉄の暴風」「集団自決」といった甚大な住民被害について、東京・大阪大空襲や広島・長崎への原爆投下、アジア・太平洋地域の戦争被害、さらにアウシュビッツ強制収容所、など世界規模で起こった近代戦争の問題点や被害とも関連させながら整理して確認・理解する。
尚、不明な事柄、興味をもった事柄は、さらに辞典・参考文献などを調べて自分で学習を進めること。
復習時間：30分

第13回 米軍統治と「琉球政府」（授業形式：講義）

予習内容：講義プリント⑧「米軍統治と「琉球政府」」を読み、「サンフランシスコ講和条約」、「沖縄問題」、「琉球政府」、「冷戦（冷たい戦争）」、「嘉手納基地」など、について辞典・参考文献・年表を活用して予習する。
予習時間：30分
復習内容：講義プリント⑧「米軍統治と「琉球政府」」および自筆ノートを読み返し、アジア・太平洋戦争の終結のために日本と連合国間で締結された「サンフランシスコ講和条約」に伴う沖縄のアメリカ統治の開始、および東西冷戦下のアメリカによるベトナム戦争遂行と沖縄における巨大基地の建設の歴史経緯と問題点について、整理して確認・理解する。
尚、不明な事柄、興味をもった事柄は、さらに辞典・参考文献などを調べて自分で学習を進めること。
復習時間：30分

第14回 沖縄「復帰運動」（授業形式：講義）

予習内容：講義プリント⑨「沖縄「復帰運動」と基地問題」を読み、「祖国復帰協議会」、「沖縄返還協定」など、について辞典・参考文献・年表を活用して予習する。
予習時間：30分
復習内容：講義プリント⑨「沖縄「復帰運動」と基地問題」および自筆ノートを読み返し、冷戦下の巨大基地の拡大にともなう沖縄住民の被害と「復帰運動」の高まり、および日米政府間での「沖縄返還協定」と「安全保障条約」「地位協定」により基地を保持したままの返還となった歴史経緯と課題について、現代日本社会における沖縄問題とも関連させながら整理して確認・理解する。
尚、不明な事柄、興味をもった事柄は、さらに辞典・参考文献などを調べて自分で学習を進めること。
復習時間：30分

第15回 現代日本と沖縄基地問題（授業形式：講義）

予習内容：講義プリント⑨「沖縄「復帰運動」と基地問題」を読み、「日米安全保障条約」、「日米地位協定」、「基地問題」など、について辞典・参考文献・年表を活用して予習する。
予習時間：30分
復習内容：定期試験にあたって、講義プリント・配布資料・自筆ノート、および辞典・参考文献も参考にしながら、全体の歴史経緯や意義を整理して確認・理解するとともに、現代日本社会への提言となるように自分の意見をまとめること。
復習時間：120分

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**日本近現代史**						
英文名　：	Modern Japanese History						
担当者　：	長沢　一恵						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】火曜4限						

■授業概要

明治維新からアジア・太平洋戦争前後の日本歴史の流れを、おもに「デモクラシーの発展と平和の模索」のテーマから理解します。開国によって近代国家として出発した日本は、大日本帝国憲法のもとで大正デモクラシー期には民衆の社会要求や権利意識の高まりを背景として多彩な言論や社会運動を展開し、政党政治の成立へと結実するとともに、一方では差別や植民地支配、戦争、移民問題など複雑で多面的な課題を抱える社会でした。

講義では、こうした内外の問題を広く捉えながら、差別・戦争・植民地統治・ナショナリズムといった20世紀が抱えていた諸問題の解決を図るなかで追求された「民主主義」や「平和」の価値を見直すことによって、これからの国際社会のあり方を考える手がかりにしたいと考えます。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・フィールドワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

①日本現近代史の基礎的な知識や流れを学ぶ。
②多様で重層的な社会構造や国際関係のなかで歴史を捉える相対化の視点を養う。
③戦後に継承される民主主義や平和の意義について理解を深める。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的１および２の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 60%
授業中に行う小レポート 40%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後（試験期間終了後）に「試験の要点と解説」をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■教科書

【留意事項】教科書は使用せず、講義プリントを配付します。

■参考文献

[ISBN]9784004307679 『日本の近代思想』（鹿野政直、岩波新書：2002）
[ISBN]9784004309550 『戦後史』（中村政則、岩波新書：2005）
[ISBN]なし 『日本近代史辞典』（東洋経済新報社：1958）
[ISBN]9784634622005 『日本外交史辞典（新版）』（山川出版社：1992）
『国史大辞典　1巻～15巻（全17冊）』（吉川弘文館：1979～1997）
『シリーズ日本近現代史　全10巻』（岩波新書：2006～2010）
『日本近代の歴史　1巻～6巻』（吉川弘文館：2016～2017）
『日本の時代史　18巻～30巻』（吉川弘文館：2003～2004）
『日本の歴史　20巻～25巻』（講談社：2002～2003）
『日本史リブレット』シリーズ各本、『世界史リブレット』シリーズ各本（山川出版社、1996～）

■関連科目

暮らしのなかの憲法、人権と社会1・2、国際社会と日本

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階254）・1069f8@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講期間の火曜5限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　幕末から明治維新へ（授業形式：講義）

予習内容：（1）シラバスを読み、講義概要を把握する。
（2）図書館で、本講義のシラバスに記載された辞典や参考文献の配架場所を確認し、以後の講義で活用できるように準備する。
（3）クリアファイル（A４サイズ）、ノートまたはルーズリーフ（様式自由）を持参する。
予習時間：30分
復習内容：講義プリント①「明治維新と自由民権運動」および講義中に自分で作成したノートを読み返し、明治維新により近代日本出発の新方針として提示された「五箇条の御誓文」など諸改革から読み取れる近世封建制（身分制秩序）の解体と近代社会への移行における歴史経緯や意義について、整理して確認・理解する。
尚、不明な事柄、興味をもった事柄は、さらに辞典・参考文献などを調べて自分で学習を進めること。
復習時間：30分

第2回　自由民権運動のたかまり（授業形式：講義）

予習内容：講義プリント①「明治維新と自由民権運動」を読み、「近代」、「明治維新」、「殖産興業政策」、「自由民権運動」、「国会開設運動」、「私擬憲法」など、について辞典・参考文献・年表を活用して予習する。
予習時間：30分
復習内容：講義プリント①「明治維新と自由民権運動」および自筆ノートを読み返し、明治初期の藩閥政治に対して展開された「自由民権運動」の歴史経緯や、「民選議院設立建白書」や福沢諭吉・植木枝盛たちが掲げた「私擬憲法」の主張や意義について、整理して確認・理解する。
尚、不明な事柄、興味をもった事柄は、さらに辞典・参考文献などを調べて自分で学習を進めること。
復習時間：30分

第3回　明治憲法体制の成立（1）（授業形式：講義）

予習内容：講義プリント②「明治憲法体制の成立」を読み、「明治十四年の政変」、「国会開設の勅諭」、「大日本帝国憲法」、「明治憲法体制」、および「日本国憲法」など、について辞典・参考文献・年表を活用して予習する。
予習時間：30分
復習内容：講義プリント②「明治憲法体制の成立」および自筆ノートを読み返し、1889(明治22)年に発布された「大日本帝国憲法」(明治憲法)と、戦後の1946(昭和21）年に公布された「日本国憲法」(現行憲法)の内容を比較しながら、主権の所在、権利・自由の規定、政治構造の相違などについて、整理して確認・理解する。
尚、不明な事柄、興味をもった事柄は、さらに辞典・参考文献などを調べて自分で学習を進めること。
復習時間：30分

第4回　明治憲法体制の成立（2）（授業形式：講義）

予習内容：講義プリント②「明治憲法体制の成立」を読み、「帝国議会」、「衆議院議員選挙法」、「元老」、「軍部大臣現役武官制」、「初期議会」など、について辞典・参考文献・年表を活用して予習する。
予習時間：30分
復習内容：講義プリント②「明治憲法体制の成立」および自筆ノートを読み返し、近代日本の出発点である「明治憲法体制」における問題点や評価点を把握し、現代につながる民主主義への発達の課題について、整理して確認・理解する。
尚、不明な事柄、興味をもった事柄は、さらに辞典・参考文献などを調べて自分で学習を進めること。
復習時間：30分

第5回　日清・日露戦争（授業形式：講義）

予習内容：講義プリント③「日清・日露戦争と社会問題の発生」を読み、「日清戦争」、「下関条約」、「日露戦争」、「ポーツマス条約」、「日比谷焼打ち事件」、「日韓併合」、「辛亥革命」など、について辞典・参考文献・年表を活用して予習する。
予習時間：30分
復習内容：講義プリント③「日清・日露戦争と社会問題の発生」および自筆ノートを読み返し、「日清戦争」「日露戦争」をめぐる近代東アジア国際情勢を理解すると共に、両近代戦争を通じて明治中後期の日本が直面した社会問題とそれに対する社会要求の高まりや政治改革要求の動向と意義について、整理して確認・理解する。

尚、不明な事柄、興味をもった事柄は、さらに辞典・参考文献などを調べて自分で学習を進めること。
復習時間：30分

第6回　第一次護憲運動と大正政変（授業形式：講義）

予習内容：講義プリント④「大正デモクラシーの展開」を読み、「憲政擁護運動」、「大正政変」、「米騒動」、「大正デモクラシー」、「原敬内閣（原内閣）」、「政党政治」など、について辞典・参考文献・年表を活用して予習する。
予習時間：30分
復習内容：講義プリント④「大正デモクラシーの展開」および自筆ノートを読み返し、「大正デモクラシー」として展開した近代日本の民主主義の発達について、藩閥政治に交代して登場した政党政治、および第一次護憲運動・大正政変や米騒動と原敬内閣の成立といった歴史経緯と意義について、整理して確認・理解する。
尚、不明な事柄、興味をもった事柄は、さらに辞典・参考文献などを調べて自分で学習を進めること。
復習時間：30分

第7回　大正デモクラシーと憲法論争（授業形式：講義）

予習内容：講義プリント④「大正デモクラシーの展開」を読み、美濃部達吉「天皇機関説」、吉野作造「民本主義」、「ロンドン海軍軍縮条約」、「天皇機関説問題（国体明徴問題）」など、について辞典・参考文献・年表を活用して予習する。
予習時間：30分
復習内容：講義プリント④「大正デモクラシーの展開」および自筆ノートを読み返し、美濃部達吉「天皇機関説」、吉野作造「民本主義」に代表される大正デモクラシーの政治思想・社会哲学の内容と意義について、整理して確認・理解する。
尚、不明な事柄、興味をもった事柄は、さらに辞典・参考文献などを調べて自分で学習を進めること。
復習時間：30分

第8回　大正デモクラシーの展開（授業形式：講義）

予習内容：講義プリント④「大正デモクラシーの展開」を読み、「普選運動」、「普通選挙法」、「治安維持法」、「友愛会」、「青鞜社」、「全国水平社」、「三・一運動（朝鮮独立運動）」、「霧社事件」、「内務省社会局」など、について辞典・参考文献・年表を活用して予習する。
予習時間：30分
復習内容：講義プリント④「大正デモクラシーの展開」および自筆ノートを読み返し、大正デモクラシー期に民衆の社会要求の高まりを背景として展開した普通選挙運動、労働運動、婦人運動、被差別部落撤廃運動、植民地の独立／自治運動といった様々な差別・人権問題の解決・改善への取り組みについて、現代日本社会の課題とも関連させながら整理して確認・理解する。
尚、不明な事柄、興味をもった事柄は、さらに辞典・参考文献などを調べて自分で学習を進めること。
復習時間：30分

第9回　琉球処分と「沖縄県」設置（授業形式：講義）

予習内容：講義プリント⑤「琉球処分と「沖縄県」設置」を読み、「琉球（琉球王国）」、「琉球処分」、「琉球帰属問題」、尚泰（琉球王）など、について辞典・参考文献・年表を活用して予習する。
予習時間：30分
復習内容：講義プリント⑤「琉球処分と「沖縄県」設置」および自筆ノートを読み返し、14世紀以降の「琉球王国」の歴史を理解すると共に、近代東アジア国際関係の変化のなかで「琉球帰属問題」を経て日本の「沖縄県」へ編入された歴史経緯と問題点について、整理して確認・理解する。
尚、不明な事柄、興味をもった事柄は、さらに辞典・参考文献などを調べて自分で学習を進めること。
復習時間：30分

第10回　「旧慣温存政策」と同化政策（授業形式：講義）

予習内容：講義プリント⑥「ソテツ地獄と伊波普猷」を読み、「沖縄」、「旧慣温存政策」、「方言札」、「同化政策」など、について辞典・参考文献・年表を活用して予習する。
予習時間：30分
復習内容：講義プリント⑥「ソテツ地獄と伊波普猷」をおよび自筆ノートを読み返し、明治政府が沖縄やアイヌに対して行った「旧慣温存政策」、および国語（標準語）教育による沖縄語・アイヌ語の排除など同化政策、「ソテツ地獄」にみられる経済破綻問題について、整理して確認・理解する。
尚、不明な事柄、興味をもった事柄は、さらに辞典・参考文献などを調べて自分で学習を進めること。
復習時間：30分

第11回　「ソテツ地獄」と伊波普猷（授業形式：講義）

予習内容：講義プリント⑥「ソテツ地獄と伊波普猷」を読み、伊波普猷『古琉球』、「沖縄方言論争」、柳田国男、柳宗悦、「民芸運動」など、について辞典・参考文献・年表を活用して予習する。
予習時間：30分
復習内容：講義プリント⑥「ソテツ地獄と伊波普猷」および自筆ノートを読み返し、伊波普猷が著書『古琉球』の中で主張した沖縄アイデンティティの回復とその意味について整理して確認・理解する。
尚、不明な事柄、興味をもった事柄は、さらに辞典・参考文献などを調べて自分で学習を進めること。
復習時間：30分

第12回 アジア・太平洋戦争と「沖縄戦」（授業形式：講義）

予習内容：講義プリント⑦「アジア・太平洋戦争と沖縄戦」を読み、「太平洋戦争（アジア・太平洋戦争）」、「沖縄戦（沖縄の戦）」、「ひめゆり部隊」など、について辞典・参考文献・年表を活用して予習する。
予習時間：30分
復習内容：講義プリント⑦「アジア・太平洋戦争と沖縄戦」および自筆ノートを読み返し、昭和前期のアジア・太平洋戦争の最後段階で行われた10・10空襲に始まる「沖縄戦」の経緯、および「鉄の暴風」「集団自決」といった甚大な住民被害について、東京・大阪大空襲や広島・長崎への原爆投下、アジア・太平洋地域の戦争被害、さらにアウシュビッツ強制収容所、など世界規模で起こった近代戦争の問題点や被害とも関連させながら整理して確認・理解する。
尚、不明な事柄、興味をもった事柄は、さらに辞典・参考文献などを調べて自分で学習を進めること。
復習時間：30分

第13回 米軍統治と「琉球政府」（授業形式：講義）

予習内容：講義プリント⑧「米軍統治と「琉球政府」」を読み、「サンフランシスコ講和条約」、「沖縄問題」、「琉球政府」、「冷戦（冷たい戦争）」、「嘉手納基地」など、について辞典・参考文献・年表を活用して予習する。
予習時間：30分
復習内容：講義プリント⑧「米軍統治と「琉球政府」」および自筆ノートを読み返し、アジア・太平洋戦争の終結のために日本と連合国間で締結された「サンフランシスコ講和条約」に伴う沖縄のアメリカ統治の開始、および東西冷戦下のアメリカによるベトナム戦争遂行と沖縄における巨大基地の建設の歴史経緯と問題点について、整理して確認・理解する。
尚、不明な事柄、興味をもった事柄は、さらに辞典・参考文献などを調べて自分で学習を進めること。
復習時間：30分

第14回 沖縄「復帰運動」（授業形式：講義）

予習内容：講義プリント⑨「沖縄「復帰運動」と基地問題」を読み、「祖国復帰協議会」、「沖縄返還協定」など、について辞典・参考文献・年表を活用して予習する。
予習時間：30分
復習内容：講義プリント⑨「沖縄「復帰運動」と基地問題」および自筆ノートを読み返し、冷戦下の巨大基地の拡大にともなう沖縄住民の被害と「復帰運動」の高まり、および日米政府間での「沖縄返還協定」と「安全保障条約」「地位協定」により基地を保持したままの返還となった歴史経緯と課題について、現代日本社会における沖縄問題とも関連させながら整理して確認・理解する。
尚、不明な事柄、興味をもった事柄は、さらに辞典・参考文献などを調べて自分で学習を進めること。
復習時間：30分

第15回 現代日本と沖縄基地問題（授業形式：講義）

予習内容：講義プリント⑨「沖縄「復帰運動」と基地問題」を読み、「日米安全保障条約」、「日米地位協定」、「基地問題」など、について辞典・参考文献・年表を活用して予習する。
予習時間：30分
復習内容：定期試験にあたって、講義プリント・配布資料・自筆ノート、および辞典・参考文献も参考にしながら、全体の歴史経緯や意義を整理して確認・理解するとともに、現代日本社会への提言となるように自分の意見をまとめること。
復習時間：120分

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**日本語の技法**						
英文名　：	Skills of Japanese Language						
担当者　：	山本　衛						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】金曜2限						

■授業概要

日本語の文章読解・文章表現力の向上に焦点をあてた講義及び演習。
話し言葉と書き言葉の違いに着眼点を置きレポート・論文作成能力の向上についての講義。
プレゼンテーションの効果的な実施、敬語の使い方、手紙や・メール・履歴書の書き方についての指導。
語彙に関する指導。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

〈学習・教育目標〉自分の考えや伝えるべきことを、書き言葉で的確に表現する能力を養う。レポート作成や論文作成で、卒業後の実社会でも必要とされる文章作成能力を養うことを目的とする。
〈到達目標〉受講者はこの科目を受講することによって、以下のことができるようになる。
1.自分の考えや伝えるべきことを、書き言葉で的確に表現する能力を養う。
2.レポート作成や論文作成で、卒業後の実社会でも必要とされる文章作成能力を養うことを目標とする。
3.自分の日本語表現力を小テストにて自覚し、論理的な文章を書くために基礎的な事柄を学習していく。
この科目の習得は、近畿大学の教養教育の目的１及び２に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期テスト 50%
小テスト 40%
課題 10%

■試験・課題に対するフィードバック方法

小テストは採点返却、課題は添削返却

■教科書

Critical　Thinking　ベーシックⅠ　　岩目 哲也　株式会社 学研教育みらい

■参考文献

－

■関連科目

なし

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

基礎教育センター　ae-bost-kiso@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　【簡潔な文章 わかりやすい文章とは】（授業形式：講義）

予習内容：教科書 Unit1
予習時間：60分
復習内容：配布資料①、教科書Unit1
復習時間：60分
主語と述語の関係、修飾語と被修飾語の位置

第2回　【日本語のまぎらわしさを排除】（授業形式：講義）

予習内容：教科書 Unit2
予習時間：60分
復習内容：配布資料②、教科書Unit1Unit2
復習時間：75分
読点の位置、語順について

第3回　【接続表現】（授業形式：講義）

予習内容：教科書Unit3
予習時間：60分
復習内容：配布資料②③、教科書Unit2Unit3
復習時間：75分
展開を分かりやすく示す、小テスト①

第4回　【論理的な構成①】（授業形式：講義）

予習内容：教科書Unit4
予習時間：60分
復習内容：配布資料④、教科書Unit4
復習時間：60分
正確に伝わるように、小テスト②

第5回　【論理的な構成②】（授業形式：講義）

予習内容：教科書Unit5Unit6
予習時間：60分
復習内容：配布資料⑤、教科書Unit5Unit6
復習時間：60分
事実と意見を分けて

第6回　【正確に書く】（授業形式：講義）

予習内容：教科書Unit7Unit8
予習時間：60分
復習内容：課題Ⅰ、配布資料⑥、教科書Unit7Unit8
復習時間：90分
過不足なく具体的に、課題Ⅰ

第7回　【レポートの事前準備①】（授業形式：講義）

予習内容：教科書Unit9Unit10
予習時間：60分
復習内容：配布資料⑦、教科書Unit9Unit10
復習時間：75分
引用のルール①

第8回　【レポートの事前準備②】（授業形式：講義）

予習内容：教科書Unit11Unit12
予習時間：60分
復習内容：配布資料⑧、教科書Unit13Unit14
復習時間：60分
引用のルール②　データー分析(グラフ)　小テスト③

第9回　【データー分析とグラフ・表の活用】（授業形式：講義）

予習内容：教科書Unit13Unit14

予習時間：60分
復習内容：配布資料⑨、教科書Unit15Unit16
復習時間：75分
データー分析について、グラフや表の作成・活用方法

第10回　【要約のポイント、批評文】（授業形式：講義）

予習内容：教科書Unit15Unit16
予習時間：60分
復習内容：配布資料⑩、教科書Unit15Unit16
復習時間：60分
要約のポイントと批評文　小テスト④

第11回　【論文の書き方】（授業形式：講義）

予習内容：教科書Unit17Unit18
予習時間：60分
復習内容：配布資料⑪、教科書Unit17Unit18
復習時間：60分
論文の書き方、プレゼンテーションにおける話し方

第12回　【論理展開】（授業形式：講義）

予習内容：教科書Unit19
予習時間：60分
復習内容：課題Ⅱ、配布資料⑩、教科書Unit19
復習時間：90分
論理展開・ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝについて　課題Ⅱ

第13回　【論文の構成】（授業形式：講義）

予習内容：教科書Unit20Unit21
予習時間：60分
復習内容：配布資料⑬、教科書Unit20Unit21
復習時間：75分
論文の構成、敬語の使い方

第14回　【論文の表記】（授業形式：講義）

予習内容：教科書Unit22
予習時間：60分
復習内容：配布資料⑭、教科書Unit22
復習時間：60分
論文の表記方法、手紙・電子メールについて　小テスト⑤

第15回　【長文の読解】（授業形式：講義）

予習内容：教科書Unit23Unit24
予習時間：60分
復習内容：配布資料⑮、教科書Unit23Unit24
復習時間：60分
長文読解、履歴書について

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**日本語の技法**						
英文名　：	Skills of Japanese Language						
担当者　：	山本　衛						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】火曜4限						

■授業概要

日本語の文章読解・文章表現力の向上に焦点をあてた講義及び演習。
話し言葉と書き言葉の違いに着眼点を置きレポート・論文作成能力の向上についての講義。
プレゼンテーションの効果的な実施、敬語の使い方、手紙や・メール・履歴書の書き方についての指導。
語彙に関する指導。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

〈学習・教育目標〉自分の考えや伝えるべきことを、書き言葉で的確に表現する能力を養う。レポート作成や論文作成で、卒業後の実社会でも必要とされる文章作成能力を養うことを目的とする。
〈到達目標〉受講者はこの科目を受講することによって、以下のことができるようになる。
1.自分の考えや伝えるべきことを、書き言葉で的確に表現する能力を養う。
2.レポート作成や論文作成で、卒業後の実社会でも必要とされる文章作成能力を養うことを目標とする。
3.自分の日本語表現力を小テストにて自覚し、論理的な文章を書くために基礎的な事柄を学習していく。
この科目の習得は、近畿大学の教養教育の目的１及び２に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期テスト 50%
小テスト 40%
課題 10%

■試験・課題に対するフィードバック方法

小テストは採点返却、課題は添削返却

■教科書

Critical　Thinking　ベーシックⅠ　　岩目 哲也　株式会社 学研教育みらい

■参考文献

－

■関連科目

なし

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

基礎教育センター　ae-bost-kiso@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　【簡潔な文章 わかりやすい文章とは】（授業形式：講義）

予習内容：教科書 Unit1
予習時間：60分
復習内容：配布資料①、教科書Unit1
復習時間：60分
主語と述語の関係、修飾語と被修飾語の位置

第2回　【日本語のまぎらわしさを排除】（授業形式：講義）

予習内容：教科書 Unit2
予習時間：60分
復習内容：配布資料②、教科書Unit1Unit2
復習時間：75分
読点の位置、語順について

第3回　【接続表現】（授業形式：講義）

予習内容：教科書Unit3
予習時間：60分
復習内容：配布資料②③、教科書Unit2Unit3
復習時間：75分
展開を分かりやすく示す、小テスト①

第4回　【論理的な構成①】（授業形式：講義）

予習内容：教科書Unit4
予習時間：60分
復習内容：配布資料④、教科書Unit4
復習時間：60分
正確に伝わるように、小テスト②

第5回　【論理的な構成②】（授業形式：講義）

予習内容：教科書Unit5Unit6
予習時間：60分
復習内容：配布資料⑤、教科書Unit5Unit6
復習時間：60分
事実と意見を分けて

第6回　【正確に書く】（授業形式：講義）

予習内容：教科書Unit7Unit8
予習時間：60分
復習内容：課題Ⅰ、配布資料⑥、教科書Unit7Unit8
復習時間：90分
過不足なく具体的に、課題Ⅰ

第7回　【レポートの事前準備①】（授業形式：講義）

予習内容：教科書Unit9Unit10
予習時間：60分
復習内容：配布資料⑦、教科書Unit9Unit10
復習時間：75分
引用のルール①

第8回　【レポートの事前準備②】（授業形式：講義）

予習内容：教科書Unit11Unit12
予習時間：60分
復習内容：配布資料⑧、教科書Unit13Unit14
復習時間：60分
引用のルール②　データー分析(グラフ)　小テスト③

第9回　【データー分析とグラフ・表の活用】（授業形式：講義）

予習内容：教科書Unit13Unit14

予習時間：60分
復習内容：配布資料⑨、教科書Unit15Unit16
復習時間：75分
データー分析について、グラフや表の作成・活用方法

第10回　【要約のポイント、批評文】（授業形式：講義）

予習内容：教科書Unit15Unit16
予習時間：60分
復習内容：配布資料⑩、教科書Unit15Unit16
復習時間：60分
要約のポイントと批評文　小テスト④

第11回　【論文の書き方】（授業形式：講義）

予習内容：教科書Unit17Unit18
予習時間：60分
復習内容：配布資料⑪、教科書Unit17Unit18
復習時間：60分
論文の書き方、プレゼンテーションにおける話し方

第12回　【論理展開】（授業形式：講義）

予習内容：教科書Unit19
予習時間：60分
復習内容：課題Ⅱ、配布資料⑩、教科書Unit19
復習時間：90分
論理展開・ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝについて　課題Ⅱ

第13回　【論文の構成】（授業形式：講義）

予習内容：教科書Unit20Unit21
予習時間：60分
復習内容：配布資料⑬、教科書Unit20Unit21
復習時間：75分
論文の構成、敬語の使い方

第14回　【論文の表記】（授業形式：講義）

予習内容：教科書Unit22
予習時間：60分
復習内容：配布資料⑭、教科書Unit22
復習時間：60分
論文の表記方法、手紙・電子メールについて　小テスト⑤

第15回　【長文の読解】（授業形式：講義）

予習内容：教科書Unit23Unit24
予習時間：60分
復習内容：配布資料⑮、教科書Unit23Unit24
復習時間：60分
長文読解、履歴書について

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**日本語の技法**						
英文名　：	Skills of Japanese Language						
担当者　：	山本　衛						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】火曜5限						

■授業概要

日本語の文章読解・文章表現力の向上に焦点をあてた講義及び演習。
話し言葉と書き言葉の違いに着眼点を置きレポート・論文作成能力の向上についての講義。
プレゼンテーションの効果的な実施、敬語の使い方、手紙や・メール・履歴書の書き方についての指導。
語彙に関する指導。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

〈学習・教育目標〉自分の考えや伝えるべきことを、書き言葉で的確に表現する能力を養う。レポート作成や論文作成で、卒業後の実社会でも必要とされる文章作成能力を養うことを目的とする。
〈到達目標〉受講者はこの科目を受講することによって、以下のことができるようになる。
1.自分の考えや伝えるべきことを、書き言葉で的確に表現する能力を養う。
2.レポート作成や論文作成で、卒業後の実社会でも必要とされる文章作成能力を養うことを目標とする。
3.自分の日本語表現力を小テストにて自覚し、論理的な文章を書くために基礎的な事柄を学習していく。
この科目の習得は、近畿大学の教養教育の目的１及び２に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期テスト 50%
小テスト 40%
課題 10%

■試験・課題に対するフィードバック方法

小テストは採点返却、課題は添削返却

■教科書

Critical　Thinking　ベーシックⅠ　　岩目 哲也　株式会社 学研教育みらい

■参考文献

－

■関連科目

なし

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

基礎教育センター　ae-bost-kiso@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　【簡潔な文章 わかりやすい文章とは】（授業形式：講義）

予習内容：教科書 Unit1
予習時間：60分
復習内容：配布資料①、教科書Unit1
復習時間：60分
主語と述語の関係、修飾語と被修飾語の位置

第2回　【日本語のまぎらわしさを排除】（授業形式：講義）

予習内容：教科書 Unit2
予習時間：60分
復習内容：配布資料②、教科書Unit1Unit2
復習時間：75分
読点の位置、語順について

第3回　【接続表現】（授業形式：講義）

予習内容：教科書Unit3
予習時間：60分
復習内容：配布資料②③、教科書Unit2Unit3
復習時間：75分
展開を分かりやすく示す、小テスト①

第4回　【論理的な構成①】（授業形式：講義）

予習内容：教科書Unit4
予習時間：60分
復習内容：配布資料④、教科書Unit4
復習時間：60分
正確に伝わるように、小テスト②

第5回　【論理的な構成②】（授業形式：講義）

予習内容：教科書Unit5Unit6
予習時間：60分
復習内容：配布資料⑤、教科書Unit5Unit6
復習時間：60分
事実と意見を分けて

第6回　【正確に書く】（授業形式：講義）

予習内容：教科書Unit7Unit8
予習時間：60分
復習内容：課題Ⅰ、配布資料⑥、教科書Unit7Unit8
復習時間：90分
過不足なく具体的に、課題Ⅰ

第7回　【レポートの事前準備①】（授業形式：講義）

予習内容：教科書Unit9Unit10
予習時間：60分
復習内容：配布資料⑦、教科書Unit9Unit10
復習時間：75分
引用のルール①

第8回　【レポートの事前準備②】（授業形式：講義）

予習内容：教科書Unit11Unit12
予習時間：60分
復習内容：配布資料⑧、教科書Unit13Unit14
復習時間：60分
引用のルール②　データー分析(グラフ)　小テスト③

第9回　【データー分析とグラフ・表の活用】（授業形式：講義）

予習内容：教科書Unit13Unit14

予習時間：60分
復習内容：配布資料⑨、教科書Unit15Unit16
復習時間：75分
データー分析について、グラフや表の作成・活用方法

第10回　【要約のポイント、批評文】（授業形式：講義）

予習内容：教科書Unit15Unit16
予習時間：60分
復習内容：配布資料⑩、教科書Unit15Unit16
復習時間：60分
要約のポイントと批評文　小テスト④

第11回　【論文の書き方】（授業形式：講義）

予習内容：教科書Unit17Unit18
予習時間：60分
復習内容：配布資料⑪、教科書Unit17Unit18
復習時間：60分
論文の書き方、プレゼンテーションにおける話し方

第12回　【論理展開】（授業形式：講義）

予習内容：教科書Unit19
予習時間：60分
復習内容：課題Ⅱ、配布資料⑩、教科書Unit19
復習時間：90分
論理展開・ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝについて　課題Ⅱ

第13回　【論文の構成】（授業形式：講義）

予習内容：教科書Unit20Unit21
予習時間：60分
復習内容：配布資料⑬、教科書Unit20Unit21
復習時間：75分
論文の構成、敬語の使い方

第14回　【論文の表記】（授業形式：講義）

予習内容：教科書Unit22
予習時間：60分
復習内容：配布資料⑭、教科書Unit22
復習時間：60分
論文の表記方法、手紙・電子メールについて　小テスト⑤

第15回　【長文の読解】（授業形式：講義）

予習内容：教科書Unit23Unit24
予習時間：60分
復習内容：配布資料⑮、教科書Unit23Unit24
復習時間：60分
長文読解、履歴書について

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**暮らしのなかの起業入門【KICSオンデマンド科目】**						
英文名 ：	Introductory Course on Entrepreneurship						
担当者 ：	文能　照之						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考 ：	令和5年度入学生対象科目						

■授業概要

インターネットが普及したことにより、私たちの生活は利便性が一層高まり、豊かさを実感できるものとなっています。大学教育のなかにメディア授業が取り入れられたことは、学生の皆さんの自由度を高めているのではないでしょうか。インターネットは、「時間」と「場所」の制約を取り除いてくれるため、自由な時間を有効に活用することができる時代になっているのです。また、特技や専門的知識を持った多くの方と繋がることもインターネットはいとも容易に実現してくれます。そのため、アイデア、経験や趣味を活かして起業に取り組む方も増えています。

本授業は、「起業」を特別なものとして取り扱うのではなく、誰もがチャレンジできるものとして位置付け、その基本的な事項を学修することを目的とします。企業に勤務することになった場合でも、常に新しい製品・サービスを創造することが求められる今、起業の仕組みや留意点について理解しておくことは、新事業創出の任務を担う際に有効となります。その意味で、起業は今後の生活を豊かなものとするための選択の幅を広げてくれるのです。授業では、起業についての知識とともに、事業活動を通して自らの夢を実現している起業家の実践例を通して、受講者が自身のキャリアについても検討することを期待しています。

【受講に当たっての留意点】

15回すべての受講を終えなかった場合、レポートを提出しても単位は付与しません。

■授業形態

メディア授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、この授業を履修することによって、

1）起業や新事業創出の意味と必要性

2）起業や新事業創出を実現するために求められる基本的な事項

3）起業家の実践例とキャリア

について学び、起業と社会・経済とのかかわりについて理解できるようになります。

■成績評価方法および基準

学生間ディスカッション 20%

レポート 80%

■試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題の提出締切後に「レポート課題の要点と解説」をGoogleClassroomに掲載します。

■教科書

各回資料を配布します。

■参考文献

[ISBN]9784502178412 『アントレプレナーシップ教科書』 (松重 和美, 中央経済社 : 2016)
[ISBN]9784822259754 『起業の科学 スタートアップサイエンス』 (田所 雅之, 日経BP : 2017)
[ISBN]9784478109502 『起業大全 スタートアップを科学する9つのフレームワーク』 (田所 雅之, ダイヤモンド社 : 2020)
[ISBN]9784830949708 『はじめて学ぶ人のための経営学入門［バージョン 2］ (文眞堂ブックス)』 (信之, 片岡, 文眞堂 :

2018)
[ISBN]9784502394713 『新しいビジネスをつくる』 (加護野 忠男, 碩学舎 : 2021)
[ISBN]9784798167381 『ビジネスモデル・キャンバス徹底攻略ガイド 企業、チーム、個人を成功に導く「ビジネスモデル設計書」』 (今津 美樹, 翔泳社 : 2020)
上記のほか必要に応じて紹介します。

■関連科目

現代社会と倫理、現代社会と法、ビジネス実務講座、国際化と異文化理解、情報処理基礎、データリテラシー入門、キャリアデザイン

■授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■研究室・メールアドレス

東大阪キャンパス２１号館８階・tbunno＜at＞bus.kindai.ac.jp、送信時には＜at＞を@に変換してください。

■オフィスアワー

金曜日４時限（質問がある場合は、メールを通じて受け付けます）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　授業総論（授業形式：講義および演習）

予習内容：起業の意味や必要性について調べる。
予習時間：90分
復習内容：大学における起業家教育の目的についてまとめる。
復習時間：90分
【講師：経営学部教授　文能 照之】
・授業内容と学修方法
【外部講師：株式会社パースペクティブ・メディア　代表取締役　小口 日出彦氏】
・起業とは
・起業というライフスタイル

第2回　起業家マインドの重要性（授業形式：講義および演習）

予習内容：アントレプレナーシップについて調べる。
予習時間：90分
復習内容：イノベーションの事例についてまとめる。
復習時間：90分
【外部講師：株式会社01START　代表取締役　芝先 恵介氏 】
・アントレプレナーシップ（起業家精神）とは
・イノベーションとは
・起業とイノベーション

第3回　企業の役割と経営指針（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の役割について調べる。
予習時間：90分
復習内容：企業のミッション・ビジョン・バリューについてまとめる。
復習時間：90分
【外部講師：株式会社01START　代表取締役　芝先 恵介氏 】
・企業の社会的役割
・企業の社会的責任
・ミッション、ビジョン、バリューとは

第4回　経営に必要とされる資源（授業形式：講義および演習）

予習内容：経営に必要とされる、ヒト・モノ・カネについて調べる。
予習時間：90分
復習内容：経営を続けるために経営資源の活用方法についてまとめる。
復習時間：90分
【外部講師：株式会社01START　代表取締役　芝先 恵介氏 】
・経営の基本とは
・経営資源とは

第5回　アイデアをビジネスに変える（授業形式：講義および演習）

予習内容：アイデアの出し方について調べる。

予習時間：90分
復習内容：効果的なアイデアの発想方法やアイデアの膨らませ方、収束の仕方についてまとめる。
復習時間：90分
【外部講師：株式会社01START　代表取締役　芝先 恵介氏 】
・ビジネスを生み出すために
・ビジネスアイデアの発想法
・オズボーンのチェックリストを活用した事例

第6回 チーム作りと評価（授業形式：講義および演習）

予習内容：経営にチーム作りが必要な理由、及びチーム作りの方法について調べる。
予習時間：90分
復習内容：メンバーの有する能力を生かすためのチーム作りの方法についてまとめる。
復習時間：90分
【外部講師：株式会社01START　代表取締役　芝先 恵介氏 】
・サイドプロジェクトではじめる
・スタートアップに必要な人材
・解決したい課題について

第7回 事業構想（前半）（授業形式：講義および演習）

予習内容：事業アイデアを形にするための方法について調べる。
予習時間：90分
復習内容：ビジネスモデル・キャンバスの活用方法についてまとめる。
復習時間：90分
【外部講師：株式会社01START　代表取締役　芝先 恵介氏 】
・事業アイデアを形にするビジネスモデル・キャンバスとは
・ビジネスモデル・キャンバスの要素を理解する【お客様にかかわる収入】

第8回 事業構想（後半）（授業形式：講義および演習）

予習内容：事例企業のビジネスモデルについて調べ、ビジネスモデル・キャンバスを作成する。
予習時間：90分
復習内容：授業で提示されたビジネスモデル・キャンバスをもとに、その活用方法についてまとめる。
復習時間：90分
【外部講師：株式会社01START　代表取締役　芝先 恵介氏 】
・ビジネスモデル・キャンバスの要素を理解する。【活動とコスト】
・事例企業を参考にしてビジネスモデル・キャンバスを作成する

第9回 事業の実現①（内製）（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業内部において必要となるコミュニケーションについて調べる。
予習時間：90分
復習内容：コミュニケーションを高めるための方策についてまとめる。
復習時間：90分
【外部講師：グッドニュース情報発信塾　塾長　大谷 邦郎氏】
・賛同を得て、応援してもらうためのコミュニケーション
・事業協力者に向けたプレゼンテーション

第10回 事業の実現②（外注）（授業形式：講義および演習）

予習内容：外部企業等とのに関係において必要となるコミュニケーションについて調べる。
予習時間：90分
復習内容：コミュニケーションを高めるための方策についてまとめる。
復習時間：90分
【外部講師：株式会社パーシヴァル　ファウンダー　川辺 友之氏】
・外部資源の有効活用
・クラウドファンディングの活用

第11回 近畿大学卒起業家体験談①（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の設立経緯や事業内容について調べる。
予習時間：90分
復習内容：起業動機や事業目的を通して、代表者が実現したいことについてまとめる。
復習時間：90分
【外部講師：180株式会社 代表取締役　上仲 昌吾氏】
個性（DNA）を磨く
・個性を理解する

・個性の見つけ方
・個性をデザインする

第12回　近畿大学卒起業家体験談②（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の設立経緯や事業内容について調べる。
予習時間：90分
復習内容：起業動機や事業目的を通して、代表者が実現したいことについてまとめる。
復習時間：90分
【外部講師：株式会社音動 代表取締役　鳥山 郷氏】
起業というエゴイズムから社会との共創まで
・起業する機会と環境
・起業する機会と環境
・多様性とこれから

第13回　近畿大学卒起業家体験談③（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の設立経緯や事業内容について調べる。
予習時間：90分
復習内容：事業承継の動機や事業目的を通して、代表者が実現したいことについてまとめる。
復習時間：90分
【外部講師：錦城護謨株式会社 代表取締役社長　太田 泰造氏】
経営現場のリアル（価値創造）
・錦城護謨の事業内容ご紹介
・老舗企業が取り組む新規事業
・企業にとって一番大事なもの

第14回　近畿大学卒起業家体験談④（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の設立経緯や事業内容について調べる。
予習時間：90分
復習内容：起業動機や事業目的を通して、代表者が実現したいことについてまとめる。
復習時間：90分
【外部講師：リノベる株式会社　代表取締役社長　山下 智弘氏、株式会社 Schoo　代表取締役社長CEO　森 健志郎氏】

・リノベる株式会社・・・「リノベる」の起業まで
・株式会社Schoo・・・起業のきっかけ・起業からこれまで
・起業家対談

第15回　授業総括（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまでの学修内容について復習する。
予習時間：90分
復習内容：社会・経済における起業の意味、必要性についてまとめる。
復習時間：90分
【講師：経営学部教授　文能 照之】
・起業に必要とされるマインドと基礎知識
・起業の目的とライフプラン
・起業の実現に向けて

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業
オムニバス形式で多様な企業等から講師を招いて行う授業

科目名　：	**暮らしのなかの憲法**						
英文名　：	Constitution in Everyday Life						
担当者　：	新田　和宏						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考　：							

■授業概要

<本講座を学ぶ目的>
本講座は、日本国憲法の基本問題について理解を深めることを目的とする。
<本講座において学ぶ意義>
そもそも、憲法とは、国家権力の濫用を抑制しつつ、国民の自由と人権を擁護する立憲主義（constitutionalism）という考え方に立脚するが、もちろん日本国憲法も同じ立場である。しかしながら、今日、立憲主義がゆらぐ中、改めて、日本国憲法を学ぶ意義を強調するならば、それは自由と人権について熟考することにあるといえよう。日本国憲法第12条は「この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によって、これを保持しなければならない」と要請する。もしも、時代に流され、思考停止に陥り、「不断の努力」を怠れば、97条がいう「この憲法が国民に保障する基本的人権は、人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果」を台無しにしてしまう恐れすらある。
<本講座の方法>
アクティブ・ラーニングとして展開する。
教科書をベースに据え、憲法裁判の判例や学説を検討しつつ、また学生諸君のプレゼンテーションとディスカッションを交えながら、表層的な観察に終わらない重心の低い本格的な考察を講じていく。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本講座を通じて得られるべき到達目標とは次の通りである。
①．教科書を読み、これを正確に理解できる読解力。②．講義を積極的に傾聴（active listening）できる能力。③．板書に頼らずとも、自分の頭の中で情報を整理しつつ、ノートがとれる能力。④．日本国憲法の基本問題について、その本質を粘り強く考えようとする態度と、その洞察力。⑤．実際の憲法裁判の判決文を前にして、その要点が理解しえる能力。⑥．持論を展開し表現しえる能力。
<ディプロマポリシーとの関連>
「暮らしのなかの憲法」の修得は、近畿大学が教養教育において掲げる目標を達成するための目的１および２の達成に関連している。

■成績評価方法および基準

定期試験 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後、試験期間中に指定した日程において試験の解題を行う。

■教科書

[ISBN]9784641281479 『基本的人権の事件簿・第6版』（棟居快行他、有斐閣：2019年）
[ISBN]9784535525375 『憲法・第7版』（辻村みよ子、日本評論社：2021年）

■参考文献

[ISBN]4004310024 『憲法とは何か』（長谷部恭男、岩波新書:2006）
[ISBN]9784004314707 『憲法への招待・新版』（渋谷秀樹、岩波新書：2014）
[ISBN]9784480068279 『平和憲法の深層』（古関彰一、ちくま新書：2015）
[ISBN]9784022618573 『1945年のクリスマス』（ベアテ・シロタ・ゴードン、朝日文庫：2016）
[ISBN]9784589038555 『なぜ表現の自由か』（阪口正二郎・毛利透・愛敬浩二編、法律文化社：2017）
[ISBN]9784623070589 『人権判例から学ぶ憲法』（加藤隆之、ミネルヴァ書房：2014）
[ISBN]9784535521865 『戦後史で読む憲法判例』（山田隆司、日本評論社：2016）
[ISBN]9784535522114 『憲法判例からみる日本』（山本龍彦・清水唯一朗・出口雄一編、日本評論：2016）
[ISBN]9784641227194 『憲法判例50！』（上田健介・尾形健・片桐直人、有斐閣：2016）
[ISBN]9784641115453 『憲法判例百選Ⅰ・第7版・別冊ジュリスト』（長谷部恭男・石川健治・宍戸常寿編、有斐閣：2019年）
[ISBN]9784641149410 『憲法からよむ政治思想史』（髙山裕二、有斐閣：2022）
[ISBN]9784087212464 『武器としての国際人権』（藤田早苗、集英社新書：2022）

■関連科目

新しい政治学

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

新田研究室（2号館5階508）・nitta@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜3限。予め、メールで連絡をしてください。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　立憲主義と日本国憲法（授業形式：講義）

予習内容：　Exercise①．憲法は「国民を縛るものでなく」、「国家を縛るものである」。この言説のポイントを要領よくノートにまとめなさい。
予習時間：90分
復習内容：　Exercise①．憲法は「国民を縛るものでなく」、「国家を縛るものである」。この言説のポイントを要領よくノートにまとめなさい。
復習
　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：講義中における議論を踏まえながら、Exercise①．について、ノートに私見を800字以内にまとめなさい。
復習時間：90分
1. 立憲主義（constitutionalism）
2. 最高法規
3. 人権保障
4. 自由権と社会権
5. 権力分立と国家権力の抑制
6. 日本国憲法の基本的構成

第2回　日本国憲法の成立過程（授業形式：講義）

予習内容：　Exercise②．日本国憲法の成立過程において、民間の憲法研究会がはたした役割についてノートにまとめなさい。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：講義中における議論を踏まえながら、Exercise②．について、ノートに私見を800字以内にまとめなさい。
復習時間：90分
1. 日本国憲法の系譜
2. 自由民権運動と植木枝盛「東洋大日本国国憲案」
3. 憲法研究会と鈴木安蔵
4. 日本国憲法制定の国際的背景
5. 日本国憲法の制定過程
6. 日本国憲法の誕生

第3回　包括的基本権／幸福追求権（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのディスカッションと講義）

予習内容：　Exercise③-1．自らが信じる宗教の教義に従い、輸血を拒否し、死を選ぶ「自己決定権」は憲法13条が保障する「幸福追求権」に値するものなのか、ノートに私見をまとめなさい。
　Exercise③-2．民法750条は婚姻の際に、夫婦は「夫又は妻の氏を称する」として夫婦同姓を定めている。故に、婚姻の際に

夫婦別姓を希望しても、婚姻届は受理されない。しかしながら、「氏の変更を強制されない自由」は、憲法13条の人格権によって保障されるべきであり、したがって選択的夫婦別姓は認められるべきである、という主張がある。かかる主張に対して、私見ノートにをまとめなさい。
予習時間：90分
復習内容：基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
発展：講義中における議論を踏まえながら、Exercise③-1および③-2．について、それぞれノートに私見を800字以内にまとめなさい。
復習時間：90分
1. 包括的基本権
2. 包括的人権規定と個別的人権規定の関係
3. 新しい人権状況
4. 自己決定権と「死ぬ権利」
5. 人格権と選択的夫婦別姓
6. まとめ

第4回　法の下の平等（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのディスカッションと講義）

予習内容：　Exercise④-1．民法900条4項但書が規定する非嫡出子（婚外子）に対する相続規定（嫡出子の1/2）に対し、最高裁は、如何なる理由をもって、憲法14条が定める「法の下の平等」に違反したものであると判断したのか、論点を整理しなさい。
　Exercise④-2．2015年12月16日、最高裁は、民法733条1項が定める、離婚後6ヶ月間、女性は再婚できない、という規定は違憲であるとし、再婚禁止期間は100日で足りると判断した。しかしそれでも、最高裁の判断は、性別による差別を禁止した憲法14条、および婚姻の自由を保障した24条に抵触しないのか、検討しなさい。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：講義中における議論を踏まえながら、Exercise④-1．および④-2．について、それぞれノートに私見を800字以内にまとめなさい。
復習時間：90分
1. 法の下の平等の精神
2. 非嫡出子相続分規定合憲判決
3. 合理的な別異取り扱い（「合理的差別／区別」）
4. 非嫡出子相続分規定違憲判決
5. 女性の「再婚禁止期間」問題
6. まとめ

第5回　人権主体（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのディスカッションと講義）

予習内容：　Exercise⑤．テキストの「事件1」に関して。中津川市議会は、「声が出せない議員」が希望する議場での「代読」を拒否し、パソコンによる音声変換機能による読み上げならば認めるとした。尚、「市議会側の主張」は3点に基づく（テキストpp.10-11）。それでは改めて、「市議会側の主張」は、「声が出せない議員」に対する「合理的配慮」を伴うものなのか、検討しなさい。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：講義中における議論を踏まえながら、Exercise⑤．について、ノートに私見を800字以内にまとめなさい。
復習時間：90分
1. 障害者差別解消法
2. LGBTQ+もしくはセクシャル・マイノリティ
3. 渋谷区男女平等及び多様性を尊重する社会を推進する条例（2015年）
4. まとめ

第6回　人権保障の公共の福祉（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのディスカッションと講義）

予習内容：　Exercise⑥．憲法に登場する「公共の福祉」（12条、13条、22条および29条）とは、一体何を意味するのか、その解釈を整理しなさい。
予習時間：90分
復習内容：基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：講義中における議論を踏まえながら、Exercise⑥．について、ノートに私見を800字以内にまとめなさい。
復習時間：90分
1.「公共の福祉（public welfare）」と人権の制約
2. 二重の基準論
3. 私人間における人権保障
4. まとめ

第7回　思想の自由（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのディスカッションと講義）

予習内容：　Exercise⑦．「君が代ピアノ伴奏命令事件」において最高裁は、憲法19条が保障する思想・良心に対する「間接的制約」は、「直接的制約」と異なり、必要性と合理性があり許容されると判断した。しかしながら、内面を侵害する「直接的制約」は違憲であるが、外観に対する「間接的制約」は、職務上の必要性と合理性からして合憲である、という議論に果たして憲法上の問題はないのか、私見をまとめなさい。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：講義中における議論を踏まえながら、Exercise⑦．について、ノートに私見を800字以内にまとめなさい。
復習時間：90分
1. 思想・良心の自由
2. 思想の自由と表現の自由との関係
3. 「君が代ピアノ伴奏命令事件」
4. 「沈黙の自由」と「内心の自由」
5. まとめ

第8回　信教の自由（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのディスカッションと講義）

予習内容：　Exercise⑧．「剣道受講拒否事件」において最高裁は、特定の宗教を信じる学生に対する剣道実技の受講免除およびその代替措置は、特定の宗教に対する特別扱い（援助・助長・促進）とはいえず、したがってまた憲法20条3項が定める政教分離原則に違反しないとした。最高裁の見解は妥当な判断なものなのか、私見をまとめなさい。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：講義中における議論を踏まえながら、Exercise⑧．について、ノートに私見を800字以内にまとめなさい。
復習時間：90分
1. 信教（宗教）の自由
2. 政教分離原則
3. 津地鎮祭訴訟事件（最高裁1977年7月13日）
4. 愛媛県玉串訴訟事件（最高裁1997年4日2日）
5. 小泉純一郎首相靖国神社参拝違憲訴訟事件（最高裁2006年6月23日）
6. まとめ

第9回　表現の自由（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのディスカッションと講義）

予習内容：　Exercise⑨．自衛隊立川宿舎の各戸玄関には、日常的に飲食店のチラシ等の商業的宣伝ビラが投函されていたにもかかわらず、自衛隊のイラク派兵反対を訴えるビラを投函した者に対して、最高裁は住居侵入罪を適用した。このような最高裁の判断は、憲法21条が保障する表現の自由を萎縮してしまわないのか、私見をまとめなさい。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：講義中における議論を踏まえながら、Exercise⑨．について、ノートに私見を800字以内にまとめなさい。
復習時間：90分
1. 思想の自由と表現の自由との関係
2. 表現の自由の諸形態
3. 表現の自由の考え方
4. 表現の自由の規制
5. ヘイトスピーチの規制と表現の自由
6. まとめ

第10回　学問の自由および教育権（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのディスカッションと講義）

予習内容：　Exercise⑩．「指導要録開示訴訟」において最高裁は、（1）「各教科の学習の記録」の「観点別学習状況」欄と「評価」欄、および（4）「標準検査の記録」の「所見」欄の開示を認めたが、それ以外は非開示とした。それでは、非開示とされた指導要録の情報は、開示されないことが妥当なのか、私見をまとめなさい。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：講義中における議論を踏まえながら、Exercise⑩．について、ノートに私見を800字以内にまとめなさい
復習時間：90分
1. 学問の自由
2. 小中高等学校の教師における「教育の自由」
3. 家永教科書裁判
4. 旭川学力テスト事件（最高裁1976年5月21日）
5. 学習指導要領
6. まとめ

第11回　営業の自由（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのディスカッションと講義）

予習内容：　Exercise⑪．厚労省は、薬事法の対面販売の原則を固持しつつ、第一類および第二類医薬品のインターネット販売

を禁止する施行規則を定め2009年に施行した。これに対して、最高裁は、薬事法が薬のインターネット販売を一律に禁止する施行規則の制定を委任するものではないとして、かかる規定は薬事法の委任の範囲を逸脱し、違法であると判断した。このような最高裁の判断は妥当といえるものなのか、私見をまとめなさい。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：講義中における議論を踏まえながら、Exercise⑪．について、ノートに私見を800字以内にまとめなさい。
復習時間：90分
1. 営業の自由
2. 薬事法違憲訴訟（最高裁1975年4月30日）
3. 「公共の福祉」と人権の制約
4. まとめ

第12回　生存権（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのディスカッションと講義）

予習内容：　Exercise⑫．最高裁は、老齢加算違憲訴訟において、生活保護受給者のうち、70歳以上の高齢者に加算されていた、「老齢加算」（教養費、身の回り品費、保健衛生費、および嗜好品費）の支給を廃止した厚労省の裁量は認められるべきであると判断した。かかる最高裁の判断は、憲法25条の解釈として適切であるのか、私見をまとめなさい。
予習時間：90分
復習内容：　Exercise⑫．最高裁は、老齢加算違憲訴訟において、生活保護受給者のうち、70歳以上の高齢者に加算されていた、「老齢加算」（教養費、身の回り品費、保健衛生費、および嗜好品費）の支給を廃止した厚労省の裁量は認められるべきであると判断した。かかる最高裁の判断は、憲法25条の解釈として適切であるのか、私見をまとめなさい。
復習時間：90分
1. 自由権と社会権
2. 憲法25条の精神
3. 生存権
4. 生活保護
5. 朝日訴訟
6. まとめ

第13回　参政権（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのディスカッションと講義）

予習内容：　Exercise⑬．「在外国民選挙権訴訟」において、最高裁は、国会が公職選挙法の必要な改正を行わなかったことは立法不作為に値するとして、憲法違反の判断を示した。
　国側の主張と対比しながら最高裁の判決を整理しなさい。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：講義中における議論を踏まえながら、Exercise⑬．について、ノートに私見を800字以内にまとめなさい。
復習時間：90分
1. 選挙権と被選挙権
2. 在外国民選挙権訴訟
3. 投票価値の平等と議員定数不均衡
4. 選挙活動の自由と戸別訪問の禁止
5. まとめ

第14回　平和憲法（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのディスカッションと講義）

予習内容：　Exercise⑭．自衛隊イラク派遣差止訴訟において、名古屋高裁は、憲法前文に記載されている平和的生存権について、全ての基本的人権の基礎となる「基底的権利」であり、9条に違反する戦争遂行に加担・協力を強制された場合、これに対して差止請求を行うことができる具体的権利性があると判断した。このような平和的生存権の判断は、政府の集団的自衛権の行使を差し止めることにも適用できるのか、ノートに私見をまとめなさい。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：講義中における議論を踏まえながら、Exercise⑭．について、私見を800字以内にまとめなさい。
復習時間：90分
1. 平和的生存権
2. 平和憲法と自衛隊
3. 違憲審査と司法消極主義
4. 憲法判断の回避
5. 憲法改正
6. まとめ

第15回　暮らしのなかの憲法（授業形式：講義）

予習内容：　Exercise⑮．「憲法解釈の積み重ねとその議論から、憲法が暮らしのなかに対自的に具現化する」といえるのか？ノートに私見をまとめなさい。

予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：講義中における議論を踏まえながら、Exercise⑮．について、ノートに私見を800字以内にまとめなさい。
復習時間：90分
1. 立憲主義
2. 日本国憲法の立憲主義
3. 日本国憲法の射程
4. 暮らしのなかの憲法

定期試験

レポート試験問題を出題する。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 ：	**暮らしのなかの憲法**						
英文名 ：	Constitution in Everyday Life						
担当者 ：	新田　和宏						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考 ：							

■授業概要

＜本講座を学ぶ目的＞

本講座は、日本国憲法の基本問題について理解を深めることを目的とする。

＜本講座において学ぶ意義＞

そもそも、憲法とは、国家権力の濫用を抑制しつつ、国民の自由と人権を擁護する立憲主義（constitutionalism）という考え方に立脚するが、もちろん日本国憲法も同じ立場である。しかしながら、今日、立憲主義がゆらぐ中、改めて、日本国憲法を学ぶ意義を強調するならば、それは自由と人権について熟考することにあるといえよう。日本国憲法第12条は「この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によって、これを保持しなければならない」と要請する。もしも、時代に流され、思考停止に陥り、「不断の努力」を怠れば、97条がいう「この憲法が国民に保障する基本的人権は、人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果」を台無しにしてしまう恐れすらある。

＜本講座の方法＞

アクティブ・ラーニングとして展開する。

教科書をベースに据え、憲法裁判の判例や学説を検討しつつ、また学生諸君のプレゼンテーションとディスカッションを交えながら、表層的な観察に終わらない重心の低い本格的な考察を講じていく。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本講座を通じて得られるべき到達目標とは次の通りである。

①．教科書を読み、これを正確に理解できる読解力。②．講義を積極的に傾聴（active listening）できる能力。③．板書に頼らずとも、自分の頭の中で情報を整理しつつ、ノートがとれる能力。④．日本国憲法の基本問題について、その本質を粘り強く考えようとする態度と、その洞察力。⑤．実際の憲法裁判の判決文を前にして、その要点が理解しえる能力。⑥．持論を展開し表現しえる能力。

＜ディプロマポリシーとの関連＞

「暮らしのなかの憲法」の修得は、近畿大学が教養教育において掲げる目標を達成するための目的１および２の達成に関連している。

■成績評価方法および基準

定期試験 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後、試験期間中に指定した日程において試験の解題を行う。

■教科書

[ISBN]9784641281479 『基本的人権の事件簿・第6版』（棟居快行他、有斐閣：2019年）
[ISBN]9784535525375 『憲法・第7版』（辻村みよ子、日本評論社：2021年）

■参考文献

[ISBN]4004310024 『憲法とは何か』（長谷部恭男、岩波新書:2006）
[ISBN]9784004314707 『憲法への招待・新版』（渋谷秀樹、岩波新書：2014）
[ISBN]9784480068279 『平和憲法の深層』（古関彰一、ちくま新書：2015）
[ISBN]9784022618573 『1945年のクリスマス』（ベアテ・シロタ・ゴードン、朝日文庫：2016）
[ISBN]9784589038555 『なぜ表現の自由か』（阪口正二郎・毛利透・愛敬浩二編、法律文化社：2017）
[ISBN]9784623070589 『人権判例から学ぶ憲法』（加藤隆之、ミネルヴァ書房：2014）
[ISBN]9784535521865 『戦後史で読む憲法判例』（山田隆司、日本評論社：2016）
[ISBN]9784535522114 『憲法判例からみる日本』（山本龍彦・清水唯一朗・出口雄一編、日本評論：2016）
[ISBN]9784641227194 『憲法判例50！』（上田健介・尾形健・片桐直人、有斐閣：2016）
[ISBN]9784641115453 『憲法判例百選Ⅰ・第7版・別冊ジュリスト』（長谷部恭男・石川健治・宍戸常寿編、有斐閣：2019年）
[ISBN]9784641149410 『憲法からよむ政治思想史』（髙山裕二、有斐閣：2022）
[ISBN]9784087212464 『武器としての国際人権』（藤田早苗、集英社新書：2022）

■関連科目

新しい政治学

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

新田研究室（2号館5階508）・nitta@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜3限。予め、メールで連絡をしてください。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　立憲主義と日本国憲法（授業形式：講義）

予習内容：　Exercise①．憲法は「国民を縛るものでなく」、「国家を縛るものである」。この言説のポイントを要領よくノートにまとめなさい。
予習時間：90分
復習内容：　Exercise①．憲法は「国民を縛るものでなく」、「国家を縛るものである」。この言説のポイントを要領よくノートにまとめなさい。
復習
　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：講義中における議論を踏まえながら、Exercise①．について、ノートに私見を800字以内にまとめなさい。
復習時間：90分
1. 立憲主義（constitutionalism）
2. 最高法規
3. 人権保障
4. 自由権と社会権
5. 権力分立と国家権力の抑制
6. 日本国憲法の基本的構成

第2回　日本国憲法の成立過程（授業形式：講義）

予習内容：　Exercise②．日本国憲法の成立過程において、民間の憲法研究会がはたした役割についてノートにまとめなさい。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：講義中における議論を踏まえながら、Exercise②．について、ノートに私見を800字以内にまとめなさい。
復習時間：90分
1. 日本国憲法の系譜
2. 自由民権運動と植木枝盛「東洋大日本国国憲案」
3. 憲法研究会と鈴木安蔵
4. 日本国憲法制定の国際的背景
5. 日本国憲法の制定過程
6. 日本国憲法の誕生

第3回　包括的基本権／幸福追求権（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのディスカッションと講義）

予習内容：　Exercise③-1．自らが信じる宗教の教義に従い、輸血を拒否し、死を選ぶ「自己決定権」は憲法13条が保障する「幸福追求権」に値するものなのか、ノートに私見をまとめなさい。
　Exercise③-2．民法750条は婚姻の際に、夫婦は「夫又は妻の氏を称する」として夫婦同姓を定めている。故に、婚姻の際に

夫婦別姓を希望しても、婚姻届は受理されない。しかしながら、「氏の変更を強制されない自由」は、憲法13条の人格権によって保障されるべきであり、したがって選択的夫婦別姓は認められるべきである、という主張がある。かかる主張に対して、私見ノートにをまとめなさい。
予習時間：90分
復習内容：基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
発展：講義中における議論を踏まえながら、Exercise③-1および③-2．について、それぞれノートに私見を800字以内にまとめなさい。
復習時間：90分
1. 包括的基本権
2. 包括的人権規定と個別的人権規定の関係
3. 新しい人権状況
4. 自己決定権と「死ぬ権利」
5. 人格権と選択的夫婦別姓
6. まとめ

第4回　法の下の平等（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのディスカッションと講義）

予習内容：　Exercise④-1．民法900条4項但書が規定する非嫡出子（婚外子）に対する相続規定（嫡出子の1/2）に対し、最高裁は、如何なる理由をもって、憲法14条が定める「法の下の平等」に違反したものであると判断したのか、論点を整理しなさい。
　Exercise④-2．2015年12月16日、最高裁は、民法733条1項が定める、離婚後6ヶ月間、女性は再婚できない、という規定は違憲であるとし、再婚禁止期間は100日で足りると判断した。しかしそれでも、最高裁の判断は、性別による差別を禁止した憲法14条、および婚姻の自由を保障した24条に抵触しないのか、検討しなさい。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：講義中における議論を踏まえながら、Exercise④-1．および④-2．について、それぞれノートに私見を800字以内にまとめなさい。
復習時間：90分
1. 法の下の平等の精神
2. 非嫡出子相続分規定合憲判決
3. 合理的な別異取り扱い（「合理的差別／区別」）
4. 非嫡出子相続分規定違憲判決
5. 女性の「再婚禁止期間」問題
6. まとめ

第5回　人権主体（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのディスカッションと講義）

予習内容：　Exercise⑤．テキストの「事件1」に関して。中津川市議会は、「声が出せない議員」が希望する議場での「代読」を拒否し、パソコンによる音声変換機能による読み上げならば認めるとした。尚、「市議会側の主張」は3点に基づく（テキストpp.10-11）。それでは改めて、「市議会側の主張」は、「声が出せない議員」に対する「合理的配慮」を伴うものなのか、検討しなさい。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：講義中における議論を踏まえながら、Exercise⑤．について、ノートに私見を800字以内にまとめなさい。
復習時間：90分
1. 障害者差別解消法
2. LGBTQ+もしくはセクシャル・マイノリティ
3. 渋谷区男女平等及び多様性を尊重する社会を推進する条例（2015年）
4. まとめ

第6回　人権保障の公共の福祉（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのディスカッションと講義）

予習内容：　Exercise⑥．憲法に登場する「公共の福祉」（12条、13条、22条および29条）とは、一体何を意味するのか、その解釈を整理しなさい。
予習時間：90分
復習内容：基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：講義中における議論を踏まえながら、Exercise⑥．について、ノートに私見を800字以内にまとめなさい。
復習時間：90分
1.「公共の福祉（public welfare）」と人権の制約
2. 二重の基準論
3. 私人間における人権保障
4. まとめ

第7回　思想の自由（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのディスカッションと講義）

予習内容：　Exercise⑦．「君が代ピアノ伴奏命令事件」において最高裁は、憲法19条が保障する思想・良心に対する「間接的制約」は、「直接的制約」と異なり、必要性と合理性があり許容されると判断した。しかしながら、内面を侵害する「直接的制約」は違憲であるが、外観に対する「間接的制約」は、職務上の必要性と合理性からして合憲である、という議論に果たして憲法上の問題はないのか、私見をまとめなさい。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：講義中における議論を踏まえながら、Exercise⑦．について、ノートに私見を800字以内にまとめなさい。
復習時間：90分
1. 思想・良心の自由
2. 思想の自由と表現の自由との関係
3. 「君が代ピアノ伴奏命令事件」
4. 「沈黙の自由」と「内心の自由」
5. まとめ

第8回　信教の自由（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのディスカッションと講義）

予習内容：　Exercise⑧．「剣道受講拒否事件」において最高裁は、特定の宗教を信じる学生に対する剣道実技の受講免除およびその代替措置は、特定の宗教に対する特別扱い（援助・助長・促進）とはいえず、したがってまた憲法20条3項が定める政教分離原則に違反しないとした。最高裁の見解は妥当な判断なものなのか、私見をまとめなさい。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：講義中における議論を踏まえながら、Exercise⑧．について、ノートに私見を800字以内にまとめなさい。
復習時間：90分
1. 信教（宗教）の自由
2. 政教分離原則
3. 津地鎮祭訴訟事件（最高裁1977年7月13日）
4. 愛媛県玉串訴訟事件（最高裁1997年4日2日）
5. 小泉純一郎首相靖国神社参拝違憲訴訟事件（最高裁2006年6月23日）
6. まとめ

第9回　表現の自由（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのディスカッションと講義）

予習内容：　Exercise⑨．自衛隊立川宿舎の各戸玄関には、日常的に飲食店のチラシ等の商業的宣伝ビラが投函されていたにもかかわらず、自衛隊のイラク派兵反対を訴えるビラを投函した者に対して、最高裁は住居侵入罪を適用した。このような最高裁の判断は、憲法21条が保障する表現の自由を萎縮してしまわないのか、私見をまとめなさい。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：講義中における議論を踏まえながら、Exercise⑨．について、ノートに私見を800字以内にまとめなさい。
復習時間：90分
1. 思想の自由と表現の自由との関係
2. 表現の自由の諸形態
3. 表現の自由の考え方
4. 表現の自由の規制
5. ヘイトスピーチの規制と表現の自由
6. まとめ

第10回　学問の自由および教育権（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのディスカッションと講義）

予習内容：　Exercise⑩．「指導要録開示訴訟」において最高裁は、（1）「各教科の学習の記録」の「観点別学習状況」欄と「評価」欄、および（4）「標準検査の記録」の「所見」欄の開示を認めたが、それ以外は非開示とした。それでは、非開示とされた指導要録の情報は、開示されないことが妥当なのか、私見をまとめなさい。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：講義中における議論を踏まえながら、Exercise⑩．について、ノートに私見を800字以内にまとめなさい
復習時間：90分
1. 学問の自由
2. 小中高等学校の教師における「教育の自由」
3. 家永教科書裁判
4. 旭川学力テスト事件（最高裁1976年5月21日）
5. 学習指導要領
6. まとめ

第11回　営業の自由（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのディスカッションと講義）

予習内容：　Exercise⑪．厚労省は、薬事法の対面販売の原則を固持しつつ、第一類および第二類医薬品のインターネット販売

を禁止する施行規則を定め2009年に施行した。これに対して、最高裁は、薬事法が薬のインターネット販売を一律に禁止する施行規則の制定を委任するものではないとして、かかる規定は薬事法の委任の範囲を逸脱し、違法であると判断した。このような最高裁の判断は妥当といえるものなのか、私見をまとめなさい。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：講義中における議論を踏まえながら、Exercise⑪．について、ノートに私見を800字以内にまとめなさい。
復習時間：90分
1. 営業の自由
2. 薬事法違憲訴訟（最高裁1975年4月30日）
3. 「公共の福祉」と人権の制約
4. まとめ

第12回　生存権（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのディスカッションと講義）

予習内容：　Exercise⑫．最高裁は、老齢加算違憲訴訟において、生活保護受給者のうち、70歳以上の高齢者に加算されていた、「老齢加算」（教養費、身の回り品費、保健衛生費、および嗜好品費）の支給を廃止した厚労省の裁量は認められるべきであると判断した。かかる最高裁の判断は、憲法25条の解釈として適切であるのか、私見をまとめなさい。
予習時間：90分
復習内容：　Exercise⑫．最高裁は、老齢加算違憲訴訟において、生活保護受給者のうち、70歳以上の高齢者に加算されていた、「老齢加算」（教養費、身の回り品費、保健衛生費、および嗜好品費）の支給を廃止した厚労省の裁量は認められるべきであると判断した。かかる最高裁の判断は、憲法25条の解釈として適切であるのか、私見をまとめなさい。
復習時間：90分
1. 自由権と社会権
2. 憲法25条の精神
3. 生存権
4. 生活保護
5. 朝日訴訟
6. まとめ

第13回　参政権（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのディスカッションと講義）

予習内容：　Exercise⑬．「在外国民選挙権訴訟」において、最高裁は、国会が公職選挙法の必要な改正を行わなかったことは立法不作為に値するとして、憲法違反の判断を示した。
　国側の主張と対比しながら最高裁の判決を整理しなさい。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：講義中における議論を踏まえながら、Exercise⑬．について、ノートに私見を800字以内にまとめなさい。
復習時間：90分
1. 選挙権と被選挙権
2. 在外国民選挙権訴訟
3. 投票価値の平等と議員定数不均衡
4. 選挙活動の自由と戸別訪問の禁止
5. まとめ

第14回　平和憲法（授業形式：アクティブ・ラーニングとしてのディスカッションと講義）

予習内容：　Exercise⑭．自衛隊イラク派遣差止訴訟において、名古屋高裁は、憲法前文に記載されている平和的生存権について、全ての基本的人権の基礎となる「基底的権利」であり、9条に違反する戦争遂行に加担・協力を強制された場合、これに対して差止請求を行うことができる具体的権利性があると判断した。このような平和的生存権の判断は、政府の集団的自衛権の行使を差し止めることにも適用できるのか、ノートに私見をまとめなさい。
予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：講義中における議論を踏まえながら、Exercise⑭．について、私見を800字以内にまとめなさい。
復習時間：90分
1. 平和的生存権
2. 平和憲法と自衛隊
3. 違憲審査と司法消極主義
4. 憲法判断の回避
5. 憲法改正
6. まとめ

第15回　暮らしのなかの憲法（授業形式：講義）

予習内容：　Exercise⑮．「憲法解釈の積み重ねとその議論から、憲法が暮らしのなかに対自的に具現化する」といえるのか？ノートに私見をまとめなさい。

予習時間：90分
復習内容：　基本：ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：講義中における議論を踏まえながら、Exercise⑮．について、ノートに私見を800字以内にまとめなさい。
復習時間：90分
1. 立憲主義
2. 日本国憲法の立憲主義
3. 日本国憲法の射程
4. 暮らしのなかの憲法

定期試験

レポート試験問題を出題する。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 ：	**里山の環境学**						
英文名 ：	SATOYAMA						
担当者 ：	新田　和宏						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考 ：							

■授業概要

＜本講座を学ぶ目的＞

本講座は、里山に関する基本的な理解を深め、里山の環境を保全するために必要とされる、「技」を含めた、基本的な「身体知」を習得することを目的とする。それ故に、本講座は大変興味深い講座である。

＜本講座において学ぶ意義＞

現在、わが国の里山は危機的状況にある。多く見積もっても、里山全体の5%程度しか、適正な管理がおこなわれていない。また、里山ボランティアによる管理は、わずかに0.1%に過ぎないともいわれている。「日本の原風景」ともいわれる里山は、滅び行くのであろうか。こうした問題意識を秘めつつ、里山における実践的な学びから、里山の再生には、どのような働きかけが求められるのか、そのような提言を試みようとするところに、本講座を学ぶ根本的な意義がある。

＜本講座の方法＞

極めて「アクティブ」なディープ・アクティブ・ラーニングとして展開する。

キャンパスに隣接する「近畿大学里山の哲学の道」をフィールドとし、講義とフィールド・ワークを中心に、エクスカーション（遠足）などをも交えながら、本講座は多彩かつアクティブに展開する。

尚、本講座は野外におけるフィールド・ワークを行う関係から履修者数を制限する場合がある。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・フィールドワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本講座を通じて得られるべき到達目標とは次の通りである。

①．フィールド・ノートを取る力。②．鍬や木槌および造林鎌などを用いて道普請を行える力。③．杉の間伐や竹の除伐を行える力。④．里山を代表するクヌギやコナラなどの樹木を識別しえる力。⑤．里山のすみずみまで巡り歩くことができるトレッキングの力。⑥．里山再生に向けて具体的な提言を表現しえる力。

＜ディプロマポリシーとの関連＞

「里山の環境学」の修得は、近畿大学が教養教育において掲げる目標を達成するための目的２および１の達成に関連している。

■成績評価方法および基準

定期試験 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後、試験期間中に指定した日程において試験の解題を行う。

■教科書

【留意事項】使用しない。

■参考文献

[ISBN]9784585221807 『里山という物語』（結城正美・黒田智編、勉誠出版：2017）

[ISBN]9784326654062 『里山に生きる家族と集落』（養父志乃夫、勁草書房：2017）

[ISBN]9784326653997 『里山里海』養父志乃夫勁草書房、2016年
[ISBN]9784760141180 『里山・里海暮らし図鑑』（養父志乃夫、柏書房：2012）
[ISBN]9784004316183 『鳥獣害』（祖田修、岩波新書：2016）
[ISBN]9784642082846 『里山の成立』（水野章二、吉川弘文館：2015）
[ISBN]9784860112660 『猪変』（中国新聞取材班編、本の雑誌社：2015）
[ISBN]9784140816332 『NHK二ッポンの里山』（今森光彦監修、NHK出版：2014）
[ISBN]9784041105122 『里山資本主義』（藻谷浩介、角川書店：2013）
[ISBN]9784140911938 『森林飽和』（太田猛彦、NHK出版：2012年）
[ISBN]9784883402526 『里山復権』（中村浩二・嘉田良平編、創森社：2010）
[ISBN]9784812207383 『里山学のすすめ』（丸山徳次・宮浦富保編、昭和堂：2007）
[ISBN]4591066649 『里山図鑑』(おくやまひさし、ポプラ社：2001）
[ISBN]4130603019 『里山の環境学』（武内和彦・鷲谷いづみ・恒川篤史編、東京大学出版会：2001）
[ISBN]9784130633710 『人と自然の環境学』（日本生命財団編、東京大学出版会：2019）
[ISBN]4484004054 『里山大百科』（平野伸明・新開孝・大久保茂徳、TBSブリタニカ：2000）
[ISBN]9784588205316 『森林 1』（四手井綱英法政大学出版局：1985）

■関連科目

持続可能な社会論

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

新田研究室（2号館5階508）・nitta@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜3限。予め、メールで連絡をしてください。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　里山を保全するための「身体知」とフィールド・ノート技法（授業形式：ディープ・アクティブ・ラーニングとミニ講義）

予習内容：基本：「里山」について調べながら、「里山」のイメージを膨らませる。
予習時間：90分
復習内容：基本：フィールド・ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、フィールド・ワークと講義を踏まえつつ、フィールド・ノートに使う記号および略記を確定し、フィールド・ノートの冒頭に記号・略記の凡例を作成する。
復習時間：90分
「里山の環境学」を如何にして学ぶのか

第2回　里山のトレッキング技法（授業形式：ディープ・アクティブ・ラーニングとミニ講義）

予習内容：基本：キー・ワード「五感」「第六感」「観天望気」「ヤブこぎ」について調べ、それぞれの要点をフィールド・ノートに記す。
予習時間：90分
復習内容：基本：フィールド・ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、フィールド・ワークと講義を踏まえつつ、「靴紐の結び方」「急斜面の登り方」および「急斜面の下り方」について、そのポイントをフィールド・ノートに要領よく図解する。このような作業の積み重ねが「里山の環境学」における学習成果の一つである「里山保全図鑑」の作成となる。
復習時間：90分
里山を如何にして歩くのか

第3回　里山を立体的に理解するためのエクスカーションと里地里山および奥山そして里山の衰退（授業形式：ディープ・アクティブ・ラーニングとミニ講義）

予習内容：基本：キー・ワード「里地里山」「奥山」「アミニズム」について調べ、それぞれの要点をフィールド・ノートに記す。
予習時間：90分
復習内容：基本：フィールド・ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、フィールド・ワークと講義を踏まえつつ、「里地里山」「奥山」および「アミニズム」について、そのポイントをフィールド・ノートに要領よく図解する。
復習時間：90分
里山を如何にして理解するのか

第4回　里山における侵略的外来種の増殖と害獣の被害およびその駆除（授業形式：ディープ・アクティブ・ラーニングとミニ講義）

予習内容：里山における侵略的外来種の増殖と害獣の被害およびその駆除
予習時間：90分
復習内容：基本：フィールド・ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、フィールド・ワークと講義を踏まえつつ、「孟宗竹と真竹の爆発的増殖」と「イノシシによる獣害」について、そのポイントをフィールド・ノートに要領よく図解する。
復習時間：90分
里山は如何にして荒廃するのか

第5回　里山の道普請（授業形式：ディープ・アクティブ・ラーニングとミニ講義）

予習内容：基本：キー・ワード「道」「獣道」について調べ、それぞれの要点をフィールド・ノートに記す。
予習時間：90分
復習内容：基本：フィールド・ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、フィールド・ワークと講義を踏まえつつ、道普請の作業手順について、そのポイントをフィールド・ノートに要領よく図解する。
復習時間：90分
里山を保全するための基本が道普請

第6回　里山の間伐・除伐・除草（授業形式：ディープ・アクティブ・ラーニングとミニ講義）

予習内容：基本：キー・ワード「人工林」「二次林」「原生林」について調べ、それぞれの違いに配慮しながら、その要点をフィールド・ノートに記す。
予習時間：90分
復習内容：　基本：キー・ワード「人工林」「二次林」「原生林」について調べ、それぞれの違いに配慮しながら、その要点をフィールド・ノートに記す。
　発展：また、間伐で用いる「受け口」「追い口」について図解したものをフィールド・ノートに記す。
復習時間：90分
「人間も自然の一部」とは、里山において如何なる意味なのか

第7回　里山の樹木の見分け方（授業形式：ディープ・アクティブ・ラーニングとミニ講義）

予習内容：基本：キー・ワード「落葉樹」「常緑樹（照葉樹林）」「針葉樹」について調べ、それぞれの違いに配慮しながら、その要点をフィールド・ノートに記す。
予習時間：90分
復習内容：基本：フィールド・ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、フィールド・ワークと講義を踏まえつつ、「コナラ」「クヌギ」「クスノキ」および「ヤマザクラ」について、その見分け方のポイント（鋸歯、葉脈、樹皮、臭い等）をフィールド・ノートに要領よく図解する。
復習時間：90分
マクロからもミクロからも里山を観察する

第8回　里山におけるバードウォッチング技法（授業形式：ディープ・アクティブ・ラーニングとミニ講義）

予習内容：基本：キー・ワード「留鳥」「夏鳥」「冬鳥」「旅鳥」「漂鳥」について調べ、それぞれの違いに配慮しながら、その要点をフィールド・ノートに記す。
予習時間：90分
復習内容：基本：フィールド・ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、フィールド・ワークと講義を踏まえつつ、「シジュウカラ」「メジロ」「ヤマガラ」「エナガ」「コゲラ」、および「キビタキ」「オオルリ」「ツツドリ」「ジョウビタキ」「ツグミ」並びに「コウノトリ」について、その見分け方のポイント（大きさ、色、模様、さえづり・地鳴き、飛び方等）をフィールド・ノートに要領よく図解する。
復習時間：90分
鳥を通じて里山の状態を伺う

第9回　里山の恵み①：桃狩り栗拾いという里山保全の意義（授業形式：ディープ・アクティブ・ラーニングとミニ講義）

予習内容：　基本：「桃の摘果」「縄文時代における栗」について調べ、それぞれ要点をフィールド・ノートに記す。
予習時間：90分
復習内容：　基本：フィールド・ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、フィールド・ワークと講義を踏まえつつ、「クリの木の見分け方」について、そのポイントをフィールド・ノートに要領よく図解する。
復習時間：90分
里山の恵みを頂戴することの意味とは

第10回　里山の恵み②：焼き芋という里山保全の意義（授業形式：ディープ・アクティブ・ラーニングとミニ講義）

予習内容：　基本：キー・ワード「童謡たきび」「落葉かき」「灰の効用」について調べ、それぞれ要点をフィールド・ノート

に記す。
予習時間：90分
復習内容：　基本：フィールド・ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、フィールド・ワークと講義を踏まえつつ、落葉やヤマザクラの落ち枝および杉の落ち枝を用いた焼き芋の手順と裏技について、フィールド・ノートに要領よく図解する。
復習時間：90分
里山の恵みを頂戴することの意味とは

第11回　里山を保全するためのツール（道具）のメンテナンスの仕方（授業形式：ディープ・アクティブ・ラーニングとミニ講義）

予習内容：基本：「鋸」「草刈り鎌」「造林鎌」「鉈」「木槌」「鍬」について調べ、それぞれの用途をフィールド・ノートに記す。
予習時間：90分
復習内容：基本：フィールド・ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、フィールド・ワークと講義を踏まえつつ、「鋸」「草刈り鎌」「造林鎌」「鉈」「木槌」「鍬」のメンテナンスの仕方について、フィールド・ノートに要領よく図解する。
復習時間：90分
道具は身体の延長であり、故にメンテナンスが欠かせない

第12回　里山を案内する道標の作成とその設置（授業形式：ディープ・アクティブ・ラーニングとミニ講義）

予習内容：基本：キー・ワード「道標」「ウッドバーニング」について調べ、それぞれの要点をフィールド・ノートに記す。
予習時間：90分
復習内容：基本：フィールド・ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、フィールド・ワークと講義を踏まえつつ、「道標の作成方法と設置方法」について、フィールド・ノートに要領よく図解する。
復習時間：90分
里山を学んだら、その里山を案内してみよう

第13回　里山と人間との関係：撹拌（disturbance）と保全（conservation）および保護（preservation）（授業形式：ディープ・アクティブ・ラーニングとミニ講義）

予習内容：基本：キー・ワード「撹拌」「保全」「保護」について調べ、それぞれの要点をフィールド・ノートに記す。
予習時間：90分
復習内容：　基本：フィールド・ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、フィールド・ワークと講義を踏まえつつ、「人間も里山の一部」という言説の真意について、その要点をフィールド・ノートに記す
復習時間：90分
改めて里山と人間との関係を深掘りする

第14回　紀ノ川流域の歴史と民俗および里山文化（授業形式：ディープ・アクティブ・ラーニングとミニ講義）

予習内容：基本：キー・ワード「和泉砂岩」「根来衆」「紀州材」について調べ、それぞれの要点をフィールド・ノートに記す。
予習時間：90分
復習内容：基本：フィールド・ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、フィールド・ワークと講義を踏まえつつ、「近畿大学里山の哲学の道周辺の絵図」を、フィールド・ノートに描く。
復習時間：90分
里山はその地域に根ざした歴史と民俗および文化を如何に反映しているのか

第15回　里山再生と里山文化の継承および里山保全ボランティア

予習内容：基本：霞ヶ浦の「アサザ・プロジェクト」など各地で行われている「里山再生の取り組み」について実例を一つ調べ、その要点をフィールド・ノートに記す。
予習時間：90分
復習内容：基本：フィールド・ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、フィールド・ワークと講義を踏まえつつ、「里山再生と里山文化の継承および里山保全ボランティア」について、私見をフィールド・ノートに記す。
復習時間：90分
滅び行く里山を如何に再生するのか（授業形式：ディープ・アクティブ・ラーニングとミニ講義）

定期試験

里山を保全するための実践的な問題を10題出題する

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 ：	**里山の環境学**						
英文名 ：	SATOYAMA						
担当者 ：	新田　和宏						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	共通教養科目						
備　考 ：							

■授業概要

＜本講座を学ぶ目的＞

本講座は、里山に関する基本的な理解を深め、里山の環境を保全するために必要とされる、「技」を含めた、基本的な「身体知」を習得することを目的とする。それ故に、本講座は大変興味深い講座である。

＜本講座において学ぶ意義＞

現在、わが国の里山は危機的状況にある。多く見積もっても、里山全体の5%程度しか、適正な管理がおこなわれていない。また、里山ボランティアによる管理は、わずかに0.1%に過ぎないともいわれている。「日本の原風景」ともいわれる里山は、滅び行くのであろうか。こうした問題意識を秘めつつ、里山における実践的な学びから、里山の再生には、どのような働きかけが求められるのか、そのような提言を試みようとするところに、本講座を学ぶ根本的な意義がある。

＜本講座の方法＞

極めて「アクティブ」なディープ・アクティブ・ラーニングとして展開する。

キャンパスに隣接する「近畿大学里山の哲学の道」をフィールドとし、講義とフィールド・ワークを中心に、エクスカーション（遠足）などをも交えながら、本講座は多彩かつアクティブに展開する。

尚、本講座は野外におけるフィールド・ワークを行う関係から履修者数を制限する場合がある。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・フィールドワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本講座を通じて得られるべき到達目標とは次の通りである。

①．フィールド・ノートを取る力。②．鍬や木槌および造林鎌などを用いて道普請を行える力。③．杉の間伐や竹の除伐を行える力。④．里山を代表するクヌギやコナラなどの樹木を識別しえる力。⑤．里山のすみずみまで巡り歩くことができるトレッキングの力。⑥．里山再生に向けて具体的な提言を表現しえる力。

＜ディプロマポリシーとの関連＞

「里山の環境学」の修得は、近畿大学が教養教育において掲げる目標を達成するための目的２および１の達成に関連している。

■成績評価方法および基準

定期試験 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後、試験期間中に指定した日程において試験の解題を行う。

■教科書

【留意事項】使用しない。

■参考文献

[ISBN]9784585221807 『里山という物語』（結城正美・黒田智編、勉誠出版：2017）

[ISBN]9784326654062 『里山に生きる家族と集落』（養父志乃夫、勁草書房：2017）

[ISBN]9784326653997 『里山里海』養父志乃夫勁草書房、2016年
[ISBN]9784760141180 『里山・里海暮らし図鑑』（養父志乃夫、柏書房：2012）
[ISBN]9784004316183 『鳥獣害』（祖田修、岩波新書：2016）
[ISBN]9784642082846 『里山の成立』（水野章二、吉川弘文館：2015）
[ISBN]9784860112660 『猪変』（中国新聞取材班編、本の雑誌社：2015）
[ISBN]9784140816332 『NHK二ッポンの里山』（今森光彦監修、NHK出版：2014）
[ISBN]9784041105122 『里山資本主義』（藻谷浩介、角川書店：2013）
[ISBN]9784140911938 『森林飽和』（太田猛彦、NHK出版：2012年）
[ISBN]9784883402526 『里山復権』（中村浩二・嘉田良平編、創森社：2010）
[ISBN]9784812207383 『里山学のすすめ』（丸山徳次・宮浦富保編、昭和堂：2007）
[ISBN]4591066649 『里山図鑑』(おくやまひさし、ポプラ社：2001）
[ISBN]4130603019 『里山の環境学』（武内和彦・鷲谷いづみ・恒川篤史編、東京大学出版会：2001）
[ISBN]9784130633710 『人と自然の環境学』（日本生命財団編、東京大学出版会：2019）
[ISBN]4484004054 『里山大百科』（平野伸明・新開孝・大久保茂徳、TBSブリタニカ：2000）
[ISBN]9784588205316 『森林 1』（四手井綱英法政大学出版局：1985）

■関連科目

持続可能な社会論

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

新田研究室（2号館5階508）・nitta@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜3限。予め、メールで連絡をしてください。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　里山を保全するための「身体知」とフィールド・ノート技法（授業形式：ディープ・アクティブ・ラーニングとミニ講義）

予習内容：基本：「里山」について調べながら、「里山」のイメージを膨らませる。
予習時間：90分
復習内容：基本：フィールド・ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、フィールド・ワークと講義を踏まえつつ、フィールド・ノートに使う記号および略記を確定し、フィールド・ノートの冒頭に記号・略記の凡例を作成する。
復習時間：90分
「里山の環境学」を如何にして学ぶのか

第2回　里山のトレッキング技法（授業形式：ディープ・アクティブ・ラーニングとミニ講義）

予習内容：基本：キー・ワード「五感」「第六感」「観天望気」「ヤブこぎ」について調べ、それぞれの要点をフィールド・ノートに記す。
予習時間：90分
復習内容：基本：フィールド・ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、フィールド・ワークと講義を踏まえつつ、「靴紐の結び方」「急斜面の登り方」および「急斜面の下り方」について、そのポイントをフィールド・ノートに要領よく図解する。このような作業の積み重ねが「里山の環境学」における学習成果の一つである「里山保全図鑑」の作成となる。
復習時間：90分
里山を如何にして歩くのか

第3回　里山を立体的に理解するためのエクスカーションと里地里山および奥山そして里山の衰退（授業形式：ディープ・アクティブ・ラーニングとミニ講義）

予習内容：基本：キー・ワード「里地里山」「奥山」「アミニズム」について調べ、それぞれの要点をフィールド・ノートに記す。
予習時間：90分
復習内容：基本：フィールド・ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、フィールド・ワークと講義を踏まえつつ、「里地里山」「奥山」および「アミニズム」について、そのポイントをフィールド・ノートに要領よく図解する。
復習時間：90分
里山を如何にして理解するのか

第4回　里山における侵略的外来種の増殖と害獣の被害およびその駆除（授業形式：ディープ・アクティブ・ラーニングとミニ講義）

予習内容：里山における侵略的外来種の増殖と害獣の被害およびその駆除
予習時間：90分
復習内容：基本：フィールド・ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、フィールド・ワークと講義を踏まえつつ、「孟宗竹と真竹の爆発的増殖」と「イノシシによる獣害」について、そのポイントをフィールド・ノートに要領よく図解する。
復習時間：90分
里山は如何にして荒廃するのか

第5回　里山の道普請（授業形式：ディープ・アクティブ・ラーニングとミニ講義）

予習内容：基本：キー・ワード「道」「獣道」について調べ、それぞれの要点をフィールド・ノートに記す。
予習時間：90分
復習内容：基本：フィールド・ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、フィールド・ワークと講義を踏まえつつ、道普請の作業手順について、そのポイントをフィールド・ノートに要領よく図解する。
復習時間：90分
里山を保全するための基本が道普請

第6回　里山の間伐・除伐・除草（授業形式：ディープ・アクティブ・ラーニングとミニ講義）

予習内容：基本：キー・ワード「人工林」「二次林」「原生林」について調べ、それぞれの違いに配慮しながら、その要点をフィールド・ノートに記す。
予習時間：90分
復習内容：　基本：キー・ワード「人工林」「二次林」「原生林」について調べ、それぞれの違いに配慮しながら、その要点をフィールド・ノートに記す。
　発展：また、間伐で用いる「受け口」「追い口」について図解したものをフィールド・ノートに記す。
復習時間：90分
「人間も自然の一部」とは、里山において如何なる意味なのか

第7回　里山の樹木の見分け方（授業形式：ディープ・アクティブ・ラーニングとミニ講義）

予習内容：基本：キー・ワード「落葉樹」「常緑樹（照葉樹林）」「針葉樹」について調べ、それぞれの違いに配慮しながら、その要点をフィールド・ノートに記す。
予習時間：90分
復習内容：基本：フィールド・ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、フィールド・ワークと講義を踏まえつつ、「コナラ」「クヌギ」「クスノキ」および「ヤマザクラ」について、その見分け方のポイント（鋸歯、葉脈、樹皮、臭い等）をフィールド・ノートに要領よく図解する。
復習時間：90分
マクロからもミクロからも里山を観察する

第8回　里山におけるバードウォッチング技法（授業形式：ディープ・アクティブ・ラーニングとミニ講義）

予習内容：基本：キー・ワード「留鳥」「夏鳥」「冬鳥」「旅鳥」「漂鳥」について調べ、それぞれの違いに配慮しながら、その要点をフィールド・ノートに記す。
予習時間：90分
復習内容：基本：フィールド・ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、フィールド・ワークと講義を踏まえつつ、「シジュウカラ」「メジロ」「ヤマガラ」「エナガ」「コゲラ」、および「キビタキ」「オオルリ」「ツツドリ」「ジョウビタキ」「ツグミ」並びに「コウノトリ」について、その見分け方のポイント（大きさ、色、模様、さえづり・地鳴き、飛び方等）をフィールド・ノートに要領よく図解する。
復習時間：90分
鳥を通じて里山の状態を伺う

第9回　里山の恵み①：桃狩り栗拾いという里山保全の意義（授業形式：ディープ・アクティブ・ラーニングとミニ講義）

予習内容：　基本：「桃の摘果」「縄文時代における栗」について調べ、それぞれ要点をフィールド・ノートに記す。
予習時間：90分
復習内容：　基本：フィールド・ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、フィールド・ワークと講義を踏まえつつ、「クリの木の見分け方」について、そのポイントをフィールド・ノートに要領よく図解する。
復習時間：90分
里山の恵みを頂戴することの意味とは

第10回　里山の恵み②：焼き芋という里山保全の意義（授業形式：ディープ・アクティブ・ラーニングとミニ講義）

予習内容：　基本：キー・ワード「童謡たきび」「落葉かき」「灰の効用」について調べ、それぞれ要点をフィールド・ノート

に記す。
予習時間：90分
復習内容：　基本：フィールド・ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、フィールド・ワークと講義を踏まえつつ、落葉やヤマザクラの落ち枝および杉の落ち枝を用いた焼き芋の手順と裏技について、フィールド・ノートに要領よく図解する。
復習時間：90分
里山の恵みを頂戴することの意味とは

第11回　里山を保全するためのツール（道具）のメンテナンスの仕方（授業形式：ディープ・アクティブ・ラーニングとミニ講義）

予習内容：基本：「鋸」「草刈り鎌」「造林鎌」「鉈」「木槌」「鍬」について調べ、それぞれの用途をフィールド・ノートに記す。
予習時間：90分
復習内容：基本：フィールド・ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、フィールド・ワークと講義を踏まえつつ、「鋸」「草刈り鎌」「造林鎌」「鉈」「木槌」「鍬」のメンテナンスの仕方について、フィールド・ノートに要領よく図解する。
復習時間：90分
道具は身体の延長であり、故にメンテナンスが欠かせない

第12回　里山を案内する道標の作成とその設置（授業形式：ディープ・アクティブ・ラーニングとミニ講義）

予習内容：基本：キー・ワード「道標」「ウッドバーニング」について調べ、それぞれの要点をフィールド・ノートに記す。
予習時間：90分
復習内容：基本：フィールド・ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、フィールド・ワークと講義を踏まえつつ、「道標の作成方法と設置方法」について、フィールド・ノートに要領よく図解する。
復習時間：90分
里山を学んだら、その里山を案内してみよう

第13回　里山と人間との関係：撹拌（disturbance）と保全（conservation）および保護（preservation）（授業形式：ディープ・アクティブ・ラーニングとミニ講義）

予習内容：基本：キー・ワード「撹拌」「保全」「保護」について調べ、それぞれの要点をフィールド・ノートに記す。
予習時間：90分
復習内容：　基本：フィールド・ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、フィールド・ワークと講義を踏まえつつ、「人間も里山の一部」という言説の真意について、その要点をフィールド・ノートに記す
復習時間：90分
改めて里山と人間との関係を深掘りする

第14回　紀ノ川流域の歴史と民俗および里山文化（授業形式：ディープ・アクティブ・ラーニングとミニ講義）

予習内容：基本：キー・ワード「和泉砂岩」「根来衆」「紀州材」について調べ、それぞれの要点をフィールド・ノートに記す。
予習時間：90分
復習内容：基本：フィールド・ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、フィールド・ワークと講義を踏まえつつ、「近畿大学里山の哲学の道周辺の絵図」を、フィールド・ノートに描く。
復習時間：90分
里山はその地域に根ざした歴史と民俗および文化を如何に反映しているのか

第15回　里山再生と里山文化の継承および里山保全ボランティア

予習内容：基本：霞ヶ浦の「アサザ・プロジェクト」など各地で行われている「里山再生の取り組み」について実例を一つ調べ、その要点をフィールド・ノートに記す。
予習時間：90分
復習内容：基本：フィールド・ノートを読み返しながら、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足す。
　発展：また、フィールド・ワークと講義を踏まえつつ、「里山再生と里山文化の継承および里山保全ボランティア」について、私見をフィールド・ノートに記す。
復習時間：90分
滅び行く里山を如何に再生するのか（授業形式：ディープ・アクティブ・ラーニングとミニ講義）

定期試験

里山を保全するための実践的な問題を10題出題する

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**教育課程論**						
英文名　：	Theory of School Curriculum						
担当者　：	松本　圭朗						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	教職科目						
備　考　：							

■授業概要

教育課程の編成・実施・評価は、学校教育の中心に位置する。換言すれば、何のために、何を、いつどのように何を用いて教え、学ばせるかを計画し、実践し、評価する教育課程に係る力量は、教職の専門性の中核でもある。教育課程に関する法令・歴史・事例を取り上げながら、基礎的知識の獲得を図り、学校における教育指導にかかわる実践力の基礎を身につける。また、学校段階間接続やカリキュラム・マネジメントなどの現代的課題を取り上げ、理解を深める。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

① 学習指導要領をはじめとした法令等の概要を理解し、その要点を説明できる。
② 教育課程の意義・編成方法に関する基礎的知識を習得し、その要点を説明できる。
③ 教科・領域・学年を横断したカリキュラムのあり方を把握し、学校教育課程全体をマネジメントする意義を説明できる。
④ 学校教育に関する現代的諸課題を教育課程の視座から捉え、考えることができる。
⑤ 教育課程編成の手続きを理解し、各教科等の指導計画（全体計画）・学習評価を例示できる。

■成績評価方法および基準

語句テスト 30%
ミニッツペーパー・小レポート 20%
プレゼンテーション（および係る提出物） 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

・語句テスト・ミニッツペーパー・小レポートは採点あるいは解説をおこなう。
・プレゼンテーションは、発表後に講評をおこなう。

■教科書

[ISBN]9784472405587 『教育課程編成論【新訂版】 (玉川大学教職専門シリーズ)』 (正裕, 奈須, 玉川大学出版部：2019)

■参考文献

[ISBN]9784827815801 『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編』 (文部科学省, 東山書房：2020)
[ISBN]9784491036397 『高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 総則編 ―平成30年7月 (高等学校学習指導要領解説)』 (文部科学省, 東洋館出版社：2019)
【留意事項】各自が想定する校種の『学習指導要領』は、本講義以外でも使用する機会が予想されるため、入手しておくことが望ましい。

■関連科目

教職科目全般

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

松本研究室（２号館５階）　yoshiro.matsumoto@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

水曜４限
事前にメールでアポイントメントを取って下さい。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

・配布資料を綴るファイルを用意しておくことが望ましい。
・グループワーク（簡単なもの）・ディスカッション等は、内容詳細には記述していない場合も、ほとんどの回で実施する予定である。

第1回　【オリエンテーション：教育課程・カリキュラムとは何か】（授業形式：講義）

予習内容：教科書第1章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：講義内で提示した教育課程に係る問いに対して、自分なりの「答え」を考え、メモしておく。
復習時間：60分
学習を進めていくうえで、教育課程そのものに疑問（問い）を持つことを目的とする。

第2回　【教育課程の歴史と思想】（授業形式：講義）

予習内容：教科書第2章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：講義内で指示した教育課程に関する基本語句を覚える。
復習時間：60分
教育課程に係る歴史・思想を概説する。教育課程に関する基本語句を押さえつつ、それらの概念を用いて教育課程を捉えることを試みる。

第3回　【社会における教育課程】（授業形式：講義）

予習内容：教科書第12章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：講義内で指示した教育課程に関する基本語句を覚える。
復習時間：60分
教育課程を教育社会学の知見を踏まえて概説する。教育課程が私たちに与える影響を理解したうえで、教育課程と社会との関係を考えていく。

第4回　【教育課程にかかわる法令、教育課程行政】（授業形式：講義）

予習内容：教科書第5章1節を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：講義内で指示した教育課程に関する基本語句を覚える。
復習時間：60分
教育課程にかかわる法令等について概説する。教育基本法以下、学校教育法施行規則等に至るまで確認し、それらを踏まえた教育課程編成のあり方を考える。

第5回　【学習指導要領本文の検討】（授業形式：講義）

予習内容：「学習指導要領総則編（中学校／高等学校）」に大まかに目を通しとくこと。
予習時間：60分
復習内容：講義内で指示した学習指導要領に関する基本語句を覚える。
復習時間：60分
教育課程編成の基礎となる学習指導要領の本文を確認しながら、概説する。とくに「総則編」から、求められている教育課程編成のあり方を理解する。

第6回　【資質・能力（・学力）の育成と教育課程編成】（授業形式：講義）

予習内容：教科書第3章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：第7回で使用する発表用レジュメを作成する。
復習時間：60分
学習指導要領のキーワードの1つである資質・能力について概説し、その内実を考える。また、「学力」概念についても概説し、その問い直しを図る。

第7回　【学校階梯と教育課程】（授業形式：講義）

予習内容：第7回で使用する発表用レジュメを作成する。
予習時間：60分

復習内容：グループでの議論をまとめる。
復習時間：60分
各自が作成したレジュメを用いて、中学校／高等学校の教育課程に関する論点についてグループで確認・議論する。

第8回　【学習指導要領改訂をめぐる歴史および論点】（授業形式：講義）

予習内容：教科書第11章2・3節を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：講義内で指示した教育課程に関する基本語句を覚える。
復習時間：60分
今次の学習指導要領に至るまでの歴史・論点について概説する。そのうえで、教育課程をめぐる二項対立的な枠組みを確認し、今後の教育課程のあり方の方向性を考える。

第9回　【教科等の指導計画・全体計画】（授業形式：講義）

予習内容：教科書第9章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：講義内で指示した指導計画案を完成させる。
復習時間：60分
「単元」を切り口として、教科等の指導計画・全体計画のあり方について概説する。そのうえで、簡単な指導計画案を考える。

第10回　【教科等を横断した教育課程の編成とその実際】（授業形式：講義）

予習内容：配布資料を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：講義内で指示した教育課程に関する基本語句を覚える。
復習時間：60分
教科等横断的な学びについて概説する。合わせて教科外のカリキュラムについても言及し、教科カリキュラムとの関係を踏まえた教育課程のあり方について考える。

第11回　【カリキュラム・マネジメントの意義と手続き】（授業形式：講義）

予習内容：教科書第10章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：講義内で指示した教育課程に関する基本語句を覚える。
復習時間：60分
カリキュラムをマネジメントするとはどういうことなのかを概説し、その実践例を検討する。

第12回　【カリキュラムをどう評価するか】（授業形式：講義）

予習内容：配布資料を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：講義内で指示した教育課程に関する基本語句を覚える。
復習時間：60分
カリキュラム・マネジメントの一環でもある評価に着目し、カリキュラム評価の具体的なあり方について概説する。そのうえで、カリキュラムを評価することの意義と、いわゆる学力評価などとの違いについて考える

第13回　【特色ある教育課程の編成とその実際】（授業形式：講義）

予習内容：配布資料を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：第14・15回で使用するパワーポイントを作成する。
復習時間：60分
独自のカリキュラムを編成している学校もある。こうした学校を事例として、どのような理念に基づき、どのようなカリキュラムのあり方を組み立てることができるのか、検討する。

第14回　【現代的課題と教育課程のあり方】（授業形式：講義）

予習内容：第14・15回で使用するパワーポイントを作成する。
予習時間：60分
復習内容：第15回で使用するパワーポイントを作成する。
復習時間：60分
各自が作成した現代的課題に対応する教育課程についてプレゼンテーションをおこなう。そして、そこで提示された論点についてディスカッションをおこなう。また、発表テーマについても解説をおこなう。

第15回　【近年のカリキュラム改革の動向】（授業形式：講義）

予習内容：第15回で使用するパワーポイントを作成する。
予習時間：60分
復習内容：講義全体を振り返り、学んだことを跡づけなおす。
復習時間：60分

各自が作成した現代的課題に対応する教育課程についてプレゼンテーションをおこなう。そして、そこで提示された論点についてディスカッションをおこなう。また、発表テーマについても解説をおこなう。なお、本時では、語句テストおよびその解説もおこなう。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**教育課程論**						
英文名　：	Theory of School Curriculum						
担当者　：	松本　圭朗						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	教職科目						
備　考　：							

■授業概要

教育課程の編成・実施・評価は、学校教育の中心に位置する。換言すれば、何のために、何を、いつどのように何を用いて教え、学ばせるかを計画し、実践し、評価する教育課程に係る力量は、教職の専門性の中核でもある。教育課程に関する法令・歴史・事例を取り上げながら、基礎的知識の獲得を図り、学校における教育指導にかかわる実践力の基礎を身につける。また、学校段階間接続やカリキュラム・マネジメントなどの現代的課題を取り上げ、理解を深める。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

① 学習指導要領をはじめとした法令等の概要を理解し、その要点を説明できる。
② 教育課程の意義・編成方法に関する基礎的知識を習得し、その要点を説明できる。
③ 教科・領域・学年を横断したカリキュラムのあり方を把握し、学校教育課程全体をマネジメントする意義を説明できる。
④ 学校教育に関する現代的諸課題を教育課程の視座から捉え、考えることができる。
⑤ 教育課程編成の手続きを理解し、各教科等の指導計画（全体計画）・学習評価を例示できる。

■成績評価方法および基準

語句テスト 30%
ミニッツペーパー・小レポート 20%
プレゼンテーション（および係る提出物） 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

・語句テスト・ミニッツペーパー・小レポートは採点あるいは解説をおこなう。
・プレゼンテーションは、発表後に講評をおこなう。

■教科書

[ISBN]9784472405587 『教育課程編成論【新訂版】 (玉川大学教職専門シリーズ)』 (正裕, 奈須, 玉川大学出版部：2019)

■参考文献

[ISBN]9784827815801 『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編』 (文部科学省, 東山書房：2020)
[ISBN]9784491036397 『高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 総則編 ―平成30年7月 (高等学校学習指導要領解説)』 (文部科学省, 東洋館出版社：2019)
【留意事項】各自が想定する校種の『学習指導要領』は、本講義以外でも使用する機会が予想されるため、入手しておくことが望ましい。

■関連科目

教職科目全般

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

松本研究室（２号館５階）　yoshiro.matsumoto@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

水曜４限
事前にメールでアポイントメントを取って下さい。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

・配布資料を綴るファイルを用意しておくことが望ましい。
・グループワーク（簡単なもの）・ディスカッション等は、内容詳細には記述していない場合も、ほとんどの回で実施する予定である。

第1回　【オリエンテーション：教育課程・カリキュラムとは何か】（授業形式：講義）

予習内容：教科書第1章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：講義内で提示した教育課程に係る問いに対して、自分なりの「答え」を考え、メモしておく。
復習時間：60分
学習を進めていくうえで、教育課程そのものに疑問（問い）を持つことを目的とする。

第2回　【教育課程の歴史と思想】（授業形式：講義）

予習内容：教科書第2章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：講義内で指示した教育課程に関する基本語句を覚える。
復習時間：60分
教育課程に係る歴史・思想を概説する。教育課程に関する基本語句を押さえつつ、それらの概念を用いて教育課程を捉えることを試みる。

第3回　【社会における教育課程】（授業形式：講義）

予習内容：教科書第12章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：講義内で指示した教育課程に関する基本語句を覚える。
復習時間：60分
教育課程を教育社会学の知見を踏まえて概説する。教育課程が私たちに与える影響を理解したうえで、教育課程と社会との関係を考えていく。

第4回　【教育課程にかかわる法令、教育課程行政】（授業形式：講義）

予習内容：教科書第5章1節を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：講義内で指示した教育課程に関する基本語句を覚える。
復習時間：60分
教育課程にかかわる法令等について概説する。教育基本法以下、学校教育法施行規則等に至るまで確認し、それらを踏まえた教育課程編成のあり方を考える。

第5回　【学習指導要領本文の検討】（授業形式：講義）

予習内容：「学習指導要領総則編（中学校／高等学校）」に大まかに目を通しとくこと。
予習時間：60分
復習内容：講義内で指示した学習指導要領に関する基本語句を覚える。
復習時間：60分
教育課程編成の基礎となる学習指導要領の本文を確認しながら、概説する。とくに「総則編」から、求められている教育課程編成のあり方を理解する。

第6回　【資質・能力（・学力）の育成と教育課程編成】（授業形式：講義）

予習内容：教科書第3章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：第7回で使用する発表用レジュメを作成する。
復習時間：60分
学習指導要領のキーワードの1つである資質・能力について概説し、その内実を考える。また、「学力」概念についても概説し、その問い直しを図る。

第7回　【学校階梯と教育課程】（授業形式：講義）

予習内容：第7回で使用する発表用レジュメを作成する。
予習時間：60分

復習内容：グループでの議論をまとめる。
復習時間：60分
各自が作成したレジュメを用いて、中学校／高等学校の教育課程に関する論点についてグループで確認・議論する。

第8回　【学習指導要領改訂をめぐる歴史および論点】（授業形式：講義）

予習内容：教科書第11章2・3節を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：講義内で指示した教育課程に関する基本語句を覚える。
復習時間：60分
今次の学習指導要領に至るまでの歴史・論点について概説する。そのうえで、教育課程をめぐる二項対立的な枠組みを確認し、今後の教育課程のあり方の方向性を考える。

第9回　【教科等の指導計画・全体計画】（授業形式：講義）

予習内容：教科書第9章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：講義内で指示した指導計画案を完成させる。
復習時間：60分
「単元」を切り口として、教科等の指導計画・全体計画のあり方について概説する。そのうえで、簡単な指導計画案を考える。

第10回　【教科等を横断した教育課程の編成とその実際】（授業形式：講義）

予習内容：配布資料を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：講義内で指示した教育課程に関する基本語句を覚える。
復習時間：60分
教科等横断的な学びについて概説する。合わせて教科外のカリキュラムについても言及し、教科カリキュラムとの関係を踏まえた教育課程のあり方について考える。

第11回　【カリキュラム・マネジメントの意義と手続き】（授業形式：講義）

予習内容：教科書第10章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：講義内で指示した教育課程に関する基本語句を覚える。
復習時間：60分
カリキュラムをマネジメントするとはどういうことなのかを概説し、その実践例を検討する。

第12回　【カリキュラムをどう評価するか】（授業形式：講義）

予習内容：配布資料を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：講義内で指示した教育課程に関する基本語句を覚える。
復習時間：60分
カリキュラム・マネジメントの一環でもある評価に着目し、カリキュラム評価の具体的なあり方について概説する。そのうえで、カリキュラムを評価することの意義と、いわゆる学力評価などとの違いについて考える

第13回　【特色ある教育課程の編成とその実際】（授業形式：講義）

予習内容：配布資料を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：第14・15回で使用するパワーポイントを作成する。
復習時間：60分
独自のカリキュラムを編成している学校もある。こうした学校を事例として、どのような理念に基づき、どのようなカリキュラムのあり方を組み立てることができるのか、検討する。

第14回　【現代的課題と教育課程のあり方】（授業形式：講義）

予習内容：第14・15回で使用するパワーポイントを作成する。
予習時間：60分
復習内容：第15回で使用するパワーポイントを作成する。
復習時間：60分
各自が作成した現代的課題に対応する教育課程についてプレゼンテーションをおこなう。そして、そこで提示された論点についてディスカッションをおこなう。また、発表テーマについても解説をおこなう。

第15回　【近年のカリキュラム改革の動向】（授業形式：講義）

予習内容：第15回で使用するパワーポイントを作成する。
予習時間：60分
復習内容：講義全体を振り返り、学んだことを跡づけなおす。
復習時間：60分

各自が作成した現代的課題に対応する教育課程についてプレゼンテーションをおこなう。そして、そこで提示された論点についてディスカッションをおこなう。また、発表テーマについても解説をおこなう。なお、本時では、語句テストおよびその解説もおこなう。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**教育原理**						
英文名　：	The Study of Principles of Education						
担当者　：	小田　義隆						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	教職科目						
備　考　：							

■授業概要

　教職課程において解説される他の教科との関連をはかりながら、教職課程のコアとして位置づけ、基礎的基本的事項を学習する。教育の基本的概念は何か、また、教育の理念にはどのようなものがあり、教育の歴史や思想において、それらがどのように現れてきたかについて学ぶ。また、これまでの教育及び学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたのかを理解し、さらに、現代社会のおける教育課題とその要因を多角的に分析できる力を養う。授業方法としては、主として講義形式で行う。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

（１）　教育の基本的概念について、①教育学の諸概念並びに教育の本質及び目標を理解している。②子ども、教員、家庭、学校等教育を成り立たせる要素とそれらの相互関係を理解している。
（２）　教育に関する歴史について、①家族と社会による教育の歴史を理解している。②近代教育制度の成立と展開を理解している。③現代社会の教育課題を歴史的な視点から理解している。
（３）　教育に関する思想、①家庭や子どもに関わる教育の思想を理解している。②学校や学習に関わる教育の思想を理解している。③代表的な教育家の思想を理解している。

■成績評価方法および基準

レポート試験 85%
提出物 15%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後に試験の要点を解説する。

■教科書

[ISBN]9784938795849 『子どもと教師のための教育原理　第二版』 (石田美清, 保育出版社：2017)

■参考文献

[ISBN]9784623089758 『新版 よくわかる教育学原論 (やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ)』 (安彦忠彦, ミネルヴァ書房：2020)
[ISBN]9784623088430 『人間教育の基本原理:「ひと」を教え育てることを問う (シリーズ・人間教育の探究 1)』 (梶田叡一, ミネルヴァ書房：2020)

■関連科目

持続可能な社会論、国際社会と日本、教育行政学ほか教職課程諸科目。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行う。

■研究室・メールアドレス

小田研究室（2号館5階509）・oda@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

木曜４限
事前にメールにてアポイントをとること。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　オリエンテーション　教育とは何か(授業形式：講義)

予習内容：教育とは何かを考える。
予習時間：30分
復習内容：西洋・東洋における教育の成り立ちを復習する。
復習時間：30分

第2回　教育の本質と思想（教育の目的的・社会的規定、近代教育思想）(授業形式：講義)

予習内容：近代の教育思想家を調べる。
予習時間：30分
復習内容：開発主義、経験主義の教育思想家を確認する。
復習時間：30分

第3回　子ども観　再考①（ルソーの子ども観、子どもの自然と発達）(授業形式：講義)

予習内容：ルソー・ペスタロッチの教育思想を調べる。
予習時間：30分
復習内容：ルソー・ペスタロッチの教育思想の相違を確認する。
復習時間：30分

第4回　子ども観　再考②（医学からのアプローチ）(授業形式：講義)

予習内容：イタール等、医学からの教育へのアプローチを考える。
予習時間：30分
復習内容：子どもを対象とした医学の発展を確認する。
復習時間：30分

第5回　子ども観　再考③（心理学からのアプローチ）(授業形式：講義)

予習内容：スタンレー・ホール等の心理学者の子どもへの着目を調べる。
予習時間：30分
復習内容：子どもを対象とした心理学の発展を確認する。
復習時間：30分

第6回　「遺伝と環境」と教育(授業形式：講義)

予習内容：遺伝・環境・教育の関係を考える。
予習時間：30分
復習内容：遺伝を重視する考え方、環境を重視する考え方、両方重視する考え方等を確認する。
復習時間：30分

第7回　遺伝・環境・教育の関係に関するディスカッション(授業形式：講義)

予習内容：遺伝・環境・教育に関する関係について自分なりの考えをまとめる。
予習時間：30分
復習内容：他者の意見を踏まえて、人間の発達と教育についての考えをまとめる。
復習時間：30分

第8回　日本の近代化と教育（学制頒布から終戦までの教育）(授業形式：講義)

予習内容：日本における教育の成立を調べる。
予習時間：30分
復習内容：日本における教育の成立で、重要な教育制度・法規を確認する。
復習時間：30分

第9回　戦後教育改革（憲法・教育基本法の成立と意義）(授業形式：講義)

予習内容：戦後教育改革を調べる。
予習時間：30分
復習内容：戦前・戦後の断絶、連続性を確認する。
復習時間：30分

第10回　戦後教育改革のその後（５０年代以降の学校教育の変容）(授業形式：講義)

予習内容：教育の逆コースを調べる。

予習時間：30分
復習内容：戦後教育改革の展開を確認する。
復習時間：30分

第11回　日本の経済成長と学校（６０年代高度経済成長と学校の機能）(授業形式：講義)

予習内容：高度経済成長期について調べる。
予習時間：30分
復習内容：高度経済成長期の教育のその後の影響を確認する。
復習時間：30分

第12回　能力主義と学校（能力主義の教育論的検討）(授業形式：講義)

予習内容：能力主義とは何かを調べる。
予習時間：30分
復習内容：能力主義と教育の関係・影響を確認する。
復習時間：30分

第13回　教育改革にどう向き合うか(授業形式：講義)

予習内容：臨教審以降の教育改革を調べる。
予習時間：30分
復習内容：教育改革で何を変えようとしたのかを考える。
復習時間：30分

第14回　教育基本法の改正（新教育基本法成立）と教育改革(授業形式：講義)

予習内容：2006年の教育基本法改正の概要を調べる。
予習時間：30分
復習内容：教育基本法の改正点とその影響を確認する。
復習時間：30分

第15回　現代日本の教育問題を考える(授業形式：講義)

予習内容：現在進行中の教育改革について調べる。
予習時間：30分
復習内容：チーム学校・学校と地域との連携等、現代の教育改革の方向性を確認する。
復習時間：30分

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**教育原理**						
英文名　：	The Study of Principles of Education						
担当者　：	小田　義隆						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	教職科目						
備　考　：							

■授業概要

　教職課程において解説される他の教科との関連をはかりながら、教職課程のコアとして位置づけ、基礎的基本的事項を学習する。教育の基本的概念は何か、また、教育の理念にはどのようなものがあり、教育の歴史や思想において、それらがどのように現れてきたかについて学ぶ。また、これまでの教育及び学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたのかを理解し、さらに、現代社会のおける教育課題とその要因を多角的に分析できる力を養う。授業方法としては、主として講義形式で行う。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

（１）　教育の基本的概念について、①教育学の諸概念並びに教育の本質及び目標を理解している。②子ども、教員、家庭、学校等教育を成り立たせる要素とそれらの相互関係を理解している。
（２）　教育に関する歴史について、①家族と社会による教育の歴史を理解している。②近代教育制度の成立と展開を理解している。③現代社会の教育課題を歴史的な視点から理解している。
（３）　教育に関する思想、①家庭や子どもに関わる教育の思想を理解している。②学校や学習に関わる教育の思想を理解している。③代表的な教育家の思想を理解している。

■成績評価方法および基準

レポート試験 85%
提出物 15%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後に試験の要点を解説する。

■教科書

[ISBN]9784938795849 『子どもと教師のための教育原理　第二版』 (石田美清, 保育出版社：2017)

■参考文献

[ISBN]9784623089758 『新版 よくわかる教育学原論 (やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ)』 (安彦忠彦, ミネルヴァ書房：2020)
[ISBN]9784623088430 『人間教育の基本原理:「ひと」を教え育てることを問う (シリーズ・人間教育の探究 1)』 (梶田叡一, ミネルヴァ書房：2020)

■関連科目

持続可能な社会論、国際社会と日本、教育行政学ほか教職課程諸科目。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行う。

■研究室・メールアドレス

小田研究室（2号館5階509）・oda@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

木曜４限
事前にメールにてアポイントをとること。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　オリエンテーション　教育とは何か(授業形式：講義)

予習内容：教育とは何かを考える。
予習時間：30分
復習内容：西洋・東洋における教育の成り立ちを復習する。
復習時間：30分

第2回　教育の本質と思想（教育の目的的・社会的規定、近代教育思想）(授業形式：講義)

予習内容：近代の教育思想家を調べる。
予習時間：30分
復習内容：開発主義、経験主義の教育思想家を確認する。
復習時間：30分

第3回　子ども観　再考①（ルソーの子ども観、子どもの自然と発達）(授業形式：講義)

予習内容：ルソー・ペスタロッチの教育思想を調べる。
予習時間：30分
復習内容：ルソー・ペスタロッチの教育思想の相違を確認する。
復習時間：30分

第4回　子ども観　再考②（医学からのアプローチ）(授業形式：講義)

予習内容：イタール等、医学からの教育へのアプローチを考える。
予習時間：30分
復習内容：子どもを対象とした医学の発展を確認する。
復習時間：30分

第5回　子ども観　再考③（心理学からのアプローチ）(授業形式：講義)

予習内容：スタンレー・ホール等の心理学者の子どもへの着目を調べる。
予習時間：30分
復習内容：子どもを対象とした心理学の発展を確認する。
復習時間：30分

第6回　「遺伝と環境」と教育(授業形式：講義)

予習内容：遺伝・環境・教育の関係を考える。
予習時間：30分
復習内容：遺伝を重視する考え方、環境を重視する考え方、両方重視する考え方等を確認する。
復習時間：30分

第7回　遺伝・環境・教育の関係に関するディスカッション(授業形式：講義)

予習内容：遺伝・環境・教育に関する関係について自分なりの考えをまとめる。
予習時間：30分
復習内容：他者の意見を踏まえて、人間の発達と教育についての考えをまとめる。
復習時間：30分

第8回　日本の近代化と教育（学制頒布から終戦までの教育）(授業形式：講義)

予習内容：日本における教育の成立を調べる。
予習時間：30分
復習内容：日本における教育の成立で、重要な教育制度・法規を確認する。
復習時間：30分

第9回　戦後教育改革（憲法・教育基本法の成立と意義）(授業形式：講義)

予習内容：戦後教育改革を調べる。
予習時間：30分
復習内容：戦前・戦後の断絶、連続性を確認する。
復習時間：30分

第10回　戦後教育改革のその後（５０年代以降の学校教育の変容）(授業形式：講義)

予習内容：教育の逆コースを調べる。

予習時間：30分
復習内容：戦後教育改革の展開を確認する。
復習時間：30分

第11回　日本の経済成長と学校（６０年代高度経済成長と学校の機能）(授業形式：講義)

予習内容：高度経済成長期について調べる。
予習時間：30分
復習内容：高度経済成長期の教育のその後の影響を確認する。
復習時間：30分

第12回　能力主義と学校（能力主義の教育論的検討）(授業形式：講義)

予習内容：能力主義とは何かを調べる。
予習時間：30分
復習内容：能力主義と教育の関係・影響を確認する。
復習時間：30分

第13回　教育改革にどう向き合うか(授業形式：講義)

予習内容：臨教審以降の教育改革を調べる。
予習時間：30分
復習内容：教育改革で何を変えようとしたのかを考える。
復習時間：30分

第14回　教育基本法の改正（新教育基本法成立）と教育改革(授業形式：講義)

予習内容：2006年の教育基本法改正の概要を調べる。
予習時間：30分
復習内容：教育基本法の改正点とその影響を確認する。
復習時間：30分

第15回　現代日本の教育問題を考える(授業形式：講義)

予習内容：現在進行中の教育改革について調べる。
予習時間：30分
復習内容：チーム学校・学校と地域との連携等、現代の教育改革の方向性を確認する。
復習時間：30分

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**教育原理**						
英文名　：	The Study of Principles of Education						
担当者　：	小田　義隆						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	教職科目						
備　考　：							

■授業概要

　教職課程において解説される他の教科との関連をはかりながら、教職課程のコアとして位置づけ、基礎的基本的事項を学習する。教育の基本的概念は何か、また、教育の理念にはどのようなものがあり、教育の歴史や思想において、それらがどのように現れてきたかについて学ぶ。また、これまでの教育及び学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたのかを理解し、さらに、現代社会のおける教育課題とその要因を多角的に分析できる力を養う。授業方法としては、主として講義形式で行う。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

（１）　教育の基本的概念について、①教育学の諸概念並びに教育の本質及び目標を理解している。②子ども、教員、家庭、学校等教育を成り立たせる要素とそれらの相互関係を理解している。
（２）　教育に関する歴史について、①家族と社会による教育の歴史を理解している。②近代教育制度の成立と展開を理解している。③現代社会の教育課題を歴史的な視点から理解している。
（３）　教育に関する思想、①家庭や子どもに関わる教育の思想を理解している。②学校や学習に関わる教育の思想を理解している。③代表的な教育家の思想を理解している。

■成績評価方法および基準

レポート試験 85%
提出物 15%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後に試験の要点を解説する。

■教科書

[ISBN]9784938795849 『子どもと教師のための教育原理　第二版』 (石田美清, 保育出版社：2017)

■参考文献

[ISBN]9784623089758 『新版 よくわかる教育学原論 (やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ)』 (安彦忠彦, ミネルヴァ書房：2020)
[ISBN]9784623088430 『人間教育の基本原理:「ひと」を教え育てることを問う (シリーズ・人間教育の探究 1)』 (梶田叡一, ミネルヴァ書房：2020)

■関連科目

持続可能な社会論、国際社会と日本、教育行政学ほか教職課程諸科目。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行う。

■研究室・メールアドレス

小田研究室（2号館5階509）・oda@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

木曜４限
事前にメールにてアポイントをとること。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　オリエンテーション　教育とは何か(授業形式：講義)

予習内容：教育とは何かを考える。
予習時間：30分
復習内容：西洋・東洋における教育の成り立ちを復習する。
復習時間：30分

第2回　教育の本質と思想（教育の目的的・社会的規定、近代教育思想）(授業形式：講義)

予習内容：近代の教育思想家を調べる。
予習時間：30分
復習内容：開発主義、経験主義の教育思想家を確認する。
復習時間：30分

第3回　子ども観　再考①（ルソーの子ども観、子どもの自然と発達）(授業形式：講義)

予習内容：ルソー・ペスタロッチの教育思想を調べる。
予習時間：30分
復習内容：ルソー・ペスタロッチの教育思想の相違を確認する。
復習時間：30分

第4回　子ども観　再考②（医学からのアプローチ）(授業形式：講義)

予習内容：イタール等、医学からの教育へのアプローチを考える。
予習時間：30分
復習内容：子どもを対象とした医学の発展を確認する。
復習時間：30分

第5回　子ども観　再考③（心理学からのアプローチ）(授業形式：講義)

予習内容：スタンレー・ホール等の心理学者の子どもへの着目を調べる。
予習時間：30分
復習内容：子どもを対象とした心理学の発展を確認する。
復習時間：30分

第6回　「遺伝と環境」と教育(授業形式：講義)

予習内容：遺伝・環境・教育の関係を考える。
予習時間：30分
復習内容：遺伝を重視する考え方、環境を重視する考え方、両方重視する考え方等を確認する。
復習時間：30分

第7回　遺伝・環境・教育の関係に関するディスカッション(授業形式：講義)

予習内容：遺伝・環境・教育に関する関係について自分なりの考えをまとめる。
予習時間：30分
復習内容：他者の意見を踏まえて、人間の発達と教育についての考えをまとめる。
復習時間：30分

第8回　日本の近代化と教育（学制頒布から終戦までの教育）(授業形式：講義)

予習内容：日本における教育の成立を調べる。
予習時間：30分
復習内容：日本における教育の成立で、重要な教育制度・法規を確認する。
復習時間：30分

第9回　戦後教育改革（憲法・教育基本法の成立と意義）(授業形式：講義)

予習内容：戦後教育改革を調べる。
予習時間：30分
復習内容：戦前・戦後の断絶、連続性を確認する。
復習時間：30分

第10回　戦後教育改革のその後（５０年代以降の学校教育の変容）(授業形式：講義)

予習内容：教育の逆コースを調べる。

予習時間：30分
復習内容：戦後教育改革の展開を確認する。
復習時間：30分

第11回　日本の経済成長と学校（６０年代高度経済成長と学校の機能）(授業形式：講義)

予習内容：高度経済成長期について調べる。
予習時間：30分
復習内容：高度経済成長期の教育のその後の影響を確認する。
復習時間：30分

第12回　能力主義と学校（能力主義の教育論的検討）(授業形式：講義)

予習内容：能力主義とは何かを調べる。
予習時間：30分
復習内容：能力主義と教育の関係・影響を確認する。
復習時間：30分

第13回　教育改革にどう向き合うか(授業形式：講義)

予習内容：臨教審以降の教育改革を調べる。
予習時間：30分
復習内容：教育改革で何を変えようとしたのかを考える。
復習時間：30分

第14回　教育基本法の改正（新教育基本法成立）と教育改革(授業形式：講義)

予習内容：2006年の教育基本法改正の概要を調べる。
予習時間：30分
復習内容：教育基本法の改正点とその影響を確認する。
復習時間：30分

第15回　現代日本の教育問題を考える(授業形式：講義)

予習内容：現在進行中の教育改革について調べる。
予習時間：30分
復習内容：チーム学校・学校と地域との連携等、現代の教育改革の方向性を確認する。
復習時間：30分

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**教育行政学**						
英文名　：	The Study of Educational Administration						
担当者　：	小田　義隆						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	教職科目						
備　考　：							

■授業概要

現代の学校教育に関する制度的事項について、基礎的な知識を身に付けるとともに、それらに関連する課題を理解する。教育行政は、一般行政とは違う独自の仕組みをもち、教育活動の条件整備を立法に基づき行う行政活動である。その教育行政の仕組みと現状、問題を検討する。また、学校と地域との連携に関する理解及び学校安全への対応に関する基礎的知識も学習する。授業方法としては、主として講義形式で行う。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

（1）教育に関する制度的事項について、①公教育の原理及び理念を理解している。②教育制度を構成している教育関係法規を理解している。③教育制度を支える教育行政の理念と仕組みを理解している。④教育制度をめぐる諸課題について例示することができる。
（2）学校と地域との連携について、①地域との連携・協働による学校教育活動の意義及び方法を理解している。②地域との連携を基とする開かれた学校づくりが進められてきた経緯を理解している。
（3）学校安全への対応について、①学校の管理下で発生する事件、事故及び災害の実情を踏まえ、危機管理や事故対応を含む学校安全の必要性について理解している。②生活安全、交通安全、災害安全の各領域や我が国の学校をとりまく新たな安全上の課題について、安全管理および安全教育の両面から具体的な取組を理解している。

■成績評価方法および基準

レポート試験 80%
提出物 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験期間終了後に「試験の要点と解説」する。

■教科書

[ISBN]9784623058358 『現代教育制度論　第５刷』 (土屋 基規, ミネルヴァ書房 : 2019)
[ISBN]9784480071514 『暴走する能力主義 (ちくま新書)』 (高康, 中村, 筑摩書房：2018)

■参考文献

[ISBN]9784623087723 『はじめて学ぶ教育の制度と歴史』 (広岡義之, ミネルヴァ書房：2019)
[ISBN]9784894541375 『いまさら聞けない! 日本の教育制度』 (樋口 修資, 武久出版ぶQ出版センター：2020)
[ISBN]9784779306204 『未来を創る教育制度論(新版) (未来の教師ファースト・ステップ)』 (洋誉, 川口, 北樹出版：2020)
[ISBN]9784299008206 『自粛バカ リスクゼロ症候群に罹った日本人への処方箋 (宝島社新書)』 (池田 清彦, 宝島社：2020)

■関連科目

教職関連科目全般、暮らしのなかの憲法

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行う。

■研究室・メールアドレス

小田研究室（2号館5階509）・oda@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

木曜４限
事前にメールにてアポイントをとること。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　人間の自由・平等原理と教育行政(授業形式：講義)

予習内容：人間の自由・平等についてこれまでの人生でどのように考えてきたかをまとめる。
予習時間：30分
復習内容：人間の自由・平等原理と教育行政の関わりを振り返りまとめる。
復習時間：30分

第2回　一般行政と教育行政(授業形式：講義)

予習内容：一般行政と教育行政の違いをまとめてくる。
予習時間：30分
復習内容：一般行政と教育行政に関する演習問題を解く。
復習時間：30分

第3回　国の教育行政制度(授業形式：講義)

予習内容：国の中央教育行政制度の概要をまとめる。
予習時間：30分
復習内容：文部科学省の組織と権限をまとめる。
復習時間：30分

第4回　地方の教育行政制度、地方分権(授業形式：講義)

予習内容：地方における教育行政制度の概要をまとめる。
予習時間：30分
復習内容：教育委員会の組織と権限をまとめる。
復習時間：30分

第5回　教育委員会制度の歴史(授業形式：講義)

予習内容：教育委員会制度の成り立ちと展開をまとめる。
予習時間：30分
復習内容：教育委員の公選制から任命制、総合教育会議などのタームから現代までの教育委員会の成り立ちと展開をまとめる。
復習時間：30分

第6回　教育行政と学校の管理・運営(授業形式：講義)

予習内容：教育行政と学校の管理・運営に関してまとめる。
予習時間：30分
復習内容：教育委員会と学校の関係を簡潔にまとめる。
復習時間：30分

第7回　教育行政と教師（教員養成と採用・研修）(授業形式：講義)

予習内容：教師と教育行政の関係をまとめる。
予習時間：30分
復習内容：教師の養成・採用・研修についてまとめる。
復習時間：30分

第8回　学校評価と教員評価(授業形式：講義)

予習内容：日本の評価制度について考える。
予習時間：30分
復習内容：学校評価・教員評価についてまとめる。
復習時間：30分

第9回　少年非行と教育行政(授業形式：講義)

予習内容：少年法の変遷ついてまとめる。
予習時間：30分
復習内容：少年の保護についてまとめる。
復習時間：30分

第10回　乳幼児教育と教育行政(授業形式：講義)

予習内容：就学前の子どもの生活を考える。
予習時間：30分
復習内容：就学前の子どもの生活の場に関する制度と法を考える。
復習時間：30分

第11回　高等教育と教育行政(授業形式：講義)

予習内容：日本の高等教育制度の概要をまとめる。
予習時間：30分
復習内容：教育行政と大学との関係をまとめる。
復習時間：30分

第12回　学校の安全と法(授業形式：講義)

予習内容：学校安全に関する法律をまとめる。
予習時間：30分
復習内容：学校安全に関する法律の成立と展開を振り返りまとめる。
復習時間：30分

第13回　学校内外における事故防止(授業形式：講義)

予習内容：学校体験における事故の危険を考えてまとめる。
予習時間：30分
復習内容：学校・学校外での学校安全についてまとめる。
復習時間：30分

第14回　学校と地域の連携（地域に根ざす学校づくり）(授業形式：講義)

予習内容：学校体験において地域との連携等を感じたことをまとめる。
予習時間：30分
復習内容：地域との連携の現状と課題をまとめる。
復習時間：30分

第15回　まとめ．現代社会と教育行政(授業形式：講義)

予習内容：これまでの復習内容を振り返り学んだことをまとめる。
予習時間：30分
復習内容：試験に向けて、理解が浅い部分を発見し、調べ学習で補強する。
復習時間：60分

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**教育行政学**						
英文名　：	The Study of Educational Administration						
担当者　：	小田　義隆						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	教職科目						
備　考　：							

■授業概要

現代の学校教育に関する制度的事項について、基礎的な知識を身に付けるとともに、それらに関連する課題を理解する。教育行政は、一般行政とは違う独自の仕組みをもち、教育活動の条件整備を立法に基づき行う行政活動である。その教育行政の仕組みと現状、問題を検討する。また、学校と地域との連携に関する理解及び学校安全への対応に関する基礎的知識も学習する。授業方法としては、主として講義形式で行う。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

（1）教育に関する制度的事項について、①公教育の原理及び理念を理解している。②教育制度を構成している教育関係法規を理解している。③教育制度を支える教育行政の理念と仕組みを理解している。④教育制度をめぐる諸課題について例示することができる。
（2）学校と地域との連携について、①地域との連携・協働による学校教育活動の意義及び方法を理解している。②地域との連携を基とする開かれた学校づくりが進められてきた経緯を理解している。
（3）学校安全への対応について、①学校の管理下で発生する事件、事故及び災害の実情を踏まえ、危機管理や事故対応を含む学校安全の必要性について理解している。②生活安全、交通安全、災害安全の各領域や我が国の学校をとりまく新たな安全上の課題について、安全管理および安全教育の両面から具体的な取組を理解している。

■成績評価方法および基準

レポート試験 80%
提出物 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験期間終了後に「試験の要点と解説」する。

■教科書

[ISBN]9784623058358 『現代教育制度論　第５刷』 (土屋 基規, ミネルヴァ書房 : 2019)
[ISBN]9784480071514 『暴走する能力主義 (ちくま新書)』 (高康, 中村, 筑摩書房：2018)

■参考文献

[ISBN]9784623087723 『はじめて学ぶ教育の制度と歴史』 (広岡義之, ミネルヴァ書房：2019)
[ISBN]9784894541375 『いまさら聞けない! 日本の教育制度』 (樋口 修資, 武久出版ぶQ出版センター：2020)
[ISBN]9784779306204 『未来を創る教育制度論(新版) (未来の教師ファースト・ステップ)』 (洋誉, 川口, 北樹出版：2020)
[ISBN]9784299008206 『自粛バカ リスクゼロ症候群に罹った日本人への処方箋 (宝島社新書)』 (池田 清彦, 宝島社：2020)

■関連科目

教職関連科目全般、暮らしのなかの憲法

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行う。

■研究室・メールアドレス

小田研究室（2号館5階509）・oda@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

木曜４限
事前にメールにてアポイントをとること。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　人間の自由・平等原理と教育行政(授業形式：講義)

予習内容：人間の自由・平等についてこれまでの人生でどのように考えてきたかをまとめる。
予習時間：30分
復習内容：人間の自由・平等原理と教育行政の関わりを振り返りまとめる。
復習時間：30分

第2回　一般行政と教育行政(授業形式：講義)

予習内容：一般行政と教育行政の違いをまとめてくる。
予習時間：30分
復習内容：一般行政と教育行政に関する演習問題を解く。
復習時間：30分

第3回　国の教育行政制度(授業形式：講義)

予習内容：国の中央教育行政制度の概要をまとめる。
予習時間：30分
復習内容：文部科学省の組織と権限をまとめる。
復習時間：30分

第4回　地方の教育行政制度、地方分権(授業形式：講義)

予習内容：地方における教育行政制度の概要をまとめる。
予習時間：30分
復習内容：教育委員会の組織と権限をまとめる。
復習時間：30分

第5回　教育委員会制度の歴史(授業形式：講義)

予習内容：教育委員会制度の成り立ちと展開をまとめる。
予習時間：30分
復習内容：教育委員の公選制から任命制、総合教育会議などのタームから現代までの教育委員会の成り立ちと展開をまとめる。
復習時間：30分

第6回　教育行政と学校の管理・運営(授業形式：講義)

予習内容：教育行政と学校の管理・運営に関してまとめる。
予習時間：30分
復習内容：教育委員会と学校の関係を簡潔にまとめる。
復習時間：30分

第7回　教育行政と教師（教員養成と採用・研修）(授業形式：講義)

予習内容：教師と教育行政の関係をまとめる。
予習時間：30分
復習内容：教師の養成・採用・研修についてまとめる。
復習時間：30分

第8回　学校評価と教員評価(授業形式：講義)

予習内容：日本の評価制度について考える。
予習時間：30分
復習内容：学校評価・教員評価についてまとめる。
復習時間：30分

第9回　少年非行と教育行政(授業形式：講義)

予習内容：少年法の変遷ついてまとめる。
予習時間：30分
復習内容：少年の保護についてまとめる。
復習時間：30分

第10回　乳幼児教育と教育行政(授業形式：講義)

予習内容：就学前の子どもの生活を考える。
予習時間：30分
復習内容：就学前の子どもの生活の場に関する制度と法を考える。
復習時間：30分

第11回　高等教育と教育行政(授業形式：講義)

予習内容：日本の高等教育制度の概要をまとめる。
予習時間：30分
復習内容：教育行政と大学との関係をまとめる。
復習時間：30分

第12回　学校の安全と法(授業形式：講義)

予習内容：学校安全に関する法律をまとめる。
予習時間：30分
復習内容：学校安全に関する法律の成立と展開を振り返りまとめる。
復習時間：30分

第13回　学校内外における事故防止(授業形式：講義)

予習内容：学校体験における事故の危険を考えてまとめる。
予習時間：30分
復習内容：学校・学校外での学校安全についてまとめる。
復習時間：30分

第14回　学校と地域の連携（地域に根ざす学校づくり）(授業形式：講義)

予習内容：学校体験において地域との連携等を感じたことをまとめる。
予習時間：30分
復習内容：地域との連携の現状と課題をまとめる。
復習時間：30分

第15回　まとめ．現代社会と教育行政(授業形式：講義)

予習内容：これまでの復習内容を振り返り学んだことをまとめる。
予習時間：30分
復習内容：試験に向けて、理解が浅い部分を発見し、調べ学習で補強する。
復習時間：60分

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**教育実習Ⅰ**						
英文名　：	Teaching Practice Ⅰ						
担当者　：	小田　義隆・松本　圭朗						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	4年次	開講期：	集中	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	教職科目						
備　考　：							

■授業概要

●本科目は、高等学校教諭第一種免許状取得のみを希望する者、および中学校教諭第一種免許状・高等学校教諭第一種免許状の2免許状を取得希望する者の受講が必要な科目である。

●本科目は、実習校で行う教育実習と大学での教育実習事後指導（「教育実習報告会」等を含む）から成っている。教育実習は、実習校の教職員の指導のもとで、授業はもとより学校教育活動全般に渡り教諭としての職務を経験するものである。万全の準備を行い、教育実習期間は実習に専念しなければならない。

　教育実習後は、その貴重な教育体験に基づいて、実習で学んだことについての「感想文」を作成し、あわせて「教育実習報告会」（出席厳格管理）を通して実習成果をいっそう客観視することにより実習生全員で共有する。

●本科目の履修条件の基本は、以下の通りである。なお、詳細については「教職課程履修要項」を参照すること。また、変更点があった場合は、教育実習ガイダンス等で周知する。

Ⅰ.学内

1.当該年度に卒業見込みであること。

2.所定の教育実習事前指導（教育実習ガイダンス①②③他）をすべて受けていること。

3.次の科目を履修済みであること。

・教職論	2単位	1年開設	必修科目
・教育原理	2単位	1年開設	必修科目
・教育心理学	2単位	1年開設	必修科目
・教育行政学	2単位	2年開設	必修科目
・教育課程論	2単位	2年開設	必修科目
・教科教育法Ⅰ	2単位	2年開設	必修科目
・教科教育法Ⅱ	2単位	2年開設	必修科目
・道徳教育論	2単位	2年開設	必修科目
・教育方法と総合的な学習の時間の指導法	2単位	2年開設	必修科目
・教育実習特講	1単位	3年開設	必修科目

Ⅱ.実習校・当該教育委員会が示す実習要件を満たしていること。

Ⅲ.その他、教育実習を行うについて特に問題がないこと。

●なお、履修開始後であっても、教育実習継続に問題があると判断された場合は中止となる。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

PBL（課題解決学習）・ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク・実験・実習科目

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

　「近畿大学における教員養成の理念と目的」に基づき定められた「生物理工学部が目指す教師像」（人間・生活に役立つ最先端の科学技術を理数科教育に還元できる教師/豊かな教職教養・技術でわかりやすい授業が出来る教師/子どもを理解する姿勢をもち実践的指導力あふれる教師）に近づくことが目標である。

○21世紀の社会が直面している「食」、「医療・福祉」、「人間生活の環境」等、生命科学と理工学における最先端の現代的課

題の学修と研究を理数科教育に還元し、理数科を学ぶ意義をしっかりと生徒に伝えること。

○理学、工学、農学、医学等を融合させた先端学術分野の学びを通して培った専門性と、教職課程の講義や模擬授業等の演習により修得した教職教養・技術をさらに融合させ、生徒にわかりやすい授業が出来ること。

○大学外での地域との連携協力等による学校研修やボランティア等で培った子ども理解を教育実習により、さらに深め、教員生活のスタートから実践的指導力を培うこと。

到達目標は以下の通りである。
＜学習指導＞
・指導目標を理解し、指導内容の習熟度について分かる。
・基礎学力・知識について把握できる。
・生徒の学習活動への適切な支援ができる。
・教材研究を行い、学習指導案を適切に立案できる。
・発問・動機づけ・板書・発声などの指導技術について理解し、習得に努力する。
＜生徒指導＞
・生徒へ自ら進んで接触し、理解しようとする。
・生徒観察と指導の基礎が分かり実践できる。
・ホームルーム・部活・学校行事等へ関心を持ち、参加する。
＜学級経営＞
・担任事務の概要を理解している。
・学級経営を理解し、指導のもとで参加できる。
・実習記録や書類などを適切に作成でき、期限内に提出できる。
＜実習態度＞
・教職に対する自覚をもった言動がとれる。
・実習に熱意と責任感を持って臨んでいる。

■成績評価方法および基準

教育実習校からの評価 40%
教育実習事前指導・事後指導の評価 40%
教育実習最終試験 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

課題レポート等へのフィードバックは試験期間終了後に行います。

■教科書

[ISBN]なし『理系の教育実習2022』（渡部容子・小田義隆編、山本美術印刷：2022）

■参考文献

【留意事項】特に指定しません。

■関連科目

他の「教職に関する科目」および「教科又は教職に関する科目」のすべて

■授業評価アンケート実施方法

生物理工学部実施規程に準拠して行う。

■研究室・メールアドレス

小田研究室（２号館５階）　oda44tk@waka.kindai.ac.jp
松本研究室（２号館５階）　yoshiro.matsumoto@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

小田・木曜４限
松本・水曜４限
事前にメールでアポイントメントを取って下さい。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

〇教育実習
＜実習期間＞
第４学年次の５月～７月頃に高等学校教諭第一種免許状を希望する者は２週間以上、中学校教諭第一種免許状を希望する者は教育実習Ⅱと合わせて３週間以上の実習を行う。

＜実習内容＞
　実習生は実習を開始するまでに実習校を訪問し、担当教員と実習授業の割り当てや担当単元および研究授業等の打ち合わせを行う。
　実習期間中は、以下の内容を実践する。
1. 学校環境（チーム学校を含む）の学習
2. 教育方針・目標等の学習
3. 授業参観・授業研究
4. 学校経営（地域との連携・学校安全を含む）や学校事務への参加
5. 学校行事を始めとする特別活動への参加
6. 授業実習（教材研究・指導案の作成・カリキュラム･マネジメントの方法等を含む）
7. 授業後の担当教員からの指導
8. 生徒に関する評価の実践
9. 実習簿の作成

〇教育実習事前指導（この部分は履修条件）
・「教育実習特講」
・教育実習ガイダンス①　教育実習履修の心構え、はしかの抗体検査・予防接種等の準備の指導
・教育実習ガイダンス②　実習校との連絡のとり方、事前訪問の心得
・教育実習ガイダンス③　教育実習直前の点検項目確認、守秘義務等服務の心得、実習計画の立て方、
　　実習簿「実習ノート」の記録と管理、災害・事故時の対応等。

〇教育実習事後指導
・教育実習感想文
・「教職実践演習（中・高）」（別途単位認定される）
・教育実習報告会　　教育実習経験と自己課題の発表、意見交換
・教育実習最終試験
予習内容：・これまでの教職課程での学習を省察し、教材研究や子ども理解を深め、自らの教育実習の目標・研究課題を定める。（60分）
・想定される単元の教材研究・学習指導案の立案など可能な準備は実習前に充分に行っておく。（1200分以上）
・教育実習期間中は、授業準備などを能率的に行う。（120分/日）
予習時間：120分
復習内容：・教育実習期間中は、実習日誌の記入や整理を能率的に行う。（60分/日）
・感想文の作成では、教育実習での学びを省察し、課題の認識と解決法を考察する。（180分）
復習時間：60分

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**教育実習Ⅱ**						
英文名　：	Teaching Practice Ⅱ						
担当者　：	小田　義隆・松本　圭朗						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	4年次	開講期：	集中	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	教職科目						
備　考　：							

■授業概要

●本科目は、中学校教諭第一種免許状と高等学校教諭第一種免許状両方を取得希望する者の受講が必要な科目である。
●本科目は、実習校で行う教育実習と大学での教育実習事後指導（「教育実習報告会」等を含む）から成っている。教育実習は、実習校の教職員の指導のもとで、授業はもとより学校教育活動全般に渡り教諭としての職務を経験するものである。万全の準備を行い、教育実習期間は実習に専念しなければならない。
　教育実習後は、その貴重な教育体験に基づいて、実習で学んだことについての「感想文」を作成し、あわせて「教育実習報告会」（出席厳格管理）を通して実習成果をいっそう客観視することにより実習生全員で共有する。
●本科目の履修条件の基本は、以下の通りである。なお、詳細については「教職課程履修要項」を参照すること。また、変更点があった場合は、教育実習ガイダンス等で周知する。
Ⅰ.学内
1.当該年度に卒業見込みであること。
2.所定の教育実習事前指導（教育実習ガイダンス①②③他）をすべて受けていること。
3.次の科目を履修済みであること。

・教職論	2単位	1年開設	必修科目
・教育原理	2単位	1年開設	必修科目
・教育心理学	2単位	1年開設	必修科目
・教育行政学	2単位	2年開設	必修科目
・教育課程論	2単位	2年開設	必修科目
・教科教育法Ⅰ	2単位	2年開設	必修科目
・教科教育法Ⅱ	2単位	2年開設	必修科目
・道徳教育論	2単位	2年開設	必修科目
・教育方法と総合的な学習の時間の指導法	2単位	2年開設	必修科目
・教育実習特講	1単位	3年開設	必修科目

Ⅱ.実習校・当該教育委員会が示す実習要件を満たしていること。
Ⅲ.その他、教育実習を行うについて特に問題がないこと。
●なお、履修開始後であっても、教育実習継続に問題があると判断された場合は中止となる。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

PBL（課題解決学習）・ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク・実験・実習科目

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「近畿大学における教員養成の理念と目的」に基づき定められた「生物理工学部が目指す教師像」（人間・生活に役立つ最先端の科学技術を理数科教育に還元できる教師/豊かな教職教養・技術でわかりやすい授業が出来る教師/子どもを理解する姿勢をもち実践的指導力あふれる教師）に近づくことが目標である。

○21世紀の社会が直面している「食」、「医療・福祉」、「人間生活の環境」等、生命科学と理工学における最先端の現代的課題の学修と研究を理数科教育に還元し、理数科を学ぶ意義をしっかりと生徒に伝えること。

○理学、工学、農学、医学等を融合させた先端学術分野の学びを通して培った専門性と、教職課程の講義や模擬授業等の演習により修得した教職教養・技術をさらに融合させ、生徒にわかりやすい授業が出来ること。

○大学外での地域との連携協力等による学校研修やボランティア等で培った子ども理解を教育実習により、さらに深め、教員生活のスタートから実践的指導力を培うこと。

到達目標は以下の通りである。
<学習指導>
・指導目標を理解し、指導内容の習熟度について分かる。
・基礎学力・知識について把握できる。
・生徒の学習活動への適切な支援ができる。
・教材研究を行い、学習指導案を適切に立案できる。
・発問・動機づけ・板書・発声などの指導技術について理解し、習得に努力する。
<生徒指導>
・生徒へ自ら進んで接触し、理解しようとする。
・生徒観察と指導の基礎が分かり実践できる。
・ホームルーム・部活・学校行事等へ関心を持ち、参加する。
<学級経営>
・担任事務の概要を理解している。
・学級経営を理解し、指導のもとで参加できる。
・実習記録や書類などを適切に作成でき、期限内に提出できる。
<実習態度>
・教職に対する自覚をもった言動がとれる。
・実習に熱意と責任感を持って臨んでいる。

■成績評価方法および基準

教育実習校からの評価 40%
教育実習事前指導・事後指導の評価 40%
教育実習最終試験 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

課題レポート等へのフィードバックは試験期間終了後に行います。

■教科書

[ISBN]なし『理系の教育実習2022』（渡部容子・小田義隆編、山本美術印刷：2022）

■参考文献

【留意事項】特に指定しません。

■関連科目

他の「教職に関する科目」および「教科又は教職に関する科目」のすべて

■授業評価アンケート実施方法

生物理工学部実施規程に準拠して行う。

■研究室・メールアドレス

小田研究室（２号館５階）　oda@waka.kindai.ac.jp
松本研究室（２号館５階）　yoshiro.matsumoto@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

渡部・火曜２限
小田・木曜４限
事前にメールでアポイントメントを取って下さい。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

〇教育実習
<実習期間>
第４学年次の５月～７月頃に教育実習Ｉと合わせて３週間以上の実習を行う。
<実習内容>
実習生は実習を開始するまでに実習校を訪問し、担当教員と実習授業の割り当てや担当単元および研究授業等の打ち合わせを

行う。
　実習期間中は、以下の内容を実践する。
1. 学校環境（チーム学校を含む）の学習
2. 教育方針・目標等の学習
3. 授業参観・授業研究
4. 学校経営（地域との連携・学校安全を含む）や学校事務への参加
5. 学校行事を始めとする特別活動への参加
6. 授業実習（教材研究・指導案の作成・カリキュラム･マネジメントの方法等を含む）
7. 授業後の担当教員からの指導
8. 生徒に関する評価の実践
9. 実習簿の作成

〇教育実習事前指導（この部分は履修条件）
・「教育実習特講」
・教育実習ガイダンス①　教育実習履修の心構え、はしかの抗体検査・予防接種等の準備の指導
・教育実習ガイダンス②　実習校との連絡のとり方、事前訪問の心得
・教育実習ガイダンス③　教育実習直前の点検項目確認、守秘義務等服務の心得、実習計画の立て方、
実習簿「実習ノート」の記録と管理、災害・事故時の対応等。

〇教育実習事後指導
・教育実習感想文
・「教職実践演習（中・高）」（別途単位認定される）
・教育実習報告会　　教育実習経験と自己課題の発表、意見交換
・教育実習最終試験
予習内容：・これまでの教職課程での学習を省察し、教材研究や子ども理解を深め、自らの教育実習の目標・研究課題を定める。（60分）
・想定される単元の教材研究・学習指導案の立案など可能な準備は実習前に充分に行っておく。（1200分以上）
・教育実習期間中は、授業準備などを能率的に行う。（120分/日）
予習時間：120分
復習内容：・教育実習期間中は、実習日誌の記入や整理を能率的に行う。（60分/日）
・感想文の作成では、教育実習での学びを省察し、課題の認識と解決法を考察する。（180分）
復習時間：60分

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 ：	**教育実習特講**						
英文名 ：	A Theory of Teaching Practice						
担当者 ：	小田　義隆・松本　圭朗						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	1単位	開講年次：	3年次	開講期：	後期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	教職科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】火曜日・5限						

■授業概要

教育実習は教職課程を履修した者のみが経験できる重要な実践的学習である。教育実習を通して、教職の意味を実践的に把握し、教職の道を人生の生き方として選択するケースも多い。講義のほか、学生自身が模擬授業を立案・実施する。今年度は、中高でのメディア授業を想定した模擬授業である。それをもとにグループによる討論や相互の検討・評価を行う。実践的に教科指導に必要な課題を認識し、教材・生徒・教師によって構成される授業とは何かについての考察を深め、次年度の教育実習に備える。

なお本授業は、１年次～３年次前期に実施した「教育実習ガイダンス」①②③および４年次前期の「教育実習直前ガイダンス」と合わせて「教育実習Ⅰ」「教育実習Ⅱ」の実習事前指導の位置づけである。

●原則として全出席が必要である。●学習指導案作成・予定日時の模擬授業・相互評価票の提出は、単位認定の要件である。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

教職課程における学修を基盤に、実習校及び生徒に対する責任感をもって教科指導（授業）の実習に取組むことができるように、教材研究、学習指導案作成、授業過程の構想づくりと実施、授業における生徒理解、授業評価等、教師の職務に必要な基礎的な力量を形成する。

メディア授業に対応できる授業の技術を身に付ける。

■成績評価方法および基準

学習指導案の作成 30%
授業資料作り及び発表 30%
相互評価票 30%
授業への積極的参加 10%

■試験・課題に対するフィードバック方法

学習指導案・模擬授業の課題に対しては、個別指導を行い評価と改善点・改善方法を伝える。

■教科書

[ISBN]なし『理系の教育実習　2022』（渡部容子・小田義隆, 近畿大学：2022）
【留意事項】関連の既習教科書・学習指導要領等を適宜参照のこと。

■参考文献

[ISBN]9784865605051 『学習指導要領の読み方・活かし方-学習指導要領を「使いこなす」ための8章』 (合田哲雄, 教育開発研究所：2019)

数学科
[ISBN]9784182510106 『理論×実践で追究する! 数学の「よい授業」 (数学教育選書)』 (相馬 一彦, 明治図書出版：2016)
[ISBN]9784860646585 『語りかける中学数学 [3訂版]』 (高橋 一雄, ベレ出版：2021)

理科
[ISBN]9784491035666 『四訂 若い先生のための理科教育概論』 (畑中 忠雄, 東洋館出版社：2018)
[ISBN]9784762502316 『動物園教育で子どもたちがアクティブに！～主体的な学びを支援する楽しい観察プログラム～』（松本朱実,学校図書：2018）

【留意事項】上記の参考文献は、「教育実習ＩⅡ」においても参考となるので購入のこと。その他関連の既習参考書・学習指導要領・中央教育審議会答申等を適宜参照のこと。新刊を含めて、参考となる文献は授業時に適宜紹介するので、これまでの読書計画に加えて読むことが望ましい。

■関連科目

教職科目全般

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行う。

■研究室・メールアドレス

小田研究室（２号館５階）　oda44tk@waka.kindai.ac.jp
松本研究室（２号館５階）　yoshiro.matsumoto@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

小田・木曜４限
松本・水曜４限

事前にメールでアポイントメントを取って下さい。
当面、随時メールで対応する。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　教育実習の目的と内容、教育実習への準備(授業形式：講義)

予習内容：教育実習への心構えを考える
予習時間：30分
復習内容：教育実習の意義をまとめる
復習時間：30分
1.教育実習の意義と目的
2.教育実習の心構え
3.実習内容と評価（学習指導/生徒指導/学級経営/実習態度）
4.教育実習への準備

第2回　授業づくりと学習指導案作成の実際(授業形式：講義)

予習内容：教科教育法のテキスト・資料を揃え、復習をしておく。
予習時間：40分
復習内容：講義で習った近畿大学生物理工学部の学習指導案の書き方を復習する。
学習指導要領の復習をする。
復習時間：40分
1.教育環境の把握
2.年間指導計画と担当授業期間
3.生徒の実態と教材研究
4.学習指導案の立案方法

次週からの模擬授業の班分けを行い、班ごとに授業計画を立てる。

第3回　模擬授業の準備(授業形式：演習)

予習内容：教科教育法の復習。自分の教育実習に合わせた単元の選択と単元全体の学習指導案を作成しておく。
予習時間：90分
復習内容：①②③の作成を完成させ、模擬授業の練習をしておく。
復習時間：180分
『理系の教育実習2021』、
Google Classroomで示された資料を参考に教材研究を行い、
①「指導案（単元全体）」
②「指導案（本時）」

③「PowerPoint」（②の板書説明部分）を作成し、事前に提出する。

第4回　学生による模擬授業　1 (授業形式：演習)

予習内容：教育実習を想定した学習指導案を作成し、模擬授業の準備を行う。学習指導案は必要部数を印刷しておく。
予習時間：90分
復習内容：模擬授業の講評も踏まえて、実施した学習指導案を更に改良する。
復習時間：60分
・事前に作成したもの学習指導案（細案）をもとに模擬授業を順次行う。
・グループごとに発表順、司会、タイムキーパーを決めておく。
・授業者は、事前に学習指導案を用意し、パワーポイントでの発表を行う。
・模擬授業は各班で決められた時間内で行い、終了後は質疑応答を行う。
・グループ員は、質疑応答に積極的に参加するとともに、感想票を記入する。

第5回　学生による模擬授業　2 (授業形式：演習)

予習内容：教育実習を想定した学習指導案を作成し、模擬授業の準備を行う。学習指導案は必要部数を印刷しておく。
予習時間：90分
復習内容：模擬授業の講評も踏まえて、実施した学習指導案を更に改良する。
復習時間：60分
・事前に作成したもの学習指導案（細案）をもとに模擬授業を順次行う。
・グループごとに発表順、司会、タイムキーパーを決めておく。
・授業者は、事前に学習指導案を用意し、パワーポイントでの発表を行う。
・模擬授業は各班で決められた時間内で行い、終了後は質疑応答を行う。
・グループ員は、質疑応答に積極的に参加するとともに、感想票を記入する。

第6回　学生による模擬授業　3 (授業形式：演習)

予習内容：教育実習を想定した学習指導案を作成し、模擬授業の準備を行う。学習指導案は必要部数を印刷しておく。
予習時間：90分
復習内容：模擬授業の講評も踏まえて、実施した学習指導案を更に改良する。
復習時間：60分
・事前に作成したもの学習指導案（細案）をもとに模擬授業を順次行う。
・グループごとに発表順、司会、タイムキーパーを決めておく。
・授業者は、事前に学習指導案を用意し、パワーポイントでの発表を行う。
・模擬授業は各班で決められた時間内で行い、終了後は質疑応答を行う。
・グループ員は、質疑応答に積極的に参加するとともに、感想票を記入する。

第7回　学生による模擬授業　4 (授業形式：演習)

予習内容：教育実習を想定した学習指導案を作成し、模擬授業の準備を行う。学習指導案は必要部数を印刷しておく。
予習時間：90分
復習内容：模擬授業の講評も踏まえて、実施した学習指導案を更に改良する。
復習時間：60分
・事前に作成したもの学習指導案（細案）をもとに模擬授業を順次行う。
・グループごとに発表順、司会、タイムキーパーを決めておく。
・授業者は、事前に学習指導案を用意し、パワーポイントでの発表を行う。
・模擬授業は各班で決められた時間内で行い、終了後は質疑応答を行う。
・グループ員は、質疑応答に積極的に参加するとともに、感想票を記入する。

第8回　学生代表による模擬授業 <総括> (授業形式：演習)

予習内容：感想票を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：自分の作成した学習指導案、同じ班の学生が作成した学習指導案を整理し復習するとともに、教育実習に向けて準備を行う。
復習時間：90分
模擬授業の感想等について意見交換を行う。
担当教員より講評を行う。
来年度の教育実習につなげるための学習について話し合う。

■ホームページ

■実践的な教育内容

学外でのインターンシップや実習、研修を授業の一環として位置付けている授業

科目名 ：	**教育実習特講**						
英文名 ：	A Theory of Teaching Practice						
担当者 ：	小田　義隆・松本　圭朗						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	1単位	開講年次：	3年次	開講期：	後期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	教職科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】火曜日・1限						

■授業概要

教育実習は教職課程を履修した者のみが経験できる重要な実践的学習である。教育実習を通して、教職の意味を実践的に把握し、教職の道を人生の生き方として選択するケースも多い。講義のほか、学生自身が模擬授業を立案・実施する。今年度は、中高でのメディア授業を想定した模擬授業である。それをもとにグループによる討論や相互の検討・評価を行う。実践的に教科指導に必要な課題を認識し、教材・生徒・教師によって構成される授業とは何かについての考察を深め、次年度の教育実習に備える。

なお本授業は、１年次～３年次前期に実施した「教育実習ガイダンス」①②③および４年次前期の「教育実習直前ガイダンス」と合わせて「教育実習Ⅰ」「教育実習Ⅱ」の実習事前指導の位置づけである。

●原則として全出席が必要である。●学習指導案作成・予定日時の模擬授業・相互評価票の提出は、単位認定の要件である。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

教職課程における学修を基盤に、実習校及び生徒に対する責任感をもって教科指導（授業）の実習に取組むことができるように、教材研究、学習指導案作成、授業過程の構想づくりと実施、授業における生徒理解、授業評価等、教師の職務に必要な基礎的な力量を形成する。

メディア授業に対応できる授業の技術を身に付ける。

■成績評価方法および基準

学習指導案の作成 30%
授業資料作り及び発表 30%
相互評価票 30%
授業への積極的参加 10%

■試験・課題に対するフィードバック方法

学習指導案・模擬授業の課題に対しては、個別指導を行い評価と改善点・改善方法を伝える。

■教科書

[ISBN]なし『理系の教育実習　2022』（渡部容子・小田義隆, 近畿大学：2022）
【留意事項】関連の既習教科書・学習指導要領等を適宜参照のこと。

■参考文献

[ISBN]9784865605051 『学習指導要領の読み方・活かし方-学習指導要領を「使いこなす」ための8章』 (合田哲雄, 教育開発研究所：2019)

数学科
[ISBN]9784182510106 『理論×実践で追究する! 数学の「よい授業」 (数学教育選書)』 (相馬 一彦, 明治図書出版：2016)
[ISBN]9784860646585 『語りかける中学数学 [3訂版]』 (高橋 一雄, ベレ出版：2021)

理科
[ISBN]9784491035666 『四訂 若い先生のための理科教育概論』 (畑中 忠雄, 東洋館出版社：2018)
[ISBN]9784762502316 『動物園教育で子どもたちがアクティブに！～主体的な学びを支援する楽しい観察プログラム～』（松本朱実,学校図書：2018）

【留意事項】上記の参考文献は、「教育実習ＩⅡ」においても参考となるので購入のこと。その他関連の既習参考書・学習指導要領・中央教育審議会答申等を適宜参照のこと。新刊を含めて、参考となる文献は授業時に適宜紹介するので、これまでの読書計画に加えて読むことが望ましい。

■関連科目

教職科目全般

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行う。

■研究室・メールアドレス

小田研究室（２号館５階）　oda44tk@waka.kindai.ac.jp
松本研究室（２号館５階）　yoshiro.matsumoto@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

小田・木曜４限
松本・水曜４限

事前にメールでアポイントメントを取って下さい。
当面、随時メールで対応する。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　教育実習の目的と内容、教育実習への準備(授業形式：講義)

予習内容：教育実習への心構えを考える
予習時間：30分
復習内容：教育実習の意義をまとめる
復習時間：30分
1.教育実習の意義と目的
2.教育実習の心構え
3.実習内容と評価（学習指導/生徒指導/学級経営/実習態度）
4.教育実習への準備

第2回　授業づくりと学習指導案作成の実際(授業形式：講義)

予習内容：教科教育法のテキスト・資料を揃え、復習をしておく。
予習時間：40分
復習内容：講義で習った近畿大学生物理工学部の学習指導案の書き方を復習する。
学習指導要領の復習をする。
復習時間：40分
1.教育環境の把握
2.年間指導計画と担当授業期間
3.生徒の実態と教材研究
4.学習指導案の立案方法

次週からの模擬授業の班分けを行い、班ごとに授業計画を立てる。

第3回　模擬授業の準備(授業形式：演習)

予習内容：教科教育法の復習。自分の教育実習に合わせた単元の選択と単元全体の学習指導案を作成しておく。
予習時間：90分
復習内容：①②③の作成を完成させ、模擬授業の練習をしておく。
復習時間：180分
『理系の教育実習2021』、
Google Classroomで示された資料を参考に教材研究を行い、
①「指導案（単元全体）」
②「指導案（本時）」

③「PowerPoint」（②の板書説明部分）を作成し、事前に提出する。

第4回　学生による模擬授業　1 (授業形式：演習)

予習内容：教育実習を想定した学習指導案を作成し、模擬授業の準備を行う。学習指導案は必要部数を印刷しておく。
予習時間：90分
復習内容：模擬授業の講評も踏まえて、実施した学習指導案を更に改良する。
復習時間：60分
・事前に作成したもの学習指導案（細案）をもとに模擬授業を順次行う。
・グループごとに発表順、司会、タイムキーパーを決めておく。
・授業者は、事前に学習指導案を用意し、パワーポイントでの発表を行う。
・模擬授業は各班で決められた時間内で行い、終了後は質疑応答を行う。
・グループ員は、質疑応答に積極的に参加するとともに、感想票を記入する。

第5回　学生による模擬授業　2 (授業形式：演習)

予習内容：教育実習を想定した学習指導案を作成し、模擬授業の準備を行う。学習指導案は必要部数を印刷しておく。
予習時間：90分
復習内容：模擬授業の講評も踏まえて、実施した学習指導案を更に改良する。
復習時間：60分
・事前に作成したもの学習指導案（細案）をもとに模擬授業を順次行う。
・グループごとに発表順、司会、タイムキーパーを決めておく。
・授業者は、事前に学習指導案を用意し、パワーポイントでの発表を行う。
・模擬授業は各班で決められた時間内で行い、終了後は質疑応答を行う。
・グループ員は、質疑応答に積極的に参加するとともに、感想票を記入する。

第6回　学生による模擬授業　3 (授業形式：演習)

予習内容：教育実習を想定した学習指導案を作成し、模擬授業の準備を行う。学習指導案は必要部数を印刷しておく。
予習時間：90分
復習内容：模擬授業の講評も踏まえて、実施した学習指導案を更に改良する。
復習時間：60分
・事前に作成したもの学習指導案（細案）をもとに模擬授業を順次行う。
・グループごとに発表順、司会、タイムキーパーを決めておく。
・授業者は、事前に学習指導案を用意し、パワーポイントでの発表を行う。
・模擬授業は各班で決められた時間内で行い、終了後は質疑応答を行う。
・グループ員は、質疑応答に積極的に参加するとともに、感想票を記入する。

第7回　学生による模擬授業　4 (授業形式：演習)

予習内容：教育実習を想定した学習指導案を作成し、模擬授業の準備を行う。学習指導案は必要部数を印刷しておく。
予習時間：90分
復習内容：模擬授業の講評も踏まえて、実施した学習指導案を更に改良する。
復習時間：60分
・事前に作成したもの学習指導案（細案）をもとに模擬授業を順次行う。
・グループごとに発表順、司会、タイムキーパーを決めておく。
・授業者は、事前に学習指導案を用意し、パワーポイントでの発表を行う。
・模擬授業は各班で決められた時間内で行い、終了後は質疑応答を行う。
・グループ員は、質疑応答に積極的に参加するとともに、感想票を記入する。

第8回　学生代表による模擬授業＜総括＞ (授業形式：演習)

予習内容：感想票を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：自分の作成した学習指導案、同じ班の学生が作成した学習指導案を整理し復習するとともに、教育実習に向けて準備を行う。
復習時間：90分
模擬授業の感想等について意見交換を行う。
担当教員より講評を行う。
来年度の教育実習につなげるための学習について話し合う。

■ホームページ

■実践的な教育内容

学外でのインターンシップや実習、研修を授業の一環として位置付けている授業

科目名　：	**教育心理学**						
英文名　：	Educational Psychology						
担当者　：	村上　凡子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	教職科目						
備　考　：							

■授業概要

人の発達の原理を確認し、運動、言語、認知全般、社会性の各側面の発達過程及び各発達段階の特徴について代表的理論をもとに理解を深める。また、行動論、認知論の双方からの学習に関する基礎理論を踏まえ学習の成立における授業者の役割を確認し、動機づけ理論や学習評価の理論と関連付けながら学習意欲を高めるための指導法を取り上げる。さらに、学習形態、学習方法等の各観点から、どの学習者にとってもわかりやすい授業の設計（「学びのユニバーサルデザイン」）について検討し、リーダーシップに関する基礎的な理論をもとに多様や教育的ニーズに対応した学級集団づくりの基本を学ぶ。最後に、主体的な学習の成立における発達・学習の優れた支援者としての教師の役割について、教育心理学の知見をもとに省察する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

授業のテーマは、子どもの教育に資するための心理学理論とその活用である。到達目標は１）生徒の心身の発達の過程及び発達段階の特徴を理解すること、２）生徒の学習に関する基礎的な心理学理論を身に付け、発達を踏まえた学習支援について、実践に活用するための基礎的な理論を理解すること、３）学校現場のニーズを把握し、教員に求められる能力について理解できることである。

■成績評価方法および基準

定期試験 60%
小テスト 20%
復習問題 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

復習問題、小テストは、原則として翌回までに返却し、解説します。
定期試験は試験終了後、要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■教科書

【留意事項】教科書は使用しません。適宜、資料をGoogle　Classroomの授業のコーナーにて配信します。印刷は不要です。

■参考文献

[ISBN]4189095117 『授業成立入門―教室にドラマを! (教育新書 5)』 (吉本 均, 明治図書出版：1985)
[ISBN]9784641150980 『エピソードに学ぶ 教育心理学 (有斐閣ストゥディア)』 (中谷 素之, 有斐閣：2022)

■関連科目

教職課程の諸科目

■授業評価アンケート実施方法

生物理工学部の規程に準拠して実施します。

■研究室・メールアドレス

2号館2階非常勤控室
murakami@shinai-u.ac.jp　もしくはb-murakami@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

授業時間の前後に対応します。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　発達の要因と原理、発達段階と発達課題（授業形式:講義）

予習内容：当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
ヒトの発達を諸側面から全体的に捉え、教員として身に付けておくべき基礎的事項として、発達の定義、要因、原理を確認し、生まれてから死に至るまでの発達段階と発達課題について、発達心理学が築き上げてきた知見を取り上げる。

第2回　乳幼児期から青年期までの運動発達の過程と特徴（授業形式:講義）

予習内容：当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
乳幼児期から青年期までの粗大運動、微細運動といった2つの側面から運動発達の過程と各時期の特徴を確認する。学習活動に必要な書字活動の発達過程に着目し、ヒトの微細運動の特徴を理解する。

第3回　乳幼児期から青年期までの言語、認知発達の過程と特徴（授業形式:講義）

予習内容：当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
認知機能の定義を確認し、乳幼児期から青年期までの言語、数量認識を含めた認知機能全般の発達過程についてピアジェが唱えた学説を中心に取り上げる。

第4回　乳幼児期から青年期までの社会性の発達過程と特徴（授業形式:講義）

予習内容：当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
社会性の概念を確認し、エリクソンの唱えた心理社会的発達段階の学説を拠り所としながら、乳幼児期から青年期までの社会性の発達過程と特徴を取り上げ、自らの社会性について多様な観点から分析を試みる。

第5回　行動論からみた学習過程とその支援（授業形式:演習を含む講義）

予習内容：当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
行動論からみた「学習」の定義を確認し、古典的条件づけ、オペラント条件づけの仕組みと原理に取り上げる。さらに学校教育場面での応用と子どもたちの行動改善に向けた支援について検討を加える。

第6回　認知論からみた学習過程とその支援－記憶の仕組みを踏まえて－（授業形式:演習を含む講義）

予習内容：当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分

復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
符号化、貯蔵、検索といった記憶を成立させる3つの過程に関する知見、情報入力の時間による記憶の基本的な分類など認知心理学における記憶に関する基礎的な事項を取り上げる。これらの知見を踏まえ、学習成果をもたらすための効果的な授業方法を検討する。

第7回　適性処遇交互作用と学習支援ニーズの観点からみた様々な学習理論の特徴（授業形式:演習を含む講義）

予習内容：当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
「適性処遇交互作用」とは、学習者の適性によって効果的な授業方法は異なるということをさす。この概念を踏まえ、授業場面を想定して、学習者また学習集団の認知能力や学習態度等の適性と授業方法の効果的な組み合わせに関して検討を加える。

第8回　教師期待効果と学習支援（授業形式:演習を含む講義）

予習内容：当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
「教師期待効果」とは、期待をかけた子どもの成績は伸びるという効果をさす。この効果を提唱したローゼンサールの実験を取り上げ、効果が生じた要因に関して教師役と子ども役のロールプレイングを導入しながら考究する。この効果を教育の公平性という面からも検討する。

第9回　学習の動機づけの理論と主体的な学習活動との関連（授業形式:演習を含む講義）

予習内容：当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
外発的動機づけ、内発的動機づけという基礎的な理論を確認し、実際の学校教育場面を想定して、学習者の意欲の喚起とその保持を支援し、主体的な学習者を育成するための指導方法を多様な観点から検討する。

第10回　集団づくりの基礎理論－PM理論に焦点を当てて（授業形式:演習を含む講義）

予習内容：当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
クラス担任の在り方を検討するための理論として、リーダーシップに関する心理学分野のPM理論に着目する。基本的な事項を確認し、学級集団をまとめる際の生徒への姿勢、態度についてグループ討議を通して、検討を深める。

第11回　学習評価に関する基礎理論と授業設計の基本（授業形式:講義）

予習内容：当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
評価の目的、それに応じた評価方法など学習評価に関する基礎理論について、学習者、教師といった２つの視点に立ち理解できるよう取り上げる。学習成果の向上と学習者の熟達を促進するための望ましい評価方法について検討を深める。

第12回　主体的な学習活動を成立させるための学習方法（授業形式:演習を含む講義）

予習内容：当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分

復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
「主体的、対話的で深い学び」の成立を志向し、学習成果をあげるための学習方法について、現在実践されている多様な方法を取り上げ、学習者が主体的な学習活動を持続できるような教授方法を考究する。

第13回　多様な学習支援ニーズと学習のつまずきへの支援の原則（授業形式:演習を含む講義）

予習内容：当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
通常学級に在籍する学習支援ニーズのある学習者のつまずきについて多角的に確認し、つまずきに応じた合理的配慮の具体的な実践事項について事例検討を基に考究する。

第14回　「教授－学習」の過程と「学びのユニバーサルデザイン」（授業形式:演習を含む講義）

予習内容：当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
授業を「教授－学習」の相互作用の過程として捉える。授業において、学習者の主体的な学習活動を活性化させるために有効な理論として「学びのユニバーサルデザイン（universal design for learning）」の3原則を取り上げる。実際の授業記録映像を観察する作業を通して、教授活動と学習活動の活発な相互作用が成立するような授業の在り方について検討を深める。

第15回　主体的な学習の創造における発達・学習の支援者としての教師の役割（授業形式:演習を含む講義）

予習内容：当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
生徒理解の原則を確認し、学校教育において主体的な学びの成立を志向する授業の在り方、日常的な生徒指導の在り方についてグループによる意見交流によって検討を深め、教育の意義と教師の役割について理解の深化を図る。

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**教育心理学**						
英文名　：	Educational Psychology						
担当者　：	村上　凡子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	教職科目						
備　考　：							

■授業概要

人の発達の原理を確認し、運動、言語、認知全般、社会性の各側面の発達過程及び各発達段階の特徴について代表的理論をもとに理解を深める。また、行動論、認知論の双方からの学習に関する基礎理論を踏まえ学習の成立における授業者の役割を確認し、動機づけ理論や学習評価の理論と関連付けながら学習意欲を高めるための指導法を取り上げる。さらに、学習形態、学習方法等の各観点から、どの学習者にとってもわかりやすい授業の設計（「学びのユニバーサルデザイン」）について検討し、リーダーシップに関する基礎的な理論をもとに多様や教育的ニーズに対応した学級集団づくりの基本を学ぶ。最後に、主体的な学習の成立における発達・学習の優れた支援者としての教師の役割について、教育心理学の知見をもとに省察する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

授業のテーマは、子どもの教育に資するための心理学理論とその活用である。到達目標は１）生徒の心身の発達の過程及び発達段階の特徴を理解すること、２）生徒の学習に関する基礎的な心理学理論を身に付け、発達を踏まえた学習支援について、実践に活用するための基礎的な理論を理解すること、３）学校現場のニーズを把握し、教員に求められる能力について理解できることである。

■成績評価方法および基準

定期試験 60%
小テスト 20%
復習問題 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

復習問題、小テストは、原則として翌回までに返却し、解説します。
定期試験は試験終了後、要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■教科書

【留意事項】教科書は使用しません。適宜、資料をGoogle　Classroomの授業のコーナーにて配信します。印刷は不要です。

■参考文献

[ISBN]4189095117 『授業成立入門―教室にドラマを! (教育新書 5)』 (吉本 均, 明治図書出版：1985)
[ISBN]9784641150980 『エピソードに学ぶ 教育心理学 (有斐閣ストゥディア)』 (中谷 素之, 有斐閣：2022)

■関連科目

教職課程の諸科目

■授業評価アンケート実施方法

生物理工学部の規程に準拠して実施します。

■研究室・メールアドレス

2号館2階非常勤控室
murakami@shinai-u.ac.jp　もしくはb-murakami@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

授業時間の前後に対応します。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　発達の要因と原理、発達段階と発達課題（授業形式:講義）

予習内容：当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
ヒトの発達を諸側面から全体的に捉え、教員として身に付けておくべき基礎的事項として、発達の定義、要因、原理を確認し、生まれてから死に至るまでの発達段階と発達課題について、発達心理学が築き上げてきた知見を取り上げる。

第2回　乳幼児期から青年期までの運動発達の過程と特徴（授業形式:講義）

予習内容：当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
乳幼児期から青年期までの粗大運動、微細運動といった2つの側面から運動発達の過程と各時期の特徴を確認する。学習活動に必要な書字活動の発達過程に着目し、ヒトの微細運動の特徴を理解する。

第3回　乳幼児期から青年期までの言語、認知発達の過程と特徴（授業形式:講義）

予習内容：当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
認知機能の定義を確認し、乳幼児期から青年期までの言語、数量認識を含めた認知機能全般の発達過程についてピアジェが唱えた学説を中心に取り上げる。

第4回　乳幼児期から青年期までの社会性の発達過程と特徴（授業形式:講義）

予習内容：当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
社会性の概念を確認し、エリクソンの唱えた心理社会的発達段階の学説を拠り所としながら、乳幼児期から青年期までの社会性の発達過程と特徴を取り上げ、自らの社会性について多様な観点から分析を試みる。

第5回　行動論からみた学習過程とその支援（授業形式:演習を含む講義）

予習内容：当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
行動論からみた「学習」の定義を確認し、古典的条件づけ、オペラント条件づけの仕組みと原理に取り上げる。さらに学校教育場面での応用と子どもたちの行動改善に向けた支援について検討を加える。

第6回　認知論からみた学習過程とその支援－記憶の仕組みを踏まえて－（授業形式:演習を含む講義）

予習内容：当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分

復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
符号化、貯蔵、検索といった記憶を成立させる3つの過程に関する知見、情報入力の時間による記憶の基本的な分類など認知心理学における記憶に関する基礎的な事項を取り上げる。これらの知見を踏まえ、学習成果をもたらすための効果的な授業方法を検討する。

第7回　適性処遇交互作用と学習支援ニーズの観点からみた様々な学習理論の特徴（授業形式:演習を含む講義）

予習内容：当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
「適性処遇交互作用」とは、学習者の適性によって効果的な授業方法は異なるということをさす。この概念を踏まえ、授業場面を想定して、学習者また学習集団の認知能力や学習態度等の適性と授業方法の効果的な組み合わせに関して検討を加える。

第8回　教師期待効果と学習支援（授業形式:演習を含む講義）

予習内容：当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
「教師期待効果」とは、期待をかけた子どもの成績は伸びるという効果をさす。この効果を提唱したローゼンサールの実験を取り上げ、効果が生じた要因に関して教師役と子ども役のロールプレイングを導入しながら考究する。この効果を教育の公平性という面からも検討する。

第9回　学習の動機づけの理論と主体的な学習活動との関連（授業形式:演習を含む講義）

予習内容：当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
外発的動機づけ、内発的動機づけという基礎的な理論を確認し、実際の学校教育場面を想定して、学習者の意欲の喚起とその保持を支援し、主体的な学習者を育成するための指導方法を多様な観点から検討する。

第10回　集団づくりの基礎理論－PM理論に焦点を当てて（授業形式:演習を含む講義）

予習内容：当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
クラス担任の在り方を検討するための理論として、リーダーシップに関する心理学分野のPM理論に着目する。基本的な事項を確認し、学級集団をまとめる際の生徒への姿勢、態度についてグループ討議を通して、検討を深める。

第11回　学習評価に関する基礎理論と授業設計の基本（授業形式:講義）

予習内容：当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
評価の目的、それに応じた評価方法など学習評価に関する基礎理論について、学習者、教師といった２つの視点に立ち理解できるよう取り上げる。学習成果の向上と学習者の熟達を促進するための望ましい評価方法について検討を深める。

第12回　主体的な学習活動を成立させるための学習方法（授業形式:演習を含む講義）

予習内容：当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分

復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
「主体的、対話的で深い学び」の成立を志向し、学習成果をあげるための学習方法について、現在実践されている多様な方法を取り上げ、学習者が主体的な学習活動を持続できるような教授方法を考究する。

第13回　多様な学習支援ニーズと学習のつまずきへの支援の原則（授業形式:演習を含む講義）

予習内容：当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
通常学級に在籍する学習支援ニーズのある学習者のつまずきについて多角的に確認し、つまずきに応じた合理的配慮の具体的な実践事項について事例検討を基に考究する。

第14回　「教授－学習」の過程と「学びのユニバーサルデザイン」（授業形式:演習を含む講義）

予習内容：当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
授業を「教授－学習」の相互作用の過程として捉える。授業において、学習者の主体的な学習活動を活性化させるために有効な理論として「学びのユニバーサルデザイン（universal design for learning）」の3原則を取り上げる。実際の授業記録映像を観察する作業を通して、教授活動と学習活動の活発な相互作用が成立するような授業の在り方について検討を深める。

第15回　主体的な学習の創造における発達・学習の支援者としての教師の役割（授業形式:演習を含む講義）

予習内容：当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
生徒理解の原則を確認し、学校教育において主体的な学びの成立を志向する授業の在り方、日常的な生徒指導の在り方についてグループによる意見交流によって検討を深め、教育の意義と教師の役割について理解の深化を図る。

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**教育相談**						
英文名 ：	Educational Counseling						
担当者 ：	村上　凡子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	教職科目						
備　考 ：							

■授業概要

教育相談は、幼児、児童及び生徒が自己理解、他者理解を深め、集団の中で個性の伸長、人格の成長を達成できるよう、心理学が積み上げてきた対人援助に関する基礎的理論及び方法を身に付けることをねらいとしている。このねらいを達成するために必要な各発達段階と発達課題、カウンセリングの技法等に関する基本的な事項を実践的に学ぶ。教育相談には、いじめ、不登校、虐待といった困難な状態を解決する個への問題解決機能、問題の予防を図るための集団を対象とした開発的機能などがある。学校がこうした機能を発揮するために主導的な役割を果たしながら、他職種、他機関と連携し、「チーム学校」の理念を学校場面で実践化する過程を事例に照らして検討する。
授業方法として、実践力を高めるため必要に応じて、カウンセリング演習やロールプレイング（役割演技）を取り入れる。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

授業のテーマは、児童生徒の個性の伸長と自己実現を図るための教育相談である。到達目標は1)教育相談領域に関する現代の課題を確認し、教育相談の意義について理解すること、2)児童生徒理解のためのカウンセリング理論を基盤にした基礎的知識を習得し、カウンセリングの技法、個と集団双方に対する対人援助法の実践力を高める、3）教育相談が計画に基づいて校内で組織的に展開するよう、校内体制の整備、他機関等の連携の必要性を理解することである。

■成績評価方法および基準

定期試験 60%
小テスト 20%
復習問題 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

小レポート及び小テストは、原則として翌回までに答案を返却し、解説します。
定期試験に関しては、試験終了後要点と解説をUNIVERSAL　PASSPORTに掲載します。

■教科書

[ISBN]9784761925482 『新訂版 教育相談基礎の基礎』 (嶋﨑 政男, 学事出版：2019)

■参考文献

[ISBN]9784121020666 『いじめとは何か―教室の問題、社会の問題 (中公新書)』 (森田 洋司, 中央公論新社 ： 2010)

■関連科目

生徒指導論　教育心理学　教職論

■授業評価アンケート実施方法

生物理工学部実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

2号館2階　非常勤講師控室
murakami@shinai-u.ac.jp　もしくはb-murakami@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

授業時間の前後の時間帯に対応します。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　教育相談の３つの機能に関する理論(授業形式：講義）

予習内容：①指定された教科書の範囲を読み、要約や疑問点の事前探究に取り組む。
②当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつようにする。その事項について文章で記述することを課すことがある。
復習時間：60分
学校教育をめぐる教育相談領域のニーズを確認し、教育相談の意義や機能とその役割を学ぶ。問題解決的機能だけではなく、問題の発生を予防する機能の重要性についても検討を深める。

第2回　教育相談の対人援助の心理学理論(授業形式：演習を含む講義）

予習内容：①指定された教科書の範囲を読み、要約や疑問点の事前探究に取り組む。
②当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
積極的傾聴の態度、共感的な応答など１対１の対人援助場面における基本的な原則について、体験的に学ぶ。

第3回　子ども理解と学校場面での教育相談的ニーズの把握(授業形式：演習を含む講義）

予習内容：①指定された教科書の範囲を読み、要約や疑問点の事前探究に取り組む。
②当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
教育相談に求められる児童生徒理解の方法を多様な観点から取り上げる。またその一環として教育相談的ニーズの把握と援助のための方法として学校現場で適用可能な心理テストの実施方法と評価方法について学ぶ。

第4回　生徒・保護者への支援におけるカウンセリングマインドの必要性と実践(授業形式：演習を含む講義）

予習内容：①指定された教科書の範囲を読み、要約や疑問点の事前探究に取り組む。
②当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
具体的に学校教育の相談場面を想定し、生徒ならびに保護者へのカウンセリングマインドを発揮した態度を演習を通して体験し、省察を行う。

第5回　受容・共感能力、自己表現力を高めるための基本的対人態度とカウンセリング技法(授業形式：演習を含む講義）

予習内容：①指定された教科書の範囲を読み、要約や疑問点の事前探究に取り組む。
②当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
教員が行う教育相談の実践に必要な資質と能力を高めるために、受容・共感能力や自己表現力の向上をめざして自己主張トレーニングを中心的に学ぶ。

第6回　集団を対象とした人間関係づくりのための集団を対象としたカウンセリング技法(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：①指定された教科書の範囲を読み、要約や疑問点の事前探究に取り組む。
②当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
児童生徒を対象とした個別的援助法及び、学級集団を対象とした人間関係づくりの方法を取り上げる。特に、構成的グループ・エンカウンターの技法に焦点を当て、理論と実践双方を取り上げる。

第7回　感情のコントロール力及び自己調整力向上のための対人援助法(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：①指定された教科書の範囲を読み、要約や疑問点の事前探究に取り組む。
②当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
生徒の自己調整能力の向上に資することをねらいとして、教員として自己調整力を高めるためのアンガーマネージメントの技法を体験し、望ましくない行動をとる生徒への対応を検討する。

第8回　発達障がいに関する基礎的理解と対応の原則(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：①指定された教科書の範囲を読み、要約や疑問点の事前探究に取り組む。
②当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
特別支援教育の対象となる神経発達症のある子どもの特性を確認し、当事者への支援に加えて、周囲との相互理解が深まるような実践方法について検討する。

第9回　いじめに関する基礎的理論(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：①指定された教科書の範囲を読み、要約や疑問点の事前探究に取り組む。
②当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
いじめの四層構造の基礎理論を取り上げる。また、いじめ同調傾向に関する研究や欧米諸国とのいじめの発生と指導に関する比較研究に触れながら、我が国におけるいじめの特徴について考察を加える。

第10回　いじめの予防、対応の原則(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：①指定された教科書の範囲を読み、要約や疑問点の事前探究に取り組む。
②当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
いじめが発生してからの問題解決機能及び、いじめを予防するための開発的機能としての実践法を検討する。本講義で取り上げた方法の有効性も考究する。

第11回　不登校及び非行への対応(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：①指定された教科書の範囲を読み、要約や疑問点の事前探究に取り組む。
②当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じ

ている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
不登校と長期欠席について多様な観点から理解を深め、問題解決的機能と開発的機能の双方の観点から実践的に学ぶ。

第12回　児童虐待に関する基礎的理解(授業形式：講義)

予習内容：①指定された教科書の範囲を読み、要約や疑問点の事前探究に取り組む。
②当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
我が国における重大な社会的課題としての児童虐待の問題を取り上げる。世界標準の児童虐待の捉え方と4類型、現状、発生要因、対応の原則について検討する。

第13回　事例を通して学修する被虐待児の心理的・行動的特徴と援助の実際(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：①指定された教科書の範囲を読み、要約や疑問点の事前探究に取り組む。
②当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
被虐待児の小学校から中学校までの成長過程に関して、被虐待児の心理的・行動的特徴を確認し、被虐待経験からの回復と当事者に対するいじめの抑止という観点から教員がどのような役割を果たすべきか検討する。

第14回　教育相談の校内体制のもとでの教員相談計画の立案と実践(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：①指定された教科書の範囲を読み、要約や疑問点の事前探究に取り組む。
②当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
問題が深刻化するのを予防するための教育相談機能を発揮するために、不登校の事例を対象として、クラス担任として校内の連携を盛り込んだ教育相談計画を立案し、実践化に必要な事項に関して検討する。

第15回　事例を通して学修する他職種・他機関との連携(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：①指定された教科書の範囲を読み、要約や疑問点の事前探究に取り組む。
②当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
学級担任、教育相談担当者等から構成される校内の組織体制の在り方や、スクールカウンセラーなど外部の学校支援者及び外部機関との連携に関して事例をもとに教育相談計画を立案し、検討する。

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**教育相談**						
英文名 ：	Educational Counseling						
担当者 ：	村上　凡子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	教職科目						
備　考 ：							

■授業概要

教育相談は、幼児、児童及び生徒が自己理解、他者理解を深め、集団の中で個性の伸長、人格の成長を達成できるよう、心理学が積み上げてきた対人援助に関する基礎的理論及び方法を身に付けることをねらいとしている。このねらいを達成するために必要な各発達段階と発達課題、カウンセリングの技法等に関する基本的な事項を実践的に学ぶ。教育相談には、いじめ、不登校、虐待といった困難な状態を解決する個への問題解決機能、問題の予防を図るための集団を対象とした開発的機能などがある。学校がこうした機能を発揮するために主導的な役割を果たしながら、他職種、他機関と連携し、「チーム学校」の理念を学校場面で実践化する過程を事例に照らして検討する。
授業方法として、実践力を高めるため必要に応じて、カウンセリング演習やロールプレイング（役割演技）を取り入れる。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

授業のテーマは、児童生徒の個性の伸長と自己実現を図るための教育相談である。到達目標は1)教育相談領域に関する現代の課題を確認し、教育相談の意義について理解すること、2)児童生徒理解のためのカウンセリング理論を基盤にした基礎的知識を習得し、カウンセリングの技法、個と集団双方に対する対人援助法の実践力を高める、3）教育相談が計画に基づいて校内で組織的に展開するよう、校内体制の整備、他機関等の連携の必要性を理解することである。

■成績評価方法および基準

定期試験 60%
小テスト 20%
復習問題 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

小レポート及び小テストは、原則として翌回までに答案を返却し、解説します。
定期試験に関しては、試験終了後要点と解説をUNIVERSAL　PASSPORTに掲載します。

■教科書

[ISBN]9784761925482 『新訂版 教育相談基礎の基礎』 (嶋﨑 政男, 学事出版 : 2019)

■参考文献

[ISBN]9784121020666 『いじめとは何か―教室の問題、社会の問題 (中公新書)』 (森田 洋司, 中央公論新社 : 2010)

■関連科目

生徒指導論　教育心理学　教職論

■授業評価アンケート実施方法

生物理工学部実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

2号館2階　非常勤講師控室
murakami@shinai-u.ac.jp　もしくはb-murakami@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

授業時間の前後の時間帯に対応します。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　教育相談の３つの機能に関する理論(授業形式：講義）

予習内容：①指定された教科書の範囲を読み、要約や疑問点の事前探究に取り組む。
②当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつようにする。その事項について文章で記述することを課すことがある。
復習時間：60分
学校教育をめぐる教育相談領域のニーズを確認し、教育相談の意義や機能とその役割を学ぶ。問題解決的機能だけではなく、問題の発生を予防する機能の重要性についても検討を深める。

第2回　教育相談の対人援助の心理学理論(授業形式：演習を含む講義）

予習内容：①指定された教科書の範囲を読み、要約や疑問点の事前探究に取り組む。
②当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
積極的傾聴の態度、共感的な応答など１対１の対人援助場面における基本的な原則について、体験的に学ぶ。

第3回　子ども理解と学校場面での教育相談的ニーズの把握(授業形式：演習を含む講義）

予習内容：①指定された教科書の範囲を読み、要約や疑問点の事前探究に取り組む。
②当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
教育相談に求められる児童生徒理解の方法を多様な観点から取り上げる。またその一環として教育相談的ニーズの把握と援助のための方法として学校現場で適用可能な心理テストの実施方法と評価方法について学ぶ。

第4回　生徒・保護者への支援におけるカウンセリングマインドの必要性と実践(授業形式：演習を含む講義）

予習内容：①指定された教科書の範囲を読み、要約や疑問点の事前探究に取り組む。
②当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
具体的に学校教育の相談場面を想定し、生徒ならびに保護者へのカウンセリングマインドを発揮した態度を演習を通して体験し、省察を行う。

第5回　受容・共感能力、自己表現力を高めるための基本的対人態度とカウンセリング技法(授業形式：演習を含む講義）

予習内容：①指定された教科書の範囲を読み、要約や疑問点の事前探究に取り組む。
②当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
教員が行う教育相談の実践に必要な資質と能力を高めるために、受容・共感能力や自己表現力の向上をめざして自己主張トレーニングを中心的に学ぶ。

第6回　集団を対象とした人間関係づくりのための集団を対象としたカウンセリング技法(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：①指定された教科書の範囲を読み、要約や疑問点の事前探究に取り組む。
②当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
児童生徒を対象とした個別的援助法及び、学級集団を対象とした人間関係づくりの方法を取り上げる。特に、構成的グループ・エンカウンターの技法に焦点を当て、理論と実践双方を取り上げる。

第7回　感情のコントロール力及び自己調整力向上のための対人援助法(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：①指定された教科書の範囲を読み、要約や疑問点の事前探究に取り組む。
②当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
生徒の自己調整能力の向上に資することをねらいとして、教員として自己調整力を高めるためのアンガーマネージメントの技法を体験し、望ましくない行動をとる生徒への対応を検討する。

第8回　発達障がいに関する基礎的理解と対応の原則(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：①指定された教科書の範囲を読み、要約や疑問点の事前探究に取り組む。
②当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
特別支援教育の対象となる神経発達症のある子どもの特性を確認し、当事者への支援に加えて、周囲との相互理解が深まるような実践方法について検討する。

第9回　いじめに関する基礎的理論(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：①指定された教科書の範囲を読み、要約や疑問点の事前探究に取り組む。
②当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
いじめの四層構造の基礎理論を取り上げる。また、いじめ同調傾向に関する研究や欧米諸国とのいじめの発生と指導に関する比較研究に触れながら、我が国におけるいじめの特徴について考察を加える。

第10回　いじめの予防、対応の原則(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：①指定された教科書の範囲を読み、要約や疑問点の事前探究に取り組む。
②当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
いじめが発生してからの問題解決機能及び、いじめを予防するための開発的機能としての実践法を検討する。本講義で取り上げた方法の有効性も考究する。

第11回　不登校及び非行への対応(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：①指定された教科書の範囲を読み、要約や疑問点の事前探究に取り組む。
②当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じ

ている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
不登校と長期欠席について多様な観点から理解を深め、問題解決的機能と開発的機能の双方の観点から実践的に学ぶ。

第12回　児童虐待に関する基礎的理解(授業形式：講義)

予習内容：①指定された教科書の範囲を読み、要約や疑問点の事前探究に取り組む。
②当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
我が国における重大な社会的課題としての児童虐待の問題を取り上げる。世界標準の児童虐待の捉え方と4類型、現状、発生要因、対応の原則について検討する。

第13回　事例を通して学修する被虐待児の心理的・行動的特徴と援助の実際(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：①指定された教科書の範囲を読み、要約や疑問点の事前探究に取り組む。
②当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
被虐待児の小学校から中学校までの成長過程に関して、被虐待児の心理的・行動的特徴を確認し、被虐待経験からの回復と当事者に対するいじめの抑止という観点から教員がどのような役割を果たすべきか検討する。

第14回　教育相談の校内体制のもとでの教員相談計画の立案と実践(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：①指定された教科書の範囲を読み、要約や疑問点の事前探究に取り組む。
②当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
問題が深刻化するのを予防するための教育相談機能を発揮するために、不登校の事例を対象として、クラス担任として校内の連携を盛り込んだ教育相談計画を立案し、実践化に必要な事項に関して検討する。

第15回　事例を通して学修する他職種・他機関との連携(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：①指定された教科書の範囲を読み、要約や疑問点の事前探究に取り組む。
②当該回で取り上げる内容に関して事前に配信された予習ノートを手書きで写す。心理学・教育学に関する当該回の重要語句について各自探究し、書きとめておく。
予習時間：60分
復習内容：Google Formsで記述式問題を含む復習問題に解答し、基礎的な事項の学修に努める。その際、学校教育場面で生じている事柄や自らの体験と可能な限り関連付けて自分の意見をもつ。文章での記述を求めることがある。
復習時間：60分
学級担任、教育相談担当者等から構成される校内の組織体制の在り方や、スクールカウンセラーなど外部の学校支援者及び外部機関との連携に関して事例をもとに教育相談計画を立案し、検討する。

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**教育方法と総合的な学習の時間の指導法**						
英文名 ：	The Study of Educational Methods and the Period forIntegrated Studies						
担当者 ：	谷口　知美・西尾　鮎子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	教職科目						
備　考 ：							

■授業概要

現代社会における子どもの実態をつかんだうえで、子どもたちに求められる資質・能力について理解する。教材解釈と発問づくりを軸とした授業づくりの方法を習得し、情報機器の活用を含む指導技術を身につける。また、総合的な学習の時間の意義や、各学校において目標及び内容を定める際の考え方を理解し、指導計画の作成に関する必要な基礎的な能力を身に付ける。また、総合的な学習の時間の指導と評価の考え方および実践上の留意点などの実践力を培う。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

（１）これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法を理解について、①教育方法の基礎的理論と実践を理解している。②これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するための教育方法の在り方（主体的・対話的で深い学びの実現など）を理解している。③学級・児童及び生徒・教員・教室・教材など授業・保育を構成する基礎的な要件を理解している。④学習評価の基礎的な考え方を理解している。

（２）教育の目的に適した指導技術について、①話法・板書など、授業・保育を行う上での基礎的な技術を身に付けている。②基礎的な学習指導理論を踏まえ、目標・内容、教材・教具、授業・保育展開、学習形態、評価規準等の視点を含めた学習指導案を作成することができる。

（３）情報機器を活用した効果的な授業や情報活用能力の育成を視野に入れた適切な教材の作成・活用に関する基礎的な能力について、①子供たちの興味・関心を高めたり課題を明確につかませたり学習内容を的確にまとめさせたりするために、情報機器を活用して効果的に教材等を作成・提示することができる。②子供たちの情報活用能力（情報モラルを含む）を育成するための指導法を理解している。

（４）総合的な学習の時間の意義と原理について、①総合的な学習の時間の意義と教育課程において果たす役割について、教科を越えて必要となる資質・能力の育成の視点から理解している。②学習指導要領における総合的な学習の時間の目標並びに各学校において目標及び内容を定める際の考え方や留意点を理解している。

（５）総合的な学習の時間の指導計画の作成について、①各教科等との関連性を図りながら総合的な学習の時間の年間指導計画を作成することの重要性と、その具体的な事例を理解している。②主体的・対話的で深い学びを実現するような、総合的な学習の時間の単元計画を作成することの重要性とその具体的な事例を理解している。

（６）総合的な学習の時間の指導と評価について、①探究的な学習の過程及びそれを実現するための具体的な手立てを理解している。②総合的な学習の時間における児童及び生徒の学習状況に関する評価の方法及びその留意点を理解している。

■成績評価方法および基準

授業内での提出物（意見カード、ワークシート、発表） 45%
試験 55%

■試験・課題に対するフィードバック方法

テスト終了後、出題の意図および解答のポイントについて解説する。

■教科書

[ISBN]9784991008917 「教職論」（経志江・小田義隆・鴻臚書舎：2019）

中学校学習指導要領（数学、理科、総合的な学習の時間）
高等学校学習指導要領（数学、理科、総合的な探求の時間）
【留意事項】その他プリントを配布する。

■参考文献

【留意事項】適宜提示する。

■関連科目

教育課程論

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

2号館2階254（講師控室）・thirata@center.wakayama-u.ac.jp（谷口）
2号館2階254（講師控室）・yutaryouhei0505919@yahoo.co.jp（西尾）

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　教育方法学の対象（担当：谷口知美）（授業形式：講義）

予習内容：教育方法学とは何かを調べる。
予習時間：60分
復習内容：教育方法学の対象について理解を深める。
復習時間：60分
「つまずきを生かす授業」の例から、教育方法学の対象について理解する。

第2回　子どもの発達と教育～ヴィゴツキーの発達論を中心に～（担当：谷口知美）（授業形式：講義）

予習内容：ピアジェとヴィゴツキーの発達論について調べる。
予習時間：60分
復習内容：子どもの発達と教育との関係性について自分の考えをまとめる。
復習時間：60分
ヴィゴツキーの発達論を中心に、子どもの発達と教育との関係性を理解する。

第3回　現代社会と子ども(1)子どもの貧困（担当：谷口知美）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：子どもの貧困の現状について調べる。
予習時間：60分
復習内容：子どもの貧困問題の背景についてまとめる。
復習時間：60分
子どもの貧困の定義、現状、その背景にある社会構造をつかむ。

第4回　現代社会と子ども(2)求められる資質・能力（担当：谷口知美）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：貧困問題に対してできることを考える。
予習時間：60分
復習内容：講義で検討した実践記録をさらに分析する。
復習時間：60分
貧困問題へのとりくみについて理解し、子どもに必要な資質・能力について考える。

第5回　教材解釈と発問づくり（担当：谷口知美）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：発問について調べる。
予習時間：60分
復習内容：講義で扱った教材について、自分の解釈をまとめる。
復習時間：60分
教材解釈と発問づくりを軸に、授業の構想の仕方を理解する。

第6回　学習形態～主体的・対話的で深い学び～（担当：谷口知美）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：共同学習について調べる。
予習時間：60分
復習内容：共同学習の理論と実際についての理解を深める。
復習時間：60分
一斉授業と共同学習について理解し、具体的な授業のあり方を知る。

第7回　教育評価の発展（担当：谷口知美）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：「相対評価」と「目標に準拠した評価」について調べる。
予習時間：60分
復習内容：教育評価の歴史をまとめる。
復習時間：60分
「相対評価」と「目標に準拠した評価」を中心に教育評価の歴史を理解する。

第8回　教育評価の方法（担当：谷口知美）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：近年普及している教育評価方法について調べる。
予習時間：60分
復習内容：新しい教育評価方法の長所と短所を考える。
復習時間：60分
パフォーマンス評価などの教育評価方法を知る。

第9回　学習指導案の作成（担当：谷口知美）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：学習指導案について調べる。
予習時間：60分
復習内容：学習指導案を作成する。
復習時間：60分
発問を軸とした学習指導案の作成方法をつかむ。

第10回　学習指導案の検討（担当：谷口知美）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：学習指導案を作成する。
予習時間：60分
復習内容：同じ内容を扱った学習指導案について調べ、比較検討する。
復習時間：60分
学習指導案をグループで検討し、改善案を作成する。

第11回　理科および数学の授業分析（担当：谷口知美）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：中学３年生数学「平方根」、仮説実験授業について調べる。
予習時間：60分
復習内容：講義で視聴した授業をもとに、自分なりの授業展開を考える。
復習時間：60分
中学校数学科および理科の授業を分析し、自分の考えをもつ。

第12回　「総合的な学習の時間」の意義と目標、学校における活用（担当：西尾鮎子）（授業形式　講義）

予習内容：「総合的な学習の時間」の成立の経緯を調べる。
予習時間：60分
復習内容：「総合的な学習の時間」の意義について自分の意見をまとめる。
復習時間：60分
「総合的な学習の時間」の成立の経緯と意義

第13回　「総合的な学習の時間」の実践（年間指導計画と学習指導案および教材開発の方法、３つの実例から）（担当：西尾鮎子）（授業形式　講義）

予習内容：自分の受けた「総合的な学習の時間」を思いだし内容を記述する。
予習時間：60分
復習内容：「総合的な学習の時間」の指導計画について学んだことをまとめる。
復習時間：60分
「総合的な学習の時間」の指導計画についての理解を深める。

第14回　総合的な学習の時間」の評価方法と留意点（担当：西尾鮎子）（授業形式　講義）

予習内容：「総合的な学習の時間」の評価とは何かを考える。
予習時間：60分
復習内容：「総合的な学習の時間」の評価について学んだことをまとめる。
復習時間：60分
「総合的な学習の時間」の評価の仕方と子どもたちへの効果について理解を深める。

第15回　情報機器の活用（担当：谷口知美）（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：授業におけるICTについて調べる。
予習時間：60分
復習内容：効果的な情報機器の活用方法について自分の考えをまとめる。
復習時間：60分

効果的な情報機器の活用方法について考える。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**教育方法と総合的な学習の時間の指導法**						
英文名　：	The Study of Educational Methods and the Period forIntegrated Studies						
担当者　：	森本　芳生						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	教職科目						
備　考　：							

■授業概要

授業では、近代学校教育における教育方法の特質を、近世の教育機関・学習場面でのそれと比較して把握したのち、今日に至る150年余の学校教育での注目すべき教育方法を順次取り上げ、解説を加えていく。その際、そうした教育方法の背後にある教育観・教育思想・社会状況等にも言及・強調する。方法を単に誰もがすぐ真似ることが可能な技術次元の問題としてのみ捉えてほしくない為である。さらに「総合的な学習の時間」の指導を意識し、新たな教材（学習素材）開発論、教具論という観点から、象徴的な事例（教師の問題意識）を紹介する。こうした作業を通して、学校教育およびそこでの教育方法に対する関心を高め、知見を得ることが授業目的である。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講生はこの授業を履修することによって、1）近代学校教育における教育方法の特質、2）教育方法が教育思想・教育観と切り離して考えることができない事、3）これまで教育現場で試みられてきた代表的教育方法、4）「総合的な学習の時間」創設の源流のひとつとなった教育方法、 5）ICT教育の奨励とその問題点今後の課題等を知ることができる。

■成績評価方法および基準

定期試験（期末レポート） 40%
小テスト 20%
レポート（中間レポート） 40%

■試験・課題に対するフィードバック方法

定期試験 要点・解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。
また日々の授業コメントで出された疑問・意見等には、原則として翌週の授業で補足等を加えます。
小テスト 講義で説明・確認したことのテストであるため、正答は各自授業ノートを見直してください。
レポート 中間レポート提出後、優れたレポート・改善の余地のあるレポートの具体を授業で解説します。

■教科書

【留意事項】使用しない

■参考文献

[ISBN]9784000260053 『教育方法学 (岩波テキストブックス)』 (佐藤 学, 岩波書店：1996)
[ISBN]9784903500348 『教育の方法 (放送大学叢書)』 (佐藤 学, 左右社：2010)
[ISBN]9784820804406 『教育実践学と教育方法論―カリキュラム・教科指導・学力を教育実践から問い直す』 (臼井 嘉一, 日本標準：2010)

■関連科目

教職課程諸科目

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）y-morimoto@iris.eonet.ne.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　ガイダンス、近世の教育・学習方法（授業形式：講義）

予習内容：歴史区分、近世・近代・現代
予習時間：15分
復習内容：近世における学習の機会と方法の特質
復習時間：20分

第2回　明治期の学校教育、その方法の推移（授業形式：講義）

予習内容：ルソー・ペスタロッチ教育法の輸入と、ヘルバルト学派の段階教授法
予習時間：15分
復習内容：ヘルバルト学派の形式的段階教授法の功罪
復習時間：20分

第3回　大正自由主義教育（児童中心主義教育）の展開と挫折（授業形式：講義）

予習内容：大正時代とは如何なる時代であったのか
予習時間：20分
復習内容：大正新教育運動の意義と限界
復習時間：30分

第4回　生活綴り方教育の登場と弾圧、そして戦後教育おける復活（授業形式：講義）

予習内容：昭和初期とは、戦後10年間とは如何なる時代であったのか
予習時間：20分
復習内容：生活綴り方教育の意義
復習時間：30分

第5回　戦後教育改革と学習指導要領改訂の変遷（授業形式：講義）

予習内容：学習指導要領（試案）について
予習時間：20分
復習内容：学習指導要領の変遷と学校現場
復習時間：30分

第6回　系統主義教育と仮説実験授業（授業形式：講義）

予習内容：高度経済成長期とは如何なる時代であったのか
予習時間：20分
復習内容：科学の時代と学校教育、理数系「重視」と対抗的教育方法開発
復習時間：30分

第7回　仮説実験授業と教材・教具・授業論（授業形式：講義）

予習内容：教材・教具とはなにか
予習時間：20分
復習内容：教材・教具開発、および対話的学習としての仮設実験授業
復習時間：30分

第8回　仮説実験授業の拡大（算数・数学領域の事例）（授業形式：講義）

予習内容：仮説実験授業の思想と方法
予習時間：30分
復習内容：数学教育と仮説実験授業の思想
復習時間：30分

第9回　「できる」と「わかる」に関して、百ます計算・暗誦教育の意味と課題（授業形式：講義）

予習内容：近年のドリル・暗証学習法の「強制」と「流行」
予習時間：20分
復習内容：「わからないけれども、できる」をどう考えるか
復習時間：30分

第10回　すぐれた教材・学習材料の開発、その要件と方法（授業形式：講義）

予習内容：各自にとっての興味・関心の源泉
予習時間：30分
復習内容：千葉保氏の着眼点と方法、思想
復習時間：30分

第11回　生活綴り方教育の現在ー「教育と生活の結合」/「教育と科学の結合」問題再考（授業形式：講義）

予習内容：格差社会とは
予習時間：30分
復習内容：生活綴り方教育の再評価
復習時間：30分

第12回　「教育方法と教育観」問題－総括（授業形式：講義）

予習内容：認識と技術の関連/異同
予習時間：20分
復習内容：教師の資質における認識論の必要性
復習時間：30分

第13回　「ほんものの教育」（無着成恭）を求めた教師たち（授業形式：講義）

予習内容：各自の「理想の教育」とは
予習時間：30分
復習内容：なぜ「教育方法は政治」なのか
復習時間：30分

第14回　ＩＣＴ教育の可能性と課題（授業形式：講義）

予習内容：ＩＣＴ教育とは
予習時間：30分
復習内容：21世紀型学力とICT教育
復習時間：30分

第15回　課題と展望（授業形式：講義）

予習内容：授業内容を振り返って
予習時間：30分
復習内容：各自の「ほんものの教育」への志向を広げ・深める
復習時間：30分

定期試験
第15回授業を踏まえて各自の「まとめ」

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**教育方法と総合的な学習の時間の指導法**						
英文名 ：	The Study of Educational Methods and the Period forIntegrated Studies						
担当者 ：	森本　芳生						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	教職科目						
備　考 ：							

■授業概要

授業では、近代学校教育における教育方法の特質を、近世の教育機関・学習場面でのそれと比較して把握したのち、今日に至る150年余の学校教育での注目すべき教育方法を順次取り上げ、解説を加えていく。その際、そうした教育方法の背後にある教育観・教育思想・社会状況等にも言及・強調する。方法を単に誰もがすぐ真似ることが可能な技術次元の問題としてのみ捉えてほしくない為である。さらに「総合的な学習の時間」の指導を意識し、新たな教材（学習素材）開発論、教具論という観点から、象徴的な事例（教師の問題意識）を紹介する。こうした作業を通して、学校教育およびそこでの教育方法に対する関心を高め、知見を得ることが授業目的である。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講生はこの授業を履修することによって、1）近代学校教育における教育方法の特質、2）教育方法が教育思想・教育観と切り離して考えることができない事、3）これまで教育現場で試みられてきた代表的教育方法、4）「総合的な学習の時間」創設の源流のひとつとなった教育方法、 5）ICT教育の奨励とその問題点今後の課題等を知ることができる。

■成績評価方法および基準

定期試験（期末レポート） 40%
小テスト 20%
レポート（中間レポート） 40%

■試験・課題に対するフィードバック方法

定期試験 要点・解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。
また日々の授業コメントで出された疑問・意見等には、原則として翌週の授業で補足等を加えます。
小テスト 講義で説明・確認したことのテストであるため、正答は各自授業ノートを見直してください。
レポート 中間レポート提出後、優れたレポート・改善の余地のあるレポートの具体を授業で解説します。

■教科書

【留意事項】使用しない

■参考文献

[ISBN]9784000260053 『教育方法学 (岩波テキストブックス)』 (佐藤 学, 岩波書店：1996)
[ISBN]9784903500348 『教育の方法 (放送大学叢書)』 (佐藤 学, 左右社：2010)
[ISBN]9784820804406 『教育実践学と教育方法論―カリキュラム・教科指導・学力を教育実践から問い直す』 (臼井 嘉一, 日本標準：2010)

■関連科目

教職課程諸科目

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）y-morimoto@iris.eonet.ne.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　ガイダンス、近世の教育・学習方法（授業形式：講義）

予習内容：歴史区分、近世・近代・現代
予習時間：15分
復習内容：近世における学習の機会と方法の特質
復習時間：20分

第2回　明治期の学校教育、その方法の推移（授業形式：講義）

予習内容：ルソー・ペスタロッチ教育法の輸入と、ヘルバルト学派の段階教授法
予習時間：15分
復習内容：ヘルバルト学派の形式的段階教授法の功罪
復習時間：20分

第3回　大正自由主義教育（児童中心主義教育）の展開と挫折（授業形式：講義）

予習内容：大正時代とは如何なる時代であったのか
予習時間：20分
復習内容：大正新教育運動の意義と限界
復習時間：30分

第4回　生活綴り方教育の登場と弾圧、そして戦後教育おける復活（授業形式：講義）

予習内容：昭和初期とは、戦後10年間とは如何なる時代であったのか
予習時間：20分
復習内容：生活綴り方教育の意義
復習時間：30分

第5回　戦後教育改革と学習指導要領改訂の変遷（授業形式：講義）

予習内容：学習指導要領（試案）について
予習時間：20分
復習内容：学習指導要領の変遷と学校現場
復習時間：30分

第6回　系統主義教育と仮説実験授業（授業形式：講義）

予習内容：高度経済成長期とは如何なる時代であったのか
予習時間：20分
復習内容：科学の時代と学校教育、理数系「重視」と対抗的教育方法開発
復習時間：30分

第7回　仮説実験授業と教材・教具・授業論（授業形式：講義）

予習内容：教材・教具とはなにか
予習時間：20分
復習内容：教材・教具開発、および対話的学習としての仮設実験授業
復習時間：30分

第8回　仮説実験授業の拡大（算数・数学領域の事例）（授業形式：講義）

予習内容：仮説実験授業の思想と方法
予習時間：30分
復習内容：数学教育と仮説実験授業の思想
復習時間：30分

第9回　「できる」と「わかる」に関して、百ます計算・暗誦教育の意味と課題（授業形式：講義）

予習内容：近年のドリル・暗証学習法の「強制」と「流行」
予習時間：20分
復習内容：「わからないけれども、できる」をどう考えるか
復習時間：30分

第10回　すぐれた教材・学習材料の開発、その要件と方法（授業形式：講義）

予習内容：各自にとっての興味・関心の源泉
予習時間：30分
復習内容：千葉保氏の着眼点と方法、思想
復習時間：30分

第11回　生活綴り方教育の現在ー「教育と生活の結合」/「教育と科学の結合」問題再考（授業形式：講義）

予習内容：格差社会とは
予習時間：30分
復習内容：生活綴り方教育の再評価
復習時間：30分

第12回　「教育方法と教育観」問題－総括（授業形式：講義）

予習内容：認識と技術の関連/異同
予習時間：20分
復習内容：教師の資質における認識論の必要性
復習時間：30分

第13回　「ほんものの教育」（無着成恭）を求めた教師たち（授業形式：講義）

予習内容：各自の「理想の教育」とは
予習時間：30分
復習内容：なぜ「教育方法は政治」なのか
復習時間：30分

第14回　ＩＣＴ教育の可能性と課題（授業形式：講義）

予習内容：ＩＣＴ教育とは
予習時間：30分
復習内容：21世紀型学力とICT教育
復習時間：30分

第15回　課題と展望（授業形式：講義）

予習内容：授業内容を振り返って
予習時間：30分
復習内容：各自の「ほんものの教育」への志向を広げ・深める
復習時間：30分

定期試験
第15回授業を踏まえて各自の「まとめ」

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**教職実践演習（中・高）**						
英文名　：	Seminar for Prospective Teachers(Junior and Senior High School)						
担当者　：	小田　義隆・松本　圭朗						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	4年次	開講期：	後期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	教職科目						
備　考　：							

■授業概要

本演習では、教職課程の最終段階として、自らの学びを振返り、特に補充・発展させるべき自己の課題を明らかにする。そのために、「履修カルテ」を活用した省察とグループディスカッション、教育実習での研究授業を発展させた模擬授業（映像発表等）と相互評価、学校見学や授業見学などの教育フィールドワーク、重要なテーマ別のゲストスピーカーを交えた講話とディスカッションなどを行う。少人数でのグループ活動、学外での学び、外部講師の招聘などを含んでおり、特に積極的な授業参加と、自らの資質・能力の向上を目指す意欲が必要である。

＊第６～８回教育フィールドワークは、見学校のご都合によりメディア授業になる場合もある。
同様に、第11～13回も特別講師のご都合や状況によってはメディア授業で行う。

●原則として全出席が必要である。●履修カルテ及び総括レポートの提出は、単位認定の要件である。

■授業形態

対面授業（授業回の半数以上が対面授業／それ以外は、メディア授業）

■アクティブ・ラーニングの形態

PBL（課題解決学習）・ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

中学校教諭・高等学校教諭として必要な基礎的な知識と専門性の形成に関して、以下の４項目について確認し、自己の課題を明らかにする。

① 教育に対する使命感や責任感を持ち、生徒に対する愛情が豊かであること。
② 社会性や対人関係、コミュニケーションの能力が適切であること。
③ 生徒や学校に関する必要な知識や対応能力の基礎を身に付けていること。
④ 理科もしくは数学科についての専門の指導力の基礎を形成していること。

■成績評価方法および基準

授業課題 60%
総括レポート 20%
履修カルテ 10%
授業への積極的参加 10%

■試験・課題に対するフィードバック方法

毎回の授業課題については、原則翌週に講評を行う。総括レポートについては、担当者が講評を書き込み「履修カルテ」と共に卒業までの期間に返却する。

■教科書

【留意事項】特に指定しないが、関連の既習教科書・学習指導要領等を適宜参照のこと。必要な回には資料を配布する。

■参考文献

【留意事項】特に指定しないが、関連の既習参考書・学習指導要領・中央教育審議会答申等を適宜参照のこと。新刊を含めて、参考となる文献は授業時に適宜紹介するので、これまで読書計画に加えて読むことが望ましい（計16冊以上）。

■関連科目

教職科目全般

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行う。

■研究室・メールアドレス

小田研究室（２号館５階）　oda@waka.kindai.ac.jp
松本研究室（２号館５階）　yoshiro.matsumoto@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

小田・木曜４限
松本・水曜４限
当面は、随時メールで対応する。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　履修カルテを使った振返りⅠ（教職課程全般について）（形式：講義）

予習内容：・「履修カルテ」を十分に整理し、必要なところをすべて記入しておく。
・教職課程の履修状況、成績等から自らの到達点を考え、補うべきところ、伸ばしていきたいところについて考えをまとめておく。
予習時間：60分
復習内容：グループディスカッションを通して、再度自分の課題について考え、総括レポートに繋がるように書き留めておく。
復習時間：30分
1.授業オリエンテーション･･･この科目の趣旨、ねらい、評価等について説明の後、「授業計画表」および「課題一覧」を配布し、詳細を説明する。
2.グループ分けを行う。
3.「履修カルテ」の記入を確認した後、グループごとに、それぞれの学びの振返りについて意見交換を行う。

第2回　履修カルテを使った振返りⅡ（教育実習を中心に）（形式：演習）

予習内容：教育実習を中心に振返りを行い、後輩にアドバイスをするとすれば、という想定でまとめておく。
予習時間：40分
復習内容：【履修カルテ】「履修カルテ」は、「教職実践演習」最終回後に提出する必要があるので、教育関係書の読書やボランティアなどを継続して進める。自己課題に関する省察を作成する【課題①】
復習時間：90分
1.教育実習、スクール・インターンシップ、ボランティアなど学外での学びを中心に振返りを行い、グループごとに意見交換を行う。
2.グループディスカッションの結果は、第１回と合わせて「後輩へのアドバイス」としてグループごとにまとめて提出する。

第3回　授業の方法と技術Ⅰ①（形式：演習）

予習内容：【教育実習中に動画を撮らせてもらうことが出来た学生】45分中から30分の動画を配信し教育実習の説明を行う。その際、その授業で使用した指導案をブラッシュアップしたものをPDFファイルで用意し改善点を説明する。【課題③】
【教育実習中に動画を撮らせてもらうことが出来なかった学生】研究授業の指導案をブラッシュアップして、その再現動画30分を制作する。【課題③】
予習時間：90分
復習内容：動画の説明やプレゼンテーションの準備を行う。
復習時間：30分
・教育実習中に動画を撮らせてもらうことが出来た学生は、45分中から30分の動画を配信し教育実習の説明を行う。その際、その授業で使用した指導案をブラッシュアップしたものをPDFファイルで用意し改善点を説明する。
・教育実習中に動画を撮らせてもらうことが出来なかった学生は、研究授業の指導案をブラッシュアップして、その再現動画30分を制作する。その際、その授業で使用した指導案をブラッシュアップしたものをPDFファイルで用意し改善点を説明する。
・課題学習とする

第4回　授業の方法と技術Ⅰ②（形式：演習）

予習内容：【教育実習中に動画を撮らせてもらうことが出来た学生】45分中から30分の動画を配信し教育実習の説明を行う。その際、その授業で使用した指導案をブラッシュアップしたものをPDFファイルで用意し改善点を説明する。【課題③】
【教育実習中に動画を撮らせてもらうことが出来なかった学生】研究授業の指導案をブラッシュアップして、その再現動画30分を制作する。【課題③】
予習時間：90分
復習内容：動画の説明やプレゼンテーションの準備を行う。
復習時間：30分

・教育実習中に動画を撮らせてもらうことが出来た学生は、45分中から30分の動画を配信し教育実習の説明を行う。その際、その授業で使用した指導案をブラッシュアップしたものをPDFファイルで用意し改善点を説明する。
・教育実習中に動画を撮らせてもらうことが出来なかった学生は、研究授業の指導案をブラッシュアップして、その再現動画30分を制作する。その際、その授業で使用した指導案をブラッシュアップしたものをPDFファイルで用意し改善点を説明する。
・課題学習とする。

第5回　授業の方法と技術Ⅱ（形式：演習）

予習内容：【教育実習中に動画を撮らせてもらうことが出来た学生】45分中から30分の動画を配信し教育実習の説明を行う。その際、その授業で使用した指導案をブラッシュアップしたものをPDFファイルで用意し改善点を説明する。
【教育実習中に動画を撮らせてもらうことが出来なかった学生】研究授業の指導案をブラッシュアップして、その再現動画30分を制作する。
予習時間：90分
復習内容：教育実習動画の講評も踏まえて、学習指導案を更に改良したものを提出用に用意しておく。他者の授業での学びをGoogleClassroomに記入する。【課題④】
復習時間：90分
・授業の方法と技術Ⅰで制作した動画を使って各自教育実習の説明を行う。その際、学習指導案のブラッシュアップした箇所を説明し技術と方法の向上を図る。
・グループごとに発表順、司会、タイムキーパーを決めておく。
・動画配信の前には、授業の背景、意図、改善点などをプレゼンテーションし、終了後は質疑応答を行う。
・グループ員は、質疑応答に積極的に参加するとともに、感想をGoogleClassroomに記入する。

第6回　教育フィールドワークⅠ（学校見学）（形式：演習）

予習内容：見学する学校のＨＰを調べ、学校の沿革や教育方針、特色などを事前によく把握する。
予習時間：60分
復習内容：教育フィールドワークのまとめの一部として見学したことの内容をまとめておく。
復習時間：20分
・教育フィールドワークは、和歌山県内の中学校で実施予定である。
・事前に資料を配布し説明を行う。必要な申込み、誓約書の提出などを期限までに行っておくこと。
・学校の施設・設備、環境が、生徒の学習や活動および当該校の特色とどのように関わっているのかを意識しながら見学を行う。

第7回　教育フィールドワークⅡ（授業見学）（形式：演習）

予習内容：見学する教科の単元などを予め調べ、熟知しておくこと。自分の免許状取得予定教科であれば、自らの学習指導案を立案するところまで予習を行う
予習時間：60分
復習内容：教育フィールドワークのまとめの一部として授業見学の感想をまとめておく。
復習時間：60分
・和歌山県内の中学校の公開授業に参加予定である。
・質疑応答や講評会への参加も可能であれば行う。

第8回　教育フィールドワークⅢ（学校経営・教員研修の実際）（形式：演習）

予習内容：研修テーマについて事前学習を行う。関連する書籍や統計、白書、答申などに目を通して、発表や討議が理解できるように準備する。
予習時間：60分
復習内容：【課題②】研修見学の内容と感想をまとめ、前回・前々回と合わせて、教育フィールドワークのまとめを作成する。
復習時間：90分
・和歌山県内の中学校の研修会へ参加予定である。
・学校経営の方針・実践について知り、同時に教員研修の実際を学ぶ。

第9回　授業の方法と技術Ⅲ（形式：演習）

予習内容：【教育実習中に動画を撮らせてもらうことが出来た学生】45分中から30分の動画を配信し教育実習の説明を行う。その際、その授業で使用した指導案をブラッシュアップしたものをPDFファイルで用意し改善点を説明する。
【教育実習中に動画を撮らせてもらうことが出来なかった学生】研究授業の指導案をブラッシュアップして、その再現動画30分を制作する。
予習時間：90分
復習内容：教育実習動画の講評も踏まえて、学習指導案を更に改良したものを提出用に用意しておく。
復習時間：90分
・授業の方法と技術Ⅰで制作した動画を使って各自教育実習の説明を行う。その際、学習指導案のブラッシュアップした箇所を説明し技術と方法の向上を図る。
・グループごとに発表順、司会、タイムキーパーを決めておく。
・動画配信の前には、授業の背景、意図、改善点などをプレゼンテーションし、終了後は質疑応答を行う。

・グループ員は、質疑応答に積極的に参加するとともに、感想をGoogleClassroomに記入する

第10回　授業の方法と技術Ⅳ（形式：演習）

予習内容：【教育実習中に動画を撮らせてもらうことが出来た学生】45分中から30分の動画を配信し教育実習の説明を行う。その際、その授業で使用した指導案をブラッシュアップしたものをPDFファイルで用意し改善点を説明する。
【教育実習中に動画を撮らせてもらうことが出来なかった学生】研究授業の指導案をブラッシュアップして、その再現動画30分を制作する。
予習時間：60分
復習内容：教育実習動画の講評も踏まえて、学習指導案を更に改良したものを提出用に用意しておく。
復習時間：20分
・授業の方法と技術Ⅰで制作した動画を使って各自教育実習の説明を行う。その際、学習指導案のブラッシュアップした箇所を説明し技術と方法の向上を図る。
・グループごとに発表順、司会、タイムキーパーを決めておく。
・動画配信の前には、授業の背景、意図、改善点などをプレゼンテーションし、終了後は質疑応答を行う。
・グループ員は、質疑応答に積極的に参加するとともに、感想をGoogleClassroomに記入する

第11回　学級経営の実際と留意点（形式：講義）

予習内容：学校経営に関連した既習科目を復習する。
予習時間：60分
復習内容：【課題⑤】提出する感想文を書く。
復習時間：60分
1.現職教員をゲストスピーカーとして招き、学級経営の実際と留意点についてお話を伺う。
2.講師との質疑応答を行う。
3.グループディスカッションで、自らの課題に引き付けて学ぶ。

第12回　特別支援教育の実際と留意点（形式：講義）

予習内容：特別支援教育や発達障害に関連した本を新たに１冊以上読んで出席すること。
予習時間：120分
復習内容：【課題⑥】提出する感想文を書く。
復習時間：60分
1.現職教員をゲストスピーカーとして招き、特別支援教育の実際と留意点についてお話を伺う。
2.講師との質疑応答を行う。
3.グループディスカッションで、自らの課題に引き付けて学ぶ。

第13回　ソーシャルワークと生徒支援（形式：講義）

予習内容：関連する新聞記事を検索し、ブックレット、本を新たに１冊以上読む。
予習時間：120分
復習内容：【課題⑦】提出する感想文を書く。
復習時間：60分
1.ソーシャルワーカーをゲストスピーカーとして招き、困難な状況にある子どもたちや家庭の実態、支援の在り方、学校と福祉機関との連携等についてお話を伺う。
2.講師との質疑応答を行う。
3.グループディスカッションで、自らの課題に引き付けて学ぶ。

第14回　これからの学校と教師の課題（形式：講義）

予習内容：「これからの学校と教師の課題」に関連する興味あるトピックについて調べ、グループでディスカッションができる資料を作成する。
予習時間：60分
復習内容：ディスカッションの内容、自分の考え等をまとめておく。
復習時間：40分
・外部講師による連続講話も踏まえ、テーマについて各グループでディスカッションを行う。
・資料を添えて各自１つのトピックを持ち寄り、それを素材として話し合う。
・自らの振返りや課題発見と繋げることが望ましい。

第15回　「教職実践演習」と教職課程履修のまとめ（形式：演習）

予習内容：「教職実践演習」を振返り、何を得たのか発表できるように考えを深めておく。
予習時間：60分
復習内容：【総括レポート】総括レポートの作成
復習時間：120分
1.全体で「教職実践演習」での学びを総括し、何を学び取ったのかそれぞれ発表を行う。
2.総括レポートについて説明を行う。

■ホームページ

■実践的な教育内容

オムニバス形式で多様な企業等から講師を招いて行う授業
学外でのインターンシップや実習、研修を授業の一環として位置付けている授業

科目名 ：	**教職論**						
英文名 ：	The Study of Teaching Profession						
担当者 ：	小田　義隆						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	教職科目						
備　考 ：							

■授業概要

　教職課程全体の入門として配置される科目であり、教職に就くとはどういうことか、教職の全体像をつかみながら学校教育の専門家になるために必要な資質・能力を講義する。現代社会における教職の重要性の高まりを背景に、教職の意義、教員の役割・資質能力・職務内容等について身に付け、教職への意欲を高め、さらに適性を判断し、進路選択に資する教職の在り方を理解する。授業方法としては、主として講義形式で行う。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

（１）教職の意義について、①公教育の目的とその担い手である教員の存在意義を理解している。②進路選択に向け、他の職業との比較を通して教職の職業的特徴を理解している。
（２）教員の役割について、①教職観の変遷を踏まえ、今日の教員に求められる役割を理解している。②今日の教員に求められる基礎的な資質能力を理解している。
（３）教員の職務内容について、①幼児、児童及び生徒への指導及び指導以外の校務を含めた教員の職務の全体像を理解している。②教員研修の意義及び制度上の位置付け並びに専門職として適切に職務を遂行するため生涯にわたって学び続けることの必要性を理解している。③教員に課せられる服務上及び身分上の義務及び身分保障を理解している。
（４）チーム学校への対応、校内の教職員や多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担し、チームとして組織的に諸課題に対応することの重要性を理解している。

■成績評価方法および基準

小テスト 60%
レポート試験 40%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後に、試験の要点と解説する。

■教科書

[ISBN]9784991008917 『教職論』 (経志江・小田義隆, 鴻臚書舎：2019)

■参考文献

[ISBN]9784623058358 『現代教育制度論　第四刷』 (土屋 基規, ミネルヴァ書房 : 2011)
[ISBN]9784491041599 『流行に踊る日本の教育』 (石井英真, 東洋館出版社：2021)
[ISBN]9784087211290 『「生存競争」教育への反抗 (集英社新書)』 (神代 健彦, 集英社：2020)
[ISBN]9784794224583 『教師という接客業』 (浩, 齋藤, 草思社：2020)
[ISBN]9784569846859 『教師崩壊 先生の数が足りない、質も危ない (PHP新書)』 (妹尾 昌俊, PHP研究所：2020)
[ISBN]9784759924077 『近現代日本教員史研究』 (船寄俊雄, 風間書房：2022)

■関連科目

教職科目全般

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行う。

■研究室・メールアドレス

小田研究室（2号館5階509）・oda@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

木曜４限
事前にメールにてアポイントをとること。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　教職の意義(授業形式：講義)

予習内容：学校体験を振り返り教師の意義や必要性を考える。
予習時間：30分
復習内容：教職の意義をレポートにまとめる。
復習時間：30分

第2回　教師の歴史と教師像の変遷(授業形式：講義)

予習内容：教師という職業の成り立ちを調べる。
予習時間：30分
復習内容：師範型教師などの教師像の変遷をまとめる。
復習時間：30分

第3回　教員養成の制度と思想(授業形式：講義)

予習内容：教師を養成する意義を考えまとめる。
予習時間：30分
復習内容：教員養成制度の変遷をまとめる。
復習時間：30分

第4回　教師の免許制度(授業形式：講義)

予習内容：教師の免許状制度の概要をまとめる。
予習時間：30分
復習内容：教師が免許状を持つ意義、免許状の種類、免許制度の変遷をまとめる。
復習時間：30分

第5回　教師の採用制度(授業形式：講義)

予習内容：自分が教員採用選考試験受験予定の自治体の教員採用選考試験受験要項をみる。
予習時間：30分
復習内容：教師の採用制度における選考の意義および制度の問題点をまとめる。
復習時間：30分

第6回　教師の資質向上と研修制度(授業形式：講義)

予習内容：一般公務員と教育公務員の研修について調べる。
予習時間：30分
復習内容：一般公務員と教育公務員の研修の違い及び、教師の資質向上策について考えをまとめる
復習時間：30分

第7回　教師と教育法規（服務、身分保障を中心に）(授業形式：講義)

予習内容：教師に与えられた権利と、教師が守らなければならない義務を考える
予習時間：30分
復習内容：地方公務員としての教師と教育公務員としての教師の服務についてまとめる。
復習時間：30分

第8回　教師の職務①（学校の組織と学校運営）(授業形式：講義)

予習内容：学校の組織について調べてまとめる
予習時間：30分
復習内容：教師の職階とその内容についてまとめる。
復習時間：30分

第9回　教師の職務②（教育課程編成・学習指導）(授業形式：講義)

予習内容：生徒体験において感じた教師と教科内容の関係についてまとめる。
予習時間：30分
復習内容：教師と教育内容との関係を考えまとめる。

復習時間：30分

第10回　教師の職務③（教育相談および学級経営）(授業形式：講義)

予習内容：教師は学級経営に学校教育相談を活かすべきか考える。
予習時間：30分
復習内容：学級経営と教職員法制の関係をまとめる。
復習時間：30分

第11回　教師と保護者・地域社会との連携(授業形式：講義)

予習内容：地域・保護者と教師の関係を実生活から考える。
予習時間：30分
復習内容：PTAの制度、地域と学校の連携の実態等をまとめる。
復習時間：30分

第12回　チーム学校と教師の職務(授業形式：講義)

予習内容：チーム学校とは何かを調べる。
予習時間：30分
復習内容：チーム学校が期待する学校と社会の在り方をまとめる。
復習時間：30分

第13回　教師をめぐる問題（学級崩壊）(授業形式：講義)

予習内容：学校現場における学級崩壊の現状を調べる。
予習時間：30分
復習内容：学級崩壊の社会的原因とその対策を考えまとめる。
復習時間：30分

第14回　教師をめぐる問題（バーンアウト）(授業形式：講義)

予習内容：教師のバーンアウトの現状を調べる。
予習時間：30分
復習内容：教師のバーンアウトの現状と課題、予防する対策を考えまとめる。
復習時間：30分

第15回　21世紀の教師をめぐる教育改革(授業形式：講義)

予習内容：21世紀の教師をめぐる教育改革をまとめる。
予習時間：30分
復習内容：21世紀の教師をめぐる制度の在り方を考えまとめる。
復習時間：30分

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 ：	**教職論**						
英文名 ：	The Study of Teaching Profession						
担当者 ：	小田　義隆						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	教職科目						
備　考 ：							

■授業概要

　教職課程全体の入門として配置される科目であり、教職に就くとはどういうことか、教職の全体像をつかみながら学校教育の専門家になるために必要な資質・能力を講義する。現代社会における教職の重要性の高まりを背景に、教職の意義、教員の役割・資質能力・職務内容等について身に付け、教職への意欲を高め、さらに適性を判断し、進路選択に資する教職の在り方を理解する。授業方法としては、主として講義形式で行う。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

（１）教職の意義について、①公教育の目的とその担い手である教員の存在意義を理解している。②進路選択に向け、他の職業との比較を通して教職の職業的特徴を理解している。
（２）教員の役割について、①教職観の変遷を踏まえ、今日の教員に求められる役割を理解している。②今日の教員に求められる基礎的な資質能力を理解している。
（３）教員の職務内容について、①幼児、児童及び生徒への指導及び指導以外の校務を含めた教員の職務の全体像を理解している。②教員研修の意義及び制度上の位置付け並びに専門職として適切に職務を遂行するため生涯にわたって学び続けることの必要性を理解している。③教員に課せられる服務上及び身分上の義務及び身分保障を理解している。
（４）チーム学校への対応、校内の教職員や多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担し、チームとして組織的に諸課題に対応することの重要性を理解している。

■成績評価方法および基準

小テスト 60%
レポート試験 40%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後に、試験の要点と解説する。

■教科書

[ISBN]9784991008917 『教職論』 (経志江・小田義隆, 鴻臚書舎：2019)

■参考文献

[ISBN]9784623058358 『現代教育制度論　第四刷』 (土屋 基規, ミネルヴァ書房 : 2011)
[ISBN]9784491041599 『流行に踊る日本の教育』 (石井英真, 東洋館出版社：2021)
[ISBN]9784087211290 『「生存競争」教育への反抗 (集英社新書)』 (神代 健彦, 集英社：2020)
[ISBN]9784794224583 『教師という接客業』 (浩, 齋藤, 草思社：2020)
[ISBN]9784569846859 『教師崩壊 先生の数が足りない、質も危ない (PHP新書)』 (妹尾 昌俊, PHP研究所：2020)
[ISBN]9784759924077 『近現代日本教員史研究』 (船寄俊雄, 風間書房：2022)

■関連科目

教職科目全般

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行う。

■研究室・メールアドレス

小田研究室（2号館5階509）・oda@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

木曜４限
事前にメールにてアポイントをとること。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　教職の意義(授業形式：講義)

予習内容：学校体験を振り返り教師の意義や必要性を考える。
予習時間：30分
復習内容：教職の意義をレポートにまとめる。
復習時間：30分

第2回　教師の歴史と教師像の変遷(授業形式：講義)

予習内容：教師という職業の成り立ちを調べる。
予習時間：30分
復習内容：師範型教師などの教師像の変遷をまとめる。
復習時間：30分

第3回　教員養成の制度と思想(授業形式：講義)

予習内容：教師を養成する意義を考えまとめる。
予習時間：30分
復習内容：教員養成制度の変遷をまとめる。
復習時間：30分

第4回　教師の免許制度(授業形式：講義)

予習内容：教師の免許状制度の概要をまとめる。
予習時間：30分
復習内容：教師が免許状を持つ意義、免許状の種類、免許制度の変遷をまとめる。
復習時間：30分

第5回　教師の採用制度(授業形式：講義)

予習内容：自分が教員採用選考試験受験予定の自治体の教員採用選考試験受験要項をみる。
予習時間：30分
復習内容：教師の採用制度における選考の意義および制度の問題点をまとめる。
復習時間：30分

第6回　教師の資質向上と研修制度(授業形式：講義)

予習内容：一般公務員と教育公務員の研修について調べる。
予習時間：30分
復習内容：一般公務員と教育公務員の研修の違い及び、教師の資質向上策について考えをまとめる
復習時間：30分

第7回　教師と教育法規（服務、身分保障を中心に）(授業形式：講義)

予習内容：教師に与えられた権利と、教師が守らなければならない義務を考える
予習時間：30分
復習内容：地方公務員としての教師と教育公務員としての教師の服務についてまとめる。
復習時間：30分

第8回　教師の職務①（学校の組織と学校運営）(授業形式：講義)

予習内容：学校の組織について調べてまとめる
予習時間：30分
復習内容：教師の職階とその内容についてまとめる。
復習時間：30分

第9回　教師の職務②（教育課程編成・学習指導）(授業形式：講義)

予習内容：生徒体験において感じた教師と教科内容の関係についてまとめる。
予習時間：30分
復習内容：教師と教育内容との関係を考えまとめる。

復習時間：30分

第10回　教師の職務③（教育相談および学級経営）(授業形式：講義)

予習内容：教師は学級経営に学校教育相談を活かすべきか考える。
予習時間：30分
復習内容：学級経営と教職員法制の関係をまとめる。
復習時間：30分

第11回　教師と保護者・地域社会との連携(授業形式：講義)

予習内容：地域・保護者と教師の関係を実生活から考える。
予習時間：30分
復習内容：PTAの制度、地域と学校の連携の実態等をまとめる。
復習時間：30分

第12回　チーム学校と教師の職務(授業形式：講義)

予習内容：チーム学校とは何かを調べる。
予習時間：30分
復習内容：チーム学校が期待する学校と社会の在り方をまとめる。
復習時間：30分

第13回　教師をめぐる問題（学級崩壊）(授業形式：講義)

予習内容：学校現場における学級崩壊の現状を調べる。
予習時間：30分
復習内容：学級崩壊の社会的原因とその対策を考えまとめる。
復習時間：30分

第14回　教師をめぐる問題（バーンアウト）(授業形式：講義)

予習内容：教師のバーンアウトの現状を調べる。
予習時間：30分
復習内容：教師のバーンアウトの現状と課題、予防する対策を考えまとめる。
復習時間：30分

第15回　21世紀の教師をめぐる教育改革(授業形式：講義)

予習内容：21世紀の教師をめぐる教育改革をまとめる。
予習時間：30分
復習内容：21世紀の教師をめぐる制度の在り方を考えまとめる。
復習時間：30分

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 ：	**情報通信技術の活用**						
英文名 ：	Education Utilizing ICT: Theory and Its Method						
担当者 ：	向田　識弘						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	集中	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	教職科目						
備　考 ：							

■授業概要

本科目では、学習領域や生徒の特性に応じた教育方法・技術を理解し、これを授業の設計、実施、評価、改善に役立てる指導力を身につけることを目的とする。教員に求められる教育方法・技術に関する知識、技能は多様化してきている本科目では、アクティブ・ラーニングの視点に基づく「主体的・対話的で深い学び」の実現、学習の基盤となる言語能力や情報活用能力を踏まえた「見方・考え方」の育成、ICTを手段として活用する力の育成等に関する課題に対応し、学習の改善・充実を図る教育方法及び技術の理論と実際を学ぶ。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

1. 子どもに育むべき資質・能力を理解し、教育方法を工夫する意義を説明できる
2. 学習者を支援する基本的な指導技術を習得することができる
3. 情報通信技術を活用する意義や理論を理解し、学習指導や校務に位置付けて説明できる
4. 情報活用能力を育成する意義および育成方法を身につける

■成績評価方法および基準

授業後の課題レポート 70%
授業内で実施する小課題およびリフレクションシート 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

GoogleClassroom等のLMSを活用してルーブリックに基づく採点および必要に応じてコメントを付してフィードバックを行う。

■教科書

特になし

■参考文献

[ISBN]9784762830600 『教育の方法と技術:主体的・対話的で深い学びをつくるインストラクショナルデザイン』 (稲垣 忠, 北大路書房：2019)
免許取得予定校種・教科の学習指導要領および学習指導要領解説

■関連科目

教育課程論

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・norihiro.mukaida@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　これからの子供たちに育みたい資質・能力と授業力（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：これからの時代に必要な学力とは何か，ICTによって教育はどのように変化すべきなのか
予習時間：90分
復習内容：プロジェクト学習について調べまとめる
復習時間：60分
オリエンテーション，学力とは，学び続ける教師，プロジェクト学習調べ

第2回　インストラクショナルデザインとユニバーサル化を実現する情報通信技術（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：学習者中心の教育（特に協働的な学びと個別最適な学び）を追究するICTの活用方法とは
予習時間：90分
復習内容：教育のユニバーサル化に向けたICTの活用方法について調べまとめる
復習時間：60分
授業の基本形，学習者中心の教育への転換，教育のユニバーサル化とICT

第3回　授業を支える指導技術（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：黒板と大型提示装置をどのように使い分けるか，ＩＣＴをどこから授業に取り入れるべきか
予習時間：90分
復習内容：学習指導におけるＩＣＴの活用事例について調べまとめる
復習時間：60分
発問・指示・説明の違い，板書とICT機器の使い分け，ICTの活用段階

第4回　主体的・対話的な学習を導く情報通信技術の活用（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：主体的な学習，対話的な学習とはどのような学習であるか
予習時間：90分
復習内容：授業の導入場面における内発的動機づけを意識した学習活動や指導を考える
復習時間：60分
対話的・主体的な学習活動とICT，外発的動機づけと内発的動機づけの違い

第5回　情報通信技術を活用した学習指導とオンライン学習管理システム（LMS）の活用（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：LMSにはどのようなメリット・デメリットがあるか，学習過程ごとにICTをどのように使い分けるか
予習時間：90分
復習内容：授業者および学習者がICTを活用した授業を構想する
復習時間：60分
導入・展開・まとめにおけるICTの活用方法，個別最適な学びを支援するLMSの活用

第6回　これからの情報社会に必要な情報活用能力（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：自分事してネット社会におけるルールやマナーを学習するためにどのような指導が必要であるか
予習時間：90分
復習内容：情報モラルに関する動画教材を一つ選び，指導計画を立てる
復習時間：60分
情報モラル・デジタルシティズンシップ教育，情報活用能力の育成，教員のＩＣＴ活用指導力

第7回　教育データの活用とセキュリティの重要性，校務における情報通信技術の活用（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：児童・生徒の自由記述をどのように評価すべきか，人工知能を活用した教育活動とは
予習時間：90分
復習内容：学校における業務負担の軽減と情報通信技術との関係性をまとめる
復習時間：60分
自然言語処理の活用，個別最適な学びに向けた人工知能の活用，学校における情報セキュリティ

第8回　授業づくりと授業改善（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：授業づくりのための学習目標やデジタル教材の選定などをあらかじめ行っておくこと
予習時間：90分
復習内容：作成した学習指導案の共有結果をもとに改善点をまとめること
復習時間：60分
これまでの授業をまとめ，学習指導案ならびに教材を作成する

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**生徒指導論（進路指導を含む。）**						
英文名　：	Guidance						
担当者　：	松本　圭朗						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	教職科目						
備　考　：							

■授業概要

生徒指導・進路指導は、中学校／高等学校において重要な役割を果たすものである。この役割を果たしていくために、教師（学生）自身の力量形成だけではなく、他機関との連携、あるいは幅広い知見を踏まえた指導が必要となる。そこで、生徒指導・進路指導の基礎理論・意義・論点について概説し、要点を押さえる。そのうえで、多様化・複雑化している生徒の課題への理解を深めるために、第7-14回の講義では、学生によるプレゼンテーションとディスカッション、およびテーマに関する解説をおこなう。なお、講義全体を通して、生徒指導・進路指導の前提となる生徒との信頼関係の構築に係る手法についても概説し、その習得を目指す。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

① 『生徒指導提要』の概要を理解し、その要点を説明できる。
② 生徒指導・進路指導の意義・理論・歴史に関する基礎的知識を習得し、その要点を説明できる。
③ 学校教育課程全体における生徒指導・進路指導の位置づけを説明できる。
④ 学校教育に関する現代的諸課題を生徒指導・進路指導の視座から捉え、具体的な場面を想定した事例検討ができる。
⑤ 生徒指導・進路指導の教育方法および、エンカウンター・アイスブレイクなどの手法を理解し、習得する。

■成績評価方法および基準

語句テスト 30%
ミニッツペーパー・小レポート 20%
プレゼンテーション（および係る提出物） 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

・語句テスト・ミニッツペーパー・小レポートは採点あるいは解説をおこなう。
・プレゼンテーションは、発表後に講評をおこなう。

■教科書

[ISBN]9784623081943 『生徒指導・進路指導 (新しい教職教育講座 教職教育編 11)』 (原 清治, ミネルヴァ書房：2019)

■参考文献

【留意事項】『生徒指導提要』が2022年12月に改訂された。講義では文部科学省にアップロードされているデジタル版を参照する。冊子が販売された際には、改めて講義内で紹介するとともに、購入を推奨する。

■関連科目

教職科目全般

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

松本研究室（２号館５階）　yoshiro.matsumoto@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

水曜４限
事前にメールでアポイントメントを取って下さい。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

・配布資料を綴るファイルを用意しておくことが望ましい。
・グループワーク（簡単なもの）・ディスカッション等は、内容詳細には記述していない場合も、ほとんどの回で実施する予定である。
・本講義では、エンカウンターやアイスブレイクを練習し、実際におこなってもらう。
・なお、本講義のテーマによっては心理的に負担となるものもある。その場合は、予め相談をし、対応する。

第1回　【生徒指導の前提となる子ども観】（授業形式：講義）

予習内容：自身の生徒指導・進路指導の体験を振り返っておく。
予習時間：60分
復習内容：講義内で指示した生徒指導・進路指導に関する基本語句を覚える。
復習時間：60分
生徒指導・進路指導論の講義を進めるにあたって、自身の生徒指導・進路指導の体験を踏まえながら、それらがどのようなものなのか議論する。そのうえで、生徒指導・進路指導の前提となる子ども観について概説する。

第2回　【生徒指導の歴史】（授業形式：講義）

予習内容：教科書第1章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：講義内で指示した生徒指導・進路指導に関する基本語句を覚える。
復習時間：60分
生徒指導の歴史について概説する。なかでも、教師が歴史の中で蓄積してきた生活指導という概念を取り上げ、生徒指導との異同を考える。

第3回　【生徒指導に係る基礎理論】（授業形式：講義）

予習内容：教科書第6章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：講義内で指示した生徒指導・進路指導に関する基本語句を覚える。
復習時間：60分
生徒指導において求められる「毅然とした指導（ゼロトレランス）」について概説する。そのうえで、子どもの権利条約とダブルバインドに係る理論を概説し、学びを深める。

第4回　【進路指導・キャリア教育に係る基礎理論】（授業形式：講義）

予習内容：教科書第7・8章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：講義内で指示した生徒指導・進路指導に関する基本語句を覚える。
復習時間：60分
進路指導・キャリア教育に係る歴史・意義について概説する。とくに進路指導とキャリア教育の異同について整理し、どのような指導が求められているか理解を深める。また、その危険性についての理解も深める。

第5回　【生徒指導と教育課程】（授業形式：講義）

予習内容：教科書第3章3節を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：講義内で指示した生徒指導・進路指導に関する基本語句を覚える。
復習時間：60分
各学校階梯（発達段階）において求められる生徒指導のあり方について概説するとともに、生徒指導の機能を組み込んだ教育課程編成について考える。

第6回　【チーム学校における生徒指導体制】（授業形式：講義）

予習内容：教科書第5章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：講義内で指示した生徒指導・進路指導に関する基本語句を覚える。
復習時間：60分
チームとして生徒指導に取り組む意義・方法について概説する。このチームには、狭義の意味での教職員だけではなくスクールカウンセラーや専門機関の職員なども含まれる。こうした幅広い専門職集団として生徒に向き合う意義について考えていく。

第7回　【いじめ／暴力行為】（授業形式：講義）

予習内容：プレゼンテーションの準備をおこなう。あるいは、教科書第9章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：プレゼンテーションの振り返り（感想・質問等）をまとめる。
復習時間：60分
前半では学生によるテーマに関するプレゼンテーションおよび論点の提示をおこなったうえで、論点についてのディスカッションをおこなう。後半では、テーマについて概説し、理解を深める。なお、併せてプレゼンテーションの講評もおこなう。

第8回 【少年非行】（授業形式：講義）

予習内容：プレゼンテーションの準備をおこなう。あるいは、『生徒指導提要』第6章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：プレゼンテーションの振り返り（感想・質問等）をまとめる。
復習時間：60分
前半では学生によるテーマに関するプレゼンテーションおよび論点の提示をおこなったうえで、論点についてのディスカッションをおこなう。後半では、テーマについて概説し、理解を深める。なお、併せてプレゼンテーションの講評もおこなう。

第9回 【児童（／生徒）虐待】（授業形式：講義）

予習内容：プレゼンテーションの準備をおこなう。あるいは、『生徒指導提要』第7章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：プレゼンテーションの振り返り（感想・質問等）をまとめる。
復習時間：60分
前半では学生によるテーマに関するプレゼンテーションおよび論点の提示をおこなったうえで、論点についてのディスカッションをおこなう。後半では、テーマについて概説し、理解を深める。なお、併せてプレゼンテーションの講評もおこなう。

第10回 【自殺】（授業形式：講義）

予習内容：プレゼンテーションの準備をおこなう。あるいは、『生徒指導提要』第8章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：プレゼンテーションの振り返り（感想・質問等）をまとめる。
復習時間：60分
前半では学生によるテーマに関するプレゼンテーションおよび論点の提示をおこなったうえで、論点についてのディスカッションをおこなう。後半では、テーマについて概説し、理解を深める。なお、併せてプレゼンテーションの講評もおこなう。

第11回 【中途退学／不登校】（授業形式：講義）

予習内容：プレゼンテーションの準備をおこなう。あるいは、教科書第10章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：プレゼンテーションの振り返り（感想・質問等）をまとめる。
復習時間：60分
前半では学生によるテーマに関するプレゼンテーションおよび論点の提示をおこなったうえで、論点についてのディスカッションをおこなう。後半では、テーマについて概説し、理解を深める。なお、併せてプレゼンテーションの講評もおこなう。

第12回 【インターネット・携帯電話に関わる問題】（授業形式：講義）

予習内容：プレゼンテーションの準備をおこなう。あるいは、教科書第13章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：プレゼンテーションの振り返り（感想・質問等）をまとめる。
復習時間：60分
前半では学生によるテーマに関するプレゼンテーションおよび論点の提示をおこなったうえで、論点についてのディスカッションをおこなう。後半では、テーマについて概説し、理解を深める。なお、併せてプレゼンテーションの講評もおこなう。

第13回 【性に関する課題】（授業形式：講義）

予習内容：プレゼンテーションの準備をおこなう。あるいは、『生徒指導提要』第12章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：プレゼンテーションの振り返り（感想・質問等）をまとめる。
復習時間：60分
前半では学生によるテーマに関するプレゼンテーションおよび論点の提示をおこなったうえで、論点についてのディスカッションをおこなう。後半では、テーマについて概説し、理解を深める。なお、併せてプレゼンテーションの講評もおこなう。

第14回 【多様な背景を持つ児童生徒への生徒指導】（授業形式：講義）

予習内容：プレゼンテーションの準備をおこなう。あるいは、教科書第11，12章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分

復習内容：プレゼンテーションの振り返り（感想・質問等）をまとめる。
復習時間：60分
前半では学生によるテーマに関するプレゼンテーションおよび論点の提示をおこなったうえで、論点についてのディスカッションをおこなう。後半では、テーマについて概説し、理解を深める。なお、併せてプレゼンテーションの講評もおこなう。

第15回　【まとめ】（授業形式：講義）

予習内容：配布資料を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：講義全体を振り返り、学んだことを跡づけなおす。
復習時間：60分
生徒指導・進路指導に関する議論をとりあげ、その論点を解説する。なお、本時では、語句テストおよびその解説もおこなう。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**生徒指導論（進路指導を含む。）**						
英文名　：	Guidance						
担当者　：	松本　圭朗						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	教職科目						
備　考　：							

■授業概要

生徒指導・進路指導は、中学校／高等学校において重要な役割を果たすものである。この役割を果たしていくために、教師（学生）自身の力量形成だけではなく、他機関との連携、あるいは幅広い知見を踏まえた指導が必要となる。そこで、生徒指導・進路指導の基礎理論・意義・論点について概説し、要点を押さえる。そのうえで、多様化・複雑化している生徒の課題への理解を深めるために、第7-14回の講義では、学生によるプレゼンテーションとディスカッション、およびテーマに関する解説をおこなう。なお、講義全体を通して、生徒指導・進路指導の前提となる生徒との信頼関係の構築に係る手法についても概説し、その習得を目指す。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

① 『生徒指導提要』の概要を理解し、その要点を説明できる。
② 生徒指導・進路指導の意義・理論・歴史に関する基礎的知識を習得し、その要点を説明できる。
③ 学校教育課程全体における生徒指導・進路指導の位置づけを説明できる。
④ 学校教育に関する現代的諸課題を生徒指導・進路指導の視座から捉え、具体的な場面を想定した事例検討ができる。
⑤ 生徒指導・進路指導の教育方法および、エンカウンター・アイスブレイクなどの手法を理解し、習得する。

■成績評価方法および基準

語句テスト 30%
ミニッツペーパー・小レポート 20%
プレゼンテーション（および係る提出物） 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

・語句テスト・ミニッツペーパー・小レポートは採点あるいは解説をおこなう。
・プレゼンテーションは、発表後に講評をおこなう。

■教科書

[ISBN]9784623081943 『生徒指導・進路指導 (新しい教職教育講座 教職教育編 11)』 (原 清治, ミネルヴァ書房：2019)

■参考文献

【留意事項】『生徒指導提要』が2022年12月に改訂された。講義では文部科学省にアップロードされているデジタル版を参照する。冊子が販売された際には、改めて講義内で紹介するとともに、購入を推奨する。

■関連科目

教職科目全般

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

松本研究室（２号館５階）　yoshiro.matsumoto@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

水曜４限
事前にメールでアポイントメントを取って下さい。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

・配布資料を綴るファイルを用意しておくことが望ましい。
・グループワーク（簡単なもの）・ディスカッション等は、内容詳細には記述していない場合も、ほとんどの回で実施する予定である。
・本講義では、エンカウンターやアイスブレイクを練習し、実際におこなってもらう。
・なお、本講義のテーマによっては心理的に負担となるものもある。その場合は、予め相談をし、対応する。

第1回　【生徒指導の前提となる子ども観】（授業形式：講義）

予習内容：自身の生徒指導・進路指導の体験を振り返っておく。
予習時間：60分
復習内容：講義内で指示した生徒指導・進路指導に関する基本語句を覚える。
復習時間：60分
生徒指導・進路指導論の講義を進めるにあたって、自身の生徒指導・進路指導の体験を踏まえながら、それらがどのようなものなのか議論する。そのうえで、生徒指導・進路指導の前提となる子ども観について概説する。

第2回　【生徒指導の歴史】（授業形式：講義）

予習内容：教科書第1章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：講義内で指示した生徒指導・進路指導に関する基本語句を覚える。
復習時間：60分
生徒指導の歴史について概説する。なかでも、教師が歴史の中で蓄積してきた生活指導という概念を取り上げ、生徒指導との異同を考える。

第3回　【生徒指導に係る基礎理論】（授業形式：講義）

予習内容：教科書第6章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：講義内で指示した生徒指導・進路指導に関する基本語句を覚える。
復習時間：60分
生徒指導において求められる「毅然とした指導（ゼロトレランス）」について概説する。そのうえで、子どもの権利条約とダブルバインドに係る理論を概説し、学びを深める。

第4回　【進路指導・キャリア教育に係る基礎理論】（授業形式：講義）

予習内容：教科書第7・8章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：講義内で指示した生徒指導・進路指導に関する基本語句を覚える。
復習時間：60分
進路指導・キャリア教育に係る歴史・意義について概説する。とくに進路指導とキャリア教育の異同について整理し、どのような指導が求められているか理解を深める。また、その危険性についての理解も深める。

第5回　【生徒指導と教育課程】（授業形式：講義）

予習内容：教科書第3章3節を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：講義内で指示した生徒指導・進路指導に関する基本語句を覚える。
復習時間：60分
各学校階梯（発達段階）において求められる生徒指導のあり方について概説するとともに、生徒指導の機能を組み込んだ教育課程編成について考える。

第6回　【チーム学校における生徒指導体制】（授業形式：講義）

予習内容：教科書第5章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：講義内で指示した生徒指導・進路指導に関する基本語句を覚える。
復習時間：60分
チームとして生徒指導に取り組む意義・方法について概説する。このチームには、狭義の意味での教職員だけではなくスクールカウンセラーや専門機関の職員なども含まれる。こうした幅広い専門職集団として生徒に向き合う意義について考えていく。

第7回　【いじめ／暴力行為】（授業形式：講義）

予習内容：プレゼンテーションの準備をおこなう。あるいは、教科書第9章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：プレゼンテーションの振り返り（感想・質問等）をまとめる。
復習時間：60分
前半では学生によるテーマに関するプレゼンテーションおよび論点の提示をおこなったうえで、論点についてのディスカッションをおこなう。後半では、テーマについて概説し、理解を深める。なお、併せてプレゼンテーションの講評もおこなう。

第8回 【少年非行】（授業形式：講義）

予習内容：プレゼンテーションの準備をおこなう。あるいは、『生徒指導提要』第6章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：プレゼンテーションの振り返り（感想・質問等）をまとめる。
復習時間：60分
前半では学生によるテーマに関するプレゼンテーションおよび論点の提示をおこなったうえで、論点についてのディスカッションをおこなう。後半では、テーマについて概説し、理解を深める。なお、併せてプレゼンテーションの講評もおこなう。

第9回 【児童（／生徒）虐待】（授業形式：講義）

予習内容：プレゼンテーションの準備をおこなう。あるいは、『生徒指導提要』第7章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：プレゼンテーションの振り返り（感想・質問等）をまとめる。
復習時間：60分
前半では学生によるテーマに関するプレゼンテーションおよび論点の提示をおこなったうえで、論点についてのディスカッションをおこなう。後半では、テーマについて概説し、理解を深める。なお、併せてプレゼンテーションの講評もおこなう。

第10回 【自殺】（授業形式：講義）

予習内容：プレゼンテーションの準備をおこなう。あるいは、『生徒指導提要』第8章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：プレゼンテーションの振り返り（感想・質問等）をまとめる。
復習時間：60分
前半では学生によるテーマに関するプレゼンテーションおよび論点の提示をおこなったうえで、論点についてのディスカッションをおこなう。後半では、テーマについて概説し、理解を深める。なお、併せてプレゼンテーションの講評もおこなう。

第11回 【中途退学／不登校】（授業形式：講義）

予習内容：プレゼンテーションの準備をおこなう。あるいは、教科書第10章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：プレゼンテーションの振り返り（感想・質問等）をまとめる。
復習時間：60分
前半では学生によるテーマに関するプレゼンテーションおよび論点の提示をおこなったうえで、論点についてのディスカッションをおこなう。後半では、テーマについて概説し、理解を深める。なお、併せてプレゼンテーションの講評もおこなう。

第12回 【インターネット・携帯電話に関わる問題】（授業形式：講義）

予習内容：プレゼンテーションの準備をおこなう。あるいは、教科書第13章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：プレゼンテーションの振り返り（感想・質問等）をまとめる。
復習時間：60分
前半では学生によるテーマに関するプレゼンテーションおよび論点の提示をおこなったうえで、論点についてのディスカッションをおこなう。後半では、テーマについて概説し、理解を深める。なお、併せてプレゼンテーションの講評もおこなう。

第13回 【性に関する課題】（授業形式：講義）

予習内容：プレゼンテーションの準備をおこなう。あるいは、『生徒指導提要』第12章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：プレゼンテーションの振り返り（感想・質問等）をまとめる。
復習時間：60分
前半では学生によるテーマに関するプレゼンテーションおよび論点の提示をおこなったうえで、論点についてのディスカッションをおこなう。後半では、テーマについて概説し、理解を深める。なお、併せてプレゼンテーションの講評もおこなう。

第14回 【多様な背景を持つ児童生徒への生徒指導】（授業形式：講義）

予習内容：プレゼンテーションの準備をおこなう。あるいは、教科書第11，12章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分

復習内容：プレゼンテーションの振り返り（感想・質問等）をまとめる。
復習時間：60分
前半では学生によるテーマに関するプレゼンテーションおよび論点の提示をおこなったうえで、論点についてのディスカッションをおこなう。後半では、テーマについて概説し、理解を深める。なお、併せてプレゼンテーションの講評もおこなう。

第15回　【まとめ】（授業形式：講義）

予習内容：配布資料を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：講義全体を振り返り、学んだことを跡づけなおす。
復習時間：60分
生徒指導・進路指導に関する議論をとりあげ、その論点を解説する。なお、本時では、語句テストおよびその解説もおこなう。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**道徳教育論**						
英文名　：	The Study of Moral Education						
担当者　：	松本　圭朗						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	必修科目，選択科目
科目区分：	教職科目						
備　考　：	中学校教諭免許状には「必修科目」であり、高等学校教諭免許状には「選択科目」です。						

■授業概要

学校教育の目的の1つは人格形成であり、道徳教育には一定の意義がある。しかし一方で、人間の心に係る「道徳（心／性）」を学校で扱うことには危険も伴う。したがって、教師が学校という場で道徳教育をおこなうことに係る歴史・意義・課題の把握を第1におこなう。そのうえで、現在の教育において求められている道徳教育のあり方を理解し、その具体的な教育方法を身につける。したがって本講義は、前半（第6回まで）では基礎的な理論を中心に、後半（第7回以降）では具体的な授業の立案・実施を中心におこなう。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

① 道徳教育に係る学習指導要領や答申等の概要を理解し、その要点を説明できる。
② 道徳教育の意義・歴史等に関する基礎的知識を習得し、その要点を説明できる。
③ 学校教全体をとおした道徳教育と、「特別の教科　道徳」との相違点や固有の意義について理解し、その要点を説明できる。
④ 学校教育に関する現代的諸課題を道徳教育の視座から捉え、考えることができる。
⑤ 道徳教育に係る教育方法を理解し、それらを用いた学習指導案を例示できる。

■成績評価方法および基準

語句テスト 30%
ミニッツペーパー・小レポート 20%
模擬授業（および係る提出物） 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

・語句テスト・ミニッツペーパー・小レポートは採点あるいは解説をおこなう。
・模擬授業は、発表後に講評をおこなう。

■教科書

[ISBN]9784623086009 『道徳教育の理論と実践 (アクティベート教育学 9)』 (汐見稔幸, ミネルヴァ書房：2020)
[ISBN]9784316300849 『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別の教科道徳編』 (文部科学省, 教育出版：2018)

■参考文献

■関連科目

教職科目全般

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

松本研究室（２号館５階）　yoshiro.matsumoto@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

水曜４限
事前にメールでアポイントメントを取って下さい。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

・配布資料を綴るファイルを用意しておくことが望ましい。
・グループワーク（簡単なもの）・ディスカッション等は、内容詳細には記述していない場合も、ほとんどの回で実施する予定である。

第1回　【オリエンテーション】（授業形式：講義）

予習内容：教科書序章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：講義内で指示した道徳教育に関する基本語句を覚える。
復習時間：60分
道徳教育論の講義を進めるにあたって、自身の道徳教育体験を踏まえながら、道徳教育とはどのようなものなのか議論する。

第2回　【道徳教育の歴史】（授業形式：講義）

予習内容：教科書第1章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：講義内で指示した道徳教育に関する基本語句を覚える。
復習時間：60分
道徳教育をめぐっては、さまざまな試みあるいは議論がなされてきた。その歴史を整理し、概説する。それらを踏まえて、現在の道徳教育に求められていることと危惧されていることを考える。

第3回　【学習指導要領における道徳教育】（授業形式：講義）

予習内容：教科書第2章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：講義内で指示した道徳教育に関する基本語句を覚える。
復習時間：60分
道徳教育を進める際に参照することになる学習指導要領を検討する。とくに「特別の教科　道徳」の目標および内容と、具体的な教材を例としながら対応関係を考える。

第4回　【学校の教育活動全体を通じた道徳教育の展開】（授業形式：講義）

予習内容：教科書第12章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：講義内で指示した道徳教育に関する基本語句を覚える。
復習時間：60分
学校教育を道徳教育という視座から概説する。そのうえで、学校教育を通じた道徳教育と「特別の教科　道徳」との異同について考える。

第5回　【道徳授業と学級経営】（授業形式：講義）

予習内容：教科書第11章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：講義内で提示した手法について調べ、実際にできるように練習ないしは準備をおこなう（第7回あるいは8回で実際におこなってもらう）。
復習時間：60分
「特別の教科　道徳」を進めるうえで単位となる学級に着目し、どのような学級経営をおこなうことが道徳教育に繋がるのか概説する。また、道徳教育に係る学級経営に有効や教育方法の理解も深める。

第6回　【いじめ問題と道徳教育】（授業形式：講義）

予習内容：教科書第15章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：第5回の講義内で提示した手法について調べ、実際にできるように練習ないしは準備をおこなう（第7回あるいは8回で実際におこなってもらう）。
復習時間：60分
道徳教育に関わって話題となる「いじめ」について概説するとともに、「いじめ」と道徳教育の関係を考える。そのうえで、道徳教育の意義と限界についての理解を深める。

第7回　【道徳教育の方法①】（授業形式：講義）

予習内容：教科書第8章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：本時で概説した教育方法から1つ選び、その方法を用いた授業を簡単に考える。

復習時間：60分
道徳の授業に係る教育方法について概説する。本時では、問題解決型の道徳、モラルジレンマ、読み物資料の活用の3つの方法を概説する。そして、それらの教育方法の特徴・限界について考える。

第8回　【道徳教育の方法②】（授業形式：講義）

予習内容：教科書第9章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：本時で概説した教育方法から1つ選び、その方法を用いた授業を簡単に考える。
復習時間：60分
前回に引き続き、道徳の授業に係る教育方法について概説する。本時では、参加体験型の人権教育、役割演技の意義と活用法の2つの方法を概説する。そして、それらの教育方法の特徴・限界について考える。

第9回　【道徳授業の評価】（授業形式：講義）

予習内容：『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　特別の教科道徳編』の第5章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：講義内で指示した道徳教育に関する基本語句を覚える。
復習時間：60分
いわゆる学力の評価とは異なる子どもの「道徳（心／性）」を評価することについて概説する。「道徳（心／性）」評価の方法・意義・課題の理解を深め、その論点について考える。

第10回　【道徳の学習指導案の作成】（授業形式：講義）

予習内容：教科書第6章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：模擬授業で使用したいと考える教材案を2つ考えて、用意する。
復習時間：60分
これまでの講義で学んだことを踏まえて、模擬授業に向けた学習指導案の立案に取りかかる。講義では、学習指導案を例示し、作成の要点・注意点について解説する。

第11回　【道徳の教材研究】（授業形式：講義）

予習内容：教科書第7章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：1つの教材を選んで教材研究を深める。
復習時間：60分
道徳における教材研究の方法を実際の事例をもとに概説する。そのうえで、各自が用意した教材を対象とした教材研究を実施する。なお、その過程で教材研究に対するコメントの機会（グループワーク）を設ける。

第12回　【道徳の学習指導案の作成の実際】（授業形式：講義）

予習内容：学習指導案のラフスケッチを作成する。
予習時間：60分
復習内容：学習指導案を作成する。
復習時間：60分
1時間の道徳学習指導案の作成にとりかかる。講義では、板書計画や視覚教材等を例示し、その要点・注意点について解説する。なお、その過程で学習指導案対するコメントの機会（グループワーク）を設ける。

第13回　【模擬授業①】（授業形式：講義）

予習内容：学習指導案を作成する。
予習時間：60分
復習内容：模擬授業の振り返り（感想・質問等）をまとめる。
復習時間：60分
実際に模擬授業をおこない、その意見交換をおこなう。また、模擬授業に対する講評をおこなう。

第14回　【模擬授業②】（授業形式：講義）

予習内容：学習指導案を作成する。
予習時間：60分
復習内容：模擬授業の振り返り（感想・質問等）をまとめる。
復習時間：60分
実際に模擬授業をおこない、その意見交換をおこなう。また、模擬授業に対する講評をおこなう。

第15回　【まとめ】（授業形式：講義）

予習内容：配布資料を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：講義全体を振り返り、学んだことを跡づけなおす。

復習時間：60分
道徳教育に関する議論をとりあげ、その論点を解説する。なお、本時では、語句テストおよびその解説もおこなう。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**道徳教育論**						
英文名　：	The Study of Moral Education						
担当者　：	松本　圭朗						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	必修科目，選択科目
科目区分：	教職科目						
備　考　：	中学校教諭免許状には「必修科目」であり、高等学校教諭免許状には「選択科目」です。						

■授業概要

学校教育の目的の1つは人格形成であり、道徳教育には一定の意義がある。しかし一方で、人間の心に係る「道徳（心／性）」を学校で扱うことには危険も伴う。したがって、教師が学校という場で道徳教育をおこなうことに係る歴史・意義・課題の把握を第1におこなう。そのうえで、現在の教育において求められている道徳教育のあり方を理解し、その具体的な教育方法を身につける。したがって本講義は、前半（第6回まで）では基礎的な理論を中心に、後半（第7回以降）では具体的な授業の立案・実施を中心におこなう。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

① 道徳教育に係る学習指導要領や答申等の概要を理解し、その要点を説明できる。
② 道徳教育の意義・歴史等に関する基礎的知識を習得し、その要点を説明できる。
③ 学校教全体をとおした道徳教育と、「特別の教科　道徳」との相違点や固有の意義について理解し、その要点を説明できる。
④ 学校教育に関する現代的諸課題を道徳教育の視座から捉え、考えることができる。
⑤ 道徳教育に係る教育方法を理解し、それらを用いた学習指導案を例示できる。

■成績評価方法および基準

語句テスト 30%
ミニッツペーパー・小レポート 20%
模擬授業（および係る提出物） 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

・語句テスト・ミニッツペーパー・小レポートは採点あるいは解説をおこなう。
・模擬授業は、発表後に講評をおこなう。

■教科書

[ISBN]9784623086009 『道徳教育の理論と実践 (アクティベート教育学 9)』 (汐見稔幸, ミネルヴァ書房：2020)
[ISBN]9784316300849 『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別の教科道徳編』 (文部科学省, 教育出版：2018)

■参考文献

■関連科目

教職科目全般

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

松本研究室（２号館５階）　yoshiro.matsumoto@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

水曜４限
事前にメールでアポイントメントを取って下さい。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

・配布資料を綴るファイルを用意しておくことが望ましい。
・グループワーク（簡単なもの）・ディスカッション等は、内容詳細には記述していない場合も、ほとんどの回で実施する予定である。

第1回　【オリエンテーション】（授業形式：講義）

予習内容：教科書序章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：講義内で指示した道徳教育に関する基本語句を覚える。
復習時間：60分
道徳教育論の講義を進めるにあたって、自身の道徳教育体験を踏まえながら、道徳教育とはどのようなものなのか議論する。

第2回　【道徳教育の歴史】（授業形式：講義）

予習内容：教科書第1章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：講義内で指示した道徳教育に関する基本語句を覚える。
復習時間：60分
道徳教育をめぐっては、さまざまな試みあるいは議論がなされてきた。その歴史を整理し、概説する。それらを踏まえて、現在の道徳教育に求められていることと危惧されていることを考える。

第3回　【学習指導要領における道徳教育】（授業形式：講義）

予習内容：教科書第2章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：講義内で指示した道徳教育に関する基本語句を覚える。
復習時間：60分
道徳教育を進める際に参照することになる学習指導要領を検討する。とくに「特別の教科　道徳」の目標および内容と、具体的な教材を例としながら対応関係を考える。

第4回　【学校の教育活動全体を通じた道徳教育の展開】（授業形式：講義）

予習内容：教科書第12章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：講義内で指示した道徳教育に関する基本語句を覚える。
復習時間：60分
学校教育を道徳教育という視座から概説する。そのうえで、学校教育を通じた道徳教育と「特別の教科　道徳」との異同について考える。

第5回　【道徳授業と学級経営】（授業形式：講義）

予習内容：教科書第11章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：講義内で提示した手法について調べ、実際にできるように練習ないしは準備をおこなう（第7回あるいは8回で実際におこなってもらう）。
復習時間：60分
「特別の教科　道徳」を進めるうえで単位となる学級に着目し、どのような学級経営をおこなうことが道徳教育に繋がるのか概説する。また、道徳教育に係る学級経営に有効や教育方法の理解も深める。

第6回　【いじめ問題と道徳教育】（授業形式：講義）

予習内容：教科書第15章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：第5回の講義内で提示した手法について調べ、実際にできるように練習ないしは準備をおこなう（第7回あるいは8回で実際におこなってもらう）。
復習時間：60分
道徳教育に関わって話題となる「いじめ」について概説するとともに、「いじめ」と道徳教育の関係を考える。そのうえで、道徳教育の意義と限界についての理解を深める。

第7回　【道徳教育の方法①】（授業形式：講義）

予習内容：教科書第8章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：本時で概説した教育方法から1つ選び、その方法を用いた授業を簡単に考える。

復習時間：60分
道徳の授業に係る教育方法について概説する。本時では、問題解決型の道徳、モラルジレンマ、読み物資料の活用の3つの方法を概説する。そして、それらの教育方法の特徴・限界について考える。

第8回　【道徳教育の方法②】（授業形式：講義）

予習内容：教科書第9章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：本時で概説した教育方法から1つ選び、その方法を用いた授業を簡単に考える。
復習時間：60分
前回に引き続き、道徳の授業に係る教育方法について概説する。本時では、参加体験型の人権教育、役割演技の意義と活用法の2つの方法を概説する。そして、それらの教育方法の特徴・限界について考える。

第9回　【道徳授業の評価】（授業形式：講義）

予習内容：『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　特別の教科道徳編』の第5章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：講義内で指示した道徳教育に関する基本語句を覚える。
復習時間：60分
いわゆる学力の評価とは異なる子どもの「道徳（心／性）」を評価することについて概説する。「道徳（心／性）」評価の方法・意義・課題の理解を深め、その論点について考える。

第10回　【道徳の学習指導案の作成】（授業形式：講義）

予習内容：教科書第6章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：模擬授業で使用したいと考える教材案を2つ考えて、用意する。
復習時間：60分
これまでの講義で学んだことを踏まえて、模擬授業に向けた学習指導案の立案に取りかかる。講義では、学習指導案を例示し、作成の要点・注意点について解説する。

第11回　【道徳の教材研究】（授業形式：講義）

予習内容：教科書第7章を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：1つの教材を選んで教材研究を深める。
復習時間：60分
道徳における教材研究の方法を実際の事例をもとに概説する。そのうえで、各自が用意した教材を対象とした教材研究を実施する。なお、その過程で教材研究に対するコメントの機会（グループワーク）を設ける。

第12回　【道徳の学習指導案の作成の実際】（授業形式：講義）

予習内容：学習指導案のラフスケッチを作成する。
予習時間：60分
復習内容：学習指導案を作成する。
復習時間：60分
1時間の道徳学習指導案の作成にとりかかる。講義では、板書計画や視覚教材等を例示し、その要点・注意点について解説する。なお、その過程で学習指導案対するコメントの機会（グループワーク）を設ける。

第13回　【模擬授業①】（授業形式：講義）

予習内容：学習指導案を作成する。
予習時間：60分
復習内容：模擬授業の振り返り（感想・質問等）をまとめる。
復習時間：60分
実際に模擬授業をおこない、その意見交換をおこなう。また、模擬授業に対する講評をおこなう。

第14回　【模擬授業②】（授業形式：講義）

予習内容：学習指導案を作成する。
予習時間：60分
復習内容：模擬授業の振り返り（感想・質問等）をまとめる。
復習時間：60分
実際に模擬授業をおこない、その意見交換をおこなう。また、模擬授業に対する講評をおこなう。

第15回　【まとめ】（授業形式：講義）

予習内容：配布資料を通読し、重要語句や疑問点などを整理する。
予習時間：60分
復習内容：講義全体を振り返り、学んだことを跡づけなおす。

復習時間：60分
道徳教育に関する議論をとりあげ、その論点を解説する。なお、本時では、語句テストおよびその解説もおこなう。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**特別活動論**						
英文名　：	The Theory of Extra-curricular Activities						
担当者　：	森本　芳生						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	教職科目						
備　考　：							

■授業概要

まず特別活動の概説を講義したのち、この領域で社会的に問題となっている事例を紹介する。その後１９９０年代中葉からの教育改革の中心的テーマの一つである「生きる力」の形成・教育にかかわって、「特別活動」領域および「総合的な学習の時間」で問題とされる事例を紹介する。さらに新学習指導要領で重視されている「主体的で対話的な深い学び」「キャリア教育・キャリアパスポート」と特別活動との関連を折に触れて言及する・これらを問題とする際、20～30分程度の映像資料を多用する予定である。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講生はこの授業を履修することによって、こんにちの社会状況のもとでの１）学習指導要領上、特別活動の目標及び内容、、2）教育課程上、特別活動の位置づけと教科教育との関連、3）学級活動、ホームルーム活動の特質と課題、４）生徒会活動、学校行事の特質と課題、５）特別活動における教師個々人の問題意識の重要さを理解することができる。

■成績評価方法および基準

定期試験（期末レポート） 40%
レポート（中間レポート） 40%
講義コメント 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

講義コメントは、次回講義冒頭で、その幾つかに論評を加えます。
レポート 中間レポート提出後、優れたレポート・改善の余地のあるレポートの具体を授業で解説します。

■教科書

【留意事項】使用しない。

■参考文献

[ISBN]9784773501377 『たのしい「生活指導」』 (「たのしい授業」編集委員会, 仮説社：1999)
[ISBN]9784623038336 『豚のPちゃんと32人の小学生―命の授業900日』 (黒田 恭史, ミネルヴァ書房：2003)
[ISBN]9784761911331 『部活動―その現状とこれからのあり方』 (西島 央, 学事出版：2006)
[ISBN]9784750323824 『働くことを学ぶ (若者の希望と社会)』 (明石書店：2006)
[ISBN]9784750330525 『「食育」批判序説―「朝ごはん」運動の虚妄をこえて、科学的食・生活教育へ』 (森本 芳生, 明石書店：2009)

■関連科目

教職課程諸科目

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・y-morimoto@iris.eonet.ne.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　ガイダンス（授業の概要・特別活動とは何か）（授業形式：講義）

予習内容：学校教育の全体像
予習時間：20分
復習内容：学校教育における特別活動の位置・役割
復習時間：30分

第2回　特別活動論概説（1）歴史的変遷（授業形式：講義）

予習内容：戦後学習指導要領の変遷
予習時間：30分
復習内容：学習指導要領改訂の諸要因と特別活動
復習時間：30分

第3回　特別活動論概説（2）教科教育との関連と差異（授業形式：講義）

予習内容：教科教育と教科外教育
予習時間：20分
復習内容：教科教育のなかの特別活動、教科外教育としての特別活動
復習時間：30分

第4回　特別活動に関する教育問題（1）入学式・卒業式（授業形式：講義）

予習内容：学校行事とは何か
予習時間：30分
復習内容：身体性を伴った学習の場と儀式的行事への関心
復習時間：30分

第5回　特別活動に関する教育問題（2）学級づくり（授業形式：講義）

予習内容：学級担任の仕事
予習時間：30分
復習内容：学級づくりのやりがいとは何か
復習時間：30分

第6回　「生きる力」とは何か、何故問題とされるのか。（授業形式：講義）

予習内容：「生きる力」論の登場について
予習時間：30分
復習内容：「生きる力」論の現在
復習時間：30分

第7回　子どもの食事情と生活リズム（授業形式：講義）

予習内容：戦後社会と家族関係の変化
予習時間：30分
復習内容：私的生活と学校教育の関係・特別活動の役割
復習時間：30分

第8回　学校給食の現状と課題（授業形式：講義）

予習内容：学校給食の歴史
予習時間：30分
復習内容：学校給食の現在とその問題点
復習時間：30分

第9回　「遠足」はいま（歩くこと・遊び環境の変遷）（授業形式：講義）

予習内容：後期戦後社会における子どもの生活-遊び環境変化
予習時間：30分
復習内容：「生きる力」論における健康問題
復習時間：40分

第10回　交通安全教育・防災教育・学校安全（授業形式：講義）

予習内容：学校安全とは何か

予習時間：30分
復習内容：交通安全教育・防災教育の今日的課題
復習時間：30分

第11回　文化祭（授業形式：講義）

予習内容：学校教育における文化祭（文化的行事）の変遷
予習時間：30分
復習内容：高校文化祭の可能性と課題
復習時間：30分

第12回　「総合的な学習の時間」との関連（１）（授業形式：講義）

予習内容：「総合的な学習の時間」創設経緯と現在
予習時間：20分
復習内容：「総合的な学習（探求）の時間」と特別活動との関連
復習時間：30分

第13回　「総合的な学習の時間」との関連（２）（授業形式：講義）

予習内容：「総合的な学習（探求）の時間」の源流となった実践例
予習時間：30分
復習内容：社学連携ー博学連携の実践例
復習時間：40分

第14回　特別活動の年間計画（授業形式：講義）

予習内容：「６・３・３」制、小中一貫・中高一貫教育
予習時間：30分
復習内容：特別活動の年間計画を規定する制度論的要因と課題
復習時間：40分

第15回　まとめ・補足（授業形式：講義）

予習内容：授業全体を振り返って
予習時間：30分
復習内容：特別活動の可能性と課題
復習時間：30分

定期試験　第15回授業を踏まえて各自の「まとめ」レポートを作成

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**特別活動論**						
英文名　：	The Theory of Extra-curricular Activities						
担当者　：	森本　芳生						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	教職科目						
備　考　：							

■授業概要

まず特別活動の概説を講義したのち、この領域で社会的に問題となっている事例を紹介する。その後１９９０年代中葉からの教育改革の中心的テーマの一つである「生きる力」の形成・教育にかかわって、「特別活動」領域および「総合的な学習の時間」で問題とされる事例を紹介する。さらに新学習指導要領で重視されている「主体的で対話的な深い学び」「キャリア教育・キャリアパスポート」と特別活動との関連を折に触れて言及する・これらを問題とする際、20～30分程度の映像資料を多用する予定である。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講生はこの授業を履修することによって、こんにちの社会状況のもとでの１）学習指導要領上、特別活動の目標及び内容、、2）教育課程上、特別活動の位置づけと教科教育との関連、3）学級活動、ホームルーム活動の特質と課題、４）生徒会活動、学校行事の特質と課題、５）特別活動における教師個々人の問題意識の重要さを理解することができる。

■成績評価方法および基準

定期試験（期末レポート） 40%
レポート（中間レポート） 40%
講義コメント 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

講義コメントは、次回講義冒頭で、その幾つかに論評を加えます。
レポート 中間レポート提出後、優れたレポート・改善の余地のあるレポートの具体を授業で解説します。

■教科書

【留意事項】使用しない。

■参考文献

[ISBN]9784773501377 『たのしい「生活指導」』 (「たのしい授業」編集委員会, 仮説社：1999)
[ISBN]9784623038336 『豚のPちゃんと32人の小学生―命の授業900日』 (黒田 恭史, ミネルヴァ書房：2003)
[ISBN]9784761911331 『部活動―その現状とこれからのあり方』 (西島 央, 学事出版：2006)
[ISBN]9784750323824 『働くことを学ぶ (若者の希望と社会)』 (明石書店：2006)
[ISBN]9784750330525 『「食育」批判序説―「朝ごはん」運動の虚妄をこえて、科学的食・生活教育へ』 (森本 芳生, 明石書店：2009)

■関連科目

教職課程諸科目

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・y-morimoto@iris.eonet.ne.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　ガイダンス（授業の概要・特別活動とは何か）（授業形式：講義）

予習内容：学校教育の全体像
予習時間：20分
復習内容：学校教育における特別活動の位置・役割
復習時間：30分

第2回　特別活動論概説（1）歴史的変遷（授業形式：講義）

予習内容：戦後学習指導要領の変遷
予習時間：30分
復習内容：学習指導要領改訂の諸要因と特別活動
復習時間：30分

第3回　特別活動論概説（2）教科教育との関連と差異（授業形式：講義）

予習内容：教科教育と教科外教育
予習時間：20分
復習内容：教科教育のなかの特別活動、教科外教育としての特別活動
復習時間：30分

第4回　特別活動に関する教育問題（1）入学式・卒業式（授業形式：講義）

予習内容：学校行事とは何か
予習時間：30分
復習内容：身体性を伴った学習の場と儀式的行事への関心
復習時間：30分

第5回　特別活動に関する教育問題（2）学級づくり（授業形式：講義）

予習内容：学級担任の仕事
予習時間：30分
復習内容：学級づくりのやりがいとは何か
復習時間：30分

第6回　「生きる力」とは何か、何故問題とされるのか。（授業形式：講義）

予習内容：「生きる力」論の登場について
予習時間：30分
復習内容：「生きる力」論の現在
復習時間：30分

第7回　子どもの食事情と生活リズム（授業形式：講義）

予習内容：戦後社会と家族関係の変化
予習時間：30分
復習内容：私的生活と学校教育の関係・特別活動の役割
復習時間：30分

第8回　学校給食の現状と課題（授業形式：講義）

予習内容：学校給食の歴史
予習時間：30分
復習内容：学校給食の現在とその問題点
復習時間：30分

第9回　「遠足」はいま（歩くこと・遊び環境の変遷）（授業形式：講義）

予習内容：後期戦後社会における子どもの生活-遊び環境変化
予習時間：30分
復習内容：「生きる力」論における健康問題
復習時間：40分

第10回　交通安全教育・防災教育・学校安全（授業形式：講義）

予習内容：学校安全とは何か

予習時間：30分
復習内容：交通安全教育・防災教育の今日的課題
復習時間：30分

第11回　文化祭（授業形式：講義）

予習内容：学校教育における文化祭（文化的行事）の変遷
予習時間：30分
復習内容：高校文化祭の可能性と課題
復習時間：30分

第12回　「総合的な学習の時間」との関連（１）（授業形式：講義）

予習内容：「総合的な学習の時間」創設経緯と現在
予習時間：20分
復習内容：「総合的な学習（探求）の時間」と特別活動との関連
復習時間：30分

第13回　「総合的な学習の時間」との関連（２）（授業形式：講義）

予習内容：「総合的な学習（探求）の時間」の源流となった実践例
予習時間：30分
復習内容：社学連携ー博学連携の実践例
復習時間：40分

第14回　特別活動の年間計画（授業形式：講義）

予習内容：「６・３・３」制、小中一貫・中高一貫教育
予習時間：30分
復習内容：特別活動の年間計画を規定する制度論的要因と課題
復習時間：40分

第15回　まとめ・補足（授業形式：講義）

予習内容：授業全体を振り返って
予習時間：30分
復習内容：特別活動の可能性と課題
復習時間：30分

定期試験　第15回授業を踏まえて各自の「まとめ」レポートを作成

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**特別支援教育論**						
英文名 ：	Special Needs Education						
担当者 ：	金丸　彰寿						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	1単位	開講年次：	3年次	開講期：	集中	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	教職科目						
備　考 ：							

■授業概要

本授業では、多様な人々を包摂する共生社会の創造に向けた特別支援教育の基本について学ぶ。具体的には、障害の階層性や環境との相互作用などの考え方を有する国際的な障害概念や、インクルーシブ教育に基づく特別支援教育の意義について概説する。それを踏まえて，特別支援教育の教育課程、通級による指導や自立活動、特別支援教育コーディネーターを中心とした連携、視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱や発達障害などの特性や支援方法の基礎的事項を講義する。加えて外国人児童や貧困問題などの特別な教育的ニーズのある子どもの支援の基礎的事項に言及する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

【到達目標】
(1) 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の理解について、①インクルーシブ教育システムを含めた特別支援教育に関する制度の理念や仕組みを理解している。②発達障害や軽度知的障害をはじめとする特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の心身の発達、心理的特性及び学習の過程を理解している。③視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱等を含む様々な障害のある幼児、児童及び生徒の学習上または生活上の困難について基礎的な知識を身に付けている。
(2) 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の教育課程及び支援の方法について、①発達障害や軽度知的障害をはじめとする特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する支援の方法について例示することができる。②「通級による指導」及び「自立活動」の教育課程上の位置付けと内容を理解している。③特別支援教育に関する教育課程の枠組みを踏まえて、個別の指導計画及び個別の教育支援計画を作成する意義と方法を理解している。④特別支援教育コーディネーター、関係機関や家庭と連携しながら支援体制を構築することの必要性を理解している。
(3) 障害はないが特別の教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の把握や支援について、①母国語や貧困の問題等により特別の教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難や組織的な対応の必要性を理解している。

【テーマ】
　障害、文化的差異や貧困など、多様な特別な教育的ニーズのある子どもの特性、発達や生活の様子等の実態及び、それらを踏まえた支援対応の基本的知識を学ぶ。

■成績評価方法および基準

毎回のミニレポート(10点×8回=70点) 70%
レポート(30点) 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

各回の授業で、ミニレポートで書かれた意見を紹介したり、質問や意見に応答する。レポートの内容や留意点については、事前に説明する。

■教科書

[ISBN]9784820807216 『改訂新版 障がいのある子の就学・進学ガイドブック: 複数の目で子どもを育み共に育ちあう教育へ』 (渡部 昭男, 日本標準 : 2022)

■参考文献

[ISBN]9784931363656 『糸賀一雄の最後の講義―愛と共感の教育』 (糸賀一雄, 中川書店(福岡) : 2009)

■関連科目

教育原理、教育行政学、教育課程論、生徒指導論、教育相談

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・akitoshi.kanamaru@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　国際的な障害概念とインクルーシブ教育に基づく特別支援教育への転換（授業形式：講義）

予習内容：テキスト等の予習（テキスト　プロローグ）
予習時間：60分
復習内容：配布資料及び学習事項等の復習／レポート作成
復習時間：120分
障害を個人と環境の相互作用のもとに生じる「困難」と捉えた国際生活機能分類（略称ICF／WHO総会2001年採択）の提示、障害者の諸権利と合理的配慮の保障を認めた障害者権利条約（国連総会2006年採択・2008年発効）の採択発効といった国際的動向を受けて、日本では2007年度より特別支援教育が実施されている。1878年京都盲唖院創設以降の百余年にわたる特殊教育の歩みとともに、21世紀に入って特別支援教育へ転換する経緯と背景を学ぶ。

第2回　特別支援教育の仕組みと家庭・地域・関係機関との連携（授業形式：講義）

予習内容：テキスト等の予習（第1章）
予習時間：60分
復習内容：配布資料及び学習事項等の復習／レポート作成
復習時間：120分
特別支援教育は障害のある子ども個々の教育的ニーズに応じて適切な指導及び必要な支援を行うものであり、就学前から高校教育段階にわたって通常の学級、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校といった連続性のある「多様な学びの場」を用意する中で提供されるものである。その際に一人一人について「個別の指導計画」及び「個別の支援計画」を策定して、ヨコの連携を築くとともに、タテの一貫性を図ることが目指されている。特別支援教育の仕組みと家庭・地域・関係機関との連携を学ぶ。

第3回　障害のある子どもの理解と支援①　視覚障害と聴覚障害を中心に（授業形式：講義）

予習内容：テキスト等の予習（第2章）
予習時間：60分
復習内容：配布資料及び学習事項等の復習／レポート作成
復習時間：120分
第３～５回は、障害のある子どもの理解と支援について学ぶ。その１回目は、視覚障害及び聴覚障害についてである。

第4回　障害のある子どもの理解と支援②　発達障害と知的障害（軽度知的障害も含む）を中心に（授業形式：講義）

予習内容：テキスト等の予習（第3章）
予習時間：60分
復習内容：配布資料及び学習事項等の復習／レポート作成
復習時間：120分
第３～５回は、障害のある子どもの理解と支援について学ぶ。その２回目は、発達障害及び知的障害についてである。

第5回　障害のある子どもの理解と支援③ 肢体不自由と病弱を中心に（授業形式：講義）

予習内容：テキスト等の予習（第4章）
予習時間：60分
復習内容：配布資料及び学習事項等の復習／レポート作成
復習時間：120分
第３～５回は、障害のある子どもの理解と支援について学ぶ。その３回目は、肢体不自由及び病弱についてである。

第6回　特別な教育的ニーズのある子どもの理解と支援　外国人児童生徒と貧困問題を中心に（授業形式：講義）

予習内容：テキスト等の予習（第4章）
予習時間：60分
復習内容：配布資料及び学習事項等の復習／レポート作成

復習時間：120分
特別支援教育は障害児に加えて、学習上又は生活上に困難のある子どもも支援の対象としている。今回は外国ルーツの子ども及び貧困問題を抱えた子どもの理解と支援について学ぶ。

第7回　特別支援教育の教育課程①　教育課程の構造と個別の教育支援計画及び個別の指導計画（授業形式：講義）

予習内容：テキスト等の予習（第5章）
予習時間：60分
復習内容：配布資料及び学習事項等の復習／レポート作成
復習時間：120分
第７～８回は、特別支援教育の教育課程について学ぶ。その１回目は、自立活動を含む特別支援学校学習指導要領の基本構造と、その下での「個別の指導計画」「個別の支援計画」の策定を扱う。

第8回　特別支援教育の教育課程②　通級による指導と自立活動を中心に／レポート提出（授業形式：講義）

予習内容：テキスト等の予習（エピローグ）
予習時間：60分
復習内容：配布資料及び学習事項等の復習／レポート作成
復習時間：120分
第７～８回は、特別支援教育の教育課程について学ぶ。その２回目は、通常学級に学びつつ通級によって専門的な支援を保障する通級指導及び自立活動を扱う。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**理科教育法Ⅰ**						
英文名　：	Methodology of Teaching Science Ⅰ						
担当者　：	金子　健治						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	教職科目						
備　考　：							

■授業概要

基礎的な理科の知識・理解、実験、観察の技能、科学的な思考を踏まえて、理科学習指導の理論を理解し、実践的指導力を身につける。そのために、まず学習指導要領をとおして、理科教育の目標、内容、方法等を概観し、全体構造を理解する。さらに学生同士で模擬授業を行いお互いに評価したり振り返りをしたりしながら、理科授業の目標設定、目標を達成するためのICTの活用を含む学習指導の方法や留意点、実験・観察の指導方法や安全への配慮、理科授業における情報機器の活用方法、評価手法、学習指導案の作成方法などの実践的指導力を身につける。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

PBL（課題解決学習）・ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

1）学習指導要領における理科の目標及び主な内容並びに全体構造を理解している。
2）個別の学習内容について指導上の留意点を理解している。
3）理科の学習評価の考え方を理解している。
4）理科の内容と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。
5）発展的な学習内容について探究し、学習指導への位置付けを考察することができる。

この科目の修得は、近畿大学のディプロマ・ポリシーにあるDP1（関心・意欲・態度）、DP2（思考・判断）、DP3（技能・表現）、DP4（知識・理解）を統合的に活用する能力を身につけ、卒業後も専門知識や経験を生かし、地域社会や学校教育において高い倫理観を持ってその発展に貢献できる能力が身につく。

■成績評価方法および基準

小テスト　授業中のミニレポート 50%
授業中の積極的発言・授業への貢献度 30%
最終回のまとめと振り返り 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

課題を出した翌回に口頭でコメントをする

■教科書

[ISBN]9784762506130 『中学校学習指導要領解説 理科編 平成29年7月―平成29年告示』 (文部科学省, 学校図書：2018)

■参考文献

[ISBN]9784407348736 『高等学校新学習指導要領解説 理科編 理数編』 (文部科学省, 実教出版：2019)

■関連科目

理科教育法特講Ⅰ, 理科教育法Ⅱ, 理科教育法特講Ⅱおよび他の教職課程教科・科目

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・kenji.kaneko@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　イントロダクション　理科教育の目標について考える（講義形式：講義、ディスカッション、グループワーク）

予習内容：学習指導要領の目標について書いてあるところを読んでくる。
予習時間：30分
復習内容：理科教育の目標について理解を深め、まとめ直す。（60分）
復習時間：60分
授業の内容・評価方法等の説明、理科教育の目標について学習指導要領を元に議論する。

第2回　中学校理科学習の目標と内容・構成（講義形式：講義、ディスカッション、グループワーク）

予習内容：中学校学習指導要領　理科編を読んで中学校理科の目標・内容・構成についてまとめる。
予習時間：30分
復習内容：中学校理科学習の目標と内容・構成について理解を深め、まとめなおす。
復習時間：60分
中学校学習指導要領　理科編を概観し、その目標、内容、構成等について議論する。

第3回　高等学校理科学習の目標と内容・構成（講義形式：講義、ディスカッション、グループワーク）

予習内容：高等学校学習指導要領　理科編を読んで中学校理科教育の目標・内容・構成についてまとめる。
予習時間：30分
復習内容：高等学校理科学習の目標と内容・構成について理解を深め、まとめなおす。
復習時間：60分
高等学校学習指導要領　理科編を概観し、その目標、内容、構成等について議論する。

第4回　学習指導案の目的、全体像、内容（講義形式：講義、ディスカッション、グループワーク）

予習内容：配布された学習指導案を読む。
予習時間：30分
復習内容：学習指導案についての理解を深める。
復習時間：60分
実際の学習指導案の例から、学習指導案の全体像をつかむ。

第5回　単元目標の書き方と留意点（講義形式：講義、ディスカッション、グループワーク、PBL）

予習内容：配布された学習指導案の単元目標を読む。
予習時間：30分
復習内容：単元目標の書き方を理解して、他の単元でも単元目標を書いてみる。
復習時間：60分
単元目標の具体的な書き方を学ぶ。

第6回　教材観・生徒観・指導観の書き方と留意点（講義形式：講義、ディスカッション、グループワーク、PBL）

予習内容：配布された学習指導案の教材観・生徒観・指導観を読む。
予習時間：30分
復習内容：教材観・生徒観・指導観の書き方を理解して、他の単元でも書いてみる。
復習時間：60分
教材観・生徒観・指導観の具体的な書き方を学ぶ。

第7回　単元指導計画の書き方と留意点（講義形式：講義、ディスカッション、グループワーク、PBL）

予習内容：配布された学習指導案の単元指導計画を読む。
予習時間：30分
復習内容：単元指導計画の書き方を理解して、他の単元でも書いてみる。
復習時間：60分
単元指導計画の具体的な書き方を学ぶ。

第8回　本時の指導（ICT活用を含む）の書き方と留意点（講義形式：講義、ディスカッション、グループワーク、PBL）

予習内容：配布された学習指導案の本時の指導を読む。
予習時間：30分
復習内容：他の単元で本時の指導を書いてみる。
復習時間：60分
本時の学習指導（ICT活用を含む）の書き方を学ぶ。

第9回　評価のねらいと方法（講義形式：講義、ディスカッション、グループワーク、PBL）

予習内容：配布された学習指導案の評価を読む。
予習時間：30分
復習内容：他の単元で評価を書いてみる。
復習時間：60分
評価のねらいと方法について学ぶ。

第10回　板書計画の作成（講義形式：講義、ディスカッション、グループワーク、PBL）

予習内容：配布された学習指導案の板書計画を読む。
予習時間：30分
復習内容：他の単元で板書計画を書いてみる。
復習時間：60分
板書計画の実際について学ぶ。

第11回　グループ分け、分担（講義形式：ディスカッション、グループワーク、PBL）

予習内容：模擬授業の担当箇所を考えておく。
予習時間：30分
復習内容：指導案の作成を開始する。
復習時間：60分
模擬授業の班編制と担当箇所を決定する。

第12回　模擬授業の班編制と準備（講義形式・講義、ディスカッション、グループワーク、PBL）

予習内容：班ごとに模擬授業の準備をする。
予習時間：30分
復習内容：班ごとに模擬授業の準備をする。
復習時間：60分
模擬授業を実施するために、班を編制して担当箇所を決める。

第13回　模擬授業の準備・指導案作成（講義形式・講義、ディスカッション、グループワーク、PBL）

予習内容：模擬授業の構想を考える。
予習時間：30分
復習内容：より良い模擬授業にするために、工夫できるところや、改善できるところを考える。
復習時間：60分
模擬授業の準備、指導案の作成等を行う。

第14回　模擬授業（講義形式：ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション）

予習内容：模擬授業の準備をする。
予習時間：30分
復習内容：実施した模擬授業の評価をする。
復習時間：60分
実際に模擬授業を行う。

第15回　まとめと振り返り・意見交換（講義形式：講義、ディスカッション、グループワーク）

予習内容：今まで学んだことをまとめておく。
予習時間：30分
復習内容：他の人との意見交換を元に振り返りを深める。
復習時間：60分
今まで学んだことを振り返り、意見交換を行う。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**理科教育法Ⅱ**						
英文名　：	Methodology of Teaching Science II						
担当者　：	金子　健治						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	教職科目						
備　考　：							

■授業概要

理科教育法（一）で学んだ事をふまえて，理科の学習指導についてより深めていく。そのために、自然認識の発達と概念形成について学び、子どもの科学概念形成の機構を学ぶ。次に、戦後の学習指導要領の変遷を整理し、新学習指導要領理科の目標や内容を把握する。さらに、理科指導の基本的考え方、教材研究のあり方、指導計画設計の視点、授業設計の方法、学習指導案の作成について、演習や模擬授業なども組み込みながら学ぶ。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

PBL（課題解決学習）・ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

1）子供の自然事象に対する認識・思考、学力等の実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。
2）理科の特性に応じた情報通信技術の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用することができる。
3）学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成することができる。
4）模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けている。
5）理科における実践研究の動向を知り、授業設計の向上に取り組むことができる。

この科目の修得は、近畿大学のディプロマ・ポリシーにあるDP1（関心・意欲・態度）、DP2（思考・判断）、DP3（技能・表現）、DP4（知識・理解）を統合的に活用する能力を身につけ、卒業後も専門知識や経験を生かし、地域社会や学校教育において高い倫理観を持ってその発展に貢献できる能力が身につく。

■成績評価方法および基準

小テスト　授業中のミニレポート 50%
授業中の積極的発言・授業への貢献度 30%
最終回のまとめと振り返り 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

課題を出した翌回に口頭でコメントをする

■教科書

[ISBN]9784762506130 『中学校学習指導要領解説 理科編 平成29年7月―平成29年告示』 (文部科学省, 学校図書：2018)

■参考文献

[ISBN]9784407348736 『高等学校新学習指導要領解説 理科編 理数編』 (文部科学省, 実教出版：2019)

■関連科目

理科教育法Ⅰ，理科教育法特講Ⅰ，理科教育法特講Ⅱおよび他の教職課程教科・科目

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・kenji.kaneko@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　イントロダクション　理科教育の目的と意義(講義・グループワーク・ディスカッション、PBL）

予習内容：自分の受けた理科授業で最も良かったと思える理科授業のどこが良かったのかまとめる。
予習時間：30分
復習内容：自分の受けた理科授業と理科教育の目標の関係について考えをまとめる。
復習時間：60分
授業の内容・評価方法等の説明、理科教育の目標について考える

第2回　子どもの自然認識の発達過程 (講義・グループワーク・ディスカッション、PBL）

予習内容：事前に配布した資料を読む。
予習時間：30分
復習内容：子供の自然認識について、現在の研究の動向を調べる。
復習時間：60分
子供の自然認識を検討し、自分や他人の自然の認識について検討する。

第3回　子どもの科学概念形成のメカニズム（講義形式：講義、ディスカッション、グループワーク、PBL）

予習内容：子供の自然の認識が科学的な認識に変化してきた事例を考える。
予習時間：30分
復習内容：子供の科学概念形成について、まとめ具体例をあげて説明する。
復習時間：60分
子供の自然の認識から、どのようにして科学的認識に変化していくかを議論する。

第4回　理科授業設計の視点 、ICTの活用（講義形式：講義、ディスカッション、グループワーク、PBL）

予習内容：理科授業設計について事前に配布した資料を読む。
予習時間：30分
復習内容：理科授業設計についてまとめ、実際に具体的な単元で書いてみる。
復習時間：60分
理科授業設計のポイントや留意点、ICTを活用した理科授業について学ぶ。

第5回　戦後から現在の理科学習指導要領の変遷（講義形式：講義、ディスカッション、グループワーク）

予習内容：事前に配布した資料を読む。
予習時間：30分
復習内容：戦後の理科学習指導要領と時代背景についてまとめる。
復習時間：60分
戦後の理科学習指導要領の変化からその移り変わりと時代背景を学ぶ。

第6回　模擬授業のテーマ検討（講義形式：講義、ディスカッション、グループワーク、PBL）

予習内容：可能な模擬授業のテーマを考える。
予習時間：30分
復習内容：模擬授業のテーマと授業構想について考える。
復習時間：60分
模擬授業で可能なテーマを

第7回　グループ分け・指導案作成開始（講義形式：ディスカッション、グループワーク、PBL）

予習内容：自分の担当したい模擬授業のテーマと授業構想を考える。
予習時間：30分
復習内容：授業構想をグループで話し合い、決める。
復習時間：60分
グループを分けて、グループ毎に担当する模擬授業のテーマを決める。

第8回　模擬授業準備（講義形式：ディスカッション、グループワーク、PBL）

予習内容：模擬授業で用いる教材を探しておく。
予習時間：30分
復習内容：教材の科学的背景を確認しておく。
復習時間：60分
模擬授業で用いる教材を検討する。

第9回　模擬授業準備（講義形式：ディスカッション、グループワーク、PBL）

予習内容：模擬授業の導入、展開、まとめを考えておく。
予習時間：30分
復習内容：模擬授業の指導案を班ごとに完成させる。
復習時間：60分
模擬授業の指導案を作る。

第10回　模擬授業リハーサル（講義形式：ディスカッション、グループワーク、PBL）

予習内容：指導案をどのように実施できるか考えておく。
予習時間：30分
復習内容：さらに、指導案の改善点を考え、より良い指導案にまとめる。
復習時間：60分
指導案に従って模擬授業のリハーサルを行い、改善点を見いだして、改善する。

第11回　模擬授業・物理分野（講義形式：ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション）

予習内容：物理分野の模擬授業指導案を読んでおく。
予習時間：30分
復習内容：授業で見いだした改善点を元にしながら、指導案を改善する。
復習時間：60分
物理分野の模擬授業を行い、全員でディスカッションしながら改善点を見いだす。

第12回　模擬授業・化学分野（講義形式：ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション）

予習内容：化学分野の模擬授業指導案を読んでおく。
予習時間：30分
復習内容：授業で見いだした改善点を元にしながら、指導案を改善する。
復習時間：60分
化学分野の模擬授業を行い、全員でディスカッションしながら改善点を見いだす。

第13回　模擬授業・生物分野（講義形式：ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション）

予習内容：生物分野の模擬授業指導案を読んでおく。
予習時間：30分
復習内容：授業で見いだした改善点を元にしながら、指導案を改善する。
復習時間：60分
生物分野の模擬授業を行い、全員でディスカッションしながら改善点を見いだす。

第14回　模擬授業・地学分野（講義形式：ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション）

予習内容：地学分野の模擬授業指導案を読んでおく。
予習時間：30分
復習内容：授業で見いだした改善点を元にしながら、指導案を改善する。
復習時間：60分
地学分野の模擬授業を行い、全員でディスカッションしながら改善点を見いだす。

第15回　まとめと振り返り・意見交換（講義形式：講義、ディスカッション、グループワーク）

予習内容：今まで学んだ資料をまとめておく。
予習時間：30分
復習内容：今まで学んだことを自分の言葉でまとめる。
復習時間：60分
今までの授業を振り返り、学んだことを話し合い、まとめる。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 ：	**理科教育法特講Ⅰ**						
英文名 ：	Methods for Scientific Education Special Lecture Ⅰ						
担当者 ：	金子　健治						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	必修科目，選択科目
科目区分：	教職科目						
備　考 ：	中学校教諭免許状には「必修科目」であり、高等学校教諭免許状には「選択科目」です。						

■授業概要

理科教育法Ⅰに引き続き，理科教員に必要な教育関係法令の理解，授業指導案作成，教材開発実践力の伸長を図るための授業を行い、同時に教育現場で求められるICTの効果的な活用方法についても学びを深めます。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

PBL（課題解決学習）・ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本授業では
①中学校理科ならびに高等学校理科の教科内容の概要と構成を理解する。
②学習指導要領の趣旨に基づいた学習指導案を作成することができる。
③学習指導案に基づいた理科指導を実践し、実践を省察して授業を改善することができる。
④より効果的に理科学習指導をすることができるために、指導法や教材を工夫したり、ICTを活用したりすることができる。

この科目の修得は、近畿大学のディプロマ・ポリシーにあるDP1（関心・意欲・態度）、DP2（思考・判断）、DP3（技能・表現）、DP4（知識・理解）を統合的に活用する能力を身につけ、卒業後も専門知識や経験を生かし、地域社会や学校教育において高い倫理観を持ってその発展に貢献できる能力が身につく。

■成績評価方法および基準

小テスト　授業中のミニレポート 50%
授業中の積極的発言・授業への貢献度 30%
最終回のまとめと振り返り 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

課題を出した翌回に口頭でコメントをする

■教科書

[ISBN]9784402018245 『未来へひろがるサイエンス 1 [令和3年度] (文部科学省検定済教科書 中学校理科用)』 (啓林館)
[ISBN]9784402018252 『未来へひろがるサイエンス 2 [令和3年度] (文部科学省検定済教科書 中学校理科用)』 (啓林館)
[ISBN]9784402018269 『未来へひろがるサイエンス 3 [令和3年度] (文部科学省検定済教科書 中学校理科用)』 (啓林館)

■参考文献

[ISBN]9784762506130 『中学校学習指導要領解説 理科編 平成29年7月―平成29年告示』 (文部科学省, 学校図書：2018)
[ISBN]9784407348736 『高等学校新学習指導要領解説 理科編 理数編』 (文部科学省, 実教出版：2019)

■関連科目

理科教育法Ⅰ，理科教育法Ⅱ，理科教育法特講Ⅱおよび他の教職課程教科・科目

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・kenji.kaneko@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　イントロダクション・自分たちの受けた理科教育（講義形式：講義、ディスカッション、グループワーク）

予習内容：教科書を見ながら自分の受けた理科教育の最もよかったと思えるものを思い出す。
予習時間：30分
復習内容：自分たちの受けた理科授業を元に、良い理科授業についてまとめる。
復習時間：60分
授業の内容・評価方法等の説明、中学校の教科書を見ながら、自分の受けた理科教育についてまとめ、グループ毎に話し合う。

第2回　文部科学省の学力調査結果とこれからの理科教育（講義形式：講義、ディスカッション、グループワーク）

予習内容：文部科学省の学力調査結果を読んでおく。
予習時間：30分
復習内容：文部科学省の学力調査の結果から、これからの理科教育のあり方についてまとめる。
復習時間：60分
文部科学省の学力調査の結果から、これからの理科教育のあり方について議論する。

第3回　TIMSS調査結果とこれからの理科教育（講義形式：講義、ディスカッション、グループワーク）

予習内容：TIMSS調査の結果を読んでおく。
予習時間：30分
復習内容：TIMSS調査の結果から、これからの理科教育のあり方についてまとめる。
復習時間：60分
TIMSS調査結果を基に、これからの理科教育のあり方について議論する。

第4回　理科教育における教科書の役割及びＩＣＴの活用（講義形式：講義、ディスカッション、グループワーク）

予習内容：教科書の全体に目をとおして、その構成の特徴について調べておく。
予習時間：30分
復習内容：理科の教科書の効果的な使い方や改善点についてまとめる。
復習時間：60分
理科教科書の内容・構成や理科教育における、教科書の役割や効果的な使い方及びＩＣＴの活用について議論する。

第5回　教材開発・物理分野（講義形式：ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション）

予習内容：教科書に掲載されている物理分野の教材で、教室で実施が可能な教材を調べておく。
予習時間：30分
復習内容：実際に使用した教材の効果についてまとめ、改善点を探す。
復習時間：60分
教科書に掲載されている物理分野の教材で、教室で実施が可能な教材を紹介する。

第6回　教材開発・化学分野（講義形式：ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション）

予習内容：教科書に掲載されている化学分野の教材で、教室で実施が可能な教材を調べておく。
予習時間：30分
復習内容：実際に使用した教材の効果についてまとめ、改善点を探す。
復習時間：60分
教科書に掲載されている化学分野の教材で、教室で実施が可能な教材を紹介する。

第7回　教材開発・生物分野（講義形式：ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション）

予習内容：教科書に掲載されている生物分野の教材で、教室で実施が可能な教材を調べておく。
予習時間：30分
復習内容：実際に使用した教材の効果についてまとめ、改善点を探す。
復習時間：60分
教科書に掲載されている生物分野の教材で、教室で実施が可能な教材を紹介する。

第8回　教材開発・地学分野（講義形式：ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション）

予習内容：教科書に掲載されている地学分野の教材で、教室で実施が可能な教材を調べておく。
予習時間：30分
復習内容：実際に使用した教材の効果についてまとめ、改善点を探す。
復習時間：60分
教科書に掲載されている地学分野の教材で、教室で実施が可能な教材を紹介する。

第9回　物理分野の模擬授業（講義形式：ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション）

予習内容：物理分野の模擬授業指導案を読んでおく。
予習時間：30分
復習内容：授業で見いだした改善点を元にしながら、指導案を改善する。
復習時間：60分
物理分野の模擬授業を行い、全員でディスカッションしながら改善点を見いだす。

第10回　化学分野の模擬授業（講義形式：ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション）

予習内容：化学分野の模擬授業指導案を読んでおく。
予習時間：30分
復習内容：授業で見いだした改善点を元にしながら、指導案を改善する。
復習時間：60分
化学分野の模擬授業を行い、全員でディスカッションしながら改善点を見いだす。

第11回　生物分野の模擬授業（講義形式：ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション）

予習内容：生物分野の模擬授業指導案を読んでおく。
予習時間：30分
復習内容：授業で見いだした改善点を元にしながら、指導案を改善する。
復習時間：60分
生物分野の模擬授業を行い、全員でディスカッションしながら改善点を見いだす。

第12回　地学分野の模擬授業（講義形式：ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション）

予習内容：地学分野の模擬授業指導案を読んでおく。
予習時間：30分
復習内容：授業で見いだした改善点を元にしながら、指導案を改善する。
復習時間：60分
地学分野の模擬授業を行い、全員でディスカッションしながら改善点を見いだす。

第13回　模擬授業指導案の検討（講義形式：ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション）

予習内容：自分でとりあげたい、模擬授業のテーマを考える。
予習時間：30分
復習内容：指導案を完成する。
復習時間：60分
今まで実施した模擬授業の一つをとりあげ、反省点を元によりよい指導案を作成する。

第14回　検討した指導案の実施（講義形式：ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション）

予習内容：自分の行う模擬授業のリハーサルを行う。
予習時間：30分
復習内容：授業で見いだした改善点を元にしながら、指導案を改善する。
復習時間：60分
改善された指導案を元に、模擬授業を実施し、全員でディスカッションしながら改善点を見いだす。

第15回　まとめと振り返り・意見交換（講義形式：講義、ディスカッション、グループワーク、PBL）

予習内容：今まで学んだ資料をまとめておく。
予習時間：30分
復習内容：今まで学んだことを自分の言葉でまとめる。
復習時間：60分
今までの授業を振り返り、学んだことを話し合い、まとめる。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**理科教育法特講Ⅱ**						
英文名　：	Methods for Scientific Education Special Lecture II						
担当者　：	金子　健治						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	必修科目，選択科目
科目区分：	教職科目						
備　考　：	中学校教諭免許状には「必修科目」であり、高等学校教諭免許状には「選択科目」です。						

■授業概要

本科目は理科教員に求められる教科内容の理解、学習論や教材論、教科の歴史などを学びながら、理科教育法Ⅰ、理科教育法Ⅱを基にして更に発展させた内容の授業を行い、理科教育の実践力を養う。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

PBL（課題解決学習）・ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本授業では
①中学校理科ならびに高等学校理科の教科内容の概要と構成を理解する。
②学習指導要領の趣旨に基づいた学習指導案を作成することができる。
③学習指導案に基づいた理科指導を実践し、実践を省察して授業を改善することができる。
④より効果的に理科学習指導をすることができるために、最新の研究成果や調査結果を踏まえて、子供の実態を分析し、指導法や教材を工夫したり、ICTを活用したりすることができる。
この科目の修得は、近畿大学のディプロマ・ポリシーにあるDP1（関心・意欲・態度）、DP2（思考・判断）、DP3（技能・表現）、DP4（知識・理解）を統合的に活用する能力を身につけ、卒業後も専門知識や経験を生かし、地域社会や学校教育において高い倫理観を持ってその発展に貢献できる能力が身につく。

■成績評価方法および基準

小テスト　授業中のミニレポート 50%
授業中の積極的発言・授業への貢献度 30%
最終回のまとめと振り返り 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

課題を出した翌回に口頭でコメントをする

■教科書

[ISBN]9784402018245 『未来へひろがるサイエンス 1 [令和3年度] (文部科学省検定済教科書 中学校理科用)』 (啓林館)
[ISBN]9784402018252 『未来へひろがるサイエンス 2 [令和3年度] (文部科学省検定済教科書 中学校理科用)』 (啓林館)
[ISBN]9784402018269 『未来へひろがるサイエンス 3 [令和3年度] (文部科学省検定済教科書 中学校理科用)』 (啓林館)

■参考文献

[ISBN]9784762506130 『中学校学習指導要領解説 理科編 平成29年7月―平成29年告示』 (文部科学省, 学校図書：2018)
[ISBN]9784407348736 『高等学校新学習指導要領解説 理科編 理数編』 (文部科学省, 実教出版：2019)

■関連科目

理科教育法Ⅰ，理科教育法Ⅱ，理科教育法特講Ⅰおよび他の教職課程教科・科目

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・kenji.kaneko@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　イントロダクション・理科教育の課題（講義形式：講義、ディスカッション、グループワーク）

予習内容：今まで学んだことから、これからの理科教育の課題について考える。
予習時間：30分
復習内容：これからの理科教育のあり方と課題についてまとめる。
復習時間：60分
これからの理科教育のあり方と課題について学習指導要領から学ぶ。

第2回　認知心理学と理科教育（講義形式：講義、ディスカッション、グループワーク）

予習内容：配布資料を読んでおく。
予習時間：30分
復習内容：認知心理学の成果を活かした理科教育について具体的な展開方法をまとめる。
復習時間：60分
認知心理学を手がかりとして、より効果的な理科教育のあり方について学ぶ。

第3回　歴史と理科教育（講義形式：講義、ディスカッション、グループワーク）

予習内容：配布資料を読んでおく。
予習時間：30分
復習内容：世界や日本の理科教育の変遷について自分の言葉でまとめる。
復習時間：60分
世界や日本の理科教育の変遷について学び、その歴史的背景について知る。

第4回　人々の生活と理科教育（講義形式：講義、ディスカッション、グループワーク）

予習内容：教科書に記載されていることから、理科教育と生活の関係について考える。
予習時間：30分
復習内容：生活と理科教育の関わりについてさらに自分で調べてまとめる。
復習時間：60分
生活と理科教育の関わりについて、教科書の記載から学ぶ。

第5回　ICTを活用した理科教育（講義形式：講義、ディスカッション、グループワーク）

予習内容：配布資料を読んでおく。
予習時間：30分
復習内容：自分の可能なICTを活用した理科教育の教材をつくってみる。
復習時間：60分
ICTを効果的に活用した理科教育の事例を学ぶ。

第6回　教材紹介の準備（講義形式：ディスカッション、グループワーク）

予習内容：どのようにしたら、わかりやすく正しく教材紹介ができるかを考える。
予習時間：30分
復習内容：次回の教材紹介に備えて、よりわかりやすい教材紹介の方法を工夫する。
復習時間：60分
グループを編成して、グループ毎に教材紹介の準備を始める。

第7回　教材紹介（講義形式：ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション）

予習内容：教材紹介のリハーサルを行う。
予習時間：30分
復習内容：紹介された教材のうち、１つを選び、実際に使用して、その効果と改善点についてまとめる。
復習時間：60分
グループが交代で教材紹介をする。

第8回　模擬授業のテーマ決定（講義形式：ディスカッション、グループワーク、PBL）

予習内容：自分たちの紹介した教材がどのように模擬授業で使えるか考えておく。
予習時間：30分
復習内容：模擬授業で自分たちの教材の効果的な使い方について、より一層の工夫を加える。
復習時間：60分
グループ毎に紹介した教材を使って模擬授業の構想を作り始める。

第9回　模擬授業の指導案作成（講義形式：ディスカッション、グループワーク、PBL）

予習内容：授業の構想と指導案について考えておく。
予習時間：30分
復習内容：模擬授業の指導案についてより一層の工夫を加えて、より良いものにする。
復習時間：60分
グループ毎に模擬授業の指導案を作成し始める。

第10回　模擬授業の準備（講義形式：ディスカッション、グループワーク、PBL）

予習内容：模擬授業の準備のために何をしたらよいか考え、計画をたてる。
予習時間：30分
復習内容：模擬授業の準備をした結果から、より改善するべき点や改善点が見つかったら、修正する。
復習時間：60分
模擬授業のために教材を準備したり、リハーサルをしたりする。

第11回　模擬授業・物理分野（講義形式：ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション）

予習内容：物理分野の模擬授業指導案を読んでおく。
予習時間：30分
復習内容：授業で見いだした改善点を元にしながら、指導案を改善する。
復習時間：60分
物理分野の模擬授業を行い、全員でディスカッションしながら改善点を見いだす。

第12回　模擬授業・化学分野（講義形式：ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション）

予習内容：化学分野の模擬授業指導案を読んでおく。
予習時間：30分
復習内容：授業で見いだした改善点を元にしながら、指導案を改善する。
復習時間：60分
化学分野の模擬授業を行い、全員でディスカッションしながら改善点を見いだす。

第13回　模擬授業・生物分野（講義形式：ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション）

予習内容：生物分野の模擬授業指導案を読んでおく。
予習時間：30分
復習内容：授業で見いだした改善点を元にしながら、指導案を改善する。
復習時間：60分
生物分野の模擬授業を行い、全員でディスカッションしながら改善点を見いだす。

第14回　模擬授業・地学分野（講義形式：ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション）

予習内容：地学分野の模擬授業指導案を読んでおく。
予習時間：30分
復習内容：授業で見いだした改善点を元にしながら、指導案を改善する。
復習時間：60分
地学分野の模擬授業を行い、全員でディスカッションしながら改善点を見いだす。

第15回　まとめと振り返り・意見交換（講義形式：講義、ディスカッション、グループワーク）

予習内容：今まで学んだ資料をまとめておく。
予習時間：30分
復習内容：今まで学んだことを自分の言葉でまとめる。
復習時間：60分
今までの授業を振り返り、学んだことを話し合い、まとめる。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 ：	**AI・データサイエンス基礎実習**						
英文名 ：	Practice in the basics of AI and Data Science						
担当者 ：	宮下　尚之						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考 ：							

■授業概要

この講義は生物理工学部全学科の学生対象の、はじめてのプログラミングと、はじめてのAI・データサイエンスの基礎を学び体験する『実習講義』です。この講義は近畿大学生物理工学部が進めるB-AiDaSプログラムの講義の必修科目の一つであり、基礎からその応用基礎まで、幅広くAI・データサイエンスそしてITについて体験できる実習講義になっています。また、生命情報工学科の学生はこれから３年生まで続くプログラミング講義の最初の一歩にあたる実習必修科目でもあります。

この実習講義では、生物系や工学系の様々な分野の学生に、最近流行りのAIやデータサイエンス、そしてプログラミングの基礎実習とIT企業による講義を学び・体験してもらい、「こんなふうになっているのか・・」とか「なるほど！」、「意外と面白いな！」「なんか、できるわ」などと、AI、データサイエンスやその基礎となるプログラミングに対して感じてもらう事が大きな目標となります。

AI・データサイエンスは現在のデジタル技術革命を牽引する技術です。これらの技術と様々な従来型産業（例えば、農業・生命科学・生体工学・化学・医療・工学・健康保健・教育・運送業・食品など）と組み合わせることでデジタルトランスフォーメーション（DX）が起こせ、イノベーションを生み出します。現在世界はこの第４次産業改革の真っ只中にあり、生物系であれ工学系であれ、みなさんはデジタル変革時代をこれから生き抜いて行くことになります。この技術の元にあるのが、コーディング（プログラミング）であり、AIやデータサイエンスの知識はこれからの皆さんが生きていく社会では非常に役に立ちます。

そこで本実習講義では、生物系・工学系全ての学生のAI・データサイエンス知識のレベルを一つ上げ、応用基礎レベルにする事を目標とします。具体的にはこの講義では以下の３つを学び、体験します。

① はじめてのコーディング体験と学び（Webを使ったやさしいpython言語学習）

② AI・データサイエンスの基礎の体験と学び（データサイエンスの基礎技術・簡単なAIを作って体験）

③ AI・データサイエンスを含むIT実務に関連する内容の実学実習体験※（最前線で活躍するIT企業様が講義します・楽しさや難しさなどを体験し、企業についても学びます。非常に良い体験・経験をすると思います。）

※実学実習体験の中の和歌山県に進出したIT企業による実習は、和歌山県に進出したIT企業、和歌山県企業立地課、近畿大学との産官学連携で実施しています。

[学生の皆さんへのお願い]

１）スムーズに講義を進めるためにも、事前にタイピングの練習をしておいてください。

２）この実習講義では各自のノートPCを使いますので、講義では必ず各自PCを持参して下さい。

３）90分間ずっと使い続けますので、事前にノートPCをしっかり充電しておいて下さい。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

実験・実習科目

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本実習講義は、生物理工学部の生物系・工学系全ての学生のAI・データサイエンス知識のレベルを一つ上げ、応用基礎レベルにする事を目標とします。とてもやわらかい言葉で言い換えると、多くの学生にAI、データサイエンスやプログラミングをはじめて体験してもらい、「こんなふうになっているのか・・」とか「なるほど！」、「意外と面白いな！」「なんか、できるわ」などと、AI・データサイエンス・プログラミングに対して感じてもらう事が目標となります。

本講義の到達目標は以下です。

① python言語で簡単なプログラムの基礎実習を体験して、プログラムが少し書けるようになる。
② データサイエンスで用いる基礎的なデータの読み書き・解析とグラフ作成ができるようになる。
③ 簡単なAIの作成によりAIに対して持つ基礎知識を高める。
④ IT企業による実学実習体験から、コーディングやAI・データサイエンスの楽しさや難しさなどを体験する。

この科目の修得は、ディプロマポリシー4「知識・理解」の達成に強く関与しています。また、ディプロマポリシー2の「思考・判断」の育成にも関連します。

■成績評価方法および基準

実習中に出される課題（採点あり） 50%
実習に出席し毎回指示された内容のレポートを提出（採点あり） 20%
IT企業による実習に参加し指示されたレポートを提出（採点あり） 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

解答例などをGoogle Classroomに掲載します。ルーブリック評価表も掲載するので、それを用いて各自の理解度チェックを行うこと。

■教科書

[ISBN]4764906422 『Pythonプログラミング ABCー正確に・美しく・簡潔に! ー』 (松尾 正信, 近代科学社：2022)

■参考文献

[ISBN]4764905701 『Pythonで体験してわかるアルゴリズムとデータ構造』 (西澤 弘毅, 近代科学社：2018)
[ISBN]4764906368 『Pythonでプログラミングして理解する 機械学習アルゴリズム』 (神野 健哉, 近代科学社：2022)

■関連科目

B-AiDaS関連科目・データリテラシー入門・線形代数学・微分積分学・統計学関連科目・機械学習・プログラミング

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

宮下研究室（東1号館2-217）・miya@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

金曜・2限（事前に連絡してアポイントメントをとっておいて下さい）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ガイダンス：はじめてのコーディング体験（授業形式：実習）
予習内容：教科書・資料での予習
予習時間：120分
復習内容：教科書・資料および課題の復習
復習時間：120分

第2回 python基礎：おみくじを作ろう（授業形式：実習）
予習内容：教科書・資料での予習
予習時間：120分
復習内容：教科書・資料および課題の復習
復習時間：120分
入出力・キャスト・乱数・配列

第3回 python基礎：テキストアドベンチャーゲームを改良しよう（授業形式：実習）
予習内容：教科書・資料での予習
予習時間：120分
復習内容：教科書・資料および課題の復習
復習時間：120分
Loop文・２次配列・append・if文

第4回 データサイエンス基礎：グラフを描こう・ファイルの読み書き（授業形式：実習）
予習内容：資料での予習
予習時間：120分
復習内容：資料および課題の復習
復習時間：120分
辞書・グラフ・ファイルの入出力

第5回 データサイエンス基礎：簡単な統計分布をつくってみよう（授業形式：実習）

予習内容：資料での予習
予習時間：120分
復習内容：資料および課題の復習
復習時間：120分
ファイルの入出力・Googleドライブの使い方・簡単な統計分布

第6回 データサイエンス入門：さまざまなデータの統計の取り方を体験しよう（授業形式：実習）

予習内容：資料での予習
予習時間：120分
復習内容：資料および課題の復習
復習時間：120分
pandasでの読み書き

第7回 データサイエンス入門：データ処理と統計解析あれこれ・パズルゲームの改造をしよう（授業形式：実習）

予習内容：資料での予習
予習時間：120分
復習内容：資料および課題の復習
復習時間：120分
様々な統計解析

第8回 AIプログラミング：簡単な手書き数字認識AIを作ってみよう（授業形式：実習）

予習内容：教科書・資料での予習
予習時間：120分
復習内容：教科書・資料および課題の復習
復習時間：120分
手書き数字データの学習・ロジスティック回帰・SVM・Random Forest・DNN

第9回 AIプログラミング：簡単なAIを擬似カルテデータ解析に応用してみよう（授業形式：実習）

予習内容：教科書・資料での予習
予習時間：120分
復習内容：教科書・資料および課題の復習
復習時間：120分
AIを用いた擬似カルテデータ解析

第10回 IT企業実践実習１－１（授業形式：実習）
（株式会社Relic）企業Webページの作成とアクセス解析を体験しよう１

予習内容：資料での予習
予習時間：120分
復習内容：資料での復習
復習時間：120分
IT企業様による実践実習講義１（１社目）

第11回 IT企業実践実習１－２（授業形式：実習）
（株式会社Relic）企業Webページの作成とアクセス解析を体験しよう２

予習内容：資料での予習
予習時間：120分
復習内容：資料での復習
復習時間：120分
IT企業様による実践実習講義２（１社目）

第12回 IT企業実践実習２－１（授業形式：実習）
（株式会社WillSmart）バスの運行データ解析を体験してみよう１
（株式会社Link-U）AIを使ったマンガ画像解析を体験しよう１

予習内容：資料での予習
予習時間：120分
復習内容：資料での復習
復習時間：120分
IT企業様による実践実習講義１（２社目）

第13回 IT企業実践実習２－２（授業形式：実習）
（株式会社WillSmart）バスの運行データ解析を体験してみよう２
（株式会社Link-U）AIを使ったマンガ画像解析を体験しよう２

予習内容：資料での予習
予習時間：120分
復習内容：資料での復習
復習時間：120分
IT企業様による実践実習講義２（２社目）

第14回　IT企業実践実習３－１（授業形式：実習）
（富士通株式会社）電卓アプリ開発を通してシステムエンジニア体験をしてみよう１

予習内容：資料での予習
予習時間：120分
復習内容：資料での復習
復習時間：120分
IT企業様による実践実習講義１（３社目）

第15回　IT企業実践実習３－２（授業形式：実習）
（富士通株式会社）電卓アプリ開発を通してシステムエンジニア体験をしてみよう２

予習内容：資料での予習
予習時間：120分
復習内容：資料での復習
復習時間：120分
IT企業様による実践実習講義２（３社目）

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**ＨＡＣＣＰシステム論**						
英文名　：	HACCP System Principles						
担当者　：	江口　陽子・春田　正行						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	3年次	開講期：	集中	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

「HACCP管理者」としての食品安全管理に関わる知識を学習します。食の安全については、食中毒、食品事故、偽装表示などの社会問題が相次ぎ、製造者と消費者を含めて関心の高い課題です。本講義では、食の安全・安心（信頼）について、自然科学的および社会科学的な多面的視点から考え、「HACCP管理者」資格を取得するのに必要な知識をワークショップ形式で学修します。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講生は、最初にHACCPの考え方及び食品安全についての国際的な動向を学びます。続いて、食品製造現場を見学後、CodexのHACCPガイドラインに従って、HACCPプラン作成を演習し、ハザード分析能力を身につけます。
3日間の演習及び講義の前後に試験を実施し、理解度を判定します。その結果と講義及び演習態度で評価します。この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー3の達成に主体的に関与しています。

■成績評価方法および基準

終了試験 40%
課題演習 50%
工場実習(ビデオに置き換えることもある） 10%

■試験・課題に対するフィードバック方法

集中講義であるため、講義中に模範回答を示します。

■教科書

[ISBN]9784767907062 『HACCP管理者認定テキスト』(日本食品保蔵科学会HACCP管理者認定委員会編, 建帛社：2021)

■参考文献

【留意事項】特になし。

■関連科目

食品保全学、食品安全学、食品加工学、食品微生物学、食品衛生管理学

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階254）・masayuki-haruta@foodsanitary.biz
江口研究室（東1号館4階417）・eguchi@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　HACCPの概要・7原則12手順　（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：「ＨＡＣＣＰ管理者認定テキスト」第1, 2編を読む
予習時間：30分
復習内容：集中講義のため、必要としない

第2回　経営者のコミットメント　手順1：チーム編成　（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：「ＨＡＣＣＰ管理者認定テキスト」第3編を読む
予習時間：15分
復習内容：集中講義のため、必要としない

第3回　手順2・3：製品説明書、意図する用途の確認　（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：「ＨＡＣＣＰ管理者認定テキスト」第3編を読む
予習時間：15分
復習内容：集中講義のため、必要としない

第4回　手順4・5：フローダイアグラムと現場確認　（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：「ＨＡＣＣＰ管理者認定テキスト」第3編を読む
予習時間：30分
復習内容：集中講義のため、必要としない

第5回　食品製造現場の見学（工場ビデオに置き換えることがある）　（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：特に必要としない
復習内容：第1回目から5回目について復習して、演習に備える
復習時間：60分

第6回　演習（1）：製品説明書、フローダイアグラム作成演習　（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：特に必要としない
復習内容：特に必要としない（演習結果の発表を行うため）

第7回　手順6（原則1）：ハザード分析　（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：「ＨＡＣＣＰ管理者認定テキスト」第4編を読む
予習時間：30分
復習内容：集中講義のため、必要としない

第8回　演習（2）：ハザード分析演習　（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：特に必要としない
復習内容：特に必要としない（演習結果の発表を行うため）

第9回　手順7（原則2）：CCPの決定　（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：「ＨＡＣＣＰ管理者認定テキスト」第4編を読む
予習時間：15分
復習内容：集中講義のため、必要としない

第10回　演習(3)：CCPの決定演習　（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：特に必要としない
復習内容：第6回目から10回目を復習して、ハザード分析とCCPの決定について理解する
復習時間：60分

第11回　手順8（原則3）：CL（許容限界）の設定　（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：「ＨＡＣＣＰ管理者認定テキスト」第4編を読む
予習時間：15分
復習内容：集中講義のため、必要としない

第12回　手順9（原則4）：モニタリング方法の設定　（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：「ＨＡＣＣＰ管理者認定テキスト」第4編を読む
予習時間：15分
復習内容：集中講義のため、必要としない

第13回　手順10（原則5）：修正措置の設定　（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：「ＨＡＣＣＰ管理者認定テキスト」第4編を読む
予習時間：15分
復習内容：集中講義のため、必要としない

第14回　（原則6）：検証方法の設定、手順12（原則7）：記録の維持管理演習　（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：「ＨＡＣＣＰ管理者認定テキスト」第4編を読む
予習時間：30分
復習内容：集中講義のため、必要としない

第15回　演習(4)：HACCPプランの作成演習　（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：特に必要としない
復習内容： HACCP プランの作成について復習し、HACCP 管理者としての知識を修得する
復習時間：60分

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**ＨＡＣＣＰシステム論**						
英文名　：	HACCP System Principles						
担当者　：	江口　陽子・春田　正行						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	3年次	開講期：	集中	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

「HACCP管理者」としての食品安全管理に関わる知識を学習します。食の安全については、食中毒、食品事故、偽装表示などの社会問題が相次ぎ、製造者と消費者を含めて関心の高い課題です。本講義では、食の安全・安心（信頼）について、自然科学的および社会科学的な多面的視点から考え、「HACCP管理者」資格を取得するのに必要な知識をワークショップ形式で学修します。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講生は、最初にHACCPの考え方及び食品安全についての国際的な動向を学びます。続いて、食品製造現場を見学後、CodexのHACCPガイドラインに従って、HACCPプラン作成を演習し、ハザード分析能力を身につけます。
3日間の演習及び講義の前後に試験を実施し、理解度を判定します。その結果と講義及び演習態度で評価します。この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー3の達成に主体的に関与しています。

■成績評価方法および基準

終了試験 40%
課題演習 50%
工場実習(ビデオに置き換えることもある） 10%

■試験・課題に対するフィードバック方法

集中講義であるため、講義中に模範回答を示します。

■教科書

[ISBN]9784767907062 『HACCP管理者認定テキスト』(日本食品保蔵科学会HACCP管理者認定委員会編, 建帛社：2021)

■参考文献

【留意事項】特になし。

■関連科目

食品保全学、食品安全学、食品加工学、食品微生物学、食品衛生管理学

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階254）・masayuki-haruta@foodsanitary.biz
江口研究室（東1号館4階417）・eguchi@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　HACCPの概要・7原則12手順　（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：「ＨＡＣＣＰ管理者認定テキスト」第1, 2編を読む
予習時間：30分
復習内容：集中講義のため、必要としない

第2回　経営者のコミットメント　手順1：チーム編成　（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：「ＨＡＣＣＰ管理者認定テキスト」第3編を読む
予習時間：15分
復習内容：集中講義のため、必要としない

第3回　手順2・3：製品説明書、意図する用途の確認　（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：「ＨＡＣＣＰ管理者認定テキスト」第3編を読む
予習時間：15分
復習内容：集中講義のため、必要としない

第4回　手順4・5：フローダイアグラムと現場確認　（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：「ＨＡＣＣＰ管理者認定テキスト」第3編を読む
予習時間：30分
復習内容：集中講義のため、必要としない

第5回　食品製造現場の見学（工場ビデオに置き換えることがある）　（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：特に必要としない
復習内容：第1回目から5回目について復習して、演習に備える
復習時間：60分

第6回　演習（1）：製品説明書、フローダイアグラム作成演習　（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：特に必要としない
復習内容：特に必要としない（演習結果の発表を行うため）

第7回　手順6（原則1）：ハザード分析　（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：「ＨＡＣＣＰ管理者認定テキスト」第4編を読む
予習時間：30分
復習内容：集中講義のため、必要としない

第8回　演習（2）：ハザード分析演習　（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：特に必要としない
復習内容：特に必要としない（演習結果の発表を行うため）

第9回　手順7（原則2）：CCPの決定　（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：「ＨＡＣＣＰ管理者認定テキスト」第4編を読む
予習時間：15分
復習内容：集中講義のため、必要としない

第10回　演習(3)：CCPの決定演習　（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：特に必要としない
復習内容：第6回目から10回目を復習して、ハザード分析とCCPの決定について理解する
復習時間：60分

第11回　手順8（原則3）：CL（許容限界）の設定　（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：「ＨＡＣＣＰ管理者認定テキスト」第4編を読む
予習時間：15分
復習内容：集中講義のため、必要としない

第12回　手順9（原則4）：モニタリング方法の設定　（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：「ＨＡＣＣＰ管理者認定テキスト」第4編を読む
予習時間：15分
復習内容：集中講義のため、必要としない

第13回　手順10（原則5）：修正措置の設定　（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：「ＨＡＣＣＰ管理者認定テキスト」第4編を読む
予習時間：15分
復習内容：集中講義のため、必要としない

第14回　（原則6）：検証方法の設定、手順12（原則7）：記録の維持管理演習　（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：「ＨＡＣＣＰ管理者認定テキスト」第4編を読む
予習時間：30分
復習内容：集中講義のため、必要としない

第15回　演習(4)：HACCPプランの作成演習　（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：特に必要としない
復習内容： HACCP プランの作成について復習し、HACCP 管理者としての知識を修得する
復習時間：60分

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 ：	**くらしと食農・環境**						
英文名 ：	Food, Agriculture and Environment for Life						
担当者 ：	山野　薫						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考 ：							

■授業概要

日本の食や農の現状、そしてそれらをとりまく環境について、その仕組みや変化の様子、私たちのくらしとの関係などを経済学、経営学、社会学などの視点から学ぶ。

■授業形態

メディア授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

・現代の日本の食や農はどのような状況下にあるのかを理解する。
・私たちの食生活とくらしがどのように成り立っているのかを理解する。
・現代社会における食や農をとりまく状況とそれらの変化の様子について、背景を含めて理解できるようになる。
この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー2の達成に主体的に関与しています。

■成績評価方法および基準

確認テスト 60%
授業中に出題するミニ課題 40%

■試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の講義内で解説、またはUNIVERSAL PASSPORTに模範解答を掲載します。

■教科書

適宜、プリントを配布する。

■参考文献

授業内で紹介する。

■関連科目

なし

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

1号館2階215室・yamano@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

水曜日2限・3限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 イントロダクション（授業形式：講義）

予習内容：特になし。
復習内容：食品の種類や分類についてまとめておく。
復習時間：90分
様々な観点からの分類に基づき、食品の種類や分類を学ぶ

第2回　食行動の特徴（授業形式：講義）

予習内容：様々な食品について、どのような特徴を持つのかを考えておく。
予習時間：90分
復習内容：食に関する行動について学んだことをまとめておく。
復習時間：90分
食に関してどのような行動場面があるのかを学ぶ。

第3回　日本の食の現状と食料自給率（授業形式：講義）

予習内容：日本の食についてどのようなことが話題となっているのかを調べておく。
予習時間：90分
復習内容：日本の食の現状について学んだことをまとめておく。
復習時間：90分
日本の食が置かれている現状について説明する。

第4回　日本と食料安全保障（授業形式：講義）

予習内容：日本の食についてどのようなことが話題となっているのかを調べておく。
予習時間：90分
復習内容：日本の食の現状について学んだことをまとめておく。
復習時間：90分
日本の食が置かれている現状について説明する。

第5回　農林水産業を支える人々（耕種農業）（授業形式：講義）

予習内容：農林水産業（耕種農業）にはどのような仕事があるかを調べておく。
予習時間：90分
復習内容：農林水産業（耕種農業）を行う人々の動きについて、学んだことをまとめておく。
復習時間：90分
農林水産業（耕種農業）を行う人々の動きについて説明する。

第6回　農林水産業を支える人々（水産業）（授業形式：講義）

予習内容：農林水産業（水産業）にはどのような仕事があるかを調べておく。
予習時間：90分
復習内容：農林水産業（水産業）を行う人々の動きについて、学んだことをまとめておく。
復習時間：90分
農林水産業（水産業）を行う人々の動きについて説明する。

第7回　農家と経営（授業形式：講義）

予習内容：農家の経営行動にはどのようなものがあるか調べておく。
予習時間：90分
復習内容：農家の経営形態と家族経営農家の特徴について、学んだことをまとめておく。
復習時間：90分
農家の経営形態と家族経営農家の特徴を学ぶ。

第8回　復習と確認テスト（授業形式：講義）

予習内容：これまでの講義内容を復習しておく。
予習時間：90分
復習内容：分からなかった問題を復習しておく。
復習時間：90分
これまでの講義内容を復習し、確認テストを行う。

第9回　環境問題①（授業形式：講義）

予習内容：食消費に伴う廃棄物にはどのようなものがあるか調べておく。
予習時間：90分
復習内容：食消費と廃棄物問題について、学んだことをまとめておく。
復習時間：90分
食消費と廃棄物問題について説明する。

第10回　食品製造を行う企業（授業形式：講義）

予習内容：日本の食品製造業にはどのような種類があるか調べておく。

予習時間：90分
復習内容：食品製造業の仕事内容と商品の企画・開発について、学んだことをまとめておく。
復習時間：90分
食品製造を行う企業の種類とそれらの企業行動

第11回　食品製造とグローバル化（授業形式：講義）

予習内容：食品の輸出入にはどのような特徴があるか調べておく。
予習時間：90分
復習内容：食品企業の海外進出の様子について、学んだことをまとめておく。
復習時間：90分
食・食品分野におけるグローバル化について説明する。

第12回　食品企業が目指す方向（授業形式：講義）

予習内容：近年の食の傾向や社会との関連について、どのようなことが話題になっているか調べておく。
予習時間：90分
復習内容：食品企業の組織マネジメントと商品開発の傾向について、学んだことをまとめておく。
復習時間：90分
食品企業の組織マネジメントと商品開発の傾向について説明する。

第13回　食品表示と食のトレンド①（授業形式：講義）

予習内容：食品にはどのような種類の表示がなされているのかを調べておく。
予習時間：90分
復習内容：食品の表示ならびに近年の食の傾向や社会との関連について、学んだことをまとめておく。
復習時間：90分
食品の表示等から、近年の食の傾向や社会との関連を学ぶ。

第14回　食品表示と食のトレンド②（授業形式：講義）

予習内容：食品にはどのような種類の表示がなされているのかを調べておく。
予習時間：90分
復習内容：食品の表示ならびに近年の食の傾向や社会との関連について、学んだことをまとめておく。
復習時間：90分
食品の表示等から、近年の食の傾向や社会との関連を学ぶ。

第15回　まとめと確認テスト（授業形式：講義）

予習内容：この授業で扱った用語やテーマを見直して、疑問点をまとめておく。
予習時間：90分
復習内容：この授業で学んだことをまとめておく。
復習時間：90分
ここまで学んできたことを復習する。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**バイオインフォマティクス**						
英文名　：	Bioinformatics						
担当者　：	大和　勝幸						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	3年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：	令和元年度～令和4年度入学生対象科目						

■授業概要

コンピュータとインターネットの発展・普及とともに、遺伝子・ゲノム・タンパク質構造・代謝といった生物学的情報が膨大な量の「デジタルデータ」として蓄積されてきた。そして絶え間ないイノベーションにより、その種類と量は増大し続けている。本講義では、生物から得られる多様なデジタルデータのうちヌクレオチド配列およびアミノ酸配列データを紹介し、その解析方法、背後にある生命現象のしくみ、生物学的意義について講述する。また、アプリケーションやWebサイトを用いてデータの収集・整理・解析を行う。

情報処理演習室で実施するが、パソコンを持参することが望ましい。

【重要】
本講義では、
(1) 遺伝子の構造および発現調節、タンパク質の構造、進化など分子生物学関連分野に対する十分な知識および理解、
(2) 海外のWebサイトを利用するための十分な英語読解力、
(3) コンピュータを操作するスキル（Web検索、ファイル操作、テキストおよび表の作成・編集、描画）
が必須である。そのため、初回の講義において受講希望者の関連学力およびスキルを評価し、本講義の受講に十分と認められた者のみ受講を許可する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

インターネット上で様々な解析を手軽に実施できるようになっている。しかしその手軽さにより、解析原理が見過ごされ、解析アプリケーションの誤用や解析結果の誤った解釈に至る場合がある。本講義では、生物工学の様々な局面で必要とされる基本的な解析を中心に解説し、その原理の十分な理解を目指す。なお、本科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー１および２の達成の基礎となるものである。

■成績評価方法および基準

各回の課題 50%
総合試験（オンラインで実施） 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■教科書

【留意事項】指定しない

■参考文献

本分野では、書籍よりもインターネットを用いた方がより新しく多様な情報にアクセスできる。そのため、参考文献は指定しない。

■関連科目

分子生物学Ⅰ、Ⅱ、および細胞生物学Ⅰ、Ⅱ

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行う。

■研究室・メールアドレス

大和研究室（東1号館5階520）・kyamato@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

土曜1～2限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　イントロダクション：バイオインフォマティクスと生物学的データベースの紹介（授業形式：講義）

予習内容：セントラルドグマ、遺伝子の構造、発現および機能、タンパク質の構造と機能、進化、英語全般
予習時間：60分
復習内容：自らデータベースにアクセスし、内容に触れる。
復習時間：60分
バイオインフォマティクスが扱う対象の定義および説明。

第2回　生物学的デジタルデータの取得（１）：NCBI Entrez の利用（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：生物学的データベースの種類、真核生物の遺伝子の構造、英語全般
予習時間：60分
復習内容：生物学的データベースを用いた遺伝子情報の取得
復習時間：60分
生物学的データベースを用いた情報検索および取得。

第3回　生物学的デジタルデータの取得（２）：NCBI Entrez の利用（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：生物学的データベースの種類、真核生物の遺伝子の構造、英語全般
予習時間：60分
復習内容：生物学的データベースを用いた遺伝子情報および文献情報の取得
復習時間：60分
生物学的データベースを用いた情報検索および配列情報の取得。

第4回　生物学的配列の操作：EMBOSS ツールの利用（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：生物学的データベースを用いた情報検索、真核生物の遺伝子の構造、英語全般
予習時間：60分
復習内容：生物学的データベースを用いた遺伝子配列情報の取得およびその加工および解析
復習時間：60分
生物学的データベースから取得した配列情報の加工と解析。

第5回　生物学的配列の類似性検索（１）：配列アライメントの数値化（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：配列データベースへのアクセスおよび情報取得方法、英語全般
予習時間：60分
復習内容：BLASTによる類似配列の取得および評価
復習時間：60分
塩基配列比較法の原理および関連ソフトウェアBLASTの利用。

第6回　生物学的配列の類似性検索（２）：アミノ酸置換行列および検索アルゴリズム（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：配列データベースへのアクセスおよび情報取得方法、英語全般
予習時間：60分
復習内容：BLASTによる類似配列の取得および評価
復習時間：60分
アミノ酸配列比較法の原理および関連ソフトウェアBLASTの利用。

第7回　生物学的配列の類似性検索（２）：アミノ酸置換行列および検索アルゴリズム（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：BLAST利用方法、英語全般
予習時間：60分
復習内容：BLASTによる類似配列の取得および評価
復習時間：60分
より高度なBLASTの利用。

第8回　生物学的配列の解析：配列アノテーション生物学的配列の類似性検索（４）：BLAST によるデータベース検索（授業形

式：演習を含む講義）

予習内容：これまでに使用した各種データベースおよびツールの利用法、クローニング法、塩基配列決定法、英語全般
予習時間：60分
復習内容：塩基配列へのアノテーション
復習時間：60分
塩基配列解析の基礎であるアノテーション（注釈付け）。

第9回　生物学的配列の類似性検索（５）：自動シーケンサにより得られた塩基配列データの解析（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：これまでに使用した各種データベースおよびツールの利用法、クローニング法、塩基配列決定法、英語全般
予習時間：60分
復習内容：塩基配列解析法
復習時間：60分
実験データとしての塩基配列の処理および解析。

第10回　分子系統樹の作成（１）：ClustalW による多重配列アライメントの作成（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：進化、配列アライメントの定量化、英語全般
予習時間：60分
復習内容：配列アライメント作成方法
復習時間：60分
多重配列アライメントに基づく分子系統樹の推定。

第11回　分子系統樹の作成（２）：Dendroscope による系統樹の描画（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：分子系統樹作成方法、英語全般
予習時間：60分
復習内容：分子系統樹推定方法
復習時間：60分
分子系統樹の作成および評価。

第12回　分子系統樹の作成（３）：系統樹の評価（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：配列アライメントと分子系統樹、英語全般
予習時間：60分
復習内容：分子系統樹の評価
復習時間：60分
分子系統樹が示すこと、およびその限界。

第13回　分子系統樹の作成（４）：EBI の利用および系統樹の加工（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：配列アライメントと分子系統樹、英語全般
予習時間：60分
復習内容：配列アライメントおよび分子系統樹の作成
復習時間：60分
分子系統樹推定に用いる配列データの選定。

第14回　統合データベースKEGGの利用（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：遺伝子発現、表現型、英語全般
予習時間：60分
復習内容：配列データから関連する他の情報の抽出
復習時間：60分
配列データ以外の生物学的情報を含むデータベースの紹介。

第15回　総合演習（授業形式：演習）

予習内容：これまでに使用したデータベースおよび解析手法、英語全般
予習時間：60分
復習内容：各種データベースおよびツールへのアクセスおよび利用
復習時間：60分
インターネット上にあるリソースの利用。

定期試験

与えられたデータの解析およびレポート作成。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 ：	**遺伝資源学**						
英文名 ：	Genetic Resources						
担当者 ：	石丸　恵						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	3年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考 ：							

■授業概要

資源として利用可能な高等植物の多様性を有用性の階層として理解し、資源植物と遺伝資源の探索と利用に関して学修する。また、有用植物の成り立ち、高等植物の分類の概要、栽培植物の進化と適応、栽培植物の成立と伝播、品種と品種群形成などについても学修する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

栽培植物は、地理的、環境的および人為的な影響をうけて、野生植物から分化し生態的に特徴ある多様な形質を獲得してきている。本講義では、栽培植物ごとに、その起源と伝播、品種分化について述べるとともに、植物遺伝資源の探索と利用に関する知識を習得する。講義項目として、栽培植物の起源と分類、栽培植物の伝播・伝来と分布、生物の多様性と環境、作物類、果樹類、野菜類、植物遺伝資源の探索と利用、植物遺伝資源の保存方法などを学び、植物における有用遺伝資源の活用を学ぶ。
この科目の修得は、食品安全工学科の定めるディプロマポリシー2の達成に関与している。

■成績評価方法および基準

課題に対するレポートの提出 (2題、1600字以上） 20%
理解カテス ト (授業中に、2回の小テスト) 80%

■試験・課題に対するフィードバック方法

理解カテストは、次回の講義時間に返却し、模範答案の配布と解説をします。またレポートに関しては、模範的な内容を配布します。

■教科書

【留意事項】適宜プリントを使用。

■参考文献

[ISBN]9784829930397 『保全生態学入門―遺伝子から景観まで』 (鷲谷 いづみ, 文一総合出版：1996)
[ISBN]9784004161035 『栽培植物と農耕の起源 (岩波新書 青版 G-103)』 (中尾 佐助, 岩波書店：1966)
[ISBN]9784540001246 『栽培植物の進化―自然と人間がつくる生物多様性』 (G. ラディジンスキー, 農山漁村文化協会：2000)

■関連科目

特になし

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います

■研究室・メールアドレス

石丸研究室（東1号館4階408）・ishimaru@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

月曜3限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　講義概要　資源植物とは（授業形式：講義）

予習内容：生命誕生から現代までの植物の進化について調べておく
予習時間：30分
復習内容：植物の進化と遺伝資源としての植物の進化について地球環境と関連付けて考察しておく
復習時間：60分
第一回目は、本講義の内容について説明を行い、遺伝資源としての植物について説明を行う。また、遺伝資源としての植物の多様性についても説明を行う。

第2回　資源植物の探索、収集、保存（授業形式：講義）

予習内容：遺伝資源となりうる植物について調べておく
予習時間：30分
復習内容：遺伝資源の探索・収集・保存方法について理解し、講義内であつかった植物についても調べておく。
復習時間：60分
遺伝資源として植物を利用するに当たり、その植物の探索・収集・保存方法について詳しく解説する。

第3回　穀類の多様性（授業形式：講義）

予習内容：穀類の遺伝資源植物について調べておく
予習時間：30分
復習内容：穀類の遺伝資源植物について項目（探索・収集・保存）ごとに事例をまとめておく
復習時間：60分
遺伝資源として利用される植物種で、特に多い穀類についてその探索・収集・保存・利用方法について解説する。

第4回　イモ類の多様性（授業形式：講義）

予習内容：イモ類の遺伝資源植物について調べておく
予習時間：30分
復習内容：イモ類の遺伝資源植物について項目（探索・収集・保存）ごとに事例をまとめておく
復習時間：60分
遺伝資源として利用される植物種で、特に多いイモ類についてその探索・収集・保存・利用方法について解説する。

第5回　野菜類の多様性（1）葉菜類（授業形式：講義）

予習内容：葉菜類の遺伝資源植物について調べておく
予習時間：30分
復習内容：葉菜類の遺伝資源植物について項目（探索・収集・保存）ごとに事例をまとめておく
復習時間：60分
資源植物を利用した栽培植物において、特に多様性のある野菜類について解説を行う。第5回目は葉菜類について解説する。

第6回　野菜類の多様性（2）果菜類（授業形式：講義）

予習内容：果菜類の遺伝資源植物について調べておく
予習時間：30分
復習内容：果菜類の遺伝資源植物について項目（探索・収集・保存）ごとに事例をまとめておく。小テストの内容について解答できなかった問題について調べておく。
復習時間：60分
資源植物を利用した栽培植物において、特に多様性のある野菜類について解説を行う。第6回目は果菜類について解説する。
これまでの内容について理解力テスト（小テスト）を行う。

第7回　果実類の多様性（1）柑橘類（授業形式：講義）

予習内容：カンキツ類の遺伝資源植物について調べておく
予習時間：30分
復習内容：カンキツ類の遺伝資源植物について項目（探索・収集・保存）ごとに事例をまとめておく
復習時間：60分
資源植物を利用した栽培植物において、世界でも多様性に富む果実類について解説を行う。第7回目は柑橘類について解説する。
理解力テストの解説を行う。

第8回　果実類の多様性（2）バラ科植物（授業形式：講義）

予習内容：果実類，特にバラ科果樹の遺伝資源植物について調べておく
予習時間：30分
復習内容：果実類，特にバラ科果樹の遺伝資源植物について項目（探索・収集・保存）ごとに事例をまとめておく
復習時間：60分

資源植物を利用した栽培植物において、世界でも多様性に富む果実類について解説を行う。第8回目はバラ科植物について解説する。

第9回　果実類の多様性（3）その他の果実（授業形式：講義）

予習内容：バラ科果実以外の果実類の遺伝植物について調べておく
予習時間：30分
復習内容：果実類の遺伝資源植物について項目（探索・収集・保存）ごとに事例をまとめておく
復習時間：60分
資源植物を利用した栽培植物において、世界でも多様性に富む果実類について解説を行う。第9回目は柑橘、バラ科植物以外について解説する。

第10回　油量用・工業用植物の多様性（授業形式：講義）

予習内容：油量用・工業用に用いられる植物の遺伝資源について調べておく
予習時間：30分
復習内容：油量用および工業用に用いられる遺伝資源植物について項目（探索・収集・保存）ごとに事例をまとめておく
復習時間：60分
資源植物を加工原料、工業用原料に利用されるものは多く、その利用方法もさまざまである。現在油糧用および工業用原料として利用される植物について解説する。

第11回　薬用・有毒植物の多様性（授業形式：講義）

予習内容：薬用・有毒植物に用いられる遺伝資源植物について調べておく
予習時間：30分
復習内容：薬用・有毒植物として用いられている遺伝資源植物について項目（探索・収集・保存）ごとに事例をまとめておく
復習時間：60分
現在、資源植物の中でもその利用目的として広範囲に探索・収集されている薬用・医薬品用の植物について詳しく解説する。

第12回　鑑賞植物の多様性（授業形式：講義）

予習内容：観賞用として用いられる花き類の遺伝資源について調べておく
予習時間：30分
復習内容：観賞用として用いられている花き類の遺伝資源植物について項目（探索・収集・保存）ごとに事例をまとめておく
復習時間：60分
資源植物を利用した鑑賞植物は主に、花卉類が多い。これまでに多くの資源植物が観賞用として利用されてきたことについて解説をする。

第13回　森林資源植物の多様性（授業形式：講義）

予習内容：近年，バイオマスとして用いられている森林資源植物について調べておく
予習時間：30分
復習内容：植物バイオマスとして利用されている森林資源植物の探索方法や利用方法についてまとめ，今後の応用について考察する
復習時間：60分
植物バイオマスとして近年注目される樹木について、その遺伝資源としての価値や今後の利用方法などについて最近の研究結果を交えながら解説する。

第14回　資源植物と遺伝子組換え植物（授業形式：講義）

予習内容：遺伝子組換え農産物について、種類や栽培方法，輸出入量について調べておく
予習時間：30分
復習内容：現在NPBTで問題になっている技術を調べ，考察する。理解力テストについて、解答できなかった問題について復習しておく。
復習時間：60分
これまでに解説してきた遺伝資源としての植物と遺伝子組換え植物に関する問題点や、今後の利用について解説する。
これまでの内容について理解力テスト（小テスト）を行う。

第15回　資源植物に関する将来展望（授業形式：講義）

予習内容：これまでに学修した内容を振り返り、遺伝資源の利用と利益の再分配について再度確認しておく
予習時間：30分
復習内容：多くの遺伝資源植物が現在どのように利用され、今後利用される可能性のある遺伝資源について考察する
復習時間：60分
多くの植物が遺伝資源として探索され、収集・利用されてきた。遺伝資源を保有するものと、利用するものの利害関係をどのように解決するのか。現在の動向を把握し、将来の展望について解説を行う。
理解力テストの解説を行う。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**疫学論**						
英文名　：	Epidemiology						
担当者　：	栗原　新						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：	令和元年度～令和4年度入学生対象科目						

■授業概要

抗生物質・ワクチンにより感染症の多くは制御され、人類の平均寿命はおよそ2倍に延伸しました。これに伴い健康問題は感染症から生活習慣病へと大きく変貌したと考えられていましたが、2020年から始まった新型コロナ感染症のパンデミックは依然として人類の社会は感染症に対して脆弱であることを思い知らせるものでした。
慢性疾患である生活習慣病の発症要因は食生活・遺伝的要因・腸内細菌叢の違いなど多岐にわたるために、完全には明らかとされておらず、集団を扱う「疫学」がそのメカニズムを解明し予防法を開発するための重要なツールとなります。さらに、制御されたかに思えた感染症も衛生意識の低下や抗生物質耐性菌などの問題により、しばしば健康問題を引き起こします。これらの健康問題について因果関係を解明するためにも「疫学」が重要なツールとなります。
この授業では、現代の健康問題を正確にとらえ、科学的に実践していくためのツールとしての疫学を学びます。毎回、学習内容の理解度を測り授業へとフィードバックする目的で、小テストを課し、その得点を成績評価に加えます。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

疫学の考え方や疫学の方法論を基本的に学習したうえで、具体的内容として健康に影響を及ぼす様々な疫学的要因と疾病予防対策の現状が理解できるようになる。将来、食品安全専門職としての基礎的および正確な知識が身につき、個人の生活においても実践できるようになる。この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー 3の達成に主体的に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 70%
小テスト 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

小テストの解説を授業毎に行います。試験終了後（試験期間終了後）に解答を配布します。

■教科書

【留意事項】特になし、講義内容の抄録と関連資料を配付します。

■参考文献

[ISBN]9784582513356 『10万個の子宮:あの激しいけいれんは子宮頸がんワクチンの副反応なのか』 (村中 璃子, 平凡社 : 2018)

■関連科目

公衆衛生学、食品衛生管理学、食品機能統計学

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

栗原研究室（東1号館5階513）・skurihara@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜日３限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　疫学の基礎理論（授業形式：講義）

予習内容：初回につき、必要なし。
復習内容：小テストに向けて、ノートを復習する。
復習時間：60分
疫学とは？

第2回　疫学的方法論（1）（授業形式：講義）

予習内容：事前配布資料を通読する。
予習時間：30分
復習内容：小テストに向けて、ノートを復習する。
復習時間：60分
記述疫学、サンプリング

第3回　疫学的方法論（2）（授業形式：講義）

予習内容：事前配布資料を通読する。
予習時間：30分
復習内容：小テストに向けて、ノートを復習する。
復習時間：60分
横断研究、関連の方向

第4回　疫学的方法論（3）（授業形式：講義）

予習内容：事前配布資料を通読する。
予習時間：30分
復習内容：小テストに向けて、ノートを復習する。
復習時間：60分
コホート研究、症例対照研究

第5回　疫学的方法論（4）（授業形式：講義）

予習内容：事前配布資料を通読する。
予習時間：30分
復習内容：小テストに向けて、ノートを復習する。
復習時間：60分
介入研究、ランダム化比較試験

第6回　疫学的方法論（5）（授業形式：講義）

予習内容：事前配布資料を通読する。
予習時間：30分
復習内容：小テストに向けて、ノートを復習する。
復習時間：60分
システマティックレヴュー、疫学的手法の比較

第7回　感染症の疫学（1）（授業形式：講義）

予習内容：事前配布資料を通読する。
予習時間：30分
復習内容：小テストに向けて、ノートを復習する。
復習時間：60分
食中毒について

第8回　感染症の疫学（2）（授業形式：講義）

予習内容：事前配布資料を通読する。
予習時間：30分
復習内容：小テストに向けて、ノートを復習する。
復習時間：60分
インフルエンザについて

第9回　生活習慣病の疫学（1）（授業形式：講義）

予習内容：事前配布資料を通読する。

予習時間：30分
復習内容：小テストに向けて、ノートを復習する。
復習時間：60分
ガンについて

第10回　生活習慣病の疫学（2）（授業形式：講義）

予習内容：事前配布資料を通読する。
予習時間：30分
復習内容：小テストに向けて、ノートを復習する。
復習時間：60分
糖尿病、骨粗鬆症について

第11回　分子疫学（1）（授業形式：講義）

予習内容：事前配布資料を通読する。
予習時間：30分
復習内容：小テストに向けて、ノートを復習する。
復習時間：60分
分子疫学を理解するための基礎知識

第12回　分子疫学（2）（授業形式：講義）

予習内容：事前配布資料を通読する。
予習時間：30分
復習内容：小テストに向けて、ノートを復習する。
復習時間：60分
分子疫学について

第13回　腸内細菌と疫学（1）（授業形式：講義）

予習内容：事前配布資料を通読する。
予習時間：30分
復習内容：小テストに向けて、ノートを復習する。
復習時間：60分
腸内細菌とは？

第14回　腸内細菌と疫学（2）（授業形式：講義）

予習内容：事前配布資料を通読する。
予習時間：30分
復習内容：小テストに向けて、ノートを復習する。
復習時間：60分
腸内細菌と疾患との関連

第15回　腸内細菌と疫学（3）（授業形式：講義）

予習内容：事前配布資料を通読する。
予習時間：30分
復習内容：小テストに向けて、ノートを復習する。
復習時間：90分
腸内細菌と健康との関連

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**応用微生物工学**						
英文名　：	Applied Microbial Technology						
担当者　：	尾﨑　嘉彦						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

本講は、微生物の代謝とそれを利用する工業的な物質生産についての知識を習得することを目的としています。紀元前の古代エジプト文明において、すでにビールパンが作られていたことが明らかにされています。我が国においても古くから日本酒や醤油を醸造するために高度な醗酵技術が用いられてきています。これらは、微生物の発見以前に確立されたものであり、微生物の存在を意識することなく、生活の知恵の一つとして伝えられてきた技術です。近代的な有機化学や生物化学の手法により、微生物の代謝の理解が進み、その制御に基づいて様々な産業技術において、微生物を利用するプロセスが用いられるようになっています。本講では、微生物の分類と生物学的な特徴、代謝の特性について学習すると共に、微生物の機能を巧みに活用することで構築されている微生物工業の実例をあげて講義します。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は微生物の代謝とそれを利用する物質生産についての知識を習得します。
受講者は講義で紹介する工業化されている実例を通じて、微生物を利用する産業技術の原理を理解します。
この科目の修得は、食品安全工学科が定めるディプロマポリシー4の達成に関与します。

■成績評価方法および基準

定期テスト 60%
講義内での小テスト（2回） 40%

■試験・課題に対するフィードバック方法

講義内課題は講義時間内に逐次解説を行います。
定期試験は試験期間終了後に「試験の要点と解説」をGoogleclassroomを通じて配信します。

■教科書

[ISBN]9784563077075 『応用微生物学』 (培風館：1993)
その他予習復習用の資料として、講義スライドのハンドアウトを配付する。

■参考文献

[ISBN]9784807916764 『食品微生物学 (新スタンダード栄養・食物シリーズ)』 (東京化学同人：2015)
[ISBN]9784063521061 『もやしもん(1) (イブニングKC)』 (石川 雅之, 講談社：2005)
～ [ISBN]9784063883060 『もやしもん(13)<完> (モーニング KC)』 (石川 雅之, 講談社：2014)
[ISBN]9784759811049 『微生物学 (基礎生物学テキストシリーズ 4)』 (青木 健次, 化学同人：2007)

■関連科目

生化学Ⅱ、食品微生物学

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

尾﨑研究室（西1号館1階153）・ozaki@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜・3限（その他随時、Slack又はメールでアポイントメントをお願いします）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回の講義の冒頭で、講義の進め方の説明、学修方法のアドバイス等を行いますので、単位取得希望者は必ず第1回の講義に出席して下さい。

第1回　微生物の分類上の位置づけ（授業形式: 講義）

予習内容：教科書p1-16に目を通して、疑問点を抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：一般的な生物と比較して、微生物の特徴を整理すると共に、講義で述べる科学史上の重要なできごととその意義を整理し、人類が微生物をどのように認識し、利用するようになったか理解を深めること。
復習時間：90分

第2回　微生物細胞の構造と機能（授業形式: 講義）

予習内容：教科書p17-39に目を通して、疑問点を抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：微生物細胞の形態および生化学的特徴に基づく分類と遺伝子型に基づく分類の相違点、主な微生物の種について、整理しておくこと。
復習時間：90分

第3回　微生物の生育環境と代謝（授業形式: 講義）

予習内容：教科書p39-46に目を通して、疑問点を抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：微生物の増殖速度の測定方法および増殖に影響を及ぼす環境要因が微生物の成育の抑制や特定の機能をもった微生物の選抜にどのように活用されているのか整理しておくこと。
復習時間：90分

第4回　有用微生物の選抜と改良（授業形式: 講義）

予習内容：教科書p46-70に目を通して、疑問点を抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：講義の中で取り上げる微生物の選抜の事例で行われている選抜の効率化のための工夫について、その仕組みを整理しておくこと。
復習時間：60分

第5回　有用微生物の培養と菌株の保存（授業形式: 講義）

予習内容：教科書p48-52,p103-106に目を通して、疑問点など抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：目的の微生物の培養の最適化のために検討される諸条件と培養条件により変化する微生物の代謝について整理しておくこと。
復習時間：90分

第6回　アルコール発酵とその利用（授業形式: 講義）

予習内容：教科書p71-74,p161-168に目を通して、疑問点など抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：グルコースからエタノールまでの代謝経路また、工業的なエタノール生産について主要な原料とその工程について整理しておくこと。
復習時間：60分

第7回　有機酸醗酵とその利用（授業形式: 講義）

予習内容：教科書p76-78,p169-175に目を通して、疑問点など抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：グルコースから主要な有機酸までの代謝経路また、工業的な有機酸生産について使用される微生物と効率的な生産のために行われている工程の特徴を整理しておくこと。
復習時間：60分

第8回　代謝制御発酵による物質生産　その1（アミノ酸醗酵）（授業形式: 講義）

予習内容：教科書p175-191に目を通して、疑問点など抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：アミノ酸生合成の調節機構とその機構をかいくぐり大量のアミノ酸を合成させる仕組みについて、講義で取り上げる

類型ごとに整理すること。
復習時間：120分

第9回　代謝制御発酵による物質生産　その2（核酸醗酵）（授業形式: 講義）

予習内容：教科書p193-201に目を通して、疑問点など抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：核酸生合成の経路および調節機構とその機構をかいくぐり大量の核酸関連物質を合成させる仕組みについて、講義で取り上げる類型ごとに整理すること。
復習時間：120分

第10回　抗生物質・生理活性物質の生産（授業形式: 講義）

予習内容：教科書p208-223に目を通して、疑問点など抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：主要抗生物質について、構造上の特徴と作用機作、抗菌スペクトルについて整理しておくこと。
復習時間：60分

第11回　酵素の生産（授業形式: 講義）

予習内容：教科書p262-273に目を通して、疑問点など抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：講義で紹介する酵素を利用した有用物質の生産プロセスについて、使用される酵素の特徴、反応機構を整理しておくこと。
復習時間：60分

第12回　多糖類の生産（授業形式: 講義）

予習内容：教科書p242-249に目を通して、疑問点など抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：醗酵生産で得られる主要な多糖類について、生産する微生物と構造上の特徴、機能・特性と利用分野について整理しておくこと
復習時間：60分

第13回　醸造食品の生産　その1（酒類）（授業形式: 講義）

予習内容：教科書p110-125に目を通して、疑問点など抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：講義で取り上げる酒類について、グルコースの供給方法に着目して整理を行うこと。さらに、醸造酒とそれぞれから派生する蒸留酒の関係を整理しておくこと。
復習時間：60分

第14回　醸造食品の生産　その2（酒類以外）（授業形式: 講義）

予習内容：教科書p125-137に目を通して、疑問点など抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：講義で取り上げる醸造食品について、関与する微生物の特徴と、微生物の作用による物質変換について整理すること。
復習時間：90分

第15回　微生物による環境中での物質循環とバイオレメディエーション（授業形式: 講義）

予習内容：教科書p282-302に目を通して、疑問点など抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：炭素、窒素、イオウ、りんの地球規模での循環に果たしている微生物の役割について整理しておくこと。また、環境保全の目的で利用される微生物の特徴と物質変換の主な仕組みについて整理しておくこと。
復習時間：60分

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**化学 I**						
英文名　：	Chemistry 1						
担当者　：	櫻井　一正						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：	生物工学科、食品安全工学科、生命情報工学科、人間環境デザイン工学科、医用工学科開講科目						

■授業概要

化学とは、物質の性質や変化を理解するための考え方をまとめたものである。化学の考え方は、新たな材料や薬品の合成法の開発、およびDNAの複製や酵素反応といった生物現象の理解まで広く利用することができる。そのための第一歩として、化学Ｉでは高校化学で習った内容を復習し、今後の関連する科目に必要な知識を固める。また、授業中では演習問題を多く取り入れ、授業内容の理解を進める。中間テストと期末テストを行い､受講者が授業内容の復習と理解をすることを図る。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

1）高校化学の範囲を復習し、基礎を固める
2）モル数や濃度、pHなどの化学の基本概念をマスターする
3）化学結合の機構を知り、分子構造を視覚的、立体的に理解する

■成績評価方法および基準

定期試験 40%
中間テスト 40%
授業中の演習 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

授業内演習や中間テストの解答と解説をGoogleクラスルームに掲載し､かつその一部を次回の授業の冒頭で説明する。

■教科書

[ISBN]9784407352481 『新編基礎化学 第2版 (専門基礎ライブラリー)』 (藤野竜也, 実教出版：2021)

■参考文献

[ISBN]9784781915289 『基礎 化学[新訂版] (新・物質科学ライブラリ 1)』 (梶原 篤, サイエンス社：2021)
[ISBN]9784785335106 『化学ギライにささげる 化学のミニマムエッセンス』 (車田 研一, 裳華房：2016)

■関連科目

化学実験、化学Ⅱ

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

櫻井　一正（高圧力蛋白質研究センター）・sakurai@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜日2限か木曜日2限
事前にEメールでアポイントをとってください

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　物質の成り立ち、化学の計算（授業形式：講義）

予習内容：Universal Passportで公開している授業スライドと、指定教科書の講義内容に該当するページを読み、内容を予習しておく
予習時間：20分
復習内容：授業時間中に課された演習の解法を復習しておく
復習時間：30分

第2回　原子の構造と電子殻のエネルギー（授業形式：講義）

予習内容：授業スライドと指定教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく
予習時間：20分
復習内容：授業時間中に課された演習の解法を復習しておく
復習時間：30分

第3回　化学結合と分子の構造（授業形式：講義）

予習内容：授業スライドと指定教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく
予習時間：20分
復習内容：授業時間中に課された演習の解法を復習しておく
復習時間：30分

第4回　共有結合以外の結合（授業形式：講義）

予習内容：授業スライドと指定教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく
予習時間：20分
復習内容：授業時間中に課された演習の解法を復習しておく
復習時間：30分

第5回　物質の状態と状態方程式（授業形式：講義）

予習内容：授業スライドと指定教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく
予習時間：20分
復習内容：授業時間中に課された演習の解法を復習しておく
復習時間：30分

第6回　反応熱（授業形式：講義）

予習内容：授業スライドと指定教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく
予習時間：20分
復習内容：授業時間中に課された演習の解法を復習しておく
復習時間：30分

第7回　化学平衡（授業形式：講義）

予習内容：授業スライドと指定教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく
予習時間：20分
復習内容：授業時間中に課された演習の解法を復習しておく
復習時間：30分

第8回　酸と塩基・pH（授業形式：講義）

予習内容：授業スライドと指定教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく
予習時間：20分
復習内容：授業時間中に課された演習の解法を復習しておく
復習時間：30分

第9回　酸化還元反応（授業形式：講義）

予習内容：授業スライドと指定教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく
予習時間：20分
復習内容：授業時間中に課された演習の解法を復習しておく
復習時間：30分

第10回　中間テスト（授業形式：講義）

予習内容：これまでの授業内容を予習しておく
予習時間：60分
復習内容：中間テストの問題の解法をおさらいしておく
復習時間：30分

第11回　有機化合物の様々な化学式（授業形式：講義）

予習内容：授業スライドと指定教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく
予習時間：20分
復習内容：授業時間中に課された演習の解法を復習しておく
復習時間：30分

第12回　有機化合物の命名法（授業形式：講義）

予習内容：授業スライドと指定教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく
予習時間：20分
復習内容：授業時間中に課された演習の解法を復習しておく
復習時間：30分

第13回　有機化学の反応（授業形式：講義）

予習内容：授業スライドと指定教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく
予習時間：20分
復習内容：授業時間中に課された演習の解法を復習しておく
復習時間：30分

第14回　原子軌道とエネルギー準位図（授業形式：講義）

予習内容：授業スライドと指定教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく
予習時間：20分
復習内容：授業時間中に課された演習の解法を復習しておく
復習時間：30分

第15回　共有結合、分子軌道と分子の形（授業形式：講義）

予習内容：授業スライドと指定教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく
予習時間：20分
復習内容：定期試験に向け、これまでの授業内容を復習しておく
復習時間：60分

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**化学 I**						
英文名　：	Chemistry 1						
担当者　：	藤澤　雅夫						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】金曜・4限 生物工学科、食品安全工学科、生命情報工学科、人間環境デザイン工学科、医用工学科開講科目						

■授業概要

化学は物質の本質を究明し、物質の変化と物質間の相互作用を研究する学問である。量の単位であるモルの定義を明らかにする。原子核から原子、分子、結晶までの構造論を取り扱う。物質の三態とその変化を取り扱ったあと、分析化学の基礎となるpHや酸塩基平衡を解説する。有機化合物の構造に関する知識を習得させることで、合成高分子と生体高分子の学習の基礎とする。以上の学習に有効な問題演習も取り入れる。この講義は、高校で化学の全単元を履修しなかった学生にも配慮して進める。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

原子の構造に関する基礎的事項を理解する。
電子配置の規則を説明できる。
化学結合の種類と特徴を説明できる。
物質の三態に関する基礎的事項を理解する。
酸・塩基の概念を理解する。
有機化合物の構造式を記述し、それらの構造式から化合物の性質を理解する。

■成績評価方法および基準

定期試験 85%
小テスト 15%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後（試験期間終了後）に「試験の要点と解説」をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。
小テストは終了後、「試験の要点と解説」をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■教科書

[ISBN]9784407352481 『新編基礎化学 第2版 (専門基礎ライブラリー)』 (藤野竜也, 実教出版：2021)

■参考文献

[ISBN]9784781908274 『新化学概論 (サイエンスライブラリ化学)』 (吉岡 甲子郎, サイエンス社：1997)

■関連科目

化学Ⅱ、化学実験

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

藤澤研究室（2号館5階504号室）・fujisawa@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜・1限（必ず事前にメールで予約してください。）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　イントロダクション：化学という学問
SI単位・化学に必要な最低限の数学（授業形式・講義）

予習内容：有効数字、対数・指数に関して予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、数値の取り扱い方、単位の変換について確認すること。
復習時間：90分

第2回　原子の構造（授業形式・講義）

予習内容：原子の基本構造に関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、各原子やイオンにおける陽子、中性子、電子について確認すること。
復習時間：90分

第3回　原子の電子軌道（授業形式・講義）

予習内容：電子軌道に関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、主量子数、方位量子数、磁気量子数、スピン量子数および電子配置について確認すること。
復習時間：90分

第4回　化学結合：共有結合（授業形式・講義）

予習内容：電子対に関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、混成軌道について確認すること。
復習時間：90分

第5回　化学結合：金属結合とイオン結合（授業形式・講義）

予習内容：自由電子、イオン結合の強さに関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、イオン結合性、共有結合性、結晶における充填率について確認すること
復習時間：90分

第6回　分子間力（授業形式・講義）

予習内容：極性に関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、双極子モーメントについて確認すること。
復習時間：90分

第7回　分子間相互作用（授業形式・講義）

予習内容：分子間相互作用の種類に関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、分子間にはたらく弱い力について確認すること。
復習時間：90分

第8回　物質の状態変化（授業形式・講義）

予習内容：物質がとりうる状態に関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、各状態における粒子間にはたらく力について確認すること。
復習時間：90分

第9回　気体（授業形式・講義）

予習内容：理想気体の状態方程式に関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、理想気体の状態式、実在気体の状態方程式について確認すること。

復習時間：90分

第10回　固体の構造（授業形式・講義）

予習内容：結晶格子に関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、結晶構造における密度-原子量-格子定数の関係について確認すること。
復習時間：90分

第11回　液体、溶液の濃度と溶解度（授業形式・講義）

予習内容：溶液の濃度の表し方に関連する内容を予習する。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、ある一つの溶液に対して数種以上の濃度で記述できることににについて確認すること。
復習時間：90分

第12回　化学平衡と酸・塩基（授業形式・講義）

予習内容：化学平衡と平衡定数に関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、溶液のpHを求め方について確認すること。
復習時間：90分

第13回　元素の分類と無機化合物（授業形式・講義）

予習内容：元素の分類に関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、代表的な無機化合物の性質について確認すること。
復習時間：90分

第14回　有機化合物の分類と異性体（授業形式・講義）

予習内容：有機化合物の構造の分類に関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、有機化合物の命名法について確認すること。
復習時間：90分

第15回　合成高分子と生体高分子（授業形式・講義）

予習内容：高分子化合物の構成単位に関連する項内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、高分子化合物の分子構造について確認すること。
復習時間：90分

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**化学 I**						
英文名　：	Chemistry 1						
担当者　：	藤澤　雅夫						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】木曜・5限 生物工学科、食品安全工学科、生命情報工学科、人間環境デザイン工学科、医用工学科開講科目						

■授業概要

化学は物質の本質を究明し、物質の変化と物質間の相互作用を研究する学問である。量の単位であるモルの定義を明らかにする。原子核から原子、分子、結晶までの構造論を取り扱う。物質の三態とその変化を取り扱ったあと、分析化学の基礎となるpHや酸塩基平衡を解説する。有機化合物の構造に関する知識を習得させることで、合成高分子と生体高分子の学習の基礎とする。以上の学習に有効な問題演習も取り入れる。この講義は、高校で化学の全単元を履修しなかった学生にも配慮して進める。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

原子の構造に関する基礎的事項を理解する。
電子配置の規則を説明できる。
化学結合の種類と特徴を説明できる。
物質の三態に関する基礎的事項を理解する。
酸・塩基の概念を理解する。
有機化合物の構造式を記述し、それらの構造式から化合物の性質を理解する。

■成績評価方法および基準

定期試験 85%
小テスト 15%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後（試験期間終了後）に「試験の要点と解説」をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。
小テストは終了後、「試験の要点と解説」をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■教科書

[ISBN]9784407352481 『新編基礎化学 第2版 (専門基礎ライブラリー)』 (藤野竜也, 実教出版：2021)

■参考文献

[ISBN]9784781908274 『新化学概論 (サイエンスライブラリ化学)』 (吉岡 甲子郎, サイエンス社：1997)

■関連科目

化学Ⅱ、化学実験

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

藤澤研究室（2号館5階504号室）・fujisawa@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜・1限（必ず事前にメールで予約してください。）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　イントロダクション：化学という学問
SI単位・化学に必要な最低限の数学（授業形式・講義）

予習内容：有効数字、対数・指数に関して予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、数値の取り扱い方、単位の変換について確認すること。
復習時間：90分

第2回　原子の構造（授業形式・講義）

予習内容：原子の基本構造に関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、各原子やイオンにおける陽子、中性子、電子について確認すること。
復習時間：90分

第3回　原子の電子軌道（授業形式・講義）

予習内容：電子軌道に関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、主量子数、方位量子数、磁気量子数、スピン量子数および電子配置について確認すること。
復習時間：90分

第4回　化学結合：共有結合（授業形式・講義）

予習内容：電子対に関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、混成軌道について確認すること。
復習時間：90分

第5回　化学結合：金属結合とイオン結合（授業形式・講義）

予習内容：自由電子、イオン結合の強さに関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、イオン結合性、共有結合性、結晶における充填率について確認すること
復習時間：90分

第6回　分子間力（授業形式・講義）

予習内容：極性に関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、双極子モーメントについて確認すること。
復習時間：90分

第7回　分子間相互作用（授業形式・講義）

予習内容：分子間相互作用の種類に関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、分子間にはたらく弱い力について確認すること。
復習時間：90分

第8回　物質の状態変化（授業形式・講義）

予習内容：物質がとりうる状態に関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、各状態における粒子間にはたらく力について確認すること。
復習時間：90分

第9回　気体（授業形式・講義）

予習内容：理想気体の状態方程式に関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、理想気体の状態式、実在気体の状態方程式について確認すること。

復習時間：90分

第10回　固体の構造（授業形式・講義）

予習内容：結晶格子に関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、結晶構造における密度-原子量-格子定数の関係について確認すること。
復習時間：90分

第11回　液体、溶液の濃度と溶解度（授業形式・講義）

予習内容：溶液の濃度の表し方に関連する内容を予習する。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、ある一つの溶液に対して数種以上の濃度で記述できることににについて確認すること。
復習時間：90分

第12回　化学平衡と酸・塩基（授業形式・講義）

予習内容：化学平衡と平衡定数に関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、溶液のpHを求め方について確認すること。
復習時間：90分

第13回　元素の分類と無機化合物（授業形式・講義）

予習内容：元素の分類に関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、代表的な無機化合物の性質について確認すること。
復習時間：90分

第14回　有機化合物の分類と異性体（授業形式・講義）

予習内容：有機化合物の構造の分類に関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、有機化合物の命名法について確認すること。
復習時間：90分

第15回　合成高分子と生体高分子（授業形式・講義）

予習内容：高分子化合物の構成単位に関連する項内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、高分子化合物の分子構造について確認すること。
復習時間：90分

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**化学 I**						
英文名　：	Chemistry 1						
担当者　：	藤澤　雅夫						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】水曜・3限 生物工学科、食品安全工学科、生命情報工学科、人間環境デザイン工学科、医用工学科開講科目						

■授業概要

化学は物質の本質を究明し、物質の変化と物質間の相互作用を研究する学問である。量の単位であるモルの定義を明らかにする。原子核から原子、分子、結晶までの構造論を取り扱う。物質の三態とその変化を取り扱ったあと、分析化学の基礎となるpHや酸塩基平衡を解説する。有機化合物の構造に関する知識を習得させることで、合成高分子と生体高分子の学習の基礎とする。以上の学習に有効な問題演習も取り入れる。この講義は、高校で化学の全単元を履修しなかった学生にも配慮して進める。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

原子の構造に関する基礎的事項を理解する。
電子配置の規則を説明できる。
化学結合の種類と特徴を説明できる。
物質の三態に関する基礎的事項を理解する。
酸・塩基の概念を理解する。
有機化合物の構造式を記述し、それらの構造式から化合物の性質を理解する。

■成績評価方法および基準

定期試験 85%
小テスト 15%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後（試験期間終了後）に「試験の要点と解説」をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。
小テストは終了後、「試験の要点と解説」をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■教科書

[ISBN]9784407352481 『新編基礎化学 第2版 (専門基礎ライブラリー)』 (藤野竜也, 実教出版：2021)

■参考文献

[ISBN]9784781908274 『新化学概論 (サイエンスライブラリ化学)』 (吉岡 甲子郎, サイエンス社：1997)

■関連科目

化学Ⅱ、化学実験

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

藤澤研究室（2号館5階504号室）・fujisawa@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜・1限（必ず事前にメールで予約してください。）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　イントロダクション：化学という学問
SI単位・化学に必要な最低限の数学（授業形式・講義）

予習内容：有効数字、対数・指数に関して予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、数値の取り扱い方、単位の変換について確認すること。
復習時間：90分

第2回　原子の構造（授業形式・講義）

予習内容：原子の基本構造に関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、各原子やイオンにおける陽子、中性子、電子について確認すること。
復習時間：90分

第3回　原子の電子軌道（授業形式・講義）

予習内容：電子軌道に関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、主量子数、方位量子数、磁気量子数、スピン量子数および電子配置について確認すること。
復習時間：90分

第4回　化学結合：共有結合（授業形式・講義）

予習内容：電子対に関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、混成軌道について確認すること。
復習時間：90分

第5回　化学結合：金属結合とイオン結合（授業形式・講義）

予習内容：自由電子、イオン結合の強さに関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、イオン結合性、共有結合性、結晶における充填率について確認すること
復習時間：90分

第6回　分子間力（授業形式・講義）

予習内容：極性に関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、双極子モーメントについて確認すること。
復習時間：90分

第7回　分子間相互作用（授業形式・講義）

予習内容：分子間相互作用の種類に関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、分子間にはたらく弱い力について確認すること。
復習時間：90分

第8回　物質の状態変化（授業形式・講義）

予習内容：物質がとりうる状態に関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、各状態における粒子間にはたらく力について確認すること。
復習時間：90分

第9回　気体（授業形式・講義）

予習内容：理想気体の状態方程式に関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、理想気体の状態式、実在気体の状態方程式について確認すること。

復習時間：90分

第10回　固体の構造（授業形式・講義）

予習内容：結晶格子に関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、結晶構造における密度-原子量-格子定数の関係について確認すること。
復習時間：90分

第11回　液体、溶液の濃度と溶解度（授業形式・講義）

予習内容：溶液の濃度の表し方に関連する内容を予習する。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、ある一つの溶液に対して数種以上の濃度で記述できることににについて確認すること。
復習時間：90分

第12回　化学平衡と酸・塩基（授業形式・講義）

予習内容：化学平衡と平衡定数に関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、溶液のpHを求め方について確認すること。
復習時間：90分

第13回　元素の分類と無機化合物（授業形式・講義）

予習内容：元素の分類に関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、代表的な無機化合物の性質について確認すること。
復習時間：90分

第14回　有機化合物の分類と異性体（授業形式・講義）

予習内容：有機化合物の構造の分類に関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、有機化合物の命名法について確認すること。
復習時間：90分

第15回　合成高分子と生体高分子（授業形式・講義）

予習内容：高分子化合物の構成単位に関連する項内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、高分子化合物の分子構造について確認すること。
復習時間：90分

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**化学Ⅱ**						
英文名　：	Chemistry 2						
担当者　：	櫻井　一正						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

化学とは、物質の性質や変化を理解するための考え方をまとめたものである。化学の考え方は、新たな材料や薬品の合成法の開発、およびDNAの複製や酵素反応といった生物現象の理解まで広く利用することができる。化学Ⅱではよく耳にする「エネルギー」の正体が、分子や原子の振る舞いであることを理解する。そして化学反応の進行方向や物質の状態がどのように決められるのかを､エネルギーの考え方に基づき理解する。期間中3回程度小テストを課し、授業内容の理解を深める。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

1）「エネルギー」とは「モノ」ではなく「概念」であることを理解する
2）エントロピー最大の点が化学平衡点であるという概念を理解する
3）化学反応や化学平衡の方向を知るための具体的な計算方法を理解する

■成績評価方法および基準

定期試験 30%
小テスト 40%
授業中宿題課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

小テストや授業中演習の解答と解説をGoogleクラスルームに掲載し､かつその一部を授業中に説明する。

■教科書

[ISBN]9784781915289 『基礎 化学[新訂版] (新・物質科学ライブラリ 1)』 (梶原 篤, サイエンス社：2021)

■参考文献

[ISBN]9784781913179 『基礎 化学演習 (新・演習物質科学ライブラリ)』 (梶原 篤, サイエンス社：2013)
[ISBN]9784407352481 『新編基礎化学 第2版 (専門基礎ライブラリー)』 (藤野竜也, 実教出版：2021)
[ISBN]9784807907038 『生命科学系のための基礎化学 (CatchUP)』 (Mitch Fry, 東京化学同人：2009)
[ISBN]9784152090072 『万物を駆動する四つの法則―科学の基本、熱力学を究める』 (ピーター アトキンス, 早川書房：2009)

■関連科目

化学Ⅰ、化学実験

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

櫻井　一正（高圧力蛋白質研究センター）・sakurai@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜日2限か木曜日2限
事前にEメールでアポイントをとってください

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　物理量、状態量とSI単位系（授業形式：講義）

予習内容：Googleクラスルームで公開している授業スライドと、指定教科書の講義内容に該当するページを読み、内容を予習しておく
予習時間：20分
復習内容：授業時間内で課された宿題
復習時間：30分

第2回　物質の状態とエネルギー準位（授業形式：講義）

予習内容：授業スライドと教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく
予習時間：20分
復習内容：授業時間内で課された宿題
復習時間：30分

第3回　化学ポテンシャル（授業形式：講義）

予習内容：授業スライドと教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく
予習時間：20分
復習内容：授業時間内で課された宿題
復習時間：30分

第4回　混合溶液の状態図（授業形式：講義）

予習内容：授業スライドと教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく
予習時間：20分
復習内容：授業時間内で課された宿題
復習時間：30分

第5回　束一的性質（授業形式：講義）

予習内容：授業スライドと教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく
予習時間：20分
復習内容：授業時間内で課された宿題
復習時間：30分

第6回　第1回小テスト　および　エンタルピーと熱力学第一法則（授業形式：講義）

予習内容：これまでの授業内容をおさらいしておく
予習時間：60分
復習内容：授業時間内で課された宿題
復習時間：30分

第7回　エンタルピーの温度依存性（授業形式：講義）

予習内容：授業スライドと教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく
予習時間：20分
復習内容：授業時間内で課された宿題
復習時間：30分

第8回　エントロピーと熱力学第二法則（授業形式：講義）

予習内容：授業スライドと教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく
予習時間：20分
復習内容：授業時間内で課された宿題
復習時間：30分

第9回　ギブスエネルギーと化学平衡（授業形式：講義）

予習内容：授業スライドと教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく
予習時間：20分
復習内容：授業時間内で課された宿題
復習時間：30分

第10回　ギブスエネルギーの温度依存性（授業形式：講義）

予習内容：授業スライドと教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく
予習時間：20分

復習内容：授業時間内で課された宿題
復習時間：30分

第11回　第2回小テスト　および　反応速度論の考え方（授業形式：講義）

予習内容：これまでの授業内容をおさらいしておく
予習時間：60分
復習内容：授業時間内で課された宿題
復習時間：30分

第12回　反応次数と反応機構の決定方法（授業形式：講義）

予習内容：授業スライドと教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく
予習時間：20分
復習内容：授業時間内で課された宿題
復習時間：30分

第13回　可逆反応、逐次反応の速度式の導出（授業形式：講義）

予習内容：授業スライドと教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく
予習時間：20分
復習内容：授業時間内で課された宿題
復習時間：30分

第14回　反応速度の温度依存性（授業形式：講義）

予習内容：授業スライドと教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく
予習時間：20分
復習内容：授業時間内で課された宿題
復習時間：30分

第15回　第3回小テスト　および　授業内容の総括（授業形式：講義）

予習内容：これまでの授業内容をおさらいしておく
予習時間：60分
復習内容：定期試験に向け、これまでの演習問題の解法のおさらいをする
復習時間：30分

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**化学Ⅱ**						
英文名 ：	Chemistry 2						
担当者 ：	藤澤　雅夫						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】火曜3限						

■授業概要

化学は物質の本質を究明し、物質の変化と物質間の相互作用を研究する学問であり、物質を扱う他の科目の基礎となる。化学Ⅱでは分子構造、化学変化や分子間相互作用などの内容を理解することを目的とする。はじめに、初歩的な量子論を用いて原子の構造を解説する。エントロピー、ギブスエネルギーについて詳しく解説したのち、熱力学に基づいて化学平衡を説明する．また生物学的な系での平衡、物理的平衡なども解説する．そして順次、反応速度論、有機化学、立体異性、高分子および生化学に関する基礎的な問題を扱う。以上の学習に有効な問題演習も取り入れる。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

水素原子の波動関数が3種類の量子数によって規定されることを理解できる。
平衡論、熱力学と反応速度の基礎的概念を理解できる。
結合状態と混成軌道など、化合物の構造と異性体の種類を理解できる。
構造式から立体分子構造をイメージできる。

■成績評価方法および基準

定期試験 85%
小テスト 15%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後（試験期間終了後）に「試験の要点と解説」をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。
小テストは終了後、「試験の要点と解説」をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■教科書

[ISBN]9784781908274 『新化学概論 (サイエンスライブラリ化学)』 (吉岡 甲子郎, サイエンス社：1997)

■参考文献

[ISBN]9784807905089 『物理化学―分子論的アプローチ〈上〉』 (D.A. マッカーリ, 東京化学同人：1999)
[ISBN]9784807905096 『物理化学―分子論的アプローチ〈下〉』 (マッカーリ, 東京化学同人：2000)
[ISBN]9784563045876 『ハート基礎有機化学』 (ハロルド ハート, 培風館：2002)

■関連科目

化学Ⅰ、化学実験

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

藤澤研究室（2号館5階504号室）・fujisawa@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜・1限（必ず事前にメールで予約してください。）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　化学結合、分子の構造と分子間力(授業形式・講義)

予習内容：化学結合の種類と分子構造との関連性を予習する。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、電子構造と分子の形について確認すること。
復習時間：90分

第2回　物質の三態(授業形式・講義)

予習内容：気体、液体、気体それぞれの特徴に関連する内容を予習する。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、三態それぞれにおける粒子間にはらたく力の様子について確認すること。
復習時間：90分

第3回　溶液の濃度(授業形式・講義)

予習内容：溶解現象に関連する内容を予習する。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、溶液が種々の濃度であらわされることについて確認すること。
復習時間：90分

第4回　希薄溶液の諸法則(授業形式・講義)

予習内容：固体、気体の溶解度に関連する内容を予習する。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、Henryの法則、Raoultの法則、束一性について確認すること。
復習時間：90分

第5回　相平衡(授業形式・講義)

予習内容：系の平衡状態が、温度、圧力、組成などによって決まることを予習する。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、相の数と自由度の関係について確認すること。
復習時間：90分

第6回　熱力学第一法則と熱化学(授業形式・講義)

予習内容：外界-系間の、物質、エネルギーの出入りの有無で、系が分類されることを予習する。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、エンタルピーと熱容量について確認すること。
復習時間：90分

第7回　熱力学第二法則とエントロピー(授業形式・講義)

予習内容：熱力学的温度に関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、エンタルピーと熱容量について確認すること。
復習時間：90分

第8回　エントロピーのもうひとつの意味(授業形式・講義)

予習内容：ボルツマン定数に関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、エンタルピーと熱容量について確認すること。
復習時間：90分

第9回　化学平衡(授業形式・講義)

予習内容：質量作用の法則に関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、平衡定数の算出方法について確認すること。
復習時間：90分

第10回　物質変化の方向：ギブスエネルギー(授業形式・講義)

予習内容：定温・定圧過程に関連する内容を予習すること。

予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、ギブスエネルギーの変化量の算出方法について確認すること
復習時間：90分

第11回　電離平衡(授業形式・講義)

予習内容：pHの定義、水のイオン積に関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、電離定数と電離度の関係、緩衝作用のしくみについて確認すること。
復習時間：90分

第12回　化学反応速度と反応次数(授業形式・講義)

予習内容：反応次数の定義に関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、一次反応、二次反応におけるそれぞれの半減期との関係について確認すること。
復習時間：90分

第13回　反応速度と温度(授業形式・講義)

予習内容：活性化エネルギーに関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって温度の上昇が反応速度に与える影響について確認すること。
復習時間：90分

第14回　有機化合物：構造異性、配座異性、幾何異性と立体異性(授業形式・講義)

予習内容：異性体の種類に関連する内容を予習こと。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、異性体の数について確認すること。
復習時間：90分

第15回　合成高分子・生体高分子の構造と分子間相互作用(授業形式・講義)

予習内容：高分子の構造に関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、コンフィグレーションとコンフォメーションについて確認すること。
復習時間：90分

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**化学Ⅱ**						
英文名　：	Chemistry 2						
担当者　：	藤澤　雅夫						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】水曜2限						

■授業概要

化学は物質の本質を究明し、物質の変化と物質間の相互作用を研究する学問であり、物質を扱う他の科目の基礎となる。化学Ⅱでは分子構造、化学変化や分子間相互作用などの内容を理解することを目的とする。はじめに、初歩的な量子論を用いて原子の構造を解説する。エントロピー、ギブスエネルギーについて詳しく解説したのち、熱力学に基づいて化学平衡を説明する．また生物学的な系での平衡、物理的平衡なども解説する．そして順次、反応速度論、有機化学、立体異性、高分子および生化学に関する基礎的な問題を扱う。以上の学習に有効な問題演習も取り入れる。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

水素原子の波動関数が3種類の量子数によって規定されることを理解できる。
平衡論、熱力学と反応速度の基礎的概念を理解できる。
結合状態と混成軌道など、化合物の構造と異性体の種類を理解できる。
構造式から立体分子構造をイメージできる。

■成績評価方法および基準

定期試験 85%
小テスト 15%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後（試験期間終了後）に「試験の要点と解説」をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。
小テストは終了後、「試験の要点と解説」をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■教科書

[ISBN]9784781908274 『新化学概論 (サイエンスライブラリ化学)』 (吉岡 甲子郎, サイエンス社：1997)

■参考文献

[ISBN]9784807905089 『物理化学―分子論的アプローチ〈上〉』 (D.A. マッカーリ, 東京化学同人：1999)
[ISBN]9784807905096 『物理化学―分子論的アプローチ〈下〉』 (マッカーリ, 東京化学同人：2000)
[ISBN]9784563045876 『ハート基礎有機化学』 (ハロルド ハート, 培風館：2002)

■関連科目

化学Ⅰ、化学実験

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

藤澤研究室（2号館5階504号室）・fujisawa@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜・1限（必ず事前にメールで予約してください。）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　化学結合、分子の構造と分子間力(授業形式・講義)

予習内容：化学結合の種類と分子構造との関連性を予習する。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、電子構造と分子の形について確認すること。
復習時間：90分

第2回　物質の三態(授業形式・講義)

予習内容：気体、液体、気体それぞれの特徴に関連する内容を予習する。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、三態それぞれにおける粒子間にはらたく力の様子について確認すること。
復習時間：90分

第3回　溶液の濃度(授業形式・講義)

予習内容：溶解現象に関連する内容を予習する。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、溶液が種々の濃度であらわされることについて確認すること。
復習時間：90分

第4回　希薄溶液の諸法則(授業形式・講義)

予習内容：固体、気体の溶解度に関連する内容を予習する。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、Henryの法則、Raoultの法則、束一性について確認すること。
復習時間：90分

第5回　相平衡(授業形式・講義)

予習内容：系の平衡状態が、温度、圧力、組成などによって決まることを予習する。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、相の数と自由度の関係について確認すること。
復習時間：90分

第6回　熱力学第一法則と熱化学(授業形式・講義)

予習内容：外界-系間の、物質、エネルギーの出入りの有無で、系が分類されることを予習する。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、エンタルピーと熱容量について確認すること。
復習時間：90分

第7回　熱力学第二法則とエントロピー(授業形式・講義)

予習内容：熱力学的温度に関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、エンタルピーと熱容量について確認すること。
復習時間：90分

第8回　エントロピーのもうひとつの意味(授業形式・講義)

予習内容：ボルツマン定数に関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、エンタルピーと熱容量について確認すること。
復習時間：90分

第9回　化学平衡(授業形式・講義)

予習内容：質量作用の法則に関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、平衡定数の算出方法について確認すること。
復習時間：90分

第10回　物質変化の方向：ギブスエネルギー(授業形式・講義)

予習内容：定温・定圧過程に関連する内容を予習すること。

予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、ギブスエネルギーの変化量の算出方法について確認すること
復習時間：90分

第11回　電離平衡(授業形式・講義)

予習内容：pHの定義、水のイオン積に関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、電離定数と電離度の関係、緩衝作用のしくみについて確認すること。
復習時間：90分

第12回　化学反応速度と反応次数(授業形式・講義)

予習内容：反応次数の定義に関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、一次反応、二次反応におけるそれぞれの半減期との関係について確認すること。
復習時間：90分

第13回　反応速度と温度(授業形式・講義)

予習内容：活性化エネルギーに関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって温度の上昇が反応速度に与える影響について確認すること。
復習時間：90分

第14回　有機化合物：構造異性、配座異性、幾何異性と立体異性(授業形式・講義)

予習内容：異性体の種類に関連する内容を予習こと。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、異性体の数について確認すること。
復習時間：90分

第15回　合成高分子・生体高分子の構造と分子間相互作用(授業形式・講義)

予習内容：高分子の構造に関連する内容を予習すること。
予習時間：90分
復習内容：教員が授業中に説明した演習問題を、自分で解くことによって、コンフィグレーションとコンフォメーションについて確認すること。
復習時間：90分

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**科学情報の検索法**						
英文名　：	Methods for Retrieving Scientific Information						
担当者　：	栗原　新						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

現代はインターネット上に様々な科学情報が日々蓄積され、意欲さえあればほとんどの情報に到達できます。一方で現代社会には様々な虚偽情報も溢れ、情報の海から適切なものを取捨選択する技術が強く求められています。この講義では疫学情報をはじめとした様々な科学情報をインターネット上から検索し、適切に評価するための技術を学びます。新型コロナウィルスによるパンデミックをはじめとした様々な新規な健康に関する情報が交錯する中、比較的信ぴょう性の高い政府機関が提供するデータ、査読付き学術論文の検索法を学ぶとともに、その信頼度の高低について基本的な疫学・統計の技術を駆使して評価するための技術を学びます。
この授業では、学習内容の理解度を測り授業へとフィードバックする目的で、毎回小テストを課し、その得点を成績評価に加えます。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

科学情報の検索法について主に疫学的な情報を題材に、検索対象の設定および検索法を学ぶとともに、基本的な疫学知識・統計技術を習得することにより得られた情報を適切に評価できるようにします。この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー1および3の達成に主体的に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 70%
小テスト 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

小テストの解説を授業毎に行います。試験終了後（試験期間終了後）に解答を配布します。

■教科書

【留意事項】特になし、講義内容の抄録と関連資料を配付します。
必ずノートパソコンを持参してください。

■参考文献

■関連科目

公衆衛生学、食品衛生管理学、食品機能統計学

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

栗原研究室（東1号館5階513）・skurihara@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜日３限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　科学情報を検索できると何が良いのか？（授業形式：講義）

予習内容：初回の為予習の必要なし。
復習内容：授業で紹介したWebsiteを使ってみる。
復習時間：60分

第2回　学術論文の検索（１）（授業形式：演習）

予習内容：PubMedにアクセスし興味のある物質名で文献検索をする。
予習時間：30分
復習内容：PubMedにアクセスし興味のある物質名で文献検索をする。
復習時間：60分

第3回　学術論文の検索法（２）（授業形式：演習）

予習内容：Web of Scienceにアクセスし興味のある研究者名で文献検索をする。
予習時間：30分
復習内容：Web of Scienceにアクセスし興味のある研究者名で文献検索をする。
復習時間：60分

第4回　学術論文の評価法（１）（授業形式：演習）

予習内容：PubMedで論文を3件検索し、著者数を数えてみる。
予習時間：30分
復習内容：PubMedで論文を10件検索し、筆頭著者・責任著者・最終著者のリストを作る。
復習時間：60分

第5回　学術論文の評価法（２）（授業形式：演習）

予習内容：Journal Citation Reportsにアクセスし、1つの学術雑誌のインパクトファクターを調べる。
予習時間：30分
復習内容：Journal Citation Reportsにアクセスし、5つの学術雑誌のインパクトファクターを調べる。
復習時間：60分

第6回　学術論文の評価法（３）（授業形式：演習）

予習内容：Web of Scienceにアクセスし興味のある論文1報の引用件数を調べる。
予習時間：30分
復習内容：Web of Scienceにアクセスし興味のある論文5報の引用件数を調べる。
復習時間：60分

第7回　学術論文の読み方（１）（授業形式：演習）

予習内容：PubMedにアクセスし、興味のある論文1報について概要をDeepL翻訳し内容を理解する。
予習時間：30分
復習内容：PubMedにアクセスし、興味のある論文5報について概要をDeepL翻訳し内容を理解する。
復習時間：60分

第8回　学術論文の読み方（２）（授業形式：演習）

予習内容：PubMedにアクセスし、興味のある論文1報について全文をDeepL翻訳し、内容を理解する。
予習時間：60分
復習内容：PubMedにアクセスし、興味のある論文2報について全文をDeepL翻訳し、内容を理解する。
復習時間：90分

第9回　健康に関する統計情報の検索法（１）（授業形式：演習）

予習内容：厚生労働省の人口動態調査にアクセスし、統計表のエクセルデータをダウンロードする。
予習時間：30分
復習内容：厚生労働省の人口動態調査にアクセスし、統計表のエクセルデータから興味のある項目についてグラフを作成する。
復習時間：90分

第10回　健康に関する統計情報の検索法（２）（授業形式：演習）

予習内容：厚生労働省の人口動態調査にアクセスし、死因順位のPDFデータをダウンロードする。
予習時間：30分
復習内容：厚生労働省の人口動態調査にアクセスし、死因順位のPDFデータからグラフを作成する。
復習時間：60分

第11回　基本的な疫学知識（１）（授業形式：講義）

予習内容：死亡率、致死率の違いについて調べる。

予習時間：30分
復習内容：様々な疾病における死亡率、致死率のグラフを作成する。
復習時間：60分

第12回　基本的な疫学知識（２）（授業形式：講義）

予習内容：オッズ比・リスク比について検索し、一読する。
予習時間：60分
復習内容：オッズ比・リスク比について計算ができるように資料を復習する。
復習時間：90分

第13回　基本的な疫学知識（３）（授業形式：講義）

予習内容：95%信頼区間について画像検索し、適切なwebsiteを一読する。
予習時間：30分
復習内容：95%信頼区間について計算ができるように、資料を復習する。
復習時間：60分

第14回　健康情報の評価法（１）（授業形式：演習）

予習内容：自分の興味のある健康増進物質についてweb検索する。
予習時間：30分
復習内容：授業で指示した健康増進物質の効果について現代科学の枠組みに入っているかを判断する。
復習時間：60分

第15回　健康情報の評価法（２）（授業形式：演習）

予習内容：自分の興味のある健康増進物質についてweb検索する。
予習時間：30分
復習内容：授業で指示した健康増進物質の効果について疫学的に妥当かを判断する。
復習時間：90分

定期試験

主に毎回の小テストの問題から出題する。自分で調べながら答える形式にするので、持ち込み可・対面で試験を行う。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**基礎数学**						
英文名　：	Basic Mathematics						
担当者　：	山崎　宏						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：	生物工学科、食品安全工学科開講科目 生命情報工学科・人間環境デザイン工学科・医用工学科は再履修クラス						

■授業概要

生物理工学部における専門課程の理論を学ぶために必要な数学の基礎的分野を学習する。本講義では、線形代数、微分積分についての基本概念を理解することを目標とする。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は今後修得する自然科学系の専門科目を学ぶために必要不可欠な線形代数、微分積分の基礎となる内容を学習し、基本的な考え方の理解と、実際の応用場面において、これらを利用できるようにするための計算力を身につける。
・線形代数（行列・行列式）について理解する。
・２変数関数の微分積分について理解する。

■成績評価方法および基準

定期試験 70%
問題演習・課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

問題演習・課題に関しては解答例を配布または授業内に解説を行います。

■教科書

[ISBN]9784320016835 『やさしく学べる基礎数学―線形代数・微分積分―』 (石村園子, 共立出版：2001)
必要に応じてプリントを配布します。

■参考文献

[ISBN]9784407349481 『新版線形代数 改訂版 (新版数学シリーズ)』 (岡本和夫, 実教出版：2021)
[ISBN]9784407349443 『新版微分積分II 改訂版 (新版数学シリーズ)』 (岡本和夫, 実教出版：2020)

■関連科目

微分積分学、線形代数学

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

２号館２階　講師控室　　h-yamasaki@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　ガイダンス（講義概要及び受講心得）　行列（１）(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に読む。
予習時間：30分
復習内容：講義内で解説した例題を解き直し、演習問題を解く。
復習時間：60分
行列の演算について理解する。

第2回　行列（２）(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に読む。
予習時間：30分
復習内容：講義内で解説した例題を解き直し、演習問題を解く。
復習時間：60分
逆行列について理解する。

第3回　行列（３）(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に読む。
予習時間：30分
復習内容：講義内で解説した例題を解き直し、演習問題を解く。
復習時間：60分
連立一次方程式の解法について理解する。

第4回　行列式（１）(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に読む。
予習時間：30分
復習内容：講義内で解説した例題を解き直し、演習問題を解く。
復習時間：60分
行列式、サラスの方法について理解する。

第5回　行列式（２）(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に読む。
予習時間：30分
復習内容：講義内で解説した例題を解き直し、演習問題を解く。
復習時間：60分
クラーメルの公式、余因子展開について理解する。

第6回　固有値と固有ベクトル (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に読む。
予習時間：30分
復習内容：講義内で解説した例題を解き直し、演習問題を解く。
復習時間：60分
固有値と固有ベクトルについて理解する。

第7回　行列の対角化 (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に読む。
予習時間：30分
復習内容：講義内で解説した例題を解き直し、演習問題を解く。
復習時間：60分
行列の対角化について理解する。

第8回　初等関数 (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に読む。
予習時間：30分
復習内容：講義内で解説した例題を解き直し、演習問題を解く。
復習時間：60分
三角関数、指数関数、対数関数、逆関数について理解する。

第9回　1変数関数の微分 (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に読む。
予習時間：30分
復習内容：講義内で解説した例題を解き直し、演習問題を解く。
復習時間：60分

微分係数、導関数、関数の増減について理解する。

第10回　１変数関数の積分 (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に読む。
予習時間：30分
復習内容：講義内で解説した例題を解き直し、演習問題を解く。
復習時間：60分
不定積分、定積分について理解する。

第11回　2変数関数の微分（１）(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に読む。
予習時間：30分
復習内容：講義内で解説した例題を解き直し、演習問題を解く。
復習時間：60分
偏微分、偏導関数について理解する。

第12回　2変数関数の微分（２）(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に読む。
予習時間：30分
復習内容：講義内で解説した例題を解き直し、演習問題を解く。
復習時間：60分
2変数関数の極値、鞍点、停留点について理解する。

第13回　2変数関数の積分（１）(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に読む。
予習時間：30分
復習内容：講義内で解説した例題を解き直し、演習問題を解く。
復習時間：60分
累次積分について理解する。

第14回　2変数関数の積分（２）(授業形式：演習を含む講義)

予習内容：教科書の講義内容部分を事前に読む。
予習時間：30分
復習内容：講義内で解説した例題を解き直し、演習問題を解く。
復習時間：60分
重積分について理解する。

第15回　総復習 (授業形式：演習を含む講義)

予習内容：教科書まとめの問題を事前に読む。
予習時間：30分
復習内容：講義内で解説した例題を解き直し、演習問題を解く。
復習時間：60分
これまで学んだ事項の復習を行う。

定期試験

記述試験を行います。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**機能性食品開発**						
英文名　：	Methodology of Functional Food Development						
担当者　：	尾﨑　嘉彦						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	3年次	開講期：	前期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食と健康の関わりに対する国民の関心が高まりを見せるなか、食品の機能性は既に食品の品質要因の一つとしての地位を獲得しています。本講では、2年次までに学んだ、栄養学、細胞生物学、食品化学に関する知識を前提に、食品科学と実社会の接点である機能性食品について、より専門的な立場から理解を深めることを目的としています。9回までの講義では食品の機能性の概念、法律上の定義とその位置づけなど、機能性食品についての基礎を学習した後、機能性の実証の手法、安全性の担保の手法までを含む機能性食品の基盤となる化学とバイオサイエンスについて学修します。10回から14回は、既に市販されている機能性表示食品を取り上げ、実際の製品の機能性および安全性の実証がどのような手法、論理で行われているのかを解説します。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者はこの授業を履修することによって、下記の知識を修得します。
1）食品機能性の概念、法的定義等の機能性食品について食産業に携わるものとしての基礎的知識を修得する。
2）食品機能性の背景にある物質の化学とバイオサイエンスについての理解が促進される。
3）実例の検証を通じて、機能性食品がバイオサイエンスと社会の接点の一つであることを認識し、社会における科学技術者として新たな食品を創製する姿勢を身につける。
これらは、食品安全工学科が定めるディプロマポリシー3の達成に主に関与します。

■成績評価方法および基準

定期試験 60%
小テスト（2回） 40%

■試験・課題に対するフィードバック方法

小テストの要点はクラスルームで解説します。
定期試験の要点は試験期間終了後に、クラスルームで解説します。

■教科書

[ISBN]9784810314496 『食品機能の表示と科学―機能性表示食品を理解する』 (清水俊雄, 同文書院 : 2015)
その他予習復習用の資料として、講義スライドのハンドアウトを配付する。

■参考文献

[ISBN]9784807916658 『食品学―食品成分と機能性 (新スタンダード栄養・食物シリーズ)』 (東京化学同人 : 2016)
[ISBN]9784915957482 『食品機能性の科学』 (産業技術サービスセンター : 2008)

■関連科目

食品材料学、食品分析化学、食品機能学、食品加工学

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

尾﨑研究室（西1号館1階153）・ozaki@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜・3限（その他随時、Slack又はメールでアポイントメントをお願いします）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回の講義の冒頭で、講義の進め方の説明、学修方法のアドバイス等を行いますので、単位取得希望者は必ず第1回の講義に出席して下さい。

第1回　食品機能の概念と我が国の保健機能食品制度（授業形式: 講義）

予習内容：教科書p5-10に目を通し、疑問点などを抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書および配付資料を参照し、食品の機能性の概念と科学的な物事のとらえ方について整理しておくこと。
復習時間：60分

第2回　機能性食品をめぐる法的枠組み１（栄養機能食品の概要）（授業形式: 講義）

予習内容：教科書p81-87に目を通し、疑問点などを抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書および配付資料を参照し、栄養機能食品制度のあらましと適用範囲の考え方、上限値、下限値の設定の根拠について整理しておくこと。
復習時間：90分

第3回　機能性食品をめぐる法的枠組み２　（特定保健用食品の概要）（授業形式: 講義）

予習内容：教科書p59-80に目を通し、疑問点などを抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書および配付資料を参照し、特定保健用食品制度のあらましについて整理しておくこと。
復習時間：60分

第4回　機能性食品をめぐる法的枠組み３　（機能性表示食品といわゆる健康食品）（授業形式: 講義）

予習内容：教科書p88-121に目を通し、疑問点などを抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書および配付資料を参照し、機能性表示食品制度が生まれた背景と制度のあらまし、さらに必要とされる機能性に関する科学的根拠について特定保健用食品と対比させて整理しておくこと。
復習時間：90分

第5回　食品機能性実証の方法論１　（スクリーニング対象とin vitro 系スクリーニング）（授業形式: 講義）

予習内容：教科書p11およびp51-58に目を通し、疑問点などを抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書および配付資料を参照し、食品機能性成分のスクリーニングにおける in vitro評価法のメリットとデメリットを整理しておくこと。
復習時間：60分

第6回　食品機能性実証の方法論２　（実験動物を用いる評価）（授業形式: 講義）

予習内容：教科書p11-12に目を通し、疑問点などを抜き出しておくこと。
予習時間：30分
復習内容：教科書および配付資料を参照し、食品機能性成分の有効性および安全性の検証の過程おける実験動物の利用について、そのあらましと留意点を整理しておくこと。
復習時間：90分

第7回　食品機能性実証の方法論３　（ヒト試験での機能性の評価）（授業形式: 講義）

予習内容：教科書p13-17に目を通し、疑問点などを抜き出しておくこと。
予習時間：30分
復習内容：教科書および配付資料を参照し、食品機能性の有効性および安全性の検証の過程おける観察試験および介入試験のあらましとそれらの意義について整理しておくこと。
復習時間：120分

第8回　機能性食品の安全性実証の方法論（授業形式: 講義）

予習内容：教科書p66-67およびp100-102に目を通し、疑問点などを抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書及び機能性表示食品のビジネスモデル機能性食品の安全性評価の考え方について、理解を深めると共に、講義内で例示する市販の機能性表示食品での安全性の検証について、それぞれの試験内容を確認しておくこと。
復習時間：120分

第9回　食品機能性の産業での利用と食品開発の戦略（授業形式: 講義）

予習内容：教科書p215-218に目を通し、疑問点などを抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：配付資料を参照し、例示した機能性表示食品のビジネスモデルが具体的にどのような機能性表示食品につながっているのか、各自調べておくこと。
復習時間：60分

第10回　機能性表示食品の機能性及び安全性の実証例の検証１　（お腹の調子を整えることを標榜するもの）（授業形式: 講義）

予習内容：その週に検証を行う食品機能性については、あらかじめ連絡するので、教科書p161-200の該当部分に目を通して、それぞれの機能性のメカニズムについて、あらましを予習しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：検証された機能性表示食品の有効性および安全性の根拠について、自ら消費者庁の機能性表示食品データベースを参照し、要点を整理しておくこと。
復習時間：90分
消費者庁の機能性表示食品データベースに登録されている実際の届出資料に基づいて、具体的な製品の機能性がどのように実証されているのか、またその製品の安全性がどのように担保されているのかを解説します。

第11回　機能性表示食品の機能性及び安全性の実証例の検証２　（食後血糖の上昇緩和を標榜するもの）（授業形式: 講義）

予習内容：その週に検証を行う食品機能性については、あらかじめ連絡するので、教科書p161-200の該当部分に目を通して、それぞれの機能性のメカニズムについて、あらましを予習しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：検証された機能性表示食品の有効性および安全性の根拠について、自ら消費者庁の機能性表示食品データベースを参照し、要点を整理しておくこと。
復習時間：90分
消費者庁の機能性表示食品データベースに登録されている実際の届出資料に基づいて、具体的な製品の機能性がどのように実証されているのか、またその製品の安全性がどのように担保されているのかを解説します。

第12回　機能性表示食品の機能性及び安全性の実証例の検証３　（正常血圧の維持を標榜するもの））（授業形式: 講義）

予習内容：その週に検証を行う食品機能性については、あらかじめ連絡するので、教科書p161-200の該当部分に目を通して、それぞれの機能性のメカニズムについて、あらましを予習しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：検証された機能性表示食品の有効性および安全性の根拠について、自ら消費者庁の機能性表示食品データベースを参照し、要点を整理しておくこと。
復習時間：90分
消費者庁の機能性表示食品データベースに登録されている実際の届出資料に基づいて、具体的な製品の機能性がどのように実証されているのか、またその製品の安全性がどのように担保されているのかを解説します。

第13回　機能性表示食品の機能性及び安全性の実証例の検証４　（食後中性脂肪の上昇抑制または体脂肪の減少、コレステロール値の改善を標榜するもの）（授業形式: 講義）

予習内容：その週に検証を行う食品機能性については、あらかじめ連絡するので、教科書p161-200の該当部分に目を通して、それぞれの機能性のメカニズムについて、あらましを予習しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：検証された機能性表示食品の有効性および安全性の根拠について、自ら消費者庁の機能性表示食品データベースを参照し、要点を整理しておくこと。
復習時間：90分
消費者庁の機能性表示食品データベースに登録されている実際の届出資料に基づいて、具体的な製品の機能性がどのように実証されているのか、またその製品の安全性がどのように担保されているのかを解説します。

第14回　機能性表示食品の機能性及び安全性の実証例の検証５　（骨代謝の改善を標榜するもの・記憶の精度の改善を標榜するもの）（授業形式: 講義）

予習内容：その週に検証を行う食品機能性については、あらかじめ連絡するので、教科書p161-200の該当部分に目を通して、それぞれの機能性のメカニズムについて、あらましを予習しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：検証された機能性表示食品の有効性および安全性の根拠について、自ら消費者庁の機能性表示食品データベースを参照し、要点を整理しておくこと。
復習時間：90分
消費者庁の機能性表示食品データベースに登録されている実際の届出資料に基づいて、具体的な製品の機能性がどのように実証されているのか、またその製品の安全性がどのように担保されているのかを解説します。

第15回　まとめと今後の機能性食品の開発への展望（授業形式: 講義）

予習内容：これまでの配付資料及び講義ノート、教科書を熟読し、疑問点などを抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：講義で取り上げたトピックスについて、再度の配付資料及び講義ノートを見直し、問題点の整理を行うこと。
復習時間：120分

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**公衆衛生学**						
英文名　：	Public Health						
担当者　：	栗原　新						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

人類の平均寿命は、抗生物質・ワクチンの開発によりおよそ2倍に延伸し、これに伴い健康問題は感染症から生活習慣病へと大きく変貌しました。しかし、2020年から始まった新型コロナ感染症のパンデミックは依然として人類の社会は感染症に対して脆弱であることを思い知らせるものでした。
慢性疾患である生活習慣病の発症要因は食生活・遺伝的要因・腸内細菌叢の違いなど多岐にわたります。さらに、制御されたかに思えた感染症も衛生意識の低下や抗生物質耐性菌などの問題により、しばしば健康問題を引き起こします。
この授業では、現代の健康問題を正確にとらえ、科学的に実践していくためのツールとしての「公衆衛生学」を学びます。学習内容の理解度を測り授業へとフィードバックする目的で、毎回の授業で小テストを課し、その得点の平均点を成績決定点とします。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

公衆衛生学の考え方や方法論の知識を体系的に深めることができ、具体的内容として健康に影響を及ぼす様々な疫学的要因と疾病予防対策の現状が理解できるようになり、将来、食品安全専門職としての基礎的および実践的能力が身につく。この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー 3の達成に主体的に関与しています。

■成績評価方法および基準

小テスト 30%
定期テスト 70%

■試験・課題に対するフィードバック方法

小テストの解説を授業毎に行います。小テストの終了後に解答を配布します。

■教科書

【留意事項】特になし、講義内容の抄録と関連資料を配付します。

■参考文献

[ISBN]9784582513356 『10万個の子宮:あの激しいけいれんは子宮頸がんワクチンの副反応なのか』 (村中 璃子, 平凡社：2018)
[ISBN]9784896328585 『公衆衛生がみえる 2022-2023』 (医療情報科学研究所, メディックメディア：2022)
[ISBN]9784798053233 『図解入門 よくわかる公衆衛生学の基本としくみ (メディカルサイエンスシリーズ)』 (上地 賢, 秀和システム：2018)

■関連科目

疫学論

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

栗原研究室（東1号館5階513）・skurihara@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜日１限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　公衆衛生とは？（授業形式：講義）

予習内容：初回のため特になし。
復習内容：ノート、該当部分の教科書を小テストに向けて復習する。
復習時間：60分
公衆衛生の概念と歴史、予防医学

第2回　疫学（1）（授業形式：講義）

予習内容：授業の際に指示する資料を予習する。
予習時間：30分
復習内容：ノート、該当部分の教科書を小テストに向けて復習する。
復習時間：60分
疫学とは？

第3回　疫学（2）（授業形式：講義）

予習内容：授業の際に指示する資料を予習する。
予習時間：30分
復習内容：ノート、該当部分の教科書を小テストに向けて復習する。
復習時間：60分
疫学研究の種類

第4回　疫学（3）（授業形式：講義）

予習内容：授業の際に指示する資料を予習する。
予習時間：30分
復習内容：ノート、該当部分の教科書を小テストに向けて復習する。
復習時間：60分
様々な指標と統計解析

第5回　保健医療統計（授業形式：講義）

予習内容：授業の際に指示する資料を予習する。
予習時間：30分
復習内容：ノート、該当部分の教科書を小テストに向けて復習する。
復習時間：60分
人口、傷病の統計

第6回　医療の倫理（授業形式：講義）

予習内容：授業の際に指示する資料を予習する。
予習時間：30分
復習内容：ノート、該当部分の教科書を小テストに向けて復習する。
復習時間：60分
医の倫理・患者の権利の原則、医学研究における倫理、医療倫理のトピック

第7回　社会保障と保健（1）（授業形式：講義）

予習内容：授業の際に指示する資料を予習する。
予習時間：60分
復習内容：ノート、該当部分の教科書を小テストに向けて復習する。
復習時間：60分
障碍者福祉、地域保健、母子保健

第8回　社会保障と保健（2）（授業形式：講義）

予習内容：授業の際に指示する資料を予習する。
予習時間：60分
復習内容：ノート、該当部分の教科書を小テストに向けて復習する。
復習時間：60分
高齢者保健、産業保健、精神保健

第9回　感染症対策（1）（授業形式：講義）

予習内容：授業の際に指示する資料を予習する。
予習時間：30分
復習内容：ノート、該当部分の教科書を小テストに向けて復習する。
復習時間：60分
感染症とは？関連法規

第10回　感染症対策（2）（授業形式：講義）

予習内容：授業の際に指示する資料を予習する。
予習時間：30分
復習内容：ノート、該当部分の教科書を小テストに向けて復習する。
復習時間：60分
検疫、予防接種

第11回　食品衛生（1）（授業形式：講義）

予習内容：授業の際に指示する資料を予習する。
予習時間：30分
復習内容：ノート、該当部分の教科書を小テストに向けて復習する。
復習時間：60分
食品衛生とは？食品衛生関連法規

第12回　食品衛生（2）（授業形式：講義）

予習内容：授業の際に指示する資料を予習する。
予習時間：30分
復習内容：ノート、該当部分の教科書を小テストに向けて復習する。
復習時間：60分
食中毒

第13回　栄養（1）（授業形式：講義）

予習内容：授業の際に指示する資料を予習する。
予習時間：30分
復習内容：ノート、該当部分の教科書を小テストに向けて復習する。
復習時間：60分
食品摂取基準

第14回　栄養（2）（授業形式：講義）

予習内容：指定のWebsiteを見ておく。
予習時間：30分
復習内容：ノート、該当部分の教科書を小テストに向けて復習する。
復習時間：60分
食品をめぐる社会問題

第15回　栄養（3）（授業形式：講義）

予習内容：指定のWebsiteを見ておく。
予習時間：30分
復習内容：これまでの全てのノート、小テスト、教科書を期末試験に向けて復習する。
復習時間：180分
腸内細菌と栄養

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**酵素化学**						
英文名　：	Enzyme Chemistry						
担当者　：	櫻井　一正						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	3年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

生命現象・生体分子の挙動を理工学の立場で理解し、またその応用をめざすには、生命の営みの基本素子として働いている酵素について知ることが肝要である。我々の体や生命活動が成り立っているのは、莫大な種類の酵素が働いているからである。本講義ではそのような酵素の諸性質を以下の項目に分けて説明する。

○代表的な酵素反応の分類　○酵素の構造特性
○酵素の触媒能の分子機構　○各ファミリーへの分化・進化
○化学反応速度論　○無機触媒との触媒作用の違い
○活性調節の分子機構　○酵素反応の速度論
○工業用酵素による物質生産

毎回､授業内容解説のための資料と､授業を復習するための演習問題を配布する｡中間テストと期末テストを行ない、各学生の学習達成度を確認する｡基準に達していない場合は追加レポートを課す。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

授業概要の欄で挙げた各項目の概念を理解すること｡特に酵素反応の機構や速度論の解析法について､文章・化学式・図式・数式等を用いて､計算や説明できる能力を獲得すること。
本科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー1に主体的に関与している。

■成績評価方法および基準

復習課題解答 20%
中間テスト 30%
定期試験 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

授業冒頭に前回の復習演習を行い､直後に解説する｡また中間テストの解答と解説をGoogleクラスルームに掲載し､かつその一部を次回の授業の冒頭で説明する。

■教科書

【留意事項】指定なし。適宜プリントを配布する。

■参考文献

[ISBN]4061398377 『改訂 酵素―科学と工学 (生物工学系テキストシリーズ)』 (虎谷 哲夫, 講談社：2012)
[ISBN]9784807908073 『ヴォート生化学〈上〉』 (Donald Voet, 東京化学同人：2012)

■関連科目

化学Ⅰ・Ⅱ、有機化学基礎、生化学Ⅰ・Ⅱ、分子生物学Ⅰ・Ⅱ、基礎微生物学、応用微生物学、生物物理化学、遺伝子工学、応

用生物工学Ⅰ

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

櫻井　一正（高圧力蛋白質研究センター）・sakurai@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜日2限か木曜日2限
事前にEメールでアポイントをとってください

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　酵素化学のイントロダクションとアミノ酸の化学（授業形式：講義）

予習内容：Googleクラスルームから次回の授業スライドをダウンロードし、講義内容を予習しておく
予習時間：20分
復習内容：講義中に課された課題の解法を復習し、次回の講義冒頭の演習問題に備える
復習時間：30分

第2回　解離基と求核置換反応（授業形式：講義）

予習内容：授業スライドと暗記問題集をダウンロードし講義内容を予習しておく
予習時間：20分
復習内容：講義中に課された課題の解法を復習する
復習時間：30分

第3回　遷移状態理論と蛋白質の構造（授業形式：講義）

予習内容：授業スライドと暗記問題集をダウンロードし講義内容を予習しておく
予習時間：20分
復習内容：講義中に課された課題の解法を復習する
復習時間：30分

第4回　蛋白質の構造と酵素の分類（授業形式：講義）

予習内容：授業スライドと暗記問題集をダウンロードし講義内容を予習しておく
予習時間：20分
復習内容：講義中に課された課題の解法を復習する
復習時間：30分

第5回　酵素反応の活性部位と基質特異性（授業形式：講義）

予習内容：授業スライドと暗記問題集をダウンロードし講義内容を予習しておく
予習時間：20分
復習内容：講義中に課された課題の解法を復習する
復習時間：30分

第6回　セリンプロテアーゼ（授業形式：講義）

予習内容：授業スライドと暗記問題集をダウンロードし講義内容を予習しておく
予習時間：20分
復習内容：講義中に課された課題の解法を復習する
復習時間：30分

第7回　金属プロテアーゼ（授業形式：講義）

予習内容：授業スライドと暗記問題集をダウンロードし講義内容を予習しておく
予習時間：20分
復習内容：講義中に課された課題の解法を復習する
復習時間：30分

第8回　リゾチーム（授業形式：講義）

予習内容：授業スライドと暗記問題集をダウンロードし講義内容を予習しておく
予習時間：20分
復習内容：講義中に課された課題の解法を復習する
復習時間：30分

第9回　酵素の反応機構 まとめ（授業形式：講義）

予習内容：授業スライドと暗記問題集をダウンロードし講義内容を予習しておく
予習時間：20分

復習内容：講義中に課された課題の解法を復習する
復習時間：30分

第10回　小テストと至適温度（授業形式：講義）

予習内容：これまでの授業内容をおさらいしておく
予習時間：60分
復習内容：講義中に課された課題の解法を復習する
復習時間：30分

第11回　酵素反応速度論とは何か（授業形式：講義）

予習内容：授業スライドをダウンロードし講義内容を予習しておく
予習時間：20分
復習内容：講義中に課された課題の解法、特にMichaelis-Menten式の導出について復習する
復習時間：30分

第12回　酵素反応速度論:Lineweaver-Burkプロット（授業形式：講義）

予習内容：授業スライドをダウンロードし講義内容を予習しておく
予習時間：20分
復習内容：講義中に課された課題の解法、特にMichaelis-Menten式の導出について復習する
復習時間：30分

第13回　酵素反応速度論:阻害機構（授業形式：講義）

予習内容：授業スライドをダウンロードし講義内容を予習しておく
予習時間：20分
復習内容：講義中に課された課題の解法、特にMichaelis-Menten式の導出について復習する
復習時間：30分

第14回　アロステリック効果（授業形式：講義）

予習内容：授業スライドをダウンロードし講義内容を予習しておく
予習時間：20分
復習内容：講義中に課された課題の解法を復習する
復習時間：30分

第15回　酵素の利用（授業形式：講義）

予習内容：授業スライドをダウンロードし講義内容を予習しておく
予習時間：20分
復習内容：講義中に課された課題の解法を復習する
復習時間：30分

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**細胞生物学Ⅰ**						
英文名　：	Cell Biology 1						
担当者　：	東　慶直						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

生物の体は多くの組織からなり、組織は細胞から構成されます。細胞はさまざまな形態と機能をもち、外的刺激に応じて変化します。細胞に生じた変化によって生物は環境に適応できるようになります。本講義は、生物の体の最小単位となる細胞について、入門・導入的な内容から発展的な内容まで、幅広く学習します。なお、本授業は基本的に対面で行いますが、ICTの訓練の一環としてメディア授業も併用します。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、各細胞の構造と機能、細胞間の相互作用、シグナル伝達について概要を学びます。組織学・生理学・生化学・分子生物学など生命現象に関連する専門的学問につながる基礎的な知識を十分に獲得し、生物に対する理解を深めます。なお、ディプロマポリシーDP4における「「食」の生産、保存、流通、加工・調理、摂取、消化･吸収、代謝における安全性と機能性を理解し評価するための科学的な知識と技能を身につけていること。」に主体的に関与している。に主体的に関与している。

■成績評価方法および基準

小試験（WEBテスト） 30%
小試験（WEBテスト） 30%
小試験（WEBテスト） 40%

■試験・課題に対するフィードバック方法

５、１０、１５回目の授業の際に小試験を実施し、解答解説を実施する。また、その試験実施時にアンケートも行う。

■教科書

【留意事項】プリントを適時配付します。配付する全ての資料を始めとして、授業で使用した全ての資料をWEB上に公開し、全ての生徒が授業直後から閲覧できるようにしています。

■参考文献

[ISBN]9784524261994 『Essential細胞生物学(原書第4版)』 (南江堂：2016)
[ISBN]9784315520620 『細胞の分子生物学』 (Bruce Alberts, ニュートンプレス：2017) 第6版

■関連科目

細胞生物学Ⅱ、生物学Ⅰ、生物学Ⅱ、分子生物学Ⅰ、分子生物学Ⅱ

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

東研究室（東1号館4階409）・azuma@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

月曜2限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

動物細胞を中心として、その構造と機能を解説する。
予習内容：授業ファイルを入手し、授業内容を把握する。
予習時間：60分
復習内容：授業内容を表形式に整理し、専門用語の定義や意味を書き出す。
復習時間：60分

第1回　細胞(授業形式:講義)

予習内容：授業ファイルを入手し、授業内容を把握する。
予習時間：60分
復習内容：授業内容を表形式に整理し、専門用語の定義や意味を書き出す。
復習時間：60分

第2回　細胞膜と遺伝情報を持つ細胞内小器官(授業形式:講義)

予習内容：授業ファイルを入手し、授業内容を把握する。
予習時間：60分
復習内容：授業内容を表形式に整理し、専門用語の定義や意味を書き出す。
復習時間：60分

第3回　細胞膜と遺伝情報を持つ細胞内小器官以外の細胞内小器官(授業形式:講義)

予習内容：授業ファイルを入手し、授業内容を把握する。
予習時間：60分
復習内容：授業内容を表形式に整理し、専門用語の定義や意味を書き出す。
復習時間：60分

第4回　細胞接着(授業形式:講義)

予習内容：授業ファイルを入手し、授業内容を把握する。
予習時間：60分
復習内容：授業内容を表形式に整理し、専門用語の定義や意味を書き出す。
復習時間：60分

第5回　細胞骨格、および小試験(授業形式:演習を含む講義)

予習内容：授業ファイルを入手し、授業内容を把握する。
予習時間：60分
復習内容：授業内容を表形式に整理し、専門用語の定義や意味を書き出す。
復習時間：60分

第6回　細胞膜に隔てられた物質輸送(授業形式:講義)

予習内容：授業ファイルを入手し、授業内容を把握する。
予習時間：60分
復習内容：授業内容を表形式に整理し、専門用語の定義や意味を書き出す。
復習時間：60分

第7回　細胞構造に関する総合解説、および小試験(授業形式:講義)

予習内容：授業ファイルを入手し、授業内容を把握する。
予習時間：60分
復習内容：授業内容を表形式に整理し、専門用語の定義や意味を書き出す。
復習時間：60分

第8回　細胞構造に関する総合解説および小試験の解説(授業形式:講義)

予習内容：授業ファイルを入手し、授業内容を把握する。
予習時間：60分
復習内容：授業内容を表形式に整理し、専門用語の定義や意味を書き出す。
復習時間：60分

第9回　分子生物学の分析方法(授業形式:講義)

予習内容：授業ファイルを入手し、授業内容を把握する。
予習時間：60分
復習内容：授業内容を表形式に整理し、専門用語の定義や意味を書き出す。
復習時間：60分

第10回　ゲノムと遺伝子発現、および小試験(授業形式:演習を含む講義)

予習内容：授業ファイルを入手し、授業内容を把握する。
予習時間：60分
復習内容：授業内容を表形式に整理し、専門用語の定義や意味を書き出す。
復習時間：60分

第11回　シグナル伝達（真核生物）(授業形式:講義)

予習内容：授業ファイルを入手し、授業内容を把握する。
予習時間：60分
復習内容：授業内容を表形式に整理し、専門用語の定義や意味を書き出す。
復習時間：60分

第12回　シグナル伝達（原核生物）(授業形式:講義)

予習内容：授業ファイルを入手し、授業内容を把握する。
予習時間：60分
復習内容：授業内容を表形式に整理し、専門用語の定義や意味を書き出す。
復習時間：60分

第13回　細胞周期(授業形式:講義)

予習内容：授業ファイルを入手し、授業内容を把握する。
予習時間：60分
復習内容：授業内容を表形式に整理し、専門用語の定義や意味を書き出す。
復習時間：60分

第14回　発生と分化(授業形式:講義)

予習内容：授業ファイルを入手し、授業内容を把握する。
予習時間：60分
復習内容：授業内容を表形式に整理し、専門用語の定義や意味を書き出す。
復習時間：60分

第15回　細胞システムに関する総合解説、および小試験(授業形式:演習を含む講義)

予習内容：授業ファイルを入手し、授業内容を把握する。
予習時間：60分
復習内容：授業内容を表形式に整理し、専門用語の定義や意味を書き出す。
復習時間：60分

■ホームページ

研究室紹介　http://azuma99.wix.com/author-blog

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 ：	**細胞生物学Ⅱ**						
英文名 ：	Cell Biology 2						
担当者 ：	武部　聡						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考 ：							

■授業概要

細胞は生物の構成単位であり、細胞の生長・分裂は基本的な生命現象の一つである。細菌や酵母などの単細胞生物は個体数の増加に直結する。多細胞生物では最初は受精卵という一つの細胞が分裂と生長を繰り返し、数え切れないほど多数の細胞となって個体を形成している。成体になってからも損傷やプログラム死に伴う損失分を補うために細胞分裂は続けられる。分裂を繰り返す細胞はG1期→S期→G2期→M期の4つの期が決まった順番に進行する細胞周期を持つ。この細胞周期に関わる制御因子の機能を理解した後、細胞分裂（M期）において親細胞が持つ遺伝子を正しく2つの娘細胞に受け渡すための仕組み、DNA複製（S期）において1組の二本鎖DNAをもとに全く同じ二本鎖DNA2組をつくる方法について詳しく学ぶ。
なお、本授業は対面授業で行います。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

細胞周期の4つの期を順番に並べ、それぞれの期での細胞内のイベントを簡潔にまとめることができる。主要なチェックポイントと関連するサイクリン、Cdkをあげることができる。細胞周期の進行の調整の仕方を説明できる。有糸分裂において現れる3種類の微小管を区別できる。細胞分裂の6つの期を微小管の働きから説明できる。DNA複製における半保存的複製を説明できる。複製フォークにおけるDNA複製の進行を関与するタンパク質の働きから説明できる。らせん構造と超らせん構造の違いを理解し、超らせん構造が生じる理由を説明できる。
この科目の修得は、本学科のDP1に関与しています。

■成績評価方法および基準

小テスト(3回) 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

小テストの問題と採点結果をClassroomに掲載します。

■教科書

プリント配布

■参考文献

[ISBN]9784524261994 『Essential細胞生物学(原書第4版)』 (南江堂：2016)
[ISBN]9784807909193 『エッセンシャル 生化学 第3版』 (Charlotte W. Pratt, 東京化学同人：2018)

■関連科目

細胞生物学Ⅰ、分子生物学Ⅰ、Ⅱ

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

武部研究室（西1号館6階660）・takebe@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

木曜３限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　原核生物と真核生物（授業形式：講義）

予習内容：原核生物と真核生物の構造の違いを調べる。
予習時間：60分
復習内容：原核生物と真核生物の細胞の構造、大きさ、小器官の違いについてまとめる。
復習時間：180分

第2回　細胞周期：細胞周期の4つのフェイズ（G1期、S期、G2期、M期）（授業形式：講義）

予習内容：細胞周期の4つの期と、細胞内で順番に行われる過程について調べる。
予習時間：60分
復習内容：細胞周期の4つの期の区切りと各期で行われる過程を順番に並べ、細胞周期の進行との関連についてまとめる。
復習時間：180分

第3回　細胞周期：細胞周期とサイクリン-Cdk複合体群（授業形式：講義）

予習内容：サイクリンおよびサイクリン依存性キナーゼ（Cdk）について調べる。
予習時間：60分
復習内容：細胞周期とサイクリン、Cdkの種類、サイクリン-Cdk複合体の活性化、不活性化についてまとめる。
復習時間：180分

第4回　細胞周期：細胞周期の制御（チェックポイント）（授業形式：講義）

予習内容：チェックポイントの種類と細胞周期における役割を調べる。
予習時間：60分
復習内容：チェックポイントの種類と細胞周期の場所、チェック項目および関連するサイクリン-Cdk複合体についてまとめる。
復習時間：180分

第5回　細胞周期：チェックポイントの監視（DNA傷害を例として）（授業形式：講義）

予習内容：p53とp21について調べる。
予習時間：60分
復習内容：DNA損傷が生じた場合のp53とp21の役割、2つのタンパク質の関連、活性化、不活性化についてまとめる。
復習時間：180分

第6回　細胞分裂：細胞分裂は6段階に分けられる（授業形式：講義）

予習内容：細胞分裂の6つの期について調べる。
予習時間：60分
復習内容：細胞分裂の6つの期の順番と、それぞれの期で細胞内に起こる現象についてまとめる。
復習時間：180分

第7回　細胞分裂：中心体周期と微小管の構造（授業形式：講義）

予習内容：中心体と微小管の構造および関連性について調べる。
予習時間：60分
復習内容：中心体の倍加の周期と細胞周期とを関連付ける。間期における微小管の様子をまとめる。
復習時間：180分

第8回　細胞分裂：有糸分裂における微小管の種類と役割（授業形式：講義）

予習内容：細胞分裂期に現れる3つの微小管について調べる。
予習時間：60分
復習内容：3つの微小管がどのように生じ、それぞれどのような役割を持っているのか説明できるようにする。
復習時間：180分

第9回　細胞分裂：染色分体はなぜ2つに分かれ、反対方向に引っ張られるのか（授業形式：講義）

予習内容：コヒーシン、コンデンシン、キネシン、ダイニンについて調べる。
予習時間：60分
復習内容：細胞分裂中期と後期における3つの微小管の動的変化についてまとめる。微小管の長さとダイニンやキネシンの働きについてまとめる。
復習時間：180分

第10回　細胞分裂：細胞質分裂（授業形式：講義）

予習内容：動物と植物の細胞質分裂の違いを調べる。

予習時間：60分
復習内容：収縮環の働きと構成タンパク質、細胞板を形成する物質についてまとめる。
復習時間：180分

第11回　ＤＮＡ複製：半保存的複製とは（授業形式：講義）

予習内容：ヌクレオチドとDNAの構造について調べる。
予習時間：60分
復習内容：DNAの二重らせん構造における塩基対形成の仕組みを理解し、半保存的複製についてまとめる。
復習時間：180分

第12回　ＤＮＡ複製：ＤＮＡ複製に関わるタンパク質・酵素（授業形式：講義）

予習内容：DNA複製の開始、鎖伸長、終了時におけるDNA分子の形状を調べる。
予習時間：60分
復習内容：DNA複製の開始、鎖伸長、終了の各ステージにおいて使われる主要なタンパク質をあげ、それぞれの性質や働きについてまとめる。
復習時間：180分

第13回　ＤＮＡ複製：ＤＮＡ複製に必要な酵素の活性（授業形式：講義）

予習内容：大腸菌のDNAポリメラーゼについて調べる。
予習時間：60分
復習内容：DNAの鎖伸長反応においてDNAポリメラーゼに要求される酵素活性についてまとめる。
復習時間：180分

第14回　ＤＮＡ複製：複製フォークの形成・進行・終了（授業形式：講義）

予習内容：複製フォークにおける親鎖と娘鎖の位置関係および含まれるタンパク質について調べる。
予習時間：60分
復習内容：リーディング鎖とラギング鎖のDNA合成法の違いについて説明できるようになる。トロンボーンモデルについてまとめる。
復習時間：180分

第15回　ＤＮＡ複製：複製されたＤＮＡ分子のトポロジー（授業形式：講義）

予習内容：トポロジー（位相幾何学）について調べる。
予習時間：60分
復習内容：DNA分子のトポアイソマーおよび環状DNAの超らせん構造が複製終了時に生じる理由をまとめる。
復習時間：180分

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**細胞培養工学**						
英文名 ：	Biochemical Engineering						
担当者 ：	白木　琢磨						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	3年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考 ：							

■授業概要

細胞培養工学は、生活に役に立つ物質の効率的な生産のために発展し、現在のバイオテクノロジーおよびバイオインダストリーを支える学問です。本講義では、細胞の構造と機能、細胞が生産する生理活性物質の機能について、応用面を交えて学修します。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、細胞を培養する意義、細胞の増殖制御機構の特性、増殖促進因子の情報伝達、細胞外足場の作用機序、再生医療への応用、細胞の産業利用を可能にしている技術とその原理について知識を得、科学技術に関係する生命倫理について考察できる力を身につけます。本科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー１に関与している。

■成績評価方法および基準

中間テスト 70%
小テスト 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

事前に課題を渡すレポート形式の小テストを3回程度行い、論理的思考力の到達度を確認すると共に、レポート解答について解説することでフィードバックを行う。

■教科書

【留意事項】プリントを適時配付します。

■参考文献

【留意事項】特に指定しません。

■関連科目

なし

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

白木研究室（東1号館4階419)・shiraki@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

月曜3限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　細胞培養の歴史（授業形式：講義）

予習内容：iPS細胞とは何か、調べてくる。
予習時間：60分
復習内容：iPS細胞が見つかった経緯について歴史的観点からまとめる。
復習時間：60分

第2回　細胞の構造と細胞種の特徴（授業形式：講義）

予習内容：顕微鏡の原理を調べてくる。
予習時間：60分
復習内容：レジュメを参考に顕微鏡の限界と新たな技術についてまとめる。
復習時間：60分

第3回　細胞増殖の制御　（1）成長因子（授業形式：講義）

予習内容：がんについてメディアで報道されている内容を調べてくる。
予習時間：60分
復習内容：レジュメを参考に抗がん剤の採用機序についてまとめる。
復習時間：60分

第4回　細胞増殖の制御　（2）細胞外マトリクス（授業形式：講義）

予習内容：美容についてメディアで報道されている内容を調べてくる。
予習時間：60分
復習内容：レジュメを参考に保湿成分の採用機序についてまとめる。
復習時間：60分

第5回　細胞増殖の制御　（3）遺伝子の活性化と制御（授業形式：講義）

予習内容：ネガティブフィードバック制御とは何かについて調べてくる。
予習時間：60分
復習内容：ネットワークの持つ性質について、分類してまとめる。
復習時間：60分

第6回　抗体作成技術とその応用（授業形式：講義）

予習内容：利根川進博士のノーベル賞について調べてくる。
予習時間：60分
復習内容：レジュメを参考にミルシュタインの業績についてまとめる。
復習時間：60分

第7回　複合タンパク質生産技術（授業形式：講義）

予習内容：抗体医薬についてメディア報道の内容を調べてくる。
予習時間：60分
復習内容：レジュメを参考に、抗体医薬周辺の特許についてまとめる。
復習時間：60分

第8回　植物を用いた物質生産（授業形式：講義）

予習内容：2次代謝物とは何か調べてくる。
予習時間：60分
復習内容：ポリケチド合成酵素についてまとめる。
復習時間：60分

第9回　動物を用いた物質生産、動物工場（授業形式：講義）

予習内容：クローン動物の作成方法について調べてくる。
予習時間：60分
復習内容：レジュメを参考に、再生医療についてまとめる。
復習時間：60分

第10回　遺伝子ターゲッティングとその応用（授業形式：講義）

予習内容：遺伝性疾患の原因遺伝子の発見方法を調べてくる。
予習時間：60分
復習内容：遺伝子改変技術の手順についてまとめる。
復習時間：60分

第11回　遺伝子治療への応用（授業形式：講義）

予習内容：ES細胞とは何かについて調べてくる。
予習時間：60分
復習内容：遺伝子改変技術の最新技術について手順をまとめる。
復習時間：60分

第12回　再生医療への応用1（授業形式：講義）

予習内容：再生医療の実例をメディアから集めてくる。
予習時間：60分
復習内容：再生医療に貢献している細胞培養工学技術をまとめる。
復習時間：60分

第13回　再生医療への応用2（授業形式：講義）

予習内容：STAP細胞事件について調べてくる。
予習時間：60分
復習内容：レジュメを参考にSTAP細胞事件の調査報告書で使われた技術についてまとめる。
復習時間：60分

第14回　食品の機能性評価への応用（授業形式：講義）

予習内容：食品産業における安全性試験、品質管理について調べる。
予習時間：60分
復習内容：食品産業における細胞培養技術の導入例についてまとめる。
復習時間：60分

第15回　リスク管理（授業形式：講義）

予習内容：遺伝子組換え食品について調べてくる。
予習時間：60分
復習内容：新しい科学技術に付随する倫理的側面についてまとめる。
復習時間：60分

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**自主演習**						
英文名 ：	Autonomous Seminar for the Biology-oriented Science and Technology						
担当者 ：	東　慶直・石丸　恵・岸田　邦博・白木　琢磨・芦田　久・尾﨑　嘉彦・ 江口　陽子・松橋　珠子・栗原　新・泉　秀実・武部　聡						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	1単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考 ：	令和5年度入学生対象科目						

■授業概要

自主演習は、学生が食品安全工学科の教育・研究理念に沿った課題を自主的に提案し、その解決に向けて大学生としての主体性を持った創造的な活動を、個人または数人のグループで行う演習科目です。自主演習は食品安全工学科の1年生以上の学生が履修できます。履修希望者はまず自主演習計画書を大学に提出します。その課題内容が適切であれば、その内容をもとに適任と思われる指導教員が選任されます。履修希望者は指導教員との間で課題の妥当性や解決に向けた活動計画を練り上げ、自主演習として授業が開始されます。自主演習を遂行するにあたっては指導教員との綿密な打ち合わせのもとに課題解決に向けて主体的に活動を進めます。なお、他の授業等に差し障りがなければ学生実験室のほか、キャンパス内の設備を利用することができます。

■授業形態

対面授業（授業回の半数以上が対面授業／それ以外は、メディア授業）

■アクティブ・ラーニングの形態

PBL（課題解決学習）・ディスカッション、ディベート・反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク・実験・実習科目

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

学生個人または小規模なグループで、自らが課題を設け、解決に向けた計画を立てる。課題解決に向けた計画の立て方、演習の進め方、データの取扱いについて、選任された指導教員のアドバイスを受けながら、自ら立案した計画を遂行する。コミュニケーション力、交渉力の必要性を経験的に理解する。最終的に指導教員らに対してレポートを提出し口頭発表を実施することを念頭において、資料の作成法やプレゼンテーションの技法を身に付ける。さらに、研究内容の社会的意義や研究者としての社会的使命についても理解する。本科目の修得は、食品安全工学科が定めるすべてのディプロマポリシーの達成に関与し、特にDP4の達成に関与する。

■成績評価方法および基準

レポート 50%
口頭発表 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

課題解決に向けた演習の遂行時には、教員から活動内容についてのフィードバックが行われます。レポートは作成過程での指導教員からのフィードバックを考慮しながら完成させます。口頭発表はその準備段階で、口頭発表終了後に質問への返答などについて、指導教員よりフィードバックが行われます。

■教科書

【留意事項】自主的に選定された課題と指導教員により異なる。

■参考文献

【留意事項】自主的に選定された課題と指導教員により異なる。

■関連科目

専門科目全般

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

（代表・学科長）東研究室(東1号館4階409)・azuma@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

（代表・学科長）　東　月曜日・2限目
その他、随時（事前にメールにてアポイントをとってください。）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

本授業は前もって提出された計画書に基づき、その達成に至る手順を指導教員と綿密に打ち合わせてから
作業に取り組む必要があります。演習の授業回数に決まりはありませんが、延べ30時間以上の演習と15時間以上の捜業時間外学習が必要です。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業
企業等から提供された課題（企画提案等）に取り組む授業

科目名　：	**実験動物学**						
英文名　：	Experimental Animals						
担当者　：	安齋　政幸						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

ゲノム解析が進展した現在、脳・神経・発生などの生物の高次機能に関わる遺伝子の機能を探り、それを利用する上で実験動物とこれを用いる実験方法を学ぶことはとても重要な意味を持っている。本講義では、教科書に記述されている習得するべき様々な技法・背景などについて解説するとともに、動物実験の基礎と応用技術について実例を取り上げながら学習する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

この講義では、動物実験成績のヒトへの外挿、実験動物の遺伝的コントロール、遺伝子改変動物（マウス）の作出とその基本原理、実験動物の微生物学的コントロール、感染症とヒトへの感染、動物実験の法的および倫理的規制等について講述する。受講者はこの講義を通じて、動物生命倫理における法的理解を深めると共に実験動物が重要な役割を果たすポストゲノム解析と個体比較情報処理機構についての知見を習得します。
この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー4の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 70%
授業中の課題（小テスト） 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後（試験期間終了後）に「試験の要点と解説」を掲示板に掲載します。

■教科書

[ISBN]9784254460292 『現代実験動物学』 (朝倉書店：2009)（この本を中心に講義を進める。）

■参考文献

[ISBN]9784254460360 『獣医学教育モデル・コア・カリキュラム準拠実験動物学(第2版)』 (茂, 久和, 朝倉書店：2018)

■関連科目

公衆衛生学、動物生理学

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

先端技術総合研究所　教員控室（2号館5階510）・anzai@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

月曜日　3限
事前にメールにてアポイントをとってください。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　実験動物学序論（授業形式：講義）

予習内容：教科書第1節を読み適正な動物実験の必要性を整理すること。
予習時間：30分
復習内容：配布資料および教科書を参考に動物実験を取り巻く出来事を整理すること。
復習時間：60分
実験動物学は、教科書の各節にあるように複合的な分野である。また、動物種は相互に相似点あるいは相違点をもって実験の再現性を測ることが求められる。今回は、実験動物学の歴史的背景および医学・創薬研究における動物実験の位置付けを学ぶ。

第2回　動物実験と実験動物の意義（授業形式：講義）

予習内容：教科書第1,10節を読み、試験系と動物実験の妥当性について整理すること。
予習時間：30分
復習内容：配布資料および教科書を参考に、狭義および広義の動物実験の関係を整理すること。
復習時間：60分
動物実験と医学への結びつきは密接な関係が形成されている。動物実験の妥当性は、反応を読み取る手続きであり、実験を開始するにあたっては、様々な定義に沿って進めなければならない。今回は、動物の反応と結果の再現性と判断基準について学ぶ。

第3回　適正な動物実験（科学的、倫理的、法的）（授業形式：講義）

予習内容：教科書第1,11節を参考に、実験動物および動物実験に関連する法令等の概要を予習すること。
予習時間：30分
復習内容：配布資料および教科書を参考に動物を科学上の利用に供する場合の方法について整理すること。
復習時間：60分
動物実験に供される動物種は多岐に渡る。適正な動物実験に向けた実験動物の定義と分類、倫理と法規・指針を解説する。

第4回　実験動物の育種（授業形式：講義）

予習内容：教科書第2,3節を読み、育種学の基礎と分類の手段を整理すること。
予習時間：30分
復習内容：動物種の重要性と系統の重要性を整理すること。
復習時間：60分
遺伝的に適正な実験動物（群）を維持・生産するために育種学上にある種の分類と育種の目的を学ぶ。

第5回　実験動物（群）の交配様式と実験処置による系統の維持と生産（授業形式：講義）

予習内容：教科書第3,4節を読み、交配計画の手法と体外受精・胚移植・卵巣移植の意義を整理すること。
予習時間：30分
復習内容：配布資料および教科書を参考に、系統の作出や管理の方法を整理すること。
復習時間：60分
実験動物の育種には、遺伝的均一性を維持できるように生産される手法が確立している。今回は、系統維持と生産の留意点および自然交配様式以外に実験処置における動物の維持・生産方法を学ぶ。

第6回　実験動物の飼育管理と環境管理（モニタリング）（授業形式：講義）

予習内容：教科書第5節を読み、動物への環境要因の影響と環境条件の基準値を整理すること。
予習時間：30分
復習内容：参考資料および教科書を参考に、環境要因と疾病の関係を整理すること。
復習時間：60分
信頼性と再現性のある試験結果を得るために動物に対する環境要因がいかに影響するか。実験動物を適正に飼育管理する方法を学ぶ。

第7回　実験動物施設（授業形式：講義）

予習内容：教科書第5節を読み、住居的因子および施設の在り方について整理すること。
予習時間：30分
復習内容：配布資料および教科書を参考に、微生物統御の必要性と作業導線の確保について整理すること。
復習時間：60分
実験動物施設は、マクロな環境とミクロな環境を構築している。また従事者が飼育・試験・洗浄・消毒等の作業を行う場所でもある。今回は、動物の飼育するための施設の分類および作業導線から考える様々な施設構成を学ぶ。

第8回　実験動物の感染症と環境要因（授業形式：講義）

予習内容：教科書第6節を読み、環境要因と感染症の成立を整理すること。
予習時間：30分
復習内容：配布資料および教科書を参考に、非感染症と感染症について整理すること。
復習時間：60分
実験動物の生命や健康に障害を与えて、その生命を奪ったり疾病を起こさせることは、結果の再現性を著しく修飾することにな

る。今回は、感染症の環境要因とその対策について学ぶ。

第9回　感染症成立の条件とおもな感染症（授業形式：講義）

予習内容：教科書第6節を読み、おもな感染症および人畜共通感染症について整理すること。
予習時間：30分
復習内容：配布資料を参考に感染症の成立と分離の方法を整理すること。
復習時間：60分
感染症の成立には3つの要因があることが示されている。今回は、感染症成立の条件を考え微生物統御（カテゴリ区分）によるおもな感染症を解説する。

第10回　遺伝的モニタリング・微生物モニタリング（授業形式：講義）

予習内容：教科書第3,6節を読み、実験動物への環境への影響を整理すること。
予習時間：30分
復習内容：配布資料を参考に、遺伝的モニタリング・微生物モニタリングの各成績評価について整理すること。
復習時間：60分
実験動物の適切な維持には、環境管理・遺伝的管理・微生物管理が重要である。今回は、遺伝学的形質検査および感染症の検査・同定の手法（モニタリング）を学ぶ。

第11回　実験動物の選択と特性（授業形式：講義）

予習内容：教科書第7節を読み、動物種の特性を整理すること。
予習時間：30分
復習内容：配布資料および教科書を参考に、実験の実施に対する留意点を整理すること。
復習時間：60分
動物実験に供する場合、結果の再現性を高めるには、動物種の自然界における特性・個体（群）がどのような環境条件であるか認識しなければならない。今回は、個体形成に関わる動物種差と外挿に及ぼす影響を考える。

第12回　実験動物種の器官形態と機能（授業形式：講義）

予習内容：教科書第7節を読み、動物種の特性を整理し試験系の成立の重要性を整理すること。
予習時間：60分
復習内容：配布資料を参考に、実験の実施に対する留意点を整理すること。
復習時間：60分
実験動物種の主要な器官の構造と機能について学び、動物種間の特性の比較を考える。

第13回　動物実験手技・麻酔の管理（授業形式：講義）

予習内容：教科書第10節を読み、基本技術の概要について整理すること。
予習時間：60分
復習内容：配布資料および教科書を参考に、適正な投与手法やその量(濃度)を把握すること。
復習時間：60分
より適切な動物実験を実施するために技術の洗練は重要である。今回は、実験動物の保定・個体識別・投与方法等、各動物に適した基本的技術について学ぶ。

第14回　発生工学技術（授業形式：講義）

予習内容：教科書第2,8,9節を読み、基本技術の概要について整理すること。
予習時間：60分
復習内容：配布資料および教科書を参考に、発生工学技術による作製方法を理解を深めること。
復習時間：60分
発生工学技術の背景およびトランスジェニックマウスやノックアウトマウスの作製操作に関わる基本技術を解説する。

第15回　生殖工学技術（授業形式：講義）

予習内容：教科書第4,9節を読み、基本技術の概要について整理すること。
予習時間：60分
復習内容：配布資料および教科書を参考に、生殖工学技術と遺伝資源保存の理解を深めること。
復習時間：60分
生殖工学技術の背景およびバイオリソース（胚・配偶子バンク）としての遺伝資源保存、生殖補助技術について解説する。

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 ：	**植物育種学**						
英文名 ：	Plant Breeding						
担当者 ：	堀端　章						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考 ：	生物工学科、食品安全工学科開講科目						

■授業概要

植物育種学とは、遺伝的操作によって優れた新品種を作出する行為（育種または品種改良）に、科学的根拠を与え、計画的にこれを遂行できるようにするための学術領域である。本講義では、育種の黎明から、植物の生殖様式に関連付けられた伝統的育種法、細胞培養や遺伝子操作などのニューバイオテクノロジーを利用した育種法までを解説する。さらに、植物（作物）の生産性、生理的特性および成分に関する遺伝的改良を話題にして、グループディスカッションとプレゼンテーションによる能動的学修を展開する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、この講義を履修することによって、
1) 種々の植物育種法に関する原理の理解。
2) 複数の育種法を組み合わせて育種目標を達成する能力。
3) 植物育種の現状を理解し、将来を展望する能力。
を得ることができる。
この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー1の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

プレゼンテーション 20%
定期試験 80%

■試験・課題に対するフィードバック方法

定期試験については、その要点と解説を、講義中に解説するまたはUNIVERSAL PASPORTに掲載する。

■教科書

[ISBN]9784416522677 『図解でよくわかる 品種・育種のきほん: 世界に誇れる日本の品種、その作出から遺伝子組換え、ゲノム編集、夢の植物まで』 (西尾 剛, 誠文堂新光社：2022)

■参考文献

[ISBN]9784130721011 『植物育種学』 (鵜飼 保雄, 東京大学出版会：2003)
[ISBN]9784254420180 『植物の育種学』 (日向 康吉, 朝倉書店：1997)
[ISBN]9784909933089 『種を育てて種を育む　–植物品種改良とはなにか–』 (加藤 恒雄, 大阪公立大学共同出版会：2019)
[ISBN]9784254420388 『植物の遺伝と育種 第2版』 (希一, 福井, 朝倉書店：2013)

■関連科目

基礎遺伝学、資源植物学

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して実施する。

■研究室・メールアドレス

堀端研究室（西1号館5階556）・horibata@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜・2限（事前にメールで予約してください。）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　育種の原点－栽培化(授業形式:講義)

予習内容：主要な栽培植物（作物）の起源について調べておく。
予習時間：60分
復習内容：栽培化の中でどのような形質が選抜されたのかについて考察する。
復習時間：60分

第2回　植物育種の概要－育種目標と育種素材(授業形式:講義)

予習内容：基礎遺伝学の復習を行う（1）。
予習時間：60分
復習内容：身近な作物について育種目標を設定し、それを達成する手段を考えてみる。
復習時間：60分

第3回　植物育種の概要－変異の創出と選抜、育種の場(授業形式:講義)

予習内容：基礎遺伝学の復習を行う（2）。
予習時間：60分
復習内容：交配による変異の創出と遺伝子組み換え技術による変異の創出の違いについて考察する。
復習時間：60分

第4回　交雑育種－自殖性作物(授業形式:講義)

予習内容：自殖性作物と他殖性作物の例を挙げられるように調べておく。
予習時間：60分
復習内容：在来作物の純系分離について調べておく。
復習時間：60分

第5回　交雑育種－他殖性作物(授業形式:講義)

予習内容：近交弱勢について調べておく。
予習時間：60分
復習内容：雄性不稔の育種利用について調べておく。
復習時間：90分

第6回　突然変異育種(授業形式:講義)

予習内容：自然突然変異について調べておく。
予習時間：60分
復習内容：突然変異による変異の創出と遺伝子組み換え技術による変異の創出の違いについて考察する。
復習時間：60分

第7回　栄養繁殖植物の育種(授業形式:講義)

予習内容：栄養繁殖と種子繁殖の両方を行う植物について調べておく。
予習時間：60分
復習内容：栄養繁殖植物の育種の例を調べておく。
復習時間：60分

第8回　中間試験およびグループ学習の課題説明(授業形式:講義)

予習内容：これまでに学んだ内容を復習しておく。
予習時間：180分
復習内容：試験で分からなかったところを調べておく。
復習時間：60分
中間試験では、復習内容に記載されている事柄についても出題する。
また、グループ学習の課題を説明する。グループごとに学修を進めた成果について、第13回から第15回の講義時にプレゼンテーションとディスカッションを行う。

第9回　マーカー利用選抜－DNAマーカーの種類(授業形式:講義と実習)

予習内容：DNAマーカーの種類と作成法について調べておく。
予習時間：60分
復習内容：学んだ事柄をグループ学習に反映させる。

復習時間：120分

第10回　量的遺伝モデルとQTLのマッピング(授業形式:講義と実習)

予習内容：遺伝における量的形質と質的形質の違いを整理しておく。
予習時間：60分
復習内容：学んだ事柄をグループ学習に反映させる。
復習時間：120分

第11回　育種とバイオテクノロジー(授業形式:講義と実習)

予習内容：育種における細胞操作、染色体操作、遺伝子操作の役割について考察する。
予習時間：60分
復習内容：学んだ事柄をグループ学習に反映させる。
復習時間：120分

第12回　新品種の育成と普及(授業形式:講義と実習)

予習内容：プレゼンテーションの構想を具体的にまとめる。
予習時間：60分
復習内容：プレゼンテーションの準備を整える。
復習時間：180分

第13回　プレゼンテーション:生産性に関する育種(授業形式:演習)

予習内容：作物の生産性を制御する遺伝的因子について考察する。
予習時間：90分
復習内容：プレゼンテーションとディスカッション通じて学んだことをミニレポートにまとめる。
復習時間：90分

第14回　プレゼンテーション:生理形質に関する育種(授業形式:演習)

予習内容：作物の生理的特性を制御する遺伝的因子について考察する。
予習時間：90分
復習内容：プレゼンテーションとディスカッション通じて学んだことをミニレポートにまとめる。
復習時間：90分

第15回　プレゼンテーション:成分に関する育種(授業形式:演習)

予習内容：作物の有用成分とその量を制御する遺伝的因子について考察する。
予習時間：90分
復習内容：プレゼンテーションとディスカッション通じて学んだことをミニレポートにまとめる。
復習時間：90分

定期試験

期末試験は、植物育種学に関する理解を問う問題とする。講義内容だけではなく、予習あるいは復習の課題として提示した内容も試験の対象範囲とする。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 ：	**植物生産環境工学**						
英文名 ：	Environmental Measurement and Control for Plant Production						
担当者 ：	星　岳彦						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考 ：	令和5年度入学生対象科目						

■授業概要

植物の生産を行うための環境工学的方法論について総論的に講義する生物生産工学分野の専門科目である。植物生産、特に施設植物生産について、その目的・必要性・課題について、最初に述べる。そして、植物の生産には、その生育環境を適切に制御する必要がある。これらの環境要素、例えば、温度、湿度、光など、の計測法・制御法と、植物の成育との関係性について述べる。植物の生理反応から群落・生産システムまでのさまざまなスケールを対象にして論じる。授業の理解度を確認するための小テストを毎回実施する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

『受講者は、この授業を履修することにより、
・工学的生物生産の意義と特徴について説明できる。
・日本の植物生産の現状と問題点について理解している。
・施設植物生産の定義、歴史、現状について説明できる。
・作物と植物生産施設の状態を、湿り空気、光環境、ガス環境から判断できる。
・養液栽培、植物工場について説明できる。
ようになります。』
この科目の習得は、本学科の定めるディプロマポリシー1、2の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

小テスト 50%
定期試験 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

小テストは、次回の授業冒頭で解説および模範解答を講義し、質問を受け付けます。
定期試験は、終了後に模範解答をお知らせし、質問を受け付けますので、オフィスアワーに来訪願います。

■教科書

[ISBN]9784254410433 『施設園芸学: 植物環境工学入門』 (後藤 英司, 朝倉書店：2022)
教科書の他に必要に応じてプリントによる教材も提供する。

■参考文献

[ISBN]9784540151019 『施設園芸・植物工場ハンドブック』(日本施設園芸協会、農文協：2015)
[ISBN]9784897324074 『新スマート農業―進化する農業情報利用』 (農業情報学会, 農林統計出版：2019)
[ISBN]9784274067877 『太陽光型植物工場―先進的植物工場のサステナブル・デザイン』 (古在 豊樹, オーム社：2009)
[ISBN]9784274204722 『完全制御型植物工場』 (高辻 正基, オーム社：2007)
[ISBN]9784842595146 『生物環境調節ハンドブック』 (養賢堂：1995)
[ISBN]9784339051971 『生物生産機械ハンドブック』 (コロナ社：1996)

■関連科目

基礎植物学、植物生理学、資源植物学、植物育種学、生物工学基礎生物学実験、植物生産情報工学

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行う。

■研究室・メールアドレス

星研究室（東1号館4階459）・hoshi@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

木曜・２限（事前にメールで予約してください。）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　ガイダンス・工学的生物生産の意義【授業形式】講義

予習内容：なぜ農業と呼ばず講義では植物生産業と呼ぶのか。その理由を考えよ。
予習時間：30分
復習内容：植物生産の重要性と問題点について講義で話された内容を文献やネットでさらに詳しく調べる。
復習時間：60分

第2回　日本の植物生産現場の課題と展望【授業形式】講義

予習内容：日本の食糧自給率、農地面積、農家人口の推移を調べ、その変化の原因を考察する。
予習時間：30分
復習内容：日本の植物生産の衰退を食い止めるためにどのような選択肢があるかまとめる。
復習時間：60分

第3回　施設園芸と環境工学・国際単位系【授業形式】講義

予習内容：施設生産は露地生産のどのような点を課題解決できるか調べよ
予習時間：30分
復習内容：本学の授業で学んだ単位系が国際単位系に合致しているか確認せよ。
復習時間：60分

第4回　植物環境工学における呼吸・光合成・蒸散【授業形式】講義

予習内容：光合成速度に影響を与える環境要因を全て挙げよ
予習時間：60分
復習内容：光合成・蒸散の推定モデルについて調べてまとめよ
復習時間：60分

第5回　形態形成と成長・環境応答【授業形式】講義

予習内容：植物葉の分光特性と日陰回避反応(フィトクロム)について調べよ。
予習時間：30分
復習内容：成長解析で求められる各値が植物成長の何を示す指標かまとめよ。
復習時間：60分

第6回　熱と温度の基礎【授業形式】講義

予習内容：熱と温度の用語についてその違いを調べ理解しておく。
予習時間：30分
復習内容：飽差、エンタルピについて調べ、その求め方を習得する。
復習時間：60分

第7回　湿り空気と湿度【授業形式】講義

予習内容：植物生産にとって湿度がどのような影響を与えるのか調べておく。
予習時間：30分
復習内容：植物体への結露の影響とそれを軽減する方法についてさらに詳しく調べる。
復習時間：60分

第8回　温度環境制御【授業形式】講義

予習内容：施設の冷暖房設備にどのようなものがあるか調べる。
予習時間：30分
復習内容：再生可能エネルギを用いた冷暖房方式の利点と欠点をまとめる。
復習時間：60分

第9回　自然光と光環境【授業形式】講義

予習内容：放射束、光量子束、照度の違いについて調べておく。

予習時間：30分
復習内容：植物の持つ光合成有効光波長域が定まった理由を太陽光から考察せよ。
復習時間：60分

第10回　人工光による光環境制御【授業形式】講義

予習内容：人工光の評価に照度が使用できない理由を考えよ。
予習時間：30分
復習内容：植物の光受容タンパク質の種類と、それらが関与する光形態形成反応についてまとめる。
復習時間：60分

第11回　CO2環境とCO2施用、空気の流動【授業形式】講義

予習内容：温室などの施設に循環扇が使われる理由を考えよ。
予習時間：30分
復習内容：CO2施用にゼロ濃度差制御がある。どんな利点と欠点があるか調べてみる。
復習時間：60分

第12回　土壌の働きと植物栄養【授業形式】講義

予習内容：土とは何からできているのか。構成成分を調べておく。
予習時間：30分
復習内容：必須元素欠乏症の発生の特性をリービッヒ最少律の法則で考えてまとめよ。
復習時間：45分

第13回　養液栽培と培養液制御システム【授業形式】講義

予習内容：水栽培と養液栽培の違いについて調べておく。
予習時間：30分
復習内容：湛液方式とロックウール耕に向いた植物は違う。どこが違うのか調べてまとめる
復習時間：60分

第14回　植物病虫害とその制御【授業形式】講義

予習内容：病原菌があっても植物が病気にならない時はどんな時か。調べておく。
予習時間：30分
復習内容：IPMが注目されるのはどのようなメリットがあるからか。調べてみる
復習時間：45分

第15回　植物工場と植物移動システム【授業形式】講義

予習内容：植物工場の定義について調べておく。
予習時間：45分
復習内容：スペーシング効率(何倍の植物株が栽培できるか)を求める計算式を立ててみる。
復習時間：75分

定期試験を実施します。

持ち込み不可で、毎回の小テストを発展させた内容を出題いたします。

■ホームページ

星研究室のページ　http://www.hoshi-lab.info/home-j.html

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 ：	**植物生産工学Ⅰ**						
英文名 ：	Plant Production Engineering 1						
担当者 ：	星　岳彦						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考 ：	令和元年度～令和4年度入学生対象科目						

■授業概要

植物の生産を行うための環境工学的方法論について総論的に講義する生物生産工学分野の専門科目である。植物生産、特に施設植物生産について、その目的・必要性・課題について、最初に述べる。そして、植物の生産には、その生育環境を適切に制御する必要がある。これらの環境要素、例えば、温度、湿度、光など、の計測法・制御法と、植物の成育との関係性について述べる。植物の生理反応から群落・生産システムまでのさまざまなスケールを対象にして論じる。授業の理解度を確認するための小テストを毎回実施する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

『受講者は、この授業を履修することにより、
・工学的生物生産の意義と特徴について説明できる。
・日本の植物生産の現状と問題点について理解している。
・施設植物生産の定義、歴史、現状について説明できる。
・作物と植物生産施設の状態を、湿り空気、光環境、ガス環境から判断できる。
・養液栽培、植物工場について説明できる。
ようになります。』
この科目の習得は、本学科の定めるディプロマポリシー1、2の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

小テスト 50%
定期試験 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

小テストは、次回の授業冒頭で解説および模範解答を講義し、質問を受け付けます。
定期試験は、終了後に模範解答をお知らせし、質問を受け付けますので、オフィスアワーに来訪願います。

■教科書

[ISBN]9784254410433 『施設園芸学: 植物環境工学入門』 (後藤 英司, 朝倉書店：2022)
教科書の他に必要に応じてプリントによる教材も提供する。

■参考文献

[ISBN]9784540151019 『施設園芸・植物工場ハンドブック』(日本施設園芸協会、農文協：2015)
[ISBN]9784897324074 『新スマート農業―進化する農業情報利用』 (農業情報学会, 農林統計出版：2019)
[ISBN]9784274067877 『太陽光型植物工場―先進的植物工場のサステナブル・デザイン』 (古在 豊樹, オーム社：2009)
[ISBN]9784274204722 『完全制御型植物工場』 (高辻 正基, オーム社：2007)
[ISBN]9784842595146 『生物環境調節ハンドブック』 (養賢堂：1995)
[ISBN]9784339051971 『生物生産機械ハンドブック』 (コロナ社：1996)

■関連科目

基礎植物学、植物生理学、資源植物学、植物育種学、生物工学基礎生物学実験、植物生産情報工学(植物生産工学Ⅱ)

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行う。

■研究室・メールアドレス

星研究室（東1号館4階459）・hoshi@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

木曜・２限（事前にメールで予約してください。）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　ガイダンス・工学的生物生産の意義【授業形式】講義

予習内容：なぜ農業と呼ばず講義では植物生産業と呼ぶのか。その理由を考えよ。
予習時間：30分
復習内容：植物生産の重要性と問題点について講義で話された内容を文献やネットでさらに詳しく調べる。
復習時間：60分

第2回　日本の植物生産現場の課題と展望【授業形式】講義

予習内容：日本の食糧自給率、農地面積、農家人口の推移を調べ、その変化の原因を考察する。
予習時間：30分
復習内容：日本の植物生産の衰退を食い止めるためにどのような選択肢があるかまとめる。
復習時間：60分

第3回　施設園芸と環境工学・国際単位系【授業形式】講義

予習内容：施設生産は露地生産のどのような点を課題解決できるか調べよ
予習時間：30分
復習内容：本学の授業で学んだ単位系が国際単位系に合致しているか確認せよ。
復習時間：60分

第4回　植物環境工学における呼吸・光合成・蒸散【授業形式】講義

予習内容：光合成速度に影響を与える環境要因を全て挙げよ
予習時間：60分
復習内容：光合成・蒸散の推定モデルについて調べてまとめよ
復習時間：60分

第5回　形態形成と成長・環境応答【授業形式】講義

予習内容：植物葉の分光特性と日陰回避反応(フィトクロム)について調べよ。
予習時間：30分
復習内容：成長解析で求められる各値が植物成長の何を示す指標かまとめよ。
復習時間：60分

第6回　熱と温度の基礎【授業形式】講義

予習内容：熱と温度の用語についてその違いを調べ理解しておく。
予習時間：30分
復習内容：飽差、エンタルピについて調べ、その求め方を習得する。
復習時間：60分

第7回　湿り空気と湿度【授業形式】講義

予習内容：植物生産にとって湿度がどのような影響を与えるのか調べておく。
予習時間：30分
復習内容：植物体への結露の影響とそれを軽減する方法についてさらに詳しく調べる。
復習時間：60分

第8回　温度環境制御【授業形式】講義

予習内容：施設の冷暖房設備にどのようなものがあるか調べる。
予習時間：30分
復習内容：再生可能エネルギを用いた冷暖房方式の利点と欠点をまとめる。
復習時間：60分

第9回　自然光と光環境【授業形式】講義

予習内容：放射束、光量子束、照度の違いについて調べておく。

予習時間：30分
復習内容：植物の持つ光合成有効光波長域が定まった理由を太陽光から考察せよ。
復習時間：60分

第10回　人工光による光環境制御【授業形式】講義

予習内容：人工光の評価に照度が使用できない理由を考えよ。
予習時間：30分
復習内容：植物の光受容タンパク質の種類と、それらが関与する光形態形成反応についてまとめる。
復習時間：60分

第11回　CO2環境とCO2施用、空気の流動【授業形式】講義

予習内容：温室などの施設に循環扇が使われる理由を考えよ。
予習時間：30分
復習内容：CO2施用にゼロ濃度差制御がある。どんな利点と欠点があるか調べてみる。
復習時間：60分

第12回　土壌の働きと植物栄養【授業形式】講義

予習内容：土とは何からできているのか。構成成分を調べておく。
予習時間：30分
復習内容：必須元素欠乏症の発生の特性をリービッヒ最少律の法則で考えてまとめよ。
復習時間：45分

第13回　養液栽培と培養液制御システム【授業形式】講義

予習内容：水栽培と養液栽培の違いについて調べておく。
予習時間：30分
復習内容：湛液方式とロックウール耕に向いた植物は違う。どこが違うのか調べてまとめる
復習時間：60分

第14回　植物病虫害とその制御【授業形式】講義

予習内容：病原菌があっても植物が病気にならない時はどんな時か。調べておく。
予習時間：30分
復習内容：IPMが注目されるのはどのようなメリットがあるからか。調べてみる
復習時間：45分

第15回　植物工場と植物移動システム【授業形式】講義

予習内容：植物工場の定義について調べておく。
予習時間：45分
復習内容：スペーシング効率(何倍の植物株が栽培できるか)を求める計算式を立ててみる。
復習時間：75分

定期試験を実施します。

持ち込み不可で、毎回の小テストを発展させた内容を出題いたします。

■ホームページ

星研究室のページ　http://www.hoshi-lab.info/home-j.html

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	**食生産環境工学**						
英文名 :	Environmental engineering of food production						
担当者 :	髙辻　渉						
開講学科 :	食品安全工学科						
単　位 :	2単位	開講年次 :	3年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	専門科目						
備　考 :							

■授業概要

食生産において必然的に排出される廃棄物を、環境との関係から入門的、かつ具体的に論ずる。
食生産に関して、未利用バイオマスや廃棄物バイオマスを利用することは、循環型社会の構築であり、カーボンニュートラル面からは、地球温暖化対策への貢献につながる。
本講ではまず、地球温暖化問題、ゴミ問題およびSDGsについて説明し、循環型社会形成のための政策を紹介する。次に、食品産業において食品製造、加工、流通、消費などの過程から食品廃棄物バイオマスが発生する仕組みとその対策について講ずる。 つづいて、バイオマスを再生利用する技術について説明する。 さらに、生産活動に伴って発生する環境汚濁物質を処理する技術について説明する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

食糧生産、食品産業などの食生産システムから未利用バイオマス、食品廃棄物バイオマスが大量に発生しており、地球温暖化防止、環境負荷の低減、循環型社会形成のためには、その対策が重要であることを理解する。 対策としては、未利用バイオマス、廃棄物バイオマスの発生の現状を理解する。 また、廃棄される資源を削減する技術、および、これらの資源を再生利用するリサイクル技術、熱変換技術を理解する。さらに最終的に環境に配慮した処分方法を理解する。
この科目の履修は、本学科ディプロマポリシーのＤＰ４に主体的に関与する。

■成績評価方法および基準

確認テスト (授業の最後に行う) 50%
課題に対するレポートの提出 (宿題) 20%
定期試験 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

確認テストは、授業の中で、問題の要点と解答例を解説する。
課題については、採点のみ。
定期試験については、試験の終了後に解答例を解説する。

■教科書

【留意事項】教科書は使用しない。 講義内容を資料として印刷して配布し、これに基づいて授業を行なう。

■参考文献

【留意事項】特にはない。 ただし、日頃から新聞やテレビ放送などのニュース、報道で、低炭素、再生可能エネルギー、食品ロス、バイオマス利用などについて報道されるときには、注意して情報を取り込んで記憶するように努力することが望ましい。

■関連科目

農業環境工学、生物化学工学、応用微生物学

■授業評価アンケート実施方法

大学の実施規程に準拠して実施する。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）
髙辻　渉 のメールアカウント： <w_taka1@waka.kindai.ac.jp>

■オフィスアワー

授業終了後に、講師控室（2号館2階）で対応する。
簡単な質問は、授業終了後、教室で対応する。
eメールでの質問も受ける。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　１食生産環境工学(概論)（授業形式：講義）

予習内容：テキストは講義を始める前に配布するので、シラバスに記載した授業計画に沿って、あらかじめよく読んでおくこと。
予習時間：30分
復習内容：テキストと書き込んだノートをよく読み、また、授業中に参考にするようにと勧めたことは、図書館や web で調べ、理解を深めることが望ましい。また確認テストの解答は必ず理解しておくこと。
復習時間：30分
１食生産環境工学(概論)
　持続可能な社会を目指すための世界的な取組
　食生産環境工学では何を学ぶのか？
　廃棄物の発生量とその処理の状況
　循環型社会
　バイオマス資源について

第2回　２未利用系バイオマス（授業形式：講義）

予習内容：シラバスに記載した授業計画に沿って、テキストをあらかじめよく読んでおくこと。
予習時間：30分
復習内容：テキストと書き込んだノートをよく読み、また、授業中に参考にするようにと勧めたことは、図書館や web で調べ、理解を深めることが望ましい。また確認テストの解答は必ず理解しておくこと。
復習時間：30分
２未利用系バイオマス
　農産系廃棄物
　　稲､小麦､とうもろこしの非可食部 (藁／籾殻／糠／ふすま／コーンコブ／葉・茎)
　コンポスト化、飼料化、直接燃料、バイオエタノール

第3回　３廃棄物系バイオマス（授業形式：講義）

予習内容：シラバスに記載した授業計画に沿って、テキストをあらかじめよく読んでおくこと。
予習時間：30分
復習内容：テキストと書き込んだノートをよく読み、また、授業中に参考にするようにと勧めたことは、図書館や web で調べ、理解を深めることが望ましい。また確認テストの解答は必ず理解しておくこと。
復習時間：30分
３廃棄物系バイオマス
　食品廃棄物
　　食品資源の循環
　　　廃棄物の分類と処分
　　発生状況
　　　発生要因と対策
　　　　製造業／流通業／消費・外食産業と小売業／家庭

第4回　３廃棄物系バイオマス (つづき)（授業形式：講義）

予習内容：シラバスに記載した授業計画に沿って、テキストをあらかじめよく読んでおくこと。
予習時間：30分
復習内容：テキストと書き込んだノートをよく読み、また、授業中に参考にするようにと勧めたことは、図書館や web で調べ、理解を深めることが望ましい。また確認テストの解答は必ず理解しておくこと。
復習時間：30分
３廃棄物系バイオマス (つづき)
　食品廃棄物の再生利用
　　食品リサイクル法
　　　再生利用の順番、実施率目標値

食品廃棄物処理状況
飼料/肥料/熱回収
畜産系廃棄物
牛糞、豚糞、鶏糞
堆肥化、燃料化

第5回　４新材料・加工（授業形式：講義）

予習内容：シラバスに記載した授業計画に沿って、テキストをあらかじめよく読んでおくこと。
予習時間：30分
復習内容：テキストと書き込んだノートをよく読み、また、授業中に参考にするようにと勧めたことは、図書館や web で調べ、理解を深めることが望ましい。また確認テストの解答は必ず理解しておくこと。
復習時間：30分
４新材料・加工
食用油脂
飽和脂肪酸、不飽和脂肪酸、多価不飽和脂肪酸（EPAとDHA)
植物性油、こめ油
必須脂肪酸、機能性成分
動物性油
牛脂、豚脂、魚油

第6回　４新材料・加工（つづき）（授業形式：講義）

予習内容：シラバスに記載した授業計画に沿って、テキストをあらかじめよく読んでおくこと。
予習時間：30分
復習内容：テキストと書き込んだノートをよく読み、また、授業中に参考にするようにと勧めたことは、図書館や web で調べ、理解を深めることが望ましい。また確認テストの解答は必ず理解しておくこと。
復習時間：30分
４新材料・加工 (つづき)
生分解性材料
バイオプラスチック
ポリ乳酸
非木材パルプ
機能性材料
米糠セラミックス、籾殻セラミックス、窒化ケイ素、炭化ケイ素

第7回　５有機資源変換（授業形式：講義）

予習内容：シラバスに記載した授業計画に沿って、テキストをあらかじめよく読んでおくこと。
予習時間：30分
復習内容：テキストと書き込んだノートをよく読み、また、授業中に参考にするようにと勧めたことは、図書館や web で調べ、理解を深めることが望ましい。また確認テストの解答は必ず理解しておくこと。
復習時間：30分
５有機資源変換
コンポスト、堆肥
無機化、土壌環境、エンドファイト農業
コンポストフロー
前処理、発酵

第8回　５有機資源変換　（つづき）（授業形式：講義）

予習内容：シラバスに記載した授業計画に沿って、テキストをあらかじめよく読んでおくこと。
予習時間：30分
復習内容：テキストと書き込んだノートをよく読み、また、授業中に参考にするようにと勧めたことは、図書館や web で調べ、理解を深めることが望ましい。また確認テストの解答は必ず理解しておくこと。
復習時間：30分
５有機資源変換　(つづき)
堆肥化技術

第9回　５有機資源変換　（つづき）（授業形式：講義）

予習内容：シラバスに記載した授業計画に沿って、テキストをあらかじめよく読んでおくこと。
予習時間：30分
復習内容：テキストと書き込んだノートをよく読み、また、授業中に参考にするようにと勧めたことは、図書館や web で調べ、理解を深めることが望ましい。また確認テストの解答は必ず理解しておくこと。
復習時間：30分

５有機資源変換 （つづき）
堆肥化工場の設計
堆肥の品質評価
生ごみのコンポスト化
有機農業
プロバイオティクス

第10回 ５有機資源変換 （つづき）（授業形式：講義）

予習内容：シラバスに記載した授業計画に沿って、テキストをあらかじめよく読んでおくこと。
予習時間：30分
復習内容：テキストと書き込んだノートをよく読み、また、授業中に参考にするようにと勧めたことは、図書館や web で調べ、理解を深めることが望ましい。また確認テストの解答は必ず理解しておくこと。
復習時間：30分
５有機資源変換 （つづき）
飼料化
粗飼料／濃厚飼料／エコフィード
キノコ菌床栽培

第11回 ６熱変換技術（授業形式：講義）

予習内容：シラバスに記載した授業計画に沿って、テキストをあらかじめよく読んでおくこと。
予習時間：30分
復習内容：テキストと書き込んだノートをよく読み、また、授業中に参考にするようにと勧めたことは、図書館や web で調べ、理解を深めることが望ましい。また確認テストの解答は必ず理解しておくこと。
復習時間：30分
６熱変換技術
バイオ燃料
バイオエタノール
糖質原料、デンプン原料、セルロース系原料

第12回 ６熱変換技術 （つづき）（授業形式：講義）

予習内容：シラバスに記載した授業計画に沿って、テキストをあらかじめよく読んでおくこと。
予習時間：30分
復習内容：テキストと書き込んだノートをよく読み、また、授業中に参考にするようにと勧めたことは、図書館や web で調べ、理解を深めることが望ましい。また確認テストの解答は必ず理解しておくこと。
復習時間：30分
６熱変換技術 （つづき）
バイオディーゼル
FAME、BHD
製造方法、エネルギー収支、CO2排出量
メタン発酵
メタン発酵の原理、発酵プロセス

第13回 ６熱変換技術 （つづき）（授業形式：講義）

予習内容：シラバスに記載した授業計画に沿って、テキストをあらかじめよく読んでおくこと。
予習時間：30分
復習内容：テキストと書き込んだノートをよく読み、また、授業中に参考にするようにと勧めたことは、図書館や web で調べ、理解を深めることが望ましい。また確認テストの解答は必ず理解しておくこと。
復習時間：30分
６熱変換技術 （つづき）
メタン発酵
運転管理、処理方式、熱電併給（コージェネ）、導入効果

第14回 ７直接燃焼／８排水処理技術（授業形式：講義）

予習内容：シラバスに記載した授業計画に沿って、テキストをあらかじめよく読んでおくこと。
予習時間：30分
復習内容：テキストと書き込んだノートをよく読み、また、授業中に参考にするようにと勧めたことは、図書館や web で調べ、理解を深めることが望ましい。また確認テストの解答は必ず理解しておくこと。
復習時間：30分
７直接燃焼
鶏糞発電、籾殻発電
８排水処理技術

排水規制

第15回　８排水処理技術　（つづき）（授業形式：講義）

予習内容：シラバスに記載した授業計画に沿って、テキストをあらかじめよく読んでおくこと。
予習時間：30分
復習内容：テキストと書き込んだノートをよく読み、また、授業中に参考にするようにと勧めたことは、図書館や web で調べ、理解を深めることが望ましい。また確認テストの解答は必ず理解しておくこと。
復習時間：30分
８排水処理技術　（つづき）
活性汚泥法、高度処理法、凝集沈殿法、膜処理法

定期試験　食生産環境工学

循環型社会の構築に関する取組内容について問う。
有機資源変換に関する内容（目的、効果、課題）について問う。
熱変換技術に関しては、その原理と長所および短所について問う。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**食品システム論**						
英文名　：	Food System						
担当者　：	山野　薫						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	3年次	開講期：	前期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品は生きる上で不可欠なものであり、かつ身近なものである一方、その背後にある生産・流通のシステムは複雑化・多様化しています。本講義では、食生活の変化、食品が農場から食卓に至るまでの仕組み、生産・加工・流通に関わる事業主体の行動や各段階の特徴について解説するとともに、私たちが直面している食をめぐる問題や課題についても取り上げて議論します。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

食生活の変化とその背景を理解する。
フードシステムの各段階（生産・加工・流通）の役割・特徴や、各段階の事業者の行動についての知識を習得する。
本科目の修得は、食品安全工学科が定めるディプロマポリシー4の達成に関与します。

■成績評価方法および基準

確認テスト（2回） 70%
授業中に出題するミニ課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の講義内で解説、またはUNIVERSAL PASSPORTに模範解答を掲載します。

■教科書

適宜、プリントを配布する。

■参考文献

[ISBN]9784274219221 『食料経済(第5版): フードシステムからみた食料問題』 (みゆき, 清水, オーム社：2016)
[ISBN]9784767906362 『フードシステム入門: ―基礎からの食料経済学―』 (薬師寺 哲郎, 建帛社：2019)

■関連科目

くらしと食農・環境

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

1号館2階215室・yamano@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

水曜日2限・3限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 イントロダクション（授業形式：講義）

予習内容：特になし。
復習内容：フードシステムについて学んだことをまとめておく。
復習時間：90分
食生活や食品生産・流通の仕組みを理解する意義について、フードシステムという概念をもとに説明する。

第2回　食品産業と食市場（授業形式：講義）

予習内容：Keyword集を読んで、授業に出てくる用語の意味を調べておくこと。
予習時間：90分
復習内容：食品産業と食市場について学んだことをまとめておく。
復習時間：90分
現代社会において食品の流通はどのようにして成り立っているのかを説明し、社会の動きとどのように関連しているのかを理解する。

第3回　生活形態と食品消費の変化の様子（授業形式：講義）

予習内容：Keyword集を読んで、授業に出てくる用語の意味を調べておくこと。
予習時間：90分
復習内容：生活形態と食品消費の変化の様子について学んだことをまとめておく。
復習時間：90分
食生活の形態の変化や、変化の要因について説明し、現在の私たちの食生活の特徴について理解する。

第4回　需要と供給、食品の価格決定（授業形式：講義）

予習内容：Keyword集を読んで、授業に出てくる用語の意味を調べておくこと。
予習時間：90分
復習内容：需要と供給の関係や、食品の価格決定の方法について学んだことをまとめておく。
復習時間：90分
市場における価格形成の方法について説明し、現代社会における経済の動きと食の関連について理解する。

第5回　生鮮食品の流通（授業形式：講義）

予習内容：Keyword集を読んで、授業に出てくる用語の意味を調べておくこと。
予習時間：90分
復習内容：卸売市場の役割について学んだことをまとめておく。
復習時間：90分
生鮮食品の流通に大きな役割を果たしている卸売市場について説明し、その役割と近年の動向について理解する。

第6回　加工食品の流通（授業形式：講義）

予習内容：Keyword集を読んで、授業に出てくる用語の意味を調べておくこと。
予習時間：90分
復習内容：食品問屋の役割について学んだことをまとめておく。
復習時間：90分
加工食品の流通に欠かせない食品問屋（食品卸）について説明し、その役割と近年の動向を理解する。

第7回　食品小売業の種類と役割（授業形式：講義）

予習内容：Keyword集を読んで、授業に出てくる用語の意味を調べておくこと。
予習時間：90分
復習内容：食品小売業の種類と役割について学んだことをまとめておく。
復習時間：90分
食品小売業の様々な業種・業態や、役割について説明し、その特徴や近年の動向、私たちの生活との関連を理解する。

第8回　復習と確認テスト（授業形式：講義）

予習内容：これまでの講義内容を復習しておくこと。
予習時間：90分
復習内容：分からなかった問題を復習する
復習時間：90分
これまでの講義内容を復習し、確認テストを行う

第9回　チェーンオペレーションによる食の供給（外食産業編）（授業形式：講義）

予習内容：Keyword集を読んで、授業に出てくる用語の意味を調べておくこと。
予習時間：90分
復習内容：チェーンレストランの運営の仕組みや食材供給の在り方について学んだことをまとめておく。
復習時間：90分
外食産業の成立過程やチェーンレストランの運営の仕組みなどについて説明し、食材の供給システムや近年の動向について理解する。

第10回　チェーンオペレーションによる食の供給（コンビニ編）（授業形式：講義）

予習内容：Keyword集を読んで、授業に出てくる用語の意味を調べておくこと。
予習時間：90分
復習内容：コンビニエンスストアの運営や物流について学んだことをまとめておく。
復習時間：90分
コンビニエンスストアの運営の仕組みや物流について説明し、私たちの生活との関連や近年抱えている課題などについて理解する。

第11回　食品のマーケティング（授業形式：講義）

予習内容：Keyword集を読んで、授業に出てくる用語の意味を調べておくこと。
予習時間：90分
復習内容：食品とマーケティングについて学んだことをまとめておく。
復習時間：90分
マーケティングの基礎的な理論について説明し、身近な食品のマーケティングがどのように行われているかを理解する。

第12回　PB商品って何だ？―食品とブランド（授業形式：講義）

予習内容：Keyword集を読んで、授業に出てくる用語の意味を調べておくこと。
予習時間：90分
復習内容：PB商品や食品のブランドについて学んだことをまとめておく。
復習時間：90分
PB商品の企画・開発について説明し、食品におけるブランドとは何かを理解する。

第13回　環境問題と食（授業形式：講義）

予習内容：Keyword集を読んで、授業に出てくる用語の意味を調べておくこと。
予習時間：90分
復習内容：食品と環境問題の関係について学んだことをまとめておく。
復習時間：90分
食に関わる環境問題、また環境保全のための国や企業の取り組みについて説明し、食品廃棄・ロスの現状などについて理解する。

第14回　食品の安全確保のための仕組み（授業形式：講義）

予習内容：Keyword集を読んで、授業に出てくる用語の意味を調べておくこと。
予習時間：90分
復習内容：食品の安全確保のための仕組みについて学んだことをまとめておく。
復習時間：90分
食品の安全確保のための考え方や仕組み、法律について説明し、食品企業における安全管理システム（ＨＡＣＣＰ、トレーサビリティなど）について理解する。

第15回　まとめと確認テスト（授業形式：講義）

予習内容：Keyword集を読んで、授業に出てくる用語の意味を調べておくこと。
予習時間：90分
復習内容：この授業で学んだことをまとめておく。
復習時間：90分
ここまで学んできたことを復習し、現代社会における食の在り方について考える。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**食品安全学**						
英文名　：	Food Microbiology and Safety						
担当者　：	泉　秀実						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

「食品衛生管理者・監視員」や「ＨＡＣＣＰ管理者」としての食品安全に関わる知識を学習します。対象とする果実・野菜およびそれらの一次加工品であるカット野菜・果実は、生命体で、生食する生鮮食品です。このために、食の安全を脅かす病原微生物、有害添加物、残留農薬などの危害が、ヒトに対して直接的に及びやすい食品です。これらの危害を理解し、防御するための安全知識について、学修します。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講生は、未加工および一次加工の食品の安全性について、微生物危害を中心とした疾病状況と行政対策を把握し、実際に危害を防除するための殺菌技術、貯蔵技術、衛生管理法、疫学調査法に関する知識を生化学的、微生物学的、分子生物学的な見地から身につけます。「ＨＡＣＣＰ管理者」資格取得に必須のＨＡＣＣＰシステム論受講のための関連科目です。この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー3の達成に主体的に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 80%
レポート（2回に分けて提示した課題に対しレポート用紙1～2枚） 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験期間終了後に「試験の要点と解説」を掲示板またはUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■教科書

プリント配布。

■参考文献

[ISBN]なし　『適正農業規範（GAP）導入の手引き』（泉　秀実・日佐和夫 翻訳、環境文化創造研究所）

■関連科目

食品保全学、ＨＡＣＣＰシステム論

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

泉研究室（西1号館4階453）・izumi@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

月曜日2限と水曜日2限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　生鮮食品の安全危害（授業形式：講義）

予習内容：食品の安全を脅かす危害について予習する。
予習時間：60分
復習内容：講義ノートを整理し、安全危害の重要性を復習する。
復習時間：60分

第2回　果実・野菜と微生物（授業形式：講義）

予習内容：果実・野菜に付着する微生物の種類について予習する。
予習時間：60分
復習内容：講義ノートを整理し、果実・野菜の微生物叢を復習する。
復習時間：60分

第3回　果実・野菜の微生物制御（授業形式：講義）

予習内容：一般的な微生物の制御方法を予習する。
予習時間：60分
復習内容：講義ノートを整理し、果実・野菜の微生物の制御技術を復習する。
復習時間：60分

第4回　果実・野菜の衛生管理法（授業形式：講義）

予習内容：食品保全学の講義内容を確認し、食品の衛生管理法を調べる。
予習時間：60分
復習内容：講義ノートを整理し、推奨されている果実・野菜の衛生管理法を復習する。
復習時間：60分

第5回　果実・野菜の貯蔵法（授業形式：講義）

予習内容：果実・野菜を貯蔵する最適な温度域とガス環境について予習する。
予習時間：60分
復習内容：講義ノートを整理し、果実・野菜の最適な貯蔵技術を復習する。
復習時間：60分

第6回　カット果実・野菜の微生物制御（授業形式：講義）

予習内容：果実・野菜の微生物制御法を参考に、カット果実・野菜の微生物制御法を予習する。
予習時間：60分
復習内容：講義ノートを整理し、カット果実・野菜に最適な微生物制御法を復習する。
復習時間：60分

第7回　カット果実・野菜の衛生管理法（授業形式：講義）

予習内容：果実・野菜の衛生管理法を参考に、カット果実・野菜の衛生管理法を予習する。
予習時間：60分
復習内容：講義ノートを整理し、推奨されているカット果実・野菜の衛生管理法を復習する。
復習時間：60分

第8回　カット果実・野菜の貯蔵法（授業形式：講義）

予習内容：果実・野菜の貯蔵法を参考に、カット果実・野菜の貯蔵法を予習する。
予習時間：60分
復習内容：講義ノートを整理し、カット果実・野菜の最適な貯蔵法を復習する。
復習時間：60分

第9回　予冷と低温貯蔵（授業形式：講義）

予習内容：予冷の意味と意義を予習する。
予習時間：60分
復習内容：講義ノートを整理し、野菜類の予冷技術を復習する。
復習時間：60分

第10回　低温障害（授業形式：講義）

予習内容：低温障害の意味と意義を予習する。
予習時間：60分
復習内容：講義ノートを整理し、青果物の低温障害の特徴と機作を復習する。
復習時間：60分

第11回　Controlled atmosphere（ＣＡ）貯蔵（授業形式：講義）

予習内容：Controlled atmosphere（ＣＡ）貯蔵の意味と意義を予習する。
予習時間：60分

復習内容：講義ノートを整理し、Controlled atmosphere（ＣＡ）貯蔵技術を復習する。
復習時間：60分

第12回　Modified atmosphere packaging（ＭＡＰ）貯蔵（授業形式：講義）

予習内容：Modified atmosphere packaging（ＭＡＰ）貯蔵の意味と意義を予習する。
予習時間：60分
復習内容：講義ノートを整理し、Modified atmosphere packaging（ＭＡＰ）貯蔵技術を復習する。
復習時間：60分

第13回　抗菌剤・鮮度保持剤の利用（授業形式：講義）

予習内容：一般的な抗菌剤と鮮度保持剤の種類を予習する。
予習時間：60分
復習内容：講義ノートを整理し、青果物・カット青果物に最適な抗菌剤と鮮度保持剤を復習する。
復習時間：60分

第14回　トレーサビリティと安全性（授業形式：講義）

予習内容：トレーサビリティシステムの意味と意義を予習する。
予習時間：60分
復習内容：講義ノートを整理し、青果物・カット青果物へのトレーサビリティシステムの活用について復習する。
復習時間：60分

第15回　分子疫学調査と安全性（授業形式：講義）

予習内容：疫学調査の意味と意義を予習する。
予習時間：60分
復習内容：講義ノートを整理し、青果物・カット青果物に対する分子疫学調査の活用について復習する。
復習時間：60分

定期試験

■ホームページ

近畿大学生物理工学部食品保全学研究室（Team Izumi） https://sites.google.com/view/kindai-laboffoodsafety/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**食品安全工学概論**						
英文名　：	Introduction to Science and Technology on Food Safety						
担当者　：	芦田　久・石丸　恵・岸田　邦博・東　慶直・白木　琢磨・尾﨑　嘉彦・ 江口　陽子・松橋　珠子・栗原　新・泉　秀実・武部　聡						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

すべての人々にとって普遍的な存在である「食」の安全と信頼を確保するために、様々な分野の先達が食の生産から消費までの科学・技術を発展させてきた。本講義は、食品安全工学科教員がそれぞれの専門分野から見た「食の安全と機能」を食資源生物の開発と生産性、食品衛生管理の構築や機能性食品の開発・実用化などを工学的、技術的な立場から説明する。講義は学科教員が1回担当する計12回のオムニバス形式に加え、3回分の講義時間を充て、食品工場の見学を行い、実際の食品製造に関わる多様な技術的要素に触れ、食品産業に対する理解を深める。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

農場から食卓まで食の安全を確保しつつ、その機能の有効利用を考える本学科の理念に基づき、「食の安全と機能」に関する学問・研究の内容について具体的なイメージをつかむ。授業で取り上げられたテーマについて、授業終了後に内容や関連事項を自分で調べ、ノートにまとめる習慣を付ける。「食の安全と機能」の話題について、自分の考えをレポートにすることができる。この科目の修得は、食品安全工学科の定めるディロマポリシー3の達成に関与している。

■成績評価方法および基準

レポート 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

提出されたレポートについて、講義時間内にフィードバックを行います。

■教科書

【留意事項】特になし。（必要に応じて資料を配付する。）

■参考文献

【留意事項】特になし。

■関連科目

特になし。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

（代表・学科長）東研究室(東1号館4階409)・azuma@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

（代表・学科長）　東　月曜日・2限目
その他、随時（事前にメールにてアポイントをとってください。）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　HACCPの概要と管理者資格の取得条件（泉）（授業形式：講義）

予習内容：講義の資料はあらかじめユニバーサルパスポートにアップロードされるので、事前に内容をよく読み、疑問点などを抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：HACCPシステムについて調べてノートに整理しておく。
復習時間：90分

第2回　世の中の食に関する問題・話題と食品安全工学科（東）（授業形式：講義）

予習内容：食に関する関心事を1つか2つ考えておく。授業中に自ら挙手し、その事柄について紹介する。少なくとも、指名されたら躊躇なく紹介できるようにしておくこと。
予習時間：60分
復習内容：授業中に話題になった内容について、改めて調べ、考えを整理して、500-1000字くらいの文章にまとめる。
復習時間：90分

第3回　腸内細菌の代謝産物が及ぼす生体への影響（栗原）（授業形式：講義）

予習内容：講義の資料はあらかじめユニバーサルパスポートにアップロードされるので、事前に内容をよく読み、疑問点などを抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：近年明らかとなった新しい機能を持つ腸内細菌の代謝産物数種についてその名称と機能をノートに整理しておく。
復習時間：90分

第4回　収穫後から貯蔵・流通における青果物の生理・生化学的品質について（石丸）（授業形式：講義）

予習内容：講義の資料はあらかじめユニバーサルパスポートにアップロードされるので、事前に内容をよく読み、疑問点などを抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：青果物の収穫後の呼吸代謝とその経路について調べてノートに整理しておく。
復習時間：90分

第5回　食肉の生産を知ろう（松橋）（授業形式：講義）

予習内容：講義の資料はあらかじめユニバーサルパスポートにアップロードされるので、事前に内容をよく読み、疑問点などを抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：畜産物の生産行程と食の安全を脅かす要因について調べてノートに整理しておく。
復習時間：90分

第6回　加工食品と食品製造技術（尾﨑）（授業形式：講義）

予習内容：講義の資料はあらかじめユニバーサルパスポートにアップロードされるので、事前に内容をよく読み、疑問点などを抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：熱処理による食品成分への影響について、メリットとデメリット、デメリットを克服する手法について調べてノートに整理しておく。
復習時間：90分

第7回　食べ物と健康（岸田）（授業形式：講義）

予習内容：講義の資料はあらかじめユニバーサルパスポートにアップロードされるので、事前に内容をよく読み、疑問点などを抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：健康を維持するために食生活で気をつけるべき点について、調べてノートに整理しておく。
復習時間：90分

第8回　実験動物を用いた食品の機能性と安全性の評価（白木）（授業形式：講義）

予習内容：講義の資料はあらかじめユニバーサルパスポートにアップロードされるので、事前に内容をよく読み、疑問点などを抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：食品に含まれる栄養素、機能性成分、毒性成分について調べてノートに整理しておく。
復習時間：90分

第9回　乳酸菌の発酵食品への応用と腸管機能調節機構（芦田）（授業形式：講義）

予習内容：講義の資料はあらかじめユニバーサルパスポートにアップロードされるので、事前に内容をよく読み、疑問点などを抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：乳酸菌が関わる発酵食品および特定保健用食品の表示内容について調べてノートに整理しておく。
復習時間：90分

第10回　食中毒原因菌の性質と食中毒予防（江口）（授業形式：講義）

予習内容：講義の資料はあらかじめユニバーサルパスポートにアップロードされるので、事前に内容をよく読み、疑問点などを抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：日本で発生している食中毒の種類と頻度を、厚生労働省のHP などで調べてノートに整理しておく。
復習時間：90分

第11回　発酵食品からホワイトバイオテクノロジーへ、微生物のゲノム解析の展開（東）（授業形式：講義）

予習内容：講義の資料はあらかじめユニバーサルパスポートにアップロードされるので、事前に内容をよく読み、疑問点などを抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：生分解性プラスティックもしくは世界の発酵食品について調べてノートに整理しておく。
復習時間：90分

第12回　生物農薬と環境保全（武部）（授業形式：講義）

予習内容：講義の資料はあらかじめユニバーサルパスポートにアップロードされるので、事前に内容をよく読み、疑問点などを抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：生物農薬と環境保全について調べてノートに整理しておく。
復習時間：90分

第13回　工場見学（集中講義形式で前期試験期間後に実施）（授業形式：講義を含む演習）

予習内容：13回-15回は一日で実施するため予習復習は3回分をまとめて記す。講義の資料はあらかじめユニバーサルパスポートにアップロードされるので、事前に内容をよく読み、疑問点などを抜き出しておくこと。
予習時間：120分

第14回　工場見学（集中講義形式で前期試験期間後に実施）（授業形式：講義を含む演習）

第15回　工場見学（集中講義形式で前期試験期間後に実施）（授業形式：講義を含む演習）

復習内容：食の安全に関するトピックスについて、過去のニュースなどを調べて、問題点をノートに整理しておく。
復習時間：120分

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業
学外でのインターンシップや実習、研修を授業の一環として位置付けている授業

科目名　：	**食品衛生管理学**						
英文名　：	Hygiene Control of Food						
担当者　：	江口　陽子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品の安心、安全を確保するために食品衛生上考えなければならない種々の問題点を過去の食中毒事件などから学び、食中毒につながる生物的、化学的、物理的要因を学修します。さらに、これらの要因に対する管理手段を知り、食中毒予防の新しい技術や知識について修得します。講義内容の定着と理解のために講義後の小課題と中間・期末テストを実施し、食品の安全を守る管理手段を考えるためにレポート課題を出します。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、食品の安全性や健全性を脅かすリスクについて理解した上で、食品衛生管理の観点から食品衛生対策についての知識を修得します。
この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー 4 の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

期末テスト 30%
中間テスト 20%
レポート 20%
小課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

中間テストに関しては翌回の授業時間に解説し、定期テストに関しては試験の要点と解説を Google Classroom に掲載します。
小課題は翌回の授業時間に解説します。

■教科書

[ISBN]9784769916765 『新・食品衛生学　第三版』 (藤井 建夫, 恒星社厚生閣：2022)

■参考文献

【留意事項】特になし。資料を配布します。

■関連科目

食品保全学、食品安全学、食品微生物学、HACCPシステム論

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

江口研究室（東1号館4階417）・eguchi@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜日3限、水曜日3限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　食品と安全(食品衛生管理学概論）（授業形式：講義）

予習内容：特になし。
復習内容：宿題の小課題を解き、食中毒の現状や問題点および日本の食品衛生行政について把握する。
復習時間：60分
日本および世界における食中毒事例や食中毒の現状などを含む食品衛生管理学の概論。
日本の食品衛生行政と法規。

第2回　食品と微生物Ⅰ　微生物性食中毒Ⅰ　（授業形式：講義）

予習内容：グラム陰性菌について教科書の該当箇所を読んで予習をする。
予習時間：30分
復習内容：宿題の小課題を解き、グラム陰性菌による食中毒に対して復習する。
復習時間：30分
微生物学の基本的事項の復習、食中毒原因菌の中のグラム陰性菌について。

第3回　食品と微生物Ⅱ　微生物性食中毒Ⅱ　（授業形式：講義）

予習内容：グラム陽性菌とノロウィルスについて教科書の該当箇所を読んで予習をする。
予習時間：30分
復習内容：宿題の小課題を解き、グラム陽性菌による食中毒に対して復習する。
復習時間：30分
食中毒原因菌の中で、グラム陽性菌およびノロウィルスについて。

第4回　食品と微生物Ⅲ　微生物の検出　（授業形式：講義）

予習内容：食品の汚染指標細菌について教科書の該当箇所を読んで予習する。
予習時間：30分
復習内容：宿題の小課題を解き、食品の汚染指標細菌とその検出法について復習する。
復習時間：30分
食品の汚染指標細菌、および、その検出法。

第5回　食品と微生物Ⅳ 食品の腐敗　（授業形式：講義）

予習内容：食品の腐敗について教科書の該当箇所を読んで予習する。
予習時間：30分
復習内容：宿題の小課題を解き、食品の腐敗とその判定法について復習する。
復習時間：30分
食品の腐敗に関わる微生物と条件、および、腐敗の判定法。

第6回　食品と微生物Ⅴ　食品の微生物制御　（授業形式：講義）

予習内容：食品の微生物制御について教科書の該当箇所を読んで予習する。
予習時間：30分
復習内容：宿題の小課題を解き、食品中の微生物制御と食中毒予防について復習する。
復習時間：30分
食品中での微生物の増殖にどのような因子が関与するかを学び、その制御法を考える。

第7回　前半内容のまとめ・中間テスト　（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：中間テストにむけて、第1回から第6回までの学修内容の見直し。
予習時間：300分
復習内容：テスト問題の見直し。
復習時間：60分

第8回　寄生虫性食中毒　（授業形式：講義）

予習内容：寄生虫について教科書の該当箇所を読んで予習をする。
予習時間：30分
復習内容：宿題の小課題を解き、食中毒を引き起こす寄生虫について整理する。
復習時間：30分
中間テストの返却および解説。
食中毒の原因となる寄生虫とその予防法。

第9回　自然毒食中毒Ⅰ　（授業形式：講義）

予習内容：自然毒食中毒について教科書の該当箇所を読んで予習をする。
予習時間：30分
復習内容：宿題の小課題を解き、動物性自然毒について整理する。
復習時間：30分

フグ毒や貝毒などの動物性自然毒についての解説と食中毒事例の紹介。

第10回　自然毒食中毒Ⅱ　（授業形式：講義）

予習内容：自然毒食中毒について教科書の該当箇所を読んで予習をする。
予習時間：30分
復習内容：宿題の小課題を解き、植物性自然毒について整理する。
復習時間：30分
キノコ類や様々な植物に由来する植物性自然毒についての解説と食中毒事例の紹介。

第11回　化学性食中毒Ⅰ　（授業形式：講義）

予習内容：化学性食中毒について教科書の該当箇所を読んで予習をする。
予習時間：30分
復習内容：宿題の小課題を解き、食中毒の原因となる化学物質について復習する。
復習時間：30分
金属、農薬、アレルギー様物質による化学性食中毒について解説と食中毒事例の紹介。農薬のポジティブリスト制度や残留農薬基準の算出法なども解説する。

第12回　化学性食中毒Ⅱ、食品添加物Ⅰ　（授業形式：講義）

予習内容：化学性食中毒について教科書の該当箇所を読んで予習をする。
予習時間：30分
復習内容：宿題の小課題を解き、食中毒の原因となる化学物質について復習する。
復習時間：30分
塩素化合物、カビ毒による化学性食中毒について解説と食中毒事例の紹介。
後半は、食品添加物に対する国の考え方を解説する。

第13回　食品添加物Ⅱ　（授業形式：講義）

予習内容：食品添加物について教科書の該当箇所を読んで予習をする。
レポート課題として出題されたテーマに沿ってレポートを作成する。
予習時間：330分
復習内容：宿題の小課題を解き、食品添加物に関して復習する。
復習時間：60分
食品添加物の種類と、食品添加物がどのように指定されるかを説明する。
食品添加物の使用基準の設定法や表示方法などについても解説する。

第14回　食品の異物、害虫　（授業形式：講義）

予習内容：食品の異物、害虫に関連するニュースなどを調べ予習する。
予習時間：30分
復習内容：宿題の小課題を解き、食品の異物、害虫に関して復習する。
復習時間：30分
食品にどのような異物が混入しやすいかを紹介し、異物混入の対策法について解説する。

第15回　食品衛生対策、レポート講評・発表　（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：食品衛生対策について教科書の該当箇所を読んで予習をする。
期末テストにむけて第1回から第15回の内容を十分に復習する。
予習時間：300分
復習内容：宿題の小課題を解き、食品衛生対策について考える。
復習時間：30分
提出されたレポートの講評を行った後に、食品衛生対策に関して、一般衛生管理と HACCP について説明する。
後半に提出されたレポートの発表と講評を行う。

食品衛生管理学　定期試験

本講義内容の理解と修得を判定するために実施する試験である。
中間テストの範囲が第１回から第６回までであるので、定期試験の範囲は第８回から第１５回までを中心とする。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**食品化学実験**						
英文名　：	Laboratory Experiment in Food Chemistry						
担当者　：	武部　聡・岸田　邦博・東　慶直・尾﨑　嘉彦・尼子　克己						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	3単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

化学的手法を用いて実験を行う際に必要となる基礎知識、基本操作および頻繁に使用する計測機器の操作法を習得した後、食品等試料を用いて特定成分の定量および定性分析を酵素反応や化学反応を利用して行う。さらに、得られたデータの解析法を、コンピュータ等を用いて適切に行う方法についても習得する。15回の授業を教員5名が共担し、TA6名と実験操作やレポート作成の指導を行う。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

実験・実習科目

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

化学実験に用いる機器・器具の名称を憶え、使用法・操作法を習得する。測定値の読み取り方、処理法を学び、実験結果の信頼度を判断できるようになる。
この科目の修得は本学科のDP3に関与しています。

■成績評価方法および基準

レポート（一部ルーブリックによる評価） 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

レポートは添削した後、返却します。
ルーブリックを用いた場合は、採点結果も添付します。

■教科書

実験書（プリント）配付

■参考文献

指定しない。

■関連科目

化学Ⅰ・Ⅱ、食品分析化学、生化学Ⅰ・Ⅱ、食品材料学、食品機能学、食品加工学、機能性食品開発

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

武部研究室（西1号館6階660）・takebe@waka.kindai.ac.jp
東　研究室（東1号館4階409）・azuma@waka.kindai.ac.jp
尾﨑研究室（西1号館1階153）・ozaki@waka.kindai.ac.jp
岸田研究室（西1号館1階159）・kishida@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

（代表）武部　聡　木曜日3限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　ガイダンス：実験を安全に行うために（授業形式：実験）

予習内容：化学実験で使用する器具について調べる。物質量、分子量、濃度など化学用語について整理する。
予習時間：30分
復習内容：化学実験における事故防止のための予防策、起きたときの正しい対処について理解する。化学実験において予習からレポート作成までの手順を整理しておく。
復習時間：150分

第2回　ｐＨメータを用いた酸塩基滴定曲線の作成（授業形式：実験）

予習内容：水素イオン濃度とｐＨおよび溶液の酸性、中性、塩基性との関係を理解する。強酸と弱酸の違い、中和と塩の加水分解について調べる。ビュレットの使い方、ｐＨメーターの仕組みを調べておく。
予習時間：60分
復習内容：強酸-強塩基、弱酸-強塩基それぞれの滴定曲線から溶液のpH変化について、相違点、共通点をあげる。なぜ、そのような結果が得られたかを考察する。弱酸-強塩基の緩衝作用が見られる領域を探し、水溶液中の平衡反応と水素イオン濃度がほぼ一定になる仕組みを考察する。レポート作成。
復習時間：120分

第3回　標準溶液の作製と中和滴定（酸-塩基滴定）（授業形式：実験）

予習内容：モル濃度と溶液調製、中和における酸・塩基の量的関係、中和点付近における諸変化等の理解。実験ノート作成
予習時間：60分
復習内容：データ整理と処理、実験結果の妥当性検証、レポート作成
復習時間：120分

第4回　レポートの書き方（授業形式：実験）

予習内容：レポートの項目について整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：レポート作成にあたって授業で指摘された点、注意点をまとめ、第２回と第３回の実験レポートを修正する。
復習時間：150分

第5回　水の硬度測定（キレート滴定）（授業形式：実験）

予習内容：キレート滴定の原理、指示薬の特徴等の理解。硬水・軟水の定義理解と入手。実験ノート作成
予習時間：60分
復習内容：データ整理と処理、実験結果の妥当性検証、レポート作成
復習時間：120分

第6回　分光光度計を用いた吸収曲線の作成（Lambert-Beerの法則の理解1）（授業形式：実験）

予習内容：実験ノート作成と実験原理の理解、分光光度計の理解
予習時間：60分
復習内容：データ整理と処理、レポート作成、物質の特異吸収に関する考察
復習時間：120分

第7回　検量線の作成と物質の定量（Lambert-Beerの法則の理解2）（授業形式：実験）

予習内容：実験ノート作成と実験原理の理解、統計処理の予習
予習時間：60分
復習内容：データ整理と処理、レポート作成、物質の定量化に関する考察
復習時間：120分

第8回　飲み物に含まれる糖の定量（授業形式：実験）

予習内容：実験ノート作成と実験原理の理解、飲み物中の糖の種類や濃度に関する予習
予習時間：60分
復習内容：データ整理と処理、レポート作成、糖の定量に関する考察
復習時間：120分

第9回　タンパク質の人工消化試験（酵素を用いた反応の評価）（授業形式：実験）

予習内容：食物消化におけるタンパク質消化酵素の役割、タンパク質定量法、本実験における「消化」の評価方法等に関する理解。実験ノート作成
予習時間：60分
復習内容：データ整理と処理、考察課題による全体像の理解、レポート作成
復習時間：120分

第10回　ラット小腸マルターゼ活性の時間依存性の測定（授業形式：実験）

予習内容：糖質の消化にかかわる酵素について理解するとともに、実験で使用する小腸マルターゼのはたらきを確認しておく。実験原理を理解し、手順を実験ノートにまとめておく。
予習時間：60分
復習内容：マルターゼの作用により加水分解されたマルトースの物質量を反応時間ごとに計算して、マルターゼ活性の時間依存性について考察する。また、最初に加えたマルトースが何%加水分解されたかを計算する。
復習時間：120分

第11回　ラット小腸マルターゼ活性の基質濃度依存性の測定（授業形式：実験）

予習内容：酵素の定義や酵素反応の特徴である時間依存性、温度依存性、pH依存性、基質濃度依存性などについて確認しておく。実験内容を理解し、手順を実験ノートにまとめておく。
予習時間：60分
復習内容：最初に加えたマルトースが何%加水分解されたかを計算し、酵素反応終了後も基質が十分に残っていることを確認する。そのうえで、基質濃度の高低によって、どうしてマルターゼ活性（反応速度）が異なるのかを考察する。
復習時間：120分

第12回　ラット小腸マルターゼ活性のKm値の測定（授業形式：実験）

予習内容：ミカエリス定数（Km）の定義やKmがどのような意味をもつのかについて確認しておく。実験内容を理解し、手順を実験ノートにまとめておく。
予習時間：60分
復習内容：実験結果より、基質濃度を横軸に反応速度を縦軸にプロットし、両者の関係をグラフで表す。このグラフからマルターゼ活性のKm値の算出を試みる。また、Lineweaver-Burkプロット解析によりKm値を算出する。
復習時間：120分

第13回　薄層クロマトグラフィー法による市販茶飲料成分の定性分析（授業形式：実験）

予習内容：事前に配付される実験書をよく読んで、薄層クロマトグラフィーの原理および実験の手順について理解しておくこと
予習時間：60分
復習内容：実験結果を整理し、供試試料に見られたスポットと標準物質のRf値を比較し十分に考察したうえで、実験書の指示に従ってレポートをまとめること
復習時間：120分

第14回　比色定量法による市販茶飲料成分の定量分析（授業形式：実験）

予習内容：事前に配付される実験書をよく読んで、多成分複合系である実際の食品試料を対象とした比色定量分析の考え方および分析用試料調製の手順について理解しておくこと
予習時間：60分
復習内容：実験結果を整理するとともに、アスコルビン酸および(+)-カテキンについてそれぞれ作成した検量線の必要性および相違点について考察し、実験書の指示に従ってレポートをまとめること
復習時間：120分

第15回　高速液体クロマトグラフィー法による市販茶飲料成分の定量分析（授業形式：実験）

予習内容：事前に配付される実験書をよく読んで、アスコルビン酸によるFolin-Ciocalteu法への干渉作用およびデータ解析の手順について理解しておくこと
予習時間：60分
復習内容：HPLC法で求めたアスコルビン酸の濃度と前週に求めた比色定量法での分析結果から、市販茶飲料の主要成分についての定量結果をまとめること。また、得られた分析値について、それぞれの茶飲料の製法・製造工程と関連づけて考察し、実験書の指示に従ってレポートをまとめること
復習時間：120分

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**食品加工学**						
英文名 ：	Food Processing						
担当者 ：	石丸　恵						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考 ：							

■授業概要

本講義は､農産食品や冷凍食品、レトルト食品をはじめとする加工・貯蔵食品の原材料の品質劣化因子とその制御法について学修し、鮮度や品質維持技術の方法について学修する。また、加工食品の特徴や加工技術、包装等によるより有効な利用法についても学修する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

穀類、野菜類、果実類などの農産食品を中心に、食品の保蔵方法と加工工程を把握し、食品保蔵・加工に伴う品質の変化を生理学、生物学、化学および物理学を基に学ぶ。また、原材料から出荷までの食品加工の全工程を食品化学的視点から理解するために、生化学および生物学的反応などの現象を食品工学の立場から習得する。併せて、殺菌、滅菌、冷凍、照射などの技術について、ソフト（食品）とハード（装置）の両面を対象に学ぶ。
「HACCP管理者」資格取得に必須のHACCPシステム論受講のための関連科目です。
この科目の修得は、食品安全工学科の定めるディプロマポリシー1の達成に関与している。

■成績評価方法および基準

課題に対するレポートの提出 (2題、1600字以上） 20%
理解カテス ト (授業中に、2回の小テスト) 80%

■試験・課題に対するフィードバック方法

理解カテストは、次回の講義に答案を返却し、模範解答を配布し解説を行います。レポートについては、模範的な内容を配布します。

■教科書

[ISBN]9784061553958 『食べ物と健康,食品と衛生 食品加工・保蔵学 (栄養科学シリーズNEXT)』 (海老原 清, 講談社：2017)

■参考文献

[ISBN]9784759804768 『食品加工学―食べ物と健康〈3〉 (新 食品・栄養科学シリーズ)』 (化学同人：2003)
[ISBN]9784759811162 『食べ物と健康〈2〉食品学各論―食品素材と加工学の基礎を学ぶ (新 食品・栄養科学シリーズ)』 (化学同人：2012)

■関連科目

特になし。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

石丸研究室（東1号館4階408）・ishimaru@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

月曜3限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　食品加工の意義と目的（授業形式：講義）

予習内容：加工食品の種類と生産量について調べておく。
予習時間：30分
復習内容：食品の加工や保蔵の目的について理解を深めておく。
復習時間：60分
第1回目は、食品加工の意義と目的について本講義の全体の流れを説明し、現在食品加工に求められている事項などについて考える。

第2回　食品の品質変化･変質（授業形式：講義）

予習内容：食品の賞味期限・消費期限について調べておく。
予習時間：30分
復習内容：食品の種類によって品質低下の要因が異なる。これらを関連付けて考察しておく。
復習時間：60分
加工食品の品質劣化の原因となる水分・pH・温度・酸素・光などについて解説を行う。

第3回　食品保蔵の方法（授業形式：講義）

予習内容：食品の保蔵方法の種類について調べておく。
予習時間：30分
復習内容：具体的に1つの食品を例にとり、その保蔵方法について調べ、理解を深めておく。
復習時間：60分
食品の品質低下には、1．微生物によるもの、2．酵素によるもの、3．化学変化によるもの、4．物理的によるものが考えられる。これらの品質低下を防ぐ方法について解説する。

第4回　食品加工の方法と原理技術（授業形式：講義）

予習内容：食品の成分について調べておく。
予習時間：30分
復習内容：食品加工時の成分の分離方法について調べ、理解を深める。
復習時間：60分
加工食品の品質劣化の原因となる原材料（農畜産物）の物理的変化および加工工程・流通工程における物理的変化などについて解説を行う。

第5回　食品の加工・保蔵・流通時における食品成分の変化（授業形式：講義）

予習内容：食品の色素について調べておく。
予習時間：30分
復習内容：色素の合成・分解について復習し、品質との関連を考察しておく。
復習時間：60分
加工食品の品質劣化の原因となる原材料および加工工程・流通工程における微生物的変化と微生物による品質の変化などについて解説を行う。

第6回　食品の包装、小テスト1と解説（授業形式：講義）

予習内容：包装材料の種類について調べておく。また、第5回までの講義内容を復習しておく。
予習時間：120分
復習内容：解答できなかった問題について解説を参考に再考する。
復習時間：30分
食品の品質特性、保蔵環境によって用いる包装材料は異なる。包装する食品自体の特性だけでなく、包装材料や方法についても理解することは重要である。そのため、包装材料や包装方法について解説する。
小テストは、第5回までの内容について小テストを行い、その後内容について解説する。

第7回　加工食品の規格・基準と食品表示基準（授業形式：講義）

予習内容：これまでの産地偽装・表示偽装について報道があったものを調べておく。
予習時間：30分
復習内容：報道のあった、産地偽装、表示偽装について、学修した内容と関連して考察しておく。
復習時間：60分
消費者が安心して加工食品を購入し、利用できるように加工食品に対して、品質の基準、製造、加工、および保蔵方法の基準などが法律で決められている。この規定内容について解説する。

第8回　農産加工食品（授業形式：講義）

予習内容：農産加工食品の種類と生産量について調べておく。
予習時間：30分
復習内容：農産食品を一つ例にとり、その加工方法を調べ、講義内容の理解を深めておく。
復習時間：60分
本講義では、穀類製品、豆類製品、いも類製品、野菜・果実類製品、きのこ類製品について詳しく解説する。

第9回　畜産加工食品（授業形式：講義）

予習内容：畜産加工食品の種類と生産量について調べておく。
予習時間：30分
復習内容：畜産加工食品を一つ例にとり、その加工方法を調べ、講義内容の理解を深めておく。
復習時間：60分
畜産加工食品は、食肉製品、酪農製品、加工卵製品、その他の畜産加工食品に分類されている。ここでは、肉製品、乳製品、卵製品について詳しく解説する。

第10回　水産加工食品（授業形式：講義）

予習内容：水産加工食品の種類と生産量について調べておく。
予習時間：30分
復習内容：水産加工食品を一つ例にとり、その加工方法を調べ、講義内容の理解を深めておく。
復習時間：60分
水産物の多くは天然資源のため、漁獲量が変動し、季節的な変動も大きい。また、鮮度低下も速いため、その利用には難点が多々ある。ここでは、水産加工食品について詳しく解説する。

第11回　発酵食品（授業形式：講義）

予習内容：発酵食品の種類と生産量について調べておく。
予習時間：30分
復習内容：発酵食品を一つ例にとり、その加工方法を調べ、講義内容の理解を深めておく。
復習時間：60分
発酵食品は、その製造工程で微生物を利用する食品である。原料としては、農産・畜産・水産物など幅広い材料があり、それぞれ異なった製造方法がある。ここでは、その製造方法について詳しく解説する。

第12回　缶詰・瓶詰・レトルト食品、冷凍食品、インスタント食品（授業形式：講義）

予習内容：缶詰・瓶詰・レトルト食品、冷凍食品、インスタント食品の種類と生産量について調べておく。
予習時間：30分
復習内容：缶詰・瓶詰・レトルト食品、冷凍食品、インスタント食品を一つ例にとり、その加工方法を調べ、講義内容の理解を深めておく。
復習時間：60分
缶詰・瓶詰・レトルト食品、冷凍食品、インスタント食品は、加工済みの食品を保蔵するための技術である。これらの食品について解説する。

第13回　生産条件と食品成分、小テスト2（授業形式：講義）

予習内容：第12回までの講義内容を復習しておく。
予習時間：120分
復習内容：解答できなかった問題について、解説を参考に再考する。
復習時間：30分
食品の材料となる動植物の栄養成分の量と質は様々な影響を受ける。これらの影響を食品成分の変化から詳しく解説する。
第12回までの内容について小テストを行い、その後解説を行う。

第14回　調味料・香辛料、嗜好食品（授業形式：講義）

予習内容：嗜好食品の種類と生産量について調べておく。
予習時間：30分
復習内容：嗜好食品を一つ例にとり、その加工方法を調べ、講義内容の理解を深めておく。
復習時間：60分
食品加工する際に使用する調味料・香辛料と嗜好食品として、茶・コーヒー・ココア・清涼飲料について詳しく解説する。

第15回　遺伝子組換え食品の現状と今後（授業形式：講義）

予習内容：遺伝子組み換え食品について調べておく。
予習時間：60分
復習内容：遺伝子組換え食品に対する考えと社会における反応について各自でまとめ、理解する。
復習時間：60分
本講義の最後に、遺伝子組み換え食品の現状と今後の展望について最新の情報を基に解説する。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 ：	**食品企業経営論**						
英文名 ：	Food and Agribusiness Management						
担当者 ：	山野　薫						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考 ：							

■授業概要

日本の食や農の現状、そしてそれらをとりまく環境について、その仕組みや変化の様子、私たちのくらしとの関係などを経済学、経営学、社会学などの視点から学ぶ。

■授業形態

メディア授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

・現代の日本の食や農はどのような状況下にあるのかを理解する。
・私たちの食生活とくらしがどのように成り立っているのかを理解する。
・現代社会における食や農をとりまく状況とそれらの変化の様子について、背景を含めて理解できるようになる。
この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー2の達成に主体的に関与しています。

■成績評価方法および基準

確認テスト 60%
授業中に出題するミニ課題 40%

■試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の講義内で解説、またはUNIVERSAL PASSPORTに模範解答を掲載します。

■教科書

適宜、プリントを配布する。

■参考文献

授業内で紹介する。

■関連科目

なし

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

1号館2階215室・yamano@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

水曜日2限・3限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 イントロダクション（授業形式：講義）

予習内容：特になし。
復習内容：食品の種類や分類についてまとめておく。
復習時間：90分
様々な観点からの分類に基づき、食品の種類や分類を学ぶ

第2回　食行動の特徴（授業形式：講義）

予習内容：様々な食品について、どのような特徴を持つのかを考えておく。
予習時間：90分
復習内容：食に関する行動について学んだことをまとめておく。
復習時間：90分
食に関してどのような行動場面があるのかを学ぶ。

第3回　日本の食の現状と食料自給率（授業形式：講義）

予習内容：日本の食についてどのようなことが話題となっているのかを調べておく。
予習時間：90分
復習内容：日本の食の現状について学んだことをまとめておく。
復習時間：90分
日本の食が置かれている現状について説明する。

第4回　日本と食料安全保障（授業形式：講義）

予習内容：日本の食についてどのようなことが話題となっているのかを調べておく。
予習時間：90分
復習内容：日本の食の現状について学んだことをまとめておく。
復習時間：90分
日本の食が置かれている現状について説明する。

第5回　農林水産業を支える人々（耕種農業）（授業形式：講義）

予習内容：農林水産業（耕種農業）にはどのような仕事があるかを調べておく。
予習時間：90分
復習内容：農林水産業（耕種農業）を行う人々の動きについて、学んだことをまとめておく。
復習時間：90分
農林水産業（耕種農業）を行う人々の動きについて説明する。

第6回　農林水産業を支える人々（水産業）（授業形式：講義）

予習内容：農林水産業（水産業）にはどのような仕事があるかを調べておく。
予習時間：90分
復習内容：農林水産業（水産業）を行う人々の動きについて、学んだことをまとめておく。
復習時間：90分
農林水産業（水産業）を行う人々の動きについて説明する。

第7回　農家と経営（授業形式：講義）

予習内容：農家の経営行動にはどのようなものがあるか調べておく。
予習時間：90分
復習内容：農家の経営形態と家族経営農家の特徴について、学んだことをまとめておく。
復習時間：90分
農家の経営形態と家族経営農家の特徴を学ぶ。

第8回　復習と確認テスト（授業形式：講義）

予習内容：これまでの講義内容を復習しておく。
予習時間：90分
復習内容：分からなかった問題を復習しておく。
復習時間：90分
これまでの講義内容を復習し、確認テストを行う。

第9回　環境問題①（授業形式：講義）

予習内容：食消費に伴う廃棄物にはどのようなものがあるか調べておく。
予習時間：90分
復習内容：食消費と廃棄物問題について、学んだことをまとめておく。
復習時間：90分
食消費と廃棄物問題について説明する。

第10回　食品製造を行う企業（授業形式：講義）

予習内容：日本の食品製造業にはどのような種類があるか調べておく。

予習時間：90分
復習内容：食品製造業の仕事内容と商品の企画・開発について、学んだことをまとめておく。
復習時間：90分
食品製造を行う企業の種類とそれらの企業行動

第11回　食品製造とグローバル化（授業形式：講義）

予習内容：食品の輸出入にはどのような特徴があるか調べておく。
予習時間：90分
復習内容：食品企業の海外進出の様子について、学んだことをまとめておく。
復習時間：90分
食・食品分野におけるグローバル化について説明する。

第12回　食品企業が目指す方向（授業形式：講義）

予習内容：近年の食の傾向や社会との関連について、どのようなことが話題になっているか調べておく。
予習時間：90分
復習内容：食品企業の組織マネジメントと商品開発の傾向について、学んだことをまとめておく。
復習時間：90分
食品企業の組織マネジメントと商品開発の傾向について説明する。

第13回　食品表示と食のトレンド①（授業形式：講義）

予習内容：食品にはどのような種類の表示がなされているのかを調べておく。
予習時間：90分
復習内容：食品の表示ならびに近年の食の傾向や社会との関連について、学んだことをまとめておく。
復習時間：90分
食品の表示等から、近年の食の傾向や社会との関連を学ぶ。

第14回　食品表示と食のトレンド②（授業形式：講義）

予習内容：食品にはどのような種類の表示がなされているのかを調べておく。
予習時間：90分
復習内容：食品の表示ならびに近年の食の傾向や社会との関連について、学んだことをまとめておく。
復習時間：90分
食品の表示等から、近年の食の傾向や社会との関連を学ぶ。

第15回　まとめと確認テスト（授業形式：講義）

予習内容：この授業で扱った用語やテーマを見直して、疑問点をまとめておく。
予習時間：90分
復習内容：この授業で学んだことをまとめておく。
復習時間：90分
ここまで学んできたことを復習する。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**食品機能学**						
英文名　：	Functional Food Science						
担当者　：	岸田　邦博						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品には一次機能（栄養）、二次機能（嗜好）、三次機能（生体調節）があります。近年、メタボ（メタボリックシンドローム）という言葉が広く使用されているように、生活習慣病の増加は社会がかかえる大きな問題です。このような背景から、食品の三次機能が注目され、健康の維持・増進に役立つ食品中の機能性成分が日々研究されています。本講義では、食品の三次機能を中心として、各種機能性成分の生活習慣病との関わりや作用機序を解説します。また、日本が世界に先駆けて制度化した『特定保健用食品』を実例として、科学的根拠を解説するとともに、生活習慣病の動向や、特定保健用食品関連制度の現況についても学習します。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、この講義を受講することによって
1）食品の三次機能として注目されている機能性成分に関する知識を身につけ、
2）それら成分による生活習慣病予防に対する科学的根拠を説明する
ことができるようになります。
この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー4の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

模範答案をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■教科書

[ISBN]9784758113656 『食品学I 改訂第2版～食べ物と健康 食品の成分と機能を学ぶ (栄養科学イラストレイテッド)』 (水品善之, 羊土社：2021)

■参考文献

[ISBN]9784525636012 『特定保健用食品データブック はじめてのトクホ臨床試験収載BOOK』 (南山堂：2008)

■関連科目

食品材料学、機能性食品開発

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

岸田研究室（西1号館1階159）・kishida@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

水曜1限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　保健機能食品（授業形式：講義 ）

予習内容：UNIPAにアップされているスライドをよく見る。
予習時間：60分
復習内容：保健機能食品の種類とそれぞれの特徴、一般の食品との違いを復習する。
復習時間：60分
保健機能食品の種類とそれぞれの特徴、一般の食品との違い

第2回　歯の健康維持に作用する成分とその作用機序（授業形式：講義 ）

予習内容：教科書p123-125およびUNIPAにアップされているスライドをよく読む。
予習時間：60分
復習内容：う蝕のメカニズム、機能性成分の作用メカニズムについて復習する。
復習時間：60分
う蝕のメカニズム、機能性成分の作用メカニズム

第3回　お腹の調子を整える成分とその作用機序Ⅰ（授業形式：講義 ）

予習内容：教科書p126およびUNIPAにアップされているスライドをよく読む。
予習時間：60分
復習内容：プロバイオティクス、プレバイオティクスについて復習する。
復習時間：60分
お腹の調子を整える成分その作用機序、プロバイオティクス、プレバイオティクス

第4回　お腹の調子を整える成分とその作用機序Ⅱ（授業形式：講義 ）

予習内容：UNIPAにアップされているスライドをよく見る。
予習時間：60分
復習内容：食物繊維の分類（水溶性、不溶性）とそれぞれのはたらきの違いについて復習する。
復習時間：60分
食物繊維の分類（水溶性、不溶性）とそれぞれのはたらきの違い

第5回　コレステロール代謝に作用する成分とその作用機序Ⅰ（授業形式：講義 ）

予習内容：UNIPAにアップされているスライドをよく読む。
予習時間：90分
復習内容：コレステロールの構造やはたらき、リポタンパクとしての生体内のコレステロールの動態などについて復習する。
復習時間：90分
コレステロールの構造やはたらき、リポタンパクとしての生体内のコレステロールの動態

第6回　コレステロール代謝に作用する成分とその作用機序Ⅱ（授業形式：講義 ）

予習内容：教科書p126-127およびUNIPAにアップされているスライドをよく読む。
予習時間：90分
復習内容：コレステロールの生体内収支バランス、機能性成分の作用メカニズムについて復習する。
復習時間：90分
コレステロールの生体内収支バランス、機能性成分の作用メカニズム

第7回　コレステロール代謝に作用する成分とその作用機序Ⅲ（授業形式：講義 ）

予習内容：教科書p126-127およびUNIPAにアップされているスライドをよく読む。
予習時間：90分
復習内容：コレステロールと胆汁酸の収支バランス、機能性成分の作用メカニズムについて復習する。
復習時間：90分
コレステロールと胆汁酸の収支バランス、機能性成分の作用メカニズム

第8回　カルシウム吸収を改善する成分とその作用機序（授業形式：講義 ）

予習内容：教科書p128およびUNIPAにアップされているスライドをよく読む。
予習時間：90分
復習内容：カルシウム代謝、骨代謝のメカニズム、機能性成分の作用メカニズムについて復習する。
復習時間：90分
カルシウム代謝、骨代謝のメカニズム、機能性成分の作用メカニズム

第9回　血糖値の急激な上昇を抑制する成分とその作用機序Ⅰ（授業形式：講義 ）

予習内容：UNIPAにアップされているスライドをよく読む。
予習時間：90分
復習内容：血糖値およびインスリンの制御、1型、2型糖尿病の違いについて復習する。

復習時間：90分
血糖値およびインスリンの制御、1型、2型糖尿病の違い

第10回　血糖値の急激な上昇を抑制する成分とその作用機序Ⅱ（授業形式：講義 ）

予習内容：教科書p129-130およびUNIPAにアップされているスライドをよく読む。
予習時間：90分
復習内容：糖質の消化・吸収、機能性成分の作用メカニズムについて復習する。
復習時間：90分
糖質の消化・吸収、機能性成分の作用メカニズム

第11回　血中中性脂肪や体脂肪を改善する成分とその作用機序Ⅰ（授業形式：講義 ）

予習内容：教科書p129-130およびUNIPAにアップされているスライドをよく読む。
予習時間：90分
復習内容：脂質の消化・吸収、機能性成分の作用メカニズムについて復習する。
復習時間：90分
脂質の消化・吸収、機能性成分の作用メカニズム

第12回　血中中性脂肪や体脂肪を改善する成分とその作用機序Ⅱ（授業形式：講義 ）

予習内容：教科書p129-130およびUNIPAにアップされているスライドをよく読む。
予習時間：90分
復習内容：中鎖脂肪酸の生体内動態の特徴、EPA,DHAの生理機能の概要について復習する。
復習時間：90分
中鎖脂肪酸の生体内動態の特徴、EPA,DHAの生理機能の概要

第13回　脂肪酸の生理機能の分子基盤（授業形式：講義 ）

予習内容：UNIPAにアップされているスライドをよく読む。
予習時間：90分
復習内容：EPA,DHAの生理機能（脂質代謝改善作用、抗炎症作用）の分子メカニズムについて復習する。
復習時間：90分
EPA,DHAの生理機能（脂質代謝改善作用、抗炎症作用）の分子メカニズム

第14回　高血圧に作用する成分とその作用機序Ⅰ（授業形式：講義 ）

予習内容：UNIPAにアップされているスライドをよく読む。
予習時間：60分
復習内容：高血圧の定義、血圧を規定する要因、血圧の調節機構について復習する。
復習時間：90分
高血圧の定義、血圧を規定する要因、血圧の調節機構

第15回　高血圧に作用する成分とその作用機序Ⅱ（授業形式：講義 ）

予習内容：教科書p131およびUNIPAにアップされているスライドをよく読む。
予習時間：60分
復習内容：機能性成分の作用メカニズムについて復習する。
復習時間：60分
機能性成分の作用メカニズム

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**食品機能統計学**						
英文名　：	Biological Statistics						
担当者　：	芦田　久						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品がもつ生理機能の有効性を確認するためには、適切な実験計画に基づき、分子レベル、細胞レベル、動物の個体レベルの試験、さらに最終的には臨床試験によりデータを収集し、適切な生物統計学的処理により解釈する必要があります。そのための実験計画の立て方、データの収集と加工、統計処理による解析ができるまでの一連の基礎的な手法を学びます。

■授業形態

対面授業（授業回の半数以上が対面授業／それ以外は、メディア授業）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

この授業を履修することにより、食品分野や医療分野で実際に活用できる以下の各項目について習得することを到達目標とします。

1) データの要約と基本統計量（平均、分散、標準偏差、標準誤差、変動係数）
2) さまざまな手法による統計学的検定（t検定、F検定、分散分析、多重比較、χ二乗検定）
3) 実験計画の設定
4) 相関と回帰
5) 表計算ソフト・オンラインソフトを用いた統計解析方法

この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー1の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

毎回の小テスト 15%
レポート3回 30%
定期試験 55%

■試験・課題に対するフィードバック方法

毎回の小テスト・レポート課題は、翌回の授業時間に解説します。
定期試験終了後（試験期間終了後）に「試験の要点と解説」をWebで配信します。

■教科書

[ISBN]9784759811094 『生物統計学 (基礎生物学テキストシリーズ 9)』 (向井 文雄, 化学同人：2011)

■参考文献

【留意事項】特になし。

■関連科目

特になし。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

芦田研究室(東1号館5階515)・ashida@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜3限と水曜3限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　食品機能統計学概論（授業形式：講義）

予習内容：教科書を購入し、第1章に目を通しておく。
予習時間：30分
復習内容：有意水準とp値についてまとめる。
復習時間：30分
統計学とは何か、なぜ統計処理が必要か

第2回　さまざまなデータの種類、データの要約（授業形式：講義）

予習内容：教科書の第1章に目を通しておく。
予習時間：30分
復習内容：データのタイプ、要約の方法について整理し、まとめる。
復習時間：60分
さまざまなデータのタイプ（名目データ、順序データ、順位データ、離散データ、連続データ）とその特徴
さまざまなグラフ（ヒストグラム、幹葉図、箱ヒゲ図、その他）

第3回　中心やばらつき表す統計量（授業形式：講義）

予習内容：教科書の第1章と第2章に目を通しておく。
予習時間：30分
復習内容：分散や標準偏差に関する練習問題を解く。
復習時間：60分
中心を表す統計量（相加平均、中央値、最頻値）
ばらつきを表す統計量（偏差平方和、標本分散、不偏分散、標準偏差、変動係数、標準誤差）

第4回　正規分布（授業形式：講義）

予習内容：教科書の第3章に目を通しておく。
予習時間：30分
復習内容：正規分布に関する練習問題を解く。
復習時間：60分
最も代表的な確率分布である正規分布と標準正規分布

第5回　標準化（Z変換）と偏差値（授業形式：講義）

予習内容：教科書の第3章に目を通しておく。
予習時間：30分
復習内容：標準化（Z変換）に関する練習問題を解く。
復習時間：60分
標準化（Z変換）と偏差値の考え方、計算方法

第6回　表計算ソフトを用いた基本統計量の求め方（授業形式：講義）

予習内容：配布資料に目を通しておく。
予習時間：30分
復習内容：レポート課題をEXCELを用いて解き、メイルで送信する。
復習時間：60分
EXCELを用いた基本統計量の求め方

第7回　さまざまな確率分布（授業形式：講義）

予習内容：教科書の第3章に目を通しておく。
予習時間：30分
復習内容：さまざまな確率分布について整理し、まとめる。
復習時間：60分
t分布、F分布、χ二乗分布など

第8回　統計的仮説検定（授業形式：講義）

予習内容：教科書の第4章に目を通しておく。
予習時間：30分
復習内容：統計的仮説検定の考え方についてまとめる。
復習時間：60分

統計的仮説検定の考え方（帰無仮説、対立仮説、片側検定、両側検定、過誤のタイプ）

第9回　2群の平均値の比較（授業形式：講義）

予習内容：教科書の第4章に目を通しておく。
予習時間：30分
復習内容：レポート課題をEXCELを用いて解き、メイルで送信する。
復習時間：60分
t検定の考え方、3種類のt検定の使い分け、F検定

第10回　区間推定と実験計画（授業形式：講義）

予習内容：教科書の第5章と第6章に目を通しておく。
予習時間：30分
復習内容：区間推定に関する練習問題を解く。
復習時間：60分
平均値の区間推定、実験計画におけるフィッシャーの3原則

第11回　３群以上の平均値の差の検定（1）分散分析（授業形式：講義）

予習内容：教科書の第7章に目を通しておく。
予習時間：30分
復習内容：分散分析に関する練習問題を解く。
復習時間：60分
分散分析の考え方

第12回　3群以上の平均値の差の検定（2）多重比較（授業形式：講義）

予習内容：配布資料に目を通しておく。
予習時間：30分
復習内容：オンラインソフトを用いて練習問題を解く。
復習時間：60分
Tukey-Kramer法、Dunnett法、Williams法。

第13回　表計算ソフトやオンラインソフトを用いた検定の方法（授業形式：講義）

予習内容：配布資料に目を通しておく。
予習時間：30分
復習内容：レポート課題をEXCELを用いて解き、メイルで送信する。
復習時間：60分
EXCELやオンラインソフトを用いた各種の検定方法

第14回　相関と回帰（授業形式：講義）

予習内容：教科書の第8章に目を通しておく。
予習時間：30分
復習内容：相関係数と回帰式に関する練習問題を解く。
復習時間：60分
相関と回帰の意味の違い、相関係数と決定係数

第15回　ノンパラメトリック検定（授業形式：講義）

予習内容：教科書の第9章に目を通しておく。
予習時間：30分
復習内容：χ二乗検定とU検定に関する練習問題を解く。
復習時間：60分
χ二乗検定、U検定など

定期試験

■ホームページ

芦田 久（Researchmap）　http://researchmap.jp/ashida/

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**食品工業技術論**						
英文名　：	Food Development Technology						
担当者　：	木戸　啓仁						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	3年次	開講期：	集中	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品開発では、まず技術開発力とマーケティング力が重要であることを解説し、これらの力が創造的に融合されれば顧客価値を高めた食品開発につながることをタイプ別に事例を踏まえ講義する。さらに、食品産業における副産物等の未利用資源活用と食品開発について触れる。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

わが国の食品企業が生き残り、発展するためには、 技術革新を続け、社会が必要とする食品やサービスを効果的に生産し、食品開発の成功率を高めることが重要である。本講義では、食品素材の特性や機能を活かした食品開発および品質管理を合理的に行っている食品企業の事例を通じて、食品開発の基礎理論を理解すると共に技術開発の知識を修得し、食品開発の実際を総合的に学ぶ。この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー1の達成に主体的に関与しています。

■成績評価方法および基準

小テスト2回 70%
レポート1回 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後（試験期間終了後）に「試験の要点と解説」を掲示板に掲載します。

■教科書

【留意事項】開講時に指定する。

■参考文献

【留意事項】講義時に提示する。

■関連科目

食品企業経営論、食品システム論

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

木戸（2号館2階講師控室）・kido@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　食品企業における食品開発(授業形式：講義)

（技術とマーケティング）の重要性
（受講のためのガイダンスを含む）

予習内容：企業がおこなう食品開発の意義について調べておく
予習時間：60分
復習内容：食品企業がおこなう食品開発の意義について事例を参考にまとめておく
復習時間：60分

第2回　食品企業における経営、事業、食品開発(授業形式：講義)

予習内容：食品企業の沿革、経営内容、事業内容、食品開発について調べておく
予習時間：60分
復習内容：食品企業の沿革、経営内容、事業内容、食品開発について事例を参考にまとめておく
復習時間：60分

第3回　食品企業における技術開発力の方向(授業形式：講義)
（原料生産技術、食品加工技術、食品流通技術）

予習内容：食品企業にとって技術開発力とは何かについて調べておくこと
予習時間：60分
復習内容：食品企業の技術開発力の方向について事例を参考にまとめておく
復習時間：60分

第4回　食品企業におけるマーケティング力の方向(授業形式：講義)

予習内容：食品企業にとってマーケティング力とは何かについて調べておく
予習時間：60分
復習内容：食品企業にとってマーケティング力は重要であることをまとめておく
復習時間：60分

第5回　食品開発のプロセスと価値創造①(授業形式：講義)
（市場機会分析、市場セグメンテーション、ターゲット選定）

予習内容：食品開発のプロセスについて調べておくこと
予習時間：60分
復習内容：食品開発のプロセスにおいて市場機会分析、市場セグメンテーション、ターゲット選定の意義についてまとめておくこと
復習時間：60分

第6回　食品開発のプロセスと価値創造②(授業形式：講義)
（食品のコンセプトデザインと事業計画、収益性分析、市場導入）

予習内容：食品開発のプロセスにおいて、食品のコンセプトデザイン、事業計画、収益性分析、市場導入について調べておくこと
予習時間：60分
復習内容：食品開発のプロセスにおいて、食品のコンセプトデザイン、事業計画、収益性分析、市場導入の意義をまとめておくこと
復習時間：60分

第7回　食品開発のプロセスと価値創造③(授業形式：講義)
（価格設定の基本と原価計算）

予習内容：食品開発のプロセスにおいて、価格設定の基本と原価計算について調べておくこと
予習時間：60分
復習内容：食品開発のプロセスにおいて、価格設定、原価計算について事例を参考にまとめておくこと
復習時間：60分

第8回　顧客価値を高めた食品開発のタイプ①(授業形式：講義)
（技術とアイデアの融合、事例を含む）

予習内容：食品開発における「技術とアイデアの融合」とは何かについて調べておくこと
予習時間：60分
復習内容：食品開発における「技術とアイデアの融合」の重要性について事例を参考にまとめておくこと
復習時間：60分

第9回　顧客価値を高めた食品開発のタイプ②(授業形式：講義)
（水平思考、包装容器を変える）

予習内容：食品開発における「水平思考、包装容器を変える」とは何かについて調べておくこと
予習時間：60分
復習内容：食品開発における「水平思考、包装容器を変える」について事例を参考にまとめておくこと

復習時間：60分

第10回　顧客価値を高めた食品開発のタイプ③(授業形式：講義)
（技術で食材を組み合わせる、技術で調理の手間を省く）

予習内容：食品開発における「技術で食材を組み合わせる、技術で調理の手間を省く」とは何かについて調べておくこと
予習時間：60分
復習内容：食品開発における「技術で食材を組み合わせる、技術で調理の手間を省く」について事例を参考にまとめておくこと
復習時間：60分

第11回　顧客価値を高めた食品開発のタイプ④(授業形式：講義)
（市場の声を既存製品の改良に生かす）

予習内容：食品開発における「市場の声を既存製品の改良に生かす」とは何かについて調べておくこと
予習時間：60分
復習内容：食品開発における「市場の声を既存製品の改良に生かす」について事例を参考にまとめておくこと
復習時間：60分

第12回　顧客価値を高めた食品開発のタイプ⑤(授業形式：講義)
（経験価値の創造）

予習内容：食品開発における「経験価値の創造」にとは何かについて調べておくこと
予習時間：60分
復習内容：食品開発における「経験価値の創造」について事例を参考にまとめておくこと
復習時間：60分

第13回　顧客価値を高めた食品開発のタイプ⑥(授業形式：講義)
（偶然の現象に気づき、こだわる）

予習内容：食品開発における「偶然の現象に気づき、こだわる」とは何かについて調べておくこと
予習時間：60分
復習内容：食品開発における「偶然の現象に気づき、こだわる」について事例を参考にまとめておくこと
復習時間：60分

第14回　食品企業における副産物等の未利用資源活用と食品開発(授業形式：講義)

予習内容：食品企業における未利用資源の活用事例を調べておくこと
予習時間：60分
復習内容：食品企業における未利用資源活用の重要性を事例を参考にまとめておくこと
復習時間：60分

第15回　食品工業と技術の総括(授業形式：講義)

予習内容：付加価値を創造する「商品企画と技術の融合」の重要性について調べておくこと
予習時間：60分
復習内容：食品企業においてイノベーション活動が重要であることを事例を参考にまとめておくこと
復習時間：60分

小テスト

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**食品材料学**						
英文名　：	Food Materials						
担当者　：	岸田　邦博						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品は、われわれ人間が生きていくために必要な栄養の供給を通じて、健康の維持に重要な役割を果たしています。食品には栄養素である炭水化物、タンパク質、脂質、ビタミン、ミネラルだけでなく、味、色、香りといった食生活に楽しみや豊かさをもたらす成分も含まれています。個々の食品に含まれる成分の分類や構造、はたらきについて学修します。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、この講義を受講することによって
1）食品成分の分類や構造
2）食品成分のはたらき
を理解することを到達目標とします。
この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー4の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

模範答案をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■教科書

[ISBN]9784758113656 『食品学I 改訂第2版～食べ物と健康 食品の成分と機能を学ぶ (栄養科学イラストレイテッド)』 (水品善之, 羊土社：2021)

■参考文献

【留意事項】必要に応じて資料を配付。

■関連科目

食品加工学

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

岸田研究室（西1号館1階159）・kishida@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

水曜1限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ヒトと食品との関わり（授業形式：講義 ）

予習内容：教科書p12-25を読む。
予習時間：90分
復習内容：講義スライドと教科書をあわせて読み、学修したことを整理する。
復習時間：90分
人類と食品の歴史

第2回 炭水化物Ⅰ（授業形式：講義 ）

予習内容：教科書p26-35を読む。
予習時間：60分
復習内容：炭水化物の分類、グルコースの構造について復習する。
復習時間：60分
炭水化物の分類、グルコースの構造

第3回 炭水化物Ⅱ（授業形式：講義 ）

予習内容：教科書p36-42を読む。
予習時間：60分
復習内容：二糖類、多糖類の分類、構造について復習する。
復習時間：60分
二糖類、多糖類の分類、構造

第4回 炭水化物Ⅲ（授業形式：講義 ）

予習内容：UNIPAにアップされている講義スライドをよく見る。
予習時間：60分
復習内容：炭水化物の消化・吸収について復習する。
復習時間：60分
炭水化物の消化・吸収

第5回 炭水化物を多く含む食品（授業形式：講義 ）

予習内容：UNIPAにアップされている講義スライドをよく見る。
予習時間：60分
復習内容：穀類、イモ類、豆類の食品学的特徴について復習する。
復習時間：90分
穀類、イモ類、豆類の食品学的特徴

第6回 タンパク質Ⅰ（授業形式：講義 ）

予習内容：教科書p57-62を読む。
予習時間：60分
復習内容：タンパク質を構成するアミノ酸、タンパク質の構造について復習する。
復習時間：90分
タンパク質を構成するアミノ酸、タンパク質の構造

第7回 タンパク質Ⅱ（授業形式：講義 ）

予習内容：教科書p63-69を読む。
予習時間：90分
復習内容：食品に含まれるおもなタンパク質の種類、アミノ酸価について復習する。
復習時間：90分
食品に含まれるおもなタンパク質の種類、アミノ酸価

第8回 脂質Ⅰ（授業形式：講義 ）

予習内容：教科書p43-47を読む。
予習時間：60分
復習内容：脂質の種類、脂肪酸の構造と種類について復習する。
復習時間：90分
脂質の種類、脂肪酸の構造と種類

第9回 脂質Ⅱ（授業形式：講義 ）

予習内容：教科書p48-57を読む。
予習時間：90分
復習内容：リン脂質、コレステロール、油脂の性質をあらわす指標、硬化油について復習する。
復習時間：90分
リン脂質、コレステロール、油脂の性質をあらわす指標、硬化油

第10回 タンパク質、脂質を多く含む食品Ⅰ（授業形式：講義 ）

予習内容：UNIPAにアップされている講義スライドをよく見る。
予習時間：90分
復習内容：動物性食品の食品学的特徴について復習する。
復習時間：90分
動物性食品の食品学的特徴

第11回 タンパク質、脂質を多く含む食品Ⅱ（授業形式：講義 ）

予習内容：UNIPAにアップされている講義スライドをよく見る。
予習時間：90分
復習内容：動物性食品の食品学的特徴について復習する。
復習時間：90分
動物性食品の食品学的特徴

第12回 ビタミン（授業形式：講義 ）

予習内容：教科書p69-77を読む。
予習時間：90分
復習内容：ビタミンの種類、はたらき、ビタミンを多く含む食品について復習する。
復習時間：90分
ビタミンの種類、はたらき、ビタミンを多く含む食品

第13回 ミネラル、核酸（授業形式：講義 ）

予習内容：教科書p77-81を読む。
予習時間：60分
復習内容：ミネラル、核酸の種類、はたらき、ミネラル、核酸を多く含む食品について復習する
復習時間：60分
ミネラル、核酸の種類、はたらき、ミネラル、核酸を多く含む食品

第14回 色素成分、呈味成分（授業形式：講義 ）

予習内容：教科書p100-111を読む。
予習時間：90分
復習内容：色素成分の分類や構造、５つの基本味とその成分について復習する。
復習時間：90分
色素成分の分類や構造、５つの基本味とその成分

第15回 香気成分、有害成分（授業形式：講義 ）

予習内容：教科書p111-120を読む。
予習時間：90分
復習内容：香気成分、有害成分の特徴や所在について復習する。
復習時間：90分
香気成分、有害成分の特徴や所在

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**食品生物学実験**						
英文名　：	Laboratory Experiment in Food Science						
担当者　：	芦田　久・石丸　恵・白木　琢磨・江口　陽子・栗原　新						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	3単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品生物学実験では、植物性あるいは動物性食品の特性の把握やその安全性を確保するのに必要な基礎的実験技術を身につける。植物材料を対象とした実験では、遺伝子組換え操作ならびに植物性食品の特性分析をおこなうための分子生物学的な手法を修得する。微生物材料を対象とした実験では、ヒトに対する安全性評価のための衛生学的試験や、プロバイオティクス乳酸菌の分離・培養および機能評価をおこなう。さらに、動物材料を対象とした実験では、動物細胞・動物組織および動物個体を用いて、免疫に関する細胞生物学的・生化学的な解析、食品成分が動物の生理機能に及ぼす影響についての実験課題に取り組む。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・実験・実習科目

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

微生物・植物や動物の細胞・組織・個体の取り扱い方、分子生物学的・生化学的・細胞生物学的なさまざまな実験手法を身に付けることにより、卒業研究に不可欠な基本実験操作を修得する。また、実験ノートの取り方、データの解析方法、レポートの作成方法を修得することを到達目標とする。
この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー3の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

レポート 80%
実験の取り組み態度（積極性・協調性等） 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

最終回の時間の一部を使って実験の要点やレポートに対する講評をフィードバックします。

■教科書

【留意事項】実験書（プリント）を配付します。

■参考文献

【留意事項】指定しない。

■関連科目

食品化学実験

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

芦田研究室（東1号館5階515）・ashida@waka.kindai.ac.jp
白木研究室（東1号館4階419）・shiraki@waka.kindai.ac.jp
石丸研究室（東1号館4階408）・ishimaru@waka.kindai.ac.jp
江口研究室（東1号館4階417）・eguchi@waka.kindai.ac.jp

栗原研究室（東1号館5階513）・skurihara@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜3限と水曜3限（芦田）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　遺伝子組換え食品の検出Ⅰ（授業形式：実験）

予習内容：実験書（プリント）の該当する部分を熟読しておく。
予習時間：30分
復習内容：レポートの作成。
復習時間：60分
ダイズの加工食品である豆腐、納豆、油揚げなどからDNAを抽出する。

第2回　遺伝子組換え食品の検出Ⅱ（授業形式：実験）

予習内容：実験書（プリント）の該当する部分を熟読しておく。
予習時間：30分
復習内容：レポートの作成。
復習時間：60分
抽出したDNAを用いて、遺伝子組換えダイズ検出用プライマーを用いてPCRを行う。

第3回　遺伝子組換え食品の検出Ⅲ（授業形式：実験）

予習内容：実験書（プリント）の該当する部分を熟読しておく。
予習時間：30分
復習内容：レポートの作成と提出。
復習時間：60分
各加工食品から抽出したDNAおよびPCR後のサンプルについて電気泳動を行い、遺伝子組換えダイズの混入の有無について確認する。

第4回　動物組織の観察（授業形式：実験）

予習内容：実験書（プリント）の該当する部分を熟読しておく。
予習時間：30分
復習内容：レポートの作成。
復習時間：60分
実験動物の取り扱いについて学ぶ。各臓器の役割と形態を学ぶと同時に顕微鏡の操作法を学び、組織のスケッチを通じて、動物組織観察のための基本的技術を習得する。

第5回　ラットの解剖、および生体試料の採取（授業形式：実験）

予習内容：実験書（プリント）の該当する部分を熟読しておく。
予習時間：30分
復習内容：レポートの作成。
復習時間：60分
実験動物（ラット）の取り扱いについて学ぶ。解剖技術を習得すると共に、解剖を通じて各臓器の役割について学ぶ。各臓器はその後のRT-PCRによる遺伝子発現の確認、組織切片作成、生化学マーカーの定量実験に供する。

第6回　血液の生化学マーカーの定量（授業形式：実験）

予習内容：実験書（プリント）の該当する部分を熟読しておく。
予習時間：30分
復習内容：レポートの作成。
復習時間：60分
肝臓の機能を血液で測定する原理を学ぶ。代謝の基本原理を学ぶことで、各臓器の働きの生化学的背景を学ぶ。

第7回　手指の衛生試験と細菌検査（授業形式：実験）

予習内容：実験書（プリント）の該当する部分を熟読しておく。
予習時間：30分
復習内容：レポートの作成。
復習時間：60分
微生物学実験に必要な滅菌操作、無菌操作の説明後、培地や試薬の調製、滅菌を行う。調製した培地、試薬を用いて台所で使用しているスポンジおよび手指の生菌数測定を行う。

第8回　細菌集落とその純粋培養（授業形式：実験）

予習内容：実験書（プリント）の該当する部分を熟読しておく。
予習時間：30分
復習内容：レポートの作成と提出。

復習時間：60分
生菌数の計数と算出を行う。また、生菌数測定で得られた細菌の簡易同定のために細菌集落を分離し、選択培地で培養する。

第9回　細菌の簡易同定試験と結果判定（授業形式：実験）

予習内容：実験書（プリント）の該当する部分を熟読しておく。
予習時間：30分
復習内容：レポートの作成。
復習時間：60分
生菌数測定で分離した細菌のグラム染色を行い顕微鏡で観察する。この結果と選択培地の判定結果をあわせ、菌種を推定する。

第10回　発酵食品由来細菌の培養（授業形式：実験）

予習内容：実験書（プリント）の該当する部分を熟読しておく。
予習時間：30分
復習内容：レポートの作成。
復習時間：60分
発酵食品サンプルを適宜希釈し、平板MRS培地に塗布して37℃で嫌気培養する。

第11回　発酵食品中の生菌数の測定、発酵食品由来細菌の液体培養（授業形式：実験）

予習内容：実験書（プリント）の該当する部分を熟読しておく。
予習時間：30分
復習内容：レポートの作成と提出。
復習時間：60分
段階希釈プレート上のコロニー数を測定し、発酵食品中の細菌数を推定する。
画線後のコロニーを96穴プレートに接種し、37℃で液体嫌気培養を行う。
ポリアミン定量の検量線を作るためのプトレシン水溶液を作製する。ポリアミンについて学ぶ。

第12回　発酵食品由来微生物のポリアミン産生量の測定（授業形式：実験）

予習内容：実験書（プリント）の該当する部分を熟読しておく。
予習時間：30分
復習内容：レポートの作成と提出。
復習時間：60分
液体培養したものを遠心し、その上清中のプトレッシン（最も基本的なポリアミン）の濃度の簡易定量を行う。

第13回　マウスの解剖、免疫組織およびマクロファージの観察（授業形式：実験）

予習内容：実験書（プリント）の該当する部分を熟読しておく。
予習時間：30分
復習内容：レポートの作成。
復習時間：60分
マウスを解剖し、腹腔マクロファージを採取して、異物を貪食している様子を顕微鏡で観察する。免疫に関わる各種臓器を肉眼で観察する。

第14回　小腸パイエル板細胞の培養上清中のIgA濃度測定（授業形式：実験）

予習内容：実験書（プリント）の該当する部分を熟読しておく。
予習時間：30分
復習内容：レポートの作成。
復習時間：60分
マウス小腸パイエル板の細胞が分泌するIgA濃度を酵素免疫測定法により定量し、腸管免疫賦活活性を評価する。

第15回　一酸化窒素の測定とラテックス凝集法による病原性大腸菌抗原の検出、レポートに対する講評（授業形式：実験）

予習内容：実験書（プリント）の該当する部分を熟読しておく。
予習時間：30分
復習内容：レポートの作成と提出。
復習時間：60分
マクロファージが放出する一酸化窒素を測定し炎症反応のレベルを評価する。市販の病原性大腸菌抗原検出キットを用いてラテックス凝集法の原理を学ぶ。各教員からレポートに対する講評をフィードバックする。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**食品微生物学**						
英文名　：	Food Microbiology						
担当者　：	芦田　久						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

私たちの身の回りのあらゆる環境中には数多くの微生物が生息しています。本講義では、食品の生産に関わる微生物、食品の汚染や食中毒の原因となる微生物を中心に、微生物学の基礎を学修します。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

この授業を履修することにより、以下の各項目について理解することを到達目標とします。
1）微生物の分類と特徴
2）発酵食品の生産に関わる微生物
3）食品の汚染や劣化に関わる微生物
4）食中毒の原因となる微生物
5）食品の微生物対策と微生物検査
この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー3の達成に関与しています。また、本講義は「HACCP管理者」資格取得に必須のHACCPシステム論受講のための関連科目です。

■成績評価方法および基準

毎回の小テスト 15%
中間試験 30%
定期試験 55%

■試験・課題に対するフィードバック方法

毎回の小テスト・中間テストは、終了後または翌回の授業時間に解説します。
定期試験終了後（試験期間終了後）に「試験の要点と解説」をWebで配信します。

■教科書

【留意事項】講義資料をプリントまたはWebで配信します。

■参考文献

【留意事項】特になし。

■関連科目

HACCPシステム論、応用微生物工学、公衆衛生学、食品衛生管理工学

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

芦田研究室(東1号館5階515)・ashida@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜3限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　微生物学の歴史（授業形式：講義）

予習内容：配布試料に目を通しておく。
予習時間：30分
復習内容：微生物学・免疫学の歴史上重要な学者について整理し、まとめる。
復習時間：60分
さまざまな病原体発見の歴史と微生物学・免疫学の発展について。

第2回　微生物の分類（1）（授業形式：講義）

予習内容：配布試料に目を通しておく。
予習時間：30分
復習内容：細菌の代表的な属名について整理し、まとめる。
復習時間：60分
生物界における微生物の分類学的位置づけ。代表的な細菌の属について。

第3回　微生物の分類（2）（授業形式：講義）

予習内容：配布試料に目を通しておく。
予習時間：30分
復習内容：真核微生物の代表的な属名について整理し、まとめる。
復習時間：60分
代表的な酵母、糸状菌について。

第4回　微生物細胞の構造（授業形式：講義）

予習内容：配布試料に目を通しておく。
予習時間：30分
復習内容：原核細胞と真核細胞の相違点について整理し、まとめる。
復習時間：60分
原核細胞と真核細胞の違い、それぞれの細胞構造について。

第5回　発酵食品の生産に関わる微生物（1）酒類（授業形式：講義）

予習内容：配布試料に目を通しておく。
予習時間：30分
復習内容：酒類の製造に関わる微生物とその代謝について整理し、まとめる。
復習時間：60分
酒類の製造に関わる微生物、またその製法について。

第6回　発酵食品の生産に関わる微生物（2）味噌・醤油（授業形式：講義）

予習内容：配布試料に目を通しておく。
予習時間：30分
復習内容：味噌・醤油の製造に関わる微生物とその代謝について整理し、まとめる。
復習時間：60分
味噌・醤油の製造に関わる微生物、またその製法について。

第7回　発酵食品の生産に関わる微生物（3）酢（授業形式：講義）

予習内容：配布試料に目を通しておく。
予習時間：30分
復習内容：酢の製造に関わる微生物とその代謝について整理し、まとめる。
復習時間：60分
酢の製造に関わる微生物、またその製法について。

第8回　発酵食品の生産に関わる微生物（4）乳酸発酵食品（授業形式：講義）

予習内容：配布試料に目を通しておく。
予習時間：30分
復習内容：乳酸発酵食品の製造に関わる微生物とその代謝について整理し、まとめる。
復習時間：60分
ヨーグルトや発酵乳、チーズの製造に関わる微生物、またその製法について。

第9回　中間試験および食品の劣化に関わる微生物（授業形式：講義）

予習内容：配布試料に目を通しておく。

予習時間：30分
復習内容：食品の劣化に関わる微生物について整理し、まとめる。
復習時間：60分
中間試験（30分）、食品の劣化に関わる代表的な微生物について。

第10回　食中毒の現状（授業形式：講義）

予習内容：配布試料に目を通しておく。
予習時間：30分
復習内容：最近起こった食中毒についてWebニュースを調査し、まとめる。
復習時間：60分
食中毒に関する届出制度や統計資料について。

第11回　食中毒の原因となる細菌（1）サルモネラ属菌（授業形式：講義）

予習内容：配布試料に目を通しておく。
予習時間：30分
復習内容：サルモネラ属菌食中毒について整理し、まとめる。
復習時間：60分
サルモネラ属菌による食中毒の特徴とその対策について。

第12回　食中毒の原因となる細菌（2）ぶどう球菌（授業形式：講義）

予習内容：配布試料に目を通しておく。
予習時間：30分
復習内容：ブドウ球菌による食中毒について整理し、まとめる。
復習時間：60分
ブドウ球菌による食中毒の特徴とその対策について。

第13回　食中毒の原因となる細菌（3）大腸菌（授業形式：講義）

予習内容：配布試料に目を通しておく。
予習時間：30分
復習内容：大腸菌による食中毒について整理し、まとめる。
復習時間：60分
大腸菌による食中毒の特徴とその対策について。

第14回　食中毒の原因となる細菌（4）カンピロバクター、その他の細菌（授業形式：講義）

予習内容：配布試料に目を通しておく。
予習時間：30分
復習内容：カンピロバクターによる食中毒について整理し、まとめる。
復習時間：60分
カンピロバクター等の細菌による食中毒の特徴とその対策について。

第15回　食中毒の原因となるウイルス（授業形式：講義）

予習内容：配布試料に目を通しておく。
予習時間：30分
復習内容：ウイルスによる食中毒について整理し、まとめる。
復習時間：60分
ウイルスによる食中毒の特徴とその対策について。

定期試験

■ホームページ

芦田 久（Researchmap）　http://researchmap.jp/ashida/

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**食品分析化学**						
英文名　：	Food Analytical Chemistry						
担当者　：	堀西　朝子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品の特性や機能を知るためには、それらを生み出しているのがどんな成分でどれだけ含まれているのかを知る必要があります。化学分析は卒業研究における実験、さらには食品産業における開発や製造の現場で日常的に行われています。本講義では分析化学の基本としてその原理と方法を具体的な分析の例を示しながら解説します。さらに、より高度な分析のための物質の精製や機器分析についてその代表的な方法を解説します。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、この授業を履修することによって、1)分析化学の基礎的な知識を習得し、2)食品成分の定性分析および定量分析について理解することができるようになります。この科目の修得は、食品安全工学科が定めるディプロマポリシー4の達成に関与します。

■成績評価方法および基準

提出課題 30%
定期試験 70%

■試験・課題に対するフィードバック方法

提出課題については翌回の授業時間に解説を行います。

■教科書

[ISBN]9784807916788 『食品分析化学(新スタンダード栄養・食物シリーズ18) (28)』 (一敏, 新藤, 東京化学同人：2016)

■参考文献

[ISBN]9784759816358 『分析化学 (化学はじめの一歩シリーズ)』 (欣一, 角田, 化学同人：2014)
[ISBN]9784798046501 『図解入門よくわかる最新分析化学の基本と仕組み[第2版]』 (津村 ゆかり, 秀和システム：2016)

■関連科目

生化学I、生化学II、食品材料学、基礎食品化学、食品化学実験

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・asako.horinishi@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後時間（その他はメールで事前連絡してください）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 分析データの取り扱い （授業形式：講義 ）

予習内容：教科書p3-11を読み概略を理解しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書p30の章末問題を解き、解答を確認すること。質量/質量濃度、質量/体積濃度、モル濃度、ファクターについての内容を整理して確認し理解を深めること。
復習時間：60分
分析化学の測定を行って得られる測定値には、測定値と真の値との差である誤差が含まれる。確定誤差と不確定誤差についての解説を行う。また正確さを表す真度と精度についての説明を行う。有効数字の概念について説明し、その処理の仕方や計算でのルールを解説する。

第2回 濃度とファクター （授業形式：講義 ）

予習内容：教科書p12-19を読み概略を理解しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書p30の章末問題を解き、解答を確認すること。質量/質量濃度、質量/体積濃度、モル濃度、ファクターについての内容を整理して確認し理解を深めること。
復習時間：60分
濃度とは、全体の中にその成分が含まれる割合のことをいうが、その用途などにより質量/質量濃度、質量/体積濃度、モル濃度など様々な単位が用いられる。モルや当量、ファクターなどの概念を解説するとともに分析化学でよく用いられる濃度について、実際に計算し、溶液の調製が行えるよう演習を合わせて行う。

第3回 緩衝液 （授業形式：講義 ）

予習内容：教科書p20-26を読み概略を理解しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：復習課題を解き、解答を確認すること。pH、緩衝作用と緩衝液についての内容を整理して確認し理解を深めること。
復習時間：60分
物質の酸性･塩基性を表すpHの定義を確認し、代表的なpH指示薬の化学構造やそれらの特徴を解説する。様々な実験で用いられることの多い緩衝液についてその原理を説明し、代表的な緩衝液について具体的に解説を行う。

第4回 酸化と還元（授業形式：講義 ）

予習内容：教科書p27-30を読み概略を理解しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：復習課題を解き、解答を確認すること。物質の酸化･還元についての内容を整理して確認し理解を深めること。
復習時間：60分
多くの化学反応は酸化･還元という観点から解析することができる。酸化･還元についてその定義を解説し、代表的な酸化剤、還元剤の紹介とともに、具体的な反応の例を用いて説明を行う。

第5回 定量分析の基礎1 （授業形式：講義 ）

予習内容：教科書p31-41を読み概略を理解しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書p45の章末問題を解き、解答を確認すること。分からなかった問題や解答を間違えた問題の部分を重点的に、容量分析と重量分析についての内容を整理して確認し理解を深めること。
復習時間：60分
分析とは、分析対象の中に「何が」「どのくらい」含まれているのかを調べるものである。その中で「どのくらい」つまり、対象物質の含有量･濃度を求めることを目的とした分析を、定量分析という。定量分析の方法として用いられる容量分析（滴定）と重量分析について、それぞれの代表的な方法を解説する。

第6回 定量分析の基礎2 （授業形式：講義 ）

予習内容：科書p41-45を読み概略を理解しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書p46の章末問題を解き、解答を確認すること。吸光光度分析についての内容を整理して確認し理解を深めること。
復習時間：60分
吸光光度分析は、基礎的な定量分析のひとつであり、特定の波長の光の吸収量から目的成分の量を求める方法である。紫外光・可視光を用いた吸光光度分析について、物質と光の相互作用を含めてその測定原理を解説する。

第7回 食品成分の定性分析 （授業形式：講義 ）

予習内容：教科書p49-54を読み概略を理解しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：食品の主要成分の定性分析方法とその原理についての内容を整理して確認し理解を深めること。
復習時間：60分
定性分析とは、分析対象に「何が」含まれているかを調べるものである。実際には、特定の物質に対する特徴的な呈色反応や沈

殿反応をみることにより、分析対象にその特定の物質が含まれているか否かを判定する。食品を構成する主要な成分と、それらの成分が特徴的に示す反応を解説し、代表的な食品成分の定性分析方法について説明する。

第8回　食品成分の定量分析1　　（授業形式：講義 ）

予習内容：教科書p55-59を読み概略を理解しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書p75の章末問題（問題5・1と問題5・2）を解き、水分の定量方法と、タンパク質・アミノ酸の構造とその定量方法についての内容を整理して確認し理解を深めること。
復習時間：60分
食品に含まれる主要な成分の定量分析について、成分ごとに具体的に説明を行う。水の性質、タンパク質の構造や反応を確認し、水分の定量方法、タンパク質の定量法などについて解説する。

第9回　食品成分の定量分析2　　（授業形式：講義 ）

予習内容：教科書p60-67を読み概略を理解しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書p75の章末問題（問題5・3）を解き、解答を確認すること。炭水化物や食物繊維、脂質の構造とその定量方法についての内容を整理して確認し理解を深めること。
復習時間：60分
食品に含まれる主要な成分の定量分析について、成分ごとに具体的に説明を行う。炭水化物・糖・食物繊維の構造と反応を確認し、炭水化物量の定量法などについて解説する。また、脂質の構造や性質を確認し、分析法の説明を行う。

第10回　食品成分の定量分析3　　（授業形式：講義 ）

予習内容：教科書p67-74を読み概略を理解しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書p75の章末問題（問題5・4と問題5・5）を解き、解答を確認すること。代表的な無機成分およびビタミンの種類や特徴とその定量方法についての内容を整理して確認し理解を深めること。
復習時間：60分
無機成分の分析としては、灰分としての測定と向きイオンの定量分析があり、それぞれの概要を解説する。また主要なビタミンについて、定量方法をそれぞれの構造と特徴･機能と合わせて説明する。

第11回　物質の精製1　　（授業形式：講義 ）

予習内容：教科書p77-87を読み概略を理解しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書p88の章末問題を解き、解答を確認すること。溶媒の濃縮や成分の抽出操作についての内容を整理して確認し理解を深めること。
復習時間：60分
食品中の炭水化物やタンパク質、脂質の総量に関する定量分析に対して、特定の物質についての詳細な検討を行うためには、非目的物質を除去した上で、目的物質を分析する必要がある。その物質の精製操作に必要となる濃縮や抽出について解説を行う。

第12回　物質の精製2　　（授業形式：講義 ）

予習内容：教科書p89-110を読み概略を理解しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書p110の章末問題を解き、解答を確認すること。クロマトグラフィーの原理、代表的なクロマトグラフィーの種類とその特徴についての内容を整理して確認し理解を深めること。
復習時間：60分
物質の精製のためによく利用される手法にクロマトグラフィーがある。クロマトグラフィーは、固定相と移動相に対する各物質の吸着力などの差を利用し物質を分離するものである。クロマトグラフィーの原理を解説し、またさまざまなクロマトグラフィーの利用方法などを説明する。

第13回　物質の精製3　　（授業形式：講義 ）

予習内容：教科書p111-120を読み概略を理解しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：電気泳動とアフィニティークロマトグラフィーの原理、物質の単離についての内容を整理して確認し理解を深めること。
復習時間：60分
高分子であるタンパク質の分離・精製には、電気泳動やアフィニティークロマトグラフィーなどが用いられる。それらの原理について解説する。また、さまざまな精製法を組み合わせて目的とする物質を純粋な物質として単離する方法について例を挙げて説明する。

第14回　機器分析1　　（授業形式：講義 ）

予習内容：教科書p123-131を読み概略を理解しておくこと。
予習時間：60分

復習内容：質量分析の基本的な原理と、代表的なイオン化法についての内容を整理して確認し理解を深めること。
復習時間：60分
精製･単離された物質の化学構造の解析には、精密な分析機器を用いてその物質がもつさまざまな性質を調べる機器分析が必要になる。物質の分子量に関する情報を得る質量分析について、その原理と概略を説明する。

第15回　機器分析2　　（授業形式：講義 ）

予習内容：教科書p132-156を読み概略を理解しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：分析に用いられる電磁波と代表的な分析方法についての内容を整理して確認し理解を深めること。
復習時間：60分
物質のもつ化学構造に関する情報を電磁波の吸収を利用して調べる方法を分光分析という。分析に用いられる電磁波について解説し、紫外･可視分光法、赤外分光法、核磁気共鳴分光法の概略について説明する。

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**食品保全学**						
英文名　：	Food Microbiology and Quality						
担当者　：	泉　秀実						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

「食品衛生管理者・監視員」や「ＨＡＣＣＰ管理者」としての食品保全に関わる知識を学習します。主に対象とする果実・野菜は、園芸食品として、私たちの食生活には欠かせない存在です。これらは、生命体であるため鮮度保持が難しく、貯蔵期間が短い生鮮食品です。食品としての鮮度保持のために必要な植物体の生理的、栄養的および衛生的な面からの保全技術と知識について学修します。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講生は、収穫後の園芸食品（果実・野菜）を対象に、保存中の生活生理、成分の化学的特性およびそれらに関わる微生物の挙動について学び、食品保全技術に必要な基礎知識を生理学、生化学、病理学に基づいて習得します。「ＨＡＣＣＰ管理者」資格取得に必須のＨＡＣＣＰシステム論受講のための関連科目です。この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー3の達成に主体的に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 80%
レポート（2回に分けて提示した課題にレポート用紙1～2枚） 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後に、「試験の要点と解説」を掲示板またはUNIVRSAL SAPPORTに掲載します。

■教科書

プリント配布。

■参考文献

[ISBN]なし　『適正農業規範（GAP）導入の手引き』（泉　秀実・日佐和夫 翻訳、環境文化創造研究所）

■関連科目

食品安全学、ＨＡＣＣＰシステム論

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

泉研究室（西1号館4階453）・izumi@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

月曜日2限と水曜日2限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　果実類の種類（授業形式：講義）

予習内容：本邦産および海外産の果実類の種類について予習する。
予習時間：60分
復習内容：講義ノートを整理し、果実類の分類を復習する。
復習時間：60分

第2回　野菜類の種類（授業形式：講義）

予習内容：本邦産および海外産の野菜類の種類について予習する。
予習時間：60分
復習内容：講義ノートを整理し、野菜類の分類を復習する。
復習時間：60分

第3回　生産・流通に関する法律／法規（授業形式：講義）

予習内容：農水省およびJAS制定の果実・野菜に関する法律を予習する。
予習時間：60分
復習内容：講義ノートを整理し、果実・野菜の生産・流通関連法規を復習する。
復習時間：60分

第4回　衛生に関する法律／法規（授業形式：講義）

予習内容：厚生労働省制定の衛生管理に関する法律を予習する。
予習時間：60分
復習内容：講義ノートを整理し、食品衛生法を復習する。
復習時間：60分

第5回　構成成分の化学的特性（授業形式：講義）

予習内容：果実・野菜に含まれる植物体構成成分を予習する。
予習時間：60分
復習内容：講義ノートを整理し、果実・野菜を構成する成分を復習する。
復習時間：60分

第6回　味覚成分の化学的特性（授業形式：講義）

予習内容：果実・野菜に含まれる味覚成分を予習する。
予習時間：60分
復習内容：講義ノートを整理し、果実・野菜の味覚成分の構成を復習する。
復習時間：60分

第7回　栄養成分の化学的特性（授業形式：講義）

予習内容：果実・野菜に含まれる栄養成分を予習する。
予習時間：60分
復習内容：講義ノートを整理し、果実・野菜の栄養価を復習する。
復習時間：60分

第8回　機能性成分の化学的特性（授業形式：講義）

予習内容：果実・野菜がもつ健康機能性を予習する。
予習時間：60分
復習内容：講義ノートを整理し、果実・野菜の健康機能性成分を復習する。
復習時間：60分

第9回　呼吸生理（授業形式：講義）

予習内容：植物の呼吸生理の意義を予習する。
予習時間：60分
復習内容：講義ノートを整理し、果実・野菜の呼吸代謝を復習する。
復習時間：60分

第10回　蒸散生理（授業形式：講義）

予習内容：植物の蒸散生理の意義を予習する。
予習時間：60分
復習内容：講義ノートを整理し、果実・野菜の蒸散特性を復習する。
復習時間：60分

第11回　成熟（授業形式：講義）

予習内容：果実の成熟に伴う変化を予習する。
予習時間：60分

復習内容：講義ノートを整理し、果実・野菜の成熟過程を復習する。
復習時間：60分

第12回　追熟（授業形式：講義）

予習内容：追熟の意味と果実との関連性を予習する。
予習時間：60分
復習内容：講義ノートを整理し、果実・野菜の追熟過程を復習する。
復習時間：60分

第13回　呼吸のクライマクテリックライズ（授業形式：講義）

予習内容：クライマクテリックライズの意味と果実との関連性を予習する。
予習時間：60分
復習内容：講義ノートを整理し、果実のクライマクテリックライズと追熟過程との関係を復習する。
復習時間：60分

第14回　エチレン代謝（授業形式：講義）

予習内容：植物ホルモン「エチレン」の働きを予習する。
予習時間：60分
復習内容：講義ノートを整理し、果実のクライマクテリックライズとエチレンとの関係を復習する。
復習時間：60分

第15回　熟度調節（授業形式：講義）

予習内容：果実の熟度調節の意義を予習する。
予習時間：60分
復習内容：講義ノートを整理し、果実の熟度調節に必要な技術を復習する。
復習時間：60分

定期試験

■ホームページ

近畿大学生物理工学部食品保全学研究室（Team Izumi）　https://sites.google.com/view/kindai-laboffoodsafety/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 ：	**数学**						
英文名 ：	Mathematics						
担当者 ：	堤　裕之						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考 ：	生物工学科、食品安全工学科科目						

■授業概要

本講義は、大学で学ぶ殆んどの理数系専門科目に必要不可欠な微分積分学の基礎知識を学習する。数学としての微積分ではなく、理工科系に必要な実用道具としての微分・積分の応用を習得することを目標としている。したがって、数学的な定義・定理・証明だけでなく、基本的な意味や使い方、例題などに主眼をおいて講義を進める。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本講義では、生物理工系の学生が関連専門科目を履修するにあたって必要な、実用的な微積分の知識を修得するために、以下のことを到達目標とする。
1.1変数の初等関数の微分・積分について理解すると共に計算技法をマスターする。
2.1変数の微分法の応用として、曲線の関数の特性を解析し、極値、凹凸などを求める。
3.1変数の積分法の応用として、平面曲線の面積、長さ、および回転体の体積、表面積の計算法を究める。
なお、本科目は、生物理工学部のディプロマポリシーの 1, 2, 5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

レポート 30%
試験 70%

■試験・課題に対するフィードバック方法

中間まとめレポートと期末まとめレポートは指定教科書の問題の中から出題されます。教科書には略解が載せられていますが、特に注意が必要な問題については授業内で解説します。試験問題についても同様です。

■教科書

[ISBN]9784785315184 『理工系入門 微分積分』 (石原 繁, 裳華房 : 1999)

■参考文献

[ISBN]9784320016330 『やさしく学べる微分積分』 (石村 園子, 共立出版 : 1999)

■関連科目

基礎数学、数学、線形代数学など

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階） : tsutsumi@ouhs.ac.jp
備考： 携帯からの質問メールは受け付けない.

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　極限と連続（演習を含む講義）

予習内容：教科書§1～§3に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書§1～§3問題Bを解く
復習時間：30分
数列・関数の極限と連続関数の概念を理解する.

第2回　微分法の基礎（その1）（演習を含む講義）

予習内容：教科書§5～§6に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書§5～§6問題Bを解く
復習時間：30分
微分の定義，導関数の少し進んだ計算公式について解説する.

第3回　指数関数・対数関数の微分（演習を含む講義）

予習内容：教科書§7～§8に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書§7～§8問題Bを解く
復習時間：30分
指数関数・対数関数について復習したのち，その導関数について解説を行う.

第4回　三角関数と双曲線関数の微分（演習を含む講義）

予習内容：教科書§9～§10に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書§9～§10問題Bを解く
復習時間：30分
弧度法と三角関数について復習したのち，その導関数について解説を行う．また，双曲線関数を導入し，その導関数についても解説を行う.

第5回　逆関数の微分と逆三角関数（演習を含む講義）

予習内容：教科書§11に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書§11の演習問題Bを解く。
復習時間：30分
逆関数の概念と微分，および，その重要な具体例である逆三角関数とその導関数について解説する.

第6回　高次導関数と平均値の定理（演習を含む講義）

予習内容：教科書§12～§13に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書§12～§13の演習問題Bを解く。
復習時間：30分
高次導関数の微分公式とライプニッツの定理について解説する．また平均値の定理について解説する.

第7回　テイラーの定理とテイラー展開（演習を含む講義）

予習内容：教科書§15～§16に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書§15～§16の演習問題Bを解く。
復習時間：30分
テイラーの定理とテイラー展開について解説する.

第8回　不定形の極限値・曲線の概形と曲座標（演習を含む講義）

予習内容：教科書§14，§17～§18に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書§14，§17～§18の演習問題Bを解く。
復習時間：30分
テイラーの定理の応用として不定形の極限値・曲線の概形について解説する．また，曲座標について解説する.

第9回　積分法の基礎（演習を含む講義）

予習内容：教科書§19～§21に目を通す。
予習時間：30分

復習内容：教科書§19～§21の演習問題Bを解く。
復習時間：30分
定積分の定義とその基本的な計算公式，微分積分学の基本定理と不定積分について解説する.

第10回　置換積分法・部分積分法（演習を含む講義）

予習内容：教科書§22～§23に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書§22～§23の演習問題Bを解く。
復習時間：30分
置換積分法と部分積分法について解説する.

第11回　有理関数の積分と三角関数の有理式の積分（演習を含む講義）

予習内容：教科書§24～§25に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書§24～§25の演習問題Bを解く。
復習時間：30分
有理式の概念と部分分数分解，積分法について解説する．また，三角関数の有理式の積分法についても解説する.

第12回　無理関数・双曲線関数の積分（演習を含む講義）

予習内容：教科書§26に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書§26の演習問題Bを解く。
復習時間：30分
無理関数と双曲線関数の積分について解説する.

第13回　定積分の計算（演習を含む講義）

予習内容：教科書§27に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書§27の演習問題Bを解く。
復習時間：30分
定積分の計算の実際について解説する.

第14回　広義積分（演習を含む講義）

予習内容：教科書§28に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書§28の演習問題Bを解く。
復習時間：30分
広義積分の概念と実際の計算について解説する.

第15回　面積・体積・曲線の長さ（演習を含む講義）

予習内容：教科書§29に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書§29の演習問題Bを解く。
復習時間：30分
積分の応用として，面積・体積・曲線の長さの導出の方法について解説する.

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**世界の食生産事情**						
英文名　：	Situation of Food Production in the World						
担当者　：	泉　秀実						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食の科学・工学を学ぶ学科として、農産加工食品の原料となる生産物の起源から生産・加工・消費に至るまでの特性と技術を学習し、各食品と日本との歴史的関わり、今後の食品の日本における発展、さらに各食品の食品工業分野への利用拡大について考察します。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

農産物の原産地から世界への伝播と生産状況、生食用と加工用品種の特性、成分・品質と加工利用特性、食べ方と消費動向について学び、海外諸国の生産システム、市場システム、小売・販売システム、流通システムについて、知識を広めます。この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー1の達成に主体的に関与しています。

■成績評価方法および基準

レポート（毎回提示した課題に対しレポート用紙1～2枚） 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間に、模範レポートを提示して、要点を解説します。

■教科書

プリント配布。

■参考文献

[ISBN]なし　日本食品保蔵科学会誌（第32巻2号～第41巻2号）・講座『身近な野菜・果物～その起源から生産・消費まで』

■関連科目

特になし。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

泉研究室（西1号館4階453）・izumi@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

月曜日2限と水曜日2限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　農産物の生産と流通（アメリカ編）（授業形式：講義）

予習内容：アメリカ産農産物の種類と特徴を予習する。

予習時間：60分
復習内容：講義内容と配付資料を基にレポートを作成する。
復習時間：120分

第2回　農産物の生産と流通（ヨーロッパ編）（授業形式：講義）

予習内容：ヨーロッパ産農産物の種類と特徴を予習する。
予習時間：60分
復習内容：講義内容と配付資料を基にレポートを作成する。
復習時間：120分

第3回　農産物の生産と流通（アジア編）（授業形式：講義）

予習内容：アジア産農産物の種類と特徴を予習する。
予習時間：60分
復習内容：講義内容と配付資料を基にレポートを作成する。
復習時間：120分

第4回　食の嗜好と消費動向（日本編）（授業形式：講義）

予習内容：日本食の種類と特徴を予習する。
予習時間：60分
復習内容：講義内容と配付資料を基にレポートを作成する。
復習時間：120分

第5回　身近な野菜の起源から生産・消費まで（1．トマト）（授業形式：講義）

予習内容：トマトの生産形態と消費形態を予習する。
予習時間：60分
復習内容：講義内容と配付資料を基にレポートを作成する。
復習時間：120分

第6回　身近な野菜の起源から生産・消費まで（2．イチゴ）（授業形式：講義）

予習内容：イチゴの生産形態と消費形態を予習する。
予習時間：60分
復習内容：講義内容と配付資料を基にレポートを作成する。
復習時間：120分

第7回　身近な野菜の起源から生産・消費まで（3．カボチャおよびメロン）（授業形式：講義）

予習内容：カボチャおよびメロンの生産形態と消費形態を予習する。
予習時間：60分
復習内容：講義内容と配付資料を基にレポートを作成する。
復習時間：120分

第8回　身近な野菜の起源から生産・消費まで（4．ワサビ）（授業形式：講義）

予習内容：ワサビの生産形態と消費形態を予習する。
予習時間：60分
復習内容：講義内容と配付資料を基にレポートを作成する。
復習時間：120分

第9回　身近なイモ類の起源から生産・消費まで（1．ジャガイモ）（授業形式：講義）

予習内容：ジャガイモの生産形態と消費形態を予習する。
予習時間：60分
復習内容：講義内容と配付資料を基にレポートを作成する。
復習時間：120分

第10回　身近なイモ類の起源から生産・消費まで（2．サツマイモ）（授業形式：講義）

予習内容：サツマイモの生産形態と消費形態を予習する。
予習時間：60分
復習内容：講義内容と配付資料を基にレポートを作成する。
復習時間：120分

第11回　身近な果実の起源から生産・消費まで（1．カンキツ）（授業形式：講義）

予習内容：カンキツ果実の生産形態と消費形態を予習する。
予習時間：60分
復習内容：講義内容と配付資料を基にレポートを作成する。
復習時間：120分

第12回　身近な果実の起源から生産・消費まで（2．モモ）（授業形式：講義）

予習内容：モモ果実の生産形態と消費形態を予習する。
予習時間：60分
復習内容：講義内容と配付資料を基にレポートを作成する。
復習時間：120分

第13回　身近な果実の起源から生産・消費まで（3．スモモ）（授業形式：講義）

予習内容：スモモ果実の生産形態と消費形態を予習する。
予習時間：60分
復習内容：講義内容と配付資料を基にレポートを作成する。
復習時間：120分

第14回　身近な果実の起源から生産・消費まで（4．ウメ）（授業形式：講義）

予習内容：ウメ果実の生産形態と消費形態を予習する。
予習時間：60分
復習内容：講義内容と配付資料を基にレポートを作成する。
復習時間：120分

第15回　身近な果実の起源から生産・消費まで（5．リンゴ）（授業形式：講義）

予習内容：リンゴ果実の生産形態と消費形態を予習する。
予習時間：60分
復習内容：講義内容と配付資料を基にレポートを作成する。
復習時間：120分

■ホームページ

近畿大学生物理工学部食品保全学研究室（Team Izumi） https://sites.google.com/view/kindai-laboffoodsafety/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**生化学Ⅰ**						
英文名　：	Biochemistry 1						
担当者　：	武部　聡						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

生物は細胞を単位として組み立てられており、細胞内では様々な生命活動が営まれている。タンパク質、脂質、糖質、核酸などは細胞を構成する重要な物質で、これらの物質が互いに関わり合い、生命活動を組み立てている。このような、細胞内で起こる物質どうしの相互作用を化学反応として捉え、化学の立場から生命現象の仕組みを明らかにし、全体像を捉えようというのが、生化学である。本講義はⅠとⅡに分かれているが、Ⅰでは、生体構成物質の中で最も種類が多く、生命現象のいろいろな場面で重要な役割を担っているタンパク質について、構造、機能と性質について解説する。さらに、タンパク質のひとつであり、細胞内で繰り広げられる生命活動の根幹をなす化学反応の触媒としてはたらく酵素について、酵素の分類、基礎的な酵素反応速度論、阻害効果などについて説明する。また、細胞を外部環境から守り、細胞内環境を生物的機能と生命現象を営む場として整える細胞膜の構造、役割、および膜の選択透過性について解説する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

タンパク質合成に使われる20種類のアミノ酸の構造式が書ける。アミノ酸を化学的性質に基づいて分類することができる。タンパク質の高次構造を説明できる。酵素反応における酵素と基質濃度の影響をミカエリス･メンテン式等を用いて説明できる。3つの酵素反応阻害効果をラインウィーバー･バークのプロット等を用いて区別することができる。生体膜の構造と構成成分を説明できる。膜輸送について説明できる。
この科目の修得は本学科のDP4に関与しています。

■成績評価方法および基準

小テスト（5回） 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

小テストの問題と採点結果をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■教科書

[ISBN]9784807909193 『エッセンシャル 生化学 第3版』 (Charlotte W. Pratt, 東京化学同人：2018)

■参考文献

[ISBN]9780470654514 『Medical Biochemistry at a Glance』 (J. G. Salway, Wiley-Blackwell : 2012)

■関連科目

食品材料学、生化学Ⅱ、細胞生物学Ⅰ･Ⅱ

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

武部研究室（西1号館6階660）・takebe@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

木曜3限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　細胞の生化学　生体を構成する分子　生体系のエネルギーと代謝（授業形式：講義）

予習内容：シラバスを熟読し、授業概要と学習到達目標を理解する。教科書の目次に目を通して生化学という学問分野のイメージを掴む。第1章を読み、分からない語句を調べておく。
予習時間：60分
復習内容：生体分子（アミノ酸、炭水化物、ヌクレオチド、脂質）と生体高分子（タンパク質、核酸、多糖）の構造および機能的関係を理解する。自由エネルギーと熱力学の法則の概念を理解する。エンタルピーやエントロピーについて調べる。
復習時間：180分

第2回　アミノ酸・ペプチド・タンパク質　アミノ酸の種類と構造、化学的性質（授業形式：講義）

予習内容：教科書第4章4·1最初から「荷電アミノ酸」まで（p.74 L2）（第１版はp.66まで）を読み、アミノ酸の基本的構造を理解する。タンパク質合成に使われる20種類のアミノ酸の名前を覚えておく。65ページの図4·2を参照し、構造式の練習を始める。構造式の小テストは、20種類全てのアミノ酸の構造式を書けるようになるまで毎回の授業で行います。
予習時間：60分
復習内容：20種類のアミノ酸の1文字表記と構造式を覚える。アミノ酸を、側鎖の化学的性質によってグループ分けできるようになる。側鎖の構造基、官能基についてもまとめる。アミノ酸の脱水縮合反応を理解する。
復習時間：180分

第3回　アミノ酸・ペプチド・タンパク質　ペプチド結合の構造と性質（授業形式：講義）

予習内容：教科書第4章4·1の残り（p.74-79）（第１版はp.67-70）を読み、ペプチド結合を形成する縮合反応とポリペプチドの構造について理解する。ポリペプチドの表面荷電について、計算例題4.1を解いてみる。
予習時間：60分
復習内容：2つのアミノ酸が脱水縮合してジペプチドが生じる反応を理解する。アミノ酸、ジペプチド、トリペプチド、ポリペプチドおよびタンパク質の構造等の違いについて説明できるようにする。
復習時間：180分

第4回　アミノ酸・ペプチド・タンパク質　タンパク質のアミノ酸配列と二次構造（αヘリックスとβシート）（授業形式：講義）

予習内容：教科書第4章4·2を読み、ペプチド結合の構造的特性とポリペプチドの構造的制約について理解する。二次構造の要素であるαヘリックスとβシートの構造的特徴について調べておく。
予習時間：60分
復習内容：αヘリックスとβシートの構造的特徴を理解する。水素結合に関与する原子とペプチド結合、ペプチド鎖の向きと側鎖の向きなど。これらの二次構造をとりやすいアミノ酸(配列)について調べ、それはなぜかを考える。
復習時間：180分

第5回　タンパク質の構造と機能　タンパク質の立体構造を保持する力（授業形式：講義）

予習内容：教科書第4章4·3,4（第１版は4·3）を読み、疎水的相互作用、塩橋、ジスルフィド結合、水素結合について調べる。タンパク質の四次構造を調べる。
予習時間：60分
復習内容：タンパク質が三次構造を取ったときのアミノ酸の配置とエネルギーについて整理し、三次構造を保持する力として疎水的相互作用が最も貢献することを理解する。
復習時間：180分

第6回　タンパク質の構造と機能　とタンパク質の機能（授業形式：講義）

予習内容：教科書第5章5·1（第1版は第4章4·4, 5）を読み、ミオグロビンとヘモグロビンの共通点、相違点についてまとめる。
予習時間：60分
復習内容：ミオグロビンとヘモグロビンの構造の違いと酸素分子結合性を比較し、タンパク質の機能調節を行うときのサブユニット構造の利点についてまとめる。
復習時間：180分

第7回　細胞骨格とモータータンパク質　3つの主要細胞骨格と構成タンパク質（授業形式：講義）

予習内容：教科書第5章5·1（第1版は5·1-3）を読み、細胞骨格とそれを構成するタンパク質の種類、構造について調べる。
予習時間：60分
復習内容：3つの主要細胞骨格、ミクロフィラメント、中間径フィラメント、微小管について、構造上の特徴を比較し、各細胞骨格の役割との関連についてまとめる。
復習時間：180分

第8回　細胞骨格とモータータンパク質　動くタンパク質（ミオシン、キネシン、ダイニン）（授業形式：講義）

予習内容：教科書第5章5·3（第1版は5·4）を読み、モータータンパク質について調べる。また、5·5, 6を読み、繊維状タンパク質について調べる。

予習時間：60分
復習内容：モータータンパク質のキネシンについて、構造や微小管上を動く機構についてまとめる。また、ミオシンの動きと比較する。ケラチンやコラーゲンなど繊維状タンパク質について構造上の特徴をまとめ、球状タンパク質との違いを明確にする。
復習時間：180分

第9回　酵素　酵素の性質と触媒反応機構（授業形式：講義）

予習内容：教科書第6章6･1-2を読み、酵素の一般的な性質と酵素の分類法、触媒反応機構について調べる。
予習時間：60分
復習内容：酵素の構造と性質、酵素の分類と触媒する6つの反応の種類についてまとめる。教科書第6章6･3-4を読み、酵素触媒の特異な性質や基質特異性の反応機構について理解する。
復習時間：180分

第10回　酵素　酵素反応速度論とミカエリス・メンテンの式の誘導（授業形式：講義）

予習内容：化学反応速度論について調べておく。教科書第7章7･1-2を読み、反応速度式からミカエリス･メンテン式を導くまでの式の変換に目を通し、分からない語句や式について調べておく。
予習時間：60分
復習内容：授業ではミカエリス･メンテン式の導き方について詳しく説明するので、ノートを見ながらもう一度やってみる。ミカエリス･メンテン式が表す曲線から、酵素反応の初速度と基質濃度の関係を読み取れるようにする。さらに、Km値とVmaxと酵素反応との関係について、説明できるようにする。
復習時間：180分

第11回　酵素　酵素阻害の種類とラインウイーバー・バークプロットの利用（授業形式：講義）

予習内容：教科書第7章7･3を読み、酵素阻害の形式と阻害剤の種類を調べる。ミカエリス･メンテン式からラインウイーバー・バークプロットへの変換および、Km値とVmax値の読み取り方について理解する。
予習時間：60分
復習内容：酵素反応阻害の3つの形式とKm値およびVmax値の変化についてまとめる。それぞれの阻害形式によって生じるラインウイーバー・バークプロットの特徴的な変化についてまとめる。
復習時間：180分

第12回　生体膜　リン脂質の種類と脂質二重層膜の構造（授業形式：講義）

予習内容：教科書第8章8･1, 2（第1版は8･1）を読み、リン脂質の種類と構造、構成する生体分子について調べる。コレステロールについても同様に調べる。
予習時間：60分
復習内容：リン脂質の構造と両親媒性を理解し、脂質二重層膜の基本構造と表面と内部の性質の違いについて説明できるようにする。さらに、コレステロールの膜構造における役割についても説明できるようにする。
復習時間：180分

第13回　生体膜　膜タンパク質の種類と役割（授業形式：講義）

予習内容：教科書第8章3, 4（第1版は8･2）を読み、膜タンパク質の種類と膜における配置について調べる。膜との結合に使われる力についても調べる。
予習時間：60分
復習内容：膜タンパク質の局在と機能との関係を理解する。膜との結合に使われるタンパク質の部分的構造や他の化合物がもつ性質と膜との結合様式について整理する。
復習時間：180分

第14回　生体膜　選択透過性と受動輸送（ポリン、チャネル、輸送タンパク質）（授業形式：講義）

予習内容：教科書第9章9･1, 2（第1版は第8章8･3）を読み、受動輸送と能動輸送の違い、ポリン、チャネルの違いについて調べる。また、輸送タンパク質の役割についても調べる。
予習時間：60分
復習内容：細胞膜に形成される小孔をポリンとチャネルの構造、膜貫通領域を構成するアミノ酸やペプチドの特性についてまとめる。カリウムイオンチャネルにおいて、カリウムイオンより半径が小さいナトリウムイオンが通過できない仕組みを説明できるようになる。膜孔と細胞膜の選択透過性についてまとめる。
復習時間：180分

第15回　（授業形式：講義）生体膜　選択透過性と能動輸送（一次輸送、二次輸送）（授業形式：講義）

予習内容：教科書第9章9･3（第1版は第8章8･3を読み、膜輸送の3形態を理解する。能動輸送と二次輸送について調べる。
予習時間：60分
復習内容：単輸送、等方輸送、対向輸送について、例を挙げて説明できるようにする。能動輸送によって生じたイオン勾配や化学物質の濃度差を用いて、細胞膜をはさんで行われる二次輸送について例を挙げて説明できるようになる。
復習時間：180分

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**生化学Ⅱ**						
英文名　：	Biochemistry 2						
担当者　：	武部　聡						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食物に含まれる栄養素は消化管における消化･吸収作用によって体内に取り込まれると、エネルギー生産や生体構成成分の材料に用いられる。糖質、脂質、タンパク質などは代謝によって、各種中間体を経由して、二酸化炭素、水、アンモニアなどに分解される。これらの代謝過程を通して物質が有するエネルギーはATPに変換され、化学エネルギーとして生体内の諸反応に供給される。また、栄養物質は代謝中間体を経由して生体が必要としている物質を合成している。これらの諸反応について詳しく述べる。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

糖の構造を有機化学的に説明できる。グルコースを中心とした糖代謝について、解糖系、糖新生やペントースリン酸経路の生化学的意義を説明できる。エネルギー代謝について、解糖系、クエン酸回路、電子伝達系を通じて合成されるATP量を求められる。脂肪酸のβ酸化と生合成の類似点と相違点を説明できる。窒素代謝におけるNの取り込みとアミノ基転移の反応を理解する。アミノ酸、ヌクレオチドなど主要生体分子の代謝過程、および、尿素合成回路について、連続的な構造変換を有機化学反応に基づいて説明できる。
この科目の修得は本学科のDP4に関与しています。

■成績評価方法および基準

小テスト 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

小テストの問題と採点結果をClassroomに掲載します。

■教科書

[ISBN]9784807909193 『エッセンシャル 生化学 第3版』 (Charlotte W. Pratt, 東京化学同人：2018)

■参考文献

[ISBN]9780470654514 『Medical Biochemistry at a Glance』 (J. G. Salway, Wiley-Blackwell：2012)

■関連科目

生化学Ⅰ、細胞生物学Ⅰ、動物栄養学、食品機能学、応用微生物工学

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

武部研究室（西1号館6階660）・takebe@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

木曜3限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　概論：代謝と自由エネルギーの概念（授業形式：講義）

予習内容：教科書第12章（第1版は第9章）を読み、代謝における物質変化と自由エネルギー変化について調べる。
予習時間：60分
復習内容：代謝（同化、異化）と生体分子の変化、代謝反応における自由エネルギー変化についてまとめる。
復習時間：180分

第2回　糖質の代謝：糖質の種類と構造（授業形式：講義）

予習内容：教科書第10章（第1版は第10章序論および10･1）を読み、単糖と多糖について調べる。
予習時間：60分
復習内容：糖の構造について説明できるようにする。3炭糖から6炭糖までの主要な糖の構造を書けるようにする。グリコーゲンやデンプンの構造を説明できるようにする。
復習時間：180分

第3回　糖質の代謝：解糖系（授業形式：講義）

予習内容：教科書第13章13･1（第1版は第10章10･2）を読み、解糖系の意義を調べる。
予習時間：60分
復習内容：グルコースからピルビン酸までの10段階の反応において、エネルギーを投資する段階とATP生成段階をまとめる。解糖系のエネルギー収支についてまとめる。
復習時間：180分

第4回　糖質の代謝：糖新生、ペントースリン酸経路（授業形式：講義）

予習内容：教科書第13章13･2-4（第1版は第10章10･3-5）を読み、糖新生およびペントースリン酸経路の意義について調べる。
予習時間：60分
復習内容：糖新生において、解糖系を逆反応できない3カ所の迂回経路をまとめる。ペントースリン酸経路で見られる炭素鎖の継ぎ足しや切断法についてまとめる。
復習時間：180分

第5回　クエン酸回路：ピルビン酸からアセチルCoAへ（授業形式：講義）

予習内容：教科書第14章14･1（第1版は第11章序論および11･1）を読み、ピルビン酸脱水素酵素複合体について調べる。
予習時間：60分
復習内容：ピルビン酸脱水素酵素複合体を構成する3つの酵素、5つの補酵素についてまとめる。5段階の反応についてまとめる。
復習時間：180分

第6回　クエン酸回路：8段階の反応（授業形式：講義）

予習内容：教科書第14章14･2,3（第1版は第11章11･2, 3）を読み、クエン酸回路における物質代謝とエネルギー収支を調べる。
予習時間：60分
復習内容：クエン酸回路の8段階の反応の中で、炭素数が変化する段階と高エネルギー化合物を生じる段階まとめる。また、クエン酸回路の中間体と他の生体分子との関連についてもまとめる。
復習時間：180分

第7回　電子伝達系：ミトコンドリアの構造（授業形式：講義）

予習内容：教科書第15章15･1,2（第1版は第12章12･1, 2）を読み、酸化還元反応と還元電位について調べる。また、電子伝達系を構成する複合体や化合物について調べる。
予習時間：60分
復習内容：電子伝達系はNADHが持つ電子を酸素まで伝達する連続した酸化還元反応であることを理解し、3つの複合体とそれらから電子を授受する化合物についてまとめる。
復習時間：180分

第8回　電子伝達系：酸化的リン酸化によるATP合成（授業形式：講義）

予習内容：教科書第15章15･3,4（第1版は第12章12･3, 4）を読み、化学浸透とATP合成酵素について調べる。
予習時間：60分
復習内容：ミトコンドリア内膜の選択透過性について復習する。膜間腔にある水素イオンがATP合成酵素内を通過してマトリクスに戻るとATPが合成される仕組みを理解する。
復習時間：180分

第9回　脂質の代謝：脂質の分類と機能（授業形式：講義）

予習内容：教科書第17章（第1版は第14章序論）を読み、リポタンパク質について調べる。また、第8章を読み返し、脂肪酸について復習しておく。

予習時間：60分
復習内容：リポタンパク質の密度による分類を理解し、働きについてまとめる。脂肪酸の構造、不飽和脂肪酸の構造と表記法をまとめる。
復習時間：180分

第10回　脂質の代謝：脂肪酸の分解、β酸化（授業形式：講義）

予習内容：教科書第17章17･1（第1版は第14章14･1）を読み、脂肪酸の活性化とβ酸化が行われる細胞内の場所およびカルニチン輸送体について調べる。
予習時間：60分
復習内容：β酸化の4つの反応をまとめる。４4の反応を何回繰り返すと脂肪酸は全てアセチルCoAになり、エネルギーはどれくらい得られるかをまとめる。
復習時間：180分

第11回　脂質の代謝：脂肪酸の生合成（授業形式：講義）

予習内容：教科書第17章17･2（第1版は第14章14･2）を読み、マロニルCoA合成とビオチン、アシルキャリアタンパク質について調べる。
予習時間：60分
復習内容：脂肪酸合成とβ酸化との共通点、相違点についてまとめ、二つの反応系が単なる逆反応ではないことを理解する。
復習時間：180分

第12回　脂質の代謝：コレステロールの合成（授業形式：講義）

予習内容：教科書第17章17･3（第1版は第14章14･3）を読み、テルペン（イソプレノイド）とステロイドについて調べる。
予習時間：60分
復習内容：アセチルCoAからメバロン酸を経由してイソプレノイドに至る生成系を理解し、さらに環化してコレステロールが合成される系をまとめる。コレステロールから合成されるステロイドについてもまとめる。
復習時間：180分

第13回　窒素代謝：アミノ酸の生合成（授業形式：講義）

予習内容：教科書第18章18･1,2（第1版は第15章15･1-3）を読み、窒素の化学的特性、窒素固定、アミノ基転移反応、シッフ塩基について調べる。
予習時間：60分
復習内容：アンモニアの同化、アミノ基転移反応とビタミンB6の働き、アミノ酸生合成に使われる葉酸の働きについてまとめる。
復習時間：180分

第14回　窒素代謝：アミノ酸の異化と尿素回路（授業形式：講義）

予習内容：教科書第18章18・4,5（第1版は第15章15･5, 6）を読み、糖原性アミノ酸とケト原性アミノ酸について調べる。
予習時間：60分
復習内容：アミノ酸からアミノ基を取る方法についてまとめ、炭素骨格の分解法を理解する。尿素回路の4つの反応についてまとめる。
復習時間：180分

第15回　窒素代謝：核酸の生合成と分解（授業形式：講義）

予習内容：教科書第18章18・3（第1版は第15章15･4）を読み、核酸の種類と構造について調べる。
予習時間：60分
復習内容：プリン環とピリミジン環の生合成系をまとめ、両者の相違点を理解する。プリン環の異化によって尿酸が生じる反応系をまとめる。
復習時間：180分

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**生体物質基礎**						
英文名　：	Introduction to Biomolecules						
担当者　：	堀西　朝子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

我々の体や食品など生体は様々な物質から構成されています。物質を構造と性質の両面から理解するためには化学的な基礎知識が必要です。これは、これからの専門科目の講義や学生実験、さらに卒業研究において土台となる知識です。まずは原子や分子の構造、化学反応などについての講義を行い、さらに生体を構成する主な物質の構造と働きなどを解説します。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、この講義を受講することによって、　1)化学的知見によって生体物質の構造や働きを理解する、　2)主な生体物質の構造と働きについての知識を習得します。この科目の修得は、食品安全工学科が定めるディプロマポリシー4の達成に関与します。

■成績評価方法および基準

提出課題 30%
定期試験 70%

■試験・課題に対するフィードバック方法

提出課題については翌回の授業時間に解説を行います。

■教科書

[ISBN]9784758121002 『生理学・生化学につながる ていねいな化学』 (白戸 亮吉, 羊土社：2019)

■参考文献

[ISBN]9784785330965 『化学はこんなに役に立つ: やさしい化学入門』 (山崎 昶, 裳華房：2013)
[ISBN]9784758113533 『基礎化学 (栄養科学イラストレイテッド)』 (土居 純子, 羊土社：2017)

■関連科目

化学Ⅰ、化学Ⅱ、生化学Ⅰ、生化学Ⅱ、食品材料学、基礎食品化学

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・asako.horinishi@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後時間（その他はメールで事前連絡してください）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　第1回　生体物質の構成　（授業形式：講義 ）

予習内容：教科書1章1. (p.12-17)を読み概略を理解しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書p.18の練習問題を解き、解答を確認すること。生体を構成する物質、熱運動と状態変化についての内容を整理して確認すること。
復習時間：60分
生体を構成する物質は原子や分子が集合したものである。第1回の講義ではその全体像を俯瞰し概略の説明を行う。また物質の状態を理解するため、熱運動や状態変化についての解説を行う。

第2回 原子の構造 （授業形式：講義 ）

予習内容：予習内容：教科書1章2. (p.20-29)を読み概略を理解しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書p.30, 31の練習問題を解き、解答を確認すること。原子の構造、イオンの性質、周期表についての内容を整理して確認すること。
復習時間：60分
生体を構成する物質(イオンや分子)について理解するためには原子の構造を知る必要がある。第2回の講義では、原子の構造について解説するとともに、イオンの性質、周期表についての説明を行う。

第3回 イオン結合と共有結合 （授業形式：講義 ）

予習内容：教科書2章1., 2章2-1, 2-2(p.34-37, p.40-46)を読み概略を理解しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書p.38, p.50(a,b)の練習問題を解き、解答を確認すること。イオン結合と共有結合、それぞれからなる代表的な物質の構造や性質、分子の極性、電気陰性度についての内容を整理して確認すること。
復習時間：60分
イオン結合および共有結合の成り立ちについて解説し、それぞれの結合によりできている物質の構造等の特徴について述べる。また、分子の極性と電気陰性度についての説明も行う。

第4回 金属結合と分子間力 （授業形式：講義 ）

予習内容：教科書2章2-3, 2-4, 2章3.(p.46-49, p.53-55)を読み概略を理解しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書p.50(c,d), p.56の練習問題を解き、解答を確認すること。金属結合、それによりできている物質の特徴、分子間力、水素結合、ファンデルワールスカについての内容を整理して確認すること。
復習時間：60分
金属結合の成り立ちについて解説し、それによりできている物質の特徴について述べる。さらに分子間力について、水素結合とファンデルワールスカを取り上げ解説する。

第5回 物質量と化学反応式 （授業形式：講義 ）

予習内容：教科書3章(p.58-71)を読み概略を理解しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書p.62, p.72の練習問題を解き、解答を確認すること。原子量、分子量、物質量、濃度の単位、化学反応式についての内容を整理して確認すること。
復習時間：60分
物質の量を取り扱う基礎となる原子量や分子量、物質量について解説する。いくつかの濃度の単位についても述べる。さらに化学反応式と物質量の関係について説明する。

第6回 酸･塩基 （授業形式：講義 ）

予習内容：教科書4章1. (p.77-88)を読み概略を理解しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書p.89の練習問題を解き、解答を確認すること。酸・塩基、価数、電離度、pHについての内容を整理して確認すること。
復習時間：60分
生体物質をはじめ多くの物質は、酸・塩基としての性質を持つ。酸・塩基についてその定義を解説し、具体的な物質や反応の例を用いて説明を行う。また酸・塩基の価数や、電離度、pHについて説明する。

第7回 酸化還元反応 （授業形式：講義 ）

予習内容：教科書4章2. (p.92-100)を読み概略を理解しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書p.101の練習問題を解き、解答を確認すること。酸化還元、酸化数、酸化剤・還元剤についての内容を整理して確認すること。
復習時間：60分
酸化還元反応は化学反応の中でも重要なものの一つであり、多くの化学反応は酸化還元という観点から解析することができる。酸化および還元についてその定義を解説し、具体的な物質や反応の例を用いて説明を行う。また酸化数の定義とその求め方、酸化剤と還元剤についての説明も行う。

第8回 化学反応1 （授業形式：講義 ）

予習内容：教科書5章1. (p.105-111)を読み概略を理解しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書p. 112の練習問題を解き、解答を確認すること。分からなかった問題や解答を間違えた問題の部分を中心に、反応速度、活性化エネルギー、触媒、酵素についての内容を整理して確認すること。
復習時間：60分
化学反応とは、ある物質が別の物質に変わることをいい、多くの場合エネルギーの放出や吸収をともなう。化学反応の分類について整理し、反応を理解するために必要となる反応速度や活性化エネルギー、触媒などの基礎について解説する。また生体触媒である酵素についての説明も行う。

第9回 化学反応2 （授業形式：講義 ）

予習内容：教科書5章2. (p.114-120)を読み概略を理解しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書p.121の練習問題を解き、解答を確認すること。可逆反応・不可逆反応、平衡状態、緩衝作用についての内容を整理して確認すること。
復習時間：60分
可逆反応・不可逆反応について説明する。さらに平衡状態について例をあげて説明し緩衝作用についても解説する。

第10回 有機化合物の構造 （授業形式：講義 ）

予習内容：教科書6章1. (p.123-129)を読み概略を理解しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書p.130の練習問題を解き、解答を確認すること。分からなかった問題や解答を間違えた問題の部分を中心に、有機化合物の構造、分類、特徴についての内容を整理して確認すること。
復習時間：60分
有機化合物とは炭素を骨格として形成される化合物であり、生体物質の多くは有機化合物である。有機化合物の分子の構造を確認し、分類や特徴などについて解説する。

第11回 有機化合物の反応 （授業形式：講義 ）

予習内容：教科書の4章から6章を読み返しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：カルボニル化合物の反応（エステル、アミド、アセタールの形成）、高分子の生成、重要な官能基の変換反応についての内容を整理して確認しておくこと。
復習時間：60分
生体物質に関連の深いカルボニル化合物の反応(エステル、アミド、アセタールの形成)や高分子の生成、酸化還元反応による官能基の変換反応などについてその概略を解説する。

第12回 糖質 （授業形式：講義 ）

予習内容：教科書6章2. (p.132-145)を読み概略を理解しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書p.146の練習問題を解き、解答を確認すること。単糖・多糖の構造、生体内での役割、様々な糖類についての内容を整理して確認すること。
復習時間：60分
グルコースは我々の主要なエネルギー源である。グルコースをはじめとする糖類の構造(単糖、多糖)や生体内での役割とともに、食品に含まれる様々な糖類についてもあわせて解説する。

第13回 脂質 （授業形式：講義 ）

予習内容：教科書6章2. (p.132-145)を読み概略を理解しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書p.146の練習問題を解き、解答を確認すること。単糖・多糖の構造、生体内での役割、様々な糖類についての内容を整理して確認すること。
復習時間：60分
生体分子のうち水に不溶のものが脂質と呼ばれる。生体内ではエネルギーの貯蔵を担うとともに生体膜や生理活性物質の材料としても働く。第12回の講義では代表的な脂質の構造とその働きについて解説する。

第14回 タンパク質 （授業形式：講義 ）

予習内容：教科書6章4. (p.159-172)を読み概略を理解しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書p.173の練習問題を解き、解答を確認すること。アミノ酸の構造、タンパク質の構造、タンパク質の代表的な働きについての内容を整理して確認すること。
復習時間：60分
タンパク質は生体の構造体としてだけではなく、酵素として生体内の反応を触媒するなど多くの働きを持つ。タンパク質を構成

するアミノ酸の構造をはじめ、タンパク質の構造とその代表的な働きについて解説する。

第15回　核酸とビタミン等　（授業形式：講義 ）

予習内容：教科書6章5. (p.175-182)を読み概略を理解しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書p.183の練習問題を解き、解答を確認すること。核酸の構造と遺伝のしくみ、ビタミンなどの構造と働きについての内容を整理して確認すること。
復習時間：60分
核酸は生体内で遺伝を司る物質である。その構造と遺伝のしくみの概略について解説する。また、生体内での量は微量であるが生命の維持に必須の成分であるビタミンなどについて代表的なものの構造と働きを解説する。

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**生物学Ⅰ**						
英文名　：	Biology 1						
担当者　：	平井　秀一						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】水曜4限						

■授業概要

遺伝子に関する理解は近年急速に深まり、遺伝のみならず成長、運動、思考など様々な生命活動が遺伝子に依存していることが明らかになってきています。このことは現代社会に大きなインパクトを与えているのですが、内容が正確に理解されているかについては疑問です。本科目では、生命を支える遺伝子について何がわかっていて何がわかっていないかを皆さんが理解し、現代社会が抱える様々な問題について自ら考える際の助けになるよう、これまでに世界中で展開されてきた関連する研究の成果を簡潔にまとめ、系統的に整理して講義します。一部専門性の高い内容を含みますが、高校生物学を履修しなかった受講者にも理解できるよう基本から順に説明します。講義終了時に少なくとも一つの質問事項をあげることを念頭に置いて受講することを求めます。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は, この授業を履修することによって、遺伝子の多様な機能について理解することができます。このことは、生命が長い歴史の中で維持し、進化させてきた遺伝子という分子システム研究の現状を認識し、これらの産業への利用方法や生じうる問題について自ら考えるための基礎となるものです。さらに講義に積極的に参加することにより、科学的な思考の習慣を身につけることができます。 この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー1～5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 70%
授業中課題（ミニッツペーパー） 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間にミニッツペーパーにある設問について模範解答を示し解説します。
ミニッツペーパーに記入された受講生からの質問に答える形で復習を行います。

■教科書

【留意事項】教科書は指定しない。講義は配布資料に沿って行う。

■参考文献

[ISBN]9784807909766 『分子細胞生物学第8版』（H.Lodish他、東京化学同人：2019）
[ISBN]9784524226825 『エッセンシャル細胞生物学（原書第5版）』（中村桂子・松原謙一、南江堂：2021）
[ISBN]9780815345244 『Molecular Biology of THE CELL sixth ed』（BruceAlberts、Garland Science:2014）

■関連科目

生物学Ⅱ

■授業評価アンケート実施方法

生物理工学部実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・s-hirai@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

授業終了後

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　生命は細胞と遺伝子に宿る（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
遺伝子
遺伝情報
ゲノム
染色体
細胞

第2回　生殖と遺伝（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
無性生殖と有性生殖
体細胞と生殖細胞
メンデルの法則
遺伝性の疾患に見られる遺伝形式

第3回　細胞の運命（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
細胞分化と遺伝情報
幹細胞
ES細胞とiPS細胞

第4回　遺伝子操作Ⅰ（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
遺伝子操作とは　～クローン羊、青いバラ、iPS細胞
農業と遺伝子操作　～青いバラと遺伝子組換え食品

第5回　遺伝子操作Ⅱ（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
医療と遺伝子操作　～バイオ医薬品
遺伝子操作の規制　～カルタヘナ法など

第6回　遺伝子の複製（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
二重螺旋構造と半保存的複製
ヌクレオチド鎖の方向性と複製の方向性
プライマーとテロメア

第7回　遺伝子の発現（転写）（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
正しい転写を可能にする分子機構
転写効率の調節
真核生物におけるmRNAのプロセシング
エピジェネティックな遺伝子発現制御

第8回　遺伝子の発現（翻訳）（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
アミノアシル tRNAの合成
リボソーム＝タンパク質合成装置
翻訳の開始
ペプチド鎖の伸長
翻訳の終結

第9回　遺伝子の変異と修復（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
遺伝子変異の種類
遺伝子変異を生む様々な要因
修復の方法（構成、ミスマッチ修復、塩基除去修復、ヌクレオチド除去修復、非相同末端連結、相同組換え）

第10回　遺伝的多様性と疾患（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
遺伝情報の個人差
疾病の原因となる遺伝子の変異
遺伝する変異と遺伝しない変異

第11回　がんと遺伝子（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
癌腫、肉腫、白血病
がん遺伝子
がん抑制遺伝子
がんの遺伝

第12回　免疫と遺伝子（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
自然免疫と獲得免疫
液性免疫と細胞性免疫
アレルギー
AIDS

第13回　ウイルス（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。

復習時間：60分
様々な“菌”
ウイルスの構成成分
ウイルスの感染
ウイルスの増殖

第14回　心と遺伝子（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
脳を持つ生物
発生過程における脳形成
ヒトの脳

第15回　生命の進化と多様性（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
生物の種
系統分類
生命の起源と進化

定期試験

各講義項目にある内容について、選択式問題および記述式問題に対する回答を求める。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**生物学Ⅰ**						
英文名 ：	Biology 1						
担当者 ：	平井　秀一						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】水曜3限						

■授業概要

遺伝子に関する理解は近年急速に深まり、遺伝のみならず成長、運動、思考など様々な生命活動が遺伝子に依存していることが明らかになってきています。このことは現代社会に大きなインパクトを与えているのですが、内容が正確に理解されているかについては疑問です。本科目では、生命を支える遺伝子について何がわかっていて何がわかっていないかを皆さんが理解し、現代社会が抱える様々な問題について自ら考える際の助けになるよう、これまでに世界中で展開されてきた関連する研究の成果を簡潔にまとめ、系統的に整理して講義します。一部専門性の高い内容を含みますが、高校生物学を履修しなかった受講者にも理解できるよう基本から順に説明します。講義終了時に少なくとも一つの質問事項をあげることを念頭に置いて受講することを求めます。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は, この授業を履修することによって、遺伝子の多様な機能について理解することができます。このことは、生命が長い歴史の中で維持し、進化させてきた遺伝子という分子システム研究の現状を認識し、これらの産業への利用方法や生じうる問題について自ら考えるための基礎となるものです。さらに講義に積極的に参加することにより、科学的な思考の習慣を身につけることができます。 この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー1～5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 70%
授業中課題（ミニッツペーパー） 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間にミニッツペーパーにある設問について模範解答を示し解説します。
ミニッツペーパーに記入された受講生からの質問に答える形で復習を行います。

■教科書

【留意事項】教科書は指定しない。講義は配布資料に沿って行う。

■参考文献

[ISBN]9784807909766 『分子細胞生物学第8版』（H.Lodish他、東京化学同人：2019）
[ISBN]9784524226825 『エッセンシャル細胞生物学（原書第5版）』（中村桂子・松原謙一、南江堂：2021）
[ISBN]9780815345244 『Molecular Biology of THE CELL sixth ed』（BruceAlberts、Garland Science:2014）

■関連科目

生物学Ⅱ

■授業評価アンケート実施方法

生物理工学部実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・s-hirai@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

授業終了後

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　生命は細胞と遺伝子に宿る（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
遺伝子
遺伝情報
ゲノム
染色体
細胞

第2回　生殖と遺伝（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
無性生殖と有性生殖
体細胞と生殖細胞
メンデルの法則
遺伝性の疾患に見られる遺伝形式

第3回　細胞の運命（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
細胞分化と遺伝情報
幹細胞
ES細胞とiPS細胞

第4回　遺伝子操作Ⅰ（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
遺伝子操作とは　～クローン羊、青いバラ、iPS細胞
農業と遺伝子操作　～青いバラと遺伝子組換え食品

第5回　遺伝子操作Ⅱ（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
医療と遺伝子操作　～バイオ医薬品
遺伝子操作の規制　～カルタヘナ法など

第6回　遺伝子の複製（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
二重螺旋構造と半保存的複製
ヌクレオチド鎖の方向性と複製の方向性
プライマーとテロメア

第7回　遺伝子の発現（転写）（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
正しい転写を可能にする分子機構
転写効率の調節
真核生物におけるmRNAのプロセシング
エピジェネティックな遺伝子発現制御

第8回　遺伝子の発現（翻訳）（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
アミノアシル tRNAの合成
リボソーム＝タンパク質合成装置
翻訳の開始
ペプチド鎖の伸長
翻訳の終結

第9回　遺伝子の変異と修復（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
遺伝子変異の種類
遺伝子変異を生む様々な要因
修復の方法（構成、ミスマッチ修復、塩基除去修復、ヌクレオチド除去修復、非相同末端連結、相同組換え）

第10回　遺伝的多様性と疾患（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
遺伝情報の個人差
疾病の原因となる遺伝子の変異
遺伝する変異と遺伝しない変異

第11回　がんと遺伝子（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
癌腫、肉腫、白血病
がん遺伝子
がん抑制遺伝子
がんの遺伝

第12回　免疫と遺伝子（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
自然免疫と獲得免疫
液性免疫と細胞性免疫
アレルギー
AIDS

第13回　ウイルス（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。

復習時間：60分
様々な“菌”
ウイルスの構成成分
ウイルスの感染
ウイルスの増殖

第14回　心と遺伝子（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
脳を持つ生物
発生過程における脳形成
ヒトの脳

第15回　生命の進化と多様性（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
生物の種
系統分類
生命の起源と進化

定期試験

各講義項目にある内容について、選択式問題および記述式問題に対する回答を求める。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**生物学Ⅰ**						
英文名　：	Biology 1						
担当者　：	山手　丈至						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】火曜3限						

■授業概要

生物理工学部の各学科で学ぶ専門科目は、生物学の知識とその考え方の素養が必要となります。「生物学Ⅰ」と「生物学Ⅱ」では、高校の「生物」の基礎知識を総整理することに加え、「体の正常と異常（病）」の観点から「生命現象」を理解する力と、生態系を通じ地球環境の保全を考える力を身につけることを目的とします。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

以下を到達目標とする。
1）生命物質について理解し、生物におけるその分布、役割と基本的な機能を説明することができる。
2）細胞の基本構造とその機能について理解し、説明することができる。
3）酵素反応や呼吸などの各種の代謝について理解し、その反応過程を説明することができる。
4）遺伝情報がどのように伝えられるのかを理解し、その基本事項を説明することができる。
5）動物、特にほ乳類の体を構成している基本的な組織を理解し、その仕組みを説明することができる。
6）動物、特にほ乳類の各種器官とそれを構成している細胞の機能とその異常状態を理解し、説明することができる。
この科目の修得は、本学科の定めるディプロマ・ポリシー１の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 80%
授業中課題(ミニッツペーパー) 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

「生物学I」では、教科書の第１章～第６章までを講義します。不足する情報は必要に応じプリントを配布します。期末試験と授業中課題(ミニッツペーパー)により評価します。試験については、問題の要点と解説をGoogleClassroomに掲載します。また、授業中課題(ミニッツペーパー)については、授業中に解説します。

■教科書

[ISBN]9784785352318 『理工系のための 生物学(改訂版)』 (坂本 順司, 裳華房：2015)
適時プリントを配布

■参考文献

[ISBN]9784410118852 『新生物学』（数研出版：2020)
【留意事項】高校で生物を履修していない人は上記のような本で知識を補強しておくこと。その他、授業時に適宜紹介します。

■関連科目

生物学Ⅱへと続く。
生物理工学部各学科の専門科目全ての基礎となります。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・joji.yamate@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　オリエンテーション（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：教科書の前半第１章～第６章に目を通す。
復習時間：30分
授業概要と講義の進め方について説明する。

第2回　生命物質－１（第１章）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。
復習時間：30分
元素と化合物
糖質
脂質

第3回　生命物質－２（第１章）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。
復習時間：30分
タンパク質
核酸

第4回　細胞と細胞小器官－１（第２章）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。
復習時間：30分
生体膜
細胞小器官（単膜構造体）

第5回　細胞と細胞小器官－２（第２章）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。
復習時間：30分
細胞小器官（複膜構造体）
細胞骨格
細胞周期

第6回　体を構成する基本組織（第５章）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。
復習時間：30分
上皮細胞
結合組織
細胞運動

第7回　体を構成する器官－１（第５章）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。

復習時間：30分
神経系組織
骨組織

第8回　体を構成する器官－２（第５章）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。
復習時間：30分
感覚器系（眼球・耳）
運動系

第9回　体を構成する器官－３（第６章）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。
復習時間：30分
消化器系（消化管）
消化器系（肝臓・膵臓）

第10回　体を構成する器官－４（第６章）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。
復習時間：30分
循環器系
呼吸器系

第11回　体を構成する器官－５（第６章）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。
復習時間：30分
泌尿器系
生殖器系

第12回　代謝（第３章）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。
復習時間：30分
酵素
解糖と発酵
呼吸
光合成
生体エネルギー

第13回　遺伝（第４章）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。
復習時間：30分
染色体と遺伝子
複製転写翻訳

第14回　細胞の正常と異常（プリント配布）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。教科書やプリント等を用いて期末試験に備える。
復習時間：60分
細胞変性
細胞壊死

アポトーシス

第15回　生物学Iの総括（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。教科書やプリント等を用いて期末試験に備える。
復習時間：90分
教科書第１章～第６章を総括する。

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**生物学Ⅰ**						
英文名　：	Biology 1						
担当者　：	山手　丈至						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】火曜2限						

■授業概要

生物理工学部の各学科で学ぶ専門科目は、生物学の知識とその考え方の素養が必要となります。「生物学Ⅰ」と「生物学Ⅱ」では、高校の「生物」の基礎知識を総整理することに加え、「体の正常と異常（病）」の観点から「生命現象」を理解する力と、生態系を通じ地球環境の保全を考える力を身につけることを目的とします。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

以下を到達目標とする。
1）生命物質について理解し、生物におけるその分布、役割と基本的な機能を説明することができる。
2）細胞の基本構造とその機能について理解し、説明することができる。
3）酵素反応や呼吸などの各種の代謝について理解し、その反応過程を説明することができる。
4）遺伝情報がどのように伝えられるのかを理解し、その基本事項を説明することができる。
5）動物、特にほ乳類の体を構成している基本的な組織を理解し、その仕組みを説明することができる。
6）動物、特にほ乳類の各種器官とそれを構成している細胞の機能とその異常状態を理解し、説明することができる。
この科目の修得は、本学科の定めるディプロマ・ポリシー１の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 80%
授業中課題(ミニッツペーパー) 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

「生物学I」では、教科書の第１章～第６章までを講義します。不足する情報は必要に応じプリントを配布します。期末試験と授業中課題(ミニッツペーパー)により評価します。試験については、問題の要点と解説をGoogleClassroomに掲載します。また、授業中課題(ミニッツペーパー)については、授業中に解説します。

■教科書

[ISBN]9784785352318 『理工系のための 生物学(改訂版)』 (坂本 順司, 裳華房：2015)
適時プリントを配布

■参考文献

[ISBN]9784410118852 『新生物学』（数研出版：2020)
【留意事項】高校で生物を履修していない人は上記のような本で知識を補強しておくこと。その他、授業時に適宜紹介します。

■関連科目

生物学Ⅱへと続く。
生物理工学部各学科の専門科目全ての基礎となります。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・joji.yamate@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　オリエンテーション（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：教科書の前半第１章～第６章に目を通す。
復習時間：30分
授業概要と講義の進め方について説明する。

第2回　生命物質－１（第１章）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。
復習時間：30分
元素と化合物
糖質
脂質

第3回　生命物質－２（第１章）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。
復習時間：30分
タンパク質
核酸

第4回　細胞と細胞小器官－１（第２章）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。
復習時間：30分
生体膜
細胞小器官（単膜構造体）

第5回　細胞と細胞小器官－２（第２章）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。
復習時間：30分
細胞小器官（複膜構造体）
細胞骨格
細胞周期

第6回　体を構成する基本組織（第５章）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。
復習時間：30分
上皮細胞
結合組織
細胞運動

第7回　体を構成する器官－１（第５章）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。

復習時間：30分
神経系組織
骨組織

第8回　体を構成する器官－２（第５章）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。
復習時間：30分
感覚器系（眼球・耳）
運動系

第9回　体を構成する器官－３（第６章）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。
復習時間：30分
消化器系（消化管）
消化器系（肝臓・膵臓）

第10回　体を構成する器官－４（第６章）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。
復習時間：30分
循環器系
呼吸器系

第11回　体を構成する器官－５（第６章）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。
復習時間：30分
泌尿器系
生殖器系

第12回　代謝（第３章）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。
復習時間：30分
酵素
解糖と発酵
呼吸
光合成
生体エネルギー

第13回　遺伝（第４章）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。
復習時間：30分
染色体と遺伝子
複製転写翻訳

第14回　細胞の正常と異常（プリント配布）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。教科書やプリント等を用いて期末試験に備える。
復習時間：60分
細胞変性
細胞壊死

アポトーシス

第15回　生物学Iの総括（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。教科書やプリント等を用いて期末試験に備える。
復習時間：90分
教科書第１章～第６章を総括する。

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**生物学Ⅱ**						
英文名 ：	Biology 2						
担当者 ：	トクマコフ　アレクサンデル						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考 ：							

■授業概要

At present, the English language is used as a major means of communication in Life Sciences. The teaching course “Biology 2” will be delivered in English following "Introduction of Life Science"to further expand this knowledge. However, explanations will be provided from the basics so that the students who have not taken the introductionary course can follow. The present course covers major issues of cell biology, molecular biology, cell cycle regulation, reproductive and developmental biology, intracellular signal transduction and some others to provide a basis for further studies in the field of biology.

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

英語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

The major goal of this course is to inspire active learning of biology and to encourage participants to produce their own presentations on selected topics in English. By taking this subject, students will acquire basic knowledge about: 1) the origin and molecular basis of life; 2) cell chemistry and energy metabolism; 3) structure of cells and function of intracellular organelles; 4) cell communication and intracellular signaling; 5) cell cycle and carcinogenesis; 6) mechanisms of reproduction and development. Acquisition of this subject is related to achievement of the Diploma Policy 1-5 established by this department.

■成績評価方法および基準

Quiz and classwork 70%
Term-end presentation 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

The quiz will be given at the end of each lesson and explained at the beginning of the next lecture. The term-end presentation should be delivered orally and/or submitted electronically in the PowerPoint format.

■教科書

Distributed prints, etc., as needed.

■参考文献

[ISBN]9781464141263『Life: The Science of Biology』 (Sadava, David E. et al., W.H. Freeman & Co : 2012)
[ISBN]9780815345244『Molecular Biology of the Cell』 (Alberts, Bruce et al., Garland Science : 2014)
[ISBN]9781947172036『Concepts of Biology』 (Fowler Samantha et al., OpenStax, Rice University:2017)
Original research articles from scientific journals

■関連科目

Introduction to Life Science; 生物学Ⅰ、Ⅱ

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

トクマコフ研究室（2号館5階514）・tokmak@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

木曜日　2限　Make an appointment by email in advance.

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Orientation. Scientific revolution in Biology （授業形式：講義）

復習内容：Composing self-introduction in English.
復習時間：30分
Short descriptoion of the course. Emergency of modern biology, its origins and foundations.

第2回 The origin of life, cellular and non-cellular life, hierarchy of life （授業形式：講義）

予習内容：Organizing knowledge and formulating questions about the matters related to the lecture subject.
予習時間：30分
復習内容：Considering quiz answers and responding to take-home questions.
復習時間：30分
Universal features and continuity of life, the phylogenetic tree. The central dogma of molecular biology.

第3回 Chemical components of cells, cell metabolism （授業形式：講義）

予習内容：Organizing knowledge and formulating questions about the matters related to the lecture subject.
予習時間：30分
復習内容：Considering quiz answers and responding to take-home questions.
復習時間：30分
Cell chemistry, energy metabolism and biosynthesis. Role of mitochondria.

第4回 Basic structure and diversity of cells （授業形式：講義）

予習内容：Organizing knowledge and formulating questions about the matters related to the lecture subject.
予習時間：30分
復習内容：Considering quiz answers and responding to take-home questions.
復習時間：30分
Structure and function of different types of cells and intracellular organelles.

第5回 Cell membrane （授業形式：講義）

予習内容：Organizing knowledge and formulating questions about the matters related to the lecture subject.
予習時間：30分
復習内容：Considering quiz answers and responding to take-home questions.
復習時間：30分
Basic membrane composition and structure; molecular mechanisms of transmembrane transport.

第6回 Principles of cell communication （授業形式：講義）

予習内容：Organizing knowledge and formulating questions about the matters related to the lecture subject.
予習時間：30分
復習内容：Considering quiz answers and responding to take-home questions.
復習時間：30分
Mechanisms of the receptor-mediated response to extracellular signals.

第7回 Intracellular signal transduction （授業形式：講義）

予習内容：Organizing knowledge and formulating questions about the matters related to the lecture subject.
予習時間：30分
復習内容：Considering quiz answers and responding to take-home questions.
復習時間：30分
Multiple intracellular mediators and signaling pathways; role of protein kinases.

第8回 Cytoskeleton and molecular motors （授業形式：講義）

予習内容：Organizing knowledge and formulating questions about the matters related to the lecture subject.
予習時間：30分
復習内容：Considering quiz answers and responding to take-home questions.
復習時間：30分

Regulation and self-assembly of cytoskeletal filaments; function of molecular motors.

第9回 The cell cycle （授業形式：講義）

予習内容：Organizing knowledge and formulating questions about the matters related to the lecture subject.
予習時間：30分
復習内容：Considering quiz answers and responding to take-home questions.
復習時間：30分
Control of cell division and cell growth; mitotic and meiotic cell cycle.

第10回 Cancer （授業形式：講義）

予習内容：Organizing knowledge and formulating questions about the matters related to the lecture subject.
予習時間：30分
復習内容：Considering quiz answers and responding to take-home questions.
復習時間：30分
Molecular mechanisms of carcinogenesis; cancer treatment strategies.

第11回 Apoptosis （授業形式：講義）

予習内容：Organizing knowledge and formulating questions about the matters related to the lecture subject.
予習時間：30分
復習内容：Considering quiz answers and responding to take-home questions.
復習時間：30分
Events of the programmed cell death; extrinsic and intrinsic pathways.

第12回 Structure of chromatin and control of gene expression （授業形式：講義）

予習内容：Organizing knowledge and formulating questions about the matters related to the lecture subject.
予習時間：30分
復習内容：Considering quiz answers and responding to take-home questions.
復習時間：30分
Levels of DNA organization, transcriptional and post-transcriptional control, epigenetic modifications.

第13回 Protein synthesis, structure and function; arrangement of term-end presentations （授業形式：講義）

予習内容：Organizing knowledge and formulating questions about the matters related to the lecture subject.
予習時間：30分
復習内容：Preparing a term-end presentation. Considering quiz answers and responding to take-home questions.
復習時間：60分
The proteome, regulation of transcription and translation. Explanations about the term-end presentation.

第14回 Reproduction and heredity; gamete cells and fertilization （授業形式：講義）

予習内容：Organizing knowledge and formulating questions about the matters related to the lecture subject.
予習時間：30分
復習内容：Preparing a term-end presentation. Considering quiz answers and responding to take-home questions.
復習時間：60分
Production of eggs and sperm; signaling cascade of fertilization.

第15回 Cell differentiation and development of multicellular organisms （授業形式：講義）

予習内容：Organizing knowledge and formulating questions about the matters related to the lecture subject.
予習時間：30分
復習内容：Preparing a term-end presentation. Considering quiz answers and responding to take-home questions.
復習時間：60分
Differentiation of stem cells; development of specialized tissues and body formation.

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**生物学Ⅱ**						
英文名　：	Biology 2						
担当者　：	平井　秀一						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】月曜3限						

■授業概要

生物の構成単位である細胞の生理的な機能は、細胞内外のシグナル伝達により支えられており、このシグナル伝達は複雑かつ多様な細胞の構造に依存しています。本科目ではまずシグナル伝達というものの実体について講義した後、これを支える細胞の構造について講義します。さらに多様な細胞の生理機能について、病理的な視点を交えた講義を行います。一部専門性の高い内容を含みますが、高校生物学を履修しなかった受講者にも理解できるよう基本から順に説明します。講義終了時に少なくとも一つの質問事項をあげることを念頭に置いて受講することを求めます。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は, この授業を履修することによって、細胞の構造と機能に関する基本的な知識を習得することができます。これは細胞という生命システムの基礎研究や産業への利用における問題を認識し、その解決の方法について自ら考える際の基礎となるものです。さらに講義に積極的に参加することにより、科学的な思考の習慣を身につけることができます。 この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー1～5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 70%
ミニッツペーパー（設問への回答と質問事項記載） 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間にミニッツペーパーにある設問について模範解答を示し解説します。
ミニッツペーパーに記入された受講生からの質問に答える形で復習を行います。

■教科書

【留意事項】教科書は指定しない。講義は配布資料に沿って行う。

■参考文献

[ISBN]9784807909766 『分子細胞生物学第8版』（H.Lodish他、東京化学同人：2019）
[ISBN]9784524226825 『エッセンシャル細胞生物学（原書第5版）』（中村桂子・松原謙一、南江堂：2021）
[ISBN]9780815345244 『Molecular Biology of THE CELL sixth ed』（BruceAlberts、Garland Science:2014）

■関連科目

生物学Ⅰ

■授業評価アンケート実施方法

生物理工学部実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・s-hirai@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

授業終了後

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　シグナル伝達概論（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
物質の流れと情報の流れ
細胞外のシグナル伝達と細胞内シグナル伝達
受容体とリガンド

第2回　細胞内シグナル伝達経路（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
細胞内シグナル伝達を担う多様な分子
Gタンパク質共役型受容体
低分子量Gタンパク質

第3回　細胞の基本構造と多様性（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
原核細胞と真核細胞
細胞小器官の構造と機能
個体を形成する様々な細胞
幹細胞

第4回　細胞膜Ⅰ 膜の基本構造と透過性（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
生体膜の構成要素
膜輸送を支える構造体
受動的な膜輸送と能動的な膜輸送

第5回　細胞膜Ⅱ 膜の流れ（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
エキソサイトーシス
エンドサイトーシス
分解と再利用
ファゴサイトー

第6回　細胞骨格（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
マイクロフィラメント
微小管
中間径フィラメント

第7回　細胞接着と結合組織（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
器官、組織、細胞
上皮細胞に見る多様な細胞間接着構造
細胞-基質間接着を支える構造

第8回　イオンチャネルと膜電位（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
静止膜電位
脱分極と活動電位

第9回　カルシウムシグナルと筋収縮（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
カルシウムチャネル
カルシウム結合タンパク質
アクチン結合タンパク質と筋収縮制御

第10回　細胞増殖とその制御（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
細胞周期とサイクリン/CDK
細胞周期のチェックポイント
増殖因子による制御

第11回　細胞分化とその制御（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
幹細胞と前駆細胞
受精、卵割、胚葉分化
体軸形成、体節形成、器官形成

第12回　エネルギー代謝（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
細胞内でのエネルギー産生機構
クエン酸回路と電子伝達系
光合成

第13回　個体の中の環境維持（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
地球という生物における物質循環
ヒトの体内環境の維持
　pH、血糖値、血圧

第14回　遺伝情報を守るシステム（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
遺伝子DNAの維持管理
mRNAの維持管理
タンパク質の維持管理

第15回　まとめ（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
各講義項目に関する補足説明など

定期試験

各講義項目についての選択式問題と記述式問題に対する回答を求める。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**生物学Ⅱ**						
英文名　：	Biology 2						
担当者　：	平井　秀一						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】月曜4限						

■授業概要

生物の構成単位である細胞の生理的な機能は、細胞内外のシグナル伝達により支えられており、このシグナル伝達は複雑かつ多様な細胞の構造に依存しています。本科目ではまずシグナル伝達というものの実体について講義した後、これを支える細胞の構造について講義します。さらに多様な細胞の生理機能について、病理的な視点を交えた講義を行います。一部専門性の高い内容を含みますが、高校生物学を履修しなかった受講者にも理解できるよう基本から順に説明します。講義終了時に少なくとも一つの質問事項をあげることを念頭に置いて受講することを求めます。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は, この授業を履修することによって、細胞の構造と機能に関する基本的な知識を習得することができます。これは細胞という生命システムの基礎研究や産業への利用における問題を認識し、その解決の方法について自ら考える際の基礎となるものです。さらに講義に積極的に参加することにより、科学的な思考の習慣を身につけることができます。 この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー1～5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 70%
ミニッツペーパー（設問への回答と質問事項記載） 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間にミニッツペーパーにある設問について模範解答を示し解説します。
ミニッツペーパーに記入された受講生からの質問に答える形で復習を行います。

■教科書

【留意事項】教科書は指定しない。講義は配布資料に沿って行う。

■参考文献

[ISBN]9784807909766 『分子細胞生物学第8版』（H.Lodish他、東京化学同人：2019）
[ISBN]9784524226825 『エッセンシャル細胞生物学（原書第5版）』（中村桂子・松原謙一、南江堂：2021）
[ISBN]9780815345244 『Molecular Biology of THE CELL sixth ed』（BruceAlberts、Garland Science:2014）

■関連科目

生物学Ⅰ

■授業評価アンケート実施方法

生物理工学部実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・s-hirai@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

授業終了後

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　シグナル伝達概論（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
物質の流れと情報の流れ
細胞外のシグナル伝達と細胞内シグナル伝達
受容体とリガンド

第2回　細胞内シグナル伝達経路（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
細胞内シグナル伝達を担う多様な分子
Gタンパク質共役型受容体
低分子量Gタンパク質

第3回　細胞の基本構造と多様性（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
原核細胞と真核細胞
細胞小器官の構造と機能
個体を形成する様々な細胞
幹細胞

第4回　細胞膜Ⅰ 膜の基本構造と透過性（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
生体膜の構成要素
膜輸送を支える構造体
受動的な膜輸送と能動的な膜輸送

第5回　細胞膜Ⅱ 膜の流れ（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
エキソサイトーシス
エンドサイトーシス
分解と再利用
ファゴサイトー

第6回　細胞骨格（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
マイクロフィラメント
微小管
中間径フィラメント

第7回　細胞接着と結合組織（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
器官、組織、細胞
上皮細胞に見る多様な細胞間接着構造
細胞-基質間接着を支える構造

第8回　イオンチャネルと膜電位（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
静止膜電位
脱分極と活動電位

第9回　カルシウムシグナルと筋収縮（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
カルシウムチャネル
カルシウム結合タンパク質
アクチン結合タンパク質と筋収縮制御

第10回　細胞増殖とその制御（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
細胞周期とサイクリン/CDK
細胞周期のチェックポイント
増殖因子による制御

第11回　細胞分化とその制御（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
幹細胞と前駆細胞
受精、卵割、胚葉分化
体軸形成、体節形成、器官形成

第12回　エネルギー代謝（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
細胞内でのエネルギー産生機構
クエン酸回路と電子伝達系
光合成

第13回　個体の中の環境維持（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
地球という生物における物質循環
ヒトの体内環境の維持
　pH、血糖値、血圧

第14回　遺伝情報を守るシステム（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
遺伝子DNAの維持管理
mRNAの維持管理
タンパク質の維持管理

第15回　まとめ（授業形式：講義）

予習内容：講義タイトルに関連する事項について、自身の知識、疑問を整理しておく。
予習時間：30分
復習内容：ミニッツペーパーにある問に答え、講義内容に関する疑問点があればその詳細を記述する。
復習時間：60分
各講義項目に関する補足説明など

定期試験

各講義項目についての選択式問題と記述式問題に対する回答を求める。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**生物学Ⅱ**						
英文名 ：	Biology 2						
担当者 ：	山手　丈至						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】火曜3限						

■授業概要

生物理工学部の各学科で学ぶ専門科目は、生物学の知識とその考え方の素養が必要となります。「生物学Ⅰ」と「生物学Ⅱ」では、高校の「生物」の基礎知識を総整理することに加え、「体の正常と異常（病）」の観点から「生命現象」を理解する力と、生態系を通じ地球環境の保全を考える力を身につけることを目的とします。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

以下を到達目標とする。
1）ホメオスタシスの概念を理解し、その成り立ちを説明することができる。
2）恒常性に係る器官の役割とそれが破綻した際の異常を理解し、その機序を説明することができる。
3）生物の発生について理解し、その基本事項を説明することができる。
4）生物の進化と歴史について理解し、その基本事項を説明することができる。
5）ヒトの進化と遺伝について理解し、その基本事項を説明するこができる。
6）生物集団と生態系を理解し、環境汚染・破壊の観点でその変動要因を説明することができる。
この科目の修得は、本学科の定めるディプロマ・ポリシー１の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 80%
授業中課題(ミニッツペーパー) 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

「生物学II」では、「生物学I」で学習した教科書の第１章～第６章の内容を復習しつつ、第７章～第１２章について講義します。期末試験と授業中課題(ミニッツペーパー)により評価します。試験については、問題の要点と解説をGoogleClassroomに掲載します。また、授業中課題(ミニッツペーパー)については、授業中に解説します。

■教科書

[ISBN]9784785352318 『理工系のための 生物学(改訂版)』 (坂本 順司, 裳華房：2015)
適時プリントを配布

■参考文献

[ISBN]9784410118852 『新生物学』（数研出版：2020)
【留意事項】高校で生物を履修していない人は上記のような本で知識を補強しておくこと。その他、授業時に適宜紹介します。

■関連科目

生物学Ⅰ
生物理工学部各学科の専門科目全ての基礎となります。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・joji.yamate@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　オリエンテーション（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：教科書の後半第７章～第１２章に目を通す。
復習時間：30分
授業概要と講義の進め方について説明する。
生物学IIでは、生物学Iの理解をより深める講義をする。

第2回　内分泌系（第７章）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。
復習時間：30分
内分泌系組織と機能
生体内信号変換

第3回　神経系（第７章・第１１章）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。
復習時間：30分
神経細胞
末梢神経系の構造と機能
中枢神経系の構造と機能

第4回　循環器系（第６章・プリント）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。
復習時間：30分
血液と骨髄細胞
炎症
循環障害

第5回　免疫系－１（第７章）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。
復習時間：30分
免疫系組織
免疫細胞の役割

第6回　免疫系－２（第７章・プリント）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。
復習時間：30分
抗原抗体反応
免疫系の異常（自己免疫疾患）

第7回　肝臓（第６章・プリント）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。

復習時間：30分
肝臓の機能と組織
肝臓の機能障害

第8回　腎臓（第６章・プリント）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。
復習時間：30分
腎臓の機能と組織
腎臓の機能障害

第9回　発生（第８章）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。
復習時間：30分
胚の発生
幹細胞（万能細胞）
再生と創傷治癒

第10回　腫瘍（第２章・第８章）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。
復習時間：30分
細胞周期
腫瘍細胞の特徴
発がん機序

第11回　微生物（第９章・プリント）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。
復習時間：30分
微生物の種類
微生物と感染症

第12回　生物の進化と歴史（第９章）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。
復習時間：30分
生物の歴史
生物の進化
生物の分類

第13回　ヒトの進化と遺伝（第１０章）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。
復習時間：30分
ヒトの進化
ヒトゲノム
遺伝病

第14回　生物集団と生態学（第１２章・プリント）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。教科書やプリント等を用いて期末試験に備える。
復習時間：60分
地球と生物圏

環境破壊と疾病

第15回　総括（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。教科書やプリント等を用いて期末試験に備える。
復習時間：90分
教科書第７章～第１２章を総括する。

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**生物学Ⅱ**						
英文名　：	Biology 2						
担当者　：	山手　丈至						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】火曜2限						

■授業概要

生物理工学部の各学科で学ぶ専門科目は、生物学の知識とその考え方の素養が必要となります。「生物学Ⅰ」と「生物学Ⅱ」では、高校の「生物」の基礎知識を総整理することに加え、「体の正常と異常（病）」の観点から「生命現象」を理解する力と、生態系を通じ地球環境の保全を考える力を身につけることを目的とします。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

以下を到達目標とする。
１）ホメオスタシスの概念を理解し、その成り立ちを説明することができる。
２）恒常性に係る器官の役割とそれが破綻した際の異常を理解し、その機序を説明することができる。
３）生物の発生について理解し、その基本事項を説明することができる。
４）生物の進化と歴史について理解し、その基本事項を説明することができる。
５）ヒトの進化と遺伝について理解し、その基本事項を説明するこができる。
６）生物集団と生態系を理解し、環境汚染・破壊の観点でその変動要因を説明することができる。
この科目の修得は、本学科の定めるディプロマ・ポリシー１の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 80%
授業中課題(ミニッツペーパー) 20%

■試験・課題に対するフィードバック方法

「生物学II」では、「生物学I」で学習した教科書の第１章～第６章の内容を復習しつつ、第７章～第１２章について講義します。期末試験と授業中課題(ミニッツペーパー)により評価します。試験については、問題の要点と解説をGoogleClassroomに掲載します。また、授業中課題(ミニッツペーパー)については、授業中に解説します。

■教科書

[ISBN]9784785352318 『理工系のための 生物学(改訂版)』 (坂本 順司, 裳華房：2015)
適時プリントを配布

■参考文献

[ISBN]9784410118852 『新生物学』（数研出版：2020)
【留意事項】高校で生物を履修していない人は上記のような本で知識を補強しておくこと。その他、授業時に適宜紹介します。

■関連科目

生物学Ⅰ
生物理工学部各学科の専門科目全ての基礎となります。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・joji.yamate@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　オリエンテーション（授業形式：講義）

予習内容：なし
復習内容：教科書の後半第７章～第１２章に目を通す。
復習時間：30分
授業概要と講義の進め方について説明する。
生物学IIでは、生物学Iの理解をより深める講義をする。

第2回　内分泌系（第７章）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。
復習時間：30分
内分泌系組織と機能
生体内信号変換

第3回　神経系（第７章・第１１章）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。
復習時間：30分
神経細胞
末梢神経系の構造と機能
中枢神経系の構造と機能

第4回　循環器系（第６章・プリント）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。
復習時間：30分
血液と骨髄細胞
炎症
循環障害

第5回　免疫系－１（第７章）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。
復習時間：30分
免疫系組織
免疫細胞の役割

第6回　免疫系－２（第７章・プリント）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。
復習時間：30分
抗原抗体反応
免疫系の異常（自己免疫疾患）

第7回　肝臓（第６章・プリント）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。

復習時間：30分
肝臓の機能と組織
肝臓の機能障害

第8回　腎臓（第６章・プリント）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。
復習時間：30分
腎臓の機能と組織
腎臓の機能障害

第9回　発生（第８章）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。
復習時間：30分
胚の発生
幹細胞（万能細胞）
再生と創傷治癒

第10回　腫瘍（第２章・第８章）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。
復習時間：30分
細胞周期
腫瘍細胞の特徴
発がん機序

第11回　微生物（第９章・プリント）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。
復習時間：30分
微生物の種類
微生物と感染症

第12回　生物の進化と歴史（第９章）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。
復習時間：30分
生物の歴史
生物の進化
生物の分類

第13回　ヒトの進化と遺伝（第１０章）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。
復習時間：30分
ヒトの進化
ヒトゲノム
遺伝病

第14回　生物集団と生態学（第１２章・プリント）（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。教科書やプリント等を用いて期末試験に備える。
復習時間：60分
地球と生物圏

環境破壊と疾病

第15回　総括（授業形式：講義）

予習内容：教科書に目を通す。
予習時間：15分
復習内容：ノートの整理等を行う。教科書やプリント等を用いて期末試験に備える。
復習時間：90分
教科書第７章～第１２章を総括する。

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**生物情報学**						
英文名 ：	Biodata Science						
担当者 ：	大和　勝幸						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	3年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考 ：							

■授業概要

コンピュータとインターネットの発展・普及とともに、遺伝子・ゲノム・タンパク質構造・代謝といった生物学的情報が膨大な量の「デジタルデータ」として蓄積されてきた。そして絶え間ないイノベーションにより、その種類と量は増大し続けている。本講義では、生物から得られる多様なデジタルデータのうちヌクレオチド配列およびアミノ酸配列データを紹介し、その解析方法、背後にある生命現象のしくみ、生物学的意義について講述する。また、アプリケーションやWebサイトを用いてデータの収集・整理・解析を行う。

情報処理演習室で実施するが、パソコンを持参することが望ましい。

【重要】
本講義では、
(1) 遺伝子の構造および発現調節、タンパク質の構造、進化など分子生物学関連分野に対する十分な知識および理解、
(2) 海外のWebサイトを利用するための十分な英語読解力、
(3) コンピュータを操作するスキル（Web検索、ファイル操作、テキストおよび表の作成・編集、描画）
が必須である。そのため、初回の講義において受講希望者の関連学力およびスキルを評価し、本講義の受講に十分と認められた者のみ受講を許可する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

インターネット上で様々な解析を手軽に実施できるようになっている。しかしその手軽さにより、解析原理が見過ごされ、解析アプリケーションの誤用や解析結果の誤った解釈に至る場合がある。本講義では、生物工学の様々な局面で必要とされる基本的な解析を中心に解説し、その原理の十分な理解を目指す。なお、本科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー１および２の達成の基礎となるものである。

■成績評価方法および基準

各回の課題 50%
総合試験（オンラインで実施） 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■教科書

【留意事項】指定しない

■参考文献

本分野では、書籍よりもインターネットを用いた方がより新しく多様な情報にアクセスできる。そのため、参考文献は指定しない。

■関連科目

分子生物学Ⅰ、Ⅱ、および細胞生物学Ⅰ、Ⅱ

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行う。

■研究室・メールアドレス

大和研究室（東1号館5階520）・kyamato@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

土曜1～2限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　イントロダクション：バイオインフォマティクスと生物学的データベースの紹介（授業形式：講義）

予習内容：セントラルドグマ、遺伝子の構造、発現および機能、タンパク質の構造と機能、進化、英語全般
予習時間：60分
復習内容：自らデータベースにアクセスし、内容に触れる。
復習時間：60分
バイオインフォマティクスが扱う対象の定義および説明。

第2回　生物学的デジタルデータの取得（１）：NCBI Entrez の利用（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：生物学的データベースの種類、真核生物の遺伝子の構造、英語全般
予習時間：60分
復習内容：生物学的データベースを用いた遺伝子情報の取得
復習時間：60分
生物学的データベースを用いた情報検索および取得。

第3回　生物学的デジタルデータの取得（２）：NCBI Entrez の利用（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：生物学的データベースの種類、真核生物の遺伝子の構造、英語全般
予習時間：60分
復習内容：生物学的データベースを用いた遺伝子情報および文献情報の取得
復習時間：60分
生物学的データベースを用いた情報検索および配列情報の取得。

第4回　生物学的配列の操作：EMBOSS ツールの利用（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：生物学的データベースを用いた情報検索、真核生物の遺伝子の構造、英語全般
予習時間：60分
復習内容：生物学的データベースを用いた遺伝子配列情報の取得およびその加工および解析
復習時間：60分
生物学的データベースから取得した配列情報の加工と解析。

第5回　生物学的配列の類似性検索（１）：配列アライメントの数値化（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：配列データベースへのアクセスおよび情報取得方法、英語全般
予習時間：60分
復習内容：BLASTによる類似配列の取得および評価
復習時間：60分
塩基配列比較法の原理および関連ソフトウェアBLASTの利用。

第6回　生物学的配列の類似性検索（２）：アミノ酸置換行列および検索アルゴリズム（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：配列データベースへのアクセスおよび情報取得方法、英語全般
予習時間：60分
復習内容：BLASTによる類似配列の取得および評価
復習時間：60分
アミノ酸配列比較法の原理および関連ソフトウェアBLASTの利用。

第7回　生物学的配列の類似性検索（２）：アミノ酸置換行列および検索アルゴリズム（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：BLAST利用方法、英語全般
予習時間：60分
復習内容：BLASTによる類似配列の取得および評価
復習時間：60分
より高度なBLASTの利用。

第8回　生物学的配列の解析：配列アノテーション生物学的配列の類似性検索（４）：BLAST によるデータベース検索（授業形

式：演習を含む講義）

予習内容：これまでに使用した各種データベースおよびツールの利用法、クローニング法、塩基配列決定法、英語全般
予習時間：60分
復習内容：塩基配列へのアノテーション
復習時間：60分
塩基配列解析の基礎であるアノテーション（注釈付け）。

第9回　生物学的配列の類似性検索（５）：自動シーケンサにより得られた塩基配列データの解析（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：これまでに使用した各種データベースおよびツールの利用法、クローニング法、塩基配列決定法、英語全般
予習時間：60分
復習内容：塩基配列解析法
復習時間：60分
実験データとしての塩基配列の処理および解析。

第10回　分子系統樹の作成（１）：ClustalW による多重配列アライメントの作成（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：進化、配列アライメントの定量化、英語全般
予習時間：60分
復習内容：配列アライメント作成方法
復習時間：60分
多重配列アライメントに基づく分子系統樹の推定。

第11回　分子系統樹の作成（２）：Dendroscope による系統樹の描画（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：分子系統樹作成方法、英語全般
予習時間：60分
復習内容：分子系統樹推定方法
復習時間：60分
分子系統樹の作成および評価。

第12回　分子系統樹の作成（３）：系統樹の評価（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：配列アライメントと分子系統樹、英語全般
予習時間：60分
復習内容：分子系統樹の評価
復習時間：60分
分子系統樹が示すこと、およびその限界。

第13回　分子系統樹の作成（４）：EBI の利用および系統樹の加工（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：配列アライメントと分子系統樹、英語全般
予習時間：60分
復習内容：配列アライメントおよび分子系統樹の作成
復習時間：60分
分子系統樹推定に用いる配列データの選定。

第14回　統合データベースKEGGの利用（授業形式：演習を含む講義）

予習内容：遺伝子発現、表現型、英語全般
予習時間：60分
復習内容：配列データから関連する他の情報の抽出
復習時間：60分
配列データ以外の生物学的情報を含むデータベースの紹介。

第15回　総合演習（授業形式：演習）

予習内容：これまでに使用したデータベースおよび解析手法、英語全般
予習時間：60分
復習内容：各種データベースおよびツールへのアクセスおよび利用
復習時間：60分
インターネット上にあるリソースの利用。

定期試験

与えられたデータの解析およびレポート作成。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**生命科学概論**						
英文名　：	Introduction of Life Science						
担当者　：	加藤　博己						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

生命の多面的、総合的な探求を行い、生命科学全般についての導入的な内容を学修します。本講義では、特に生命の誕生から現在に至る生き物たちの歴史を紐解くとともに、現代社会が直面する様々な課題、すなわち絶滅危惧動物の保護管理や生態系の保全、人とウイルスの戦い、生殖補助医療の背景と課題、再生医療の展望、そして科学の発展により揺らぐ倫理観などについて学び、それにより生命科学がこれからの社会にどう役に立っていくのか、科学を享受する私たちはどのような姿勢を身に着けるべきかについて考えていきます。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は本授業を履修することで
1）生命の成り立ちと人類が直面する課題、特に生殖補助医療における取り組みと課題について再考し、
2）野生動物と人間活動の関わり合いを理解し、課題解決に向けた取り組みについて学び、
3）科学が人類に何をもたらし、私たちがこれからどのように貢献していくのかについての理解を深める。
この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー1の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

レポートを3回および期末試験を実施し、その合計点で成績を評価する。 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

期末試験の終了後、要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載する。

■教科書

各講義の前委に資料を配布する。

■参考文献

[ISBN]9784065038017 『京大発! フロンティア生命科学 (KS生命科学専門書)』 (講談社：2018)

■関連科目

生物学Ⅰ、Ⅱ

■授業評価アンケート実施方法

生物理工学部実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

先端技術総合研究所教員控室（2号館5階510）・kato@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

月曜日2限・金曜日1限
事前にメールにてアポイントを取ってください。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　生命とは何か　地球は巨大な実験室だ　(授業形式：講義)

予習内容：生物の定義と生物誕生の歴史について予習すること。
予習時間：30分
復習内容：生物と無生物の境界線を考察すること。
復習時間：30分

第2回　生物として独立できなかった小さなものたち　(授業形式：講義)

予習内容：ウイルス、原核生物、真核生物に関する基礎知識を予習すること。
予習時間：30分
復習内容：ミトコンドリアや葉緑体の出現過程に関する諸説の根拠を確認すること。
復習時間：30分

第3回　もう一つの生物　ミトコンドリア物語～母の力を生きるエネルギーに　(授業形式：講義)

予習内容：ミトコンドリアの構造と機能について基礎知識を予習すること。
予習時間：30分
復習内容：生物がミトコンドリアを獲得したことによる意義を考察すること。
復習時間：30分

第4回　人類の起源と進化－覆される定説－　(授業形式：講義)

予習内容：人類の起源について予習すること。
予習時間：30分
復習内容：ミトコンドリアイブやアダムYの示す意味を理解すること。
復習時間：30分

第5回　「細胞死」　One for all, all for one　(授業形式：講義)

予習内容：アポトーシスとネクローシスについて基礎的理解をすること。
予習時間：30分
復習内容：アポトーシスのしくみを理解し、なぜアポトーシスが重要なのか確認すること。
復習時間：30分

第6回　人類対ウイルス　終わりなき戦いを制するのはどちらか　(授業形式：講義)

予習内容：ウイルスの基本構造と生活環について基礎的理解をしておくこと。
予習時間：30分
復習内容：なぜ人類はウイルスを制することができないのか考察すること。
復習時間：30分

第7回　ヒトの性と生殖　卵子の道のり、精子の道のり（1）　(授業形式：講義)

予習内容：有性生殖と無性生殖について予習すること。
予習時間：30分
復習内容：体細胞分裂と減数分裂のしくみの違いを確認すること。
復習時間：30分

第8回　ヒトの性と生殖　卵子の道のり、精子の道のり（2）　(授業形式：講義)

予習内容：配偶子と生殖器官形成の構造について予習すること。
予習時間：30分
復習内容：配偶子形成と受精について理解すること。
復習時間：30分

第9回　生殖補助医療　いま日本で何が起きているのか（1）　(授業形式：講義)

予習内容：少子化の背景と少子化による社会的な課題について予習すること。
予習時間：30分
復習内容：高齢妊娠におけるリスクを理解すること。
復習時間：30分

第10回　生殖補助医療　いま日本で何が起きているのか（2）　(授業形式：講義)

予習内容：生殖補助医療の現状について予習すること。
予習時間：30分
復習内容：生殖補助医療を取りまく環境と課題について考察すること。
復習時間：30分

第11回　老化　時間にあがなうことはできるのか　(授業形式：講義)

予習内容：加齢卵子・加齢精子（卵子の老化、精子の老化）について予習すること。

予習時間：30分
復習内容：配偶子の老化を防ぐためにどのような手段があるのか確認すること。
復習時間：30分

第12回　野生動物の保護と環境の保全　Y染色体をもたない世にも奇妙なトゲネズミ　(授業形式：講義)

予習内容：日本国内の絶滅危惧動物について予習すること。
予習時間：30分
復習内容：希少動物の保全に向けた取り組みについて理解すること。
復習時間：30分

第13回　野生動物の再生に挑む　最新の科学は絶滅に瀕する動物たちを救えるか　(授業形式：講義)

予習内容：クローン技術やiPS細胞について予習すること。
予習時間：30分
復習内容：先端生命科学が環境保全に果たす役割について考察すること。
復習時間：30分

第14回　再生医療　我々のからだはどこまで作り変えられるのか　(授業形式：講義)

予習内容：iPS細胞の臨床応用に向けた取り組みについて予習すること。
予習時間：30分
復習内容：iPS細胞の臨床応用に向けた課題について確認すること。
復習時間：30分

第15回　生命倫理と研究倫理　今スタート地点に立つ君たちへ　(授業形式：講義)

予習内容：生命倫理・研究倫理に係る報道等の情報について調べておくこと。
予習時間：30分
復習内容：生命倫理・研究倫理に係る事例についてポイントを確認すること。
復習時間：30分

期末試験

レポート3回分と期末試験の合計点で成績を判定する。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	**生命科学概論**						
英文名 :	Introduction of Life Science						
担当者 :	トクマコフ　アレクサンデル						
開講学科 :	食品安全工学科						
単　位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	専門科目						
備　考 :							

■授業概要

The teaching course “Introduction of Life Science” will be delivered in English to summarize the basic knowledge of biology taught from junior high school to high school and further expand this information. Presently, the English language is used as a major means of communication in Life Sciences. Many of the top scientific publications and presentations in this field are delivered in English. This course is intended to introduce major concepts and vocabulary of the biological science, covering life origins, evolution, genetics, reproduction, cell biology and molecular biology, and thereby provide a solid basis for subsequent meticulous studies of various biological subjects.

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

英語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

The major goal of this course is to inspire active learning of major biological principles and to encourage participants to produce their own presentations on selected topics in English. By taking this subject, students will be able to acquire basic knowledge about: 1) origins, continuity and diversity of life; 2) function of genes and genome organization; 3) structure and function of proteins; 4) intracellular signaling and biochemical pathways; 5) mechanisms of reproduction and development; 6) principles of inheritance and mechanisms of evolution; 7) conservation of biodiversity and ecology. Acquisition of this subject is related to achievement of the Diploma Policy 1 established by this department.

■成績評価方法および基準

Quiz and classwork 70%
Term-end presentation 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

The quiz will be given at the end of each lesson and explained at the beginning of the next lecture. The term-end presentation should be delivered orally and/or submitted electronically in the PowerPoint format.

■教科書

Distributed prints, etc., as needed.

■参考文献

[ISBN]9781464141263『Life: The Science of Biology』（Sadava, David E. et al., W.H. Freeman & Co : 2012)
[ISBN]9780815345244『Molecular Biology of the Cell』（Alberts, Bruce et al., Garland Science : 2014)
[ISBN]9781947172036『Concepts of Biology』（Fowler Samantha et al., OpenStax, Rice University:2017)
Original research articles from scientific journals

■関連科目

Biology 2; 生物学Ⅰ、Ⅱ

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

トクマコフ研究室（2号館5階514）・tokmak@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

金曜日　5限　Make an appointment by email in advance.

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 Orientation. The nature of life sciences （授業形式：講義）

復習内容：Composing self-introduction in English.
復習時間：30分
Short description of the course. Definition, origin, methods and brief history of natural sciences.

第2回 Properties and levels of life organization （授業形式：講義）

予習内容：Organizing knowledge and formulating questions about the matters related to the lecture subject.
予習時間：30分
復習内容：Considering quiz answers and responding to take-home questions.
復習時間：30分
Hierarchy of life from chemical structures to global ecosystems; continuity and diversity of life.

第3回 Chemical basis of life （授業形式：講義）

予習内容：Organizing knowledge and formulating questions about the matters related to the lecture subject.
予習時間：30分
復習内容：Considering quiz answers and responding to take-home questions.
復習時間：30分
Chemical building blocks, macromolecules and origins of life.

第4回 Information processing in living systems （授業形式：講義）

予習内容：Organizing knowledge and formulating questions about the matters related to the lecture subject.
予習時間：30分
復習内容：Considering quiz answers and responding to take-home questions.
復習時間：30分
The central dogma of molecular biology; the genetic code.

第5回 Genes and genomes （授業形式：講義）

予習内容：Organizing knowledge and formulating questions about the matters related to the lecture subject.
予習時間：30分
復習内容：Considering quiz answers and responding to take-home questions.
復習時間：30分
Explanation of gene function and genome organization.

第6回 Proteins and proteomics （授業形式：講義）

予習内容：Organizing knowledge and formulating questions about the matters related to the lecture subject.
予習時間：30分
復習内容：Considering quiz answers and responding to take-home questions.
復習時間：30分
Protein expression, structure and function.

第7回 Cellular basis of life （授業形式：講義）

予習内容：Organizing knowledge and formulating questions about the matters related to the lecture subject.
予習時間：30分
復習内容：Considering quiz answers and responding to take-home questions.
復習時間：30分
Origin and function of cells and intracellular organelles; non-cellular life.

第8回 Cells and energy （授業形式：講義）

予習内容：Organizing knowledge and formulating questions about the matters related to the lecture subject.
予習時間：30分
復習内容：Considering quiz answers and responding to take-home questions.

復習時間：30分
Biochemical pathways of intracellular energy generation and flow.

第9回 Cell signaling and communication （授業形式：講義）

予習内容：Organizing knowledge and formulating questions about the matters related to the lecture subject.
予習時間：30分
復習内容：Considering quiz answers and responding to take-home questions.
復習時間：30分
Principles of intracellular and intercellular signal transduction.

第10回 Body's systems and homeostasis （授業形式：講義）

予習内容：Organizing knowledge and formulating questions about the matters related to the lecture subject.
予習時間：30分
復習内容：Considering quiz answers and responding to take-home questions.
復習時間：30分
Regulation of endocrine, nervous, immune, etc., systems.

第11回 Reproduction and development （授業形式：講義）

予習内容：Organizing knowledge and formulating questions about the matters related to the lecture subject.
予習時間：30分
復習内容：Considering quiz answers and responding to take-home questions.
復習時間：30分
Fertilization, meiotic and mitotic cycles, cell differentiation.

第12回 Inheritance and evolution （授業形式：講義）

予習内容：Organizing knowledge and formulating questions about the matters related to the lecture subject.
予習時間：30分
復習内容：Considering quiz answers and responding to take-home questions.
復習時間：30分
Laws of inheritance and mechanisms of evolution; the phylogenetic tree.

第13回 Biodiversity and ecology; arrangement of term-end presentations （授業形式：講義）

予習内容：Organizing knowledge and formulating questions about the matters related to the lecture subject.
予習時間：30分
復習内容：Preparing a term-end presentation. Considering quiz answers and responding to take-home questions.
復習時間：60分
Ecosystems, biosphere and conservation of biodiversity. Explanations about the term-end presentation.

第14回 Biotechnology （授業形式：講義）

予習内容：Organizing knowledge and formulating questions about the matters related to the lecture subject.
予習時間：30分
復習内容：Preparing a term-end presentation. Considering quiz answers and responding to take-home questions.
復習時間：60分
Main principles and applications of biotechnology in research, medicine and agriculture.

第15回 Bioinformatics: databases and tools （授業形式：講義）

予習内容：Organizing knowledge and formulating questions about the matters related to the lecture subject.
予習時間：30分
復習内容：Preparing a term-end presentation. Considering quiz answers and responding to take-home questions.
復習時間：60分
Analysis of big data related to biological and medical sciences.

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**専攻科目演習 I**						
英文名　：	Seminar for a Subject of Special Study 1						
担当者　：	芦田　久						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	3年次	開講期：	前期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品安全工学科では、3年生前期から卒業研究を行う研究室に配属される。専攻科目演習では、配属された研究室において課される卒業研究の課題を遂行するために、必要となる専門的知識や実験法について学ぶ。授業は研究室単位のゼミナール方式で行われる。
専攻科目演習 I では、研究を始めるにあたって知っておかなければならない研究室のルール、機器･器具･試薬の取り扱い、安全管理、実験計画の立て方、研究の進め方および、これらに付随する英語表現などについて学ぶ。なお、本授業は基本的に対面で行いますが、ICTの訓練の一環としてメディア授業も併用します。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・その他の言語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

研究室内の機器･器具を正しく操作できる。試薬を安全に取り扱える。研究室で用いられる専門用語、基礎的な実験法を理解する。本科目の修得は、食品安全工学科が定めるディプロマポリシー4の達成に関与する。

■成績評価方法および基準

授業中の発表 75%
受講生間の相互評価 25%

■試験・課題に対するフィードバック方法

演習科目であるため、発表の内容について授業時間内に逐次担当教員からフィードバックが行われます。

■教科書

使用しない

■参考文献

特になし

■関連科目

卒業研究

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

芦田研究室(東1号館5階515)・ashida@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜３限、水曜３限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

配属研究室の研究分野に関する幅広い知識を習得するための文献調査、書籍購読、基礎的な実験等を行う。また、その内容に関しセミナー形式での発表を行い、情報の収集能力、論理的思考力、プレゼンテーション能力の養成を行う。また、発表者と他の演習参加者および指導教官との活発なディスカッションにより、卒業研究に向けてその土台を形成する。
予習内容：生物工学に関する基礎知識および配属研究室の研究分野に関する幅広い文献調査とそのまとめ。プレゼンテーション資料の作成。
予習時間：450分
復習内容：演習内容の振り返りによる問題点の整理と次回発表すべきことの洗い出し。
復習時間：450分

第1回　研究生活を始める（1）卒業研究の概要　【授業形式】講義を含む演習

第2回　研究生活を始める（2）研究室の日常【授業形式】講義を含む演習

第3回　研究生活を始める（3）機器・器具・試薬の管理【授業形式】講義を含む演習

第4回　研究生活を始める（4）実験台のセットアップ【授業形式】講義を含む演習

第5回　研究生活を始める（5）安全管理【授業形式】講義を含む演習

第6回　実験法（1）目標の設定【授業形式】講義を含む演習

第7回　実験法（2）実験計画の立て方【授業形式】講義を含む演習

第8回　実験法（3）データの取り方、処理の仕方【授業形式】講義を含む演習

第9回　実験法（4）結果の解釈・考察【授業形式】講義を含む演習

第10回　実験法（5）研究発表のために【授業形式】講義を含む演習

第11回　実験ノートの作り方（1）形式【授業形式】講義を含む演習

第12回　実験ノートの作り方（2）内容【授業形式】講義を含む演習

第13回　実験ノートの作り方（3）記録の仕方【授業形式】講義を含む演習

第14回　実験ノートの作り方（4）管理【授業形式】講義を含む演習

第15回　実験ノートの作り方（5）倫理的問題【授業形式】講義を含む演習

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**専攻科目演習 I**						
英文名　：	Seminar for a Subject of Special Study 1						
担当者　：	東　慶直						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	3年次	開講期：	前期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品安全工学科では、3年生前期から卒業研究を行う研究室に配属される。専攻科目演習では、配属された研究室において課される卒業研究の課題を遂行するために、必要となる専門的知識や実験法について学ぶ。授業は研究室単位のゼミナール方式で行われる。
専攻科目演習 I では、研究を始めるにあたって知っておかなければならない研究室のルール、機器･器具･試薬の取り扱い、安全管理、実験計画の立て方、研究の進め方および、これらに付随する英語表現などについて学ぶ。なお、本授業は基本的に対面で行いますが、ICTの訓練の一環としてメディア授業も併用します。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・その他の言語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

研究室内の機器･器具を正しく操作できる。試薬を安全に取り扱える。研究室で用いられる専門用語、基礎的な実験法を理解する。本科目の修得は、食品安全工学科が定めるディプロマポリシー4の達成に関与する。

■成績評価方法および基準

授業中の発表 75%
受講生間の相互評価 25%

■試験・課題に対するフィードバック方法

演習科目であるため、発表の内容について授業時間内に逐次担当教員からフィードバックが行われます。

■教科書

【留意事項】配属された研究室の担当教員に問い合わせること

■参考文献

【留意事項】配属された研究室の担当教員に問い合わせること

■関連科目

配属した研究室により異なる

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

（代表・学科長）東研究室(東1号館4階409)・azuma@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

複数の教員が担当するため、ユニバーサルパスポートのオフィスアワー一覧を参照のこと。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

配属研究室の研究分野に関する幅広い知識を習得するための文献調査、書籍購読、基礎的な実験等を行う。また、その内容に関しセミナー形式での発表を行い、情報の収集能力、論理的思考力、プレゼンテーション能力の養成を行う。また、発表者と他の演習参加者および指導教官との活発なディスカッションにより、卒業研究に向けてその土台を形成する。
予習内容：生物工学に関する基礎知識および配属研究室の研究分野に関する幅広い文献調査とそのまとめ。プレゼンテーション資料の作成。
予習時間：450分
復習内容：演習内容の振り返りによる問題点の整理と次回発表すべきことの洗い出し。
復習時間：450分

第1回　研究生活を始める（1）卒業研究の概要（授業形式：演習を含む講義）

第2回　研究生活を始める（2）研究室の日常（授業形式：演習を含む講義）

第3回　研究生活を始める（3）機器・器具・試薬の管理（授業形式：演習を含む講義）

第4回　研究生活を始める（4）実験台のセットアップ（授業形式：演習を含む講義）

第5回　研究生活を始める（5）安全管理（授業形式：演習を含む講義）

第6回　実験法（1）目標の設定（授業形式：演習を含む講義）

第7回　実験法（2）実験計画の立て方（授業形式：演習を含む講義）

第8回　実験法（3）データの取り方、処理の仕方（授業形式：演習を含む講義）

第9回　実験法（4）結果の解釈・考察（授業形式：演習を含む講義）

第10回　実験法（5）研究発表のために（授業形式：演習を含む講義）

第11回　実験ノートの作り方（1）形式（授業形式：演習を含む講義）

第12回　実験ノートの作り方（2）内容（授業形式：演習を含む講義）

第13回　実験ノートの作り方（3）記録の仕方（授業形式：演習を含む講義）

第14回　実験ノートの作り方（4）管理（授業形式：演習を含む講義）

第15回　実験ノートの作り方（5）倫理的問題（授業形式：演習を含む講義）

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**専攻科目演習Ⅰ**						
英文名　：	Seminar for a Subject of Special Study 1						
担当者　：	泉　秀実・石丸　恵						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	3年次	開講期：	前期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品安全工学科では、3年生前期から卒業研究を行う研究室に配属される。専攻科目演習では、配属された研究室において課される卒業研究の課題を遂行するために、必要となる専門的知識や実験法について学ぶ。授業は研究室単位のゼミナール方式で行われる。
専攻科目演習Ⅰでは、研究を始めるにあたって知っておかなければならない研究室のルール、機器･器具･試薬の取り扱い、安全管理、実験計画の立て方、研究の進め方および、これらに付随する英語表現などについて学ぶ。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

研究室内の機器･器具を正しく操作できる。試薬を安全に取り扱える。研究室で用いられる専門用語、基礎的な実験法を理解する。本科目の修得は、食品安全工学科が定めるディプロマポリシー4の達成に関与する。

■成績評価方法および基準

自分自身の課題のプレゼンテーション 50%
他の発表者に対する質問やコメント 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

演習科目であるため、発表の内容について授業時間内に逐次担当教員からフィードバックが行われます。

■教科書

【留意事項】配属された研究室の担当教員に問い合わせること

■参考文献

【留意事項】配属された研究室の担当教員に問い合わせること

■関連科目

配属した研究室により異なる

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

（代表・学科長）東研究室(東1号館4階409)・azuma@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

複数の教員が担当するため、ユニバーサルパスポートのオフィスアワー一覧を参照のこと。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

配属研究室の研究分野に関する幅広い知識を習得するための文献調査、書籍購読、基礎的な実験等を行う。また、その内容に関

しセミナー形式での発表を行い、情報の収集能力、論理的思考力、プレゼンテーション能力の養成を行う。また、発表者と他の演習参加者および指導教官との活発なディスカッションにより、卒業研究に向けてその土台を形成する。
予習内容：生物工学に関する基礎知識および配属研究室の研究分野に関する幅広い文献調査とそのまとめ。プレゼンテーション資料の作成。
予習時間：450分
復習内容：演習内容の振り返りによる問題点の整理と次回発表すべきことの洗い出し。
復習時間：450分

第1回　研究生活を始める（1）卒業研究の概要（授業形式：演習）

第2回　研究生活を始める（2）研究室の日常（授業形式：演習）

第3回　研究生活を始める（3）機器・器具・試薬の管理（授業形式：演習）

第4回　研究生活を始める（4）実験台のセットアップ（授業形式：演習）

第5回　研究生活を始める（5）安全管理（授業形式：演習）

第6回　実験法（1）目標の設定（授業形式：演習）

第7回　実験法（2）実験計画の立て方（授業形式：演習）

第8回　実験法（3）データの取り方、処理の仕方（授業形式：演習）

第9回　実験法（4）結果の解釈・考察（授業形式：演習）

第10回　実験法（5）研究発表のために（授業形式：演習）

第11回　実験ノートの作り方（1）形式（授業形式：演習）

第12回　実験ノートの作り方（2）内容（授業形式：演習）

第13回　実験ノートの作り方（3）記録の仕方（授業形式：演習）

第14回　実験ノートの作り方（4）管理（授業形式：演習）

第15回　実験ノートの作り方（5）倫理的問題（授業形式：演習）

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**専攻科目演習 I**						
英文名　：	Seminar for a Subject of Special Study 1						
担当者　：	江口　陽子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	3年次	開講期：	前期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品安全工学科では、3年生前期から卒業研究を行う研究室に配属される。専攻科目演習では、配属された研究室において課される卒業研究の課題を遂行するために、必要となる専門的知識や実験法について学ぶ。授業は研究室単位のゼミナール方式で行われる。
専攻科目演習 I では、研究を始めるにあたって知っておかなければならない研究室のルール、機器･器具･試薬の取り扱い、安全管理、実験計画の立て方、研究の進め方および、これらに付随する英語表現などについて学ぶ。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

研究室内の機器･器具を正しく操作できる。試薬を安全に取り扱える。研究室で用いられる専門用語、基礎的な実験法を理解する。本科目の修得は、食品安全工学科が定めるディプロマポリシー4の達成に関与する。

■成績評価方法および基準

自分自身の課題のプレゼンテーション 50%
他の発表者に対する質問やコメント 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

演習科目であるため、発表の内容について授業時間内に逐次担当教員からフィードバックが行われます。

■教科書

特にありません。必要な資料は配布します。

■参考文献

特にありません。必要な資料は配布します。

■関連科目

食品衛生管理学、食品化学実験、食品生物学実験、生化学

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

江口研究室(東1号館4階417)・eguchi@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜日３限、水曜日３限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

研究分野に関する幅広い知識を習得するための文献調査、書籍購読、基礎的な実験等を行う。また、その内容に関しセミナー形

式での発表を行い、情報の収集能力、論理的思考力、プレゼンテーション能力の養成を行う。また、発表者と他の演習参加者および指導教官との活発なディスカッションにより、卒業研究に向けてその土台を形成する。
予習内容：研究分野の専門英語の読解および研究分野に関する幅広い文献調査とそのまとめ。基礎実験内容の予習。
予習時間：450分
復習内容：演習内容の振り返りによる問題点の整理と次回発表すべきことの洗い出し。
復習時間：450分

第1回　研究室の使い方　（授業形式：演習を含む講義）

第2回　培地の調製、器具の洗浄・滅菌　（授業形式：実験）

第3回　菌の培養、生菌数測定　（授業形式：実験）

第4回　菌の培養、増殖曲線　（授業形式：実験）

第5回　酵素活性測定　（授業形式：実験）

第6回　プラスミドの調製　（授業形式：実験）

第7回　形質転換　（授業形式：実験）

第8回　コロニー PCR　（授業形式：実験）

第9回　タンパク質の分離　（授業形式：実験）

第10回　タンパク質の定量　（授業形式：実験）

第11回　食品から細菌の分離１　（授業形式：実験）

第12回　食品から細菌の分離２　（授業形式：実験）

第13回　細菌の同定１　（授業形式：実験）

第14回　細菌の同定２　（授業形式：実験）

第15回　実験内容のまとめ、レポートの作成　（授業形式：演習を含む講義）

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**専攻科目演習 I**						
英文名　：	Seminar for a Subject of Special Study 1						
担当者　：	尾﨑　嘉彦						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	3年次	開講期：	前期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品安全工学科では、3年生前期から卒業研究を行う研究室に配属される。専攻科目演習では、配属された研究室において課される卒業研究の課題を遂行するために、必要となる専門的知識や実験法について学ぶ。授業は研究室単位のゼミナール方式で行われる。
専攻科目演習 I では、研究を始めるにあたって知っておかなければならない研究室のルール、機器･器具･試薬の取り扱い、安全管理、実験計画の立て方、研究の進め方および、これらに付随する英語表現などについて学ぶ。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

研究室内の機器･器具を正しく操作できる。試薬を安全に取り扱える。研究室で用いられる専門用語、基礎的な実験法を理解する。本科目の修得は、食品安全工学科が定めるディプロマポリシー2の達成に関与する。

■成績評価方法および基準

自分自身の課題のプレゼンテーション 50%
他の発表者に対する質問やコメント 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

演習科目であるため、発表の内容について授業時間内に逐次担当教員からフィードバックが行われます。

■教科書

【留意事項】随時資料を配付します。

■参考文献

安全要覧　実験者のための災害防止と応急処置（近畿大学生物理工学部）
【留意事項】その他、必要に応じて資料を配付します。

■関連科目

生体物質基礎、食品分析化学、食品材料学、食品機能学、機能性食品開発

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

尾﨑研究室　（西1号館1階153）・ozaki@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜・3限（その他随時、Slack又はメールでアポイントメントをお願いします）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

配属研究室の研究分野に関する幅広い知識を習得するための文献調査、書籍購読、基礎的な実験等を行う。また、その内容に関しセミナー形式での発表を行い、情報の収集能力、論理的思考力、プレゼンテーション能力の養成を行う。また、発表者と他の演習参加者および指導教官との活発なディスカッションにより、卒業研究に向けてその土台を形成する。(授業形式: 演習を含む講義)
予習内容：食品化学に関する基礎知識および配属研究室の研究分野に関する幅広い文献調査とそのまとめ。プレゼンテーション資料の作成。
予習時間：450分
復習内容：演習内容の振り返りによる問題点の整理と次回発表すべきことの洗い出し。
復習時間：450分

第1回 研究生活を始める（1）卒業研究の概要（授業形式: 演習を含む講義）

第2回 研究生活を始める（2）研究室の日常（授業形式: 演習を含む講義）

第3回 研究生活を始める（3）機器・器具・試薬の管理（授業形式: 演習を含む講義）

第4回 研究生活を始める（4）実験台のセットアップ（授業形式: 演習を含む講義）

第5回 研究生活を始める（5）安全管理（授業形式: 演習を含む講義）

第6回 実験法（1）目標の設定（授業形式: 演習）

第7回 実験法（2）実験計画の立て方（授業形式: 演習）

第8回 実験法（3）データの取り方、処理の仕方（授業形式: 演習）

第9回 実験法（4）結果の解釈・考察（授業形式: 演習）

第10回 実験法（5）研究発表のために（授業形式: 演習）

第11回 実験ノートの作り方（1）形式（授業形式: 演習）

第12回 実験ノートの作り方（2）内容（授業形式: 演習）

第13回 実験ノートの作り方（3）記録の仕方（授業形式: 演習）

第14回 実験ノートの作り方（4）管理（授業形式: 演習）

第15回 実験ノートの作り方（5）倫理的問題（授業形式: 演習を含む講義）

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**専攻科目演習 I**						
英文名　：	Seminar for a Subject of Special Study 1						
担当者　：	岸田　邦博						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	3年次	開講期：	前期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品安全工学科では、3年生前期から卒業研究を行う研究室に配属される。専攻科目演習では、配属された研究室において課される卒業研究の課題を遂行するために、必要となる専門的知識や実験法について学ぶ。授業は研究室単位のゼミナール方式で行われる。
専攻科目演習 I では、研究を始めるにあたって知っておかなければならない研究室のルール、機器･器具･試薬の取り扱い、安全管理、実験計画の立て方、研究の進め方および、これらに付随する英語表現などについて学ぶ。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

研究室内の機器･器具を正しく操作できる。試薬を安全に取り扱える。研究室で用いられる専門用語、基礎的な実験法を理解する。本科目の修得は、食品安全工学科が定めるディプロマポリシー2の達成に関与する。

■成績評価方法および基準

自分自身の課題のプレゼンテーション 50%
他の発表者に対する質問やコメント 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

演習科目であるため、発表の内容について授業時間内に逐次担当教員からフィードバックが行われます。

■教科書

必要に応じて配布

■参考文献

必要に応じて配布

■関連科目

配属した研究室により異なる

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

岸田研究室(1号館1階159)・kishida@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

水曜1限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

配属研究室の研究分野に関する幅広い知識を習得するための文献調査、書籍購読、基礎的な実験等を行う。また、その内容に関

しセミナー形式での発表を行い、情報の収集能力、論理的思考力、プレゼンテーション能力の養成を行う。また、発表者と他の演習参加者および指導教官との活発なディスカッションにより、卒業研究に向けてその土台を形成する。
予習内容：生物工学に関する基礎知識および配属研究室の研究分野に関する幅広い文献調査とそのまとめ。プレゼンテーション資料の作成。
予習時間：450分
復習内容：演習内容の振り返りによる問題点の整理と次回発表すべきことの洗い出し。
復習時間：450分

第1回　研究生活を始める（1）卒業研究の概要（授業形式：演習 ）

第2回　研究生活を始める（2）研究室の日常（授業形式：演習 ）

第3回　研究生活を始める（3）機器・器具・試薬の管理（授業形式：演習 ）

第4回　研究生活を始める（4）実験台のセットアップ（授業形式：演習 ）

第5回　研究生活を始める（5）安全管理（授業形式：演習 ）

第6回　実験法（1）目標の設定（授業形式：演習 ）

第7回　実験法（2）実験計画の立て方（授業形式：演習 ）

第8回　実験法（3）データの取り方、処理の仕方（授業形式：演習 ）

第9回　実験法（4）結果の解釈・考察（授業形式：演習 ）

第10回　実験法（5）研究発表のために（授業形式：演習 ）

第11回　実験ノートの作り方（1）形式（授業形式：演習 ）

第12回　実験ノートの作り方（2）内容（授業形式：演習 ）

第13回　実験ノートの作り方（3）記録の仕方（授業形式：演習 ）

第14回　実験ノートの作り方（4）管理（授業形式：演習 ）

第15回　実験ノートの作り方（5）倫理的問題（授業形式：演習 ）

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**専攻科目演習 I**						
英文名　：	Seminar for a Subject of Special Study 1						
担当者　：	栗原　新						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	3年次	開講期：	前期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品安全工学科では、3年生前期から卒業研究を行う研究室に配属される。専攻科目演習では、配属された研究室において課される卒業研究の課題を遂行するために、必要となる専門的知識や実験法について学ぶ。授業は研究室単位のゼミナール方式で行われる。
専攻科目演習 I では、研究を始めるにあたって知っておかなければならない研究室のルール、機器･器具･試薬の取り扱い、安全管理、実験計画の立て方、研究の進め方および、これらに付随する英語表現などについて学ぶ。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

研究室内の機器･器具を正しく操作できる。試薬を安全に取り扱える。研究室で用いられる専門用語、基礎的な実験法を理解する。本科目の修得は、食品安全工学科が定めるディプロマポリシー4の達成に関与する。

■成績評価方法および基準

自分自身の課題のプレゼンテーション 50%
他の発表者に対する質問やコメント 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

演習科目であるため、発表の内容について授業時間内に逐次担当教員からフィードバックが行われます。

■教科書

【留意事項】配属された研究室の担当教員に問い合わせること

■参考文献

【留意事項】配属された研究室の担当教員に問い合わせること

■関連科目

配属した研究室により異なる

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

専修科目の教員（栗原研究室：東1号館5階513）・skurihara@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

複数の教員が担当するため、ユニバーサルパスポートのオフィスアワー一覧を参照のこと。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

配属研究室の研究分野に関する幅広い知識を習得するための文献調査、書籍購読、基礎的な実験等を行う。また、その内容に関

しセミナー形式での発表を行い、情報の収集能力、論理的思考力、プレゼンテーション能力の養成を行う。また、発表者と他の演習参加者および指導教官との活発なディスカッションにより、卒業研究に向けてその土台を形成する。
予習内容：生物工学に関する基礎知識および配属研究室の研究分野に関する幅広い文献調査とそのまとめ。プレゼンテーション資料の作成。
予習時間：450分
復習内容：演習内容の振り返りによる問題点の整理と次回発表すべきことの洗い出し。
復習時間：450分

第1回　研究生活を始める（1）卒業研究の概要（授業形式：演習）

第2回　研究生活を始める（2）研究室の日常（授業形式：演習）

第3回　研究生活を始める（3）機器・器具・試薬の管理（授業形式：演習）

第4回　研究生活を始める（4）実験台のセットアップ（授業形式：演習）

第5回　研究生活を始める（5）安全管理（授業形式：演習）

第6回　実験法（1）目標の設定（授業形式：演習）

第7回　実験法（2）実験計画の立て方（授業形式：演習）

第8回　実験法（3）データの取り方、処理の仕方（授業形式：演習）

第9回　実験法（4）結果の解釈・考察（授業形式：演習）

第10回　実験法（5）研究発表のために（授業形式：演習）

第11回　実験ノートの作り方（1）形式（授業形式：演習）

第12回　実験ノートの作り方（2）内容（授業形式：演習）

第13回　実験ノートの作り方（3）記録の仕方（授業形式：演習）

第14回　実験ノートの作り方（4）管理（授業形式：演習）

第15回　実験ノートの作り方（5）倫理的問題（授業形式：演習）

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**専攻科目演習 I**						
英文名　：	Seminar for a Subject of Special Study 1						
担当者　：	白木　琢磨・松橋　珠子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	3年次	開講期：	前期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品安全工学科では、3年生前期から卒業研究を行う研究室に配属される。専攻科目演習では、配属された研究室において課される卒業研究の課題を遂行するために、必要となる専門的知識や実験法について学ぶ。授業は研究室単位のゼミナール方式で行われる。
専攻科目演習 I では、研究を始めるにあたって知っておかなければならない研究室のルール、機器･器具･試薬の取り扱い、安全管理、実験計画の立て方、研究の進め方および、これらに付随する英語表現などについて学ぶ。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

研究室内の機器･器具を正しく操作できる。試薬を安全に取り扱える。研究室で用いられる専門用語、基礎的な実験法を理解する。本科目の修得は、食品安全工学科が定めるディプロマポリシー4の達成に関与する。

■成績評価方法および基準

自分自身の課題のプレゼンテーション 50%
他の発表者に対する質問やコメント 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

演習科目であるため、発表の内容について授業時間内に逐次担当教員からフィードバックが行われます。

■教科書

【留意事項】配属された研究室の担当教員に問い合わせること

■参考文献

【留意事項】配属された研究室の担当教員に問い合わせること

■関連科目

配属した研究室により異なる

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

（代表・学科長）東研究室(東1号館4階409)・azuma@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

複数の教員が担当するため、ユニバーサルパスポートのオフィスアワー一覧を参照のこと。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

配属研究室の研究分野に関する幅広い知識を習得するための文献調査、書籍購読、基礎的な実験等を行う。また、その内容に関

しセミナー形式での発表を行い、情報の収集能力、論理的思考力、プレゼンテーション能力の養成を行う。また、発表者と他の演習参加者および指導教官との活発なディスカッションにより、卒業研究に向けてその土台を形成する。
予習内容：生物工学に関する基礎知識および配属研究室の研究分野に関する幅広い文献調査とそのまとめ。プレゼンテーション資料の作成。
予習時間：450分
復習内容：演習内容の振り返りによる問題点の整理と次回発表すべきことの洗い出し。
復習時間：450分

第1回　研究生活を始める（1）卒業研究の概要（授業形式：演習）

第2回　研究生活を始める（2）研究室の日常（授業形式：演習）

第3回　研究生活を始める（3）機器・器具・試薬の管理（授業形式：演習）

第4回　研究生活を始める（4）実験台のセットアップ（授業形式：演習）

第5回　研究生活を始める（5）安全管理（授業形式：演習）

第6回　実験法（1）目標の設定（授業形式：演習）

第7回　実験法（2）実験計画の立て方（授業形式：演習）

第8回　実験法（3）データの取り方、処理の仕方（授業形式：演習）

第9回　実験法（4）結果の解釈・考察（授業形式：演習）

第10回　実験法（5）研究発表のために（授業形式：演習）

第11回　実験ノートの作り方（1）形式（授業形式：演習）

第12回　実験ノートの作り方（2）内容（授業形式：演習）

第13回　実験ノートの作り方（3）記録の仕方（授業形式：演習）

第14回　実験ノートの作り方（4）管理（授業形式：演習）

第15回　実験ノートの作り方（5）倫理的問題（授業形式：演習）

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**専攻科目演習 I**						
英文名　：	Seminar for a Subject of Special Study 1						
担当者　：	武部　聡						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	3年次	開講期：	前期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品安全工学科では、3年生前期から卒業研究を行う研究室に配属される。専攻科目演習では、配属された研究室において課される卒業研究の課題を遂行するために、必要となる専門的知識や実験法について学ぶ。授業は研究室単位のゼミナール方式で行われる。
専攻科目演習 I では、研究を始めるにあたって知っておかなければならない研究室のルール、機器･器具･試薬の取り扱い、安全管理、実験計画の立て方、研究の進め方および、これらに付随する英語表現などについて学ぶ。なお、本授業は基本的に対面で行いますが、ICTの訓練の一環としてメディア授業も併用します。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・その他の言語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

研究室内の機器･器具を正しく操作できる。試薬を安全に取り扱える。研究室で用いられる専門用語、基礎的な実験法を理解する。本科目の修得は、食品安全工学科が定めるディプロマポリシー２の達成に関与する。

■成績評価方法および基準

授業中の発表 75%
受講生間の相互評価 25%

■試験・課題に対するフィードバック方法

演習科目であるため、発表の内容について授業時間内に逐次担当教員からフィードバックが行われます。

■教科書

【留意事項】配属された研究室の担当教員に問い合わせること

■参考文献

【留意事項】配属された研究室の担当教員に問い合わせること

■関連科目

配属した研究室により異なる

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

（代表・学科長）東研究室(東1号館4階409)・azuma@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

複数の教員が担当するため、ユニバーサルパスポートのオフィスアワー一覧を参照のこと。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

配属研究室の研究分野に関する幅広い知識を習得するための文献調査、書籍購読、基礎的な実験等を行う。また、その内容に関しセミナー形式での発表を行い、情報の収集能力、論理的思考力、プレゼンテーション能力の養成を行う。また、発表者と他の演習参加者および指導教官との活発なディスカッションにより、卒業研究に向けてその土台を形成する。
すべての回の授業形態は「演習」です。
予習内容：生物工学に関する基礎知識および配属研究室の研究分野に関する幅広い文献調査とそのまとめ。プレゼンテーション資料の作成。
予習時間：450分
復習内容：演習内容の振り返りによる問題点の整理と次回発表すべきことの洗い出し。
復習時間：450分

第1回　研究生活を始める（1）卒業研究の概要

第2回　研究生活を始める（2）研究室の日常

第3回　研究生活を始める（3）機器・器具・試薬の管理

第4回　研究生活を始める（4）実験台のセットアップ

第5回　研究生活を始める（5）安全管理

第6回　実験法（1）目標の設定

第7回　実験法（2）実験計画の立て方

第8回　実験法（3）データの取り方、処理の仕方

第9回　実験法（4）結果の解釈・考察

第10回　実験法（5）研究発表のために

第11回　実験ノートの作り方（1）形式

第12回　実験ノートの作り方（2）内容

第13回　実験ノートの作り方（3）記録の仕方

第14回　実験ノートの作り方（4）管理

第15回　実験ノートの作り方（5）倫理的問題

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**専攻科目演習Ⅱ**						
英文名　：	Seminar for a Subject of Special Study 2						
担当者　：	芦田　久						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	3年次	開講期：	後期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品安全工学科では、3年生前期に卒業研究を行う研究室の配属が決まる。専攻科目演習は、配属された研究室において課される卒業研究を遂行するために、必要となる専門的知識や実験法について学ぶ。授業は研究室単位のゼミナール方式で行われる。
専攻科目演習Ⅱでは、学会発表を想定したプレゼンテーションの準備、資料、発表原稿の作成法を学び、研究室のメンバーの前で発表する。
なお、本授業は基本的に対面で行いますが、ICTの訓練の一環としてメディア授業も併用します。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・その他の言語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

学会発表の形式で発表する方法を修得する。質問や意見に対し、適切な対応ができる。他の人の発表に質問する。
本科目の修得は、食品安全工学科が定めるディプロマポリシー4の達成に関与する。

■成績評価方法および基準

授業中の発表 75%
受講生間の相互評価 25%

■試験・課題に対するフィードバック方法

演習科目であるため、発表の内容について授業時間内に逐次担当教員からフィードバックが行われます。

■教科書

使用しない

■参考文献

特になし

■関連科目

卒業研究

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

芦田研究室(東1号館5階515)・ashida@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜３限、水曜３限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

配属研究室の研究分野に関する幅広い知識を習得するための文献調査、書籍購読、基礎的な実験等を行う。また、その内容に関

しセミナー形式での発表を行い、情報の収集能力、論理的思考力、プレゼンテーション能力の養成を行う。また、発表者と他の演習参加者および指導教官との活発なディスカッションにより、卒業研究に向けてその土台を形成する。
予習内容：食品安全工学に関する基礎知識および配属研究室の研究分野に関する幅広い文献調査とそのまとめ。プレゼンテーション資料の作成。
予習時間：450分
復習内容：演習内容の振り返りによる問題点の整理と次回発表すべきことの洗い出し。
復習時間：450分

第1回 プレゼンテーションの準備（1）盗用の禁止【授業形式】講義を含む演習

第2回 プレゼンテーションの準備（2）構成要素【授業形式】講義を含む演習

第3回 プレゼンテーションの準備（3）論理の組み立て【授業形式】講義を含む演習

第4回 プレゼンテーションの準備（4）演繹法【授業形式】講義を含む演習

第5回 プレゼンテーションの準備（5）帰納法【授業形式】講義を含む演習

第6回 プレゼンテーションの準備（6）ストーリーの設計【授業形式】講義を含む演習

第7回 プレゼンテーションの準備（7）チャートの構成【授業形式】講義を含む演習

第8回 資料の作成（1）表【授業形式】講義を含む演習

第9回 資料の作成（2）グラフ【授業形式】講義を含む演習

第10回 資料の作成（3）図・イラスト【授業形式】講義を含む演習

第11回 資料の作成（4）テキスト【授業形式】講義を含む演習

第12回 プレゼンテーションの実施（1）練習【授業形式】講義を含む演習

第13回 プレゼンテーションの実施（2）本番【授業形式】講義を含む演習

第14回 プレゼンテーションの実施（3）質疑応答【授業形式】講義を含む演習

第15回 プレゼンテーションの実施（4）討論【授業形式】講義を含む演習

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**専攻科目演習Ⅱ**						
英文名　：	Seminar for a Subject of Special Study 2						
担当者　：	東　慶直						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	3年次	開講期：	後期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品安全工学科では、3年生前期に卒業研究を行う研究室の配属が決まる。専攻科目演習は、配属された研究室において課される卒業研究を遂行するために、必要となる専門的知識や実験法について学ぶ。授業は研究室単位のゼミナール方式で行われる。
専攻科目演習Ⅱでは、学会発表を想定したプレゼンテーションの準備、資料、発表原稿の作成法を学び、研究室のメンバーの前で発表する。
なお、本授業は基本的に対面で行いますが、ICTの訓練の一環としてメディア授業も併用します。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・その他の言語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

学会発表の形式で発表する方法を修得する。質問や意見に対し、適切な対応ができる。他の人の発表に質問する。
本科目の修得は、食品安全工学科が定めるディプロマポリシー4の達成に関与する。

■成績評価方法および基準

授業中の発表 75%
受講生間の相互評価 25%

■試験・課題に対するフィードバック方法

演習科目であるため、発表の内容について授業時間内に逐次担当教員からフィードバックが行われます。

■教科書

【留意事項】配属された研究室の担当教員に問い合わせること。

■参考文献

【留意事項】配属された研究室の担当教員に問い合わせること。

■関連科目

配属した研究室により異なる。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

（代表・学科長）東研究室(東1号館4階409)・azuma@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

複数の教員が担当するため、ユニバーサルパスポートのオフィスアワー一覧を参照のこと。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

配属研究室の研究分野に関する幅広い知識を習得するための文献調査、書籍購読、基礎的な実験等を行う。また、その内容に関

しセミナー形式での発表を行い、情報の収集能力、論理的思考力、プレゼンテーション能力の養成を行う。また、発表者と他の演習参加者および指導教官との活発なディスカッションにより、卒業研究に向けてその土台を形成する。
予習内容：食品安全工学に関する基礎知識および配属研究室の研究分野に関する幅広い文献調査とそのまとめ。プレゼンテーション資料の作成。
予習時間：450分
復習内容：演習内容の振り返りによる問題点の整理と次回発表すべきことの洗い出し。
復習時間：450分

第1回 プレゼンテーションの準備（1）盗用の禁止（授業形式：演習を含む講義）

第2回 プレゼンテーションの準備（2）構成要素（授業形式：演習を含む講義）

第3回 プレゼンテーションの準備（3）論理の組み立て（授業形式：演習を含む講義）

第4回 プレゼンテーションの準備（4）演繹法（授業形式：演習を含む講義）

第5回 プレゼンテーションの準備（5）帰納法（授業形式：演習を含む講義）

第6回 プレゼンテーションの準備（6）ストーリーの設計（授業形式：演習を含む講義）

第7回 プレゼンテーションの準備（7）チャートの構成（授業形式：演習を含む講義）

第8回 資料の作成（1）表（授業形式：演習を含む講義）

第9回 資料の作成（2）グラフ（授業形式：演習を含む講義）

第10回 資料の作成（3）図・イラスト（授業形式：演習を含む講義）

第11回 資料の作成（4）テキスト（授業形式：演習を含む講義）

第12回 プレゼンテーションの実施（1）練習（授業形式：演習を含む講義）

第13回 プレゼンテーションの実施（2）本番（授業形式：演習を含む講義）

第14回 プレゼンテーションの実施（3）質疑応答（授業形式：演習を含む講義）

第15回 プレゼンテーションの実施（4）討論（授業形式：演習を含む講義）

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**専攻科目演習Ⅱ**						
英文名　：	Seminar for a Subject of Special Study 2						
担当者　：	泉　秀実・石丸　恵						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	3年次	開講期：	後期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品安全工学科では、3年生前期に卒業研究を行う研究室の配属が決まる。専攻科目演習は、配属された研究室において課される卒業研究を遂行するために、必要となる専門的知識や実験法について学ぶ。授業は研究室単位のゼミナール方式で行われる。
専攻科目演習Ⅱでは、学会発表を想定したプレゼンテーションの準備、資料、発表原稿の作成法を学び、研究室のメンバーの前で発表する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

学会発表の形式で発表する方法を修得する。質問や意見に対し、適切な対応ができる。他の人の発表に質問する。
本科目の修得は、食品安全工学科が定めるディプロマポリシー4の達成に関与する。

■成績評価方法および基準

自分自身の課題のプレゼンテーション 50%
他の発表者に対する質問やコメント 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

演習科目であるため、発表の内容について授業時間内に逐次担当教員からフィードバックが行われます。

■教科書

【留意事項】配属された研究室の担当教員に問い合わせること。

■参考文献

【留意事項】配属された研究室の担当教員に問い合わせること。

■関連科目

配属した研究室により異なる。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

泉研究室（西1号館4階453）・izumi@waka.kindai.ac.jp
石丸研究室（東1号館4階408）・ishimaru@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

月曜日2限と水曜日2限（泉）
月曜日3限（石丸）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

配属研究室の研究分野に関する幅広い知識を習得するための文献調査、書籍購読、基礎的な実験等を行う。また、その内容に関しセミナー形式での発表を行い、情報の収集能力、論理的思考力、プレゼンテーション能力の養成を行う。また、発表者と他の演習参加者および指導教官との活発なディスカッションにより、卒業研究に向けてその土台を形成する。
予習内容：食品安全工学に関する基礎知識および配属研究室の研究分野に関する幅広い文献調査とそのまとめ。プレゼンテーション資料の作成。
予習時間：450分
復習内容：演習内容の振り返りによる問題点の整理と次回発表すべきことの洗い出し。
復習時間：450分

第1回 プレゼンテーションの準備（1）盗用の禁止（授業形式：演習）

第2回 プレゼンテーションの準備（2）構成要素（授業形式：演習）

第3回 プレゼンテーションの準備（3）論理の組み立て（授業形式：演習）

第4回 プレゼンテーションの準備（4）演繹法（授業形式：演習）

第5回 プレゼンテーションの準備（5）帰納法（授業形式：演習）

第6回 プレゼンテーションの準備（6）ストーリーの設計（授業形式：演習）

第7回 プレゼンテーションの準備（7）チャートの構成（授業形式：演習）

第8回 資料の作成（1）表（授業形式：演習）

第9回 資料の作成（2）グラフ（授業形式：演習）

第10回 資料の作成（3）図・イラスト（授業形式：演習）

第11回 資料の作成（4）テキスト（授業形式：演習）

第12回 プレゼンテーションの実施（1）練習（授業形式：演習）

第13回 プレゼンテーションの実施（2）本番（授業形式：演習）

第14回 プレゼンテーションの実施（3）質疑応答（授業形式：演習）

第15回 プレゼンテーションの実施（4）討論（授業形式：演習）

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**専攻科目演習Ⅱ**						
英文名　：	Seminar for a Subject of Special Study 2						
担当者　：	江口　陽子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	3年次	開講期：	後期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品安全工学科では、3年生前期に卒業研究を行う研究室の配属が決まる。専攻科目演習は、配属された研究室において課される卒業研究を遂行するために、必要となる専門的知識や実験法について学ぶ。授業は研究室単位のゼミナール方式で行われる。
専攻科目演習Ⅱでは、学会発表を想定したプレゼンテーションの準備、資料、発表原稿の作成法を学び、研究室のメンバーの前で発表する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

学会発表の形式で発表する方法を修得する。質問や意見に対し、適切な対応ができる。他の人の発表に質問する。
本科目の修得は、食品安全工学科が定めるディプロマポリシー4の達成に関与する。

■成績評価方法および基準

自分自身の課題のプレゼンテーション 50%
他の発表者に対する質問やコメント 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

演習科目であるため、発表の内容について授業時間内に逐次担当教員からフィードバックが行われます。

■教科書

特にありません。必要な資料は配布します。

■参考文献

特にありません。必要な資料は配布します。

■関連科目

配属した研究室により異なる。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

江口研究室(東1号館4階417)・eguchi@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜日３限、水曜日３限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

食品衛生管理学研究室の研究テーマに関する幅広い知識を習得するための文献調査、書籍購読、基礎的な実験等を行う。また、その内容に関しセミナー形式での発表を行い、情報の収集能力、論理的思考力、プレゼンテーション能力の養成を行う。また、

発表者と他の演習参加者および指導教官との活発なディスカッションにより、卒業研究に向けてその土台を形成する。
予習内容：食品衛生管理学研究室の研究分野に関する幅広い文献調査とそのまとめ。プレゼンテーション資料の作成。
予習時間：450分
復習内容：演習内容の振り返りによる問題点の整理と次回発表すべきことの洗い出し。
復習時間：450分

第1回 プレゼンテーションの準備（1）盗用の禁止　（授業形式：演習）

第2回 プレゼンテーションの準備（2）構成要素　（授業形式：演習）

第3回 プレゼンテーションの準備（3）論理の組み立て　（授業形式：演習）

第4回 プレゼンテーションの準備（4）演繹法　（授業形式：演習）

第5回 プレゼンテーションの準備（5）帰納法　（授業形式：演習）

第6回 プレゼンテーションの準備（6）ストーリーの設計　（授業形式：演習）

第7回 プレゼンテーションの準備（7）チャートの構成　（授業形式：演習）

第8回 資料の作成（1）表　（授業形式：演習）

第9回 資料の作成（2）グラフ　（授業形式：演習）

第10回 資料の作成（3）図・イラスト　（授業形式：演習）

第11回 資料の作成（4）テキスト　（授業形式：演習）

第12回 プレゼンテーションの実施（1）練習　（授業形式：演習）

第13回 プレゼンテーションの実施（2）本番　（授業形式：演習）

第14回 プレゼンテーションの実施（3）質疑応答　（授業形式：演習）

第15回 プレゼンテーションの実施（4）討論　（授業形式：演習）

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**専攻科目演習Ⅱ**						
英文名　：	Seminar for a Subject of Special Study 2						
担当者　：	尾﨑　嘉彦						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	3年次	開講期：	後期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

専攻科目演習Ⅱでは、学会発表を想定したプレゼンテーションの準備、資料、発表原稿の作成法を学び、研究室のメンバーの前で発表する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

学会発表の形式で発表する方法を修得する。質問や意見に対し、適切な対応ができる。他の人の発表に質問する。
本科目の修得は、食品安全工学科が定めるディプロマポリシー2の達成に関与する。

■成績評価方法および基準

自分自身の課題のプレゼンテーション 50%
他の発表者に対する質問やコメント 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

演習科目であるため、発表の内容について授業時間内に逐次担当教員からフィードバックが行われます。

■教科書

【留意事項】随時資料を配付します。

■参考文献

【留意事項】研究内容に応じて個別に指定します。

■関連科目

生体物質基礎、食品材料学、食品化学実験、食品分析化学、食品機能学、機能性食品開発

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

（担当教員）尾﨑研究室　（西1号館1階153）・ozaki@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜・3限（その他随時、Slack又はメールでアポイントメントをお願いします）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

配属研究室の研究分野に関する幅広い知識を習得するための文献調査、書籍購読、基礎的な実験等を行う。また、その内容に関しセミナー形式での発表を行い、情報の収集能力、論理的思考力、プレゼンテーション能力の養成を行う。また、発表者と他の演習参加者および指導教官との活発なディスカッションにより、卒業研究に向けてその土台を形成する。
予習内容：食品成分の化学とその利用技術に関する基礎知識および配属研究室の研究分野に関する幅広い文献調査とそのまと

め。プレゼンテーション資料の作成。
予習時間：450分
復習内容：演習内容の振り返りによる問題点の整理と次回発表すべきことの洗い出し。
復習時間：450分

第1回 プレゼンテーションの準備（1）盗用の禁止（授業形式: 演習）

第2回 プレゼンテーションの準備（2）構成要素（授業形式: 演習）

第3回 プレゼンテーションの準備（3）論理の組み立て（授業形式: 演習）

第4回 プレゼンテーションの準備（4）演繹法（授業形式: 演習）

第5回 プレゼンテーションの準備（5）帰納法（授業形式: 演習）

第6回 プレゼンテーションの準備（6）ストーリーの設計（授業形式: 演習）

第7回 プレゼンテーションの準備（7）チャートの構成（授業形式: 演習）

第8回 資料の作成（1）表（授業形式: 演習）

第9回 資料の作成（2）グラフ（授業形式: 演習）

第10回 資料の作成（3）図・イラスト（授業形式: 演習）

第11回 資料の作成（4）テキスト（授業形式: 演習）

第12回 プレゼンテーションの実施（1）練習（授業形式: 演習）

第13回 プレゼンテーションの実施（2）本番（授業形式: 演習）

第14回 プレゼンテーションの実施（3）質疑応答（授業形式: 演習）

第15回 プレゼンテーションの実施（4）討論（授業形式: 演習）

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**専攻科目演習Ⅱ**						
英文名　：	Seminar for a Subject of Special Study 2						
担当者　：	岸田　邦博						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	3年次	開講期：	後期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品安全工学科では、3年生前期に卒業研究を行う研究室の配属が決まる。専攻科目演習は、配属された研究室において課される卒業研究を遂行するために、必要となる専門的知識や実験法について学ぶ。授業は研究室単位のゼミナール方式で行われる。
専攻科目演習Ⅱでは、学会発表を想定したプレゼンテーションの準備、資料、発表原稿の作成法を学び、研究室のメンバーの前で発表する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

学会発表の形式で発表する方法を修得する。質問や意見に対し、適切な対応ができる。他の人の発表に質問する。
本科目の修得は、食品安全工学科が定めるディプロマポリシー2の達成に関与する。

■成績評価方法および基準

自分自身の課題のプレゼンテーション 50%
他の発表者に対する質問やコメント 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

演習科目であるため、発表の内容について授業時間内に逐次担当教員からフィードバックが行われます。

■教科書

必要に応じて配布

■参考文献

必要に応じて配布

■関連科目

配属した研究室により異なる。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

岸田研究室(1号館1階159)・kishida@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

水曜1限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

配属研究室の研究分野に関する幅広い知識を習得するための文献調査、書籍購読、基礎的な実験等を行う。また、その内容に関しセミナー形式での発表を行い、情報の収集能力、論理的思考力、プレゼンテーション能力の養成を行う。また、発表者と他の

演習参加者および指導教官との活発なディスカッションにより、卒業研究に向けてその土台を形成する。
予習内容：食品安全工学に関する基礎知識および配属研究室の研究分野に関する幅広い文献調査とそのまとめ。プレゼンテーション資料の作成。
予習時間：450分
復習内容：演習内容の振り返りによる問題点の整理と次回発表すべきことの洗い出し。
復習時間：450分

第1回 プレゼンテーションの準備（1）盗用の禁止（授業形式：演習 ）

第2回 プレゼンテーションの準備（2）構成要素（授業形式：演習 ）

第3回 プレゼンテーションの準備（3）論理の組み立て（授業形式：演習 ）

第4回 プレゼンテーションの準備（4）演繹法（授業形式：演習 ）

第5回 プレゼンテーションの準備（5）帰納法（授業形式：演習 ）

第6回 プレゼンテーションの準備（6）ストーリーの設計（授業形式：演習 ）

第7回 プレゼンテーションの準備（7）チャートの構成（授業形式：演習 ）

第8回 資料の作成（1）表（授業形式：演習 ）

第9回 資料の作成（2）グラフ（授業形式：演習 ）

第10回 資料の作成（3）図・イラスト（授業形式：演習 ）

第11回 資料の作成（4）テキスト（授業形式：演習 ）

第12回 プレゼンテーションの実施（1）練習（授業形式：演習 ）

第13回 プレゼンテーションの実施（2）本番（授業形式：演習 ）

第14回 プレゼンテーションの実施（3）質疑応答（授業形式：演習 ）

第15回 プレゼンテーションの実施（4）討論（授業形式：演習 ）

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**専攻科目演習Ⅱ**						
英文名　：	Seminar for a Subject of Special Study 2						
担当者　：	栗原　新						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	3年次	開講期：	後期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品安全工学科では、3年生前期に卒業研究を行う研究室の配属が決まる。専攻科目演習は、配属された研究室において課される卒業研究を遂行するために、必要となる専門的知識や実験法について学ぶ。授業は研究室単位のゼミナール方式で行われる。
専攻科目演習Ⅱでは、学会発表を想定したプレゼンテーションの準備、資料、発表原稿の作成法を学び、研究室のメンバーの前で発表する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

学会発表の形式で発表する方法を修得する。質問や意見に対し、適切な対応ができる。他の人の発表に質問する。
本科目の修得は、食品安全工学科が定めるディプロマポリシー4の達成に関与する。

■成績評価方法および基準

自分自身の課題のプレゼンテーション 50%
他の発表者に対する質問やコメント 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

演習科目であるため、発表の内容について授業時間内に逐次担当教員からフィードバックが行われます。

■教科書

【留意事項】配属された研究室の担当教員に問い合わせること。

■参考文献

【留意事項】配属された研究室の担当教員に問い合わせること。

■関連科目

配属した研究室により異なる。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

専修科目の教員（栗原研究室：東1号館5階513）・skurihara@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

複数の教員が担当するため、ユニバーサルパスポートのオフィスアワー一覧を参照のこと。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

配属研究室の研究分野に関する幅広い知識を習得するための文献調査、書籍購読、基礎的な実験等を行う。また、その内容に関しセミナー形式での発表を行い、情報の収集能力、論理的思考力、プレゼンテーション能力の養成を行う。また、発表者と他の

演習参加者および指導教官との活発なディスカッションにより、卒業研究に向けてその土台を形成する。
予習内容：食品安全工学に関する基礎知識および配属研究室の研究分野に関する幅広い文献調査とそのまとめ。プレゼンテーション資料の作成。
予習時間：450分
復習内容：演習内容の振り返りによる問題点の整理と次回発表すべきことの洗い出し。
復習時間：450分

第1回 プレゼンテーションの準備（1）盗用の禁止（授業形式：演習）

第2回 プレゼンテーションの準備（2）構成要素（授業形式：演習）

第3回 プレゼンテーションの準備（3）論理の組み立て（授業形式：演習）

第4回 プレゼンテーションの準備（4）演繹法（授業形式：演習）

第5回 プレゼンテーションの準備（5）帰納法（授業形式：演習）

第6回 プレゼンテーションの準備（6）ストーリーの設計（授業形式：演習）

第7回 プレゼンテーションの準備（7）チャートの構成（授業形式：演習）

第8回 資料の作成（1）表（授業形式：演習）

第9回 資料の作成（2）グラフ（授業形式：演習）

第10回 資料の作成（3）図・イラスト（授業形式：演習）

第11回 資料の作成（4）テキスト（授業形式：演習）

第12回 プレゼンテーションの実施（1）練習（授業形式：演習）

第13回 プレゼンテーションの実施（2）本番（授業形式：演習）

第14回 プレゼンテーションの実施（3）質疑応答（授業形式：演習）

第15回 プレゼンテーションの実施（4）討論（授業形式：演習）

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**専攻科目演習Ⅱ**						
英文名　：	Seminar for a Subject of Special Study 2						
担当者　：	白木　琢磨・松橋　珠子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	3年次	開講期：	後期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品安全工学科では、3年生前期に卒業研究を行う研究室の配属が決まる。専攻科目演習は、配属された研究室において課される卒業研究を遂行するために、必要となる専門的知識や実験法について学ぶ。授業は研究室単位のゼミナール方式で行われる。
専攻科目演習Ⅱでは、学会発表を想定したプレゼンテーションの準備、資料、発表原稿の作成法を学び、研究室のメンバーの前で発表する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

学会発表の形式で発表する方法を修得する。質問や意見に対し、適切な対応ができる。他の人の発表に質問する。
本科目の修得は、食品安全工学科が定めるディプロマポリシー4の達成に関与する。

■成績評価方法および基準

自分自身の課題のプレゼンテーション 50%
他の発表者に対する質問やコメント 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

演習科目であるため、発表の内容について授業時間内に逐次担当教員からフィードバックが行われます。

■教科書

【留意事項】配属された研究室の担当教員に問い合わせること。

■参考文献

【留意事項】配属された研究室の担当教員に問い合わせること。

■関連科目

配属した研究室により異なる。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

（代表・学科長）東研究室(東1号館4階409)・azuma@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

複数の教員が担当するため、ユニバーサルパスポートのオフィスアワー一覧を参照のこと。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

配属研究室の研究分野に関する幅広い知識を習得するための文献調査、書籍購読、基礎的な実験等を行う。また、その内容に関しセミナー形式での発表を行い、情報の収集能力、論理的思考力、プレゼンテーション能力の養成を行う。また、発表者と他の

演習参加者および指導教官との活発なディスカッションにより、卒業研究に向けてその土台を形成する。
予習内容：食品安全工学に関する基礎知識および配属研究室の研究分野に関する幅広い文献調査とそのまとめ。プレゼンテーション資料の作成。
予習時間：450分
復習内容：演習内容の振り返りによる問題点の整理と次回発表すべきことの洗い出し。
復習時間：450分

第1回 プレゼンテーションの準備（1）盗用の禁止（授業形式：演習）

第2回 プレゼンテーションの準備（2）構成要素（授業形式：演習）

第3回 プレゼンテーションの準備（3）論理の組み立て（授業形式：演習）

第4回 プレゼンテーションの準備（4）演繹法（授業形式：演習）

第5回 プレゼンテーションの準備（5）帰納法（授業形式：演習）

第6回 プレゼンテーションの準備（6）ストーリーの設計（授業形式：演習）

第7回 プレゼンテーションの準備（7）チャートの構成（授業形式：演習）

第8回 資料の作成（1）表（授業形式：演習）

第9回 資料の作成（2）グラフ（授業形式：演習）

第10回 資料の作成（3）図・イラスト（授業形式：演習）

第11回 資料の作成（4）テキスト（授業形式：演習）

第12回 プレゼンテーションの実施（1）練習（授業形式：演習）

第13回 プレゼンテーションの実施（2）本番（授業形式：演習）

第14回 プレゼンテーションの実施（3）質疑応答（授業形式：演習）

第15回 プレゼンテーションの実施（4）討論（授業形式：演習）

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**専攻科目演習Ⅱ**						
英文名　：	Seminar for a Subject of Special Study 2						
担当者　：	武部　聡						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	3年次	開講期：	後期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品安全工学科では、3年生前期に卒業研究を行う研究室の配属が決まる。専攻科目演習は、配属された研究室において課される卒業研究を遂行するために、必要となる専門的知識や実験法について学ぶ。授業は研究室単位のゼミナール方式で行われる。
専攻科目演習Ⅱでは、学会発表を想定したプレゼンテーションの準備、資料、発表原稿の作成法を学び、研究室のメンバーの前で発表する。
なお、本授業は基本的に対面で行いますが、ICTの訓練の一環としてメディア授業も併用します。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・その他の言語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

学会発表の形式で発表する方法を修得する。質問や意見に対し、適切な対応ができる。他の人の発表に質問する。
本科目の修得は、食品安全工学科が定めるディプロマポリシー２の達成に関与する。

■成績評価方法および基準

授業中の発表 75%
受講生間の相互評価 25%

■試験・課題に対するフィードバック方法

演習科目であるため、発表の内容について授業時間内に逐次担当教員からフィードバックが行われます。

■教科書

【留意事項】配属された研究室の担当教員に問い合わせること。

■参考文献

【留意事項】配属された研究室の担当教員に問い合わせること。

■関連科目

配属した研究室により異なる。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

（代表・学科長）東研究室(東1号館4階409)・azuma@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

複数の教員が担当するため、ユニバーサルパスポートのオフィスアワー一覧を参照のこと。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

配属研究室の研究分野に関する幅広い知識を習得するための文献調査、書籍購読、基礎的な実験等を行う。また、その内容に関

しセミナー形式での発表を行い、情報の収集能力、論理的思考力、プレゼンテーション能力の養成を行う。また、発表者と他の演習参加者および指導教官との活発なディスカッションにより、卒業研究に向けてその土台を形成する。
すべての回の授業形態は「演習」です。
予習内容：食品安全工学に関する基礎知識および配属研究室の研究分野に関する幅広い文献調査とそのまとめ。プレゼンテーション資料の作成。
予習時間：450分
復習内容：演習内容の振り返りによる問題点の整理と次回発表すべきことの洗い出し。
復習時間：450分

第1回 プレゼンテーションの準備（1）盗用の禁止

第2回 プレゼンテーションの準備（2）構成要素

第3回 プレゼンテーションの準備（3）論理の組み立て

第4回 プレゼンテーションの準備（4）演繹法

第5回 プレゼンテーションの準備（5）帰納法

第6回 プレゼンテーションの準備（6）ストーリーの設計

第7回 プレゼンテーションの準備（7）チャートの構成

第8回 資料の作成（1）表

第9回 資料の作成（2）グラフ

第10回 資料の作成（3）図・イラスト

第11回 資料の作成（4）テキスト

第12回 プレゼンテーションの実施（1）練習

第13回 プレゼンテーションの実施（2）本番

第14回 プレゼンテーションの実施（3）質疑応答

第15回 プレゼンテーションの実施（4）討論

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**専攻科目演習Ⅲ**						
英文名　：	Seminar for a Subject of Special Study 3						
担当者　：	芦田　久						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	4年次	開講期：	前期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品安全工学科では、3年生前期に卒業研究を行う研究室の配属が決まる。専攻科目演習は、配属された研究室において課される卒業研究を遂行するために、必要となる専門的知識や実験法について学ぶ。授業は研究室単位のゼミナール方式で行われる。
専攻科目演習Ⅲでは、食の安全・機能性に関する研究や実務など、いずれの領域においても情報の収集と理解、成果の公表、オーラルコミュニケーションの場で必要とされる英語表現能力について学ぶ。英文の正確な理解力と共に、簡潔で正確な英文の作成能力を身に付ける。英語の専門書を読むことにより、英語特有の表現や論理の展開法を学ぶとともに、実際に英語科学論文を書く作業を行うことにより、英文法と英作文の能力を磨く。なお、本授業は基本的に対面で行いますが、ICTの訓練の一環としてメディア授業も併用します。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

専門領域で使われる英語単語の意味を正しく理解する。科学論文中の英語表現に数多く触れることにより、科学英語特有の言い回しや表現に慣れる。日本語とは異なる文章の組み立てを理解する。
これまで培ってきた英語力を用い、英語で文章を作成する。主に、食に関する科学英語の表現法に慣れる。英語の学術誌等の代表的な表現をつかい、文法・作文力を習得する。本科目の修得は、食品安全工学科が定めるディプロマポリシー４の達成に関与する。

■成績評価方法および基準

授業中の発表 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

演習科目であるため、発表の内容について授業時間内に逐次担当教員からフィードバックが行われます。

■教科書

使用しない

■参考文献

特になし

■関連科目

卒業研究

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

芦田研究室(東1号館5階515)・ashida@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜３限、水曜３限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

各自の卒業研究テーマに関する論文の調査を行い、系統だてて整理するとともに、卒業研究において何をどのように明らかにすべきかを考察する。また、この考察をもとに各自実験計画を立て、その内容・進捗状況について発表し、担当教員や他の学生とのディスカッションを通じて卒業研究の方向性を検討する。さらに、卒業論文の章立て、その内容および作成方法について議論し、論文作成の準備を行う。
予習内容：各自の研究テーマに関する参考文献の調査、整理。
予習時間：450分
復習内容：授業後ディスカッションの内容を整理し、次の実験および発表に備える。
復習時間：450分

第1回　外書講読（1）目次【授業形式】演習

第2回　外書講読（2）専門用語の和訳の仕方【授業形式】演習

第3回　外書講読（3）典型的英語表現【授業形式】演習

第4回　外書講読（4）文章の組立て【授業形式】演習

第5回　外書講読（5）内容の把握【授業形式】演習

第6回　外書講読（6）図表の使い方【授業形式】演習

第7回　英語科学論文の基礎（1）その目的【授業形式】講義を含む演習
何について書くのか。どのような読者を想定しているのか。

第8回　英語科学論文の基礎（2）論文作成の手順【授業形式】講義を含む演習
あらすじ。内容の取捨選択。

第9回　英語科学論文の基礎（3）論文の構成【授業形式】講義を含む演習
ストーリーの展開。でも、起承転結はいらない。

第10回　英語科学論文の基礎（4）文法【授業形式】講義を含む演習
主語、時制、冠詞、単数･複数、関係代名詞、関係副詞など

第11回　英語科学論文の書き方（1）Abstract【授業形式】講義を含む演習
内容を把握できるように明快に。

第12回　英語科学論文の書き方（2）Introduction【授業形式】講義を含む演習
実験を行うに至った背景。

第13回　英語科学論文の書き方（3） Experimental Procedure【授業形式】講義を含む演習
実験に用いた材料と方法です。

第14回　英語科学論文の書き方（4） Results and Discussion【授業形式】講義を含む演習
効果的な図表の使い方と、矛盾のない論理の展開。

第15回　英語科学論文の書き方（5）Conclusion【授業形式】講義を含む演習
目的に対してブレがないように

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**専攻科目演習Ⅲ**						
英文名　：	Seminar for a Subject of Special Study 3						
担当者　：	東　慶直						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	4年次	開講期：	前期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品安全工学科では、3年生前期に卒業研究を行う研究室の配属が決まる。専攻科目演習は、配属された研究室において課される卒業研究を遂行するために、必要となる専門的知識や実験法について学ぶ。授業は研究室単位のゼミナール方式で行われる。
専攻科目演習Ⅲでは、食の安全・機能性に関する研究や実務など、いずれの領域においても情報の収集と理解、成果の公表、オーラルコミュニケーションの場で必要とされる英語表現能力について学ぶ。英文の正確な理解力と共に、簡潔で正確な英文の作成能力を身に付ける。英語の専門書を読むことにより、英語特有の表現や論理の展開法を学ぶとともに、実際に英語科学論文を書く作業を行うことにより、英文法と英作文の能力を磨く。なお、本授業は基本的に対面で行いますが、ICTの訓練の一環としてメディア授業も併用します。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

専門領域で使われる英語単語の意味を正しく理解する。科学論文中の英語表現に数多く触れることにより、科学英語特有の言い回しや表現に慣れる。日本語とは異なる文章の組み立てを理解する。
これまで培ってきた英語力を用い、英語で文章を作成する。主に、食に関する科学英語の表現法に慣れる。英語の学術誌等の代表的な表現をつかい、文法・作文力を習得する。本科目の修得は、食品安全工学科が定めるディプロマポリシー４の達成に関与する。

■成績評価方法および基準

授業中の発表 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

演習科目であるため、発表の内容について授業時間内に逐次担当教員からフィードバックが行われます。

■教科書

【留意事項】研究室の担当教員に問い合わせること。

■参考文献

【留意事項】研究室の担当教員に問い合わせること。

■関連科目

配属した研究室により異なる。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

（代表・学科長）東研究室(東1号館4階409)・azuma@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

複数の教員が担当するため、ユニバーサルパスポートのオフィスアワー一覧を参照のこと。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

各自の卒業研究テーマに関する論文の調査を行い、系統だてて整理するとともに、卒業研究において何をどのように明らかにすべきかを考察する。また、この考察をもとに各自実験計画を立て、その内容・進捗状況について発表し、担当教員や他の学生とのディスカッションを通じて卒業研究の方向性を検討する。さらに、卒業論文の章立て、その内容および作成方法について議論し、論文作成の準備を行う。
予習内容：各自の研究テーマに関する参考文献の調査、整理。
予習時間：450分
復習内容：授業後ディスカッションの内容を整理し、次の実験および発表に備える。
復習時間：450分

第1回　外書講読（1）目次（授業形式：演習を含む講義）

第2回　外書講読（2）専門用語の和訳の仕方（授業形式：演習を含む講義）

第3回　外書講読（3）典型的英語表現（授業形式：演習を含む講義）

第4回　外書講読（4）文章の組立て（授業形式：演習を含む講義）

第5回　外書講読（5）内容の把握（授業形式：演習を含む講義）

第6回　外書講読（6）図表の使い方（授業形式：演習を含む講義）

第7回　英語科学論文の基礎（1）その目的（授業形式：演習を含む講義）
何について書くのか。どのような読者を想定しているのか。

第8回　英語科学論文の基礎（2）論文作成の手順（授業形式：演習を含む講義）
あらすじ。内容の取捨選択。

第9回　英語科学論文の基礎（3）論文の構成（授業形式：演習を含む講義）
ストーリーの展開。でも、起承転結はいらない。

第10回　英語科学論文の基礎（4）文法（授業形式：演習を含む講義）
主語、時制、冠詞、単数･複数、関係代名詞、関係副詞など

第11回　英語科学論文の書き方（1）Abstract（授業形式：演習を含む講義）
内容を把握できるように明快に。

第12回　英語科学論文の書き方（2）Introduction（授業形式：演習を含む講義）
実験を行うに至った背景。

第13回　英語科学論文の書き方（3） Experimental Procedure（授業形式：演習を含む講義）
実験に用いた材料と方法です。

第14回　英語科学論文の書き方（4） Results and Discussion（授業形式：演習を含む講義）
効果的な図表の使い方と、矛盾のない論理の展開。

第15回　英語科学論文の書き方（5）Conclusion（授業形式：演習を含む講義）
目的に対してブレがないように

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**専攻科目演習Ⅲ**						
英文名　：	Seminar for a Subject of Special Study 3						
担当者　：	泉　秀実・石丸　恵						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	4年次	開講期：	前期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品安全工学科では、3年生前期に卒業研究を行う研究室の配属が決まる。専攻科目演習は、配属された研究室において課される卒業研究を遂行するために、必要となる専門的知識や実験法について学ぶ。授業は研究室単位のゼミナール方式で行われる。
専攻科目演習Ⅲでは、食の安全・機能性に関する研究や実務など、いずれの領域においても情報の収集と理解、成果の公表、オーラルコミュニケーションの場で必要とされる英語表現能力について学ぶ。英文の正確な理解力と共に、簡潔で正確な英文の作成能力を身に付ける。英語の専門書を読むことにより、英語特有の表現や論理の展開法を学ぶとともに、実際に英語科学論文を書く作業を行うことにより、英文法と英作文の能力を磨く。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

専門領域で使われる英語単語の意味を正しく理解する。科学論文中の英語表現に数多く触れることにより、科学英語特有の言い回しや表現に慣れる。日本語とは異なる文章の組み立てを理解する。
これまで培ってきた英語力を用い、英語で文章を作成する。主に、食に関する科学英語の表現法に慣れる。英語の学術誌等の代表的な表現をつかい、文法・作文力を習得する。本科目の修得は、食品安全工学科が定めるディプロマポリシー４の達成に関与する。

■成績評価方法および基準

自分自身の課題のプレゼンテーション 50%
他の発表者に対する質問やコメント 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

演習科目であるため、発表の内容について授業時間内に逐次担当教員からフィードバックが行われます。

■教科書

【留意事項】研究室の担当教員に問い合わせること。

■参考文献

【留意事項】研究室の担当教員に問い合わせること。

■関連科目

配属した研究室により異なる。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

泉研究室（西1号館4階453）・izumi@waka.kindai.ac.jp
石丸研究室（東1号館4階408）・ishimaru@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

月曜日2限と水曜日2限（泉）
月曜日3限（石丸）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

各自の卒業研究テーマに関する論文の調査を行い、系統だてて整理するとともに、卒業研究において何をどのように明らかにすべきかを考察する。また、この考察をもとに各自実験計画を立て、その内容・進捗状況について発表し、担当教員や他の学生とのディスカッションを通じて卒業研究の方向性を検討する。さらに、卒業論文の章立て、その内容および作成方法について議論し、論文作成の準備を行う。
予習内容：各自の研究テーマに関する参考文献の調査、整理。
予習時間：450分
復習内容：授業後ディスカッションの内容を整理し、次の実験および発表に備える。
復習時間：450分

第1回　外書講読（1）目次（授業形式：演習）

第2回　外書講読（2）専門用語の和訳の仕方（授業形式：演習）

第3回　外書講読（3）典型的英語表現（授業形式：演習）

第4回　外書講読（4）文章の組立て（授業形式：演習）

第5回　外書講読（5）内容の把握（授業形式：演習）

第6回　外書講読（6）図表の使い方（授業形式：演習）

第7回　英語科学論文の基礎（1）その目的（授業形式：演習）
何について書くのか。どのような読者を想定しているのか。

第8回　英語科学論文の基礎（2）論文作成の手順（授業形式：演習）
あらすじ。内容の取捨選択。

第9回　英語科学論文の基礎（3）論文の構成（授業形式：演習）
ストーリーの展開。でも、起承転結はいらない。

第10回　英語科学論文の基礎（4）文法（授業形式：演習）
主語、時制、冠詞、単数･複数、関係代名詞、関係副詞など

第11回　英語科学論文の書き方（1）Abstract（授業形式：演習）
内容を把握できるように明快に。

第12回　英語科学論文の書き方（2）Introduction（授業形式：演習）
実験を行うに至った背景。

第13回　英語科学論文の書き方（3） Experimental Procedure（授業形式：演習）
実験に用いた材料と方法です。

第14回　英語科学論文の書き方（4） Results and Discussion（授業形式：演習）
効果的な図表の使い方と、矛盾のない論理の展開。

第15回　英語科学論文の書き方（5）Conclusion（授業形式：演習）
目的に対してブレがないように

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**専攻科目演習Ⅲ**						
英文名　：	Seminar for a Subject of Special Study 3						
担当者　：	江口　陽子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	4年次	開講期：	前期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品安全工学科では、3年生前期に卒業研究を行う研究室の配属が決まる。専攻科目演習は、配属された研究室において課される卒業研究を遂行するために、必要となる専門的知識や実験法について学ぶ。授業は研究室単位のゼミナール方式で行われる。
専攻科目演習Ⅲでは、食の安全・機能性に関する研究や実務など、いずれの領域においても情報の収集と理解、成果の公表、オーラルコミュニケーションの場で必要とされる英語表現能力について学ぶ。英文の正確な理解力と共に、簡潔で正確な英文の作成能力を身に付ける。英語の専門書を読むことにより、英語特有の表現や論理の展開法を学ぶく。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

専門領域で使われる英語単語の意味を正しく理解する。科学論文中の英語表現に数多く触れることにより、科学英語特有の言い回しや表現に慣れる。日本語とは異なる文章の組み立てを理解する。
これまで培ってきた英語力を用い、英語で文章を作成する。主に、食に関する科学英語の表現法に慣れる。英語の学術誌等の代表的な表現をつかい、文法・作文力を習得する。本科目の修得は、食品安全工学科が定めるディプロマポリシー４の達成に関与する。

■成績評価方法および基準

自分自身の課題のプレゼンテーション 50%
他の発表者に対する質問やコメント 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

演習科目であるため、発表の内容について授業時間内に逐次担当教員からフィードバックが行われます。

■教科書

特にありません。必要な資料は配布します。

■参考文献

特にありません。必要な資料は配布します。

■関連科目

食品衛生管理学、食品微生物学、生化学Ⅰ、生化学Ⅱ、分子生物学Ⅰ

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

江口研究室(東1号館4階417)・eguchi@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜日３限、水曜日３限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

各自の卒業研究テーマに関する論文の調査を行い、系統だてて整理するとともに、卒業研究において何をどのように明らかにすべきかを考察する。また、この考察をもとに各自実験計画を立て、その内容・進捗状況について発表し、担当教員や他の学生とのディスカッションを通じて卒業研究の方向性を検討する。さらに、卒業論文の章立て、その内容および作成方法について議論し、論文作成の準備を行う。
予習内容：各自の研究テーマに関する参考文献の調査、整理。
予習時間：450分
復習内容：授業後ディスカッションの内容を整理し、次の実験および発表に備える。
復習時間：450分

第1回　外書講読（1）目次　（授業形式：演習）

第2回　外書講読（2）専門用語の和訳の仕方　（授業形式：演習）

第3回　外書講読（3）典型的英語表現　（授業形式：演習）

第4回　外書講読（4）文章の組立て　（授業形式：演習）

第5回　外書講読（5）内容の把握　（授業形式：演習）

第6回　外書講読（6）図表の使い方　（授業形式：演習）

第7回　英語科学論文の基礎（1）その目的　（授業形式：演習）
何について書くのか。どのような読者を想定しているのか。

第8回　英語科学論文の基礎（2）論文作成の手順　（授業形式：演習）
あらすじ。内容の取捨選択。

第9回　英語科学論文の基礎（3）論文の構成　（授業形式：演習）
ストーリーの展開。でも、起承転結はいらない。

第10回　英語科学論文の基礎（4）文法　（授業形式：演習）
主語、時制、冠詞、単数･複数、関係代名詞、関係副詞など

第11回　英語科学論文の書き方（1）Abstract　（授業形式：演習）
内容を把握できるように明快に。

第12回　英語科学論文の書き方（2）Introduction　（授業形式：演習）
実験を行うに至った背景。

第13回　英語科学論文の書き方（3） Experimental Procedure　（授業形式：演習）
実験に用いた材料と方法です。

第14回　英語科学論文の書き方（4） Results and Discussion　（授業形式：演習）
効果的な図表の使い方と、矛盾のない論理の展開。

第15回　英語科学論文の書き方（5）Conclusion　（授業形式：演習）
目的に対してブレがないように

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**専攻科目演習Ⅲ**						
英文名　：	Seminar for a Subject of Special Study 3						
担当者　：	尾﨑　嘉彦						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	4年次	開講期：	前期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品安全工学科では、3年生前期に卒業研究を行う研究室の配属が決まる。専攻科目演習は、配属された研究室において課される卒業研究を遂行するために、必要となる専門的知識や実験法について学ぶ。授業は研究室単位のゼミナール方式で行われる。
専攻科目演習Ⅲでは、食の安全・機能性に関する研究や実務など、いずれの領域においても情報の収集と理解、成果の公表、オーラルコミュニケーションの場で必要とされる英語表現能力について学ぶ。英文の正確な理解力と共に、簡潔で正確な英文の作成能力を身に付ける。英語の専門書を読むことにより、英語特有の表現や論理の展開法を学ぶとともに、実際に英語科学論文を書く作業を行うことにより、英文法と英作文の能力を磨く。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

専門領域で使われる英語単語の意味を正しく理解する。科学論文中の英語表現に数多く触れることにより、科学英語特有の言い回しや表現に慣れる。日本語とは異なる文章の組み立てを理解する。
これまで培ってきた英語力を用い、英語で文章を作成する。主に、食に関する科学英語の表現法に慣れる。英語の学術誌等の代表的な表現をつかい、文法・作文力を習得する。本科目の修得は、食品安全工学科が定めるディプロマポリシー2の達成に関与する。

■成績評価方法および基準

自分自身の課題のプレゼンテーション 50%
他の発表者に対する質問やコメント 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

演習科目であるため、発表の内容について授業時間内に逐次担当教員からフィードバックが行われます。

■教科書

【留意事項】随時資料を配付します。

■参考文献

【留意事項】研究内容に応じて個別に指定します。

■関連科目

生体物質基礎、食品材料学、食品化学実験、食品分析化学、食品機能学、機能性食品開発

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

（担当教員）尾﨑研究室　（西1号館1階153）・ozaki@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜・3限（その他随時、Slack又はメールでアポイントメントをお願いします）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

各自の卒業研究テーマに関する論文の調査を行い、系統だてて整理するとともに、卒業研究において何をどのように明らかにすべきかを考察する。また、この考察をもとに各自実験計画を立て、その内容・進捗状況について発表し、担当教員や他の学生とのディスカッションを通じて卒業研究の方向性を検討する。さらに、卒業論文の章立て、その内容および作成方法について議論し、論文作成の準備を行う。
予習内容：各自の研究テーマに関する参考文献の調査、整理。
予習時間：450分
復習内容：授業後ディスカッションの内容を整理し、次の実験および発表に備える。
復習時間：450分

第1回　外書講読（1）目次（授業形式: 演習）

第2回　外書講読（2）専門用語の和訳の仕方（授業形式: 演習）

第3回　外書講読（3）典型的英語表現（授業形式: 演習）

第4回　外書講読（4）文章の組立て（授業形式: 演習）

第5回　外書講読（5）内容の把握（授業形式: 演習）

第6回　外書講読（6）図表の使い方（授業形式: 演習）

第7回　英語科学論文の基礎（1）その目的（授業形式: 演習）
何について書くのか。どのような読者を想定しているのか。

第8回　英語科学論文の基礎（2）論文作成の手順（授業形式: 演習）
あらすじ。内容の取捨選択。

第9回　英語科学論文の基礎（3）論文の構成（授業形式: 演習）
ストーリーの展開。でも、起承転結はいらない。

第10回　英語科学論文の基礎（4）文法（授業形式: 演習）
主語、時制、冠詞、単数･複数、関係代名詞、関係副詞など

第11回　英語科学論文の書き方（1）Abstract（授業形式: 演習）
内容を把握できるように明快に。

第12回　英語科学論文の書き方（2）Introduction（授業形式: 演習）
実験を行うに至った背景。

第13回　英語科学論文の書き方（3） Experimental Procedure（授業形式: 演習）
実験に用いた材料と方法です。

第14回　英語科学論文の書き方（4） Results and Discussion（授業形式: 演習）
効果的な図表の使い方と、矛盾のない論理の展開。

第15回　英語科学論文の書き方（5）Conclusion（授業形式: 演習）
目的に対してブレがないように

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**専攻科目演習Ⅲ**						
英文名　：	Seminar for a Subject of Special Study 3						
担当者　：	岸田　邦博						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	4年次	開講期：	前期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品安全工学科では、3年生前期に卒業研究を行う研究室の配属が決まる。専攻科目演習は、配属された研究室において課される卒業研究を遂行するために、必要となる専門的知識や実験法について学ぶ。授業は研究室単位のゼミナール方式で行われる。
専攻科目演習Ⅲでは、食の安全・機能性に関する研究や実務など、いずれの領域においても情報の収集と理解、成果の公表、オーラルコミュニケーションの場で必要とされる英語表現能力について学ぶ。英文の正確な理解力と共に、簡潔で正確な英文の作成能力を身に付ける。英語の専門書を読むことにより、英語特有の表現や論理の展開法を学ぶとともに、実際に英語科学論文を書く作業を行うことにより、英文法と英作文の能力を磨く。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

専門領域で使われる英語単語の意味を正しく理解する。科学論文中の英語表現に数多く触れることにより、科学英語特有の言い回しや表現に慣れる。日本語とは異なる文章の組み立てを理解する。
これまで培ってきた英語力を用い、英語で文章を作成する。主に、食に関する科学英語の表現法に慣れる。英語の学術誌等の代表的な表現をつかい、文法・作文力を習得する。本科目の修得は、食品安全工学科が定めるディプロマポリシー2の達成に関与する。

■成績評価方法および基準

自分自身の課題のプレゼンテーション 50%
他の発表者に対する質問やコメント 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

演習科目であるため、発表の内容について授業時間内に逐次担当教員からフィードバックが行われます。

■教科書

必要に応じて配布

■参考文献

必要に応じて配布

■関連科目

配属した研究室により異なる。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

岸田研究室(1号館1階159)・kishida@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

水曜1限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

各自の卒業研究テーマに関する論文の調査を行い、系統だてて整理するとともに、卒業研究において何をどのように明らかにすべきかを考察する。また、この考察をもとに各自実験計画を立て、その内容・進捗状況について発表し、担当教員や他の学生とのディスカッションを通じて卒業研究の方向性を検討する。さらに、卒業論文の章立て、その内容および作成方法について議論し、論文作成の準備を行う。
予習内容：各自の研究テーマに関する参考文献の調査、整理。
予習時間：450分
復習内容：授業後ディスカッションの内容を整理し、次の実験および発表に備える。
復習時間：450分

第1回　外書講読（1）目次（授業形式：演習 ）

第2回　外書講読（2）専門用語の和訳の仕方（授業形式：演習 ）

第3回　外書講読（3）典型的英語表現（授業形式：演習 ）

第4回　外書講読（4）文章の組立て（授業形式：演習 ）

第5回　外書講読（5）内容の把握（授業形式：演習 ）

第6回　外書講読（6）図表の使い方（授業形式：演習 ）

第7回　英語科学論文の基礎（1）その目的（授業形式：演習 ）
何について書くのか。どのような読者を想定しているのか。

第8回　英語科学論文の基礎（2）論文作成の手順（授業形式：演習 ）
あらすじ。内容の取捨選択。

第9回　英語科学論文の基礎（3）論文の構成（授業形式：演習 ）
ストーリーの展開。でも、起承転結はいらない。

第10回　英語科学論文の基礎（4）文法（授業形式：演習 ）
主語、時制、冠詞、単数･複数、関係代名詞、関係副詞など

第11回　英語科学論文の書き方（1）Abstract（授業形式：演習 ）
内容を把握できるように明快に。

第12回　英語科学論文の書き方（2）Introduction（授業形式：演習 ）
実験を行うに至った背景。

第13回　英語科学論文の書き方（3） Experimental Procedure（授業形式：演習 ）
実験に用いた材料と方法です。

第14回　英語科学論文の書き方（4） Results and Discussion（授業形式：演習 ）
効果的な図表の使い方と、矛盾のない論理の展開。

第15回　英語科学論文の書き方（5）Conclusion（授業形式：演習 ）
目的に対してブレがないように

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**専攻科目演習Ⅲ**						
英文名　：	Seminar for a Subject of Special Study 3						
担当者　：	栗原　新						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	4年次	開講期：	前期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品安全工学科では、3年生前期に卒業研究を行う研究室の配属が決まる。専攻科目演習は、配属された研究室において課される卒業研究を遂行するために、必要となる専門的知識や実験法について学ぶ。授業は研究室単位のゼミナール方式で行われる。
専攻科目演習Ⅲでは、食の安全・機能性に関する研究や実務など、いずれの領域においても情報の収集と理解、成果の公表、オーラルコミュニケーションの場で必要とされる英語表現能力について学ぶ。英文の正確な理解力と共に、簡潔で正確な英文の作成能力を身に付ける。英語の専門書を読むことにより、英語特有の表現や論理の展開法を学ぶとともに、実際に英語科学論文を書く作業を行うことにより、英文法と英作文の能力を磨く。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

専門領域で使われる英語単語の意味を正しく理解する。科学論文中の英語表現に数多く触れることにより、科学英語特有の言い回しや表現に慣れる。日本語とは異なる文章の組み立てを理解する。
これまで培ってきた英語力を用い、英語で文章を作成する。主に、食に関する科学英語の表現法に慣れる。英語の学術誌等の代表的な表現をつかい、文法・作文力を習得する。本科目の修得は、食品安全工学科が定めるディプロマポリシー４の達成に関与する。

■成績評価方法および基準

自分自身の課題のプレゼンテーション 50%
他の発表者に対する質問やコメント 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

演習科目であるため、発表の内容について授業時間内に逐次担当教員からフィードバックが行われます。

■教科書

【留意事項】研究室の担当教員に問い合わせること。

■参考文献

【留意事項】研究室の担当教員に問い合わせること。

■関連科目

配属した研究室により異なる。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

専修科目の教員（栗原研究室：東1号館5階513）・skurihara@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

複数の教員が担当するため、ユニバーサルパスポートのオフィスアワー一覧を参照のこと。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

各自の卒業研究テーマに関する論文の調査を行い、系統だてて整理するとともに、卒業研究において何をどのように明らかにすべきかを考察する。また、この考察をもとに各自実験計画を立て、その内容・進捗状況について発表し、担当教員や他の学生とのディスカッションを通じて卒業研究の方向性を検討する。さらに、卒業論文の章立て、その内容および作成方法について議論し、論文作成の準備を行う。
予習内容：各自の研究テーマに関する参考文献の調査、整理。
予習時間：450分
復習内容：授業後ディスカッションの内容を整理し、次の実験および発表に備える。
復習時間：450分

第1回　外書講読（1）目次（授業形式：演習）

第2回　外書講読（2）専門用語の和訳の仕方（授業形式：演習）

第3回　外書講読（3）典型的英語表現（授業形式：演習）

第4回　外書講読（4）文章の組立て（授業形式：演習）

第5回　外書講読（5）内容の把握（授業形式：演習）

第6回　外書講読（6）図表の使い方（授業形式：演習）

第7回　英語科学論文の基礎（1）その目的（授業形式：演習）
何について書くのか。どのような読者を想定しているのか。

第8回　英語科学論文の基礎（2）論文作成の手順（授業形式：演習）
あらすじ。内容の取捨選択。

第9回　英語科学論文の基礎（3）論文の構成（授業形式：演習）
ストーリーの展開。でも、起承転結はいらない。

第10回　英語科学論文の基礎（4）文法（授業形式：演習）
主語、時制、冠詞、単数･複数、関係代名詞、関係副詞など

第11回　英語科学論文の書き方（1）Abstract（授業形式：演習）
内容を把握できるように明快に。

第12回　英語科学論文の書き方（2）Introduction（授業形式：演習）
実験を行うに至った背景。

第13回　英語科学論文の書き方（3） Experimental Procedure（授業形式：演習）
実験に用いた材料と方法です。

第14回　英語科学論文の書き方（4） Results and Discussion（授業形式：演習）
効果的な図表の使い方と、矛盾のない論理の展開。

第15回　英語科学論文の書き方（5）Conclusion（授業形式：演習）
目的に対してブレがないように

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**専攻科目演習Ⅲ**						
英文名　：	Seminar for a Subject of Special Study 3						
担当者　：	白木　琢磨・松橋　珠子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	4年次	開講期：	前期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品安全工学科では、3年生前期に卒業研究を行う研究室の配属が決まる。専攻科目演習は、配属された研究室において課される卒業研究を遂行するために、必要となる専門的知識や実験法について学ぶ。授業は研究室単位のゼミナール方式で行われる。
専攻科目演習Ⅲでは、食の安全・機能性に関する研究や実務など、いずれの領域においても情報の収集と理解、成果の公表、オーラルコミュニケーションの場で必要とされる英語表現能力について学ぶ。英文の正確な理解力と共に、簡潔で正確な英文の作成能力を身に付ける。英語の専門書を読むことにより、英語特有の表現や論理の展開法を学ぶとともに、実際に英語科学論文を書く作業を行うことにより、英文法と英作文の能力を磨く。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

専門領域で使われる英語単語の意味を正しく理解する。科学論文中の英語表現に数多く触れることにより、科学英語特有の言い回しや表現に慣れる。日本語とは異なる文章の組み立てを理解する。
これまで培ってきた英語力を用い、英語で文章を作成する。主に、食に関する科学英語の表現法に慣れる。英語の学術誌等の代表的な表現をつかい、文法・作文力を習得する。本科目の修得は、食品安全工学科が定めるディプロマポリシー４の達成に関与する。

■成績評価方法および基準

自分自身の課題のプレゼンテーション 50%
他の発表者に対する質問やコメント 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

演習科目であるため、発表の内容について授業時間内に逐次担当教員からフィードバックが行われます。

■教科書

【留意事項】研究室の担当教員に問い合わせること。

■参考文献

【留意事項】研究室の担当教員に問い合わせること。

■関連科目

配属した研究室により異なる。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

（代表・学科長）東研究室(東1号館4階409)・azuma@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

複数の教員が担当するため、ユニバーサルパスポートのオフィスアワー一覧を参照のこと。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

各自の卒業研究テーマに関する論文の調査を行い、系統だてて整理するとともに、卒業研究において何をどのように明らかにすべきかを考察する。また、この考察をもとに各自実験計画を立て、その内容・進捗状況について発表し、担当教員や他の学生とのディスカッションを通じて卒業研究の方向性を検討する。さらに、卒業論文の章立て、その内容および作成方法について議論し、論文作成の準備を行う。
予習内容：各自の研究テーマに関する参考文献の調査、整理。
予習時間：450分
復習内容：授業後ディスカッションの内容を整理し、次の実験および発表に備える。
復習時間：450分

第1回　外書講読（1）目次（授業形式：演習）

第2回　外書講読（2）専門用語の和訳の仕方（授業形式：演習）

第3回　外書講読（3）典型的英語表現（授業形式：演習）

第4回　外書講読（4）文章の組立て（授業形式：演習）

第5回　外書講読（5）内容の把握（授業形式：演習）

第6回　外書講読（6）図表の使い方（授業形式：演習）

第7回　英語科学論文の基礎（1）その目的（授業形式：演習）
何について書くのか。どのような読者を想定しているのか。

第8回　英語科学論文の基礎（2）論文作成の手順（授業形式：演習）
あらすじ。内容の取捨選択。

第9回　英語科学論文の基礎（3）論文の構成（授業形式：演習）
ストーリーの展開。でも、起承転結はいらない。

第10回　英語科学論文の基礎（4）文法（授業形式：演習）
主語、時制、冠詞、単数･複数、関係代名詞、関係副詞など

第11回　英語科学論文の書き方（1）Abstract（授業形式：演習）
内容を把握できるように明快に。

第12回　英語科学論文の書き方（2）Introduction（授業形式：演習）
実験を行うに至った背景。

第13回　英語科学論文の書き方（3） Experimental Procedure（授業形式：演習）
実験に用いた材料と方法です。

第14回　英語科学論文の書き方（4） Results and Discussion（授業形式：演習）
効果的な図表の使い方と、矛盾のない論理の展開。

第15回　英語科学論文の書き方（5）Conclusion（授業形式：演習）
目的に対してブレがないように

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**専攻科目演習Ⅲ**						
英文名　：	Seminar for a Subject of Special Study 3						
担当者　：	武部　聡						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	4年次	開講期：	前期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品安全工学科では、3年生前期に卒業研究を行う研究室の配属が決まる。専攻科目演習は、配属された研究室において課される卒業研究を遂行するために、必要となる専門的知識や実験法について学ぶ。授業は研究室単位のゼミナール方式で行われる。
専攻科目演習Ⅲでは、食の安全・機能性に関する研究や実務など、いずれの領域においても情報の収集と理解、成果の公表、オーラルコミュニケーションの場で必要とされる英語表現能力について学ぶ。英文の正確な理解力と共に、簡潔で正確な英文の作成能力を身に付ける。英語の専門書を読むことにより、英語特有の表現や論理の展開法を学ぶとともに、実際に英語科学論文を書く作業を行うことにより、英文法と英作文の能力を磨く。なお、本授業は基本的に対面で行いますが、ICTの訓練の一環としてメディア授業も併用します。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

専門領域で使われる英語単語の意味を正しく理解する。科学論文中の英語表現に数多く触れることにより、科学英語特有の言い回しや表現に慣れる。日本語とは異なる文章の組み立てを理解する。
これまで培ってきた英語力を用い、英語で文章を作成する。主に、食に関する科学英語の表現法に慣れる。英語の学術誌等の代表的な表現をつかい、文法・作文力を習得する。本科目の修得は、食品安全工学科が定めるディプロマポリシー２の達成に関与する。

■成績評価方法および基準

授業中の発表 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

演習科目であるため、発表の内容について授業時間内に逐次担当教員からフィードバックが行われます。

■教科書

【留意事項】研究室の担当教員に問い合わせること。

■参考文献

【留意事項】研究室の担当教員に問い合わせること。

■関連科目

配属した研究室により異なる。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

（代表・学科長）東研究室(東1号館4階409)・azuma@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

複数の教員が担当するため、ユニバーサルパスポートのオフィスアワー一覧を参照のこと。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

各自の卒業研究テーマに関する論文の調査を行い、系統だてて整理するとともに、卒業研究において何をどのように明らかにすべきかを考察する。また、この考察をもとに各自実験計画を立て、その内容・進捗状況について発表し、担当教員や他の学生とのディスカッションを通じて卒業研究の方向性を検討する。さらに、卒業論文の章立て、その内容および作成方法について議論し、論文作成の準備を行う。
すべての回の授業形態は「演習」です。
予習内容：各自の研究テーマに関する参考文献の調査、整理。
予習時間：450分
復習内容：授業後ディスカッションの内容を整理し、次の実験および発表に備える。
復習時間：450分

第1回　外書講読（1）目次

第2回　外書講読（2）専門用語の和訳の仕方

第3回　外書講読（3）典型的英語表現

第4回　外書講読（4）文章の組立て

第5回　外書講読（5）内容の把握

第6回　外書講読（6）図表の使い方

第7回　英語科学論文の基礎（1）その目的
何について書くのか。どのような読者を想定しているのか。

第8回　英語科学論文の基礎（2）論文作成の手順
あらすじ。内容の取捨選択。

第9回　英語科学論文の基礎（3）論文の構成
ストーリーの展開。でも、起承転結はいらない。

第10回　英語科学論文の基礎（4）文法
主語、時制、冠詞、単数･複数、関係代名詞、関係副詞など

第11回　英語科学論文の書き方（1）Abstract
内容を把握できるように明快に。

第12回　英語科学論文の書き方（2）Introduction
実験を行うに至った背景。

第13回　英語科学論文の書き方（3） Experimental Procedure
実験に用いた材料と方法です。

第14回　英語科学論文の書き方（4） Results and Discussion
効果的な図表の使い方と、矛盾のない論理の展開。

第15回　英語科学論文の書き方（5）Conclusion
目的に対してブレがないように

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 ：	**専攻科目演習Ⅳ**						
英文名 ：	Seminar for a Subject of Special Study 4						
担当者 ：	芦田　久						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	4年次	開講期：	後期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考 ：							

■授業概要

食品安全工学科では、3年生前期に卒業研究を行う研究室の配属が決まる。専攻科目演習は、配属された研究室において課される卒業研究を遂行するために、必要となる専門的知識や実験法について学ぶ。授業は研究室単位のゼミナール方式で行われる。
専攻科目演習Ⅳでは、学術雑誌に掲載されている科学論文の構成や内容について理解し、卒業研究論文の作成法について学ぶ。
なお、本授業は基本的に対面で行いますが、ICTの訓練の一環としてメディア授業も併用します。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

図書館やインターネットを通じて論文を検索できるようになる。論文の構成、章立てを理解する。論文作成の際の章、節、項を組み立てることができる。
自分の研究テーマに関連した論文を読み、研究の学術的背景を理解する。本科目の修得は、食品安全工学科が定めるディプロマポリシー4の達成に関与する。

■成績評価方法および基準

授業中の発表 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

演習科目であるため、発表の内容について授業時間内に逐次担当教員からフィードバックが行われます。

■教科書

使用しない

■参考文献

特になし

■関連科目

卒業研究

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

芦田研究室(東1号館5階515)・ashida@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

複数の教員が担当するため、ユニバーサルパスポートのオフィスアワー一覧を参照のこと。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

各自の卒業研究テーマに関する論文の調査を行い、系統だてて整理するとともに、卒業研究において何をどのように明らかにす

べきかを考察する。また、この考察をもとに各自実験計画を立て、その内容・進捗状況について発表し、担当教員や他の学生とのディスカッションを通じて卒業研究の方向性を検討する。さらに、卒業論文の章立て、その内容および作成方法について議論し、論文作成の準備を行う。
予習内容：各自の研究テーマに関する参考文献の調査、整理。実験ノートの整理とプレゼンテーション資料の作成。
予習時間：450分
復習内容：演習でのディスカッション内容を整理して、次の実験の計画を練り、論文作成に備える。
復習時間：450分

第1回　学術雑誌とは【授業形式】講義を含む演習

第2回　論文の講読（1）論文の検索【授業形式】講義を含む演習

第3回　論文の講読（2）論文の構成【授業形式】講義を含む演習

第4回　論文の講読（3）要旨【授業形式】講義を含む演習

第5回　論文の講読（4）序論【授業形式】講義を含む演習

第6回　論文の講読（5）材料と方法【授業形式】講義を含む演習

第7回　論文の講読（6）結果【授業形式】講義を含む演習

第8回　論文の講読（7）考察【授業形式】講義を含む演習

第9回　論文の講読（8）参考文献【授業形式】講義を含む演習

第10回　論文の講読（9）関連文献の検索・収集【授業形式】講義を含む演習

第11回　卒業論文の作成法（1）タイトルとストーリー【授業形式】講義を含む演習

第12回　卒業論文の作成法（2）図表の作成【授業形式】講義を含む演習

第13回　卒業論文の作成法（3）本文の作成【授業形式】講義を含む演習

第14回　卒業論文の作成法（4）論理のチェック【授業形式】講義を含む演習

第15回　卒業論文の作成法（5）論文の完成【授業形式】講義を含む演習

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**専攻科目演習Ⅳ**						
英文名　：	Seminar for a Subject of Special Study 4						
担当者　：	東　慶直						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	4年次	開講期：	後期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品安全工学科では、3年生前期に卒業研究を行う研究室の配属が決まる。専攻科目演習は、配属された研究室において課される卒業研究を遂行するために、必要となる専門的知識や実験法について学ぶ。授業は研究室単位のゼミナール方式で行われる。
専攻科目演習Ⅳでは、学術雑誌に掲載されている科学論文の構成や内容について理解し、卒業研究論文の作成法について学ぶ。
なお、本授業は基本的に対面で行いますが、ICTの訓練の一環としてメディア授業も併用します。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

図書館やインターネットを通じて論文を検索できるようになる。論文の構成、章立てを理解する。論文作成の際の章、節、項を組み立てることができる。
自分の研究テーマに関連した論文を読み、研究の学術的背景を理解する。本科目の修得は、食品安全工学科が定めるディプロマポリシー4の達成に関与する。

■成績評価方法および基準

授業中の発表 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

演習科目であるため、発表の内容について授業時間内に逐次担当教員からフィードバックが行われます。

■教科書

【留意事項】配属された研究室の担当教員に問い合わせること。

■参考文献

【留意事項】配属された研究室の担当教員に問い合わせること。

■関連科目

配属した研究室により異なる。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

（代表・学科長）東研究室(東1号館4階409)・azuma@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

複数の教員が担当するため、ユニバーサルパスポートのオフィスアワー一覧を参照のこと。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

各自の卒業研究テーマに関する論文の調査を行い、系統だてて整理するとともに、卒業研究において何をどのように明らかにす

べきかを考察する。また、この考察をもとに各自実験計画を立て、その内容・進捗状況について発表し、担当教員や他の学生とのディスカッションを通じて卒業研究の方向性を検討する。さらに、卒業論文の章立て、その内容および作成方法について議論し、論文作成の準備を行う。
予習内容：各自の研究テーマに関する参考文献の調査、整理。実験ノートの整理とプレゼンテーション資料の作成。
予習時間：450分
復習内容：演習でのディスカッション内容を整理して、次の実験の計画を練り、論文作成に備える。
復習時間：450分

第1回　学術雑誌とは（授業形式：演習を含む講義）

第2回　論文の講読（1）論文の検索（授業形式：演習を含む講義）

第3回　論文の講読（2）論文の構成（授業形式：演習を含む講義）

第4回　論文の講読（3）要旨（授業形式：演習を含む講義）

第5回　論文の講読（4）序論（授業形式：演習を含む講義）

第6回　論文の講読（5）材料と方法（授業形式：演習を含む講義）

第7回　論文の講読（6）結果（授業形式：演習を含む講義）

第8回　論文の講読（7）考察（授業形式：演習を含む講義）

第9回　論文の講読（8）参考文献（授業形式：演習を含む講義）

第10回　論文の講読（9）関連文献の検索・収集（授業形式：演習を含む講義）

第11回　卒業論文の作成法（1）タイトルとストーリー（授業形式：演習を含む講義）

第12回　卒業論文の作成法（2）図表の作成（授業形式：演習を含む講義）

第13回　卒業論文の作成法（3）本文の作成（授業形式：演習を含む講義）

第14回　卒業論文の作成法（4）論理のチェック（授業形式：演習を含む講義）

第15回　卒業論文の作成法（5）論文の完成（授業形式：演習を含む講義）

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 ：	**専攻科目演習Ⅳ**						
英文名 ：	Seminar for a Subject of Special Study 4						
担当者 ：	泉　秀実・石丸　恵						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	4年次	開講期：	後期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考 ：							

■授業概要

食品安全工学科では、3年生前期に卒業研究を行う研究室の配属が決まる。専攻科目演習は、配属された研究室において課される卒業研究を遂行するために、必要となる専門的知識や実験法について学ぶ。授業は研究室単位のゼミナール方式で行われる。
専攻科目演習Ⅳでは、学術雑誌に掲載されている科学論文の構成や内容について理解し、卒業研究論文の作成法について学ぶ。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

図書館やインターネットを通じて論文を検索できるようになる。論文の構成、章立てを理解する。論文作成の際の章、節、項を組み立てることができる。
自分の研究テーマに関連した論文を読み、研究の学術的背景を理解する。本科目の修得は、食品安全工学科が定めるディプロマポリシー4の達成に関与する。

■成績評価方法および基準

自分自身の課題のプレゼンテーション 50%
他の発表者に対する質問やコメント 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

演習科目であるため、発表の内容について授業時間内に逐次担当教員からフィードバックが行われます。

■教科書

【留意事項】配属された研究室の担当教員に問い合わせること。

■参考文献

【留意事項】配属された研究室の担当教員に問い合わせること。

■関連科目

配属した研究室により異なる。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

泉研究室（西1号館4階453）・izumi@waka.kindai.ac.jp
石丸研究室（東1号館4階408）・ishimaru@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

月曜日2限と水曜日2限（泉）
月曜日3限（石丸）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

各自の卒業研究テーマに関する論文の調査を行い、系統だてて整理するとともに、卒業研究において何をどのように明らかにすべきかを考察する。また、この考察をもとに各自実験計画を立て、その内容・進捗状況について発表し、担当教員や他の学生とのディスカッションを通じて卒業研究の方向性を検討する。さらに、卒業論文の章立て、その内容および作成方法について議論し、論文作成の準備を行う。
予習内容：各自の研究テーマに関する参考文献の調査、整理。実験ノートの整理とプレゼンテーション資料の作成。
予習時間：450分
復習内容：演習でのディスカッション内容を整理して、次の実験の計画を練り、論文作成に備える。
復習時間：450分

第1回　学術雑誌とは（授業形式：演習）

第2回　論文の講読（1）論文の検索（授業形式：演習）

第3回　論文の講読（2）論文の構成（授業形式：演習）

第4回　論文の講読（3）要旨（授業形式：演習）

第5回　論文の講読（4）序論（授業形式：演習）

第6回　論文の講読（5）材料と方法（授業形式：演習）

第7回　論文の講読（6）結果（授業形式：演習）

第8回　論文の講読（7）考察（授業形式：演習）

第9回　論文の講読（8）参考文献（授業形式：演習）

第10回　論文の講読（9）関連文献の検索・収集（授業形式：演習）

第11回　卒業論文の作成法（1）タイトルとストーリー（授業形式：演習）

第12回　卒業論文の作成法（2）図表の作成（授業形式：演習）

第13回　卒業論文の作成法（3）本文の作成（授業形式：演習）

第14回　卒業論文の作成法（4）論理のチェック（授業形式：演習）

第15回　卒業論文の作成法（5）論文の完成（授業形式：演習）

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**専攻科目演習Ⅳ**						
英文名　：	Seminar for a Subject of Special Study 4						
担当者　：	江口　陽子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	4年次	開講期：	後期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品安全工学科では、3年生前期に卒業研究を行う研究室の配属が決まる。専攻科目演習は、配属された研究室において課される卒業研究を遂行するために、必要となる専門的知識や実験法について学ぶ。授業は研究室単位のゼミナール方式で行われる。
専攻科目演習Ⅳでは、学術雑誌に掲載されている科学論文の構成や内容について理解し、卒業研究論文の作成法について学ぶ。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

図書館やインターネットを通じて論文を検索できるようになる。論文の構成、章立てを理解する。論文作成の際の章、節、項を組み立てることができる。
自分の研究テーマに関連した論文を読み、研究の学術的背景を理解する。本科目の修得は、食品安全工学科が定めるディプロマポリシー4の達成に関与する。

■成績評価方法および基準

自分自身の課題のプレゼンテーション 50%
他の発表者に対する質問やコメント 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

演習科目であるため、発表の内容について授業時間内に逐次担当教員からフィードバックが行われます。

■教科書

特にありません。必要な資料は配布します。

■参考文献

特にありません。必要な資料は配布します。

■関連科目

食品衛生管理学、食品微生物学、生化学Ⅰ、生化学Ⅱ、分子生物学Ⅰ

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

江口研究室(東1号館4階417)・eguchi@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜日３限、水曜日３限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

各自の卒業研究テーマに関する論文の調査を行い、系統だてて整理するとともに、卒業研究において何をどのように明らかにす

べきかを考察する。また、この考察をもとに各自実験計画を立て、その内容・進捗状況について発表し、担当教員や他の学生とのディスカッションを通じて卒業研究の方向性を検討する。さらに、卒業論文の章立て、その内容および作成方法について議論し、論文作成の準備を行う。
予習内容：各自の研究テーマに関する参考文献の調査、整理。実験ノートの整理とプレゼンテーション資料の作成。
予習時間：450分
復習内容：演習でのディスカッション内容を整理して、次の実験の計画を練り、論文作成に備える。
復習時間：450分

第1回　学術雑誌とは　（授業形式：演習）

第2回　論文の講読（1）論文の検索　（授業形式：演習）

第3回　論文の講読（2）論文の構成　（授業形式：演習）

第4回　論文の講読（3）要旨　（授業形式：演習）

第5回　論文の講読（4）序論　（授業形式：演習）

第6回　論文の講読（5）材料と方法　（授業形式：演習）

第7回　論文の講読（6）結果　（授業形式：演習）

第8回　論文の講読（7）考察　（授業形式：演習）

第9回　論文の講読（8）参考文献　（授業形式：演習）

第10回　論文の講読（9）関連文献の検索・収集　（授業形式：演習）

第11回　卒業論文の作成法（1）タイトルとストーリー　（授業形式：演習）

第12回　卒業論文の作成法（2）図表の作成　（授業形式：演習）

第13回　卒業論文の作成法（3）本文の作成　（授業形式：演習）

第14回　卒業論文の作成法（4）論理のチェック　（授業形式：演習）

第15回　卒業論文の作成法（5）論文の完成　（授業形式：演習）

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**専攻科目演習Ⅳ**						
英文名　：	Seminar for a Subject of Special Study 4						
担当者　：	尾﨑　嘉彦						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	4年次	開講期：	後期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品安全工学科では、3年生前期に卒業研究を行う研究室の配属が決まる。専攻科目演習は、配属された研究室において課される卒業研究を遂行するために、必要となる専門的知識や実験法について学ぶ。授業は研究室単位のゼミナール方式で行われる。
専攻科目演習Ⅳでは、学術雑誌に掲載されている科学論文の構成や内容について理解し、卒業研究論文の作成法について学ぶ。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

図書館やインターネットを通じて論文を検索できるようになる。論文の構成、章立てを理解する。論文作成の際の章、節、項を組み立てることができる。
自分の研究テーマに関連した論文を読み、研究の学術的背景を理解する。本科目の修得は、食品安全工学科が定めるディプロマポリシー2の達成に関与する。

■成績評価方法および基準

自分自身の課題のプレゼンテーション 50%
他の発表者に対する質問やコメント 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

演習科目であるため、発表の内容について授業時間内に逐次担当教員からフィードバックが行われます。

■教科書

【留意事項】随時資料を配付します。

■参考文献

【留意事項】研究内容に応じて個別に指定します。

■関連科目

生体物質基礎、食品材料学、食品化学実験、食品分析化学、食品機能学、機能性食品開発

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

（担当教員）尾﨑研究室　（西1号館1階153）・ozaki@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜・3限（その他随時、Slack又はメールでアポイントメントをお願いします）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

各自の卒業研究テーマに関する論文の調査を行い、系統だてて整理するとともに、卒業研究において何をどのように明らかにす

べきかを考察する。また、この考察をもとに各自実験計画を立て、その内容・進捗状況について発表し、担当教員や他の学生とのディスカッションを通じて卒業研究の方向性を検討する。さらに、卒業論文の章立て、その内容および作成方法について議論し、論文作成の準備を行う。
予習内容：各自の研究テーマに関する参考文献の調査、整理。実験ノートの整理とプレゼンテーション資料の作成。
予習時間：450分
復習内容：演習でのディスカッション内容を整理して、次の実験の計画を練り、論文作成に備える。
復習時間：450分

第1回　学術雑誌とは（授業形式: 演習）

第2回　論文の講読（1）論文の検索（授業形式: 演習）

第3回　論文の講読（2）論文の構成（授業形式: 演習）

第4回　論文の講読（3）要旨（授業形式: 演習）

第5回　論文の講読（4）序論（授業形式: 演習）

第6回　論文の講読（5）材料と方法（授業形式: 演習）

第7回　論文の講読（6）結果（授業形式: 演習）

第8回　論文の講読（7）考察（授業形式: 演習）

第9回　論文の講読（8）参考文献（授業形式: 演習）

第10回　論文の講読（9）関連文献の検索・収集（授業形式: 演習）

第11回　卒業論文の作成法（1）タイトルとストーリー（授業形式: 演習）

第12回　卒業論文の作成法（2）図表の作成（授業形式: 演習）

第13回　卒業論文の作成法（3）本文の作成（授業形式: 演習）

第14回　卒業論文の作成法（4）論理のチェック（授業形式: 演習）

第15回　卒業論文の作成法（5）論文の完成（授業形式: 演習）

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**専攻科目演習Ⅳ**						
英文名　：	Seminar for a Subject of Special Study 4						
担当者　：	岸田　邦博						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	4年次	開講期：	後期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品安全工学科では、3年生前期に卒業研究を行う研究室の配属が決まる。専攻科目演習は、配属された研究室において課される卒業研究を遂行するために、必要となる専門的知識や実験法について学ぶ。授業は研究室単位のゼミナール方式で行われる。
専攻科目演習Ⅳでは、学術雑誌に掲載されている科学論文の構成や内容について理解し、卒業研究論文の作成法について学ぶ。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

図書館やインターネットを通じて論文を検索できるようになる。論文の構成、章立てを理解する。論文作成の際の章、節、項を組み立てることができる。
自分の研究テーマに関連した論文を読み、研究の学術的背景を理解する。本科目の修得は、食品安全工学科が定めるディプロマポリシー2の達成に関与する。

■成績評価方法および基準

自分自身の課題のプレゼンテーション 50%
他の発表者に対する質問やコメント 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

演習科目であるため、発表の内容について授業時間内に逐次担当教員からフィードバックが行われます。

■教科書

必要に応じて配布

■参考文献

必要に応じて配布

■関連科目

配属した研究室により異なる。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

岸田研究室(1号館1階159)・kishida@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

水曜1限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

各自の卒業研究テーマに関する論文の調査を行い、系統だてて整理するとともに、卒業研究において何をどのように明らかにす

べきかを考察する。また、この考察をもとに各自実験計画を立て、その内容・進捗状況について発表し、担当教員や他の学生とのディスカッションを通じて卒業研究の方向性を検討する。さらに、卒業論文の章立て、その内容および作成方法について議論し、論文作成の準備を行う。
予習内容：各自の研究テーマに関する参考文献の調査、整理。実験ノートの整理とプレゼンテーション資料の作成。
予習時間：450分
復習内容：演習でのディスカッション内容を整理して、次の実験の計画を練り、論文作成に備える。
復習時間：450分

第1回　学術雑誌とは（授業形式：演習 ）

第2回　論文の講読（1）論文の検索（授業形式：演習 ）

第3回　論文の講読（2）論文の構成（授業形式：演習 ）

第4回　論文の講読（3）要旨（授業形式：演習 ）

第5回　論文の講読（4）序論（授業形式：演習 ）

第6回　論文の講読（5）材料と方法（授業形式：演習 ）

第7回　論文の講読（6）結果（授業形式：演習 ）

第8回　論文の講読（7）考察（授業形式：演習 ）

第9回　論文の講読（8）参考文献（授業形式：演習 ）

第10回　論文の講読（9）関連文献の検索・収集（授業形式：演習 ）

第11回　卒業論文の作成法（1）タイトルとストーリー（授業形式：演習 ）

第12回　卒業論文の作成法（2）図表の作成（授業形式：演習 ）

第13回　卒業論文の作成法（3）本文の作成（授業形式：演習 ）

第14回　卒業論文の作成法（4）論理のチェック（授業形式：演習 ）

第15回　卒業論文の作成法（5）論文の完成（授業形式：演習 ）

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 ：	**専攻科目演習Ⅳ**						
英文名 ：	Seminar for a Subject of Special Study 4						
担当者 ：	栗原　新						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	4年次	開講期：	後期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考 ：							

■授業概要

食品安全工学科では、3年生前期に卒業研究を行う研究室の配属が決まる。専攻科目演習は、配属された研究室において課される卒業研究を遂行するために、必要となる専門的知識や実験法について学ぶ。授業は研究室単位のゼミナール方式で行われる。
専攻科目演習Ⅳでは、学術雑誌に掲載されている科学論文の構成や内容について理解し、卒業研究論文の作成法について学ぶ。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

図書館やインターネットを通じて論文を検索できるようになる。論文の構成、章立てを理解する。論文作成の際の章、節、項を組み立てることができる。
自分の研究テーマに関連した論文を読み、研究の学術的背景を理解する。本科目の修得は、食品安全工学科が定めるディプロマポリシー4の達成に関与する。

■成績評価方法および基準

自分自身の課題のプレゼンテーション 50%
他の発表者に対する質問やコメント 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

演習科目であるため、発表の内容について授業時間内に逐次担当教員からフィードバックが行われます。

■教科書

【留意事項】配属された研究室の担当教員に問い合わせること。

■参考文献

【留意事項】配属された研究室の担当教員に問い合わせること。

■関連科目

配属した研究室により異なる。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

（代表）芦田研究室(東1号館5階515)・ashida@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

複数の教員が担当するため、ユニバーサルパスポートのオフィスアワー一覧を参照のこと。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

各自の卒業研究テーマに関する論文の調査を行い、系統だてて整理するとともに、卒業研究において何をどのように明らかにす

べきかを考察する。また、この考察をもとに各自実験計画を立て、その内容・進捗状況について発表し、担当教員や他の学生とのディスカッションを通じて卒業研究の方向性を検討する。さらに、卒業論文の章立て、その内容および作成方法について議論し、論文作成の準備を行う。
予習内容：各自の研究テーマに関する参考文献の調査、整理。実験ノートの整理とプレゼンテーション資料の作成。
予習時間：450分
復習内容：演習でのディスカッション内容を整理して、次の実験の計画を練り、論文作成に備える。
復習時間：450分

第1回　学術雑誌とは（授業形式：演習）

第2回　論文の講読（1）論文の検索（授業形式：演習）

第3回　論文の講読（2）論文の構成（授業形式：演習）

第4回　論文の講読（3）要旨（授業形式：演習）

第5回　論文の講読（4）序論（授業形式：演習）

第6回　論文の講読（5）材料と方法（授業形式：演習）

第7回　論文の講読（6）結果（授業形式：演習）

第8回　論文の講読（7）考察（授業形式：演習）

第9回　論文の講読（8）参考文献（授業形式：演習）

第10回　論文の講読（9）関連文献の検索・収集（授業形式：演習）

第11回　卒業論文の作成法（1）タイトルとストーリー（授業形式：演習）

第12回　卒業論文の作成法（2）図表の作成（授業形式：演習）

第13回　卒業論文の作成法（3）本文の作成（授業形式：演習）

第14回　卒業論文の作成法（4）論理のチェック（授業形式：演習）

第15回　卒業論文の作成法（5）論文の完成（授業形式：演習）

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**専攻科目演習Ⅳ**						
英文名　：	Seminar for a Subject of Special Study 4						
担当者　：	白木　琢磨・松橋　珠子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	4年次	開講期：	後期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品安全工学科では、3年生前期に卒業研究を行う研究室の配属が決まる。専攻科目演習は、配属された研究室において課される卒業研究を遂行するために、必要となる専門的知識や実験法について学ぶ。授業は研究室単位のゼミナール方式で行われる。
専攻科目演習Ⅳでは、学術雑誌に掲載されている科学論文の構成や内容について理解し、卒業研究論文の作成法について学ぶ。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

図書館やインターネットを通じて論文を検索できるようになる。論文の構成、章立てを理解する。論文作成の際の章、節、項を組み立てることができる。
自分の研究テーマに関連した論文を読み、研究の学術的背景を理解する。本科目の修得は、食品安全工学科が定めるディプロマポリシー4の達成に関与する。

■成績評価方法および基準

自分自身の課題のプレゼンテーション 50%
他の発表者に対する質問やコメント 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

演習科目であるため、発表の内容について授業時間内に逐次担当教員からフィードバックが行われます。

■教科書

【留意事項】配属された研究室の担当教員に問い合わせること。

■参考文献

【留意事項】配属された研究室の担当教員に問い合わせること。

■関連科目

配属した研究室により異なる。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

（代表・学科長）東研究室(東1号館4階409)・azuma@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

複数の教員が担当するため、ユニバーサルパスポートのオフィスアワー一覧を参照のこと。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

各自の卒業研究テーマに関する論文の調査を行い、系統だてて整理するとともに、卒業研究において何をどのように明らかにす

べきかを考察する。また、この考察をもとに各自実験計画を立て、その内容・進捗状況について発表し、担当教員や他の学生とのディスカッションを通じて卒業研究の方向性を検討する。さらに、卒業論文の章立て、その内容および作成方法について議論し、論文作成の準備を行う。
予習内容：各自の研究テーマに関する参考文献の調査、整理。実験ノートの整理とプレゼンテーション資料の作成。
予習時間：450分
復習内容：演習でのディスカッション内容を整理して、次の実験の計画を練り、論文作成に備える。
復習時間：450分

第1回　学術雑誌とは（授業形式：演習）

第2回　論文の講読（1）論文の検索（授業形式：演習）

第3回　論文の講読（2）論文の構成（授業形式：演習）

第4回　論文の講読（3）要旨（授業形式：演習）

第5回　論文の講読（4）序論（授業形式：演習）

第6回　論文の講読（5）材料と方法（授業形式：演習）

第7回　論文の講読（6）結果（授業形式：演習）

第8回　論文の講読（7）考察（授業形式：演習）

第9回　論文の講読（8）参考文献（授業形式：演習）

第10回　論文の講読（9）関連文献の検索・収集（授業形式：演習）

第11回　卒業論文の作成法（1）タイトルとストーリー（授業形式：演習）

第12回　卒業論文の作成法（2）図表の作成（授業形式：演習）

第13回　卒業論文の作成法（3）本文の作成（授業形式：演習）

第14回　卒業論文の作成法（4）論理のチェック（授業形式：演習）

第15回　卒業論文の作成法（5）論文の完成（授業形式：演習）

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**専攻科目演習Ⅳ**						
英文名　：	Seminar for a Subject of Special Study 4						
担当者　：	武部　聡						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	4年次	開講期：	後期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品安全工学科では、3年生前期に卒業研究を行う研究室の配属が決まる。専攻科目演習は、配属された研究室において課される卒業研究を遂行するために、必要となる専門的知識や実験法について学ぶ。授業は研究室単位のゼミナール方式で行われる。
専攻科目演習Ⅳでは、学術雑誌に掲載されている科学論文の構成や内容について理解し、卒業研究論文の作成法について学ぶ。
なお、本授業は基本的に対面で行いますが、ICTの訓練の一環としてメディア授業も併用します。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

図書館やインターネットを通じて論文を検索できるようになる。論文の構成、章立てを理解する。論文作成の際の章、節、項を組み立てることができる。
自分の研究テーマに関連した論文を読み、研究の学術的背景を理解する。本科目の修得は、食品安全工学科が定めるディプロマポリシー２の達成に関与する。

■成績評価方法および基準

授業中の発表 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

演習科目であるため、発表の内容について授業時間内に逐次担当教員からフィードバックが行われます。

■教科書

【留意事項】配属された研究室の担当教員に問い合わせること。

■参考文献

【留意事項】配属された研究室の担当教員に問い合わせること。

■関連科目

配属した研究室により異なる。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

（代表・学科長）東研究室(東1号館4階409)・azuma@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

複数の教員が担当するため、ユニバーサルパスポートのオフィスアワー一覧を参照のこと。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

各自の卒業研究テーマに関する論文の調査を行い、系統だてて整理するとともに、卒業研究において何をどのように明らかにす

べきかを考察する。また、この考察をもとに各自実験計画を立て、その内容・進捗状況について発表し、担当教員や他の学生とのディスカッションを通じて卒業研究の方向性を検討する。さらに、卒業論文の章立て、その内容および作成方法について議論し、論文作成の準備を行う。
すべての回の授業形態は「演習」です。
予習内容：各自の研究テーマに関する参考文献の調査、整理。実験ノートの整理とプレゼンテーション資料の作成。
予習時間：450分
復習内容：演習でのディスカッション内容を整理して、次の実験の計画を練り、論文作成に備える。
復習時間：450分

第1回　学術雑誌とは

第2回　論文の講読（1）論文の検索

第3回　論文の講読（2）論文の構成

第4回　論文の講読（3）要旨

第5回　論文の講読（4）序論

第6回　論文の講読（5）材料と方法

第7回　論文の講読（6）結果

第8回　論文の講読（7）考察

第9回　論文の講読（8）参考文献

第10回　論文の講読（9）関連文献の検索・収集

第11回　卒業論文の作成法（1）タイトルとストーリー

第12回　卒業論文の作成法（2）図表の作成

第13回　卒業論文の作成法（3）本文の作成

第14回　卒業論文の作成法（4）論理のチェック

第15回　卒業論文の作成法（5）論文の完成

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**専門ゼミ**						
英文名　：	Subject Seminar						
担当者　：	東　慶直・石丸　恵・岸田　邦博・白木　琢磨・芦田　久・尾﨑　嘉彦・ 江口　陽子・松橋　珠子・栗原　新・泉　秀実・武部　聡						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	1単位	開講年次：	2年次	開講期：	後期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品安全工学科の学生は3年次より研究室に配属され、専攻科目演習や卒業研究を履修します。専門ゼミは、配属に先立って、研究室における学修を円滑に始められるように、開講されるものです。研究領域ごとに分類された各分野の演習Ⅰでは、研究を進める上で基礎となる知識や手法について、ゼミ形式で学修し、その定着を目指します。演習Ⅱでは、さらに発展的な内容を加え、研究室配属後の学修に備えることを目的にしています。受講生は少人数の6つのグループに分かれ、グループごとにそれぞれの演習を受講することになりますので、受講の順序はグループによって異なります。総合演習は、全受講生が一緒に受講します。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は食品安全工学科の各研究領域における研究を進める上で基礎となる知識を修得すると共に手法についての理解を深めます。本科目の修得は、食品安全工学科が定めるディプロマポリシー3の達成に関与します。

■成績評価方法および基準

授業中の発表および課題 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

演習科目であるため、発表及び課題については、講義時間内に逐次フィードバックされます。

■教科書

【留意事項】プリント配付

■参考文献

【留意事項】特になし

■関連科目

食品化学実験、食品生物学実験

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

（代表・学科長）東研究室（東1号館4階409）・azuma@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

複数の教員が担当するため、ユニバーサルパスポートのオフィスアワー一覧を参照のこと。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

各回のテーマについての講義に対して、質問や意見を述べて討論する。また、小グループに分かれて討論し、意見をまとめてプレゼンテーションする。
予習内容：各回のテーマに関する情報収集やレポート作成の準備等、演習に主体的に参加するための準備をおこなう。
予習時間：450分
復習内容：レポートの作成。
復習時間：450分

第1回　食品化学演習Ⅰ（授業形式：演習を含む講義）

第2回　食品保全学演習Ⅰ（授業形式：演習を含む講義）

第3回　食品微生物学演習Ⅰ（授業形式：演習を含む講義）

第4回　食生産・環境学演習Ⅰ（授業形式：演習を含む講義）

第5回　食品機能学演習Ⅰ（授業形式：演習を含む講義）

第6回　計算科学演習Ⅰ（授業形式：演習を含む講義）

第7回　食品化学演習Ⅱ（授業形式：演習を含む講義）

第8回　食品保全学演習Ⅱ（授業形式：演習を含む講義）

第9回　食品微生物学演習Ⅱ（授業形式：演習を含む講義）

第10回　食生産・環境学演習Ⅱ（授業形式：演習を含む講義）

第11回　食品機能学演習Ⅱ（授業形式：演習を含む講義）

第12回　計算科学演習Ⅱ（授業形式：演習を含む講義）

第13回　総合演習Ⅰ（授業形式：演習を含む講義）

第14回　総合演習Ⅱ（授業形式：演習を含む講義）

第15回　総合演習Ⅲ（授業形式：演習を含む講義）

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	**線形代数学**						
英文名 :	Linear Algebra						
担当者 :	堤　裕之						
開講学科 :	食品安全工学科						
単　位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	専門科目						
備　考 :	生物工学科、遺伝子工学科、食品安全工学科科目						

■授業概要

線形代数学は、生物理工学部共通の学部基礎科目である。本科目は、微分積分学と共に、問題を数理的に取り扱うための最も基本的な用語を提供する科目であり、ここで学ぶ用語は、理工学は言うに及ばず、経営学などの広範な分野でも用いられる。とりわけ、通信・システム・情報工学、ロボット工学、シミュレーション工学、医工学などに関連する基礎分野において、線形代数学は、その基礎理論を記述する上で、重要な役割を果たしており、特に、行列、行列式、ベクトルは、コンピュータを利用した科学技術計算の理論と方法を理解する上で不可欠な用語である。本講では、連立一次方程式の解法を足がかりに、まず、行列、行列式の概念の有用性と計算方法を学修し、それを元に、線型性の概念について取り上げ、さらに、線形的な問題を取り扱う際の最も基本的な方法論である対角化の理論と実践について学修する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者はこの授業を履修することによって以下を身に付けることができます。
・行列・ベクトルの概念を理解すると共に、その基本的な演算が実行できる。
・連立1次方程式の解と逆行列をはきだし法で求めることができる。
・行列式の値と余因子、基本変形の関係を理解すると共に、その関係を用いて実際に行列式を計算できる。
・余因子と行列式、逆行列の関係を理解する。
・線型空間・内積空間と関係する諸概念について理解する。
・線形写像について理解すると共に、その取り扱いの基本的方法論である対角化を実行できる。
なお、本科目は、生物理工学部のディプロマポリシーの 1, 2, 5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

レポート 30%
試験 70%

■試験・課題に対するフィードバック方法

中間まとめレポートと期末まとめレポートは指定教科書の問題の中から出題されます。教科書には略解が載せられていますが、特に注意が必要な問題については授業内で解説します。試験問題についても同様です。

■教科書

[ISBN]9784320016606 『やさしく学べる線形代数』 (石村 園子, 共立出版 : 2000)

■参考文献

[ISBN]9784000055567 『線型代数入門』 (松坂 和夫, 岩波書店 : 1980)

■関連科目

基礎数学、数学、微分積分学

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）　：tsutsumi@ouhs.ac.jp
備考： 携帯メールからの質問は受け付けない.

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　行列（演習を含む講義）

予習内容：教科書第1章第1節に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書第1章第1節練習問題を解く。
復習時間：30分
行列の定義，その基本的演算方法について解説する.

第2回　連立1次方程式の掃き出しによる解法（演習を含む講義）

予習内容：教科書第1章第2-1, 2-2, 2-3, 2-4節に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書第1章第2-1, 2-2, 2-3, 2-4節練習問題を解く。
復習時間：30分
行列の基本変形と基本変形を複数回実施することで可能となる連立方程式の掃き出しによる解放について解説する.

第3回　逆行列の掃き出しによる導出（演習を含む講義）

予習内容：教科書第1章第2-5節に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書第1章第2-5節練習問題を解く。
復習時間：30分
正則行列と逆行列の概念を解説し，掃き出しを用いて実際に逆行列を求める方法について解説する.

第4回　行列式（演習を含む講義）

予習内容：教科書第1章第3-1節に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書第1章第3-1節練習問題を解く。
復習時間：30分
行列が正則行列か否かを判定する行列式の計算方法について解説する.

第5回　行列式の性質（演習を含む講義）

予習内容：教科書第1章第3-2節に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書第1章第3-2節練習問題を解く。
復習時間：30分
行列式の意味と，そこから導かれる行列式の様々な性質について解説する.

第6回　ベクトルと内積（演習を含む講義）

予習内容：教科書第2章第1-1, 1-2節に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書第2章第1-1, 1-2節練習問題を解く。
復習時間：30分
ベクトルと内積について復習する.

第7回　線形空間（演習を含む講義）

予習内容：教科書第2章第2節に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書第2章第2節練習問題を解く。
復習時間：30分
線形空間の概念と具体例を解説する.

第8回　内積空間（演習を含む講義）

予習内容：教科書第2章第3-1節に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書第2章第3-1節練習問題を解く。

復習時間：30分
内積空間の概念と具体例を解説する.

第9回　正規直交基底（演習を含む講義）

予習内容：教科書第2章第3-2節に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書第2章第3-2節練習問題を解く。
復習時間：30分
正規直交基底の概念と導出の仕方について解説する.

第10回　固有値と固有ベクトル（演習を含む講義）

予習内容：教科書第2章第3-3節に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書第2章第3-3節練習問題を解く。
復習時間：30分
行列の固有値と固有ベクトルの概念，およびその導出について解説する.

第11回　対角化（演習を含む講義）

予習内容：教科書第2章第3-4節に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書第2章第3-4節練習問題を解く。
復習時間：30分
行列の対角化とその意味を解説する.

第12回　直交行列による対角化（演習を含む講義）

予習内容：教科書第2章第3-4節に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書第2章第3-4節練習問題を解く。
復習時間：30分
直交行列の概念と直交行列による対角化の意義について解説する.

第13回　対角化・直交行列による対角化の実例（演習を含む講義）

予習内容：教科書第2章第3-4節に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書第2章第3-4節練習問題を解く。
復習時間：30分
直交行列による対角化をどのように行うのかについて具体的に解説する.

第14回　2次曲線の標準形（演習を含む講義）

予習内容：教科書第2章第3-5節に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書第2章第3-5節練習問題を解く。
復習時間：30分
直交行列の対角化の最も典型的な応用例である2次曲線の分類について解説する.

第15回　まとめ（演習）

予習内容：教科書全体に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：配布プリントの演習問題を解く。
復習時間：60分
これまでの授業内容についてまとめる.

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**卒業研究**						
英文名　：	Graduation Thesis						
担当者　：	芦田　久						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	6単位	開講年次：	4年次	開講期：	通年	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品安全工学科では3年生前期に卒業研究を行う研究室の配属が決まり、約1年間の準備期間を経た後、4年生進級と同時に本格的に始動する。配属した研究室の指導教員のもと、食品安全工学に関連する専門分野の中から研究課題を設定する。実際の研究に即応できる能力を高めることを目的とし、研究課題について、実験計画の立案、実施、成果のまとめ、卒業研究論文の作成、さらに卒業研究発表会における口頭発表の準備から実施までを指導する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

PBL（課題解決学習）・ディスカッション、ディベート・反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク・実験・実習科目

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

配属した研究室の指導教員のもとで、実験計画の立て方、進め方、データの取扱いについて習熟する。研究室内ゼミや卒業研究発表会等に用いる資料の作成法を習得し、プレゼンテーションの技法を身に付ける。さらに、研究内容の社会的意義や研究者としての社会的使命についても理解する。
食品安全工学科の卒業研究発表会で発表し、卒業研究論文を提出する。本科目の修得は、食品安全工学科が定めるすべてのディプロマポリシーの達成に関与するが、特にDP4の達成に主体的に関与する。

■成績評価方法および基準

口頭試問 50%
卒業論文 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

卒業研究発表会での口頭試問では、質問した教員から逐次その内容についてのフィードバックが行われます。
卒業論文は作成過程で逐次指導教員よりフィードバックを行いながら完成させることになります。

■教科書

【留意事項】指導教員により異なる。

■参考文献

【留意事項】指導教員により異なる。

■関連科目

専門科目全般

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

（代表・学科長）東研究室(東1号館4階409)・azuma@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

（代表・学科長）　東　月曜2限
その他、随時（事前にメールにてアポイントをとってください。）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

食品免疫学研究室の卒業研究テーマ（授業形式：実験、実習）

1. 腸内細菌の糖質分解酵素に関する研究
2. 免疫調節活性を持つ乳酸菌に関する研究
3. 乳酸菌を用いた経口ワクチンに関する研究
4. 食品成分の腸内細菌フローラ調節機能に関する研究

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業
企業等から提供された課題（企画提案等）に取り組む授業
学外でのインターンシップや実習、研修を授業の一環として位置付けている授業

科目名　：	**卒業研究**						
英文名　：	Graduation Thesis						
担当者　：	東　慶直						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	6単位	開講年次：	4年次	開講期：	通年	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品安全工学科では3年生前期に卒業研究を行う研究室の配属が決まり、約1年間の準備期間を経た後、4年生進級と同時に本格的に始動する。配属した研究室の指導教員のもと、食品安全工学に関連する専門分野の中から研究課題を設定する。実際の研究に即応できる能力を高めることを目的とし、研究課題について、実験計画の立案、実施、成果のまとめ、卒業研究論文の作成、さらに卒業研究発表会における口頭発表の準備から実施までを指導する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

PBL（課題解決学習）・ディスカッション、ディベート・反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク・実験・実習科目

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

配属した研究室の指導教員のもとで、実験計画の立て方、進め方、データの取扱いについて習熟する。研究室内ゼミや卒業研究発表会等に用いる資料の作成法を習得し、プレゼンテーションの技法を身に付ける。さらに、研究内容の社会的意義や研究者としての社会的使命についても理解する。
食品安全工学科の卒業研究発表会で発表し、卒業研究論文を提出する。本科目の修得は、食品安全工学科が定めるすべてのディプロマポリシーの達成に関与するが、特にDP4の達成に主体的に関与する。

■成績評価方法および基準

口頭試問 50%
卒業論文 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

卒業研究発表会での口頭試問では、質問した教員から逐次その内容についてのフィードバックが行われます。
卒業論文は作成過程で逐次指導教員よりフィードバックを行いながら完成させることになります。

■教科書

【留意事項】指導教員により異なる。

■参考文献

【留意事項】指導教員により異なる。

■関連科目

専門科目全般

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

（代表・学科長）東研究室(東1号館4階409)・azuma@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

（代表・学科長）　東　月曜2限
その他、随時（事前にメールにてアポイントをとってください。）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

分子生化学
1．微生物由来殺虫タンパク質遺伝子のスクリーニング
2．タンパク質工学を用いた高度選択毒性を示す微生物農薬の作出
3．発酵有用微生物の進化工学的改良
4．肺炎クラミジア感染と動脈硬化との関係の解明
5．植物病原菌の感染機構の解析

食品保全学
1．青果物およびカット青果物の安全性確保の研究
2．青果物およびカット青果物の品質保持の研究
3．果実の軟化機構の解明
4．園芸作物の植物病原菌感染時の細胞壁応答反応機構の解明

食品衛生管理学
1. 食中毒菌の抗病原性剤の探索
2．食中毒菌のストレス耐性機構の研究
3．食中毒菌に対するバクテリオファージの探索
4．ミュータンス菌バイオフィルム形成阻害剤の探索と阻害機構の解析

食品機能学
1．農作物の栽培過程、食品加工過程における機能性成分の変動の解析
2．機能性を活用する新たな食品加工技術の開発
3．食品由来機能性成分の作用機序の解明
4．食品由来機能性成分の生体内動態の解析

動物栄養学
1．食肉品質の光学的評価法に関する研究
2．栄養制御による肉質向上技術の開発
3．エコフィードの利用に関する研究
4．食品成分の機能性の実験動物での評価
（1）糖・脂質代謝への効果
（2）中枢神経系への効果
（3）その他

食品免疫学
1．果実由来成分の食品機能に関する研究
2．腸管免疫を活性化させる食品成分の探索
3．ビフィズス菌・乳酸菌によるオリゴ糖代謝経路の解明
4. 病原菌のポリアミンを介したシグナル伝達機構の解明
5. 腸内常在菌叢最優勢種のハイスループット培養系の開発
6. 食品成分の腸内細菌による変換を通じた慢性疾患の発症機構の解明

食品システム学
１．食料生産・流通・消費と社会環境の変化の関連に関する研究
２．多様な農業経営体のありようや持続的発展に関する研究
３．消費者の食料消費行動に関する研究

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業
企業等から提供された課題（企画提案等）に取り組む授業
学外でのインターンシップや実習、研修を授業の一環として位置付けている授業

科目名　：	**卒業研究**						
英文名　：	Graduation Thesis						
担当者　：	石丸　恵						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	6単位	開講年次：	4年次	開講期：	通年	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品安全工学科では3年生前期に卒業研究を行う研究室の配属が決まり、約1年間の準備期間を経た後、4年生進級と同時に本格的に始動する。配属した研究室の指導教員のもと、食品安全工学に関連する専門分野の中から研究課題を設定する。実際の研究に即応できる能力を高めることを目的とし、研究課題について、実験計画の立案、実施、成果のまとめ、卒業研究論文の作成、さらに卒業研究発表会における口頭発表の準備から実施までを指導する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

PBL（課題解決学習）・ディスカッション、ディベート・反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク・実験・実習科目

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

配属した研究室の指導教員のもとで、実験計画の立て方、進め方、データの取扱いについて習熟する。研究室内ゼミや卒業研究発表会等に用いる資料の作成法を習得し、プレゼンテーションの技法を身に付ける。さらに、研究内容の社会的意義や研究者としての社会的使命についても理解する。
食品安全工学科の卒業研究発表会で発表し、卒業研究論文を提出する。本科目の修得は、食品安全工学科が定めるすべてのディプロマポリシーの達成に関与するが、特にDP4の達成に主体的に関与する。

■成績評価方法および基準

口頭試問 50%
卒業論文 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

卒業研究発表会での口頭試問では、質問した教員から逐次その内容についてのフィードバックが行われます。
卒業論文は作成過程で逐次指導教員よりフィードバックを行いながら完成させることになります。

■教科書

【留意事項】指導教員により異なる。

■参考文献

【留意事項】指導教員により異なる。

■関連科目

専門科目全般

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

（代表・学科長）芦田研究室(東1号館5階515)・ashida@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

（代表・学科長）　芦田　火曜3限、水曜3限
その他、随時（事前にメールにてアポイントをとってください。）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

分子生化学
1．微生物由来殺虫タンパク質遺伝子のスクリーニング
2．タンパク質工学を用いた高度選択毒性を示す微生物農薬の作出
3．発酵有用微生物の進化工学的改良
4．肺炎クラミジア感染と動脈硬化との関係の解明
5．植物病原菌の感染機構の解析

食品保全学
1．青果物およびカット青果物の安全性確保の研究
2．青果物およびカット青果物の品質保持の研究
3．果実の軟化機構の解明
4．園芸作物の植物病原菌感染時の細胞壁応答反応機構の解明

食品衛生管理学
1. 食中毒菌の抗病原性剤の探索
2．食中毒菌のストレス耐性機構の研究
3．食中毒菌に対するバクテリオファージの探索
4．ミュータンス菌バイオフィルム形成阻害剤の探索と阻害機構の解析

食品機能学
1．農作物の栽培過程、食品加工過程における機能性成分の変動の解析
2．機能性を活用する新たな食品加工技術の開発
3．食品由来機能性成分の作用機序の解明
4．食品由来機能性成分の生体内動態の解析

動物栄養学
1．食肉品質の光学的評価法に関する研究
2．栄養制御による肉質向上技術の開発
3．エコフィードの利用に関する研究
4．食品成分の機能性の実験動物での評価
（1）糖・脂質代謝への効果
（2）中枢神経系への効果
（3）その他

食品免疫学
1．果実由来成分の食品機能に関する研究
2．腸管免疫を活性化させる食品成分の探索
3．ビフィズス菌・乳酸菌によるオリゴ糖代謝経路の解明
4. 病原菌のポリアミンを介したシグナル伝達機構の解明
5. 腸内常在菌叢最優勢種のハイスループット培養系の開発
6. 食品成分の腸内細菌による変換を通じた慢性疾患の発症機構の解明

食品システム学
１．食料生産・流通・消費と社会環境の変化の関連に関する研究
２．多様な農業経営体のありようや持続的発展に関する研究
３．消費者の食料消費行動に関する研究

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業
企業等から提供された課題（企画提案等）に取り組む授業
学外でのインターンシップや実習、研修を授業の一環として位置付けている授業

科目名　：	**卒業研究**						
英文名　：	Graduation Thesis						
担当者　：	泉　秀実						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	6単位	開講年次：	4年次	開講期：	通年	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品安全工学科では3年生前期に卒業研究を行う研究室の配属が決まり、約1年間の準備期間を経た後、4年生進級と同時に本格的に始動する。配属した研究室の指導教員のもと、食品安全工学に関連する専門分野の中から研究課題を設定する。実際の研究に即応できる能力を高めることを目的とし、研究課題について、実験計画の立案、実施、成果のまとめ、卒業研究論文の作成、さらに卒業研究発表会における口頭発表の準備から実施までを指導する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

PBL（課題解決学習）・ディスカッション、ディベート・反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク・実験・実習科目

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

指導教員のもとで、実験計画の立て方、進め方、データの取扱いについて習熟する。研究室内ゼミや卒業研究発表会等に用いる資料の作成法を習得し、プレゼンテーションの技法を身に付ける。さらに、研究内容の社会的意義や研究者としての社会的使命についても理解する。
食品安全工学科の卒業研究発表会で発表し、卒業研究論文を提出する。本科目の修得は、食品安全工学科が定めるすべてのディプロマポリシーの達成に関与するが、特にDP4の達成に主体的に関与する。

■成績評価方法および基準

口頭試問 50%
卒業論文 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

卒業研究発表会での口頭試問では、質問した教員から逐次その内容についてのフィードバックが行われます。
卒業論文は作成過程で逐次指導教員よりフィードバックを行いながら完成させることになります。

■教科書

特に指定しないが、必要に応じて紹介する。

■参考文献

研究に関連する国内外の論文。

■関連科目

食品保全学、食品安全学、世界の食生産事情

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

泉研究室（西1号館4階453）・izumi@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

月曜日2限と水曜日2限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

食品保全学

1. 青果物の安全性確保の研究
2. カット青果物の安全性確保の研究
3. 青果物の品質保持の研究
4. カット青果物の品質保持の研究

■ホームページ

近畿大学生物理工学部食品保全学研究室（Team Izumi） https://sites.google.com/view/kindai-laboffoodsafety/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業
企業等から提供された課題（企画提案等）に取り組む授業
学外でのインターンシップや実習、研修を授業の一環として位置付けている授業

科目名　：	**卒業研究**						
英文名　：	Graduation Thesis						
担当者　：	江口　陽子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	6単位	開講年次：	4年次	開講期：	通年	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品安全工学科では、３年生前期の初めに卒業研究を実施する研究室の配属を決定する。当研究室では、３年生を対象に、卒業研究に必要な基礎実験を前期に行い、後期には卒業研究のテーマを決定して卒業研究の指導を開始する。４年生では、実際の研究に即応できる能力を高めることを目的とし、各々の研究課題について、実験計画の立案、実施、成果のまとめ、卒業研究論文の作成、さらに卒業研究発表会における口頭発表の準備から実施までを指導する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

PBL（課題解決学習）・ディスカッション、ディベート・反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク・実験・実習科目

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

実験計画の立て方、進め方、データの取扱いについて習熟する。研究室内ゼミや卒業研究発表会等に用いる資料の作成法を習得し、プレゼンテーションの技法を身に付ける。さらに、研究内容の社会的意義や研究者としての社会的使命についても理解する。
食品安全工学科の卒業研究発表会で発表し、卒業研究論文を提出する。本科目の修得は、食品安全工学科が定めるすべてのディプロマポリシーの達成に関与するが、特にDP4の達成に主体的に関与する。

■成績評価方法および基準

口頭試問 50%
卒業論文 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

卒業研究発表会での口頭試問では、質問した教員から逐次その内容についてのフィードバックが行われます。
卒業論文は作成過程で逐次指導教員よりフィードバックを行いながら完成させることになります。

■教科書

特にありません。必要な実験書は、研究室や図書館のものを使用する。

■参考文献

随時、配布する。

■関連科目

専門科目全般

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

江口研究室(東1号館4階417)・eguchi@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜3限、水曜3限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

食品衛生管理学研究室では、ヒトに対して有害な細菌の制御を目標に次のテーマで研究を行っています。

1. カンピロバクター菌のストレス応答の解析
   カンピロバクター菌のストレス耐性メカニズムの解明やストレス応答と二成分制御系との関連

2. カンピロバクター菌に対するバクテリオファージの単離と解析

3. 大腸菌の酸応答性 EvgS センサーの活性化機構の解析

4. センサーヒスチジンキナーゼ阻害剤の探索と評価　ー新規抗生剤の開発ー

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業
企業等から提供された課題（企画提案等）に取り組む授業

科目名　：	**卒業研究**						
英文名　：	Graduation Thesis						
担当者　：	尾﨑　嘉彦						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	6単位	開講年次：	4年次	開講期：	通年	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品安全工学科では3年生前期に卒業研究を行う研究室の配属が決まり、約1年間の準備期間を経た後、4年生進級と同時に本格的に始動する。配属した研究室の指導教員のもと、食品安全工学に関連する専門分野の中から研究課題を設定する。実際の研究に即応できる能力を高めることを目的とし、研究課題について、実験計画の立案、実施、成果のまとめ、卒業研究論文の作成、さらに卒業研究発表会における口頭発表の準備から実施までを指導する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

PBL（課題解決学習）・ディスカッション、ディベート・反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク・実験・実習科目

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

配属した研究室の指導教員のもとで、実験計画の立て方、進め方、データの取扱いについて習熟する。研究室内ゼミや卒業研究発表会等に用いる資料の作成法を習得し、プレゼンテーションの技法を身に付ける。さらに、研究内容の社会的意義や研究者としての社会的使命についても理解する。
食品安全工学科の卒業研究発表会で発表し、卒業研究論文を提出する。本科目の修得は、食品安全工学科が定めるすべてのディプロマポリシーの達成に関与するが、特にDP2の達成に主体的に関与する。

■成績評価方法および基準

口頭試問 50%
卒業論文 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

卒業研究発表会での口頭試問では、質問した教員から逐次その内容についてのフィードバックが行われます。
卒業論文は作成過程で逐次指導教員よりフィードバックを行いながら完成させることになります。

■教科書

【留意事項】随時資料を配付します。

■参考文献

【留意事項】研究内容に応じて個別に指定します。

■関連科目

専門科目全般

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

（担当教員）尾﨑研究室　（西1号館1階153）・ozaki@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜・3限（その他随時、Slack又はメールでアポイントメントをお願いします）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

1．農作物の栽培過程、食品加工過程における機能性成分の変動の解析
2．農作物の機能性を活用する新たな食品加工技術の開発
（授業形式: 演習を含む講義および実験）

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業
企業等から提供された課題（企画提案等）に取り組む授業
学外でのインターンシップや実習、研修を授業の一環として位置付けている授業

科目名　：	**卒業研究**						
英文名　：	Graduation Thesis						
担当者　：	岸田　邦博						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	6単位	開講年次：	4年次	開講期：	通年	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品安全工学科では3年生前期に卒業研究を行う研究室の配属が決まり、約1年間の準備期間を経た後、4年生進級と同時に本格的に始動する。配属した研究室の指導教員のもと、食品安全工学に関連する専門分野の中から研究課題を設定する。実際の研究に即応できる能力を高めることを目的とし、研究課題について、実験計画の立案、実施、成果のまとめ、卒業研究論文の作成、さらに卒業研究発表会における口頭発表の準備から実施までを指導する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

PBL（課題解決学習）・ディスカッション、ディベート・反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク・実験・実習科目

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

配属した研究室の指導教員のもとで、実験計画の立て方、進め方、データの取扱いについて習熟する。研究室内ゼミや卒業研究発表会等に用いる資料の作成法を習得し、プレゼンテーションの技法を身に付ける。さらに、研究内容の社会的意義や研究者としての社会的使命についても理解する。
食品安全工学科の卒業研究発表会で発表し、卒業研究論文を提出する。本科目の修得は、食品安全工学科が定めるすべてのディプロマポリシーの達成に関与するが、特にDP2の達成に主体的に関与する。

■成績評価方法および基準

口頭試問 50%
卒業論文 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

卒業研究発表会での口頭試問では、質問した教員から逐次その内容についてのフィードバックが行われます。
卒業論文は作成過程で逐次指導教員よりフィードバックを行いながら完成させることになります。

■教科書

必要に応じて配布

■参考文献

必要に応じて配布

■関連科目

専門科目全般

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

岸田研究室(1号館1階159)・kishida@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

水曜1限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

食品機能学的研究（授業形式：実習）

1. 食品成分による消化・吸収阻害作用の検討
2. 食品成分が脂質代謝に与える影響の解析
3. 単糖の吸収に関与する小腸トランスポーターの解明

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業
企業等から提供された課題（企画提案等）に取り組む授業
学外でのインターンシップや実習、研修を授業の一環として位置付けている授業

科目名　：	**卒業研究**						
英文名　：	Graduation Thesis						
担当者　：	栗原　新						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	6単位	開講年次：	4年次	開講期：	通年	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品安全工学科では3年生前期に卒業研究を行う研究室の配属が決まり、約1年間の準備期間を経た後、4年生進級と同時に本格的に始動する。配属した研究室の指導教員のもと、食品安全工学に関連する専門分野の中から研究課題を設定する。実際の研究に即応できる能力を高めることを目的とし、研究課題について、実験計画の立案、実施、成果のまとめ、卒業研究論文の作成、さらに卒業研究発表会における口頭発表の準備から実施までを指導する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

PBL（課題解決学習）・ディスカッション、ディベート・反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク・実験・実習科目

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

配属した研究室の指導教員のもとで、実験計画の立て方、進め方、データの取扱いについて習熟する。研究室内ゼミや卒業研究発表会等に用いる資料の作成法を習得し、プレゼンテーションの技法を身に付ける。さらに、研究内容の社会的意義や研究者としての社会的使命についても理解する。
食品安全工学科の卒業研究発表会で発表し、卒業研究論文を提出する。本科目の修得は、食品安全工学科が定めるすべてのディプロマポリシーの達成に関与するが、特にDP4の達成に主体的に関与する。

■成績評価方法および基準

口頭試問 50%
卒業論文 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

卒業研究発表会での口頭試問では、質問した教員から逐次その内容についてのフィードバックが行われます。
卒業論文は作成過程で逐次指導教員よりフィードバックを行いながら完成させることになります。

■教科書

【留意事項】指導教員により異なる。

■参考文献

【留意事項】指導教員により異なる。

■関連科目

専門科目全般

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

専修科目の教員（栗原研究室：東1号館5階513）・skurihara@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

月曜3限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

分子生化学
1. 微生物由来殺虫タンパク質遺伝子のスクリーニング
2. タンパク質工学を用いた高度選択毒性を示す微生物農薬の作出
3. 発酵有用微生物の進化工学的改良
4. 肺炎クラミジア感染と動脈硬化との関係の解明
5. 植物病原菌の感染機構の解析

食品保全学
1. 青果物およびカット青果物の安全性確保の研究
2. 青果物およびカット青果物の品質保持の研究
3. 果実の軟化機構の解明
4. 園芸作物の植物病原菌感染時の細胞壁応答反応機構の解明

食品衛生管理学
1. 食中毒菌の抗病原性剤の探索
2. 食中毒菌のストレス耐性機構の研究
3. 食中毒菌に対するバクテリオファージの探索
4. ミュータンス菌バイオフィルム形成阻害剤の探索と阻害機構の解析

食品機能学
1. 農作物の栽培過程、食品加工過程における機能性成分の変動の解析
2. 機能性を活用する新たな食品加工技術の開発
3. 食品由来機能性成分の作用機序の解明
4. 食品由来機能性成分の生体内動態の解析

動物栄養学
1. 食肉品質の光学的評価法に関する研究
2. 栄養制御による肉質向上技術の開発
3. エコフィードの利用に関する研究
4. 食品成分の機能性の実験動物での評価
（1）糖・脂質代謝への効果
（2）中枢神経系への効果
（3）その他

食品免疫学
1. 果実由来成分の食品機能に関する研究
2. 腸管免疫を活性化させる食品成分の探索
3. ビフィズス菌・乳酸菌によるオリゴ糖代謝経路の解明
4. 病原菌のポリアミンを介したシグナル伝達機構の解明
5. 腸内常在菌叢最優勢種のハイスループット培養系の開発
6. 食品成分の腸内細菌による変換を通じた慢性疾患の発症機構の解明

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業
企業等から提供された課題（企画提案等）に取り組む授業
学外でのインターンシップや実習、研修を授業の一環として位置付けている授業

科目名　：	**卒業研究**						
英文名　：	Graduation Thesis						
担当者　：	白木　琢磨						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	6単位	開講年次：	4年次	開講期：	通年	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品安全工学科では3年生前期に卒業研究を行う研究室の配属が決まり、約1年間の準備期間を経た後、4年生進級と同時に本格的に始動する。配属した研究室の指導教員のもと、食品安全工学に関連する専門分野の中から研究課題を設定する。実際の研究に即応できる能力を高めることを目的とし、研究課題について、実験計画の立案、実施、成果のまとめ、卒業研究論文の作成、さらに卒業研究発表会における口頭発表の準備から実施までを指導する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

PBL（課題解決学習）・ディスカッション、ディベート・反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク・実験・実習科目

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

配属した研究室の指導教員のもとで、実験計画の立て方、進め方、データの取扱いについて習熟する。研究室内ゼミや卒業研究発表会等に用いる資料の作成法を習得し、プレゼンテーションの技法を身に付ける。さらに、研究内容の社会的意義や研究者としての社会的使命についても理解する。
食品安全工学科の卒業研究発表会で発表し、卒業研究論文を提出する。本科目の修得は、食品安全工学科が定めるすべてのディプロマポリシーの達成に関与するが、特にDP4の達成に主体的に関与する。

■成績評価方法および基準

口頭試問 50%
卒業論文 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

卒業研究発表会での口頭試問では、質問した教員から逐次その内容についてのフィードバックが行われます。
卒業論文は作成過程で逐次指導教員よりフィードバックを行いながら完成させることになります。

■教科書

【留意事項】指導教員により異なる。

■参考文献

【留意事項】指導教員により異なる。

■関連科目

専門科目全般

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

（代表・学科長）東研究室(東1号館4階409)・azuma@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

（代表・学科長）　東　月曜2限
その他、随時（事前にメールにてアポイントをとってください。）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

分子生化学
1. 微生物由来殺虫タンパク質遺伝子のスクリーニング
2. タンパク質工学を用いた高度選択毒性を示す微生物農薬の作出
3. 発酵有用微生物の進化工学的改良
4. 肺炎クラミジア感染と動脈硬化との関係の解明
5. 植物病原菌の感染機構の解析

食品保全学
1. 青果物およびカット青果物の安全性確保の研究
2. 青果物およびカット青果物の品質保持の研究
3. 果実の軟化機構の解明
4. 園芸作物の植物病原菌感染時の細胞壁応答反応機構の解明

食品衛生管理学
1. 食中毒菌の抗病原性剤の探索
2. 食中毒菌のストレス耐性機構の研究
3. 食中毒菌に対するバクテリオファージの探索
4. ミュータンス菌バイオフィルム形成阻害剤の探索と阻害機構の解析

食品機能学
1. 農作物の栽培過程、食品加工過程における機能性成分の変動の解析
2. 機能性を活用する新たな食品加工技術の開発
3. 食品由来機能性成分の作用機序の解明
4. 食品由来機能性成分の生体内動態の解析

動物栄養学
1. 食肉品質の光学的評価法に関する研究
2. 栄養制御による肉質向上技術の開発
3. エコフィードの利用に関する研究
4. 食品成分の機能性の実験動物での評価
（1）糖・脂質代謝への効果
（2）中枢神経系への効果
（3）その他

食品免疫学
1. 果実由来成分の食品機能に関する研究
2. 腸管免疫を活性化させる食品成分の探索
3. ビフィズス菌・乳酸菌によるオリゴ糖代謝経路の解明
4. 病原菌のポリアミンを介したシグナル伝達機構の解明
5. 腸内常在菌叢最優勢種のハイスループット培養系の開発
6. 食品成分の腸内細菌による変換を通じた慢性疾患の発症機構の解明

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業
企業等から提供された課題（企画提案等）に取り組む授業
学外でのインターンシップや実習、研修を授業の一環として位置付けている授業

科目名　：	**卒業研究**						
英文名　：	Graduation Thesis						
担当者　：	武部　聡						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	6単位	開講年次：	4年次	開講期：	通年	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品安全工学科では3年生前期に卒業研究を行う研究室の配属が決まり、約1年間の準備期間を経た後、4年生進級と同時に本格的に始動する。配属した研究室の指導教員のもと、食品安全工学に関連する専門分野の中から研究課題を設定する。実際の研究に即応できる能力を高めることを目的とし、研究課題について、実験計画の立案、実施、成果のまとめ、卒業研究論文の作成、さらに卒業研究発表会における口頭発表の準備から実施までを指導する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

PBL（課題解決学習）・ディスカッション、ディベート・反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク・実験・実習科目

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

配属した研究室の指導教員のもとで、実験計画の立て方、進め方、データの取扱いについて習熟する。研究室内ゼミや卒業研究発表会等に用いる資料の作成法を習得し、プレゼンテーションの技法を身に付ける。さらに、研究内容の社会的意義や研究者としての社会的使命についても理解する。
食品安全工学科の卒業研究発表会で発表し、卒業研究論文を提出する。本科目の修得は、食品安全工学科が定めるすべてのディプロマポリシーの達成に関与するが、特にDP2の達成に主体的に関与する。

■成績評価方法および基準

口頭試問 50%
卒業論文 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

卒業研究発表会での口頭試問では、質問した教員から逐次その内容についてのフィードバックが行われます。
卒業論文は作成過程で逐次指導教員よりフィードバックを行いながら完成させることになります。

■教科書

【留意事項】指導教員により異なる。

■参考文献

【留意事項】指導教員により異なる。

■関連科目

専門科目全般

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

（代表・学科長）東研究室(東1号館4階409)・azuma@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

（代表・学科長）　東　火曜3限、水曜3限
その他、随時（事前にメールにてアポイントをとってください。）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

すべての卒業研究課題は「実験」です。
分子生化学
1．微生物由来殺虫タンパク質遺伝子のスクリーニング
2．タンパク質工学を用いた高度選択毒性を示す微生物農薬の作出
3．発酵有用微生物の進化工学的改良
4．肺炎クラミジア感染と動脈硬化との関係の解明
5．植物病原菌の感染機構の解析

食品保全学
1．青果物およびカット青果物の安全性確保の研究
2．青果物およびカット青果物の品質保持の研究
3．果実の軟化機構の解明
4．園芸作物の植物病原菌感染時の細胞壁応答反応機構の解明

食品衛生管理学
1. 食中毒菌の抗病原性剤の探索
2．食中毒菌のストレス耐性機構の研究
3．食中毒菌に対するバクテリオファージの探索
4．ミュータンス菌バイオフィルム形成阻害剤の探索と阻害機構の解析

食品機能学
1．農作物の栽培過程、食品加工過程における機能性成分の変動の解析
2．機能性を活用する新たな食品加工技術の開発
3．食品由来機能性成分の作用機序の解明
4．食品由来機能性成分の生体内動態の解析

動物栄養学
1．食肉品質の光学的評価法に関する研究
2．栄養制御による肉質向上技術の開発
3．エコフィードの利用に関する研究
4．食品成分の機能性の実験動物での評価
（1）糖・脂質代謝への効果
（2）中枢神経系への効果
（3）その他

食品免疫学
1．果実由来成分の食品機能に関する研究
2．腸管免疫を活性化させる食品成分の探索
3．ビフィズス菌・乳酸菌によるオリゴ糖代謝経路の解明
4. 病原菌のポリアミンを介したシグナル伝達機構の解明
5. 腸内常在菌叢最優勢種のハイスループット培養系の開発
6. 食品成分の腸内細菌による変換を通じた慢性疾患の発症機構の解明

食品システム学
１．食料生産・流通・消費と社会環境の変化の関連に関する研究
２．多様な農業経営体のありようや持続的発展に関する研究
３．消費者の食料消費行動に関する研究

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業
企業等から提供された課題（企画提案等）に取り組む授業
学外でのインターンシップや実習、研修を授業の一環として位置付けている授業

科目名　：	**卒業研究**						
英文名　：	Graduation Thesis						
担当者　：	松橋　珠子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	6単位	開講年次：	4年次	開講期：	通年	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

食品安全工学科では3年生前期に卒業研究を行う研究室の配属が決まり、約1年間の準備期間を経た後、4年生進級と同時に本格的に始動する。配属した研究室の指導教員のもと、食品安全工学に関連する専門分野の中から研究課題を設定する。実際の研究に即応できる能力を高めることを目的とし、研究課題について、実験計画の立案、実施、成果のまとめ、卒業研究論文の作成、さらに卒業研究発表会における口頭発表の準備から実施までを指導する。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

PBL（課題解決学習）・ディスカッション、ディベート・反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）・グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク・実験・実習科目

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

配属した研究室の指導教員のもとで、実験計画の立て方、進め方、データの取扱いについて習熟する。研究室内ゼミや卒業研究発表会等に用いる資料の作成法を習得し、プレゼンテーションの技法を身に付ける。さらに、研究内容の社会的意義や研究者としての社会的使命についても理解する。
食品安全工学科の卒業研究発表会で発表し、卒業研究論文を提出する。本科目の修得は、食品安全工学科が定めるすべてのディプロマポリシーの達成に関与するが、特にDP4の達成に主体的に関与する。

■成績評価方法および基準

口頭試問 50%
卒業論文 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

卒業研究発表会での口頭試問では、質問した教員から逐次その内容についてのフィードバックが行われます。
卒業論文は作成過程で逐次指導教員よりフィードバックを行いながら完成させることになります。

■教科書

【留意事項】指導教員により異なる。

■参考文献

【留意事項】指導教員により異なる。

■関連科目

専門科目全般

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

松橋研究室(2号館5階511)・t4matsu@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

随時（事前にメール等で連絡してください。）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

動物栄養学（松橋G）

1. 食肉の肉質評価に関する研究
2. エコフィードの利用に関する研究
3. 牛伝染性リンパ腫ウイルスの感染対策に関する研究
4. 哺乳類の受胎機構に関する研究

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業
企業等から提供された課題（企画提案等）に取り組む授業
学外でのインターンシップや実習、研修を授業の一環として位置付けている授業

科目名 ：	**調理科学**						
英文名 ：	Scientific Basis of Cookery						
担当者 ：	堀西　朝子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	3年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考 ：	令和5年度入学生対象科目						

■授業概要

日々の生活において調理は食品の成分や状態の変化を身近に感じられる機会です。経験的に良いとされる調理方法には科学的根拠があります。これまで学んできた生体や食品に関する机上の知識を、調理という具体的な現象に落とし込んで科学的に考えていきます。また、ここで得た知識は、食品工業での各プロセスの意義や成分変動の理解にもつながります。講義では素材ごとに、主要な成分の化学的な特徴を理解した上で、具体的な調理工程で起こっている現象を化学的、物理的に理解できるよう解説します。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者はこの授業を履修することによって、食品に含まれる様々な成分の化学的特性を把握し、それらの調理過程における物理的及び化学的変化を理解し説明できるようになります。この科目の修得は、食品安全工学科が定めるディプロマポリシー4の達成に関与します。

■成績評価方法および基準

定期試験 70%
提出課題 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

提出課題については翌回の授業時間に解説を行います。

■教科書

[ISBN]9784810315073 『NEW 調理と理論 第二版』 (山崎 清子, 同文書院 : 2021)

■参考文献

[ISBN]9784332050339 『調理がわかる物理・化学の基礎知識』 (香西 みどり, 光生館 : 2010)
[ISBN]9784762029684 『調理の科学:基礎から実践まで』 (高崎 禎子, 学文社 : 2020)

■関連科目

基礎食品化学、食品材料学、食品分析化学、食品加工学

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）・asako.horinishi@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後時間（その他はメールで事前連絡してください）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　調理の目的と基本的な調理操作の科学　　（授業形式：講義 ）

予習内容：シラバスと教科書の目次をよく読み本科目を履修する目標を考える。
予習時間：60分
復習内容：調理操作の科学的な意義について理解を深めておく。
復習時間：60分
調理科学の考え方と本講義の進め方について説明し、基本的な調理操作の概要を非加熱調理を中心に解説する。

第2回　穀類調理の科学　　（授業形式：講義 ）

予習内容：教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく。
予習時間：60分
復習内容：教科書の該当するページを再読し、理解を深める。
復習時間：60分
穀物の成分と形態を解説した後、炊飯などの調理過程を加熱調理による物性や成分の変化を中心に解説する。

第3回　小麦粉、いも類調理の科学　　（授業形式：講義 ）

予習内容：教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく。
予習時間：60分
復習内容：教科書の該当するページを再読し、理解を深める。
復習時間：60分
小麦粉やイモ類の形態と成分を解説した後、熱処理などの調理によるでんぷんの構造や物性の変化を中心に解説する。

第4回　油脂調理の科学　　（授業形式：講義 ）

予習内容：教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく。
予習時間：60分
復習内容：教科書の該当するページを再読し、理解を深める。
復習時間：60分
食用油脂の分類と組成、加熱調理による物性の変化などを解説する。また油脂を含む食品の乳化についても解説する。

第5回　豆、豆製品調理の科学　　（授業形式：講義 ）

予習内容：教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく。
予習時間：60分
復習内容：教科書の該当するページを再読し、理解を深める。
復習時間：60分
豆類の成分としてたんぱく質、脂質、糖質、ポリフェノール類について、黒豆煮、豆腐、あんなどを例に解説する。

第6回　魚介類調理の科学　　（授業形式：講義 ）

予習内容：教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく。
予習時間：60分
復習内容：教科書の該当するページを再読し、理解を深める。
復習時間：60分
魚介類の筋肉の構造、たんぱく質組成、脂肪酸の構成などを鮮度や調理工程と関連付けて解説する。

第7回　肉類調理の科学　　（授業形式：講義 ）

予習内容：教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく。
予習時間：60分
復習内容：教科書の該当するページを再読し、理解を深める。
復習時間：60分
肉類の筋肉や脂肪組織について、またたんぱく質、脂肪、無機質、ビタミンなどの主要成分について、熟成や加熱調理における変化と関連付けて解説する。

第8回　卵調理の科学　　（授業形式：講義 ）

予習内容：教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく。
予習時間：60分
復習内容：教科書の該当するページを再読し、理解を深める。
復習時間：60分
鶏卵の構造、成分について説明し、起泡性、乳化性、熱凝固性など実際の調理と関連付けて解説する。

第9回　牛乳、乳製品調理の科学　　（授業形式：講義 ）

予習内容：教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく。
予習時間：60分
復習内容：教科書の該当するページを再読し、理解を深める。

復習時間：60分
牛乳のたんぱく質やカルシウムなどの成分と調理性と関連付けて説明する。またバターやチーズなどの乳製品の調理と物性についても解説する。

第10回　野菜、果物調理の科学　　（授業形式：講義 ）

予習内容：教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく。
予習時間：60分
復習内容：教科書の該当するページを再読し、理解を深める。
復習時間：60分
野菜や果物におけるビタミン、無機質、食物繊維、ポリフェノール類などの調理による変化を栄養、生理機能と関連付けて解説する。また調理が食品の食感や色に与える影響についても解説する。

第11回　ゲル化の調理科学　　（授業形式：講義 ）

予習内容：教科書の該当するページを読み、内容を予習しておく。
予習時間：60分
復習内容：教科書の該当するページを再読し、理解を深める。
復習時間：60分
寒天やゼラチンは調理によりコロイド溶液がゲルに変化する。この過程における物性の変化を成分の違いなどと関連して解説する。

第12回　飲み物の調理科学　　（授業形式：講義 ）

予習内容：教科書の該当するページを探し、内容を予習しておく。
予習時間：60分
復習内容：教科書の該当するページを再読し、理解を深める。
復習時間：60分
茶やコーヒーなどは言わば茶葉やコーヒー豆粉末の熱水抽出物である。これらの成分や抽出条件による変化について解説する。水や他の飲料も取り上げる。

第13回　その他の食材の調理科学　　（授業形式：講義 ）

予習内容：教科書の該当するページを探し、内容を予習しておく。
予習時間：60分
復習内容：教科書の該当するページを再読し、理解を深める。
復習時間：60分
海藻、きのこなどまだ取り上げていなかった食材について解説する。新鮮な素材だけでなく乾物や冷凍素材についてもとりあげる。

第14回　食品の味の科学　　（授業形式：講義 ）

予習内容：味に関する成分についてまとめておく。
予習時間：60分
復習内容：味と味覚についての講義内容を復習し理解を深めておく。
復習時間：60分
調理は食材をおいしく変化させることである。代表的な調味料の解説と味についての化学的な特徴と生理的に味覚を解説する。官能評価についても触れる。

第15回　食の安全と調理の科学　　（授業形式：講義 ）

予習内容：調理をする上で注意する食の安全に関する項目をまとめておく。
予習時間：60分
復習内容：調理をする上で注意する食の安全に関する理解を深めておく。
復習時間：60分
食品の成分や細菌などにおける食の安全に関する知識を洗浄や加熱、保存などの調理工程に関連付けて解説する。

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**動物栄養学**						
英文名　：	Animal Nutrition						
担当者　：	白木　琢磨						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

学科の基幹科目です。栄養学が動物生産学や医学に関わる重要な学問であることをふまえて、哺乳動物の生命維持に必要な栄養成分について、その化学的性質・消化・吸収・体内代謝などについて学修します。また栄養成分の生体内での動態と機能、栄養成分に対する生体の応答についても学修します。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

動物栄養学は、生化学、動物生理学とあわせて、食品や飼料摂取を通じた哺乳動物のからだの複雑かつ重要な生命の維持と活動を理解することを目的としています。この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー1の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

定期試験 70%
小テスト・レポート 30%

■試験・課題に対するフィードバック方法

「試験の要点と解説」を掲示板に掲載します。

■教科書

【留意事項】適時、プリント配付。

■参考文献

【留意事項】http://www.genome.jp/kegg/pathway.html

■関連科目

動物生産学、生化学Ⅰ、生化学Ⅱ

■授業評価アンケート実施方法

生物理工学部実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

白木研究室（東1号館4階419)・shiraki@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

月曜・３限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　栄養学とは（授業形式：講義）

予習内容：メディアで紹介されている健康記事について調べてくる。

予習時間：60分
復習内容：レジュメを参考にして、栄養学的に健康記事を見直してみる。
復習時間：60分
栄養学とは何かを、食品の意義、健康、などから概説します。

第2回　栄養素の働き（授業形式：講義）

予習内容：3大栄養素について下調べする。
予習時間：60分
復習内容：レジュメを参考にして、3大栄養素の使われ方についてまとめる。
復習時間：60分
各種栄養素の働きについて概説します。

第3回　栄養素の消化吸収（授業形式：講義）

予習内容：身の回りで目にする食品に表示されている栄養成分をリスト化する。
予習時間：60分
復習内容：各栄養成分を摂取した際の体内での流れをまとめる。
復習時間：60分
各種栄養素の消化吸収、代謝について概説します。

第4回　消化器官Ⅰ（授業形式：講義）

予習内容：食品成分から栄養成分への代謝の実例を探す。
予習時間：60分
復習内容：レジュメを参考にして、3大栄養素の代謝についてまとめる。
復習時間：60分
口腔、胃、膵臓などの働きと消化機能を学びます。

第5回　消化器官Ⅱ（授業形式：講義）

予習内容：消化管の組織標本について調べてくる。
予習時間：60分
復習内容：レジュメを参考にして、消化管のつくりと働きについてまとめる。
復習時間：60分
肝臓、小腸、大腸などの働きと消化機能を学びます。

第6回　蛋白質Ⅰ（授業形式：講義）

予習内容：蛋白質が多く含まれる食品を調べてくる。
予習時間：60分
復習内容：レジュメを参考にして、蛋白質のなりたちについてまとめる。
復習時間：60分
蛋白質の構造と役割について学びます。

第7回　蛋白質Ⅱ（授業形式：講義）

予習内容：消化酵素を例にして蛋白質の機能について調べる。
予習時間：60分
復習内容：レジュメを参考にして、蛋白質を酵素活性で分類してまとめる。
復習時間：60分
蛋白質に関する栄養学的役割、代謝などを学びます

第8回　脂質（授業形式：講義）

予習内容：脂質の種類を調べ、リストを作成する。
予習時間：60分
復習内容：レジュメを参考にして、脂質を機能的に分類する。
復習時間：60分
脂質の栄養学的役割、代謝などを学びます

第9回　糖質（授業形式：講義）

予習内容：糖の種類を調べ、リストを作成する。
予習時間：60分
復習内容：レジュメを参考にして、糖を機能的に分類する。
復習時間：60分
単糖類、多糖類などの栄養学的役割、代謝などを学びます

第10回　繊維（授業形式：講義）

予習内容：繊維の多い食品をリスト化する。

予習時間：60分
復習内容：レジュメを参考にして、繊維の消化についてまとめる。
復習時間：60分
繊維の栄養学的役割、代謝などを学びます。

第11回　ミネラル（授業形式：講義）

予習内容：食品に表示されているミネラルを調べてくる。
予習時間：60分
復習内容：レジュメを参考にして、ミネラルを機能的に分類する。
復習時間：60分
カルシウムやナトリウムなどのマクロミネラルと亜鉛や銅などのミクロミネラルの栄養的役割を個別に学びます。

第12回　ビタミンⅠ（授業形式：講義）

予習内容：食品に表示されているビタミンを調べてくる。
予習時間：60分
復習内容：レジュメを参考にして、ビタミンを機能的に分類する。
復習時間：60分
ビタミンA,D,E,Kなどの脂溶性ビタミンについてその栄養的役割、欠乏症、代謝などについて学びます。

第13回　ビタミンⅡ（授業形式：講義）

予習内容：ビタミンの欠乏により起こる病気を調べる。
予習時間：60分
復習内容：レジュメを参考にして、ビタミンの機能を分類する。
復習時間：60分
ビタミンB,Cなどの水溶性ビタミンについてその栄養的役割、欠乏症、代謝などについて学びます。

第14回　肥満、痩せ（授業形式：講義）

予習内容：メディアで取り上げられている抗肥満の方法について調べる。
予習時間：60分
復習内容：肥満について、脂質代謝と食欲の観点からまとめる。
復習時間：60分
肥満と痩せ等に関する栄養学的知識を習得します。

第15回　栄養学の話題（授業形式：講義）

予習内容：栄養学が産業に与えた歴史的な出来事を調べてくる。
予習時間：60分
復習内容：食品産業において栄養学の知識がどう活かされるかをまとめる。
復習時間：60分
栄養学に関する最近の話題を提供します。

定期試験

動物栄養に関する、定期試験を実施します。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**動物生産学**						
英文名　：	Animal Resources						
担当者　：	松橋　珠子						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	2年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

人が動物とどのように関わり利用しているかを畜種別に学ぶことによって、その動物の歴史、改良の過程、飼育方法、遺伝的特性、畜産物など産業への貢献を知り、実際的観点からの理解を深めます。現代の食糧問題についても考える力を養います。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・プレゼンテーション

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、この授業を履修し能動的に学ぶことによって
1）特に実際的な観点から産業動物、実験動物、伴侶動物の生産における一般的な知識を習得し
2）ヒトが動物とどのような関係を持って生活しているかを理解し
3）現代の動物産業や畜産物をめぐる課題について考える力を養います。
この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー1の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

課題（レポート、プレゼンテーション等）、復習ノート、小テスト 50%
定期試験 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

課題の要点や解説を授業時間内に行い、あるいはUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■教科書

なし（主に准教科書を使用します）

■参考文献

準教科書：
[ISBN]9784407203431 『農業319　畜産 文部省検定教科書』 (近藤誠司、入江正和、ほか, 実教出版：2015)

参考図書等：
[ISBN]9784842505831 『畜産学』 (石井 康之, 養賢堂：2022)
[ISBN]9784540073014 『家畜飼育の基礎 (農学基礎セミナー)』 (阿部 亮, 農山漁村文化協会：2008)
畜産情報ネットワーク　http://www.lin.gr.jp/　など

■関連科目

動物生理学、動物栄養学、実験動物学

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

松橋研究室（2号館5階511）・t4matsu@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜日2限（事前にメールなどで予約してください。）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

人の社会活動や食に関わる動物の生産方法を学びます。畜種ごとに個別に学ぶことによって、その動物の歴史や改良の過程、飼養特性や遺伝的特性、経済への貢献を知り、実際的観点からの理解を深めます。

第1回　産業動物入門Ⅰ（授業形式：講義）

予習内容：準教科書・参考図書の該当ページを通読する。疑問点は書き出しておく。
予習時間：30分
復習内容：参考文献や配布資料を基に講義内容をノートに整理する。関連する事柄について調べノートにまとめる。
復習時間：60分
日本の食料自給率や畜産を取り巻く状況について学びます。

第2回　産業動物入門Ⅱ（授業形式：講義）

予習内容：準教科書・参考図書の該当ページを通読する。疑問点は書き出しておく。
予習時間：30分
復習内容：参考文献や配布資料を基に講義内容をノートに整理する。関連する事柄について調べノートにまとめる。
復習時間：60分
わが国と世界の飼料生産や畜産経営、食や経済との関係、海外事情などを紹介します。

第3回　産業動物各論　養鶏Ⅰ（授業形式：講義）

予習内容：準教科書・参考図書の該当ページを通読する。疑問点は書き出しておく。
予習時間：30分
復習内容：参考文献や配布資料を基に講義内容をノートに整理する。関連する事柄について調べノートにまとめる。
復習時間：60分
産卵鶏の飼養管理、畜産物などについて学びます。

第4回　産業動物各論　養鶏Ⅱ（授業形式：講義）

予習内容：準教科書・参考図書の該当ページを通読する。疑問点は書き出しておく。
予習時間：30分
復習内容：参考文献や配布資料を基に講義内容をノートに整理する。関連する事柄について調べノートにまとめる。
復習時間：60分
肉養鶏の飼養管理、畜産物などについて学びます。

第5回　産業動物各論　養鶏Ⅲ（授業形式：講義）

予習内容：準教科書・参考図書の該当ページを通読する。疑問点は書き出しておく。
予習時間：30分
復習内容：参考文献や配布資料を基に講義内容をノートに整理する。関連する事柄について調べノートにまとめる。
復習時間：60分
養鶏の育種、衛生管理、飼養などについて学びます。

第6回　産業動物各論　養豚Ⅰ（授業形式：講義）

予習内容：準教科書・参考図書の該当ページを通読する。疑問点は書き出しておく。
予習時間：30分
復習内容：参考文献や配布資料を基に講義内容をノートに整理する。関連する事柄について調べノートにまとめる。
復習時間：60分
豚の育種や改良の歴史、飼養管理、繁殖などについて学びます。

第7回　産業動物各論　養豚Ⅱ（授業形式：講義）

予習内容：準教科書・参考図書の該当ページを通読する。疑問点は書き出しておく。
予習時間：30分
復習内容：参考文献や配布資料を基に講義内容をノートに整理する。関連する事柄について調べノートにまとめる。
復習時間：60分
豚の栄養管理、形態・生理などについて学びます。

第8回　産業動物各論　養豚Ⅲ（授業形式：講義）

予習内容：準教科書・参考図書の該当ページを通読する。疑問点は書き出しておく。
予習時間：30分
復習内容：参考文献や配布資料を基に講義内容をノートに整理する。関連する事柄について調べノートにまとめる。
復習時間：60分

豚の畜産物生産、衛生管理などについて学びます。

第9回　産業動物各論　養牛Ⅰ（授業形式：講義）

予習内容：準教科書・参考図書の該当ページを通読する。疑問点は書き出しておく。
予習時間：30分
復習内容：参考文献や配布資料を基に講義内容をノートに整理する。関連する事柄について調べノートにまとめる。
復習時間：60分
乳牛の飼養管理、栄養、生理、乳生産などについて学びます。

第10回　産業動物各論　養牛Ⅱ（授業形式：講義）

予習内容：準教科書・参考図書の該当ページを通読する。疑問点は書き出しておく。
予習時間：30分
復習内容：参考文献や配布資料を基に講義内容をノートに整理する。関連する事柄について調べノートにまとめる。
復習時間：60分
肉用牛の育種、飼養管理、畜産物などについて学びます。

第11回　産業動物各論　養牛Ⅲ（授業形式：講義）

予習内容：準教科書・参考図書の該当ページを通読する。疑問点は書き出しておく。
予習時間：30分
復習内容：参考文献や配布資料を基に講義内容をノートに整理する。関連する事柄について調べノートにまとめる。
復習時間：60分
牛の繁殖技術、遺伝性疾患などについて学びます。

第12回　産業動物各論　養牛Ⅳ（授業形式：講義）

予習内容：準教科書・参考図書の該当ページを通読する。疑問点は書き出しておく。
予習時間：30分
復習内容：参考文献や配布資料を基に講義内容をノートに整理する。関連する事柄について調べノートにまとめる。
復習時間：60分
畜産経営、就農などを取り巻く環境や畜産行政について学びます。

第13回　産業動物各論　馬（授業形式：講義）

予習内容：準教科書・参考図書の該当ページを通読する。疑問点は書き出しておく。
予習時間：30分
復習内容：参考文献や配布資料を基に講義内容をノートに整理する。関連する事柄について調べノートにまとめる。
復習時間：60分
馬の育種、飼養管理、生理、畜産物などについて学びます。

第14回　産業動物各論　緬羊・山羊（授業形式：講義）

予習内容：準教科書・参考図書の該当ページを通読する。疑問点は書き出しておく。
予習時間：30分
復習内容：参考文献や配布資料を基に講義内容をノートに整理する。関連する事柄について調べノートにまとめる。
復習時間：60分
山羊やめん羊の育種、飼養管理、生理、畜産物などについて学びます。

第15回　産業動物各論　その他の家畜、他（授業形式：講義）

復習内容：参考文献や配布資料を基に講義内容をノートに整理する。関連する事柄について調べノートにまとめる。
復習時間：90分
ミツバチや家禽などの食用動物、マウス、ラットなどの実験動物の種類や特徴、育種、生理、繁殖、飼養などについて学びます。

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 ：	**微分積分学**						
英文名 ：	Calculus						
担当者 ：	堤　裕之						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考 ：	生物工学科、遺伝子工学科、食品安全工学科科目						

■授業概要

本講義は、大学で学ぶ殆んどの理数系専門科目に必要不可欠な微分積分学の基礎知識を学習する。数学としての微積分ではなく、理工科系に必要な実用道具としての微分・積分の応用を習得することを目標としている。したがって、数学的な定義・定理・証明だけでなく、基本的な意味や使い方、例題などに主眼をおいて講義を進める。受講者はまず、前期の講義科目「数学」で学んだ初等関数に関する一変数の微分積分の知識を更に補充するために、微積分の基本定理やその応用について学習する。続いて、二変数関数の場合の偏微分や重積分とその応用について学習する。

なお，本授業の受講生については，高等学校「数III」および生物理工学部の授業科目「数学」について履修済みであることが望ましい.

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本講義では、生物理工系の学生が関連専門科目を履修するにあたって必要な、実用的な微積分の知識を修得するために、以下のことを到達目標とする。
1.1変数の初等関数の微分・積分の高度な問題に再挑戦し、計算技法をマスターする。
2.1変数の微分法の応用として、曲線の関数の特性を解析し、極値、凹凸などを求める。
3.1変数の積分法の応用として、平面曲線の面積、長さ、および回転体の体積、表面積の計算法を究める。
4.多変数関数の偏微分法、重積分法の基本定理を理解し、その技法を身につける。
5.2変数関数の偏微分の応用として、テーラー展開、ラグランジェの乗数法などの解析法を修得する。
6.重積分の応用として、立体図形の求積法を修得する。
なお、本科目は、生物理工学部のディプロマポリシーの 1, 2, 5の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

レポート 30%
試験 70%

■試験・課題に対するフィードバック方法

中間まとめレポートと期末まとめレポートは指定教科書の問題の中から出題されます。教科書には略解が載せられていますが、特に注意が必要な問題については授業内で解説します。試験問題についても同様です。

■教科書

[ISBN]9784785315184 『理工系入門 微分積分』 (石原 繁, 裳華房 : 1999)

■参考文献

[ISBN]9784320016330 『やさしく学べる微分積分』 (石村 園子, 共立出版 : 1999)

■関連科目

基礎数学、数学、線形代数学など

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室（2号館2階）： tsutsumi@ouhs.ac.jp
備考： 携帯からの質問メールは受け付けない.

■オフィスアワー

当該科目開講時限の前後休憩時間とします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 微分とは何か、微分の計算公式（演習を含む講義）

予習内容：教科書§4～§11に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書P21, P27, P30, P38, P48問題Bを解く
復習時間：30分
1変数の微分の意味，およびその計算公式を復習する.

第2回 テイラー展開とは何か（演習を含む講義）

予習内容：教科書§14～§16に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書P72, P78, P84, P89問題Bを解く
復習時間：30分
微分の最も重要な応用例であるテイラー展開について復習する.

第3回 積分とは何か、そしてその計算公式（演習を含む講義）

予習内容：教科書§19, §29に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書P95, P100, P105, P109問題Bを解く
復習時間：30分
1変数の積分の意味，およびその計算方法について復習する.

第4回 微分積分学の基本定理とは何か、積分の計算と変数変換（演習を含む講義）

予習内容：教科書§21～§27に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書P116, P120, P123, P128, P139問題Bを解く
復習時間：30分
微分積分学の基本定理の位置づけを学ぶとともに，積分の変数変換の公式の使い方について解説する.

第5回 関数と極限（2変数）（演習を含む講義）

予習内容：教科書§30に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書§30の演習問題Bを解く。
復習時間：30分
2変数関数の極限の考え方，注意点を解説する.

第6回 連続関数（演習を含む講義）

予習内容：教科書§31に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書§31の演習問題Bを解く。
復習時間：30分
2変数の連続関数の概念について解説する.

第7回 偏導関数（演習を含む講義）

予習内容：教科書§32に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書§32の演習問題Bを解く。
復習時間：30分
偏微分，偏導関数の概念と実際の計算方法について解説する.

第8回 高次偏導関数（演習を含む講義）

予習内容：教科書§33に目を通す。

予習時間：30分
復習内容：教科書§33の演習問題Bを解く。
復習時間：30分
2変数関数の高次偏導関数と微分作用素について解説する.

第9回　合成関数の微分法（演習を含む講義）

予習内容：教科書§34に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書§34の演習問題Bを解く。
復習時間：30分
全微分と合成関数の微分法について解説する.

第10回　テイラーの定理とテイラー展開（演習を含む講義）

予習内容：教科書§35～§37に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書§37の演習問題Bを解く。
復習時間：30分
2変数関数のテイラー展開，マクローリン展開について解説する.

第11回　極大・極小（演習を含む講義）

予習内容：教科書§38に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書§38の演習問題Bを解く。
復習時間：30分
2変数関数の極大，極小の概念とそれらをどのように求めるのかについて解説する.

第12回　2重積分の定義（演習を含む講義）

予習内容：教科書§39に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書§39の演習問題Bを解く。
復習時間：30分
2変数関数の積分の概念を解説する.

第13回　2重積分の計算・累次積分（演習を含む講義）

予習内容：教科書§40に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書§40の演習問題Bを解く。
復習時間：30分
2変数関数の積分を実際にどのように実施するのかについて解説する.

第14回　極座標による2重積分（演習を含む講義）

予習内容：教科書§41に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書§41の演習問題Bを解く。
復習時間：30分
2変数関数の積分の変数変換の公式とその応用について解説する.

第15回　体積・曲面積（演習を含む講義）

予習内容：教科書§42に目を通す。
予習時間：30分
復習内容：教科書§42の演習問題Bを解く。
復習時間：30分
2変数関数の積分の応用として，体積，曲面積の導出の方法について解説する.

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名　：	**物理学Ⅰ**						
英文名　：	Physics 1						
担当者　：	濵端　広充						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：	【開講曜日・時限】火曜2限						

■授業概要

物理学は、自然現象を観測し、そこに潜む法則を見出すことを目的とする。この講義では、日常の身のまわりの現象を科学的に考察し、現象を理解する能力と数理的に解析する能力を養うことを目指す。物理学Ⅰでは、力と運動、仕事とエネルギー、エネルギーの保存および熱力学を主なテーマとして講義する。必要に応じてプリントを配布して、理解を深める。本科目は教職課程の科目で、中学校・高等学校における物理学分野の授業に必要な資質を習得することを目的とする。

■授業形態

メディア授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、この授業を履修することによって、大学で物理学に関する事柄を学ぶうえで基礎知識として習得しておかなければならない項目や、物理学的なものの見方、考え方について学習します。すなわち、
1) 基本となるベクトル・スカラーの概念とその物理的意味。
2) 物理量や状態量、エネルギーの概念、
3) 物理現象の観測結果からそこに潜む一般化された物理法則を導出する過程と得られた法則など
を学習し、さらに
4) 身のまわりの自然現象を物理的にとらえ、それらに物理法則を適用する能力を培うことができます。
この科目の修得は、生物理工学部のディプロマポリシー01の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

レポート 40%
定期試験 60%

■試験・課題に対するフィードバック方法

解答例をgoogle classroomに掲載します。

■教科書

[ISBN]9784808220884『基礎物理 <第4版>』 (山田 泰一, 東京教学社)

■参考文献

[ISBN]9784780602005 『自然科学の基礎としての物理学』 (原 康夫, 学術図書出版社：2014)
[ISBN]9784780610413 『第3版 物理学入門Web動画付』 (原 康夫, 学術図書出版社：2022)

■関連科目

物理学Ⅱ

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室　（2号館2階）　hamabata@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

講義前後の休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　ガイダンスと物理を学ぶための基礎（授業形式：講義）

予習内容：教科書付章「物理を学ぶための基礎」第1節から第3節を読んで、理解困難な個所を抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書や講義ノートを読み返し、SI単位系や有効数字、さらにベクトル演算についての理解を深めること。レポート課題に積極的に取り組むこと。
復習時間：60分
自然現象と物理量、単位と次元、数量換算と有効数字

第2回　運動の表し方（授業形式：講義）

予習内容：教科書第1章1.1.1節から1.1.3節までを読んで、理解困難な個所を抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書や講義ノートを読み返し、速度や加速度についての理解を深め、物体の運動の表し方を習得すること。レポート課題に積極的に取り組むこと。
復習時間：120分
移動距離と変位、平均の速さと瞬間の速さ、位置ベクトル、速度、加速度

第3回　等加速度直線運動と力（授業形式：講義）

予習内容：教科書1.1.4節と1.2節を読んで、理解困難な個所を抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書や講義ノートを読み返し、等加速度直線運動（自由落下運動、鉛直投げ上げ運動）および物体にはたらく力の表し方や力のつり合いについて理解を深めること。レポート課題に積極的に取り組むこと。
復習時間：120分
等加速度直線運動と具体例（自由落下、鉛直投げ上げ運動）、力の表し方と力のつり合い

第4回　運動の法則と運動量の保存（授業形式：講義）

予習内容：教科書1.3節と1.4節を読んで、理解困難な個所を抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書や講義ノートを読み返し、運動の3法則についての理解を深め、運動方程式をつくり方を習得すること。さらに、運動量保存則や衝突現象について理解すること。レポート課題に積極的に取り組むこと。
復習時間：120分
ニュートンの運動の３法則（慣性の法則、運動の法則-運動方程式、作用反作用の法則）、重力と質量、運動方程式の作り方、運動量と力積、運動量保存の法則と衝突現象

第5回　力学的エネルギー（授業形式：講義）

予習内容：教科書1.5節を読み、理解困難な個所を抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書や講義ノートを読み返し、仕事と力学的エネルギーの関係について理解を深めること。レポート課題に積極的に取り組むこと。
復習時間：120分
仕事と力学的エネルギー（運動エネルギー、位置エネルギー）、力学的エネルギー保存の法則

第6回　いろいろな運動（１）（授業形式：講義）

予習内容：教科書1.6.1節から1.6.4節までを読んで、理解困難な個所を抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書や講義ノートを読み返し、水平や斜方に投射された物体の運動、摩擦力を受ける物体の運動などについて理解を深めること。レポート課題に積極的に取り組むこと。
復習時間：120分
水平や斜方に投射された物体の運動、摩擦力を受ける物体の運動、ばねの弾性力と弾性力の位置エネルギー

第7回　いろいろな運動（２）（授業形式：講義）

予習内容：教科書1.6.5節から1.6.7節までを読んで、理解困難な個所を抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書や講義ノートを読み返し、等速円運動や単振動について、さらに慣性力についての理解を深めること。レポート課題に積極的に取り組むこと。
復習時間：120分
等速円運動、慣性力、単振動（ばね振り子、単振り子）

第8回　剛体にはたらく力のつり合い（授業形式：講義）

予習内容：教科書1.7節を読んで、理解困難な個所を抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書や講義ノートを読み返し、剛体にはたらく力とそのつり合いについて理解を深めること。レポート課題に積極的に取り組むこと。
復習時間：120分
剛体の概念、剛体にはたらく力の３要素、力のモーメント、剛体にはたらく力の合成、剛体の重心と剛体のつり合い

第9回　流体の力学（授業形式：講義）

予習内容：教科書1.8節を読んで、理解困難な個所を抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書や講義ノートを読んで、静止流体にはたらく力や運動している流体に対する連続の式やベルヌーイの定理について理解を深めること。レポート課題に積極的に取り組むこと。
復習時間：120分
流体とは、静止した流体にはたらく力のつり合い、運動している流体の力学

第10回　力学に関するまとめとレポート課題についての解説（授業形式：講義）

予習内容：これまで学習してきた内容やレポート課題について、理解困難だった個所を抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：レポート課題について、再度自力で解いてみること。
復習時間：120分

第11回　熱と温度、仕事（授業形式：講義）

予習内容：教科書2.1節と2.2節を読んで、理解困難な個所を抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書や講義ノートを読み返し、物質の三態や絶対温度、熱の仕事当量などについて理解を深めること。レポート課題に積極的に取り組むこと。
復習時間：120分
熱運動、熱平衡（熱とは、温度とは）、物質の三態、温度と熱の表記、熱の仕事当量、比熱・熱容量、固体の熱膨張、熱の伝わり方

第12回　気体の法則（授業形式：講義）

予習内容：教科書2.3節を読んで、理解困難な個所を抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書や講義ノートを読み返し、物質量モルやアボガドロ数を理解し、理想気体の状態方程式を説明できるようになること。レポート課題に積極的に取り組むこと。
復習時間：120分
理想気体の状態方程式、気体の分子運動論

第13回　熱力学（１）（授業形式：講義）

予習内容：教科書2.4.1節から2.4.4節までを読んで、理解困難な個所を抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書や講義ノートを読み返し、熱力学第1法則の理解を深め、マイヤーの関係式を説明できるようになること。レポート課題に積極的に取り組むこと。
復習時間：120分
内部エネルギー、熱力学第１法則、気体がする仕事、気体の比熱

第14回　熱力学（２）（授業形式：講義）

予習内容：教科書2.4.5節と2.4.6節を読んで、理解困難な個所を抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書や講義ノートを読み返して、熱力学第2法則についての理解を深めること。レポート課題に積極的に取り組むこと
復習時間：120分
熱機関と仕事、熱機関の効率、可逆過程と不可逆過程、熱力学第２法則

第15回　熱とエネルギーに関するまとめとレポート課題についての解説（授業形式：講義）

予習内容：熱とエネルギーについて学習してきた内容やレポート課題について、理解困難だった個所を抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：力学の分野を含めてこれまで学習してきた内容について、理解が浅かった個所について教科書や講義ノートを再度読み返すこと。
復習時間：180分

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**物理学Ⅱ**						
英文名 ：	Physics 2						
担当者 ：	濵端　広充						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考 ：	【開講曜日・時限】火曜3限						

■授業概要

物理学は、自然現象を観測し、そこに潜む法則を見出すことを目的とする。この講義では、日常の身のまわりの現象を科学的に考察し、現象を理解する能力と数理的に解析する能力を養うことを目指す。物理学Ⅱでは、波動、波動現象と光学、電磁気学および原子物理を主なテーマとして講義する。必要に応じてプリントを配布して、理解を深める。本科目は教職課程の科目で、中学校・高等学校における物理学分野の授業に必要な資質を習得することを目的とする。
2023年度は対面授業を前提としています。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、この授業を履修することによって、大学で物理学に関する事柄を学ぶうえで基礎知識として習得しておかなければならない項目や、物理学的なものの見方、考え方について学習します。すなわち、
1) 物理学Ⅰでの学習項目に続けて、波動現象や電磁気現象の本質、それらとエネルギーのかかわり、
2) 量子現象、
3) 物理現象の観測結果からそこに潜む一般化された物理法則を導出する過程と得られた法則など
を学習し、さらに
4) 身のまわりの自然現象を物理的にとらえ、それらに物理法則を適用する能力を培うことができます。
この科目の修得は、生物理工学部のディプロマポリシー01の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

レポート 40%
定期試験 60%

■試験・課題に対するフィードバック方法

解答例をgoogle classroomにて配布します。

■教科書

[ISBN]9784808220884『基礎物理 <第4版>』 (山田 泰一, 東京教学社)

■参考文献

[ISBN]9784780602005 『自然科学の基礎としての物理学』 (原 康夫, 学術図書出版社：2014)
[ISBN]9784780610413 『第3版 物理学入門Web動画付』 (原 康夫, 学術図書出版社：2022)

■関連科目

物理学Ⅰ

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

講師控室　（2号館2階）　hamabata@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

講義前後の休憩時間

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　波とその表し方（授業形式：講義）

予習内容：教科書3.1節を読んで、理解困難な個所を抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書や講義ノートを読み返し、波の基本となる波長、振動数、速さの関係について理解を深めること。レポート課題に積極的に取り組むこと。
復習時間：120分
波の発生、波の種類と表し方、正弦波

第2回　波の重ね合わせと波の伝わり方（授業形式：講義）

予習内容：教科書3.2節と3.3節を読んで、理解困難な個所を抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書や講義ノートを読んで、波の重ね合わせや波の伝わり方についての理解を深めること。レポート課題に積極的に取り組むこと。
復習時間：120分
波の重ね合わせ原理、波の干渉と定常波、ホイヘンスの原理、波の反射・屈折・回折

第3回　音波（授業形式：講義）

予習内容：教科書3.4節を読んで、理解困難な個所を抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書や講義ノートを読み返し、音波に関連してうなりや気中の共鳴、ドップラー効果について理解を深めること。
復習時間：120分
音の三要素と超音波、音の速さ、うなり、気中の共鳴、ドップラー効果

第4回　光波（授業形式：講義）

予習内容：教科書3.5節を読んで、理解困難な個所を抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書や講義ノートを読み返し、光の屈折や干渉についての理解を深めること。レポート課題に積極的に取り組むこと。
復習時間：120分
光の反射と屈折、光の回折と干渉、レンズと顕微鏡

第5回　波動に関するまとめとレポート課題についての解説（授業形式：講義）

予習内容：これまで学習してきた内容やレポート課題について、理解困難だった個所を抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：レポート課題について、再度自力で解いてみること。
復習時間：120分

第6回　静電気（１）（授業形式：講義）

予習内容：教科書4.1.1節と4.1.2節を読んで、理解困難な個所を抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書や講義ノートを読み返し、電場および電場中の電荷の振る舞いについて理解し、クーロンの法則やガウスの法則についての理解を深めること。レポート課題に積極的に取り組むこと。
復習時間：120分
静電気力と電荷、静電場

第7回　静電気（２）（授業形式：講義）

予習内容：教科書4.1.3節と4.1.4節を読んで、理解困難な個所を抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書や講義ノートを読み返し、電位と仕事の関係およびコンデンサーの特性について理解を深めること。レポート課題に積極的に取り組むこと。
復習時間：120分
電場がする仕事と電位、コンデンサーの電気容量、コンデンサーに蓄えられる静電エネルギー、複数コンデンサーの合成容量

第8回　電流（授業形式：講義）

予習内容：教科書4.2節を読んで、理解困難な個所を抜き出しておくこと。
予習時間：60分

復習内容：教科書や講義ノートを読み返し、オームの法則、合成抵抗の計算法、キルヒホッフの法則などを理解し、直流回路の特性について理解を深めること。レポート課題に積極的に取り組むこと。
復習時間：120分
電流とオームの法則、電流のする仕事とジュール熱

第9回　電流と磁場（授業形式：講義）

予習内容：教科書4.3節を読んで、理解困難な個所を抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書や講義ノートを読み返し、磁場や磁気力の特性、電流がつくる磁場、電流が磁場から受ける力、および電流と磁場の関係についての理解を深めること。レポート課題に積極的に取り組むこと。
復習時間：120分
磁気力と静磁場、電流がつくる磁場、電流が磁場から受ける力、磁場中を動く荷電粒子が受ける力

第10回　電磁誘導（授業形式：講義）

予習内容：教科書4.4.1節を読んで、理解困難な個所を抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書や講義ノートを読み返し、電磁誘導の法則についての理解を深めること。レポート課題に積極的に取り組むこと。
復習時間：120分
電磁誘導と誘導起電力、ファラデーの電磁誘導の法則、ローレンツカと誘導起電力、相互誘導と自己誘導

第11回　交流と電磁波（授業形式：講義）

予習内容：教科書4.4.2節と4.4.3節を読んで、理解困難な個所を抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書や講義ノートを読み返し、交流の原理や電磁波の発生と伝わり方についての理解を深めること。レポート課題に積極的に取り組むこと。
復習時間：120分
交流の発生と実効値、電磁波の発生と伝わり方

第12回　電磁気学に関するまとめとレポート課題についての解説（授業形式：講義）

予習内容：電磁気学について学習してきた内容やレポート課題について、理解困難だった個所を抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：レポート課題について、再度自力で解いてみること。
復習時間：120分

第13回　原子物理（１）（授業形式：講義）

予習内容：教科書5.1節から5.4節を読んで、理解困難な個所を抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書や講義ノートを読み返し、光電効果など古典物理では理解困難な現象にについて理解すること。レポート課題に積極的に取り組むこと。
復習時間：120分
電子の発見、光電効果、Ｘ線

第14回　原子物理（２）（授業形式：講義）

予習内容：教科書5.5節と5.6節を読んで、理解困難な個所を抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：教科書や講義ノートを読み返し、水素原子とボーアの理論および放射線と原子核についての理解を深めること。
復習時間：120分
原子の構造、放射線と原子核

第15回　原子物理に関するまとめとレポート課題についての解説（授業形式：講義）

予習内容：原子物理について学習してきた内容やレポート課題について、理解困難だった個所を抜き出しておくこと。
予習時間：60分
復習内容：これまで学習してきた内容すべてのうち理解が浅かった個所について教科書や講義ノートを再度読み返すこと。
復習時間：180分

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 ：	**分子生物学Ⅰ**						
英文名 ：	Molecular Biology 1						
担当者 ：	東　慶直						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位 ：	2単位	開講年次：	1年次	開講期：	後期	必修選択の別：	必修科目
科目区分：	専門科目						
備　考 ：							

■授業概要

本講義は生物を分子レベルで観察するという概念を構築し、分子生物学の世界観・生命観の理解を目的とする講義で、必要となる基礎的な知識・技術手法の理解と習得をおこなう。具体的には、生命科学諸学（細胞生物学、遺伝学、生化学、免疫学、微生物学、進化生物学）に共通な生体物質(DNAや蛋白質)や生体機構(DNA複製や転写)を説明する。また、それらの物質や機構の発見につながった歴史的背景や実験手法について説明する。なお、本授業は基本的に対面で行いますが、ICTの訓練の一環としてメディア授業も併用します。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・英語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

人間が到達可能な地球上の全ての領域に非常に多様な生物が生存していること、そしてその全ての生物が有する構造も活動も超微視的には化学的な分子の存在と活動によるのだということを直感的に理解でる世界観や生命観として、「分子生物学」を体得できるように授業する。また、全生物が共通に持つ生体成分や機構に関する基礎的な知識とその知識の獲得に繋がった歴史的背景や科学的技術を説明できるように授業を行う。受講した学生は、目の前のもしくは目には見えないかも知れない生物の構造や機能について、極めて基礎的な範囲に限定されるだろうけれども、分子レベルでの説明が出来るようになることを目標とする。また、分子生物学は生命科学諸学の基礎となるため、細胞生物学や遺伝学、生化学と知識が連携されて構築されることを目標とする。
本科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシーDP4における「「食」の生産、保存、流通、加工・調理、摂取、消化･吸収、代謝における安全性と機能性を理解し評価するための科学的な知識と技能を身につけていること。」に主体的に関与している。

■成績評価方法および基準

小テスト1 50%
小テスト2 50%

■試験・課題に対するフィードバック方法

２回の小テストをWEB上で実施する。
小テストの際に、中間アンケートを実施し、学生からの要請項目などを整理し、学生に連絡する。

■教科書

【留意事項】プリントを適時配付します。

■参考文献

[ISBN]9784062576741 『カラー図解 アメリカ版 大学生物学の教科書 第3巻 分子生物学 (ブルーバックス)』 (デイヴィッド・サダヴァ, 講談社：2010)
[ISBN]9784785352370 『基礎分子遺伝学・ゲノム科学』 (坂本 順司, 裳華房：2018)

■関連科目

細胞生物学Ⅰ、生化学Ⅰ、分子生物学Ⅱ

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

東研究室（東1号館4階409）・azuma@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

月曜2限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　コロナウイルスについて(授業形式:講義)

予習内容：授業ファイルを入手し授業内容を把握する。
予習時間：60分
復習内容：授業内容の表形式への整理と専門用語の意味や定義の書き出しを行う。
復習時間：60分
現在世界中で蔓延しているコロナウイルスについて、その感染機構や検出方法について分子生物学的講義を行う。

第2回　分子生物学基礎１　分子生物学的な生物と分子生物学(授業形式:講義)

予習内容：授業ファイルを入手し授業内容を把握する。
予習時間：60分
復習内容：授業内容の表形式への整理と専門用語の意味や定義の書き出しを行う。
復習時間：60分
地球上の生き物の多様性と共通性について、分子生物学的理解方法を説明する。

第3回　分子生物学基礎２　核酸（DNAとRNA）(授業形式:講義)

予習内容：授業ファイルを入手し授業内容を把握する。
予習時間：60分
復習内容：授業内容の表形式への整理と専門用語の意味や定義の書き出しを行う。
復習時間：60分
分子生物学の基礎として、「DNA」と「RNA」を説明する。

第4回　分子生物学基礎３　複製(授業形式:講義)

予習内容：授業ファイルを入手し授業内容を把握する。
予習時間：60分
復習内容：授業内容の表形式への整理と専門用語の意味や定義の書き出しを行う。
復習時間：60分
分子生物学の基礎として、現象としての「複製」を説明する。

第5回　分子生物学基礎４　転写(授業形式:講義)

予習内容：授業ファイルを入手し授業内容を把握する。
予習時間：60分
復習内容：授業内容の表形式への整理と専門用語の意味や定義の書き出しを行う。
復習時間：60分
分子生物学の基礎として、現象としての「転写」を説明する。

第6回　分子生物学基礎５　翻訳とタンパク質(授業形式:講義)

予習内容：授業ファイルを入手し授業内容を把握する。
予習時間：60分
復習内容：授業内容の表形式への整理と専門用語の意味や定義の書き出しを行う。
復習時間：60分
分子生物学の基礎として、現象としての「翻訳」とその物質としての「タンパク質」を説明する。

第7回　分子生物学基礎６　復習(授業形式:講義)
応用分子生物学１　微生物を例題に

予習内容：授業ファイルを入手し授業内容を把握する。
予習時間：300分
復習内容：授業内容の表形式への整理と専門用語の意味や定義の書き出しを行う。
復習時間：60分
小テストでは分子生物学の基礎を総復習する。
分子生物学の応用として、使う分子生物学の例題として、微生物の分離・同定を概説する。

第8回　応用分子生物学２　微生物の分離とＰＣＲ(授業形式:講義)

予習内容：授業ファイルを入手し授業内容を把握する。
予習時間：60分
復習内容：授業内容の表形式への整理と専門用語の意味や定義の書き出しを行う。
復習時間：60分
微生物の同定には分離・培養を行う旧来からの方法と行わないメタゲノム解析がある。本講義では旧来からの方法である分離・培養に基づく微生物の同定を解説する。

第9回　応用分子生物学３　PCRプライマーと電気泳動(授業形式:講義)

予習内容：授業ファイルを入手し授業内容を把握する。
予習時間：60分
復習内容：授業内容の表形式への整理と専門用語の意味や定義の書き出しを行う。
復習時間：60分
食品中の微生物の同定、臨床サンプルからの微生物の同定など世界中の多くの分野で微生物の同定が実施されている。その根幹的な技術であるPCRで使用するプライマーの設計方法と電気泳動技術を説明する。

第10回　応用分子生物学４　DNA配列の決定(授業形式:講義)

予習内容：授業ファイルを入手し授業内容を把握する。
予習時間：60分
復習内容：授業内容の表形式への整理と専門用語の意味や定義の書き出しを行う。
復習時間：60分
一般的にはPCRで作成されたDNAフラグメントのDNA配列を決定することにより微生物の同定は可能となる。そのDNA配列の決定方法を説明する。

第11回　応用分子生物学５　DNA配列の解析(授業形式:講義)

予習内容：授業ファイルを入手し授業内容を把握する。
予習時間：60分
復習内容：授業内容の表形式への整理と専門用語の意味や定義の書き出しを行う。
復習時間：60分
微生物の同定の最終段階であるDNA配列の分析方法を説明する。

第12回　応用分子生物学６　微生物の同定(授業形式:講義)

予習内容：授業ファイルを入手し授業内容を把握する。
予習時間：60分
復習内容：授業内容の表形式への整理と専門用語の意味や定義の書き出しを行う。
復習時間：60分
近年急速に発展し、社会に大きな影響を与えているゲノム解析・バイオインフォマティクスを概説する。

第13回　応用分子生物学７　ゲノム解析・バイオインフォマティクス(授業形式:講義)

予習内容：授業ファイルを入手し授業内容を把握する。
予習時間：60分
復習内容：授業内容の表形式への整理と専門用語の意味や定義の書き出しを行う。
復習時間：60分
微生物の同定には分離・培養を行う旧来からの方法と行わないメタゲノム解析がある。多くの菌が構築する複雑な生命圏の理解に重要な方法であるメタゲノム解析に基づく微生物の同定を解説する。

第14回　応用分子生物学８　OMICS解析　（常在菌・メタゲノム解析）(授業形式:講義)

予習内容：授業ファイルを入手し授業内容を把握する。
予習時間：60分
復習内容：授業内容の表形式への整理と専門用語の意味や定義の書き出しを行う。
復習時間：60分
ゲノム解析やメタゲノム解析をはじめとして、トランスクリプトーム解析、プロテオーム解析といった生物の全体像をデジタルに理解するOMICS解析について解説する。

第15回　分子生物学総復習「生命と分子」
応用分子生物学　復習(授業形式:講義)

予習内容：授業ファイルを入手し授業内容を把握する。
予習時間：300分
復習内容：授業内容の表形式への整理と専門用語の意味や定義の書き出しを行う。
復習時間：60分
生命現象を分子と分子の相互作用で理解する「分子生物学」を総復習する。

■ホームページ

東研究室HP　http://azuma99.wixsite.com/author-blog

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**分子生物学Ⅱ**						
英文名　：	Molecular Biology 2						
担当者　：	東　慶直						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	3年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

生物はＤＮＡ、ＲＮＡ、タンパク質等の分子が動的にかつ精密に連携して機能することで、正常な活動（生命現象）を営むことができる。その生命現象を分子レベル（構造と機能）で理解する学問が分子生物学である。最近ではゲノム解読や遺伝子解析などから多くの新しい知見が報告され、これまでの「生命観」さえ変貌している。今世紀には分子生物学から驚くような事実がさらに数多く発見されるだろう。本講義では、分子生物学Ⅰで学んだ分子生物学的生命観と生命の素材、基本的な生命活動機構を基礎とし、座学としての分子生物学と実験実習のギャップを埋めるような実践的な分子生物学講義となるよう遺伝子解析に関する2分野の講義を行う。1つ目は、遺伝子のクローニング技術や解析技術を実践的に説明する。2つ目は、最新の「ゲノム」に関する知識と解析方法を講義する。配付資料の多くは英語文である。なお、本授業は基本的に対面で行いますが、ICTの訓練の一環としてメディア授業も併用します。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語・その他の言語の併用

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本講義では、細胞生物学Ⅰ、分子生物学Ⅰを基礎とし、「遺伝子」を概念的ではなく現実に存在する化学物質としてとらえ直し、ゲノムから遺伝情報の発現、高次生命現象までのより広く深い生命現象の本質を理解することを目標とする。講義の多くは日本語で行うが、配付資料の多くを英語文として、分子生物学に欠くことのできない専門英語のスキル上達も目標とする。なお、ディプロマポリシーDP4における「「食」の生産、保存、流通、加工・調理、摂取、消化･吸収、代謝における安全性と機能性を理解し評価するための科学的な知識と技能を身につけていること。」に主体的に関与している。

■成績評価方法および基準

小試験 100%

■試験・課題に対するフィードバック方法

7回目と14回目の授業の後に小試験をWEB上で実施する。
小テストの際に、中間アンケートを実施し、学生からの要請項目などを整理し、学生に連絡する。

■教科書

【留意事項】プリントを適時配付します。全ての授業資料をWEBに公開し、すべての履修学生が各授業の後に閲覧できるようにしています。

■参考文献

[ISBN]9784807906307 『遺伝子』 (ベンジャミン ルーイン, 東京化学同人：2006)
「大学生物学の教科書」講談社
[ISBN]9784315520620 『細胞の分子生物学』 (Bruce Alberts, ニュートンプレス：2017) 第6版

■関連科目

細胞生物学、生物学Ⅰ、生物学Ⅱ、分子生物学Ⅰ

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

東研究室（1号館1階409）・azuma@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

月曜日2限目

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　遺伝子クローニング１　(DNA、RNA 、複製)(授業形式:講義)

予習内容：授業ファイルを入手し授業内容を把握する。
予習時間：60分
復習内容：授業内容を表形式への整理と専門用語の意味や定義をまとめる。
復習時間：60分
分子生物学の最も基本的な技術である遺伝子クローニングについて概論する。

第2回　遺伝子クローニング２（PCR）(授業形式:講義)

予習内容：授業ファイルを入手し授業内容を把握する。
予習時間：60分
復習内容：授業内容を表形式への整理と専門用語の意味や定義をまとめる。
復習時間：60分
遺伝子の解析技術として世界中の研究者や医療関係者が用いる技術であるPCRについて、詳細に説明する。

第3回　遺伝子クローニング３（制限酵素とマーカー）(授業形式:講義)

予習内容：授業ファイルを入手し授業内容を把握する。
予習時間：60分
復習内容：授業内容を表形式への整理と専門用語の意味や定義をまとめる。
復習時間：60分
遺伝子組換え、形質転換、プラスミド、ベクター用語の解説とその物質としての取扱い方を講義する。

第4回　遺伝子クローニング４（DNA配列決定）(授業形式:講義)

予習内容：授業ファイルを入手し授業内容を把握する。
予習時間：60分
復習内容：授業内容を表形式への整理と専門用語の意味や定義をまとめる。
復習時間：60分
生物学の実験や医学的な検査に広く使用されるDNA配列決定について、詳細に講義する。

第5回　遺伝子クローニングに関する総復習(授業形式:講義)

予習内容：授業ファイルを入手し授業内容を把握する。
予習時間：60分
復習内容：授業内容を表形式への整理と専門用語の意味や定義をまとめる。
復習時間：60分
「遺伝子のクローニング」について、その意味や方法を詳細に講義する。

第6回　遺伝子発現１（転写）(授業形式:講義)

予習内容：授業ファイルを入手し授業内容を把握する。
予習時間：60分
復習内容：授業内容を表形式への整理と専門用語の意味や定義をまとめる。
復習時間：60分
遺伝子発現の最初の重要ステップである転写に関して詳細な解説を行う。

第7回　遺伝子発現２（転写量）(授業形式:講義)

予習内容：授業ファイルを入手し授業内容を把握する。
予習時間：60分
復習内容：授業内容を表形式への整理と専門用語の意味や定義をまとめる。
復習時間：60分
遺伝子の発現量として、転写量を測定する方法を説明する。

第8回　遺伝子発現３（翻訳とタンパク質局在）(授業形式:講義)

予習内容：授業ファイルを入手し授業内容を把握する。
予習時間：60分
復習内容：授業内容を表形式への整理と専門用語の意味や定義をまとめる。
復習時間：60分

翻訳とタンパク質局在について詳細に解説する。

第9回　遺伝子発現４（抗体とタンパク質検出）(授業形式:講義)

予習内容：授業ファイルを入手し授業内容を把握する。
予習時間：60分
復習内容：授業内容を表形式への整理と専門用語の意味や定義をまとめる。
復習時間：60分
生物を構成するタンパク質の構造と機能、その検出方法について、詳細に講義する。

第10回　遺伝子発現の総復習(授業形式:講義)

予習内容：授業ファイルを入手し授業内容を把握する。
予習時間：60分
復習内容：授業内容を表形式への整理と専門用語の意味や定義をまとめる。
復習時間：60分
遺伝子発現について、詳細に講義する。

第11回　応用分子生物１（遺伝学基礎）(授業形式:講義)

予習内容：授業ファイルを入手し授業内容を把握する。
予習時間：60分
復習内容：授業内容を表形式への整理と専門用語の意味や定義をまとめる。
復習時間：60分
分子生物学と遺伝学は密接に関連する学問であり、本講義では遺伝学の基礎を理解できるように説明する。

第12回　応用分子生物３（遺伝病１）(授業形式:講義)

予習内容：授業ファイルを入手し授業内容を把握する。
予習時間：60分
復習内容：授業内容を表形式への整理と専門用語の意味や定義をまとめる。
復習時間：60分
人の疾患のうち、分子生物学の範疇にあう遺伝病について解説する。

第13回　応用分子生物３（遺伝病１）(授業形式:講義)

予習内容：授業ファイルを入手し授業内容を把握する。
予習時間：60分
復習内容：授業内容を表形式への整理と専門用語の意味や定義をまとめる。
復習時間：60分
遺伝病の理解を促すことを目的として、遺伝病に関する数学的解析方法を説明する。

第14回　応用分子生物４（まとめ）(授業形式:講義)

予習内容：授業ファイルを入手し授業内容を把握する。
予習時間：60分
復習内容：授業内容を表形式への整理と専門用語の意味や定義をまとめる。
復習時間：60分
応用分子生物学の総復習を行う。

第15回　分子生物学のまとめ(授業形式:講義)

予習内容：授業ファイルを入手し授業内容を把握する。
予習時間：60分
復習内容：授業内容を表形式への整理と専門用語の意味や定義をまとめる。
復習時間：60分
分子生物学としての生物学の考え方、実験手法を総復習する。

■ホームページ

研究室紹介　http://azuma99.wix.com/author-blog

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名　：	**免疫・アレルギー学**						
英文名　：	Immunology and Allergology						
担当者　：	芦田　久						
開講学科：	食品安全工学科						
単　位　：	2単位	開講年次：	3年次	開講期：	前期	必修選択の別：	選択科目
科目区分：	専門科目						
備　考　：							

■授業概要

生体(ヒト)は、外界のさまざまな微生物や異物から身を守るために、複雑な免疫システムを持っています。本講義では免疫学の基礎を学修するとともに、免疫システムの破綻による各種の疾患、特にアレルギー疾患の発症メカニズムと治療や対策について理解を深めます。また、腸内細菌や食品成分による免疫システムの調節についても学修します。

■授業形態

対面授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

この授業を履修することにより、以下の各項目について理解することを到達目標とします。
1) 自然免疫と獲得免疫
2) 多様な抗体が生成するメカニズム
3) 免疫不全疾患とアレルギー疾患
4) アレルギー疾患の発症メカニズム
5) アレルギーの治療と対策
6) 腸内細菌や食品成分による免疫調節
この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー1の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

毎回の小テスト 15%
中間試験 30%
定期試験 55%

■試験・課題に対するフィードバック方法

毎回の小テスト・中間テストは、終了後または翌回の授業時間に解説します。
定期試験終了後（試験期間終了後）に「試験の要点と解説」をWebで配信します。

■教科書

【留意事項】講義資料をWebで配信します。

■参考文献

[ISBN]9784061557147 『休み時間の免疫学 第2版 (休み時間シリーズ)』 (齋藤 紀先, 講談社：2012)
[ISBN]9784758122009 『もっとよくわかる!免疫学 (実験医学別冊)』 (河本 宏, 羊土社：2011)

■関連科目

特になし。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

芦田研究室(東1号館5階515)・ashida@waka.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜3限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回　免疫学の歴史と概論（授業形式：講義）

予習内容：配信された資料をダウンロードして目を通しておく。
予習時間：30分
復習内容：ワクチン開発の歴史や現在用いられているワクチンについて整理し、まとめる。
復習時間：60分
免疫学の歴史、日本人の貢献、さまざまな病原体（ウイルス、細菌、真菌、原虫）

第2回　自然免疫と獲得免疫（授業形式：講義）

予習内容：配信された資料をダウンロードして目を通しておく。
予習時間：30分
復習内容：自然免疫と獲得免疫の違いについて整理し、まとめる。
復習時間：60分
自然免疫（食細胞、補体、パターン認識レセプター）と獲得免疫

第3回　免疫反応に関わる細胞・組織（授業形式：講義）

予習内容：配信された資料をダウンロードして目を通しておく。
予習時間：30分
復習内容：免疫細胞の種類とその機能について整理し、まとめる。
復習時間：60分
さまざまな白血球のはたらきと免疫反応に関わるリンパ組織（一次リンパ組織、二次リンパ組織）

第4回　抗体の構造と機能（授業形式：講義）

予習内容：配信された資料をダウンロードして目を通しておく。
予習時間：30分
復習内容：抗体の構造、各クラスの抗体の機能について整理し、まとめる。
復習時間：60分
抗体の構造、クラスによる機能の違い

第5回　抗原情報の伝わり方（授業形式：講義）

予習内容：配信された資料をダウンロードして目を通しておく。
予習時間：30分
復習内容：抗原提示細胞からT細胞に抗原情報が伝わるしくみについて整理し、まとめる。
復習時間：60分
抗原提示細胞とT細胞のはたらき

第6回　抗体の多様性創出のメカニズム（授業形式：講義）

予習内容：配信された資料をダウンロードして目を通しておく。
予習時間：30分
復習内容：抗体遺伝子の再構成とクラススイッチについて整理し、まとめる。
復習時間：60分
抗体遺伝子の再構成とクラススイッチ

第7回　自己反応性を抑制するしくみと免疫寛容（授業形式：講義）

予習内容：配信された資料をダウンロードして目を通しておく。
予習時間：30分
復習内容：自己反応性を抑制するしくみについて整理し、まとめる。
復習時間：60分
リンパ球のセレクションと免疫寛容誘導のしくみ

第8回　中間試験
アレルギーの分類（授業形式：講義）

予習内容：配信された資料をダウンロードして目を通しておく。
予習時間：30分
復習内容：I型からV型アレルギーについて整理し、まとめる。
復習時間：60分
中間試験（30分）

クームス・ゲルによるアレルギーの分類

第9回　I型アレルギーとIgE抗体（授業形式：講義）

予習内容：配信された資料をダウンロードして目を通しておく。
予習時間：30分
復習内容：I型アレルギーの症状が起こるしくみについて整理し、まとめる。
復習時間：60分
IgE抗体が生成するしくみ、マスト細胞のはたらき

第10回　アレルギーに関わるメディエーター（授業形式：講義）

予習内容：配信された資料をダウンロードして目を通しておく。
予習時間：30分
復習内容：脂肪酸の生合成とアラキドン酸カスケードについて整理し、まとめる。
復習時間：60分
ヒスタミンや脂質性メディエーター

第11回　さまざまなI型アレルギー疾患（授業形式：講義）

予習内容：配信された資料をダウンロードして目を通しておく。
予習時間：30分
復習内容：さまざまなI型アレルギー疾患の特徴について整理し、まとめる。
復習時間：60分
蕁麻疹、アナフィラキシー、口腔アレルギー症候群、アトピー性皮膚炎、喘息、アレルギー性鼻炎、アレルギー性胃腸炎

第12回　アレルゲンによる分類（授業形式：講義）

予習内容：配信された資料をダウンロードして目を通しておく。
予習時間：30分
復習内容：アレルギー物質表示の具体例について調査・整理し、まとめる。
復習時間：60分
表示すべき特定原材料7品目と特定原材料に準ずる20品目

第13回　アレルギーの治療と検査（授業形式：講義）

予習内容：配信された資料をダウンロードして目を通しておく。
予習時間：30分
復習内容：アレルギーの治療について調査・整理し、まとめる。
復習時間：60分
アレルギーの治療方法、薬剤、抗体検査、特定原材料検査

第14回　腸内細菌と免疫（授業形式：講義）

予習内容：配信された資料をダウンロードして目を通しておく。
予習時間：30分
復習内容：プロバイオティクスの具体例について調査・整理し、まとめる。
復習時間：60分
腸内細菌が宿主の免疫系におよぼす影響、プロバイオティクスとしての応用

第15回　食品による免疫調節（授業形式：講義）

予習内容：配信された資料をダウンロードして目を通しておく。
予習時間：30分
復習内容：食品による免疫調節の具体例について整理し、まとめる。
復習時間：60分
食品による抗炎症効果、アレルギー低減効果、免疫賦活効果

定期試験

■ホームページ

芦田 久（Researchmap）　http://researchmap.jp/ashida/

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業